がん研究会有明病院

年　報

2013—2016

目　　次

はじめに

１．　がん研有明病院基本理念･方針 …… 1

２．　２０１３～２０１６年の動き …… 2

３．　組織図 …… 7

４．　職員数 …… 15

５．　診療科と責任者 …… 16

６．　学会認定･指定･施設基準等 …… 24

７．　統計資料目次 28

外来･入院実績 …… 29

疾患別入院患者数 …… 33

地区別外来者数 …… 45

手術件数 …… 53

病理検査件数・細胞診検査件数 …… 57

ＣＴ･ＭＲＩ検査件数･核医学検査件数 …… 61

内視鏡検査件数・超音波検査件数 …… 63

院内がん登録集計

① 部位別・男女別件数（全体）…… 65

② 診療時居住地別件数（都道府県・東京都医療圏別）…… 69

③ 主要５部位治療別件数 …… 71

④ 治療別件数 …… 75

⑤ ステージ別件数 …… 76

⑥ 年齢別・部位別件数 …… 77

⑦ 症例区分別登録数 …… 81

８．　一般公開講座 …… 82

９．　学会･研究発表業績 …… 83

１０．　雑誌･単行本発表業績 …… 343

１１．　獲得研究費一覧 …… 559

１２．　学術研究講演 …… 576

１３．　財政状況 …… 585

は じ め に

2013 年から 2016 年の 4 年間の、がん研有明病院年報が完成したのでお届けします。
2011 年に日本郵船の草刈隆郎氏が理事長に就任し、2012 年からは大阪大学の門田守人先生が病院長に就任し、新しい体制が出来上がりました。2011 年から始まった経営改革運動 01 は、それまでがん研に欠如していた、ボトムアップ運動として大きな変革をもたらしました。また、中期計画が策定され、放射線診療施設の拡充、健診センターの拡充、手術室の拡張整備、新棟の建設など、積極的な方針が示されました。2010 年、2012 年の 2 回にわたる診療報酬改定で、手術料の大幅アップなど、外科治療が主体の本院には追い風が吹き、病院の収支も好転しました。しかし、2012 年をピークに人件費の増加や、減価償却の負担が収支を悪化しはじめたため、新しい経営改革運動として Step-Up がん研（SG18）が草刈理事長より提案されました。これは 2018 年までに、投資した資源が 100%活用され、寄付金の有無にかかわらず病院として黒字体質に改善するという計画でした。これはその後、さらに 2 年加速して 2016 年までに計画を完遂するという SG16 と改称されました。2016 年の SG16 の総括では、数値目標は達成されましたが、在院期間の短縮傾向、抗がん剤治療の外来移行など、症例の増加をしのぐ勢いで病床の必要数が低下するという新しい事態が発生し、利益は増収の割には良くない状況が続いていました。2017 年後半から病床利用の効率化を図り、ようやく改善のめどが立ち、2020 年には新施設の 100%稼働を達成すべく新たな中期計画が策定されたところです。

また、一方で将来への投資の一つとして、臨床研究センターの整備は着実に進行しており、おそらく 3 年後には十分な体制が確立されると期待されます。ただその間、臨床研究開発センターへの投資に大きな収支上のリターンは期待しがたく、成果が得られるまでにはある程度の時間が必要です。臨床研究の実績は、治療実績や検査件数などに比較すると十分とはいえず、各診療科の自覚と努力を期待しております。今後はゲノム医療を推進するためにも、臨床研究センターの機能強化が求められており、病院としても体制整備を強く推し進める必要があります。そのためにも、安定した収支の達成が急務であり、より一層の工夫と努力が求められています。

さて、年報とは基本的には毎年とりまとめられるべきものですが、今回は 4 年分まとめて発行するという事態になりました。この責任は全て病院長にあります。今後は年報を毎年とりまとめることは当然ですが、そのあり方についても再検討が必要と感じています。年報の内容の内、病院の基本的な情報は癌研究会のホームページ上に掲載されています。また、論文業績についてはネット上で検索が容易に可能であり、改めて年報にような冊子体としてとりまとめる必然性は薄れています。今後、年報を冊子体として発行すべきかも再検討の余地があると思います。文献情報を冊子体として提供しても、その利用価値は小さく、むしろ電子データとして提示された方が、検索も容易であるし、ネット上ではそのまま原文に到達することも可能です。プリントアウトしたものは数冊準備し、データは DVD で配賦することも検討されるべきでしょう。

最後に、多忙の中本年報をとりまとめてくれた、総務部の職員の皆様には心より感謝申し上げます。そして、従来のものと違った全く新しい形態の年報作成に向けた、より一層の努力と工夫を期待しています。

平成３０年６月吉日

公益財団法人がん研究会有明病院
病院長　山口 俊晴

1．理念・基本方針

未来を担う理想のがん専門病院となるために、病院の理念・基本方針として次の**使命(Mission)**、共有する**価値観(Core Values)**、**将来展望(Vision)**を定めました。

これに基づき、私たちは最高の医療を提供するとともに、下記の「患者さんの権利」を尊重した、やさしく心の通った医療を実践してまいります。

◆基本理念

「がん研究会はがん克服をもって人類の福祉に貢献する」

この基本理念達成のために、がん研究会は 研究所、病院およびがん化学療法センター等を擁し

1．がんの本態と個性を明らかにし、がんの診断・治療・予防に貢献すると共に、生命科学の先端を開拓する。
2．優れたがんの診断・治療を実践し、がんを治す。
3．がんの新薬と新しい診断・治療法を開発する。
4．がんの予防研究と一次・二次予防の実践により、がんの発生と死亡を抑える。
5．がんの研究・診療・予防の、国内および国際交流を促進する。

◆使命・価値観・将来展望

使　　命	Mission	「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」
価 値 観	Core Values	「創造・革新・高質・親切・協調」
将来展望	Vision	「がんの診療・研究において世界に誇るがん研となる」

◆基本方針

1．新しいがん医療の創造に努めます
2．安全かつ質の高いがん医療を提供します
3．患者さん中心の親切ながん医療を行います
4．臓器別診療に基づくチーム医療を実践します
5．人間性豊かな医療人の育成に努めます

◆患者さんの権利

1．基本的人権に基づき、高質の医療を等しく受けることができます。 (基本的人権)
2．十分な説明と情報提供を受けることができます。 (十分な説明と情報提供)
3．自己の意思に基づいて診療を受けることができます。 (治療の自己決定)
4．自己の受けた診療内容を知ることができます。 (情報公開)
5．個人情報及び医療情報は十分に保護され秘密が守られます。 (個人情報保護)

例えば・・・

- セカンドオピニオンを求めることができます。
- 診療を受けることも、拒否することもできます。
- 一方、自己決定したことに対して責務が存在することもご理解ください。
- 診療内容、診療記録等について知りたいときは説明・開示をお求めください。

なお、新しい治療法開発のために必要な臨床試験をお願いすることがありますのでご理解下さい。

２．２０１３年～２０１６年の動き

２０１３年（平成２５年）

１月　５日　がん研究会新年祝賀式典並びに永年勤続者等表彰式が挙行される。
２５年勤続表彰者１５名、１０年勤続表彰者１４名、がん研究会学術賞１名、がん研究会特別賞３名、優良者賞１１名、理事長感謝状３社。

２月２２日
２５日・２７日　吉田富三記念講堂にて、各診療科におけるこれまでの取り組みと今後の目指す方向に関する発表会が開催される。

２月２５日
～3月　5日　がん研究会職員による海外研修（アジア研修）が実施される。

３月　３日
～3月　9日　がん研究会職員による訪米視察（米国 MD Anderson Cancer Center）が実施される。

４月　１日　吉田富三記念講堂にて平成２５年新職員辞令授与式（総勢 170 名）が挙行される。

４月　８日　細胞検査士養成所平成２５年度入学式（総勢１４名）が挙行される。

５月１１日　東京ビックサイトにて、全員参加型職員研修会を開催し、１，０８９名が参加した。

５月２８日　平成２５年度比較腫瘍学常陸宮賞授賞式が挙行され、日本血液製剤機構中央研究員の平山博博士と中央労働災害防災防止協会・日本バイオアッセイ研究所センター客員研究員の立松正衛博士が共同授賞者として選ばれる。
受賞内容：「スナネズミ感染モデルの樹立とピロリ菌による胃発がんプロモーションの解明」

５月３１日　患者さんや人々の福祉に貢献するため、各部署の課題の取り組みを発表する、経営改革運動プロジェクト０１の第２回全体発表会が開催され、３２９名の職員が参加した。

６月　６日　吉田富三記念講堂にて、「がん研究会海外研修報告会－アジア・アメリカの現状と改善提案－」が開催される。

６月１９日　第６回定時評議員会・第２５回理事会が開催される。
野田哲生（常務理事・がん研究所所長）が代表理事に就任、門田守人（病院長）と太田隆博（経営戦略本部長）が、常務理事に就任する。

７月　３日　理事長表彰（平成２５年チーム表彰）を実施。
業績貢献度の高かった２５のチームが表彰される。

７月２７日　吉田富三記念講堂他にてジョンソン＆ジョンソン株式会社との共催により、「ブラックジャックセミナー」が開催される。

１０月　門田守人病院長が日本癌学会長與又郎賞を受章する。

１０月３１日　細胞検査士養成所平成２５年度卒業式（総勢１４名）が挙行される。

１１月　平成２５年秋の叙勲で、吉田光昭（理事・がん化学療法センター所長）が瑞宝中綬章を授与される。

１２月１１日　第７回評議員会、第３５回理事会が開催される。

２０１４年（平成２６年）

１月　４日　がん研究会新年祝賀式典並びに永年勤続者等表彰式が挙行される。
２５年勤続表彰者９名、１０年勤続表彰者２１名、がん研究会特別賞４名。

２月 22 日・23 日　中国北京市にある中日友好医院、北京医師協会、中日医学科技交流協会とともに、北京市にて消化器がんに関するセミナーが開催される。

２月２７日　ソラシティカンファランスセンター（御茶ノ水）にて、「第三回がん研究会有明病院紹介セミナー」が開催される。

３月　４日　吉田富三記念講堂にて、がん研有明病院 臨床研修医発表会が開催される。

３月２４日　吉田富三記念講堂にて、がん研究会海外研修報告会が開催される。

３月３１日　細胞検査士養成所平成２６年度入学式（総勢 13 名）が挙行される。

４月　１日　吉田富三記念講堂にて平成２６年新職員辞令授与式（総勢１８６名）が挙行される。
佐野 武（消化器外科部長）と髙橋俊二（総合腫瘍科部長）が院長補佐に就任した。
緩和・がん疼痛治療科（緩和治療科、精神腫瘍科、がん疼痛治療科、緩和ケアーチーム）、医療連携部、がん相談支援部、診療情報管理室の４部門から構成された「緩和ケアセンター」を新設。

４月 27 日　秋篠宮同妃両殿下のご臨席のもと、パレスホテル東京にて、「細胞診６０周年記念式典」が挙行され、門田守人病院長に感謝状が授与される。

５月２０日　平成２６年度比較腫瘍学常陸宮賞授賞式が挙行され、米国・ロチェスター大学教授 ヴェラ ゴルブノヴァ博士と同准教授アンドレィ セアルノフ博士が共同授賞者として選ばれる。
受賞内容：「ハダカデバネズミのがん化抵抗性の機序」

５月２０日　研究所及び病院が設立 80 周年を迎える。

５月２４日　東京ビッグサイトにて４回目の全員参加型職員研修会を開催し、１，１４９名が参加した。また、病院開院８０周年を記念した講演会も併せて開催される。

６月１８日　低侵撃による手術が可能となる手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入される。

６月１９日　第８回定時評議員会・第３７回理事会が開催される。
榮木実枝（副院長・看護部長）が、がん研究会初の女性理事に、土田知宏（健診センター副センター長）が、健診センター長に就任。

８月　６日　理事長表彰（平成２６年チーム表彰）を実施。
業績貢献度の高かった２０のチームが表彰される。

８月　７日　手術室が４室増設され、合計２０室となる。

８月　９日　吉田富三記念講堂他にてジョンソン＆ジョンソン株式会社との共催により、「ブラックジャックセミナー」が開催される。

９月　６日　当院１階ホスピタルストリートにて、市民公開講座「キャンサーカフェ」～みんなでがんを考えよう～　が開催される。

１０月３１日　細胞検査士養成所平成２６年度卒業式（総勢１３名）が挙行される。

１１月　４日　がん研究会の公式キャラクターとして「かにこちゃん」が誕生する。

１１月２６日　病院開院８０周年記念チャリティー講演会を開催。「病院８０周年の歴史（門田病院長）」、「肺がんについて（奥村呼吸器センター長）」の講演の他、落語家の樋口強様をお迎えし、「いのちの落語講演」が挙行される。

１２月１９日　第９回定時評議員会・第４２回理事会が開催される。

２０１５年（平成２７年）

1月　5日　がん研究会新年祝賀式典並びに永年勤続者等表彰式が挙行される。
２５年勤続表彰者８名、１０年勤続表彰者３５名、がん研究会学術賞１名、特別賞４名。

2月１２日　１２階西病棟（特別病棟）がリニューアルされ、内装やアメニティ等が一新となる。

2月１２日　厚生労働省先進医療会議「国家戦略特区における保険外併用療養の特例」の対象医療機関の選定において、当院が「臨床研究中核病院等と同水準の国際医療拠点」の要件に該当するとして「適」の判定を得る。

3月　2日・4日・6日　吉田富三記念講堂にて、「各診療科におけるこれまでの取り組みと今後の目指す方向」に関する発表会が開催される。

3月　3日　吉田富三記念講堂にて、がん研有明病院 臨床研修医発表会が開催される。

3月１０日　吉田富三記念講堂にて、がん研究会海外研修報告会及び昨年度海外研修員からのがん研への提言 進捗報告会が開催される。

4月　1日　吉田富三記念講堂にて平成２７年新職員辞令授与式（総勢１８７名）が挙行される。

4月　8日　細胞検査士養成所平成２７年度入学式（総勢１３名）が挙行される。

5月１６日　東京ビッグサイトにて５回目の全員参加型職員研修会を開催し、１，１５４名が参加した。

5月２６日　平成２７年度比較腫瘍学常陸宮賞授賞式が挙行され、東京大学大学院教授の武田洋幸博士選ばれる。
受賞内容：「小型魚類を用いた脊椎動物の器官形成原理の解明」

6月　3日　吉田富三記念講堂にて、門田病院長により、緩和ケアセンター講演会「命を考える　―今から求められる医療とは？―」が開催される。

6月１９日　第１０回定時評議員会・第４９回理事会が開催される。

6月２９日　理事長表彰（平成２７年チーム表彰）を実施。
業績貢献度の高かった７チームが表彰される。

7月　1日　山口俊晴ががん研有明病院の病院長に就任。
横田美幸（麻酔科部長）ががん研有明病院の副院長に就任。
佐野武（消化器センター長）ががん研有明病院の副院長に就任。
小口正彦（放射線治療部長）ががん研有明病院の院長補佐に就任。
米瀬淳二（泌尿器科部長）ががん研有明病院の院長補佐に就任。
大野真司（乳腺センター長）ががん研有明病院の院長補佐に就任。
濱敏弘（薬剤部長）ががん研有明病院の院長補佐に就任。

7月　1日　吉田富三記念講堂にて、厚生労働省老健局老人保健課長　迫井正深 氏により、「２０２５年に向けての医療の展望」特別講演会が開催される。

7月　3日　吉田富三記念講堂にて、門田名誉院長「がん研で過ごした４年間を振り返って」、山口病院長「新病院長としての抱負」をテーマに、特別講演会が開催される。

7月２４日　吉田富三記念講堂にて株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンとの共催により、「がん医療の質向上研修会」が開催される。

7月２５日　吉田富三記念講堂他にてジョンソン＆ジョンソン株式会社の共催により、「ブラックジャックセミナー」が開催される。

8月　1日　がん研有明病院が、厚生労働省が実施する「医療機関における外国人患者受入れ環境整備事業」に基づき、地域における外国人患者受入れの医療通訳拠点病院として認定される。

9月１０日　常陸宮華子妃殿下ご臨席のもと、ボランティア活動十周年記念の会が開催される。

１０月１７日　吉田富三記念講堂にて、一般公開講座「がんについて知っておきたい５つのこと」が開催される。

１０月２８日　細胞検査士養成所平成２７年度卒業式（総勢１２名）が挙行される。

１２月17日　第１１回定時評議員会・第 54 回理事会が開催される。

２０１６年（平成２８年）

1月　4日　午前８時、新棟オープンのテープカットが、新棟一階のホスピタルストリートにて、執り行われる。
がん研究会新年祝賀式典並びに永年勤続者等表彰式が挙行される。
２５年勤続表彰者18名、１０年勤続表彰者６７名、特別賞４名、優良賞９名。

1月１５日　常陸宮正仁親王殿下、妃殿下のご臨席のもと、新棟増築竣工式典・お披露目パーティーが挙行される。

1月１８日　平成２６年７月より、当院敷地内に建設中であった最先端放射線治療施設と、画像診断施設、また、健診センターを兼ね備えた新棟がオープンする。

2月　1日　名誉総裁であられる常陸宮正仁親王殿下が、フランス、ベルサイユ宮殿において、フランスAVEC Fondation（Association pora la Vie Espoir contre le cancer）より、永年に亘るがんのご研究とご活躍に対し、がん対策パリ憲章大賞が贈られる。

3月　1日　吉田富三記念講堂にて、がん研有明病院 臨床研修医発表会が開催される。

3月３０日　細胞検査士養成所平成２８年度入学式（総勢１４名）が挙行される。

4月　1日　TOC 有明ウエストタワー２０階コンベンションホールにて、平成２８年新職員辞令授与式（総勢２４９名）が挙行される。

4月２３日　東京ビッグサイトにて６回目の全員参加型職員研修会を開催し、１，２５６名が参加した。

5月３１日　平成２８年度比較腫瘍学常陸宮賞授賞式が挙行され、ユタ大学（米国）教授のジョシュア シフマン博士が選ばれる。

受賞内容：「象におけるがん抵抗性の機序」

6月２１日　第１２回定時評議員会・第６０回理事会が開催される。

8月　6日　吉田富三記念講堂他にてジョンソン＆ジョンソン株式会社の共催により、「ブラックジャックセミナー」が開催される。

8月３０日　認知症サポーター養成講座を開催した。

１０月　1日　がんプレシジョン医療研究センターが設立される。

平成 28 年４月１日法律に制定となった「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」において、育児者の継続就労を支援し、環境を検討する「work-life-balance（ワークライフバランス）」から『ワラビ』というワーキンググループを開設した。

１０月１７日　抗がん剤治療等で爪が変形したり、黒ずんだりされている方のため、NPO インターナショナルネイルアソシエーション理事の大江身奈様とネイリストの明畠珠由様をお招きし、ネイルケアの講習を開催した。

１０月３１日　細胞検査士養成所平成２８年度卒業式（総勢１４名）が挙行される。

１１月　6日・7日　がん研究会特別顧問（元がん研究所所長）・文化功労者　菅野晴夫 博士の逝去（１０月３０日）に伴う通夜・告別式が挙行される。

１２月17日　第１３回定時評議員会・第５４回理事会が開催される。

3．組 織 図

公益財団法人　がん研究会機構図　（平成25年4月1日）

評議員会　理事会　　経営統轄会議　　経営会議　　本部長連絡会議　　本部　　部門　　センター　　部　　課　室 等

評議員会 ― 理事会

チーフコンプライアンスオフィサー（CCO）
監査・コンプライアンス室

経営戦略本部
本部長
- 総務部
  - 総務課
  - 法務・知財支援室
  - 募金室
- 企画部
  - 企画課
  - マーケティングセンター
  - インターナショナルセンター
- 財務部
  - 経理課
- 人事部
  - 人事課
- 調達部
  - 用度課
  - 環境・施設サービス課
- 情報システム部
  - 情報システム課
- 広報部
  - 広報課

病院本部
本部長
- がん研有明病院
  病院長
- 病院運営会議
  - 医薬品安全管理責任者
  - 医療機器安全管理責任者

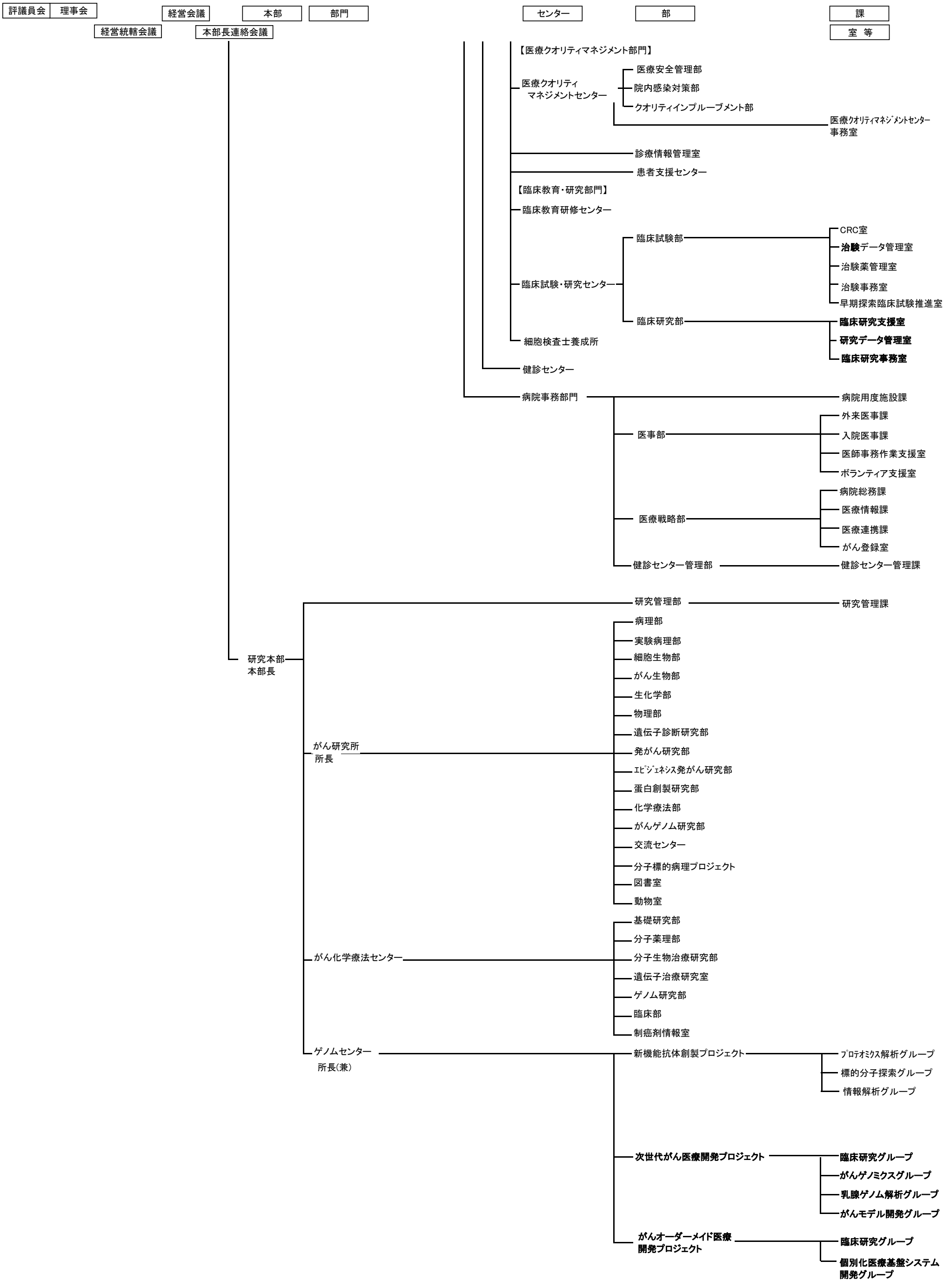
【専門診療部門】
- 呼吸器センター
  - 呼吸器内科
  - 呼吸器外科
- 消化器センター
  - 消化器内科
  - 消化器外科
    - 上部消化管
    - 下部消化管
    - 肝・胆・膵
- 乳腺センター
  - 乳腺外科
  - 乳腺内科
- 婦人科
- 頭頸科
- 整形外科
- 泌尿器科（前立腺センターを含む）
- 血液腫瘍科
- 総合腫瘍科
- サルコーマセンター
- 免疫・遺伝子治療科
- 緩和治療科

【一般診療部門】
- 総合内科
- 麻酔科(ペインクリニック)
- 腫瘍精神科
- 形成外科
- 眼科
- 感染症科
- 皮膚科
- 漢方サポート科
- 歯科

【中央診療部門】
- 放射線治療部
- 画像診断センター
  - 画像診断部
  - 核医学部
- 内視鏡診療部
- 化学療法部
  - 化学療法管理室
  - 外来治療室(ATC)
- 遺伝子診療部
- 中央手術部
- 集中治療部
- 救急部
- リハビリテーション部
  - 運動器ﾘﾊﾞﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ室
  - リンパ浮腫治療室
- 臨床検査センター
  - 検体検査部
  - 生理検査部
  - 超音波検査部
  - 遺伝子診断部
- 輸血部
- 臨床病理センター
  - 病理部
  - 細胞診断部
- 緩和ケアチーム
- 栄養管理部
- 滅菌材料室
- MEセンター
- フォトセンター

【看護部門】
- 看護部

【薬剤部門】
- 薬剤部


評議員会
理事会
経営会議
経営統轄会議
本部
本部長連絡会議
部門
センター
部
課
室 等
【医療クオリティマネジメント部門】
医療クオリティ
マネジメントセンター
医療安全管理部
院内感染対策部
クオリティインプルーブメント部
医療ｸｵﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ
事務室
診療情報管理室
患者支援センター
【臨床教育・研究部門】
臨床教育研修センター
臨床試験・研究センター
臨床試験部
CRC室
治験データ管理室
治験薬管理室
治験事務室
早期探索臨床試験推進室
臨床研究部
臨床研究支援室
研究データ管理室
臨床研究事務室
細胞検査士養成所
健診センター
病院事務部門
病院用度施設課
医事部
外来医事課
入院医事課
医師事務作業支援室
ボランティア支援室
医療戦略部
病院総務課
医療情報課
医療連携課
がん登録室
健診センター管理部
健診センター管理課
研究本部
本部長
研究管理部
研究管理課
がん研究所
所長
病理部
実験病理部
細胞生物部
がん生物部
生化学部
物理部
遺伝子診断研究部
発がん研究部
ｴﾋﾟｼﾞｪﾈｼｽ発がん研究部
蛋白創製研究部
化学療法部
がんゲノム研究部
交流センター
分子標的病理プロジェクト
図書室
動物室
がん化学療法センター
基礎研究部
分子薬理部
分子生物治療研究部
遺伝子治療研究室
ゲノム研究部
臨床部
制癌剤情報室
ゲノムセンター
所長(兼)
新機能抗体創製プロジェクト
ﾌﾟﾛﾃｵﾐｸｽ解析グループ
標的分子探索グループ
情報解析グループ
次世代がん医療開発プロジェクト
臨床研究グループ
がんゲノミクスグループ
乳腺ゲノム解析グループ
がんモデル開発グループ
がんオーダーメイド医療
開発プロジェクト
臨床研究グループ
個別化医療基盤システム
開発グループ

公益財団法人　がん研究会機構図　（平成26年4月1日）

評議員会　理事会　経営統轄会議　経営会議　本部長連絡会議　本部　部門　センター　部　課　室 等

評議員会 ― 理事会

チーフコンプライアンス
オフィサー（CCO）

監査・
コンプライアンス室

経営本部
本部長 ― 経営管理センター
センター長

- 総務部
  - 総務課
  - 法務・知財支援室
  - 募金課
  - 研究管理課
- 企画部
  - 企画課
  - 医療情報課
  - 国際医療課
- 財務部
  - 経理課
- 人事部
  - 人事労務課
  - 給与厚生課
  - 教育・研修課
- 調達部
  - 購買・施設課
- 情報システム部
  - 情報システム課
- 広報部
  - 広報課
- 医事部
  - 外来医事課
  - 入院医事課
  - 医師事務作業支援室
  - ボランティア支援室
  - 医療連携課
  - がん登録室
- 健診センター管理部
  - 健診センター管理課

病院本部
本部長 ― がん研
有明病院
病院長 ― 病院運営会議

医薬品安全管理責任者
医療機器安全管理責任者

【専門診療部門】

- 呼吸器センター
  - 呼吸器内科
  - 呼吸器外科
- 消化器センター
  - 消化器内科
  - 消化器外科
    - 食道
    - 胃
    - 下部消化管
    - 肝・胆・膵
- 乳腺センター
  - 乳腺内科
  - 乳腺外科
- 婦人科
- 頭頸科
- 整形外科
- 泌尿器科（前立腺センターを含む）
- 血液腫瘍科
- 総合腫瘍科
- サルコーマセンター
- 免疫・遺伝子治療科

【一般診療部門】

- 総合内科
- 麻酔科(ペインクリニック)
- 形成外科
- 眼科
- 感染症科
- 皮膚科
- 漢方サポート科
- 歯科

【中央診療部門】

- 緩和ケアセンター
  - 緩和・がん疼痛治療部
    - 緩和治療科
    - がん疼痛治療科
    - 腫瘍精神科
    - がん治療支援
      緩和ケアチーム
  - 医療連携部
  - がん相談支援部（がん相談支援センター）
- 診療情報管理室
- 放射線治療部
- 画像診断センター
  - 画像診断部
  - 核医学部
- 内視鏡診療部
- 化学療法部
  - 化学療法管理室
  - 外来治療室(ATC)
- 遺伝子診療部
- 中央手術部
- 集中治療部
- 救急部
- リハビリテーション部
  - 運動器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ室
  - リンパ浮腫治療室

評議員会
理事会
経営会議
経営統轄会議
本部
本部長連絡会議
部門

センター
部
課
室 等

- 臨床検査センター
  - 検体検査部
  - 生理検査部
  - 超音波検査部
  - 遺伝子診断部
- 輸血部
- 臨床病理センター
  - 病理部
  - 細胞診断部
- 栄養管理部
- 滅菌材料室
- MEセンター
- フォトセンター

【看護部門】
- 看護部

【薬剤部門】
- 薬剤部

【医療クオリティマネジメント部門】
- 医療クオリティマネジメントセンター
  - 医療安全管理部
  - 院内感染対策部
  - クオリティインプルーブメント部
  - 医療ｸｵﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ事務室

【臨床教育・研究部門】
- 臨床教育研修センター
- 臨床試験・研究センター
  - 臨床試験部
    - CRC・治験データ管理室
    - 治験薬管理室
    - 治験事務室
    - 早期探索臨床試験推進室
    - 臨床試験支援室
  - 臨床研究部
    - 臨床研究支援室
    - 研究データ管理室
    - 臨床研究事務室
- 細胞検査士養成所
- 健診センター

研究本部
本部長

- 研究管理部
  - 研究管理課
- がん研究所
  所長
  - 病理部
  - 実験病理部
  - 細胞生物部
  - がん生物部
  - 生化学部
  - 物理部
  - 遺伝子診断研究部
  - 発がん研究部
  - ｴﾋﾟｼﾞｪﾈｼｽ発がん研究部
  - 蛋白創製研究部
  - 化学療法部
  - がんゲノム研究部
  - 交流センター
  - 分子標的病理プロジェクト
  - 図書室
  - 動物室
- がん化学療法センター
  所長
  - 基礎研究部
  - 分子薬理部
  - 分子生物治療研究部
  - 遺伝子治療研究室
  - ゲノム研究部
  - 臨床部
  - 制癌剤情報室
- ゲノムセンター
  所長(兼)
  - 新機能抗体創製プロジェクト
    - 標的分子探索グループ
    - ﾌﾟﾛﾃｵﾐｸｽ解析グループ
    - 情報解析グループ
  - 次世代がん医療開発プロジェクト
    - 臨床研究グループ
    - がんゲノミクスグループ
    - 乳腺ゲノム解析グループ
    - がんモデル開発グループ
  - がんオーダーメイド医療開発プロジェクト
    - 臨床研究グループ
    - 個別化医療基盤システム開発グループ

＊がん研究会における
放射線障害予防のための組織は
放射線障害予防規程の第2章
「組織及び職務」中に明示する。

公益財団法人　がん研究会機構図　（平成27年4月1日）

評議員会　理事会　経営統轄会議　経営会議　本部長連絡会議　本部　部門　センター　部　課　室　等

- 評議員会
  - 理事会
    - 経営本部（本部長：経営管理センター長）
      - 総務部
        - 総務課
        - 法務・知財支援室
        - 募金課
        - 研究管理課
      - 企画部
        - 企画課
        - 国際医療課
      - 財務部
        - 経理課
        - 経費管理課
      - 人事部
        - 人事労務課
        - 給与厚生課
        - 教育・研修課
      - 購買・IT推進部
        - 購買・施設課
        - IT推進課
      - 広報部
        - 広報課
      - 医事部
        - 医療戦略ユニット
        - 外来医事課
        - 入院医事課
        - インターナショナル ペイシェント サービス
        - 医師事務作業支援室
        - ボランティア支援室
        - がん登録室
        - 医療連携課
      - 健診センター運営部
    - 病院本部（本部長：がん研有明病院 病院長）
      - 病院運営会議
        - 医薬品安全管理責任者
        - 医療機器安全管理責任者
        - 【専門診療部門】
          - 呼吸器センター
            - 呼吸器内科
            - 呼吸器外科
          - 消化器センター
            - 消化器内科
              - 消化器化学療法科
              - 肝・胆・膵内科
              - 上部消化管内科
              - 下部消化管内科
            - 消化器外科
              - 食道外科
              - 胃外科
              - 大腸外科
              - 肝・胆・膵外科
          - 乳腺センター
            - 乳腺内科
            - 乳腺外科
          - 婦人科
          - 頭頸科
          - 整形外科
          - 泌尿器科（前立腺センターを含む）
          - 血液腫瘍科
          - 総合腫瘍科
          - サルコーマセンター
          - 免疫・遺伝子治療科
        - 【一般診療部門】
          - 総合診療部
            - 循環器内科
            - 内分泌・代謝科
            - 腎臓内科
            - 神経内科
          - 麻酔科(ペインクリニック)
          - 形成外科
          - 眼科
          - 感染症科
          - 皮膚科
          - 漢方サポート科
          - 歯科
        - 【中央診療部門】
          - 緩和ケアセンター
            - 緩和・がん疼痛治療部
              - 緩和治療科
              - がん疼痛治療科
              - 腫瘍精神科
              - （緩和ケアチーム）
            - 医療連携部
            - がん相談支援部（がん相談支援センター）
          - 診療情報管理室
          - 放射線治療部
          - 画像診断センター
            - 画像診断部
            - 核医学部
          - 内視鏡診療部
          - 化学療法部
            - 化学療法管理室
            - 外来治療室(ATC)
          - 遺伝子診療部
          - 中央手術部
          - 集中治療部
          - 救急部
          - リハビリテーション部
            - 運動器リハビリテーション室
            - リンパ浮腫治療室
    - チーフコンプライアンスオフィサー（CCO）
      - 監査・コンプライアンス室

評議員会　理事会

経営統轄会議

経営会議

本部長連絡会議

本部　部門

センター　部　課　室　等

- 研究本部 本部長
  - 臨床検査センター
    - 検体検査部
    - 生理検査部
    - 超音波検査部
    - 遺伝子診断部
  - 輸血部
  - 臨床病理センター
    - 病理部
    - 細胞診断部
  - 栄養管理部
  - 滅菌材料室
  - MEセンター
  - フォトセンター
  - 【看護部門】
  - 看護部
  - 【薬剤部門】
  - 薬剤部
    - 薬剤管理室
    - 調剤室
    - 臨床薬剤室
  - 【医療クオリティマネジメント部門】
  - 医療クオリティマネジメントセンター
    - 医療安全管理部
    - 院内感染対策部
    - クオリティインプルーブメント部
    - 医療ｸｵﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ事務室
  - 【臨床教育・研究部門】
  - 臨床教育研修センター
  - 臨床試験・研究センター
    - 臨床試験部
      - CRC・治験データ管理室
      - 治験薬管理室
      - 治験事務室
      - 早期探索臨床試験推進室
      - 臨床試験支援室
    - 臨床研究部
      - 臨床研究支援室
      - 研究データ管理室
      - 臨床研究事務室
  - 細胞検査士養成所
  - 健診センター
    - 検診部
    - 運営部
  - 研究管理部
    - 研究管理課
  - がん研究所 所長
    - 病理部
    - 実験病理部
    - 細胞生物部
    - がん生物部
    - 生化学部
    - 物理部
    - 遺伝子診断研究部
    - 発がん研究部
    - ｴﾋﾟｼﾞｪﾈｼｽ発がん研究部
    - 蛋白創製研究部
    - 化学療法部
    - がんゲノム研究部
    - 交流センター
    - 分子標的病理プロジェクト
    - 図書室
    - 動物室
  - がん化学療法センター 所長
    - 基礎研究部
    - 分子薬理部
    - 分子生物治療研究部
    - 遺伝子治療研究室
    - ゲノム研究部
    - 臨床部
    - 制癌剤情報室
  - ゲノムセンター 所長（兼）
    - 新機能抗体創製プロジェクト
      - 標的分子探索グループ
      - ﾌﾟﾛﾃｵﾐｸｽ解析グループ
      - 情報解析グループ
    - 次世代がん医療開発プロジェクト
      - 臨床研究グループ
      - がんゲノミクスグループ
      - 乳腺ゲノム解析グループ
      - がんモデル開発グループ
    - がんオーダーメイド医療開発プロジェクト
      - 臨床研究グループ
      - 個別化医療基盤システム開発グループ

＊がん研究会における放射線障害予防のための組織は、
放射線障害予防規程の第2章「組織及び職務」中に明示する。

公益財団法人　がん研究会機構図　（平成28年6月1日）

2016.06.01

評議員会　理事会　経営統轄会議　経営会議　本部長連絡会議　本部　部門　センター　部　課　室　等

評議員会
理事会
病院本部 本部長
有明病院 病院長
病院運営会議
経営本部 本部長
経営管理センター センター長

- 総務部
  - 総務課
    - 秘書室
  - 法務・知財支援室
  - 研究管理課
- 募金課
- 企画部
  - 企画課
  - 国際医療課
- 財務部
  - 経理課
- 人事部
  - 人事労務課
  - 給与厚生課
  - 教育・研修課
- 購買・施設部
  - 購買課
  - 施設管理課
  - 環境整備室
- IT推進部
  - IT推進課
- 広報部
  - 広報課
- 医事部
  - 医療戦略ユニット
  - 医事課
  - ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ ﾍﾟｲｼｪﾝﾄ ｻｰﾋﾞｽ ﾁｰﾑ
  - 医師事務作業支援室
  - 診療情報管理室
  - 連携推進室
  - 診療予約室
- 健診センター運営部
  - 運営サポートチーム

【専門診療部門】

- 呼吸器センター
  - 呼吸器内科
  - 呼吸器外科
- 消化器センター
  - 消化器内科
    - 消化器化学療法科
    - 肝・胆・膵内科
    - 上部消化管内科
    - 下部消化管内科
  - 消化器外科
    - 食道外科
    - 胃外科
    - 大腸外科
    - 肝・胆・膵外科
- 乳腺センター
  - 乳腺内科
  - 乳腺外科
- 婦人科
- 頭頸科
  - 甲状腺センター
- 整形外科
- 泌尿器科（前立腺センターを含む）
- 血液腫瘍科
- 総合腫瘍科
- サルコーマセンター
- 免疫・遺伝子治療科

【一般診療部門】

- 総合診療部
  - 循環器内科
  - 内分泌・代謝科
  - 腎臓内科
  - 神経内科
- 麻酔科(ペインクリニック)
- がん疼痛治療科
- 腫瘍精神科
- 形成外科
- 眼科
- 感染症科
- 皮膚科
- 漢方サポート科
- 歯科

医薬品安全管理責任者
医療機器安全管理責任者

【中央診療部門】

- 緩和ケアセンター
  - 緩和治療科
    - 緩和ケアチーム
  - 医療連携部
  - がん相談支援部（がん相談支援センター）
  - 診療情報管理室
- 放射線治療部
- 画像診断センター
  - 画像診断部
  - 核医学部
- 内視鏡診療部
- 化学療法部
  - 化学療法管理室
  - 外来治療室(ATC)
- 遺伝子診療部
- 中央手術部
- ｵﾝｺﾛｼﾞｯｸ ｴﾏｰｼﾞｪﾝｼｰ &ﾃﾞｨｻﾞｽﾀｰ ｾﾝﾀｰ（OEDC）
  - 集中治療部
  - 救急部
  - 災害医療部
    - 災害派遣医療チーム（DMAT）
- リハビリテーション部
  - 運動器リハビリテーション室
  - リンパ浮腫治療室

チーフコンプライアンスオフィサー（CCO）
監査・コンプライアンス室

2016.06.01

評議員会　理事会

経営統轄会議

経営会議

本部長連絡会議

本部　部門

センター　部　課　室　等

- 臨床検査センター
  - 検体検査部
  - 生理検査部
  - 超音波検査部
  - 遺伝子診断部
- 輸血部
- 臨床病理センター
  - 病理部
  - 細胞診断部
- 栄養管理部
- 滅菌材料室
- MEセンター
- ベットコントロールセンター
- 患者相談室
- フォトセンター
- ボランティア支援室

【看護部門】

- 看護部

【薬剤部門】

- 薬剤部
  - 薬剤管理室
  - 調剤室
  - 臨床薬剤室

【医療クオリティマネジメント部門】

- 医療ｸｵﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ
  - 医療安全管理部
  - 院内感染対策部
  - クオリティインプルーブメント部
  - 医療ｸｵﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ事務室

【臨床教育・研究部門】

- 臨床教育研修センター
- 臨床研究センター
  - 臨床試験支援部
    - CRC室
    - 治験薬管理室
    - 早期探索臨床試験推進室
    - 臨床試験事務室
  - 企画・品質管理部
    - 臨床研究推進室
    - データマネジメントセンター
  - TR支援部
- 医療機器開発研究センター
- データベース＆バイオバンクセンター
- 細胞検査士養成所

- 健診センター
  - 検診部
  - 運営部

- 研究本部　本部長
  - 研究管理部
    - 研究管理課
  - がん研究所　所長
    - 病理部
    - 実験病理部
    - 細胞生物部
    - がん生物部
    - 生化学部
    - 物理部
    - 遺伝子診断研究部
    - 発がん研究部
    - ｴﾋﾟｼﾞｪﾈｼｽ発がん研究部
    - 蛋白創製研究部
    - 化学療法部
    - がんゲノム研究部
    - 交流センター
    - 分子標的病理プロジェクト
    - 図書室
    - 動物室
  - がん化学療法センター　所長
    - 基礎研究部
    - 分子薬理部
    - 分子生物治療研究部
    - 遺伝子治療研究室
    - ゲノム研究部
    - 臨床部
    - 制癌剤情報室
  - ゲノムセンター　所長
    - がんゲノム医療開発プロジェクト
      - 標的分子探索グループ
      - 情報解析グループ
      - がんモデル開発グループ
    - 次世代がん研究シーズ育成プロジェクト
      - 臨床研究グループ
      - がんゲノミクスグループ
      - 乳腺ゲノム解析グループ
    - がんオーダーメイド医療開発プロジェクト
      - 臨床研究グループ
      - 個別化医療基盤システム開発グループ
      - プロテオミクス解析グループ

＊がん研究会における放射線障害予防のための組織は、
放射線障害予防規程の第2章「組織及び職務」中に明示する。

4. 職　員　数

◆平成25年　　平成25年12月1日

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	2	275	0	277	126
薬剤師	0	59	0	59	0
看護師等	0	769	0	769	24
臨床検査技師	0	66	0	66	3
診療放射線技師	0	71	0	71	0
栄養士	0	7	0	7	1
事務職員	147	13	9	169	9
研究員	0	1	72	73	8
その他	0	74	75	149	24
計	149	1,335	156	1,640	195

◆平成26年　　平成26年12月1日

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	1	288	0	289	148
薬剤師	0	62	0	62	1
看護師等	0	784	0	784	23
臨床検査技師	0	70	0	70	1
診療放射線技師	0	68	0	68	0
栄養士	0	11	0	11	1
事務職員	154	26	10	190	14
研究員	0	3	62	65	9
その他	0	86	74	160	32
計	155	1,398	146	1,699	229

◆平成27年　　平成27年12月1日

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	2	315	0	317	157
薬剤師	0	59	0	59	2
看護師等	0	799	0	799	22
臨床検査技師	0	74	0	74	1
診療放射線技師	0	73	0	73	1
栄養士	0	11	0	11	0
事務職員	151	30	9	190	24
研究員	0	4	67	71	13
その他	0	95	76	171	30
計	153	1,460	152	1,765	250

◆平成28年　　平成28年12月1日

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	1	349	0	350	180
薬剤師	0	62	0	62	0
看護師等	0	865	0	865	19
臨床検査技師	0	80	0	80	1
診療放射線技師	0	81	0	81	1
栄養士	0	11	0	11	0
事務職員	156	33	7	196	21
研究員	0	4	70	74	11
その他	0	103	73	176	33
計	157	1,588	150	1,895	266

5． 診療科と責任者

（2013 年 12 月 現在）

名誉院長	武藤徹一郎（消化器外科）・中川　健（呼吸器外科）・
病院長	門田守人（消化器外科）
副院長	山口俊晴（消化器センター長）・松本誠一（整形外科部長）・榮木実枝（看護部長）
院長補佐	關根今生（総合内科）・横田美幸（麻酔科部長）・奥村　栄（呼吸器センター長）・
	小口正彦（放射線治療部長）
呼吸器センター	呼吸器センター長 奥村　栄（呼吸器外科部長）
呼吸器内科	部長 西尾誠人
呼吸器外科	部長 奥村　栄・副部長 文　敬景
消化器センター	消化器センター長 山口俊晴
消化器内科	部長 五十嵐正広
	担当部長 藤崎順子・担当部長 水沼信之・担当副部長 石井　浩
消化器外科	部長佐野　武・食道担当部長 渡邊雅之・胃担当部長 比企直樹・
	下部消化管担当部長 上野雅資・肝・胆・膵担当部長 齋浦明夫
乳腺センター	センター長 岩瀬拓士
乳腺外科	副部長 蒔田益次郎
乳腺内科	部長 伊藤良則
婦人科	部長 竹島信宏・副部長 宇津木久仁子・副部長 馬屋原健司
頭頸科	部長 川端一嘉・副部長 三谷浩樹
整形外科	部長 松本誠一・副部長 下地　尚
泌尿器科	部長 米瀬淳二
血液腫瘍科	部長 畠　清彦・担当部長 照井康仁
総合腫瘍科	部長 高橋俊二
サルコーマセンター	部長 松本誠一
緩和治療科	部長 向山雄人
総合内科	副部長 中山耕之介
麻酔科	部長 横田美幸
形成外科	部長 澤泉雅之
腫瘍精神科	副部長 山田健志
漢方サポート科	部長 星野恵津夫
歯科	部長 冨塚　健
眼科	部長 辻　英貴
感染症科	部長 原田壮平
放射線治療部	部長 小口正彦・副部長 小塚拓洋
画像診断センター	センター長 河野　敦
画像診断部	部長 松枝　清・副部長 田中宏子
核医学部	部長 小泉　満
内視鏡診断部	部長 五十嵐正広・副部長 為我井芳郎
化学療法部	部長 高橋俊二
遺伝子診療部	部長 新井正美
中央手術部	部長 川端一嘉
集中治療部	部長 二味　覚

超音波検査部	部長 山田恵子
病　　理　　部	部長 石川雄一
細胞診断部	部長 杉山裕子

（2014 年 12 月 現在）

名誉院長	武藤徹一郎（消化器外科）・中川　健（呼吸器外科）
病院長	門田守人（消化器外科）
副院長	山口俊晴（消化器センター長）・松本誠一（整形外科部長）・榮木実枝（看護部長）
院長補佐	横田美幸（麻酔科部長）・小口正彦（放射線治療部長）・奥村　栄（呼吸器センター長）・佐野　武（消化器外科部長）・高橋俊二（総合腫瘍科部長）
呼吸器センター	呼吸器センター長 奥村　栄（呼吸器外科部長）
呼吸器内科	部長 西尾誠人
呼吸器外科	部長 奥村　栄・副部長 文　敬景
消化器センター	消化器センター長 山口俊晴
消化器内科	部長 五十嵐正広・担当部長 藤崎順子・担当部長 水沼信之・担当部長 笹平直樹 担当副部長 石井　浩
消化器外科	部長佐野　武・食道担当部長 渡邊雅之・胃担当部長 比企直樹・ 下部消化管担当部長 上野雅資・肝・胆・膵担当部長 齋浦明夫 下部消化管担当副部長 福長洋介
乳腺センター	センター長 岩瀬拓士
乳腺外科	副部長 蒔田益次郎・副部長 宮城由美・副部長 飯島耕太郎
乳腺内科	部長 伊藤良則
婦人科	部長 竹島信宏・副部長 宇津木久仁子・副部長 馬屋原健司
頭頸科	部長 川端一嘉・副部長 三谷浩樹
整形外科	部長 松本誠一・副部長 下地　尚
泌尿器科	部長 米瀬淳二・副部長 山本信也・副部長 増田　均
血液腫瘍科	部長 畠　清彦・担当部長 照井康仁
総合腫瘍科	部長 高橋俊二
サルコーマセンター	部長 松本誠一
総合内科	部長 中山耕之介
麻酔科	部長 横田美幸
形成外科	部長 澤泉雅之
眼科	部長 辻　英貴
感染症科	部長 原田壮平
漢方サポート科	部長 星野恵津夫
歯科	部長 冨塚　健
緩和治療センター	部長 向山雄人
緩和・がん疼痛治療部	部長 服部政治
緩和治療科	部長 向山雄人
腫瘍精神科	部長 山田健志
放射線治療科	部長 小口正彦・副部長 小塚拓洋
画像診断センター	センター長 松枝　清
画像診断部	部長 松枝　清・副部長 田中宏子
核医学部	部長 小泉　満
内視鏡診療部	部長 五十嵐正広
化学療法部	部長 高橋俊二

遺伝子診療部	部長 新井正美
集中治療部	部長 二味　覚
超音波検査部	部長 山田惠子
病理部	部長 石川雄一
細胞診断部	部長 杉山裕子

（2015 年 12 月 現在）

名誉院長	武藤徹一郎（消化器外科）・中川　健（呼吸器外科）・門田守人（消化器外科）
病院長	山口俊晴（消化器外科）
副院長	松本誠一（整形外科部長）・佐野　武（消化器外科部長）・横田美幸（麻酔科部長）
院長補佐	髙橋俊二（総合腫瘍科部長）・米瀬淳二（泌尿器科部長）・小口正彦（放射線治療部長）
	長田　理（医療安全管理部長）・大野真司（乳腺センター長）・濱　敏弘（薬剤部長）
	清水多嘉子（看護部長）
呼吸器センター	呼吸器センター長 奥村　栄（呼吸器外科部長）
呼吸器内科	部長 西尾誠人
呼吸器外科	部長 奥村　栄・副部長 文　敬景
消化器センター	消化器センター長 佐野　武
消化器内科	部長 五十嵐正広・担当部長 藤崎順子
消化器化学療法	部長 山口研成・担当部長 水沼信之・副部長 陳　勁松
肝・胆・膵内科	部長 笹平直樹
上部消化管内科	部長 藤崎順子・副部長 山本頼正
下部消化管内科	副部長 為我井芳郎
食道外科	部長 渡邊雅之
胃外科	部長 比企直樹・
大腸外科	部長 上野雅資・副部長 福長洋介
肝・胆・膵外科	部長 齋浦明夫
乳腺センター	センター長 岩瀬拓士
乳腺外科	副部長 蒔田益次郎・副部長 宮城由美・副部長 飯島耕太郎
乳腺内科	部長 伊藤良則
婦人科	部長 竹島信宏・副部長 宇津木久仁子・副部長 馬屋原健司
頭頸科	部長 川端一嘉・副部長 三谷浩樹
整形外科	部長 松本誠一・副部長 下地　尚
泌尿器科	部長 米瀬淳二・副部長 山本信也・副部長 増田　均
血液腫瘍科	部長 畠　清彦・担当部長 照井康仁
総合腫瘍科	部長 高橋俊二
サルコーマセンター	部長 松本誠一
総合内科	部長 中山耕之介
麻酔科	部長 横田美幸
形成外科	部長 澤泉雅之
眼科	部長 辻　英貴
感染症科	部長 原田壮平
漢方サポート科	部長 星野恵津夫
歯科	部長 冨塚　健
緩和治療科	部長 奈良林 至
がん疼痛治療科	部長 服部政治
腫瘍精神科	部長 山田健志
放射線治療科	部長 小口正彦・副部長 小塚拓洋・副部長 角　美奈子
画像診断センター	センター長 松枝　清

画像診断部	部長 松枝　清・副部長 田中宏子
核医学部	部長 小泉　満・副部長 寺内隆司
内視鏡診療部	部長 五十嵐正広
化学療法部	部長 高橋俊二
遺伝子診療部	部長 新井正美
集中治療部	部長 山本　豊
救急部	部長 二味　覚
超音波検査部	部長 山田惠子
検体検査部	副部長 海老原 文
病理部	部長 石川雄一
細胞診断部	部長 杉山裕子

（2016 年 12 月 現在）

名誉院長	武藤徹一郎（消化器外科）・中川　健（呼吸器外科）・門田守人（消化器外科）
病院長	山口俊晴（消化器外科）
副院長	松本誠一（整形外科部長）・佐野　武（消化器外科部長）・横田美幸（麻酔科部長）
	清水多嘉子（看護部長）
院長補佐	髙橋俊二（総合腫瘍科部長）・米瀬淳二（泌尿器科部長）・小口正彦（放射線治療部長）
	長田　理（医療安全管理部長）・大野真司（乳腺センター長）・濱　敏弘（薬剤部長）
呼吸器センター	呼吸器センター長 奥村　栄（呼吸器外科部長）
呼吸器内科	部長 西尾誠人
呼吸器外科	部長 奥村　栄・副部長 文　敬景
消化器センター	消化器センター長 佐野　武
消化器内科	部長 藤崎順子
消化器化学療法科	部長 山口研成・副部長 陳　勁松
肝･胆･膵内科	部長 笹平直樹
上部消化管内科	部長 藤崎順子・副部長 山本頼正
下部消化管内科	部長 斎藤彰一・副部長 為我井芳郎
消化器外科	部長 佐野　武
食道外科	部長 渡邊雅之・副部長 峯　真司
胃外科	部長 比企直樹・副部長 布部創也・副部長 布部創也・副部長 大橋　学
大腸外科	部長 上野雅資・副部長 福長洋介
肝・胆・膵外科	部長 齋浦明夫・副部長 髙橋　祐
乳腺センター	センター長 大野真司
乳腺外科	部長 岩瀬拓士・副部長 宮城由美・副部長 森園英智
乳腺内科	部長 伊藤良則
婦人科	部長 竹島信宏・副部長 宇津木久仁子・副部長 加藤一喜・副部長 金尾祐之
頭頸科	部長 三谷浩樹
整形外科	部長 阿江啓介
泌尿器科	部長 米瀬淳二・副部長 山本信也・副部長 増田 均・副部長 湯浅 健
血液腫瘍科	部長 畠　清彦・担当部長 照井康仁
総合腫瘍科	部長 高橋俊二
サルコーマセンター	部長 松本誠一
総合内科	部長 中山耕之介
麻酔科	部長 横田美幸
形成外科	部長 澤泉雅之
眼科	部長 辻　英貴
感染症科	部長 原田壮平
漢方サポート科	部長 星野恵津夫
歯科	部長 冨塚　健
緩和治療科	部長 奈良林 至
がん疼痛治療科	部長 服部政治
腫瘍精神科	部長 山田健志
放射線治療科	部長 小口正彦・副部長 角　美奈子

画像診断センター	センター長 松枝　清
画像診断部	部長 松枝　清・副部長 田中宏子
核医学部	部長 小泉　満・副部長 寺内隆司
内視鏡診療部	部長 五十嵐正広
化学療法部	部長 高橋俊二
遺伝子診療部	部長 新井正美
集中治療部	部長 山本　豊
救急部	部長 二味　覚
超音波検査部	部長 山田惠子
検体検査部	副部長 海老原 文
病理部	部長 石川雄一
細胞診断部	部長 杉山裕子

6. 学会認定・指定・施設基準等

1．都道府県がん診療連携拠点病院の指定

がん研究会有明病院は、平成 14 年 3 月に厚生労働大臣から地域がん診療拠点病院の指定を受けておりましたが、その後の新たな制度下においても、継続して平成 27 年 3 月に都道府県（東京都）がん診療連携拠点病院の指定を受けております。

2．学会認定教育修練研修機関

当院は次の学会の認定医・専門医療制度の研修施設指定を受けております。

1） 日本医学放射線学会
2） 日本病理学会
3） 日本内科学会
4） 日本外科学会
5） 日本消化器外科学会
6） 日本消化器内視鏡学会
7） 日本胸部外科学会
8） 日本麻酔学会
9） 日本眼科学会
10） 日本産婦人科学会
11） 日本気管支学会
12） 日本泌尿器科学会
13） 日本消化器病学会
14） 日本臨床腫瘍学会
15） 日本静脈経腸栄養学会
16） 日本呼吸器外科学会
17） 日本大腸肛門病学会
18） 日本耳鼻咽喉科学会
19） 日本超音波医学会
20） 日本血液学会
21） 日本核医学会
22） 日本ペインクリニック学会
23） 日本消化器集団検診学会
24） 日本乳癌学会
25） 日本臨床細胞学会
26） 日本形成外科学会
27） 日本放射線腫瘍学会
28） 日本整形外科学会
29） 日本婦人科腫瘍学会
30） 日本肝胆膵外科学会

3．施設基準の指定

がん研究会有明病院における関東信越厚生局長から指定を受けている基本診療料、特掲診療料等にかかる施設基準については、次の通りです。

基本診療料の施設基準

1） 歯科外来診療環境体制加算
2） 特定機能病院入院基本料 7：1
3） 診療録管理体制加算 1
4） 医師事務作業補助体制加算 1　30：1
5） 急性期看護補助体制加算 50：1
6） 看護職員夜間配置加算 12:1 配置加算 1
7） 療養環境加算
8） 重症者等療養環境特別加算
9） 無菌治療室管理加算
10） 緩和ケア診療加算
11） がん診療連携拠点病院加算
12） 栄養サポートチーム加算
13） 医療安全対策加算 1
14） 感染防止対策加算 1
15） 患者サポート充実体制加算
16） 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
17） 総合評価加算
18） 病棟薬剤業務実施加算
19） データ提出加算 2
20） 退院支援加算 2
21） 特定集中治療室管理料 2
22） 緩和ケア病棟入院料

特掲診療料の施設基準

1） がん性疼痛緩和指導管理料
2） がん患者指導管理料 1
3） がん患者指導管理料 2
4） がん患者指導管理料 3
5） 外来緩和ケア管理料
6） 外来放射線照射診療料
7） ニコチン依存症管理料
8） がん治療連携計画策定料
9） 薬剤管理指導料
10） 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
11） 医療機器安全管理料 1
12） 医療機器安全管理料 2
13） 歯科治療総合医療管理料
14） 遺伝学的検査
15） ＨＰＶ核酸検出
16） 検体検査管理加算（Ⅰ）
17） 検体検査管理加算（Ⅳ）
18） 国際標準検査管理加算
19） 遺伝カウンセリング加算
20） ロービジョン検査判断料
21） 画像診断管理加算 1
22） 画像診断管理加算 2
23） ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
24） CT 撮影及び MRI 撮影
25） 乳房 MRI 撮影
26） 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
27） 外来化学療法加算 1
28） 無菌製剤処理料
29） 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
30） 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）
31） 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
32） 運動器リハビリテーション料（Ⅱ）
33） 呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
34） がん患者リハビリテーション料
35） リンパ浮腫複合的治療料
36） 集団コミュニケーション療法料
37） 歯科口腔リハビリテーション料 2
38） 処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
39） CAD/CAM 冠
40） 組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）
41） 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
42） 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
43） 乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算）
44） 乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術）
45） ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
46） 大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
47） 胆管悪性腫瘍手術
48） 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術

49） 腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術
50） 腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術
51） 腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍摘出術
52） 腹腔鏡下肝切除術
53） 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
54） 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
55） 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
56） 腹腔鏡下小切開副腎摘出術
57） 腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
58） 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
59） 人工尿道括約筋植込・置換術
60） 腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
61） 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
62） 手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
63） 胃瘻造設術
64） 輸血管理料Ⅱ
65） 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
66） 歯周組織再生誘導術
67） 麻酔管理料（Ⅰ）
68） 麻酔管理料（Ⅱ）
69） 放射線治療専任加算
70） 外来放射線治療加算
71） 高エネルギー放射線治療
72） 1 回線量増加加算
73） 強度変調放射線治療（IMRT)
74） 画像誘導放射線治療加算（IGRT）
75） 体外照射呼吸性移動対策加算
76） 定位放射線治療
77） 定位放射線治療呼吸移動対策加算
78） 画像誘導密封小線源治療加算
79） 病理診断管理加算 2
80） クラウン・ブリッジ維持管理料

酸素及び窒素の価格
入院時食事療養(Ⅰ)の施設基準
実施報告が必要なもの
1） 特別の療養環境の提供の実施(変更)報告書
2） 病床数が 200 床以上の病院について受けた初診,再診の実施報告書
3） 180 日を超える入院の実施(変更)報告書
4） 金属床による総義歯の提供の実施報告書

3．その他の指定
1） 指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）
2） 生活保護法指定医療機関
3） 母体保護法指定医の配置されている医療機関
4） 東京都災害拠点病院
5） 臨床研修指定病院
6） 東京都がん診療連携拠点病院

7） 救急告示医療機関
8） 休日・全夜間診療事業実施医療機関（東京都指定二次救急医療機関）
9） 外国医師臨床修練病院
10） 日本医療機能評価機構認定病院
11） 労災指定病院
12） 特定機能病院

4．外来の受付時間（初診・再診）

月～金曜日　午前 8 時 30 分～正午

5．休診日

土曜・日曜・祝祭日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

6．面会時間

平　日　　：午後 2 時～午後 8 時（総合案内／正面玄関手続き）
（ICU・HCU は午後 2 時 30 分～午後 7 時 30 分）

土・日・祝日：午前 10 時～午後 8 時（守衛室／救急時間外入口手続き）
（ICU・HCU は午前 10 時 30 分～午後 7 時 30 分）

７．統計資料

外来・入院実績 …… 29

疾患別入院患者数 …… 33

地区別外来患者数（全国・東京） …… 45

手術件数 …… 53

病理検査件数・細胞診検査件数 …… 57

ＣＴ・ＭＲＩ・核医学検査件数 …… 61

内視鏡検査・超音波検査件数 …… 63

院内がん登録集計

① 部位別・男女別件数（全体）…… 65

② 診療時居住地別件数（都道府県・東京都医療圏別）…… 68

③ 主要５部位治療別件数 …… 71

④ 治療別件数 …… 75

⑤ ステージ別件数 …… 76

⑥ 年齢別・部位別件数 …… 77

⑦ 症例区分別登録数 …… 81

外来・入院実績　【2013年1月～12月】

科名	初診延患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	904	12,022	1,297	17,585
呼吸外	429	9,764	546	5,756
消化内	2,198	49,324	2,807	26,525
消化外	2,030	31,528	2,496	45,532
乳腺科	3,113	77,255	1,393	13,388
婦人科	4,444	34,922	2,848	30,827
頭頸科	1,213	28,689	722	19,877
整形外	1,085	9,105	897	12,979
泌尿器	1,217	25,377	1,500	15,164
総腫瘍	520	4,311	408	9,263
放射線	29	34,086	1	16
総内科	1,083	20,663	53	106
腫瘍精	4	2,126	0	0
眼科	248	7,467	74	609
皮膚科	3	925	0	0
歯科	1,963	9,244	0	0
一般外	1	0	0	0
形成外	18	6,687	216	1,133
麻酔科	10	2,589	1	2
救急部	687	758	7	17
緩和	11	2,408	121	7,731
放診断	95	1,011	0	0
健内科	1,865	296	0	0
健婦人	0	3	0	0
健乳腺	2	91	0	0
遺伝診	375	520	0	0
血液腫	412	11,877	567	11,466
患者支	10	1,619	0	0
総計	23,969	384,667	15,954	217,976

外来・入院実績　【2014年1月～12月】

科名	初診延患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	716	11,714	1,263	16,573
呼吸外	408	9,109	469	4,923
消化内	2,076	52,963	2,906	28,744
消化外	2,160	33,827	2,535	47,445
乳腺科	3,223	70,416	1,390	13,011
婦人科	3,818	31,739	2,868	28,468
頭頸科	1,207	29,605	708	17,072
整形外	1,080	9,930	904	12,189
泌尿器	1,208	24,956	1,555	15,223
総腫瘍	245	4,784	470	9,669
放射線	27	32,728	2	22
総内科	914	21,775	0	0
腫瘍精	16	2,309	0	0
眼科	257	7,194	69	501
皮膚科	9	1,180	0	0
歯科	2,074	9,649	0	0
形成外	6	8,147	361	1,566
麻酔科	10	2,505	0	0
救急部	497	783	5	17
緩和	11	2,375	120	7,632
放診断	89	780	0	0
健内科	1,751	256	0	0
健婦人	2	3	0	0
遺伝診	273	548	0	0
血液腫	565	12,182	542	11,038
患者支	5	1,414	1	2
乳腺内	0	3	0	0
下消科	0	1	0	0
肝胆外	0	1	0	0
がん疼痛	8	267	7	31
総計	22,655	383,143	16,175	214,126

外来・入院実績　【2015年1月～12月】

科名	初診延患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	768	12,193	1,294	16,448
呼吸外	485	9,446	525	5,943
消化内	2,294	58,641	3,214	31,797
消化外	2,247	36,250	2,742	52,840
乳腺科	3,171	71,019	1,413	12,792
婦人科	3,432	32,089	3,018	29,027
頭頸科	1,211	31,117	745	16,741
整形外	986	10,042	861	11,913
泌尿器	1,333	26,037	1,690	14,610
総腫瘍	120	5,498	593	11,754
放射線	36	36,441	2	15
総内科	979	22,715	0	0
腫瘍精	11	2,880	0	0
眼科	272	7,035	71	497
皮膚科	12	1,708	0	0
歯科	2,387	11,511	0	0
形成外	19	9,595	499	2,200
麻酔科	16	2,551	0	0
救急部	356	790	1	2
緩和	18	2,194	102	7,603
放診断	108	786	0	0
健内科	1,877	133	0	0
健婦人	0	1	0	0
遺伝診	368	490	0	0
血液腫	825	12,360	654	11,263
患者支	1	1,813	1	3
乳腺内	0	6	0	0
肝胆外	0	1	0	0
がん疼痛	5	478	3	8
総計	23,337	405,820	17,428	225,456

外来・入院実績　【2016年1月～12月】

科名	初診延患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	710	14,048	1,367	17,361
呼吸外	466	9,643	599	5,968
消化内	2,328	62,090	3,621	32,777
消化外	2,201	37,328	2,745	49,516
乳腺科	2,878	67,057	1,530	13,306
婦人科	2,290	34,005	2,692	28,239
頭頸科	1,095	31,139	697	16,272
整形外	1,053	10,229	929	11,652
泌尿器	1,255	26,491	1,738	15,277
総腫瘍	155	6,010	607	11,202
放射線	38	37,705	0	0
免遺伝	0	1	0	0
総内科	884	22,075	0	0
腫瘍精	13	2,597	0	0
眼科	304	7,508	93	711
皮膚科	10	2,029	0	0
歯科	2,533	11,179	0	0
形成外	19	10,194	491	2,252
麻酔科	7	2,412	0	0
救急部	378	773	1	3
緩和	19	2,218	75	7,684
放診断	114	739	0	0
健内科	2,171	83	0	0
健婦人	0	0	0	0
遺伝診	418	394	0	0
血液腫	612	13,383	813	11,780
患者支	5	2,137	0	0
乳腺内	0	1	0	0
肝胆外	0	0	0	0
がん疼痛	15	263	6	13
総計	21,971	413,731	18,004	224,013

疾患別入院患者数　【2013年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病　　名	男	女	合計
総数①+②+③	7,399	8,568	15,967
①悪性新生物(C00−C97)	6,380	7,144	13,524
口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物(C00−C14)	419	113	532
C 00 口唇の悪性新生物	3	1	4
C 01 舌根〈基底〉部の悪性新生物	6	1	7
C 02 その他及び部位不明の舌の悪性新生物	61	33	94
C 03 歯肉の悪性新生物	15	10	25
C 04 口腔底の悪性新生物	17	1	18
C 05 口蓋の悪性新生物	1	2	3
C 06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	12	7	19
C 07 耳下腺の悪性新生物	8	4	12
C 08 その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	6	6	12
C 09 扁桃の悪性新生物	2	0	2
C 10 中咽頭の悪性新生物	92	19	111
C 11 鼻<上>咽頭の悪性新生物	23	6	29
C 12 梨状陥凹<洞>の悪性新生物	8	1	9
C 13 下咽頭の悪性新生物	164	22	186
C 14 その他及び部位不明確の口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物	1	0	1
消化器の悪性新生物(C15−C26)	2,718	1,648	4,366
C 15 食道の悪性新生物	532	133	665
C 16 胃の悪性新生物	1,007	558	1,565
C 17 小腸の悪性新生物	31	12	43
C 18 結腸の悪性新生物	440	467	907
C 19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物	12	3	15
C 20 直腸の悪性新生物	384	262	646
C 21 肛門及び肛門管の悪性新生物	8	13	21
C 22 肝及び肝内胆管の悪性新生物	98	37	135
C 23 胆のう<嚢>の悪性新生物	13	24	37
C 24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	48	28	76
C 25 膵の悪性新生物	145	111	256
C 26 その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	0	0	0
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30−C39)	1,096	647	1,743
C 30 鼻腔及び中耳の悪性新生物	4	3	7
C 31 副鼻腔の悪性新生物	20	8	28
C 32 喉頭の悪性新生物	74	13	87
C 33 気管の悪性新生物	2	0	2
C 34 気管支及び肺の悪性新生物	975	621	1,596
C 37 胸腺の悪性新生物	21	2	23

病　　名	男	女	合計
C 38 心臓,縦隔及び胸膜の悪性新生物	0	0	0
C 39 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物	0	0	0
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40−C41)	114	68	182
C 40 (四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	17	5	22
C 41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	97	63	160
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43−C44)	15	9	24
C 43 皮膚の悪性黒色腫	10	6	16
C 44 皮膚のその他の悪性新生物	5	3	8
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45−C49)	236	212	448
C 45 中皮腫	7	10	17
C 46 カポジ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47 末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	0	0	0
C 48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物	6	56	62
C 49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	223	146	369
乳房の悪性新生物(C50)	4	1,299	1,303
C 50 乳房の悪性新生物	4	1,299	1,303
女性性器の悪性新生物(C51−C58)		2,332	2,332
C 51 外陰の悪性新生物		8	8
C 52 腟の悪性新生物		25	25
C 53 子宮頸(部)の悪性新生物		613	613
C 54 子宮体部の悪性新生物		825	825
C 55 子宮の悪性新生物,部位不明		0	0
C 56 卵巣の悪性新生物		801	801
C 57 その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		60	60
C 58 胎盤の悪性新生物		0	0
男性性器の悪性新生物(C60−C63)	558		558
C 60 陰茎の悪性新生物	0		0
C61　前立腺の悪性新生物	516		516
C62　精巣〈睾丸〉の悪性新生物	42		42
C63　その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	0		0
尿路の悪性新生物(C64−C68)	571	187	758
C 64 腎盂を除く腎の悪性新生物	85	18	103
C 65 腎盂の悪性新生物	59	24	83
C 66 尿管の悪性新生物	84	37	121
C 67 膀胱の悪性新生物	340	108	448
C 68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	3	0	3
眼,脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69−C72)	7	1	8
C 69 眼及び付属器の悪性新生物	7	1	8
C 70 髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71 脳の悪性新生物	0	0	0

病　　名	男	女	合計
C 72 脊髄,脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	0	0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73−C75)	59	135	194
C 73 甲状腺の悪性新生物	51	135	186
C 74 副腎の悪性新生物	7	0	7
C 75 その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	1	0	1
部位不明確,続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76−C80)	256	232	488
C 76 その他及び部位不明確の悪性新生物	0	0	0
C 77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	11	9	20
C 78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	171	128	299
C 79 その他の部位の続発性悪性新生物	31	65	96
C 80 部位の明示されない悪性新生物	43	30	73
リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81−C96)	327	261	588
C 81 ホジキン〈HoDgkin〉病	23	6	29
C 82 ろ<慮>胞性［結節性］非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	5	14	19
C 83 びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	38	26	64
C 84 末梢性及び皮膚Ｔ細胞リンパ腫	0	10	10
C 85 非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	201	156	357
C 88 悪性免疫増殖性疾患	1	0	1
C 90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	33	30	63
C 91 リンパ性白血病	8	8	16
C 92 骨髄性白血病	11	3	14
C 93 単球性白血病	0	0	0
C 94 その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95 細胞型不明の白血病	7	8	15
C 96 リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物		0	0
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	0	0
C 97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0
②その他の新生物(D00−D48)	491	630	1,121
上皮内新生物(D00−D09)	1	16	17
子宮頸〈部〉の上皮内癌(再掲)		(16)	(16)
良性新生物(D10-D36)	69	110	179
性状不詳又は不明の新生物(D37−D48)	421	504	925
③その他	528	794	1,322
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50−D89)	3	13	16
循環器系の疾患(Ｉ00−Ｉ99)	12	21	33
呼吸器系の疾患(Ｊ00−Ｊ99)	67	25	92
消化器系の疾患(Ｋ00−Ｋ93)	250	157	407
尿路性器系の疾患(Ｎ00−Ｎ99)	37	246	283
その他	159	332	491

疾患別入院患者数　【2014年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病　　名	男	女	合計
総数①+②+③	7,705	8,783	16,488
①悪性新生物(C00−C97)	6,719	7,139	13,858
口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物(C00−C14)	497	118	615
C 00 口唇の悪性新生物	6	1	7
C 01 舌根〈基底〉部の悪性新生物	8	2	10
C 02 その他及び部位不明の舌の悪性新生物	62	39	101
C 03 歯肉の悪性新生物	17	17	34
C 04 口腔底の悪性新生物	19	1	20
C 05 口蓋の悪性新生物	3	2	5
C 06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	8	4	12
C 07 耳下腺の悪性新生物	9	8	17
C 08 その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	4	6	10
C 09 扁桃の悪性新生物	1	0	1
C 10 中咽頭の悪性新生物	110	20	130
C 11 鼻<上>咽頭の悪性新生物	30	1	31
C 12 梨状陥凹<洞>の悪性新生物	9	0	9
C 13 下咽頭の悪性新生物	211	17	228
C 14 その他及び部位不明確の口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物	0	0	0
消化器の悪性新生物(C15−C26)	2,967	1,680	4,647
C 15 食道の悪性新生物	577	110	687
C 16 胃の悪性新生物	1,030	564	1,594
C 17 小腸の悪性新生物	28	18	46
C 18 結腸の悪性新生物	390	455	845
C 19 直腸Ｓ状結腸移行部の悪性新生物	17	6	23
C 20 直腸の悪性新生物	443	251	694
C 21 肛門及び肛門管の悪性新生物	13	15	28
C 22 肝及び肝内胆管の悪性新生物	148	54	202
C 23 胆のう<嚢>の悪性新生物	32	21	53
C 24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	67	45	112
C 25 膵の悪性新生物	220	141	361
C 26 その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	2	0	2
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30−C39)	1,090	584	1,674
C 30 鼻腔及び中耳の悪性新生物	3	7	10
C 31 副鼻腔の悪性新生物	27	5	32
C 32 喉頭の悪性新生物	83	3	86
C 33 気管の悪性新生物	0	0	0
C 34 気管支及び肺の悪性新生物	957	550	1,507
C 37 胸腺の悪性新生物	13	18	31

病　　名	男	女	合計
C 38 心臓,縦隔及び胸膜の悪性新生物	7	1	8
C 39 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物	0	0	0
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40−C41)	89	87	176
C 40 (四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	4	6	10
C 41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	85	81	166
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43−C44)	5	5	10
C 43 皮膚の悪性黒色腫	2	3	5
C 44 皮膚のその他の悪性新生物	3	2	5
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45−C49)	222	226	448
C 45 中皮腫	7	16	23
C 46 カポジ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47 末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	1	2	3
C 48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物	6	47	53
C 49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	208	161	369
乳房の悪性新生物(C50)	5	1,344	1,349
C 50 乳房の悪性新生物	5	1,344	1,349
女性性器の悪性新生物(C51−C58)		2,323	2,323
C 51 外陰の悪性新生物		14	14
C 52 腟の悪性新生物		14	14
C 53 子宮頸(部)の悪性新生物		542	542
C 54 子宮体部の悪性新生物		774	774
C 55 子宮の悪性新生物,部位不明		0	0
C 56 卵巣の悪性新生物		920	920
C 57 その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		58	58
C 58 胎盤の悪性新生物		1	1
男性性器の悪性新生物(C60−C63)	484		484
C 60 陰茎の悪性新生物	4		4
C61　前立腺の悪性新生物	438		438
C62　精巣〈睾丸〉の悪性新生物	37		37
C63　その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	5		5
尿路の悪性新生物(C64−C68)	733	215	948
C 64 腎盂を除く腎の悪性新生物	87	35	122
C 65 腎盂の悪性新生物	71	36	107
C 66 尿管の悪性新生物	70	44	114
C 67 膀胱の悪性新生物	503	93	596
C 68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	2	7	9
眼,脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69−C72)	3	3	6
C 69 眼及び付属器の悪性新生物	3	3	6
C 70 髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71 脳の悪性新生物	0	0	0

病　　名	男	女	合計
C 72 脊髄,脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	0	0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73−C75)	47	83	130
C 73 甲状腺の悪性新生物	45	83	128
C 74 副腎の悪性新生物	2	0	2
C 75 その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	0	0	0
部位不明確,続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76−C80)	262	239	501
C 76 その他及び部位不明確の悪性新生物	0	0	0
C 77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	8	9	17
C 78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	196	148	344
C 79 その他の部位の続発性悪性新生物	30	59	89
C 80 部位の明示されない悪性新生物	28	23	51
リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81−C96)	315	232	547
C 81 ホジキン〈HoDgkin〉病	8	4	12
C 82 ろ<慮>胞性［結節性］非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	18	22	40
C 83 びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	77	59	136
C 84 末梢性及び皮膚Ｔ細胞リンパ腫	20	12	32
C 85 非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	138	99	237
C 88 悪性免疫増殖性疾患	1	0	1
C 90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	23	21	44
C 91 リンパ性白血病	10	8	18
C 92 骨髄性白血病	15	4	19
C 93 単球性白血病	0	0	0
C 94 その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95 細胞型不明の白血病	5	3	8
C 96 リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物		0	0
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	0	0
C 97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0
②その他の新生物(D00−D48)	479	683	1,162
上皮内新生物(D00−D09)	0	21	21
子宮頸〈部〉の上皮内癌(再掲)		(21)	(21)
良性新生物(D10-D36)	65	111	176
性状不詳又は不明の新生物(D37−D48)	414	551	965
③その他	507	961	1,468
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50−D89)	9	13	22
循環器系の疾患(Ｉ00−Ｉ99)	18	18	36
呼吸器系の疾患(Ｊ00−Ｊ99)	53	27	80
消化器系の疾患(Ｋ00−Ｋ93)	255	150	405
尿路性器系の疾患(Ｎ00−Ｎ99)	31	288	319
その他	141	465	606

疾患別入院患者数　【2015年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病　　名	男	女	合計
総数①+②+③	8,273	9,517	17,790
①悪性新生物(C00−C97)	7,227	7,779	15,006
口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物(C00−C14)	539	129	668
C 00 口唇の悪性新生物	0	1	1
C 01 舌根〈基底〉部の悪性新生物	3	1	4
C 02 その他及び部位不明の舌の悪性新生物	89	31	120
C 03 歯肉の悪性新生物	17	16	33
C 04 口腔底の悪性新生物	18	5	23
C 05 口蓋の悪性新生物	10	1	11
C 06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	18	5	23
C 07 耳下腺の悪性新生物	5	12	17
C 08 その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	4	3	7
C 09 扁桃の悪性新生物	0	0	0
C 10 中咽頭の悪性新生物	103	35	138
C 11 鼻<上>咽頭の悪性新生物	45	0	45
C 12 梨状陥凹<洞>の悪性新生物	9	0	9
C 13 下咽頭の悪性新生物	218	19	237
C 14 その他及び部位不明確の口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物	0	0	0
消化器の悪性新生物(C15−C26)	3,237	1,842	5,079
C 15 食道の悪性新生物	683	115	798
C 16 胃の悪性新生物	1,067	580	1,647
C 17 小腸の悪性新生物	35	20	55
C 18 結腸の悪性新生物	396	420	816
C 19 直腸Ｓ状結腸移行部の悪性新生物	9	8	17
C 20 直腸の悪性新生物	479	273	752
C 21 肛門及び肛門管の悪性新生物	3	21	24
C 22 肝及び肝内胆管の悪性新生物	197	74	271
C 23 胆のう<嚢>の悪性新生物	24	23	47
C 24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	98	37	135
C 25 膵の悪性新生物	245	267	512
C 26 その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	1	4	5
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30−C39)	1,150	594	1,744
C 30 鼻腔及び中耳の悪性新生物	11	3	14
C 31 副鼻腔の悪性新生物	26	6	32
C 32 喉頭の悪性新生物	84	3	87
C 33 気管の悪性新生物	0	3	3
C 34 気管支及び肺の悪性新生物	1,018	572	1,590
C 37 胸腺の悪性新生物	6	7	13

病　　名	男	女	合計
C 38 心臓,縦隔及び胸膜の悪性新生物	5	0	5
C 39 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物	0	0	0
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40−C41)	113	78	191
C 40 (四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	18	14	32
C 41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	95	64	159
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43−C44)	13	10	23
C 43 皮膚の悪性黒色腫	7	2	9
C 44 皮膚のその他の悪性新生物	6	8	14
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45−C49)	202	274	476
C 45 中皮腫	6	20	26
C 46 カポジ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47 末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	2	0	2
C 48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物	14	53	67
C 49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	180	201	381
乳房の悪性新生物(C50)	1	1,553	1,554
C 50 乳房の悪性新生物	1	1,553	1,554
女性性器の悪性新生物(C51−C58)		2,400	2,400
C 51 外陰の悪性新生物		28	28
C 52 腟の悪性新生物		29	29
C 53 子宮頸(部)の悪性新生物		589	589
C 54 子宮体部の悪性新生物		961	961
C 55 子宮の悪性新生物,部位不明		0	0
C 56 卵巣の悪性新生物		739	739
C 57 その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		54	54
C 58 胎盤の悪性新生物		0	0
男性性器の悪性新生物(C60−C63)	619		619
C 60 陰茎の悪性新生物	11		11
C61　前立腺の悪性新生物	493		493
C62　精巣〈睾丸〉の悪性新生物	111		111
C63　その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	4		4
尿路の悪性新生物(C64−C68)	669	289	958
C 64 腎盂を除く腎の悪性新生物	89	34	123
C 65 腎盂の悪性新生物	67	59	126
C 66 尿管の悪性新生物	65	53	118
C 67 膀胱の悪性新生物	448	136	584
C 68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	0	7	7
眼,脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69−C72)	0	1	1
C 69 眼及び付属器の悪性新生物	0	1	1
C 70 髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71 脳の悪性新生物	0	0	0

病　名	男	女	合計
C 72 脊髄,脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	0	0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73−C75)	50	99	149
C 73 甲状腺の悪性新生物	49	99	148
C 74 副腎の悪性新生物	1	0	1
C 75 その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	0	0	0
部位不明確,続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76−C80)	268	209	477
C 76 その他及び部位不明確の悪性新生物	2	1	3
C 77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	10	14	24
C 78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	175	132	307
C 79 その他の部位の続発性悪性新生物	34	45	79
C 80 部位の明示されない悪性新生物	47	17	64
リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81−C96)	366	301	667
C 81 ホジキン〈HoDgkin〉病	18	4	22
C 82 ろ<慮>胞性［結節性］非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	19	16	35
C 83 びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	112	81	193
C 84 末梢性及び皮膚Ｔ細胞リンパ腫	31	23	54
C 85 非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	134	118	252
C 88 悪性免疫増殖性疾患	3	0	3
C 90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	17	40	57
C 91 リンパ性白血病	13	10	23
C 92 骨髄性白血病	14	3	17
C 93 単球性白血病	0	0	0
C 94 その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95 細胞型不明の白血病	5	3	8
C 96 リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物		3	3
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	0	0
C 97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0
②その他の新生物(D00−D48)	515	804	1,319
上皮内新生物(D00−D09)		23	23
子宮頸〈部〉の上皮内癌(再掲)		(23)	(23)
良性新生物(D10-D36)	69	126	195
性状不詳又は不明の新生物(D37−D48)	446	655	1,101
③その他	531	934	1,465
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50−D89)	17	16	33
循環器系の疾患(Ｉ00−Ｉ99)	16	25	41
呼吸器系の疾患(Ｊ00−Ｊ99)	63	19	82
消化器系の疾患(Ｋ00−Ｋ93)	267	176	443
尿路性器系の疾患(Ｎ00−Ｎ99)	31	307	338
その他	137	391	528

疾患別入院患者数　【2016年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病　　名	男	女	合計
総数①+②+③	8,861	9,614	18,475
①悪性新生物(C00−C97)	7,624	7,825	15,449
口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物(C00−C14)	507	133	640
C 00 口唇の悪性新生物	0	1	1
C 01 舌根〈基底〉部の悪性新生物	5	0	5
C 02 その他及び部位不明の舌の悪性新生物	76	35	111
C 03 歯肉の悪性新生物	30	10	40
C 04 口腔底の悪性新生物	11	6	17
C 05 口蓋の悪性新生物	8	5	13
C 06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	14	4	18
C 07 耳下腺の悪性新生物	17	8	25
C 08 その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	7	9	16
C 09 扁桃の悪性新生物	1	0	1
C 10 中咽頭の悪性新生物	136	33	169
C 11 鼻<上>咽頭の悪性新生物	27	3	30
C 12 梨状陥凹<洞>の悪性新生物	3	1	4
C 13 下咽頭の悪性新生物	172	15	187
C 14 その他及び部位不明確の口唇,口腔及び咽頭の悪性新生物	0	3	3
消化器の悪性新生物(C15−C26)	3,473	1,802	5,275
C 15 食道の悪性新生物	758	124	882
C 16 胃の悪性新生物	1,122	541	1,663
C 17 小腸の悪性新生物	25	23	48
C 18 結腸の悪性新生物	416	432	848
C 19 直腸Ｓ状結腸移行部の悪性新生物	14	11	25
C 20 直腸の悪性新生物	427	276	703
C 21 肛門及び肛門管の悪性新生物	17	19	36
C 22 肝及び肝内胆管の悪性新生物	210	52	262
C 23 胆のう<嚢>の悪性新生物	29	18	47
C 24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	114	43	157
C 25 膵の悪性新生物	337	261	598
C 26 その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	4	2	6
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30−C39)	1,239	670	1,909
C 30 鼻腔及び中耳の悪性新生物	5	2	7
C 31 副鼻腔の悪性新生物	38	4	42
C 32 喉頭の悪性新生物	92	5	97
C 33 気管の悪性新生物	0	0	0
C 34 気管支及び肺の悪性新生物	1,092	643	1,735
C 37 胸腺の悪性新生物	9	12	21

病　　名	男	女	合計
C 38 心臓,縦隔及び胸膜の悪性新生物	3	4	7
C 39 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物			
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40−C41)	101	65	166
C 40 (四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	40	27	
C 41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	61	38	
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43−C44)	12	24	36
C 43 皮膚の悪性黒色腫	7	12	
C 44 皮膚のその他の悪性新生物	5	12	
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45−C49)	219	254	473
C 45 中皮腫	10	3	13
C 46 カポジ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47 末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	4	0	4
C 48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物	16	59	75
C 49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	189	192	381
乳房の悪性新生物(C50)	3	1,761	1,764
C 50 乳房の悪性新生物	3	1,761	1,764
女性性器の悪性新生物(C51−C58)		2,091	2,091
C 51 外陰の悪性新生物		22	22
C 52 腟の悪性新生物		18	18
C 53 子宮頸(部)の悪性新生物		500	500
C 54 子宮体部の悪性新生物		881	881
C 55 子宮の悪性新生物,部位不明		0	0
C 56 卵巣の悪性新生物		623	623
C 57 その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		47	47
C 58 胎盤の悪性新生物		0	0
男性性器の悪性新生物(C60−C63)	587		587
C 60 陰茎の悪性新生物	10		10
C61　前立腺の悪性新生物	507		507
C62　精巣〈睾丸〉の悪性新生物	69		69
C63　その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	1		1
尿路の悪性新生物(C64−C68)	740	281	1,021
C 64 腎盂を除く腎の悪性新生物	82	37	119
C 65 腎盂の悪性新生物	115	56	171
C 66 尿管の悪性新生物	81	59	140
C 67 膀胱の悪性新生物	462	126	588
C 68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	0	3	3
眼,脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69−C72)	4	5	9
C 69 眼及び付属器の悪性新生物	4	5	9
C 70 髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71 脳の悪性新生物	0	0	0

病　名	男	女	合計
C 72 脊髄,脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	0	0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73−C75)	48	107	155
C 73 甲状腺の悪性新生物	41	105	146
C 74 副腎の悪性新生物	3	2	5
C 75 その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	4	0	4
部位不明確,続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76−C80)	266	294	560
C 76 その他及び部位不明確の悪性新生物	0	1	1
C 77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	14	7	21
C 78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	193	177	370
C 79 その他の部位の続発性悪性新生物	36	78	114
C 80 部位の明示されない悪性新生物	23	31	54
リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81−C96)	425	337	762
C 81 ホジキン〈HoDgkin〉病	10	10	20
C 82 ろ<慮>胞性［結節性］非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	35	31	66
C 83 びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	110	121	231
C 84 末梢性及び皮膚Ｔ細胞リンパ腫	39	11	50
C 85 非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	139	118	257
C 88 悪性免疫増殖性疾患	0	0	0
C 90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	55	29	84
C 91 リンパ性白血病	9	2	11
C 92 骨髄性白血病	28	12	40
C 93 単球性白血病	0	2	2
C 94 その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95 細胞型不明の白血病	0	1	1
C 96 リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物		0	0
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	1	1
C 97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	1	1
②その他の新生物(D00−D48)	575	913	1,488
上皮内新生物(D00−D09)	2	28	30
子宮頸〈部〉の上皮内癌(再掲)		(25)	(25)
良性新生物(D10-D36)	83	162	245
性状不詳又は不明の新生物(D37−D48)	490	723	1,213
③その他	662	876	1,538
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50−D89)	30	27	57
循環器系の疾患(Ｉ00−Ｉ99)	17	45	62
呼吸器系の疾患(Ｊ00−Ｊ99)	75	25	100
消化器系の疾患(Ｋ00−Ｋ93)	315	181	496
尿路性器系の疾患(Ｎ00−Ｎ99)	44	299	343
その他	181	299	480

地区別外来患者数　【2013年　1～12月】

◆ **全国（総数）**

＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

都道府県	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	685	137	0.22%	70	51.09%
青森県	603	125	0.20%	61	48.80%
岩手県	292	59	0.09%	52	88.14%
宮城県	427	106	0.17%	41	38.68%
秋田県	296	75	0.12%	40	53.33%
山形県	396	79	0.13%	25	31.65%
福島県	2,003	342	0.54%	145	42.40%
茨城県	6,654	1,273	2.03%	499	39.20%
栃木県	2,044	418	0.67%	188	44.98%
群馬県	1,371	258	0.41%	102	39.53%
埼玉県	53,361	8,743	13.92%	2,905	33.23%
千葉県	54,360	7,555	12.03%	2,941	38.93%
東京都	223,954	33,125	52.75%	12,850	38.79%
神奈川県	47,151	7,141	11.37%	2,890	40.47%
新潟県	814	170	0.27%	70	41.18%
富山県	372	72	0.11%	33	45.83%
石川県	122	18	0.03%	12	66.67%
福井県	100	22	0.04%	12	54.55%
山梨県	1,649	333	0.53%	90	27.03%
長野県	1,956	383	0.61%	155	40.47%
岐阜県	201	43	0.07%	24	55.81%
静岡県	1,629	342	0.54%	123	35.96%
愛知県	538	126	0.20%	61	48.41%
三重県	265	53	0.08%	29	54.72%
滋賀県	43	15	0.02%	11	73.33%
京都府	203	49	0.08%	26	53.06%
大阪府	501	143	0.23%	69	48.25%
兵庫県	450	100	0.16%	50	50.00%
奈良県	124	19	0.03%	12	63.16%
和歌山県	249	43	0.07%	21	48.84%
鳥取県	71	16	0.03%	14	87.50%
島根県	133	29	0.05%	10	34.48%
岡山県	71	26	0.04%	13	50.00%
広島県	166	51	0.08%	23	45.10%
山口県	225	44	0.07%	24	54.55%
徳島県	218	49	0.08%	33	67.35%
香川県	184	29	0.05%	11	37.93%
愛媛県	112	39	0.06%	24	61.54%
高知県	98	18	0.03%	11	61.11%
福岡県	265	75	0.12%	32	42.67%
佐賀県	45	12	0.02%	10	83.33%
長崎県	130	29	0.05%	15	51.72%
熊本県	100	27	0.04%	13	48.15%
大分県	106	28	0.04%	12	42.86%
宮崎県	311	67	0.11%	35	52.24%
鹿児島県	173	39	0.06%	14	35.90%
沖縄県	163	33	0.05%	19	57.58%
未分類	3,682	824	1.31%	456	55.34%
	409,066	62,802	100.00%	24,376	38.81%

地区別外来患者数　【2014年　1～12月】

◆ **全国（総数）**

＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

都道府県	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	439	125	0.20%	46	36.80%
青森県	729	137	0.22%	68	49.64%
岩手県	266	62	0.10%	33	53.23%
宮城県	461	119	0.19%	48	40.34%
秋田県	281	66	0.11%	26	39.39%
山形県	415	89	0.14%	34	38.20%
福島県	2,132	340	0.54%	136	40.00%
茨城県	7,166	1,349	2.15%	512	37.95%
栃木県	1,952	386	0.61%	134	34.72%
群馬県	1,411	286	0.46%	125	43.71%
埼玉県	51,848	8,478	13.50%	2,688	31.71%
千葉県	55,955	7,866	12.53%	3,070	39.03%
東京都	222,448	32,995	52.54%	12,098	36.67%
神奈川県	46,256	7,133	11.36%	2,643	37.05%
新潟県	703	141	0.22%	56	39.72%
富山県	375	74	0.12%	42	56.76%
石川県	93	18	0.03%	10	55.56%
福井県	106	25	0.04%	14	56.00%
山梨県	1,790	344	0.55%	116	33.72%
長野県	1,629	364	0.58%	143	39.29%
岐阜県	254	38	0.06%	17	44.74%
静岡県	1,291	309	0.49%	89	28.80%
愛知県	574	128	0.20%	55	42.97%
三重県	265	45	0.07%	22	48.89%
滋賀県	53	16	0.03%	11	68.75%
京都府	176	49	0.08%	18	36.73%
大阪府	475	141	0.22%	65	46.10%
兵庫県	453	95	0.15%	34	35.79%
奈良県	116	25	0.04%	14	56.00%
和歌山県	180	44	0.07%	18	40.91%
鳥取県	80	17	0.03%	15	88.24%
島根県	114	39	0.06%	17	43.59%
岡山県	68	23	0.04%	10	43.48%
広島県	159	54	0.09%	26	48.15%
山口県	219	43	0.07%	15	34.88%
徳島県	179	34	0.05%	9	26.47%
香川県	197	30	0.05%	14	46.67%
愛媛県	104	38	0.06%	18	47.37%
高知県	156	23	0.04%	16	69.57%
福岡県	290	87	0.14%	41	47.13%
佐賀県	44	11	0.02%	6	54.55%
長崎県	87	29	0.05%	13	44.83%
熊本県	79	25	0.04%	9	36.00%
大分県	70	26	0.04%	10	38.46%
宮崎県	345	68	0.11%	31	45.59%
鹿児島県	177	47	0.07%	18	38.30%
沖縄県	187	43	0.07%	25	58.14%
未分類	3,489	797	1.27%	423	53.07%
	406,336	62,721	100.00%	23,101	36.83%

地区別外来患者数　【2015年　1～12月】

◆ **全国（総数）**

＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

都道府県	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	514	135	0.21%	60	44.44%
青森県	712	159	0.25%	84	52.83%
岩手県	345	66	0.11%	39	59.09%
宮城県	478	115	0.18%	48	41.74%
秋田県	417	77	0.12%	34	44.16%
山形県	246	76	0.12%	27	35.53%
福島県	1,986	355	0.57%	134	37.75%
茨城県	7,650	1,389	2.21%	469	33.77%
栃木県	2,111	408	0.65%	166	40.69%
群馬県	1,616	323	0.51%	164	50.77%
埼玉県	53,196	8,457	13.47%	2,804	33.16%
千葉県	60,369	8,314	13.24%	3,040	36.56%
東京都	235,156	33,720	53.69%	12,233	36.28%
神奈川県	49,398	7,565	12.05%	2,794	36.93%
新潟県	577	129	0.21%	53	41.09%
富山県	376	69	0.11%	31	44.93%
石川県	120	20	0.03%	8	40.00%
福井県	82	20	0.03%	8	40.00%
山梨県	1,907	355	0.57%	127	35.77%
長野県	1,614	387	0.62%	167	43.15%
岐阜県	222	40	0.06%	18	45.00%
静岡県	1,417	339	0.54%	113	33.33%
愛知県	668	146	0.23%	69	47.26%
三重県	276	50	0.08%	18	36.00%
滋賀県	55	14	0.02%	5	35.71%
京都府	231	51	0.08%	21	41.18%
大阪府	523	147	0.23%	67	45.58%
兵庫県	392	106	0.17%	44	41.51%
奈良県	77	20	0.03%	14	70.00%
和歌山県	191	43	0.07%	18	41.86%
鳥取県	46	17	0.03%	10	58.82%
島根県	139	28	0.04%	9	32.14%
岡山県	82	20	0.03%	12	60.00%
広島県	302	67	0.11%	38	56.72%
山口県	230	48	0.08%	17	35.42%
徳島県	270	44	0.07%	29	65.91%
香川県	189	32	0.05%	17	53.13%
愛媛県	137	33	0.05%	19	57.58%
高知県	102	22	0.04%	12	54.55%
福岡県	306	83	0.13%	33	39.76%
佐賀県	64	10	0.02%	4	40.00%
長崎県	81	21	0.03%	8	38.10%
熊本県	63	27	0.04%	15	55.56%
大分県	117	29	0.05%	14	48.28%
宮崎県	283	70	0.11%	27	38.57%
鹿児島県	301	59	0.09%	31	52.54%
沖縄県	183	43	0.07%	54	125.58%
未分類	3,798	842	1.34%	473	56.18%
	429,615	64,590	100.00%	23,699	36.69%

地区別外来患者数　【2016年　1～12月】

◆ **全国（総数）**

＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

都道府県	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	629	136	0.21%	58	42.65%
青森県	743	152	0.23%	61	40.13%
岩手県	384	63	0.10%	31	49.21%
宮城県	361	124	0.19%	51	41.13%
秋田県	453	90	0.14%	48	53.33%
山形県	229	77	0.12%	27	35.06%
福島県	2,096	390	0.59%	140	35.90%
茨城県	7,639	1,432	2.17%	486	33.94%
栃木県	2,135	416	0.63%	142	34.13%
群馬県	1,939	320	0.48%	137	42.81%
埼玉県	53,364	8,450	12.79%	2,533	29.98%
千葉県	62,963	8,760	13.26%	2,838	32.40%
東京都	237,715	34,413	52.09%	11,659	33.88%
神奈川県	49,626	7,587	11.48%	2,509	33.07%
新潟県	703	152	0.23%	75	49.34%
富山県	245	68	0.10%	29	42.65%
石川県	102	23	0.03%	11	47.83%
福井県	63	17	0.03%	7	41.18%
山梨県	1,753	349	0.53%	120	34.38%
長野県	2,007	377	0.57%	148	39.26%
岐阜県	219	48	0.07%	22	45.83%
静岡県	1,522	349	0.53%	118	33.81%
愛知県	732	146	0.22%	67	45.89%
三重県	283	54	0.08%	20	37.04%
滋賀県	46	17	0.03%	8	47.06%
京都府	194	52	0.08%	22	42.31%
大阪府	554	138	0.21%	56	40.58%
兵庫県	415	118	0.18%	48	40.68%
奈良県	128	19	0.03%	11	57.89%
和歌山県	270	59	0.09%	31	52.54%
鳥取県	43	16	0.02%	10	62.50%
島根県	119	27	0.04%	11	40.74%
岡山県	77	20	0.03%	6	30.00%
広島県	244	57	0.09%	26	45.61%
山口県	289	58	0.09%	29	50.00%
徳島県	274	51	0.08%	28	54.90%
香川県	144	40	0.06%	21	52.50%
愛媛県	85	29	0.04%	13	44.83%
高知県	99	18	0.03%	7	38.89%
福岡県	297	91	0.14%	39	42.86%
佐賀県	66	11	0.02%	4	36.36%
長崎県	99	21	0.03%	6	28.57%
熊本県	117	34	0.05%	15	44.12%
大分県	97	30	0.05%	14	46.67%
宮崎県	317	74	0.11%	28	37.84%
鹿児島県	163	54	0.08%	19	35.19%
沖縄県	187	43	0.07%	21	48.84%
未分類	4,063	997	1.51%	623	62.49%
	436,292	66,067	100.00%	22,433	33.95%

地区別外来患者数　【2013年　1～12月】

◆ **東京都（総数）**　　＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	878	173	0.52%	94	54.34%
中央区	3,724	597	1.79%	237	39.70%
港区	5,297	852	2.56%	402	47.18%
新宿区	4,579	715	2.15%	257	35.94%
文京区	2,980	538	1.62%	190	35.32%
台東区	2,727	397	1.19%	149	37.53%
墨田区	6,000	833	2.50%	300	36.01%
江東区	30,155	3,855	11.58%	1,775	46.04%
品川区	8,425	1,087	3.27%	454	41.77%
目黒区	4,546	679	2.04%	263	38.73%
大田区	11,846	1,698	5.10%	654	38.52%
世田谷区	14,395	2,231	6.70%	801	35.90%
渋谷区	4,532	630	1.89%	291	46.19%
中野区	4,638	793	2.38%	277	34.93%
杉並区	9,355	1,501	4.51%	675	44.97%
豊島区	7,785	1,279	3.84%	392	30.65%
北区	5,455	815	2.45%	283	34.72%
荒川区	1,983	324	0.97%	89	27.47%
板橋区	9,816	1,559	4.68%	547	35.09%
練馬区	12,854	2,024	6.08%	742	36.66%
足立区	7,837	1,122	3.37%	362	32.26%
葛飾区	7,252	1,060	3.18%	360	33.96%
江戸川区	21,015	2,620	7.87%	1,078	41.15%
都下	35,876	5,907	17.74%	2,177	36.85%
未分類	4	1	0.00%	1	100.00%
総計	223,954	33,290	100.00%	12,850	38.60%

地区別外来患者数　【2014年　1～12月】

◆ **東京都（総数）**　　＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	1,142	183	0.55%	75	40.98%
中央区	3,519	608	1.83%	266	43.75%
港区	5,325	863	2.60%	348	40.32%
新宿区	4,110	703	2.12%	236	33.57%
文京区	3,100	520	1.57%	157	30.19%
台東区	2,827	413	1.25%	138	33.41%
墨田区	6,271	859	2.59%	331	38.53%
江東区	30,417	3,926	11.84%	1,707	43.48%
品川区	7,960	1,130	3.41%	408	36.11%
目黒区	4,652	659	1.99%	263	39.91%
大田区	12,536	1,747	5.27%	705	40.35%
世田谷区	14,441	2,218	6.69%	827	37.29%
渋谷区	4,811	653	1.97%	279	42.73%
中野区	4,690	776	2.34%	263	33.89%
杉並区	9,100	1,493	4.50%	564	37.78%
豊島区	7,365	1,232	3.71%	361	29.30%
北区	4,803	778	2.35%	273	35.09%
荒川区	1,987	306	0.92%	81	26.47%
板橋区	9,501	1,560	4.70%	541	34.68%
練馬区	12,195	1,948	5.87%	653	33.52%
足立区	7,455	1,108	3.34%	331	29.87%
葛飾区	6,981	1,027	3.10%	324	31.55%
江戸川区	21,973	2,673	8.06%	971	36.33%
都下	35,268	5,788	17.45%	1,994	34.45%
総計	222,429	33,171	100.00%	12,096	36.47%

地区別外来患者数　【2015年　1～12月】

◆ **東京都（総数）**　　＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	1,346	196	0.58%	85	43.37%
中央区	4,562	628	1.85%	241	38.38%
港区	6,660	947	2.79%	407	42.98%
新宿区	4,375	728	2.15%	230	31.59%
文京区	3,358	531	1.57%	180	33.90%
台東区	2,956	402	1.19%	131	32.59%
墨田区	6,402	850	2.51%	264	31.06%
江東区	32,118	4,056	11.96%	1,646	40.58%
品川区	8,552	1,189	3.51%	428	36.00%
目黒区	4,978	701	2.07%	287	40.94%
大田区	13,689	1,831	5.40%	638	34.84%
世田谷区	15,500	2,301	6.78%	864	37.55%
渋谷区	4,851	692	2.04%	293	42.34%
中野区	4,447	781	2.30%	270	34.57%
杉並区	9,341	1,500	4.42%	534	35.60%
豊島区	7,723	1,165	3.43%	360	30.90%
北区	4,744	753	2.22%	273	36.25%
荒川区	1,974	313	0.92%	95	30.35%
板橋区	9,835	1,499	4.42%	460	30.69%
練馬区	12,730	1,963	5.79%	723	36.83%
足立区	7,665	1,141	3.36%	367	32.16%
葛飾区	8,143	1,085	3.20%	376	34.65%
江戸川区	22,318	2,783	8.21%	1,065	38.27%
都下	36,881	5,882	17.34%	2,016	34.27%
総計	235,148	33,917	100.00%	12,233	36.07%

地区別外来患者数　【2016年　1～12月】

◆ **東京都（総数）**　　＊　新患者数＝当院を初めて受診した患者数

	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	1,381	207	0.60%	98	47.34%
中央区	4,489	651	1.88%	219	33.64%
港区	6,349	1,009	2.92%	431	42.72%
新宿区	4,630	750	2.17%	228	30.40%
文京区	3,233	559	1.62%	193	34.53%
台東区	3,094	417	1.21%	142	34.05%
墨田区	6,490	894	2.59%	332	37.14%
江東区	32,596	4,217	12.19%	1,484	35.19%
品川区	9,736	1,251	3.62%	485	38.77%
目黒区	4,877	722	2.09%	255	35.32%
大田区	13,958	1,894	5.48%	664	35.06%
世田谷区	14,724	2,348	6.79%	775	33.01%
渋谷区	4,803	690	2.00%	234	33.91%
中野区	4,665	732	2.12%	225	30.74%
杉並区	9,489	1,490	4.31%	499	33.49%
豊島区	6,927	1,114	3.22%	308	27.65%
北区	5,399	759	2.19%	256	33.73%
荒川区	2,092	326	0.94%	92	28.22%
板橋区	9,811	1,495	4.32%	472	31.57%
練馬区	12,860	1,972	5.70%	568	28.80%
足立区	7,783	1,169	3.38%	377	32.25%
葛飾区	7,826	1,123	3.25%	379	33.75%
江戸川区	22,648	2,861	8.27%	999	34.92%
都下	37,855	5,932	17.15%	1,944	32.77%
総計	237,715	34,582	100.00%	11,659	33.71%

手術件数　【2013年】

		手術件数	呼吸器外科	消化器外科	整形外科	頭頸科	乳腺科	泌尿器科	婦人科	形成外科	眼科	消内科	がん痛治	麻酔科	治療科	化療科	救急部	呼内科	血液腫
1月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	504	32	173	35	53	86	34	69	18	0	1	0	0	3	0	0	32	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	12	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	61	0	1	5	10	7	19	0	5	13	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	577	32	174	40	63	93	65	69	23	13	1	1	0	3	0	0	32	0
2月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	547	41	170	39	55	107	34	82	14	0	2	0	0	3	0	0	41	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	11	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	66	0	0	5	6	2	29	0	11	9	0	4	0	0	0	0	0	0
	計	624	41	170	44	61	109	74	82	25	9	2	4	0	3	0	0	41	0
3月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	581	41	183	40	62	114	41	78	20	1	1	0	0	0	0	0	41	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	15	0	1	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	69	0	0	6	6	2	29	1	9	12	0	4	0	0	0	0	0	0
	計	665	41	184	46	68	116	84	79	29	13	1	4	0	0	0	0	41	0
4月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	569	46	180	47	43	97	43	98	14	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	12	0	1	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	69	0	0	6	4	7	25	0	8	11	0	8	0	0	0	0	0	0
	計	650	46	181	53	47	104	78	99	22	11	1	8	0	0	0	0	0	0
5月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	549	39	192	42	46	91	29	84	19	3	2	1	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	25	0	2	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	61	1	1	5	10	4	21	0	9	9	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	635	40	195	47	56	95	73	84	28	12	2	2	0	1	0	0	0	0
6月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	510	46	168	36	37	74	34	92	18	1	2	1	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	22	0	1	1	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	67	0	1	8	6	4	20	0	10	14	0	4	0	0	0	0	0	0
	計	599	46	170	45	43	78	74	92	28	15	2	5	0	1	0	0	0	0
7月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	548	42	174	44	48	104	32	71	22	3	4	1	0	3	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	26	0	2	1	0	0	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	74	0	0	4	9	7	27	0	11	12	0	4	0	0	0	0	0	0
	計	648	42	176	49	57	111	81	72	33	15	4	5	0	3	0	0	0	0
8月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	601	47	189	58	49	99	37	92	25	1	2	1	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	25	0	2	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	43	0	0	3	6	4	9	1	5	13	0	2	0	0	0	0	0	0
	計	669	47	191	61	55	103	69	93	30	14	2	3	0	1	0	0	0	0
9月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	506	41	175	41	35	82	28	81	16	1	3	0	0	3	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	13	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	53	0	1	6	4	4	22	1	4	9	0	2	0	0	0	0	0	0
	計	572	41	176	47	39	86	63	82	20	10	3	2	0	3	0	0	0	0
10月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	567	38	198	51	47	95	26	87	20	2	1	0	0	2	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	14	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	55	0	0	4	13	4	17	0	6	9	0	2	0	0	0	0	0	0
	計	636	38	198	55	60	99	57	87	26	11	1	2	0	2	0	0	0	0
11月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	513	33	178	41	47	92	30	78	10	0	0	0	0	4	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	23	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	局麻・その他	62	0	0	3	9	4	14	0	15	14	0	3	0	0	0	0	0	0
	計	598	33	178	44	56	96	66	78	25	14	0	3	0	5	0	0	0	0
12月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	560	44	195	43	52	85	31	94	12	2	1	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	21	0	0	0	0	0	20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	70	0	0	7	5	3	24	1	12	12	0	5	0	0	0	0	1	0
	計	651	44	195	50	57	88	75	96	24	14	1	5	0	1	0	0	1	0
総計	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	6,555	490	2,175	517	574	1,126	399	1,006	208	14	20	4	0	22	0	0	114	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	268	0	10	7	10	7	211	3	5	13	0	1	0	1	0	0	0	0
	局麻・その他	750	1	4	62	88	52	256	4	105	137	0	40	0	0	0	0	1	0
	計	7,573	491	2,189	586	672	1,185	866	1,013	318	164	20	45	0	23	0	0	115	0

手術件数　【2014年】

		手術件数	呼吸器外科	消化器外科	整形外科	頭頸科	乳腺科	泌尿器科	婦人科	形成外科	眼科	消内科	がん痛治	麻酔科	治療科	化療科	救急部	呼内科	血液腫
1月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	508	32	172	37	35	85	35	90	20	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	17	0	0	0	0	0	15	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	50	0	0	5	5	3	14	0	6	12	0	5	0	0	0	0	0	0
	計	575	32	172	42	40	88	64	91	27	14	0	5	0	0	0	0	0	0
2月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	512	44	169	43	32	90	32	81	19	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	24	0	1	1	0	0	20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	61	0	0	5	7	1	19	1	9	11	0	8	0	0	0	0	0	0
	計	597	44	170	49	39	91	71	84	28	12	1	8	0	0	0	0	0	0
3月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	539	44	172	53	43	80	37	78	27	2	2	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	26	0	4	0	0	0	19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	54	0	0	3	5	4	22	1	3	10	0	6	0	0	0	0	0	0
	計	619	44	176	56	48	84	78	82	30	12	2	6	0	1	0	0	0	0
4月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	554	39	193	45	40	93	32	85	26	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	22	0	5	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	59	0	0	4	7	5	17	0	9	13	0	4	0	0	0	0	0	0
	計	635	39	198	49	47	98	66	85	35	13	1	4	0	0	0	0	0	0
5月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	541	29	186	35	48	93	37	86	25	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	18	0	1	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	54	0	0	4	11	2	15	1	4	10	0	7	0	0	0	0	0	0
	計	613	29	187	39	59	95	69	87	29	10	2	7	0	0	0	0	0	0
6月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	537	34	172	48	38	90	45	81	26	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	16	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	47	0	1	4	9	1	13	0	4	9	0	5	0	0	0	0	0	1
	計	600	34	173	52	47	91	74	81	30	10	2	5	0	0	0	0	0	1
7月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	560	35	175	47	56	83	41	86	32	2	2	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	27	0	2	0	0	0	24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	65	0	1	6	14	4	11	0	9	11	0	8	0	0	0	0	0	1
	計	652	35	178	53	70	87	76	87	41	13	2	8	0	1	0	0	0	1
8月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	566	34	191	51	43	80	38	91	33	4	1	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	19	0	1	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	55	0	0	5	11	3	21	1	5	5	0	3	0	0	0	0	0	1
	計	640	34	192	56	54	83	77	92	38	9	1	3	0	0	0	0	0	1
9月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	555	41	189	40	35	90	33	89	36	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	19	0	1	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	78	0	0	7	13	5	23	2	14	11	0	3	0	0	0	0	0	0
	計	652	41	190	47	48	95	74	91	50	11	2	3	0	0	0	0	0	0
10月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	604	31	194	47	52	106	40	94	38	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	9	0	1	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	68	0	0	5	11	4	19	0	6	19	0	4	0	0	0	0	0	0
	計	681	31	195	52	63	110	67	94	44	20	1	4	0	0	0	0	0	0
11月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	502	26	170	40	39	92	35	67	31	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	11	0	2	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	64	0	0	5	9	2	15	1	8	14	0	10	0	0	0	0	0	0
	計	577	26	172	45	48	94	59	68	39	15	1	10	0	0	0	0	0	0
12月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	604	41	192	50	48	90	41	102	35	1	4	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	23	0	0	0	0	0	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	69	0	0	5	7	4	24	1	12	13	0	3	0	0	0	0	0	0
	計	696	41	192	55	55	94	87	104	47	14	4	3	0	0	0	0	0	0
総計	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	6582	430	2175	536	509	1072	446	1030	348	15	19	0	0	2	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	264	0	18	6	5	3	202	7	6	12	0	5	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	724	0	2	58	109	38	213	8	89	138	0	66	0	0	0	0	0	3
	計	7570	430	2195	600	623	1113	861	1045	443	165	19	71	0	2	0	0	0	3

手術件数　【2015年】

		手術件数	呼吸器外科	消化器外科	整形外科	頭頸科	乳腺科	泌尿器科	婦人科	形成外科	眼科	消内科	がん痛治	麻酔科	治療科	化療科	救急部	呼内科	血液腫
1月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	543	34	185	32	44	95	32	85	33	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	24	0	1	0	0	0	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	59	0	0	7	7	5	18	0	6	13	0	3	0	0	0	0	0	0
	計	626	34	186	39	51	100	72	86	39	15	1	3	0	0	0	0	0	0
2月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	577	45	188	37	52	81	42	95	32	2	3	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	17	0	1	2	0	0	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	65	0	0	6	4	3	20	0	13	14	0	5	0	0	0	0	0	0
	計	659	45	189	45	56	84	75	96	45	16	3	5	0	0	0	0	0	0
3月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	649	48	193	47	58	100	49	110	40	1	3	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	16	0	0	0	0	0	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	75	0	1	10	6	1	22	2	12	21	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	740	48	194	57	64	101	86	113	52	22	3	0	0	0	0	0	0	0
4月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	626	42	186	44	53	100	45	113	36	6	1	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	15	0	2	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	70	0	0	9	9	4	27	0	6	11	0	4	0	0	0	0	0	0
	計	711	42	188	53	62	104	85	113	42	17	1	4	0	0	0	0	0	0
5月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	523	38	177	33	31	88	32	85	37	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	17	0	1	0	0	0	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	68	0	0	5	8	2	18	0	14	14	0	7	0	0	0	0	0	0
	計	608	38	178	38	39	90	65	86	51	14	1	7	1	0	0	0	0	0
6月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	631	48	190	44	44	102	45	109	43	1	3	0	2	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	15	0	2	0	0	0	11	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	局麻・その他	79	0	1	6	7	5	24		12	15	0	9	0	0	0	0	0	0
	計	725	48	193	50	51	107	80	110	55	16	3	9	2	1	0	0	0	0
7月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	648	51	207	47	47	85	57	105	43	4	1	0	1	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	17	0	1	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
	局麻・その他	72	0	0	8	9	2	20	0	9	17	0	6	0	1	0	0	0	0
	計	737	51	208	55	56	87	89	105	52	21	1	6	1	5	0	0	0	0
8月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	626	46	199	50	48	94	46	98	40	1	3	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	15	0	1	0	0	0	12	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	局麻・その他	73	0	1	8	5	0	27	0	14	13	0	5	0	0	0	0	0	0
	計	714	46	201	58	53	94	85	98	55	14	3	5	0	2	0	0	0	0
9月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	584	47	193	40	46	76	44	96	36	2	3	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	61	0	0	6	4	1	22	0	12	11	0	5	0	0	0	0	0	0
	計	655	47	193	46	50	77	76	96	48	13	3	5	0	1	0	0	0	0
10月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	627	37	216	41	52	92	50	92	41	4	2	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	11	0	0	0	0	0	9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	64	0	0	8	7	3	15	0	14	9	0	8	0	0	0	0	0	0
	計	702	37	216	49	59	95	74	93	55	13	2	9	0	0	0	0	0	0
11月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	581	32	198	38	39	85	43	99	42	0	2	0	0	3	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	15	0	1	0	0	0	11	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	72	0	0	7	4	5	22	0	13	16	0	5	0	0	0	0	0	0
	計	668	32	199	45	43	90	76	100	55	16	2	7	0	3	0	0	0	0
12月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	598	34	195	45	51	84	40	105	41	0	2	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	19	0	0	0	0	0	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	73	0	0	4	12	5	17	0	11	18	0	6	0	0	0	0	0	0
	計	690	34	195	49	63	89	75	106	52	18	2	6	0	1	0	0	0	0
総計	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	7213	502	2327	498	565	1082	525	1192	464	23	25	0	4	6	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	226	0	9	9	7	5	157	7	7	13	0	6	0	6	0	0	0	0
	局麻・その他	831	0	3	84	82	36	252	2	136	172	0	63	0	1	0	0	0	0
	計	8270	502	2339	591	654	1123	934	1201	607	208	25	69	4	13	0	0	0	0

手術件数　【2016年】

		手術件数	呼吸器外科	消化器外科	整形外科	頭頸科	乳腺科	泌尿器科	婦人科	形成外科	眼科	消内科	がん痛治	麻酔科	治療科	化療科	救急部	呼内科	血液腫
1月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	620	58	203	41	39	102	47	88	37	2	3	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	16	0	0	0	0	0	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	63	0	0	8	6	3	15	0	11	17	0	3	0	0	0	0	0	0
	計	699	58	203	49	45	105	77	89	48	19	3	3	0	0	0	0	0	0
2月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	657	58	209	53	38	99	46	112	39	0	2	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	76	0	0	3	12	5	26	0	9	13	0	8	0	0	0	0	0	0
	計	743	58	209	56	50	104	82	112	48	13	2	8	0	1	0	0	0	0
3月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	693	47	220	47	58	124	50	99	45	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	8	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	74	0	1	10	11	3	13	0	9	20	0	7	0	0	0	0	0	0
	計	775	47	221	57	69	127	70	100	54	22	1	7	0	0	0	0	0	0
4月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	631	51	198	41	49	117	46	92	32	2	2	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	20	0	1	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	71	0	0	8	11	2	15	1	13	13	0	8	0	0	0	0	0	0
	計	722	51	199	49	60	119	80	93	45	15	2	8	0	1	0	0	0	0
5月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	557	35	177	37	37	89	49	95	34	1	1	0	0	2	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	9	0	1	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	61	0	0	7	5	4	18	0	16	10	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	627	35	178	44	42	93	74	96	50	11	1	1	0	2	0	0	0	0
6月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	670	57	208	52	41	103	55	110	39	2	2	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	7	0	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	77	0	1	8	7	4	19	2	13	20	0	3	0	0	0	0	0	0
	計	754	57	211	60	48	107	79	112	52	22	2	3	0	1	0	0	0	0
7月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	620	50	180	46	46	110	50	95	40	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	79	0	0	7	8	6	18	0	16	19	0	5	0	0	0	0	0	0
	計	707	50	180	53	54	116	76	95	56	20	2	5	0	0	0	0	0	0
8月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	671	58	204	48	40	113	51	111	40	2	2	0	0	2	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	16	1	2	0	0	0	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	82	0	0	8	5	6	21	0	15	20	0	7	0	0	0	0	0	0
	計	769	59	206	56	45	119	84	112	55	22	2	7	0	2	0	0	0	0
9月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	630	47	197	43	51	108	51	90	40	0	2	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	13	0	1	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	55	1	0	6	1	5	16	0	14	10	0	2	0	0	0	0	0	0
	計	698	48	198	49	52	113	79	90	54	10	2	2	0	1	0	0	0	0
10月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	617	42	188	47	44	110	48	96	35	2	4	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	13	0	0	0	0	0	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	68	0	0	9	5	7	16	0	12	12	0	6	0	0	0	0	1	0
	計	698	42	188	56	49	117	75	98	47	14	4	6	0	1	0	0	1	0
11月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	643	41	218	50	35	104	49	107	34	2	1	0	0	2	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	7	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	74	0	0	5	6	1	21	0	12	20	0	9	0	0	0	0	0	0
	計	724	41	218	55	41	105	76	108	46	22	1	9	0	2	0	0	0	0
12月	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	631	38	208	54	35	100	51	109	33	0	2	0	0	1	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	11	0	2	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	78	0	0	5	8	3	20	1	14	25	0	2	0	0	0	0	0	0
	計	720	38	210	59	43	103	79	111	47	25	2	2	0	1	0	0	0	0
総計	全麻(硬膜外、局麻併用含む)	7640	582	2410	559	513	1279	593	1204	448	16	24	0	0	12	0	0	0	0
	硬膜外・腰麻・脊椎	138	1	9	0	0	0	120	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	局麻・その他	858	1	2	84	85	49	218	4	154	199	0	61	0	0	0	0	1	0
	計	8636	584	2421	643	598	1328	931	1216	602	215	24	61	0	12	0	0	1	0

病理検査　【2013年　1～12月】

◆病理検査件数

	外来	入院	合計
受付数	18,390	11,627	30,017
部位数	22,047	21,982	44,029
ブロック数	18,648	41,355	60,003
ラベルHE・PAP	31,257	105,808	137,065
ラベル特染	22,925	34,935	57,860
保険部位数	22,057	17,293	39,350
ＥＭ受付数	0	0	0
抗体法受付数	1,667	1,643	3,310
迅速件数	190	4,016	4,206
診断料	14,024	2,974	16,998
診断のみ	2,461	56	2,517
呼吸器内科	231	50	281
呼吸器外科	264	899	1,163
消化器内科	10,129	944	11,073
消化器外科	260	3,655	3,915
乳腺科	1,718	1,659	3,377
婦人科	1,616	1,334	2,950
頭頸科	613	814	1,427
整形外科	540	1,005	1,545
泌尿器科	370	1,126	1,496
総合腫瘍科	49	4	53
放射線治療	5	0	5
免疫・遺伝	0	0	0
総合内科	9	3	12
腫瘍精神科	0	0	0
眼科	115	36	151
皮膚科	9	0	9
歯科	0	0	0
一般外科	0	0	0
形成外科	16	2	18
麻酔科	0	0	0
救急部	0	0	0
緩和ケア部	0	0	0
放射線診断	162	0	162
健診ドック	1,746	1	1,747
健診消内	8	0	8
健診婦人科	0	0	0
健診乳外	0	0	0
健診職員	0	0	0
遺伝子診療	13	0	13
血液腫瘍科	517	95	612

◆細胞診検査件数

項　目		年間件数
婦人科	子宮膣、頸部	14,938
	子宮内膜	5,351
	手術	248
	婦人科健診 (子宮膣・頸部)	2,622
	婦人科健診 (子宮内膜)	2,307
婦人科合計		25,466
乳腺	乳腺	3,776
	乳腺健診	0
頭頸部	甲状腺	466
	その他	415
骨軟部		1,026
脳脊髄液		60
リンパ節		973
呼吸器	ブラシ・針	789
	喀痰	601
	喀痰健診	4,584
体腔液		3,076
泌尿器	尿	2,101
	尿健診	0
食道・胃		4
膵・胆管・大腸		158
その他		1,851
婦人科外合計		19,880
総合計		45,346
迅速件数 (上記総合計の中に含む)		2,962

病理検査　【2014年　1～12月】

◆病理検査件数

	外来	入院	合計
受付数	18,237	11,005	29,242
部位数	21,697	21,287	42,984
ブロック数	20,283	39,939	60,222
ラベルHE・PAP	36,583	100,411	136,994
ラベル特染	25,641	31,700	57,341
保険部位数	21,671	16,557	38,228
ＥＭ受付数	0	0	0
抗体法受付数	1,943	2,114	4,057
迅速件数	209	3,770	3,979
診断料	13,947	2,856	16,803
診断のみ	2,396	63	2,459
呼吸器内科	202	51	253
呼吸器外科	330	753	1,083
消化器内科	10,322	662	10,984
消化器外科	217	3,621	3,838
乳腺科	1,716	1,495	3,211
婦人科	1,425	1,316	2,741
頭頸科	707	820	1,527
整形外科	524	1,001	1,525
泌尿器科	314	1,134	1,448
総合腫瘍科	56	9	65
放射線治療	6	0	6
免疫・遺伝	0	0	0
総合内科	3	0	3
腫瘍精神科	0	0	0
眼科	108	32	140
皮膚科	9	0	9
歯科	0	0	0
一般外科	0	0	0
形成外科	27	12	39
麻酔科	0	0	0
救急部	1	0	1
緩和ケア部	1	1	2
放射線診断	159	0	159
健診ドック	1,589	2	1,591
健診消内	5	0	5
健診婦人科	0	0	0
健診乳外	0	0	0
健診職員	0	0	0
遺伝子診療	13	0	13
血液腫瘍科	503	96	599

◆細胞診検査件数

項　目		年間件数
婦人科	子宮膣、頸部	13,406
	子宮内膜	4,280
	手術	193
	婦人科健診 (子宮膣・頸部)	2,759
	婦人科健診 (子宮内膜)	2,430
婦人科合計		23,068
乳腺	乳腺	3,139
	乳腺健診	0
頭頸部	甲状腺	479
	その他	412
骨軟部		1,041
脳脊髄液		106
リンパ節		1,016
呼吸器	ブラシ・針	721
	喀痰	475
	喀痰健診	4,858
体腔液		2,944
泌尿器	尿	4,070
	尿健診	0
食道・胃		11
膵・胆管・大腸		234
その他		210
婦人科外合計		19,716
総合計		42,784
迅速件数 (上記総合計の中に含む)		3,000

病理検査　【2015年　1～12月】

◆病理検査件数

	外来	入院	合計
受付数	18,609	11,459	30,068
部位数	22,136	22,395	44,531
ブロック数	19,264	42,111	61,375
ラベルHE・PAP	33,518	111,091	144,609
ラベル特染	26,295	34,376	60,671
保険部位数	22,126	17,197	39,323
ＥＭ受付数	0	0	0
抗体法受付数	2,129	2,717	4,846
迅速件数	84	3,790	3,874
診断料	14,446	3,126	17,572
診断のみ	2,615	41	2,656
呼吸器内科	234	69	303
呼吸器外科	248	905	1,153
消化器内科	10,053	670	10,723
消化器外科	250	3,757	4,007
乳腺科	1,675	1,378	3,053
婦人科	1,753	1,514	3,267
頭頸科	770	870	1,640
整形外科	458	917	1,375
泌尿器科	374	1,184	1,558
総合腫瘍科	46	6	52
放射線治療	5	0	5
免疫・遺伝	0	0	0
総合内科	2	1	3
腫瘍精神科	0	0	0
眼科	141	49	190
皮膚科	5	0	5
歯科	2	0	2
一般外科	0	0	0
形成外科	30	16	46
麻酔科	0	0	0
救急部	1	0	1
緩和ケア部	1	0	1
放射線診断	217	1	218
健診ドック	1,797	0	1,797
健診消内	4	0	4
健診婦人科	0	0	0
健診乳外	0	0	0
健診職員	0	0	0
遺伝子診療	13	0	13
血液腫瘍科	530	122	652

◆細胞診検査件数

項　目		年間件数
婦人科	子宮膣、頸部	12,915
	子宮内膜	4,010
	手術	328
	婦人科健診 (子宮膣・頸部)	1,912
	婦人科健診 (子宮内膜)	2,534
婦人科合計		22,699
乳腺	乳腺	2,944
	乳腺健診	0
頭頸部	甲状腺	541
	その他	451
骨軟部		888
脳脊髄液		167
リンパ節		1,090
呼吸器	ブラシ・針	821
	喀痰	395
	喀痰健診	5,550
体腔液		3,437
泌尿器	尿	4,121
	尿健診	0
食道・胃		18
膵・胆管・大腸		280
その他		255
婦人科外合計		20,958
総合計		43,657
迅速件数 (上記総合計の中に含む)		3,213

病理検査　【2016年　1～12月】

◆病理検査件数

	外来	入院	合計
受付数	18,659	12,888	31,547
部位数	22,141	25,591	47,732
ブロック数	20,509	47,025	67,534
ラベルHE・PAP	33,874	118,320	152,194
ラベル特染	28,089	37,599	65,688
保険部位数	22,081	19,119	41,200
ＥＭ受付数	0	0	0
抗体法受付数	2,408	3,312	5,720
迅速件数	128	4,734	4,862
診断料	14,428	3,287	17,715
診断のみ	2,637	58	2,695
呼吸器内科	292	87	379
呼吸器外科	183	1,077	1,260
消化器内科	9,578	757	10,335
消化器外科	250	3,941	4,191
乳腺科	1,806	2,080	3,886
婦人科	1,742	1,580	3,322
頭頸科	722	898	1,620
整形外科	497	1,046	1,543
泌尿器科	357	1,204	1,561
総合腫瘍科	79	4	83
放射線治療	6	0	6
免疫・遺伝	0	0	0
総合内科	0	1	1
腫瘍精神科	0	0	0
眼科	149	62	211
皮膚科	9	0	9
歯科	1	0	1
一般外科	0	0	0
形成外科	30	13	43
麻酔科	0	0	0
救急部	0	1	1
緩和ケア部	0	0	0
放射線診断	178	0	178
健診ドック	2,198	0	2,198
健診消内	5	0	5
健診婦人科	0	0	0
健診乳外	0	0	0
健診職員	0	0	0
遺伝子診療	13	0	13
血液腫瘍科	563	137	700

◆細胞診検査件数

項　目		年間件数
婦人科	子宮膣、頸部	12,510
	子宮内膜	3,842
	手術	392
	婦人科健診 (子宮膣・頸部)	3,777
	婦人科健診 (子宮内膜)	3,261
婦人科合計		**23,782**
乳腺	乳腺	2,972
	乳腺健診	0
頭頸部	甲状腺	459
	その他	351
骨軟部		1,011
脳脊髄液		127
リンパ節		1,069
呼吸器	ブラシ・針	919
	喀痰	269
	喀痰健診	6,737
体腔液		3,681
泌尿器	尿	4,203
	尿健診	0
食道・胃		14
膵・胆管・大腸		314
その他		302
婦人科外合計		**22,428**
総合計		46,210
迅速件数 (上記総合計の中に含む)		3,620

ＣＴ・ＭＲＩ・核医学検査件数　【2013年・2014年・2015年・2016年　1～12月】

◆ＣＴ件数

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	計
2013年	稼働日数	19	19	20	21	21	20	22	22	19	22	20	19	
	件数	3,352	3,233	3,408	3,527	3,427	3,315	3,670	3,482	3,183	3,652	3,300	3,258	40,807
	平均件数/日	176.4	170.2	170.4	168.0	163.2	165.8	166.8	158.3	167.5	166.0	165.0	171.5	
2014年	稼働日数	19	19	20	21	20	21	22	21	20	22	18	19	
	件数	3,198	3,147	3,397	3,584	3,299	3,424	3,667	3,562	3,448	3,717	3,110	3,377	40,930
	平均件数/日	168.3	165.6	169.9	170.7	165.0	163.0	166.7	169.6	172.4	169.0	172.8	177.7	
2015年	稼働日数	19	19	22	21	18	22	22	21	19	21	19	19	
	件数	3,293	3,296	3,788	3,675	3,162	3,929	3,813	3,578	3,343	3,721	3,456	3,428	42,482
	平均件数/日	173.3	173.5	172.2	175.0	175.7	178.6	173.3	170.4	175.9	177.2	181.9	180.4	
2016年	稼働日数	19	20	22	20	19	22	20	22	20	20	20	19	
	件数	3409	3603	3803	3482	3343	3762	3488	3750	3581	5303	3545	3409	42,678
	平均件数/日	179.4	180.2	172.9	174.1	175.9	171.0	174.4	170.5	179.1	265.2	177.3	179.4	

◆ＭＲＩ件数

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	計
2013年	稼働日数	19	19	20	21	21	20	22	22	19	22	20	19	
	件数	816	803	900	903	883	900	927	953	834	943	882	767	10,511
	平均件数/日	42.9	42.3	45.0	43.0	42.0	45.0	42.1	43.3	43.9	42.9	44.1	40.4	
2014年	稼働日数	19	19	20	21	20	21	22	21	20	22	18	19	
	件数	613	588	878	839	821	873	910	903	845	964	799	847	9,880
	平均件数/日	32.3	30.9	43.9	40.0	41.1	41.6	41.4	43.0	42.3	43.8	44.4	44.6	
2015年	稼働日数	19	19	22	21	18	22	22	21	19	21	19	19	
	件数	839	922	942	895	782	911	903	886	800	868	827	832	10,407
	平均件数/日	44.2	48.5	42.8	42.6	43.4	41.4	41.0	42.2	42.1	41.3	43.5	43.8	
2016年	稼働日数	19	20	22	20	19	22	20	22	20	20	20	19	
	件数	819	966	1,109	988	989	1,151	1,056	1,125	1,075	1,085	1,068	1,044	12,475
	平均件数/日	43.1	48.3	50.4	49.4	52.1	52.3	52.8	51.1	53.8	54.3	53.4	54.9	

◆核医学検査件数

2013年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
外来	PET-CT(PET含む)	475	492	491	534	553	513	567	581	466	580	536	491	6,279
	その他	416	428	426	438	411	413	436	450	379	404	415	367	4,983
入院	PET-CT(PET含む)	16	9	14	19	20	15	13	13	7	9	9	16	160
	その他	70	77	62	72	62	62	81	81	69	75	66	74	851
計		977	1,006	993	1,063	1,046	1,003	1,097	1,125	921	1,068	1,026	948	12,273
稼働日報		19	19	20	21	21	20	22	22	19	22	20	19	
平均件数/日		51.4	52.9	49.7	50.6	49.8	50.2	49.9	51.1	48.5	48.5	51.3	49.9	

2014年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
外来	PET-CT(PET含む)	482	500	485	582	557	586	610	609	530	609	517	534	6,601
	その他	417	331	393	363	349	359	382	417	361	396	350	236	4,354
入院	PET-CT(PET含む)	19	11	14	14	14	9	17	10	7	17	9	10	151
	その他	73	50	59	74	64	77	69	61	60	93	72	52	804
計		991	892	951	1,033	984	1,031	1,078	1,097	958	1,115	948	832	11,910
稼働日報		19	19	20	21	20	21	22	21	20	22	18	19	
平均件数/日		52.2	46.9	47.6	49.2	49.2	49.1	49.0	52.2	47.9	50.7	52.7	43.8	

2015年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
外来	PET-CT(PET含む)	526	542	578	593	518	619	624	611	512	600	555	538	6,816
	その他	398	379	426	363	348	351	372	370	358	422	395	404	4,586
入院	PET-CT(PET含む)	13	6	9	10	9	8	5	7	9	3	8	3	90
	その他	79	77	94	79	59	90	71	71	61	79	82	71	913
計		1,016	1,004	1,107	1,045	934	1,068	1,072	1,059	940	1,104	1,040	1,016	12,405
稼働日報		19	19	22	21	18	22	22	21	19	21	19	19	
平均件数/日		53.5	52.8	50.3	49.8	51.9	48.5	48.7	50.4	49.5	52.6	54.7	53.5	

2016年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
外来	PET-CT(PET含む)	535	577	581	562	551	620	556	636	539	571	579	536	6,843
	その他	433	410	425	382	325	358	324	374	322	312	328	288	4,281
入院	PET-CT(PET含む)	6	8	6	4	5	7	11	5	6	1	3	1	63
	その他	77	88	97	85	76	84	91	100	84	82	92	73	1,029
計		1,051	1,083	1,109	1,033	957	1,069	982	1,115	951	966	1,002	898	12,216
稼働日報		19	20	22	20	19	22	20	22	20	20	20	19	
平均件数/日		55.3	54.2	50.4	51.7	50.4	48.6	49.1	50.7	47.6	48.3	50.1	47.3	

◆内視鏡検査件数

検査項目	2013年	2014年	2015年	2015年
食道・胃スコピー	11,840	12,074	12,576	12,576
食道・胃スコピー（ポリープ・EMR）	591	653	633	633
大腸スコピー	8,362	8,476	8,681	8,681
大腸スコピー（ポリープ・EMR）	2,560	2,211	2,551	2,551
エコースコピー（胃・食道）	437	366	339	339
エコースコピー（大腸）	66	40	56	56
エコースコピー（肝・胆・膵）	319	319	320	320
気管支スコピー	425	433	457	457
ＥＲＣＰ・ＰＴＣ	571	715	1,078	1,078
血管造影	603	670	683	683

◆超音波検査

	2013年	2014年	2015年	2016年
呼吸器内科	254	267	384	457
呼吸器外科	977	898	771	795
消化器内科	1,568	1,563	1,935	2,029
消化器外科	4,142	4,712	5,049	5,571
乳腺科	23,675	21,707	21,481	20,131
婦人科	13,634	12,665	12,481	10,219
頭頸科	5,051	5,435	5,971	6,104
整形外科	643	848	952	965
泌尿器科	1,612	1,815	1,941	2,054
総合腫瘍科	126	203	239	273
放射線治療科	156	158	178	136
総合内科	2,599	2,133	1,896	1,781
腫瘍精神科	0	0	1	1
眼科	220	181	229	235
皮膚科	3	4	2	0
形成外	1	183	207	278
麻酔科	12	18	16	6
救急部	6	3	5	3
緩和治療科	146	190	106	63
放射線診断科	131	119	140	114
健診（ドック）	14,298	15,047	16,114	20,366
健診（内科）	1	1	0	0
健診（婦人科）	1	3	0	0
健診（乳腺科）	123	1	0	0
遺伝診断部	46	54	50	44
血液腫瘍科	1,434	1,562	1,700	1,934
	70,859	69,770	71,848	73,559

院内がん登録集計

① 部位別・男女別件数（全体）

2013年　部位別　男女別　件数

		総数		男		女	
頭頸部	上咽頭	14	0.1%	10	0.2%	4	0.1%
	中咽頭	91	1.0%	78	1.7%	13	0.3%
	下咽頭	120	1.3%	108	2.4%	12	0.2%
	舌	81	0.9%	53	1.2%	28	0.6%
	その他の口腔	57	0.6%	38	0.8%	19	0.4%
	甲状腺	233	2.5%	75	1.7%	158	3.3%
	鼻腔、副鼻腔	34	0.4%	25	0.6%	9	0.2%
	その他の頭頸部	127	1.4%	101	2.2%	26	0.5%
頭頸部合計		757	8.1%	488	10.8%	269	5.6%
食道		410	4.4%	353	7.8%	57	1.2%
胃		1,232	13.2%	812	17.9%	420	8.7%
十二指腸・小腸		57	0.6%	36	0.8%	21	0.4%
結腸・直腸		1,422	15.2%	829	18.3%	593	12.3%
肝臓・肝内胆管		121	1.3%	86	1.9%	35	0.7%
胆のう		45	0.5%	24	0.5%	21	0.4%
肝外胆管・ファーター		65	0.7%	47	1.0%	18	0.4%
膵臓		315	3.4%	171	3.8%	144	3.0%
気管・肺		762	8.2%	484	10.7%	278	5.8%
骨		46	0.5%	26	0.6%	20	0.4%
皮膚		34	0.4%	16	0.4%	18	0.4%
軟部組織		224	2.4%	126	2.8%	98	2.0%
乳腺		1,491	16.0%	3	0.1%	1,488	30.9%
膣・外陰		15	0.2%	0	0.0%	15	0.3%
子宮頚部		498	5.3%	0	0.0%	498	10.3%
子宮体部		281	3.0%	0	0.0%	281	5.8%
卵巣・卵管		214	2.3%	0	0.0%	214	4.4%
前立腺		458	4.9%	458	10.1%	0	0.0%
腎		123	1.3%	90	2.0%	33	0.7%
腎盂尿管		84	0.9%	55	1.2%	29	0.6%
膀胱		183	2.0%	142	3.1%	41	0.9%
白血病		23	0.2%	15	0.3%	8	0.2%
悪性リンパ腫		247	2.6%	127	2.8%	120	2.5%
原発不明		72	0.8%	44	1.0%	28	0.6%
その他		160	1.7%	95	2.1%	65	1.4%
合　計		9,339	100.0%	4,527	100.0%	4,812	100.0%

2014年　部位別　男女別　件数

		総数		男		女	
頭頸部	上咽頭	15	0.2%	13	0.3%	2	0.0%
	中咽頭	96	1.0%	77	1.7%	19	0.4%
	下咽頭	132	1.4%	123	2.7%	9	0.2%
	舌	88	0.9%	58	1.3%	30	0.6%
	その他の口腔	56	0.6%	30	0.7%	26	0.5%
	甲状腺	200	2.1%	56	1.2%	144	3.0%
	鼻腔、副鼻腔	38	0.4%	31	0.7%	7	0.1%
	その他の頭頸部	130	1.4%	100	2.2%	30	0.6%
頭頸部合計		755	8.1%	488	10.8%	267	5.5%
食道		415	4.4%	358	7.9%	57	1.2%
胃		1,241	13.3%	823	18.2%	418	8.7%
十二指腸・小腸		56	0.6%	36	0.8%	20	0.4%
結腸・直腸		1,361	14.6%	744	16.4%	617	12.8%
肝臓・肝内胆管		144	1.5%	110	2.4%	34	0.7%
胆のう		42	0.4%	15	0.3%	27	0.6%
肝外胆管・ファーター		71	0.8%	39	0.9%	32	0.7%
膵臓		318	3.4%	183	4.0%	135	2.8%
気管・肺		694	7.4%	438	9.7%	256	5.3%
骨		44	0.5%	31	0.7%	13	0.3%
皮膚		23	0.2%	15	0.3%	8	0.2%
軟部組織		186	2.0%	78	1.7%	108	2.2%
乳腺		1,475	15.8%	7	0.2%	1,468	30.5%
膣・外陰		15	0.2%	0	0.0%	15	0.3%
子宮頸部		455	4.9%	0	0.0%	455	9.5%
子宮体部		264	2.8%	0	0.0%	264	5.5%
卵巣・卵管		213	2.3%	0	0.0%	213	4.4%
前立腺		405	4.3%	405	8.9%	0	0.0%
腎		141	1.5%	100	2.2%	41	0.9%
腎盂尿管		76	0.8%	52	1.1%	24	0.5%
膀胱		240	2.6%	188	4.2%	52	1.1%
白血病		26	0.3%	17	0.4%	9	0.2%
悪性リンパ腫		268	2.9%	152	3.4%	116	2.4%
原発不明		67	0.7%	28	0.6%	39	0.8%
その他		152	1.6%	89	2.0%	63	1.3%
合　計		9,147	97.9%	4,396	97.1%	4,751	98.7%

2015年　部位別　男女別　件数

		総数		男		女	
頭頸部	上咽頭	19	0.2%	17	0.4%	2	0.0%
	中咽頭	108	1.1%	81	1.7%	27	0.5%
	下咽頭	147	1.5%	132	2.7%	15	0.3%
	舌	80	0.8%	56	1.2%	24	0.5%
	その他の口腔	70	0.7%	47	1.0%	23	0.4%
	甲状腺	197	2.0%	61	1.3%	136	2.6%
	鼻腔、副鼻腔	41	0.4%	25	0.5%	16	0.3%
	その他の頭頸部	123	1.2%	96	2.0%	27	0.5%
頭頸部合計		785	7.9%	515	10.7%	270	5.2%
食道		458	4.6%	388	8.0%	70	1.4%
胃		1,303	13.1%	874	18.1%	429	8.3%
十二指腸・小腸		75	0.8%	50	1.0%	25	0.5%
結腸・直腸		1,424	14.3%	798	16.5%	626	12.2%
肝臓・肝内胆管		161	1.6%	119	2.5%	42	0.8%
胆のう		38	0.4%	19	0.4%	19	0.4%
肝外胆管・ファーター		93	0.9%	65	1.3%	28	0.5%
膵臓		397	4.0%	229	4.7%	168	3.3%
気管・肺		786	7.9%	485	10.1%	301	5.8%
骨		34	0.3%	21	0.4%	13	0.3%
皮膚		34	0.3%	18	0.4%	16	0.3%
軟部組織		186	1.9%	98	2.0%	88	1.7%
乳腺		1,582	15.9%	1	0.0%	1,581	30.7%
膣・外陰		23	0.2%	0	0.0%	23	0.4%
子宮頚部		518	5.2%	0	0.0%	518	10.1%
子宮体部		340	3.4%	0	0.0%	340	6.6%
卵巣・卵管		252	2.5%	0	0.0%	252	4.9%
前立腺		488	4.9%	488	10.1%	0	0.0%
腎		156	1.6%	114	2.4%	42	0.8%
腎盂尿管		107	1.1%	71	1.5%	36	0.7%
膀胱		241	2.4%	193	4.0%	48	0.9%
白血病		27	0.3%	16	0.3%	11	0.2%
悪性リンパ腫		239	2.4%	124	2.6%	115	2.2%
原発不明		53	0.5%	30	0.6%	23	0.4%
その他		173	1.7%	108	2.2%	65	1.3%
合　計		9,973	100.0%	4,824	100.0%	5,149	100.0%

② 診断時居住地別件数（都道府県）

2013年

北海道・東北							
北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	合計
38	36	17	16	23	21	71	222
0.4%	0.4%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.8%	2.4%

関東							
茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	合計
228	77	56	1,072	1,230	4,683	1,180	8,526
2.4%	0.8%	0.6%	11.5%	13.2%	50.1%	12.6%	91.3%

甲信越			
新潟県	山梨県	長野県	合計
36	49	80	165
0.4%	0.5%	0.9%	1.8%

東海北陸						
富山県	石川県	福井県	岐阜県	静岡県	愛知県	合計
19	8	8	12	60	34	141
0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.6%	0.4%	1.5%

近畿							
三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	合計
11	7	14	27	30	7	16	112
0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.1%	0.2%	1.2%

四国				
徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
17	5	12	6	40
0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%

中国					
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
7	9	2	12	13	43
0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.5%

九州・沖縄							
福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
11	1	10	5	6	24	13	13	83
0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.1%	0.9%

その他			総計
不明	外国	合計	
0	7	7	9,339
0.0%	0.1%	0.1%	100%

2014年

北海道・東北							
北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	合計
26	34	17	27	18	24	75	221
0.3%	0.4%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	0.8%	2.4%

関東							
茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	合計
255	55	49	1,039	1,255	4,578	1,112	8,343
2.8%	0.6%	0.5%	11.4%	13.7%	50.0%	12.2%	91.2%

甲信越			
新潟県	山梨県	長野県	合計
31	69	74	174
0.3%	0.8%	0.8%	1.9%

東海北陸						
富山県	石川県	福井県	岐阜県	静岡県	愛知県	合計
18	4	8	11	40	30	111
0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	0.4%	0.3%	1.2%

近畿							
三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	合計
17	12	10	36	20	12	11	118
0.2%	0.1%	0.1%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	1.3%

四国				
徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
7	7	7	10	31
0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%

中国					
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
4	9	7	17	7	44
0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.5%

九州・沖縄							
福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
18	3	9	4	4	19	13	13	83
0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.9%

その他			総計
不明	外国	合計	
5	17	22	9,147
0.1%	0.2%	0.2%	100%

2015年

北海道・東北							
北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	合計
31	50	23	27	18	14	82	245
0.3%	0.5%	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%	0.8%	2.5%

関東							
茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	合計
230	77	95	1,131	1,386	4,862	1,294	9,075
2.3%	0.8%	1.0%	11.3%	13.9%	48.8%	13.0%	91.0%

甲信越			
新潟県	山梨県	長野県	合計
23	64	85	172
0.2%	0.6%	0.9%	1.7%

東海北陸						
富山県	石川県	福井県	岐阜県	静岡県	愛知県	合計
12	7	5	12	55	38	129
0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.6%	0.4%	1.3%

近畿							
三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	合計
6	3	12	42	16	12	14	105
0.1%	0.0%	0.1%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	1.1%

四国				
徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
18	12	12	7	49
0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.5%

中国					
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
6	6	6	31	14	63
0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.6%

九州・沖縄							
福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
22	2	4	5	11	13	17	12	86
0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.9%

その他			総計
不明	外国	合計	
4	45	49	9,973
0.0%	0.5%	0.5%	100%

診断時居住地（東京都医療圏別内訳 ）

2013年

区中央部						区南部			区西南部				区西部			
千代田区	中央区	港区	文京区	台東区	合計	品川区	大田区	合計	目黒区	世田谷区	渋谷区	合計	新宿区	中野区	杉並区	合計
24	78	124	45	67	338	168	255	423	97	328	104	529	96	99	203	398
0.5%	1.7%	2.6%	1.0%	1.4%	7.2%	3.6%	5.4%	9.0%	2.1%	7.0%	2.2%	11.3%	2.0%	2.1%	4.3%	8.5%

区西北部					区東北部				区東部				西多摩							
豊島区	北区	板橋区	練馬区	合計	荒川区	足立区	葛飾区	合計	墨田区	江東区	江戸川区	合計	青梅市	福生市	羽村市	あきる野市	瑞穂町	日の出町	檜原村	奥多摩町	合計
133	96	172	250	651	30	154	148	332	153	563	451	1,167	28	8	9	6	2	0	1	1	55
2.8%	2.0%	3.7%	5.3%	13.9%	0.6%	3.3%	3.2%	7.1%	3.3%	12.0%	9.6%	24.9%	0.6%	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%

南多摩						北多摩西部							北多摩南部						
八王子市	町田市	日野市	多摩市	稲城市	合計	立川市	昭島市	国分寺市	国立市	東大和市	武蔵村山市	合計	武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小金井市	狛江市	合計
94	75	31	30	9	239	37	21	31	17	24	9	139	37	44	47	48	32	13	221
2.0%	1.6%	0.7%	0.6%	0.2%	5.1%	0.8%	0.4%	0.7%	0.4%	0.5%	0.2%	3.0%	0.8%	0.9%	1.0%	1.0%	0.7%	0.3%	4.7%

北多摩北部						島しょ									総計
小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市	合計	大島町	利島村	新島村	神津島村	三宅島	御蔵島村	八丈町	青ヶ島村	小笠原村	合計	
33	39	13	39	58	182	2	1	4	0	1	0	0	0	1	9	4,683
0.7%	0.8%	0.3%	0.8%	1.2%	3.9%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	100.0%

2014年

区中央部						区南部			区西南部				区西部			
千代田区	中央区	港区	文京区	台東区	合計	品川区	大田区	合計	目黒区	世田谷区	渋谷区	合計	新宿区	中野区	杉並区	合計
24	71	126	52	60	333	153	288	441	100	297	95	492	81	107	208	396
0.5%	1.6%	2.8%	1.1%	1.3%	7.3%	3.3%	6.3%	9.6%	2.2%	6.5%	2.1%	10.7%	1.8%	2.3%	4.5%	8.7%

区西北部					区東北部				区東部				西多摩							
豊島区	北区	板橋区	練馬区	合計	荒川区	足立区	葛飾区	合計	墨田区	江東区	江戸川区	合計	青梅市	福生市	羽村市	あきる野市	瑞穂町	日の出町	檜原村	奥多摩町	合計
123	92	185	215	615	36	144	155	335	151	588	451	1,190	16	7	11	13	4	0	0	0	51
2.7%	2.0%	4.0%	4.7%	13.4%	0.8%	3.1%	3.4%	7.3%	3.3%	12.8%	9.9%	26.0%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%

南多摩						北多摩西部							北多摩南部						
八王子市	町田市	日野市	多摩市	稲城市	合計	立川市	昭島市	国分寺市	国立市	東大和市	武蔵村山市	合計	武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小金井市	狛江市	合計
77	73	25	37	14	226	25	19	25	15	21	9	114	44	27	44	38	23	20	196
1.7%	1.6%	0.5%	0.8%	0.3%	4.9%	0.5%	0.4%	0.5%	0.3%	0.5%	0.2%	2.5%	1.0%	0.6%	1.0%	0.8%	0.5%	0.4%	4.3%

北多摩北部						島しょ									総計
小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市	合計	大島町	利島村	新島村	神津島村	三宅島	御蔵島村	八丈町	青ヶ島村	小笠原村	合計	
31	38	17	40	55	181	1	0	2	2	2	0	1	0	0	8	4,578
0.7%	0.8%	0.4%	0.9%	1.2%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	100.0%

2015年

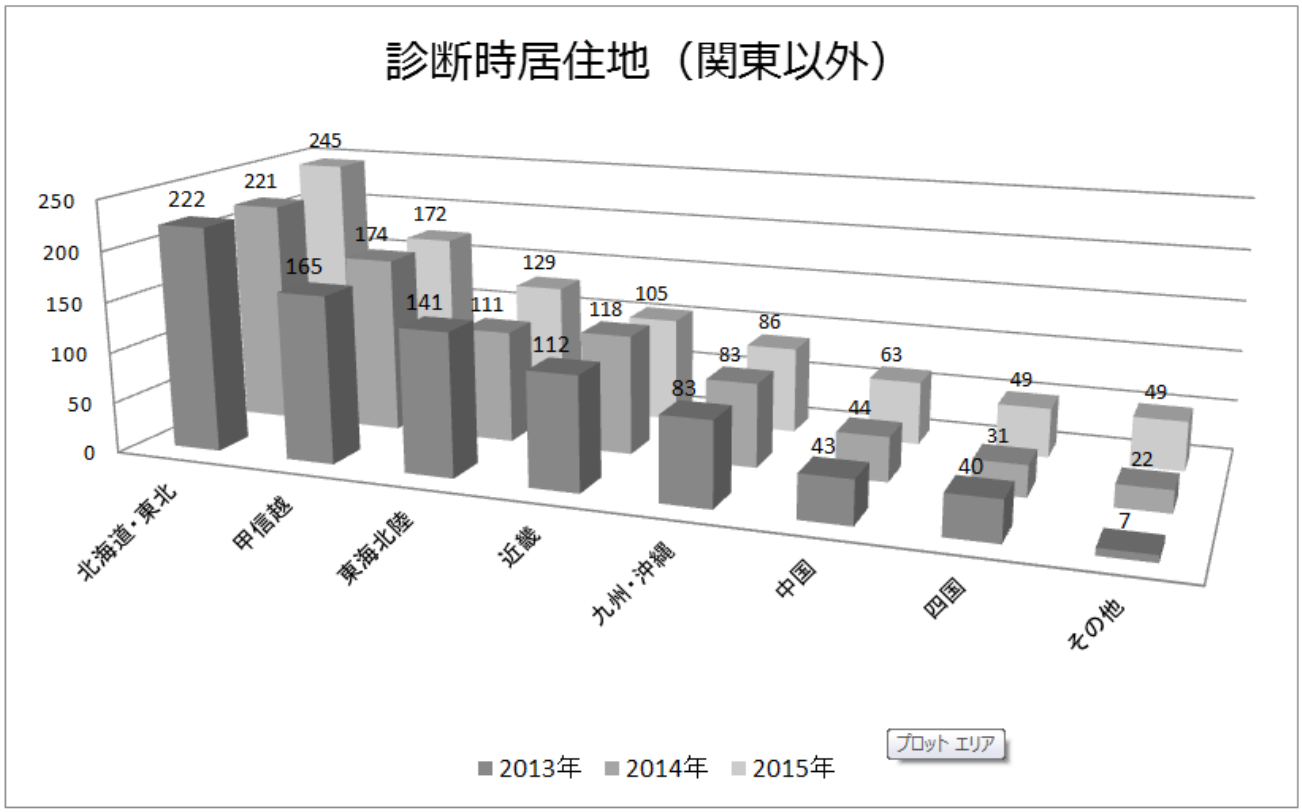
区中央部						区南部			区西南部				区西部			
千代田区	中央区	港区	文京区	台東区	合計	品川区	大田区	合計	目黒区	世田谷区	渋谷区	合計	新宿区	中野区	杉並区	合計
21	97	150	62	59	389	159	274	433	108	325	95	528	104	109	179	392
0.4%	2.0%	3.1%	1.3%	1.2%	8.0%	3.3%	5.6%	8.9%	2.2%	6.7%	2.0%	10.9%	2.1%	2.2%	3.7%	8.1%

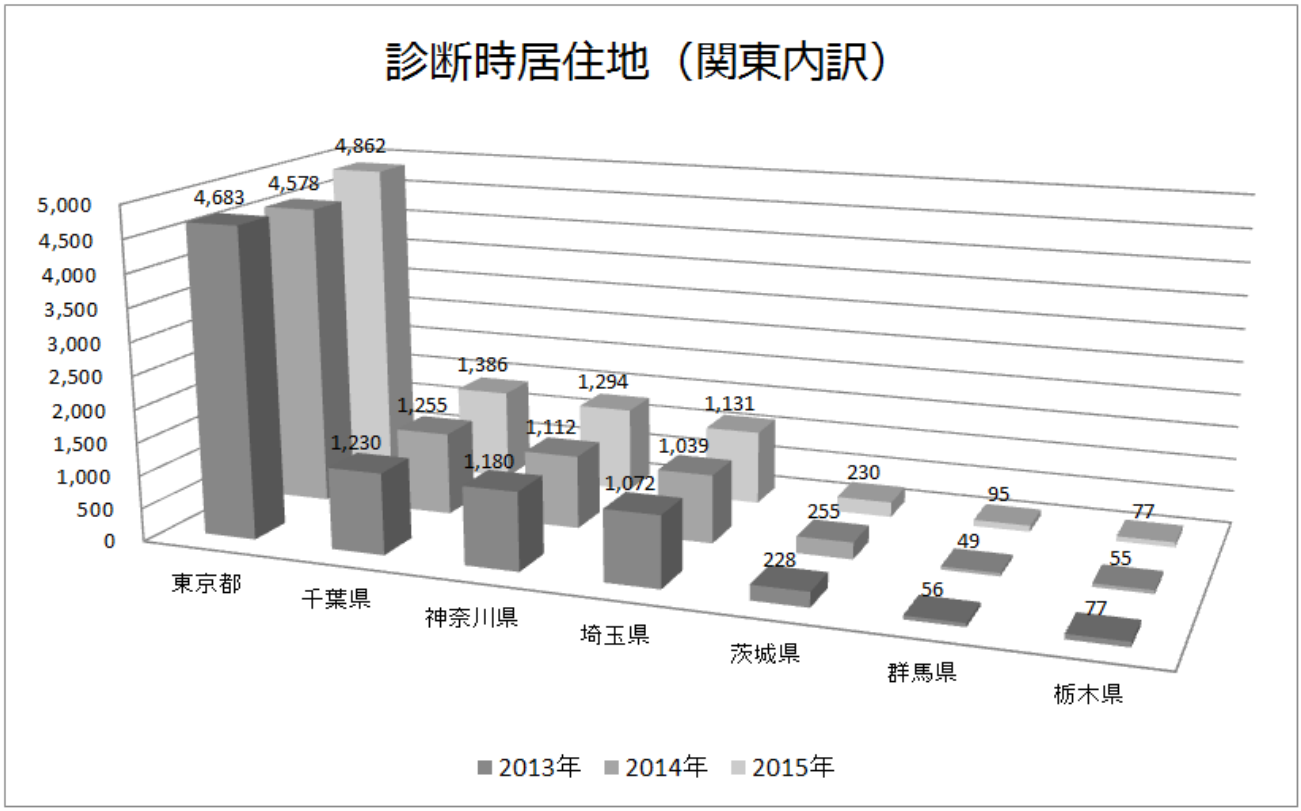
区西北部					区東北部				区東部				西多摩							
豊島区	北区	板橋区	練馬区	合計	荒川区	足立区	葛飾区	合計	墨田区	江東区	江戸川区	合計	青梅市	福生市	羽村市	あきる野市	瑞穂町	日の出町	檜原村	奥多摩町	合計
105	95	194	271	665	35	161	157	353	132	653	459	1,244	31	6	8	24	4	3	0	1	77
2.2%	2.0%	4.0%	5.6%	13.7%	0.7%	3.3%	3.2%	7.3%	2.7%	13.4%	9.4%	25.6%	0.6%	0.1%	0.2%	0.5%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	1.6%

南多摩						北多摩西部							北多摩南部						
八王子市	町田市	日野市	多摩市	稲城市	合計	立川市	昭島市	国分寺市	国立市	東大和市	武蔵村山市	合計	武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小金井市	狛江市	合計
96	73	33	23	15	240	26	25	31	15	14	11	122	54	53	30	50	22	18	227
2.0%	1.5%	0.7%	0.5%	0.3%	4.9%	0.5%	0.5%	0.6%	0.3%	0.3%	0.2%	2.5%	1.1%	1.1%	0.6%	1.0%	0.5%	0.4%	4.7%

北多摩北部						島しょ									総計
小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市	合計	大島町	利島村	新島村	神津島村	三宅島	御蔵島村	八丈町	青ヶ島村	小笠原村	合計	
36	28	24	35	64	187	2	0	1	1	1	0	0	0	0	5	4,862
0.7%	0.6%	0.5%	0.7%	1.3%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	100.0%

診療時居住地別（グラフ）


診断時居住地（関東以外）
250
200
150
100
50
0
222
221
245
165
174
172
141
111
129
112
118
105
83
83
86
43
44
63
40
31
49
22
49
7
北海道・東北
甲信越
東海北陸
近畿
九州・沖縄
中国
四国
その他
プロット エリア
2013年
2014年
2015年


診断時居住地（関東内訳）
5,000
4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
4,683
4,578
4,862
1,230
1,255
1,386
1,180
1,112
1,294
1,072
1,039
1,131
228
255
230
56
49
95
77
55
77
東京都
千葉県
神奈川県
埼玉県
茨城県
群馬県
栃木県
2013年
2014年
2015年

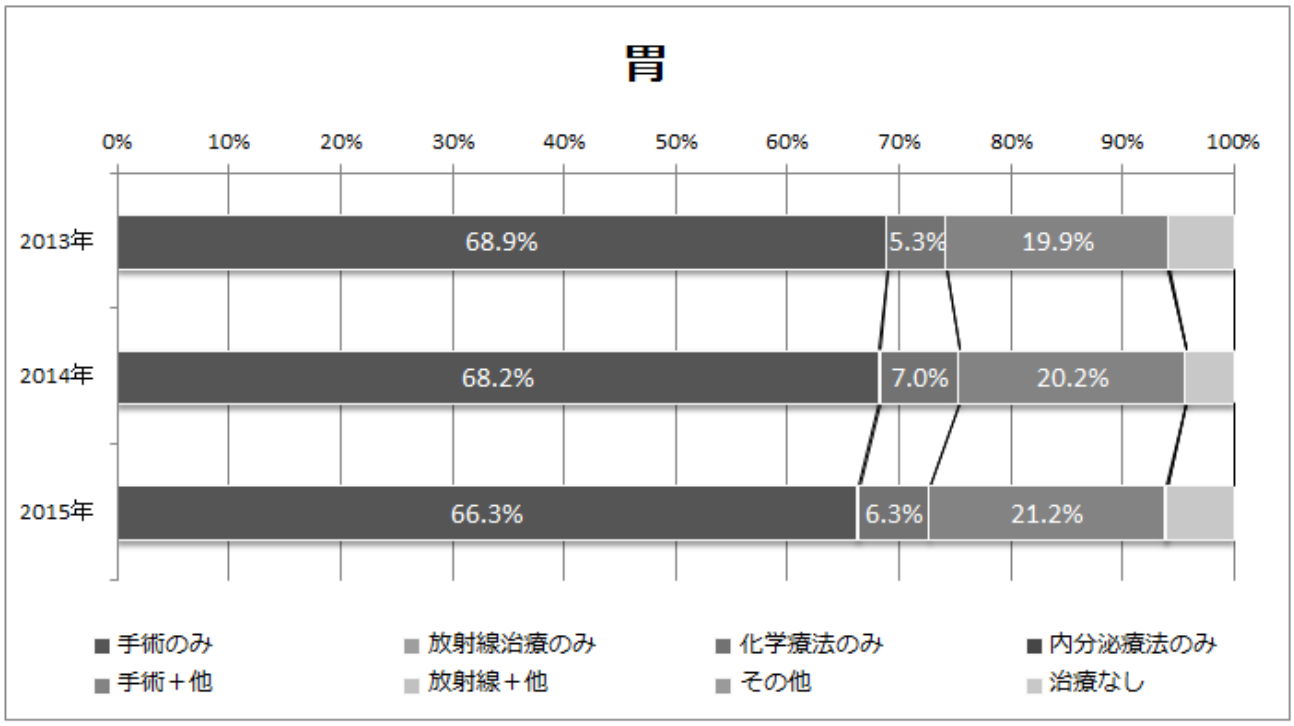
③ 主要5部位治療別件数

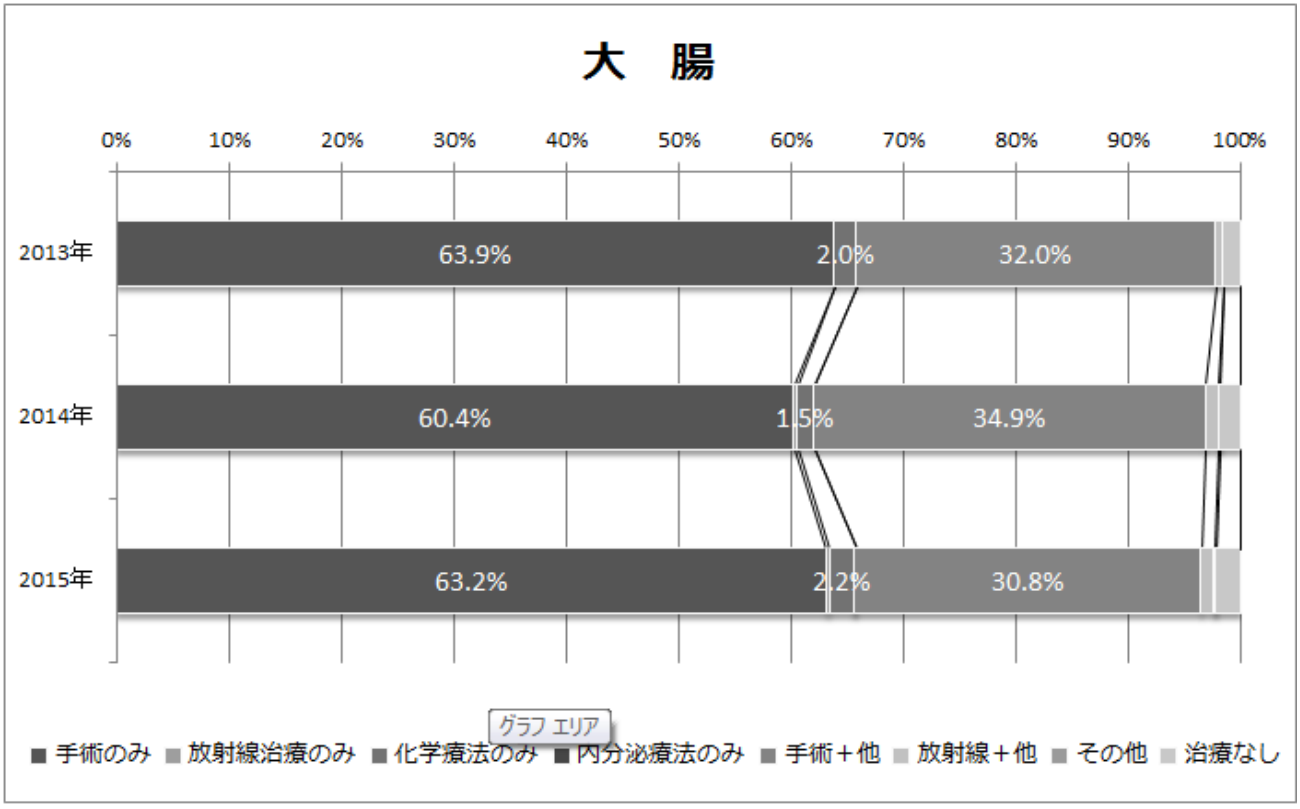
注：【前医・当院で診断され、初回治療を当院で行ったもの・当院診断のみ】の集計（症例区分1・2・3）

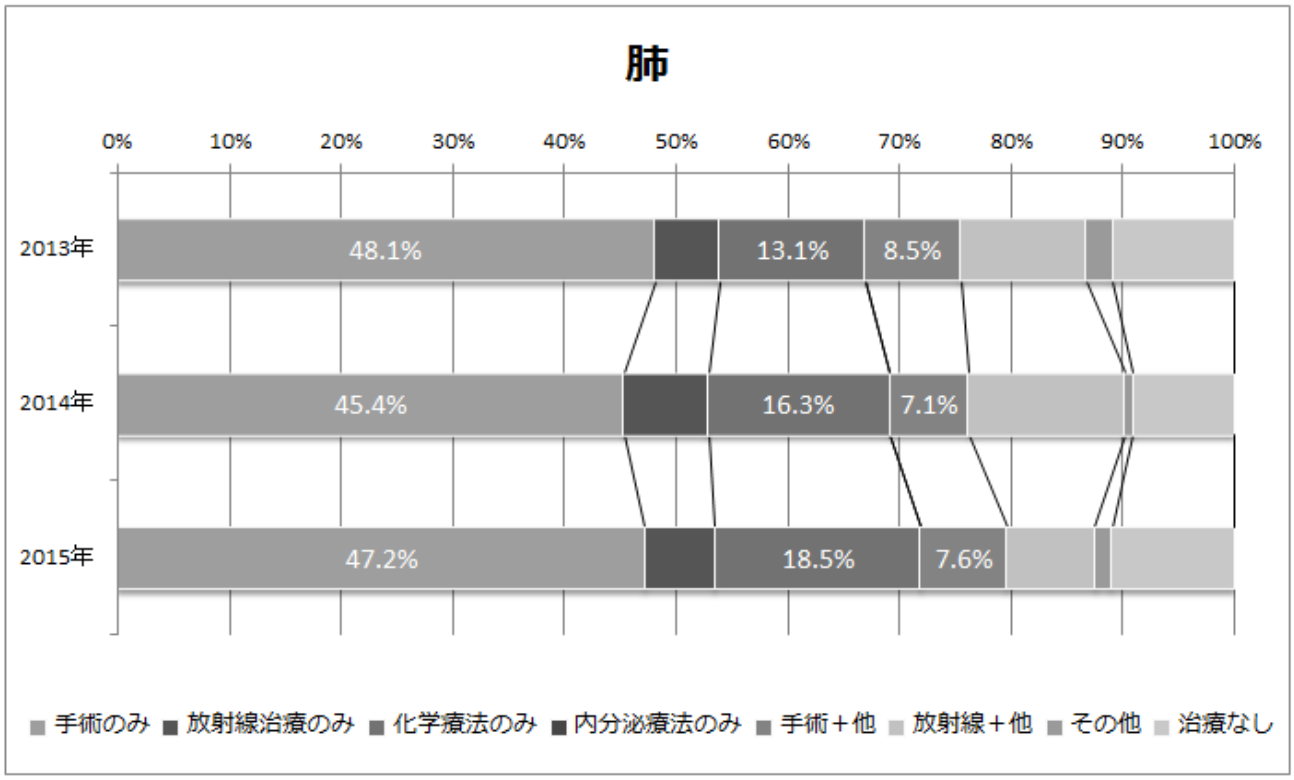
		手術のみ		放射線治療のみ		化学療法のみ		内分泌療法のみ		手術＋他	
		件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
胃	2013年	693	68.9%	1	0.1%	53	5.3%	0	0.0%	200	19.9%
	2014年	684	68.2%	2	0.2%	70	7.0%	0	0.0%	203	20.2%
	2015年	717	66.3%	2	0.2%	68	6.3%	0	0.0%	229	21.2%
大腸	2013年	673	63.9%	0	0.0%	21	2.0%	0	0.0%	337	32.0%
	2014年	615	60.4%	2	0.2%	15	1.5%	0	0.0%	356	34.9%
	2015年	640	63.2%	3	0.3%	22	2.2%	1	0.1%	312	30.8%
肺	2013年	265	48.1%	32	5.8%	72	13.1%	0	0.0%	47	8.5%
	2014年	225	45.4%	37	7.5%	81	16.3%	0	0.0%	35	7.1%
	2015年	266	47.2%	35	6.2%	104	18.5%	0	0.0%	43	7.6%
乳腺	2013年	311	27.7%	1	0.1%	11	1.0%	14	1.2%	730	65.0%
	2014年	258	23.3%	0	0.0%	16	1.4%	6	0.5%	767	69.3%
	2015年	255	22.5%	1	0.1%	28	2.5%	11	1.0%	763	67.4%
肝胆膵	2013年	104	37.4%	0	0.0%	53	19.1%	0	0.0%	68	24.5%
	2014年	103	31.2%	2	0.6%	69	20.9%	0	0.0%	99	30.0%
	2015年	123	32.0%	2	0.5%	84	21.9%	0	0.0%	108	28.1%

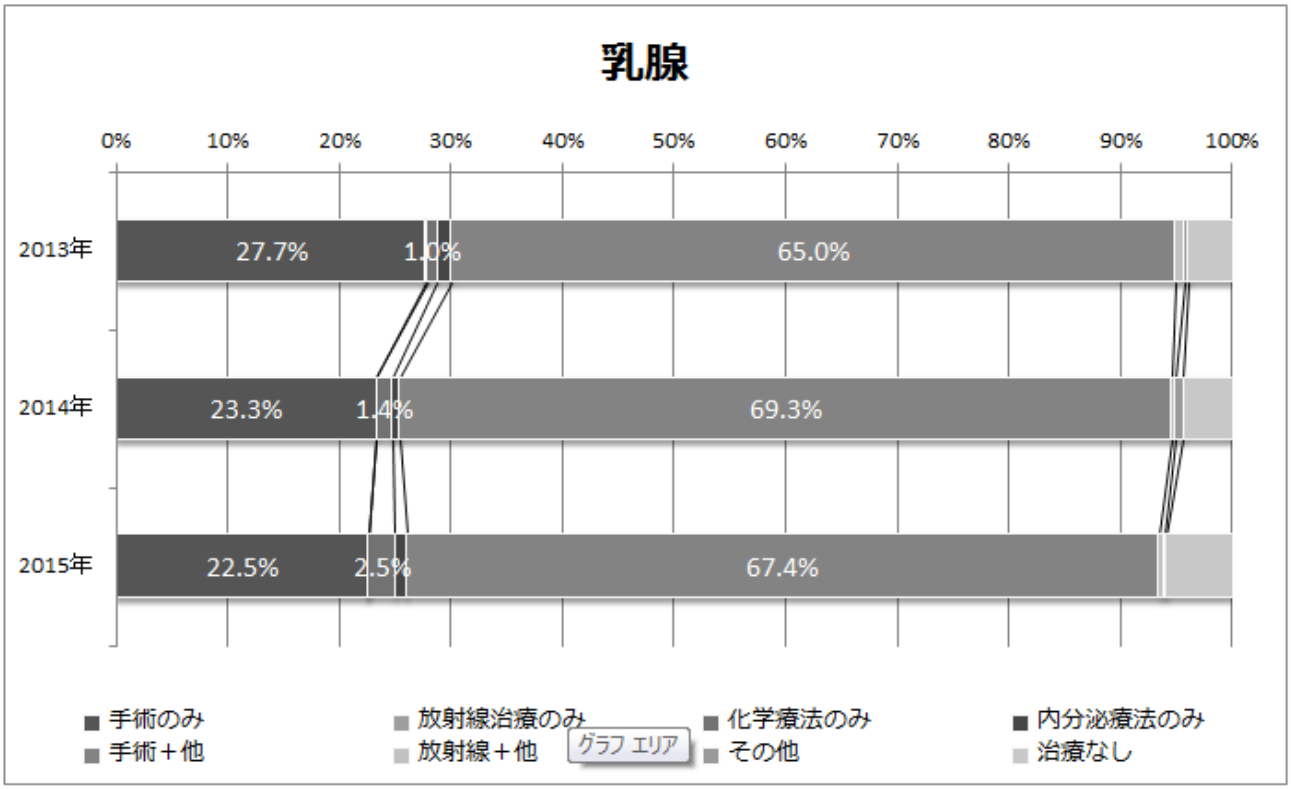
		放射線＋他		その他		治療なし		合計件数
		件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数
胃	2013年	0	0.0%	1	0.1%	58	5.8%	1,006
	2014年	1	0.1%	0	0.0%	43	4.3%	1,003
	2015年	1	0.1%	0	0.0%	65	6.0%	1,082
大腸	2013年	7	0.7%	0	0.0%	16	1.5%	1,054
	2014年	12	1.2%	1	0.1%	18	1.8%	1,019
	2015年	12	1.2%	1	0.1%	22	2.2%	1,013
肺	2013年	62	11.3%	13	2.4%	60	10.9%	551
	2014年	69	13.9%	4	0.8%	45	9.1%	496
	2015年	45	8.0%	8	1.4%	62	11.0%	563
乳腺	2013年	8	0.7%	5	0.4%	43	3.8%	1,123
	2014年	3	0.3%	9	0.8%	47	4.2%	1,106
	2015年	5	0.4%	3	0.3%	66	5.8%	1,132
肝胆膵	2013年	2	0.7%	12	4.3%	39	14.0%	278
	2014年	2	0.6%	23	7.0%	32	9.7%	330
	2015年	4	1.0%	28	7.3%	35	9.1%	384

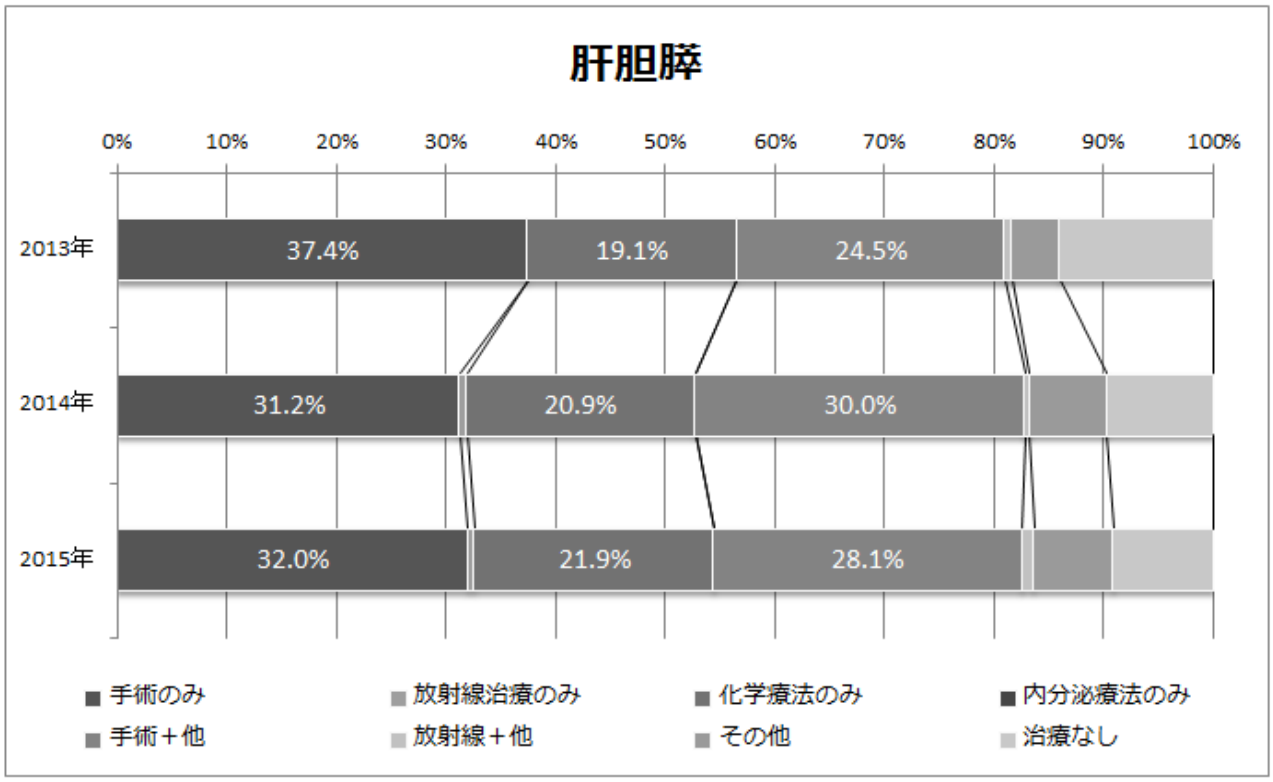
主要5部位治療別件数（グラフ）






肺
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
2013年
48.1%
13.1%
8.5%
2014年
45.4%
16.3%
7.1%
2015年
47.2%
18.5%
7.6%
手術のみ
放射線治療のみ
化学療法のみ
内分泌療法のみ
手術＋他
放射線＋他
その他
治療なし


乳腺
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
2013年
27.7%
65.0%
2014年
23.3%
1.4%
69.3%
2015年
22.5%
2.5%
67.4%
手術のみ
放射線治療のみ
化学療法のみ
内分泌療法のみ
手術＋他
放射線＋他
その他
治療なし
グラフ エリア


肝胆膵
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
2013年
37.4%
19.1%
24.5%
2014年
31.2%
20.9%
30.0%
2015年
32.0%
21.9%
28.1%
手術のみ
放射線治療のみ
化学療法のみ
内分泌療法のみ
手術＋他
放射線＋他
その他
治療なし

④ 治療別件数

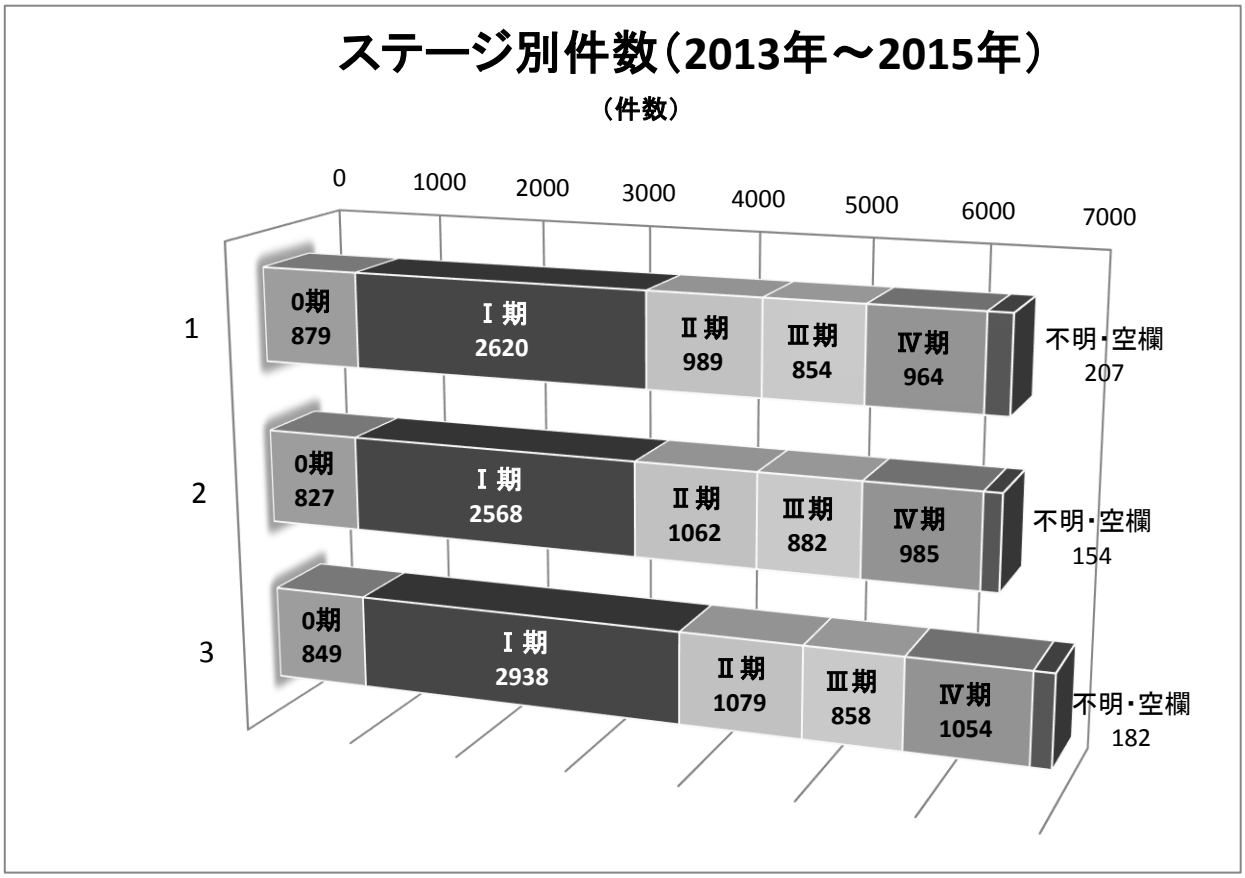
注：【前医・当院で診断され、初回治療を当院で行ったもの・当院診断のみ】の集計（症例区分1・2・3）

	年	① 外科的 手術のみ	② 体腔鏡的手術 のみ	③ 内視鏡的手術 のみ	④ 放射線 治療のみ	⑤ 化学 療法のみ	⑥ 内分泌 療法のみ	⑦ 放射線＋ 化学療法	⑧ 放射線 ＋ 内分泌療法	⑨ 手術 ＋ 放射線	⑩ 手術＋ 化学療法	⑪ 手術 ＋ 内分泌 療法	⑫ 手術 ＋ 免疫療法	⑬ 手術 ＋ 放射線 ＋ 化学療法	⑭ 手術 ＋ 放射線 ＋ 内分泌療法	⑮ 手術 ＋ 化学療法 ＋ 内分泌療法	⑯ 手術＋ 放射線＋ 化学療法＋ 内分泌療法	⑰ 手術 ＋ その他	⑱ その他	⑲ 治療なし	**合計件数**
頭頸部	2013	136	0	15	28	11	0	59	0	29	1	0	0	26	0	0	0	0	0	29	**334**
	2014	135	0	17	47	6	0	78	0	28	0	0	0	32	0	0	0	0	0	33	**376**
	2015	139	0	28	36	8	0	70	0	19	1	0	0	32	0	0	0	1	0	29	**363**
食道	2013	20	23	121	6	9	0	38	0	9	40	0	0	23	0	0	0	9	0	30	**328**
	2014	20	25	132	5	10	0	33	0	5	48	0	0	22	0	0	0	8	1	34	**343**
	2015	6	18	159	7	15	0	43	0	3	59	0	0	16	0	0	0	5	1	46	**378**
胃	2013	119	256	318	1	53	0	0	0	0	162	0	0	1	0	0	0	37	1	58	**1,006**
	2014	91	232	361	2	70	0	1	0	0	151	0	0	1	0	0	0	51	0	43	**1,003**
	2015	72	267	378	2	68	0	1	0	0	167	1	0	2	0	0	0	59	0	65	**1,082**
小腸	2013	14	8	10	0	3	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	**45**
	2014	20	9	5	0	0	0	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	0	2	**44**
	2015	25	4	14	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6	**59**
大腸	2013	22	304	347	0	21	0	7	0	3	221	0	0	82	0	0	0	31	0	16	**1,054**
	2014	19	286	310	2	15	0	12	0	9	239	0	0	87	0	0	0	21	1	18	**1,019**
	2015	16	293	331	3	22	1	12	0	11	209	1	0	58	0	0	0	33	1	22	**1,013**
肺	2013	88	177	0	32	72	0	62	0	2	42	0	0	3	0	0	0	0	13	60	**551**
	2014	60	165	0	37	81	0	69	0	1	34	0	0	0	0	0	0	0	4	45	**496**
	2015	54	212	0	35	104	0	45	0	2	37	0	0	0	0	0	0	4	8	62	**563**
乳腺	2013	311	0	0	1	11	14	2	6	27	93	295	0	38	83	119	72	3	5	43	**1,123**
	2014	258	0	0	0	16	6	1	2	35	133	283	0	40	81	105	88	2	9	47	**1,106**
	2015	255	0	0	1	28	11	2	3	42	129	264	0	37	88	117	86	0	3	66	**1,132**
肝胆膵	2013	88	8	8	0	53	0	2	0	0	63	0	0	0	0	0	0	5	12	39	**278**
	2014	86	10	7	2	69	0	2	0	0	94	0	0	0	0	0	0	5	23	32	**330**
	2015	105	9	9	2	84	0	4	0	1	96	0	0	0	0	0	0	11	28	35	**384**
男性器	2013	7	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**10**
	2014	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	**16**
	2015	15	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**20**
前立腺	2013	94	0	0	15	0	44	1	52	1	0	9	0	0	1	0	0	0	0	61	**278**
	2014	68	28	0	4	1	62	0	51	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	48	**271**
	2015	46	81	0	11	0	71	1	54	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	47	**325**
膀胱	2013	0	0	4	0	4	0	0	0	0	46	0	3	0	0	2	0	34	1	2	**96**
	2014	3	0	7	0	2	0	0	0	0	68	0	5	2	0	0	0	46	11	6	**150**
	2015	2	0	7	0	2	0	0	0	0	63	0	2	0	0	1	0	32	5	2	**116**
腎・腎盂 ・副腎	2013	26	49	0	0	8	0	0	0	1	4	0	2	0	0	0	0	2	0	9	**101**
	2014	16	63	0	0	5	0	5	0	1	4	0	1	0	0	0	0	1	1	12	**109**
	2015	18	93	0	1	11	0	2	0	1	8	0	0	0	0	0	0	1	0	12	**147**
尿管・尿道	2013	2	2	0	0	2	0	1	0	0	8	0	0	0	0	0	0	1	3	5	**24**
	2014	7	4	0	0	4	0	1	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	2	3	**31**
	2015	7	6	2	0	4	0	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	5	**32**
女性器	2013	348	8	1	14	7	4	28	0	1	188	2	0	17	0	0	0	13	2	35	**668**
	2014	270	63	0	11	14	1	25	0	4	190	2	0	16	0	2	0	6	1	21	**626**
	2015	245	157	1	12	12	3	32	0	4	235	4	0	20	0	1	0	7	2	28	**763**
骨・軟部	2013	106	1	0	0	8	0	2	0	3	33	0	0	2	0	0	0	0	0	12	**167**
	2014	83	0	0	2	9	0	4	0	5	33	0	0	0	0	0	0	0	0	6	**142**
	2015	89	1	0	4	8	0	5	0	3	28	0	0	2	0	0	0	0	0	4	**144**
造血器・ リンパ	2013	2	3	0	30	109	0	25	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	7	37	**218**
	2014	3	1	0	23	127	0	24	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	1	37	**221**
	2015	6	1	0	30	121	1	13	1	1	7	0	0	3	0	0	0	1	3	25	**213**
皮膚	2013	15	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	**24**
	2014	11	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**16**
	2015	8	0	0	10	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	**25**
眼	2013	6	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	**14**
	2014	6	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**8**
	2015	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	**15**
甲状腺	2013	57	1	0	0	0	0	0	0	1	0	38	1	0	11	1	0	0	1	52	**163**
	2014	59	0	0	1	2	1	0	0	0	0	28	0	0	9	0	0	0	1	44	**145**
	2015	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	1	0	6	0	0	0	0	53	**157**
その他	2013	5	0	0	1	5	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	14	**31**
	2014	1	0	0	5	5	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	**26**
	2015	3	0	0	1	4	0	2	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	15	**29**
全体	**2013**	**1,466**	**840**	**824**	**130**	**380**	**62**	**231**	**58**	**78**	**913**	**344**	**6**	**192**	**95**	**122**	**72**	**135**	**46**	**519**	**6,513**
	2014	**1,223**	**886**	**839**	**145**	**436**	**70**	**256**	**53**	**93**	**1,024**	**322**	**6**	**201**	**90**	**107**	**88**	**141**	**55**	**443**	**6,478**
	2015	**1,168**	**1,142**	**929**	**155**	**491**	**87**	**236**	**58**	**92**	**1,061**	**331**	**3**	**170**	**94**	**119**	**86**	**154**	**51**	**533**	**6,960**

⑤ ステージ別件数

ステージ		2013	2014	2015
0期	件数	879	827	849
	比率	13.5%	12.8%	12.2%
Ⅰ期	件数	2,620	2,568	2,938
	比率	40.2%	39.6%	42.2%
Ⅱ期	件数	989	1,062	1,079
	比率	15.2%	16.4%	15.5%
Ⅲ期	件数	854	882	858
	比率	13.1%	13.6%	12.3%
Ⅳ期	件数	964	985	1,054
	比率	14.8%	15.2%	15.1%
不明	件数	65	51	47
	比率	1.0%	0.8%	0.7%
空欄（※1）	件数	142	103	135
	比率	2.2%	1.6%	1.9%
合計	件数	6,513	6,478	6,960
	比率	100.0%	100.0%	100.0%

※1…UICCステージ適応外のもの
（当院で診断や治療をしなかったもの・前医にて初回治療が行われたものを除く）



⑥ 年齢別・部位別件数

2012年　(平成24年)

分類	年　代									合計
	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	
頭頸部	2	10	24	55	88	196	139	46	2	562
食道	0	1	1	19	62	150	102	21	1	357
胃	0	3	36	76	167	400	314	89	5	1090
小腸・十二指腸	0	0	5	5	6	21	16	3	0	56
大腸	0	4	54	155	231	391	281	92	3	1211
肺	0	4	19	63	103	274	211	59	4	737
乳腺	0	18	163	473	363	296	130	19	2	1464
肝・胆・膵	0	2	11	21	74	185	153	38	1	485
男性器	1	5	13	10	6	3	3	0	0	41
前立腺	0	0	0	8	50	216	172	30	2	478
膀胱	0	0	0	9	23	64	56	22	1	175
腎・腎盂・副腎	0	2	3	16	35	66	33	14	0	169
尿管・尿道	0	0	0	1	5	22	19	3	1	51
女性器	1	31	197	250	204	157	75	17	1	933
骨・軟部	15	18	29	39	41	56	41	19	0	258
造血器・リンパ	1	2	6	18	30	35	39	4	1	136
皮膚	0	0	0	3	1	10	13	2	0	29
眼	0	1	1	2	0	8	4	2	0	18
甲状腺	2	8	40	52	51	78	45	8	0	284
その他の部位・原発不明	0	1	7	10	11	25	23	6	0	83
合計	22	110	609	1285	1551	2653	1869	494	24	8617

2013年　(平成25年)

分類	年　代									合計
	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	
頭頸部	0	5	26	48	93	205	113	32	2	524
食道	0	0	3	12	72	168	141	14	0	410
胃	0	4	35	110	186	397	399	98	3	1,232
小腸	0	0	0	7	17	15	13	5	0	57
肝胆膵	0	2	11	45	82	193	160	53	0	546
大腸	0	8	63	168	262	470	364	98	4	1,437
肺	0	2	15	50	112	321	233	61	1	795
皮膚	0	1	1	6	5	5	10	5	1	34
骨軟部	8	19	24	47	44	67	42	19	0	270
乳	0	17	132	494	345	342	132	28	1	1,491
女性器	2	37	212	274	217	182	70	18	0	1,012
前立腺	0	0	1	4	42	201	184	26	0	458
男性器	1	4	14	6	1	2	0	0	0	28
膀胱	0	0	1	13	24	68	63	14	0	183
尿管尿道	0	0	0	1	4	18	20	5	0	48
眼	0	0	2	5	1	4	2	1	0	15
甲状腺	4	6	38	43	50	41	40	10	1	233
腎	0	0	3	24	40	48	39	15	0	169
造血器・リンパ	2	5	14	39	44	97	97	19	1	318
原発不明	0	1	2	8	15	31	16	6	0	79
合計	17	111	597	1,404	1,656	2,875	2,138	527	14	9,339

2014年　(平成26年)

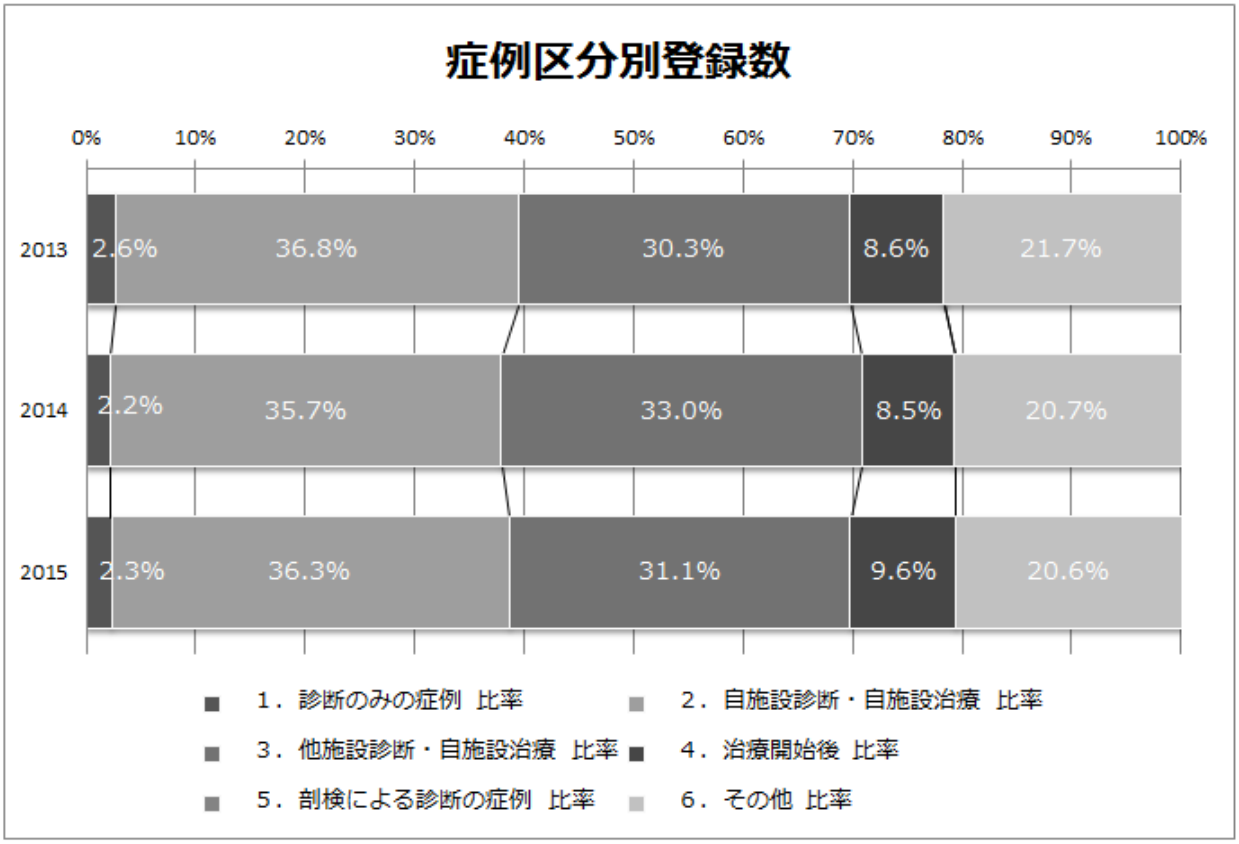
分類	年　代									合計
	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	
頭頸部	1	3	23	53	116	187	123	45	3	554
食道	0	0	1	25	75	150	143	20	1	415
胃	0	3	39	83	189	427	362	134	4	1,241
小腸	0	0	1	8	15	14	15	3	0	56
肝胆膵	0	1	9	34	82	197	202	50	0	575
大腸	0	8	63	150	299	413	356	91	5	1,385
肺	2	3	13	56	105	259	230	60	1	729
皮膚	0	1	1	3	5	4	2	6	1	23
骨軟部	14	21	24	41	29	56	32	13	0	230
乳	0	12	139	508	334	312	150	20	0	1,475
女性器	0	39	170	263	205	178	79	15	0	949
前立腺	0	0	0	9	46	177	142	29	2	405
男性器	2	2	15	5	6	3	2	0	0	35
膀胱	0	1	4	16	34	73	81	27	4	240
尿管尿道	0	0	1	2	6	14	23	7	1	54
眼	0	0	0	0	1	2	4	2	0	9
甲状腺	2	7	22	36	50	43	33	7	0	200
腎	0	1	4	21	39	65	36	11	1	178
造血器・リンパ	2	11	18	30	63	90	82	24	4	324
原発不明	0	0	1	8	15	23	14	9	0	70
合計	23	113	548	1,351	1,714	2,687	2,111	573	27	9,147

2015年　(平成27年)

分類	年　代									合計
	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	
頭頸部	0	7	32	48	117	177	162	41	2	586
食道	0	1	0	18	89	171	145	33	1	458
胃	0	3	34	104	175	415	428	138	6	1,303
小腸	0	0	2	9	20	23	13	6	0	73
肝胆膵	1	0	7	48	103	206	256	66	2	689
大腸	1	9	49	161	308	458	337	113	5	1,441
肺	1	2	17	65	124	275	263	76	3	826
皮膚	0	0	2	4	1	7	13	4	3	34
骨軟部	12	8	13	38	41	50	41	16	0	219
乳	0	19	146	569	397	274	142	33	2	1,582
女性器	3	31	228	302	258	190	106	15	1	1,134
前立腺	0	0	1	9	52	182	214	30	0	488
男性器	1	7	5	15	1	3	4	0	0	36
膀胱	0	0	5	18	36	75	75	31	1	241
尿管尿道	0	0	0	0	9	20	24	13	0	66
眼	0	0	0	5	4	4	5	4	0	22
甲状腺	1	9	21	42	33	53	32	6	0	197
腎	1	0	3	35	40	65	48	20	0	212
造血器・リンパ	5	11	17	35	61	85	66	26	1	307
原発不明	0	2	6	5	12	13	13	8	0	59
合計	26	109	588	1,530	1,881	2,746	2,387	679	27	9,973

⑦ 症例区分別登録数

		2013	2014	2015
1．診断のみの症例	件数	246	201	231
	比率	2.6%	2.2%	2.3%
2．自施設診断・自施設治療	件数	3,441	3,263	3,625
	比率	36.8%	35.7%	36.3%
3．他施設診断・自施設治療	件数	2,826	3,014	3,104
	比率	30.3%	33.0%	31.1%
4．治療開始後	件数	799	775	956
	比率	8.6%	8.5%	9.6%
5．剖検による診断の症例	件数	1	0	0
	比率	0.0%	0.0%	0.0%
6．その他	件数	2,026	1,894	2,057
	比率	21.7%	20.7%	20.6%
合　計	件数	9,339	9,147	9,973
	比率	100.0%	100.0%	100.0%



8．一般公開講座

2013 年（平成 25 年）～2016 年（平成 28 年）

回	日　付	開催時間	題　名	担当部署	場所
第 23 回	2013/8/8	18:00～20:00	『日本におけるがんの遺伝子診断・予防治療』（がん研有明すこやか塾）	遺伝子診療部	毎日ﾎｰﾙ
第 24 回	2013/9/7	13:30～15:30	『大腸がんてどんなもの？-予防と治療の最前線-』　（がん研有明すこやか塾）	消化器ｾﾝﾀｰ	ﾀﾜｰﾎｰﾙ船堀
第 25 回	2013/9/21	13:00～15:45	『ここまで進んだ肺がん治療』（がん研有明すこやか塾）	呼吸器ｾﾝﾀｰ	東京ｳｨﾒﾝｽﾞﾌﾟﾗｻﾞ
第 26 回	2013/11/16	13:30～16:15	『安心安全に手術を受けるために～あなたと家族にできること～』	看護部	がん研究会吉田記念講堂
第 27 回	2013/11/27	18:30～20:30	『よくわかる乳がんのすべて』（がん研有明すこやか塾）	乳腺ｾﾝﾀｰ 放射線治療部	浜離宮朝日ﾎｰﾙ
第 28 回	2014/5/24	13:30～15:30	『難治性がん医療セミナー・膵臓がん編』がん研有明病院スペシャル ～進化のビジョン 2020～	消化器（肝胆膵 G）	がん研吉田記念講堂
第 29 回	2014/8/30	13:30～15:30	『難治性がん医療セミナー・胆道がん編』がん研有明病院スペシャル～進化のビジョン 2020～	消化器（肝胆膵 G）	がん研吉田記念講堂
第 30 回	2014/9/6	13:30～15:30	市民公開講座「キャンサーカフェ」～みんなでがんを考えよう～　公開収録	病院長、他	がん研有明病院ﾎｽﾋﾟﾀﾙｽﾄﾘｰﾄ
第 31 回	2014/11/8	13:30～16:00	『がんになってもあなたらしい生活を』今ある力を高めるためのリハビリテーション	看護部	がん研吉田記念講堂
第 32 回	2014/12/18	13:30～15:45	『がん専門医が語る女性のがん』（がん研有明すこやか塾）	乳腺ｾﾝﾀｰ 婦人科	TKP ｶﾞｰﾃﾞﾝｼﾃｨ千葉ｼﾝﾌｫﾆｱ
第 33 回	2014/12/20	13:30～16:30	『遺伝性乳がん卵巣がん』～遺伝子情報をがんの診療に活用する	遺伝子診療部	がん研吉田記念講堂
第 34 回	2014/12/20	13:30～15:30	江東区 がん対策推進計画策定記念シンポジウム　～がんと共に生きる～	病院長、副院長	東京都現代美術館講堂
第 35 回	2015/2/14	13:30～16:00	世田谷区 がん対策推進条例制定記念シンポジウム～がんになっても自分らしく暮らすために～	病院長、 医療連携部	玉川区民会館
第 36 回	2015/3/21	13:30～16:00	世田谷区 がん対策推進条例制定記念一般公開セミナー～がん研有明病院の先進的がん医療をわかりやすく解説～	消化器ｾﾝﾀｰ 呼吸器ｾﾝﾀｰ 放射線治療部 栄養管理部	北沢ﾀｳﾝﾎｰﾙ
第 37 回	2015/6/26	13:00～16:00	『もっと知ろう消化器がん』	消化器内科	がん研吉田記念講堂
第 38 回	2015/10/17	13:30～15:45	『がんについて知っておきたい５つのこと』～がんと上手くつきあうために～	看護部	がん研吉田記念講堂
第 39 回	2016/1/7	13:30～15:45	女性のためのがんセミナー（がん研有明すこやか塾）	乳腺ｾﾝﾀｰ	東京ｳｨﾒﾝｽﾞﾌﾟﾗｻﾞ
第 40 回	2016/3/5	14:00～16:00	医師が教えるがんとの向き合い方	乳腺外科、 婦人科	玉川区民会館
第 41 回	2016/6/18	13:00～16:00	『難治性がん医療セミナー・すい臓がん／胆道がん編』	消化器 (肝胆膵 G)	がん研吉田記念講堂
第 42 回	2016/10/1	9:00～12:00	がん患者と家族のための栄養と食事	看護部	がん研吉田記念講堂

9．学会・研究発表業績

【 2013年 】

呼吸器内科

1. 西尾誠人
肺がん-EGFRおよびALK阻害剤の効果と獲得耐性.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

2. 西尾誠人
2IV期非小細胞肺癌に対する治療戦略.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

3. 西尾誠人
非小細胞肺癌に対する分子標的薬の効果的使用方法: Individualized afatinib dose adjustments facilitate continuous treatment.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

4. 三角佑生, 下川恒生, 堀池篤, 大柳文義, 西尾誠人, 釼持広知, 村上晴泰, 高橋利明, 山本信之, 岡本浩明
高齢者の進展型小細胞肺がんに対するカルボプラチン+イリノテカン併用療法のfeasibility study 最終報告.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

5. 行徳宏, 柳谷典子, 小林紘, 西澤弘成, 上浪健, 丹保裕一, 工藤慶太, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 二宮浩範, 元井紀子, 石川雄一, 西尾誠人
クリゾチニブ投与中に複雑性腎嚢胞を認めたAnaplastic lymphoma kinase (ALK) 肺癌の2例.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

6. 軒原浩, 堀之内秀仁, 山本昇, 山田康秀, 工藤慶太, 柳谷典子, 堀池篤, 大柳文義, 西尾誠人, 阿部雅一, 田畠崇史, 田村友秀
固形がん患者及び肺がん患者を対象としたOnartuzumab (MetMAb) の第Ia/Ib相試験.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

7. 金田裕靖, 中川和彦, 工藤慶太, 西尾誠人, 村上晴泰, 山本信之, 堀之内秀仁, 田村友秀
Phase I study of patritumab (U3-1287) in combination with erlotinib in NSCLC patients.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

8. 宮内栄作, 齋藤雄一, 二宮浩範, 元井紀子, 西尾誠人, 奥村栄, 石川雄一
末梢型小細胞肺がんは中枢型に比べ予後不良で, 遺伝子発現プロファイルが異なる.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

9. 吉岡弘鎮, 西尾誠人, 木浦勝行, 瀬戸貴司, 中川和彦, 前門戸任, 井上彰, 樋田豊明, 原田眞雄, 大江裕一郎, 野上尚之, 村上晴泰, 竹内賢吾, 島田忠, 田中智宏, 田村友秀
CH5424802のALK陽性非小細胞肺癌患者に対する第I/II相臨床試験の追跡データ(AF-001JP).
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

10. Yanagitani, N., Nishizawa, H., Kobayashi, H., Gyotoku, H., Uenami, T., Tambo, Y., Kudo, K., Ohyanagi, F., Horiike, A., Ninomiya, H., Motoi, N., Takeuchi, K., Ishikawa, Y., Fujita, N., Horai, T., Nishio, M.
Patterns of relase and prognosis after crizotinib therapy failure in ALK+ non-small cell lung cancer.
15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

11. Yamamoto, N., Kudo, K., Nishio, M., Murakami, H., Yamamoto, N., Kaneda, H., Nakagawa, K., Tamura, T.
Phase I study of HER3 targeted antibody patritumab (U3-1287) in combination with erlotinib in Japanese patients with non-small cell lung cancer (NSCLC).
AACR-NCI-EORTC International Conference on Molecular Targets and Cancer Therapeutics: Boston, USA, 2013

12. Seto, T., Murakami, H., Horiike, A., Takahashi, T., Suenaga, N., Tajima, T., Tokushige, K., Boral, A., Robson, M., Nishio, M.
Phase I study of the ALK inhibitor LDK378 in Japanese patients with advanced, AKL-rearranged NSCLC and other tumors harboring genetic ALK alterations.

15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

13. Nishio, M., Hirsh, V., Wilner, K.D., Polli, A., Reisman, A., Iyer, S., Blackhall, F.
Efficacy, safety, and patient-reported outcomes (PROs) with crizotinib versus chemotherapy in Asian patients in a phase III study of previously treated advanced ALK-positive non-small cell lung cancer (NSCLC).
15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

14. Nishio, M., Kiura, K., Seto, T., Nakagawa, K., Maemondo, K., Hida, T., Inoue, A., Yoshioka, H., Harada, M., Ohe, Y., Nogami, N., Murakami, H., Takeuchi, K., Nishii, K., Yokoyama, S., Tamura, T.
Results form a phase I/II study of alectinib (CH5424802/RO5424802) in ALK-rearrranged advaced non-small cell lung cancer.
18th Jpanese Foundation for Cancer Research International Symposium on Cancer Chemotherapy (JFCR-ISCC): Tokyo, 2013

15. Naito, T., Yamamoto, N., Ohyanagi, F., Horai, T., Horiike, A., Kozuka, T., Murakami, H., Harada, H., Takahashi, T., Nakamura, Y., Nishio, M.
Long-term results of a phase II tiral of S-1 and cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for locally advanced non-small cell lung cancer.
15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

16. Miyauchi, E., Sato, Y., Motoi, N., Nishio, M., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Distinct characteristics of small cell lung cancer (SCLC) correlate with central or peripheral origin: microarray analysis of snap frozen tissue samples.
15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

17. Maemondo, M., Nishio, M., Nakamura, Y., Chikamori, K., Katakami, N., Hida, T., Seto, T., Yoshioka, H., Kozuki, T., Ohishi, N., Tamura, T.
Variability of epidermal growth factor receptor (EGFR) mutations in serum during erlotinib therapy and its clinical implaications: exploratory analysis of a pahse II study of erlotinib in patients with advanced non-small-cell lung cancer (NSCLC) harboring EGFR mutations.
15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

18. Ishimoto, O., Gemma, A., Katakami, N., Kubota, K., Nishio, M., Inoue, A., Okamoto, H., Isobe, H., Kunitoh, H., Takiguchi, Y., Kobayashi, K., Nakamura, Y., Ohmatsu, H., Minato, K., Fukuda, M., Yokoyama, A., Takeuchi, M., Michimae, H., Kudoh, S.
Randomized phase III trial of S-1 plus cisplatin versus docetaxel plus cisplatin for advanced non-small-cell lung cancer (TCOG0701): subgroup analysis.
15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

19. Inoue, A., Nishio, M., Kubota, K., Seto, T., Nakagawa, K., Maemondo, M., Hida, T., Yoshioka, H., Harada, M., Ohe, Y., Nogami, N., Murakami, H., Takeuchi, K., Kikuchi, K., Asakawa, T., Yokoyama, S., Tamura, T.
One-year follow-up of a phase I/II study of a highly selective ALK inhibitor CH5424802/RO5424802 in ALK-rearranged advanced non-small cell lung cancer (NSCLC).
15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

20. Horinouchi, H., Nakamichi, S., Nokihara, H., Yamamoto, N., Yamada, Y., Horiike, A., Ohyanagi, F., Kudo, K., Yanagitani, N., Kawano, Y., Sakatani, T., Tanimoto, A., Nishio, M., Abe, M., Doura, H., Tahata, T., Tamura, T.
Phase Ia/Ib study of the anti-MET antibody onartuzumab (MetMAb) in patients with solid tumors or MET-positive lung cancer.
15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

21. Horiike, A., Takeuchi, K., Kawano, Y., Tanimoto, A., Kaburaki, K., Kobayashi, H., Gyotoku, H., Nishizawa, H., Tambo, Y., Nakatomi, K., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Hagiwara, S., Motoi, N., Ishikawa, Y., Horai, T., Nishio, M.
Sorafenib in patients with RET fusion-positive non-small cell lung cancer.
15th World Congress on Lung Cancer (WCLC): Sydney, Australia, 2013

22. Horiike, A.
A first-in-Japanese phase Ia/1b study of the anti-MET antibody onartuzumab (MetMAb).
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

23. Hida, T., Kiura, K., Nishio, M., Seto, T., Nakagawa, K., Inoue, A., Yamamoto, N., Tanaka, T., Tamura, T.
Updated results of a phase I/II study of ALK inhibitor CH5424802 in ALK-positive non-small cell lung cancer: AF-001JP.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

24. Ohyanagi, F., Yamamoto, N., Horiike, A., Horai, T., Kozuka, T., Murakami, H., Harada, H., Takahashi, T., Nakamura, Y., Nishio, M.
Long-term results of a phase II trial of S-1 and cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for locally advanced non-small cell lung cancer.
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2013

25. Shaw, A.T., Mok, T., Nishio, M., Felip, E., Tan, D.S.W., Garcia-Campelo, R., Groen, H.J.M., Dakhil, S.R., Schaefer, E.S., Farrell, N.J., Blakesley, R.E., Weir, A., Ristic, M., Selvaggi, G., Scagliotti, G.
A phase II single-arm study of LDK378 in patients with ALK-activated (ALK+) non-small cell lung cancer (NSCLC) previously treated with chemotherapy and crizotinib (CRZ).
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2013

26. Nakagawa, K., Kiura, K., Nishio, M., Seto, T., Maemondo, M., Inoue, A., Hida, T., Yamaomoto, N., Yoshioka, H., Harada, M., Ohe, Y., Nogami, N., Takeuchi, K., Shimada, T., Tanaka, T., Tamura, T.
A phase I/II study with a highly selective ALK inhibitor CH5424802 in AKL-positive non-small cell lung cancer (NSCLC) patients: Updated safety and efficacy results form AF-001JP.
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2013

27. 柳谷典子, 西尾誠人, 星利良, 元井紀子, 石川雄一, 宝来威
がんの分子標的治療の現状と将来展望 がんの分子標的治療　臓器別にみた現状と将来展望 肺癌.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

28. 西澤弘成, 柳谷典子, 谷本梓, 市川敦央, 河野裕子, 酒谷俊雄, 中富克己, 工藤慶太, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 上原浩文, 奥村栄, 西尾誠人
細径気管支鏡によって肉眼的に観察し得た食道原発悪性黒色腫の孤立肺転移の一例.
第36回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: さいたま市, 2013

29. 西尾誠人
IV期非小細胞癌に対する治療戦略 IV期非小細胞癌に対する治療戦略　維持療法.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

30. 大柳文義, 山本信之, 堀池篤, 宝来威, 小塚拓洋, 村上晴泰, 原田英幸, 高橋利明, 中村有希子, 西尾誠人
cIII期N2非小細胞肺癌の診断と治療戦略 切除不能局所進行非小細胞肺がんに対するCDDP/TS-1併用化学療法と胸部同時放射線照射第II相試験の長期成績.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

31. 工藤慶太, 堀池篤, 大柳文義, 柳谷典子, 小林紘, 上浪健, 行徳宏, 丹保裕一, 萩原佐知子, 宝来威, 西尾誠人
エルロチニブ既治療非小細胞肺癌に対するイリノテカン+エルロチニブ併用療法の第I相試験.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

32. 青山剛, 瀧口友美, 鈴木賢一, 西尾誠人, 濱敏弘
アムルビシン単剤療法に対する制吐療法の評価.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

33. 堀池篤, 竹内賢吾, 上浪健, 河野裕子, 谷本梓, 鏑木教平, 小林紘, 行徳宏, 西澤弘成, 中富克己, 丹保裕一, 工藤慶太, 柳谷典子, 大柳文義, 萩原佐知子, 元井紀子, 石川雄一, 宝来威, 西尾誠人
RET融合遺伝子陽性肺がんに対するソラフェニブ療法のパイロットスタディ.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

34. 後藤英典, 上原浩文, 森彰平, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄, 工藤慶太, 柳谷典子, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 西尾誠人, 元井紀子, 石川雄一
当院での肺カルチノイド切除例の検討.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

35. 岡崎敏昌, 上原浩文, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄, 工藤慶太, 柳谷典子, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 西尾誠人, 元井紀子, 石川雄一
小細胞肺癌切除例の検討.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

36. 行徳宏, 柳谷典子, 小林紘, 西澤弘成, 上浪健, 丹保裕一, 工藤慶太, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 二宮浩範, 元井紀子, 石川雄一, 西尾誠人
クリゾチニブ投与中に、複雑性腎嚢胞を認めたAnaplastic lymphoma kinase(ALK)肺癌の2例.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

37. 西澤弘成, 柳谷典子, 小林宏, 行徳宏, 上浪健, 丹保裕一, 工藤慶太, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 二宮浩範, 元井紀子, 竹内賢吾, 石川雄一, 西尾誠人
当院におけるALK肺癌に対するクリゾチニブ治療の再燃形式.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

呼吸器外科

1. Uehara, H., Nakao, M., Mun, M., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Okumura, S.
Prognostic and predictive factors for recurrence-free survival in patients with completely resected PN2 non-small cell lung cancer.
15th World Conference on Lung Cancer: Sydney, Australia, 2013

2. 中尾将之, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
PETでSUVmax3.3の集積を認めたpureGGOを含む同時多発肺腺癌の一切除例.
第167回日本肺癌学会関東支部会: 東京, 2013

3. 後藤英典, 中尾将之, 森彰平, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
ALK陽性およびEGFR陽性肺癌が併存した同時多発肺癌の2切除例.
第168回日本肺癌学会関東支部会: 東京, 2013

4. 森彰平, 後藤英典, 中尾将之, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
ALK陽性およびEGFR陽性肺癌が併存した同時多発肺癌の2切除例.
第147回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会: 東京, 2013

5. 文敏景, 奥村栄, 上原浩文, 中尾将之, 松浦陽介, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 中川健
肺癌に対する完全鏡視下手術の工夫 当院におけるThoracoscopic surgery(TS)lobectomyの安全な導入と標準化.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

6. 森彰平, 上原浩文, 後藤英典, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 奥村栄, 中川健, 元井紀子, 石川雄一
大細胞神経内分泌癌の診断と治療方針 大細胞神経内分泌癌切除症例の臨床的検討と手術成績.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

7. 松浦陽介, 後藤英典, 岡崎敏昌, 森彰平, 鮫島譲司, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
2cm以下小型肺癌に対する縮小手術の長期成績.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

8. 上原浩文, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
pN2症例の切除成績.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

9. 中尾将之, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 岡崎敏正, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
非小細胞肺癌の術後再発に対する局所治療の意義.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

10. 後藤英典, 上原浩文, 森彰平, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄, 工藤慶太, 柳谷典子, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 西尾誠人, 元井紀子, 石川雄一
当院での肺カルチノイド切除例の検討.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

11. 岡崎敏昌, 上原浩文, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄, 工藤慶太, 柳谷典子, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 西尾誠人, 元井紀子, 石川雄一
小細胞肺癌切除例の検討.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

12. 鮫島譲司, 上原浩文, 後藤英典, 岡崎敏昌, 森彰平, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
75歳以上高齢者肺癌に対する手術症例の検討.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

13. 文敏景, 奥村栄, 上原浩文, 五来厚生, 中尾将之, 松浦陽介, 岡崎敏昌
安全性と根治性を追求した肺がんに対するThoracoscopic surgeryの成績と教育.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

14. 五来厚生, 岡崎敏昌, 中尾将之, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 奥村栄, 中川健
不全分葉症例に対して前方アプローチにて胸腔鏡下左下葉＋S5合併切除を施行した1手術例.
第30回日本呼吸器外科学会総会: 名古屋市, 2013

15. 上原浩文, 中尾将之, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 五来厚生, 文敏景, 奥村栄, 中川健
Single zone pN2症例の予後に肺門・肺内リンパ節転移状況の与える影響に関する検討.
第30回日本呼吸器外科学会総会: 名古屋市, 2013

16. 松浦陽介, 中尾将之, 岡崎敏昌, 五来厚生, 上原浩文, 文敏景, 奥村栄, 中川健
肺MALT lymphoma切除例の検討.
第30回日本呼吸器外科学会総会: 名古屋市, 2013

17. 文敏景, 奥村栄, 上原浩文, 五来厚生, 中尾将之, 松浦陽介, 岡崎敏昌, 中川健
左舌区肺癌における前方からの胸腔鏡下分岐部リンパ節郭清の工夫と実際.
第30回日本呼吸器外科学会総会: 名古屋市, 2013

18. 奥村栄, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 五来厚生, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健
気管支動脈切離と気管支・血管鞘の切離を意識した肺門・葉間のリンパ節郭清.
第30回日本呼吸器外科学会総会: 名古屋市, 2013

19. 中尾将之, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 五来厚生, 上原浩文, 文敏景, 奥村栄, 中川健
非小細胞肺癌切除例の再発時期について.
第30回日本呼吸器外科学会総会: 名古屋市, 2013

20. 鮫島譲司, 中尾将之, 文敏景, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 後藤英典, 森彰平, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
完全不全分葉と肺静脈共通幹を伴った左下葉肺癌に対する胸腔鏡下葉間形成.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

21. 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 中尾将之, 文敏景, 松浦陽介, 後藤英典, 森彰平, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
当科における胸腔鏡下手術での血管損傷回避の工夫とトラブルシューテイング.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

22. 松浦陽介, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 中尾将之, 文敏景, 後藤英典, 森彰平, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
当科における末梢小型肺病変に対する非侵襲的CTガイド下マーキング法.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

23. 森彰平, 松浦陽介, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 中尾将之, 文敏景, 後藤英典, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
胸腔鏡下摘出術を施行した中縦隔発生神経鞘腫の一例.

第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

24. 松浦陽介, 後藤英典, 岡崎敏昌, 森彰平, 鮫島譲司, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
ALK陽性肺癌健全切除例の検討.
第66回日本胸部外科学会定期学術集会: 仙台市, 2013

25. 岡崎敏昌, 松浦陽介, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
胸膜播種・悪性胸水を伴う肺癌の手術例の検討.
第66回日本胸部外科学会定期学術集会: 仙台市, 2013

26. 文敏景, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 中尾将之, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
ICG Fluorescence Navigation Thoracoscopic Segmentectomyの実際.
第66回日本胸部外科学会定期学術集会: 仙台市, 2013

27. 文敏景, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 中尾将之, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
当院における肺癌に対するThoracoscopic major pulmonaryの成績.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

28. 中尾将之, 文敏景, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
インドシアニングリーン蛍光胸腔鏡を用いた完全鏡視下肺区域切除の実際.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

29. 岡崎敏昌, 奥村栄, 文敏景, 上原浩文, 五来厚生, 中尾将之, 松浦陽介, 中川健
粘液産生腺癌に対する手術手順の工夫.
第30回日本呼吸器外科学会総会: 名古屋市, 2013

消化器内科

1. Hirasawa, T., Hiki, N., Yamamoto, Y., Nunobe, S., Fujisaki, J., Igarashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Laparoscopy and endoscopy cooperative surgery for gastric submucosal tumor located near the esophagogastric junction.
21st United European Gastroenterology UEG Week: Berlin, Germany, 2013

2. Chino, A., Yamamoto, N., Kishihara, T., Uragami, N., Tamegai, Y., Igarashi, M., Kato, Y.
The frequency and clinical characteristics in the carcinoma deriverd from sessile serrated adenoma/polyp(SSAP).
21st United European Gastroenterology UEG Week: Berlin, Germany, 2013

3. Ishiyama, A., Okuno, M., Tomita, A., Osumi, H., Morishige, K., Yoshizawa, N., Horiuchi, Y., Ishikawa, H., Omae, M., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Fujisak, J., Chin, K., Igarashi, M., Mine, S., Yamada, K., Yamamoto, N.
Usefulness of oral prednisolone in the treatment of esophageal stricture after endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal squamous cell carcinoma.
21st United European Gastroenterology UEG Week: Berlin, Germany, 2013

4. Matsuyama, M., Todaka, A., Nakamori, S., Ikeda, M., Furuse, J., Hara, H., Okuno, T., Okusaka, T., Ishii, H., Yamanaka, T., Boku, N., Fukutomi, A.
A phase II study of S-1 plus leucovorin as first-line for metastatic pancreatic cancer.
21st United European Gastroenterology UEG Week: Berlin, Germany, 2013

5. Suzuki, S., Chino, A., Kishihara, T., Uragami, N., Tamegai, Y., Igarashi, M.
Risk factors for bleeding after endoscopic submucosal dissection of colorectal neoplasms.
21st United European Gastroenterology UEG Week: Berlin, Germany, 2013

6. Kumekawa, Y., Chin, K., Osumi, H., Ogura, M., Ozaka, M., Suenaga, M., Shinozaki, E., Matsusaka, S., Sano, T., Mizunuma, N.
Survival analysis of linits plastica advanced gastric cancer patients receiving S-1 plus cisplatin
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA,

2013

7. Shinozaki, E., Yamamoto, N., Saiura, A., Sano, T., Chin, K., Ogura, M., Matsusaka, S., Suenaga, M., Ozaka, M., Mizunuma, N.
Concordance of HER2 and its related molecules between primary and paired liver metastatic sites in gastric cancer.
49th ASCO Annual Meeting: Chicago,USA, 2013

8. Suenaga, M., Mizunuma, N., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ozaka, M., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, T.
A phase II study of oxaliplatin reintroduction in patients pretreated with oxaliplatin and irinotecan for advanced colorectal cancer (RE-OPEN study): Reports of interim analysis.
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2013

9. Yamamoto, N., Kudo, K., Nishio, M., Murakami, H., Yamamoto, N., Kaneda, H., Nakagawa, K., Tamura, T.
Phase I study of HER3 targeted antibody patritumab (U3-1287) in combination with erlotinib in Japanese patients with non-small cell lung cancer (NSCLC).
AACR-NCI-EORTC International Conference on Molecular Targets and Cancer Therapeutics: Boston, USA, 2013

10. Fujisaki, J., Omae, M., Yamamoto, N.
How to detect and diagnose superficial Barrett's esophageal adenocarcinoma? Endoscopic detection of superficial Barrett's adenocarcinoma.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

11. Matsuyama, M., Ishii, H., Yukisawa, S., Ozaka, M., Inoue, D., Yamada, I., Takano, K.
Progression of pancreatic cancer with lung metastasis is relatively slow.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

12. Kumekawa, Y., Chin, K., Osumi, H., Ogura, M., Ozaka, M., Suenaga, M., Shinozaki, E., Matsusaka, S., Sano, T., Mizunuma, N.
Survival analysis of linitis plastica advanced gastric cancer.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

13. 大前雅実, 藤崎順子, 清水智樹, 吉澤奈津子, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広, 峯真司, 山田和彦, 山本智理子
GERD、バレット食道をめぐる診断と治療　新しい試み バレット食道腺癌の早期発見　SSBEとLSBEの違いを中心に.
第67回食道学会学術集会: 大阪市, 2013

14. 石山晃世志, 土田知宏, 清水智樹, 堀内裕介, 松尾康正, 大前雅実, 陳勁松, 峯真司, 山田和彦, 山本智理子
ESDを施行した胸部食道異所性胃粘膜に発生した食道腺腫の1例.
第67回食道学会学術集会: 大阪市, 2013

15. 石山晃世志, 土田知宏, 松尾康正, 大前雅実, 藤崎順子, 篠崎英司, 上野雅資, 小林真, 本間清明
細径スコープ用エンドナイフを用いた食道ESD.
第67回食道学会学術集会: 大阪市, 2013

16. 松阪諭
がんの分子標的治療の現状と将来展望 胃癌における分子標的治療薬と血中循環がん細胞の役割.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

17. 菅沼孝紀, 藤崎順子, 岡本恒平, 清水智樹, 堀内裕介, 石川寛高, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
HP除菌後の胃癌の特徴とサーベイランス 早期胃癌ESD後のH.pylori除菌後異時多発胃癌の検討.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

18. 平澤俊明, 山本頼正, 藤崎順子
未分化型早期胃癌の診断とESDの適応 未分化型微小胃癌の臨床像の検討.
第99回日本消化器病学会総会: 鹿児島市, 2013

19. 大前雅実, 藤崎順子, 五十嵐正広
バレット食道癌における酸・アルカリ逆流の意義.
第100回日本消化器病学会総会: 東京, 2013

20. 千野晶子, 五十嵐正広, 岸原輝仁, 宮本勇治, 浦上尚之, 為我井芳郎, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 上野雅資
大腸カルチノイドとGISTの治療戦略 直腸カルチノイド腫瘍における粘膜下層剥離術(ESD)の適応病変.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

21. 宮本勇治, 千野晶子, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 上野雅資
高圧酸素療法が有用であった放射線性腸炎(潰瘍形成)の3例.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

22. 水沼信之, 植竹宏之, 玉川浩司, 絹笠祐介, 望月泉, 島田安博, 高橋慶一, 安野正道, 山本順司, 渡邊聡明, 亀岡信悟, 馬場秀夫, 室圭, 石黒めぐみ, 杉原健一, TRICCstudygroup
大腸癌肝転移に対する集学的治療戦略 大腸癌肝転移H2・H3に対するmFOLFOX6+bevacizumab療法後の肝切除の有効性と安全性の検討に関する第II相臨床試験(TRICC0808試験).
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

23. 千野晶子, 新井正美, 鈴木翔, 谷口智香, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸癌高危険群における大腸内視鏡サーベイランスの重要性.
第19回日本家族性腫瘍学会学術集会: 別府市, 2013

24. 菅沼孝紀, 千野晶子, 谷口智香, 鈴木翔, 森重健二郎, 加藤薫, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
結腸の粘膜下腫瘍に対してESDによる摘除生検を行った3例.
第96回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

25. 大前雅実, 藤崎順子, 山本智理子
バレット食道腺癌のスクリーニングをどのようにするか バレット食道腺癌の早期発見　SSBEとLSBEの違いを中心に.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

26. 平澤俊明, 比企直樹, 山本頼正
胃粘膜下腫瘍の臨床的取り扱い 噴門部胃粘膜下腫瘍に対するLaparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery(LECS)の検討.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

27. 山本頼正, 藤崎順子, 平澤俊明
胃ESDにおける偶発症を予防するための施策 早期胃癌ESDにおける術中出血の対策.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

28. 石山晃世志, 土田知宏, 清水智樹, 岡本恒平, 富田英臣, 堀内裕介, 吉澤奈津子, 松尾康正, 大前雅実, 檀清寿, 平澤俊明, 山本頼正, 藤崎順子, 五十嵐正広, 川端一嘉, 山本智理子
経口内視鏡検査におけるValsalva法を用いた観察法.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

29. 山本頼正, 藤崎順子, 五十嵐正広
上部内視鏡検査時の片手左右アングル操作の有用性.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

30. 岡本恒平, 山本頼正, 清水智樹, 富田英臣, 吉澤奈津子, 堀内裕介, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田智宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
早期胃癌の内視鏡切除症例における同時多発病変の検討.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

31. 菅沼孝紀, 千野晶子, 谷口智香, 森重健二郎, 鈴木翔, 加藤薫, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸内視鏡治療における偶発症の検討.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

32. 大前雅実, 藤崎順子, 山本智理子
Barrett食道腺癌の診断と治療 表在型バレット食道癌の扁平上皮下進展の臨床的検討.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

33. 千野晶子, 鈴木翔, 谷口智香, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 山本智理子
serrated lesionにおける拡大内視鏡観察の必要性.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

34. 三木一正
胃がんリスク検診(ABC検診）の現状と展望.
横浜市神奈川区医師会学術講演会: 横浜市, 2013

35. 三木一正
胃がんリスク検診(ABC検診）の現状と今後の展望.
市川市医師会講演会: 市川市, 2013

36. 三木一正
胃がんリスク検診(ABC検診）の現状と今後の展望.
調布市医師会講演会: 調布市, 2013

37. 菅沼孝紀
H.pylori診療の最前線.
第5回有明消化器セミナー: 東京, 2013

38. 菅沼孝紀
H.pylori　感染胃炎の除菌に関する最新情報の提供.
西臼杵郡医師会講演会: 高千穂町, 2013

39. 菅沼孝紀, 千野晶子, 小倉淳, 清水智樹, 岡本恒平, 冨田英臣, 谷口智香, 鈴木翔, 加藤薫, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
直腸カルチノイド腫瘍における粘膜下層剥離術（ESD)の適応病変.
第97回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

40. 石山晃世志, 土田知宏, 松尾康正, 大前雅実, 藤崎順子
咽頭・食道EMR/ESD-根治性と安全性への工夫-：細径スコープ用エンドナイフを用いた食道ESD.
第13回EMR/ESD研究会: 東京, 2013

41. 石山晃世志
当科での咽喉頭領域における内視鏡診断・治療の実際.
第7回江東区医師会医学会: 東京, 2013

42. 千野晶子
大腸カルチノイドの取扱い.
第2回江東区内視鏡研究会: 東京, 2013

43. 藤崎順子
早期胃癌の内視鏡診断・治療.
第25回日本消化器内視鏡学会関東セミナー: 東京, 2013

44. 藤崎順子
バレット食道癌の内視鏡診断と治療.
第18回倉敷GRED研究会: 倉敷市, 2013

45. 藤崎順子
拡大内視鏡で未分化癌は見えるのか？.
第13回消化管疾患研究会: 熊本市, 2013

46. 藤崎順子
胃癌の拡大内視鏡診断.
第７回長野拡大内視鏡研究会: 長野市, 2013

47. 藤崎順子
症例から学ぶ:上部消化管　「胃癌の拡大観察」.
第97回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

48. 平澤俊明
未分化型早期胃癌の診断と内視鏡治療.
第6回仁戸名地区消化器疾患勉強会: 千葉市, 2013

49. 平澤俊明
症例セッション「上部消化管（胃）」症例提示.
第96回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

50. 冨田明彦, 山本頼正, 大隅寛木, 奥野真理, 森重健二郎, 石川寛高, 吉澤奈津子, 堀内裕介, 大前雅実, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
粘膜下腫瘍様の形態を呈した十二指腸粘膜内癌の1例.
第97回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

51. 石井浩
膵・胆道癌化学療法の現状と展望：ASCO Feedbackを含めて.
第25回日本肝胆膵外科学術集会: 宇都宮市, 2013

消化器外科

1. Sano, T.
   Optimal approach to carcinoma of the esophagogastric junction.
   HongKong Surgical Forum-Winter 2013: Hong Kong, 2013

2. Sano, T.
   D2 total gastrectomy and splenectomy.
   HongKong Surgical Forum-Winter 2013: Hong Kong, 2013

3. Sano, T.
   Treatment strategy for resectable gastric cancer.
   KAU International Oncology Conference 2013: Jeddah, Saudi Arabia, 2013

4. Sano, T.
   Management of resectable gastric cancer.
   ASCO GI Cancer Symposium: San Francisco, USA, 2013

5. Sano, T.
   Background,evidence base and the role of D2,D1+and pylorus preserving gastrectomy in gastric cancer.
   2nd Nordic course in D2-gastrectomy: Stockholm, Sweden, 2013

6. Sano, T.
   Preoperative staging and therapeutic strategies-surgical and adjuvant options.
   2nd Nordic course in D2-gastrectomy: Stockholm, Sweden, 2013

7. Sano, t.
   Techniques of D2,D1+and pylorus preserving gastrectomy in gastric cancer.
   2nd Nordic course in D2-gastrectomy: Stockholm, Sweden, 2013

8. Sano, T.
   Freeze-frame video session : D2,D1+and pylorus preserving gastrectomy.
   2nd Nordic course in D2-gastrectomy: Stockholm, Sweden, 2013

9. Sano, T.
   Summarizing video session.
   2nd Nordic course in D2-gastrectomy: Stockholm, Sweden, 2013

10. Sano, T.
    IGCA gastric cancer staging : Towards the next TNM classification.
    10th International Gastric Cancer Congress: Verona, Italy, 2013

11. Sano, T.
    The near future in GC there is road for consensus.
    10th International Gastric Cancer Congress: Verona, Italy, 2013

12. Sano, T.
    Treatment for advanced resectable GC.
    10th International Gastric Cancer Congress: Verona, Itary, 2013

13. Sano, T.
    Training of gastric cancer surgery ; Current and future.
    19th Asian Congress of Surgery & 1st Singhealth Surrgical Congress: Singapore, 2013

14. Sano, T.
    What is the best staging system for gastric cancer?
    19th Asian Congress of Surgery & 1st Singhealth Surrgical Congress: Singapore, 2013

15. Sano, T.
    Gastric cancer staging and treatment.
    Annual Scientific Meeting of the Malaysian Society of Gastroenterology and Hepatology: Kuala Lumpur, Malaysia, 2013

16. Sano, T.
    Gastroesophageal tumour : Treat as esophageal or gastric malignancy.
    Annual Scientific Meeting of the Malaysian Society of Gastroenterology and Hepatology: Kuala Lumpur, Malaysia, 2013

17. Sano, T.
    Evidence on multimodality treatment for carcinoma somach.

XXIII Annual Meeting of the Indian Association of the Surgical Gastroenterology (IASGCON): Kolkata, India, 2013

18. Sano, T.
Seeking the best staging systemu for gastric cancer.
XXIII Annual Meeting of the Indian Association of the Surgical Gastroenterology (IASGCON): Kolkata, India, 2013

19. Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Ueno, M., Muto, T.
Postoperative ouctome of positive peritioneal cytology in colorectal cancer.
American Society of Colon & Rectal Surgeons(ASCRS) Annual Meeting: Phoenix, USA, 2013

20. Nunobe, S., Hiki, N., Chiba, S., Tanimura, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Validation of indication for laparoscopic gastrectomies for clinical early gastric cancer, based on short-and longterm outcomes of 949 cases in a high-volume cancer center.
10the International Gastric Cancer Congress: Verona, Italy, 2013

21. Mine, S., Sano, T., Hiki, N., Yamada, K., Nunobe, S., Watanabe, M., Yamaguchi, T.
Thoracic lymph node involvement in adenocarcinoma of the esophagogastric junction relative to the loction of the proximal end of the tumor.
Congress of the European Society for diseases of the esophagus (ESDE): Rotterdam, Netherlands, 2013

22. Arita, J.
Usefulness of CE-IOUS using perflubutane with routine preoperative gadoxetate-enhanced MRI and contrast-enhanced CT for colorectal liver metastasis: a prospective study.
Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL) Liver Week: Singapore, 2013

23. Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Muto, T.
Prediction of lateral pelvic lymph node metastasis and recurrence by MECT in patients with advanced low rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy.
American Society of Colon & Rectal Surgeons(ASCRS) Annual Meeting: Phoenix, USA, 2013

24. Akiyoshi, T.
Laparoscopic TME and selective lateral pelvic lymph node dissection for advanced low rectal cancer.
23rd World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists (IASGO): Bucharest, Romania, 2013

25. Kosuga, T., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Tanimura, S., Honda, M., Kiyokawa, T., Tanaka, Y., Irino, T., Chiba, T., Hashimoto, Y., Sano, T., Yamaguchi, T.
Nutritional impact of laparoscopy-assisted subtotal gastrectomy for early gastric cancer in the upper stomach.
10th International Gastric Cancer Congress: Verona, Italy, 2013

26. Irino, T., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Tanimura, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Gastric stump cancer and the 7th edition TNM classification.
10th International Gastric Cancer Congress: Verona, Italy, 2013

27. Honda, M., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Kiyokawa, T., Sano, T., Yamaguchi, T.
Long-term and surgical outcomes of laparoscopic surgery for gastric GISTs.
10the International Gastric Cancer Congress: Verona, Italy, 2013

28. Kumagai, K., Hiki, N., Nunobe, S., Tanimura, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Potentially fatal complictions for elderly patients after laparoscopy-assisted distal gastrectomy.

10th International Gastric Cancer Congress: Velona, Italy, 2013

29. Konishi, T.
Indication and Surgical techniques for laparoscopici intersphincteric resection.
32nd Annual Congress of the Korean Society of Endoscopic and Laparoscopy Surgeons and 2013 International Symposium Seoul, Korea, 2013

30. Konishi, T.
Clinical forum-TME, fascia and dissection plane.
Surgical Leaders' Summit 2013: Seoul, Korea, 2013

31. Fukunaga, Y.
New technique of one-piece resection to colorectal tumor under laparoscopy and endoscopy co-operatively – Laparoscopy/Endoscopy Co-operative Surgery to colorectal tumor (LECS-CR).
Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons (SAGES): Baltimore, USA, 2013

32. 佐野武
How to use irradiation in potentially curable gastric cancer? ：A Japanese viewpoint.
JDDW 2013（第21回消化器関連学会週間）：東京, 2013

33. 比企直樹
統合して栄養管理ができる管理栄養士を目指して：栄養士を病棟に常駐する意義：新しい上部消化器癌の周術期栄養管理を考える.
第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会：金沢市, 2013

34. 峯真司, 比企直樹, 中濱孝志
消化器癌治療における栄養管理：食道癌周術期管理における経腸栄養について.
第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会：金沢市, 2013

35. 高橋祐, 有田淳一, 齋浦明夫
血管合併切除を伴う胆道癌手術の手技の工夫：肝門部胆管癌に対する血管合併切除の成績.
第49回日本胆道学会学術集会：浦安市, 2013

36. 渡邊良平
腹腔鏡下胃切除の手技の定型化と教育の重要性.
第33回東邦大学医療センター大橋病院外科集団会：東京, 2013

37. 山田和彦, 峯真司, 原田和人, 大矢周一郎, 堀口寛之, 比企直樹, 布部創也, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴
後縦隔挙上胸腔内吻合と頸部吻合縫合不全に対する現状とチャレンジ.
第67回食道学会学術集会：大阪市, 2013

38. 原田和人, 大矢周一郎, 峯真司, 山田和彦
食道原発悪性黒色腫の12例　手術成績とPET-CTの有用性.
第67回食道学会学術集会：大阪市, 2013

39. 峯真司, 原田和人, 大矢周一郎, 山田和彦
食道胃接合部腺癌手術における口側断端距離の意義.
第67回食道学会学術集会：大阪市, 2013

40. 堀口寛之, 山田和彦, 大矢周一郎, 原田和人, 峯真司
食道内分泌細胞癌のリンパ節再発に対して胸腔鏡下リンパ節切除術を施行した1例.
第67回食道学会学術集会：大阪市, 2013

41. 大矢周一郎, 山田和彦, 峯真司, 原田和人, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
食道術後の中長期経過における肺炎発生リスク因子の検討.
第67回食道学会学術集会：大阪市, 2013

42. 和田由美恵, 山田和彦, 原田和人, 峯真司, 比企直樹, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
胃癌術後に縦隔リンパ節の孤立性再発を認めた1例.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

43. 菅原弘太郎, 山田和彦, 峯真司, 原田和人, 布部創也, 比企直樹, 谷村慎哉, 佐野武, 有田淳一, 古賀倫太郎, 齋浦明夫, 山口俊晴
胃癌、食道癌、膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)三重複癌に対しての同時切除例.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

44. 大矢周一郎, 原田和人, 峯真司, 山田和彦
StageIV食道腺癌に対しFOLFOX療法の後に食

道切除を施行した一例.
第161回日本胸部外科学会関東甲信越地方会: 高崎市, 2013

45. 佐野武
開腹胃癌手術における手術基本手技　正確で安全なD2郭清のための基本.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

46. 清川貴志, 比企直樹, 布部創也, 谷村愼哉, 山田和彦, 峯真司, 千葉丈広, 小菅敏幸, 橋本佳和, 田中友理, 入野誠之, 本多通孝, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術におけるリンパ節郭清のコツ：膵上縁リンパ節郭清における十二指腸離断のタイミングを考える.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

47. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 清川貴志, 田中友理, 入野誠之, 本多通孝, 千葉丈広, 橋本佳和, 峯真司, 山田和彦, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術における再建手技：デルタ吻合を用いた完全腹腔鏡下幽門保存胃切除術.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

48. 橋本佳和, 布部創也, 比企直樹, 田中友理, 入野誠之, 本多通孝, 清川貴志, 千葉丈広, 小菅敏幸, 峯真司, 山田和彦, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術におけるPitfall：当院における腹腔鏡下胃切除術におけるPitfallの対処法.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

49. 田中友理, 布部創也, 比企直樹, 本多通孝, 入野誠之, 清川貴志, 千葉丈広, 小菅敏幸, 橋本佳和, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
胃癌術後縫合不全に対する経腸栄養療法.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

50. 布部創也, 比企直樹, 谷村愼哉, 峯真司, 山田和彦, 佐野武, 山口俊晴
早期上部胃癌に対する手術術式の選択　残胃を小さく残した腹腔鏡下幽門側胃切除Roux-Y再建の工夫.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

51. 橋本佳和, 比企直樹, 布部創也, 田中友理, 入野誠之, 本多通孝, 清川貴志, 千葉丈広, 小菅敏幸, 峯真司, 山田和彦, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
胃癌の幽門側胃切除術におけるH.pylori除菌法の検討.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

52. 清川貴志, 布部創也, 比企直樹, 谷村愼哉, 山田和彦, 峯真司, 千葉丈広, 小菅敏幸, 橋本佳和, 田中友理, 入野誠之, 本多通孝, 佐野武, 山口俊晴
超高齢者に対する胃癌手術の安全性の検討.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

53. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 谷村愼哉, 清川貴志, 入野誠之, 田中友理, 千葉丈広, 佐野武, 山口俊晴
5cm未満の胃GISTに対する切除成績.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

54. 入野誠之, 比企直樹, 布部創也, 谷村愼哉, 佐野武, 千葉丈広, 橋本佳和, 小菅敏幸, 清川貴志, 本多通孝, 田中友理, 山口俊晴
早期残胃癌に対する残胃遠位側切除術の妥当性.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

55. 千葉丈広, 比企直樹, 布部創也, 小菅敏幸, 橋本佳和, 入野誠之, 清川貴志, 田中友里, 本多通孝, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
当院における胃癌に対する腹腔鏡下胃切除後の再発例の検討.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

56. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 清川貴志, 田中友理, 入野誠之, 本多通孝, 千葉丈広, 橋本佳和, 峯真司, 山田和彦, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
上部早期胃癌に対する腹腔鏡下胃亜全摘術　腹腔鏡補助下胃全摘術との比較検討.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

57. 谷村愼哉, 比企直樹, 布部創也, 本多通孝, 入野誠之, 田中友理, 清川貴志, 千葉丈広, 小菅敏幸, 橋本佳和, 佐藤崇文, 佐野武, 山口俊晴, 東野正幸
腹腔鏡下胃癌手術における術中偶発症とその対策.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

58. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 三浦昭順, 草薙洋, 錦織達人, 加藤剛, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴
上部消化管術後の後遺症状に関する調査研究.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

59. 齋浦明夫
非大腸癌非神経内分泌腫瘍肝転移に対する肝切除の適応とタイミング.
第25回日本肝胆膵外科学会学術集会: 宇都宮市, 2013

60. 高橋道郎, 齋浦明夫, 鈴木文武, 佐藤崇文, 小野嘉大, 井上陽介, 有田淳一, 古賀倫太郎, 高橋祐
多発性肝転移に対する治療戦略：10個以上の多発性肝転移に対する積極的な外科治療について.
第25回日本肝胆膵外科学会学術集会: 宇都宮市, 2013

61. 齋浦明夫, 古賀倫太郎, 高橋佑, 有田淳一, 高橋道郎, 井上陽介, 坂本太郎, 小野嘉大
転移性肝癌における手術適応とタイミング：Not optimally resectable症例をどうするか.
第25回日本肝胆膵外科学会学術集会: 宇都宮市, 2013

62. 有田淳一, 小野嘉大, 高橋道郎, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐, 古賀倫太郎, 斎浦明夫
ICG蛍光法と術中造影超音波を併用した確実な肝系統的切除.
第25回日本肝胆膵外科学会学術集会: 宇都宮市, 2013

63. 佐藤崇文, 齋浦明夫, 古賀倫太郎, 高橋祐, 有田淳一, 井上陽介, 高橋道郎, 坂本太郎, 小野嘉大
当院での腹腔鏡下膵体尾部切除術.
第25回日本肝胆膵外科学会学術集会: 宇都宮市, 2013

64. 井上陽介, 齋浦明夫, 小野嘉大, 佐藤崇文, 坂本太郎, 高橋道郎, 有田淳一, 高橋祐, 古賀倫太郎, 山口俊晴
術中超音波Air Cholangiographyを併用した肝切除.
第25回日本肝胆膵外科学会学術集会: 宇都宮市, 2013

65. 坂本太郎, 齋浦明夫, 古賀倫太郎, 高橋祐, 有田淳一, 高橋道郎, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文
原発性十二指腸癌50切除例の臨床成績.
第25回日本肝胆膵外科学会学術集会: 宇都宮市, 2013

66. 小野嘉大, 斎浦明夫, 古賀倫太郎, 有田淳一, 高橋祐, 井上陽介, 高橋道郎, 佐藤崇文, 坂本太郎
大腸癌同時性肝転移の治療戦略.
第25回日本肝胆膵外科学会学術集会: 宇都宮市, 2013

67. 高橋祐, 古賀倫太郎, 有田淳一, 小野嘉大, 高橋道郎, 井上陽介, 佐藤崇文, 鈴木文武, 齋浦明夫
左肝切除・膵頭十二指腸切除(Lt-HPD)、右肝動脈合併切除再建を施行した上中部胆管癌の一切除例.
第25回日本肝胆膵外科学会学術集会: 宇都宮市, 2013

68. 佐野武
進行胃癌に対する集学的治療の標準化に向けて：切除可能進行胃癌に対する集学的治療：世界の動向.
第99回日本消化器病学会総会: 鹿児島市, 2013

69. 比企直樹
胃癌に対するロボット手術、内視鏡外科の現況と将来：当院における胃癌に対する腹腔鏡手術の現況と将来展望.
第99回日本消化器病学会総会: 鹿児島市, 2013

70. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 山川景子, 五十嵐正広, 千野晶子, 為我井芳郎, 武藤徹一郎, 山口俊晴
大腸癌取扱規約におけるリンパ節転移分類の妥当性に関する検討.
第76回大腸癌研究会: 宇都宮市, 2013

71. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 池田篤志, 向井俊貴, 千野晶子, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 山本智理子, 石川雄一, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
局所切除不能進行直腸癌におけるconversion症例の検討.
第77回大腸癌研究会: 東京, 2013

72. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 五十嵐正広, 為我井芳郎, 浦上尚之, 千野晶子, 岸原輝仁, 篠崎英司, 松阪諭, 水沼信之, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法の治療成績と再発形式の検討.
第78回大腸癌研究会: 東京, 2013

73. 向井俊貴, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 五十嵐正広, 為我井芳郎, 浦上尚之, 千野晶子, 岸原輝仁, 水沼信之, 松阪諭, 篠崎英司, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎

進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法の病理学的効果と肛門温存への寄与に関する検討.
第78回大腸癌研究会: 東京, 2013

74. 池田篤志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 五十嵐正広, 為我井芳郎, 浦上尚之, 千野晶子, 岸原輝仁, 水沼信之, 松阪諭, 篠崎英司, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法の合併症の検討と長期予後との関連.
第78回大腸癌研究会: 東京, 2013

75. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿矢, 永田淳, 池田篤志, 向井俊貴, 大野吏輝, 友利賢太, 五十嵐正広, 為我井芳郎, 浦上尚之, 千野晶子, 岸原輝仁
外科か内科か?早期直腸癌の治療選択 当院における早期直腸癌(cM/cSMN0)に対するT(S)MEの治療成績.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

76. 大野吏輝, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 長崎寿矢, 永田淳, 池田篤志, 向井俊貴
大腸カルチノイドとGISTの治療戦略 直腸カルチノイドの治療戦略　リンパ節転移リスクに基づく適正な治療選択.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

77. 向井俊貴, 福長洋介, 大野吏輝, 池田篤志, 友利賢太, 長嵜寿矢, 永田淳, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 山口俊晴
大腸癌に対する腹腔鏡下手術：MPS vs RPS vs Robot S状結腸癌および直腸癌に対するReduced port surgery(RPS)の治療成績.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

78. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 五十嵐正広, 浦上尚之, 千野晶子, 岸原輝仁, 武藤徹一郎
直腸癌に対する集学的治療戦略：がん研の直腸癌に対する集学的治療戦略：術前化学放射線療法の長期成績と今後の課題.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 消化器外科, 2013

79. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 池田篤志, 大野吏輝, 友利賢太, 永田淳, 向井俊貴, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
大腸癌の術前化学療法 当科における結腸癌/上部直腸癌の術前化学放射線療法施行例の検討.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

80. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 岸原輝仁, 千野晶子, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
腹膜播種を伴うStageIV大腸癌(156例)の手術治療.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

81. 永田淳, 福長洋介, 池田篤志, 大野吏輝, 友利賢太, 長嵜寿也, 向井俊貴, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 山口俊晴
当院における脾彎曲部大腸癌に対する腹腔鏡下手術手技の検討.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

82. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 永田淳, 大野吏輝, 山口俊晴
結腸癌及びRS直腸癌における主リンパ節転移陽性症例の検討.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

83. 友利賢太, 藤本佳也, 池田篤志, 大野吏輝, 向井俊貴, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 岸原輝仁, 千野晶子, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
長期生存が得られた、大動脈周囲リンパ節転移を伴う局所進行S状結腸癌の一例.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

84. 比企直樹
腹腔鏡下胃切除術(LAG)基本の(き):デバイスの使い方とそのコツ.
第38回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2013

85. 武藤徹一郎
黎明期の大腸外科.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市,

2013

86. 山口俊晴
医療経済学からみた外科診療：医療の質を中心に 外科医療技術の評価：外保連の取り組み.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

87. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 有田淳一, 峯真司, 布部創也, 古賀倫太郎, 高橋祐, 山田和彦, 谷村慎哉, 比企直樹, 齋浦明夫, 佐野武, 武藤徹一郎, 山口俊晴
直腸癌に対する腹腔鏡下手術：術式の工夫と合併症防止の試み：進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術：術前化学放射線療法・側方郭清の術後成績と安全な手技のポイント.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

88. 高橋道郎, 齋浦明夫, 鈴木文武, 佐藤崇文, 小野嘉大, 井上陽介, 有田淳一, 古賀倫太郎, 高橋祐, 福長洋介, 山口俊晴
肝静脈解剖に注目した肝切除：大腸癌肝転移に対する肝切除における肝静脈切除の適応とその再建法.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

89. 橋本佳和, 布部創也, 比企直樹, 谷村愼哉, 本多通孝, 小菅敏幸, 千葉丈広, 高橋祐, 有田淳一, 秋吉高志, 小西毅, 峯真司, 藤本佳也, 長山聡, 古賀倫太郎, 福長洋介, 山田和彦, 斎浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃全摘術における再建の工夫：腹腔鏡下胃全摘術における再建の工夫：当院における食道空腸吻合手技.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

90. 小野嘉大, 斎浦明夫, 古賀倫太郎, 有田淳一, 高橋祐, 吉岡龍二, 竹村信行, 高橋道郎, 井上陽介, 佐藤崇文, 鈴木文武, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福永洋介, 上野雅資, 山口俊晴
同時性多臓器転移を有する大腸癌の治療戦略：大腸癌同時性多臓器転移に対する局所療法の限界.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

91. 齋浦明夫, 古賀倫太郎, 竹村信行, 高橋祐, 有田淳一, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋道郎, 比企直樹, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴
胃癌肝転移に対する治療戦略：胃癌肝転移に対する肝切除の適応と予後.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

92. 原田和人, 山田和彦, 峯真司, 大矢周一郎, 比企直樹, 布部創也, 谷村慎哉, 斎浦明夫, 古賀倫太郎, 有田淳一, 高橋祐, 上野雅資, 福永洋介, 長山聡, 小西毅, 藤本佳也, 秋吉高志, 佐野武, 山口俊晴
術後深部静脈血栓・塞栓症の予防・診断・治療：食道癌切除後のVTE予防に対するフォンダパリヌクスとエノキサパリンの使用経験.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

93. 入野誠之, 比企直樹, 布部創也, 谷村慎哉, 佐野武, 千葉丈広, 橋本佳和, 小菅敏幸, 清川貴志, 本多通孝, 田中友理, 山口俊晴
術後深部静脈血栓・塞栓症の予防・診断・治療：胃切除周術期における術後深部静脈血栓・肺塞栓症とその対策.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

94. 比企直樹, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴, 谷村愼哉, 山田和彦, 峯真司, 齋浦明夫, 上野雅資, 福長洋介, 熊谷厚志
幽門側胃切除術後の再建法<Billroth I法 vs.Roux-en-Y法> <Roux-en-Y法>Billroth I法vs.Roux-en-Y法：再建を選択する基準となる根拠は?
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

95. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 谷村愼哉, 峯真司, 山田和彦, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 高橋祐, 有田淳一, 古賀倫太郎, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃全摘術におけるリンパ節郭清と再建手技.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

96. 高橋祐, 古賀倫太郎, 有田淳一, 小野嘉大, 高橋道郎, 井上陽介, 佐藤崇文, 鈴木文武, 比企直樹, 上野雅資, 佐野武, 齋浦明夫, 山口俊晴

肝門部胆管癌に対する血管合併切除の成績.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

97. 大野吏輝, 福長洋介, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 峯真司, 山田和彦, 高橋祐, 有田淳一, 古賀倫太郎, 齋浦明夫, 布部創也, 比企直樹, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴
直腸癌に対するNeedlescopic surgery.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

98. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 古賀倫太郎, 斉浦明夫, 有田淳一, 高橋祐, 峯真司, 山田和彦, 布部創也, 比企直樹, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下右側結腸切除のリンパ節郭清.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

99. 千葉丈広, 比企直樹, 布部創也, 小菅敏幸, 橋本佳和, 高橋祐, 秋吉高志, 谷村慎哉, 峯真司, 長山聡, 有田淳一, 小西毅, 藤本佳也, 古賀倫太郎, 山田和彦, 福長洋介, 上野雅資, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術における十二指腸を先行離断しない左側アプローチについて：利点と欠点.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

100. 峯真司, 山田和彦, 原田和人, 大矢周一郎, 布部創也, 谷村慎哉, 比企直樹, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 藤本佳也, 有田淳一, 高橋祐, 古賀倫太郎, 齋浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
当院における胸腔鏡下食道切除術の工夫.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

101. 布部創也, 比企直樹, 谷村慎哉, 峯真司, 山田和彦, 古賀倫太郎, 有田淳一, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 斎浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
胃腫瘍性病変に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除(LECS)の有用性　早期胃癌への適応拡大を目指して.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

102. 長山聡, 末永光邦, 水沼信之, 上野雅資, 福長洋介, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 古賀倫太郎, 齋浦明夫, 布部創也, 比企直樹, 谷村慎哉, 山田和彦, 峯真司, 佐野武, 山口俊晴
術前FOLFOX4+BV療法が著効し、腹腔鏡下で切除し得たMarginally resectable StageIIIb大腸癌の一例.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

103. 山田和彦, 峯真司, 原田和人, 比企直樹, 布部創也, 大矢周一郎, 谷村慎哉, 斎浦明夫, 古賀倫太郎, 上野雅資, 福長洋介, 秋吉高志, 藤本佳也, 小西毅, 長山聡, 高橋祐, 有田淳一, 佐野武, 山口俊晴
80歳以上の超高齢者食道癌の治療.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

104. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 佐野武, 谷村慎哉, 峯真司, 山田和彦, 上野雅資, 齋浦明夫, 山口俊晴
幽門保存胃切除術の術後症状とQOL　定型手術との比較.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

105. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 峯真司, 山田和彦, 布部創也, 比企直樹, 谷村慎哉, 高橋祐, 有田淳一, 古賀倫太郎, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
当院における腹会陰式直腸切断術の検討　開腹と腹腔鏡手術の比較.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

106. 池田篤志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 峯真司, 山田和彦, 有田淳一, 古賀倫太郎, 高橋祐, 齋浦明夫, 布部創也, 谷村慎哉, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
当科における腹腔鏡下直腸手術後のSSI頻度と問題点の検討.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

107. 永田淳, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 布部創也, 古賀倫太郎, 峯真司, 山田和彦, 比企直樹, 谷村慎哉, 斎浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
大腸癌StageII/III症例における術中腹腔洗浄細

胞診陽性症例の検討.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

108. 秋吉高志, 藤本佳也, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 長嵜寿矢, 永田淳, 池田篤志, 向井俊貴, 布部創也, 比企直樹, 谷村慎哉, 峯真司, 山田和彦, 有田淳一, 古賀倫太郎, 高橋祐, 斉浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
下部直腸癌に対する内肛門括約筋切除術(ISR)の根治性に関する検討.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

109. 有田淳一, 小野嘉大, 高橋道郎, 井上陽介, 佐藤崇文, 古賀倫太郎, 比企直樹, 上野雅資, 佐野武, 齋浦明夫, 山口俊晴
大腸癌肝転移患者に対する術前Gd-EOB-DTPA造影MRIとソナゾイド使用術中造影超音波の有用性を検討する前向き臨床試験.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

110. 鈴木文武, 齋浦明夫, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋道郎, 有田淳一, 古賀倫太郎, 高橋祐, 比企直樹, 山口俊晴
膵神経内分泌腫瘍切除例についての臨床病理学的検討.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

111. 田中友理, 布部創也, 比企直樹, 谷村慎哉, 橋本佳和, 小菅敏幸, 千葉丈広, 高橋祐, 有田淳一, 秋吉高志, 小西毅, 峯真司, 藤本佳也, 長山聡, 古賀倫太郎, 福長洋介, 山田和彦, 齋浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
胃癌術後縫合不全に対する経腸栄養療法.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

112. 向井俊貴, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 峰真司, 山田和彦, 有田淳一, 古賀倫太郎, 高橋祐, 齋浦明夫, 布部創也, 谷村慎哉, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
80歳以上の超高齢者に対する腹腔鏡下大腸癌手術の適応と安全性.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

113. 井上陽介, 斎浦明夫, 小野嘉大, 鈴木文武, 佐藤崇文, 高橋道郎, 有田淳一, 古賀倫太郎, 高橋祐, 福長洋介, 山口俊晴
大腸癌肝転移に対する外科手術と周術期化学療法：当院の取り組み.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

114. 佐藤崇文, 有田淳一, 齋浦明夫, 鈴木文武, 小野嘉大, 井上陽介, 高橋道郎, 古賀倫太郎, 高橋祐, 比企直樹, 山口俊晴, 三木健司
99mTc-GSAを用いた新しい肝機能評価指標Convex Indexについて.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

115. 山口俊晴
消化器外科医のインセンティブについて.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

116. 山口俊晴
超高齢者胃癌に対する外科治療の実態.
第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

117. 山口俊晴
変化する急性期医療提供体制の中で外科医が生き生きと働けるための改革とは.
第19回内視鏡外科手術を学ぶ会: 札幌市, 2013

118. 山口俊晴
胃癌治療の現況と将来展望　EBMに踊らされない胃癌治療.
延岡医学会学術講演会: 延岡市, 2013

119. 山口俊晴
外保連の挑戦：外科医が外科医らしく生きるために.
鹿児島市外科医会総会・特別講演会: 鹿児島市, 2013

120. 山口俊晴
理想の勤務医：外科医のパラダイスを実現するチーム医療.
茨城県医師会勤務医部会: 水戸市, 2013

121. 山口俊晴
医師の技術料をどのように決めるのか：外保連の試み.
洛星医師の会: 京都市, 2013

122. 山口俊晴
医療消化管外科の動向：消化器外科医の未来は？.
愛宕消化器外科研究会: 東京, 2013

123. 山口俊晴
適切な医療技術評価が拓く外科の未来：外保連の役割と将来展望.
平成25年度大阪臨床外科医会総会・学術講演会: 大阪市, 2013

124. 佐野武
胃癌治療ガイドライン第4版に向けて：スタイルについて「教科書形式」か「EBM形式」か.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

125. 佐野武
胃癌治療ガイドライン：現状と今後の課題.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

126. 佐野武
基本的定型手術：開腹幽門側胃切除術，胃全摘術.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

127. 佐野武
世界共通の胃癌手術とステージ分類について.
第7回消化器がん学術講演会: 徳島市, 2013

128. 佐野武
進行胃癌に対する手術.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

129. 佐野武
幽切後再建術式の比較検討.
第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

130. 渡邊雅之
食道再建術における三角吻合、有茎大網被覆、Roux-en-Y胃管延長法の有用性.
第11回日本消化器外科学会大会: 東京, 2013

131. 渡邊雅之
頸部食道癌に対する集学的治療戦略.
第65回食道学会総会・学術講演会: 東京, 2013

132. 渡邊雅之
教育セッション：食道がん.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

133. 比企直樹
上部消化管外科病棟における栄養管理 NSTは必要か？.
第16回日本日本病態栄養学会年次学術集会: 京都市, 2013

134. 比企直樹
消化器癌における栄養管理.
第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 金沢市, 2013

135. 比企直樹
腹腔鏡下胃切除術におけるPitfall.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

136. 比企直樹
がん研有明病院からの学び：定型化・教育・術式開発・臨床栄養から得たもの.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

137. 比企直樹
胃がんに対する内視鏡外科のエビデンスを問う.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

138. 比企直樹
胃がんに対する今日の機能温存術.
JDDW 2013（第21回消化器関連学会週間）: 東京, 2013

139. 齋浦明夫
膵切離と膵消化管吻合における吻合部膵実質および消化管への配慮.
第67回手術手技研究会: 札幌市, 2013

140. 齋浦明夫, 古賀倫太郎, 高橋祐, 有田淳一, 比企直樹, 竹村信行, 小野嘉大, 井上陽介, 佐野武, 山口俊晴
膵頭部切除後の脂肪肝発生の危険因子と治療について.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

141. 福長洋介
大腸癌におけるmultiport vs single port, recuced port surgery.
2nd Reduced Port Surgery Forum: 盛岡市, 2013

142. 谷村愼哉, 比企直樹, 布部創也
高齢者胃癌に対する治療戦略：低侵襲治療とし

ての腹腔鏡下胃切除術の積極的適応とその成績.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

143. 長山聡
横行結腸癌に対する腹腔鏡下切除術の画一化.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

144. 長山聡
次世代が切り開くCRT後の腹腔鏡下直腸切除術.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

145. 山田和彦, 峯真司, 原田和人, 大矢周一郎, 比企直樹, 布部創也
腹部食道癌のリンパ節転移と外科治療.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

146. 山田和彦, 峯真司, 大矢周一郎, 志垣博信, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
食道癌根治的化学放射線療法後の縦隔リンパ節再発に対する鏡視下リンパ節切除.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

147. 高橋祐, 古賀倫太郎, 有田淳一, 小野嘉大, 高橋道郎, 井上陽介, 坂本太郎, 松村優, 比企直樹, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴, 齋浦明夫
当科における肝門部胆管癌の治療戦略と手術成績.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

148. 高橋祐, 古賀倫太郎, 有田淳一, 小野嘉大, 高橋道郎, 井上陽介, 佐野武, 山口俊晴, 齋浦明夫
当科における肝門部胆管癌の治療戦略と手術成績.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

149. 高橋祐, 古賀倫太郎, 有田淳一, 小野嘉大, 高橋道郎, 井上陽介, 佐藤崇文, 鈴木文武, 比企直樹, 上野雅資, 佐野武, 齋浦明夫, 山口俊晴
肝門部胆管癌に対する血管合併切除の成績.
第113回日本外科学会定期学術集会：福岡市, 2013

150. 大橋学, 岩崎善毅, 大日向玲紀
治癒する腹膜転移P0CY1に対する治療戦略.
第113回日本外科学会定期学術集会：福岡市, 2013

151. 大橋学
腹腔内遊離癌細胞のみの腹膜転移に対する治療戦略.
第85回日本胃癌学会総会：大阪市, 2013

152. 大橋学
幽門狭窄を伴う胃癌に対する姑息的胃切除術の意義.
第85回日本胃癌学会総会：大阪市, 2013

153. 大橋学
鏡視下手術の新しい術野展開.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

154. 大橋学, 比企直樹, 布部創也
膵上縁バルキーリンパ節転移、および大動脈周囲リンパ節転移陽性胃癌に対する術前化学療法後手術.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

155. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 齋浦明夫, 布部創也, 比企直樹, 山口俊晴
StageIV大腸癌の同時性腹膜播種症例(124例)の手術.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

156. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 峯真司, 佐野武
大腸癌手術における切離・吻合の手術手技（初発大腸癌3421例からの経験）.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

157. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 峯真司, 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 佐野武
大腸癌手術の切離・吻合におけるステープリングデバイスの適切な使用方法.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

158. 布部創也, 比企直樹, 谷村愼哉, 峯真司, 山田和彦, 齋浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除におけるリンパ節郭清のknack&pitfall.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

159. 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 本多通孝, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除後の再建法：術後QOL改善を目指した観音開き法.

第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

160. 布部創也
腹腔鏡下機能温存胃切除術の郭清と再建のポイント:胃切除術後障害を最小限に抑えるために.
第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

161. 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 山田和彦, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除後の鏡下観音開き再建法.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

162. 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 齋浦明夫, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術の定型化がもたらすレジデントに対する教育効果.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

163. 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 齋浦明夫, 山口俊晴
鏡視下での腹腔鏡下噴門側胃切除後観音開き再建法.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

164. 峯真司, 山田和彦, 比企直樹, 谷村愼哉, 布部創也, 有田淳一, 上野雅資, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
食道癌手術における縫合不全の検討.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

165. 有田淳一, 小野嘉大, 高橋道郎, 高橋祐, 古賀倫太郎, 上野雅資, 比企直樹, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
化学療法により画像上CRとなった大腸癌肝転移に対する術中造影超音波の有用性の検討:Gd-EOB-DTPA-MRIと比較.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

166. 有田淳一, 小野嘉大, 高橋道郎, 井上陽介, 坂本太郎, 松村優, 高橋祐, 齋浦明夫
ICG蛍光法と術中造影超音波を併用し肝表面と肝実質内の境界を認識しながら行う肝系統的切除.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

167. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 比企直樹, 齋浦明夫, 佐野武,
次世代の標準手術としての進行下部直腸癌に対する腹腔鏡下TNE.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

168. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 池田篤志, 向井俊貴, 大野吏輝, 友利賢太, 永田淳, 長嵜寿矢, 山口俊晴
進行下部直腸癌に対する術前放射線化学療法と画像診断に基づく選択的側方リンパ節郭清.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

169. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 峯真司, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
進行下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術のエビデンス：当院の中期成績.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

170. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 峯真司, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
当院における膜の解剖に基づいた腹腔鏡下直腸癌手術の手術手技.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

171. 秋吉高志
がん研有明病院における大腸手術.
第6回RAMIS下部消化管外科分科会: 金沢市, 2013

172. 秋吉高志
腹腔鏡下大腸癌手術の実際：がん研有明病院における術前～術後まで.
第35回日本手術医学会総会: 横浜市, 2013

173. 秋吉高志
壁を越えよう 腹腔鏡下大腸切除術：伝承からさらなる進化へ.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

174. 井上陽介, 齋浦明夫, 松村優, 小野嘉大, 坂本太郎, 高橋道郎, 有田淳一, 高橋祐, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下肝切除に欠けているのは“術中診断力”：開腹の術中診断を超える日が来るのか.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

175. 井上陽介, 齋浦明夫, 松村優, 小野嘉大, 坂本太郎, 高橋道郎, 有田淳一, 高橋祐, 佐野武, 山口俊晴
Fusion ICG fluorographyを応用した肝胆膵外科手術.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

176. 井上陽介, 齋浦明夫, 有田淳一, 高橋祐, 古賀倫太郎, 小西毅, 福長洋介, 山田和彦, 佐野武, 山口俊晴
大腸癌肝転移に対する治療戦略 ：Surgery upfront approach からの転換.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

177. 井上陽介, 齋浦明夫, 有田淳一, 高橋祐, 古賀倫太郎, 小西毅, 福長洋介, 山田和彦, 佐野武, 山口俊晴
大腸癌肝転移に対する治療戦略 ：Surgery upfront approach からの転換.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

178. 小野嘉大, 齋浦明夫, 高橋道郎, 井上陽介, 坂本太郎, 松村優, 高橋祐, 有田淳一, 小西毅, 長山聡, 峯真司, 山田和彦, 比企直樹, 山口俊晴
当院におけるBorderline Resectable膵癌に対する治療戦略と治療成績.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

179. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 峯真司, 山田和彦, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
上部早期胃癌に対する極小胃を残した腹腔鏡下胃亜全摘術.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

180. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
胃粘膜下腫瘍に対する単孔式腹腔鏡・内視鏡合同胃局所切除術.
2nd Reduced Port Surgery Forum: 盛岡市, 2013

181. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 清川貴志, 田中友理, 入野誠之, 本多通孝, 千葉丈広, 橋本佳和, 峯真司, 山田和彦, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
リンパ節転移を伴った若年性多発胃GISTの1例.
JDDW 2013（第21回消化器関連学会週間）: 東京, 2013

182. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 本多通孝, 田中友理, 古川陽菜, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
上部早期胃癌に対する切除再建術式：腹腔鏡下胃亜全摘術.
第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

183. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 谷村愼哉, 本多通孝, 入野誠之, 清川貴志, 田中友理, 神谷諭, 古川陽菜, 高津有紀子, 佐野武, 山口俊晴
上部早期胃癌に対する腹腔鏡下胃亜全摘術：小さな残胃が栄養状態に与える影響.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

184. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 峯真司, 山田和彦, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃全摘における食道空腸吻合の工夫：開腹手術に倣った再建法.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

185. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 峯真司, 山田和彦, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除後の鏡視下縫合による「観音開き法」食道残胃吻合.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

186. 入野誠之, 比企直樹, 谷村愼哉, 布部創也, 山田和彦, 峯真司, 佐野武, 山口俊晴
Gastric stump cancer and the 7th TNM classification.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

187. 入野誠之, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 佐野武, 小菅敏幸, 清川貴志, 本多通孝, 田中友理, 神谷諭, 古川陽菜, 高津有紀子, 楠元英治, 山口俊晴
エネルギーデバイスの原理を生かした手術手技：新しい超音波凝固装置テクニックの提案.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

188. 入野誠之, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 佐野武, 小菅敏幸, 清川貴志, 本多通孝, 田中友理, 神谷諭, 古川陽菜, 高津有紀子, 楠元英次, 山口俊晴
十二指腸腫瘍に対するLECS：LECS for

Duodenal Neoplasms (D-LECS).
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

189. 清川貴志
超高齢者に対する胃癌手術の検討.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

190. 清川貴志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 小菅敏幸, 入野誠之, 本多通孝, 田中友理, 山田和彦, 峯真司, 神谷諭, 古川陽菜, 高津有紀子, 佐野武, 山口俊晴
左側アプローチによるToldt 膵後筋膜を意識した11pリンパ節郭清術.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

191. 清川貴志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 小菅敏幸, 本多通孝, 田中友理, 山田和彦, 峯真司, 神谷諭, 古川陽菜, 高津有紀子, 佐野武, 山口俊晴
85歳以上超高齢者に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

192. 清川貴志
Stasisを減らす工夫：幽門下動脈温存腹腔鏡下幽門保存胃切除術.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

193. 清川貴志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 山田和彦, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 有田淳一, 斎浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
85歳以上超高齢者に対する胃癌手術の安全性の検討.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

194. 高橋道郎, 斎浦明夫, 鈴木文武, 佐藤崇文, 小野嘉大, 井上陽介, 有田淳一, 古賀倫太郎, 髙橋祐
大腸癌肝転移に対する肝切除における肝静脈切除の適応とその再建法.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

195. 高橋道郎, 斎浦明夫, 鈴木文武, 佐藤崇文, 小野嘉大, 井上陽介, 有田淳一, 古賀倫太郎, 高橋祐
多発性肝転移に対する治療戦略：10個以上の多発性肝転移に対する積極的な外科治療について.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

196. 田中友理, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 入野誠之, 清川貴志, 小菅敏幸, 佐野武, 山口俊晴
ERASに基づく胃癌術後管理.
第43回胃外科・術後障害研究会：新潟市, 2013

197. 田中友理, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 本多通孝, 入野誠之, 清川貴志, 小菅敏幸, 斎浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
ERASに基づく胃癌術後管理.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

198. 田中友理, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 本多通孝, 入野誠之, 清川貴志, 小菅敏幸, 斎浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
胃癌術後縫合不全に対する経腸栄養療法.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

199. 田中友理, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 古川陽菜, 高津有紀子, 神谷諭, 入野誠之, 本多通孝, 清川貴志, 小菅敏幸, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術におけるがん研式用語集：解剖・手技を早期理解するために.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

200. 長嵜寿矢
ERASを取り入れた腹腔鏡下大腸切除術2032例の術後成績と今後の課題.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

201. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 峯真司, 有田淳一, 斎浦明夫, 布部創也, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
再発大腸癌に対する腹腔鏡手術の検討.
第75回日本臨床外科学会総会：名古屋市, 2013

202. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 峯真司, 有田淳一, 齋浦明夫, 布部創也, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴, 新井正美
異時性大腸癌に対する腹腔鏡手術の検討.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

203. 永田淳, 福長洋介, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 秋吉高志, 高橋祐, 斎浦明夫, 有田淳一, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 上野雅資, 山口俊晴
当院における左側横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術手技.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

204. 永田淳, 福長洋介, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 秋吉高志, 高橋祐, 斎浦明夫, 有田淳一, 比企直

樹, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 上野雅資, 山口俊晴
当院における腹腔鏡下大腸切除1256例における再発例の検討.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

205. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 谷村慎哉, 峯真司, 山田和彦, 清川貴志, 入野誠之, 田中友理, 山口俊晴
上部消化管術後ダンピング症状に対する質問項目の特性.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

206. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 佐野武, 入野誠之, 山田和彦, 峯真司, 清川貴志, 田中友理, 小菅敏幸, 上野雅資, 斎浦明夫, 山口俊晴
胃癌に対する腹腔鏡下手術後の再入院リスク因子に関する臨床的検討.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

207. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 入野誠之, 清川貴志, 田中友理, 小菅敏幸, 峯真司, 山田和彦, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃癌手術後の再発に関する危険因子の検討.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

208. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 三浦昭順, 錦織達人, 草薙洋, 脇田貴文, 福原俊一, 大西良浩, 佐野武, 山口俊晴
上部消化管術後の症状尺度"pES3"の開発.
第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

209. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 三浦昭順, 錦織達人, 草薙洋, 脇田貴文, 福原俊一, 大西良浩, 佐野武, 山口俊晴
上部消化管術後のQOL尺度"pEGQ"の開発.
第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

210. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 田中友理, 古川陽菜, 望月宏美, 佐野武, 山口俊晴
胃癌術後ダンピング症候群の診断・評価法に関する探索研究.
第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

211. 向井俊貴
細径鉗子を用いた腹腔鏡・内視鏡合同手術を施行した横行結腸神経鞘腫の1例.
第8回Needlescopic surgery meeting: 仙台市, 2013

212. 向井俊貴, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
当院における80歳以上の超高齢者に対する大腸癌の治療戦略.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

213. 向井俊貴
術前放射線化学療法後に腹腔鏡下骨盤内臓全摘術を施行した局所高度進行直腸癌の1例.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

214. 池田篤志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下大腸切除術における手術部位感染の現状と問題点、および当科における感染制御への新しい取り組み.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

215. 池田篤志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 山田和彦, 高橋祐, 齋浦明夫, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
当科における腹腔鏡下直腸手術後縫合不全の予防法.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

216. 大野吏輝
直腸癌におけるNeedlescopic Surgery.
第8回Needlescopic Surgery Meeting: 仙台市, 2013

217. 大野吏輝, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
直腸NETのリンパ節転移と手術適応基準に関する検討：当院160例の解析.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

218. 大野吏輝, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 永田淳, 池田篤志, 向井俊貴, 友利賢太, 武田良祝, 佐野武, 山口俊晴
下部直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清の手技と短期成績.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

219. 大野吏輝, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志
腹腔鏡下に側方郭清を施行した側方リンパ節転移を伴う直腸カルチノイドの1例.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

220. 志垣博信, 馬場祥史, 渡邊雅之, 村田飛鳥, 石本崇胤, 岩槻政晃, 尾崎宣之, 岩上志朗, 坂本快朗, 宮本裕士, 吉田直矢, 馬場秀夫
Pyrosequencing technologyを用いた食道癌におけるPIK3CA遺伝子変異の検討.
第113回日本外科学会定期学術集会: 福岡市, 2013

221. 神谷諭, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術における出血と予防策.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

222. 神谷諭, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
鏡視下胃切除術における吻合トラブルとその対応.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

223. 神谷諭, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術における出血と予防策.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

224. 松村優, 有田淳一, 齋浦明夫, 高橋祐, 佐野武, 山口俊晴, 比企直樹, 布部創也, 秋吉高志, 小西毅, 峯真司
悪性腫瘍との鑑別が困難であった腹腔内結核2例の経験.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

225. 古川陽菜, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 本多通孝, 田中友理, 小菅敏幸, 山口俊晴
胃全摘後の栄養障害に対するパンクレリパーゼの使用経験.
第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

226. 古川陽菜, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 本多通孝, 田中友理, 入野誠之, 清川貴志, 小菅敏幸, 佐野武, 山口俊晴
胃癌腹腔鏡手術後患者における胆石発生要因の臨床的検討.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

227. 古川陽菜, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 山田和彦, 峯真司, 福長洋介, 長山聡, 斎浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
胃癌術後にPetersen's herniaによるイレウスを発症した12例の検討.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

228. 古川陽菜, 比企直樹, 高津有紀子, 神谷諭, 田中友理, 本多通孝, 入野誠之, 清川貴志, 小菅敏幸, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
胃全摘後の栄養障害に対するパンクレリパーゼの有効性に関する臨床的検討.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

229. 坂本太郎, 高橋祐, 有田淳一, 高橋道郎, 井上陽介, 小野嘉大, 松村優, 斎浦明夫, 山口俊晴
原発性十二指腸癌肝転移に対する肝切除5例の治療成績.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

230. 大矢周一郎, 山田和彦, 峯真司, 渡邊雅之, 志垣博信, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
胸部下部食道癌におけるリンパ節104番郭清の意義についての検討.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

231. 武田良祝
膀胱浸潤を伴うS状結腸癌術後に腸骨リンパ節再発をきたし、腹腔鏡下に切除しえた症例.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

232. 武田良祝, 小西毅, 友利賢太, 向井俊貴, 池田篤志, 大野吏輝, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 山口俊晴
直腸Ra早期癌術後に遅発性側方リンパ節再発を来たし、化学放射線療法後に腹腔鏡下で根治切除しえた1例.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

233. 高津有紀子, 比企直樹, 入野誠之, 山口俊晴, 佐野武, 大橋学, 布部創也
肥満症例の腹腔鏡下胃切除術に対する合併症対策.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

234. 窪田健, 比企直樹, 岡本和真, 市川大輔, 小松周平, 藤原斉, 塩崎敦, 布部創也, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴, 大辻英吾
胃癌術後短期および長期成績に及ぼす肥満の影

響.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

235. 橋本佳和, 布部創也, 比企直樹, 峯真司, 山田和彦, 谷村愼哉, 齋浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術の開腹移行例の検討から得た術中偶発症に対する私の対処法.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

236. 原田和人, 大矢周一郎, 峯真司, 山田和彦, 矢島和宜, 比企直樹, 谷村愼哉, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴
内胸動静脈と回腸枝との血管吻合を用いた回結腸再建.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

237. 千葉丈広, 比企直樹, 布部創也, 福長洋介, 峯真司, 山田和彦, 上野雅資, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
当院における胃GISTに対する手術治療.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

238. 楠元英次, 比企直樹, 本多通孝, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
胃GISTに対するLECSの治療成績.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

239. 小西毅, 松阪諭, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 水沼信之, 篠崎英司, 末永光邦, 五十嵐正広, 為我井芳郎, 浦上尚之, 千野晶子, 岸原輝仁, 山口俊晴, 畠清彦, 武藤徹一郎
直腸癌に対する術前化学放射線療法が血中遊離癌細胞(CTC)に与える影響に関する検討.
第79回大腸癌研究会: 大阪市, 2013

240. 小西毅
直腸癌手術を極める：縫合不全ゼロを目指して.
第79回大腸癌研究会: 大阪市, 2013

241. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
下部進行直腸癌に対する術前化学放射線療法を用いた治療戦略：長期成績から見た有効性と今後の課題.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

242. 小西毅
ここまで見える！最先端カメラが切り開く解剖の世界とICG蛍光システムがもたらす新たな展開：下部消化管手術.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

243. 小西毅
進化を続ける直腸癌手術の最前線：より高い根治性と安全性の追求.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

244. 小西毅
がん研の直腸癌に対する集学的治療戦略：術前化学放射線療法の長期成績と今後の課題.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

245. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 山口俊晴
下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清の手技と短期成績.
第26回日本内視鏡外科学会総会: 福岡市, 2013

246. 小西毅
困難例に対する次世代の腹腔鏡下大腸癌手術：肥満に対する直腸癌手術.
第2回次世代の内視鏡下消化管手術セミナー: 名護市, 2013

247. 小西毅
側方郭清の骨盤解剖と鏡視下手術.
第4回次世代の内視鏡下消化管手術セミナー: 東京, 2013

248. 小西毅
直腸癌手術の最前線： Standard TMEからbeyond TMEまで.
第13回近畿内視鏡下大腸手術研究会: 大阪市, 2013

249. 小西毅
進行直腸癌に対するCRTを併用した鏡視下手術と拡大郭清.
第6回骨盤内視鏡外科セミナー: 大阪市, 2013

250. 小西毅
進行直腸癌の治療戦略：腹腔鏡下手術と集学的治療による最新外科治療.
Colorectal Cancer Symposium: 広島市, 2013

251. 小西毅
腹腔鏡下S状結腸切除術.
東日本腹腔鏡下大腸切除セミナー: 富士宮市,

2013

252. 小西毅
腹腔鏡下直腸癌手術における超低位切離・吻合操作の工夫.
東京大腸手術手技研究会第27回学術集会: 東京, 2013

253. 小西毅
適応拡大・ピットフォール.
がん研スタイル腹腔鏡下大腸切除術セミナー: 東京, 2013

254. 小西毅
がん研スタイル：大腸癌に対する鏡視下手術の最前線
第5回桜山消化器がん懇話会: 名古屋市, 2013

255. 小西毅
骨盤解剖を踏まえた腹腔鏡直腸癌根治術.
第10回　倉敷セミナー: 倉敷市, 2013

256. 小西毅
がん研スタイル：大腸癌に対する腹腔鏡下手術の新展開.
富山大腸癌講演会 富山市, 2013

257. 山口俊晴
日本的胃癌治疗的现状.
第3回国際胃癌サミット: 蘇州市, 2013

258. 向井俊貴, 秋吉高志, 武田良祝, 友利賢太, 大野吏輝, 池田篤志, 永田淳, 長嵜寿矢, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
当院における80歳以上の超高齢者に対する大腸癌の治療戦略.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

259. 佐藤崇文, 有田淳一, 斎浦明夫, 鈴木文武, 小野嘉大, 井上陽介, 高橋道郎, 古賀倫太郎, 高橋祐, 比企直樹, 山口俊晴, 三木健司
99mTc-GSAを用いた新しい肝機能評価指標 Convex Indexについて.
第68回日本消化器外科学会総会: 宮崎市, 2013

乳腺外科

1. 森園英智, 坂井威彦, 池畑浩一, 川島麻里沙, 鈴木奈緒子, 星利良, 伊藤崇彦, 古田則行, 小松京子, 杉山裕子, 岩瀬拓士
乳癌胸骨傍リンパ節に対する細胞診の意義.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

2. 坂井威彦, 中島絵里, 荻谷朗子, 木村聖美, 森園英智, 宮城由美, 飯島耕太郎, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太
乳房内再発のバイオロジーと治療戦略 乳房内再発のバイオロジー　詳細な病理検討で分類した新規発生乳癌の予後は良好である.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

3. 蒔田益次郎, 田辺真彦, 荻谷明子, 森園英智, 坂井威彦, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 西村誠一郎, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
ホルモン感受性乳癌の術後アナストロゾールの投与年数と投与終了後の予後に関する検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

4. 西村誠一郎, 小口正彦, 荻谷朗子, 田辺真彦, 坂井威彦, 木村聖美, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太, 伊藤良則
潜在性乳癌に対する照射併用乳房非切除療法の試み.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

5. 坂井威彦, 荻谷朗子, 田辺真彦, 木村聖美, 森園英智, 宮城由美, 飯島耕太郎, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
原発病巣手術と温存乳房内再発 乳房温存術の断端.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

6. 蒔田益次郎, 秋山太, 岩瀬拓士
DCISの診断・治療　DCISに対する治療　乳腺外科医の役割.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

7. 坂井威彦, 西村純一郎, 石田直子, 島田聡子, 照屋史子, 師尾典子, 柳裕代, 飯島耕太郎, 蒔田益次郎, 木村聖美, 田辺昌彦, 堀井理絵, 秋山太, 伊藤良則, 小口昌彦, 岩瀬拓士
照射を省略した乳房温存手術　10年長期成績の検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

8. 中村祥子, 宮城由美, 小野寿子, 蒔田益次郎, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
サブタイプ別にみた乳がん術前化学療法後の

MRIでの縮小パターンについての検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

9. 何森亜由美, 國分優美, 藤井祐次, 坂井威彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
画像的境界病変における乳癌超音波立体所見の診断の試み.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

10. 蒔田益次郎, 秋山太, 五味直哉, 岩瀬拓士
異常乳頭分泌に乳管区分切除は必要か?
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

11. 照屋史子, 田辺真彦, 五味直哉, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
乳癌骨転移症例に対するdenosumabの使用経験.第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

12. 石田直子, 坂井威彦, 荻谷朗子, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士Triple negative乳癌におけるアポクリン癌の予後.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

13. 飯島耕太郎, 蒔田益次郎, 坂井威彦, 荻谷朗子, 中島絵里, 木村聖美, 宮城由美, 森園英智, 西村誠一郎, 岩瀬拓士
Cloud技術を活用した医療連携におけるデータ共有システムの構築.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

14. 佐藤綾花, 荻谷朗子, 白井智子, 山崎希恵子, 照屋なつき, 森園英智, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳房温存術におけるマンモグラフィでの石灰化と断端陽性率の検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

15. 山崎希恵子, 荻谷朗子, 森園英智, 照屋なつき, 佐藤綾花, 白井智子, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳房温存術における切除断端陽性予測因子の検討　MRIとUSでの病変長径差.第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

16. 白井智子, 荻谷朗子, 森園英智, 照屋なつき, 佐藤綾花, 山崎希恵子, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳癌非触知病変が断端陽性となりやすい要因は何か.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

17. 西村誠一郎, 新井正美, 木村聖美, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 荻谷朗子, 田辺真彦, 坂井威彦
当院における遺伝性乳癌・卵巣癌(HBOC)の臨床病理学的特徴.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

18. 小野寿子, 宮城由美, 中村祥子, 高橋俊二, 伊藤良則, 小口正彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
術前化学療法施行症例の乳房温存術後局所再発についての検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

19. 森園英智, 荻谷朗子, 坂井威彦, 飯島耕太郎, 宮城由美, 蒔田益次郎, 池畑浩一, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
セカンドUSとFNAの有用性について.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

20. 島田聡子, 坂井威彦, 師尾典子, 柳裕代, 荻谷朗子, 蒔田益次郎, 小口雅彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳房温存手術で、断端陽性(<5mm)であった症例の長期成績.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

21. 荻谷朗子, 山崎希恵子, 佐藤綾花, 白井智子, 照屋なつき, 森園英智, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 牛嶋大, 松浦正明
画像による広がり診断が過小評価となる因子.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

22. 柳裕代, 坂井威彦, 照屋史子, 石田直子, 島田聡子, 師尾史子, 飯島耕太郎, 木村聖美, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太, 小口正彦, 伊藤良則
遺伝性乳がん・卵巣がん症候群(HBOC)が疑われる症例に対する乳房温存術の長期成績について.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

23. 師尾典子, 蒔田益次郎, 島田聡子, 柳裕代, 石田直子, 坂井威彦, 木村聖美, 飯島耕太郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
若年者乳癌の術式による遠隔再発および局所領域再発へ及ぼす影響.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

24. 米倉利香, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 國分優美, 萩谷朗子, 何森亜由美, 坂井威彦, 木村聖美, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 五味直哉, 秋山太, 岩瀬拓士
乳頭腫を合併した乳癌の2例.
第4回DCIS研究会: 那覇市, 2013

25. 蒔田益次郎, 米倉利香, 五味直哉, 坂田亜依, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
異常乳頭分泌を呈する乳癌の乳管内進展部分の内視鏡像と乳管内生検の亜型との対比.
第4回DCIS研究会: 那覇市, 2013

26. 米倉利香, 何森亜由美, 堀井理絵, 萩谷朗子, 坂井威彦, 木村聖美, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 西村誠一郎, 蒔田益次郎, 五味直哉, 秋山太, 岩瀬拓士
乳癌の広がり診断に：対側乳房との比較が一助となった2nd Look USの一例。".第22回日本乳乳癌画像研究会: 東京, 2013

27. 蒔田益次郎
ホルモン感受性乳癌の術後アナストロゾールの投与年数と関節痛の有無が予後に及ぼす影響について.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

28. 石田直子, 宮城由美, 森園英智, 坂井威彦, 飯島耕太郎, 小野寿子, 山崎希恵子, 岩瀬拓士
女性化乳房を背景に発症した 男性線維腺腫の1例.
第10回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2013

29. 小野寿子, 坂井威彦, 中島絵里, 新井正美, 岩瀬拓士
未発症BRCA2変異保有者で サーベイランス中に 乳房超音波検査で発見された乳癌症例.
第10回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2013

30. 山崎希恵子, 木村聖美, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
NAC施行中、石灰化の範囲が広がり 効果判定に苦慮した１例.
第10回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2013

31. 山崎希恵子, 坂井威彦, 萩谷朗子, 森園英智, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 蒔田益次郎, 五味直哉, 岩瀬拓士
断端陽性予測因子と2nd lookUS & FNAを用いた病変の広がり診断.
第75回日本臨床外科学会総会: 名古屋市, 2013

31. 岩瀬拓士
乳癌のセンチネルリンパ節生検、OSNA法によるwhole node検索から見えてくるもの.
第37回日本リンパ学会総会: 福岡市, 2013

32. 何森亜由美
乳腺細胞診診断力の更なる向上を目指して　臨床側が乳腺細胞診に期待している事.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

33. 岩瀬拓士
精査にまわすポイント:マンモグラフィ編−特にFADを中心に.
第19回日本産婦人科乳癌学会: 東京, 2013

34. 佐藤綾花, 蒔田益次郎, 萩谷朗子, 坂井威彦, 森園英智, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳頭部腫瘍を極める　症例検討 症例C.
第30回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 福島市, 2013

乳腺内科

1. Ito, Y., Noguchi, S., Deleu, I., Baselga, J., Gabriel, N., Hortobagyi, G.N., Bachelot, T.D., Masuda, N., Pistilli, B., Pritchard, K.I., Iwata, H., Gnant, M., Eakle, J.F., Cososzi, T., Srimuninnimit, V., Puttawibul, P.P., Roila, F., Panneersrselvam, A., Taran, T., Sahmoud, T., Rugo, H.
Incidence, management, and resolution of noninfectious pneumonitis in BOLERO-2.
49th ASCO Annual Meeting Chicago, USA, 2013

2. Kobayashi, K., Ito, Y., Ogiya, A., Gomi, N., Horii, R., Takahashi, S., Hatake, K., Akiyama, F., Iwasaka, T.
Relationship of Ki-67 proliferative index and metastatic tumor of breast cancer.
49th　ASCO Annual Meeting Chicago, USA, 2013

3. Campone, M., Lebrun, F., Noguchi, S., Pritchard, K.I., Burris, H.A., Beck, J.T., Ito, Y., Yardley, D.A., Bachelot, T.D., Pistilli, B., Melichar, B., Petrakova, K., Arena, F.P., Erdkamp, F., Harb, W.A., Litton, J.K., Panneerselvam, A., El-Hashimy, M., Taran, T., Gnant, M.
Characterization of patients who received prior chemotherapy for advanced breast cancer (ABC) in BOLERO-2.
49th ASCO Annual Meeting Chicago, USA, 2013

4. Araki, K., Fukada, I., Takahashi, S., Ito, Y.
Predictive significance of the mucocutaneous toxicities, but not dose intensity of capecitabine for the treatment of lapatinib plus capecitabine in patients
San Antonio Breast Cancer Symposium 2013: San Antonio, USA, 2013

5. Hattori, M., Ito, Y., Takahashi, S., Fukada, I., Iwase, T., Iwata, H., Hatake, K.
Risk of hepatitis B virus (HBV) reactivation in hepatitis B surface antigen negative/ hepatitis B core antibody positive and/or hepatitis B surface antibody
San Antonio Breast Cancer Symposium 2013: San Antonio, USA, 2013

6. 深田一平
Therapeutic effect of taxane for metastatic breast cancer.
第11回日本臨床腫瘍学会学術総会: 仙台市, 2013

7. 荒木和浩
The mammalian target of rapamycin (mTOR) inhibitors.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

8. 荒木和浩
Toxicities can be a surrogate predictive marker for lapatinib.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

9. 伊藤良則
腫瘍内科が日本の医療にどう貢献するか.
第4回腫瘍内科医会セミナー: 東京, 2013

10. 坂井威彦, 西村純一郎, 石田直子, 島田聡子, 照屋史子, 師尾典子, 柳裕代, 飯島耕太郎, 蒔田益次郎, 木村聖美, 田辺昌彦, 堀井理絵, 秋山太, 伊藤良則, 小口昌彦, 岩瀬拓士
照射を省略した乳房温存手術　10年長期成績の検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

11. 中村祥子, 宮城由美, 小野寿子, 蒔田益次郎, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
サブタイプ別にみた乳がん術前化学療法後のMRIでの縮小パターンについての検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

12. 照屋史子, 田辺真彦, 五味直哉, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
乳癌骨転移症例に対するdenosumabの使用経験.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

13. 荒木和浩, 小林心, 小林隆之, 深田一平, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
トラスツズマブおよびラパチニブ抵抗性HER2陽性乳癌におけるトラスツズマブ再治療のレトロスペクティブ解析.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

14. 吉田匡宏, 小口正彦, 室伏景子, 岩瀬拓士, 秋山太, 伊藤良則, 蒔田益次郎, 高橋俊二, 西村誠一郎, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 木村聖美, 坂井威彦, 荻谷朗子, 小塚拓洋, 利安隆史, 浅利崇生, 堀井理絵, 田辺真彦
乳房温存手術にて断端0mmであった症例の短期的治療成績.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

15. 小口正彦, 扇田真美, 伊藤良則, 関口建次, 岩瀬拓士, 高橋俊二, 中村直樹, 吉田匡宏, 室伏景子, 五味直哉, 大戸雅史, 田辺真彦, 小林心, 河合佑子, 小塚拓洋, 國分優美, 宮澤一成, 蒔田益次郎, 西村誠一郎, 秋山太
乳がん薬剤性肺臓炎後の胸部放射線療法は安全か?
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

16. 小野寿子, 宮城由美, 中村祥子, 高橋俊二, 伊藤良則, 小口正彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士

術前化学療法施行症例の乳房温存術後局所再発についての検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

17. 柳裕代, 坂井威彦, 照屋史子, 石田直子, 島田聡子, 師尾史子, 飯島耕太郎, 木村聖美, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太, 小口正彦, 伊藤良則
遺伝性乳がん・卵巣がん症候群(HBOC)が疑われる症例に対する乳房温存術の長期成績について.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

18. 後藤與四成, 田辺真彦, 伊藤良則, 高橋俊二, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
当院における再発化生癌に対する薬物療法の使用経験.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

19. 堀井理絵, 伊藤良則, 岩瀬拓士, 秋山太
シグナル伝達経路の活性化状況に基づく乳癌新分類.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

20. 本間尚子, 堀井理絵, 佐治重衡, 荒井冨生, 伊藤良則, 岩瀬拓士, 秋山太
Estrogen receptor-βは乳癌の自然予後予測因子か、ホルモン療法効果予測因子か.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

21. 原文堅, 渡邉純一郎, 伊藤良則, 水谷三浩, 田代英哉, 櫻井健一, 佐伯俊昭, 中村清吾, 岩瀬弘敬, 岩田広治
手術不能・再発乳癌に対するエリブリンの使用成績調査中間解析結果.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

22. 伊藤良則
骨転移の診断と治療.
第69回東京乳腺研究会: 東京, 2013

23. 伊藤良則
乳癌の化学療法.
第14回乳癌最新情報カンファランス: 鳥羽市, 2013

24. 荒木和浩, 深田一平, 小林心, 高橋俊二, 伊藤良則
有害事象はHER2過剰発現乳癌におけるラパチニブの効果予測因子である.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

25. 小林心, 伊藤良則, 河合佑子, 小林隆之, 荒木和浩, 高橋俊二, 岩瀬拓士
転移乳癌におけるエリブリンの投与間隔とdose intensityの後方視的解析.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

26. 荒木和浩, 小林隆之, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
トラスツズマブとラパチニブ耐性HER2陽性乳癌に対する再トラスツズマブ治療の後方的解析.
第72回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2013

27. 荒木和浩, 高橋俊二, 岩瀬拓士
HER2陽性進行乳癌でのラパチニブ併用時のカペシタビン用量の臨床的有用性の後方的検討.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

28. 伊藤良則
乳癌薬物療法の最新治験.
第４回兵庫乳癌薬物療法カンファランス: 神戸市, 2013

29. 荒木和浩
がん新薬開発の新しい潮流：世界をリードする医療イノベーション実現に向けて.
第3回がん新薬開発合同シンポジウム: 東京, 2013

30. 荒木和浩
抗悪性腫瘍薬の臨床薬理学的評価：分子標的医薬の現状と課題 我が国に求められる医師主導治験とは.
第34回日本臨床薬理学会学術総会: 東京, 2013

31. 河合佑子
ラパチニブ後のゲムシタビン・トラスツズマブ(Tmab)にてcCRを得たTmab耐性HER2進行乳癌.
第10回日本乳癌学会関東地方会: 乳腺内科, 2013

婦人科

1. Kato, K.
Surgery after neoadjuvant chemotherapy in ovarian cancer.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回ア

ジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

2. Takeshima, N., Matoda, M., Yamamoto, A., Abe, A., Nomura, H., Okamoto, S., Kawamata, Y., Omatsu, K., Kato, K., Umayahara, K.
Treatment of advanced cervical cancer: update chemotherapy for cervical cancer: neoadjuvant and adjuvant setting.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

3. Sugiyama, Y., HasumiK, K., Utsugi, K., Motoyama, T., Takazawa, Y., Takeshima, N.
Endometrial Cancer Diagnostic value of the conventional and liquid-based endometrial cytology in endometrial cancer.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

4. Nomura, H., Abe, A., Yamamoto, A., Okamoto, S., Matoda, M., Omatsu, K., Kawamata, Y., Kato, K., Umayahara, K., Takeshima, N.
The clinicopathological features and treatment of the primary extramammary Paget's disease of the vulva.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

5. Okamoto, S., Umayahara, K., Nomura, H., Abe, A., Yamomoto, A., Matoda, M., Omatsu, K., Kawamata, Y., Kato, K., Takeshima, N.
A discussion of peritoneal cytology in patients with uterine cervical carcinoma.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

6. Ushioda, N., Sakamoto, K., Nomura, H., Abe, A., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kato, K., Takeshima, N.
Diagnostic impact of tumor diameter in preoperative MRI predicting lymph node metastasis and parametrial involvemment in FIGO IB1 cervical carcinoma.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

7. Tanigawa, T., Sueoka, K., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kato, K., Koyama, M., Koizumi, M., Takeshima, N.
Diagnostic accuracy of MR imaging and FDG PET for the detection of lymph node metastases of cervical cancer.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

7. Matoda, M., Tanigawa, T., Ushioda, N., Yamamoto, A., Omatsu, K., Sakamoto, K., Kawamata, Y., Kato, K., Umayahara, K., Takeshima, N.
The utility of platinum-free interval in treatment for recurrent cervical cancer with prior platinum-chemotherapy.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

8. Sueoka, K., Tanigawa, T., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kato, K., Koyama, M., Koizumi, M., Takeshima, N.
Validity of PET/CT for preoperating diagnosis of lymph node metastasis in endometrial cancer.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

9. Abe, A., Nomura, H., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kawamata, Y., Kato, K., Umayahara, K., Takeshima, N.
A case of low-grade endometrial stromal sarcoma (ESS-LG) growing rapidly with morphological alterations.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

10. Yamamoto, A., Umayahara, K., Abe, A., Nomura, H., Okamoto, K., Matoda, M., Omatsu, K., Kawamata, Y., Kato, K., Takeshima, N.
Is NAC efficient for stage IV endometrial cancer?
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

11. Taniguchi, T., Nomura, H., Abe, A., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamaoto, S., Omatsu, K., Kawamata, Y., Kato, K., Takeshima, N.
Surgical outcome and morbidity of risk

reducing salpingo-oophorectomy for BRCA1/2 mutation carriers.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

12. Omatsu, K., Usami, T., Taniguchi, T., Nomura, H., Abe, A., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Kato, K., Takeshima, N.
Clinical usefulness of CPT-11 as a single agent for recurrent ovarian cancer.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

13. Usami, T., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Takeshima, N.
Recurrent site of ovarian, fallopian tube, and peritoneal cancers after interval debulking surgery.
第55回日本婦人科腫瘍学会学術講演会/第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都市, 2013

14. 阿部彰子, 坂本公彦, 谷川輝美, 潮田至央, 谷口智子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田真紀, 尾松公平, 加藤一善, 馬野原健司, 竹島信宏
当院でRRSOを行う契機となったHBOCの1症例.
第125回関東連合産科婦人科学会: 東京, 2013

15. 阿部彰子, 末岡幸太郎, 谷川輝美, 潮田至央, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 岡本三四郎, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸癌放射線治療後骨盤リンパ節再発を来し, 切除を行った症例.
第126回関東連合産科婦人科学会: 浜松市, 2013

16. 阿部彰子, 谷口智子, 宇佐美知香, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
低悪性度子宮内膜間質肉腫が術後５年で急速な進展をきたした１例.
第366回東京産科婦人科学会: 東京, 2013

17. 荒木尚美, 増田励, 蓮沼智子, 安本龍馬, 白井教子, 福田令, 高田史男
北里大学病院におけるファブリー病の遺伝診療.
第37回日本遺伝カウンセリング学会学術集会: 川崎市, 2013

18. 加藤一喜, 尾松公平, 宇佐美知香, 坂本公彦, 的田眞紀, 山本阿紀子, 阿部彰子, 野村秀高, 竹島信宏
進行卵巣癌に対する初回化学療法後の手術時における術中細胞診の有用性の検討.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

19. 野村秀高, 阿部彰子, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 星利良, 杉山裕子, 宇津木久仁子, 竹島信宏
気管支鏡下穿刺吸引細胞診が有用であったバルトリン腺原発腺様嚢胞癌肺転移の1例.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

20. 的田眞紀, 谷川輝美, 山本阿紀子, 阿部彰子, 野村秀高, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体部漿液性腺癌における腹水細胞診の意義.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

21. 山本阿紀子, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 星利良, 杉山裕子, 竹島信
卵管結紮術後に発生した両側卵管癌の1例.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

22. 阿部彰子, 杉山裕子, 荒井祐司, 宇佐美知香, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
子宮体癌にLEGHとAISを合併した1例.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

23. 野村秀高, 阿部彰子, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 杉山裕子, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮内膜細胞診陰性の内膜ポリープ内に異型増殖症をみとめたTAM内服中の1例.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

24. 潮田至央, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 岡本三四郎, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 鈴木奈緒子, 本山悌一, 竹島信宏
肺転移を来たした内膜限局子宮体癌の特異な細胞像.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

25. 的田眞紀, 山本阿紀子, 谷川輝美, 末岡幸太郎, 宇佐美知香, 阿部彰子, 野村秀高, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体癌における腹水細胞診と再発形式・予後特殊組織型と類内膜腺癌での比較.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

26. 山本阿紀子, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 岡本三四郎, 的田眞紀, 尾松公平, 川俣靖貴, 加藤一喜, 杉山裕子, 馬屋原健司, 竹島信宏
非典型的な臨床像をとり診断に苦慮した中腎管腺癌の2例.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

27. 岡本三四郎, 阿部彰子, 野村秀高, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院における子宮頸癌開腹手術症例での術中腹水細胞診の意義.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

28. 阿部彰子, 谷口智子, 宇佐美知香, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 坂本公彦, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 竹島信宏
HBOCのサーベイランスとして行った子宮内膜細胞診で卵巣癌を診断した症例.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

30. 加藤一喜, 尾松公平, 宇佐美知香, 坂本公彦, 岡本三四郎, 的田眞紀, 山本阿紀子, 阿部彰子, 野村秀高, 竹島信宏
進行卵巣癌に対するinterval debulking surgery時における術中細胞診の有用性の検討.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

30. 尾松公平, 宇佐美知香, 阿部彰子, 野村高弘, 山本阿希子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 加藤一嘉, 馬屋原健司, 竹島信宏
卵巣・明細胞腺癌の腹水細胞診の臨床的意義について.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

31. 的田眞紀, 谷川輝美, 潮田至央, 岡本三四郎, 山本阿紀子, 坂本公彦, 川又靖貴, 尾松公平, 加藤一喜,馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸がんの術前化学療法：局所進行子宮頸癌に対する非放射治療.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

31. 阿部彰子, 坂本公彦, 谷川輝美, 潮田至央, 谷口智子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
HBOCのサーベイランス中に卵巣癌肉腫を診断し得た１症例.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

32. 末岡幸太郎, 馬屋原健司, 谷川輝美, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 竹島信宏
子宮体癌における骨盤内および傍大動脈リンパ節郭清術施行例の予後について.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

35. 山本阿紀子, 谷川輝美, 潮田至央, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 坂本公彦, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
IV期子宮体癌の治療成績.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

36. 谷口智子, 的田眞紀, 潮田至央, 山本阿紀子, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院において経験した子宮内膜間質肉腫(ESS)症例の臨床病理学的検討.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

37. 的田眞紀, 谷川輝美, 潮田至央, 阿部彰子, 山本阿紀子, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
進行・再発子宮体癌でのセカンドライン化学療法における無治療期間の臨床的意義.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

38. 宇佐美知香, 谷川輝美, 潮田至央, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸部腺癌・腺扁平上皮癌リンパ節転移症例に対する術後化学療法の有効性と限界.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

39. 潮田至央, 的田眞紀, 谷川輝美, 阿部彰子, 野村秀高, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 尾松公平, 坂本公彦, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院における子宮頸部小細胞癌の治療成績.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

40. 尾松公平, 宇佐美知香, 谷川輝美, 谷口智子, 潮田至央, 山本阿紀子, 的田眞紀, 坂本公彦, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
進行再発卵巣癌におけるジェムシタビン・カルボプラチン療法の効果.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

41. 加藤一喜, 尾松公平, 宇佐美知香, 竹島信宏, 楯真一, 錦見恭子, 生水真紀夫
進行卵巣癌に対する完全切除を目指した手術療法の有効性の検討.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

42. 野村秀高, 岩瀬春子, 谷口智子, 阿部彰子, 山本阿紀子, 宇佐美知香, 的田眞紀, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
上皮性卵巣癌I期症例における後腹膜リンパ節郭清の治療的意義に関する検討.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

43. 坂本公彦, 宇佐美知香, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
進行卵巣癌に対する術前化学療法　推定ハザード比によるメタアナリシス.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

44. 阿部彰子, 宇津木久仁子, 野村秀高, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 尾松公平, 坂本公彦, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
神経膠播種を伴った奇形種の検討.
第65回日本産科婦人科学会学術講演会: 札幌市, 2013

45. 川又靖貴, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当科における子宮悪性腫瘍手術に基づく全腹腔鏡下子宮摘出術.
第53回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 名古屋市, 2013

46. 野村秀高, 奥田喜代司, 斉藤奈津穂, 山下能毅, 寺井義人, 大道正英
新しい鉗子を使った細径腹腔鏡下手術の有用性.
第53回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 名古屋市, 2013

47. 岡本三四郎, 宇佐美知香, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 坂本公彦, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 竹島信宏
腹腔鏡手術にて診断した原発性卵管癌の1症例.
第53回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 名古屋市, 2013

48. 馬屋原健司, 谷川輝美, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
子宮頸部扁平上皮癌に対する化療薬を用いた新たな治療戦略 同時化学放射線療法(CCRT)のsentitizerとしての化学療法レジメンは?
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 東京, 2013

49. 宇津木久仁子, 宇佐美知香, 野村秀高, 山本阿紀子, 谷口智子, 杉山裕子, 竹島信宏
当科におけるリンパ節郭清術後の腹腔内リンパ漏の実態.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 東京, 2013

50. 加藤一喜, 尾松公平, 宇佐美知香, 谷口智子, 的田眞紀, 馬屋原健司, 竹島信宏
進行卵巣癌に対するoptimal surgeryを目指した拡大手術の安全性の検討.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 東京, 2013

51. 宇佐美知香, 加藤一喜, 谷口智子, 山本阿紀子, 的田眞紀, 坂本公彦, 尾松公平, 馬屋原健司, 竹島信宏
IDSでcomplete debulkingできた3/4期上皮性卵巣癌における初回再発様式の検討.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 東京, 2013

52. 谷川輝美, 的田眞紀, 潮田至央, 山本阿紀子, 宇佐美知香, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 室伏景子, 小口正彦, 竹島信宏
進行子宮頸部腺癌に対するパクリタキセルとシ

スプラチンを併用した放射線同時化学療法の有用性.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：東京, 2013

53. 阿部彰子, 野村秀高, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 竹島信宏
子宮癌の腟断端再発に対する治療法についての検討.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：東京, 2013

54. 山本阿紀子, 坂本公彦, 田中宏子, 阿部彰子, 野村秀高, 宇佐美知香, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体癌術前MRIにおける腫瘍径と腫瘍体積の相関.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：東京, 2013

55. 的田眞紀, 山本阿紀子, 谷川輝美, 野村秀高, 坂本公彦, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
術中腹水細胞診は子宮体癌特殊組織型の再発・予後に影響を及ぼすか.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：東京, 2013

56. 坂本公彦, 宇佐美知香, 谷口智子, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
進行卵巣癌に対する術前化学療法のメタアナリシス:ハザード比推定の感度解析.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：東京, 2013

57. 尾松公平, 加藤一喜, 谷口智子, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 馬屋原健司, 竹島信宏
当科におけるジェムシタビン・カルボプラチン療法(GC)の使用経験.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：東京, 2013

58. 谷口智子, 尾松公平, 宇佐美知香, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院における再発卵巣・卵管がんに対する塩酸ジェムシタビンの使用経験.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：東京, 2013

59. 潮田至央, 尾松公平, 野村秀高, 阿部彰子, 山本阿紀子, 的田眞紀, 加藤一喜, 竹島信宏
外陰部異所性乳癌の一例.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：東京, 2013

60. 野村秀高, 宇佐美知香, 阿部彰子, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当科における外陰癌の治療成績.
第54回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：東京, 2013

61. 加藤一喜, 尾松公平, 宇佐美知香, 竹島信宏
進行卵巣癌手術における婦人科医と消化器外科医の接点 進行卵巣癌に対する完全切除を目指した手術療法の有効性と安全性の検討.
第38回日本外科系連合学会学術集会：東京, 2013

62. 野村秀高, 奥田喜代司, 藤山史恵, 中村嘉宏, 山下能毅, 寺井義人, 大道正英
当科で経験した腹腔鏡下子宮全摘術3例.
第13回近畿産婦人科内視鏡手術研究会：大阪市, 2013

63. 野村秀高, 川又靖貴, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
結核性腹膜炎を疑い、十分な感染対策を練って腹腔鏡下に診断し得た1例.
第36回日本産婦人科手術学会：東京, 2013

64. 野村秀高, 川又靖貴, 坂本公彦, 竹島信宏
結核性腹膜炎を疑い、十分な感染対策を練って腹腔鏡下に診断し得た1例.
第26回日本内視鏡外科学会総会：福岡市, 2013

65. 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸癌の腟断端再発に対する治療法についての検討.
第36回日本産婦人科手術学会：東京, 2013

頭頸科

1. Kawabata, K.
Seoul National University Hospital 耳鼻咽喉科頭頸部教授退官記念講演.

Kwang-hyun Kim Retirement Celebration and Symposium: Seoul, Korea, 2013

2. Kawabata, K.
Reconstruciton Surgery 1.
3rd Congress Asian Society of Head and Neck Oncology: Cebu City, Phillipines, 2013

3. Kawabata, K.
Larynx Cancer: OraSparingSparing Approaches.
20th International Federation of Oto-Rhino-Laryngological Societies (IFOS) World Congress: Seoul, Korea, 2013

4. Shinbashi, W.
Does elective neck dissection in patients with stage II tongue cancer influence recurrence and survival?
20th International Federation of Oto-Rhino-Laryngological Societies (IFOS) World Congress: Seoul, Korea, 2013

5. Kawabata, K.
Robotic surgery of other head & neck tumor.
3rd International Severance Robotic Surgery Symposium in Head and Neck Cancer and Hands-on Workshop: Seoul, Korea, 2013

6. 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 新橋渉, 瀬戸陽, 北野睦三, 小泉雄, 神山亮介, 蛯名彩, 足立充隆, 富樫孝文, 福岡修, 志村英二
唾液腺癌の診断と治療up-to-date 顎下腺癌の治療.
第37回日本頭頸部癌学会: 東京, 2013

7. 小泉雄, 福島啓文, 三谷浩樹, 米川博之, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 北野睦三, 神山亮介, 蛯名彩, 足立充隆, 小倉真理子, 佐藤由紀子, 川端一嘉
硬口蓋に発生した腺様嚢胞癌の治療経験.
第37回日本頭頸部癌学会: 東京, 2013

8. 小倉真理子, 新橋渉, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 北野睦三, 小泉雄, 神山亮介, 蛯名彩, 足立充隆, 佐藤由紀子
嗅神経芽細胞腫における臨床病理学的検討.
第37回日本頭頸部癌学会: 東京, 2013

9. 山田南星, 福島啓文, 志村英二, 白尾浩太郎, 足立充隆, 蛯名彩, 神山亮介, 戸田和寿, 小泉雄, 瀬戸陽, 新橋渉, 佐々木徹, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉
当科における気管癌の臨床的検討.
第37回日本頭頸部癌学会: 東京, 2013

10. 北野睦三, 佐々木徹, 福岡修, 富樫孝文, 足立充隆, 小倉真理子, 蛯名彩, 神山亮介, 小泉雄, 瀬戸陽, 新橋渉, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉
超音波断層法による頭頸部癌頸部リンパ節転移の診断の検討.
第37回日本頭頸部癌学会: 東京, 2013

11. 白尾浩太郎, 新橋渉, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 北野睦三, 小泉雄, 神山亮介, 蛯名彩, 小倉真理子, 足立充隆, 富樫孝文
当科における下顎区域切除症例の臨床的検討.
第37回日本頭頸部癌学会: 東京, 2013

12. 神山亮介, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 北野睦三, 小泉雄, 蛯名彩, 小倉真理子, 足立充隆, 富樫孝文, 福岡修
下咽頭喉頭全摘(TPL)・食道同時手術症例の臨床検討　術後合併症とその対策・予後について.
第37回日本頭頸部癌学会: 東京, 2013

13. 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 新橋渉, 瀬戸陽, 北野睦三, 神山亮介, 蛯名彩, 小倉真理子, 富樫孝文, 福岡修, 志村英二, 日高竜太, 山田南星
鼻副鼻腔腺様嚢胞癌症例の検討.
第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 札幌市, 2013

14. 北野睦三, 日高竜太, 山田南星, 志村英二, 福岡修, 富樫孝文, 小倉真理子, 蛯名彩, 神山亮介, 瀬戸陽, 戸田和寿, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉
眼瞼脂腺癌の所属リンパ節転移の制御.
第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 札幌市, 2013

15. 新橋渉, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 北野睦三, 戸田和寿, 神山亮介, 蛯名彩, 小倉真理子, 富樫孝文, 福岡修, 志村英二, 日高竜太, 山田南星

中咽頭癌におけるHPV感染と臨床病理組織学的検討.
第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 札幌市, 2013

16. 福島啓文, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 北野睦三, 神山亮介, 蛯名彩, 小倉真理子, 富樫孝文, 福岡修, 志村英二, 日高竜太, 山田南星
Provox 2を用いた気管食道シャント発声の過緊張症例の検討.
第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 札幌市, 2013

17. 蛯名彩, 福島啓文, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 佐々木徹, 新橋渉, 佐藤由紀子, 田中宏子
全身転移を来した副咽頭間隙多形腺腫の1例.
第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 札幌市, 2013

18. 杉谷巌
甲状腺癌診療の要点　患者の不安を取り除くために.
第32回日本画像医学会: 東京, 2013

19. 佐々木徹
気管原発Granular cell tumorの症例.
第23回日本頭頸部外科学会総会・学術講演会: 鹿児島市, 2013

20. 新橋渉
中咽頭後壁後の臨床的検討.
第23回日本頭頸部外科学会総会・学術講演会: 鹿児島市, 2013

21. 蛯名彩
甲状腺未分化癌(ATC) in 2013@がん研病院.
第9回大江戸内分泌手術手技懇話会: 東京, 2013

22. 濱孝憲
中咽頭癌手術症例におけるHPV感染および転移リンパ節の検討.
第114回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 札幌市, 2013

23. 戸田和寿, 杉谷巌, 藤本吉秀
甲状腺濾胞性樹状細胞肉腫の一例.
第25回日本内分泌外科学会総会: 山形市, 2013

24. 濱孝憲, 須田稔士, 長岡真人, 原山幸久, 岡野晋, 清野洋一, 加藤孝邦
頭頸部扁平上皮癌におけるコピー数変化と予後.
第37回日本頭頸部癌学会: 東京, 2013

25. 蛯名彩
甲状腺乳頭癌に対する独自の癌死危険度分類に基づく甲状腺切除範囲とその決定.
第46回日本甲状腺外科学会学術集会: 名古屋市, 2013

26. 杉谷巌
甲状腺疾患の臨床.
第32回日本画像医学会: 東京, 2013

整形外科

1. Matsumoto, S.
Surgical treatment of soft tissue sarcoma.
57th Annual Fall Congress of the Korean Orthopaedic Association: Seoul, Korea, 2013

2. Matsumoto, S.
Surgical treatment of locally advanced soft tissue sarcoma.
8th International Congress of Chinese Orthopaedic Association: Beijing, China, 2013

3. Tanizawa, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Gokita, T., Hayakawa, K., Fujibuchi, T., Katakura, M., Watanabe, N., Sawaizumi, M., Tanakura, K., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R., Hiruta, N.
A-42-year old male, myxoid round cell liposarcoma of the right popliteal lesion.
25th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2013

4. Gokita, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Fujibuchi, T., Katakura, M., Watanabe, N., Motoi, N., Kanada, H., Machinami, R., Hiruta, N.
A 15-year-old female, low grade fibromyxoid sarcoma of the right axilla.
25th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2013

5. Hayakawa, K., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Fujibuchi, T., Katakura, M., Watanabe, N., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R., Hiruta, N.
A 43-year old fimale, synovial sarcoma of the right elbow.
25th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2013

6. Fujibuchi, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Katakura, M., Watanabe, N., Kawaguchi, N., Sugano, N., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R., Hiruta, N.
A 68-year-old male, small round cellsarcoma of the left lower leg.
25th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2013

7. Shimoji, T., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Fujibuchi, T., Katakura, M., Watanabe, N., Kawaguchi, N.
Follow-up case study presentations about previous SSMS meeting.
25th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma Tokyo, 2013

8. Ae, K., Matsumoto, S., Shimoji, T., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Fujibuchi, T., Katakura, M., Watanabe, N., Kawaguchi, N.
The safety margin analysis based on the surcical margin registration in Japan.
25th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2013

9. 渡部直人, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 片倉麻衣
デノスマブが有効であった坐骨発生骨巨細胞腫の1例.
第53回関東整形外科学会: 宇都宮市, 2013

10. 片倉麻衣, 松本誠一, 阿江啓介, 谷沢泰介, 渡部直人
足部に発生した滑膜肉腫8例の臨床的特徴の検討.
第53回関東整形外科学会: さいたま市, 2013

11. 安宰成, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 宮脇城二, 神埜聖治
広範切除材料にて小さなリンパ節転移を認めた滑膜肉腫の1例.
第669回関東整形災害学会: 東京, 2013

12. 宮田朗, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 宮脇城二, 神埜聖治, 安宰成, 山本尚輝, 川口智義
腫瘍用人工足関節置換術後14年経過した脛骨遠位骨肉腫の1例.
第669回関東整形災害学会: 東京, 2013

13. 山本尚輝, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 宮脇城二, 神埜聖治, 宮田朗, 安宰成
掻爬セメント充填後20年以上経過した大腿骨遠位骨巨細胞腫5例の膝関節機能.
第669回関東整形災害学会: 東京, 2013

14. 片倉麻衣, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 藤渕剛次, 渡部直人
足部に発生した滑膜肉腫8例の臨床的特徴の検討.
第53回関東整形外科学会: さいたま市, 2013

15. 田井康裕, 乙戸崇寛, 澤田豊, 大久保雄, 赤坂清和
上腕骨頭外側運動法における最適強度の検討.
第63回理学療法科学学会学術大会: さいたま市, 2013

16. 谷澤泰介, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 五木田茶舞, 早川景子, 古田則行, 元井紀子, 神田浩明
軟部腫瘍　報告様式を考える 軟部腫瘍細胞診の意義と問題点.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

17. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 藤渕剛次, 川口智義, 大川淳
低悪性軟部肉腫に対する新しい切除縁分類　切除縁評価法の妥当性の検討.
第86回日本整形外科学会学術総会: 広島市, 2013

18. 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞
悪性骨・軟部腫瘍に対する縮小手術 軟部肉腫における縮小手術の適応と限界.
第86回日本整形外科学会学術総会: 広島市,

2013

19. 下地尚, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 澤村千草, 小柳広高, 川口智義
骨･軟部腫瘍手術手技の実際(ビデオセッション)
ISP法を用いた骨・軟部肉腫における縮小手術への挑戦.
第86回日本整形外科学会学術総会: 広島市, 2013

20. 中山隆之, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 藤渕剛次, 早川景子, 大川淳, 三木義男
高分化型脂肪肉腫と脂肪腫のゲノムコピー数解析および遺伝子発現解析.
第86回日本整形外科学会学術総会: 広島市, 2013

21. 下地尚, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 澤村千草, 川口智義
遺伝子発現解析を通じた浸潤型軟部肉腫の浸潤能に関与する遺伝子の同定.
第86回日本整形外科学会学術総会: 広島市, 2013

22. 杉浦善弥, 元井紀子, 神田浩明, 松本誠一, 町並陸生, 石川雄一
軟部肉腫の病理学的悪性度評価　FNCLCC grading systemと分子病理学的予後因子 がん研有明病院におけるFNCLCC grading systemによる軟部肉腫の悪性度評価と予後.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

23. 下地尚, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 澤村千草, 早川景子, 川口智義
浸潤性軟部肉腫の診断と治療 浸潤型軟部肉腫への治療戦略.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

24. 蛭田啓之, 町並陸生, 元井紀子, 松本誠一, 川口智義, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 徳山宣, 笹井大督, 稲岡努, 土谷一晃
浸潤性軟部肉腫の診断と治療 浸潤型軟部肉腫の病理診断と組織学的特徴.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

25. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 藤渕剛次, 早川景子, 川口智義
切除縁評価法の問題点 切除縁評価法　バリア概念の検証.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

26. 松本誠一
骨・軟部腫瘍診療の魅力.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

27. 谷澤泰介, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 五木田茶舞, 早川景子, 藤渕剛次, 片倉麻衣, 渡部直人, 川口智義
腫瘍用人工関節再置換の手技的問題点 腫瘍用人工膝関節再置換の検討.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

28. 早川景子, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 藤渕剛次, 片倉麻衣, 渡部直人, 川口智義
摘出術による広範囲汚染と多発肺転移を示す軟部肉腫に対し、手術と化学療法にて良好な経過の得られた1例.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

29. 藤渕剛次, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 片倉麻衣, 渡部直人, 川口智義
妊娠15週、輸血拒否、人工関節を用いた再建を要した骨巨細胞腫の1例.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

30. 高橋晃, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 藤渕剛次, 早川景子, 中山隆之
胸部X線異常を契機に発見された胞巣状軟部肉腫の検討.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

31. 五木田茶舞, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 澤村千草, 小柳広高, 早川景子, 藤渕剛次, 片倉麻衣, 渡部直人
外科的切除によるデスモイドの治療成績.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

32. 松本誠一
運動器腫瘍とスポーツ.
第39回日本整形外科スポーツ医学会学術集会: 名古屋市, 2013

33. 松本誠一
運動器腫瘍手術の要点.
第69回京都運動器疾患フォーラム: 京都市, 2013

34. 松本誠一
運動器疾患の診断・治療の啓発.
第9回和歌山骨関節靱帯フォーラム: 和歌山市, 2013

35. 棚倉健太, 澤泉雅之, 今井智浩, 松本誠一
膝・下腿での再建後5 年以上の経過観察.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

泌尿器科

1. Harshman, L.C., Kroeger, N., Rha, S.Y., Donskov, F., Wood, L., Tantravahi, S.K., Vaishampayan, U., Rini, B.I., Knox, J., North, S., MacKenzie, M., Yuasa, K., Srinivas, S., Pal, S., Heng, D.Y., Choueiri, T.K.
First-line mTOR inhibition in metastatic renal cell carcinoma (mRCC): An updated analysis from the International mRCC Database Consortium (IMDC).
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, 2013

2. Ko, J.J., Choueiri, T.K., Rini, B.I., Lee, J., Kroeger, N., Srinivas, S., Harshman, L.C., Knox, J.J., Bjarnason, G.A., MacKenzie, M., Wood, L., Vaishampayan, U.N., Agarwal, N., Pal, S.K., Tan, M.H., Rha, S.Y., Yuasa, K., Donskov, F., Bamias, A., Heng, D.Y.
First-, second-, third-line therapy for metastatic renal cell carcinoma (mRCC): Benchmarks for trials design from the International mRCC Database Consortium (IMDC).
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, 2013

3. Kyriakopoulos, C.E., Chittoria, N., Choueiri, T.K., Kroeger, N., Lee, J., Srinivas, S., Knox, J.J., Bjarnason, G.A., Ernst, S., Wood, L., Vaishampayan, U.N., Agarwal, N., Pal, S.K., Kanesvaran, R., Rha, S.Y., Yuasa, K., Donskov, F., North, S.A., Heng, D.Y., Rini, B.I.
Outcome of metastatic sarcomatoid renal cell carcinoma (sRCC): Results from the International mRCC Database Consortium.
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, 2013

4. Kroeger, N., Choueiri, T.K., Lee, J.L., Bjarnason, G.A., Knox, J.J., MacKenzie, M.J., Wood, L., Srinivas, S., Vaishampayan, U.N., Rha, S.Y., Pal, S.K., Yuasa, K., Donskov, F., Agarwal, N., Tan, M.H., Bamis, A., Kollmannsberger, C., North, S.A., Rini, B.I., Heng, D.Y.
Treatment response and survival outcome of patients with late relapse (LR) from renal cell carcinoma (RCC) in the era of targeted therapy.
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, 2013

5. 米瀬淳二, 砂倉瑞明, 増田均, 藤井靖久
ミニマム創腎部分切除の導入と初期経験.
第6回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会: 東京, 2013

6. 増田均
新しい治療戦略シリーズ　括約筋機能障害：男性腹圧性尿失禁に対するスリング手術.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

7. 増田均
慢性前立腺炎/慢性骨盤痛症候群(CP/CPPS)再考 前立腺の慢性炎症とPSA及び関連マーカー及び下部尿路症状との関連　多部位生検コホートからの検討.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

8. 山本真也, 増田均, 浦上慎司, 吉川慎一, 砂倉瑞明, 田中一, 助川玄, 秋山佳之, 上原翔, 湯浅健, 川上理, 福井巌, 米瀬淳二
Single positive core症例における前立腺全摘術病理所見の術前予測因子の検討.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

9. 浦上慎司, 福井巌, 山本真也, 増田均, 湯浅健, 吉川慎一, 砂倉瑞明, 田中一, 助川玄, 秋山佳之, 上原翔, 米瀬淳二
局所進行性尿路上皮癌に対する術後補助化学療法としてのGEP化学療法の検討.

第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

10. 米瀬淳二, 山本真也, 浦上慎司, 吉川慎一, 砂倉瑞明, 助川玄, 田中一, 秋山佳之, 上原翔, 大久保雄平, 湯浅健, 増田均, 福井巌
ハイリスク前立腺がんに対する手術療法と放射線療法の治療成績.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

11. 吉川慎一, 山本真也, 増田均, 浦上慎司, 湯浅健, 砂倉瑞明, 田中一, 助川玄, 秋山佳之, 上原翔, 須山太助, 福井巌, 米瀬淳二
尿路上皮癌における尿路変向術後の質問紙表を用いたQOL調査.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

12. 秋山佳之, 増田均, 上原翔, 助川玄, 田中一, 砂倉瑞明, 吉川慎一, 浦上慎司, 湯浅健, 山本真也, 福井巌, 米瀬淳二
当院における前立腺狙撃針生検の臨床的検討.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

13. 田中一, 湯浅健, 上原翔, 秋山佳之, 助川玄, 伊藤将也, 砂倉瑞明, 吉川慎一, 浦上慎司, 山本真也, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二
ドセタキセル長期継続投与症例の検討.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

14. 増田均, 山本真也, 浦上慎司, 吉川慎一, 砂倉瑞明, 田中一, 秋山佳之, 助川玄, 上原翔, 湯浅健, 福井巌, 米瀬淳二
肥満(BMI≧25kg/m2)は、病理学的限局性前立腺癌例において術後PSA再発の予測因子である.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

15. 砂倉瑞明, 上原翔, 秋山佳之, 助川玄, 田中一, 吉川慎一, 浦上慎司, 湯浅健, 増田均, 山本真也, 藤井靖久, 福井巌, 米瀬淳二
前立腺全摘後PSA再発症例の臨床経過.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

16. 増田均
Surgical Treatment for SUI　エキスパートが選択する尿失禁の外科的治療　男性腹圧性尿失禁に対する人工尿道括約筋植込術　手術の実際.
第20回日本排尿機能学会: 静岡市, 2013

17. 湯浅健, 萩原喜一, 井上泰, 上原翔, 林達郎, 田中一, 砂倉瑞明, 浦上慎司, 山本真也, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二
MD-CT導入後の精巣がんstage1症例、surveillance policyの治療成績.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

18. 湯浅健
転移性腎細胞癌に対する治療戦略.
第40回尿路悪性腫瘍研究会: 東京, 2013

血液腫瘍科

1. Hatake, K.
Molecular epidemiology rare subgroup in common cancer : success in ALK in Japan and future strategies.
24th International Congress on Anti-Cancer Treatment　(ICACT): Paris, France, 2013

2. Hatake, K.
Present statue of clinical trials for hematological malignancine in Japan.
24th International Congress on Anti-Cancer Treatment　(ICACT): Paris, France, 2013

3. Hatake, K.
Powerful tool for fluorescence bio-imaging cancer cells determining drug response.
24th International Congress on Anti-Cancer Treatment　(ICACT): Paris, France, 2013

4. Tamura, K., Saeki, T., Aiba, K., Nakahashi, Y., Kamura, T., Baba, H., Yamamoto, N., Kitagawa, Y., Yoshida, K., Furuse, J., Kakeji, Y., Wakabayashi, G., Sugiyama, T., Ito, Y., Hatake, K., Hirata, K., Maehara, Y., Kitajima, M.
Nationwide survey on chemotherapy-induced nausea and vomiting(CINV) associated with moderately to highly emetogenic chemotherapy (MEC and HEC) and primary care medical care staffs' perception on CINV.
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2013

5. Terui, Y., Nishimura, N., Hatake, K.
Histone demethylase inhibitor, trans-2-phenylcyclopropylamine hydrochloride, overcomes reversible tolerance to bortezomib.
14th International Myeloma Workshop:

Kyoto, Japan, 2013

6. Mishima, Y., Moscehetta, M., Sahin, I., Roccaro, A., Hatake, K., Ghobrial, I.
Establishment of novel mice models for extramedullary plasmacytoma.
14th International Myeloma Workshop: Kyoto, Japan, 2013

7. Nishimura, N., Ueda, K., Ouchi, A., Yokoyama, M., Terui, Y., Hatake, K.
The frequencien of cytogenetic abnormalities by FISH in Japaese.
14th International Myeloma Workshop: Kyoto, Japan, 2013

8. Terui, Y.
Histon demethlyase inhibitor, trans-2-phenylcyclopropylamine hydrochloride inhibitor KDM3A and KDM5A activities, resulting in overcoming resistance against bortezomib.
AACR-NCI-EORTC International Conference on Molecular Targets and Cancer Therapeutics: Boston, USA, 2013

9. Nitta, H., Terui, Y., Yokoyama, M., Nishimura, N., Ueda, K., Ouchi, A., Kusano, Y., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Numbers and percentages of peripheral monocytes is a prognostic marker for CNS involvement in diffuse large B-cell lymphoma.
American Society of Hematology Annual Meeting: New Orleans, USA, 2013

10. Ogura, M., Hatake, K., Davis, A., Crump, M., Tobinai, K., Smith, M.R., Offner, F., Ananthakrishnan, R., Ishibashi, T., Paccagnella, L., Vandendries, E., MacDonald, D.A.
B-Cell non-Hogkin lymphoma (B-NHL).
12th International Conference on Malignant Lymphoma (ICML): Lugano, Switzerland, 2013

11. 畠清彦, 小椋美智則, 石田高司, 谷脇雅史, 安藤潔, 飛内賢正, 山本一仁, 塚崎邦弘, 朝長万佐男, 上田龍三
CCR4陽性再発・再燃PTCLおよびCTCLを対象とした抗CCR4抗体Mogamulizumab (KW-0761)の多施設共同第Ⅱ相臨床試験： A multicenter Phase II study of Mogamulizumab (KW-0761) in patients with relapsed peripheral or cutaneous T-cell lymphoma.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

12. 西村倫子, 照井康仁, 大内彩, 上田響子, 新田英昭, 横山雄大, 津山直子, 竹内賢吾, 畠清彦
Incidence of deep vein thrombosis (DVE) in myeloma patients treated with Lenalidomide / Dexamethasone with prophylaxis.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

13. 大内彩, 横山雄大, 竹内賢吾, 新田英昭, 上田響子, 西村倫子, 津山直子, 照井康仁, 畠清彦
GDP chemotherapy for relapsed / refractoy lymphoma is effective and safe
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

14. 新田英昭, 照井康仁, 横山雄大, 西村倫子, 上田響子, 津山直子, 竹内賢吾, 畠清彦
Numbers and percentages of peripheral monocytes is a prognostic marker for CNS involvement in diffuse large B-cell lymphoma.
第75回日本血液学会総会: 札幌市, 2013

15. 小畑美穂, 大内彩, 横山雅大, 上田響子, 西村倫子, 照井康仁, 津山直子, 竹内賢吾, 畠清彦
悪性リンパ腫治療後に骨髄異形成症候群を発症した1例.
第599回日本内科学会関東地方会: 東京, 2013

16. 草野善晴, 西村倫子, 上田響子, 横山雅大, 照井康仁, 津山直子, 竹内賢吾, 畠清彦
多発の節外病変を認めたHodgkin Lymphomaの1例.
第599回日本内科学会関東地方会: 東京, 2013

17. 上田響子, 西村倫子, 照井康仁, 横山雄大, 畠清彦
限局期NK/T リンパ節鼻型に対するRT-DeVIC療法の治療成績：RT-DeVIC therapy for localized NK/T cell lymphoma patients; retrospective analysis of 19 patients.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市,

2013

総合腫瘍科

1. Sato, Y., Nakano, K., Sato, Y., Toshiyasu, T., Kawabata, K., Takahashi, S.
ACE inhibitors could prevent aspiration pneumonia in head and neck cancer patients treated with CCRT.
17th ECCO-38theESMO-32nd ESTRO European Cancer Congress (ECC2013): Amsterdam, Netherlands, 2013

2. Nakayama, Y., Takahashi, S., Tanabe, M., Ito, Y.
A phase Ⅱ clinical trial of neoadjuvant thetapy with zoledronic acid for operable breast cancer.
17th ECCO-38theESMO-32nd ESTRO European Cancer Congress (ECC2013): Amsterdam, Netherlands, 2013

3. Takahashi, S., Iwase, T., Kohno, N., Ishikawa, T., Seung, J.K., Hosoda, M., Horiguchi, J., Yamauchi, H., Fukunaga, M., Noguchi, S.
Efficacy of zoledronic acid in postmenopausal Japanese women with early breast cancer receiving adjuvant letrozole:36-month results.
17th ECCO-38theESMO-32nd ESTRO European Cancer Congress (ECC2013): Amsterdam, Netherlands, 2013

4. Nakano, K., Sato, Y., Sato, Y., Toshiyasu, T., Kawabata, K., Takahashi, S.
Predicitve factors of cisplatin (CDDP) completion/discontinuation in concurrent chemoradiotherapy (CCRT) to locally advanced head and neck cancer patients.
17th ECCO-38theESMO-32nd ESTRO European Cancer Congress (ECC2013): Amsterdam, Netherlands, 2013

5. Sato, Y., Okuno, M.
Value of experiences in a rural area hospital.
American College of Physicians Japan Chapter Annual Meeting: Kyoto, Japan, 2013

6. Nakayama, Y., Takahashi, S., Ito, Y.
A phase II clinical trial of neoadjuvant therapy with zoledronic acid for operable breast cancer.
49th ASCO Annual Meeting Chicago, USA, 2013

7. 仲野兼司, 佐藤靖祥, 佐藤由貴子, 利安隆史, 川端一嘉, 高橋俊二
Predictive factors of CDDP continuation in concurrent chemoradiotherapy to nonmetastatic head and neck cancer patients.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

8. 佐藤靖祥, 仲野兼司, 佐藤由貴子, 利安隆史, 川端一嘉, 高橋俊二
Risk factors of prolonged hospitalization in locally advanced head and neck cancer patients with concurrent chemoradiotherapy (CCRT).
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

9. 深田一平
Therapeutic effect of taxane for metastatic breast cancer.
第11回日本臨床腫瘍学会学術総会: 仙台市, 2013

10. 高橋俊二
新しい治療戦略シリーズ　去勢抵抗性前立腺癌
前立腺がん患者における骨特異的薬剤の開発.
第101回日本泌尿器科学会総会: 札幌市, 2013

11. 高橋俊二
軟部肉腫に対する薬物療法とその有害事象対策.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

12. 河合佑子, 伊藤良則, 中山美恵, 後藤興四成, 照屋史子, 照屋なつき, 小口正彦, 秋山太, 岩瀬拓士, 高橋俊二, 田辺真彦, 小林隆之, 荒木和浩, 小林心, 深田一平
転移乳癌に対するベバシズマブ・パクリタキセルの治療成績.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

13. 深田一平, 伊藤良則, 高橋俊二, 田辺真彦, 小林隆之, 小林心, 荒木和浩, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
Luminal乳癌に対する術前化学療法におけるホルモン受容体発現状況とpCR率および予後解析.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

14. 高橋俊二, 小林心, 小林隆之, 田辺真彦, 荒木和浩, 伊藤良則
ゾレドロン酸長期投与に伴う有害事象の検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

15. 中山美恵, 伊藤良則, 高橋俊二
早期乳癌患者に対するゾレドロン酸術前療法の第2相試験、最終報告.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

16. 佐藤靖祥, 瀧景子, 佐藤友里, 芦原有美, 浦上尚之, 五十嵐正広, 新井正美
*MLH1*にnovel mutation(c.791-1 G>A)を確認したアジア系外国人のLynch症候群の1例.
第19回日本家族性腫瘍学会学術集会: 別府市, 2013

17. 高橋俊二, 柏葉正博, 増田教一, 伊藤良則, 高尾信太郎, 土井原博義, 雷善昭
HER2陽性乳癌患者を対象としたトラスツズマブ エムタンシンの有効性及び安全性を検討する国内第II相臨床試験.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

18. 高橋俊二, 岩瀬拓士, 河野範男, 石川孝, 金昇晋, 細田充主, 堀口淳, 山内英子, 穂積康夫, 岡田守人, 福永仁夫, 野口眞三郎
HER-2陽性乳がんに対する新しい治療戦略：T-DM1について.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

19. 高橋俊二
骨転移治療：骨転移の分子標的治療：present and turure.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

麻酔科

1. Nagata, O., Kuroyanagi, A., Matsunaga, A., Kanmura, Y.
Real time estimation of the optimal proposal concentration for maintaining the requestedBIS value: methodology and reliability.
International Anesthesia Research Society Annual Meeting (IARS): San Diego, USA, 2013

2. 横田美幸
あなたの手術室は安全? 鎮静とMonitored Anesthesia Care.
日本蘇生学会第32回大会: 東京, 2013

3. 横田美幸
麻酔科医からの術前N.P.O.(禁飲食)指示と術前食事療養の考え方.
日本臨床麻酔学会第33回大会: 金沢市, 2013

4. 玄運官, 三好壮太郎, 横田美幸
誤嚥性肺炎と変形性脊椎症合併の大腿骨転子部骨折高齢患者の麻酔法選択とその施行に難渋した一例.
日本臨床麻酔学会第33回大会: 金沢市, 2013

5. 戸口裕介, 平島潤子, 長田理, 大島勉, 関誠, 横田美幸
周術期Quality Indicatorによる医療評価と問題点.
日本臨床麻酔学会第33回大会: 金沢市, 2013

6. 横田美幸
医事紛争とペインクリニック.
日本ペインクリニック学会第47回大会: さいたま市, 2013

7. 服部政治
オピオイド注射薬の使い方とペインクリニック的がん疼痛治療法.
日本ペインクリニック学会第47回大会: さいたま市, 2013

8. 横田美幸
低侵襲医療における合併症(有害事象)を減らすために必要なしくみ 麻酔科医からみた低侵襲医療における医療安全 麻酔・手術とペインクリニックのIAと医事紛争.
第8回医療の質・安全学会: 東京, 2013

9. 畔柳綾, 長田理, 永松明, 上村裕一, 重見研司, 尾崎眞
全身麻酔中のレミフェンタニルがプロポフォールesTECに及ぼす影響.

日本麻酔科学会第60回学術集会: 札幌市, 2013

10. 山田知嗣, 永松明, 長田理, 畔柳綾, 長岡美佐紀, 上村裕一
esTECを用いた傍脊椎ブロックによる鎮痛効果の評価.
日本麻酔科学会第60回学術集会: 札幌市, 2013

11. 伊藤祥子, 高木俊一, 畔柳綾, 長田理, 尾崎眞
初回投与からの回復時間を用いたロクロニウム持続投与法の検討.
日本麻酔科学会第60回学術集会: 札幌市, 2013

12. 吉岡清佳, 森野良蔵, 長田理, 阿部真友子, 七松恭子, 横田美幸
Apfelスコアを使用したPONV発生率予測の検討.
日本麻酔科学会第60回学術集会: 札幌市, 2013

13. 横田美幸
麻酔科の保険診療報酬を考える2013 ; 外保連麻酔試案と次回要望.
日本麻酔科学会第60回学術集会: 札幌市, 2013

14. 森野良蔵
日本におけるPONVの現状 : 大規模調査からの報告.
日本麻酔科学会第60回学術集会: 札幌市, 2013

15. 森野良蔵, 筒井健次
嘔気の原因のIVPCA中止はPONVリスクスコアと相関する.
日本麻酔科学会第60回学術集会: 札幌市, 2013

16. 長田理
デスフルランだからこそ–安全・簡単・確実な麻酔管理.
日本麻酔科学会第60回学術集会: 札幌市, 2013

17. 戸口裕介, 平島潤子, 長田理, 大島勉, 関誠, 横田美幸
周術期Quality Indicatorによる医療評価と問題点.
日本臨床麻酔学会第33回大会: 金沢市, 2013

18. 横田美幸
手術室の安全対策.
日本臨床麻酔学会第33回大会: 金沢市, 2013

19. 玄運官, 横田美幸
周術期心筋虚血の予防管理について ：麻酔導入直後・抜管時にST上昇を繰り返した心筋虚血既往がない症例の経験を通しての１提案.
第25回日本老年麻酔学会: 函館市, 2013

20. 田中久博, 有阪理英, 平島潤子, 横田美幸
大腿骨転子部骨折の術前に深部静脈血栓を合併し一時留置型静脈フィルターを挿入した1例.
第25回日本老年麻酔学会: 函館市, 2013

21. 吉村美音, 長田理, 河野道宏, 山崎隆史, 前知子, 長谷川恵梨, 石園夢, 大橋正悟, 秋月種高
パークベンチ体位での術中褥瘡発生危険因子の検討 第2報 ：体温上昇と発汗・褥瘡発生率の検討.
第15回日本褥瘡学会学術集会: 神戸市, 2013

22. 吉村美音, 長田理, 柴伸昌, 石園夢, 川島智美, 山田千尋, 大橋正悟, 秋月種高
脊椎後方手術における4点フレームでの褥瘡予防法の検討.
第15回日本褥瘡学会学術集会: 神戸市, 2013

23. 畔柳綾, 長田理, 松永明, 上村裕一, 尾崎眞
呼吸器外科手術におけるプロポフォールとレミフェンタニルの相互作用の適合性.
第20回日本静脈麻酔学会: 米子市, 2013

24. 森野良蔵
PONV大規模調査からの報告.
第6回 大文字周術期管理セミナー: 京都市, 2013

25. 長田理
全身麻酔における鎮痛の意義.
広島麻酔セミナー: 広島市, 2013

26. 長田理
全身麻酔における鎮痛の意義.
第5回信州Opioid研究会: 松本市, 2013

27. 長田理
ロクロニウム持続投与による安定した筋弛緩確保の理論と実践.
第3回北陸麻酔・集中治療研究会: 松本市, 2013

28. 長田理
明日から実践できるRb持続投与法.
Shizuoka Neuromuscular Meeting: 静岡市,

2013

腫瘍精神科

1. 山田健志
リエゾン精神科医のキャリアパス.
第26回日本総合病院精神医学会総会: 京都市, 2013

形成外科

1. 澤泉雅之
骨・軟部腫瘍で使用される皮弁.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

2. 矢島和宜
血管吻合付加つき有茎回結腸腸管による上部消化管再建の新しいコンセプト.
第18回形成外科手術手技学会: 東京, 2013

3. 矢島和宜, 澤泉雅之
乳房切除後再建の今後の展開　乳房インプラントの保険適応をめぐって 乳房切除後再建の今後の展開(特に人工物再建について).
第38回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2013

4. 矢島和宜, 澤泉雅之
原発病巣手術と温存乳房内再発 シリコンインプラントによる乳房再建(一般化にむけての課題).
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

5. 棚倉健太, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 倉元有木子, 梁太一, 岩瀬拓士
Allergan社製乳房再建用ティシューエキスパンダーNatrelle 133の使用経験.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

6. 前田拓摩, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 棚倉健太, 倉元有木子, 梁太一, 岩瀬拓士
総温存率と乳房喪失率.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

7. 棚倉健太, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 梁太一, 川上順子, 松本誠一
移植皮弁の選択　私のファーストチョイス　足部・下腿に用いる皮弁 骨・軟部腫瘍再建での足部・下腿における皮弁の選択法.
日本マイクロサージャリー学会40周年記念学術集会: 盛岡市, 2013

8. 前田拓摩, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 棚倉健太, 梁太一, 川上順子, 松本誠一
移植皮弁の選択　私のファーストチョイス　前腕・手・指に用いる皮弁 機能獲得を目指した前腕悪性軟部腫瘍切除後の再建　前外側大腿皮弁と腱移行の有用性.
日本マイクロサージャリー学会40周年記念学術集会: 盛岡市, 2013

9. 矢島和宜, 澤泉雅之
皮弁による乳房再建　有茎vs遊離 乳房整容再建としての腹部遊離皮弁の有用性と整容改善のための工夫点.
日本マイクロサージャリー学会40周年記念学術集会: 盛岡市, 2013

10. 棚倉健太, 澤泉雅之, 今井智浩, 松本誠一
膝・下腿での再建後5 年以上の経過観察.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

11. 前田拓摩, 澤泉雅之, 今井智浩, 岩瀬拓士
乳房再建法の選択とその実際.
第1回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 福岡市, 2013

12. 矢島和宜, 澤泉雅之
シリコン・インプラント乳房再建におけるエステティックリファインメント.
第1回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 福岡市, 2013

13. 矢島和宜, 澤泉雅之
美容外科の再建領域への応用 / 再建外科と美容外科双方を行っている若き形成外科医に向けて：乳房再建手術における Aesthetic refinement の要点（曲面形成をどう考えるか？）.
第36回日本美容外科学会総会: 東京, 2013

14. 倉本有木子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 松本誠一
逆行性広背筋皮弁にて再建した2例.
第18回形成外科手術手技学会: 東京, 2013

15. 倉本有木子, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一

Allergan社製乳房用anatomical tissue expander "Natrelle™ 133"の使用経験：挿入法及び合併症.
第６回筑波大学形成外科同門会学会: つくば市, 2013

16. 倉本有木子, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 岩瀬拓士
DIEP flap におけるSquare flap の血流と形態評価について.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

17. 梁太一, 矢島和宜, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 倉本有木子, 岩瀬拓士
DIEP flap を用いた乳房再建における造影CTによる皮弁血管解析.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

18. 前田拓摩, 矢島和宜, 今井智浩, 棚倉健太, 倉本有木子, 梁太一, 岩瀬拓士, 澤泉雅之
腹部遊離皮弁による乳房再建のための新しい皮弁デザインコンセプト：Square flap.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

19. 今井智浩, 澤泉雅之, 矢島和宜, 前田拓摩, 棚倉健太, 倉本有木子, 梁太一, 岩瀬拓士
当院における一次二期乳房再建適応拡大についての検討.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

20. 前田拓摩, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 棚倉健太, 倉本有木子, 梁太一, 岩瀬拓士
人工物を用いた乳房再建：当院における乳房再建症例700 例の検討.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

21. 棚倉健太, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 倉本有木子, 梁太一, 岩瀬拓士
シリコンインプラントのサイズ選択におけるエコーによる計測の有用性.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

22. 今井智浩, 澤泉雅之, 矢島和宜, 前田拓摩, 棚倉健太, 倉本有木子, 梁太一, 岩瀬拓士
インプラント再建乳房に対する局麻下脂肪注入による修正術.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

23. 前田拓摩, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 棚倉健太, 倉本有木子, 梁太一, 岩瀬拓士
Tissue Expander to Implant Reconstructionに必要な術中操作：Implant Pocket 作成法.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

24. 棚倉健太, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 倉本有木子, 梁太一, 岩瀬拓士
Allergan 社製乳房再建用ティシューエキスパンダーNatrelle 133の使用経験.
第56回日本形成外科学会総会・学術集会: 東京, 2013

25. 川上順子, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 松本誠一
右上腕に発生した浸潤性MFHに対し広背筋皮弁で再建した一例.
関東形成外科学会第274回東京地方会: 東京, 2013

26. 今井智浩, 前田拓摩, 澤泉雅之, 矢島和宜, 棚倉健太, 梁太一, 川上順子
インプラント乳房再建後のcontour deformitiesに対する局麻下脂肪注入術.
第1回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 福岡市, 2013

27. 今井智浩, 澤泉雅之, 矢島和宜, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 川上順子
エキスパンダー/インプラント一次二期乳房再建における放射線照射の手術時期について.
第1回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 福岡市, 2013

28. 前田拓摩, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 棚倉健太, 梁太一, 川上順子, 岩瀬拓士
当院における乳房インプラントを用いた乳房再建700 例の検討.
第1回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 福岡市, 2013

29. 梁太一, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 川上順子, 岩瀬拓士
乳房シリコンインプラントのMRI 画像検査.

第1回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 福岡市, 2013

30. 棚倉健太, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 倉本有木子, 梁太一, 岩瀬拓士
Allergan 社製乳房再建用ティシューエキスパンダーNatrelle 133の使用経験.
第1回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 福岡市, 2013

31. 棚倉健太, 澤泉雅之, 矢島和宜, 今井智浩, 前田拓摩, 倉本有木子, 梁太一
当施設における軟部肉腫切除後再建.
第6回筑波大学形成外科同門会学会: つくば市, 2013

眼　科

1. Tsuji, H.
Cilary body malignant teatoid medullopeithelioma.
International Society of Ocular Oncology Meeting: Cleveland, USA, 2013

2. Tsuji, H., Kobayashi, M., Kawabata, K.
Orbital reconstruction with prostheses after extended maxillectomy for advanced maxillary sinus carcinoma.
32nd European Society of Opthalmic Plastic and Reconstructive Surgery (ESOPRS) Annual Meeting: Barcelona, Spain, 2013

3. 辻英貴
最難治疾患　眼内悪性リンパ腫をいかに診断・治療するか 眼内リンパ腫の臨床診断　眼科医が見逃してはいけない病気の横綱.
第117回日本眼科学会総会: 東京, 2013

4. 辻英貴
眼瞼／眼表面腫瘤の色別治療戦略.
第36回日本眼科手術学会総会: 福岡市, 2013

5. 辻英貴, 小林めぐみ
眼瞼悪性腫瘍切除後のカトラー･ベアード法の検討.
第24回眼瞼・義眼床手術研究会: 広島市, 2013

6. 辻英貴
結膜に生じたIgG4陽性形質細胞浸潤症例.
第7回日本IgG4研究会: 岡山市, 2013

7. 辻英貴, 小林めぐみ
成人の眼内に発症したMalignant teratoid medullopithelioma.
第47回眼科臨床病理組織研究会: 福岡市, 2013

8. 辻英貴
眼部における転移性および浸潤性の腫瘍.
第31回日本眼腫瘍学会: 高知市, 2013

9. 辻英貴, 小林めぐみ, 川端一嘉, 中村恭久
上顎がん手術後の義眼床再建.
第1回日本眼形成外科学会学術集会: 長久手市, 2013

感染症科

1. 原田壮平
がん専門病院におけるカンジダ血症の臨床像と診療適正化の試み.
第87回日本感染症学会総会: 横浜市, 2013

漢方サポート科

1. Hoshino, E.
The new progress of Japanese integrative oncology.
4th International Symposium of Integrative Oncology: Shanghai, China, 2013

2. 星野惠津夫
癌との共生(西洋医学と東洋医学) がん研有明病院で今起きている、漢方によるがん治療の奇蹟.
第64回日本東洋医学会学術総会: 鹿児島市, 2013

3. 星野惠津夫
漢方薬を駆使したがん患者の心のサポート.
第49回日本東洋心身医学研究会: 東京, 2013

4. 星野惠津夫
がん研有明病院で今起きている、[漢方＋α]によるがん治療の奇蹟.
第20回日本東洋医学会栃木県部会: 宇都宮市, 2013

5. 星野惠津夫
がん研有明病院で今起きている、統合医療によるがん治療の奇蹟：[漢方＋α]によりがん難民をなくす試み.
第17回日本統合医療学会: 東京, 2013

緩和治療科

1. 佐伯吉規，中山博文，林田由美子，安井玲子，山田健志，下田和孝，向山雄人
がん患者の輸液療法に伴う溢水症状について.
第26回日本総合病院精神医学会総会：京都市，2013

2. 中山博文
乳がん：不安や疑問に感じること－2013.
エポック10フェスタ：東京，2013

放射線治療科

1. Yoshida, A., Oguchi, M., Murofushi, K., Kozuka, T., Toshiyasu, T., Asari, T., Iwase, T., Akiyama, F.
Is re-excision necessary for patients with positive surgical margin (0 mm) before post-operative breast radiation therapy?
American Society for Radiation Oncology 55th Annual Meeting, : Atlanta, USA, 2013

2. 利安隆史，川端一嘉，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，佐々木徹，新橋渉，田中宏子，高橋俊二
中咽頭扁平上皮癌に対する放射線治療　治療効果と再発形式.
第37回日本頭頸部癌学会：東京，2013

3. 吉田匡宏，浅利崇生，小塚拓洋，原田亜里咲，大久保裕史，宮澤一成，八木緑，利安隆史，室伏景子，小口正彦
当院における切除不能局所進行食道がんの放射線治療成績.
第443回日本医学放射線学会関東地方会定期大会：東京，2013

4. 八木緑，室伏景子，北村望，浅利崇生，利安隆史，小塚拓洋，竹島信宏，小口正彦
膣壁及び傍子宮組織に高度浸潤した子宮頸癌ⅢB期に対しIMRT，腔内照射を併用し局所制御を得た一例.
第443回日本医学放射線学会関東地方会定期大会：東京，2013

5. 小口正彦
放射線治療の進歩.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会：東京，2013

6. 小口正彦
悪性リンパ腫.
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

7. 小塚拓洋，宮澤一成，大友結子，江場淳子，大久保裕史，室伏景子，利安隆史，浅利崇生，八木緑，小口正彦
中間リスク前立腺癌に対する短期的IMRT70Gy/28Frの有害事象と治療成績.
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

8. 大久保裕史，小塚拓洋，宮澤一成，大友結子，吉田匡宏，原田亜里咲，八木緑，浅利崇生，利安隆史，室伏景子，小口正彦
当院における前立腺癌に対するIMRT78Gy/39Frの有害事象と治療成績.
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

9. 上原隆三，橋本成世，伊藤康，中島大，五月女達子，北村望，大友結子，佐藤智春，小塚拓洋，小口正彦
胸部病変に対するVMATの治療計画パラメータが線量変化に及ぼす影響.
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

10. 小口正彦，小塚拓洋，室伏景子，利安隆史，浅利崇生，宮澤一成，八木緑，大久保裕史，原田亜里咲，吉田匡宏
十二指腸低悪性度濾胞性リンパ腫の放射線治療成績.
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会報文集：青森市，2013

11. 吉田匡宏，原田亜里咲，大久保裕史，八木緑，宮澤一成，浅利崇生，利安隆史，室伏景子，小塚拓洋，小口正彦
当院における切除不能局所進行食道がんに対する化学放射線治療の遡及的検討.
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

12. 八木緑，室伏景子，北村望，原田亜里咲，吉田匡宏，大久保裕史，宮澤一成，浅利崇生，利安隆史，小塚拓洋，小口正彦
強度変調回転照射を用いた婦人科癌術後全骨盤照射の初期経験.

日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

13. 利安隆史，吉田匡宏，原田亜里咲，大久保裕史，八木緑，宮澤一成，浅利崇生，室伏景子，小塚拓洋，小口正彦
当院の中咽頭扁平上皮癌に対する放射線治療成績．
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

14. 宮澤一成，小塚拓洋，浅利崇生，室伏景子，利安隆史，八木緑，大久保裕史，吉田匡宏，原田亜里咲，小口正彦
非小細胞肺癌に対する根治的化学放射線療法の有害事象と治療成績について．
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

15. 原田亜里咲，利安隆史，吉田匡宏，大久保裕史，八木緑，宮澤一成，浅利崇生，室伏景子，小塚拓洋，小口正彦
当院における上咽頭癌の治療成績．
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

16. 高橋太郎，宮島悟史，秋本健太，橋本竹雄，中島大，上間達也，佐藤洋輔，佐藤智春，小口正彦
リニアックターゲット交換に伴う放射化物測定の経験．
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

17. 伊藤康，橋本成世，中島大，五月女達子，北村望，大友結子，上原隆三，佐藤智春，小塚拓洋，小口正彦
呼吸性移動を伴う胸部病変へのVMATに関する研究．
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

18. 室伏景子，加藤大基，新保大樹，中澤聖則，岡田徹，山下英臣，渡邉聡明，小口正彦
直腸癌術前化学放射線療法第II相試験(JACCROCC04)での放射線療法品質保証活動報告．
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市，2013

19. 松林史泰，高橋良，橋本竹雄，伊藤康，佐藤智春
VMAT特有のダイナミックパラメータが線量処方精度に与える影響について．
第41回日本放射線技術学会秋季学術大会：福岡市，2013

20. 中島大，橋本成世，高橋良，松林史泰，北村望，五月女達子，橋本竹雄，佐藤智春
自作ジグを用いた回転照射QAの検討．
第41回日本放射線技術学会秋季学術大会：福岡市，2013

21. 北村望，橋本成世，伊藤康，中島大，五月女達子，小口正彦，佐藤智春
呼吸移動を考慮した線量再構成における4DCTの位相分割数が計算精度に与える影響．
第41回日本放射線技術学会秋季学術大会：福岡市，2013

22. 吉田匡宏，小口正彦，室伏景子，岩瀬拓士，秋山太，伊藤良則，蒔田益次郎，高橋俊二，西村誠一郎，宮城由美，飯島耕太郎，森園英智，木村聖美，坂井威彦，荻谷朗子，小塚拓洋，利安隆史，浅利崇生，堀井理絵，田辺真彦
乳房温存手術にて断端0mmであった症例の短期的治療成績．
第21回日本乳癌学会学術総会：浜松市，2013

23. 小口正彦，扇田真美，伊藤良則，関口建次，岩瀬拓士，高橋俊二，中村直樹，吉田匡宏，室伏景子，五味直哉，大戸雅史，田辺真彦，小林心，河合佑子，小塚拓洋，國分優美，宮澤一成，蒔田益次郎，西村誠一郎，秋山太
乳がん薬剤性肺臓炎後の胸部放射線療法は安全か?
第21回日本乳癌学会学術総会：浜松市，2013

24. 小口正彦，大久保裕史，宮澤一成，八木緑，吉田匡宏，原田亜里沙，浅利崇生，利安隆史，室伏景子，小塚拓洋
骨原発悪性リンパ腫に対する治療成績．
第444回日本医学放射線学会関東地方会：東京，2013

25. 吉田匡宏，浅利崇生，小塚拓洋，原田亜里沙，大久保裕史，宮澤一成，八木緑，利安隆史，室伏景子，小口正彦
当院における切除不能局所進行食道がんの化学放射線治療成績．
第444回日本医学放射線学会関東地方会：東京，

2013

26. 八木緑, 室伏景子, 浅利崇生, 利安隆史, 小塚拓洋, 小口正彦, 北村望, 竹島信宏
腟壁及び傍子宮組織に高度浸潤した子宮頸癌IIIB期に対しIMRT、腔内照射を併用し局所制御を得た1例.
第444回日本医学放射線学会関東地方会: 東京, 2013

画像診断部

1. 田中宏子, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 新橋渉, 瀬戸陽
頸部転移による頸動脈浸潤のCT画像所見.
第37回日本頭頸部癌学会: 東京, 2013

2. 國分優美, 五味直哉, 何森亜由美, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
<治療に活かす>乳腺領域におけるエラストグラフィの精度と臨床応用 Elastographyにおける半定量的解析(Elasticity index)の有用性について(第一報).
日本超音波医学会第86回学術集会: 大阪市, 2013

3. 栗原宜子, 池田裕隆, 藤川あつ子, 冨田隼人, 鈴木卓也, 田中宏子
聴器の腫瘍と類似疾患　鑑別と注意点.
第72回日本医学放射線学会学術集会: 横浜市, 2013

4. 國分優美, 五味直哉, 何森亜由美, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳腺超音波診断におけるElasticity indexの有用性についての検討.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

5. 五味直哉, 荻谷朗子, 森園英智, 照屋なつき, 山崎希恵子, 佐藤綾花, 白井智子, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太, 牛嶋大, 松浦正明
乳房温存手術の切除断端の予測因子としてMRIは有用か.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

6. 五味直哉
症例呈示：この症例次のステップは.
8th the Breast Care Course Mammotome Advanced Seminar: 東京, 2013

7. 國分優美, 五味直哉, 岩瀬拓士, 秋山太
症例呈示：血性乳頭分泌.
第9回MRマンモグラフィ研究会: 東京, 2013

8. 五味直哉, 國分優美, 蒔田益次郎, 宮城由美, 萩谷朗子, 飯島耕太郎, 坂井威彦, 木村聖美, 森園英智, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳管内病変のMRI診断.
第22回日本乳癌画像研究会: 東京, 2013

9. 五味直哉, 蒔田益次郎, 國分優美, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
異常乳頭分泌症例に対する精査：画像診断と生検法.
第22回日本乳癌画像研究会: 東京, 2013

10. 五味直哉
「高分解能超音波」と「MRI」を用いて乳腺画像を読み解く：乳房MRIの基礎の基礎.
第21回日本乳癌学会学術総会: 浜松市, 2013

11. 五味直哉
ケースから学ぶ超音波ガイド下インターベンション：採取された組織から読めること.
第23回日本乳癌検診学会学術総会: 東京, 2013

12. 五味直哉
乳癌骨転移に対するインターベンション.
第59回東京乳腺研究会: 東京, 2013

13. 國分優美
半定量的解析を用いたエラストグラフィの使用経験.
第30回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 福島市, 2013

核医学部

1. Miwa, K., Tachibana, H., Inubushi, M., Wagatsuma, K., Murata, T., Takiguchi, T., Sasaki, M.
Comparison of intratumoral distribution of 18FDG and 18FAZA using deformable image registration procedure in non-small cell lung cancer patients.
第69回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2013

2. Miwa, K., Tachibana, H., Inubushi, M., Saga, T., Wagatsuma, K., Murata, T.,

Koizumi, M., Sasaki, M.
Comparison of intratumoral 18FDG and 18FAZA distribution in non-small cell lung cancer using deformable image registratio.
99th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America: Chicago, USA, 2013

2. Miwa, K., Inubushi, M., Wagatsuma, K., Umeda, T., Okawa, A., Umeda, T., Koizumi, M., Sasaki, M.
FDG uptake heterogeneity evaluated by fractal analysis improves the differential diagnosis of pulmonary nodule.
99th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America: Chicago, USA, 2013

3. Wagatsuma, K., Miwa, K., Umeda, T., Osawa, A., Murata, T., Takiguchi, T., Koyama, M., Koizumi, M., Inoue, T.
Gated 4D-PET/CT improves quantitative accuracy of PET imaging.
Annual Meeting of Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging: Vancouver, Canada, 2013

4. Umeda, T., Okawa, A., Gomi, T., Miwa, K., Yamamoto, S.
Security model for medical image data hidden using a new digital watermark and steganography technique.
99th Scientific Assembly and Annual Meeting, Radiological Society of North America: Chicago, USA, 2013

5. Umeda, T., Okawa, A., Gomi, T., Miwa, K., Yamamoto, S.
Development of an information hiding system for CT images using digital watermarking technologies: insurance of copyright, privacy, and safety of patient information.
Compter Assisted Radiology and Surgery 27th International Congress and Exhibition: Heidelberg, Germany, 2013

6. Wagatsuma, K., Miwa, K., Umeda, T., Osawa, A., Murata, T., Takiguchi, T., Koyama, M., Koizumi, M., Inoue, T.
Gated 4D-PET/CT improves quantitative accuracy of PET imaging.
Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging 2013 Annual Meeting: Vancouver, Canada, 2013

7. 三輪建太, 犬伏正幸, 竹内康人, 片渕哲朗, 小泉満, 佐賀恒夫, 佐々木雅之
ポジトロン用マルチピンホールコリメータの99mTcに対する性能評価.
第53回日本核医学会学術総会: 福岡市, 2013

8. 小山眞道, 小泉満, 三輪建太, 我妻慧
四肢末梢骨転移のFDG-PET.
第53回日本核医学会学術総会: 福岡市, 2013

9. 大澤敦, 三輪建太, 秋本健太, 我妻慧, 内田茂樹, 鍵小野祐基, 富岡和彦, 滝口智洋
実測とDICOM image headerによるscatter fractionの比較.
第41回日本放射線技術学会秋季学術大会: 福岡市, 2013

10. 梅田拓朗, 三輪建太, 我妻慧, 村田泰輔, 宮司典明, 大澤敦, 滝口智洋, 小泉満
腕の動きによる散乱補正エラーに対する補正アルゴリズムの精度.
第41回日本放射線技術学会秋季学術大会: 福岡市, 2013

11. 村田泰輔, 三輪健太, 松林史泰, 我妻慧, 秋本健太, 藤淵俊王, 小泉満
モンテカルロ計算を用いた高エネルギーβ線放出核種に対する最適な遮蔽材の検討.
第69回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2013

12. 小泉満
がん骨転移の核医学的診断.
第49回日本医学放射線学会秋季臨床大会: 名古屋市, 2013

13. 宮司典明, 三輪建太, 我妻慧, 梅田拓朗, 村田泰輔, 滝口智洋
PET用ドーズキャリブレータの設置環境における最適校正係数の決定.
第60回日本放射線技術学会関東部会研究発表大会: 東京, 2013

14. 村田泰輔, 三輪建太, 梅田拓朗, 我妻慧, 宮司典明, 滝口智洋
肝受容体シンチグラフィにおける肝摂取率定量指標のROI依存性と診断能.
第60回日本放射線技術学会関東部会研究発表大会: 東京, 2013

15. 梅田拓朗, 三輪建太, 我妻慧, 村田泰輔, 宮司典明, 滝口智洋
高感度型PET/CT装置を用いた微小病変の限界検出能.
第60回日本放射線技術学会関東部会研究発表大会: 東京, 2013

16. 三輪建太, 我妻慧, 小山眞道, 小泉満
肺結節病変の18F集積分布の不均一性による良悪性鑑別.
第3回フラクタル解析を応用した臨床補助診断法の確立に関する研究会: 福岡市, 2013

17. 三輪建太, 我妻慧, 佐々木雅之
呼吸同期PET/CTの技術的検討と４次元放射線治療計画に向けて.
PETサマーセミナー2013 in 加賀百万石: 金沢市, 2013

18. 村田泰輔, 梅田拓朗, 三輪建太, 我妻慧, 宮司典明, 小山眞道, 小泉満
体動による散乱補正エラーに対する補正アルゴリズム：Scatter Limitの効果.
PETサマーセミナー2013 in 加賀百万石: 金沢市, 2013

19. 我妻慧
テクニカルレポートに繋がる骨・腫瘍核医学検査技術.
第30回日本核医学技術学会関東地方会総: 東京, 2013

20. 三輪建太, 橘英伸, 犬伏正幸, 我妻慧, 村田泰輔, 滝口智洋, 佐々木雅之
糖代謝と低酸素PET/CT画像間のDeformable Image ：Registrationによる腫瘍内トレーサ集積分布の比.
第69回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2013

21. 村田泰輔, 三輪建太, 松林史泰, 我妻慧, 秋本健太, 藤淵俊王, 小泉満
モンテカルロ計算を用いた高エネルギーβ線放出核種に対する最適な遮蔽材の検討.
第69回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2013

22. 我妻慧
BONENAVIの使用経験.
第17回関東甲信越画像処理研究会: 東京, 2013

23. 我妻慧, 三輪建太, 秋本健太, 宮司典明, 梅田拓朗, 村田泰輔, 滝口智洋
ガンマカメラDaily QCにおけるCo-57面線源を使用した総合均一性測定.
第59回日本放射線技術学会関東部会研究発表大会: つくば市, 2013

24. 梅田拓朗, 三輪建太, 我妻慧, 大沢敦, 滝口智洋, 村田泰輔, 内田幸宏
呼吸性移動によるPET画像への影響および4D-PET/CTによる改善率の検証.
第59回日本放射線技術学会関東部会研究発表大会, : つくば市, 2013

内視鏡診療部

1. Tamegai, Y., Kishihara, T., Chino, A., Suzuki, S., Suganuma, T., Igarashi, M.
Safety and curability of endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors comparing with endoscopic mucosal resection(EMR) and piecemeal EMR.
21st United European Gastroenterology UEG Week: Berlin, Germany, 2013

2. Tamegai, Y., Kishihara, T., Chino, A., Suzuki, S., Suganuma, T., Igarashi, M.
Safe en bloc resection procedure with ESD and laparoscopy endoscopy cooperative surgery(LECS) for colorectal tumors accompanied with fibosis in submucosal layer.
21st United European Gastroenterology UEG Week: Berlin, Germany, 2013

3. Osumi, H., Shinozaki, E., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Suenaga, M., Matsusaka, S., Chin, K., Mizunuma, N.
Predictive significance of anti-p53 antibody and KRAS genotype in metastatic colorectal cancer patients treated with FOLFOX (XELOX) plus Bevacizumab at 1st line chemotherapy.

ESMO 16th World Congress on Gastric Cancer (ESMO-GI): Barcelona, Spain, 2013

4. Osumi, H., Matsusaka, S., Suenaga, M., Wakatsuki, Y., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Shinozaki, E., Chin, K., Mizunuma, N.
Angiotensin II type-1 receptor blockers may have synergic effect in metastatic colorectal cancer patients treated with bevacizumab.
ESMO 16th World Congress on Gastric Cancer (ESMO-GI): Barcelona, Spain, 2013

5. 吉澤奈津子, 藤崎順子, 大前雅実, 清水智樹, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
CV(caliber variation)の所見は表在型Barrett食道癌の深達度診断に有用か.
第67回食道学会学術集会: 大阪市, 2013

6. 清水智樹, 藤崎順子, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
Long segment Barrett's esophagus(LSBE)の臨床的特徴と発癌.
第67回食道学会学術集会: 大阪市, 2013

7. 松尾康正, 山本頼正, 清水智樹, 檀清寿, 堀内裕介, 石川寛高, 菅沼孝紀, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
当院における胃カルチノイドの治療成績.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

8. 堀内裕介, 藤崎順子, 岡田和久, 山本智里子
胃癌診療におけるImaged Enhanced Endoscopyの意義 未分化型早期胃癌のNBI併用拡大内視鏡下による範囲診断の正確性について.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

9. 清水智樹, 山本頼正, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
早期胃癌の治療選択における術前正診率の検討.
第85回日本胃癌学会総会: 大阪市, 2013

10. 浦上尚之, 加藤薫, 岸原輝仁, 大川信彦, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸癌のスクリーニングの新たなモダリティ Endoscopy/CT/MRI/PET PET検査とFITの大腸がん健診の比較検討.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

11. 岸原輝仁, 千野晶子, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 小西毅, 秋吉高志, 藤本佳也, 福長洋介, 上野雅資
大腸ESDの現状と問題点 大腸ESDを安全に行うための工夫　粘膜下層に高度の線維化を伴った例の扱いとLECSの応用.
第68回日本大腸肛門病学会学術集会: 東京, 2013

12. 鈴木翔, 千野晶子, 谷口智香, 森重健二郎, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 石山晃世志, 平澤俊明, 浦上尚之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
直腸粘膜脱症候群と直腸腫瘍の鑑別に超音波内視鏡検査が有用であった2例.
第96回日本消化器内視鏡学会関東地方会; : 東京, 2013

13. 森重健二郎, 山本頼正, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅美, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
5年間の経過で腺腫から腺癌に進行し、内視鏡切除を行った早期十二指腸癌の一例.
第96回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

14. 石川寛高, 藤崎順子, 岡本恒平, 清水智樹, 富田英臣, 堀内裕介, 吉澤奈津子, 松尾康正, 平澤俊明, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
Helicobacter pylori除菌療法後に顕在化した特発性肉芽腫性胃炎の一例.
第96回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

15. 岸原輝仁, 森重健二郎, 五十嵐正広
大腸IEEの新展開 肛門管扁平上皮癌におけるNBI拡大内視鏡観察の有用性の検討.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

16. 吉澤奈津子, 藤崎順子, 大前雅実
Barrett食道癌のNBI拡大内視鏡像で得られたCV(caliber variation)に相当する血管の病理学的検討　CVは腫瘍血管か?
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

17. 富田英臣, 山本頼正, 清水智樹, 吉澤奈津子, 堀内裕介, 石川寛高, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
十二指腸腫瘍性病変に対する内視鏡治療についての検討.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

18. 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
早期直腸癌治療における新展開 直腸及び歯状線にかかる直腸腫瘍における治療ストラテジー.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

19. 鈴木翔, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸内視鏡　苦痛のない挿入法、見落としのない観察法 大腸ビデオスコープの特性による挿入パターンの相違について.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

20. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子
拡大・超拡大内視鏡による消化管疾患の診断 未分化型早期胃癌のNBI併用拡大内視鏡(ME-NBI)による範囲診断の正確性の検討.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

21. 浦上尚之, 五十嵐正広, 上野雅資
消化器癌内視鏡治療・鏡視下手術後の再発病態と対策 大腸SM癌内視鏡治療後の再発形式と予後.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

22. 鈴木翔, 千野晶子, 谷口智香, 森重健二郎, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
小型の早期大腸低分化型腺癌における拡大内視鏡観察の検討.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

23. 吉澤奈津子, 藤崎順子, 大前雅実, 清水智樹, 岡本恒平, 富田英臣, 堀内裕介, 石川寛高, 松尾康正, 檀清寿, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
表在型Barrett食道癌におけるCV(caliber variation)所見の深達度診断への有用性について.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

24. 浦上尚之, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸内視鏡切除後SM癌の現状.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

25. 谷口智香, 千野晶子, 鈴木翔, 森重健二郎, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 加藤薫, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
当院における胃癌原発の転移性大腸癌症例の検討.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

26. 為我井芳郎, 鈴木翔, 谷口智香, 森重健二郎, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 浦上尚之, 五十嵐正広, 福長洋介, 上野雅資
安全で根治的な大腸ESDを目的とした粘膜下層の線維化の内視鏡分類.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

27. 石川寛高, 藤崎順子, 清水智樹, 岡本恒平, 森重健二郎, 富田英臣, 堀内裕介, 吉澤奈津子, 松尾康正, 大前雅実, 平澤俊明, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
潰瘍合併早期胃癌の臨床病理学的特徴の検討.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

28. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子
印環細胞癌のH.pylori感染の有無での増殖能と背景粘膜の胃炎の検討.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

29. 森重健二郎, 千野晶子, 谷口智香, 鈴木翔, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 加藤薫, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
当院における下部消化管出血に対する緊急大腸内視鏡検査について.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

30. 石川寛高, 藤崎順子, 清水智樹, 岡本恒平, 富田英臣, 檀清寿, 堀内裕介, 吉澤奈津子, 菅沼孝紀, 松尾康正, 大前雅実, 平澤俊明, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
病理学的UL(+)早期胃癌と内視鏡的UL(+)早期胃癌の臨床病理学的差異.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

31. 清水智樹, 藤崎順子, 吉澤奈津子, 大前雅実
Barrett食道癌の背景粘膜による臨床病理学的な差異の検討.
第86回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2013

32. 松尾康正, 土田知宏, 石山晃世志, 大前雅実, 藤崎順子, 小林真, 本間清明
SB knife picoを用いた食道ESD.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

33. 清水智樹, 藤崎順子, 堀内裕介, 石川寛高, 松尾康正, 吉澤奈津子, 菅沼孝紀, 檀清寿, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広, 峯真司, 山田和彦, 山口俊晴
LSBEの経過観察中にNBI観察にて発見し得た表在型Barrett食道腺癌の1例.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

34. 富田英臣, 藤崎順子, 清水智樹, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 松尾康正, 壇清寿, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
微小未分化型早期胃癌の内視鏡像とNBI拡大内視鏡像の検討.
第85回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市, 2013

35. 為我井芳郎
症例から学ぶ早期大腸癌の深達度診断と完全一括切除術（ESD)の意義.
第232回消化器病研修会（松戸市医師会）: 松戸市, 2013

36. 為我井芳郎
拡大内視鏡診断と大腸ESD.
富山消化管拡大内視鏡研究会: 富山市, 2013

37. 宮本勇治, 千野晶子, 小倉淳, 清水智樹, 岡本恒平, 冨田英臣, 鈴木翔, 谷口智香, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
高圧酸素療法が有用であった放射線性腸炎（潰瘍形成）の3例.
第97回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

38. 五十嵐正広
IBDの腸管外合併症.
第6回腸疾患カンファレンス: 東京, 2013

39. 五十嵐正広
大腸検査前処置の新時代.
第85回日本消化管内視鏡学会総会エキスパートセミナー1: 京都市, 2013

40. 五十嵐正広
症例セッション「下部消化管」.
第96回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

41. 五十嵐正広
大腸粘膜下腫瘍診断における腸管前処置の意義.
JDDW 2013（第21回消化器関連学会週間）: 東京, 2013

42. 森重健二郎, 山本頼正, 大隅寛木, 冨田明彦, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
当院における胃ESDトレーニングの検討.
第97回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

43. 清水智樹, 千野晶子, 谷口智香, 鈴木翔, 宮本勇治, 冨田英臣, 岡本恒平, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
リンパ節転移をきたした多発直腸カルチノイドの1例.
第97回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

44. 大隅寛木, 石山晃世志, 冨田明彦, 奥野真理, 森重健二郎, 石川寛高, 堀内裕介, 吉澤奈津子, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 秋吉高志, 上野雅資, 新井正美
家族性大腸腺腫（FAP)術後経過中に胃腺腫から早期胃癌に進展した1症例.
第97回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

45. 谷口智香, 為我井芳郎, 菅沼孝紀, 桧垣智彦, 清水智樹, 鈴木翔, 宮本勇治, 岡本恒平, 富田英臣, 岸原輝仁, 千野晶子, 浦上尚之, 五十嵐正広
特異な形態を示した0-Ⅱc型SM癌の1例.
第97回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2013

46. 富田英臣, 千野晶子, 清水智樹, 谷口智香, 鈴木翔, 岡本恒平, 宮本勇治, 菅沼孝紀, 岸原輝仁,

浦上尚之，為我井芳郎，五十嵐正広
Sessile serrated adenoma/polypに併存した粘膜内癌を内視鏡にて診断しえた一例.
第97回日本消化器内視鏡学会関東地方会：東京，2013

46. 堀内裕介
深達度SM早期胃癌の1例.
第2回江東区内視鏡研究会：東京，2013

47. 為我井芳郎
早期大腸癌の内視鏡診断：治療方針決定に向けて.
第25回日本消化器内視鏡学会関東セミナー：東京，2013

遺伝子診療部

1. 瀧景子，佐藤有理，芦原有美，上野雅資，五十嵐正広，新井正美
APC遺伝子に病的生殖細胞変異が同定できない多発性大腸ポリポーシス症例の遺伝子解析.
第19回日本家族性腫瘍学会学術集会：別府市，2013

2. 芦原有美，瀧景子，佐藤有理，西村誠一郎，岩瀬拓士，新井正美
BRCA1遺伝子にvariant of uncertain significanceを認めた症例において、病的変異に準じて臨床対応を実施した1例.
第19回日本家族性腫瘍学会学術集会：別府市，2013

3. 佐藤友理，瀧景子，元井紀子，芦原有美，冨田尚裕，小泉浩一，山本浩文，加藤洋，石川雄一，新井正美
免疫組織化学的検査と遺伝学的検査の結果が一致しなかったリンチ症候群の一例.
第19回日本家族性腫瘍学会学術集会：別府市，2013

4. 新井正美，池田雅彦，岩崎基，岡村仁，高松潔，山本精一郎，平成人，村上茂，乳癌診療ガイドライン疫学・予防小委員会
家族性乳癌・婦人科腫瘍 乳癌診療ガイドライン(2013年度版)における遺伝性乳癌卵巣癌のマネジメントに対する評価と課題.
第19回日本家族性腫瘍学会学術集会：別府市，2013

5. 喜多瑞穂，田村和朗，新井正美，伊田和史，金相赫，守井見奈，鍔本浩志，浜中美衣，山野智基，松原長秀，冨田尚裕
リンチ症候群大家系における興味深いMLH1スプライシング異常の検討.
第19回日本家族性腫瘍学会学術集会：別府市，2013

臨床検査センター

1. 八木靖二
尿沈渣成分の鑑別ポイント　問題形式による解説と対策.
東京都臨床検査技師会生理検査研究班研修会：東京，2013

2. 海原和己，小川麻衣子，大竹純矢，海老原文，中山耕之介，三宅一徳
抗体価の評価可能なHCV検査試薬と定性法試薬との比較評価.
日本臨床検査自動化学会45回大会：横浜市，2013

3. 上東野誉司美，八木靖二，友田美穂子，滝澤久暢，五十嵐正広，三宅一徳
当院での腸粘膜組織を用いた赤痢アメーバ検出法.
第９回東京都医学検査学会：東京，2013

4. 友田美穂子，八木靖二，滝澤久暢，高橋ひろみ，新井正美，谷口敦夫，関田千恵子
尿沈渣中2,8-DHA結晶の検出を契機とし、遺伝子検査で同定されたAPRT欠損症の１例.
第２回日臨技首都圏支部 医学検査学会：東京，2013

5. 田中満ちる，大島悠乃，友田美穂子，菅原奈々，任珍，大竹純矢，海原和己
外来採血待ち時間短縮に向けての調査と解析.
第２回日臨技首都圏支部 医学検査学会：東京，2013

超音波検査部

1. 山田恵子
結節性甲状腺疾患の超音波診断.
第32回日本画像医学会：東京，2013

2. 日野るみ，元井紀子，蛯名彩，北野睦三，戸田和寿，杉谷巌，山田恵子，川端一嘉，石川雄一

副甲状腺癌の一例.
第46回日本甲状腺外科学会学術集会：名古屋市, 2013

3. 山田恵子
甲状腺疾患の超音波検査.
葛飾区医師会超音波集談会：東京, 2013

病理部

1. 堀井理絵
乳頭部腫瘍を極める 乳頭部腫瘍の病理診断.
第33回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 福島市, 2013

2. 古田玲子
家族性大腸腫瘍(FAP、リンチ) リンチ症候群に関連した子宮内膜の前がん病変および内膜がんの病理組織学的な特徴.
第19回日本家族性腫瘍学会学術集会：別府市, 2013

3. 堀井理絵, 秋山太
病理診断　世界の中の日本 乳管内増殖性病変の病理組織診断.
第21回日本乳癌学会学術総会：浜松市, 2013

4. 岡田明子, 堀井理絵, 坂田亜衣, 大迫智, 岩瀬拓士, 秋山太
マンモグラフィで構築の乱れを呈する症例の臨床病理学的検討.
第21回日本乳癌学会学術総会：浜松市, 2013

5. 照屋なつき, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太
両側乳癌症例において一方が硬化性病変を背景にdistortionを呈した場合、対側にも類似病変が認められる頻度.
第21回日本乳癌学会学術総会：浜松市, 2013

6. 坂田亜衣, 堀井理絵, 岡田明子, 大迫智, 米倉利香, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士, 秋山太
過小評価されやすい乳管内乳頭状癌の病理学的特徴.
第21回日本乳癌学会学術総会：浜松市, 2013

7. 杉浦善弥, 元井紀子, 神田浩明, 松本誠一, 町並陸生, 石川雄一
軟部肉腫の病理学的悪性度評価　FNCLCC grading systemと分子病理学的予後因子 がん研有明病院におけるFNCLCC grading systemによる軟部肉腫の悪性度評価と予後.
第46回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2013

8. 菅野晴夫
癌化と初期化.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

9. 元井紀子, 石川雄一
ALK肺癌の診断における病理医の役割.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

10. 古田玲子, 秋山太, 竹島信宏, 北川知行
臨床的に早期がんとして円錐切除された子宮頸癌の浸潤所見　組織型別検討.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

11. 神田浩明, 右田敏郎, 野村起美恵, 石川雄一
ACLYトランスジェニックマウスの解析.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

12. 元井紀子, 宮内栄作, 齋藤雄一, 二宮浩範, 長野裕子, 石川雄一
ALK肺癌の組織像と免疫染色によるスクリーニングの有用性について.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

13. 吉本豊毅, 元井紀子, 山本智理子, 牛嶋大, 松浦正明, 奥村栄, 山口俊晴, 深山正久, 石川雄一
肺および消化管に発生するカルチノイド腫瘍のmicroRNA発現による起源・性質の解明.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

14. 佐藤由紀子, 山本智理子, 福島啓文, 新橋渉, 佐々木徹, 米川博之, 三谷浩樹, 木村幸紀, 田中宏子, 川端一嘉
腺様嚢胞癌の術後22年に発生した鼻腔腺癌の1例.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

15. 杉浦善弥, 元井紀子, 神田浩明, 吉田朗彦, 町並陸生, 石川雄一
Fibrous dysplasiaに続発したosteosarcomaの1例.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

16. 飯塚利彦, 長野裕子, 元井紀子, 奥村栄, 石川雄一
肺腺癌における長鎖noncoding RNA HOTAIRおよびポリコーム遺伝子EZH2の発現と予後の

関連.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

17. 井下尚子, 杉浦善弥, 大橋武史, 成平拓也, 芦ヶ原隆之, 石川雄一
新しい画像解析ソフトを用いた病理診断業務のサポート.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

18. 日野るみ, 元井紀子, 戸田和寿, 杉谷巌, 山田恵子, 川端一嘉, 石川雄一
Signet-ring follicular carcinomaの一例.
第102回日本病理学会総会：札幌市, 2013

19. 飯塚利彦, 長野裕子, 元井紀子, 奥村栄, 石川雄一
Expression of long noncoding RNA HOTAIR and polycomb gene EZH2 is associated with prognosis in lung adenocarcinoma.
第72回日本癌学会学術総会：横浜市, 2013

20. 神田浩明, 野村起美恵, 右田敏郎, 石川雄一
Frequent spontaneous tumor development in ACLY transgenic mouse.
第72回日本癌学会学術総会：横浜市, 2013

21. 馬合木特亜森, 二宮浩範, 元井紀子, 石川雄一
Expression pattern of microRNAs in human asbestos-related lung adenocarcinomas.
第72回日本癌学会学術総会：横浜市, 2013

22. 二宮浩範, 加藤元博, 真田昌, 竹内賢吾, 宮内栄作, 斉藤雄一, 元井紀子, 小川誠司, 石川雄一
Copy number changes in chromosome 2p are unique events among ALK fusion positive lung adenocarcinomas.
第72回日本癌学会学術総会：横浜市, 2013

23. 杉浦善弥, 元井紀子, 神田浩明, 松本誠一, 町並陸生, 石川雄一
Prognostic analysis of soft tissue sarcoma using FNCLCC grading system in Cancer Institute Hospital.
第72回日本癌学会学術総会：横浜市, 2013

24. 古田玲子, 杉山裕子, 秋山太, 加藤洋, 竹島信宏, 新井正美, 北川知行
Histopathological feature of precancerous lesion and endometrial carcinomas associated with Lynch Syndrome.
第72回日本癌学会学術総会：横浜市, 2013

25. 石川雄一
肺がん治療の最前線　肺がん治療個別化の展開と新たな問題 肺癌治療個別化の問題点　病理診断の面から.
第72回日本癌学会学術総会：横浜市, 2013

26. 元井紀子, 荒井祐司, 鈴木奈緒子, 神田浩明, 佐藤由紀子, 古田則行, 石川雄一, 山田恵子, 戸田和寿, 杉谷巌
甲状腺穿刺吸引細胞診への液状化細胞診技術の応用.
第54回日本臨床細胞学会総会：東京, 2013

27. 元井紀子
肺の高悪性度神経内分泌腫瘍をめぐる諸問題 診断から治療まで 神経内分泌腫瘍の切除検体での確定診断と分子生物学的アプローチ.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会：大阪市, 2013

28. 宮内栄作, 齋藤雄一, 二宮浩範, 元井紀子, 西尾誠人, 奥村栄, 石川雄一
末梢型小細胞肺がんは中枢型に比べ予後不良で、遺伝子発現プロファイルが異なる.
第54回日本肺癌学会総会：東京, 2013

29. 木村幸紀, 柳澤昭夫, 山本智理子, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 北野睦三, 小泉勇
Stage Ⅰ・Ⅱ筋層浸潤舌扁平上皮癌200例の後発転移と予後.
第37回日本頭頸部癌学会：東京, 2013

30. 佐藤由紀子, 古田玲子, 山本智理子, 新橋渉, 利安隆史, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹
原発不明頸部転移癌におけるリンパ節転移巣からのHPV検出方法の検討.
第37回日本頭頸部癌学会：東京, 2013

細胞診断部

1. Sugiyama, Y.
A case of atypical glandular lesions: Comparison of conventional and liquid based preparations.
18th International Congress of Cytology: Paris, France, 2013

2. Sugiyama, Y.
A case of the uterine body.
18th International Congress of Cygoloy: Paris, France, 2013

3. Sugiyama, Y.
Diagnostic value of the conventional and liquid-based endometrial cytology in endometrial cancer.
第55回日本婦人科腫瘍学会, 第3回アジア婦人科腫瘍学会: 京都, 2013

4. Komatsu, K., Suzuki, H., Fujiyama, J., Furuta, N., Ohkura, Y.
Cytopreparation and morphological study for pancreatic specimens.
5th Japan-Taiwan Cytology Joint Meeting: Hualien, Taiwan, 2013

5. Komatsu, K.
Medical and cytological laboratory of cancer institute in Japan.
6th Asia-Pasific Medical Laboratory Science Forum: Taipei, Taiwan, 2013

6. Komatsu, K., Suzuki, H., Fujiyama, J., Furuta, N., Ohkura, Y.
Cytopreparation and morphological study for pancreatic and bile duct specimens.
17th Annual Meeting of the Korean Association of Cytotechnologists: Korea, 2013

7. Komatsu, K.
Gene analysis and personalized Medicinar.
5th Croatian Congress of Laboratory Diagnosis (with international participation) World Congress: Sibenik, Croatia, 2013

8. Komatsu, K.
Current quality management system for Pathology and Cytology Laboratory.
4th Congress of AAMLS & 24th ASM of SAMLS: Singapore, 2013

9. Komatsu, K.
Cytological samples are important for early detection of malignant mesothelioma.
Regional European Congress of Biomedical Laboratory Science & the 4th Greek Medical Laboratory Technologists Conference: Athens, Greece, 2013

10. Abe, H., Suzuo, K., Nakajima, K., Suzuki, M., Komatsu, K.
New silver solution for reticulum.
4th Congress of AAMLS & 24th ASM of SAMLS: Singapore, 2013

11. 星利良, 宝来威, 柳谷典子, 古田則行, 小松京子, 佐藤之俊, 竹内賢吾, 元井紀子, 石川雄一
肺がんの組織別細胞診 遺伝子変異を有する肺腺癌の細胞像　ALK肺癌の細胞像を中心に.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

12. 小松京子, 古田則行, 池畑浩一, 伊藤崇彦, 川島麻里沙, 鈴木奈緒子, 星利良, 古田玲子, 本山悌一, 杉山裕子
ベセスダシステムによる細胞学的、臨床的取扱い、follow-up成績 ASC-USのfollow up成績と細胞像.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

13. 池畑浩一, 鈴木奈緒子, 古田玲子, 川島麻里沙, 荒井祐司, 古田則行, 宇津木久仁子, 竹島信宏, 荷見勝彦, 杉山裕子内膜のLBC 婦人科検体を用いた各種LBCの免疫染色所見の比較検討.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

14. 古田則行, 元井紀子, 神田浩明, 井下尚子, 杉山裕子, 小松京子, 谷澤泰介, 石川雄一, 松本誠一
軟部腫瘍　報告様式を考える 軟部腫瘍細胞診の意義と問題点.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

15. 伊藤崇彦, 潮田至央, 尾松公平, 星利良, 古田玲子, 古田則行, 宇津木久仁子, 竹島信宏, 本山悌一, 杉山裕子
外陰に発生した乳腺型腺癌の1例.
第54回日本臨床細胞学会総会: 東京, 2013

16. 星利良, 宝来威, 柳谷典子, 古田則行, 小松京子, 杉山裕子, 佐藤之俊, 元井紀子, 石川雄一
肺の高悪性度神経内分泌腫瘍をめぐる諸問題 診断から治療まで 細胞学的判別モデルを用いた肺原発大細胞神経内分泌癌と小細胞癌の鑑別.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

17. 古田則行
細胞検査士養成の現状と将来　その先を目標に.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

18. 杉山裕子, 阿部滋樹, 井上淳也, 山崎龍王, 荷見勝彦, 古田則行, 小松京子, 梅澤聡, 宇津木久仁子, 竹島信宏
2種類のブルーム型ブラシによる子宮頸部細胞採取量の比較検討.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

19. 川島麻里沙, 佐藤由紀子, 池畑浩一, 伊藤崇彦, 鈴木奈緒子, 星利良, 藤山淳三, 古田則行, 小松京子, 石川雄一, 杉山裕子
耳下腺原発のLow-grade cribriform cystadenocarcinomaの一例.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

20. 杉山裕子, 荷見勝彦, 的田眞紀, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 本山悌一, 宇津木久仁子, 竹島信宏
早期子宮体癌における内膜細胞診所見.
第54回日本婦人科腫瘍学会: 東京, 2013

21. 杉山裕子, 荷見勝彦, 秋山太, 古田玲子, 野田哲生, 森誠一, 宇津木久仁子, 竹島信宏
発現解析からみた子宮体癌における2種類の類内膜腺癌.
第72回日本癌学会総会: 横浜市, 2013

22. 古田玲子, 杉山裕子, 秋山太, 加藤洋, 竹島信宏, 新井正美, 北川知行
リンチ症候群に関連した子宮内膜の前がん病変および内膜がんの病理組織学的特徴.
第72回日本癌学会総会: 横浜市, 2013

23. 藤山淳三, 小松京子, 星利良, 杉山裕子, 石川雄一
ALK 肺がんを考える細胞像：ALK肺がんの細胞像を中心に.
第52回日本臨床細胞学会秋季大会: 大阪市, 2013

栄養管理部

1. 中濱孝志, 田村秀子, 高橋郷, 蓑輪雄一, 中原由美子, 望月淑子, 海原和巳, 北野睦三, 峯真司, 比企直樹
がん専門病院栄養サポートチーム単施設の活動実績報告.
第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 金沢市, 2013

1. 比企直樹
統合して栄養管理ができる管理栄養士を目指して：栄養士を病棟に常駐する意義：新しい上部消化器癌の周術期栄養管理を考える.
第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 金沢市, 2013

2. 中濱孝志, 田中友里, 峯真司, 比企直樹
胃癌術後縫合不全に対しアバンドとグルタミンの経腸投与が奏功した1例.
日本外科代謝栄養学会第50回学術集会: 東京, 2013

3. 望月宏美, 比企直樹, 本多通孝, 中濱孝志, 田村秀子, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴
病棟栄養士の周術期介入効果の検討：胃がん術後患者を中心に.
第43回胃外科・術後障害研究会: 新潟市, 2013

4. 望月宏美, 中濱孝志, 比企直樹
消化器外科病棟におけるNST専従栄養士（栄養コンシュルジュ）の活動.
第5回日本静脈経腸栄養学会首都圏支部学術集会: 藤沢市, 2013

看護部

1. 濱口恵子
がん化学療法看護の質を高め、院内に広めるための取り組み.
第27回日本がん看護学会学術集会: 金沢市, 2013

2. 関野礼子
外来化学療法におけるチーム医療と副作用対策.
第27回日本がん看護学会学術集会: 金沢市, 2013

3. 濱口恵子
Part I から繋ぐ継続ケアの充実・発展の方向性.
第13回国際がん看護セミナー: 東京, 2013

4. 林田由美子
がん研有明病院における心のケア.

第59回GHP研究会（日本総合病院精神医学会東京地方会）：東京, 2013

5. 高瀬鮎美, 本多通孝, 畠山鮎子, 小川恵, 渡部真理子, 比企直樹, 布部創也
胃癌手術直前期の自覚症状およびQOLに関する調査研究.
第68回日本消化器外科学会総会：宮崎市, 2013

6. 長崎礼子, 田村幸子
治験を受ける肺がん患者の看護に携わる病棟看護師の看護実践上の困難感の実態と今後の課題.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会：仙台市, 2013

7. 宋菜緒子
抗がん剤臨床試験参加患者の対処行動の分析とCRCによる援助方法の検討.
第13回CRCと臨床試験のあり方を考える会議：横浜市, 2013

8. 鴨川郁子, 長井優子, 濱口恵子
放射線皮膚炎に関するセルフケア支援の実態調査.
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会：青森市, 2013

9. 花出正美, 宮城八重子, 杉本香織, 長崎礼子, 濱口恵子, 宇津木久仁子
がん患者のサポートプログラムに関するニーズ.
第51回日本癌治療学会総会：京都市, 2013

10. 濱口恵子
死生学と臨床倫理：患者さんにとって善いこととは？、がん専門病院の看護師の立場から.
第25回日本生命倫理学会年次大会：東京, 2013

11. 黒田直子, 横井麻珠美, 関野礼子, 岩本寿美代, 花出正美
がん化学療法看護に関する看護師の認識と看護の実態　2006年度調査と2011年度調査の比較.
第27回日本がん看護学会学術集会：金沢市, 2013

12. 横井麻珠美, 黒田直子, 関野礼子, 岩本寿美代, 花出正美
がん化学療法に携わる看護師の実践・関心・重要性の認識.
第27回日本がん看護学会学術集会：金沢市, 2013

13. 加藤紀香, 花出正美
ソラフェニブ療法を受ける肝細胞がん患者の日常生活の困難とセルフケア状況に関する後方視的研究.
第27回日本がん看護学会学術集会：金沢市, 2013

14. 橋場朋子, 吉岡梓
乳がん患者のアンスラサイクリン系薬剤を含む化学療法による血管痛の日常生活に及ぼす影響　カルテ調査から.
第27回日本がん看護学会学術集会：金沢市, 2013

15. 小田島久美, 中谷夕香
小児・思春期にある骨軟部腫瘍患者を持つ家族に対する支援　家族・看護師・医師への半構成的インタビューを通して.
第27回日本がん看護学会学術集会：金沢市, 2013

16. 石田和子, 井上久美代, 花出正美
強度変調放射線治療とCDDP療法による同時放射線化学療法を受けた頭頸部がん患者の発熱と口腔・咽頭粘膜炎の実態.
第27回日本がん看護学会学術集会：金沢市, 2013

17. 田村幸子, 関野礼子
治験を受ける肺がん患者の看護に携わる病棟看護師の役割と実践に関する認識.
第27回日本がん看護学会学術集会：金沢市, 2013

18. 濱口恵子
今を生きるために拓く 暮らしを支えるケアをつなぐ外来看護.
第27回日本がん看護学会学術集会：金沢市, 2013

19. 大村裕子, 熊谷英子, 高橋真紀, 沼田悟, 松浦信子, 山田陽子, 山元宏一, 吉川隆造, 関和治, 大石賢二, 舟山裕士
皮膚保護剤の発汗吸水量と剥離時の粘着力の関係.
第30回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会：名古屋市, 2013

20. 井田恵都
高圧蒸気滅菌におけるコンパクトPCDを用いた

バッチモニタリングシステムを導入して　滅菌不良となった場合の施設内基準の設定.
第28回日本環境感染学会総会: 横浜市, 2013

21. 水野俊美, 服部政治, 小倉玲子, 樋口秀太郎
終末期がん患者の鎮静の実施における倫理的課題　がん治療支援緩和ケアチーム(PCT)活動を通して.
第18回日本緩和医療学会学術大会: 横浜市, 2013

22. 三好歩, 小野充一, 白神晃子
アロマ清拭時のがん患者のナラティブが看護師へもたらす効果.
第19回日本臨床死生学会大会: 東京, 2013

23. 春田真由美, 大塚かおる
高機能エアマットレスで転落した事例から検証した医療安全への取り組み.
第15回日本褥瘡学会学術集会: 神戸市, 2013

薬剤部

1. Hashimoto, H., Yamanaka, T., Shimada, Y., Arata, K., Matsui, R., Goto, K., Takiguchi, T., Ohyanagi, F., Kogure, Y., Nogami, N., Nakao, M., Takeda, K., Azuma, K., Nagase, S., Hayashi, T., Fujiwara, K., Shimada, T., Seki, N., Suzuki, K., Yamamoto, N.
Palonosetron (PALO) versus granisetron (GRA) in the triplet regimen with dexamethasone (DEX) and aprepitant (APR) for preventing chemotherapy-induced nausea and vomiting (CINV) in patients (pts) receiving highly emetogenic chemotherapy (HEC) with cisplatin (CDDP): A randomized, double-blind, phase III trial (TRIPLE).
49th ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2013

2. 濱敏弘, 蓑輪雄一, 杉田一男, 青山剛, 鈴木亘, 荻野茜, 伊藤成美
抗がん薬調製環境の汚染調査2012.
第5回　JSOPP（日本癌化学療法薬剤師学会）学術大会: 神戸市, 2013

3. 横川貴志, 川上和宜, 前勇太郎, 杉田一男, 渡邊大至, 末永光邦, 水沼信之, 山口俊晴, 濱敏弘
XELOX±ベバシズマブ療法における手足症候群重篤化のリスク因子.
第51回日本癌治療学会総会: 京都市, 2013

4. 鈴木賢一, 橋本浩伸, 水野靖也, 宇良敬, 荒川雄一郎, 森清志, 玉木慎也, 高橋康雄, 山中竹春, 山本信之
Randomized, Double-blind, Phase III Trial of Palonosetron Versus Granisetron in the Triplet Regimen for Preventing Chemotherapy-induced Nausea and Vomiting After Highly Emetogenic Chemotherapy: The TRIPLE study.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

5. 鈴木賢一, 橋本浩伸, 水野靖也, 宇良敬, 荒川雄一郎, 森清志, 玉木慎也, 高橋康雄, 山中竹春, 山本信之
PhaseIII trial of palonosetron vs granisetron for preventing nausea and vomiting after receiving cisplatin.
第11回日本臨床腫瘍学会学術集会: 仙台市, 2013

6. 田口恭治, 指田博也, 坪井真友子, 中里友美, 神戸敏江, 阿部賢志, 川上和宜, 宇都宮郁, 濱敏弘
Paclitaxel 誘発末梢神経障害モデルラットにおける脊髄microgliaおよびastrocytesの関与.
第7回日本緩和医療薬学会年会: 千葉市, 2013

7. 阿部賢志, 真壁暁子, 千葉輝正, 神戸敏江, 川上和宜, 宇都宮郁, 濱敏弘, 田口恭治
パクリタキセル誘発末梢神経障害モデルラットにおけるtransient receptor potential vanilloid 1 の関与.
第86回日本薬理学会年会: 福岡市, 2013

8. 青山剛, 瀧口友美, 鈴木賢一, 西尾誠人, 濱敏弘
アムルビシン単剤療法に対する制吐療法の評価.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

9. 瀧口友美, 大柳文義, 橋本浩伸, 中尾將彦, 武田晃司, 東加奈子, 藤原季美子, 山中竹春, 鈴木賢一, 山本信之
高度催吐性化学療法におけるグラニセトロン(Gra)とパロノセトロン(Palo)の二重盲検無作為化比較試験.
第54回日本肺癌学会総会: 東京, 2013

10. 高橋郷, 蓑輪雄一, 鈴木亘, 杉田一男, 中濱孝志, 望月淑子, 海原和己, 峯真司, 比企直樹, 濱敏弘
血清亜鉛の予測因子に関する調査.
第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 金沢市, 2013

健診センター

1. Tsuchida, T., Ishiyama, A., Morishige, K., Yoshizawa, N., Horiuchi, Y., Ishikawa, H., Omae, M., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J.
A requirement of prophylactic treatment after endoscopic submucosal dissection (ESD) for superficial esophageal squamous cell carcinoma (ESCC).
21st United European Gastroenterology UEG Week: Berlin, Germany, 2013

2. 土田知宏
食道表在癌の診断と治療.
第25回日本消化器内視鏡学会関東セミナー: 東京, 2013

3. 土田知宏
抗血栓薬服用者に対する新ガイドライン下での内視鏡検査：健診センターの立場から.
第5回有明消化器セミナー: 東京, 2013

4. 土田知宏, 石山晃世志, 藤崎順子
食道表在癌に対するESD+α療法の治療成績 食道表在癌に対するESDと追加治療の現状.
第99回日本消化器病学会総会: 鹿児島市, 2013

【 2014年 】

呼吸器内科

1. Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Nishizawa, H., Gyotoku, H., Uenami, T., Kobayashi, H., Kudo, K., Tambo, Y., Horiike, A., Hagiwara, S., Horai, T., Nishio, M.
Phase II trial of bevacizumab, cisplatin, and pemetrexed in Japanese patients with advanced nonsquamous non-small cell lung cancer.
ASCO 50th Annual Meeting: Chicago, USA, 2014

2. Tambo, Y., Katayama, R., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Kudo, K., Nishizawa, H., Uenami, T., Gyotoku, H., Kobayashi, S., Fujita, N., Okumura, S., Ishikawa, Y., Horai, T., Dias-Santagata, D., Nishio, M.
The feasibility to use minimal tumor samples for mutation analysis by multiplex PCR-based assay.
ASCO 50th Annual Meeting: Chicago, USA, 2014

3. 西尾誠
ALK阻害剤・最新情報2.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

4. 宝来威
肺癌の分子標的治療と細胞診.
第53回日本臨床細胞学会秋季大会: 下関市, 2014

5. 加藤寛基, 瀧口友美, 青山剛, 西尾誠人
シスプラチンを含む化学療法にShort Hydration導入する前と後の腎機能障害を比較検討する研究.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

6. 西尾誠人
肺がんにおける新薬開発　新しい分子標的 RET融合遺伝子の標的化　個別化肺癌治療への橋渡し.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

7. 西澤弘成, 堀池篤, 齋藤良太, 小林紘, 北園聡, 丹沢裕一, 柳谷典子, 大柳文義, 宝来威, 萩原佐知子, 西尾誠人
高齢者非扁平上皮非小細胞肺がんに対するカルボプラチン+ペメトレキセド併用療法の第II相試験.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

8. 柳谷典子, 大柳文義, 西澤弘成, 小林紘, 北園聡, 丹保裕一, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人
未治療進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するCDDP/PEM/Beva併用療法の第2相試験.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

9. 丹保裕一, 片山量平, 柳谷典子, 小林紘, 西澤弘成, 大柳文義, 堀池篤, 宝来威, 石川雄一, 西尾誠人
非小細胞肺癌におけるMultiplex PCR法(SNaPshot)による遺伝子検査の有用性.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

10. 堀池篤, 樋田豊明, 中川和彦, 瀬戸貴司, 里内美弥子, 西尾誠人, 堀田勝幸, 村上晴泰, 大江裕一郎, 武田晃司, 島田忠, 田中智宏, 田村友秀
脳転移を有するALK陽性非小細胞肺癌患者に対するアレクチニブの治療効果　JP28927試験における部分集団成績.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

11. 大柳文義, 柳谷典子, 小林紘, 西澤弘成, 北園聡, 丹保祐一, 堀池篤, 星利良, 二宮浩範, 元井紀子, 石川雄一, 宝来威, 西尾誠人
経気管支針吸引細胞診洗浄液を用いたEGFR遺伝子検査のvalidation研究.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

12. 小林紘, 柳谷典子, 西澤弘成, 北園聡, 丹保裕一, 大柳文義, 堀池篤, 宝来威, 二宮浩範, 元井紀子, 石川雄一, 西尾誠人
ALK融合遺伝子陽性肺癌6例のCrizotinib耐性についての検討.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

呼吸器外科

1. 奥村栄, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健
少しでも連続性のある肺がんリンパ節郭清の工夫.
第31回日本呼吸器外科学会総会: 東京, 2014

2. 鮫島譲司, 森彰平, 上原浩文, 後藤英典, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄

高齢者肺癌の外科治療戦略.
第31回日本呼吸器外科学会総会: 東京, 2014

3. 文敏景, 上原浩文, 中尾将之, 松浦陽介, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 中川健, 奥村栄
胸腔鏡手術の技術認定について.
第31回日本呼吸器外科学会総会: 東京, 2014

4. 中尾将之, 森彰平, 上原浩文, 後藤英典, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄
胸腔内洗浄細胞診断(PLC)陽性非小細胞肺癌切除例の特徴と予後.
第31回日本呼吸器外科学会総会: 東京, 2014

5. 森彰平, 後藤英典, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
当院における腎細胞癌肺転移症例の手術成績の検討.
第31回日本呼吸器外科学会総会: 東京, 2014

6. 後藤英典, 森彰平, 上原浩文, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
cN2非小細胞肺癌に対するEBUSの有用性.
第31回日本呼吸器外科学会総会: 東京, 2014

7. 岡崎敏昌, 森彰平, 上原浩文, 後藤英典, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
胸腔鏡手術における標本回収バック細胞診陽性例の検討.
第31回日本呼吸器外科学会総会: 東京, 2014

8. 松浦陽介, 森彰平, 上原浩文, 後藤英典, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
腫瘍径３ｃｍ以上癌腫肺転移に対する術式選択と予後の検討.
第31回日本呼吸器外科学会総会: 東京, 2014

9. 上原浩文, 森彰平, 後藤英典, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
cstageⅠA/pstage ⅠA期症例の切除成績.
第31回日本呼吸器外科学会総会: 東京, 2014

10. 奥村栄, 飯笹俊彦, 吉野一郎, 鈴木実, 佐藤俊之, 吉田浩一, 池田徳彦
Ⅲ期肺癌（非扁平上皮・非小細胞肺癌）に対する術前導入化学療法（カルボプラチン・パクリタキセル・ベバシズマブ）の多施設共同第二相試験 ：ＴＣＯＧ１００２.
第67回日本胸部外科学会定期学術集会: 福岡市, 2014

11. 森彰平, 後藤英典, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄, 石沢武彰, 井上陽介, 齋浦明夫
腹腔鏡下肝臓外科手術と肺外科手術の類似点と相違点：肝臓外科手術から学ぶ肺外科手術におけるICG蛍光法：区域間同定法の比較と新たな利用法の検討.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

12. 文敏景, 森彰平, 上原浩文, 後藤英典, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄
胸腔鏡における視野展開：対面法と見上げ法の長所と短所：Thoracoscopic Surgery via Facing　Type Monitor Setting
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

13. 鮫島譲司, 森彰平, 上原浩文, 後藤英典, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
左肺不全分葉に対する前方アプローチの検討.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

14. 平井慶允, 山崎宏継, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
葉間不全分離部に発生した転移性肺腫瘍に対し、完全鏡視下に右中葉切除+S3b亜区域切除を行った１例.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

15. 後藤英典, 平井慶允, 山崎宏継, 鮫島譲司, 森彰平, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
インドシアニングリーン（ＩＣＧ）蛍光胸腔鏡を用いた胸腔鏡下肺区域切除術の工夫.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

15. 山崎宏継, 平井慶允, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
神経温存のため胸腔鏡下右上縦隔腫瘍核出術を

施行した１例.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

16. 文敏景, 上原浩文, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄
当院における肺がんに対するThoracoscopic lobectomy の成績.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

17. 森彰平, 山崎宏継, 平井慶允, 鮫島譲司, 後藤英典, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
Micropapillary component を有するcT1N0肺腺癌の手術成績の検討.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

18. 松浦陽介, 元井紀子, 二宮浩範, 山崎宏継, 平井慶允, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 石川雄一, 奥村栄
ALK肺腺癌において高悪性度組織亜型Solid, Micropap. は予後因子となるか.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

19. 後藤英典, 森彰平, 山崎宏継, 平井慶允, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
舌区発生肺癌におけるリンパ節転移様式の検討.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

20. 上原浩文, 森彰平, 山崎宏継, 平井慶允, 鮫島譲司, 後藤英典, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
長期予後と再発形式からみたpN2肺癌切除成績の検討.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

21. 平井慶允, 山崎宏継, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
cT1aN0非小細胞肺癌のリンパ節転移予測因子について.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

22. 山崎宏継, 平井慶允, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
当院における胃がん肺転移切除症例の検討.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

23. 鮫島譲司, 中尾将之, 上原浩文, 森彰平, 山崎宏継, 平井慶允, 後藤英典, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄
bulkycN1肺癌とnon-bulkycN1肺がんの予後に関する検討.
第55回日本肺癌学会総会: 京都市, 2014

24. 奥村栄, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健
手術の工夫：肺がん手術における分岐部リンパ節郭清時における視野展開の工夫.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

25. 山崎宏継, 平井慶允, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
Sleeve右肺全摘術を要した炎症性筋線維芽細胞腫の一例.
第151回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会: 東京, 2014

26. 松浦陽介, 元井紀子, 二宮浩範, 山崎宏継, 平井慶允, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 石川雄一, 奥村栄
興味深い臨床経過・病理所見を呈した前縦隔腫瘍の１切除例.
第171回日本肺癌学会関東部学術集会: 東京, 2014

27. 文敏景, 上原浩文, 中尾将之, 松浦陽介, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 中川健, 奥村栄
区域切除は、HybridかComplete VATSか? Complete VATS.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

28. 文敏景, 奥村栄, 上原浩文, 中尾将之, 松浦陽介, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 森彰平, 後藤英典, 中川健
胸部領域の鏡視下手術　手術の工夫と安全対策
肺がんに対する胸腔鏡下肺葉切除術の定型化と標準化.
第39回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2014

29. 森彰平, 文敏景, 後藤英典, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
各領域の外科手術における術前画像シミュレーション・術中ナビゲーション手術 肺区域切除における区域間同定法　インドシアニングリーン

蛍光胸腔鏡の使用経験.
第39回日本外科系連合学会学術集会：東京, 2014

30. 森彰平, 後藤英典, 岡崎敏昌, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
骨肉腫肺転移による二次性気胸に対する手術例.
第147回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会：東京, 2014

31. 森彰平, 上原浩文, 後藤英典, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
細径気管支鏡にて内腔所見を認めた肺動脈血管肉腫の一例.
第37回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：京都市, 2014

32. 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 岡崎敏昌, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 工藤慶太, 柳谷典子, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 西尾誠, 奥村栄
気管支鏡検査による脳空気塞栓の1例.
第37回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：京都市, 2014

33. 中尾将之, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 西尾誠人, 奥村栄
肺癌術前の遠隔転移精査の適応決定.
第55回日本肺癌学会総会：京都市, 2014

消化器内科

1. Yamamoto, Y.
The endoscopic examination for upper gastrointestinal cancer.
China Ministry of Health Cancer Institute & Hosptal Chinese Academy of Medical Sciences: Jinan, China, 2014

2. Yamamoto, Y.
Diagnosis and early treatment of upper gastrointestinal cancer.
China-Japan Bilateral Cooperation Projects of Early Upper Gastrointestinal Cancer: Boai, China, 2014

3. Wakatsuki, T., Chin, K., Matsusaka, S., Ogura, M., Ozaka, M., Suenaga, M., Shinozaki, E., Nakayama, I., Mizunuma, N.
Exploratory analysis to investigate clinical factors that may influence transtsuzumab efficacy in patients with HER-2-positive gastric cancer.
2014 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, USA, 2014

4. Nakayama, I., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ozaka, M., Shinozaki, E., Matsusaka, S., Chin, K., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
The efficacy of oxaliplatin-based adjuvant chemotherapy for stage IV colorectal cancer after RO resection.
2014 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, USA, 2014

5. Suenaga, M., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ogura, M., Ozaka, M., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Chin, K., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
SDF- 1 and VEGF-C as potential circulating angiogenic biomarkers for bevacizumab in patients with metastatic colorectal cancer.
2014 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, USA, 2014

6. Osumi, H., Matsusaka, S., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Shinozaki, E., Chin, K., Mizunuma, N.
Quantitative analysis of the Impact of deepness of response on survival time following patients with metastatic colorectal cancer treated by chemotherapy and anti-EGFR monocionalantibodies.
2014 Gastrointestinal Cancer Symposium: San Francisco, USA, 2014

7. Yamamoto, Y.
The current situation and developments of endoscopy examination and treatment for upper gastrointestianl cancer.
The 4th Beijing INernation Workshop on Early Detection and Treatment of Gastrointestinal Tumor (Basis and Standardization): Beijing, China, 2014

8. Shinozaki, E., Miki, Y., Ueno, M., Igarashi, M., Suenaga, M., Chin, K., Ozaka, M., Ogura, M., Yamaguchi, T., Mizunuma, N.
Molecular profiling of EGFR pathway according to location of colorectal cancer (ERE): Analysis of 1,001 patients in single institute.
ASCO 50th Annual Meeting: Chicago, USA, 2014

9. Ishido, K., Nakayama, N., Chin, K., Higuchi, K., Nishimura, K., Matsusaka, S., Azuma, M., Takagi, S., Kumekawa, Y., Tanabe, M., Inokuchi, Y., Koizuki, W.
A Phase I dose-ecalation and pharmacokinetic Study of s-I plus nab-Paclitaxel in Patients with Unresectable of recurrent Gastric Cancer.
ESMO 2014 Congress: Barcelona, Spain, 2014

10. Tamagawa, H., Yamazaki, K., Suyama, K., Oakabe, M., Suzuki, K., Seki, N., Kawakami, K., Takahashi, Y., Hirashima, T., Ebi, M., Taku, K., Otsuji, T., Tamura, F., Shinozaki, E., Nakashima, K., Yamaguchi, K., Ando, M., Morita, S., Boku, N., Hypdp, I.
Prespecified subgroup analyses in WJOG4407G trial, a randomized phase III trial of mFOLFOX6 plus bevacizumab versus FOLFIRI plus bevacizumab as first-line treatment for metastatic colorectal cancer.
ESMO 2014 Congress: Barcelona, Spain, 2014

11. Kumekawa, Y., Chin, K., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ozaka, M., Suenaga, M., Shinozaki, E., Mizunuma, N.
Survival analysis of unresectable gastric cancer patients judged resectable by initial CT.
第12回日本臨床腫瘍学会学術集会: 福岡市, 2014

12. Shinozaki, E., Miki, Y., Ueno, M., Igarashi, M., Suenaga, M., Chin, K., Ozaka, M., Ogura, M., Yamaguchi, T., Mizunuma, N.
Morecular profiling of EGFR pathway acording to location of colorectal cancer (CRC) analysis of 1,001 patients.
第12回日本臨床腫瘍学会学術集会: 福岡市, 2014

13. Wakatsuki, T., Chin, K., Ogura, M., Ozaka, M., Suenaga, M., Shinozaki, E., Matsusaka, S., Nakayama, I., Kumekawa, Y., Mizunuma, N.
Lower CEA and CA-19-9 levels were associated with longer progression-free survival (PPS) in patients with HER2 positive gastric cancer (GC) treated by trastuzumab (T-mab) combined chemotherapy.
第12回日本臨床腫瘍学会学術集会: 福岡市, 2014

14. Osumi, H., Chin, K., Yoshio, T., Hirasawa, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Igarashi, M., Ogura, M., Mizunuma, N.
The effect of chemotherapy for patients with early gastric cancer and esophageal cancer（double cancer）.
第12回日本臨床腫瘍学会学術集会: 福岡市, 2014

15. Chin, K., Shitara, K., Nakajima, T., Hironaka, S., Nagano, O., Imamaura, C., Fukutani, M., Hasegawa, H., Sato, A., Ohtsu, A., Saya, H., Doi, T.
Effect of sulfasalazine (SSZ) on cancer stem-like cells (CSCs) via inhibiting xCT signal pathway: Phase 1 study in patients with gastric cancer (EPOC 1205).
第12回日本臨床腫瘍学会学術集会: 福岡市, 2014

16. Yamamoto, Y.
Surgical endoscopy.
LECS Workshop, Soul University: Seoul, Korea, 2014

17. Ishiyama, A., Tsuchida, T., Osumi, H., Taniguchi, C., Tomita, A., Tomida, H., Morishige, K., Horiuchi, Y., Yoshizawa, N., Ishikawa, H., Fujisaki, J., Igarashi, M., Chin, K., Mine, S., Watanabe, M.
The efficacy of steroid administration for the prevention of esophageal stricture after endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal squamous cell

carcinoma.
14th Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus: Vancouver, Canada, 2014

18. Ishiyama, A., Tsuchida, T., Kobayashi, M., Honma, K.
Endoscopic submucosal dissection (ESD) of esophageal cancer using the new device for the narrow diameter scope.
14th Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus: Vancouver, Canada, 2014

19. Shinozaki, E., Fuse, N., Kuboki, K., Kuwata, T., Nishina, T., Kadowaki, S., Machida, N., Yuki, S., Ooki, A., Kajiura, S., Kimura, T., Yamanaka, T.
Prognostic impact of HER2, EGFR, and c-MET status on overall survival of advanced gastric cancer patients treated with standard chemotherapy without trastuzumab in a first-line treatment: A Japanese multicenter collaborative retrospective study.
ESMO 2014 Congress: Madrid, Spain, 2014

20. Suenaga, M., Mizunuma, N., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ozaka, M., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, T.
A Phase I/II study of Bi-weekly XELIRI with capecitabine 1,000 mg/m2 twice daily and irinotecan 180 mg/m2 plus bevacizumab (BV) for patient with Metastatic Colorectal Cancer as second-line chemotherapy
ESMO 2014 Congress: Madrid, Spain, 2014

21. Yamamoto, Y.
The new technology of diagnosis of early gastric cancer.
2014 Chinese National Conference of Digestive Endoscopy: Jinan, China, 2014

22. Tamegai, Y., Kishihara, T., Ishikawa, H., Okamoto, K., Chino, A., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Strategy to overcome a difficulty of the endosocopic submucosal dissection (ESD) for colorectal tumors accompanied by fibrosis in submucosal layer.
United European Gastroenterology UEG Week: Vienna, Austria, 2014

23. Osumi, H., Yoshio, T., Chin, K., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Clinical outcomes of salvage endoscopic therapy after chemoradio-therapy for esophageal cancer.
United European Gastroenterology UEG Week: Vienna, Austria, 2014

24. Osumi, H., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Mixed histological-type (intestinal and diffuse type) early gastric cancer patients tended to be non-curative resection by endoscopic submucosal dissection.
United European Gastroenterology UEG Week: Vienna, Austria, 2014

25. Fujisaki, J., Horiuchi, Y., Osumi, H., Hirasawa, T., Yoshio, T., Yamamoto, Y.
Characteristic endoscoic findings of Helicobacter Pylori-negative early gastric undifferentiated adenocarcinoma.
United European Gastroenterology UEG Week: Vienna, Austria, 2014

26. Yoshio, T., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J.
Long term outcomes of endoscopic resectionfor supperficial pharyngeal carcinomas and efficacy of double scope ESD.
United European Gastroenterology UEG Week: Vienna, Austria, 2014

27. Kishihara, T., Chino, A., Igarashi, M.
Usefulness of magnified endoscopy with NBI for the detection and diagnosis of anal canal cancer.
Asian Pacific Digestive Week: Bali, Indonesia, 2014

28. Kishihara, T., Chino, A., Igarashi, M.
Endoscopic Submucosal dissection (ESD) for rectal tumor became safe and curative procedure as compared with Trans Anal Resection (TAR).
Asian Pacific Digestive Week: Bali, Indonesia, 2014

29. Hirasawa, T.
Laparoscopy and endoscopy cooperative surgery for gastric submucosal tumor located near the esophagogastric junction.
Asian Pacific Digestive Week: Bali, Indonesia, 2014

30. Yamamoto, Y.
The endoscopic examination for upper gastointestinal canceer.
China Ministry of Health Cancer Institute & Hospital Chinese Academy of Medical Sciences: Fuzhou, China, 2014

31. 井上大, 山田育弘, 尾阪将人, 松山眞人, 高野浩一, 石井浩
Neutorophil-lymphocyte radio and C-reactive protein in Japanese pancreatic cancer patients.
第12回日本臨床腫瘍学会学術集会: 福岡市, 2014

32. 村松雄輔
家族性大腸腺腫症の大腸外合併疾患に対するサーベイランスの検討.
第20回日本家族性腫瘍学会学術集会: 福島市, 2014

33. 大前雅実, 藤崎順子
症例検討 No.2.
第22回新潟バレット食道癌研究会: 新潟市, 2014

34. 大隅寛木, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 順子, 藤., 陳勁松, 峯真司, 渡邊雅之
食道癌根治的放射線化学療法後再発、遺残症例に対する内視鏡治療成績.
日本食道学会学術集会プログラム・抄録集. 68回: 81, 2014

35. 由雄敏之, 土田知宏, 石山晃世志, 川端一嘉, 山本智理子
表在型咽頭癌の内視鏡切除の長期成績とdouble scope ESDの有用性.
第14回頭頸部表在癌研究会: 東京, 2014

36. 大前雅実, 藤崎順子, 吉澤奈津子, 清水智樹, 大隅寛木, 冨田明彦, 奥野真理, 森重健二郎, 石川寛高, 堀内裕介, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
バレット食道癌における酸逆流・アルカリ逆流の意義.
GERD研究会第18階学術集会: 東京, 2014

37. 千野晶子
大腸挿入法.
第13回大腸画像アカデミー: 東京, 2014

38. 堀内裕介, 千野晶子, 五十嵐正広
直腸と結腸におけるLST亜分類別の存在頻度と悪性度の比較.
第80回大腸癌研究会: 東京, 2014

39. 三木一正
胃がんリスク検診（ABC検診）の現状と将来の展望（特別講演）.
第3回江東区内視鏡研究会: 東京, 2014

40. 森重健二郎
早期胃癌内視鏡治療後のH.pylori除菌後3年で進行胃癌を認めた1例.
第3回江東区内視鏡研究会: 東京, 2014

41. 末永光邦
大腸癌に対する最近の治療戦略.
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2014（第2回）: 千葉市, 2014

42. 大前雅実, 藤崎順子, 山本智理子
食道胃接合部癌　定義・診断・治療について 食道胃接合部癌の内視鏡像と組織学的鑑別の検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

43. 平澤俊明, 石山晃世志, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子
未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の治療成績と今後の課題 未分化型早期胃癌に対するESDの短期成績と長期予後.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

44. 石川寛高, 藤崎順子, 山本智理子
胃癌診断におけるIEE拡大内視鏡と病理の接点 微小未分化型早期胃癌の内視鏡像と病理組織像の検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

45. 堀内裕介, 藤崎順子, 佐野武
早期胃癌における内視鏡診断の新展開 拡大赤外線内視鏡(ME-IRI)による早期胃癌の深達度診断の試み.

第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

46. 富田英臣, 山本頼正, 藤崎順子
早期類似進行胃癌の臨床病理学的特徴.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

47. 吉澤奈津子, 藤崎順子, 冨田明彦, 森重健二郎, 堀内裕介, 石川寛高, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
食道胃接合部の早期癌についての検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

48. 大隅寛木, 藤崎順子, 五十嵐正広
術前診断分化型癌ESD症例からみた未分化混合早期胃癌の特徴と傾向.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

49. 山本頼正, 滝沢耕平, 小野裕之, 小田一郎, 堀伸一郎, 武藤学
3cm以下UL(+)分化型優位の未分化型混在粘膜内癌におけるリンパ節転移頻度　多施設外科切除例調査.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

50. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本頼正
早期胃癌における内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後非治癒切除症例の予後に関する検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

51. 中山厳馬, 陳勁松, 若槻尊, 小倉真理子, 尾阪将人, 篠崎英司, 末永光邦, 水沼信之
P0CY1、Stage.4胃がんに対するR1切除後、S-1+CDDP療法の意義.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

52. 森重健二郎, 石山晃世志, 平澤俊明, 由雄敏之, 千野晶子, 山本頼正, 浦上尚之, 藤崎順子, 五十嵐正広, 上野雅資, 新井正美
家族性大腸腺腫症(FAP)に合併した早期胃癌に対してESDを施行した3例の検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

53. 冨田明彦, 藤崎順子, 大隅寛木, 森重健二郎, 石川寛高, 吉澤奈津子, 堀内裕介, 大前雅実, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 土田知宏, 山本頼正
内視鏡的粘膜切除術を行った胃粘膜下異所性胃腺合併早期胃癌24例の検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

54. 千野晶子
FAP徹底的ポリープ摘除試験登録症例.
第100回日本消化器病学会総会（付置研究会）: 東京, 2014

55. 郷田憲一, 菊池大輔, 山本頼正
十二指腸ESDの現状と問題点 非乳頭部十二指腸腺腫・表在癌：国内多施設アンケート調査.
第87回日本消化器内視鏡学会: 福岡市, 2014

56. 大前雅実, 藤崎順子, 山本智理子
バレット食道表在癌の診断と治療 表在型バレット食道癌の範囲診断と深達度診断について.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

57. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子
上部消化管における拡大内視鏡診断 NBI併用拡大内視鏡による早期胃癌深達度診断の可能性.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

58. 清水智樹, 千野晶子, 五十嵐正広
消化管NETの内視鏡診断と治療成績 直腸NETの臨床病理学的悪性度評価に関する検討.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

59. 為我井芳郎, 福長洋介, 五十嵐正広
術中内視鏡と腹腔鏡を融合した治療戦略 大腸ESDの課題とLECSの有用性について.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

60. 平澤俊明, 比企直樹, 山本頼正
術中内視鏡と腹腔鏡を融合した治療戦略 胃粘膜下腫瘍に対するLaparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery(LECS)の検討.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

61. 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 五十嵐正広
超高齢者(85歳以上)に対する内視鏡　どこまでするの　下部消化管 超高齢者における大腸内視鏡検査の適応.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

62. 鈴木翔, 千野晶子, 五十嵐正広
内視鏡修練のクオリティーコントロール　消化

管 内視鏡修練のための内視鏡形状観測装置(UPD)を併用した挿入訓練方法について.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

63. 石川寛高, 山本頼正, 藤崎順子
内視鏡修練のクオリティーコントロール　消化管 胃ESD研修初期段階のクオリティコントロールを目的とした上部内視鏡研修.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

64. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 千野晶子, 菅沼孝紀, 鈴木翔, 岡本恒平, 奥野真理, 村松雄輔, 五十嵐正広
粘膜下層の線維化の質と程度から見た大腸ESDの適応.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

65. 谷口智香, 山本頼正, 宮本勇治, 富田英臣, 森重健二郎, 堀内裕介, 冨田明彦, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
未分化型早期胃癌の内視鏡切除における非治癒切除の予測因子の検討.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

66. 森重健二郎, 石山晃世志, 大隅寛木, 富田英臣, 宮本勇治, 冨田明彦, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 上野雅資, 新井正美, 浦上尚之
当院における家族性大腸腺腫症(FAP)に合併した胃病変の臨床学的検討.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

67. 富田英臣, 山本頼正, 藤崎順子
十二指腸腫瘍に対する内視鏡治療の検討.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

68. 大隅寛木, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 陳勁松, 峯真司, 渡邊雅之
食道癌根治的放射線化学療法後再発、遺残症例に対する内視鏡治療成績.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

69. 山田育弘, 石井浩, 高野浩一, 倉岡賢輔, 尾阪将人, 松山眞人, 井上大, 五十嵐正広
膵腸吻合部の縫合糸と腸瘻チューブが巻絡し抜去できず、小腸内視鏡を用いて抜去した一例.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

70. 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
腫瘍径別にみた大腸ESDの治療成績.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

71. 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 陳勁松, 峯真司, 渡邊雅之, 山本智理子, 山田和彦
食道癌広範囲ESD後狭窄に対するステロイド投与の有用性の検討.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

72. 村松雄輔, 千野晶子, 清水智樹, 鈴木翔, 奥野真理, 岡本恒平, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 福長洋介, 上野雅資
LECSにて治療を行った憩室上発育が疑われた上行結腸ポリープの1例.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

73. 宮本勇治, 山本頼正, 大隅寛木, 谷口智香, 富田英臣, 森重健二郎, 冨田明彦, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
EVIS LUCELA ELITEを用いたNBI非拡大観察による胃腫瘍性病変境界診断の検討.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

74. 千野晶子, 石川寛高, 鈴木翔, 菅沼孝紀, 村松雄輔, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
Sessile serrated adenoma/polypの併存癌を術前内視鏡診断しえた症例.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

75. 大隅寛木, 菅沼孝紀, 藤崎順子, 三木一正
ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎除菌療法保険承認後における当院自費外来の展望
第20回ヘリコバクター学術集会：東京, 2014

76. 山本頼正, 藤崎順子, 大隅寛木, 谷口智香, 富田英臣, 森重健二郎, 堀内裕介, 石川寛高, 大前雅

実, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広
非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対するNBI併用拡大内視鏡の有用性.
第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

77. 石山晃世志
症例検討で迫る上部消化管内視鏡診断の実際：通常観察から拡大観察まで「食道（通常観察/拡大観察）.
第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

78. 森重健二郎, 石山晃世志, 土田知宏, 大前雅実, 由雄敏之, 藤崎順子, 小林真, 本間清明
動画で見る消化管ESDのさらなる工夫 食道ESDの工夫　細径スコープ用エンドナイフを用いた食道ESD.
第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

79. 石川寛高, 為我井芳郎, 五十嵐正広
動画で見る消化管ESDのさらなる工夫 粘膜下に高度の線維化を伴う病変に対する安全な大腸ESD.
第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

80. 平澤俊明, 比企直樹, 山本頼正
内科と外科のコラボレーションによる消化管全層切除術の現況 噴門部粘膜下腫瘍に対するLaparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery(LECS)の有用性と限界.
第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

81. 宮本勇治, 山本頼正, 大隅寛木, 谷口智香, 富田英臣, 森重健二郎, 冨田明彦, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
家族性大腸腺腫症(FAP)に合併した胃上皮性腫瘍に対するNBI併用拡大内視鏡所見の検討.
第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

82. 富田英臣, 山本頼正, 大隅寛木, 宮本勇治, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 五十嵐正広
十二指腸ESD後に遅発性穿孔を来した2例.
第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

83. 五十嵐正広
UC,クローン病と鑑別すべき腸疾患の内視鏡診断.
第10回下野IBD研究会: 下野市, 2014

84. 中山厳馬, 末永光邦, 若槻尊, 粂川陽祐, 小倉真理子, 尾阪将人, 篠崎英司, 陳勁松, 水沼信之
The efficacy and safety of oxaliplatin-based adjuvant chemotherapy for Stage.4 Colorectal Cancer after R0 resection.
第12回日本臨床腫瘍学会学術集会: 福岡市, 2014

85. 末永光邦, 水沼信之, 篠崎英司, 中山厳馬, 若槻尊, 尾阪将人, 粂川陽祐, 小倉真理子, 陳勁松, 山口俊晴
転移性大腸癌に対するRegorafenib単剤療法の安全性解析.
第12回日本臨床腫瘍学会学術集会: 福岡市, 2014

86. 富田英臣, 山本頼正, 谷口智香, 清水智樹, 宮本勇治, 森重健二郎, 堀内裕介, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 布部創也, 比企直樹
胃粘膜下腫瘍のLECSにおける内視鏡処置時間に影響する因子の検討.
第14回EMR/ESD研究会: 東京, 2014

87. 清水智樹, 藤崎順子, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏
表在型バレット食道腺癌の深達度診断に関する検討.
第68回食道学会学術集会: 東京, 2014

88. 大隅寛木, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 陳勁松, 峯真司, 渡邊雅之
食道癌根治的放射線化学療法後再発、遺残症例に対する内視鏡治療成績.
第68回食道学会学術集会: 東京, 2014

89. 石山晃世志, 土田知宏, 由雄敏之, 藤崎順子, 陳勁松, 大矢周一郎, 志垣博信, 峯真司, 渡邊雅之, 山本智理子
食道癌広範囲ESD後狭窄に対するステロイド投与の有用性の検討.

第68回食道学会学術集会：東京, 2014

90. 大前雅実, 藤崎順子, 清水智樹, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広, 峯真司, 渡邊雅之, 山本智理子
表在型バレット食道腺癌のESD治療成績と予後について.
第68回食道学会学術集会：東京, 2014

91. 尾阪将人
GIST治療の落とし穴：外科医と内科医からのメッセージ：再発・転移させないためのGISTの薬物治療.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

92. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 千野晶子, 藤本佳也, 長山聡, 秋吉高志, 小西毅, 福長洋介, 上野雅資, 五十嵐正広
安全性と根治性から見た大腸EMRおよびPiecemeal EMRとESDの比較、ならびにESDの適応限界.
第81回大腸癌研究会：名古屋市, 2014

93. 井上大, 山田育弘, 松山眞人, 石井浩
日本人膵癌患者における好中球球リンパ球比の重要性.
第45回日本膵臓学会大会：北九州市, 2014

94. 千野晶子, 石川寛高, 村松雄輔, 金明哲, 岡本恒平, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
放射線性腸炎の出血に対するAPC（アルゴンプラズマ凝固法）の長期有効例の検討.
第32回日本大腸検査学会総会：東京, 2014

95. 平澤俊明, 比企直樹, 山本頼正
噴門部粘膜下腫瘍に対するLECSの検討.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

96. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子
画像強調内視鏡(Image Enhanced Endoscopy)および顕微内視鏡観察(Microscopic Endoscopy)の最新の知見　上部消化管 未分化型早期胃癌のNBI併用拡大内視鏡(ME-NBI)による範囲診断の正確性の検討.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

97. 大前雅実, 藤崎順子, 山本智理子
食道胃接合部早期癌の治療　ESD～手術まで表在型Barrett食道腺癌と噴門部癌の治癒基準を差別化する必要があるか.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

98. 清水智樹, 藤崎順子, 大前雅実
Barrett食道(食道癌を含む)は増えているのか 現状と対策 表在型バレット食道腺癌の時代的変遷と傾向.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

99. 清水智樹, 千野晶子, 五十嵐正広
消化器における神経内分泌腫瘍 直腸神経内分泌腫瘍多発例における臨床病理学的特徴.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

100. 富田英臣, 山本頼正, 藤崎順子
ESD Update　手技とデバイスの進歩からみた新たな可能性は?　上部消化管 十二指腸腫瘍に対する内視鏡治療とLECSの有用性.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

101. 由雄敏之, 小田一郎, 清水勇一, 堅田親利, 横山徹爾, 金子和弘, 土山寿志, 小池智幸, 滝沢耕平, 岡田裕之, 吉井貴子, 小西一男, 津田享志, 大森泰, 平尾素宏, 下田忠和, 落合淳志, 石川秀樹, 横山顯, 武藤学
早期食道癌に対する内視鏡切除の長期成績、多施設前向き試験JEC studyより.第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

102. 石山晃世志, 土田知宏, 森重健二郎, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 由雄敏之, 藤崎順子, 小林真, 本間清明
食道ESDの新たな可能性　細径スコープ用エンドナイフを用いた食道ESD.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

103. 森重健二郎, 由雄敏之, 大隅寛木, 宮本勇治, 富田英臣, 堀内裕介, 石川寛高, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
胃腫瘍ESD例における大腸腫瘍性病変の検討.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

104. 宮本勇治, 山本頼正, 大隅寛木, 谷口智香, 富田英臣, 森重健二郎, 冨田明彦, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
内視鏡治療したH.pylori除菌後胃癌の検討.
第88回日本消化器内視鏡学会総会: 神戸市, 2014

105. 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸広範囲ESD後の瘢痕狭窄とステロイド座薬の有効性.
第88回日本消化器内視鏡学会総会: 神戸市, 2014

106. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 菅沼孝紀, 石川寛高, 岡本恒平, 奥野真理, 千野晶子, 藤崎順子, 五十嵐正広
早期大腸癌における不整複合Pitの臨床病理学的検討.
第88回日本消化器内視鏡学会総会: 神戸市, 2014

107. 村松雄輔, 千野晶子, 新井正美, 石川寛高, 岡本恒平, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
家族性大腸腺腫症の大腸外合併疾患に対するサーベイランスの検討.
第88回日本消化器内視鏡学会総会: 神戸市, 2014

108. 大隅寛木, 陳勁松, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 峯真司, 渡邊雅之, 小倉真理子, 水沼信之
進行食道癌と重複した早期胃癌27症例の後方視的検討.
第56回日本消化器病学会大会: 神戸市, 2014

109. 五十嵐正広
大腸ポリープの内視鏡診断.
Scientific Exchange Meeting 2014 in Tokushima: 徳島市, 2014

110. 千野晶子, 岸原輝仁, 宮本勇治, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸内視鏡の挿入法 内視鏡修練のための内視鏡形状観測装置(UPD)を併用した挿入訓練方法について.
第69回日本大腸肛門病学会: 横浜市, 2014

111. 井上大, 千野晶子, 村松雄輔, 金明哲, 石川寛高, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 山本智理子
直腸粘膜脱症候群隆起型に対して内視鏡的切除が有効であった1例.
第99回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

112. 岡本恒平, 岸原輝仁, 村松雄輔, 金明哲, 井上大, 石川寛高, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
Post polypectomy syndromeの1例.
第99回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

113. 宮城幹史, 為我井芳郎, 金明哲, 千野晶子, 岸原輝仁, 五十嵐正広
SM浸潤を示唆する興味ある粘膜下層の内視鏡所見を観察し得た直腸SM癌の1例.
第99回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

114. 藤崎順子
早期胃癌の読み方.
第99回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2014

消化器外科

1. Sano, T.
日本の胃癌治療現状.
日中友好病院がん研有明病院共同医療セミナー: Beijing, China, 2014

2. Saiura, A.
Faster liver transection using ligasure combined with clamp crush technique.
11th World Congress of the International Hepato-Pancreat Biliary Association (IHPBA): Seoul, Korea, 2014

3. Saiura, A., Inoue, Y., Takahashi, Y., Arita, J., Koga, R., Yamaguchi, T.
Impact of repeat resection for borderline colorectal liver metastases.
67th Annual Society of Surgical Oncology Cancer Symposium: Phoenix, USA, 2014

4. Sano, T.
Para-aortic lymphadenectomy for gastric cancer.
Seoul International Symposium of Surgical Oncology（SISSO）: Seoul, Korea, 2014

5. Sano, T.
The update research and surgery of gastric cancer.
The 2014 Annual Meeting of the Taiwan Surgical Association: Taipei, Taiwan, 2014

6. Sano, T.
Education and training of gastric cancer surgery: The past and the future. "Helen Rollason lecture".
International Surgical Congress of the Asociation of Surgeons of Great Britain and Ireland: Harrogate, UK, 2014

7. Akiyoshi, T.
Selective lateral pelvic node dissection in advanced low rectal cancer based on pretreatment imaging.
American Society of Colon and Rectal Surgeons (ASCRS) Annual Meeting: Hollywood, USA, 2014

8. Arita, J., Ono, Y., Takahashi, M., Takeda, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Contrast-enhanced intraoperative ultrasound for colorectal liver metastases gaining imaging complete remission after chemotherapy.
49th Congress of the European Society for Surgical Research (ESSR): Budapest, Hungary, 2014

9. Fukunaga, Y.
Laparoscopic total pelvic exenteration to locally advanced rectal cancer.
22nd International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery (EAES): Paris, France, 2014

10. Sano, T.
D2 gastrectomy as a global standard.
9th National Gastric Cancer Academic Conference: Beijing, China, 2014

11. Fukunaga, Y.
Laparoscopic lateral lymphnode dissection.
第14回日中韓大腸癌シンポジウム: Osaka, 2014

12. Hiki, N.
Feasibility and nutritional impact of laparoscopy-assisted subtotal gastrectomy for early gastric cancer in the upper stomach.
European Society for Clinical Nutrition and Metabolism (ESPEN) Congress: Geneva, Switzerland, 2014

13. Mine, S.
Technique of thoracic esophagogastrostomy to prevent reflux after surgical removal of tumors of the esophagogastric junction.
14th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus: Vancouver, Canada, 2014

14. Sano, T.
Early detection of gastric cancer.
2nd International Oncology Conference: Abu Dhabi, UAE, 2014

15. Shigaki, H.
Indication for salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy in patients with squamous cell carcinoma of the esophagus.
14th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus: Vancouver, Canada, 2014

16. Watanabe, M.
Video-assisted esophagectomy to improve both safety and curability for patients with thoracic esophageal cancer.
2014 Taiwan Association of Thracic & Cardiovascular Surgery: Taipei, Taiwan, 2014

17. Fukunaga, Y.
Laparoscopic surgery for advanced rectal cancer with lateral lymphnode dissection.
Asia Pacific Endo Laparoscopic Colorectal Summit: Bali, Indonesia, 2014

18. Hiki, N.
Special lecture: Gastric cancer dissection.
International Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA): Bali, Indonesia, 2014

19. Konishi, T.
Lateral pelvic lymph node dissection.
International Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA): Bali, Indonesia, 2014

20. Konishi, T.
Trouble shooting for minimally invasive colorectal surgeries: rt. colectomy.
International Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA): Bali, Indonesia, 2014

21. Sano, T.
Ideal management of proximal gastric cancer.
24th National Conference of the Indian Association of Surgical Gastroenterology (IASG): Ahmedabad, India, 2014

22. Sano, T.
Lymphadenectomy for gastric cancer : the practice as on 2014.
24th National Conference of the Indian Association of Surgical Gastroenterology (IASG): Ahmedabad, India, 2014

23. Sano, T.
Special Lecture: Japanese perspective.
34th Congress of the European Society of Surgical Oncology in Partnership with BASO(ESSO): Liverpool, UK, 2014

24. Sano, T.
Meet the expert breakfast session: Lymphadenectomy for gastric cancer.
34th Congress of the European Society of Surgical Oncology in Partnership with BASO(ESSO): Liverpool, UK, 2014

25. Sano, T.
Lymphadenectomy : how far do we go?
34th Congress of the European Society of Surgical Oncology in Partnership with BASO(ESSO): Liverpool, UK, 2014

26. Sano, T.
50-year evolution of gastric cancer surgery in Japan.
34th Congress of the European Society of Surgical Oncology in Partnership with BASO(ESSO): Liverpool, UK, 2014

27. Sano, T.
IGCA TNM Study.
34th Congress of the European Society of Surgical Oncology in Partnership with BASO(ESSO): Liverpool, UK, 2014

28. Sano, T.
Surgical management of gastric cancer
Anatolian Medical Center Oncology Symposium 2: Istanbul, Turkey, 2014

29. Sano, T.
Patients must be treated with adjuvant or neoadjuvant chemotherapy.
Anatolian Medical Center Oncology Symposium 2　2014: Istanbul, Turkey, 2014

30. Sano, T.
Current status and future perspective of surgical treatment for gastric cancer in Japan.
China-Japan Exchange Meeting on Gastric Cancer Treatment Hangzhou, China, 2014

31. Kiyokawa, T., Hiki, N., Nunobe, S., Oohashi, M., Kosuga, T., Irino, T., Honda, M., Tanaka, Y., Kamiya, S., Takatsu, Y., Furukawa, H., Watanabe, M., Mine, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Feasibility of curative laparoscopic gastrectomy for patients over 80 years old with gastric cancer.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

32. Sano, T.
Future perspective of surgical trials.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

33. Takatsu, Y., Hiki, N., Furukawa, H., Kamiya, S., Tanaka, Y., Honda, M., Irino, T., Kiyokawa, T., Kosuga, T., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Preoperative chemotherapy followed by gastrectomy for advanced gastric cancer with paraaortic lymph node metastasis.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

34. Tanaka, Y., Hiki, N., Furukawa, H., Takatsu, Y., Kamiya, S., Honda, M., Irino, T., Kiyokawa, T., Kosuga, T., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Yamagushi, T.
Non-curative endoscopic resection followed by laparoscopic gastrectomy for early gastriccCancer.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

35. 佐野武
Open surgery.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

36. 田中友理
Non-curative endoscopic resection followed by laparoscopic gastrectomy for early gastric cancer.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

37. 渡邊雅之, 志垣博信, 馬場祥史, 峯真司, 山田和彦, 大矢周一郎, 吉田直矢, 佐野武, 山口俊晴, 馬場秀夫
Prognostic significance of negative lymph node count in patients with squamous cell carcinoma of the esophagus: A validation study in a high-volume cancer center cohort.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

38. 竹村信行, 齋浦明夫, 小野嘉大, 松村優, 有田淳一, 古賀倫太郎, 高橋祐, 佐野武, 山口俊晴
Long-term outcomes after surgical resection for gastric cancer liver metastasis.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

39. Hiki, N.
Advanced therapeutic endoscopy Laparoscopy-endoscopy collaborative surgery(LEGS).
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

40. 石沢武彰
Mechanistic background and clinical applications of indocyanine green fluorescence imaging of hepatocellular carcinoma.
第28回国際コンピュータ支援放射線医学・外科学会議: 福岡市, 2014

41. 濱崎俊輔, 藤本佳也, 小倉淳司, 武田光正, 大野吏輝, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 布部創也, 大橋学, 比企直樹
直腸転移をきたした胃癌の一例.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

42. 比企直樹
がん患者における代謝・栄養管理 がん専門病院における栄養管理の必要性.
第19回日本緩和医療学会学術大会: 神戸市, 2014

43. 小西毅
がん研における腹腔鏡下大腸手術の最前線.
ほくりく若手LACセミナー: 福井市, 2014

44. 井上陽介, 齋浦明夫, 有田淳一, 高橋祐, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 山口俊晴, 武藤徹一郎
大腸癌肝転移に対する外科手術と化学療法の現状　がん研の集学的治療の変化.
第79回大腸癌研究会: 大阪市, 2014

45. 渡邊雅之, 吉田直矢, 馬場祥史, 井田智, 馬場秀夫
咽喉頭・頸部食道癌の治療戦略 頸部食道癌に対する集学的治療戦略.
第65回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会: 東京, 2014

46. 大野吏輝, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 永田淳, 池田篤志, 向井俊貴, 友利賢太
当院におけるリンパ節転移リスクに基づく直腸NETの外科治療.
第80回大腸癌研究会: 東京, 2014

47. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 五十嵐正広, 為我井芳郎, 浦上尚之, 千野晶子, 岸原輝仁, 石川雄一, 山本智理子, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
進行直腸癌に対する術前化学放射線療法を併用した鏡視下手術の有用性と長期成績の検討.
第80回大腸癌研究会: 東京, 2014

48. 比企直樹
上部消化管外科病棟における栄養管理NSTは必要か.
第17回日本日本病態栄養学会年次学術集会: 大

阪市, 2014

49. 比企直樹
がん患者における代謝・栄養管理 がん専門病院の栄養管理をだれがどのように行うか?
第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 横浜市, 2014

50. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 松浦信子, 山仲紀代, 石川加奈子, 上野雅資
ストマ造設の実際(711例の経験から).
第31回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会: 仙台市, 2014

51. 佐野武
胃癌治療ガイドライン第4版の改訂ポイント.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

52. 佐野武
第4版改訂の経緯と主たる改訂点.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

53. 佐野武
胃がん学会のあゆみ：次世代の胃癌治療を担う人材へのメッセージ.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

54. 入野誠之, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 小菅敏幸, 清川貴志, 本多通孝, 田中友理, 神谷諭, 古川陽菜, 高津有紀子, 佐野武, 山口俊晴
胃腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術の可能性 十二指腸腫瘍に対するLECSの経験と手術適応の検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

54. 古川陽菜, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 入野誠之, 高津有紀子, 神谷諭, 田中友理, 本多通孝, 清川貴志, 小菅敏幸, 佐野武, 山口俊晴
迷走神経温存胃切除術の手技とその成績 腹腔鏡下幽門保存胃切除における迷走神経腹腔枝温存についての臨床的検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

55. 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
臨床的早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の長期成績.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

56. 小菅敏幸, 布部創也, 入野誠之, 田中友理, 清川貴志, 本多通孝, 比企直樹, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除後の観音開き再建法.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

57. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 入野誠之, 田中友理, 本多通孝, 清川貴志, 神谷諭, 古川陽菜, 高津有紀子, 佐野武, 山口俊晴
肥満症例に対する胃癌手術の工夫 開腹と腹腔鏡の立場から 肥満症例に対する腹腔鏡下幽門側胃切除の治療成績と手術手技の工夫.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

58. 小西毅
より安全で質の高い腹腔鏡下大腸がん手術を考える：とくに直腸癌を中心に.
第2回岩手県内視鏡手術手技セミナー: 盛岡市, 2014

59. 山口俊晴
技術の伝承 開腹胃切除.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

60. 布部創也
合併症軽減を目指した早期胃がんに対する腹腔鏡下胃切除のコツと勘どころ.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

61. 布部創也, 入野誠之, 比企直樹, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
胃腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術の可能性 胃腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術の可能性.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

62. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 小菅敏幸, 清川貴志, 入野誠之, 田中友理, 神谷諭
胃GISTに対する腹腔鏡手術の短期および長期成績.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

63. 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
GIST診療の治療最前線 Laparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery(LECS)の応用と進化.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

64. 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除の長期成績(予後を中心に)　適応拡大の是非を考える 当院における腹腔鏡補助下幽門側胃切除の長期成績とその展望.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

65. 清川貴志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 小菅敏幸, 入野誠之, 本多通孝, 田中友理, 神谷諭, 高津有紀子, 古川陽菜, 渡邊雅之, 峯真司, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における幽門下静脈温存有無と術後stasisの検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

66. 神谷諭, 比企直樹, 田中友理, 古川陽菜, 高津有紀子, 入野誠之, 本多通孝, 清川貴志, 小菅敏幸, 布部創也, 峯真司, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
胃癌手術におけるERAS 当科における胃癌手術ERASの実践.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

67. 佐野武
医療の国際展開：世界展開を目指す日本の外科医療：外科医療の国際展開:がん研有明病院の取り組み.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

68. 井上陽介, 齋浦明夫, 松村優, 小野嘉大, 坂本太郎, 高橋道郎, 有田淳一, 高橋祐, 小西毅, 福長洋介, 佐野武, 山口俊晴
術前補助化学療法は本当に有効か?　がん研有明病院での取り組みと現時点での自己評価.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

69. 古川陽菜, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 本多通孝, 峯真司, 渡邊雅之, 齋浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
胃術後の栄養障害に対するパンクレリパーゼの有効性に関する臨床的検討.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

70. 坂本太郎, 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 高橋道郎, 井上陽介, 小野嘉大, 松村優, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
原発性十二指腸癌に対する至適術式の提唱.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

71. 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 谷村慎哉, 峰真司, 渡邊雅之, 藤本佳也, 秋吉高志, 長山聡, 小西毅, 福長洋介, 有田淳一, 高橋裕, 斎浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃癌手術の適応拡大　進行胃癌に対するLAGは妥当か? 早期癌類似進行胃癌に対する治療成績から考える進行胃癌への腹腔鏡下胃切除術の適応拡大.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

72. 大矢周一郎, 志垣博信, 峯真司, 山田和彦, 渡邊雅之, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
pN0食道癌における再発因子の検討.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

73. 大野吏輝, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 齋浦明夫, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
本邦におけるNET治療の実態　診療ガイドラインへの展開 当院におけるリンパ節転移リスクに基づく直腸NETの外科治療.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

74. 小菅敏幸, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 渡邊雅之, 上野雅資, 斎浦明夫, 福長洋介, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除後、鏡視下縫合による観音開き法食道残胃吻合.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

75. 小西毅
より良い教育・理解のための美しき術野を求めて.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

76. 小西毅
直腸癌に対する鏡視下側方郭清の膜解剖と最新手技.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

77. 小西毅
腹腔鏡下大腸手術の最前線：最先端手術の現状とがん研手術室のチーム医療.
第8 回北東北LAC情報交換会: 盛岡市, 2014

78. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 比企直樹, 齋浦明夫, 渡邊雅之, 高橋祐, 大橋学, 布部創也, 峯真司, 有田淳一, 佐野武, 山口俊晴
直腸癌に対する治療戦略 集学的治療と鏡視下手術による新しい直腸癌治療の展望.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

79. 山田和彦, 峯真司, 渡邊雅之, 大矢周一郎, 志垣博信, 比企直樹, 布部創也, 谷村愼哉, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
食道癌根治的化学放射線療法後のリンパ節再発に対する外科治療.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

80. 峯真司, 渡邊雅之, 山田和彦, 志垣博信, 大矢周一郎, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 比企直樹, 有田淳一, 高橋祐, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 齋浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
下部食道扁平上皮癌の腫瘍の口側位置と縦隔リンパ節転移についての検討.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

81. 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 渡邊雅之, 斎浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
胃上部早期胃がんに対する術式選択:噴門側胃切除vs胃全摘術　胃全摘術.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

82. 志垣博信, 渡邊雅之, 山田和彦, 峯真司, 大矢周一郎, 布部創也, 藤本佳也, 小西毅, 有田淳一, 秋吉高志, 大橋学, 福永洋介, 長山聡, 谷村慎哉, 高橋祐, 齋浦明夫, 上野雅資, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
食道癌術後合併症に対する再手術が予後に及ぼす影響について.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

83. 有田淳一, 吉岡龍二, 奥村栄, 松村優, 高橋道郎, 小野嘉大, 井上陽介, 大橋学, 秋吉高志, 峯真司, 小西毅, 布部創也, 藤本佳也, 福長洋介, 長山聡, 渡邊雅之, 上野雅資, 比企直樹, 高橋祐, 斎浦明夫, 佐野武
大腸癌肝肺転移に対するUpfront surgery戦略下の切除率と長期予後.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

84. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 齋浦明夫, 上野雅資, 峯真司, 渡邊雅之, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術後の早期再入院リスク因子に関する臨床的検討.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

85. 松村優, 齋浦明夫, 高橋祐, 有田準一, 井上陽介, 小野嘉大, 坂本太郎, 高橋道郎, 上野雅資, 比企直樹, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
胆管空腸吻合後に肝切除を施行した16例の検討.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

86. 比企直樹
食道癌・胃癌における栄養管理の実践とエビデンス.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

87. 比企直樹
食道表在癌、早期胃癌に対する内視鏡診断治療の進歩 消化管全層切除の果たす役割と今後の展望.
第100回日本消化器病学会総会: 東京, 2014

88. 比企直樹, 布部創也
外科診療におけるNSTの役割と将来像 上部消化管外科病棟におけるNSTのあり方と将来像.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

89. 永田淳, 福長洋介, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 比企直樹, 斎浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
結腸癌手術の郭清範囲と手術手技 脾彎曲部結腸癌に対する郭清範囲と腹腔鏡下手術手技の検討.

第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

90. 清川貴志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 有田淳一, 高橋祐, 斎浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における幽門下静脈温存有無と術後stasis発生の関連性の検討.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

91. 田中友理, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 福長洋介, 渡邊雅之, 齋浦明夫, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
食道癌・胃癌における栄養管理の実践とエビデンス ERASに基づく胃癌術後管理.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

92. 神谷諭, 比企直樹, 本多通孝, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
胃癌手術におけるヘリコバクターピロリ除菌時期に関する前向きランダム化比較試験.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

93. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 山口俊晴
直腸癌側方郭清:開腹vs腹腔鏡　腹腔鏡.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

94. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿也, 永田淳, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下直腸癌手術の現状と展望 腹腔鏡下直腸癌手術の現状と今後.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

95. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 斉浦明夫, 有田淳一, 高橋祐, 峯真司, 渡邊雅之, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴
直腸癌局所再発に対する外科治療の適応と限界 直腸癌局所再発に対する切除手術症例の検討(最近の治療戦略も含めて).
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

96. 長山聡, 高橋亮, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 福長洋介, 上野雅資, 佐野武, 戸口田淳也, 坂井義治
細胞骨格関連タンパクC7059は細胞形態および細胞遊走能を制御し、大腸癌進展に関与する.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

97. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
直腸癌局所再発に対する腹腔鏡手術の有用性について.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

98. 門田守人
わが国のがん対策の現況と今後の展望.
第79回日本泌尿器科学会東部総会: 神戸市, 2014

99. 高橋道郎, 齋浦明夫, 松村優, 小野嘉大, 井上陽介, 坂本太郎, 有田淳一, 高橋祐
5個以上の多発性肝転移に対する積極的な外科治療について.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

100. 高津有紀子, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口敏晴
大動脈リンパ節転移を伴う高度進行胃癌に対する術前化学療法+外科切除治療の検討.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

101. 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 小野嘉大, 井上陽介, 高橋道郎, 坂本太郎, 松村優, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
肝静脈根部大型肝癌に対する肝切除術式の工夫 腺癌系肝腫瘍に対する3肝静脈再建を伴う肝切除.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

102. 小西毅
進行結腸癌に対する鏡視下手術：D3郭清から拡大切除まで.
第5回次世代の内視鏡下消化管手術セミナー: 名古屋市, 2014

103. 布部創也, 清川貴志, 比企直樹
気遣いの内視鏡外科手術　食道・胃 腹腔鏡下胃切除で目指すべき機能温存手術.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

104. 福長洋介
最新の腹腔鏡下大腸切除術：低侵襲から拡大手術まで.
第68回手術手技研究会: 京都市, 2014

105. 井上陽介, 有田淳一, 熊谷祐, 前島理, 武田良祝, 松村優, 小野嘉大, 高橋道郎, 高橋祐, 齋浦明夫
Fusion ICG fluorescence imagingによる立体的領域染色と解剖学的肝切除.
第26回日本肝胆膵外科学会学術集会: 和歌山市, 2014

106. 井上陽介, 齋浦明夫, 熊谷祐, 前島理, 武田良祝, 松村優, 小野嘉大, 高橋道郎, 有田淳一, 高橋祐
転移性肝癌の治療方針 切除不能再発から見た術前補助化学療法の功罪.
第26回日本肝胆膵外科学会学術集会: 和歌山市, 2014

107. 前島理, 井上陽介, 武田良祝, 松村優, 小野嘉大, 坂本太郎, 高橋道郎, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫
Fusion ICG fluorescence imagingを用いた術中血管・臓器造影の安全性と有用性.
第26回日本肝胆膵外科学会学術集会: 和歌山市, 2014

108. 大橋学
経口アンビルの鏡視下胃癌手術への応用.
第39回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2014

109. 小西毅
LARに必要な鏡視下骨盤解剖.
第3回がん研アカデミー大腸: 東京, 2014

110. 小西毅
がん研における腹腔鏡下直腸手術の最前線：TMEから側方郭清まで.
大腸癌Expert Meeting: 愛媛市, 2014

111. 山口俊晴
がん免疫療法の臨床開発.
第18回日本がん分子標的治療学会学術集会: 仙台市, 2014

112. 山口俊晴
保険診療の問題点 医療技術評価の保険診療上の問題点　総論.
第39回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2014

113. 布部創也
内視鏡下消化器外科手術における手技の拘りとその継承 ハイボリュームセンターでの腹腔鏡下胃切除術における効果的なレジデント教育.
第39回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2014

114. 有田淳一, 松村優, 武田良祝, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫
経過中に腹膜播種を伴った大腸癌肝転移患者に対する肝切除の成績.
第26回日本肝胆膵外科学会学術集会: 和歌山市, 2014

115. 松村優, 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 井上陽介, 高橋道郎, 小野嘉大, 武田良祝, 前島理, 熊谷祐
正中弓状靱帯圧迫症候群を合併した膵頭部癌の1切除例.
第26回日本肝胆膵外科学会学術集会: 和歌山市, 2014

116. 武田良祝, 斎浦明夫, 前島理, 熊谷祐, 松村優, 小野嘉大, 高橋道郎, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐
当院における残膵癌切除症例の検討.
第26回日本肝胆膵外科学会学術集会: 和歌山市, 2014

117. 渡邊雅之, 峯真司, 志垣博信, 大矢周一郎, 矢島和宜, 佐野武
消化器外科領域におけるマイクロサージェリー 食道切除後結腸再建における血管吻合の有用性.
第39回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2014

118. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長嵜寿矢, 永田淳, 大野吏輝, 武田光正, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
知っておくと役に立つあの手この手　上級医からレジデント・研修医へのメッセージ 消化器癌における器械吻合のコツ(大腸癌3000例以上の経験から).

第39回日本外科系連合学会学術集会：東京，2014

119. 長山聡
ヒト大腸癌オルガノイドの樹立とその細胞生物学的特性の解析.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

120. 高橋祐
胆道癌再発切除の検討.
第36回日本局所療法研究会：八尾市, 2014

121. 高橋道郎，齋浦明夫，前島理，武田良祝，松村優，小野嘉大，熊谷祐，井上陽介，有田淳一，高橋祐
切除不能同時性大腸癌肝転移に対し化学療法の後、ALPPS+三肝静脈切除再建を行った1症例.
第26回日本肝胆膵外科学会学術集会：和歌山市，2014

122. 齋浦明夫
肝切除後合併症を極小化する：私のFaith and Rationality.
第26回日本肝胆膵外科学会学術集会：和歌山市，2014

123. 齋浦明夫，小野嘉大，有田淳一，高橋祐，井上陽介，坂本太郎，高橋道郎，松村優，武田良祝，古賀倫太郎
局所進行膵癌における血管合併切除術の工夫と成績 Borderline膵癌に対する門脈脾静脈合併切除を伴う結腸上前方アプローチによる膵頭十二指腸切除.
第26回日本肝胆膵外科学会学術集会：和歌山市，2014

124. 井上陽介，齋浦明夫，前島理，武田良祝，松村優，小野嘉大，坂本太郎，高橋道郎，有田淳一，高橋祐
Fusion ICG fluorescence imagingによる立体的な解剖学的切除ガイド.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

125. 古川陽菜，比企直樹，布部創也，大橋学，山本頼正，坂本太郎，井上陽介，齋浦明夫，佐野武，山口俊晴
当院における十二指腸腫瘍に対するLECSの適応と工夫.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

126. 向井俊貴，秋吉高志，上野雅資，福長洋介，長山聡，藤本佳也，小西毅，五十嵐正広，為我井芳郎，千野晶子，岸原輝仁，水沼信之，篠崎英司，末永光邦
80歳以上の高齢者大腸癌に対する治療戦略.
第81回大腸癌研究会：名古屋市, 2014

127. 坂本太郎，小野嘉大，前島理，武田良祝，松村優，高橋道郎，井上陽介，有田淳一，高橋祐，齋浦明夫
Borderline resectable膵癌の治療成績と治療戦略.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

128. 大橋学，比企直樹，布部創也，峯真司，渡邊雅之，有田淳一，秋吉高志，佐野武，山口俊晴
ハイボリュームセンターにおける腹腔鏡下胃切除術のさらなる発展への取り組み.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

129. 大矢周一郎，峯真司，志垣博信，渡邊雅之，布部創也，大橋学，比企直樹，佐野武，山口俊晴，山田和彦
pN0食道癌における術後無再発生存期間および全生存期間-Cox回帰分析による検討.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

130. 大野吏輝
下部直腸がんに対する腹腔鏡下ISRの手術手技と短期成績.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

131. 小菅敏幸，比企直樹，布部創也，大橋学，峯真司，渡邊雅之，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下胃全摘後のCircular staplerを用いた食道空腸吻合における工夫.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

132. 小西毅
がん研における腹腔鏡下直腸手術の最前線：TMEから側方郭清まで.
第4回埼玉県大腸外科教育セミナー：さいたま市, 2014

133. 小西毅，上野雅資，福長洋介，長山聡，藤本佳也，秋吉高志，齋浦明夫，比企直樹，佐野武，山口俊晴
下部進行直腸癌に対する術前化学放射線療法後の側方郭清の適応と有効性に関する検討.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

134. 小西毅, 松阪諭, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 水沼信之, 篠崎英司, 末永光邦, 五十嵐正広, 為我井芳郎, 浦上尚之, 千野晶子, 岸原輝仁, 山口俊晴, 畠清彦, 武藤徹一郎
直腸癌に対する術前化学放射線療法が血中遊離癌細胞(CTC)に与える影響に関する検討.
第79回大腸癌研究会: 大阪市, 2014

135. 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 福長洋介, 小西毅, 有田淳一, 秋吉高志
食道胃接合部腺癌と下部食道扁平上皮癌の縦隔リンパ節転移に関する検討.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

136. 峯真司, 渡邊雅之, 山田和彦, 志垣博信, 大矢周一郎
食道胃接合部腺癌の腫瘍口側位置と縦隔リンパ節転移についての検討.
第68回食道学会学術集会: 東京, 2014

137. 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 渡邊雅之, 井上陽介, 有田淳一, 秋吉高志, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃癌手術におけるリンパ節郭清のポイント : High Volume Centerにおける胃癌手術のpitfall.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

138. 志垣博信
食道癌根治切除後の頸部リンパ節再発に対する手術を含めた集学的治療の検討.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

139. 志垣博信, 大矢周一郎, 峯真司, 渡邊雅之, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
ホエイペプチド含有免疫調整栄養剤の投与による食道癌術後感染症合併症の検討.
第68回食道学会学術集会: 東京, 2014

140. 有田淳一, 阪本良弘, 小野嘉大, 大黒聖二, 掘周太郎, 島田和昭, 高橋祐, 山中竹春, 齋浦明夫, 小菅智男
幽門輪温存膵頭十二指腸切除での十二指腸空腸吻合における器械吻合と手縫い吻合の無作為化比較臨床試験.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

141. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 神谷諭, 井田智, 速水克, 辻浦誠浩, 松田達雄, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下幽門側胃切除術の再建法の変遷と臨床的評価.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

142. 松村優, 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 井上陽介, 小野嘉大, 高橋道郎, 坂本太郎, 武田良祝, 前島理
当院における浸潤性膵癌術後長期生存者の検討.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

143. 武田良祝, 齋浦明夫, 松村優, 小野嘉大, 坂本太郎, 高橋道郎, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐, 山口俊晴
無症状膵癌のstageと予後の検討.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

144. 比企直樹
がんと栄養 がん専門病院における栄養管理の意義.
日本外科代謝栄養学会第51回学術集会: 大阪市, 2014

145. 比企直樹, 布部創也, 大橋学
腹腔鏡胃切除を開腹手術に近づけるために : 新たなるデバイスの使用法.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

146. 清川貴志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 渡邊雅之, 有田淳一, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
85歳以上の超高齢者に対する胃癌手術の安全性と予後.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

147. 渡邊雅之, 峯真司, 志垣博信, 大矢周一郎, 佐野武
短期および長期予後から見たサルベージ手術の適応.
第68回食道学会学術集会: 東京, 2014

148. 渡邊雅之, 峯真司, 志垣博信, 大矢周一郎, 佐野武, 山口俊晴, 吉田直矢, 馬場祥史, 井田智, 馬場秀夫
食道切除または根治的化学放射線療法後のリンパ節再発に対するリンパ節切除の意義.
第69回日本消化器外科学会総会: 郡山市, 2014

149. 石沢武彰, 工藤宏樹, 山下俊, 金子順一, 青木琢, 阪本良弘, 長谷川潔, 菅原寧彦, 齋浦明夫, 國土宏典

肝癌，胆管，および膵液漏を描出する術中蛍光イメージングを如何に臨床応用するか.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

150. 神谷諭，比企直樹，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
１鏡視下胃切除術における開腹移行症例の検討.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

151. 福長洋介
直腸癌側方リンパ節転移陽性症例に対する腹腔鏡下側方郭清.
第23回がん転移学会学術集会：金沢市, 2014

152. 秋吉高志
下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清術のコツと短期成績.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

153. 藤本佳也，秋吉高志，小西毅，長嵜寿矢，永田淳，大野吏輝，長山聡，福長洋介，上野雅資
結腸癌に対する結腸切除術の合併症について（1963例からの経験）.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

154. 西川正博，谷村慎哉，徳原太豪，比企直樹，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
高齢者胃癌に対する治療戦略：低侵襲治療としての腹腔鏡下胃切除術の積極的適応とその成績.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

155. 長嵜寿矢
直腸癌局所再発に対する腹腔鏡手術の有用性について.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

156. 高橋祐，古賀倫太郎，有田淳一，井上陽介，小野嘉大，高橋道郎，坂本太郎，松村優，武田良祝，齋浦明夫
肝門部胆管癌に対する血管合併切除の治療成績.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

157. 高橋道郎，齋浦明夫，前島理，武田良祝，松村優，小野嘉大，坂本太郎，井上陽介，有田淳一，高橋祐
当院における二期的肝切除の経験.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

158. 高津有紀子，比企直樹，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
大動脈リンパ節転移を伴う高度進行胃癌に対する術前化学療法+外科切除治療の検討.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

159. 齋浦明夫，高橋祐，古賀倫太郎，井上陽介，有田淳一，小野嘉大，高橋道郎，上野雅資，佐野武，山口俊晴
大腸癌肝転移に対するResection Selection:再発症例に対する根治治療の重要性.
第69回日本消化器外科学会総会：郡山市, 2014

160. 大橋学，比企直樹，布部創也，佐野武，山口俊晴
臨床的早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の長期成績　単施設、後ろ向き研究.
第52回日本癌治療学会学術集会：横浜市, 2014

161. 小西毅
安全な腹腔鏡下直腸癌手術のコツと解剖.
第1回多摩内視鏡手術セミナー：東京, 2014

162. 福長洋介
細径鉗子による超低位前方切除術：視野展開と出血のない剥離のコツ.
第3回Reduced Port Surgery Forum 2014 in Fukui / 第11回Needlescopic Surgery Meeting / 第8回単孔式内視鏡手術研究会：福井市, 2014

163. 門田守人
がん患者の治療と就労の両立支援 がん患者が権利を持って働くことのできる社会構築を目指して.
第52回日本癌治療学会学術集会：横浜市, 2014

164. 小西毅
進行下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術：側方郭清を含めて.
Colorectal Cancer Symposium in Fukuoka：福岡市, 2014

165. 渡邊雅之，志垣博信，峯真司
化学放射線療法を用いた食道がん治療の新展開
安全性と長期予後からみた食道癌に対するサルベージ手術の適応.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

166. 井上陽介，齋浦明夫，松村優，石沢武彰，有田淳一，高橋祐，上野雅資，比企直樹，山口俊晴
腹腔鏡下膵頭十二指腸切除の安全性・有用性に

関する外科phase Ⅰ trial.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

167. 井田智, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 松田達雄, 速水克, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 佐野武, 山口俊晴
幽門保存胃切除術における術後症状・栄養状態およびQOLの評価.
第44回胃外科術後障害研究会: 富士市, 2014

168. 井田智, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 松田達雄, 速水克, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 入野誠之, 峯真司, 渡邊雅之, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術の効果的なレジデント教育システムの確立.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

169. 古川陽菜, 比企直樹, 松田達雄, 速水克, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 入野誠之, 本多通孝, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃全摘の進行癌症例への適応拡大に向けて.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

170. 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 入野誠之, 本多通孝, 古川陽菜, 山口俊晴
進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の短期、長期成績と適応拡大への取り組み.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

171. 大野吏輝, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 永田淳, 武田光正, 高津有紀子, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 渡邊雅之
下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清術の手技と短期成績.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

172. 寺澤無我, 石沢武彰, 田中真之, 松木亮太, 武田良祝, 松村優, 市田洋文, 熊谷祐, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫
ICG蛍光法をカラー像に重畳する新規イメージングシステムを用いた腹腔鏡下肝切除術.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

173. 寺澤無我, 石沢武彰, 田中真之, 松木亮太, 武田良祝, 松村優, 市田洋文, 熊谷祐, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫
Indocyanine greenの蛍光をカラー像に重畳する新規イメージングシステムを用いた腹腔鏡下肝切除.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

174. 小倉淳司, 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿矢, 永田淳, 大野吏輝, 武田光正, 高津有紀子, 濱崎俊輔, 渡邉元己, 山口俊晴
進行右側結腸癌に対する腹腔鏡下右半結腸切除術の治療成績.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

175. 小西毅
この1年で進歩したこと、そして更なる展開へ.
第7回骨盤内視鏡外科セミナー: 盛岡市, 2014

176. 小西毅
腹腔鏡下直腸癌手術：安全な術式の普及に大切なことは？.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

177. 小西毅
腹腔鏡下直腸癌手術における側方郭清の展望と課題.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

178. 小西毅
Ｓ状結腸、直腸切除の基本手技：技術認定取得のために必要なこと.
第5回全国労災病院内視鏡外科セミナー: 郡山市, 2014

179. 小西毅
直腸癌に対する腹腔鏡下手術の最前線.
第2回東北内視鏡外科セミナー: 仙台市, 2014

180. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 高橋祐, 布部創也, 峯真司, 大橋学, 比企直樹, 渡邊雅之, 齋浦明夫, 山口俊晴
安全で質の高い腹腔鏡下直腸手術に必要な骨盤深部肛門管解剖と視野展開法.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

181. 小西毅, 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 永田淳, 山口俊晴
ICG蛍光法を用いた新たな尿管可視化システムの開発と周囲浸潤結腸癌に対する鏡視化拡大切除への応用.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

182. 布部創也, 本多通孝, 比企直樹, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴

幽門保存胃切除術の手技とその意義.
第44回胃外科・術後障害研究会: 富士市, 2014

183. 布部創也, 本多通孝, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 渡邊雅之, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 山口俊晴
進化する左側アプローチ：D2郭清での助手の術野展開の工夫.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

184. 布部創也, 本多通孝, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 渡邊雅之, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 齋浦明夫, 山口俊晴
当院における腹腔鏡下幽門保存胃切除の適応と手技.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

185. 本多通孝, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 井田智, 速水克, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
術後症状尺度"ES4"における臨床的に意義のある最小の差の計測.
第44回胃外科術後障害研究会: 富士市, 2014

186. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 入野誠之, 神谷諭, 古川陽菜, 井田智, 速水克, 辻浦誠浩, 松田達雄, 山口俊晴
腹腔鏡下幽門側胃切除術における膵上縁郭清からみた癒合筋膜と後腹膜の解剖.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

187. 松田達雄, 比企直樹, 布部創也, 井田智, 辻浦誠浩, 速水克, 神谷諭, 古川陽菜, 入野誠之, 本多通孝, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
当院における胃腫瘍性病変に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除90例の治療成績.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

188. 武田光正, 藤本佳也, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 永田淳, 大野吏輝, 高津有紀子, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 渡邉元己, 山口俊晴
術前治療導入前の腹腔鏡下人工肛門造設術.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

189. 比企直樹
消化管腫瘍に対する機能温存手術 LECS（Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery）コンセプトの進化.
JDDW2014: 横浜市, 2014

190. 比企直樹
ランドマークを意識した腹腔鏡下胃切除におけるリンパ節郭清のコツ.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

191. 比企直樹
腹腔鏡下胃全摘の教育、継承に適した定型化へ向けて.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

192. 比企直樹
Science of Tissue Management の観点から腹腔鏡下胃切除を考える.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

193. 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
がん研有明病院胃外科におけるレジデントの教育.
第44回胃外科・術後障害研究会: 富士市, 2014

194. 永田淳, 福長洋介, 濱崎俊輔, 渡邉元己, 小倉淳司, 高津有紀子, 武田光正, 大野吏輝, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資
細径鉗子を用いた腹腔鏡下横行結腸の切除の工夫と定型化.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

195. 渡邊雅之, 峯真司, 志垣博信, 奥村康弘, 松本晶, 西田康二郎, 佐野武
症例検討：食道.
JDDW2014: 神戸市, 2014

196. 石沢武彰
内視鏡下手術における超音波技術の有用性.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

197. 石沢武彰, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐, 山元謙太郎, 山元章生, 國土宏典, 齋浦明夫
腹腔鏡下肝切除の保険収載術式について有効性を向上させるための取り組み.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

198. 神谷諭, 比企直樹, 井田智, 辻浦誠浩, 速水克, 松田達雄, 古川陽菜, 入野誠之, 本多通孝, 小菅敏幸, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
当科における腹腔鏡胃全摘術後再建術のトラブルとその対処法.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

199. 福長洋介
腹腔鏡下大腸切除術　もう一度基本に立ち返ろう　腹腔鏡下S状結腸-直腸.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

200. 秋吉高志
「エネルギーデバイス進化論」骨盤腔内における止血・剥離コントロールとラパロ用排煙装置を使用した視野展開.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

201. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿矢, 永田淳, 大野吏輝, 武田光正, 小倉淳司, 高津有紀子, 濱崎俊輔, 佐野武, 山口俊晴
他臓器合併切除を伴うS状結腸～直腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

202. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫, 峯真司, 渡邊雅之, 布部創也, 大橋学, 比企直樹
Lap-ISRの手術手技と治療成績.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

203. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 松田達雄, 速水克, 井田智, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 入野誠之, 峯真司, 渡邊雅之, 山口俊晴
当院における過去9年間の腹腔鏡下胃切除術についての検討：特に導入前期・後期の手術成績の比較.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

204. 速水克, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 井田智, 本多通孝, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除術　観音開き法再建の臨床経験と評価.
第44回胃外科術後障害研究会: 富士市, 2014

205. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴
BMI35Kg/m2以上の肥満症例に対する腹腔鏡下大腸手術の検討.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

206. 高橋祐, 有田淳一, 井上陽介, 小野嘉大, 高橋道郎, 松村優, 武田良祝, 熊谷祐, 古賀倫太郎, 渡邊雅之, 比企直樹, 上野雅資, 佐野武, 山口俊晴, 齋浦明夫
肝外胆管癌の切除成績：肝門部胆管癌と中下部胆管癌の比較.
JDDW 2014: 神戸市, 2014

207. 高津有紀子, 福長洋介, 小倉淳司, 渡邊元己, 濱崎俊輔, 武田光正, 永田淳, 大野吏輝, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資
IMA根部処理後お左側結腸血流障害に対する腹腔鏡下トラブルシューティング.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

208. 齋浦明夫
大腸癌肝限局転移例（LLD）における腹腔鏡下肝切除術の実際と周術期化学療法について.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

209. 井田智, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 松田達雄, 速水克, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 入野誠之, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術の効果的なレジデント教育システムの確立.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

210. 佐野武
胃癌手術におけるリンパ節郭清のコツと視野展開.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

211. 佐野武
胃癌治療ガイドラインについて.
第16回Hiroshima Oncology Group of Gastric Cancer学術講演: 広島市, 2014

212. 古川陽菜, 比企直樹, 入野誠之, 松田達雄, 速水克, 辻浦誠浩, 神谷諭, 本多通孝, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
当院における高齢者胃癌に対する術前リスク評価の検討.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

213. 大野吏輝, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 長崎寿矢, 永田淳, 岸原輝仁, 千野晶子, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
当院におけるリンパ節転移リスクに基づく直腸NETの外科治療.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2014

214. 寺澤無我，有田淳一，齋浦明夫，高橋祐，井上陽介，石沢武彰
大腸癌肝転移に対し二期的肝切除術を考慮した14例の短期成績.
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

215. 小倉淳司，千野晶子，岸原輝仁，為我井芳郎，五十嵐正広，大野吏輝，永田淳，長嵜寿也，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資
術前化学放射線療法を行った下部進行直腸癌におけるEndoscopic Complete Response(E-CR)の評価法と意義.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会：横浜市, 2014

216. 小倉淳司，秋吉高志，上野雅資，福長洋介，長山聡，藤本佳也，小西毅，長嵜寿矢，永田淳，大野吏輝，比企直樹，布部創也，齋浦明夫，山口俊晴
仙骨前面のCRM 確保困難な上部直腸癌に対して術前治療を行った症例の検討.
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

217. 小西毅
がん研有明病院における腹腔鏡下大腸切除.
北部九州LACセミナー：小倉市, 2014

218. 小西毅
３Dで学ぶ側方郭清の解剖.
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

219. 小西毅，上野雅資，福長洋介，長山聡，藤本佳也，秋吉高志，五十嵐正広，為我井芳郎，千野晶子，岸原輝仁，武藤徹一郎
局所進行直腸癌に対する集学的治療の新展開
局所進行直腸癌に対する術前化学放射線療法後の治療的側方郭清の有効性と長期成績.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会：横浜市, 2014

220. 山口俊晴
外科医の技術評価はどうあるべきか
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

221. 市田洋文，石沢武彰，寺澤無我，武田良祝，田中真之，熊谷祐，松村優，松木亮太，井上陽介，有田淳一，高橋祐，齋浦明夫
腹腔鏡下肝胆道手術におけるロボットカメラコントローラーの有用性.
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

222. 布部創也，本多通孝，比企直樹，大橋学，峯真司，渡邊雅之，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，齋浦明夫，佐野武，山口俊晴
腹腔鏡下胃切除における左側アプローチの有用性.
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

223. 松田達雄，比企直樹，布部創也，井田智，辻浦誠浩，速水克，神谷諭，古川陽菜，入野誠之，本多通孝，大橋学，佐野武，山口俊晴
早期胃癌やdelleを伴う胃粘膜下腫瘍に対するLECS の工夫（Inverted LECS 法）.
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

224. 武田光正，藤本佳也，秋吉高志，小西毅，長山聡，福長洋介，上野雅資
卵管癌直腸転移の1例.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会：横浜市, 2014

225. 永田淳，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資，比企直樹，布部創也，峯真司，大橋学，齋浦明夫，大野吏輝，長嵜寿矢，山口俊晴
当院における進行下部直腸癌に対する術前放射線化学療法と画像診断に基づく選択的側方リンパ節郭清.
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

226. 永田淳，長嵜寿矢，大野吏輝，秋吉高志，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資，千野晶子，為我井芳郎，五十嵐正広
当院における腹腔鏡下横行結腸切除術の検討.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会：横浜市, 2014

227. 渡邉元己
大腿皮膚Merkel細胞癌の内腸骨リンパ節転移に対し腹腔鏡下側方リンパ節郭清を行った1例.
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

228. 渡邊雅之，峯真司，志垣博信，奥村康弘，松本晶，西田康二郎，佐野武
安全性と長期予後から見た食道癌に対するサルベージ手術の適応.
第76回日本臨床外科学会総会：郡山市, 2014

229. 田中真之，井上陽介，寺澤無我，武田良祝，熊谷祐，松村優，松木亮太，市田洋文，石沢武彰，有田淳一，高橋祐，齋浦明夫

鏡視下Fusion ICG fluorescence imagingが有用であった巨大肝嚢胞の1例.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

230. 神谷諭, 比企直樹, 入野誠之, 本多通孝, 井田智, 辻浦誠浩, 速水克, 松田達雄, 古川陽菜, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
洗浄細胞診陽性胃癌に対する術前化学療法の意義.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

231. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 永田淳, 大野吏輝, 武田光正, 高津有紀子, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 渡邉元己
新しい腹腔鏡下大腸癌手術の手技と定型化 腹腔鏡下低位前方切除術および内肛門括約筋間剥離術の手術手技.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2014

232. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿也, 永田淳, 大野吏輝, 村田飛鳥, 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
当院におけるcSMN0直腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2014

233. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
標準化したストーマ造設　1200例以上の経験から.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2014

234. 西田康二郎, 奥村康弘, 志垣博信, 松本晶, 峯真司, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 渡邊雅之
食道癌切除術の頚部食道胃管吻合における三辺外翻三角吻合および有茎大網弁被覆法の有用性.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

235. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 松田達雄, 速水克, 井田智, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 入野誠之, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
当院における腹腔鏡下幽門側切除術についての検討：LADC導入前期・後期の手術成績の比較を含めて.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

236. 速水克, 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 松田達雄, 井田智, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 入野誠之, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
当院における腹腔鏡下胃全摘再建法：巾着法を用いた引き上げ変法の実際.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

237. 長嵜寿矢
結腸癌及びRS直腸癌における主リンパ節転移陽性症例の検討.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2014

238. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 永田淳, 大野吏輝, 布部創也, 比企直樹, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
当院における腹腔鏡下直腸癌手術手技の定例化の工夫：主に助手の術野展開の定型化.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

239. 齋浦明夫, 小西毅, 福長洋介, 秋吉高志, 長山聡, 藤本佳也, 上野雅資
大腸癌肝転移に対する肝切除限界：切除率向上を目指して.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会: 横浜市, 2014

240. 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 井上陽介, 石沢武彰, 小野嘉大, 坂本太郎, 松村優
肝胆膵外科の教育：膵頭十二指腸切除の段階的レベル別修練法を例に.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

241. 速水克, 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 松田達雄, 井田智, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 入野誠之, 峯真司, 渡邊雅之, 山口俊晴
当院における腹腔鏡下胃全摘再建法の変遷.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

乳腺外科

1. Sakai, T., Iwata, H., Hasegawa, Y., Nakamura, R., Akabane, H., Ohtani, S., Kashiwaba, M., Taira, N., Toyama, T., Yamamoto, Y., Fujisawa, T., Masuda, N., Yamaguchi, T., Mukai, H., Ohashi, Y.
First report of clinicopathological analysis in neoadjuvant treatment phase in NEOS: A

randomized study of adjuvant endocrine therapy with or without chemotherapy for postmenopausal breast cancer patients who responded to neoadjuvant letrozole.
San Antonio Breast Cancer Symposium: San Antonio, 2014

2. Sato, A., Sakai, T., Moroo, F., Kimura, K., Tanabe, M., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Reoperative sentinel lymph node biopsy for ipsilateral breast tumor recurrence: impact of axillary surgery and radiation therapy on lymphatic drainage patterns.
San Antonio Breast Cancer Symposium: San Antonio, USA, 2014

3. 何森亜由美
明日からの乳腺診療を変える乳房超音波テクニック.
第21回三重乳腺診断フォーラム: 津市, 2014

4. 蒔田益次郎, 伊藤良則, 森園英智, 中島絵里, 坂井威彦, 萩谷朗子, 飯島耕太郎, 宮城由美, 荒木和浩, 高橋俊二, 岩瀬拓士
乳癌術後補助アナストロゾール治療中の関節痛が予後に及ぼす影響について.
第14回関東ホルモンと癌研究会: 東京, 2014

5. 佐藤綾花, 坂井威彦, 五味直哉, 宮城由美, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
マンモグラフィで奇異な石灰化を呈した一側多発乳癌の一例.
第23回乳癌画像研究会: 高松市, 2014

6. 何森亜由美
見逃さない乳房超音波検査法：解剖からのアプローチ.
第31回広島県医学検査学会: 広島市, 2014

7. 何森亜由美
高分解能超音波を活かす乳腺の実態構造理解.
第23回日本乳癌画像研究会: 高松市, 2014

8. 何森亜由美
MRI2ndLookUSの考え方と実際：主に穿刺吸引細胞診を使って.
第71回東京乳腺研究会: 東京, 2014

9. 白井智子, 五味直哉, 蒔田益次郎, 宮城由美, 照屋なつき, 堀井理絵, 秋山太, 升田吉雄, 岩瀬拓士
嚢胞内癌の壁外浸潤が疑われた非浸潤性乳管癌の一例.
第23回日本乳癌画像研究会: 高松市, 2014

10. 萩谷朗子, 中島絵里, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 國分優美, 五味直哉, 加藤千絵子, 富樫保行, 五十里美栄子, 何森亜由美, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
当院における治療前リンパ節評価の方法と今後のリンパ節評価のあり方について.
第23回日本乳癌画像研究会: 高松市, 2014

11. 何森亜由美
MRI2ndLookUSの考え方と実際：主に穿刺吸引細胞診を使って.
第69回徳島乳腺研究会: 徳島市, 2014

12. 荻谷朗子, 中島絵里, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 木村聖美, 森園英智, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
センチネルリンパ節転移陽性症例で郭清省略可能群を探る　OSNA法を用いて.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

13. 蒔田益次郎, 坂井威彦, 荻谷朗子, 森園英智, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 中島絵里, 師尾典子, 伊藤良則, 秋山太, 岩瀬拓士
年齢は本当に乳癌の予後因子か.
第114回日本外科学会定期学術集会: 京都市, 2014

14. 中島絵里, 北川大, 荻谷朗子, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士
わが国における遺伝性乳癌の頻度と予防切除の適応について 遺伝性乳がん卵巣がん症候群とは　その基礎と疫学を中心に.
第39回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2014

15. 何森亜由美
乳腺超音波　正常解剖と病変の立体構造をどうとらえるか.
第39回日本超音波検査学会学術集会: 名古屋市, 2014

16. 中島絵里, 芦原有美, 喜多瑞穂, 荻谷朗子, 坂井威彦, 森園英智, 宮城由美, 飯島耕太郎, 蒔田益

次郎, 新井正美, 岩瀬拓士
当院における遺伝性乳がん卵巣がん診療のための乳癌患者背景　NCCNガイドライン基準に基づく解析.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

17. 佐藤綾花, 坂井威彦, 師尾典子, 木村聖美, 小泉満, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
温存乳房内再発に対する2ndセンチネルリンパ節生検の成績.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

18. 何森亜由美
乳癌超音波診断：乳腺構造読影の活かし方.
第3回Cancer Expert Forum: 東京, 2014

19. 何森亜由美, 國分優美, 藤井祐次, 坂井威彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
「画像的境界病変における乳腺超音波立体所見診断研究」終了報告.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

20. 宮城由美, 山崎希恵子, 山岸陽二, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 伊藤良則, 高橋俊二, 岩瀬拓士
N2b以上のリンパ節転移を認めた症例で腋窩リンパ節のypN0が予後予測因子となりうるか?
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

21. 小野寿子, 坂井威彦, 小林心, 伊藤良則, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
原発性乳癌のステージ分布と2年以内医療機関受診率の検討.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

22. 山岸陽二, 宮城由美, 山崎希恵子, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
術前化学療法前後でのリンパ節転移の臨床的意義について.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

23. 山崎希恵子, 宮城由美, 山岸陽二, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
乳癌術前化学療法における腋窩リンパ節に対するサブタイプ別効果.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

24. 師尾典子, 坂井威彦, 佐藤綾花, 蒔田益次郎, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 中島絵里, 荻谷朗子, 森園英智, 宮城由美, 飯島耕太郎
温存乳房内癌の発見動機についての検討　超音波を用いた術後サーベイランスの有用性について.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

25. 木村聖美, 荻谷朗子, 中島絵里, 坂井威彦, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 蒔田益次郎, 秋山太
乳癌に対するセンチネルリンパ節生検後3年のリンパ浮腫頻度.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

26. 柳裕代, 蒔田益次郎, 五味直哉, 立川智弘, 荻谷朗子, 坂井毅彦, 森園英智, 宮城由美, 秋山太, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 飯島耕太郎, 中島絵里, 石田直子, 佐藤綾花, 山崎希恵子, 師尾典子, 小野寿子, 白井智子, 鈴木えりか
異常乳頭分泌や石灰化病変等の非触知乳癌に対するCT segmentectomyの成績.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

27. 森園英智, 池畑浩一, 川島麻里沙, 加藤千絵子, 富樫保行, 五十里美栄子, 何森亜由美, 坂井威彦, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太
穿刺吸引細胞診による術前腋窩リンパ節転移診断精度の検討.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

28. 白井智子, 荒木和浩, 小林心, 深田一平, 小林隆之, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
HER2陽性転移乳癌に対する化学療法・トラスツズマブ同時併用後のアンスラサイクリン治療による心毒性の検討.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

29. 荻谷朗子, 中島絵里, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
One-step nucleic acid amplification(OSNA)法による乳癌診療の新たな展開に向けて.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

30. 蒔田益次郎, 坂井威彦, 飯島耕太郎, 森園英智, 宮城由美, 荻谷朗子, 中島絵里, 荒木和浩, 高橋俊二, 伊藤良則, 五味直哉, 小口正彦, 秋山太, 岩瀬拓士
非浸潤癌初回治療後の二次乳癌発生に関する検討.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

31. 飯島耕太郎, 蒔田益次郎, 中島絵里, 坂井威彦, 荻谷朗子, 森園英智, 何森亜由美, 宮城由美, 岩瀬拓士
EPUBを用いた診療マニュアルの電子化.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

32. 何森亜由美
乳腺.
乳頭超音波セミナーin福岡: 福岡市, 2014

33. 荻谷朗子, 中島絵里, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
当院のセンチネルリンパ節生検郭清省略の長期予後と再発症例の転帰について.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

34. 萩谷朗子, 岩瀬拓士, 秋山太
センチネルリンパ節の転移量から予後予測は可能.
第8回セラノティクス研究会: 大阪市, 2014

35. 何森亜由美
新しい乳房超音波診断ガイドラインに基づく乳房超音波観察のコツ.
第12回京都ブレストセミナー: 京都市, 2014

36. 何森亜由美, 青儀健二郎
良悪性判定困難病変の臨床的対応.
第11回日本乳癌学会中国四国地方会教育セミナー: 広島市, 2014

37. 宮城由美
乳腺外科医が放射線科医に望むこと.
第50回日本医学放射線学会秋季臨床大会: 神戸市, 2014

38. 萩谷朗子, 大迫智, 堀井理絵, 岩瀬拓士, 秋山太
One-step nucleic acid amplification（OSNA）法を用いた乳癌センチネルリンパ節生検の成績.
第16回SNNS研究会学術集会: 鹿児島市, 2014

39. 何森亜由美
聞いて納得！乳腺超音波上達への近道.
第33回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 別府市, 2014

40. 何森亜由美
わかる、できる、好きになる、乳腺エコー：血流情報をあわせて.
日本超音波医学会第41回関西地方会学術集会: 京都市, 2014

41. 北川大, 中島絵里, 荻谷朗子, 坂井威彦, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 蒔田益次郎, 新井正美, 岩瀬拓士
家族性腫瘍診療における外科治療の役割 がん研有明病院でのHBOC診療の現在と未来.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

42. 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太
検診で発見された境界病変の診断と治療 検診で発見された境界病変に対する臨床医の対応について.
第23回日本乳癌検診学会総会: 前橋市, 2014

43. 荻谷朗子, 木村聖美, 北川大, 中島絵里, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
腋窩廓清省略時代におけるセンチネルリンパ節生検の意義 センチネルリンパ節転移陰性、腋窩郭清省略症例の術後1年、3年時のリンパ浮腫発生頻度について.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

44. 萩谷朗子, 木村聖美, 北川大, 中島絵里, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
腋窩郭清省略時代におけるセンチネルリンパ節生検の意義：センチネルリンパ節転移陰性、腋窩郭清省略症例の術後１年、３年時のリンパ浮腫発生頻度について.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

45. 貴志美紀, 坂井威彦, 照屋なつき, 北川大, 中島絵里, 荻谷朗子, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
術後17年目に局所再発した浸潤性小葉癌の一例.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

46. 北川大
局所進行乳がんの治療について.
第11回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2014

47. 師尾典子, 堀井理絵, 五味直哉, 秋山太, 岩瀬拓士
HBOCの術後１年半で発見された対側乳癌の一例.

第11回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2014

48. 新堰佳世子，堀井理絵，坂井威彦，照屋なつき，飯島耕太郎，秋山太，岩瀬拓士
USで硬癌が疑われた顆粒細胞腫の１例.
第11回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2014

乳腺内科

1. Fukada, I., Araki, K., Takahashi, S., Kobayashi, T., Kobayashi, K., Shibayama, T., Ito, Y.
The pattern of tumor shrinkage is associated with prognosis In luminal early breast cancer during neoadjuvant chemotherapy.
第12回日本臨床腫瘍学会学術集会：福岡市，2014

2. 白井智子，五味直哉，畤田益次郎，宮城由美，照屋なつき，堀井理絵，秋山太，升田吉雄，岩瀬拓士
嚢胞内癌の壁外浸潤が疑われた非浸潤性乳管癌の一例.
第23回日本乳癌画像研究会：高松市，2014

3. 伊藤良則
PI3K/AKT/mTORシグナル伝達阻害薬による乳癌治療の臨床開発.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市，2014

4. 小林心，伊藤良則，河合祐子，深田一平，柴山朋子，小林隆之，荒木和浩，高橋俊二，岩瀬拓士
転移乳癌におけるエリブリンの投与間隔に関する後方視的解析.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市，2014

5. 柳裕代，畤田益次郎，五味直哉，立川智弘，荻谷朗子，坂井毅彦，森園英智，宮城由美，秋山太，岩瀬拓士，堀井理絵，飯島耕太郎，中島絵里，石田直子，佐藤綾花，山崎希恵子，師尾典子，小野寿子，白井智子，鈴木えりか
異常乳頭分泌や石灰化病変等の非触知乳癌に対するCT segmentectomyの成績.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市，2014

6. 柴山朋子，荒木和浩，小林心，小林隆之，深田一平，高橋俊二，岩瀬拓士，伊藤良則
転移乳癌に対する化学療法後内分泌維持療法の検討.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市，2014

7. 深田一平，高橋俊二，荒木和浩，小林隆之，小林心，柴山朋子，河合佑子，五味直哉，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士，伊藤良則
Luminal乳癌における術前化学療法による腫瘍縮小様式と予後予測因子の後方視的検討.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市，2014

8. 白井智子，荒木和浩，小林心，深田一平，小林隆之，高橋俊二，岩瀬拓士，伊藤良則
HER2陽性転移乳癌に対する化学療法・トラスツズマブ同時併用後のアンスラサイクリン治療による心毒性の検討.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市，2014

9. 石田直子，荒木和浩，坂井威彦，小林心，小林隆之，深田一平，山下啓子，高橋俊二，岩瀬拓士，伊藤良則
閉経後進行乳癌に対するフルベストラントの効果と安全性についての検討.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市，2014

10. 荒木和浩，深田一平，小林心，河合佑子，柴山智子，畤田益次郎，武石優子，高橋俊二，岩瀬拓士，伊藤良則，坂井威彦，荻谷朗子，森園英智，宮城由美，飯島耕太郎，白井智子，照屋なつき，中島絵里，堀井理絵，秋山太
チームパージェタによる安全な医療の構築.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市，2014

11. 伊藤良則
乳がん治療戦略のUp to Date　HER2陽性乳がんに対する新たな治療戦略 HER2陽性転移乳癌における新治療法開発.
第52回日本癌治療学会学術集会：横浜市，2014

12. 柳裕代，荒木和浩，倉田麻美，柴山朋子，深田一平，小林心，小林隆之，高橋俊二
ertuzumab単剤投与で腫瘍崩壊症候群（tumor lysis syndrome：TLS）を発症した局所進行乳がんの１例.
第11回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市，2014

婦人科

1. Kato, K., Omatsu, K., Usami, T., Taniguchi, T., Yamamoto, A., Ushioda, N., Nomura, H.,

Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Umayahara, K., Takeshima, N.
Positive peritoneal cytology at the time of interval debulking surgery is highly predictive of prognosis in advanced-stage ovarian cancer.
The 15th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS 2014): Melbourne, Australia, 2014

2. Sueoka, K., Umayahara, K., Abe, A., Usami, T., Yamamoto, A., Nomura, H., Matoda, M., Okamoto, K., Omatsu, K., Kondo, E., Kato, K., Takeshima, N.
Prognosis for endometrial cancer patients treated with systemic pelvic and para-aortic lymphadenectomy following by platinum-based chemotherapy.
The 15th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS 2014): Melbourne, Australia, 2014

3. Tanigawa, T., Matoda, M., Usami, T., Abe, A., Yamamoto, A., Nomura, H., Okamoto, S., Omatsu, K., Kondo, E., Kato, K., Umayahara, K., Takeshima, N.
Clinical usefulness of S-1 for advanced or recurrent cervical cancer.
The 15th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS 2014): Melbourne, Australia, 2014

4. Umayahara, K., Usami, T., Taniguchi, T., Yamamoto, A., Ushioda, N., Nomura, H., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K., Takeshima, N.
Correllations between the number and distribution of metastatic lymph-nodes of endometrial cancer patients in systemic pelvic and para-aortic lymphadenectomy.
The 15th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS 2014): Melbourne, Australia, 2014

5. Sugiyama, Y., Hasumi, K., Sakamoto, K., Umayahara, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Small endometrial carcinoma 10 mm or less in diameter: Clinicopathologic and histogenetic study of 131 cases for early detection and treatment.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

6. 宇佐美知香, 谷口智子, 阿部彰子, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
Interval debulking surgeryで完全切除できた、3・4期卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の再発様式.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

7. 宇佐美知香, 谷口智子, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
Interval debulking surgeryにて完全切除しえた進行卵巣癌、腹膜癌、卵管癌の再発部位の検討.
第127回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会: 東京, 2014

8. 的田眞紀, 近藤英司, 谷川輝美, 谷口智子, 宇佐美知香, 阿部彰子, 野村秀高, 岡本三四郎, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
診断に苦慮し腹腔鏡下手術を施行した骨盤内腫瘤の1例.
第369回東京産科婦人科学会例会: 東京, 2014

9. 加藤一喜, 尾松公平, 宇佐美知香, 岡本三四郎, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 馬屋原健司, 竹島信宏
進行卵巣癌に対するinterval debulking surgery時におけるoptimal surgeryとは?
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

10. 坂本公彦, 谷口智子, 宇佐美知香, 尾松公平, 加藤一喜, 若林真千子, 柴田英昭, 竹島信宏
熱可逆性ハイドロゲルを用いた薬剤感受性試験(DSeA-3D)による卵巣癌化学療法後の予後予測.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

11. 尾松公平, 宇佐美知香, 阿部彰子, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
パゾパニブ塩酸塩の使用経験.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

12. 山本阿紀子, 坂本公彦, 阿部彰子, 野村秀高, 岡本三四郎, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体癌における術前MRIをもちいた腫瘍体積とリンパ節転移の相関.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

13. 岡本三四郎, 宇佐美知香, 阿部彰子, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 坂本公彦, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸部・体部・卵巣・大網に病変を認めた重複癌の1例.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

14. 末岡幸太郎, 谷川輝美, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体癌リンパ節転移の術前診断におけるPET/CTの有用性.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

15. 潮田至央, 坂本公彦, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸癌1B1期の転移予測に関する術前MRI腫瘍径測定の有用性.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

16. 的田眞紀, 谷川輝美, 尾松公平, 潮田至央, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
再発子宮頸癌化学療法におけるPlatinum-free intervalの有用性.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

17. 谷口智子, 宇佐美知香, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)に対する取り組みについて.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

18. 谷川輝美, 的田眞紀, 阿部彰子, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院における子宮体癌、子宮内膜異型増殖症およびポリープ状異型腺筋症(APAM)に対する妊孕性温存療法の治療成績.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

18. 野村秀高, 阿部彰子, 山本亜紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院で治療した外陰部パジェット病の臨床病理学的検討.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

19. 阿部彰子, 野村秀高, 谷川輝美, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 竹島信宏
子宮頸癌同時化学放射線療法後の局所残存再発症例の検討.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

20. 加藤一喜, 尾松公平, 宇佐美知香, 的田眞紀, 岡本三四郎, 山本阿紀子, 野村秀高, 近藤英司, 竹島信宏
進行卵巣癌に対する化療後の手術にて完全切除症例での術中腹水細胞診の有用性の検討.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

21. 尾松公平, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 阿部彰子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 加藤一嘉, 竹島信宏
卵巣・明細胞腺癌I期の腹水細胞診の臨床的検討.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

22. 山本阿紀子, 末岡幸太郎, 阿部彰子, 野村秀高, 岡本三四郎, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 杉山裕子, 竹島信宏
子宮頸癌放射線治療後に発症した血管肉腫の1例.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

23. 岡本三四郎, 奥田喜代司, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 近藤英司, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮内膜症症例における細径腹腔鏡下手術の試み.
第127回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会: 東京, 2014

24. 岡本三四郎, 的田眞紀, 谷川輝美, 野村秀高, 山本阿紀子, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
最近経験した子宮肉腫の3症例.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

25. 的田眞紀, 尾松公平, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
再発子宮頸癌化学療法におけるPlatinum-free interval(PFI)の有用性.
第127回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会: 東京, 2014

26. 的田眞紀, 山本阿紀子, 宇佐美知香, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体癌漿液性腺癌と混合癌における腹水細胞診と再発形式・予後.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

27. 谷口智子, 山本阿紀子, 阿部彰子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 竹島信宏
プラチナ抵抗性の局所再発卵巣がんに対して放射線治療が有効であった1例.
第127回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会: 東京, 2014

28. 谷口智子, 新井正美, 阿部彰子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一善, 竹島信宏
わが国における遺伝性乳癌の頻度と予防切除の適応について 当院でおこなったリスク低減両側卵巣卵管切除術(RRSO)13例の報告.
第39回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2014

29. 近藤英司, 的田眞紀, 谷川輝美, 阿部彰子, 山本阿紀子, 野村秀高, 尾松公平, 加藤一善, 杉山裕子, 竹島信宏
上皮内腺癌(AIS)/腺扁平上皮内癌(ASIS)65例の術前細胞診の検討.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

30. 野村秀高, 古田玲子, 阿部彰子, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮内膜細胞診が診断の契機となった上皮内卵管癌の1例.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

31. 野村秀高, 宇佐美知香, 谷口智子, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
上皮性卵巣癌I期症例に対する系統的リンパ節郭清と術後化学療法の有用性の検討.
第127回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会: 東京, 2014

32. 阿部彰子, 小松京子, 杉山裕子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田真紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
腹水細胞診が術中診断に有用であった卵巣原発の悪性リンパ腫の1例.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

33. 加藤一喜, 尾松公平, 宇佐美知香, 谷口智子, 岡本三四郎, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 近藤英司, 馬屋原健司, 竹島信宏
再発卵巣癌に対する腫瘍減量手術の有効性と安全性の検討.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 宇都宮市, 2014

34. 宇佐美知香, 加藤一喜, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 竹島信宏
進行卵巣癌手術における横隔膜合併切除の有用性と安全性についての検討.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 宇都宮市, 2014

35. 宇津木久仁子, 坂本公彦, 堀真理子, 田端聡, 潮田至央, 山本阿紀子, 宇佐美知香, 杉山裕子, 竹島信宏
リンパ浮腫予防の積極的介入は、リンパ浮腫発症を減らせるか?
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 宇都宮市, 2014

36. 尾松公平, 宇佐美知香, 谷口智子, 阿部彰子, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当科における再発卵巣がんに対するリポソーム化ドキソルビシンの使用経験.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 宇都宮市, 2014

37. 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
KGOG基準をもちいた子宮体癌低リスク群におけるリンパ節転移の検討.

第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

38. 岡本三四郎
コルポスコープ検査　その位置づけと用い方.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

39. 岡本三四郎, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 近藤英司, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 高澤豊, 竹島信宏
診断的腹腔鏡下手術を用いて確定診断をした腹膜悪性中皮腫の1例.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

40. 末岡幸太郎, 山本阿紀子, 阿部彰子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
放射線治療後の二次発癌と考えられた子宮血管肉腫の一例.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

41. 潮田至央, 宇津木久仁子, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一喜, 高澤豊, 竹島信宏
付属器までの異常進展を認めた子宮頸部上皮内腺癌(AIS)の一症例.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

43. 的田眞紀, 谷川輝美, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸癌術後療法後の再発と治療.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

42. 竹島信宏, 谷口智子, 宇佐美知香, 尾松公平, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 加藤一喜
遺伝性乳がん・卵巣癌(HBOC) リスク低減卵巣卵管切除術.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

43. 谷口智子, 竹島信宏, 瀧澤憲, 藤原寛行, 鈴木光明, 木村英三, 中西透, 山田恭輔, 高野浩邦, 佐々木寛, 香山浩二, 落合和徳
婦人科がんの腫瘍マーカー・バイオマーカーの新展開 卵巣がんにおけるHE4およびROMA値の有用性についての検討.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

44. 谷川輝美, 的田眞紀, 阿部彰子, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 室伏景子, 小口正彦, 竹島信宏
腫瘍径60mm以上の子宮頸がん(FIGO stage IIB-IVA)におけるCCRTの治療成績.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

45. 近藤英司, 谷川輝美, 潮田至央, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 馬屋原健司, 竹島信宏
円錐切除術を施行した上皮内腺癌(AIS)・腺扁平上皮内腺癌(ASIS)56例の検討.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

46. 野村秀高, 阿部彰子, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 澤泉雅之, 竹島信宏
外陰癌手術における皮弁形成術の有用性の検討.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

47. 阿部彰子, 野村秀高, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 高澤豊, 竹島信宏
卵巣に発生した悪性リンパ腫の1例.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：宇都宮市, 2014

48. 宇佐美知香, 谷口智子, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
当院における卵管癌57例の検討.
第52回日本癌治療学会学術集会：横浜市, 2014

49. 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
KGOG基準をもちいた子宮体癌低リスク群におけるリンパ節転移とその予後.
第52回日本癌治療学会学術集会：横浜市, 2014

50. 岡本三四郎, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 谷口智子, 潮田至央, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 近藤英司, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司,

竹島信宏
当院における腹膜悪性中皮腫症例の検討.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

51. 末岡幸太郎, 山本阿紀子, 阿部彰子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏
放射線治療後の二次発癌と考えられた子宮血管肉腫の一例.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

52. 的田眞紀, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体がん治療戦略のUp to Date
Platinum-free interval(PFI)と進行・再発子宮体癌.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

53. 谷口智子, 杉山裕子, 古田玲子, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 新井正美, 竹島信宏
当科における子宮体がん発症Lynch症候群症例の検討.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

54. 近藤英司, 的田眞紀, 谷川輝美, 潮田至央, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 阿部彰子, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 高澤豊, 竹島信宏
上皮内腺癌・腺扁平上皮内腺癌74例の検討.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

55. 野村秀高, 阿部彰子, 宇佐美知香, 潮田至央, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 室伏景子, 小口正彦, 竹島信宏
当科で治療した腟悪性腫瘍23例の臨床病理学的検討.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

56. 阿部彰子, 谷口智子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田真紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 新井正美, 竹島信宏
当科における家族性腫瘍への取り組み.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

57. 宇佐美知香, 野村秀高, 高橋顕雅, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 竹島信宏
腹腔鏡下に切除しえた、卵巣内膜症性嚢胞との鑑別が困難であった嚢胞性子宮腺筋症の1例.
第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 鹿児島市, 2014

58. 岡本三四郎, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院における診断的腹腔鏡施行症例の検討.
第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 鹿児島市, 2014

59. 潮田至央, 宇津木久仁子, 高橋顕雅, 谷口智子, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 尾松公平, 近藤英司, 馬屋原健司, 竹島信宏
審査腹腔鏡手術にて診断しえた気管支原発腺様嚢胞癌の腹腔内播種・卵巣転移の一例.
第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 鹿児島市, 2014

60. 的田眞紀, 近藤英司, 谷口智子, 野村秀高, 岡本三四郎, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
診断に苦慮し腹腔鏡下手術を行った陳旧性卵管妊娠の一例.
第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 鹿児島市, 2014

61. 竹島信宏
卵巣癌におけるベバシズマブ療法　最善の適応を考える.
第67回中国四国産科婦人科学会総会・学術講演会: 宇部市, 2014

62. 竹島信宏, 高橋顕雅, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司
2回の腹腔鏡下手術により子宮体部及び付属器に腫瘍進展が認められた子宮頸部上皮内癌の1例.
第371回東京産科婦人科学会例会: 東京, 2014

63. 谷口智子, 近藤英司, 野村秀高, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
BRCA1/2変異陽性者に対するリスク低減両側卵巣卵管切除術(RRSO)開腹手術症例と腹腔鏡下手術症例の検討.
第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 鹿児島市, 2014

64. 近藤英司, 的田眞紀, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平,

加藤一善, 竹島信宏
腹腔鏡下子宮体癌根治術(準広汎子宮全摘術)時の膀胱子宮靱帯前層処理(前層血管の結紮法).
第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 鹿児島市, 2014

64. 野村秀高, 宇佐美知香, 高橋顕雅, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 竹島信宏
悪性腫瘍手術に準じた腹腔鏡下単純子宮全摘術.
第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 鹿児島市, 2014

65. 高橋顕雅, 近藤英司, 谷口智子, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮内膜症症例における尿管周囲癒着での膀胱子宮靱帯前層処理の有用性.
第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 児島市, 2014

66. 末岡幸太郎, 的田眞紀, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 山本阿紀子, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
放射線療法を念頭に手術時にスペーサーとして大網充填を行った子宮頸癌の3症例.
第37回日本産婦人科手術学会: 札幌市, 2014

67. 的田眞紀, 高橋顕雅, 潮田至央, 谷口智子, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸癌IIB期の治療はどのように選択すべきか.
第128回関東連合産科婦人科学会学術集会: 松本市, 2014

68. 谷川輝美, 的田眞紀, 谷口智子, 朝田至央, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸癌放射線治療後の腫瘍残存・再発に対して子宮全摘術を行った2例.
第37回日本産婦人科手術学会: 札幌市, 2014

69. 近藤英司, 野村秀高, 竹島信宏
腹腔鏡下子宮体癌根治術（準広汎子宮円摘出術）の膀胱子宮靭帯前層処理（前層血管結紮法）.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

70. 野村秀高, 川又靖貴, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
結核性腹膜炎を省い、十分な感染対策を練って腹腔鏡下に診断し得た1例.
第37回日本産婦人科手術学会: 札幌市, 2014

71. 野村秀高, 近藤英司, 竹島信宏
悪性腫瘍手術に準じた腹腔鏡下単純子宮全摘出術.
第27回日本内視鏡外科学会総会: 盛岡市, 2014

72. 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸癌の腟断端再発に対する治療法についての検討.
第37回日本産婦人科手術学会: 札幌市, 2014

73. 岡本三四郎, 高橋顕雅, 谷口智子, 潮田至央, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 高澤豊, 竹島信宏
腹水セルブロックと腹腔鏡下手術にて組織生検を行い確定診断した腹膜悪性中皮腫の1例.
第53回日本臨床細胞学会秋季大会: 下関市, 2014

74. 野村秀高, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 杉山裕子, 竹島信宏
血尿を認め、尿細胞診から再発と診断し得た子宮頸癌放射線治療後の1例.
第53回日本臨床細胞学会秋季大会: 下関市, 2014

75. 高橋顕雅, 馬屋原健司, 谷口智子, 潮田至央, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏
経子宮頸管的針生検が診断に有用であった子宮原発悪性リンパ腫の一例.
第53回日本臨床細胞学会秋季大会: 下関市, 2014

76. 谷口智子, 馬屋原健司, 潮田至央, 高橋顕雅, 尾松公平, 竹島信宏
Therapy-related leukemia 治療後の再発子宮頸癌に対して手術療法を行った1例.
第372回東京産科婦人科学会例会: 東京, 2014

77. 谷口智子, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 竹島信宏
初回治療から16年後に再発をきたした子宮体部・卵巣重複癌の1例.
第370回東京産科婦人科学会例会: 東京, 2014

頭頸科

1. Ebina, A., Sugitani, I., Fujimoto, Y.
Risk-adapted management of papillary thyroid carcinoma according to our own risk-group classification system: Is thyroid lobectomy the treatment of choice for low-risk patients?
American Association Endocrine Surgeons 35th Annual Meeting: Boston, USA, 2014

2. Shimbashi, W., Kawabata, K., Mitani, H., Yonekawa, H., Fukushima, H., Sasaki, T.
Risk factors for radiographic retropharyngeal lymph node adenopathy in oropharyngeal carcinoma.
5th World Congress of International Federation of Head and Neck Oncologic Society (IFHNOS) & Annual Meeting of the American Head and Neck Society (AHHS): New York, USA, 2014

3. Fukushima, H.
Head and Neck surgeries using energy based device at Cancer Institute Hospital Japan.
Performance of Energy Device in H&N Procedures Forum: Taiwan, 2014

4. Kawabata, K.
Robotic Surgery of other head & neck tumors.
4th International Severance Robotic Surgery: Seoul, Korea, 2014

5. 福岡修
当科で経験した悪性神経鞘腫の3 例.
第24回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会: 高松市, 2014

6. 三谷浩樹
頭頸部がんに関する最新治験の情報提供.
第16回栃木頭頸部癌講演会: 宇都宮市, 2014

7. 蛯名彩, 川端一嘉
頭頸部癌治療における栄養管理　咽頭喉頭全摘術後の栄養療法とその評価.
第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 横浜市, 2014

8. 福嶋啓文
Provoxによるシャント発声（安全な2期的挿入法の検討）.
第26回日本喉頭科学会総会・学術講演会: 那覇市, 2014

9. 濱孝憲, 近藤貴仁, 上里迅, 太田久幸, 日高竜太, 志村英二, 福岡修, 蝦名彩, 神山亮介, 瀬戸陽, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉
当院における舌喉頭全摘術の適応と予後に関する検討.
第115回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 福岡市, 2014

10. 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 福岡修, 蛯名彩, 志村英二, 白尾浩太郎, 佐藤由紀子, 田中宏子
早期頭頸部癌に対する治療選択 早期咽喉頭癌に対する喉頭機能温存手術　外切開部分切除術と内視鏡下粘膜切除術.
第38回日本頭頸部癌学会: 東京, 2014

11. 新橋渉, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 蛯名彩, 福岡修, 佐藤由紀子, 山本智理子, 田中宏子, 利安隆史
中咽頭癌における咽頭後リンパ節転移症例の臨床的検討.
第38回日本頭頸部癌学会: 東京, 2014

12. 濱孝憲, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 蝦名彩, 福岡修, 志村英二, 日高竜太, 白尾浩太郎
当院における手術部位感染(SSI)サーベイランスの報告.
第38回日本頭頸部癌学会: 東京, 2014

13. 瀬戸陽, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 佐々木徹, 福島啓史, 濱孝憲, 仲野兼司, 友松純一, 高橋俊二, 佐藤由紀子, 杉浦善弥, 元井紀子, 町並陸生, 山本智理子

当科で経験した成人頭頸部悪性骨・軟部腫瘍(肉腫)33例の臨床的検討.
第38回日本頭頸部癌学会: 東京, 2014

14. 福岡修, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 蛯名彩, 志村英二, 日高竜太, 白尾浩太郎, 上里迅
当科における若年者舌癌症例の検討.
第38回日本頭頸部癌学会: 東京, 2014

15. 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 福島啓文, 新橋渉
咽頭癌に対する経口腔的アプローチによる手術の適応と限界 頸部リンパ節転移のリスクから検討する早期下咽頭癌に対する経口腔的切除の適応.
第27回日本口腔・咽頭科学会総会 学術講演会: 札幌市, 2014

16. 新橋渉, 川端一嘉, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 上里迅, 近藤貴仁
中咽頭癌における臨床的特徴の変遷についての検討.
第27回日本口腔・咽頭科学会総会 学術講演会: 札幌市, 2014

17. 川端一嘉
頸部リンパ節転移のリスクから検討する早期下咽頭癌に対する経口的切除の検討.
第27回日本口腔・咽頭科学会総会学術講演会: 札幌市, 2014

18. 戸田和寿, 川端一嘉, 蛯名彩, 山田恵子, 杉谷巌
手術法の工夫 当科における甲状腺癌に対する手術法とその工夫.
第47回日本甲状腺外科学会学術集会: 福岡市, 2014

19. 白尾浩太郎, 小泉雄, 長谷川温, 太田貴久
当院における口腔がん症例（253 例）のSSI サーベイランスの報告.
第59回日本口腔外科学会総会・学術大会: 千葉市, 2014

20. 蛯名彩, 杉谷巌, 戸田和寿, 新橋渉, 川端一嘉
甲状腺濾胞癌における後発遠隔転移の危険因子の検討.
第47回日本甲状腺外科学会学術集会: 福岡市, 2014

21. 蛯名彩, 杉谷巌, 川端一嘉
甲状腺未分化癌の治療戦略 根治手術を施行した甲状腺未分化癌の臨床的検討.
第76回日本臨床外科学会総会: 郡山市, 2014

整形外科

1. Ae, K.
The safety margin analysis based on the surgical margin registration in Japan.
26th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2014

2. Kanno, S., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Miyawaki, J., Shibata, H., Sasaki, T., Takemura, M., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R.
A 17-year-old female, osteosarcoma of the left proximal femur.
26th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2014

3. Miyawaki, J., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Kanno, S., Shibata, H., Sasaki, T., Takemura, M., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R., Hiruta, N.
A 41-year-old female, myxoid liposarcoma of ritht lower leg.
26th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2014

4. Shibata, H., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Miyawaki, J., Kanno, S., Sasaki, T., Takemura, M., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R., Hiruta, N.
A 46-year-old female, parosteal osteosarcoma of the right tibia.
26th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2014

5. Shimoji, T.
Follow-up case study presentations about previous SSMS meeting.
26th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2014

6. Ae, K., Matsumoto, S., Shimoji, T., Tanizawa, T., Gokita, T., Sawamura, C., Manabe, J., Koyanagi, H., Hayakawa, K., Kawaguchi, N.

Local curability by the quality and width of surgical margins in soft tissue sarcomas.
10th Annual Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society: Melbourne, Australia, 2014

7. Hayakawa, K.
Treatment for patients with metastatic soft-tissue sarcoma at the initial visit.
10th Annual Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society: Melbourne, Australia, 2014

8. Ae, K.
Rotational freedom is necessary for tumor prosthesis of the knee in the distal femur replacement.
International Society for Technology in Arthroplasty Annual Congress: Kyoto, 2014

9. Gokita, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Funauchi, Y.
Autogenous patella graft for knee joint reconstruction after hemicondylar tumor resection.
19th Connective Tissue Oncoligy Society Annual Meeting: Berlin, Germany, 2014

10. 下地尚
WHO分類の改訂をめぐって　骨軟部腫瘍におけるWHO分類の改訂をめぐって　骨軟部腫瘍外科医からの意見.
第33回日本画像医学会: 東京, 2014

11. 竹村昌敏, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介
示指基節骨に骨肉腫が発生した1例.
第54回関東整形災害外科学会: 横浜市, 2014

12. 下地尚, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 澤村千草
T1造影脂肪抑制画像はT2脂肪抑制画像と比較して、浸潤型軟部肉腫の浸潤範囲をより正確に反映する.
第87回日本整形外科学会学術総会: 神戸市, 2014

13. 松本誠一
人工関節を用いた骨軟部腫瘍切除後の再建.
第122回中部日本整形外科災害外科学会学術集会: 岡山市, 2014

14. 五木田茶舞, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介
四肢転移性骨腫瘍に対する手術適応を考える
転移性骨腫瘍に対する手術治療.
第87回日本整形外科学会学術総会: 神戸市, 2014

15. 早川景子, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 宮脇城二, 神埜聖治, 山本尚樹, 安宰成, 川口智義
当院における延長型人工膝関節の治療成績.
第87回日本整形外科学会学術総会: 神戸市, 2014

16. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 澤村千草, 大川淳, 川口智義
骨・軟部腫瘍　希少疾患に光明をもたらす夢の実現へ 新しい切除縁表記の運用　Barrierを考慮した適切な切除縁計画.
第87回日本整形外科学会学術総会: 神戸市, 2014

17. 下地尚, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 宮脇城二, 柴田宏明, 佐々木亨, 竹村昌敏
浸潤型軟部肉腫に対する至適切除縁の提案.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

18. 下地尚, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 柴田宏明, 宮脇城二, 佐々木亨, 竹村昌敏, 川口智義, 澤村千草, 早川景子
体系的遺伝子発現解析を通じての骨・軟部肉腫治療標的分子の探索.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

19. 中山隆之, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 宮脇城二, 神埜聖治, 柴田宏明, 元井紀子, 中村卓郎
がん研究会サルコーマセンターにおける肉腫の融合遺伝子診断.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

20. 五木田茶舞, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 宮脇城二, 神埜聖治, 柴田宏明, 佐々木亨, 竹村昌敏
骨・軟部肉腫1154例の遠隔転移調査.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会:

大阪市, 2014

21. 五木田茶舞, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 宮脇城二, 神埜聖治, 柴田宏明, 佐々木亨, 竹村昌敏
腫瘍サイズはデスモイドの治療選択とその成績に影響を与えるか.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

22. 佐々木亨, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 宮脇城二, 神埜聖治, 柴田宏明, 竹村昌敏, 元井紀子
大腿骨頭靱帯を介して大腿骨に進展した臼蓋発生骨肉腫の1例.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

23. 宮脇城二, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 柴田宏明, 佐々木亨, 竹村昌敏
大腿骨に発生した線維性骨異形成の治療成績.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

24. 宮脇城二, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 柴田宏明, 佐々木亨, 竹村昌敏, 吉田則行, 元井紀子
筋肉内粘液腫の治療方針.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

25. 早川景子, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 宮脇城二, 神埜聖治, 柴田宏明, 佐々木亨, 竹村昌敏
同種骨を利用した骨悪性腫瘍の再建.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

26. 柴田宏明, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 宮脇城二, 神埜聖治, 佐々木亨, 竹村昌敏
軟骨肉腫134例の治療成績.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

27. 神埜聖治, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 宮脇城二, 柴田宏明, 川口智義
骨・軟部腫瘍術後再建に用いた西式TKRの成績.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

28. 神埜聖治, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 宮脇城二, 柴田宏明, 川口智義
膝周囲軟部肉腫に対するTKRの適応.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

29. 谷澤泰介, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 五木田茶舞, 宮脇城二, 神埜聖治, 柴田宏明, 佐々木亨, 竹村昌敏
腫瘍用人工膝関節置換再建後10年以上経過症例の検討(感染症例を除く).
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

30. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 澤村千草, 早川景子, 宮脇城二, 神埜聖治, 柴田宏明, 小柳広高, 川口智義
多孔質ハイドロキシアパタイト/コラーゲン複合体(HAp/Col)構造をもつ新しい人工骨の使用経験.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

31. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 澤村千草, 早川景子, 宮脇城二, 神埜聖治, 柴田宏明, 川口智義
新しい切除縁表記法を用いた軟部肉腫の疾患分類別の安全な切除縁.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

32. 松本誠一
肉腫治療の現況と将来展望.
第25回安比夏期セミナー: 八幡平市, 2014

33. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 川口智義
軟部肉腫の切除縁と局所制御率　距離と質が局所制御に関与する.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

34. 堀内聖剛, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞
化学療法によって切除可能となった高度進行性後腹膜悪性末梢神経鞘腫瘍.
第63回東日本整形災害外科学会学術集会: 東京, 2014

35. 柴田宏明, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子
当院における軟骨芽細胞腫の診断と治療.
第63回東日本整形災害外科学会学術集会: 東京, 2014

36. 神埜聖治, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞
PET/CTにより偶発的に指摘された骨軟部腫瘍.
第123回中部日本整形外科災害外科学会学術集会: 名古屋市, 2014

泌尿器科

1. 上原翔, 増田均, 井上泰, 林達郎, 田中一, 砂倉瑞明, 湯浅健, 浦上慎司, 山本真也, 福井巌, 米瀬淳二
当院における前立腺生検前MRIと狙撃生検追加の検討.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

2. 井上泰, 浦上慎司, 上原翔, 林達郎, 田中一, 砂倉瑞明, 湯浅健, 山本真也, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二
Cisplatin投与不適格な転移性尿路上皮癌に対するGemcitabine-Carboplatin療法の治療成績.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

3. 増田均
前立腺全摘術後の排尿機能向上をめざした術前評価プログラムの構築 前立腺全摘後の膀胱尿道機能とLUTSの病態.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

4. 増田均, 上原翔, 井上靖, 田中一, 林達郎, 砂倉瑞明, 浦上慎司, 湯浅健, 山本真也, 福井巌, 米瀬淳二
人工尿道括約筋植え込み術　非典型例における尿道確保の工夫.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

5. 山本真也, 影山幸雄, 野呂彰, 相澤卓, 石坂和博, 関根英明, 大森洋平, 米瀬淳二, 福井巌
表在性膀胱癌の術後再発に対する術直後単回膀胱内注入療法の再発予防効果
Pirarubicin(THP)とMitomycin C(MMC)による多施設前向き無作為化比較試験(中間解析).
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

6. 林達郎, 山本真也, 井上泰, 上原翔, 田中一, 砂倉瑞明, 浦上慎司, 湯浅健, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二
筋層非浸潤性膀胱癌に対する2nd TUR-BTの役割.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

7. 浦上慎司, 山本真也, 増田均, 湯浅健, 砂倉瑞明, 林達郎, 田中一, 上原翔, 井上靖, 福井巌, 米瀬淳二
cN+非臓器転移性尿路上皮がんに対する手術と周術期補助化学療法を併用した集学的治療の成績.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

8. 田中一, 吉田宗一郎, 林達郎, 砂倉瑞明, 浦上慎司, 湯浅健, 山本真也, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二, 藤井靖久, 木原和徳
腎盂尿管癌の転移巣診断における18F-FDG PET/CTの有用性に関する検討.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

9. 砂倉瑞明, 井上泰, 上原翔, 田中一, 林達郎, 浦上慎司, 湯浅健, 増田均, 山本真也, 福井巌, 米瀬淳二
Active surveillanceにおけるMRI所見を考慮したtarget biopsyの有用性.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

10. 米瀬淳二, 山本真也, 井上泰, 上原翔, 林達郎, 田中一, 砂倉瑞明, 浦上慎司, 助川玄, 大久保雄平, 湯浅健, 増田均, 福井巌
根治的前立腺がん治療後の二次性膀胱がんの検討.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

11. 萩原喜一, 井上泰, 上原翔, 助川玄, 田中一, 達郎, 砂倉瑞明, 浦上慎司, 湯浅健, 増田均, 林山本真也, 米瀬淳二, 福井巌
当院における尿膜管癌治療症例の後方視的検討.
第102回日本泌尿器科学会総会: 神戸市, 2014

11. 浦上慎司, 上原翔, 湯浅健, 山本真也, 増田均, 砂倉瑞明, 林達郎, 田中一, 井上靖, 福井巌, 米瀬淳二
cN+上部尿路上皮がんに対する導入化学療法後救済手術の治療成績.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

12. 山本真也, 増田均, 砂倉瑞明, 山崎六志, 林達郎, 田中一, 上原翔, 井上泰, 湯浅健, 福井巌, 米瀬淳二
ハイリスク前立腺癌における前立腺全摘除術の長期治療成績.
第79回日本泌尿器科学会東部総会: 横浜市, 2014

13. 砂倉瑞明, 井上泰, 上原翔, 田中一, 林達郎, 浦上慎司, 湯浅健, 増田均, 山本真也, 福井巌, 米瀬淳二
導入初期の腹腔鏡下小切開腎部分切除のtrifectaによる評価.
第7回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会: 東京, 2014

14. 米瀬淳二
前立腺全摘除 拡大前立腺全摘膀胱頸部の処理.
第7回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会: 東京, 2014

血液腫瘍科

1. 照井康仁
Development of novel drugs for B-cell lymphoma in the present and the future.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

2. 畠清彦
日本人におけるbrentuximab vedotinの適正使用.
第18回日本がん免疫学会総会: 松山市, 2014

総合腫瘍科

1. Nakano, K., Inagaki, R., Tomomatsu, J., Motoi, N., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Shimoji, T., Takahashi, S., Matsumoto, S.
Molecular targeted therapy against sarcoma: Clinical Pazopanib treatment and management of adverse events in sarcoma center of Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research.
第47回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 大阪市, 2014

2. 高橋俊二
乳癌骨転移に対する薬物療法.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

3. 深田一平, 高橋俊二, 荒木和浩, 小林隆之, 小林心, 柴山朋子, 河合佑子, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 伊藤良則
Luminal乳癌における術前化学療法による腫瘍縮小様式と予後予測因子の後方視的検討.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

4. 河合佑子, 伊藤良則, 小林心, 深田一平, 小林隆之, 柴山朋子, 荒木和浩, 秋山太, 岩瀬拓士, 高橋俊二
既治療再発転移乳癌に対するベバシズマブ・パクリタキセルの有用性の検討.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

麻酔科

1. 横田美幸
Monitored anesthesia care と鎮静について考える.
日本麻酔科学会第61回学術集会: 横浜市, 2014

2. 横田美幸
ペインクリニック診療に役立つ保険の知識 外保連とペイン学会の要望.
日本ペインクリニック学会第48回大会: 東京, 2014

3. 阿部真友子
全身麻酔薬はどのように選択されるのか？患者、手術因子及び麻酔科医個人の観点から考える.
日本麻酔科学会第61回学術集会: 横浜市, 2014

4. 宮崎聡, 住谷泰, 佐野博美, 横田美幸
完全内臓逆位に合併した原発性肺癌の1症例.
日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部 第54回合同学術集会: 東京, 2014

5. 風戸拓也, 玄運官, 横田美幸
当院における大量出血時の統括指揮者宣言タイミングの検討.
日本臨床麻酔学会第34回大会: 東京, 2014

6. 森野良蔵
新しい周術期疼痛管理を考える　麻酔科とアセトアミノフェン静注液がつなぐ全科輪 腹腔鏡手術の術後鎮痛　硬膜外鎮痛からアセトアミノフェン定期投与+マルチモーダル鎮痛へ変更の取り組み.
日本臨床麻酔学会第34回大会: 東京, 2014

7. 益田律子, 齋藤繁, 村川和重, 宇野武司, 田口仁士, 田中信彦, 津田喬子, 比嘉和夫, 横田美幸
日本ペインクリニック学会安全委員会・2013年における有害事象調査報告と課題.
日本ペインクリニック学会第48回大会: 東京, 2014

8. 宮崎聡, 住谷泰, 横田美幸
肺結核後両側アスペルギルス症における麻酔経験.
日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部 第54回合同学術集会: 東京, 2014

9. 横田美幸, 森野良蔵
脳代謝モニタリングの適応について Near Infra-red Spectroscopy(NIRS)モニターの一般臨床及び保険診療上の問題点.
日本臨床麻酔学会第34回大会: 東京, 2014

10. 横田美幸
麻酔科の保険診療報酬を考える2014.
日本麻酔科学会第61回学術集会: 横浜市, 2014

11. 森野良蔵
麻酔科臨床研究の新しい方向性 多重ロジスティック回帰分析を用いたPONVリスク因子の解析.
日本臨床麻酔学会第34回大会: 東京, 2014

形成外科

1. 澤泉雅之, 棚倉健太, 松本誠一
骨軟部腫瘍の再建：膝･下腿皮弁選択のストラテジー.
第41回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 京都市, 2014

2. 澤泉雅之, 棚倉健太
Orthoplastic surgery 上肢腫瘍切除後の機能的整容的再建.
第57回日本手の外科学会学術集会: 宜野湾市, 2014

3. 澤泉雅之, 岩瀬拓士
予防的乳房切除の今後：リスク低減予防的乳房切除術と再建.
第57回日本形成外科学会総会・学術集会: 長崎市, 2014

4. 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 岩瀬拓士
エキスパンダーを用いた乳房再建1000 例：がん研病院における 8 年間の動向.
第57回日本形成外科学会総会・学術集会: 長崎市, 2014

5. 棚倉健太, 澤泉雅之, 岩瀬拓士
エキスパンダーを用いた乳房再建1000 例：サイズ選択とその変遷.
第57回日本形成外科学会総会・学術集会: 長崎市, 2014

6. 棚倉健太, 澤泉雅之, 岩瀬拓士
シリコンインプラントのサイズ選択におけるエコーによる計測の有用性part2.
第57回日本形成外科学会総会・学術集会: 長崎市, 2014

7. 棚倉健太, 澤泉雅之, 前田拓摩, 川上順子, 今井智浩, 岩瀬拓士
エキスパンダーを用いた乳房再建1000例　サイズ選択とその変遷.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

8. 棚倉健太, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 宮下宏紀, 山下昌宏, 梁太一, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹, 岩瀬拓士
エキスパンダー／インプラント法におけるエキスパンダー挿入術の変遷-1000例を振り返り.
第2回日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会総会: 東京, 2014

9. 梁太一, 澤泉雅之, 岩瀬拓士
エキスパンダーを用いた乳房再建1000 例：乳房シリコンインプラントのMRI 画像検査.
第57回日本形成外科学会総会・学術集会: 長崎市, 2014

10. 梁太一, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 川上順子, 岩瀬拓士, 五味直哉
乳房シリコンインプラントのMRI画像検査.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

11. 梁太一, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹, 岩瀬拓士, 五味直哉
乳房シリコンインプラントの経過観察における画像診断の位置づけ.
第2回日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会総会: 東京, 2014

12. 松本綾希子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓磨, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 梁太一, 川上順子, 平山泰樹, 岩瀬拓士
アナトミカルタイプ乳房再建インプラントの破損の１例.
第11回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2014

13. 松本綾希子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 梁太一, 川上順子, 平山泰樹, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士, 新井正美
遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対するリスク低減乳房切除と再建の経験.
関東形成外科学会第278回東京地方会: 東京, 2014

14. 松本綾希子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 梁太一, 川上順子, 平山泰樹, 岩瀬拓士
乳房インプラント術後フォローアップにおける超音波検査の役割.
第2回日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会総会: 東京, 2014

15. 平山泰樹, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子, 梁太一, 川上順子, 岩瀬拓士
人工物による乳房再建術においてティッシュ・エキスパンダーを長期間留置していた1例.
関東形成外科学会第279回東京地方会: 東京, 2014

16. 川上順子, 澤泉雅之, 前田拓磨, 棚倉健太, 今井智浩, 岩瀬拓士
日本人に適合したティッシュエキスパンダーのサイズ検討.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

17. 山下昌宏, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 宮下宏紀, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹, 岩瀬拓士
一次二期乳房再建における腋窩郭清施行例のティッシュエキスパンダー関連合併症について.
第2回日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会総会: 東京, 2014

18. 山下昌宏, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 松本綾希子, 梁太一, 川上順子, 平山泰樹, 松本誠一
左肘部肉腫における遊離外側大腿皮弁および腱移植による再建の1例.
関東形成外科学会第278回東京地方会: 東京, 2014

19. 山下昌宏, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹, 松本誠一
高齢者の軟部腫瘍切除後に遊離広背筋皮弁と腱移行を用いた再建と術後機能評価.
第41回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 京都市, 2014

20. 山下昌宏, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹
ベクトラの使用経験について.
関東形成外科学会第279回東京地方会: 東京, 2014

21. 山下昌宏, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹
ティッシュエキスパンダー挿入術後4年6ヶ月後にslow punctureを生じた1例.
関東形成外科学会第277回東京地方会: 東京, 2014

22. 山下昌宏, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹
ベクトラのシミュレーション.
第11回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2014

23. 山下昌宏, 澤泉雅之
ベクトラ®の使用による乳房のシミュレーション.
第24回日本シミュレーション外科学会: 東京, 2014

24. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹, 岩瀬拓士
当院における両側乳癌切除症例・両側乳房再建症例の検討.
第2回日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会総会: 東京, 2014

25. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹,

岩瀬拓士
DIEP flapによる片側乳房再建後に異時性両側性乳癌となりシリコンインプラントで再建した1例.
第11回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2014

26. 前田拓摩, 澤泉雅之, 棚倉健太, 梁太一, 川上順子, 今井智浩, 岩瀬拓士
人工物を用いた乳房再建　露出した人工物をいかに対応するか?
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

27. 前田拓摩, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹, 今井智浩, 岩瀬拓士
当院におけるTE-to-BI Reconstructionの手術手技.
第2回日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会総会: 東京, 2014

28. 前田拓摩, 澤泉雅之, 岩瀬拓士
エキスパンダーを用いた乳房再建1000 例：露出した人工物をいかに対応するか？.
第57回日本形成外科学会総会・学術集会: 長崎市, 2014

眼　科

1. Tsuji, H., Kobayashi, M.
NKIT cell lymphoma masquerading as acuteuveitis.
34th World Ophthalmology Congress (WOC): Tokyo, Japan, 2014

2. Tsuji, H., Kobayashi, M.
Upper eyelid and lacrimal reconstruction with preserved sclera and DSI after resection of sebaseous carcinoma.
33rd Annual Meeting of the European Society of Ophthalmic Plastic and Reconstructive Surgery (ESOPRS): Budapest, Hungary, 2014

3. 辻英貴, 元井紀子, 小林めぐみ, 二宮浩範, 杉浦善弥, 町並陸生, 松本誠一, 石川雄一
眼窩に生じた脂肪肉腫.
第60回日本病理学会秋期特別総会: 浦添市, 2014

4. 辻英貴
眼腫瘍・眼外傷における眼球温存療法の可能性：外眼部眼窩悪性腫瘍.
第37回日本眼科手術学会総会: 京都市, 2014

5. 辻英貴
眼内悪性リンパ腫の診断：総論および典型例を中心にして.
第29回悪性リンパ腫研究会: 金沢市, 2014

6. 辻英貴
涙道に生じた腺様嚢胞がん.
第3回日本涙道・涙液学会総会: 東京, 2014

7. 辻英貴
涙道に生じたneuroendocrine tumor.
第29回日本眼窩疾患シンポジウム: 浜松市, 2014

8. 辻英貴
涙道に生じたneuroendocrine carcinomaの病理所見.
第68回眼科臨床病理組織研究会: 神戸市, 2014

9. 辻英貴
眼瞼縁および眼縁近傍の腫瘍に対するopen treatment.
第2回日本眼科形成再建外科学会学術集会: 神戸市, 2014

10. 辻英貴
忘れてはいけない眼窩の腫瘍性病変 眼窩腫瘍(非リンパ系).
第118回日本眼科学会総会講演会: 東京, 2014

11. 小林めぐみ
レーザートレラ徴候を契機として胃がんが発見された両眼に眼瞼結膜腫瘍を発症した1例.
第29回日本眼窩疾患シンポジウム: 浜松市, 2014

12. 小林めぐみ
ロービジョン外来について.
第1回TOC Network conference: 東京, 2014

感染症科

1. 原田壮平
ニューモシスチス肺炎と診断された固形腫瘍患者の発症危険因子の検討.

第88回日本感染症学会学術講演会・第62回日本化学療法学会総会合同学会：福岡市, 2014

2. 原田壮平, 青木弘太郎, 羽山ブライアン, 石井良和
莢膜遺伝子型K2、rmpA遺伝子保有のK. pneumoniae ST375により大腿骨骨髄炎、腹腔内膿瘍をきたした一例.
第63回日本感染症学会東日本地方会総会学術集会・第61回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会・第97回日本細菌学会関東支部総会（同時期開催）：東京, 2014

3. 高畑武功, 田中諭, 佐藤温
胃癌薬物療法における分子標的薬の現状.
第63回日本感染症学会東日本地方会総会学術集会・第61回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会・第97回日本細菌学会関東支部総会（同時期開催）：東京, 2014

漢方サポート科

1. 星野惠津夫
癌領域における漢方治療の役割 がん患者の漢方治療の全体像　癌証、お血、腎虚、冷えの重要性とその治療法.
第65回日本東洋医学会学術総会：東京, 2014

2. 静貴生, 井上美貴, 徳原真, 星野惠津夫
がん研有明病院で経験した瞑眩3症例の検討.
第65回日本東洋医学会学術総会：東京, 2014

歯 科

1. 富塚健, 田代美子, 菅野勇樹, 田村恵, 古敷谷昇, 脇元佳子, 南瑞華, 小暮麻優, 太田志保, 太田絢子
がん研有明病院における周術期口腔機能管理の現状について.
第11回日本口腔ケア学会学術大会：旭川市, 2014

緩和治療科

1. 服部政治
緩和医療　麻酔科ができること がん疼痛における神経ブロック(神経破壊).
日本臨床麻酔学会第34回大会：東京, 2014

2. 服部政治
緩和ケアセンターの役割とがん疼痛治療の最前線.
第19回日本緩和医療学会学術大会：神戸市, 2014

3. 佐伯吉規, 星野奈月, 中山博文, 西田久美, 佐藤里央子, 山田健志, 下田和孝, 向山雄人
終末期がん患者に対するmirtazapine投与量に関する考察　がん研有明病院緩和ケア病棟入院患者の解析.
第19回日本緩和医療学会学術大会：神戸市, 2014

4. 佐伯吉規
新規抗精神病薬および抗うつ薬、睡眠薬を緩和医療の現場で使いこなす 緩和医療で新規抗精神病薬を使いこなす.
第19回日本緩和医療学会学術大会：神戸市, 2014

放射線治療科

1. Harada, A.
Primary radiation therapy for localized duodenal follicular lymphoma.
ASTRO's 56th Annual Meeting: San Francicso, USA, 2014

2. 佐藤智春
次世代リニアックを安全に利用するための物理的・技術的アプローチ ：FFF ビームの可能性と安全性.
日本放射線腫瘍学会第27回学術大会：横浜市, 2014

3. 八木緑
肛門管癌治療成績の遡及的検討.
日本放射線腫瘍学会第27回学術大会：横浜市, 2014

4. 利安隆史
中咽頭扁平上皮癌：HPV 亜部位別治療予後.
日本放射線腫瘍学会第27回学術大会：横浜市, 2014

5. 利安隆史, 高橋俊二, 田中宏子, 佐藤由紀子, 古田玲子, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷一嘉, 川端一嘉
中咽頭扁平上皮癌　亜部位別HPV関連腫瘍の評

価.
第38回日本頭頸部癌学会：東京, 2014

6. 原田亜里咲
婦人科癌術後に対する強度変調回転放射線治療を用いた全骨盤照射の検討.
日本放射線腫瘍学会第27回学術大会：横浜市, 2014

7. 吉田匡宏
乳癌嚢胞性能転移に対する全脳照射の治療効果.
日本放射線腫瘍学会第27回学術大会：横浜市, 2014

8. 吉田匡宏
頭頸部癌に対する術後VMATの初期経験.
第27回日本高精度放射線外部照射研究会：東京, 2014

9. 吉田匡宏, 小口正彦, 秋山太, 伊藤良則, 蒔田益次郎, 高橋俊二, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 堀井理絵, 坂井威彦, 荻谷朗子, 中島絵里, 照屋なつき, 深田一平, 小塚拓洋, 利安隆史, 室伏景子, 浅利崇生, 岩瀬拓士
術前化学療法効果と放射線治療後再発との関連性.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市, 2014

10. 大久保裕史
肺小細胞癌に対する順次放射線化学療法の治療成績.
日本放射線腫瘍学会第27回学術大会：横浜市, 2014

11. 小口正彦
脳転移に対する放射線治療.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市, 2014

12. 小口正彦, 後藤志保, 内海潤
乳がん放射線治療患者のための高機能でファッション性のある革新的患者ケアウェアの開発.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市, 2014

13. 小塚拓洋
放射線治療RIS上に作成した症例データベースの運用.
日本放射線腫瘍学会第27回学術大会：横浜市, 2014

14. 高橋良, 橘英伸, 上間達也, 板野正信, 山崎健史, 石橋悟, 樋口義洋, 清水裕之, 山本鋭二郎, 山下幹子, 馬場大海, 菅原康晴, 佐藤礼, 西山史朗, 河合大輔, 宮岡聡
介入レベルからみた独立計算検証の実行可能性の検討.
日本放射線腫瘍学会第27回学術大会：横浜市, 2014

画像診断部

1. 植野映子, 松本誠一, 神田浩明, 河野敦, 松枝清
Denosumabによる治療が奏効した巨細胞腫の画像所見について.
第25回骨軟部放射線研究会：東京, 2014

2. 平塚真生子, 松枝清, 田中宏子, 植野映子, 河野敦
SANT; splenic angiomatoid nodular transformationの3例.
第445回日本医学放射線学会関東地方会定期大会：東京, 2014

3. 五味直哉
ケースカンファレンス　次の一手は 乳癌の再発/転移病巣に対する針生検.
第33回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会：別府市, 2014

4. 植野映子
これだけは知っておきたい骨軟部腫瘍の画像診断.
第50回日本医学放射線学会秋季臨床大会：神戸市, 2014

5. 負門克典, 冨永楯哉, 佐藤嘉尚, 高瀬圭, 齊藤涼子, 松枝清, 河野敦
ステロイド治療でサイズ変化が認められた肺腺癌の1例.
第50回日本医学放射線学会秋季臨床大会・第28回胸部放射線研究会：神戸市, 2014

6. 五味直哉, 梁太一, 松本綾希子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 國分優美, 永井一夫, 岩瀬拓士
乳房インプラントのMRIによる評価.
第2回日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会総会：東京, 2014

7. 田中宏子
唾液腺腫瘍の画像診断.
第27回日本口腔・咽頭科学会総会学術講演会: 札幌市, 2014

8. 五味直哉, 國分優美, 蒔田益次郎, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
小さな浸潤径のTNBCの画像所見　早期発見のために.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

9. 田中宏子, 川端一嘉, 利安隆史, 高橋俊二, 佐藤由紀子
治療決定のための画像診断のポイント　中・下咽頭癌、喉頭癌を中心に cCRT/RT症例における頸部リンパ節病変の画像診断.
第38回日本頭頸部癌学会: 東京, 2014

10. 田中宏子, 松枝清, 植野映子, 平塚真生子, 負門克典, 川端一嘉, 佐藤由紀子
異所性過誤腫性胸腺腫の2例.
第50回日本医学放射線学会秋季臨床大会・第27回頭頸部放射線研究会: 神戸市, 2014

核医学部

1. Wagatsuma, K., Oda, K., Miwa, K., Miyaji, N., Murata, T., Yokokawa, N., Osawa, T., Sakata, M., Ito, K., Ishii, K., Ishiwata, K.
Effects of a tungsten rubber shield and time of flight on quality of cerebral images acquired using 3D PET and ^{15}O gas inhalation.
4th Asia Society of Nuclear Medicine Technology: Osaka, 2014

2. Miyaji, N., Miwa, K., Wagatsuma, K., Murata, T., Umeda, T., Takiguchi, T., Koizumi, M.
Optimal quality control of dose calibrator using a traceable 68Ge/68Ga calibration source in the operating environment.
Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging 2014 Annual Meeting: St. Louis, USA, 2014

3. Inubushi, M., Miwa, K., Aoki, I., Tsuji, A.B., Takeuchi, Y., Saga, T., Koizumi, M., Sasaki, M.
Rat cardiac function estimated with new wireless gating method for cone-beam CT. .
2014 World Molecular Imaging Congress: Seoul, Korea, 2014

4. Koyama, M., Koizumi, M., Miwa, K., Matsueda, K.Response evaluation of lymphoma with FDG-PET/CT: How and When?
100th Scientific Assembly and Annual Meeting, Radiological Society of North America: Chicago, USA, 2014

5. 小山眞道, 小泉満, 三輪建太
G-CSF産生子宮頸癌2症例のFDG-PET/CT所見.
第54回日本核医学会学術総会: 大阪市, 2014

6. 我妻慧, 織田圭一, 三輪建太, 稲次基希, 林志保里, 石井賢二, 坂田宗之, 石橋堅士, 伊藤公輝, 豊原潤, 成相直, 石渡喜一
-15ガスPET/CT撮像におけるコールドアーチファクト改善の検討.
第34回核医学技術学会総会学術大会: 大阪市, 2014

7. 三輪建太
PET & SPECT装置最先端 4D-PET/CT(呼吸同期)の臨床応用に向けて.
第54回日本核医学会学術総会: 大阪市, 2014

8. 梅田拓朗, 三輪建太, 村田泰輔, 宮司典明, 滝口智洋, 小泉満
True Whole Body PET/CTにおける下肢撮像時間の短縮が定量値に与える影響.
第61回日本放射線技術学会関東部会研究発表大会: 東京, 2014

9. 村田泰輔, 三輪建太, 宮司典明, 我妻慧, 長谷川智之, 織田圭一, 滝口智洋
トレーサブル22Na点状線源を用いたPET有効視野内の歪みの評価.
PET サマーセミナー in 小樽: 小樽市, 2014

10. 大澤敦, 三輪建太, 秋本健太, 内田茂樹, 滝口智洋
ファントム直径と計数率特性および物理学的解析.
第42回日本放射線技術学会秋季学術大会: 札幌市, 2014

11. 小泉満
乳がんの骨転移の診断　核医学手法を中心に.
第22回日本乳癌学会学術総会：大阪市, 2014

12. 梅田拓朗, 三輪建太, 我妻慧, 村田泰輔, 宮司典明, 大澤敦, 滝口智洋, 小泉満
位相呼吸同期PET/CT撮像によるPET定量値の改善率の検討.
第42回日本放射線技術学会秋季学術大会：札幌, 2014

13. 三輪建太, 犬伏正幸, 竹内康人, 片渕哲朗, 小泉満, 佐々木雅之, 佐賀恒夫
小動物用SPECT/PET装置を用いた99mTc/18F同時収集法の基礎的検討.
第9回日本分子イメージング学会総会・学術集会：大阪市, 2014

14. 宮司典明, 三輪建太, 村田泰輔, 我妻慧, 梅田拓朗, 滝口智洋, 小泉満
放射能濃度の違いによるPET自動投与装置の精度検証.
PET サマーセミナー in 小樽：小樽市, 2014

15. 犬伏正幸, 三輪建太, 青木伊知男, 辻厚至, 竹内康人, 我妻慧, 村田泰輔, 宮原信幸, 佐賀恒夫, 小泉満, 佐々木雅之
新しい固有同期法を用いた小動物用CTによる左室機能評価.
第9回日本分子イメージング学会総会・学術集会：大阪市, 2014

16. 三輪建太, 村田泰輔, 松林史泰, 我妻慧, 秋本健太, 宮司典明, 藤淵俊王, 佐々木雅之
治療用放射性核種89Sr・90Yのβ線および制動放射線に対する最適遮蔽材の検討.
第7回茨城放射線腫瘍研究会：つくば市, 2014

17. 三輪建太, 犬伏正幸, 竹内康人, 片渕哲朗, 小泉満, 佐賀恒夫, 佐々木雅之
SPECT/PET同時収集のための小動物用clustered-multipinholeコリメータの性能評価.
第70回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市, 2014

内視鏡診療部

1. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子
上部消化管における拡大内視鏡診断 NBI併用拡大内視鏡による早期胃癌深達度診断の可能性.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

2. 鈴木翔, 千野晶子, 五十嵐正広
内視鏡修練のクオリティーコントロール　消化管 内視鏡修練のための内視鏡形状観測装置(UPD)を併用した挿入訓練方法について.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

3. 石川寛高, 為我井芳郎, 五十嵐正広
動画で見る消化管ESDのさらなる工夫 粘膜下に高度の線維化を伴う病変に対する安全な大腸ESD.
第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会：東京, 2014

4. 富田英臣, 山本頼正, 大隅寛木, 宮本勇治, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 五十嵐正広
十二指腸ESD後に遅発性穿孔を来した2例.
第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会：東京, 2014

5. 富田英臣, 山本頼正, 藤崎順子
十二指腸腫瘍に対する内視鏡治療の検討.
第87回日本消化器内視鏡学会総会：福岡市, 2014

6. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 千野晶子, 福長洋介, 上野雅資, 五十嵐正広
大腸ESDとLACの適応と限界 安全性と根治性から見た大腸ESDの適応と限界.
第69回日本大腸肛門病学会学術集会：横浜市, 2014

7. 千野晶子, 岸原輝仁, 宮本勇治, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸内視鏡の挿入法 内視鏡修練のための内視鏡形状観測装置(UPD)を併用した挿入訓練方法について.
第69回日本大腸肛門病学会：横浜市, 2014

8. 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸広範囲ESD後の瘢痕狭窄とステロイド座薬の有効性.
第88回日本消化器内視鏡学会総会：神戸市, 2014

9. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 菅沼孝紀, 石川寛高, 岡本恒平, 奥野真理, 千野晶子, 藤崎順子, 五十嵐正広
早期大腸癌における不整複合Pitの臨床病理学的検討.
第88回日本消化器内視鏡学会総会: 神戸市, 2014

10. 谷口智香, 山本頼正, 宮本勇治, 富田英臣, 森重健二郎, 堀内裕介, 冨田明彦, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
未分化型早期胃癌の内視鏡切除における非治癒切除の予測因子の検討.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

11. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子
画像強調内視鏡(Image Enhanced Endoscopy)および顕微内視鏡観察(Microscopic Endoscopy)の最新の知見　上部消化管 未分化型早期胃癌のNBI併用拡大内視鏡(ME-NBI)による範囲診断の正確性の検討.
第88回日本消化器内視鏡学会総会: 神戸市, 2014

12. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 千野晶子, 菅沼孝紀, 鈴木翔, 岡本恒平, 奥野真理, 村松雄輔, 五十嵐正広
粘膜下層の線維化の質と程度から見た大腸ESDの適応.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

13. 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
腫瘍径別にみた大腸ESDの治療成績.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

14. 為我井芳郎, 福長洋介, 五十嵐正広
術中内視鏡と腹腔鏡を融合した治療戦略
大腸ESDの課題とLECSの有用性について.
第87回日本消化器内視鏡学会総会: 福岡市, 2014

15. 吉澤奈津子, 藤崎順子, 冨田明彦, 森重健二郎, 堀内裕介, 石川寛高, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
食道胃接合部の早期癌についての検討.
第86回日本胃癌学会総会: 横浜市, 2014

遺伝子診療部

1. 新井正美
遺伝情報とがん検診 リンチ症候群のサーベイランスの意義と課題.
第22回日本がん検診・診断学会総会: 東京, 2014

2. 新井正美, 中村清吾, 岩瀬拓士
遺伝性乳癌卵巣癌の臨床における課題と連携の必要性　HBOCコンソーシアムの登録とリスク低減手術の実施.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

3. 新井正美, 芦原有美, 喜多瑞穂, 岩瀬拓士, 畤田益次郎, 中島絵里, 竹島信宏, 谷口智子, 岡村仁
遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)と遺伝カウンセリング がん専門病院における遺伝性乳がん卵巣がんへの取り組み.
第38回日本遺伝カウンセリング学会学術集会: 東大阪市, 2014

4. 喜多瑞穂, 芦原有美, 中島絵里, 谷口智子, 岩瀬拓士, 竹島信宏, 新井正美
がん研有明病院の遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)診療における認定遺伝カウンセラーの働き.
第38回日本遺伝カウンセリング学会学術集会: 東大阪市, 2014

臨床検査センター

1. 高橋ひろみ, 八木靖二, 友田美穂子, 滝澤久暢, 吉羽勢津子, 海老原文, 三宅一徳
自家製S染色液の利点と作製法について.
第63回日本医学検査学会: 新潟市, 2014

2. 丸山淳子, 永野恵子, 徳永知子, 井合律子, 任珍, 海老原文, 三宅一徳
胸腔鏡下手術による肺切除後の肺機能検査値の検討.
第63回日本医学検査学会: 新潟市, 2014

3. 大竹純矢, 海原和己, 三宅一徳
新たに開発された高感度トロポニンIの基礎的検討と臨床的有用性.
第63回日本医学検査学会: 新潟市, 2014

4. 友田美穂子, 八木靖二, 高橋ひろみ, 滝澤久暢, 吉羽勢津子, 海老原文, 三宅一徳
尿沈渣作製用遠心機を用いた、髄液検体のオートスメア標本の作製法の検討.
第63回日本医学検査学会: 新潟市, 2014

5. 滝澤久暢, 友田美穂子, 八木靖二, 高橋ひろみ, 浦上慎司, 堀井理絵, 岩瀬拓士, 伊藤良則
乳癌の転移が疑われた膀胱内腫瘍の1例.
第63回日本医学検査学会: 新潟市, 2014

6. 徳永知子, 丸山淳子, 永野恵子, 井合律子, 任珍, 三宅一徳, 前田拓摩, 中山耕之介
乳房再建の呼吸機能検査への影響.
第63回日本医学検査学会: 新潟市, 2014

7. 友田美穂子, 八木靖二, 高橋ひろみ, 滝澤久暢, 吉羽勢津子, 海老原文, 三宅一徳
一般検査システムにおける尿検査結果チェック法の構築と有用性.
第63回日本医学検査学会: 新潟市, 2014

超音波検査部

1. 山田恵子
甲状腺腫瘤の画像診断.
Japanese Journal of Diagnostic Imaging. 32(1): 87, 2014

2. 山田恵子, 戸田和寿, 蛯名彩, 元井紀子
穿刺吸引細胞診後の急性一過性甲状腺腫脹　症例報告.
日本超音波医学会第87回学術集会: 横浜市, 2014

3. 加藤千絵子, 坂井威彦, 富樫保行, 五十里美栄子, 何森亜由美, 森園英智, 山田恵子, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
超音波による術前腋窩リンパ節転移診断精度の検討.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

病理部

1. Matsubara, O.
Neuroendocirne tumors in the lung;　old and new aspects.
9th Annual Meeting of Asia Pacific Society for Molecular Immunology (APSMI): Cebu, Philippines, 2014

2. Kanda, H., Yamamoto, N., Saiura, A., Kato, Y., Ishikawa, Y., Kitagawa, T.
Rapidly chaging causal factors of hepatocellular carcinoma (HCC) in Japan.
2014 World Cancer Congress: Melbourne, Australia, 2014

3. Motoi, N.
Application of an overlay FISH-IHC method for ALK test on pleural effusion cell block sample.
38th European Congress of Cytology: Geneva, Switzerland, 2014

4. Ishikawa, Y.
New aspects on pathology diagnosis of solid tumors, particularly lung and GI tract tumors.
: Jakarta, Indonesia, 2014

5. Ishikawa, Y., Saito, Y., Nagae, G., Motoi, N., Nishio, M., Okumura, S., Aburatani, H.
Prediction of prognosis for small cell lung cancer based on genome-wide methylation analyses with surgical materials and robust clustering methods.
6th Latin American Conference on Lung Cancer: Lima, Peru, 2014

6. 金小海
一例ALK阻性的多形成肺癌.
第25回中国病理学会学術集会: Changcun, China, 2014

7. 石川雄一
Lung neuroendocrine tumors: pathology diagnosis, and recent findings of molecular and genomic characters.
第25回中国病理学会学術集会: Changchun, China, 2014

8. Mahmut, Y., Ninomiya, H., Motoi, N., Itoh, S., Fujiwara, M., Ishikawa, Y.
Expression profiling of miRNA in asbestos-related lung adenocarcinoma.
American Association for Cancer Research (AACR) Annual Meeting 2014: San Diego, USA, 2014

9. 元井紀子, 長野裕子, MahmutYasen, 二宮浩範, 石川雄一
miRNA expression profile as an indicator as heterogeneity of lung cancer.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

10. 飯塚利彦, 長野裕子, 野村起美恵, 元井紀子, 奥村栄, 石川雄一
Association of long noncoding RNA MALAT-1 expression and KRAS mutation in lung adenocarcinoma.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

11. 古田玲子, 佐藤由紀子, 利安隆史, 新橋渉, 山本智理子, 川端一嘉, 三木義男, 石川雄一, 北川知行
HPV prevalence and viral types in oropharyngeal squamous cell carcinoma in Japan.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

12. 佐藤由紀子, 古田玲子, 利安隆史, 新橋渉, 山本智理子, 川端一嘉, 三木義男, 石川雄一
Clinical importance of HPV detection in neck lymph-node metastasis of unknown primary cancer.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

13. 馬合木特亜森, 長野裕子, 二宮浩範, 古来木拝尔鳥布力哈斯木, 元井紀子, 石川雄一
Comprehensive miRNA profiling of asbestos related lung cancer.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

14. 杉浦善弥, 元井紀子, 神田浩明, 岡田絵里奈, 牛嶋大, 松浦正明, 松本誠一, 中山淳, 町並陸生, 石川雄一
Prognostic analysis of soft tissue sarcoma at the level of histologic types and subypes using FNCLCC grading system.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

15. 神田浩明, 元井紀子, 杉浦善弥, 谷沢泰介, 松本誠一, 町並陸生, 石川雄一
Histological examination of the bisphosphonate or anti RANKL antibody treated giant cell tumor of bone.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

16. 石川雄一
Forefront of lung cancer management
Revised WHO classificaiton of lung cancer.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

17. Yasen, M., Nagano, H., Obulhasim, G., Ninomiya, H., Motoi, N., Payzulla, D., Ishikawa, Y.
Driver gene mutation in Chinese (Han, Uyghur) and Japanese lung adenocarcinoma.
第60回日本病理学会秋期特別総会: 浦添市, 2014

18. 元井紀子, 長野裕子, YasenMahmut, 杉浦善弥, 二宮浩範, 奥村栄, 石川雄一
肺癌の多様性への分子病理学的解析　miRNA発現様式の組織像、遺伝子変異型による相違.
第55回日本肺癌学会学術集会: 京都市, 2014

19. 元井紀子, 竹沢奈緒子, 日野るみ, 古田則行, 小松京子, 戸田和寿, 坂本穆彦, 石川雄一
甲状腺ベセスダシステムの導入と課題 甲状腺ベセスダシステムの有用性と現状での課題　がん専門施設の立場から.
第53回日本臨床細胞学会秋季大会: 下関市, 2014

20. 石川雄一, 赤坂俊英
皮膚腺病の1例.
日本皮膚科学会雑誌. 124(11): 2139, 2014

21. 元井紀子, 長野裕子, 斎藤雄一, 宮内栄作, 二宮浩範, 杉浦善弥, 遠藤祐子, 木脇圭一, YasenMahmut, 石川雄一
肺癌の組織多様性とmiRNA発現様式.
第103回日本病理学会総会: 広島市, 2014

22. 飯塚利彦, 長野裕子, 野村起美恵, 元井紀子, 石川雄一
肺腺癌における長鎖noncoding RNA MALAT-1の発現とKRAS変異の関連.
第103回日本病理学会総会: 広島市, 2014

23. 坂田亜衣, 堀井理絵, 河合佑子, 照屋なつき, 木脇圭一, 岩瀬拓士, 秋山太
乳腺lipophyllodes tumorの1例.
第103回日本病理学会総会: 広島市, 2014

24. 古田玲子, 新井正美, 加藤洋, 秋山太, 高澤豊, 杉山裕子, 竹島信宏, 北川知行
リンチ症候群の子宮内膜がんおよび前がん病変の病理組織学的な特徴.
第103回日本病理学会総会: 広島市, 2014

25. 遠藤祐子, 鹿取正道, 高澤豊, 山本智理子, 石川雄一
胃に開口する副膵管に膵管内乳頭粘液性腺癌を伴った1例.
第103回日本病理学会総会: 広島市, 2014

26. 木脇圭一, 遠藤祐子, 井下尚子, 石川雄一
Urothelial carcinoma, plasmacytoid variantの4例.
第103回日本病理学会総会: 広島市, 2014

27. 神田浩明, 鹿取正道, 山本智理子, マハムット・ヤセン, 齋浦明夫, 石川雄一, 加藤洋, 北川知行非B非C肝がんの臨床病理学的解析.
第103回日本病理学会総会: 広島市, 2014

28. 杉浦善弥, 元井紀子, 神田浩明, 松本誠一, 牛嶋大, 町並陸生, 石川雄一
FNCLCC grading systemによる軟部悪性腫瘍の予後予測.
第103回日本病理学会総会: 広島市, 2014

29. 佐藤由紀子, 竹内賢吾, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉, 小松京子, 山本智理子, 石川雄一
EWSR1の転座を有する口蓋のhyalinizing clear cell carcinomaの1例.
第60回日本病理学会秋期特別総会: 浦添市, 2014

30. 高松学, 元井紀子, 神田浩明, 山本智理子, 高澤豊, 石川雄一
若年に発生した胸腔内腫瘍の1剖検例.
第60回日本病理学会秋期特別総会: 浦添市, 2014

31. 杉浦善弥, 元井紀子, 神田浩明, 下地尚, 松本誠一, 町並陸生, 石川雄一
軟部肉腫の悪性度評価におけるがん研方式の提唱と粘液型円形細胞型脂肪肉腫での評価.
日本整形外科学会雑誌. 88(6): S1240, 2014

32. 吉本豊毅, 元井紀子, 山本智理子, 井下尚子, 牛嶋大, 松浦正明, 奥村栄, 山口俊晴, 深山正久, 石川雄一
網羅的microRNA発現解析によるカルチノイド腫瘍の起源・特徴的発現分子の探索.
日本内分泌学会雑誌. 90(2): 810, 2014

33. 照屋なつき, 坂井威彦, 五味直哉, 堀井理絵, 岩瀬拓士, 秋山太
画像診断で指摘されなかった乳頭乳輪部に存在する癌巣の特徴.
第22回日本乳癌学会学術総会: 大阪市, 2014

34. 元井紀子
甲状腺腫瘤の病理.
第34回日本画像医学会: 東京, 2014

35. 秋山太
乳がんを取り残さないための病理学的知識.
第3回京都北部乳腺病理セミナー: 福知山市, 2014

36. 秋山太
病理診断.
第15回日本乳癌最新情報カンファランス: 松本市, 2014

37. 高橋豊
種々のがん種に対するがん蛍光プローブの機能検査.
第11回日本病理学会カンファレンス: 神戸市, 2014

38. 石川雄一
内分泌腫瘍.
Thoracic Pathology Update 2014: 神戸市, 2014

39. 高松学
左大腿軟部腫瘍の1例.
第52回日本骨軟部腫瘍研究会: 札幌市, 2014

40. 高松学
Indoleamine 2,3-dioxygenase (IDO)欠損マウスの大腸腫瘍における免疫抑制機構.
平成26年度「がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動」個体レベルでのがん研究支援活動ワークショップ: 大津市, 2014

細胞診断部

1. Furuta, N., Fujiyama, J., Ikebata, K., Takesawa, N., Komatsu, K.
A case of mixed tumor of soft part.
31st World Congress of Biomedical Laboratory Science: Taipei, Taiwan, 2014

2. Fujiyama, J., Furuta, N., Itoh, T., Yamada, M., Hoshi, R., Komatsu, K.
Morphological study of ALK positive lung adenocarcinoma.
31st World Congress of Biomedical Laboratory Science Taipei, Taiwan, 2014

3. Sugiyama, Y., Gotoh, O., Hasumi, K., Takazawa, Y., Motoyama, T., Noda, T., Mori, S.
Two distinct biologic entities of endometrial endometrioid adenocarcinoma.
第73回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2014

4. Sugiyama, Y., Hasumi, K., Sakamoto, K., Umayahara, K., Utsugi, K., Takeshima, N.
Small endometrial carcinoma 10 mm or less in diameter: Clinicopathologic and histogenetic study of 131 cases for early detection and treatment.
第66回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2014

5. 小松京子, 藤山淳三, 鈴木奈緒子, 山田麻里沙, 池畑浩一, 星利良, 伊藤崇彦, 古田則行, 高澤豊, 杉山裕子
AGCの細胞 AGCの統計とその細胞像の検討.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

6. 小松京子, 藤山淳三, 山田麻里沙, 伊藤崇彦, 星利良, 池畑浩一, 竹沢奈緒子, 古田則行, 高澤豊, 杉山裕子
HPV併用子宮頸がん検診の有効性に関する検討.
第53回日本臨床細胞学会秋季大会: 下関市, 2014

7. 池畑浩一, 森園英智, 坂井威彦, 山田麻里沙, 古田則行, 小松京子, 杉山裕子
乳癌術前腋窩リンパ節穿刺吸引細胞診における転移診断精度の検討.
第28回関東臨床細胞学会学術集会: 沼津市, 2014

8. 杉山裕子, 小松京子, 竹沢奈緒子, 伊藤崇彦, 山田麻里沙, 池畑浩一, 星利良, 藤山淳三, 古田則行, 荷見勝彦, 本山悌一, 高澤豊, 宇津木久仁子, 竹島信宏
子宮頸部腺系病変の診断　AGCの取扱い 子宮頸部腺系病変の診断　AGCの臨床的取り扱い.
第53回日本臨床細胞学会秋季大会: 下関市, 2014

9. 池畑浩一, 伊藤崇彦, 古田則行, 八木靖二, 藤山淳三, 星利良, 小松京子
尿細胞診における異型細胞の検出向上に対する試み.
第63回日本医学検査学会: 新潟市, 2014

10. 杉山裕子, 荷見勝彦, 坂本公彦, 宇津木久仁子, 馬屋原健司, 秋山太, 本山悌一, 高澤豊, 竹島信宏
早期発見および治療のための、小さな子宮内膜癌の臨床病理学的検討.
第56回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 宇都宮市, 2014

11. 杉山裕子, 荷見勝彦, 宇津木久仁子, 馬屋原健司, 竹島信宏
早期発見および治療のための、小さな子宮内膜癌の臨床病理学的検討.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

12. 古田則行
標本作製法と細胞の基本的なみかた.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

13. 鈴木奈緒子, 坂本穆彦, 小松京子, 藤山淳三, 古田則行, 戸田和寿, 元井紀子, 杉山裕子
甲状腺細胞診「鑑別困難」のベセスダシステムによる検討.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

14. 古田則行
細胞検査士会アンケートの結果から.
第28回関東臨床細胞学会学術集会: 沼津市, 2014

15. 伊藤崇彦, 佐藤由紀子, 古田則行, 藤山淳三, 星利良, 池畑浩一, 竹沢奈緒子, 山田麻里沙, 小松京子, 石川雄一, 杉山裕子
耳下腺Nodular oncocytic hyperplasiaの1例.
第53回日本臨床細胞学会秋季大会: 下関市, 2014

16. 星利良, 元井紀子, 鈴木奈緒子, 古田則行, 小松京子, 桝谷典子, 杉山裕子, 石川雄一, 宝来威
肺動脈血管肉腫の1例.
第55回日本臨床細胞学会総会: 横浜市, 2014

17. 古田則行, 元井紀子, 神田浩明, 二宮浩範, 小松京子, 星利良, 山田麻里沙, 古田玲子, 高澤豊, 杉山裕子, 石川雄一
骨化生線維粘液性腫瘍の1例.
第53回日本臨床細胞学会秋季大会: 下関市, 2014

栄養管理部

1. 中濱孝志, 望月宏美, 高鍋香, 伊沢由紀子, 比企直樹
がん専門病院緩和ケア病棟入院希望者の生存率と入院基準に関する評価法の検討.
第18回日本病態栄養学会年次学術集会: 京都市, 2014

2. 望月宏美, 中濱孝志, 本多通孝, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴
化学放射線療法中の低栄養と放射性皮膚炎に対して病棟NST 介入とオルニュートの投与が有効であった一例.
第6回日本静脈経腸栄養学会首都圏支部会学術集会: 東京, 2014

3. 中濱孝志
専門管理栄養士制度への期待 がん専門病院からの意見　がん病態栄養専門管理栄養士の立場から.
第18回日本病態栄養学会年次学術集会: 京都市, 2014

4. 望月宏美, 中濱孝志, 山田和彦, 渡邊雅之, 大矢周一郎, 志垣博信, 富塚健, 小川恵, 鈴木めぐみ, 北野雅子, 高瀬鮎美, 林田由美子, 式部さあ里, 馬城はるか, 比企直樹
手術後の治癒過程を促進する効果的なチーム医療 当院の食道癌周術期管理　多職種連携チーム(PERICAN)の効果　栄養士の立場から.
第39回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2014

5. 望月宏美, 中濱孝志, 比企直樹
消化器外科病棟常駐栄養士(栄養コンシェルジュ)の周術期管理の例.
第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 横浜市, 2014

6. 望月宏美, 中濱孝志, 比企直樹, 本多通孝, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴
消化器外科病棟常駐栄養士の周術期管理.
第44回胃外科・術後障害研究会: 富士市, 2014

7. 伊沢由紀子, 川名加織, 中濱孝志, 縄野一美, 新田英昭, 比企直樹
胃内半固形化経腸栄養食品(ハイネイーゲル)を使用し、下痢の改善および誤嚥性肺炎を予防できた1例.
第16回MeT3・NST研究会: 東京, 2014

8. 中濱孝志, 望月宏美, 田村秀子, 蓑輪雄一, 小川恵, 峯真司, 比企直樹
術後の食事を考える 胃切除術後分割食の栄養補給と病棟栄養士活動に関する研究報告.
第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 横浜市, 2014

看護部

1. 鵜沼静香, 武田美和, 田畑美奈子, 佐々木徹, 小泉雄
頭頸部癌に対する遊離自家組織移植を伴う根治手術後に放射線療法を受けた患者の嚥下機能の実態.
頭頸部癌. 40(2): 254, 2014

2. 黒澤奈々, 野原優, 縄野一美
血液腫瘍科病棟における転倒要因と今後の課題.
日本がん看護学会誌. 28(Suppl.): 214, 2014

3. 黒澤奈々, 野原優, 縄野一美
血液腫瘍科病棟における転倒要因と今後の課題.
第28回日本がん看護学会学術集会: 新潟市, 2014

4. 畠山鮎子, 高瀬鮎美, 小川恵, 本多通孝
胃がん患者の手術前後の消化器症状及びQOLの変化.
日本がん看護学会誌. 28(Suppl.): 152, 2014

5. 畠山鮎子, 高瀬鮎美, 小川恵, 本多通孝
胃がん患者の手術前後の消化器症状及びQOLの変化.
第28回日本がん看護学会学術集会: 新潟市, 2014

6. 大友陽子, 菅原邦子
看護師が捉える成人急性白血病患者に対する終末期看護の認識.
日本がん看護学会誌. 28(Suppl.): 164, 2014

7. 大友陽子, 菅原邦子
看護師が捉える成人急性白血病患者に他する終末期患者の認識.
第28回日本がん看護学会学術集会: 新潟市, 2014

8. 岩本寿美代
抗がん薬被ばくの現状と課題　抗がん薬被ばくから、患者・医療従事者を守る 抗がん薬曝露対策の取り組みと周知の重要性.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014

9. 佐山郁子, 平澤朱美, 花出正美
呼吸器病棟で化学療法を受けるがん患者の転倒の実態.
日本がん看護学会誌. 28(Suppl.): 306, 2014

10. 佐山郁子, 平澤朱美, 花出正美
呼吸器病棟で化学療法を受けるがん患者の転倒の実態.
第28回日本がん看護学会学術集会: 新潟市, 2014

11. 松浦千絵
乳房再建の拡大と課題 乳房再建術を受ける患者への看護.
日本乳がん看護研究会誌. 10: 17, 2014

12. 林田由美子
不眠のマネジメント　ぜひ知っておきたい非薬物療法と薬物療法アップデート 睡眠障害を有するがん患者のケア.
第19回日本緩和医療学会学術大会: 神戸市, 2014

13. 船越さおり, 花出正美
レナリドミド・デキサメサゾン療法を受ける多発性骨髄腫患者の内服アドヒアランスの実態と影響要因.
第28回日本がん看護学会学術集会: 新潟市, 2014

14. 船越さおり, 花出正美
レナリドミド・デキサメサゾン療法を受ける多発性骨髄腫の内服アドヒアランスの実態と影響要因.
日本がん看護学会誌. 28(Suppl.): 217, 2014

15. 上田沙樹
グリセリン浣腸による術前処置が術後排便状況に与える影響.
第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 横浜市, 2014

16. 上田沙樹
グリセリン浣腸による術前処置が術後の排便状況に与える影響.
静脈経腸栄養. 29(1): 530, 2014

17. 竹花和美, 山越恵梨香
がん専門病院におけるグラム陰性桿菌菌血症に関する検討.
第63回日本医学検査学会: 新潟市, 2014

18. 上杉宣江, 本田まゆみ, 馬淵彰子, 中村地草, 水野俊美, 濱口恵子, がん研有明病院緩和ケア専門看護委員会
エンゼルケア標準化に向けた取り組み.
第19回日本緩和医療学会学術大会: 神戸市, 2014

19. 佐藤貴子, 遠藤裕子, 黒田直子, 鈴木美穂, 花出正美
CCRTを受ける子頸がん患者の下痢症状への看護介入に関する看護師の意識.
日本がん看護学会誌. 28(Suppl.): 192, 2014

20. 佐藤貴子, 鈴木美穂, 遠藤裕子, 黒田直子
CCRTを受ける子宮頸がん患者の下痢症状への看護介入に関する看護師の意識.
第28回日本がん看護学会学術集会: 新潟市, 2014

薬剤部

1. Sugita, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Mae, Y., Toya, W., Hagino, A., Suzuki, K., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T., Hama, T.
Investigation of hypothyroidism for patients receiving regorafenib.
第52回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2014
2. 橋本幸輝, 本尾美樹, 高綱唯, 柴田直樹, 根本真記, 鈴木賢一, 濱敏弘
注射薬混合調整業務における処方変更への対応と評価.

日本病院薬剤師会関東ブロック第44回学術大会：さいたま市, 2014

3. 唐木貴子, 杉崎崇人, 山田玲子, 秋葉政宏, 飯村洋平, 鈴木亘, 蓑輪雄一, 川上和宜, 濱敏弘
注射抗がん薬監査方法の改訂による有用性の検証.
日本病院薬剤師会関東ブロック第44回学術大会：さいたま市, 2014

4. 根本真記, 上田響子, 畠清彦
再発・難治性低悪性度リンパ腫およびマントル細胞リンパ腫におけるベンダムスチン療法の後方視的調査.
第76回日本血液学会総会：大阪市, 2014

5. 鈴木賢一, 辻大樹, 伊藤邦彦, 濱敏弘
個別化時代のチーム医療　薬物・支持療法の立場から 薬剤師が拓く制吐療法の個別化医療.
第52回日本癌治療学会学術集会：横浜市, 2014

6. 杉田一男, 川上和宜, 横川貴志, 前勇太郎, 戸谷渡, 萩野茜, 鈴木賢一, 末永光邦, 水沼信之, 山口俊晴, 濱敏弘
レゴラフェニブ服用患者における甲状腺機能低下症の発現頻度と発現時期の調査.
第52回日本癌治療学会学術集会：横浜市, 2014

7. 飯田啓子, 杉田一男, 萩野茜, 前勇太郎, 鈴木富紀子, 横川貴志, 川上和宜, 鈴木賢一, 末永光邦, 水沼信之, 山口俊晴, 濱敏弘
レゴラフェニブの副作用発現時期及び発現頻度に関する研究.
日本病院薬剤師会関東ブロック第44回学術大会：さいたま市, 2014

8. 加藤寛基, 瀧口友美, 青山剛, 西尾誠人
シスプラチンを含む化学療法にShort Hydration導入する前と後の腎機能障害を比較検討する研究.
第55回日本肺癌学会総会：京都市, 2014

9. 杉田一男, 岩本寿美代, 蓑輪雄一, 鈴木亘, 萩野茜, 柴田直樹, 濱敏弘
ケモセーフによるプライミングの性能の検討.
日本薬学会第134年会：熊本市, 2014

10. 杉田一男, 蓑輪雄一, 濱敏弘
がん研有明病院における暴露対策の現状報告と課題.
第6回日本癌化学療法薬剤師学会(JSOPP)学術大会：東京, 2014

11. 川上和宜, 横川貴志, 鬼山彩果, 前勇太郎, 萩野茜, 杉田一男, 町田昌明, 鈴木賢一, 末永光邦, 水沼信之, 山口俊晴, 濱敏弘
XELOX療法におけるカペシタビンの服薬compliance.
日本薬学会第134年会：熊本市, 2014

健診センター

1. 鈴木朋子, 今井瑞香, 窪田素子, 土田知宏, 五十嵐正広
当院健診センター　人間ドック受診者における腫瘍マーカー(CA19-9)高値例に関する検討.
第55回日本人間ドック学会学術大会：福岡市, 2014

【 2015年 】

呼吸器内科

1. Tambo, Y., Yamada, K., Uemura, S., Saeki, S., Nakamura, Y., Shukuya, T., Urata, Y., Okuma, Y., Fukui, T., Kogure, Y., Daga, H., Hasegawa, Y., Tsubata, Y., Yoshida, T., Oizumi, S., Tamura, Y., Mizugaki, H., Fujiwara, Y., Hamada, A., Ohe, Y.
   Association of crizotinib toxicity with pharmacokinetics and pharmacogenomics in non-small cell lung cancer harboring ALK fusion gene.
   16th World Conference on Lung Cancer (WCLC2015): Denver, USA, 2015

2. Horiike, A., Takahashi, H.N., Yanagitani, N., Kenmotsu, H., Fujiwara, Y., Tambo, Y., Kanda, S., Nishio, M., Tamura, T.
   A phase I/II study evaluating the combination of resminostat and docetaxel for platinum-pretreated NSCLC.
   16th World Conference on Lung Cancer (WCLC2015): Denver, USA, 2015

3. Yanagitani, N., Horiike, A., Kanda, S., Tamura, K., Kondo, S., Iwasa, S., Tanabe, Y., Inatani, M., Nakamura, K., Kotani, N., Yamamoto, N., Nishio, M.
   Phase Ia/Ib study of pan-PI3K inhibitor, pictilisib (GDC-0941), in Japanese patients with advanced solid tumors or non-squamous non-small cell lung cancer (JO28645 study).
   European Society for Medical Oncology European Cancer Congress (40thESMO-18thECC 2015): Vienna, Austria, 2015

4. 大柳文義, 小塚拓洋, 瀬戸貴司, 佐々木智成, 山中竹春, 國武直信, 清水淳市, 古平毅, 武田真幸, 中松清志, 小野哲, 原田英幸, 吉村成央, 堤真一, 北島寛元, 片岡正明, 中川和彦, 西村恭昌, 中西洋一
   A randomized phase II study of S-1 and cisplatin vs vinorelbine and cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for locally advanced NSCLC: WJOG5008L.
   第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

5. 西尾誠人
   ALK肺がんに対する治療の現状と展望.
   第38回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: 東京, 2015

6. 上月稔幸, 西尾誠人, 木浦勝行, 瀬戸貴司, 中川和彦, 前門戸任, 井上彰, 樋田豊明, 田中智宏
   ALK融合遺伝子陽性非小細胞肺癌を対象としたアレクチニブの第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験（AF-001JP）におけるPFS並びに安全性情報の更新.
   第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

7. 丹保裕一, 榊原理江, 北園聡, 大柳文義, 元井紀子, 堀池篤, 柳谷典子, 小栗知世, 川嶋庸介, 高野夏希, 宝来威, 奥村栄, 石川雄一, 西尾誠人
   EBUS-TBNA検体によるPD-L1発現解析の妥当性の検討.
   第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

8. 川嶋庸介, 北園聡, 高野夏希, 小栗知世, 丹保裕一, 柳谷典子, 大柳文義, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人
   EGFR-TKI 既治療例における各 EGFR 遺伝子変異に対するAfatinib の効果の検討.
   第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

9. 小栗知世, 大柳文義, 高野夏希, 川嶋庸介, 北園聡, 丹保裕一, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人
   EGFR-TKI耐性獲得後の再遺伝子検査の現状と課題.
   第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

10. 柳谷典子, 片山量平, 堀池篤, 高野夏希, 川嶋庸介, 小栗知世, 北園聡, 丹保裕一, 大柳文義, 宝来威, 西尾誠
    EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺がん症例におけるBIM遺伝子多型とEGFR-TKIの治療効果.
    第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

11. 堀池篤, 北園聡, 丹保裕一, 工藤慶太, 柳谷典子, 大柳文義, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 宝来威, 奥村栄, 西尾誠人
    シスプラチン+塩酸ゲムシタビン併用療法による術後補助化学療法の第II相試験.
    第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

12. 高野夏希, 柳谷典子, 川嶋庸介, 小栗知世, 北園聡, 丹保裕一, 堀池篤, 大柳文義, 松浦陽介, 文

敏景, 奥村栄, 二宮浩範, 元井紀子, 石川雄一, 宝来威, 西尾誠人
融合遺伝子が原因であるNUT midline carcinomaの一例.
第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

13. 北園聡, 坂井和子, 高野夏希, 川嶋庸介, 小栗知世, 丹保裕一, 柳谷典子, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 西尾和人, 西尾誠人
血中cDNAを用いたEGFR遺伝子変異の検出とafatinibの臨床効果.
第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

呼吸器外科

1. 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
ＡＬＫ肺癌術後再発１５例の検討.
第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

2. 野間大督, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健奥村栄
ｐⅠ期NSCLC完全切除例において脈管侵襲は病理病期に関与する因子となりうるか？.
第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

3. 中島拓也, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健奥村栄
pI期非小細胞肺癌において術後の早期再発は予測可能か？.
第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

4. 松浦陽介, 文敏景, 山崎宏継, 平井慶充, 中尾将之, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
Thoracoscopic major pulmonary resectionにおける肺動脈出血の原因と対処方法.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

5. 上原浩文, 山崎宏継, 平井慶充, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
再発形式からみた右上葉左上区肺癌における分岐部郭清省略の妥当性の検討.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

6. 上原浩文, 山崎宏継, 平井慶充, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
再発形式からみた臨床病期1期右下葉肺癌における上縦隔郭清省略の妥当性の検討.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

7. 山崎宏継, 上原浩文, 平井慶充, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 奥村栄
分岐部リンパ節再発症例の検討からみた右上葉左上区肺癌における分岐部郭清省略妥当性の検討.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

8. 中尾将之, 山崎宏継, 平井慶充, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 石川雄一, 奥村栄
分岐部浸潤を疑った肺門部肺癌に対する右sleeve肺全摘.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

9. 平井慶充, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
周術期血栓塞栓症予防における術前D-dimer測定による下肢静脈深部血栓症スクリーニングの意義.
第68回日本胸部外科学会定期学術集会: 神戸市, 2015

10. 文敏景, 中尾将之, 松浦陽介, 中川健, 奥村栄
呼吸器疾患に対する外科手術（開胸・胸腔鏡）：当院における肺癌に対する胸腔鏡下肺葉切除の拘りと標準化.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

11. 平井慶充, 文敏景, 山崎宏継, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
大腸がん肺転移　10年前とBevacizumab時代の今 新規薬剤の登場は大腸癌肺転移治療にインパクトを与えたか.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

12. 文敏景, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄
完全内視鏡下胸腔鏡手術による肺区域切除のピットフォールとその対策：胸腔鏡下肺区域切除におけるsurgikal margin確保のための工夫.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

13. 鮫島譲司, 中尾将之, 山崎宏継, 平井慶充, 後藤英典, 森彰平, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
完全切除した副腎皮質癌肺転移3症例の報告.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

14. 平田佳史, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健
奥村栄
左下葉切除後、対側胸膜転移をきたした１例.
第173回日本肺癌学会関東部会: 東京, 2015

15. 山崎宏継, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健
奥村栄
当院のThoracoscopic surgery におけるトレーニング法と実際　修練医の立場から.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

16. 野間大督, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健
奥村栄
急速増大した悪性葉状腫瘍肺転移の１切除例.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

17. 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健
奥村栄
梗塞壊死を伴う胸腺腫の１例.
第172回日本肺癌学会関東部会: 東京, 2015

18. 平田佳史, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健
奥村栄
次世代近赤外線胸腔鏡を用いた胸腔鏡下肺区域切除の実際.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

19. 中尾将之, 山崎宏継, 平井慶充, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
気管・気管支再建術　基本方針と工夫 当院における気管・気管支再建術の基本方針と工夫.
第38回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: 東京, 2015

20. 後藤英典, 文敏景, 山崎宏継, 平井慶充, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 中川健, 奥村栄
片肺全摘後の対側肺結節に対し胸腔鏡下肺部分切除術を施行した3例.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

21. 中尾将之, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄
縦隔型舌区肺動脈を有する胸腔鏡下左上大区切除のポイントと注意点.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

22. 平井慶充, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健
奥村栄
肝肺同時転移をきたした大腸癌肺転移に対する外科切除の意義.
第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

23. 文敏景, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄
肺がんに対する胸腔鏡下肺葉切除術野標準化への取り組み.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

24. 中島拓也, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健
奥村栄
肺不全分葉症例における前方アプローチによる葉間形成.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

25. 平田佳史, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健
奥村栄
肺多形癌切除例の臨床病理学的検討.
第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

26. 中尾将之, 山崎宏継, 平井慶充, 後藤英典, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 二宮浩範, 元井紀子, 石川雄一, 西尾誠人, 奥村栄
肺癌の術後再発とEGFR遺伝子変異.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

27. 奥村栄, 山崎宏継, 平井慶充, 後藤英典, 森彰平
鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健
膜(気管支鞘や肺動脈血管鞘)を意識した肺がんの肺門・葉間リンパ節郭清.
: 高松市, 2015

28. 文敏景, 奥村栄, 上原浩文, 中尾将之, 松浦陽介
鮫島譲司, 後藤英典, 平井慶充, 山崎宏継, 中川健
舌区原発肺癌に対する胸腔鏡下縦隔リンパ節郭清の実際.
第32回日本呼吸器外科学会総会: 高松市, 2015

29. 中島拓也, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健
奥村栄
診断に難渋した胃癌胸膜播種の１例.
第174回日本肺癌学会関東部会: 東京, 2015

30. 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
連続性と過程を意識したThoracoscopic lymph node dissection.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

31. 松浦陽介, 平田佳史, 中島拓也, 野間大督, 山崎宏継, 平井慶充, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄
連続性と過程を意識した右上葉肺癌リンパ節郭清：開胸と胸腔鏡の対比.
第68回日本胸部外科学会定期学術集会: 神戸市, 2015

32. 中尾将之, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄
進行肺癌に対する組織採取目的の鏡視下手術の現状.
第56回日本肺癌学会学術集会: 横浜市, 2015

消化器内科

1. Kumekawa, Y., Wakatsuki, T., Osumi, H., Matsushima, T., Nakayama, I., Ogura, M., Ichimura, T., Takahari, D., Ozaka, M., Suenaga, M., Shinozaki, E., Chin, K., Mizunuma, N.
ACEIs/ARBs to improve survival in advanced gastric cancer patients receiving S-a plus cisplatin.
2015 Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2015

2. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Matsusaka, S., Konishi, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., ueno, M., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A., Uehara, H., Mun, M., Okumura, S., Mizunuma, N., Miki, Y., Yamaguchi, T.
All KRAS mucation predict for poor clinical outcomes after metastasectomy in patients with metastatic colorectal cancer.
ESMO World Congress on Gastrointestinal Cancer Barcelona, Spain, 2015

3. Wakatsuki, T., Yamamoto, N., Chin, K., Ogura, M., Shinozaki, E., Suenaga, M., Ozaka, M., Matsusaka, S., Takahari, D., Ichimura, T., Kumekawa, Y., Nakayama, I., Matsushima, T., Mizunuma, N., Sano, T., Yamaguchi, T., Ishikawa, Y.
Association between intratumoral HER2 heterogeneity (IHH) and trastuzumab (T-mab) efficacy in HER2 positive–gastric cancer (GC).
2015 Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2015

4. Nakayama, I., Chin, K., Matsushima, T., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ichimura, T., Ozaka, M., Takahari, D., Shinozaki, E., Mizunuma, N.
Clinical features and outcome of advanced or metastatic gastric cancer in young adult,analysis of 97 cacses.
ASCO 51st Annual Meeting: Chicago, USA, 2015

5. 若槻尊, 山本智理子, 陳勁松, 小倉真理子, 高張大亮, 尾阪将人, 市村崇, 篠崎英司, 末永光邦, 水沼信之
Clinical relevance of intratumoral HER2 heterogeneity (IHH) on trastuzumab efficacy in HER2 positive gastric cancer (GC).
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

6. Takahari, D.
Current status and future perspective of postoperative chemotherapy for gastric cancer in Japan.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

7. Nakayama, I., Shinozaki, E., Matsushima, T., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ichimura, T., Ozaka, M., Takahari, D., Chin, K., Mizunuma, N., Yamaguchi, K.
Does patient selection according to RAS/PIK3CA/BRAF mutational status enrich the efficacy of adjuvant chemotherapy for Stage IV CRC after RO resection?
European Society for Medical Oncology Asia Congress 2015 (ESMO-Asia): Singapore, 2015

8. Chin, K., Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Ogura, M., Shinozaki, E., Suenaga, M., Mizunuma, N.
Endoscopic response evaluation of gastric primary lesion for chemotherapy compared to CT in advanced gastric cancer.
2015 Gastrointestinal Cancers Symposium

of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2015

9. Takahari, D.
The final analysis of adjuvant chemotherapy with S-1 plus cisplatin for stage Ⅲ gastric cancer.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

10. Wakatsuki, T., Suenaga, M., Shinozaki, E., Nagayama, S., Nakayama, I., Matsushima, T., Ogura, M., Ichimura, T., Takahari, D., Chin, K., Fukunaga, Y., Ueno, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Genetic variants of UGT1A1 and 1A9 could be associated with Regorafenib induced toxicity in Japanese patients with metastatic colorectal cancer.
European Society for Medical Oncology European Cancer Congress (40thESMO-18thECC 2015): Vienna, Austria, 2015

11. Nakayama, I., Shinozaki, E., Chin, K., Matsushima, T., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ichimura, T., Ozaka, M., Takahari, D., Chin, K., Mizunuma, N.
The impact of variations in KRAS codon 12 and 13 point mucation on the efficacy of cytotoxic chemotherapy for metastatic colorectal cancer (CRC).
ESMO World Congress on Gastrointestinal Cancer: Vienna, Austria, 2015

12. Shinozaki, E., Miki, Y., Ueno, M., Igarashi, M., Suenaga, M., Chin, K., Ozaka, M., Takahari, D., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Mizunuma, N.
KRAS mucational variations and characreristics in cororectal cancer (CRC): Analysis of over 1600 patients in single institute.
ESMO World Congress on Gastrointestinal Cancer 2015: Barcelona, Spain, 2015

13. Takahari, D.
Neoadjuvant chemotherapy in the East-recent updates.
11th International Gastric Cancer Congress: Sao Paulo, Brazil, 2015

14. Suenaga, M., Mizunuma, N., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ozaka, M., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, T.
A phase II study of oxaliplatin reintroduction in patients pretreated with oxaliplatin and irinotecan for advanced colorectal cancer (RE-OPEN study).
2015 Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2015

15. Shinozaki, E., Miki, Y., Ueno, M., Igarashi, M., Suenaga, M., Chin, K., Ozaka, M., Ogura, M., Takahari, D., Ichimura, T., Wakatsuki, T., Mizunuma, N.
Phenotypic differences among RAS mutational variations in colorectal cancer (CRC): Analysis of 1,001 patients in single institute.
2015 Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2015

16. Nakayama, I., Shinozaki, E., Wakatsuki, T., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ichimura, T., Takahari, D., Ozaka, M., Suenaga, M., Chin, K., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
The significance of EGFR pathway mutations for the efficacy of first line treatment with bevacizumab in metastatic colonrectal cancer.
2015 Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2015

17. Shinozaki, E., Laurent, S., Gravalos, C., Benavides, M., Longo, F., Mizuguchi, H., Wahba, M., Ychou, M., Ciardiello, F., Siena, S., Yamaguchi, K., Muro, K., Denda, T., Tsuji, Y., Loehrer, P., Lenz, H.J., Tebbutt, N., Mayer, R.J., Van Cutsem, E., Ohtsu, A., Group, o.b.o.t.R.S.
Timing of aderse events(AEs) in the Phase3 RECOURSE trial of TAS-102 versus placedo in patients colorectal cancer(mCRC).
European Society for Medical Oncology European Cancer Congress (40thESMO-18thECC 2015): Vienna, Austria, 2015

18. 篠崎英司
ゲノム解析などを用いた大腸がん分子標的治療薬の最適化：Advances of clinical and molecular understanding of anti-EGFR therapy for colorectal Cancer, beyond KRAS testing : KRAS後の大腸がんにおける抗EGFR抗体治療の臨床及び分子マーカー.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

19. 市村崇, 陳勁松, 浅利崇生, 高張大亮, 松島知広, 小倉真理子, 粂川陽祐, 篠崎英司, 末永光邦, 水沼信之
Long term survival benefit of salvage chemoradiotherapy for local recurrence of esophageal cancer after curative surgery
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

20. 陳勁松, 小倉真理子, 篠崎英司, 末永光邦, 市村崇, 高張大亮, 尾阪将人, 粂川陽祐, 松島知広, 水沼信之
Outcome of marked tumor marker increased patients with advanced gastric cancer during chemotherapy without progression.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

21. 篠崎英司, 久保木恭利, 仁科智裕, 山崎健太郎, 梶原猛史, 望月伸夫, 野村尚吾, 佐藤暁洋, 大津敦, 吉野孝之
Phase I/II study of TAS-102 with bevacizumab for metastatic colorectal cancer refractory to standard therapies.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

22. 高張大亮, 朴成和, 水澤純基, 中村健一, 山田康秀, 吉野孝之, 山崎健太郎, 小泉和三郎, 深瀬和利, 大津敦
Prognostic factors for PFS in patients with advanced gastric cancer -Using the data from JCOG9912 study.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

23. 市村崇, 粂川陽祐, 陳勁松, 高張大亮, 小倉真理子, 尾阪将人, 末永光邦, 篠崎英司, 水沼信之
Retrospective analysis of safety of S-1 plu oxaliplati (SOX) 130mb/m2 in first line chemotherapy for advanced gastric cancer
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

24. 中山厳馬, 篠崎英司, 若槻尊, 小倉真理子, 市村崇, 高張大亮, 尾阪将人, 末永光邦, 陳勁松, 水沼信之
The significance of EGFR pathway mutations for the efficacy of bevacizumab in metastatic colorectal cancer.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

25. 中山厳馬, 陳勁松, 市村崇, 高張太亮, 尾阪将人 末永光邦, 篠崎英司, 水沼信之
40歳未満で診断されたStage.4若年性胃がんに対する化学療法の効果.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

26. 陳勁松, 設楽紘平, 吉川貴己, 片井均, 寺島雅典 伊藤誠二, 平尾素宏, 吉田和弘, 沖英次, 笹子三津留, 江見泰徳, 辻仲利政
Stage Ⅲ胃癌治癒切除後患者を対象としたSOX療法の第Ⅱ相臨床試験.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

27. 中山厳馬, 篠崎英司, 松島知広, 若槻尊, 小倉真理子, 市村崇, 尾阪将人, 高張大亮, 陳勁松, 水沼信之
Stage Ⅳ大腸癌一次治療における RAS/PIK3CA/BRAF遺伝子変異と bevacizumab 治療効果.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

28. 末永光邦, 水沼信之, 篠崎英司, 福長洋介, 長山聡, 秋吉高志, 藤本佳也, 小西毅, 上野雅資, 川上和宜, 横川貴志, 山口俊晴
StageII/III結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのCapeitabine + Oxalipalatin (XELOX)療法のFeasibility試験-ACTOR study.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

29. 陳勁松, 中山昇典, 石戸謙次, 松阪諭, 西村賢, 樋口勝彦, 粂川陽祐, 井口靖弘, 東瑞智, 田辺聡, 小泉和三郎
切除不能・再発胃癌患者を対象とした S-1/nab-Paclitaxel併用療法の第I相試験.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

30. 大隅寛木, 篠崎英司, 末永光邦, 松阪諭, 上野雅資, 齋浦明夫, 文敏景, 水沼信之, 山口俊晴, 三木義男
大腸癌遠隔転移例における転移巣切除後の予後と遺伝子変異の相関に関する検討.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

31. 松島知広, 若槻尊, 陳勁松, 粂川陽祐, 小倉真理子, 市村崇, 高張大亮, 末永光邦, 篠崎英司, 水沼信之
当院におけるHER２陽性胃癌に対するTrastuzumab (Tmab)の予後因子検討.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

32. 大隅寛木, 篠崎英司, 末永光邦, 小倉真理子, 尾阪将人, 松阪諭, 陳勁松, 小西毅, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 水沼信之
当院における大腸癌stage Ⅲ症例の術後補助化学療法の変遷.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

33. 篠崎英司
抗癌剤による薬物有害作用の概要.
国際医療リスクマネージメント学会 医薬品安全管理教育セミナー2015春季 東京, 2015

34. 高張大亮
消化器癌化学療法におけるチーム医療：薬剤師外来の実際.
第25回日本医療薬学会年会: 横浜市, 2015

35. 篠崎英司
病理業務におけるコンパニオン診断 臨床現場におけるCoDxの実際.
第61回日本病理学会秋期特別総会: 東京, 2015

36. 高張大亮
胃癌化学療法：最新Topicsとこれからの治療戦略.
第100回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2015

37. 高張大亮
胃癌化学療法：最新Topicsとこれからの治療戦略.
第57回日本消化器病学会大会: 東京, 2015

38. 陳勁松, 布施望, 伊藤誠二
胃癌化学療法の類似薬をどう使う?
nab-paclitaxel、Oxaliplatinの従来薬との差別化
pStage II/III胃癌治癒切除後のXELOX補助化学療法第II相試験.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

39. 粂川陽祐, 陳勁松, 松島知広, 小倉真理子, 市村崇, 高張大亮, 尾坂将人, 末永光邦, 篠崎英司, 水沼信之, 横川貴志, 青山剛, 加藤紀香, 長崎礼子, 横井麻珠美
胃癌治療におけるチームビルディング SOX療法導入のためのチーム医療の取り組み.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

40. 高張大亮
胃癌治療におけるラムシルマブの臨床的位置付け.
Best of ASCO 2015 in Japan: 横浜市, 2015

41. 伊藤誠二, 佐野武, 高張大亮, 円谷彰, 片山宏, 笹子三津留
高度リンパ節転移陽性胃癌の術前化療(NAC)ご大動脈周囲リンパ節郭清術(PAND)の意義.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

消化器外科

1. Sano, T.
When should we operate if linitis or T4/N3 cancers?
5th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (APGCC): Brisbane, Australia, 2015

2. Nunobe, S.
Valvuloplasty with double-flap method under laparoscopic suturing technique after proximal gastrectomy.
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paulo, Brazil, 2015

3. Inoue, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Takahashi, T., Saiura, A.
Undressong the superior mesenteric artery. Systematic and enbloc resection of mesopancreas in pancreatoduodenenectomy for invasive pancreatic head cancer.
101st Annual American College of Surgeons

of Clinical Congress: Chicago, USA, 2015

4. Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Takahashi, T., Saiura, A.
To capture complication-related readmissions after pancreatectomy "90-Days from Surgery" is superior to "30-Days from Discharge".
Society for Surgery of the Alimentary Tract (SSAT) 56th Annual Meeting in Conjunction with DDW: Washington, DC, USA, 2015

5. Sano, T.
TNM staging: Eastern proposal.
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paulo, Brazil, 2015

6. Konishi, T.
Techniques and outcomes of laparoscopic extended TME with Japanese D3 pelvic lymphadenectomy after neoadjuvant chemoradiation for pelvic node-positive advanced rectal cancer.
Cleveland Clinic 26th Annual Jagelman / 36th Annual Turnbull International Colorectal Disease Symposium: Fort Lauderdale, USA, 2015

7. Sano, T.
Standardizing of D2 Lymphadenectomy for locally advanced gastric cancer
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paulo, Brazil, 2015

8. Sano, T.
Should the spleen be removed with total gastrectomy?
5th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (APGCC): Brisbane, Australia, 2015

9. Sano, T.
Role of splenectomy in total gastrectomy for proximal gastric cancer.
Korea International Gastric Cancer Week (KINGCA): Jeju, Korea, 2015

10. Sano, T.
Role of Gastric Cancer Association of the Far East Asian Countries.
Korea International Gastric Cancer Week (KINGCA): Jeju, Korea, 2015

11. Sano, T.
Role of chemotherapy for operable gastric cancer in the East.
5th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (APGCC): Brisbane, Australia, 2015

12. Sano, T.
Requirements for clinical trial : Success and failure.
2015 Biannual Meeting of Korean Society of Surgical Oncology: Seoul, Korea, 2015

13. Konishi, T.
Rectal cancer: Total mesorectal excision with lateral node dissection.
Royal Australian Congress of Surgery: Perth, Australia, 2015

14. Konishi, T.
Rectal cancer: TME with LND.
Royal Australian Congress of Surgery: Perth, Australia, 2015

15. Konishi, T.
Rectal cancer scenarios.
Royal Australian Congress of Surgery: Perth, Australia, 2015

16. Konishi, T.
Rectal cancer management in Japan.
Royal Australian Congress of Surgery: Perth, Australia, 2015

17. Sano, T., Sasako, M., Mizusawa, J., Katayama, H., Katai, H., Yoshikawa, T., Yabusaki, H., Ito, S., Kaji, M., Imamura, H., Fukushima, N., Fujitani, K., Iwasaki, T.
Randomized controlled trial to evaluate splenectomy in total gastrectomy for proximal gastric carcinoma (JCOG0110): Final survival analysis.
2015 Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2015

18. Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Nagata, J., Ogura, A., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Prognostic impact of neutrophil-to-lymphocyte ratio in patients with advanced low rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy.
10th Scientific and Annual Meeting of the European Society of Coloproctology (ESCP): Dublin, Ireland, 2015

19. Konishi, T.
Prognosis and risk factors of metastasis in colorectal carcinoids: results of a nationwide registry over 15 years.
Royal Australian Congress of Surgery: Perth, Australia, 2015

20. Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Yamaguchi, T.
Prediction of lateral pelvic lymph node metastasis by MRI in patients with advanced low rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy.
Annual Meeting of American Society of Colon and Rectum Surgeons (ASCRS): Boston, USA, 2015

21. Konishi, T.
Pelvic side wall dissection.
Colorectal Cancer Workshop at CTEC University of Western Australia: Perth, Australia, 2015

22. Akiyoshi, T.
Oncologic principles and operative techniques : LAR.
2015 Asia Pacific Endoscopic Colorectal Summit: Melbourne, Australia, 2015

23. Konishi, T.
Novel use of ICG for intraoperative real-time visualization of ureter during laparoscopic extended surgery for T4 colorectal cancer.
2nd Annual Congress of Fluorescent Guided Imaging Surgery/14th Annual Surgery of the Foregut Symposium: Miami, USA, 2015

24. Sano, T.
A new staging system for gastric cancers: an IGCA perspective.
5th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (APGCC): Brisbane, Australia, 2015

25. Sano, T.
New proposal from IGCA staging project team.
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paule, Brazil, 2015

26. Fukunaga, Y.
Needlescopic surgery for colorectal cancer.
12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery: Daegu, Korea, 2015

27. Hiki, N.
Laparoscopic pylorusu preserving gastrectomy video.
The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery Daegu, Korea, 2015

28. Nunobe, S.
Laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy(LAPPG) and laparoscopic endoscopic co-operative surgery(LECS) as functional preserving procedure.
1st LEAPS: Guanzhou, China, 2015

29. Konishi, T.
Laparoscopic lateral node dissection for advanced rectal cancer: Japanese experience.
2015 Annual Meeting of Chinese Medical Association-Taipei: Taipei, Taiwan, 2015

30. Konishi, T.
Laparoscopic intersphincteric resections.
Royal Australian Congress of Surgery 2015: Perth, Australia, 2015

31. Matsuda, T.
Laparoscopic endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumors.
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paulo, Brazil, 2015

32. Sano, T.
Future collaboration for gastric cancer studies.
JP Kim Memorial International Gastric Cancer Symposium: Seoul, Korea, 2015

33. Hiki, N.
Function preserving laparoscopic gastrectomy, Japanese trends.
China-Japan Exchange Meeting on Gastric Cancer Treatment: Hangzou, China, 2015

34. Ishizawa, T., Urano, Y., Kamiya, M., Yamashita, S., Kokudo, N., Saiura, A.
Fluorescence-guided digestive surgery using indocyanine green and novel fluorescence prove activated by pancreatic chymotrypsin.
International Chemical Congress of Pacific Basin Societies: Honolulu, Hawaii, USA, 2015

35. Ishizawa, T.
Fluorescence imaging in HPB surgery: visualization of bile ducts, hepatic tumors/segments, and pancreatic leak.
7th Annual Congress of the Clinical Robotic Surgery Association: Chicago, USA, 2015

36. Ida, S., Nunobe, S., Hiki, N., Ohashi, M., Kumagai, K., Matsuda, T., Hayami, M., Tsujiura, M., Furukawa, H., Kamiya, S., Honda, M., Hiki, N., Sano, T., Yamaguchi, T.
Evaluation of pathological factors related to lymph node metastasis in additional gastrectomy after non-curative endoscopic resection for gastric cancer.
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paulo, Brazil, 2015

37. Sano, T.
Duodenopancreatectomy: When is it reasonable?
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paulo, Brazil, 2015

38. Saiura, A., Sato, T., Takahashi, Y., Inoue, Y., Mise, Y., Ishizawa, T.
Distal pancreatectomy with en bloc resection of the celiac axis with preservation or reconstruction of the left gastric artery in patients with pancreatic body cancer.
101st Annual American College of Surgeons of Clinical Congress: Chicago, USA, 2015

39. Sano, T.
Dissection of splenic hilum nodes and distal splenic artery nodes : Final results of JCOG0110.
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paulo, Brazil, 2015

40. Ishizawa, T.
Development and clinical applications of in vivo fluorescence imaging in hepatobiliary and pancreatic surgery.
NANO KOREA 2015 Symposium: Seoul, Korea, 2015

41. Sano, T.
D2 gastrectomy-How I do it.
5th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (APGCC): Brisbane, Australia, 2015

42. Tsujiura, M.
Comparison of postoperative nutritional status between laparoscopy-assisted distal gastrectomy (LDG) and pylorus preserving gastrectomy (LPPG).
5th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (APGCC): Brisbane, Australia, 2015

43. Hayami, M.
The clinical outcome and evaluation of laparoscopic proximal gastrectomy with esophagogastrostomy by double flap technique.
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paulo, Brazil, 2015

44. Ishizawa, T., Inoue, Y.
Application of fluorescence imaging in HPB surgery.
14th Annual Surgery of the Foregut Symposium / 2nd Annual International Congress of Fluorescent Guided Imaging Surgery (Cleveland Clinic DDI Week): Miami, USA, 2015

45. Hiki, N.
Anti-reflux esophago-gastric anastomosis for early gastric cancer in the upper gastric body.
11th International Gastric Cancer Congress (IGCC): Sao Paulo, Brazil, 2015

46. Mise, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Takahashi, T., Saiura, A.
Aggressive surgery for advanced colorectal liver metastases in the era of a multidisciplinary approach.
101st Annual American College of Surgeons of Clinical Congress: Chicago, USA, 2015

47. Kumagai, K., Rouvelas, I., Irino, T., Tsai, J., Lindbald, M., Nilsson, M., Sano, T., Lundell, L.
Minimally invasive oesophagectomy for oesophageal and gastro-oesophageal junction cancer on Sweden.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

48. 大橋学
Short and long term surgical outcomes of laparoscopic gasterectomy for advanced gastric cancer.
第10回日中韓腹腔鏡下胃切除セミナー: 大分市, 2015

49. Konishi, T.
Anatomical approach for safer laparoscopic rectum surgery: laparoscopic lateral node dissection.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

50. 奥村康弘, 比企直樹, 西田康二郎, 峯真司, 布部創也, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
Postoperative inflammation as a prognostic factor after curative resection for gastric cancer.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

51. 田中真之, 井上陽介, 寺澤無我, 武田良祝, 熊谷祐, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 石沢武彰, 有田淳一, 高橋祐, 古賀倫太郎, 齋浦明夫
Pancreatoduodenectomy with systematic mesopancreas dissection using supracolic anterior artery-first approach.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

52. 井上陽介, 齋浦明夫, 武田良祝, 田中真之, 松木亮太, 市田洋文, 松村優, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐
Front line in open and endoscopic pancreatic surgery tailored pancreatoduodenectomy with systematic mesopancreas dissection using an anterior artery-first approach.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

53. 井田智, 比企直樹, 本多通孝, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
Evaluation of the postoperative symptom,and nutrition status after pylorus-preserving gastrectomy.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

54. 佐野武
Diffusion of D2 gastrectomy to Western surgeons.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

55. 佐野武
Diffusion of D2 gastrectomy to Western surgeons.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

56. 齋浦明夫, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰
Basics of radical surgery for perihilar cholangiocarcinoma.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

57. 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫, 畑太悟
高齢者に対する大腸癌肝転移手術治療の意義-短期・長期成績の年代別比較検討.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

58. 小西毅
骨盤深部手術における3D内視鏡の有用性と解剖認識.
第13回日本ヘルニア学会学術集会: 名古屋市, 2015

59. 大橋学, 布部創也, 本多通孝, 神谷諭, 古川陽菜比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
食道胃接合部癌に対する下縦隔郭清のコツとピットフォール　開腹手術の立場から 食道胃接合部に対する横隔膜正中切開アプローチによる上腹部、下縦隔の連続的なリンパ節郭清.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

60. 渡邊雅之, 峯真司, 山田和彦, 志垣博信, 松本晶西田康二郎
食道癌術後合併症の診断と治療　新しい工夫 食道がん周術期管理チームの導入による術後合併症軽減の試み.
第69回食道学会学術集会: 横浜市, 2015

61. 峯真司, 西田康二郎, 志垣博信, 松本晶, 本多通孝, 山田和彦, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
食道癌術前化学療法後切除例における治療前リンパ節サイズの意義.
第69回食道学会学術集会: 横浜市, 2015

62. 西田康二郎, 渡邊雅之, 峯真司, 松本晶, 志垣博信, 比企直樹, 布部創也, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 石沢武彰, 井上陽介, 佐野武
食道癌切除術の食道胃管吻合における三辺外翻三角吻合と有茎大網弁被覆法の有用性.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

63. 黒河内喬範, 峯真司, 渡邊雅之
食道癌が疑われるも確定診断が得られず診断に難渋している一例.
第168回日本胸部外科学会関東甲信越地方会: 東京, 2015

64. 西田康二郎, 渡邊雅之, 峯真司, 松本晶, 志垣博信, 比企直樹, 布部創也, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 石沢武彰, 井上陽介, 佐野武
食道切除後再建法の工夫（食道胃管吻合における三辺外翻三角吻合と有茎大網弁皮覆法の有用性）.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

65. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也秋吉高志, 比企直樹, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
集学的治療・側方郭清を併用した局所進行直腸癌に対する鏡視下手術の成績と安全な手技のポイント.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

66. 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫
集学的アプローチ時代における進行大腸癌肝転移に対する積極的切除の意義.
第83回大腸癌研究会: 福岡市, 2015

67. 石沢武彰, 井上陽介, 寺澤無我, 田中真之, 熊谷祐, 武田良祝, 松木亮太, 市田洋文, 松村優, 有田淳一, 高橋祐, 國土典宏, 齋浦明夫
開腹肝切除に応用すべき腹腔鏡手術の視覚的な利点とは.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

68. 福岡宏倫, 藤本佳也, 福田雄三, 日吉幸晴, 三城弥範, 宮城幹史, 橋爪良輔, 濱崎俊輔, 小倉淳司, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
長期生存した直腸悪性黒色腫の2例.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

69. 福田雄三, 藤本佳也, 永田淳, 長嵜寿矢, 濱崎俊輔, 高津有紀子, 小倉淳司, 宮城幹史, 三城弥範, 福岡宏倫, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
長期生存が得られた回腸カルチノイドの１例.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

70. 西田康二郎, 志垣博信, 松本晶, 峯真司, 渡邊雅之
鏡視下食道切除術における腹腔鏡操作の意義.
第69回食道学会学術集会: 横浜市, 2015

71. 石沢武彰, 齋浦明夫, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐, 山本訓史, 阪本良弘, 菅原寧彦, 長谷川潔, 國土典宏
鏡視下手術の普及過程における亜区域以下肝切除の再評価.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

72. 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 志垣博信, 松本晶, 本多通孝
鏡視下手術とチーム医療は食道癌治療を変えるか.
第24回癌病態治療研究会: 日光市, 2015

73. 松村優, 齋浦明夫, 寺澤無我, 武田良祝, 田中真之, 畑大悟, 市田洋文, 松木亮太, 三瀬祥弘,

石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐
遠位膵切除の術式と成績 膵癌に対する後腹膜一括廓清を伴う膵体尾部切除　RAMPSとの類似点と左腎脱転の有用性.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

74. 川勝章司
進行胃癌に対する胃全摘・膵脾合併切除術の検討.
第45回胃外科・術後障害研究会: 名古屋市, 2015

75. 川勝章司, 布部創也, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 熊谷厚志, 大橋学, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
進行胃癌に対する胃全摘・膵脾合併切除術の検討.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

76. 速水克, 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志 川勝章司, 安福至, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴
進行胃癌に対する幽門側胃切除における肉眼的口側断端距離と予後との関係
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

77. 秋吉高志
進行直腸癌に対する集学的治療戦略と手術手技.
第3回Cancer Forum in Yamaguchi.: 山口市, 2015

78. 秋吉高志
進行直腸癌に対する治療戦略と手術手技.
Rectal Cancer Symposium: 名古屋市, 2015

79. 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫
進行大腸癌肝転移に対する積極的手術治療成績の変遷.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

80. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅 秋吉高志, 長嵜寿矢, 永田淳, 武田光正, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 高津有紀子, 渡邉元己
進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術の適応拡大と限界.
第82回大腸癌研究会: 東京, 2015

81. 江藤弘二郎, 比企直樹, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 西田康二郎, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
超高齢者に対する腹腔鏡下胃切除の安全性と予後の検討.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

82. 江藤弘二郎, 比企直樹, 井田智, 安福至, 川勝章司, 松田達雄, 辻浦誠浩, 速水克, 奥村康弘, 神谷諭, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
超高齢者に対する腹腔鏡下幽門側胃切除の安全性の検討.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

83. 小倉淳司, 秋吉高志, 永田淳, 長嵜寿矢, 小西毅 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 山口俊晴
術前放射線化学療法施行ypT3下部直腸癌における筋層からの浸潤距離（壁外浸潤距離）と予後の検討.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

84. 志垣博信, 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 松本晶, 本田通孝, 佐野武
術前化学療法によりCT-pStage Iとなった胸部食道扁平上皮癌の成績.
第69回食道学会学術集会: 横浜市, 2015

85. 松木亮太, 井上陽介, 市田洋文, 熊谷祐, 武田良祝, 田中真之, 寺澤無我, 松村優, 石沢武彰, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫
術中Air Cholangiogyaphyの肝切除術後胆汁瘻予防に対する有効性の検討.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

86. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也 秋吉高志, 比企直樹, 渡邊雅之, 齋浦明夫, 大橋学, 高橋祐, 布部創也, 峯真司, 佐野武, 山口俊晴
術中・術後合併症から学ぶ腹腔鏡下側方廓清のコツとピットフォール.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

87. 高橋祐, 齋浦明夫
血管合併切除を伴う胆管癌手術 肝門部胆管癌に対する血管合併切除の治療成績.
第51回日本胆道学会学術集会: 宇都宮市, 2015

88. 松本晶, 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 志垣博信
若年発症食道癌の特徴と予後.
第69回食道学会学術集会: 横浜市, 2015

89. 寺澤無我, 齋浦明夫, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰
膵頭部癌に対し上腸間膜静脈・脾静脈合流部合併切除を施行し、術後治療を必要とした左側門脈圧亢進症の3例.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

90. 松村優, 齋浦明夫, 寺澤無我, 武田良祝, 田中真之, 畑大悟, 市田洋文, 松木亮太, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 竹村信行, 高橋祐
膵頭十二指腸切除術後の成分栄養投与が術後乳糜腹水の発生に与える影響.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

91. 井上陽介, 齋浦明夫, 田中真之, 松木亮太, 市田洋文, 松村優, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐, 山口俊晴
膵頭十二指腸切除は新時代へ。前方アプローチが系統的SMA周囲郭清の自在な調節を可能にする.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

92. 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 松村優, 武田良祝 市田洋文, 田中真之, 寺澤無我, 松木亮太, 三瀬祥弘, 齋浦明夫
膵臓外科のドレーンの管理1 膵頭十二指腸切除後のドレーン本数の至適ドレーン本数は。1本?2本?
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

93. 武田良祝, 齋浦明夫, 田中真之, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐
膵癌体尾部癌の症状と予後、局所進展の関連について.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

94. 武田良祝, 齋浦明夫, 渡邉元己, 寺澤無我, 田中真之, 松村優, 畑太悟, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐
膵切除後の膵液瘻のドレーン造影検査における所見変化と難治性評価について.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

95. 橋爪良輔
腹膜播種再発をきたした大腸SM癌の1例.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会: 名古屋市, 2015

96. 比企直樹
腹腔鏡胃切除におけるHit and Awayテクニックの応用.
第4回サマーセミナーin Okinawa: 宜野湾市, 2015

97. 石沢武彰, 寺澤無我, 田中真之, 渡邉元己, 畑太悟, 武田良祝, 松木亮太, 市田洋文, 松村優, 三瀬祥弘, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫
腹腔鏡手術に必要な肝解剖を手術中に認識するための工夫.
第19回臨床解剖研究会: 東京, 2015

98. 比企直樹
腹腔鏡内視鏡合同胃局所切除　LECSを簡単に行うために.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

99. 市田洋文, 井上陽介, 熊谷祐, 武田良祝, 田中真之, 寺澤無我, 松木亮太, 松村優, 石沢武彰, 有田淳一, 高橋祐, 佐藤崇文, 福長洋介, 布部創也, 比企直樹, 齋浦明夫
腹腔鏡下膵頭十二指腸切除の安全性・有用性に関する外科 phase Ⅰ 臨床試験
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

100. 神谷諭, 比企直樹, 江藤弘二郎, 川勝章司, 安福至, 井田智, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 松田達雄, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術後合併症の早期予測因子としての術後ドレーンアミラーゼの有用性の検討.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

101. 布部創也, 比企直樹, 熊谷厚志, 大橋学, 峯真司, 西田康二郎, 渡邊雅之, 福長洋介, 秋吉高志, 小西毅, 高橋祐, 齋浦明夫, 佐野武
腹腔鏡下胃切除術における良好な視野と術野確保の工夫：腹腔内用レトラクターデバイスの使用経験.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

102. 比企直樹
腹腔鏡下胃全摘の再建　安全性を飛躍させるた

めに.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

103. 石沢武彰
腹腔鏡下肝切除における血管損傷・胆道損傷のマネージメント.
第9回肝臓内視鏡外科研究会: 神戸市, 2015

104. 秋吉高志
腹腔鏡下直腸癌手術：TME、側方郭清、and beyond.
第26回AMG内視鏡外科フォーラム: 東京, 2015

105. 福長洋介
腹腔鏡下直腸手術の定型化：助手・術者の両側からみて.
第6回腹腔鏡下大腸切除研究会: 国頭群恩納村, 2015

106. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 井上陽介, 石沢武彰, 高橋祐, 齋浦明夫, 西田康二郎, 峯真司, 渡邊雅之, 熊谷厚志, 布部創, 大橋学, 比企直樹
腹腔鏡下直腸切断術（Lap-APR）の手術手技.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

107. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 齋浦明夫, 比企直樹, 渡邊雅之, 峯真司, 布部創也, 高橋祐, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下直腸低位前方切除.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

108. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下手術における幽門側胃切除術と幽門保存胃切除術の術後栄養状態についての比較検討.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

109. 熊谷厚志
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における新しい対腔内端端吻合法（ピアス法）.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

110. 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下幽門保存胃切除後の新しい鏡視下端端胃胃吻合・ピアス法.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

111. 速水克, 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 松田達雄, 井田智, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除術観音開き法再建の臨床経験と評価.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

112. 布部創也, 本多通孝, 神谷諭, 古川陽菜, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 西田康二郎, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除術の再建手技 上部早期胃がんに対する術式選択　胃全摘か噴門側胃切除か.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

113. 布部創也, 比企直樹, 熊谷厚志, 大橋学, 峯真司, 西田康二郎, 渡邊雅之, 福長洋介, 齋浦明夫, 佐野武
腹腔鏡下噴門側胃切除後観音開き再建法における鏡視下縫合の工夫.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

114. 布部創也, 神谷諭, 比企直樹, 大橋学, 峯真司, 西田康二郎, 渡邊雅之, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 高橋祐, 有田淳一, 石沢武彰, 井上陽介, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下噴門側胃切除後の観音開き再建法：鏡視下縫合を定型化するためのポイント.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

115. 布部創也, 比企直樹, 熊谷厚志, 大橋学, 峯真司, 西田康二郎, 渡邊雅之, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介
腹腔鏡下噴門側胃切除後の再建：観音開き再建法における標準化を目指した鏡視下縫合の工夫.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

116. 秋吉高志
腹腔鏡下TMEの基本手技とその向こう.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

117. 福長洋介
腹腔鏡下TMEの基本手技とその向こう.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

118. 布部創也, 比企直樹
腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)の現状と展望.
消化器病・消化器内視鏡合同分科会（第117回日

本消化器病学会北海道支部例会/第111回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会）：札幌市, 2015

119. 宮城幹史, 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 長嵜寿矢, 永田淳, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 上野雅資
腸重積をきたした横行結腸脂肪腫の1例.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会：名古屋市, 2015

120. 渡邊雅之
胸部食道癌の再建.
第69回食道学会学術集会：横浜市, 2015

121. 岡村明彦, 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 今村裕, 黒河内喬範, 佐野武
胸腔鏡下食道切除術における胸部操作の難易度に影響を与える因子の検討.
第28回日本内視鏡外科学会総会：大阪市, 2015

122. 田中真之, 高橋祐, 寺澤無我, 武田良祝, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 有田淳一, 古賀倫太郎, 齋浦明夫
胆道癌に対する肝・膵同時切除の検討.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京, 2015

123. 高橋祐, 有田淳一, 井上陽介, 石沢武彰, 松村優, 武田良祝, 熊谷祐, 市田洋文, 田中真之, 寺澤無我, 松木亮太, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 古賀倫太郎, 齋浦明夫
胆道癌に対するMaior HPDの治療成績.
第115回日本外科学会定期学術集会：名古屋市, 2015

124. 田中真之, 齋浦明夫, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐
胆管原発神経内分泌腫瘍の2切除例.
第51回日本胆道学会学術集会：宇都宮市, 2015

125. 神谷諭, 比企直樹, 江藤弘二郎, 川勝章司, 安福至, 井田智, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 松田達雄, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
胃癌術後腹腔内感染症の予測因子としてのドレーン排液中アミラーゼ値の有用性.
第77回日本臨床外科学会総会：福岡市, 2015

126. 佐野武
胃癌治療ガイドライン.
第53回日本癌治療学会学術集会：京都市, 2015

127. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 入野誠之, 大橋学, 西田康二郎, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
胃癌手術における肝十二指腸間膜（No.12a）リンパ節郭清の意義と郭清省略の可能性.
第70回日本消化器外科学会総会：浜松市, 2015

128. 比企直樹
胃癌手術におけるロボットの役割　可能性と限界、適応と将来性を考える 腹腔鏡手術の立場からロボット手術を想う.
第87回日本胃癌学会総会：広島市, 2015

129. 神谷諭, 比企直樹, 井田智, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 松田達雄, 古川陽菜, 本多通孝, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
胃癌手術におけるドレーンアミラーゼの意義に関する検討.
第115回日本外科学会定期学術集会：名古屋市, 2015

130. 神谷諭, 比企直樹, 井田智, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 松田達雄, 古川陽菜, 本多通孝, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
胃癌周術期におけるドレーンアミラーゼ値と術後合併症に関する検討.
第87回日本胃癌学会総会：広島市, 2015

131. 井田智, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 松田達雄, 速水克, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
胃癌内視鏡非治癒切除後の追加外科切除の適応.
第115回日本外科学会定期学術集会：名古屋市, 2015

132. 井田智, 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 佐野武, 山口俊晴
胃癌内視鏡非治癒切除後のリンパ節転移に及ぼす因子.
第13回日本消化器外科学会大会：東京, 2015

133. 井田智, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 松田達雄, 速水克, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
胃癌内視鏡非治癒切除後のリンパ節転移に及ぼす因子.

第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

134. 川勝章司, 布部創也, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 熊谷厚志, 大橋学, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
胃癌内視鏡的非治癒切除後の外科的追加切除の検討.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

135. 中島聰總
胃癌の歴史　成熟期 胃癌治療ガイドラインの成立の経緯.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

136. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 神谷諭, 渡邉元己, 佐野武, 山口俊晴
胃癌に対する胃切除術とピロリ菌の除菌時期に関するランダム化比較試験.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

137. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 神谷諭, 佐野武, 山口先生
胃切除術後Petersen'sヘルニアの診断と治療.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

138. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 速水克, 井田智, 佐野武, 山口俊晴
肥満患者に対する腹腔鏡下胃切除術の手術成績の検討.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

139. 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 三瀬祥弘, 松村優, 武田良祝, 熊谷祐, 市田洋文, 田中真之, 齋浦明夫
肝門部胆管癌の切除成績～切除断端の予後に対する影響.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

140. 田中真之, 齋浦明夫, 武田良祝, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐
肝胆膵領域手術における大出血時の対応：どう止めるか、どう逃げるか.
第7回TKB: 木更津市, 2015

141. 石沢武彰, 田中真之, 寺澤無我, 渡邉元己, 松木亮太, 市田洋文, 畑太悟, 武田良祝, 松村優, 三瀬祥弘, 井上陽介, 高橋祐, 山下俊, 國土典宏, 齋浦明夫
肝胆膵領域における蛍光ナビゲーション手術の実際と将来展望.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

142. 石沢武彰, 齋浦明夫, 田中真之, 寺澤無我, 武田良祝, 熊谷祐, 松木亮太, 市田洋文, 松村優, 三瀬祥弘, 井上陽介, 高橋祐, 山下俊, 神谷真子, 浦野泰照, 國土典宏
肝胆膵手術における画像支援がもたらす近未来 2 開腹/鏡視下手術の技術共有が実現する近未来の蛍光ガイド下肝胆膵手術.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

143. 石沢武彰
肝癌治療選択における肝機能評価の現状と課題.
第51回日本肝癌研究会: 神戸市, 2015

144. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 永田淳, 大野吏輝, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 峯真司, 渡邊雅之, 井上陽介, 石沢武彰, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
結腸癌及びRS直腸癌におけるリンパ節転移部位によるstasingの再検討.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

145. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 永田淳, 長嵜寿矢, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 福長洋介, 上野雅資
結腸がんに対する腹腔鏡下結腸切除術の実際.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

146. 市田洋文, 石沢武彰, 松木亮太, 熊谷祐, 武田良祝, 松村優, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐, 齋浦明夫
経胸腔アプローチを利用した腹腔鏡下肝S7,S8部分切除術.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

147. 福留惟行, 若槻尊, 福長洋介, 松枝清, 水沼信之
経皮経肝静脈瘤塞栓術を施行したストーマ静脈瘤の一例.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

148. 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志, 神谷諭, 本多通孝, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
組織学的進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の治療成績.

第70回日本消化器外科学会総会：浜松市, 2015

149. 古川陽菜, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 本多通孝, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
神経温存手術の術後機能評価 当院における迷走神経腹腔枝温存の臨床的検討　腹腔鏡下幽門保存胃切除症例の検討から.
第87回日本胃癌学会総会：広島市, 2015

150. 佐野武
研究者主導臨床試験のpublicationの現状解析と、ガイドラインへのインパクト.
第87回日本胃癌学会総会：広島市, 2015

151. 奥村康弘
短期術後経過中における炎症反応が胃癌の予後に及ぼす影響.
第45回胃外科・術後障害研究会：名古屋市, 2015

152. 奥村康弘, 比企直樹, 松田達雄, 速水克, 井田智, 神谷諭, 西田康二郎, 峯真司, 布部創也, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
短期術後経過中における炎症反応が胃癌の予後に及ぼす影響.
第77回日本臨床外科学会総会：福岡市, 2015

153. 奥村康弘, 比企直樹, 西田康二郎, 峯真司, 布部創也, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
短期術後経過中における炎症反応が胃癌の予後に及ぼす影響.
第87回日本胃癌学会総会：広島市, 2015

154. 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎
短期および長期成績からみた食道癌に対するサルベージ手術の適応.
第23回日本消化器関連学会週間（JDDW）：東京, 2015

155. 黒河内喬範
直腸脱の治療方針および治療成績.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会：名古屋市, 2015

156. 濱崎俊輔, 秋吉高志, 小倉淳司, 永田淳, 長嵜寿矢, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
直腸癌術後側方リンパ節再発に対するサルベージ手術の検討.
第70回日本消化器外科学会総会：浜松市, 2015

157. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 福長, 洋., 長山聡, 長嵜寿矢, 永田淳, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 齋浦明夫, 有田淳一, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 峯真司, 西田康二郎, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
直腸癌に対する腹腔鏡外科手術.
第115回日本外科学会定期学術集会：名古屋市, 2015

158. 市田洋文, 斎浦明夫, 武田良祝, 寺澤無我, 田中真之, 松村優, 松木亮太, 畑大悟, 三瀬祥弘, 井上陽介, 石沢武彰, 高橋祐
画像解析ソフトを用いた肝内側区域門脈分岐形態の検討.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京, 2015

159. 武田良祝, 齋浦明夫, 寺澤無我, 田中真之, 熊谷祐, 松村優, 松木亮太, 小西毅, 石沢武彰, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐
無症状膵癌の特徴について.
第115回日本外科学会定期学術集会：名古屋市, 2015

160. 武田良祝, 斎浦明夫, 寺沢無我, 田中真之, 松村優, 畑太悟, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐
無症状膵癌の特徴と予後について.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京, 2015

161. 松木亮太, 三瀬祥弘, 市田洋文, 武田良祝, 田中真之, 寺澤無我, 畑太悟, 松村優, 井上陽介, 石沢武彰, 高橋祐, 斎浦明夫
深部大腸癌肝転移に対するParenchymal-Sparing Hepatectomyの安全性の検討.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京, 2015

162. 熊谷厚志
根治切除不能な悪性幽門狭窄症に対するpartial stomach partitioning gastrojejunostomyの意義についてのメタ解析.
第77回日本臨床外科学会総会：福岡市, 2015

163. 宮城幹史, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子
早期胃管癌に対しESDを施行後、前胸部皮膚熱傷をきたした5病変の検討.
第101回日本消化器病学会総会: 仙台市, 2015

164. 松田達雄, 比企直樹, 布部創也, 井田智, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 神谷諭, 古川陽菜, 本多通孝, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
早期胃癌やDelleを有するSMTに対するLECSの適応拡大にむけた手技の工夫とその成績 (Inverted LECS法).
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

165. 松田達雄, 熊谷厚志, 江藤弘二郎, 川勝章司, 安福至, 井田智, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 神谷諭, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
早期胃癌の術前診断で手術を行ったU領域胃癌患者の特徴.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

166. 速水克, 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 松田達雄, 井田智, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 神谷諭, 本多通孝, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の再発症例の検討.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

167. 速水克, 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志, 川勝章司, 安福至, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴
早期胃癌における幽門側胃切除術後の肉眼的口側断端距離と腫瘍学的安全性.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

168. 安福至, 藤崎順子, 村松雄輔, 清水智樹, 富田英臣, 宮本勇治, 堀内裕介, 井上大, 大前雅実, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
早期胃癌ESD非治癒切除後8年経過したのち胃リンパ節再発、腹膜播種、傍大動脈リンパ節転移をきたした1例.
第100回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2015

169. 福長洋介
施設の位置づけの違いによる腹腔鏡下大腸手術の現況
第83回大腸癌研究会: 久留米市, 2015

170. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 永田淳, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 五十嵐正広, 千野晶子, 岸原輝仁
当院における進行結腸癌に対する腹腔鏡手術の治療成績.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会: 名古屋市, 2015

171. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 永田淳, 高津有紀子, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 日吉幸晴, 三城弥範, 宮城幹史
当院における進行大腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

172. 小倉淳司, 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿矢, 永田淳, 高津有紀子, 濱崎俊輔, 布部創也, 齋浦明夫, 比企直樹, 山口俊晴
当院における進行下部直腸癌の治療戦略.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

173. 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 熊谷厚志, 峯真司, 西田康二郎, 渡邊雅之, 佐野武
当院における腹腔鏡下胃切除後の再建法：術後QOLを保つために.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

174. 辻浦誠浩
当院における腹腔鏡下幽門側胃切除術と腹腔鏡下幽門保存胃切除術の術後栄養状態についての比較検討.
第13回日本消化器外科学会大会: 東京, 2015

175. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 安福至, 川勝章司, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 神谷諭, 山口俊晴
当院における腹腔鏡下幽門側胃切除術と幽門保存胃切除術の手術成果と術後栄養状態についての比較検討.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

176. 松田達雄, 比企直樹, 布部創也, 井田智, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 神谷諭, 古川陽菜,

本多通孝, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
当院における腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）105例の治療成績.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

175. 松田達雄
当院における胃粘膜下腫瘍、胃癌に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除(LECS)の治療成績.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

176. 長嵜寿矢, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 五十嵐正広, 為我井芳郎, 千野晶子, 岸原輝仁, 石井雄一, 山本智理子, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
当院における直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清の治療成績.
第82回大腸癌研究会: 東京, 2015

177. 濱崎俊輔, 秋吉高志, 福岡宏倫, 福田雄三, 橋爪良輔, 小倉淳司, 三城弥範, 日吉幸晴, 永田淳, 長嵜寿矢, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
当院における横行結腸癌の腹腔鏡下手術の定型化.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

178. 安福至, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 川勝章司, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 井田智, 神谷諭, 山口俊晴
当院における幽門狭窄を伴う進行胃癌に対する腹腔鏡下胃空腸バイパス術の検討.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

179. 長嵜寿矢, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 永田淳, 佐野武, 山口俊晴
当院における局所進行直腸癌に対する集学的治療.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

180. 奥村康弘, 比企直樹, 山本頼正, 平澤俊明, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
当院における十二指腸腫瘍に対するLECS(D-LECS)の経験.
第100回日本消化器内視鏡学会関東地方会: 東京, 2015

181. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 渡邊雅之, 辻浦誠浩, 井田智, 速水克, 神谷諭, 古川陽菜, 松田達雄, 奥村康弘, 佐野武, 山口俊晴
幽門保存胃切除術の術後機能評価 幽門保存胃切除術の術後症状、栄養状態およびQOLの評価.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

182. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 比企直樹, 齋浦明夫, 渡邊雅之, 布部創也, 峯真司
尿路系臓器浸潤を伴う局所進行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の適応拡大とその手技.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

183. 福長洋介
大腸腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術（Laparoscopy Endoscopy Cooperative surgery ; LECS-CR）の可能性.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

184. 渡邉元己, 三瀬祥弘, 寺澤無我, 畑太悟, 武田良祝, 田中真之, 市田洋文, 松木亮太, 松村優, 井上陽介, 石沢武彰, 高橋祐, 齋浦明夫
大腸癌肝転移の早期肝再発に対する再肝切除の意義.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

185. 長山聡, 白水崇, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 福長洋介, 齋浦明夫, 朝長毅, 上野雅資, 佐野武
大腸癌原発巣・肝転移巣を用いたプロテオーム解析による転移マーカーの探索.
第115回日本外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2015

186. 濱崎俊輔, 福長洋介, 宮城幹史, 橋爪良輔, 小倉淳司, 高津有紀子, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸癌卵巣転移切除症例の検討.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会: 名古屋市, 2015

187. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿也, 永田淳, 小倉淳司, 高津由紀子, 濱崎俊輔, 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸癌に対する集学的治療　直腸 進行下部直腸癌に対する集学的治療戦略.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会: 名古屋市, 2015

188. 橋爪良輔, 藤本佳也, 福岡宏倫, 福田雄三, 濱崎俊輔, 小倉淳司, 三城弥範, 日吉幸晴, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
大腸癌イレウスに対しステント留置後,腹腔鏡手術施行した12例の検討.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

189. 永田淳, 福長洋介, 長嵜寿矢, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 高津有紀子, 橋爪良輔, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資
大腸疾患に対するReduced port surgeryの手技と工夫　適応と限界も含めて 腹部小切開を必要としない直腸癌のNeedlescopic Surgery-NS-APR/ISRの手術手技と治療成績.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会: 名古屋市, 2015

190. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 齋浦明夫, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 熊谷厚志, 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 佐野武
大腸切除後の消化管再建と吻合の手技（縫合不全ゼロを目指して:大腸癌4000例以上の経験から）.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

191. 三瀬祥弘, 松村優, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫
多発大腸癌肝転移に対する実質温存肝切除の長期予後に及ぼす影響.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

192. 濱崎俊輔, 長山聡, 福岡宏倫, 福田雄三, 宮城幹史, 橋爪良輔, 小倉淳司, 高津有紀子, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 福長洋介, 上野雅資
外腸骨リンパ節転移をきたした右側結腸癌の2例.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

193. 門田守人
外科医45年の経験から、私が若手医師に伝えたいこと.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

194. 福田雄三, 藤本佳也, 福岡宏倫, 橋爪良輔, 三城弥範, 日吉幸晴, 濱崎俊輔, 小倉淳司, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
回腸カルチノイド４例の検討.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

195. 松田達雄, 比企直樹, 布部創也, 平澤俊明, 山本頼正, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
噴門部粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除(LECS)の手技とその適応.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

196. 井田智, 比企直樹, 吉川貴己, 坂巻顕太郎, 伊藤誠二, 藤谷和正, 滝口信浩, 川島吉之, 西川和宏, 笹子三津留, 青山徹, 本多通孝, 佐藤勉, 布部創也, 長晴彦
周術期EPA含有栄養剤による胃全摘術後の体重減少抑制効果を検証する第三相試験.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

197. 渡邉元己, 藤本佳也, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 齋浦明夫, 上野雅資
同時肝切除を伴う腹腔鏡下S状結腸切除の有用性と安全性の検討.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

198. 畑太悟, 井上陽介, 松村優, 寺澤無我, 武田良祝, 田中真之, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐, 齋浦明夫
原発性十二指腸癌SM以深37切除例の検討.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

199. 松村優, 齋浦明夫, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 三瀬祥弘, 市田洋文, 田中真之, 松木亮太, 武田良祝
十二指腸空腸移行部の進行癌に対するtotal mesopancreas dissection を伴った膵温存遠位十二指腸切除.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

200. 井上陽介, 齋浦明夫, 武田良祝, 田中真之, 松木亮太, 市田洋文, 松村優, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐
前方アプローチ＋SMAhanging法が膵頭十二指腸切除でのCentralvascularligationを可能にする.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

201. 井上陽介, 齋浦明夫, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐

前方アプローチ＋SMA hanging法が膵頭十二指腸切除でのCentral vascular ligationを可能にする.
第77回日本臨床外科学会総会：福岡市, 2015

202. 小西毅
前化学放射線療法を併用した鏡視下手術の有用性と長期成績の検討.
第82回大腸癌研究会：東京, 2015

203. 松村優, 齋浦明夫, 武田良祝, 寺澤無我, 田中真之, 熊谷祐, 市田洋文, 松木亮太, 石沢武彰, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐
切除可能膵癌に対する手術先行の短期治療成績：早期再発と術後補助化学療法導入困難例の危険因子解析.
第115回日本外科学会定期学術集会：名古屋市, 2015

204. 小西毅, 篠崎英司, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 水沼信之, 小口正彦, 齋浦明夫, 山口俊晴
再発リスクの高い局所進行直腸癌に対する術前mFOLFOX6＋BevacizumabとS-Ⅰ化学放射線療法の逐次投与に関する臨床第Ⅱ相試験.
第115回日本外科学会定期学術集会：名古屋市, 2015

205. 高津有紀子, 福長洋介, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 岸原輝仁, 千野晶子, 五十嵐正広, 為我井芳郎, 上野雅資
内視鏡的切除後、組織学的に追加切除の適応であった大腸SM癌を経過観察したところ再発した9例の検討.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会：名古屋市, 2015

206. 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 熊谷厚志, 井田智, 佐野武
内視鏡下胃切除教育における手術を物語（narative)として捉えることの重要性.
第70回日本消化器外科学会総会：浜松市, 2015

207. 松田達雄, 比企直樹, 布部創也, 平澤俊明, 山本頼正, 井田智, 辻浦誠浩, 速水克, 神谷諭, 古川陽菜, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
内視鏡を活用したあらたな診療展開　胃、食道胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除(LECS)107例の治療成績.
第100回日本消化器内視鏡学会関東地方会：東京, 2015

208. 齋浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 井上陽介, 石沢武彰, 武田良祝, 寺澤無我, 熊谷祐, 田中真之, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 小西毅, 福長洋介
両葉多発大腸癌肝転移に対する術前化学療法は予後をを改善させるか.
第115回日本外科学会定期学術集会：名古屋市, 2015

209. 佐野武
世界の胃癌手術の現状と日本の果たすべき役割.
第87回日本胃癌学会総会：広島市, 2015

210. 秋吉高志
下部進行直腸癌に対する集学的治療と腹腔鏡下手術.
Colorectal Cancer Symposium in SAITAMA：さいたま市, 2015

211. 小倉淳司, 秋吉高志, 福田雄三, 福岡宏倫, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 三城弥範, 日吉幸晴, 永田淳, 長嵜寿矢, 小西毅, 藤本佳也, 福長洋介, 上野雅資
下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清術の要点.
第28回日本内視鏡外科学会総会：大阪市, 2015

212. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿矢, 永田淳, 小倉淳司, 山口俊晴
下部直腸癌側方リンパ節転移に対する当院の治療戦略と治療成績.
第70回日本消化器外科学会総会：浜松市, 2015

213. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 三城弥範, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 福岡宏倫, 福田雄三, 宮城幹史
下部直腸癌に対する内肛門括約筋間直腸剥離術および直腸切断術.
第28回日本内視鏡外科学会総会：大阪市, 2015

214. 田中真之, 齋浦明夫, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐
下大静脈浸潤を有する肝内胆管癌に対して下大静脈合併切除・非再建とした症例の周術期管理の教訓.
第８回東京外科周術期管理セミナー：東京, 2015

215. 田中真之, 齋浦明夫, 武田良祝, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐
上腸間膜静脈・脾静脈合流部合併切除を伴う膵頭十二指腸切除における脾静脈再建の検討.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

216. 門田守人
わが国のがん対策の現状と今後の展開.
第37回日本手術医学会総会: 大阪市, 2015

217. 門田守人
わが国のがん医療に求められるもの.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

218. 福長洋介
センター病院における現況.
第44回大腸疾病外科療法研究会: 久留米市, 2015

219. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 長嵜寿矢, 永田淳, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 高津有紀子, 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
ストーマ合併症の現状と治療 ストーマ造設の実際と合併症の治療.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会: 名古屋市, 2015

220. 秋吉高志
ここまできた！腹腔鏡下大腸切除術　新時代へ：Specialistに聞く進行がんへの手技.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

221. 比企直樹
がん医療の変遷 外科病棟における栄養管理の変遷　だれが栄養を管理すべきなのか?
第49回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会: 東京, 2015

222. 秋吉高志
SPIESシステムを用いたディープな解剖を討論する-直腸癌手術における側方郭清と低位骨盤内解剖.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

223. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴
Petersen'sヘルニアの診断と治療経験.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

224. 佐野武
JCOG0110（脾摘RCT）最終生存解析結果.
第87回日本胃癌学会総会: 広島市, 2015

225. 寺澤無我, 石沢武彰, 斎浦明夫, 高橋祐, 井上陽介
Indocyanine greenの蛍光をカラー像に重畳する新規イメージングシステムを用いた腹腔鏡下肝切除への応用.
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会: 東京, 2015

226. 日吉幸晴, 藤本佳也, 福岡宏倫, 福田雄三, 三城弥範, 宮城幹史, 小倉淳司, 橋爪良輔
FAPに対する腹腔鏡下大腸全摘術.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

227. 小倉淳司, 秋吉高志, 宮城幹史, 橋爪良輔, 濱崎俊輔, 高津有紀子, 永田淳, 長嵜寿矢, 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
cT3N1下部直腸癌に対する治療戦略 cT3N1下部直腸癌に対する治療戦略.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会: 名古屋市, 2015

228. 渡邊雅之
Crevicothoracoscopic approachによる反回神経周囲リンパ節のen bloc郭清.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

229. 速水克, 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 熊谷厚志, 本多通孝, 峯真司, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴
The clinical outcome and evaluation of laparoscopic proximal gastrectomy with valvuloplasty by double flap technique.
第70回日本消化器外科学会総会: 浜松市, 2015

230. 井上陽介, 齋浦明夫, 田中真之, 武田良祝, 松村優, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐
Borderline resectable膵頭部癌に対するsurgery upfront approachの成績と今後の課題.
第77回日本臨床外科学会総会: 福岡市, 2015

231. 齋浦明夫, 小野嘉大, 井上陽介
Borderline resectable膵癌とその治療方針 膵

頭部癌に対する門脈　脾静脈合流部合併膵頭十二指腸切除後に脾静脈再建は不要か?
第27回日本肝胆膵外科学会学術集会：東京, 2015

乳腺外科

1. Ogiya, A., Kitagawa, D., Sakai, T., Miyagi, Y., Iijima, K., Morizono, H., Makita, M., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Lymphedema incidence over time with sentinel lymph node dissection alone of Japanese women.
14th St.Gallen Breast Cancer Conference: Vienna, Austria, 2015

2. 貴志美紀, 小林心, 柴山朋子, 深田一平, 荒木和浩, 高橋俊二, 伊藤良則, 大野真司
髄注化学療法を継続した乳癌の1例.
第12回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市, 2015

3. 北川大, 喜多瑞穂, 野村秀高, 中島絵里, 芦原有美, 新井正美, 岩瀬拓士
遺伝性乳がん・卵巣がん(HBOC)のスクリーニングの現状 がん専門病院としての遺伝性乳がん・卵巣がん(HBOC)への取り組みと現状.
第21回日本家族性腫瘍学会学術集会：さいたま市, 2015

4. 新堰佳世子, 照屋なつき, 北川大, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
診断後4年で皮膚浸潤・自壊をきたしたDCIS comedo typeの1例.
第24回乳癌画像研究会：東京, 2015

5. 叶典子, 五味直哉, 新井正美, 岩瀬拓士
術後サーベイランスで乳房超音波が有用であった遺伝性乳癌の１例.
第77回日本臨床外科学会総会：福岡市, 2015

6. 武田美鈴, 中島絵里, 坂井威彦, 新井正美, 小口正彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司
術前にLi-Fraumeni症候群と診断し放射線治療の是非について多角的に検討を重ねた若年性乳癌.
第12回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市, 2015

7. 新堰佳世子, 蒔田益次郎, 北川大, 貴志美紀, 井上寛章, 鈴木えりか, 師尾典子, 照屋なつき, 荻谷朗子, 坂井威彦, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 秋山太, 岩瀬拓士
若年者乳癌の発育進展形式についての検討.
第23回日本乳癌学会学術総会：東京, 2015

8. 大野真司
若年性乳がん患者における妊孕性温存.
第53回日本癌治療学会学術集会：京都市, 2015

9. 森園英智, 蒔田益次郎, 北川大, 荻谷朗子, 坂井威彦, 飯島耕太郎, 宮城由美, 小林心, 深田一平, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
若年乳癌患者の妊孕性予測因子の研究.
第23回日本乳癌学会学術総会：東京, 2015

10. 阿部朋未, 森園英智, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司
腫瘤で発見された男性Paget病の一例.
第12回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市, 2015

11. 岩瀬拓士
米国および日本におけるマーカ留置の現状と展望.
第23回日本乳癌学会学術総会：東京, 2015

12. 照屋なつき, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
硬化性病変を背景に有する乳癌症例において、同時性・異時性に両側乳癌を発症する頻度.
第23回日本乳癌学会学術総会：東京, 2015

13. 貴志美紀, 蒔田益次郎, 照屋なつき, 北川大, 荻谷朗子, 坂井威彦, 宮城由美, 森園英智, 飯島耕太郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
異常乳頭分泌で経過観察中に診断される乳癌について.
第23回日本乳癌学会学術総会：東京, 2015

14. 大槻花恵, 片岡明美, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司
検診マンモグラフィにて乳腺後方の脂肪織内に淡いspiculationを認め、良悪性の識別を要した１例.
第12回日本乳癌学会関東地方会：さいたま市, 2015

15. 蒔田益次郎, 坂井威彦, 片岡明美, 北川大, 荻谷朗子, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 小林心, 小林隆之, 深田一平, 荒木和浩, 高橋俊二, 伊藤良則, 五味直哉, 小口正彦, 喜多瑞穂, 新井正美, 秋山太, 岩瀬拓士
最終出産からの年数が浅いことがホルモン感受性を低下させて若年者(30歳未満)乳癌の予後に影響する.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

16. 萩谷朗子
晩期再発乳癌の再発後の経過を探る.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

17. 片岡明美, 徳永えり子, 増田慎三, 枝園忠彦, 宮下美香, 川畑貴美子, 友滝愛, 宮田裕章, 木下貴之, 徳田裕
日本乳癌学会全国乳がん患者登録調査による若年性乳癌の予後解析結果.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

18. 師尾典子, 萩谷朗子, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
急速増大を認めたが線維腺腫として経過観察された悪性葉状腫瘍の一例.
第24回乳癌画像研究会: 東京, 2015

19. 岩田侑子, 坂井威彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司
対側乳房に異時性発生した悪性葉状腫瘍の一例.
第12回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2015

20. 岩瀬拓士
外科標準術式　若手外科医のために 乳腺外科
人工物による同時再建を考慮に入れた乳房切除術.
日本外科学会第88回卒後教育セミナー: 福岡市, 2015

21. 照屋なつき, 宮城由美, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
右乳癌術後, 対側の低エコー域に伴う構築の乱れが顕在化し, 診断された異時性両側性硬化性腺症内癌の一例.
第24回乳癌画像研究会: 東京, 2015

22. 吉田和世, 小林心, 深田一平, 荒木和浩, 堀井理絵, 秋山太, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 大野真司, 伊藤良則
再発時にHER2が陽転化したﾄﾘﾌﾟﾙﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ乳癌の1例
第12回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2015

23. 岩瀬拓士
乳腺疾患における粗大な石灰化.
第35回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 盛岡市, 2015

24. 岩瀬拓士
乳癌リンパ節転移に対する治療の考え方.
南東北晩期高齢者乳癌治療研究会: 山形市, 2015

25. 岩瀬拓士
乳癌のリンパ節転移を考える.
第35回長野県乳腺診断フォーラム: 松本市, 2015

26. 荻谷朗子, 鈴木えりか, 照屋なつき, 北川大, 中島絵里, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳癌センチネルリンパ節転移陽性に対する成績と工夫 センチネルリンパ節生検として行われた胸骨傍リンパ節生検の治療成績.
第40回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2015

27. 岩瀬拓士
乳房再建後の局所再発.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

28. 宮城由美, 照屋なつき, 荻谷朗子, 坂井威彦, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
マンモグラフィにおける集簇性石灰化の検討
検診で拾い上げなくとも良い石灰化は見極められるか?
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

29. 荻谷朗子, 北川大, 中島絵里, 坂井威彦, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 伊藤良則, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
センチネルリンパ節生検郭清省略後に所属リンパ節単独再発を来した症例の臨床病理学的特徴を探る.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

30. 飯島耕太郎, 宮城由美, 照屋なつき, 北川大, 中島絵里, 荻谷朗子, 坂井威彦, 森園秀智, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士
スキルアップのためのウエアラブルカメラによる検査治療手技の記録について.
日本乳癌学会総会プログラム抄録集: 東京, 2015

31. 新堰佳世子, 坂井威彦, 森園英智, 池畑浩一, 堀井理絵, 秋山太
USで硬癌が疑われたが、細胞診にて顆粒細胞腫と診断した1例.
第56回日本臨床細胞学会総会: 松江市, 2015

32. 坂井威彦, 照屋なつき, 北川大, 荻谷朗子, 森園英智, 宮城由美, 飯島耕太郎, 蒔田益次郎, 小口正彦, 伊藤良則, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太
Low grade DCISに術後放射線療法は必要か？厳格な病理学的断端診断に基づくDCISに対する非照射温存手術の長期成績.
第6回DCIS研究会: 高松市, 2015

33. 照屋なつき, 荒木和浩, 深田一平, 小林心, 小林隆之, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
HER2陽性転移性乳癌に対するトラスツズマブ・エムタンシンの有用性に関する後方視的検討.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

34. 北川大, 岩瀬拓士
HBOC診療最前線 遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)のサーベイランス中に発見された原発性乳癌の2例.
第27回日本内分泌外科学会総会: 福島市, 2015

35. 大野真司
Era of Targeting Theraphy: ER陽性乳がんの治療ストラテジーを考える.
第12回日本乳癌学会中四国地方会: 徳島市, 2015

36. 坂井威彦, 照屋なつき, 北川大, 荻谷朗子, 宮城由美, 飯島耕太郎, 森園英智, 蒔田益次郎, 小口正彦, 伊藤良則, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
DCISに対する厳格な病理学的断端診断に基づいた非照射温存手術　温存乳房と対側乳房の癌の長期発生率の検討.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

37. 阿部朋未
70歳代女性左乳房の乳頭びらんとNT52mmの0.7cm大腫瘤.
第76回東京乳腺研究会: 東京, 2015

乳腺内科

1. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Kobayashi, T., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ito, Y.
The early onset of peripheral neuropathy of paclitaxel is a strong predictor for prolongation of PFS in patients with metastatic breast cancer.
European Society for Medical Oncology European Cancer Congress (40thESMO-18thECC 2015): Vienna, Austria, 2015

2. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Takahashi, S., Gomi, N., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
The pattern of tumor shrinkage is associated with prognosis in low grade luminal early breast cancer during neoadjuvant chemotherapy.
38th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, USA, 2015

3. 倉田麻美, 鈴木えりか, 師尾典子, 稲垣里奈, 照屋なつき, 小林心, 深田一平, 柴山朋子, 柳裕代, 小林隆之, 荒木和浩, 高橋俊二, 伊藤良則
Bevacizumab+Paclitaxel療法抵抗性の転移再発乳癌に対する次治療の検討.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

4. 師尾典子, 荒木和浩, 堀井理絵, 伊藤良則, 秋山太, 岩瀬拓士
HER2陽性手術可能乳癌に対するトラスツズマブを含む治療後の再発例の検討.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

5. 小林心, 伊藤良則, 堀井理絵, 宮城由美, 深田一平, 荒木和浩, 高橋俊二, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司
Heterogeneity 薬物療法の立場から考える Intra-tumoral heterogeneity.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

6. 荒木和浩, 柳裕代, 深田一平, 小林心, 小林隆之, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
タキサン既治療ＨＥＲ２陽性進行乳癌に対するトラスツズマブおよびペルツズマブ併用におけるエリブリンの薬物動態と安全性の検討.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

7. 小林心, 伊藤良則, 柳裕代, 柴山朋子, 深田一平, 小林隆之, 荒木和浩, 高橋俊二, 岩瀬拓士
トリプルネガティブ転移再発乳癌におけるエリブリンの効果.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

8. 深田一平, 荒木和浩, 小林心, 柴山朋子, 小林隆之, 堀井理絵, 秋山太, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
リンパ節転移陰性乳癌に対する術前化学療法後の組織学的治療効果とリンパ節遺残に関する検討.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

9. 荒木和浩, 石田直子, 深田一平, 小林心, 堀井理恵, 秋山太, 蒔田益次郎, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
多重治療歴のある閉経後進行乳癌におけるフルベストラントの治療奏効期間.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

10. 柴山朋子, 柳裕代, 深田一平, 小林心, 小林隆之, 荒木和浩, 伊藤良則
当院におけるホルモン陽性転移乳癌に対する化学療法後内分泌維持療法の検討.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

11. 新堰佳世子, 照屋なつき, 北川大, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
診断後4年で皮膚浸潤・自壊をきたしたDCIS comedo typeの1例.
第24回乳癌画像研究会: 東京, 2015

12. 鈴木えりか, 小林心, 稲垣里奈, 柴山朋子, 柳裕代, 深田一平, 小林隆之, 荒木和浩, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
転移乳癌に対するエリブリン、カペシタビン後のゲムシタビンまたはビノレルビン治療の有効性に関する検討.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

13. 柳裕代, 荒木和浩, 柴山朋子, 深田一平, 小林心, 小林隆之, 高橋俊二, 伊藤良則
閉経後ホルモン陽性進行乳癌に対するエベロリムスとホルモン併用療法に関する有用性の検討.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

婦人科

1. Nomura, H., Takahashi, A., Usami, T., Matoda, M., Kanao, H., Kato, K., Takazawa, Y., Takeshima, N.
Clinicopathological features of primary malignant melanoma of the vagina.
European Society for Medical Oncology Asia Congress 2015 (ESMO-Asia): Singapore, 2015

2. Kanao, H.
Fertility sparing surgery for cervical cancer Laparoscopic radical trachrectomy.
XXI International Federation of Gynecology & Obstetrics (FIGO) World Congress: Vancouver, Canada, 2015

3. Kanao, H.
How to cope with complication in laparoscopic surgeries.
1st Joint Minimally Invasive Surgery Symposium: Hong Kong, 2015

4. Kanao, H.
Laparoscopic surgeries in gynecologic oncology-from TLH to pelvic exenteration.
1st Joint Minimally Invasive Surgery Symposium: Hong Kong, 2015

5. Kanao, H.
Laparoscopic total pelvic exenteration for gynecologic malignancies.
Advancing Minimally Invasive Gynecology Worldwide (AAGL) Shanghai Regional Meeting: Shanghai, China, 2015

6. Nomura, H., Nishio, H., Iwata, T., Takano, H., Morisada, T., Takeshima, N., Sasaki, H., Aoki, D.
A prospective observational study to evaluate the diagnostic performance of liquid-basesd cytology (LBC) versus conventional cytology for detecting uterine

cervical lesions.
39th European Congress of Cytology (ECC): Milan, Italy, 2015

7. Kato, K.
Role of modified posterior pelvic exenteration in gynecologic cancers.
4th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology: Seoul, Korea, 2015

8. Kanao, H.
Total laparoscopic nerve-sparing radical parametrectomy.
1st Joint Minimally Invasive Surgery Symposium: Hong Kong, 2015

9. 金尾祐之
Various types of total laparoscopic nerve-sparing radical hysterectomies and their effects on bladder function.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

10. 谷口智子, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 金尾祐之, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
同時化学放射線療法後の照射野内リンパ節再発に対して手術療法が有効であった子宮頸癌IIIb期の一例.
第129回関東連合産科婦人科学会学術集会: 東京, 2015

11. 高橋顕雅, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 金尾祐之, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体癌における10年以後の晩期再発症例に関する検討.
第129回関東連合産科婦人科学会学術集会: 東京, 2015

12. 的田眞紀, 山本阿紀子, 高橋顕雅, 尾松公平, 金尾祐之, 岡本三四郎, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
進行・再発子宮平滑筋肉腫に対する化学療法の治療成績.
第129回関東連合産科婦人科学会学術集会: 東京, 2015

12. 近藤英司, 的田眞紀, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一善, 竹島信宏
マニピュレーターを使用できない症例での子宮牽引法の工夫.
第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 東京, 2015

13. 竹島信宏
再発卵巣癌の治療　手術療法と化学療法 Cancer Boardでの選択.
第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 東京, 2015

14. 高橋顕雅, 的田眞紀, 阿部彰子, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
分娩前後に初めて診断された浸潤性子宮頸癌の治療経験.
第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 東京, 2015

15. 野村秀高, 高橋顕雅, 潮田至央, 谷口智子, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 竹島信宏
外陰癌手術における皮弁形成術(Stepladder V-Y advancement medial thigh flap).
第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 東京, 2015

16. 谷口智子, 加藤一喜, 宇佐美知香, 阿部彰子, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 馬屋原健司, 竹島信宏
手術時にスペーサー挿入し、その後放射線・陽子線・重粒子線照射を行った8症例.
第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 東京, 2015

17. 宇津木久仁子, 山本阿紀子, 杉山裕子, 加藤一嘉, 馬屋原健司, 竹島信宏
腟断端照射後の腟上皮内再発に対する腟摘出術.
第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 東京, 2015

18. 宇津木久仁子, 山本阿紀子, 野村秀高, 宇佐美知香, 加藤一嘉, 古田則行, 杉山裕子, 竹島信宏
リンパ節郭清術後16年で下肢リンパ浮腫から血管肉腫を発症した一例の細胞像.
第56回日本臨床細胞学会総会: 松江市, 2015

19. 山本阿紀子, 小松京子, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 金尾祐之, 馬屋原健司, 竹島信宏
卵巣転移をきたしたIA1期子宮頸部腺癌の1例.

第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

20. 杉山裕子, 佐々木寛, 森谷卓也, 頸部細胞診の自動化判定に関する研究班
婦人科細胞診精度管理における自動化細胞診支援システムの有用性に関する検討.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

21. 的田眞紀, 山本阿紀子, 高橋顕雅, 野村秀高, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体部漿液性腺癌における腹水細胞診が再発・再発部位に与える影響.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

22. 金尾祐之, 的田眞紀, 高橋顕雅, 山本阿紀子, 近藤英司, 野村秀高, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体部癌肉腫における腹水細胞診が再発・予後に与える影響.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

23. 野村秀高, 宇佐美知香, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 金尾祐之, 馬屋原健司, 杉山裕子, 竹島信宏
検診で施行した子宮内膜細胞診が診断の契機となったポリープ状異型腺筋腫の1例.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

24. 宇佐美知香, 杉山裕子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 金尾祐之, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
肉腫様変化を伴った卵巣未分化癌の一例.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

25. 近藤英司, 谷口智子, 潮田至央, 宇佐美知香, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一善, 馬屋原健司, 竹島信宏
腹腔鏡下子宮体がん根治術における術中腹腔洗浄細胞診の検討.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

26. 高橋顕雅, 的田眞紀, 宇佐美知香, 岡本三四郎, 近藤英司, 金尾祐之, 尾松公平, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏
術前細胞診で推定しえた小細胞癌と粘液性腺癌合併子宮頸癌の1例.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

27. 野村秀高, 杉山裕子, 谷川輝美, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
ポリープ状異型腺筋腫に対して妊孕性温存目的に高用量黄体ホルモン療法を施行した17例の長期治療成績.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

28. 高橋顕雅, 加藤一喜, 谷口智子, 宇佐美知香, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 竹島信宏
再発上皮性卵巣癌に対するSecondary debulking surgeryは早期の再発にも有用である.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

29. 金尾祐之, 竹島信宏, 安藤正明
女性骨盤神経叢における膀胱神経の求心性、遠心性神経の分布の違いについての検討.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

30. 潮田至央, 馬屋原健司, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 竹島信宏
婦人科悪性腫瘍手術における開創器使用の工夫.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

31. 宇津木久仁子, 山本阿紀子, 潮田至央, 野村秀高, 杉山裕子, 竹島信宏
婦人科癌手術後のリンパ浮腫発症の実態　浮腫予防の介入や術後アジュバント治療は影響を与えるか?
第67回日本産科婦人科学会学術講演会:
横浜市,2015

32. 山本阿紀子, 坂本公彦, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体癌の診断と治療 子宮体癌においてMRI上で計測した腫瘍体積がリンパ節転移の予測因子となりうるか.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

33. 的田眞紀, 高橋顕雅, 潮田至央, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏

子宮頸部腺癌リンパ節転移に対する術後CCRTと術後化学療法の治療効果を比較.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

34. 宇佐美知香, 加藤一喜, 谷口智子, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾祐之, 尾松公平, 近藤英司, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院で治療した卵管癌59例の検討.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

35. 谷口智子, 宇佐美知香, 高橋顕雅, 山本阿紀子, 岡本三四郎, 金尾祐之, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 杉山裕子, 竹島信宏
当院における子宮体癌発症Lynch症候群症例の検討.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

36. 近藤英司, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 加藤一喜, 竹島信宏
当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術の検討
準広汎子宮全摘～傍大動脈リンパ節生検まで.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

37. 岡本三四郎, 加藤一喜, 宇佐美知香, 高橋顕雅, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾祐之, 尾松公平, 近藤英司, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院における診断的腹腔鏡下手術施行症例の検討.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

38. 加藤一喜, 尾松公平, 宇佐美知香, 谷口智子, 近藤英司, 岡本三四郎, 的田眞紀, 野村秀高, 山本阿紀子, 馬屋原健司, 竹島信宏
進行卵巣癌に対する化療後の手術にて完全切除症例での術中腹水細胞診の有用性の検討.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

39. 野村秀高, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
あわあわを捌く　後腹膜腔の展開の工夫.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

40. 野村秀高, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
あわあわを捌く　膀胱・直腸の剥離.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

41. 加藤一喜, 野村秀高, 尾松公平, 宇佐美知香, 竹島信宏
再発卵巣がんに対して腹腔鏡下腫瘍減量手術を施行した一例.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

42. 的田眞紀, 長島稔, 高橋顕雅, 金尾祐之, 竹島信宏
子宮体癌StageIVBに対する腹腔鏡下子宮全摘術の有用性.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

43. 高橋顕雅, 長嶋稔, 的田眞紀, 金尾祐之, 竹島信宏
子宮鏡下子宮内膜切除術が診断に有用であった単頸双角子宮片側子宮体癌の1例.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

44. 近藤英司, 松浦基樹, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 竹島信宏
当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術67例の検討.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

45. 長島稔, 金尾祐之, 高橋顕雅, 的田眞紀, 尾松公平, 竹島信宏
当院における腹腔鏡下広汎子宮全摘出術についての検討.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

46. 金尾祐之, 的田眞紀, 長島稔, 高橋顕雅, 松浦基樹, 勝田隆博, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 宇津木久仁子, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
悪性腫瘍、深部子宮内膜症に対する手術に必要な骨盤解剖と手術戦略.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

47. 金尾祐之, 的田眞紀, 長嶋稔, 高橋顕雅, 松浦基樹, 勝田隆博, 宇佐美智香, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 宇津木久仁子, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
根治手術ならびに同時化学放射線療法後に骨盤壁に再発した子宮頸部腺がんに対し腹腔鏡下腫瘍摘出術を安全に完遂できた1例.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

48. 松浦基樹, 近藤英司, 岡本三四郎, 尾松公平, 竹島信宏
筋膜外子宮全摘術(子宮体癌)のために安全かつ的確に尿管・子宮動脈を同定するにはどうすればよいか? 開腹手術の手順と同様に.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

49. 宇佐美知香, 野村秀高, 山本阿紀子, 馬屋原健司, 竹島信宏
腹腔鏡下子宮全摘出術後に子宮平滑筋肉腫と診断された一例.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

50. 宇津木久仁子, 野村秀高, 近藤英司, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 勝田隆博, 岡本三四郎, 竹島信宏
腹腔鏡下所見および生検で診断しえた腹膜病変4種.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

51. 竹島信宏, 高橋顕雅
腹腔鏡下手術が診断および治療に有用であった早期子宮体癌の1例.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

52. 尾松公平, 野村秀高, 山本阿紀子, 宇佐美知香, 的田眞紀, 竹島信宏
腹腔鏡下手術により摘出しえたSertoli-Leydig腫瘍の1例.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 婦人科, 2015

53. 岡本三四郎, 松浦基樹, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾裕之, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
診断的腹腔鏡下手術にて腹腔内観察を行った後に根治手術を行った子宮体癌IVB期の1例.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

54. 金尾祐之, 的田眞紀, 高橋顕雅, 長島稔, 松浦基樹, 勝田隆博, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 宇津木久仁子, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
高齢者に対して行った腹腔鏡下骨盤内臓全摘術の1例.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

55. 竹島信宏
再発卵巣がんの治療戦略　当院の工夫と実践.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

56. 山本阿紀子, 宇津木久仁子, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体部明細胞腺癌の後方視的検討.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

57. 高橋顕雅, 的田眞紀, 潮田至央, 山本阿紀子, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 金尾祐之, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮内膜癌における5年以後のlate recurrence症例の検討.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

58. 竹島信宏
子宮頸がんの薬物療法.
第２回日本婦人科腫瘍学会研修会: 東京, 2015

59. 谷口智子, 加藤一喜, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸がん放射線治療 手術時に放射線・陽子線・重粒子線照射を考慮しスペーサー挿入を行った婦人科癌12症例について.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

60. 杉山裕子
子宮頸部初期病変とコルポ像 コルポ症例　治療施設の立場から.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

61. 的田眞紀, 高橋顕雅, 金尾祐之, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸部腺癌IIB期に対する治療選択が予後に与える影響.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

62. 尾松公平, 高橋顕雅, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 馬屋原健司, 竹島信宏
当科における再発子宮癌肉腫の治療経験.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

63. 竹島信宏
当院におけるRRSOの現況と今後の展望.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

64. 近藤英司, 岡本三四郎, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 金尾祐之, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術の術中腹水細胞診および術後最終病理の検討.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

65. 岡本三四郎, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 谷口智子, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 高澤豊, 竹島信宏
手術療法の新展開 当院における診断的腹腔鏡下手術施行症例の検討.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

66. 金尾祐之
系統解剖学と外科解剖学の融合、その先に見えるもの　腹腔鏡下子宮全摘術から骨盤内臓全摘術まで.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

67. 野村秀高, 宇佐美知香, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
腟原発悪性黒色腫の再発様式に関する検討.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

68. 宇津木久仁子, 山本阿紀子, 野村秀高, 宇佐美知香, 近藤英司, 岡本三四郎, 加藤一喜, 馬屋原健司, 杉山裕子, 竹島信宏
腟断端照射後の腟上皮内再発に対する腟摘出術.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

69. 宇佐美知香, 尾松公平, 谷口智子, 的田眞紀, 近藤英司, 金尾祐之, 加藤一喜, 竹島信宏
臨床におけるBevacizumab 当院における卵巣癌に対するBevacizumab併用療法の検討.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 盛岡市, 2015

70. 松浦基樹, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 金尾祐之, 竹島信宏
妊娠初期子宮頸部細胞診で診断されなかった進行子宮頸癌の3例.
第23回日本がん検診・診断学会総会: 札幌市, 2015

71. 谷口智子, 野村秀高, 新井正美, 喜多瑞穂, 金尾祐之, 近藤英司, 加藤一喜, 竹島信宏
当院でおこなったリスク低減両側卵巣卵管切除術(RRSO)19例の報告.
第21回日本家族性腫瘍学会学術集会: さいたま市, 2015

72. 金尾祐之
3D内視鏡画像から見る骨盤内解剖 外科解剖学的視点と系統解剖学的視点から見えてくる女性骨盤解剖と手術戦略.
第29回日本泌尿器内視鏡学会総会: 東京, 2015

73. 金尾祐之
婦人科腹腔鏡手術の最前線.
第29回日本泌尿器内視鏡学会総会: 東京, 2015

74. 金尾祐之
IMAGE 1 SPICEによる繊細、精密画像が解剖の理解を変える、手術が変わる：体腔内臓器の立体的相互関係とその法則に基づいたsuper radical surgery.
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 横浜市, 2015

75. 金尾祐之
いかに婦人科癌に立ち向かうか：開腹手術と腹腔鏡手術の利点を最大限に生かした治療戦略.

第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会：東京, 2015

76. 杉山裕子, 後藤理, 荷見勝彦, 高澤豊, 野田哲生, 森誠一
ゲノム解析からみた2種類の子宮体部類内膜腺癌.
第74回日本癌学会学術総会：名古屋市, 2015

77. 杉山裕子, 後藤理, 福井伸行, 土屋裕章, 青砥早希, 荷見勝彦, 加藤一喜, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 竹島信宏, 本山悌一, 高澤豊, 野田哲生, 森誠一
ゲノム解析からみた2種類の子宮体部類内膜腺癌.
第53回日本癌治療学会学術集会：京都市, 2015

78. 野村秀高, 杉山裕子, 竹島信宏
ポリープ状異型腺筋腫に対して妊孕性温存目的に高用量黄体ホルモン療法を施行した18例の長期治療成績.
関東ホルモンと癌研究会：東京, 2015

79. 松浦基樹, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 金尾祐之, 馬屋原健司, 竹島信宏
傍大動脈リンパ節に孤立性再発をきたした子宮体癌症例の検討.
第130回関東連合産科婦人科学会学術集会：千葉市, 2015

80. 杉山裕子, 伊藤崇彦, 山田麻理沙, 鈴木奈緒子, 池畑浩一, 星利良, 藤山淳三, 古田則行, 小松京子, 宇津木久仁子, 竹島信宏, 荷見勝彦, 高澤豊
内膜異型細胞(ATEC)と判定した細胞像と臨床的取り扱い.
第54回日本臨床細胞学会秋期大会：名古屋市, 2015

81. 金尾祐之
内視鏡外科のこれからの教育.
第28回日本内視鏡外科学会総会：大阪市, 2015

82. 金尾祐之
内視鏡画像から知る骨盤内解剖.
第28回日本内視鏡外科学会総会：大阪市, 2015

83. 高橋顕雅, 加藤一喜, 勝田隆博, 宇佐美知香, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 金尾祐之, 竹島信宏
再発上皮性卵巣癌に対するSecondary debulking surgeryの予後因子に関する検討.
第53回日本癌治療学会学術集会：京都市, 2015

84. 金尾祐之
出血に対するベストの対処法.
第28回日本内視鏡外科学会総会：大阪市, 2015

85. 宇津木久仁子, 松尾千穂, 田端聡, 堀真理子
制度面からみた現在のリンパ浮腫治療の限界とその打破にむけて.
第39回日本リンパ学会総会：東京, 2015

86. 長島稔, 高橋顕雅, 的田眞紀, 金尾祐之, 竹島信宏
化学療法開始が困難であった 若年性子宮体部神経内分泌癌の1例.
第375回東京産科婦人科学会例会：東京, 2015

87. 金尾祐之
外科解剖学的視点と系統解剖学的視点の融合から 見えてくる女性骨盤解剖とそれに基づく手術戦略 ：機能温存手術にも多臓器合併切除にも有用な解剖学的理論.
第53回日本癌治療学会学術集会：京都市, 2015

88. 金尾祐之
女性骨盤における神経温存術式に必要な解剖とその実際.
第28回日本内視鏡外科学会総会：大阪市, 2015

89. 平田徹
婦人科悪性腫瘍リンパ節郭清術における後腹膜縫合の有無による合併症の比較.
第67回日本産科婦人科学会学術講演会：横浜市, 2015

90. 野村秀高, 長島稔, 松浦基樹, 的田眞紀, 金尾祐之, 近藤英司, 竹島信宏
子宮体癌に対する腹腔鏡下en block骨盤リンパ節郭清術.
第28回日本内視鏡外科学会総会：大阪市, 2015

91. 松浦基樹, 近藤英司, 勝田隆博, 長島稔, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 金尾祐之, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏
子宮肉腫が疑われた血管内大細胞B細胞性リンパ腫の1例.
第54回日本臨床細胞学会秋季大会：名古屋市, 2015

92. 金尾祐之
子宮頸がんに対する腹腔鏡の導入.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

93. 近藤英司, 高橋顕雅, 松浦基樹, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 金尾祐之, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸部扁平上皮癌１ｂ１-２ｂ期に対する広汎子宮全摘術後の再発部位の検討.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

94. 的田眞紀, 長島稔, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 野村秀高, 近藤英司, 尾松公平, 金尾祐之, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮頸部腺癌術後高リスク症例に対する治療選択が予後に与える影響.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

95. 長島稔, 高橋顕雅, 的田眞紀, 金尾祐之, 竹島信宏
小細胞癌と粘液性腺癌を合併した 稀な子宮頸癌の1例
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

96. 野村秀高, 谷口智子, 宇佐美知香, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 金尾祐之, 加藤一喜, 新井正美, 竹島信宏
当院で施行した遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対するリスク低減卵巣卵管切除症例に関する検討.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

97. 松浦基樹, 近藤英司, 長島稔, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾祐之, 竹島信宏
当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術67例の検討.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

98. 長島稔, 的田眞紀, 高橋顕雅, 松浦基樹, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 金尾祐之, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏
急速に状態が悪化した子宮体部神経内分泌癌の1例.
第54回日本臨床細胞学会秋季大会: 名古屋市, 2015

99. 野村秀高, 宇佐美知香, 松浦基樹, 山本阿紀子, 尾松公平, 近藤英司, 金尾祐之, 馬屋原健司, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏
採卵時の卵巣嚢胞穿刺液の細胞診が疑陽性となり、その対応に苦慮した多嚢胞卵巣の1例.
第54回日本臨床細胞学会秋季大会: 名古屋市, 2015

100. 近藤英司, 松浦基樹, 野村秀高, 岡本三四郎, 竹島信宏
筋膜外子宮全摘（子宮体癌）のため安全かつ的確に尿管・子宮動脈を同定する.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

101. 高橋顕雅, 的田眞紀, 潮田至央, 金尾祐之, 竹島信宏
腟原発悪性黒色腫に対して腹腔鏡アプローチが有用であった骨盤内臓全摘術.
第374回東京産婦人科学会例会: 東京, 2015

102. 松浦基樹, 近藤英司, 岡本三四郎, 加藤一喜, 竹島信宏
腹腔鏡下子宮全摘術のアプローチ法を考える.
第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 東京, 2015

103. 高橋顕雅, 金尾祐之, 長島稔, 的田眞紀, 竹島信宏
腹腔鏡下広汎子宮頸部切除後完全中隔子宮に対し細径子宮鏡で中隔切除術を施行した1例.
第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 東京, 2015

104. 松浦基樹, 岡本三四郎, 近藤英司, 竹島信宏
腹腔鏡下手術が有用であった腟悪性黒色腫の1例.
第376回東京産科婦人科学会例会: 東京, 2015

105. 長島稔, 高橋顕雅, 的田眞紀, 金尾祐之, 竹島信宏
腹腔鏡下手術における開腹用ドレープのポケットを用いた検体回収法.
第28回日本内視鏡外科学会総会: 大阪市, 2015

106. 野村秀高, 宇佐美知香, 松浦基樹, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 金尾祐之, 竹島信宏
腹腔鏡下骨盤リンパ節郭清術―en bloc郭清術の手技.
第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 横浜市, 2015

107. 長島稔, 高橋顕雅, 的田眞紀, 金尾祐之, 高澤豊, 宮下宏紀, 竹島信宏
腹腔鏡支援下骨盤内臓全摘術を施行したPagetoid spreadを伴う肛門癌の1例.

第38回日本産婦人科手術学会/第119回日本産科麻酔学会学術集会: 東京, 2015

頭頸科

1. Kawabata, K.
Hot topics in head and neck reconstruction: mediastinal surgery for head and neck cancer using free flap reconstruction.
102nd Congress of the Italian Society of Otolaryngology Head and Neck Surgery: Roma, Itary, 2015

2. Kawabata, K.
Larynx preservation surgery for hypopharngeal carcinoma using free flap reconstruction.
102nd Congress of the Italian Society of Otolaryngology Head and Neck Surgery: Roma, Itary, 2015

3. Fukushima, H.
Is it really safe: Secondary T-E puncture subsequent to jejunum transplant?
第39回日本頭頸部癌学会/第4回アジア頭頸部癌学会: 神戸市, 2015

4. Shimbashi, W., Shinozaki, T., Hirakawa, H., Kamijo, T., Beppu, T., Okamoto, M., Matsuura, K., Suzuki, M., Ohori, J., Ebihara, M.
Symptom prevalence and functional status among patients with advanced head and neck carcinoma.
第39回日本頭頸部癌学会/第4回アジア頭頸部癌学会: 神戸市, 2015

5. 近藤貴仁, 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 蛯名彩, 福岡修, 吉田匡宏, 利安隆史, 仲野兼司
Cetuximab併用放射線治療後の救済手術についての検討.
第39回日本頭頸部癌学会/第4回アジア頭頸部癌学会: 神戸市, 2015

6. 服部雅優, 新橋渉, 蛯名彩, 近藤貴仁, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 福岡修, 日高竜太, 白尾浩太郎
中咽頭癌縦隔再発切除後に生じたChyloptysisの1例.
第39回日本頭頸部癌学会/第4回アジア頭頸部癌学会: 神戸市, 2015

7. 瀬戸陽, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 小泉雄, 神山亮介, 蛯名彩
手術治療を行った頭頸部悪性骨・軟部腫瘍の検討.
第39回日本頭頸部癌学会/第4回アジア頭頸部癌学会: 神戸市, 2015

8. 佐々木徹, 川端一嘉, 瀬戸陽
咽頭癌に対する経口的切除後の後発頸部リンパ節転移に関する検討.
第77回耳鼻咽喉科臨床学会学術講演会: 浜松市, 2015

9. 佐々木徹, 川端一嘉
頭頸部外科手術の基本手技.
第77回耳鼻咽喉科臨床学会学術講演会: 浜松市, 2015

10. 近藤貴仁, 佐々木徹, 川端一嘉, 瀬戸陽
頸部に発生した異所性過誤腫性胸腺腫の2例.
第77回耳鼻咽喉科臨床学会学術講演会: 浜松市, 2015

11. 新橋渉, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 神山亮介, 蛯名彩, 福岡修, 日高竜太, 濱孝憲, 太田久幸, 上里迅, 近藤貴仁, 服部雅優, 小幡和史
中咽頭癌におけるHPV感染と喫煙が及ぼす影響についての検討.
第116回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 東京, 2015

12. 戸田和寿, 杉谷巌, 山田恵子, 福岡修, 蛯名彩, 川端一嘉
甲状腺疾患治療の最前線 微小乳頭癌の非手術経過観察　石灰化や血流の経時的変化からみた微小癌の自然史.
第40回日本外科系連合学会学術集会: 東京, 2015

13. 小幡和史, 蛯名彩, 戸田和寿, 元井紀子, 川端一嘉, 杉谷巌
Lenvatinib著効により総頸動脈露出後出血を起こした甲状腺未分化癌の1例.

第48回日本甲状腺外科学会学術集会：東京, 2015

14. 服部雅優, 蛯名彩, 杉谷巌, 川端一嘉, 戸田和寿, 元井紀子
当科で経験した副甲状腺癌の4例.
第48回日本甲状腺外科学会学術集会：東京, 2015

15. 福岡修, 杉谷巌, 蛯名彩, 戸田和寿, 川端一嘉, 山田恵子
甲状腺無症候性微小乳頭癌の自然経過　超音波検査で評価した石灰化と血流の経時的変化.
第27回日本内分泌外科学会総会：福島市, 2015

16. 蛯名彩, 杉谷巌, 戸田和寿, 川端一嘉
遠隔転移を有しない甲状腺乳頭癌高危険度群の治療成績と予後予測因子の検討.
第48回日本甲状腺外科学会学術集会：東京, 2015

17. 福島啓文
プロヴォックスVegaを用いたシャント発声法と喉摘者QOL向上への取り組み.
第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：大阪市, 2015

18. 神山亮介, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 蛯名彩, 福岡修, 日高竜太, 上里迅, 近藤貴仁, 服部雅優
下咽頭喉頭全摘・食道同時手術症例の予後とQOL の検討.
第67回日本気管支食道外科学会総会：福島市, 2015

19. 新橋渉
中咽頭癌における放射線治療後再発症例の検討.
第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：大阪市, 2015

20. 日高竜太
副咽頭間隙腫瘍手術症例21 例の検討.
第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：大阪市, 2015

21. 蛯名彩
原発不明扁平上皮癌頸部リンパ節転移症例の検討.
第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：大阪市, 2015

22. 白尾浩太郎
口腔癌における嚥下改善手術の検討.
第60回日本口腔外科学会総会・学術大会：名古屋市, 2015

23. 服部雅優
対照的な臨床像を呈した機能性副甲状腺癌の2例.
第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：大阪市, 2015

24. 太田久幸
当科における下咽頭癌ステージ4期症例の臨床的検討.
第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：大阪市, 2015

25. 神山亮介
当科における縦隔気管孔形成術症例の臨床検討.
第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：大阪市, 2015

26. 福岡修
当科における聴器癌症例の検討.
第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：大阪市, 2015

27. 戸田和寿
術中神経モニタリングのコツと正常値・異常値.
第1回甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会：福島市, 2015

28. 近藤貴仁
頭頸部癌に対する根治的放射線療法における急性期有害事象の発症と救済手術後のSSI との関連に関する検討.
第25回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：大阪市, 2015

整形外科

1. Kanno, S., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Shiba, K., Yokoyama, H., Tada, H., Sawaizumi, M., Tanakura, K., Motoi, N., Sugiura, Y., Machinami, R., Hiura, N.
A 16-year-old male, undifferentiated pleomorphi sarcoma of the right upper arm.
27th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2015

2. Matsumoto, S.
The present conditions and future prospects of Japanese medical system for sarcoma.
1st International Symposium Foundation for Promotion of Cancer Research: Tokyo, 2015

3. Shibata, H., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Kanno, S., Tada, H., Yokoyama, H., Motoi, N., Sugiura, Y., Machinami, R., Hiruta, H.
A 25-year-old male, myxoid liposarcoma of the left tibia.
27th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2015

4. Gokita, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Funauchi, Y., Hayakawa, K., Kanno, S., Shibata, H., Yokoyama, H., Tada, H., Sugano, N., Motoi, N., Machinami, R., Hiruta, H., Kawaguchi, H.
A 59-year-old female, osteosarcoma of the right tibia.
27th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2015

5. Funauchi, Y., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Kanno, S., Shibata, H., Yokoyama, H., Tada, H., Sawaizumi, M., Tanakura, K., Motoi, N., Sugiura, Y., Machinami, R., Hiruta, H.
A 49-year-old male, solitary fibrous tumor of the left lower leg.
27th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: 2015

6. 三浪友輔, 松本誠一, 野呂瀬美生, 鬼頭宗久, 船内雄生, 五木田茶舞, 阿江啓介, 谷澤泰介
原発巣手術後10年以上経過し、肺転移が明らかになった軟部肉腫の3症例.
第64回東日本整形災害外科学会: 福島市, 2015

7. 柴田宏明, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 野呂瀬美生
骨盤発生の軟骨肉腫の治療成績.
第64回東日本整形災害外科学会: 福島市, 2015

8. 中山隆之, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 柴田宏明, 元井紀子, 中村卓郎
BCOR-CCNB3陽性肉腫の臨床像.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

9. 谷澤泰介, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 柴田宏明, 船内雄生, 横山裕之
GMRS下肢再建システムの短期治療経験.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

10. 五木田茶舞, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 早川景子, 神埜聖治, 柴田宏明, 澤村千草, 佐藤信吾, 中山隆之
デスモイド腫瘍に対するwait and see policyの位置づけ.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

11. 柴田宏明, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治
上腕骨骨腫瘍広範切除後の肩関節固定術　6例の19年以上にわたる長期成績.
第88回日本整形外科学会学術総会: 神戸市, 2015

12. 早川景子, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 柴田宏明, 横山裕之
中高年の原発性骨悪性腫瘍の治療成績.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

13. 谷澤泰介, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 柴田宏明, 船内雄生, 横山裕之
人工関節の長期成績 腫瘍用人工膝関節置換再建後20年以上フォローアップ症例の検討.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

14. 五木田茶舞, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 早川景子, 神埜聖治, 柴田宏明, 澤村千草, 佐藤信吾, 中山隆之
分子標的療法 骨巨細胞腫に対するデノスマブ療法　治療開始時のローディング(負荷投与)は必要か.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

15. 早川景子, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 柴田宏明

初診時遠隔転移を有する高悪性軟部肉腫に対する治療成績.
第88回日本整形外科学会学術総会: 神戸市, 2015

16. 船内雄生, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 柴田宏明, 横山裕之, 元井紀子
広範切除可能部位に発生した脱分化型脂肪肉腫17例の検討.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

17. 山本尚輝, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 柴田宏明, 早川景子
掻爬・セメント充填後20年以上経過した大腿骨遠位骨巨細胞腫5例の膝関節機能.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

18. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 澤村千草, 佐藤信吾, 小柳広高, 船内雄生, 川口智義
新しい骨・軟部腫瘍切除縁評価法　その試案.
第88回日本整形外科学会学術総会: 神戸市, 2015

19. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 柴田宏明, 中山隆之, 早川景子, 澤村千草, 佐藤信吾, 大川淳, 川口智義
早期の就労復帰を目指した成人軟部肉腫の補助化学療法.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

20. 谷澤泰介, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 柴田宏明, 船内雄生, 横山裕之, 澤泉雅之
橈骨遠位端骨腫瘍切除後に血管柄付き腓骨移植を行った症例の検討.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

21. 神埜聖治, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 柴田宏明, 堀内聖剛
粘液型脂肪肉腫では脊椎骨梁間転移を念頭に入れた経過観察が必要である.
第88回日本整形外科学会学術総会: 神戸市, 2015

22. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 柴田宏明, 早川景子, 中山隆之, 澤村千草, 佐藤信吾, 大川淳, 川口智義
縮小手術 新しい切除縁評価法解析結果からみた安全な切除縁と縮小手術.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

23. 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 柴田宏明, 川口智義, 早川景子, 中山隆之, 澤村千草, 佐藤信吾
縮小手術 軟部肉腫に対するin situ preparationの長期成績.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

24. 柴田宏明, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 横山裕之
脱分化型軟骨肉腫10例の治療成績.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

25. 五木田茶舞, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 早川景子, 神埜聖治, 柴田宏明, 澤村千草, 佐藤信吾, 中山隆之, 川口智義
腫瘍切除後の長管骨欠損に対する金属メッシュ補強骨セメント置換法の治療成績.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

26. 中山隆之, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 柴田宏明, 堀内聖剛
色素性絨毛結節性滑膜炎と腱鞘巨細胞腫の難治例における特徴.
第88回日本整形外科学会学術総会: 神戸市, 2015

26. 船内雄生, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 神埜聖治, 柴田宏明, 横山裕之
術中ナビゲーションシステムを応用した安全な骨腫瘍切除法.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

27. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 柴田宏明, 早川景子, 中山隆之, 澤村千草, 佐藤信吾, 大川淳, 川口智義

進行期高悪性軟部肉腫に対する放射線を使用しない手術の治療成績.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

28. 中山隆之, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 早川景子, 中村卓郎
骨・軟部腫瘍の温故(ONCO)知新 当科の実地臨床における融合遺伝子解析結果の検討.
第30回日本整形外科学会基礎学術集会: 富山市, 2015

29. 神埜聖治, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 柴田宏明, 横山裕之, 佐藤信吾
骨外性骨肉腫の治療経験.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

30. 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 早川景子, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 野呂瀬美生
処理骨と同種骨.
第64回東日本整形災害外科学会: 福島市, 2015

泌尿器科

1. 米瀬淳二, 山本真也, 萩原喜一, 佐野雅之, 上原翔, 林達郎, 山崎六志, 砂倉瑞明, 大久保雄平, 湯浅健, 増田均, 福井巖
Active surveillanceの候補条件を満たす前立腺全摘症例の検討.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

2. 萩原喜一, 湯浅健, 佐野雅行, 上原翔, 林達郎, 砂倉瑞明, 増田均, 山本真也, 米瀬淳二, 福井巖
LHRHアゴニストの初期フレアーアップによる臨床症状増悪を抗アンドロゲン剤により阻止できなかった1例.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

3. 増田均, 福島啓司, 斉藤一隆, 藤井靖久, 山本真也, 湯浅健, 砂倉瑞明, 横山みなと, 松岡陽, 沼尾昇, 福井巖, 米瀬淳二, 木原和徳
γグルタミルトランスペプチダーゼ(γ-GTP)は限局性腎細胞癌例において術後再発の予測因子である.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

4. 砂倉瑞明, 萩原喜一, 佐野雅之, 上原翔, 林達朗, 山崎六志, 湯浅健, 増田均, 山本真也, 福井巖, 米瀬淳二
がん研有明病院泌尿器科における前立腺癌active surveillanceおよび再生検時のpathological upgradeについての検討.
: 金沢市, 2015

5. 上原翔, 山本真也, 萩原喜一, 佐野雅之, 林達郎, 山崎六志, 砂倉瑞明, 湯浅健, 増田均, 福井巖, 米瀬淳二
前立腺全摘後生化学的再発症例に対する間欠ホルモン療法.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

6. 山本真也, 増田均, 湯浅健, 砂倉瑞明, 山崎六志, 林達郎, 上原翔, 佐野雅之, 萩原喜一, 福井巖, 米瀬淳二, 河野敦, 石川雄一
多部位生検時代における中間リスク群前立腺癌の新リスク分類.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

7. 山崎六志, 萩原喜一, 佐野雅之, 上原翔, 林達郎, 砂倉瑞明, 湯浅健, 増田均, 山本真也, 福井巖, 米瀬淳二
当院における去勢抵抗性前立腺癌に対するenzalutamideの初期使用経験.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

8. 林達郎, 浦上慎司, 萩原喜一, 佐野雅之, 上原翔, 山崎六志, 砂倉瑞明, 湯浅健, 増田均, 山本真也, 福井巖, 米瀬淳二
筋層非浸潤性膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法の東京172株とコンノート株の前向き比較試験.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

9. 湯浅健, 礒野高敬, 茶野徳宏
腎がん細胞のglucose deprivation時の細胞応答とVHL遺伝子の役割について.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

10. 安田庸輔, 藤井靖久, 湯浅健, 山本真也, 福井巖, 米瀬淳二
転移性前立腺癌患者においてCombined androgen blockade施行中の血中テストステロン値は予後因子になり得るか?
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

11. 佐野雅之, 湯浅健, 萩原喜一, 上原翔, 林達郎, 山崎六志, 砂倉瑞明, 山本真也, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二
転移性腎細胞癌に対する2nd lineアキシチニブの治療成績.
第103回日本泌尿器科学会総会: 金沢市, 2015

12. 増田均, 山崎六志, 小川将宏, 佐野雅之, 砂倉瑞明, 林達郎, 上原翔, 山本真也, 福井巌, 米瀬淳二
がん研究会における腹腔鏡下泌尿器科手術の初期成績.
第29回日本泌尿器内視鏡学会総会: 東京, 2015

13. 小川将宏, 増田均, 山崎六志, 佐野雅之, 上原翔, 林達郎, 砂倉瑞明, 山本真也, 福井巌, 米瀬淳二
腹腔鏡下膀胱全摘出術の初期成績、開腹手術との比較.
第29回日本泌尿器内視鏡学会総会: 東京, 2015

血液腫瘍科

1. Kusano, Y.
Anti-Epstein-Barr virus nuclear antigen antibody negativity may be a new indicator of poor prognosis in multiple myeloma patients treated with bortezomib-based regimens.
13rd Internationall Conference on Malignant Lymphoma Palazzo dei Congressi: Lugano, Switzerland, 2015

2. Kusano, Y.,
CyBorD demonstrated its superiority to bortezomib plus dexamethasone in transplant-eligible patients with newly diagnosed multiple myeloma.
15th International Myeloma Workshop: Roma, Itary, 2015

3. Nishimura, N., Terui, Y., Gunji, T., Takahashi, A., Kusano, Y., Ueda, K., Nitta, H., Mishima, Y., Yokoyama, M., Tsuyama, N., Oguchi, M., Takeuchi, K., Hatake, K.
Multiple myeloma as a second primary malignancy; one fourth of patients had prior history of other malignancies.
15th International Myeloma Workshop: Roma, Italy, 2015

4. Mishima, Y., Yokoyama, M., Nishimura, N., Ueda, K., Gunji, T., Nitta, H., Kusano, Y., Inoue, N., Takahashi, A., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y., Hatake, K.
R-CHOP therapy cannot overcome CD5 positive non-GCB subtype of DLBCL.
57th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition: Orlando, USA, 2015

5. Kusano, Y., Terui, Y., Ueda, K., Gunji, T., Nitta, H., Mishima, Y., Nishimura, N., Yokoyama, M., Hatake, K.
IL-2 receptor level correlated with PFS in follicular lymphoma patients with rituximab maintenance.
第77回日本血液学会学術集会: 金沢市, 2015

6. 草野善晴, 照井康仁, 西村倫子, 郡司匡弘, 上田響子, 新田英明, 三嶋裕子, 横山雅大, 津山直子, 小口正彦, 竹内健吾, 畠清彦
再発・難治多発性骨髄腫の治療中に骨髄腫の髄液浸潤を認めた1例.
第54回日本血液学会中国四国地方会: 鳥取市, 2015

7. 畠清彦
抗がん剤治療における支持療法の重要性.
第28回日本口腔・咽頭科学会総会学術講演会: 大阪市, 2015

総合腫瘍科

1. Nakano, K., Kawai, A., Araki, N., Ando, Y., Machida, M., Yoshida, P.
Clinical outcome of pazopanib for liposarcoma patients from post-marketing surveillance sub-analysis. .
Connective Tissue Oncology Society (CTOS) 20th Annual Meeting: Salt Lake City, USA, 2015

2. Kobayashi, T., Nakano, K., Tomomatsu, J., Nara, E., Ito, Y., Kobayashi, K., Fukada, I., Araki, K., Shimomura, A., Shimoi, T., Kodaira, M., Yunokawa, M., Yonemori, K., Shimizu, C., Nakamura, K., Kotani, N., Inatani, M., Tamura, K., Takahashi, S.
Phase Ia/Ib study of taselisib (GDC-0032), a potent and selective phosphoinositide

3-kinase inhibitor, in Japanese patients with advanced solid tumors or hormone receptor-positive locally advanced or metastatic breast cancer (JO29196 study). 38th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS): San Antonio, USA., 2015

3. Takahashi, S.
Safety and tolerability of vandetanib in Japanese patients (pts) with medullary thyroid cancer (MTC): a Phase I/II open-label study.
15th International Thyroid Congress (ITC): Florida, USA, 2015

4. 高橋俊二
ホルモン作用異常による骨粗鬆症 乳癌に対するアロマターゼ阻害剤治療に伴う骨粗鬆症.
第33回日本骨代謝学会学術集会: 東京, 2015

5. 仲野兼司, 友松純一, 元井紀子, 五木田茶舞, 阿江啓介, 谷澤泰介, 下地尚, 高橋俊二, 松本誠一
分子標的療法 軟部肉腫へのパゾパニブ治療における、病理診断による治療効果の差異.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

6. 仲野兼司, 友松純一, 元井紀子, 五木田茶舞, 阿江啓介, 谷澤泰介, 下地尚, 高橋俊二, 松本誠一
悪性骨・軟部腫瘍のCancer Board がん研サルコーマセンターにおける腫瘍内科医の役割.
第48回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会: 高松市, 2015

7. 稲垣里奈, 荒木和浩, 鈴木えりか, 照屋なつき, 小林心, 深田一平, 柴山朋子, 柳裕代, 小林隆之, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
HER2陽性進行乳癌に対するドセタキセル・トラスツズマブ・ペルツズマブ療法の効果と有害事象管理.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

8. 高橋俊二
乳癌薬物療法の有害事象の克服を目指して 骨転移患者におけるbone modifying agent(BMA)による顎骨壊死の管理.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

9. 稲垣里奈, 倉田麻美, 小林心, 深田一平, 柴山朋子, 柳裕代, 荒木和浩, 小林隆之, 伊藤良則, 高橋俊二
乳癌骨転移患者におけるゾレドロン酸長期投与の検討.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

10. 仲野兼司
進行再発分化型甲状腺癌の分子標的治療：症例から治療のポイントを考える.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 札幌市, 2015

麻酔科

1. 横田美幸, 大里彰二郎, 森野良蔵
医療法改正による院内事故調査委員会の在り方・進め方・問題点を考える 医療法改正に伴う院内事故調査と医療安全(責任者)の考え方.
日本臨床麻酔学会第35回大会: 横浜市, 2015

2. 七松恭子, 中川陽介, 見市光寿, 平井亜葵, 萬羽礼美, 吉岡清佳, 関誠, 横田美幸
抜管直後の胸痛の原因推定が困難だった症例.
日本臨床麻酔学会第35回大会: 横浜市, 2015

3. 中川陽介, 風戸拓也, 吉岡清佳, 見市光寿, 柏井朗宏, 横田美幸
カウント不能の大量出血を来した症例の検討.
日本臨床麻酔学会第35回大会: 横浜市, 2015

4. 風戸拓也, 大里彰二郎, 見市光寿, 山本理恵, 平島潤子, 横田美幸手術室増設と手術室運営及び麻酔科への影響.
日本臨床麻酔学会第35回大会: 横浜市, 2015

5. 風戸拓也, 見市光寿, 後閑大, 平島潤子, 横田美幸
高齢者胃がんにおける内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)時のIPI(Integrated Pulmonary Index)を用いた鎮静法について.
第27回日本老年麻酔学会: 盛岡市, 2015

6. 見市光寿, 平島潤子, 風戸拓也, 大里彰二郎, 柏井朗宏, 横田美幸
医療法改正に伴う医療事故死報告に関する麻酔科としての対応について.
日本麻酔科学会第55回関東甲信越・東京合同学術集会: 横浜市, 2015

形成外科

1. Tanakura, K., Sawaizumi, M., Imai, T., Matsumoto, S.
Reconstruction of defects in foot and leg after musculoskeletal sarcoma resection.
8th Congress of World Society for Reconstructive Microsurgery: Munbai, India, 2015

2. 前田拓摩, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子, 今井智浩, 岩瀬拓士
乳房再建を踏まえた乳房切除の提案　皮膚切開線とTE挿入時の留意点.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

3. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 前田拓磨, 棚倉健太, 山下昌宏, 松本綾希子, 川上順子, 今井智浩, 岩瀬拓士
当院における両側乳癌切除症例・両側乳房再建症例の検討.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

4. 山下昌宏, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓磨, 棚倉健太, 宮下宏紀, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹, 岩瀬拓士
2期両側乳房インプラント再建におけるベクトラでのシミュレーション.
第23回日本乳癌学会総会: 東京, 2015

5. 松本綾希子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓磨, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌弘, 川上順子, 平山泰樹, 梁太一, 岩瀬拓士, 五味直哉
当院におけるインプラント乳房再建後フォローアップの現状.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

6. 棚倉健太, 澤泉雅之, 前田拓摩, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹, 今井智浩, 岩瀬拓二
ブレスト・インプラントの保険適用がもたらしたもの.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

7. 柴田知義, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正崇, 古林玄, 三戸奈那子
乳房再建における光三次元計測 Vectraをもちいた乳房用組織拡張器注水量の計測.
第25回日本シミュレーション外科学会: 東京, 2015

8. 松本綾希子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓磨, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏,
川上順子, 梁太一, 岩瀬拓士, 五味直哉
乳房インプラント術後フォローアップにおける超音波検査の重要性.
第34回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 東京, 2015

9. 梁太一
乳房再建におけるMRIの有用性.
第11回乳房MRI研究会: 東京, 2015

10. 梁太一
乳房再建におけるMRIの有用性.
第11回乳房MRI研究会: 東京, 2015

11. 松本綾希子, 澤泉雅之, 五味直哉
症例３、インプラント破損の1例.
第11回乳房MRI研究会: 東京, 2015

12. 前田拓摩
当院における安全なティッシュエキスパンダー挿入法.
第5回Mie Breast Cancer Seminar: 津市, 2015

13. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 松本綾希子, 川上順子, 平山泰樹
エキスパンダー／インプラント法における大胸筋マッサージの考案.
第20回日本形成外科手術手技学会: 鎌倉市, 2015

14. 前田拓摩, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子, 岩瀬拓士
インプラントによる乳房再建でどこまで整容性にこだわれるか？.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

15. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 川上順子, 岩瀬拓士
当院における両側乳房再建の検討：「両側自家組織再建」ないし「自家組織と人工物再建による再建」.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

16. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 川上順子, 岩瀬拓士

乳房再建術式の推移より見出す、今後の自家組織再建の展望.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

17. 松本綾希子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 梁太一, 岩瀬拓士, 五味直哉
インプラント破損の戦略的画像診断ーsilent rupture で見つけるために.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

18. 梁太一, 大竹尚之, 松井端子, 澤泉雅之, 今井智浩, 松本綾希子, 岩瀬拓士, 五味直哉
乳房シリコンインプラントのMRI 画像診断における新たな撮像条件の提案 -Silicone Image-.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

19. 山下昌宏, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 岩瀬拓士
乳房再建術におけるベクトラの観察、計測、シミュレーションの有効性.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

20. 棚倉健太, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 宮下宏紀, 山下昌宏, 梁太一
MDCT による腰動脈穿通枝の評価乳房再建におけるTissue Expander 挿入術の要点.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

21. 稲見浩平, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 松本誠一, 山口利仁
手部軟部悪性腫瘍切除後欠損に対する adipofascial flap による再建経験.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

22. 棚倉健太, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 宮下宏紀, 山下昌宏, 梁太一, 矢島和宜
MDCTによる腰動脈穿通枝の評価.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

23. 棚倉健太
シリコンインプラントのサイズ選択におけるエコーによる計測の有用性part3.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

24. 棚倉健太, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子, 川上順子
乳房再建におけるTissue Expander挿入術の要点.
第58回日本形成外科学会総会・学術集会: 京都市, 2015

25. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 山下昌宏, 松本綾希子, 今井智浩, 岩瀬拓士
乳房再建術式の推移より見出す、今後の自家組織再建の展望.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

26. 古林玄, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌宏, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 三戸那奈子
乳房インプラント　TruForm 2とTruForm 3の選択.
関東形成外科学会第282回東京地方会: 東京, 2015

27. 棚倉健太, 前田拓摩, 宮下宏紀, 澤泉雅之
TE to SBI replacement surgeryの要点.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

28. 前田拓摩
乳房再建の視点から評価した日本人のための整容的乳房形成.
第38回日本美容外科学会総会: 横浜市, 2015

29. 松本綾希子, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌宏, 古林玄, 三戸那奈子, 今井智浩
インプラント再建5年以上経過症例の検討① 概要.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

29. 松本綾希子, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌宏, 古林玄, 三戸那奈子, 今井智浩
インプラント再建5年以上経過症例の検討② フォローアップの現状および破損率について.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

30. 塩崎正宗, 宮下宏紀, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 山下昌宏, 松本綾希子, 柴田知義, 倉元有木子, 古林玄, 三戸那奈子, 今井智浩, 岩瀬拓士
乳房再建患者の術後大胸筋拘縮について；大胸筋マッサージの有効性.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

31. 柴田知義, 山下昌宏, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 倉元有木子, 松本綾希子, 古林玄, 三戸那奈子
レーザーラインを用いた、Vectra撮影時の体位再現性の工夫.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

32. 三戸那奈子, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌宏, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄
当院で施行する乳房再建のインフォームド・コンセント取得時の対応.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

34. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 山下昌宏, 松本綾希子, 柴田知義, 倉元有木子, 塩崎正宗, 古林玄, 三戸那奈子, 今井智浩, 岩瀬拓士
乳房再建（TE挿入）におけるバイクリルメッシュの応用.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

33. 古林玄, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌宏, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 三戸那奈子
Li-Fraumeni syndromeと診断された乳房再建の1例.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

34. 梁太一, 大竹尚之, 松井端子, 澤泉雅之, 今井智浩, 松本綾希子, 岩瀬拓士, 五味直哉
破損したSBIをいつ入替えるか-rupture stageからの考察.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

35. 前田拓摩
感染TE/SBIのサルベージ　救えたはずの人工物感染を逃さない.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

36. 今井智浩, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子
TE/SBI乳房再建後の放射線照射例～一次二期再建例で術後照射が必要となった場合の対策.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

37. 松本綾希子
乳房再建術後のインプラントフォローアップ方法の実践：超音波診断の実際と判別法.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

38. 梁太一
乳房再建術後のインプラントフォローアップ方法の実践：超音波診断の実際と判別法.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

39. 稲見浩平, 澤泉雅之, 松本綾希子, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 今井智浩, 山下昌宏, 山口利仁
ＳＢＩ再建における対側豊胸必要症例の検討.
第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 札幌市, 2015

40. 松本綾希子, 棚倉健太, 前田拓摩, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌宏, 古林玄, 三戸那奈子, 今井智浩, 澤泉雅之
腹部皮弁に付加可能なリンパ節の個数についての造影CTによる検討.

第24回日本形成外科学会基礎学術集会: 盛岡市, 2015

41. 棚倉健太, 前田拓摩, 宮下宏紀, 松本綾希子, 澤泉雅之, 植野映子, 龍見秋一
Dual Energy CTによる腰動脈穿通枝の評価.
第24回日本形成外科学会基礎学術集会: 盛岡市, 2015

42. 澤泉雅之
乳房再建：その魅力ある選択肢とは！.
第4回松江日赤病院 乳房再建講演: 松江市, 2015

43. 棚倉健太
乳房再建②(人工物再建、インプラント) : 主な方法と適応.
第25回日本乳癌検診学会総会: つくば市, 2015

44. 棚倉健太, 前田拓摩, 澤泉雅之, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子, 柴田知義, 倉元有木子, 塩崎正宗, 古林玄, 三戸那奈子
TE to SBI乳房再建における外側方の処理法とそのタイミング.
第99回九州・沖縄形成外科学会学術集会: 大分市, 2015

45. 古林玄, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 山下昌宏, 松本綾希子, 塩崎正宗, 松本誠一
小児の Step advancement plantar flap の長期経過観察.
第42回日本マイクロサージャリー学会学術集会: さいたま市, 2015

腫瘍精神科

1. 山田健志
がん患者相談面接を行う看護師に求められるカウンセリングスキル 告知前後の精神症状・自殺カウンセリングの注意点.
第20回日本緩和医療学会学術大会: 横浜市, 2015

眼　科

1. Tsuji, H.
Neuroendocrine carcinomas in lacrimal drainage system.
International Society of Ocular Oncology (ISOO) 2015 Conference: Paris, France, 2015

2. 辻英貴, 小林めぐみ
open treatment (laissez-faire technique)の功罪.
第3回日本眼形成再建外科学会学術集会: 岡山市, 2015

3. 辻英貴, 佐々木次壽
涙道腫瘍性病変.
第119回日本眼科学会総会講演会: 東京, 2015

4. 辻英貴
切らずに治す眼腫瘍 : 局所化学療法.
第38回日本眼科手術学会総会: 京都市, 2015

5. 辻英貴
角膜に生じたCLL.
第39回日本角膜学会総会/第31回日本角膜移植学会: 高知市, 2015

6. 辻英貴
急速に増大した眼窩IgG4関連疾患.
第8回IgG4研究会: 福岡市, 2015

7. 辻英貴
眼部腫瘍について : ハンカチなしでは語れない症例も含めて.
第51回北里大学・神奈川眼科医会合同リサーチカンファレンス: 相模原市, 2015

8. 辻英貴
宗教上の理由で輸血拒否例の眼科手術.
第30回日本眼窩疾患シンポジウム: 京都市, 2015

9. 小林めぐみ
初診時アドバンスケースであった脂腺がん1例.
第30回日本眼窩疾患シンポジウム: 京都市, 2015

10. 辻英貴
眼部腫瘍について : 珍しいけど忘れてはいけないモノ.
第13回県尼眼科臨床フォーラム: 尼崎市, 2015

11. 辻英貴, 無城俊克, 松田順子, 田中理恵, 大友一義, 田岡和城
精巣および乳腺が原発の2次性眼内悪性リンパ腫.
第69回日本臨床眼科学会: 名古屋市, 2015

12. 河田美貴子
がん研有明病院における眼部腫瘍の臨床病理学的検討.
第69回日本臨床眼科学会: 名古屋市, 2015

感染症科

1. Harada, S., Aoki, K., Tateda, K., Ishii, Y.
Klebsiella pneumoniae bacteremia study group: Clinical characteristics of *Klebsiella*

pneumoniae bacteremia and molecular epidemiology of the causative isolates in Japan.
ICAAC/ICC 2015: San Diego, 2015

2. 大串大輔, 羽山ブライアン, 原田壮平
当院における婦人科系悪性腫瘍に対する手術後に生じたリンパ嚢腫感染症例の検討.
第64回日本感染症学会東日本地方会総会学術集会: 札幌市, 2015

漢方サポート科

1. 星野恵津夫
実践漢方セミナー　悪性腫瘍.
第66回東洋医学会学術総会: 富山市, 2015

2. 星野恵津夫
漢方薬とカイジ顆粒による進行癌の治療.
第1回日本統合医療学会九州ブロック大会: 熊本市, 2015

歯　科

1. 木暮麻優, 古敷谷昇, 布施卓美, 榮木実枝, 富塚健
がん研有明病院における歯科衛生士による口腔ケアラウンドの取り組みについて.

第12回日本口腔ケア学会学術大会: 下関市, 2015

緩和治療科

1. 奈良林至
オピオイド誘発性の便秘症を有するがん患者を対象としたnaldemedineの第2相臨床試験.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

2. 星野奈月
緩和治療病棟転棟後、腫瘍内科医との連携により抗腫瘍治療可能となった進行膵NETの1例.
第53回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2015

3. 佐伯吉規, 中山博文, 星野奈月, 安井玲子, 山田健志, 下田和孝, 向山雄人
緩和領域におけるquetiapine投与量を決定する因子に関する検討.
第20回日本緩和医療学会学術大会: 横浜市, 2015

4. 星野奈月, 中山博文, 佐伯吉規, 向山雄人, 中井川直子, 寶田潤子, 櫻井宏樹, 服部政治, 羽山ブライアン, 原田壮平
脊髄鎮痛法施行中にリステリア髄膜炎を合併した左腸骨軟骨肉腫の1例.
第20回日本緩和医療学会学術大会: 横浜市, 2015

5. 櫻井宏樹, 服部政治, 寶田潤子, 中井川直子, 水野俊美, 樋口秀太郎, 竹野伸洋, がん研有明病院がん治療支援チーム
緩和的放射線照射における主治医、放射線腫瘍科、がん疼痛治療科の連携.
第20回日本緩和医療学会学術大会: 横浜市, 2015

放射線治療部

1. Harada, A.
Concurrent chemoradiotherapy for true natural killer cell originated localized nasal NK/T-cell lymphoma.
ILROG Lymphoma Symposium: New York, USA, 2015

2. Murofushi, K., ほか
Clninical outcome of interstitial brachytherapy for locallyrecurrnt gynecologic caner.
57th Annual Meeting of the America Society of Radiation Oncology (ASTRO): San Antonio, USA, 2015

3. Murofushi, K., ほか
Clinical outcome of interstitial brachytherapy for locally recurrent gynecologic cancer previously treayed by radiotherapy.
15th International Congress of Radiation Research (ICRR): Kyoto, 2015

4. Harada, A., ほか
Concurrent chemo-radiation-therapy localized nasal NK/T-cell lymphoma.
15th International Congress of Radiation Research (ICRR): Kyoto, 2015

5. 小塚拓洋, ほか
Acute and late complications after hypofractionated intensity modulated radiotherapy for intermediate-risk prostate

cancer.
日本放射線腫瘍学会第28回学術大会：前橋市, 2015

6. 室伏景子, ほか
Clinical outcome of locally advanced rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy.
日本放射線腫瘍学会第28回学術大会：前橋市, 2015

7. 熊井康子, ほか
Treatment results of postmastectomy radiation therapy for breast cancer patients; experience of single institution.
日本放射線腫瘍学会第28回学術大会：前橋市, 2015

8. 利安隆史, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉, 佐藤由紀子, 古田玲子, 高橋俊二, 田中宏子
当院における声門上癌の放射線治療成績の検討.
第39回日本頭頸部癌学会/第4回アジア頭頸部癌学会：神戸市, 2015

9. 角美奈子
メラノーマの放射線治療.
第114回日本皮膚科学会総会：横浜市, 2015

10. 高橋太郎, 北村望, 室伏景子, 佐藤智春
高線量率密封小線源治療時における緊急時体制の整備報告.
第43回日本放射線技術学会秋季学術大会：金沢市, 2015

11. 上間達也, 松林史泰, 伊藤康, 佐藤智春
強度変調回転照射中における線量プロファイルの変化について.
H27 2015.10：金沢市, 2015

12. 松林史泰, 橋本竹雄, 上間達也, 高橋良, 佐藤智春
ガントリ角度やコリメータ角度の違いによる非物理ウエッジの線量プロファイルの変化.
H27 2015.10：金沢市, 2015

13. 飯野美紗恵, 中島大, 佐藤智春, 橋本竹雄, 北村望, 松林史泰, 高橋良
高エネルギーX線におけるフィールド線量計相互校正の精度評価.
日本放射線技術学会第69回東京部会春季学術大会：東京, 2015

14. 渡邉詩織, 松林史泰, 高橋太郎
乳房切除後の放射線治療における治療寝台位置計算シートの作成.
：東京, 2015

15. 佐藤洋輔, 松林史泰, 北村望, 小泉優貴, 上間達也, 室伏景子, 佐藤智春
婦人科腔内照射における画像誘導小線源治療の新たな線源総停留時間独立検証法の確立.
日本放射線技術学会第69回東京部会春季学術大会：東京, 2015

16. 小泉優貴, 松林史泰, 北村望, 佐藤洋輔, 上間達也, 佐藤智春, 室伏景子
婦人科腔内照射における新たな線源総停留時間独立検証の方法.
日本放射線技術学会第69回東京部会春季学術大会：東京, 2015

17. 室伏景子, 北村望, 八木縁, 原田亜里咲, 竹島信宏, 小口正彦
腟癌及び高度腟壁進展を伴う子宮頸癌に対する腟壁腫瘍の厚みに応じた小線源治療選択の治療成績.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：盛岡市, 2015

18. 角美奈子, ほか
軟部肉腫に対する放射線治療.
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会：札幌市, 2015

19. 中島直美, ほか
教育講演基礎編：乳腺.
日本放射線腫瘍学会第28回学術大会：前橋市, 2015

画像診断部

1. 負角克典
遺伝子異常を考慮した肺腺癌の画像診断：形態に経時的変化と局在をプラスする.
第56回日本肺癌学会学術集会：横浜市, 2015

2. 田中宏子
頸部転移の画像診断と治療　口腔癌中心に
CT・MRIによる画像診断.

第55回日本核医学会学術総会・合同セッション口腔顎顔面核医学フォーラム: 東京, 2015

3. 田中宏子
子宮筋層病変の良悪性画像鑑別.
第16回子宮筋腫・内膜症病変生検研究会: 盛岡市, 2015

4. 植野映子, 松本誠一, 阿江啓介, 元井紀子, 石川雄一, 松枝清
結節性筋膜炎の画像所見、病理組織像と症状.
第51回日本医学放射線学会秋季臨床大会: 盛岡市, 2015

5. 國分優美, 五味直哉, 何森亜由美, 米倉利香, 宮城由美, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司
超音波エラストグラフィ 乳腺超音波診断におけるストレインエラストグラフィの使用経験.
第25回日本乳癌検診学会総会: つくば市, 2015

6. 五味直哉, 松本綾希子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 川上順子, 平山泰樹, 梁太一, 國分優美, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士
乳房インプラント破損のMRIによる評価.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

7. 國分優美, 五味直哉, 何森亜由美, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
ケースカンファレンス 次の一手は 症例提示
左乳癌術前に対側腋窩に腫瘤を認めた1例.
日本超音波医学会第88回学術集会・第34回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会(Ultrasonic Week 2015): 東京, 2015

8. 五味直哉, 加藤千絵子, 坂井威彦, 富樫保行, 五十里美栄子, 山田恵子, 國分優美,
堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳腺・甲状腺・頭頸部体表領域のリンパ節転移診断 乳癌腋窩リンパ節転移に対する超音波の診断精度の検討.
日本超音波医学会第88回学術集会・第34回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会(Ultrasonic Week 2015): 東京, 2015

8. 負門克典
遺伝子異常からみた肺癌の臨床・病理・画像所見 画像.
第34回日本画像医学会: 東京, 2015

9. 渡邉亮輔, 負角克典, 松枝清, 田中宏子, 五味直哉, 平塚真生子, 植野映子
膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法により発症した播種性BCG感染症の1例.
第448回日本医学放射線学会関東地方会: 東京, 2015

10. 植野映子, 米瀬淳二, 林達郎, 松本誠一, 杉浦善弥, 河野敦, 松枝清
腹壁脂肪性腫瘤の１例.
第26回骨軟部放射線研究会: 東京, 2015

11. 赤池源助, 植野映子, 下地尚, 松本誠一, 元井紀子, 杉浦善弥, 神田浩明, 町並陸生, 栗原泰之, 松枝清
骨端線閉鎖前の大腿骨に発生した骨巨細胞腫の１例.
第26回骨軟部放射線研究会: 東京, 2015

核医学部

1. Miyaji, N., Miwa, K., Wakatsuma, K., Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M.
Validation of administration accuracy of 18F-FDG among three automated infusion devices.
第55回日本核医学会学術総会: 東京, 2015

2. 宮司典明, 三輪建太, 村田泰輔, 我妻慧, 梅田拓朗, 滝口智洋
PET用自動投与装置3機種における精度評価.
第71回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2015

内視鏡診療部

1. Tamegai, Y.
Therapeutic strategy of ESD for colorectal tumors accompanied by severe degree fibrosis in the submucosal layer.
23rd United European Gastroenterology Week (UEGW) Barcelona, Spain, 2015

2. Omae, M., Fujisak, J., Shimizu, T.
Relation etween the location of superficial barrets esophageal adenocarcinoma (S-BEA) and the direction of duodenogastric reflux.
23rd United European Gastroenterology Week (UEGW) Barcelona, Spain, 2015

3. Yoshio, T., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Fujisak, J., Igarashi, M.
Long term outcomes of endoscopic resection and additional therapy to superfcial esophageal cancer with MM or SM invasion.
23rd United European Gastroenterology Week (UEGW) Barcelona, Spain, 2015

4. Kishihara, T., Chino, A., Tamegai, Y., Igarashi, M.
Effectiveness of Steroid suppositories to prevent colorectal stricture after ESD for extensive colorectal cancer.
Asian Pacific Disease Week 2015 (APDW): Taipei, Taiwan, 2015

5. Hirasawa, T., Hiki, N., Yamamoto, Y., Nunobe, S., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Laparosopic and endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumor.
Asian Pacific Disease Week 2015 (APDW): Taipei, Taiwan, 2015

6. Yoshio, T., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Long term outcomes of endoscopic resection and additional therapy to superficial esophageal cancer with MM or SM invasion.
Asian Pacific Disease Week 2015 (APDW): Taipei, Taiwan, 2015

7. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸内視鏡治療　私の工夫 高度線維化例に対する大腸ESDの工夫　Layer to layerの基本手技の有用性.
第70回日本大腸肛門病学会学術集会: 名古屋市, 2015

8. 金明哲, 岸原輝仁, 五十嵐正広
超高齢者(85歳以上)における消化管内視鏡診療のあり方 超高齢者に対する大腸内視鏡検査の有用性.
第89回日本消化器内視鏡学会総会: 名古屋市, 2015

9. 石川寛高, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸T1(SM)癌に対する内視鏡治療の課題と将来展望 長期予後からみた大腸SM癌に対する内視鏡治療適応拡大の可能性.
第89回日本消化器内視鏡学会総会: 名古屋市, 2015

10. 為我井芳郎, 福長洋介, 五十嵐正広
LECSの現状と将来展望 大腸ESDの限界とLECSの有用性.
第89回日本消化器内視鏡学会総会: 名古屋市, 2015

11. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子
NBI併用拡大内視鏡(ME-NBI)による未分化型早期胃癌の診断限界と今後の展望.
第89回日本消化器内視鏡学会総会: 名古屋市, 2015

12. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 森重健二郎, 金明哲, 石川寛高, 大隅寛木, 岡本恒平, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸ESD症例における粘膜下層の線維化の内視鏡観察による良悪性および深達度の鑑別診断能 prospective study.
第89回日本消化器内視鏡学会総会: 名古屋市, 2015

13. 金明哲, 千野晶子, 大隅寛木, 森重健二郎, 石川寛高, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
化学療法に起因する薬剤性腸炎の内視鏡所見の検討.
第90回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2015

14. 森重健二郎, 千野晶子, 大隅寛木, 金明哲, 石川寛高, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
当院におけるIp型早期大腸癌の臨床および病理学的検討.
第90回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2015

15. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 大隅寛木, 金明哲, 森重健二郎, 石川寛高, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸T1(SM)癌に対するESDの現状と問題点.
第90回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2015

16. 大隅寛木, 為我井芳郎, 五十嵐正広
VI型Pit patternとNBI拡大による大腸T1a-b癌の鑑別診断の現状と誤診例の検討　ESD症例を中心に.
第90回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2015

17. 川名佑実, 大塚葉子, 神田恵子
「鎮静下で内視鏡検査を受けた外来患者の退出基準」導入前後の看護師の変化.

第90回日本消化器内視鏡学会総会：東京, 2015

18. 五十嵐正広
内視鏡的切除の適応拡大の可能性を問う.
第82回大腸癌研究会：東京, 2015

19. 金明哲, 岸原輝仁, 五十嵐正広
超高齢者（85歳以上）に対する大腸内視鏡検査について.
第11回日本消化管学会学術集会：東京, 2015

20. 石川寛高, 千野晶子, 五十嵐正広
長期予後からみた大腸SM癌に対する内視鏡治療適応拡大の可能性.
第89回日本消化器内視鏡学会総会：名古屋市, 2015

21. 金明哲, 山本頼正, 藤崎順子
当院における十二指腸ESDの現状と偶発症.
第101回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京, 2015

22. 田顔夫祐樹, 大前雅実, 藤崎順子, 平澤俊明, 金明哲, 清水智樹, 村松雄輔, 山口和久, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広, 河内洋, 山本智理子
進行直腸癌に食道腺癌２病変を合併した１例.
第101回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京, 2015

遺伝子診療部

1. 新井正美
遺伝性腫瘍のがん予防.
第53回日本癌治療学会学術集会：京都市, 2015

2. 新井正美, 山口潤也, 佐藤友里, 小田原俊一, 高見信一郎, 千野晶子, 上野雅資, 五十嵐正広
SMAD4に変異を認める若年性ポリポーシスとオスラー病の関連について：1例報告を中心に.
日本家族性大腸腺腫症研究会学術集会：東京, 2015

3. 新井正美
日本HBOCコンソーシアムの活動状況.
日本遺伝子診療学会：遺伝子診断・検査技術推進フォーラム公開シンポジウム：2015

4. 新井正美
わが国におけるHBOCデータベース整備への取り組み.
第4回HBOCコンソーシアム学術総会：東京, 2015

5. 野村幸男, 與谷卓也, 山田有理子, 上野雅資, 新井正美
HPLCによるMLH1 遺伝子プロモーター領域のメチル化異常解析.
第74回日本癌学会学術総会：名古屋市, 2015

6. 喜多瑞穂, 芦原有美, 竹内抄與子, 新井正美
当院におけるBRCA1/2遺伝子変異検出率の検討.
第21回日本家族性腫瘍学会学術集会：さいたま市, 2015

集中治療部

1. 山本豊, 玄運官, 二味覚, 横田美幸
当院の院内救急事案に対する対応の現状と課題.
第42回日本集中治療医学会学術集会：東京, 2015

2. 山本豊
重症ARDSを合併したHHV-5肺炎の一例.
第24回日本集中治療医学会関東甲信越地方会：東京, 2015

3. 山本豊
術後間質性肺炎に対してPMX-DHP療法を行った２症例.
第21回日本エンドトキシン・自然免疫研究会：東京, 2015

4. 山本豊, 坪井望美, 川島裕太郎, 大野愛, 山田沙織, 市橋和明, 竹中誠
AN69ST膜による腎代替療法が奏効して救命に成功した敗血症性ショックの1例.
第26回日本急性血液浄化学会学術集会：東京, 2015

5. 山本豊
当院における院内心肺停止の検討.
第43回日本救急医学会総会・学術総会：東京, 2015

救急部

1. 二味覚, 峯真司
緊張性気胸で判断し緊急手術で救命しえた特発

性食道破裂の1例.
第65回日本救急医学会関東地方会: 横浜市, 2015

2. 二味覚
血液浄化を必用とした腫瘍崩壊症候群の1例.
第65回日本救急医学会関東地方会: 横浜市, 2015

3. 二味覚
意識障害が遷延した"infusion reaction"の1例.
第65回日本救急医学会関東地方会: 横浜市, 2015

臨床試験部

1. Horinouchi H, Sekine I, Sumi M, Soejima T, Satouchi M, Nagakura H, Isobe H, Nishiyama N, Harada M, Ishizuka N, Tamura T, Ohe Y., Final overall survival (OS) analysis of a multicenter phase II study of concurrent high-dose (72Gy) three-dimensional conformal radiotherapy (3D-RT) without elective nodal irradiation with chemotherapy using cisplatin (CDDP) and vinorelbine (VNR) in patients with stage III non-small cell lung cancer (NSCLC). J Clin Oncol 33, 2015 (suppl; abstr 7526), American Society of Clinical Oncology Annual Meeting, Chicago, June 1, 2015

2. 石塚直樹, 研究発表、論文作成時の統計解析の落とし穴:回帰分析を中心として, 東京麻酔専門医会リフレッシャーコースセミナー2015, 東京, 2015

3. 石塚直樹, アカデミアにおける統計家による研究支援体制（海外）. 企画セッション : 日本計量生物学会シンポジウム「適正な医学研究の推進と発信に向けて」, 統計関連学会連合大会, 岡山, 2015

臨床検査センター

1. 八木靖二
一般検査伝達講習:尿中の赤血球形態について.
平成27年度北日本支部医学検査学会: 札幌市, 2015

2. 八木靖二
CKDに出現する種々な形態を示す尿細管上皮細胞と類似悪性細胞との鑑別法.
社団法人台湾医事検査学会: 台北市, 2015

3. 八木靖二
尿中異型細胞の鑑別テクニック : 尿沈渣検査法2010からさらなる飛躍を.
第4回日臨技首都圏支部医学検査学会: 横浜市, 2015

4. 八木靖二
最新！腎・泌尿器疾患における画像診断
④腎癌の尿沈渣像.
腎・泌尿器検査研究会 第12回学術講演: 東京, 2015

5. 大島悠乃, 大竹純矢, 関田綱基, 滝澤久暢, 海原和己, 小松京子, 三宅一徳
免疫固定法で同定できたM蛋白血症とフリーライトチェーンの比較.
第11回東京都医学検査学会: 立川市, 2015

6. 佐川このみ, 内藤優花, 梅原翼, 高田綾香, 海原和己, 小松京子, 三宅一徳
アンモニア値の経時的変化の検討.
第11回東京都医学検査学会: 立川市, 2015

7. 滝澤久暢, 大竹純矢, 関田綱基, 大島悠乃, 海原和己, 小松京子, 三宅一徳
CLEIA法を原理としたwhole PTH測定試薬の基礎的検討.
第11回東京都医学検査学会: 立川市, 2015

8. 友田美穂子
平成26年度一般検査実技講習会におけるアンケート結果の報告.
第11回東京都医学検査学会: 立川市, 2015

9. 井合律子, 丸山淳子, 永野恵子, 徳永知子, 任珍, 飯田翼, 中田満ちる, 三宅一徳
生理検査室における心電図の一元管理の問題点と改善策.
第11回東京都医学検査学会: 立川市, 2015

10. 海原和己, 関田綱基, 小松京子, 海老原文, 中山耕之介, 三宅一徳
ラテックス凝集免疫比濁法による血清Helicobactor pylori抗体検出検査の有用性の検討（第2報）.

第62回日本臨床検査医学会学術集会：岐阜市，2015

11. 大石ひとみ，都築京子，中川幸代，中村美和，菅原奈々，岡田美樹，三宅一徳
末梢血液塗抹標本作製のアルブミン添加による細胞破壊阻止作用の定量評価.
第4回日臨技首都圏支部医学検査学会：横浜市，2015

12. Nin, C.
Brubada-type ST-elevasion associated with writhing of a reconstructed esophagus.
Asian Association of Medical Laboratory Scientists (AAMLS 2015): Yogyakarta, Indonesia, 2015

13. 関田綱基，大竹純矢，海原和己，三宅一徳
CLIA法による血中メトトレキサート測定試薬と3法の相関.
日本臨床検査自動化学会47回大会：横浜市，2015

超音波検査部

1. 山田恵子
これって超音波でしょう：超音波の正しい使い方とそれに応えるための検査のポイント：甲状腺.
日本超音波医学会第88回学術集会：東京，2015

2. 山田恵子
放射線科医による頭頸部超音波検査のポイント.
日本超音波医学会第27回関東甲信越地方会学術集会：東京，2015

3. 加藤千絵子，坂井威彦，五十里美栄子，何森亜由美，國分優美，五味直哉，宮城由美，山田恵子，堀井理絵，秋山太，岩瀬拓士
術前化学療法後MRIで臨床的完全奏功となった症例の超音波画像の検討.
第23回日本乳癌学会学術総会：東京，2015

病理部

1. Fujiwara, T., Ishikawa, Y.
Lung adenocarcinoma with neuroendocrine feature revealed by transcriptome profiling.
16th World Congress on Lunc Cancer (WCLC 2015): Denver, USA, 2015

2. Ishikawa, Y.
WHO new classification of lung tumors.
10th Asia-Pacific Society for Molecular Immunohistology (APSMI 2015): Yogyakarta, Indonesia, 2015

3. Ishikawa, Y.
Neuroendocirne carcinoma of the lung.
Pathology Expert Forum: The WHO Classification of Lung Tumors: Taipei, Taiwan, 2015

4. Ishikawa, Y.
Neuroendocrine tumors of the ling and other organs particularly digestive organs: their histogenesis and pathology diagnosis.
6th CME Course of Thoracic Tumor and 2nd Meeting of Committee of Thoracic Disease, Chinese Society of Pathology: Xiamen, China, 2015

5. Matsubara, O.
Lung cancer classification and testing for targeted therapy.
10th Asia-Pacific Society for Molecular Immunohistology Conference (APSMI 2015): Yogyakarta, Indonesia, 2015

6. Matsubara, O.
Inflammatory and infectious diseases of the lung.
3rd Pacific Pathology Symposium: Suva, Fiji, 2015

7. Matsubara, O.
Case presentation.
9th　Asia Pacific IAP Congress: Brisbane, Australia, 2015

8. Motoi, N., Suzuki, K., Nomura, H., Nagano, H., Matsumoto, H., Yamada, K., Hino, R., Komatsu, K., Furuta, N., Ebina, A., Tada, K., Sugitani, I., Ishikawa, Y.
Usefulness of liquid based cytology (LBC) of thyroid lesion; combination of morphologic and molecular analysis.
39th European Congress of Cytology: Milan, Itary, 2015

9. Ninomiya, H., Kato, M., Ogawa, S., Motoi, N., Takeuchi, K., Kodama, T., Sakamoto, H., Ishii, N., Fujiwara, M., Ishikawa, Y.
Unique pattern of copy number changes including chromothripsis in pulmonary adenocarcinoma with EML4-ALK fusion.
American Association for Cancer Research (AACR) Annual Meeting: Philadelphia, USA, 2015

10. 森彰平, 元井紀子, 松浦陽介, 二宮浩範, 石川雄一, 高松学, 杉浦善弥, 遠藤太嘉志, 奥村栄, 西尾誠人
Clinicopathological characteristics of PD-L1 positive surgically resected non-small cell lung cancer.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

11. 馬合木特亜森, 長野裕子, 古来木拝尔鳥布力哈斯木, 二宮浩範, 元井紀子, 石川雄一
microRNA profiles sought to differentiate asbestos-related lung adenocarcinoma.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

12. 石川雄一
肺癌の新しい病理分類.
気管支学. 37(Suppl.): S120, 2015

13. 元井紀子, 長野裕子, 星利良, 神田浩明, 柳谷典子, 小松京子, 西尾誠人, 宝来威, 石川雄一
Overlay FISH IHC(OFI)法はALK検出感度を向上できる.
第56回日本臨床細胞学会総会: 松江市, 2015

14. 神田浩明, 古田則行, 元井紀子, 高澤豊, 古田玲子, 小松京子, 杉山裕子, 石川雄一
GIST骨転移4例の細胞学的検討.
日本臨床細胞学会雑誌. 54(Suppl.1): 181, 2015

15. 二宮浩範, 元井紀子, 竹内賢吾, 加藤元博, 小川誠司, 石川雄一
EML4-ALK融合遺伝子の生成メカニズム chromothripsisを含む遺伝子再構成とコピー数変化.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

16. 佐藤由紀子, 山本智理子, 長尾俊孝, 石川雄一
唾液腺導管癌の悪性度評価.
日本病理学会会誌. 104(1): 534, 2015

17. 元井紀子, マハムット・ヤセン, 南順子, 加藤洋, 石川雄一
病理検体を用いたリンチ症候群スクリーニング(実践編).
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

18. 元井紀子, 長野裕子, 松浦陽介, 森彰平, 高松学, 杉浦善弥, 遠藤太嘉志, 二宮浩範, 石川雄一
ROS1融合遺伝子肺癌を検出するための免疫染色の有効性.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

19. 北川知行
山極勝三郎の業績.
第61回日本病理学会秋期特別総会: 東京, 2015

20. 古田玲子, 佐藤由紀子, 利安隆史, 新橋渉, 川端一嘉, 三木義男, 山本智理子, 石川雄一, 北川知行
中咽頭のHPV陽性癌と陰性癌の臨床病理組織学的特徴.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

21. 日野るみ, 元井紀子, 蛯名彩, 山本智理子, 遠藤太嘉志, 戸田和寿, 川端一嘉, 杉谷巌, 石川雄一
臨床的低危険度甲状腺乳頭癌における予後不良例の病理組織学的特徴.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

22. 杉浦善弥, 元井紀子, 阿江啓介, 神田浩明, 谷澤泰介, 下地尚, 松浦正明, 松本誠一, 町並陸生, 石川雄一
軟部肉腫の臨床病理学的な予後因子に関する検討.
日本病理学会会誌. 104(1): 277, 2015

23. 石川雄一, 元井紀子
肺癌のWHO新分類における神経内分泌性腫瘍.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

24. 神田浩明, 山本智理子, 齋浦明夫, 加藤洋, 石川雄一, 北川知行
メタボリック症候群関連肝がんの臨床病理学的解析.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

25. 遠藤太嘉志, 二宮浩範, 高松学, マハムット・ヤセン, 金小海, グランバル・ウブリハスム, 杉浦善弥, 稲村健太郎, 石川雄一
膀胱paraganglioma　リンパ節転移を有する悪性症例を含む12例の臨床病理学的検討.

第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

26. 金小海, 元井紀子, 長野裕子, 杉浦善弥, 神田浩明, 松本誠一, 町並陸生, 石川雄一
硝子様間質形成が目立つ特異な形態を示すALK陽性炎症性筋線維芽細胞腫瘍と考えられた一例.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

27. 飯塚利彦, 長野裕子, 野村起美恵, 元井紀子, 石川雄一
肺腺癌での長鎖非コードRNA HOTAIRおよびポリコーム遺伝子EZH2の発現　組織像、予後との関連.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

28. 高松学, 元井紀子, グランバル・ウブリハスム, 渋谷朋子, 本田小吉, 横内友祐, 小坂俊幸, 山本智理子, 高澤豊, 石川雄一
胃癌におけるEphA2発現と臨床病理学的特徴の解析.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

29. 高澤豊, 長野裕子, 石川雄一
胃消化管間質腫瘍における悪性度評価のバイオマーカーとしてのmiRNA発現.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

30. 秋山太
「乳癌診療A to Z」　専門医・技師はこう考える　乳癌の治療 乳癌診療における病理診断の役割.
日本放射線技術学会総会学術大会予稿集. 71回: 132, 2015

31. 日野るみ, 元井紀子, 蛯名彩, 杉谷厳, 石川雄一
臨床的低危険度甲状腺乳頭癌における予後不良例の病理組織学的特徴.
日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌. 32(Suppl.2): S288, 2015

32. 井上寛章, 堀井理絵, 伊藤良則, 岩瀬拓士, 秋山太
Tumor Infiltrating LymphocytesはHER2陽性乳癌の治療効果予測因子となるか.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

33. 山崎希恵子, 堀井理絵, 神尾英則, 井上寛章, 米倉利香, 岩瀬拓士, 秋山太
経過観察可能な非浸潤性乳管癌の探索.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

34. 武藤信子, 堀井理絵, 岩瀬拓士, 秋山太
粘液癌プロトタイプ分類の予後因子としての意義.
第23回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2015

35. 米倉利香, 堀井理絵, 山崎希恵子, 井上寛章, 神尾英則, 國分優美, 五味直哉, 岩瀬拓士, 秋山太
ステレオガイド下吸引式乳房組織生検が施行された非触知石灰化病変の長期経過.: 2015

36. グランバル・ウブリハムス
miRNA発現プロファイリングによる、石綿暴露に関連する肺腺癌抽出の試み.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

37. 二宮浩範, 石川雄一
症例21-03,04.
第21回中皮腫パネル: 広島市, 2015

38. 元井紀子
多数回の再発を来して組織学的悪性度が増大し、大腿切断術に至った右膝窩部軟部腫瘍.
第54回日本骨軟部腫瘍研究会: 福岡市, 2015

39. 元井紀子, 長野裕子, 二宮浩範, 奥村栄, 石川雄一
肺癌の組織蔵とmicroRNA発現様式.
第74回日本癌学会学術総会: 名古屋市, 2015

40. 元井紀子, 長野裕子, 星利良, 神田浩明, 柳谷典子, 小松京子, 西尾誠人, 宝来威, 石川雄一
Overlay FISH and IHC（OFI）method can improve the accuracy of ALK detection.
第56回日本臨床細胞学会総会: 松江市, 2015

41. 古田玲子, 佐藤由紀子, 利安隆史, 新橋渉, 山本智理子, 川端一嘉, 三木義男, 石川雄一, 北川知行
中咽頭扁平上皮癌のHPV陽性率とHPV型.
第74回日本癌学会学術総会: 名古屋市, 2015

42. 小林真季
Wnt シグナルβ-catenin経路活性化が胃腺癌の増殖・分化・浸潤に与える影響.
第104回日本病理学会総会: 名古屋市, 2015

43. 石川雄一
がん病理診断：遺伝子診断は病理診断に置きかわるか？.
第74回日本癌学会学術総会: 名古屋市, 2015

44. 石川雄一
肺癌病理分類の新しい動向.
第56回日本肺癌学会学術集会：横浜市, 2015

45. 神田浩明, 元井紀子, 杉浦善弥, 五木田茶舞, 谷澤泰介, 松本誠一, 町並陸生, 石川雄一
デノスマブ治療後の巨骨細胞腫組織蔵.
第74回日本癌学会学術総会：名古屋市, 2015

46. 神田浩明, 古田則行, 元井紀子, 高澤豊, 古田玲子, 小松京子, 杉山裕子, 石川雄一
GIST骨転移4例の細胞学的検討.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

47. 秋山太
過剰診断についての病理学的推考.
第25回日本乳癌検診学会学術総会：つくば市, 2015

48. 稲村健太郎
分子病理疫学データベースを用いた大腸癌研究.
第74回日本癌学会学術総会：名古屋市, 2015

49. 飯塚利彦, 石川雄一
肺腺癌での長鎖非コードRNA HOTAIRおよびポリコーム遺伝子EZH2の発現　組織像、予後との関連.
第17回日本RNA学会年会：札幌市, 2015

50. 高松学, 元井紀子, ウブリハスム・グランバル, 小林真季, 山本智理子, 高沢豊, 石川雄一
胃癌と大腸癌におけるEphA2発現と臨床病理学的特徴の解析.
第74回日本癌学会学術総会：名古屋市, 2015

細胞診断部

1. Komatsu, K.
Education and　registration medical laboratory scientist in Japan.
Asian Association of Medical Laboratory Scientists (AAMLS 2015): Yogyakarta, Indonesia. , 2015

2. Suzuki, N., Sakamoto, A., Komatsu, K., Fujiyama, J., Furuta, N., Toda, K., Motoi, N., Sugiyama, Y.
Cytological evaluation of the“AUS/FLUS and FN/SFN” category by The Bethesda System for Reporting Thyroid Cytopathology.
Asian Association of Medical Laboratory Scientists (AAMLS 2015): Yogyakarta, Indonesia, 2015

3. 古田則行, 元井紀子, 神田浩明, 小松京子, 星利良, 池畑浩一, 古田玲子, 高澤豊, 杉山裕子, 石川雄一
多形性硝子化血管拡張腫瘍の1例.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

4. 星利良, 文敏景, 伊藤崇彦, 山田麻里沙, 池畑浩一, 藤山淳三, 古田則行, 小松京子, 杉山裕子, 宝来威
原発性肺癌の胸腔鏡手術における標本回収バック内洗浄細胞診についての検討.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

5. 杉山裕子, 佐々木寛, 森谷卓也, 頸部細胞診の自動化判定に関する研究班
婦人科細胞診精度管理における自動化細胞診支援システムの有用性に関する検討.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

6. 鈴木奈緒子, 坂本穆彦, 小松京子, 藤山淳三, 古田則行, 戸田和寿, 元井紀子, 杉山裕子
甲状腺癌取扱い規約に従った細胞診断の進め方
意義不明な異型あるいは意義不明な濾胞性病変(AUS/FLUS)の細胞所見.
第56回日本臨床細胞学会総会：松江市, 2015

7. 杉山裕子
子宮頸部初期病変とコルポ像 コルポ症例　治療施設の立場から.
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：盛岡市, 2015

8. 古田則行
病理・細胞診セミナー：骨・軟部腫瘍.
第54回日本臨床細胞学会秋期大会：名古屋市, 2015

9. 小松京子
臨床検査技師の海外留学と国際学会発表の現状と課題：外国における認定制度.
第62回日本臨床検査医学会学術集会：岐阜市, 2015

10. 小松京子, 藤山淳三, 伊藤崇彦, 山田麻里沙, 池畑浩一, 星利良, 鈴木奈緒子, 古田則行, 高澤豊, 杉山裕子
子宮頸部細胞診の「ここまでは」「ここからは」

のポイント.
第54回日本臨床細胞学会秋期大会：名古屋市, 2015

11. 小松京子, 藤山淳三, 伊藤崇彦, 鈴木奈緒子, 山田麻里沙, 池畑浩一, 星利良, 古田則行, 高澤豊, 杉山裕子
HPV検査と細胞診の役割り.
第54回日本臨床細胞学会秋期大会：名古屋市, 2015

12. 杉山裕子, 伊藤崇彦, 山田麻理沙, 鈴木奈緒子, 池畑浩一, 星利良, 藤山淳三, 古田則行, 小松京子, 宇津木久仁子, 竹島信宏, 荷見勝彦, 高澤豊
内膜異型細胞(ATEC)と判定した細胞像と臨床的取り扱い.
第54回日本臨床細胞学会秋期大会：名古屋市, 2015

13. 杉山裕子, 後藤理, 福井伸行, 土屋裕章, 青砥早希, 荷見勝彦, 加藤一喜, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 竹島信宏, 本山悌一, 高澤豊, 野田哲生, 森誠一
ゲノム解析からみた2種類の子宮体部類内膜腺癌.
第53回日本癌治療学会学術集会：京都市, 2015

14. 杉山裕子, 後藤理, 荷見勝彦, 高澤豊, 野田哲生, 森誠一
ゲノム解析からみた2種類の子宮体部類内膜腺癌.
第74回日本癌学会学術総会：名古屋市, 2015

15. 池畑浩一
平成26年度日臨技臨床検査精度管理調査報告：細胞検査部門.
第11回東京都医学検査学会：東京, 2015

16. 池畑浩一
子宮頸部非浸潤性腺扁平上皮癌の細胞学的検討.
第54回日本臨床細胞学会秋期大会：名古屋市, 2015

看護部

1. Suzuki, M., Kobayashi, M.
Impact of end-of-life care education on knowledge, confidence, and attitude toward care of the dying in entry-level nursing students.
26th Sigma Theta Tau International Nursing Research Congress: San Juan, Puerto Rico, 2015

2. Suzuki, M., Nakanishi, S., Shinohara, A., Kurokawa, M.
Relationships among concerns, psychological distress, and quality of life in Japanese patients who underwent allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. .
20th Annual Congress of Asia-Pasific Blood and Marrow Transplantation Group: Okinawa, Japan, 2015

3. 石川加奈子, 松浦信子
がん専門病院における外来での褥瘡予防の取り組みと持ち込み褥瘡の実態.
第17回日本褥瘡学会学術集会：仙台市, 2015

4. 花出正美
「倦怠感」を多職種で支える 倦怠感へのアプローチ　看護師の立場から.
第20回日本緩和医療学会学術大会：横浜市, 2015

5. 武田知子, 森田幾代
術式別指導者の導入による、器械出し看護指導者の増員に向けた取り組み.
第37回日本手術医学会総会：大阪市, 2015

6. 竹内抄與子, 重広美佳, 芦原有美, 喜多瑞穂, 岡村仁, 新井正美
BRCA1/2変異保有者におけるリスク低減卵巣卵管切除術前後の心理・社会的側面に関する研究.
第21回日本家族性腫瘍学会学術集会：さいたま市, 2015

7. 小暮麻優, 古敷谷昇, 榮木実枝, 布施卓美, 富塚健
がん研有明病院における歯科衛生士による口腔ケアラウンドの取り組みについて.
第12回日本口腔ケア学会総会・学術集会：下関市, 2015

8. 川名佑実, 大塚葉子, 神田恵子
鎮静下で内視鏡検査を受けた外来患者の退出基準：導入前後の看護師の変化.
第75回日本消化器内視鏡技師学会：東京, 2015

9. 鈴木美穂, 五十嵐歩, 山本則子
コンビニエンスストアにおける高齢者支援に関するアンケート調査.
第57回日本老年医学会学術集会: 横浜市, 2015

薬剤部

1. Kawakami, K.
Patient's self-reported adherence to capecitabine on XELOX as adjuvant therapy for colorectal cancer.
2015 Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2015

2. 庄司大悟, 原田壮平, 鈴木強志, 濱敏弘
TDM解析ソフトを用いないバンコマイシン(VCM)初回投与設計法の有用性.
第63回日本化学療法学会総会: 東京, 2015

医療安全管理部

1. 長田理
手術室の安全管理から病院全体の安全管理へ.
第12回麻酔科学サマーセミナー: 名護市, 2015

健診センター

1. Tsuchida, T., Imai, M., Yamada, Y., Kubota, M., Okamoto, T., Haruki, S., Suzuki, T., Utano, K.
Trial of the new bowel preparation method for CT colonography.
23rd United European Gastroenterology Week (UEGW): Barcelona, Spain, 2015

2. 鈴木朋子, 山田由美, 岡本朋子, 春木聡美, 今井瑞香, 窪田素子, 北嘉昭, 田中正典, 土田知宏
当院健診センター人間ドック受診を契機に発見されたがん・悪性腫瘍例の検討.
第56回日本人間ドック学会学術大会: 横浜市, 2015

3. 今井瑞香, 岡本朋子, 山田由美, 春木聡美, 窪田素子, 土田知宏, 歌野健一
大腸3D-CTにおける新たな腸管前処置の試み.
第7回消化管先進画像診断研究会: 東京, 2015

【 2016年 】

呼吸器内科

1. Nishio, M.
Immune checkpoint inhibitors in lung cancer.
Korean Association of Clinical Oncology (KACO) 14th Annual Meeting: Seoul, Korea, 2016.

2. Tambo, Y., Motoi, N., Sakakibara, R., Ohyanagi, F., Kitazono, S., Horiike, A., Yanagitani, N., Oguri, T., Kawashima, Y., Takano, N., Ishikawa, Y., Nishio, M.
Feasibility of EBUS-TBNA specimens for PD-L1 expression test in lung cancer.
American Society of Clinical Oncology (ASCO) Annual Meeting: Chicago, USA, 2016.

3. Oguri, T., Ohyanagi, F., Takano, N., Kawashima, Y., Kitazono, S., Tambo, Y., Yanagitani, N., Horiike, A., Horai, T., Nishio, M.
Current situation of re-biopsy in non small-cell lung cancer treated with EGFR-TKI.
American Society of Clinical Oncology (ASCO) Annual Meeting: Chicago, USA, 2016.

4. Kawashima, Y., Kitazono, S., Takano, N., Oguri, T., Tambo, Y., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Horai, T., Nishio, M.
EGFR mutation type and efficacy of afatinib in patients who previously treated with EGFR-TKI.
American Society Of Clinical Oncology (ASCO) Annual Meeting: Chicago, USA, 2016.

5. Nishio, M., Mok, T.S.K., Nakagawa, K., Yamamoto, N., Shi, Y., Zhang, L., Lu, S., Soo, R., Yang, J., Morita, S., Sugawara, S., Nokihara, H., Takahashi, T., Goto, K., Chang,
J., Maemondo, M., Ichinose, Y., Cheng, Y., Lim, W., Tamura, T.
EAST-LC: Randomized controlled phase III trial of S-1 versus docetaxel in patients with non-small-cell lung cancer who had received a platinum-based treatment.
ESMO 2016 Congress: Copenhagen, Denmark, 2016.

6. Horiike, A., Yoh, K., Seto, T., Satouchi, M., Nishio, M., Yamamto, N., Murakami, H., Nogami, N., Nomura, S., Sato, A., Ohtsu, A., Goto, K.
LURET study: Phase 2 study of vandetanib in patients with advanced RET-rearranged non-small cell lung cancer (NSCLC).
ESMO 2016 Congress: Copenhagen, Denmark, 2016.

7. Sakakibara, R., Inamura, K., Ninomiya, H., Shigematsu, Y., Kakita, T., Noma, D., Hirata, Y., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Nishio, M., Okumura, S.
Insulinoma-associated 1 (INSM1) immunohistochemical expression in lung neuroendorine tumors.
17th International Association for the Study of Lung (IASLC) World Coference on Lung Cancer: Vienna, Austria, 2016.

8. Nishio, M., Azuma, K., Hayashi, H., Hida, T., Inoue, A., Iwamoto, Y., Ikeda, S., Kiura, K., Satouchi, M., Sugawara, S., Takeda, K., Bhardwaj, D., Keating, A., Komatsu, K., Morishita, M., Takeda, K., Morita, S., Fukuoka, M., Nakagawa, K.
ASP8273 tolerability and antitumor activity in TKI-Naïve Japanese subjects with EGFRmut+ NSCLC: Preliminary results.
17th International Association for the Study of Lung (IASLC) World Coference on Lung Cancer: Vienna, Austria, 2016.

9. Nishio, M.
Immunotherapy in lung cancer.
第 54 回日本癌治療学会学術集会：横浜市, 2016.

10. Nishio, M., Abe, T., Kiura, K., Imamura, F., Matsumoto, S., Okamoto, I., Satouchi, M., Takenoyama, M., Nakagawa, K., Kurata, T., Fujisaka, Y., Tokushige, K., Natori, H., Hida, T.
Global Phase3 study of ceritinib in

ALK+NSCLC patients previously treated with crizotinib(ASCEND-5):Japanese subset results.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

11. 西尾誠人.
ALK positive lung cancer treatment strategy—evidence, resistance mechanism, and clinical practice.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

12. 北園聡 , 西尾誠人.
NUT midline carcinoma の 2 症例.
第 1324 回 千葉医学回例会 / 第 15 回呼吸器内科例会: H27 2016.01, 2016.

13. 西尾誠人.
免疫チェックポイント阻害薬.
第 30 回札幌冬季がんセミナー: 札幌市, 2016.

14. 西尾誠人.
NSCLC 最新治療 免疫チェックポイント阻害剤について.
第 102 回日本呼吸器学会東北地方会 / 第 132 回日本結核病学会東北支部学会 / 第 10 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会東北支部会: 八戸市, 2016.

15. 西尾誠人.
2016 年 EGFR 遺伝子変異陽性肺癌に対する最新の治療の現状と課題.
第 56 回日本呼吸器学会学術講演会: 京都市, 2016.

16. 西尾誠人.
肺癌免疫治療 Update チェックポイント阻害剤の有効性と評価.
第 56 回日本呼吸器学会学術講演会: 京都市, 2016.

17. 小栗知世, 柳谷典子, 星利良, 杉山裕子, 西尾誠, 宝来威.
EGFR-TKI 治療にて小細胞癌へ形質転換した EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌の 3 例.
第 27 回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

18. 高野夏希, 柳谷典子, 川嶋庸介, 小栗知世, 北園聡, 大柳文義, 堀池篤, 中川健, 奥村栄, 宝来威, 西尾誠人.
孤立性腺上皮性乳頭腫の一例.
第 39 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: 名古屋市, 2016.

19. 小栗知世, 大柳文義, 高野夏希, 川嶋庸介, 北園聡, 丹保裕一, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 中尾将之, 松浦陽介, 文敏景, 奥村栄, 西尾誠人.
縦隔リンパ節に対する EBUS Elastography の検討.
第 39 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: 名古屋市, 2016.

20. 西尾誠人.
免疫チェックポイント阻害剤による治療 非小細胞肺癌.
第 17 回臨床腫瘍夏季セミナー: 東京, 2016.

21. 西尾誠人.
Immune checkpoint の基礎と臨床：治験経験および臨床成績.
第 31 回日本肺癌学会ワークショップ: 大分市, 2016.

22. 西尾誠人.
肺がん治療における免疫チェックポイント阻害剤の現状と課題.
第 170 回日本結核病学会関東支部学会 / 第 221 回日本呼吸器学会関東地方会: 甲府市, 2016.

23. 西尾誠人, 園田智明, 西川晋吾, 北園聡, 柳谷典子, 大柳文義, 堀池篤, 榊原里江, 二宮浩範, 石川雄一.
小細胞癌形質転換後に腺癌に再度形質転換した EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌の 1 例.
第 177 回肺癌学会関東支部会: 東京, 2016.

24. 二宮浩範, 稲村健太郎, 榊原里江, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 大柳文義, 堀池篤, 柳谷典子, 北園聡, 曽田学, 間野博行, 西尾誠人, 奥村栄, 石川雄一.
EML4-ALK 陽性腺扁平上皮癌の 2 例.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

25. 武藤麻理子, 高松学, 佐藤由紀子, 二宮浩範, 榊原里江, 稲村健太郎, 長野裕子, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 西尾誠人, 奥村栄, 石川雄一.
肺原発の稀な唾液腺型腫瘍 Hyalinizing clear cell carcinoma の 2 例.

第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

26. 西川晋吾, 川島庸介, 神山潤二, 有安亮, 園田智明, 齊木雅史, 高野夏希, 小栗知世, 北園聡, 柳谷典子, 大柳文義, 堀池篤, 西尾誠人.
一般診療における EGFR 遺伝子変異とニボルマブの抗腫瘍効果の関連.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

27. 齊木雅史, 大柳文義, 有安亮, 神山潤二, 園田智明, 川嶋庸介, 高野夏希, 小栗知世, 西川晋吾, 北園聡, 柳谷典子, 堀池篤, 負門克典, 二宮浩範, 竹内賢吾, 石川雄一, 宝来威, 西尾誠人.
当科で経験した RET 融合遺伝子陽性肺癌(RER 肺癌）の検討.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

28. 有安亮, 堀池篤, 神山潤二, 齊木雅史, 園田智明, 高野夏希, 川嶋庸介, 小栗知世, 西川晋吾, 北園聡, 柳谷典子, 大柳文義, 宝来威, 負門克典, 西尾誠人.
Nivolumab 奏効例における造影 CT 画像の特徴の検討.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

29. 柳谷典子, 園田智明, 片山量平, 高野夏希, 川嶋庸介, 小栗知世, 有安亮, 神山潤二, 齊木雅史, 西川晋吾, 北園聡, 大柳文義, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人.
ALK 融合遺伝子陽性肺癌における ALK 阻害剤耐性機序の検討.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

30. 箕輪雄一, 瀧口友美, 北園聡, 横川貴志, 中本恵理, 中野泰寛, 加藤寛基, 平出誠, 角田尚, 鈴木賢一, 西尾誠人, 濱敏弘.
定量的に評価する外用剤のアドヒアランス：EGFR-TKI の皮膚症状を対象とした Team RASH の取り組み.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

31. 堀池篤, 有安亮, 小栗知世, 神山潤二, 齊木雅史, 園田智明, 高野夏希, 川嶋庸介, 西川晋吾, 北園聡, 柳谷典子, 大柳文義, 宝来威, 西尾誠人.
中枢神経系転移を有する非小細胞肺癌に対する Nivolumab の有効性の検討.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

32. 北園聡, 榊原里江, 稲村健太郎, 神山潤二, 高野夏希, 有安亮, 齊木雅史, 園田智明, 川嶋庸介, 小栗知世, 西川晋吾, 柳谷典子, 堀池篤, 大柳文義, 二宮浩範, 宝来威, 石川雄一, 西尾誠人.
ニボルマブ投与症例におけるアーカイブ検体を免疫組織化学法の検討.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

33. 榊原里江, 稲村健太郎, 二宮浩範, 野間大督, 平田佳史, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 西尾誠人, 奥村栄, 石川雄一.
肺小細胞癌における Insulinoma-associated protein 1（INSM1）発現.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

34. 川嶋庸介, 大柳文義, 神山潤二, 有安亮, 園田智明, 齊木雅史, 高野夏希, 小栗知世, 西川晋吾, 北園聡, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人.
Nivolumab 投与症例における効果予測因子の検討.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

35. 西尾誠人.
免疫チェックポイント阻害剤使用の実践：副作用対応.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

36. 西尾誠人.
肺癌に対する免疫療法の現状と課題.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

37. 神山潤二, 北園聡, 有安亮, 齊木雅史, 園田智明, 川嶋庸介, 高野夏希, 小栗知世, 西川晋吾, 柳谷典子, 堀池篤, 大柳文義, 負門克典, 小塚拓洋, 西尾誠人.
既存肺の間質性陰影と化学放射線療法（CRT）による肺障害の関係.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

38. 松浦陽介, 加藤大喜, 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 加藤寛基, 二宮浩範, 一瀬淳二, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 石川雄一, 西尾誠人, 奥村栄.
胸膜生検術後の滅菌調整タルクによる予防的胸膜癒着術の有効性と安全性.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

39. 小泉智子, 柳谷典子, 北園聡, 高野夏希, 瀧口友美, 箕輪雄一, 加藤寛基, 中野泰寛, 平出誠, 綿貫恵, 増田香織, 野村美幸, 熊倉深里, 高橋優美子, 進藤涼香, 加藤小巻, 松尾美喜, 長崎礼子, 武岡奈美, 西尾誠人.

がん専門病院での免疫治療に対する多職種チームの現状と課題.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

40. 小栗知世, 堀池篤, 園田智明, 齊木雅史, 神山潤二, 有安亮, 高野夏希, 川嶋庸介, 西川晋吾, 北園聡, 柳谷典子, 大柳文義, 宝来威, 西尾誠人.
初回 EGFR-TKI 耐性後に再生検ができなかった症例についての検討.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

41. 高野夏希, 北園聡, 神山潤二, 有安亮, 園田智明, 齊木雅史, 川嶋庸介, 小栗知世, 西川晋吾, 柳谷典子, 大柳文義, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人.
当院での EGFR 遺伝子検査における Cobas 法と Scorpion ARMS 法の比較.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

42. 園田智明, 柳谷典子, 有安亮, 神山潤二, 齊木雅史, 川嶋庸介, 高野夏希, 小栗知世, 西川晋吾, 北園聡, 堀池篤, 大柳文義, 宝来威, 西尾誠人.
T790M 陽性 EGFR 陽性非小細胞肺がんに対する実地臨床での Osimertinib の効果と毒性.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

43. 西尾誠人.
ALK 陽性非小細胞肺癌に対する新たな治療戦略.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市, 2016.

44. Nishio, M.
ASP8273 tolerability and antitumor activity in TKI naïve Japanese subjects with EGFR mutation positive non small cell lung cancer: preliminary results.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

45. 友松純一, 北園聡, 石川雄一, 三木義男, 西尾誠人, 高橋俊二.
がん研における多がん種にわたる横断的遺伝子検査システムの構築.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市, 2016.

46. 山本信之 ， 西尾誠人.
免疫チェックポイント阻害薬の副作用管理.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市, 2016.

47. 高野夏希, 柳谷典子, 川嶋庸介, 小栗知世, 北園聡, 丹保裕一, 大柳文義, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人.
高齢者 ALK 融合遺伝子陽性肺がんの臨床的検討.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市, 2016.

呼吸器外科

1. Mun, M., Matsuura, Y., Nakao, M., Nakagawa, K., Okumura, S.
How to evaluate surgical skills and safety in different VATS approaches? Video-Assisted thoracoscopic surgery lobectomy via confronting upside-down system.
第 33 回日本呼吸器外科学会総会：京都市, 2016.

2. 一瀬淳二, 加藤大喜, 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
大腸癌肺転移の外科治療における罹患肺葉数の重要性.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

3. 一瀬淳二, 加藤大喜, 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
縦隔腫瘍に対する胸腔鏡下手術 胸腺腫に対する胸腔鏡下胸腺部分切除の妥当性および手技上の工夫.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市, 2016.

4. 一瀬淳二, 加藤大喜, 氷室直哉, 園田大, 平田佳史, 野間大督, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
骨肉腫肺転移による続発性気胸の治療戦略.
第 69 回日本胸部外科学会定期学術集会：岡山市, 2016.

5. 中尾将之, 加藤大喜, 氷室直哉, 園田大, 平田佳史, 野間大督, 一瀬淳二, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
完全鏡視下手術におけるリンパ節郭清の工夫と実際.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市, 2016.

6. 中尾将之, 平田佳史, 中島拓也, 野間大督, 山崎宏継, 平井慶充, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
高齢者肺癌に対する治療戦略　縦隔リンパ節郭清の意義と予後について.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

7. 中尾将之, 平田佳史, 中島拓也, 野間大督, 山崎宏継, 平井慶充, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 小塚拓洋, 奥村栄.
肺癌に対する定位放射線照射と手術 臨床病期Ⅰ期　非小細胞肺癌　耐術可能例に対する定位放射線治療と手術.
第 33 回日本呼吸器外科学会総会: 京都市, 2016.

8. 中尾将之, 負門克典, 加藤大喜, 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 一瀬淳二, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
新 TNM 分類（第 8 版）の臨床への影響と課題：CT 所見に基づく cT 因子の決定について.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

9. 中尾将之, 鮫島譲二, 加藤大喜, 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 一瀬淳二, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
cN1 非小細胞肺癌に対する治療戦略　Bulky cN1 と Direct cN1 の予後.
第69回日本胸部外科学会定期学術集会: 岡山市, 2016.

10. 加藤大喜, 中尾将之, 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 一瀬淳二, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
原発性肺癌を疑い手術を行った非悪性病変の検討.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

11. 加藤大喜, 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 文敏景, 平田佳史, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄.
高分化腺癌との鑑別が困難であった peribronchiolar metaplasia(PBM)の 1 例.
177 回日本肺癌学会関東支部学術集会: 東京, 2016.

12. 加藤大喜, 氷室直哉, 園田大, 平田佳史, 野間大督, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
当科における末梢小型肺病変に対する非侵襲的 CT ガイド下マーキング法.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

13. 園田大, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄, 二宮浩範, 石川雄一.
気管支形成を伴う左肺全摘術後に肝・肺転移巣の切除により長期生存している腺様嚢胞癌の 1 例.
第177回日本肺癌学会関東支部学術集会: 東京, 2016.

14. 園田大, 中尾将之, 加藤大喜, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中川健, 奥村栄.
侵襲と根治性からみた肺全摘の意義.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

15. 園田大, 中尾将之, 加藤大喜, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 一瀬淳二, 松浦陽介, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
肺全摘の周術期合併症のリスク因子に関する検討.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

16. 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 加藤大喜, 平田佳史, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
がん専門病院における気胸手術例の検討.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

17. 奥村栄, 加藤大喜, 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健.
肺がんにおける反時計回りの肺門郭清（右下葉以外）.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

18. 奥村栄, 文敏景, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健.
非小細胞肺癌外科治療におけるリンパ節郭清 選択的郭清 vs 標準郭清.
第69回日本胸部外科学会定期学術集会: 岡山市, 2016.

19. 奥村栄, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健.
T4 肺癌の手術治療 気管分岐部合併切除を伴う肺癌手術 DVD のライブラリー化.
33 回日本呼吸器外科学会総会: 京都市, 2016.

20. 奥村栄，櫻井裕幸，後藤悌，宿谷威仁，高持一矢，菱田智之，葉清隆，大橋靖雄，坪井正博，國頭英夫.
病理病期 1 期（T1>2cm）非小細胞肺癌完全切除例における術後治療に関する観察研究.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

21. 平田佳史，中尾将之，中島拓也，野間大督，山崎宏継，平井慶充，松浦陽介，文敏景，中川健，奥村栄.
頭頸部扁平上皮癌の肺転移に対する切除症例の検討.
第 33 回日本呼吸器外科学会総会：京都市，2016.

22. 平田佳史，中尾将之，加藤大喜，園田大，氷室直哉，野間大督，一瀬淳二，松浦陽介，文敏景，中川健，二宮浩範，石川雄一，奥村栄.
非小細胞肺癌における pN 因子細分化の意義：転移 station 数か，転移 zone 分布か.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

23. 平田佳史，奥村栄，中島拓也，野間大督，山崎宏継，平井慶充，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健.
大腸癌縦隔リンパ節転移の Salvage 切除例.
第 170 日本胸部外科学会関東甲信越地方会：横浜市, 2016.

24. 平田佳史，奥村栄，園田大，加藤大喜，氷室直哉，野間大督，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健.
右肺全摘後気管支断端瘻に対し開窓部閉鎖術を施行しえた 1 例.
日本胸部外科学会関東甲信越地方会：東京，2016.

25. 平田佳史，野間大督，加藤大喜，氷室直哉，園田大，平田佳史，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄.
胸腔鏡下左上区域切除術における#11 リンパ節郭清の工夫.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

26. 文敏景，中尾将之，松浦陽介，平井慶充，山崎宏継，野間大督，平田佳史，中川健，奥村栄.
臨床病期 IA 期肺癌に対する胸腔鏡下手術による治療戦略.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2016.

27. 文敏景，加藤大喜，氷室直哉，園田大，平田佳史，野間大督，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄.
4incisions 対面倒立法による胸腔鏡下肺葉切除の工夫と成績.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

28. 文敏景，園田大，氷室直哉，平田佳史，野間大督，加藤大喜，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄.
拡大視と血管鞘を意識した胸腔鏡下肺門縦隔リンパ節郭清.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

29. 文敏景，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄.
間質性肺炎合併肺癌に対する胸腔鏡下手術.
第 78 回日本臨床外科学会総会：東京, 2016.

30. 松浦陽介，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄.
当科での手術教育・トレーニングシステム.
第 33 回日本呼吸器外科学会総会：京都市，2016.

31. 松浦陽介，加藤大喜，園田大，氷室直哉，平田佳史，野間大督，加藤寛基，二宮浩範，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，石川雄一，西尾誠人，奥村栄.
胸膜生検術後の滅菌調整タルクによる予防的胸膜癒着術の有効性と安全性.
第 57 回日本肺癌学会学術集会：福岡市, 2016.

32. 松浦陽介，平田佳史，中島拓也，野間大督，山崎宏継，平井慶充，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄.
当科における癌腫肺転移に対する外科治療の変遷.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市，2016.

33. 松浦陽介，平田佳史，野間大督，加藤大喜，氷室直哉，園田大，平田佳史，一瀬淳二，中尾将之，文敏景，中川健，奥村栄.
肺癌に対する内視鏡外科の技術認定医制度は可能か?
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

34. 氷室直哉, 平田佳史, 野間大督, 加藤大喜, 園田大, 平田佳史, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
右主肺動脈・右上肺静脈の走行異常を伴う Tracheobronchus の一例.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

35. 氷室直哉, 文便景, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄, 稲村健太郎, 二宮浩範, 石川雄一.
PET で高集積を認めた thymic typical carcinoid の 1 例.
第 176 回日本肺癌学会関東支部学術集会: 東京, 2016.

36. 氷室直哉, 松浦陽介, 加藤大喜, 園田大, 平田佳史, 野間大督, 二宮浩範, 一瀬淳二, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 石川雄一, 奥村栄.
GPS（Gasgow prognostic Score）は肺癌完全切除後の予後予測因子となるか.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

37. 野間大督, 中尾将之, 松浦陽介, 一瀬淳二, 中川健, 奥村栄, 重松康之, 二宮浩範, 石川雄一.
術前に原発巣の縮小を認めた cN2 肺腺癌の 1 切除例.
第 177 回日本肺癌学会関東支部学術集会: 東京, 2016.

38. 野間大督, 加藤大喜, 氷室直哉, 園田大, 平田佳史, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄.
Thoracoscopic major pulmonary resection における“しみ込み”リンパ節への対応.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

39. 野間大督, 文敏景, 園田大, 氷室直哉, 平田佳史, 加藤大喜, 一瀬淳二, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄.
P I 期 PitiNSCLC における脈管侵襲の TNM 分類への寄与.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

40. 野間大督, 文敏景, 平田佳史, 中島拓也, 山崎宏継, 平井慶充, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄.
当院における末梢小型肺癌に対する胸腔鏡下部分切除術の適応と手術成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会:大阪市, 2016.

41. 野間大督, 文敏景, 平田佳史, 中島拓也, 山崎宏継, 平井慶充, 松浦陽介, 中尾将之, 中川健, 奥村栄.
ICG 蛍光法を用いた胸腔鏡下右 S9+10 区域切除術　手術の工夫と実際.
第 33 回日本呼吸器外科学会総会: 京都市, 2016.

42. 野間大督, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 奥村栄, 稲村健太郎, 二宮浩範, 石川雄一.
気管支内腔に認められた ALK 陽性肺腺癌の 1 切除例.
第 175 回日本肺癌学会関東支部学術集会: 東京, 2016.

食道外科

1. Mine, S.
Clinical significance of pretherapeutic nodal size in patients undergoing neo-adjuvant treatment followed by esophagectomy.
15th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus: Singapore, 2016.

2. 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 黒河内喬範, 岡村明彦, 今村裕, 佐野武.
Refinement of surgical procedures to decrease postoperative complications after esophagectomy.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

3. 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 今村裕, 岡村明彦.
EMR/ESD で非治癒切除となった食道表在癌に対する外科的切除の成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

4. 今村裕, 中村健一, 徳永竜馬, 黒河内喬範, 岡村明彦, 江藤弘二郎, 日吉幸晴, 井田智, 西田康二郎, 沖英次, 吉田直矢, 峯真司, 佐野武, 前原喜彦, 馬場秀夫, 渡邊雅之.
食道胃接合部癌の治療戦略 食道胃接合部腺癌において pN2/3 および Siewert type 1 は予後不良因子である.
第 116 回日本外科学会定期学術集会:

大阪市, 2016.

5. 西田康二郎, 黒河内喬範, 岡村明彦, 今村裕, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 峯真司, 比企直樹, 渡邊雅之.
鏡視下食道切除術における腹腔鏡操作の意義.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

6. 峯真司, 渡邊雅之, 西田康二郎, 熊谷厚志, 布部創也, 比企直樹, 今村裕, 岡村明彦, 黒河内喬範, 井上陽介, 福長洋介, 藤本佳也, 石沢武彰, 長山聡, 秋吉高志, 三瀬祥弘, 高橋祐, 佐野武, 山口俊晴.
食道切除後に頸部後縦隔吻合した場合の逆流および術後体重減少に関わる因子についての検討.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

7. 黒河内喬範, 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 今村裕, 岡村明彦.
術前のリンパ節転移度から見た術前 FP 療法の有用性の検討.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

8. 岡村明彦, 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 今村裕, 黒河内喬範, 佐野武.
内臓脂肪型肥満は食道扁平上皮癌の予後不良因子である.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

9. 渡邊雅之.
大腸癌肝転移の早期肝再発に対する再肝切除の意義.
第 841 回外科集談会: さいたま市, 2016.

10. 峯真司, 渡邊雅之, 今村裕, 岡村明彦, 黒河内喬範, 熊谷厚志, 布部創也, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴.
頸部吻合縫合不全と胸骨上縁での胸郭の広さとの関連.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

11. 黒河内喬範, 渡邊雅之, 峯真司, 今村裕, 岡村明彦.
術前リンパ節転移度、再発形式から見た術前 FP 療法の有用性.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

12. 渡邊雅之, 峯真司, 黒河内喬範, 岡村明彦, 今村裕.
再発食道癌の治療、なお cure をめざすのは誤りか? 食道癌術後再発例の治療成績と再発切除の意義.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

13. 今村裕, 峯真司, 沖英次, 山本学, 比企直樹, 森田勝, 佐野武, 前原喜彦, 馬場秀夫, 渡邊雅之.
食道胃接合部腺癌の至適郭清範囲と切除範囲
Siewert type I-II 食道胃接合部腺癌における郭清効果 index の検討.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

14. 岡村明彦, 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 黒河内喬範, 今村裕.
食道がん周術期チーム医療成功へのカギ 周術期管理チームによる術後肺合併症の軽減と患者啓発における肺年齢の意義.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

15. 岡村明彦.
食道 : 周術期管理.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

16. 峯真司, 渡邊雅之, 西田康二郎, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 秋吉高志, 高橋祐, 佐野武.
胸骨後胃管再建における縫合不全に関連する因子の検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会;: 徳島市, 2016.

17. 渡邊雅之.
食道 : 悪性 1.
第 71 回日本消化器外科学会総会;: 徳島市, 2016.

18. 西田康二郎, 黒河内喬範, 岡村明彦, 今村裕, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 峯真司, 比企直樹, 渡邊雅之.
食道バイパス術の術後合併症予測における Glasgow prognosticscore の有用性.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

19. 渡邊雅之.
食道癌手術関連 2 .
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

20. 今村裕, 峯真司, 沖英次, 山本学, 比企直樹, 森田勝, 佐野武, 前原喜彦, 馬場秀夫, 渡邊雅之.
食道胃接合部腺癌の臨床病理学的特徴と治療成績の検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

21. 黒河内喬範, 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 今村裕, 岡村明彦.
術前リンパ節転移度から見た術前 FP 療法の有用性に関する傾向スコアマッチングを用いた検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

22. 今村裕, 峯真司, 黒河内喬範, 山下公太郎, 岡村明彦, 沖英次, 比企直樹, 前原喜彦, 馬場秀夫, 佐野武, 渡邊雅之.
食道胃接合部腺癌におけるマイクロサテライト不安定性の検討...
第 27 回日本消化器癌発生学会総会: 鹿児島市, 2016.

23. 渡邊雅之.
一般演題 口演 6.
第 27 回日本消化器癌発生学会総会: 鹿児島市, 2016.

24. 渡邊雅之.
食道：1.食道悪性疾患
第69回日本胸部外科学会定期学術集会: 岡山市, 2016.

25. 渡邊雅之.
食道癌に対するサルベージ手術の現状と展望.
第 2 回平成次世代外科医療研究会: 函館市, 2016.

26. 渡邊雅之.
がん診断と治療方針決定のための最新アプローチ.
第54回日本癌治療学会学術集会:横浜市,2016.

27. 渡邊雅之 , 峯真司.
Barrett 食道の表在型腺癌に対する外科的切除例におけるリンパ節転移の頻度とリスク因子.
第24回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 横浜市, 2016.

28. 岡村明彦.
胸腔鏡下食道切除術後反回神経麻痺の現状と術後肺炎予防における周術期管理チームの意義.
第 68 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会: 東京, 2016.

29. 渡邊雅之.
反回神経麻痺の診断と治療.
第 68 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会: 東京, 2016.

30. 渡邊雅之.
切除不能から可能へ-：Conversion Therapy (食道・胃) 2 .
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

31. 渡邊雅之.
反回神経麻痺を起こさせない工夫と治療成績.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

32. 渡邊雅之, 岡村明彦, 今村裕, 黒河内喬範, 山下公太郎, 速水克, 峯真司.
根治的化学放射線療法後のサルベージ食道切除における Minimally-invasive esophagectomy の意義.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

33. 今村裕, 中村健一, 徳永竜馬, 黒河内喬範, 岡村明彦, 西田康二郎, 吉田直矢, 峯真司, 沖英次, 前原喜彦, 馬場秀夫, 佐野武, 渡邊雅之.
Prognostic factors in esophagogastric junction adenocarcinoma.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

34. 峯真司, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 西田康二郎, 比企直樹, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴.
Clinical outcome of surgery via thoracotomy for adenocarcinoma of the esophagogastric junction.
第88回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

胃外科

1. Hiki, N.
Excellent long-term prognosis and favorable postoperative nutritional status after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy.
Seoul International Gastri Cancer Forum: Seoul, Korea, 2016.

2. Sano, T.
Pitfalls in Neoadjuvant Chemotherapy for Gastric Cancer.
5th Emirates Oncology Congerence: Abu Dhabi, UAE, 2016.

3. Nunobe, S.
Function preserving gastrectomy including pylorus-preserving gastrectomy and proximal gastrectomy for gastric cancer.
15th World Congress of Endoscopic Surgery (WCES) / Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA): Shanghai/Suzhou, China, 2016.

4. Hiki, N.
Clinical role of nutritional management in gastrointestinal unit.
40th International College of Surgeons (ICS) World Congress: Kyoto, Japan, 2016.

5. Nunobe, S., Hiki, N., Kumagai, K., Ida, S., Ohashi, M.
Reflux-preventing laparoscopic esophagogastrostomy with a double-door valve after proximal gastrectomy for early gastric cancer.
40th International College of Surgeons (ICS) World Congres: Kyoto, Japan, 2016.

6. Sano, T.
Multidisciplinary session with JCOG : Surgical trials from the European and Asian perspective.
36th Congress of European Society of Surgical Oncology(ESSO): Krakow, Poland, 2016.

7. Sano, T.
Results of gastric cancer surgery in Japan.
The 8th Summit Forum on Standardized Surgical Treatment for Gastric Cancer: Fuzhou, China, 2016.

8. Hiki, N.
Current situation of laparoscopicgastrectomy for gastric cancer in Japan.
4Th Guangdong-fujian-Jiangxi Summit Forum on Standardization of surgical Treatment for Gastric Cancer.: Guandong, China, 2016.

9. Sano, T.
Seeking the best stage grouping of gastric cancer : International Gastric Cancer Association project.
Esphageal and Gastric Cancer Initiative: American College of Surgeons, Eueope Chapters - 1st Meeting: Lisbon, Portugal, 2016.

10. Sano, T.
Results of gastric cancer surgery in East and West: Why different?
11th Chinese Gastric Cancer Congress (CGCC): Beijing, China, 2016.

11. Hiki, N.
Future application of laparoscopy endoscopy cooperative surgery.
The Catholic Cancer Symposium 2016: Seoul, Korea, 2016.

12. Sano, T.
Practice patterns and outcomes following hospital admission with acute para-esophageal hernia in England.
European Surgical Association (ESA) 23rd Annual Meeting: Edinburgh, UK, 2016.

13. Sano, T.
Viewpoint of the higher Journal with same scope; Gastric Cancer.
Korea International Gastric Cancer Week 2016 (KINGCA Week 2016) and 6th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (6th APGCC): Seoul, Korea, 2016.

14. Sano, T.
How to plan international surgical trials for gastric cancer: Lessons learned from REGATTA trial.
Korea International Gastric Cancer Week 2016 (KINGCA Week 2016) and 6th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (6th APGC)C: Seoul, Korea, 2016.

15. Hiki, N.
Minimal invasive surgery in 21st century.

Nanjing International Congress of ERAS&MIS.: Nanjing, China, 2016.

16. Hiki, N.
A Phase Ⅲtrial to confirm preventing effects of perioperative enteral epaenriched immunonutrition on body weigh loss after total gastrectomy for gastric cancer.
Korea International Gastric Cancer Week 2016 (KINGCA Week 2016) and 6th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (6th APGCC): Seoul, Korea, 2016.

17. Hiki, N.
Current status of laparoscopy endoscopy cooperative surgery(LECS).
Korea International Gastric Cancer Week 2016 (KINGCA Week 2016) and 6th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress (6th APGCC): Seoul, Korea, 2016.

18. Ohashi, M.
Long-term outcomes of laparoscopic versus open gastrectomy for clinical stage Ⅰ gastric cancer.
11th China-Korea-Japan Laparoscopic Gastrectomy Joint Seminar: Shanghai, China, 2016.

19. ida, S.
Education system of laparoscopic gastrectomy for young surgeon.
第 11 回日韓中合同腹腔鏡下胃切除セミナー: Shanghai, China, 2016.

20. 佐野武.
New staging project for gastric cancer overcoming the East and West differences.
第 4 回金陵消化器病サミットフォーラム: Nanjing, China, 2016.

21. Sano, T.
Observed differences in the natural history of Eastern vs Western gastric caner : lessons learned from a large international gastric cancer database.
Society of Surgical Oncology (SSO) 69th Annual Cancer Symposium: Boston, MA, USA, 2016.

22. 佐野武.
Gastric cancer.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

23. Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Kumagai, K., Ida, S.
Function-preserving gastrectomy for early gastric cancer.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

24. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 安福至, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴.
Surgical management and control of laparoscopic gastrectomy for obese patients.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

25. 安福至, 布部創也, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 庄司佳晃, 津田康雄, 加納陽介, 江藤弘二郎, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴.
Conversion Therapy を行った腹腔洗浄細胞診陽性 Stage IV 胃癌の治療成績の検討.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

26. 奥村康弘, 布部創也, 比企直樹, 石沢武彰, 齋浦明夫, 速水克, 辻浦誠浩, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴.
十二指腸腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術(D-LECS)と開腹十二指腸局所切除術の比較.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

27. 加納陽介, 大橋学, 津田康雄, 庄司佳晃, 安福至, 江藤弘二郎, 速水克, 辻浦誠浩, 奥村康弘, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴.
U 領域早期胃癌に対する幽門側胃亜全摘術と噴門側胃切除術の比較.
第29回日本内視鏡外科学会総会: 日本内視鏡外科学会雑誌, 2016.

28. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 井田智, 辻浦誠浩, 速水克, 神谷諭, 奥村康弘, 江藤弘二郎, 安福至, 山口俊晴.
膵臓の位置と腹腔鏡下胃切除術後合併症.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市,

2016.

29. 津田康雄, 比企直樹, 井田智, 加納陽介, 庄司佳晃, 福留惟行, 宮城幹史, 江藤弘二郎, 安福至, 辻浦誠浩, 速水克, 奥村康弘, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学.
胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除(LECS)130 例の治療成績.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

30. 布部創也.
早期胃癌に対する噴門側胃切除術のメリットとデメリット 2.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

31. 布部創也.
私のこだわり：2 つの技がもたらす安全な上部胃癌手術.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

32. 布部創也, 辻浦誠浩, 安福至, 比企直樹, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 峯真司, 渡邊雅之.
エビデンスからみた胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術：短期成績.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

33. 速水克, 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 辻浦誠浩, 奥村康弘, 江藤弘二郎, 安福至, 加納陽介, 宮城幹史, 福留惟行, 庄司佳晃, 山口俊晴.
早期胃癌における幽門側胃切除後の肉眼的・病理学的口側断端距離の乖離.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

34. 安福至, 布部創也, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 庄司佳晃, 津田康雄, 加納陽介, 江藤弘二郎, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 比企直樹.
審査腹腔鏡検査を行い P0CY1 であった大型 3 型 4 型胃癌に対する conversion surgery の治療成績の検討.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

35. 井田智, 布部創也, 速水克, 熊谷厚志, 大橋学, 辻浦誠浩, 奥村康弘, 江藤弘二郎, 安福至, 比企直樹.
腹腔鏡下噴門側胃切除術観音開き再建法の臨床成績.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

35. 熊谷厚志.
十二指腸：症例.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

36. 江藤弘二郎, 大橋学, 比企直樹, 庄司佳晃, 津田康雄, 加納陽介, 安福至, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴.
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における体腔内端端吻合法(ピアス法)の短期成績.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

37. 庄司佳晃, 熊谷厚志, 比企直樹, 井田智, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴.
腹腔鏡下幽門側胃切除術における B-I 再建(デルタ吻合)と R-Y 再建の比較検討.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

38. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 津田康雄, 庄司佳晃, 加納陽介, 安福至, 江藤弘二郎, 奥村康弘, 速水克, 山口俊晴.
腹腔鏡下胃切除術における膵上縁郭清の新たな術野展開の工夫-膵臓に触れない術野展開.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

39. 福留惟行, 辻浦誠浩, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴.
腹腔鏡下幽門保存胃切除術の術後栄養状態と長期予後について検討.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

40. 比企直樹.
腹腔鏡下幽門側胃切除における幽門下動静脈周囲リンパ節郭清先行 No6 番郭清アプローチ.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

41. 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智.
出血をさせないコツを教育するための理論構築.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

42. 宮城幹史, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 神谷諭, 辻浦誠浩, 速水克, 奥村康弘, 江藤弘二郎, 安福至, 加納陽介, 福留惟行, 津田康雄, 比企直樹.
噴門部粘膜下腫瘍に対する LECS.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

43. 庄司佳晃, 比企直樹, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学.
食道胃接合部粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

44. 井田智, 神谷諭, 比企直樹
LECS を応用した噴門直下早期胃癌に対する高位幽門側胃切除の工夫
日本消化器病学会雑誌, 113(臨増大会): A426. 2016.

45. 奥村康弘, 布部創也, 庄司佳晃, 加納陽介, 津田康雄, 江藤弘二郎, 安福至, 速水克, 辻浦誠浩, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 比企直樹, 佐野武.
腹腔鏡下幽門保存胃切除における体腔内デルタ吻合術
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

46. 加納陽介, 大橋学, 津田康雄, 庄司佳晃, 安福至, 江藤弘二郎, 辻浦誠浩, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴.
Stage III 症例における S-1 術後補助化学療法の治療成績.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

47. 佐野武.
次世代の外科医を Inspire させる知識と技:個々の進行胃癌患者にベストの手術を提供するには.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

48. 佐野武.
高難度胃癌手術の治療戦略：開腹と腹腔鏡：それぞれの観点から.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

49. 津田康雄, 井田智, 比企直樹, 加納陽介, 庄司佳晃, 江藤弘二郎, 安福至, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武.
術前プレアルブミン値は胃切除後の合併症予測因子である.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

50. 速水克, 大橋学, 比企直樹, 庄司佳晃, 津田康雄, 加納陽介, 安福至, 江藤弘二郎, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴.
胃癌における幽門側胃切除後の肉眼的・病理学的口側断端距離の乖離.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

51. 比企直樹.
LECS の現状と課題.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

52. 宮城幹史, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 辻浦誠浩, 速水克, 奥村康弘, 江藤弘二郎, 安福至, 福留惟行, 加納陽介, 佐野武, 山口俊晴.
残胃癌に対する＃10 リンパ節郭清と長期予後の検討.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

53. 江藤弘二郎, 熊谷厚志, 比企直樹, 庄司佳晃, 津田康雄, 加納陽介, 安福至, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 井田智, 大橋学, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴.
胃癌大動脈リンパ節転移例に対する術前化学療法後の手術成績の検討.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

54. 庄司佳晃, 熊谷厚志, 比企直樹, 井田智, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴.
十二指腸 NEN に対する至適術式の検討.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

55. 辻浦誠浩, 神谷諭, 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 福留惟行, 宮城幹史, 津田康雄, 庄司佳晃, 加納陽介, 安福至, 江藤弘二郎, 奥村康弘, 速水克, 佐野武, 山口俊晴.
胃癌高位病変に対する内視鏡焼灼マーキングによる切離ライン設置の工夫.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

56. 福留惟行, 布部創也, 比企直樹, 熊谷厚志, 井田智, 大橋学, 佐野武.
超高齢者の腹腔鏡下胃切除術における手術リスク評価法 E-PASS scoring system の検討.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

57. 井田智.
胃癌高位病変に対する内視鏡焼灼マーキングによる切離ライン設定の工夫.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

58. 佐野武.
胃：1. [デジタルポスター座長]
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

59. 布部創也, 比企直樹, 井田智.
腹腔鏡下機能温存胃切除術の工夫.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

60. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 奥村康弘, 江藤弘二郎, 安福至, 速水克, 佐野武, 山口俊晴.
胃癌取扱い規約・所属リンパ節転移 N3 の亜分類に関する検討―長期予後における N3a と N3b の違いは―.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

61. 比企直樹.
内視鏡治療と鏡視下手術のコラボレーション.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

62. 比企直樹.
胃：7. [デジタルポスター座長]
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

63. 安福至, 布部創也, 比企直樹, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 神谷諭, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴.
腹腔洗浄細胞診陽性 Stage IV 胃癌に対する conversion Surgery の治療成績の検討.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

64. 熊谷厚志, 比企直樹, 庄司佳晃, 神谷愉, 佐野武.
胃癌に対する LECS+ センチネルリンパ節生検の可能性.
第 18 回 SNNS 研究会学術集会: 東京, 2016.

65. 山口俊晴
外科医の理想的労働環境を作る
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

66. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 奥村康弘, 佐野武, 山口俊晴.
Excellent long-term prognosis and favorable postoperative nutritional status after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy.
第 40 回国際外科学会世界総会: 京都市, 2016.

67. 宮城幹史, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 辻浦誠浩, 佐野武, 山口俊晴.
残胃癌に対するリンパ節郭清と長期予後の検討.
第 46 回胃外科・術後障害研究会: 米子市, 2016.

68. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 宮城幹史, 奥村康弘, 佐野武, 山口俊晴.
腹腔鏡下幽門保存胃切除術の手術成績についての検討 ：良好な長期成績と術後栄養状態.
第 46 回胃外科・術後障害研究会: 米子市, 2016.

69. 佐野武.
噴門側胃切除後の再建(再建法と機能評価.
第 46 回胃外科・術後障害研究会: 米子市, 2016.

70. 熊谷厚志.
『がん研スタイル』腹腔鏡下胃切除術
第 13 回腹腔鏡下手術の理論と基礎: 東京, 2016.

71. 安福至, 比企直樹, 大橋学, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 峯真司.
腹腔鏡下幽門側胃切除術後の残胃量による術後栄養状態の検討.
日本外科代謝栄養学会第 53 回学術集会: 東京, 2016.

72. 井田智, 比企直樹, 周仁, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 峯真司.
胃切除術前のプレアルブミン値は術後合併症発生の予測因子である.
日本外科代謝栄養学会第 53 回学術集会: 東京, 2016.

73. 井田智, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 佐野武, 山口俊晴.
胃癌内視鏡切除後の追加外科切除の検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

74. 岡村明彦, 渡邊雅之, 峯真司, 西田康二郎, 今村裕, 黒河内喬範, 佐野武.
縦隔脂肪量は胸腔鏡下食道切除術における胸部操作の難易度に影響を与える.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

75. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 井田智, 辻浦誠浩, 速水克, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴.
『がん研スタイル』腹腔鏡下胃切除術トレーニング法：定型化・言語化と narrative model simulation.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

76. 布部創也.
胃：鏡視下手術 5（胃全摘）.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

77. 布部創也, 比企直樹, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 峯真司, 西田康二郎, 渡邊雅之, 佐野武.
早期胃癌に対する腹腔鏡下機能温存手術の工夫.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

78. 布部創也.
上部胃癌に対する安全な腹腔鏡下手術：Procedure と Barbed Suture の融合.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

79. 速水克, 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 川勝章司, 安福至, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴.
幽門側胃切除術における肉眼的口側断端距離と予後との関係.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

80. 比企直樹.
若手内視鏡外科認定取得者が教える認定のためのコツ.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

81. 比企直樹.
上部胃癌に対する腹腔鏡手術を考える：機器の進化と手術の可能性.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

82. 安福至, 大橋学, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴.
腹腔鏡下幽門側胃切除術における残胃量の術後栄養状態への影響の検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

83. 江藤弘二郎, 熊谷厚志, 比企直樹, 安福至, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 神谷諭, 井田智, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴.
傍大動脈リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する術前化学療法後の手術成績の検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

84. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 奥村康弘, 速水克, 佐野武, 山口俊晴.
腹腔鏡下胃切除術のトラブルシューティング：出血と血管損傷に関して.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

85. 佐野武.
Stage III 胃癌に対する治療戦略：術前 vs. 術後化学療法.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

86. 佐野武.
胃癌術後体重減少の予防における栄養サポートの重要性.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市,

2016.

87. 奥村康弘, 熊谷厚志, 井田智, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴, 比企直樹.
Stage II、III 胃癌における、根治術後早期再発例の検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

88. 神谷諭, 大橋学, 熊谷厚志, 布部創也, 比企直樹.
消化器内視鏡治療における外科と内科のコラボレーション 胃癌高位病変に対する内視鏡焼灼マーキングによる切離ライン設定の工夫.
第 102 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

89. 安福至, 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志, 川勝章司, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴.
当院における通過障害をともなう胃癌に対する胃空腸バイパス術の手術成績に関する検討.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

90. 奥村康弘, 熊谷厚志, 比企直樹, 西田康二郎, 峯真司, 布部創也, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武, 山口俊晴.
胃癌術後の炎症遷延が長期予後に及ぼす影響.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

91. 辻浦誠浩, 比企直樹, 大橋学, 布部創也, 井田智, 松田達雄, 速水克, 奥村康弘, 安福至, 江藤弘二郎, 佐野武, 山口俊晴.
胃切除術後貧血についての検討.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

92. 速水克, 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志, 井田智, 川勝章司, 安福至, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴.
幽門側胃切除における肉眼的口側断端距離と予後との関係.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

93. 江藤弘二郎, 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴.
胃癌術後合併症を生じた患者での長期予後増悪を術前化学療法が抑制する可能性についての検討.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

94. 本多通孝, 比企直樹, 木下敬弘, 松木淳, 阿部貴行, 布部創也, 砂川秀樹, 會澤雅樹, 渡邊将広, 薮崎裕, 杉田静紀, 大橋学, 梨本篤.
腹腔鏡下胃全摘術 vs 開腹手術　厳密な傾向スコア解析による短期および長期成績の比較.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

95. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 神谷諭, 安福至, 川勝章司, 江藤弘二郎, 佐野武, 山口俊晴.
胃癌内視鏡治療後腹腔鏡下胃切除術の成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

96. 川勝章司, 大橋学, 安福至, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 熊谷厚志, 布部創也, 比企直樹, 佐野武.
腹腔鏡下胃切除における術中内視鏡を用いた切離ライン決定法の検討.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

97. 布部創也, 比企直樹, 熊谷厚志, 大橋学, 峯真司, 西田康二郎, 渡邊雅之, 福長洋介, 長山聡, 斎浦明夫, 佐野武.
幽門側胃切除の再建　温故知新　Billroth-I 法 vs Roux-en-Y 法 Roux-en-Y 法.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

98. 佐野武.
食道胃接合部癌の治療戦略.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

99. 比企直樹.
胃：手術成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

100. 佐野武.
ガイドラインと外科 上部消化管　胃癌治療のガイドライン.
日本外科学会第 90 回卒後教育セミナー: 東京, 2016.

101. 松田達雄, 比企直樹, 布部創也, 江藤弘二郎, 川勝章司, 安福至, 井田智, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 神谷諭, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴.
噴門部粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除(LECS).
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

102. 速水克, 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 熊谷厚志, 井田智, 神谷諭, 辻浦誠浩, 奥村康弘, 松田達雄, 江藤弘二郎, 安福至, 川勝章司, 佐野武, 山口俊晴.
腹腔鏡下噴門側胃切除術　観音開き法再建による食道残胃吻合.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

103. 奥村康弘, 熊谷厚志, 江藤弘二郎, 安福至, 松田達雄, 速水克, 辻浦誠浩, 神谷諭, 井田智, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴.
幽門保存胃切除後の体腔内デルタ吻合術.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

104. 神谷諭, 比企直樹, 江藤弘二郎, 川勝章司, 安福至, 井田智, 奥村康弘, 辻浦誠浩, 速水克, 松田達雄, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴.
オーガンリトラクターを用いた膵上縁リンパ節郭清両側アプローチ法.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

105. 井田智, 布部創也, 比企直樹, 熊谷厚志, 大橋学, 安福至, 川勝章司, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 辻浦誠浩, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴.
腹腔鏡下幽門保存胃切除における幽門下領域(No.6)のリンパ節郭清.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

106. 安福至, 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 熊谷厚志, 川勝章司, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 佐野武, 山口俊晴.
当院における通過障害をともなう治癒切除不能進行胃癌に対する胃腸バイパス術の手術成績に関する検討.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

107. 江藤弘二郎, 熊谷厚志, 比企直樹, 井田智, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴.
傍大動脈リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する術前化学療法後の手術成績の検討.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

108. 川勝章司, 大橋学, 安福至, 江藤弘二郎, 松田達雄, 奥村康弘, 速水克, 井田智, 辻浦誠浩, 神谷諭, 熊谷厚志, 布部創也, 比企直樹, 佐野武.
腹腔鏡下胃切除における術中内視鏡を用いた切離ライン決定法の検討.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

109. 井田智, 比企直樹, 吉川貴己, 佐野武, 山口俊晴.
胃癌と栄養 周術期 EPA 含有栄養剤による胃全摘術後の体重減少抑制効果を検証する第三相試験.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

110. 大橋学.
幽門側胃切除術: : ピアス法.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

111. 比企直樹.
技術認定取得のコツ.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

112. 井田智, 比企直樹, 吉川貴己.
がん治療における栄養の力 胃全摘術周術期 ONS 療法の限界　胃全摘術後の体重減少抑制効果を検証する第三相試験の結果より.
第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会: 福岡市, 2016.

113. 熊谷厚志 , 中濱孝志.
消化器がんにおける栄養管理 「胃がん症例」.
第 19 回日本病態栄養学会年次学術集会: 横浜市, 2016.

大腸外科

1. Konishi, T., Shinozaki, E., Murofushi, K., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Suenaga, M., Matsusaka, S., Chino, A., Kawachi, H., Yamamoto, N., Ishikawa, Y., Igarashi, M.,

Oguchi, M., Mizunuma, N., Sano, T., Yamaguchi, T.
Phase II trial of induction mFOLFOX6 plus bevacizumab followed by neoadjuvant S-1-based chemoradiation for MRI-defined poor-risk rectal cancer.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2016.

2. Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Prognostic impact of preoperative chemoradiotherapy in patients with locally advanced low rectal cancer having lateral pelvic lymph node metastases.
American Society of Colon and Rectal Surgeons (ASRS) Annal Scientific Meeting: Los Angeles, CA, USA, 2016.

3. Nagata, J., Fukunaga, Y., Ogura, A., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.
Outcomes and operative technique of needlescopic surgery for colorectal cancer in 420 patients.
American Society of Colon and Rectal Surgeons (ASRS) Annal Scientific Meeting: Los Angeles, CA, USA, 2016.

4. Fujimoto, Y.
Postoperative prognosis of inguinal lymph node metastases from adenocarcinoma of the rectum or anal-canal
American Society of Colon and Rectal Surgeons (ASRS) Annal Scientific Meeting: Los Angeles, CA, USA, 2016.

5. Akiyoshi, T.
Lymph node dissection beyond TME.
2016 Yonsei Colorectal Cancer International Symposium: Seoul, Korea, 2016.

6. Fukunaga, Y.
Laparoscopy endoscopy cooperative surgery to colorectal tumor.
24th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery (EAES): Amsterdam, The Netherlands, 2016.

7. Akiyoshi, T.
Laparoscopic lateral plevic lymph node dissection.
3th Colorectal Innovation Forum in Shangahi/12th Shanghai International Colorectal Cancer Conference: Shanghai, China, 2016.

8. Hiyoshi, Y.
Low expression of miR-143 in serum as a predictive marker for good pathological response to neoadjuvant chemoradiotherapy in locally advanced rectal cancer patients.
European Society of Coloproctology (ESCP) 11th Scientific & Annual Meeting: Milan, Italy, 2016.

9. Ogura, A., Akiyoshi, T., Fukuoka, H., Miki, H., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Safety of laparoscopic pelvic exenteration with urinary diversion for colorectal malignancies.
European Society of Coloproctology (ESCP) 11th Scientific & Annual Meeting: Milan, Italy, 2016.

10. Fukunaga, Y.
Laparoscopic rectal surgery-benefit of optics for magnifying anatomy of anal canal.
40th International College of Surgeons (ICS) World Congres: Kyoto, Japan, 2016.

11. Fukunaga, Y.
Laparoscopic colon cancer; surgery: the Japanese perspective.
3rd Congress of Russian Colorectal Cancer Society: Moscow, Russian, 2016.

12. Akiyoshi, T.
Laparoscopic D3 lymph node dissection for colon cancer.
Update on management of colorectal cancer: lymphadenectomy and MDT: Ho Chi Minh, Vietnam, 2016.

13. Akiyoshi, t.
Laparoscopic extended surgery for rectal

cancer.
Update on management of colorectal cancer: lymphadenectomy and MDT: Ho Chi Minh, Vietnam, 2016.

14. Akiyoshi, T.
Laparoscopic LPLD for rectal cancer.
Update on management of colorectal cancer: lymphadenectomy and MDT: Ho Chi Minh, Vietnam, 2016.

15. Fukunaga, Y.
Laparoscopy rectal cancer surgery with lateral lymph node dissectionbased on anatomy.
15th World Congress of Endoscopic Surgery (WCES) / Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA): Shanghai/Suzhou, China, 2016.

16. Akiyoshi, T.
Low rectal cancer resection-lymph node dissection.
15th World Congress of Endoscopic Surgery (WCES) / Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA): Shanghai/Suzhou, China, 2016.

17. Akiyoshi, T.
Combined resection (uterus/prostate) or TPE.
Asia Pacific Endoscopic Colorectal Summit: Yokohama, Japan, 2016.

18. Akiyoshi, T.
Laparoscopic extended surgery for rectal cancer.
15th World Congress of Endoscopic Surgery (WCES) / Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA): Shanghai/Suzhou, China, 2016.

19. 川勝章司, 藤本佳也, 石澤武彰, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 長山聡, 福長洋介, 齋浦明夫, 上野雅資.
大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下同時切除の有効性の検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

20. 福田雄三, 秋吉高志, 福岡宏倫, 宮城幹史, 橋爪良輔, 濱崎俊輔, 小倉淳司, 高津有紀子, 三城弥範, 日吉幸晴, 永田淳, 長嵜寿矢, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 佐野武.
当院における直腸 GIST の治療戦略と手術成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

21. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長嵜寿矢, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 斉浦明夫, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 三瀬祥弘, 西田康二郎, 峯真司, 渡邊雅之, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 佐野武.
直腸癌骨盤内再発の外科手術　治療戦略も含めて.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

22. 宮城幹史, 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿也, 永田淳, 三城弥範, 日吉幸晴, 高津有紀子, 濱崎俊輔, 小倉淳司, 橋爪良輔, 福田雄三, 福岡宏倫, 佐野武.
pSM 直腸癌に対する内視鏡摘除後の腹腔鏡下 T(S)ME の治療成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

23. 長山聡, 松田浩一, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 福長洋介, 上野雅資, 三森功士, 森正樹, 稲澤譲治.
ゲノムワイド関連解析(GWAS)による大腸癌感受性遺伝子の探索.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

24. 日吉幸晴, 秋吉高志, 福岡宏倫, 福田雄三, 三城弥範, 宮城幹史, 小倉淳司, 高津有紀子, 橋爪良輔, 濱崎俊輔, 永田淳, 長嵜寿矢, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
直腸癌術前化学放射線療法における PCR 症例の解析.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

25. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿也, 永田淳, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 高津由紀子, 日吉幸晴, 三城弥範, 宮城幹史, 福岡宏倫, 福田雄三, 比企直樹, 布部創也, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴.
当院における進行下部直腸癌に対する集学的治

療戦略.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市, 2016.

26. 永田淳, 福長洋介, 福岡宏倫, 福田雄三, 宮城幹史, 三城弥範, 日吉幸晴, 橋爪良輔, 浜崎俊輔, 小倉淳司, 高津有紀子, 長嵜寿夫, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 比企直樹, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴.
横行結腸癌に対する細径鉗子を用いた Needlescopic surgery.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市, 2016.

27. 高津有紀子, 橋爪良輔, 濱崎俊輔, 小倉淳司, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
直腸カルチノイドに対して腹腔鏡下根治切除を施行した 77 例の治療成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市, 2016.

28. 福岡宏倫, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 福田雄三, 宮城幹史, 三城弥範, 日吉幸晴, 橋爪良輔, 濱崎俊輔, 小倉淳司, 高津有紀子, 永田淳, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
術前化学放射線療法を施行された下部進行直腸癌症例における好中球・リンパ球比(NLR)の予後予測因子としての有用性について.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市, 2016.

29. 小倉淳司, 秋吉高志, 福岡宏倫, 福田雄三, 宮城幹史, 橋爪良輔, 濱崎俊輔, 高津有紀子, 三城弥範, 日吉幸晴, 永田淳, 長嵜寿矢, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 齋浦明夫, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴.
下部進行直腸癌に対する術前放射線化学療法併用腹腔鏡下選択的側方リンパ節郭清術の有効性.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市, 2016.

30. 三城弥範, 福長洋介, 福岡宏倫, 福田雄三, 宮城幹史, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 小倉淳司, 高津有紀子, 日吉幸晴, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資.
当院における NS-APR/ISR の手術手技と治療成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市, 2016.

31. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 福岡宏倫, 福田雄三, 宮城幹史, 小倉敦司, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 高津有紀子, 三城弥範, 日吉幸晴, 永田淳, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 比企直樹, 齋浦明夫, 佐野武, 山口俊晴.
側方リンパ節転移を伴う直腸癌に対する治療戦略 当院における側方リンパ節転移を伴う直腸癌に対する治療戦略.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市, 2016.

32. 長山聡, 白水崇, 植田幸嗣, 吉本真, 朝長毅, 原英二, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 福長洋介, 上野雅資.
臨床検体を利用したバイオマーカー探索研究.
第 102 回日本消化器病学会総会：東京, 2016.

33. 長山聡.
Liquid biopsy.
第 20 回日本がん分子標的治療学会：別府市, 2016.

34. 長嵜寿矢.
当院における進行大腸癌に対する腹腔鏡手術の治療成績.
第 85 回大腸癌研究会：大阪市, 2016.

35. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿矢, 布部創也, 比企直樹, 山口俊晴.
下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清術の適応と手技.
第 71 回日本消化器外科学会総会：徳島市, 2016.

36. 小倉淳司, 秋吉高志, 濱崎俊輔, 長嵜寿矢, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 山口俊晴.
当院における術前放射線化学療法を施行した下部進行直腸癌の治療成績と今後の展開.
第 71 回日本消化器外科学会総会：徳島市, 2016.

37. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 山口俊晴.
切除可能進行下部直腸癌に対する内視鏡手術：腹腔鏡 vs. Robot.
第 71 回日本消化器外科学会総会：徳島市, 2016.

38. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 小倉淳司, 日吉幸晴, 三城弥範.
当院における尿路・生殖器系臓器合併切除を要した S 状結腸/直腸癌の治療成績.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

39. 長山聡, 福長洋介, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 齋浦明夫, 上野雅資, 佐野武.
大腸癌肝転移に対する新規抗体療法の開発.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

40. 日吉幸晴, 藤本佳也, 福岡宏倫, 三城弥範, 小倉淳司, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
左側結腸ー直腸癌切除、DST 吻合後の縫合不全症例の解析.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

41. 福岡宏倫, 福長洋介, 三瀬祥弘, 日吉幸晴, 小倉淳司, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資.
小切開を置かない NS-APR/ISR に対する疼痛スケールの評価.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

42. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 長嵜寿矢.
Laparoscoic rectal surgery to advanced lower rectal cancer.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

43. 福長洋介.
直腸がんに対する腹腔鏡下手術：低侵襲手技から骨盤内臓器合併切除まで.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

44. 福長洋介.
腹腔鏡下直腸切除セミナー「ピットフォールあるある」から学ぼう！剥離のコツ.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

45. 藤本佳也, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
Lap-ISR の手術手技.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

46. 三城弥範, 秋吉高志, 福岡宏倫, 小倉淳司, 日吉幸晴, 長嵜寿矢, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
同時性肝転移を伴う直腸癌 Stage IV の治療戦略.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

47. 宮城幹史, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 小倉淳司, 三城弥範, 日吉幸晴, 上野雅資.
内視鏡切除を施行した pSM 大腸癌に対する外科的追加切除例の治療成績.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

48. 小西毅.
ビデオクリニックで学ぶ困難症例、トラブル対処－腹腔鏡下大腸切除.
内視鏡外科手術手技セミナー：全部教えます！: 徳島市, 2016.

49. 秋吉高志.
側方郭清で郭清すべきリンパ節は何処にある? 腹腔鏡下側方郭清の適応と手技.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

50. 福岡宏倫, 福長洋介, 南宏典, 宮成淳, 牛込創, 鈴木紳祐, 村橋賢, 武田泰裕, 三城弥範, 日吉幸晴, 小倉淳司, 千野晶子, 斎藤彰一, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資.
当院における腹腔鏡下直腸切断術およびハルトマン術の人工肛門挙上経路の検討.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会: 伊勢市, 2016.

51. 小西毅, 石田秀行, 上野秀樹, 小林宏寿, 檜井孝夫, 井上靖浩, 石田文生, 金光幸秀, 山口達郎, 冨田尚裕, 松原長秀, 渡邉聡明, 杉原健一, 大腸癌研究会家族性大腸癌委員会.
腹腔鏡下直腸がん手術の Forefront FAP に対する腹腔鏡下 total proctocolectomy+stapled

IPAA の Forefront.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市, 2016.

52. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿也, 小倉淳司, 日吉幸晴, 三城弥範, 武田泰裕, 牛込創, 鈴木紳祐, 村橋賢, 宮成淳, 南宏典, 福岡宏倫.
直腸癌に対する腹腔鏡下 TME および beyond TME.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市, 2016.

53. 牛込創, 藤本佳也, 岸原輝仁, 鈴木紳祐, 南宏典, 宮成淳, 村橋賢, 小倉淳司, 武田泰裕, 日吉幸晴, 福岡宏倫, 三城弥範, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 千野晶子, 五十嵐正広
直腸 LST 病変に対して ESD 施行し Ptis であったが術後にリンパ節再発をきたした 1 例.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市, 2016.

54. 日吉幸晴, 藤本佳也, 牛込創, 鈴木紳祐, 南宏典, 宮成淳, 村橋賢, 福岡宏倫, 武田泰裕, 弥範, 三., 小倉淳司, 長嵜寿也, 秋吉高志, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
腹腔鏡下大腸切除後の縫合不全に対する腹腔鏡下再手術の有用性.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市, 2016.

55. 藤本佳也, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 小西毅, 長山聡,
福長洋介, 上野雅資, 岸原輝仁, 千野晶子,
為我井芳郎, 斎藤彰一, 五十嵐正広.
大腸がん腹膜播種の手術治療.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市, 2016.

56. 藤本佳也.
直腸癌　鏡視下手術１.
71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市, 2016.

57. 小西毅.
大腸癌治療の未来：アメリカのがんセンターから学んだこと.
第 6 回広島先端医療低侵襲外科フォーラム：広島市, 2016.

58. 小西毅.
Learn from failure：困難から学ぶ大腸手術.
第 78 回日本臨床外科学会総会：東京, 2016.

59. 福長洋介.
下部直腸癌に対する側方郭清のランドマーク 2.
第 78 回日本臨床外科学会総会：東京, 2016.

60. 秋吉高志.
大腸 8. [デジタルポスター座長]
第 24 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2016)：神戸市, 2016.

61. 宮成淳, 福長洋介, 南宏典, 村橋賢, 鈴木紳祐, 牛込創, 福岡宏倫, 武田泰裕, 三城弥範, 日吉幸晴, 小倉淳司, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資.
内臓逆位を伴った直腸癌に対し、Needlescopic surgery で腹腔鏡下超低位前方切除術を施行した一例.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市, 2016.

62. 南宏典, 秋吉高志, 宮成淳, 牛込創, 鈴木紳祐, 武田泰裕, 福岡宏倫, 小倉淳司, 三城弥範, 日吉幸晴, 長崎寿矢, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
術前短期放射線療法および delayed surgery により病理学的完全奏功を得られた局所進行下部直腸癌の 1 例.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市, 2016.

63. 三城弥範, 秋吉高志, 南宏典, 福岡宏倫, 宮成淳, 村橋賢, 小倉淳司, 武田泰裕, 鈴木紳祐, 牛込創, 日吉幸晴, 長嵜寿矢, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 千野晶子, 斎藤彰一, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 上野雅資.
当院における直腸癌 Stage IV の治療成績.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市, 2016.

64. 武田泰裕, 秋吉高志, 南宏典, 福岡宏典, 宮成淳, 村橋賢, 鈴木紳祐, 牛込創, 小倉淳司, 三城弥範, 日吉幸晴, 長嵜寿矢, 藤本桂也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
直腸癌・同時性大動脈周囲リンパ節転移に対して術前化学療法後に切除を行い病理学的完全奏功が得られた 1 例.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会：伊勢市,

2016.

65. 鈴木紳祐, 長嵜寿矢, 南宏典, 福岡宏倫, 宮成淳, 村橋賢, 武田泰裕, 小倉淳司, 牛込創, 三城弥範, 日吉幸晴, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
腹腔鏡補助下小腸切石術を施行した胆石イレウスの 1 例.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会: 伊勢市, 2016.

66. 小倉淳司, 秋吉高志, 南宏典, 宮成淳, 村橋賢, 鈴木紳祐, 牛込創, 福岡宏倫, 武田泰裕, 三城弥範, 日吉幸晴, 千野晶子, 斎藤彰一, 為我井芳郎, 長嵜寿矢, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 五十嵐正広, 上野雅資.
当院における cT3N0-1 下部直腸癌に対する治療と今後の展開.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会: 伊勢市, 2016.

67. 日吉幸晴, 藤本佳也, 牛込創, 鈴木紳祐, 南宏典, 宮成淳, 村橋賢, 福岡宏倫, 武田泰裕, 三城弥範, 小倉淳司, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
腹腔鏡下大腸切除後の縫合不全に対する腹腔鏡下再手術の有用性.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会: 伊勢市, 2016.

68. 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 千野晶子, 五十嵐正広, 新井正美.
遺伝性大腸がん、ポリポーシスに対する治療戦略 当院における Lynch 症候群の大腸癌に対する治療成績.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会: 伊勢市, 2016.

69. 福岡宏倫, 秋吉高志, 宮成淳, 牛込創, 鈴木紳祐, 村橋賢, 武田泰裕, 三城弥範, 日吉幸晴, 小倉淳司, 長嵜寿矢, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清のランドマーク.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

70. 小倉淳司, 秋吉高志, 南宏典, 宮成淳, 村橋賢, 鈴木紳祐, 牛込創, 福岡宏倫, 三城弥範, 日吉幸晴, 長嵜寿矢, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
進行下部直腸癌に対する補助療法の選択 術前放射線化学療法を施行した下部進行直腸癌の治療成績と今後の展開.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

71. 村橋賢, 秋吉高志, 小倉淳司, 南宏典, 鈴木紳祐, 宮成淳, 牛込創, 福岡宏倫, 武田泰裕, 三城弥範, 日吉幸晴, 千野晶子, 斉藤彰一, 為我井芳郎, 長嵜寿矢, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 五十嵐正広, 上野雅資.
膀胱全摘・尿路再建を伴う腹腔鏡下結腸・直腸切除術または直腸切断術(骨盤内臓全摘術)の治療成績の検討.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会: 伊勢市, 2016.

72. 秋吉高志, 小倉淳司, 三城弥範, 日吉幸晴, 福岡宏倫, 武田泰裕, 南宏典, 宮成淳, 牛込創, 鈴木紳祐, 長嵜寿也, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資.
下部消化管における出血をさせない、広げない腹腔鏡下手術.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

73. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 長嵜寿也, 小倉淳司, 三城弥範, 福岡宏倫, 日吉幸晴, 鈴木紳祐, 牛込創, 宮成淳, 武田泰裕.
直腸癌局所再発に対する腹腔鏡下手術.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

74. 長山聡.
腹腔鏡下直腸がん手術：極める TME・追及する Zero Complications.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

75. 福長洋介.
下行結腸進行癌に対する腹腔鏡下手術.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

76. 藤本佳也, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 井上陽介, 石沢武彰, 高橋祐, 斉浦明夫, 峯真司, 渡邊雅之, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 比企直樹.
腸閉塞を伴う大腸癌に対する腹腔鏡治療の変遷.

第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

77. 小西毅，上野雅資，福長洋介，長山聡，藤本佳也，秋吉高志，長嵜寿矢，佐野武，山口俊晴.
局所進行直腸癌に対する腹腔鏡手術に限界はあるか?手術の注意点とコツ.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

78. 小西毅.
骨盤内腫瘍に対する治療戦略とその実際：この一年で私が成長したこと.
第 9 回骨盤内視鏡外科セミナー：横浜市，2016.

79. 宮成淳，福長洋介，南宏典，牛込創，鈴木紳祐，福岡宏倫，小倉淳司，武田泰裕，三城弥範，日吉幸晴，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，上野雅資.
腹腔鏡下で摘出した腸間膜発生の castleman 病の 3 例.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

80. 南宏典，秋吉高志，宮成淳，牛込創，鈴木紳祐，武田泰裕，福岡宏倫，小倉淳司，三城弥範，日吉幸晴，長嵜寿矢，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資.
術前化学放射線療法と全身化学療法後、腹腔鏡下に根治切除しえた傍大動脈リンパ節転移陽性下部直腸癌の 1 例.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

81. 武田泰裕，長嵜寿矢，宮成淳，村橋賢，牛込創，鈴木紳祐，福岡宏倫，三城弥範，日吉幸晴，小倉淳司，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資.
腹腔鏡下回盲部切除を施行した虫垂子宮内膜症による虫垂重積の 1 例.
29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

82. 日吉幸晴，藤本佳也，牛込創，鈴木紳祐，南宏典，宮成淳，福岡宏倫，武田泰裕，三城弥範，小倉淳司，長嵜寿矢，秋吉高志，長山聡，福長洋介，上野雅資.
大腸癌イレウスに対するステント留置後腹腔鏡下手術の治療成績.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

83. 牛込創，秋吉高志，小倉淳司，武田泰裕，日吉幸晴，福岡宏倫，三城弥範，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資.
術前メシル酸イマチニブ投与により腹腔鏡で切除し得た直腸 GIST の検討.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

84. 村橋賢，秋吉高志，南宏典，宮成淳，牛込創，福岡宏倫，武田泰裕，三城弥範，日吉幸晴，小倉淳司，長嵜寿矢，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資.
当院での腹腔鏡下骨盤内臓摘出術の治療成績の検討.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

85. 福岡宏倫，福長洋介，宮成淳，牛込創，鈴木紳祐，村橋賢，武田泰裕，三城弥範，日吉幸晴，小倉淳司，長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，上野雅資.
横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術術式の検討.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

86. 鈴木紳祐，秋吉高志，牛込創，武田康裕，福岡宏倫，小倉淳司，三城弥範，日吉幸晴，長嵜寿矢，小西毅，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資.
多数回開腹手術例(Difficult Abdomen)に対する腹腔鏡下手術　How I Do it?　腹部手術複数回既往例に対する腹腔鏡下大腸切除術の安全性の検討.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

87. 長嵜寿矢，秋吉高志，藤本佳也，長山聡，福長洋介，上野雅資，小倉淳司，日吉幸晴，三城弥範，武田泰裕.
大腸浸潤癌に対する合併切除・再建 尿路・生殖器系臓器合併切除を要したＳ状結腸/直腸癌に対する腹腔鏡手術の治療成績.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市，2016.

88. 小倉淳司，秋吉高志，宮成淳，村橋賢，牛込創，鈴木紳祐，武田泰裕，福岡宏倫，三城弥範，日吉幸晴，長嵜寿矢，藤本佳也，長山聡，福長洋介，

上野雅資.
下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清のコツ 下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清術の手術手技.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

89. 三城弥範, 福長洋介, 南宏典, 宮成淳, 武田泰裕, 小倉淳司, 牛込創, 日吉幸晴, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資.
大腸疾患において Reduced Port Surgery は標準治療となるのか? 当院における Needlescopic Surgery の手術成績と技術の継承.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

肝胆膵外科

1. Saiura, A., Inoue, Y., Mise, Y., Takahashi, Y., Ichida, T., Ishizawa, T.
Inpact of preoperative chemotherapy on overall survival for borderline resectable colorectal liver metastases.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2016.

2. Mise, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Saiura, A.
Aggressive surgery for advanced colorectal liver metastases.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2016.

3. Ishizawa, T.
Fluorescence image-guided surgery: From open to lap, lap to open.
The 15th Annual Surgery of the Foregut Symposium: Boca Raton, FL, USA, 2016.

4. Ishizawa, T.
Applications of PINPOINT system to laparoscopic and open hepatobiliary surgery.
iSPIES summit: Las Vegas, NV, USA, 2016.

5. Ishizawa, T.
Laparoscopic hepatectomy utilizing fluorescence imaging for identification of hepatic and perfusion.
Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons (SAGES) Annual Meeting: Boston, MA, USA, 2016.

6. Tanaka, M., Saiura, A., Ono, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Usefulness of SV reconstruction for sinistral portal hypertension after PD with SV resection.
第47回日本膵臓学会大会/第20回国際膵臓学会/第6回アジアオセアニア膵臓学会: 仙台市, 2016.

7. Ishizawa, T.
Translational research for clinical application of in vivo fluorescence imaging to hepatobiliary and pancreatic surgery.
4th International Congress on Translational Medicine (4th Annual Congress of the European Society for Translational Medicine) (EUSTM-2016): Prague, Czech Republic, 2016.

8. Ishizawa, T.
Fluorescence image-guided HPB surgery using indocyanine green and novel fluorophore activated by pancreatic chymotrypsin.
Australia New Zealand Hepatic, Pancreatic & Biliary Association (ANZHPBA) Annual Meeting: Gold Coast, Australia, 2016.

9. 井上陽介, 齋浦明夫, 田中真之, 武田良祝, 松村優, 畑太悟, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐.
Operative planning and pitfalls during highly advenced HBP Surgery: Pancreas Operation planning based on relation between tumor and vessels in pancreatic neck cancer.
第 28 回日本肝胆膵外科学会・学術集会: 大阪市, 2016.

10. 井上陽介, 齋浦明夫, 田中真之, 三瀬祥弘, 石澤武彰, 高橋祐.
Central vascular ligation in pancreaticoduodenectomy New technique for dissection around the SMA.
第 47 回日本膵臓学会大会: Pancreatology, 2016.

11. 井上陽介, 齋浦明夫, 佐藤崇文, 田中真之, 武田良祝, 松村優, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐.
マイクロサージャリーを用いた DP-CAR 後の左胃動脈血行再建.
第 28 回日本肝胆膵外科学会・学術集会: 大阪市, 2016.

12. 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
Liver1: Conversion surgery for patients with metastatic liver cancer short-term and long-term outcomes after rescue surgery for unresectable colorectal liver metastases downstaged by chemotherapy.
第 28 回日本肝胆膵外科学会・学術集会: 大阪市, 2016.

13. 田中真之, 齋浦明夫, 渡邊元己, 寺澤無我, 武田良祝, 松村優, 畑大悟, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐.
膵癌の進展範囲評価　3D 病理固定精密検査を導入して.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

14. 畑太悟, 井上陽介, 渡邉元己, 寺澤無我, 武田良祝, 田中真之, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐, 齋浦明夫.
術中迅速病理で大動脈周囲リンパ節転移陽性であった膵癌の切除成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

15. 渡邉元己, 高橋祐, 田中真之, 市田洋文, 松木亮太, 武田良祝, 松村優, 三瀬祥弘, 井上陽介, 石沢武彰, 齋浦明夫.
当院における肝内胆管癌に対するリンパ節郭清の現状.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

15. 寺澤無我, 石沢武彰, 市田洋文, 松木亮太, 畑太悟, 松村優, 武田良祝, 田中真之, 渡辺元気, 三瀬祥弘, 井上陽介, 高橋祐, 斎浦明夫.
肝胆膵癌領域における次世代外科治療の展望
腹腔鏡下肝切除術における indocyanine green 蛍光法の役割.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

16. 松村優, 斎浦明夫, 武田良祝, 寺澤無我, 渡邉元己, 田中真之, 市田洋文, 松木亮太, 畑大悟, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐.
胆管空腸吻合後の肝切除における術後腹腔内感染.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

17. 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 三瀬祥弘, 松村優, 武田良祝, 市田洋文, 田中真之, 寺澤無我, 松木亮太, 畑太悟, 渡邊元己, 齋浦明夫.
肝外胆管癌における術前胆道ドレナージの現状.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪, 2016.

18. 齋浦明夫, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 三瀬祥弘, 松村優, 武田良祝, 寺澤無我, 市田洋文, 松木亮太, 田中真之.
肝胆膵高難度手術に対する腹腔鏡手術のあり方と将来展望 肝胆膵高難度手術の開腹手術におけるラーニングカーブと腹腔鏡手術のあり方.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

19. 石沢武彰, 浦野泰照, 神谷真子, 鈴木友人, 岡崎愛, 加藤益弘, 三瀬祥弘, 井上陽介, 高橋祐, 森一洋, 山下俊, 國土典宏, 齋浦明夫.
蛋白分解酵素活性に基づいて手術中に膵液漏出部位を描出する蛍光イメージング技術の開発.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

20. 松木亮太, 三瀬祥弘, 市田洋文, 田中真之, 武田良祝, 寺澤無我, 畑太悟, 松村優, 渡邊元己, 井上陽介, 石沢武彰, 高橋祐, 斎浦明夫.
深部大腸癌肝転移に対する Parenchymal-sparing hepatectomy の安全性・有用性の検討.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

21. 市田洋文, 渡邊元己, 寺澤無我, 武田良祝, 田中真之, 松村優, 畑太悟, 松木亮太, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
Borderline resectable 大腸癌肝転移に対する術前化学療法は予後を向上させるか?
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

22. 川勝章司, 石沢武彰, 藤本佳也, 三瀬祥弘, 井上陽介, 高橋祐, 上野雅資, 齋浦明夫.
大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下同時切除の短期手術成績の検討.
第 28 回日本肝胆膵外科学会･学術集会: 大阪市, 2016.

23. 松木亮太, 井上陽介, 市田洋文, 畑太悟, 松村優, 武田良祝, 田中真之, 渡邊元己, 寺澤無我, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐, 斎浦明夫.
Air injection cholangiography(AIC)による簡便かつ非侵襲的な肝切除ガイド.
第 28 回日本肝胆膵外科学会･学術集会: 大阪市, 2016.

24. 渡邉元己, 高橋祐, 寺澤無我, 畑太悟, 田中真之, 武田良祝, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 三瀬祥弘, 井上陽介, 石沢武彰, 齋浦明夫.
当院での膵切除術後の出血の予防と管理.
第 28 回日本肝胆膵外科学会･学術集会: 大阪市, 2016.

25. 畑太悟, 三瀬祥弘, 渡辺元己, 寺沢無我, 武田良祝, 田中真之, 松村優, 市田洋文, 松木亮太, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
高齢者の膵頭十二指腸切除術における当科の周術期管理チームの試み.
第 28 回日本肝胆膵外科学会･学術集会: 大阪市, 2016.

26. 松村優, 高橋祐, 渡邉元己, 寺澤無我, 武田良祝, 田中真之, 畑大悟, 市田洋文, 松木亮太, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 齋浦明夫.
早期再発をきたした胆管原発癌肉腫 2 例の報告.
第 28 回日本肝胆膵外科学会･学術集会: 大阪市, 2016.

27. 高橋祐, 井上洋介, 石沢武彰, 三瀬祥弘, 松村優, 武田良祝, 市田洋文, 田中真之, 寺澤無我, 松木亮太, 畑太悟, 渡邊元己, 齋浦明夫.
胆道癌に対する術前減黄ドレナージ　至適ドレナージ術は?
第 28 回日本肝胆膵外科学会･学術集会: 大阪市, 2016.

28. 市田洋文, 石沢武彰, 渡辺元己, 武田良祝, 寺澤無我, 田中真之, 松村優, 畑太悟, 松木亮太, 三瀬祥弘, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
腹腔鏡下肝部分切除術における経胸腔アプローチの適応と手技のポイント.
第 28 回日本肝胆膵外科学会･学術集会: 大阪市, 2016.

29. 石澤武彰 ， 後藤邦仁.
肝胆膵外科における ICG 蛍光法の意義 ： 最新の ICG 蛍光イメージング機器で何ができる?
第 28 回肝胆膵外科学会・学術集会: 大阪市, 2016.

30. 齋浦明夫.
動脈先行処理を行う膵頭十二指腸切除:結腸上前方アプローチ.
第 28 回肝胆膵外科学会・学術集会: 大阪市, 2016.

31. 武田良祝ほか.
膵頭十二指腸切除後の膵液瘻と凝固活性第 13 因子の関連.
第 28 回肝胆膵外科学会・学術集会: 大阪市, 2016.

32. 井上陽介, 齋浦明夫, 田中真之, 武田良祝, 松村優, 三瀬祥弘, 石澤武彰, 高橋祐.
膵頭十二指腸切除における上腸間膜動脈周囲郭清の正確性、安全性を最大化するための工夫.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

33. 齋浦明夫.
肝胆膵手術への術前シミュレーションサージェリーの応用 2.
第 28 回肝胆膵外科学会・学術集: 大阪市, 2016.

34. 齋浦明夫.
肝切除術における、腹腔鏡、開腹の適応について.
第 28 回肝胆膵外科学会・学術集: 大阪市, 2016.

35. 齋浦明夫, 高橋祐, 井上陽介, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 武田良祝, 田中真之, 市田洋文, 寺澤無我, 渡邉元己.
Impact of preoperative chemotherapy on overall survival for borderline resectable colorectal liver metastases
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

36. 高橋祐, 井上洋介, 石沢武彰, 三瀬祥弘, 松村優, 武田良祝, 市田洋文, 松木亮太, 田中真之, 齋浦明夫.
“Soft pancreas”に対する膵頭十二指腸切除後の至適ドレーン数は。1 本？2 本？.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

37. 武田良祝, 齋浦明夫, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上洋介, 高橋祐.
高齢者に対する肝胆膵高侵襲手術と周術期リスクについて.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

38. 田中真之, 小野嘉大, 齋浦明夫, 古賀倫太郎, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐.
脾静脈切離を伴う膵頭十二指腸切除後の左側門脈圧亢進症に対する右結腸静脈アーケード温存と脾静脈再建.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

39. 寺澤無我, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
大腸癌に対し膵頭十二指腸切除を併使した症例の検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

40. 畑太悟, 三瀬祥弘, 渡邉元己, 松村優, 松木亮太, 市田洋文, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
集学的治療時代における高齢者に対する大腸癌肝転移手術治療の安全性　短期成績の年代別比較検討.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

41. 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
集学的治療時代における肝外転移を有する大腸癌肝転移に対する外科治療.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

42. 渡邉元己, 高橋祐, 田中真之, 松木亮太, 市田洋文, 松村優, 三瀬祥弘, 井上陽介, 石沢武彰, 齋浦明夫.
当院での膵頭十二指腸切除後の出血の予防と管理.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

43. 松村優, 石沢武彰, 武田良祝, 田中真之, 市田洋文, 松木亮太, 三瀬祥弘, 井上陽介, 高橋祐, 斎浦明夫.
肝切除術前検査におけるインドシアニングリーンクリアランスメーターの有用性.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

44. 市田洋文, 三瀬祥弘, 武田良祝, 松村優, 畑太悟, 松木亮太, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
Borderline resectable 大腸癌肝転移における化学療法不応症例に対する肝切除の意義.
第 71 回日本消化器外科学会総会: 徳島市, 2016.

45. 井上陽介, 齋浦明夫, 田中真之, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐.
門亢症外科治療の現状と未来予測 膵癌根治術後の左側門脈圧亢進症に対する外科的治療.
第 23 回日本門脈圧亢進症学会総会: 神戸市, 2016.

46. 三瀬祥弘, 井上陽介, 石沢武彰, 高橋祐, 齋浦明夫.
大腸癌肝転移に対する肝切除ナビゲーションの新しい応用.
第 1 回肝癌治療シミュレーション研究会: 大阪市, 2016.

47. 齋浦明夫.
ラパ PD 導入に当たっての重要な局所解剖：開腹 PD の立場から.
第 9 回 TKB: 軽井沢町, 2016.

48. 田中真之, 齋浦明夫, 川勝章司, 渡邉元己, 寺澤無我, 武田良祝, 入江彰一, 大庭篤志, 畑太悟, 市田洋文, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐.
Artery-related Borderline Resectable Pancreatic Cancer に対して Supracolic Anterior Artery- rst Approach の有用であった 1 例.
第 11 回膵癌術前治療研究会: 仙台市, 2016.

49. 齋浦明夫.
一般演題 5(ポスター) 「症例」.
第 11 回膵癌術前治療研究会: 仙台市, 2016.

50. 市田洋文, 川勝章司, 寺澤無我, 武田良祝, 大庭篤志, 入江彰一, 田中真之, 渡邊元己, 畑太悟, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
安全・正確な肝離断のための工夫 開腹肝切除における肝静脈露出に必要な基本手技.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

51. 石沢武彰, 田中真之, 寺澤無我, 渡邊元己, 市田洋文, 畑太悟, 武田良祝, 大庭篤志, 川勝章司, 入江彰一, 三瀬祥弘, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫.
高難度腹腔鏡下肝切除で開腹と同等の手術成績を確保する方策.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

52. 井上陽介, 齋浦明夫, 松村優, 武田良祝, 田中真之, 畑太悟, 市田洋文, 松木亮太, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 高橋祐.
Supracolic anterior artery-first approach による, 膵頭部癌に対する SMA 周囲郭清手技.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

消化器化療

1. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang , W., Yang, D., Berger, M., West, J., Ning, Y., Salvatore, L., Rossini, D., Antoniotti, C., Inoue, R., Matsusaka, S., Okazaki, S., Miyamoto, Y., Hanna, D., Barzi, A., Loupakis, F., Lenz, H.
Genetic variants of *ATM* and *XRCC3* to predict efficacy of TAS-102 in patients with refractory metastatic colorectal cancer.
2016 ASCO annual meeting: Chicago, USA, 2016.

2. Suenaga, M., Schirripa, M., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Berger, M., West, J., Cremolin, C., Lonardi, S., Battaglin, F., Ning, Y., Horiike, Y., Yamamoto, N., Okazaki, S., Miyamoto, Y., Hanna, D., Barzi, A., Loupakis, F., Falcone, A., Lenz, H.
Genetic variants of *Pin1* to predict benefit from irinotecan and oxaliplatin based treatment in patients with metastatic colorectal cancer (mCRC).
2016 ASCO Annual Meeting: Chicago, USA, 2016.

3. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Matsusaka, S., Nakayama, I., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ozaka, M., Ichimura, T., Takahari, D., Chin, K., Mizunuma, N., Yamaguchi, K.
Phase II study of biweekly cetuximab and irinotecan as third-line therapy in patients with pre-treated KRAS exon2 wild-type metastatic colorectal cancer.
ESMO 18th World Congress on Gastrointestinal Cancer 2016: Barcelona, Spain, 2016.

4. Osumi, H., Shinozaki, E., Chin, K., Ogura, M., Matsushima, T., Wakatsuki, T., Nakayama, I., Ichimura, T., Takahari, D., Yamaguchi, K.
Associations between deepness of response and clinical outcomes with advanced HER2-positive gastric cancer with 1st-line chemotherapy and trastuzumab.
ESMO 2016 Congress: Copenhagen, Denmark, 2016.

5. 高張大亮, 若槻尊, 石塚直樹, 高島淳生, 廣中秀一, 中島貴子, 陳勁松.
HER2 陽性切除不能進行再発胃癌に対する SOX+Trastuzumab 併用療法の第II相関床試験(中間解析).
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

6. 村橋賢, 高張大亮, 倉田麻美, 中山厳馬, 若槻尊, 小倉真理子, 市村崇, 尾阪将人, 篠崎英司, 陳勁松, 水沼信之.
当院におけるラムシルマブ単剤療法の使用経験.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

7. 大隅寛木, 篠崎英司, 末永光邦, 松阪諭, 市村崇, 尾阪将人, 高張大亮, 陳勁松, 水沼信之, 山口研成.
KRAS 野生型の進行再発結腸・直腸癌に対する隔週投与のセツキシマブおよびイリノテカン塩酸塩水和物併用療法の第Ⅱ相臨床試験.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

8. 中山厳馬, 篠崎英司, 大隅寛木, 松島知弘, 若槻尊, 市村崇, 尾阪将人, 高張大亮, 小倉真理子, 陳勁松, 山口研成.
大腸　化学療法の現況 切除不能進行再発大腸癌サルベージラインの治療戦略.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

9. 山口研成, 若槻尊, 市村崇, 高張大亮, 小倉真理子, 篠崎英司, 陳勁松.
StageIV 大腸がんの治療 ステージ IV 大腸がんに対する、集学的治療を視野に入れた治療選択.
第 71 回日本大腸肛門病学会学術集会: 伊勢市, 2016.

10. 若槻尊, 山本智理子, 陳勁松, 小倉真理子, 高張大亮, 市村崇.
Histopathological examination after trastuzumab-based chemotherapy.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

11. 陳勁松, 小倉真理子, 市村崇, 高張大亮, 篠崎英司, 尾阪将人, 松阪諭, 末永光邦, 水沼信之.
Systemic chemotherapy for 80 years or over patients with advanced gastric cancer.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

肝胆膵内科

1. Ozaka, M., Todaka, A., Mori, K., Boku, N., Mizuno, N., Ueno, H., Kobayashi, S., Uesugi, K., Kobayashi, N., Hayashi, H., Sudo, K., Okano, N., Horita, Y., Kamei, K., Yukisawa, S., Nakamori, S., Yachi, Y., Henmi, T., Kobayashi, M., Fukutomi, A.
JASPAC 06: Observational study of FOLFIRINOX therapy for unresectable and recurrent pancreatic cancer—Preliminary report on serious adverse events.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2016.

2. Saito, K., Ozaka, M., Kanata, R., Yamada, I., Sasaki, T., Matsuyama, M., Takano, K., Sasahira, N.
The impact of maximum tumor shrinkage of primary site (MTSP) by FOLFIRINOX in the first-line treatment of pancreatic cancer.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2016.

3. Yamada, I., Ozaka, M., Kanata, R., Saito, K., Sasaki, T., Matsuyama, M., Takano, K., Sasahira, N.
The impact of modified Glasgow Prognostic Scale as a predictor of survival advantage by FOLFIRINOX in metastatic pancreatic cancer.
Gastrointestinal Cancers Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, USA, 2016.

4. SasahiraN.
EUS and EUS-FNA for pancreato-biliary disease.
LECS conference for gastrointestinal tumors in Fuzhou: Fuchon, China, 2016.

5. Ishigaki, K., Kogure, H., Yamada, A., Isayama, H., Umefune, G., Akiyama, D., Takagi, K., Watanabe, T., Uchino, R., Takahara, N., Mizuno, S.I., Matsubara, S., Yamamoto, N., Nakai, Y., Tada, M., Koike, K.
Usefulness of short-type balloon-assisted endoscopes and metallic stents with a small-diameter delivery system for malignant biliary obstruction with surgically altered anatomy.
Tokyo Conference of Asian Pancreato-Biliary Interventional Endoscopy 2016 (T-CAP): Tokyo, Japan, 2016.

6. Saito, K., Matsuyama, M., Kanata, R., Yamada, I., Sasaki, T., Ozaka, M., Takano, K., Sasahira, N.
The outcome of covered self-expandable metallic stent in patients with pancreatic cancer receiving FOLFIRINOX or Gemcitabine+nab-PTX.
Tokyo Conference of Asian Pancreato-Biliary Interventional Endoscopy 2016 (T-CAP): Tokyo, Japan, 2016.

7. Ishigaki, K., Kogure, H., Yamada, A., Isayama, H., Umefune, G., Akiyama, D., Takagi, K., Watanabe, T., Uchino, R., Takahara, N., Mizuno, S., Matsubara, S.,

Yamamoto, N., Nakai, Y., Sasaki, T., Matsuyama, M., Sasahira, N., Tada, M., Koike, K.
Usefulness of short-type balloon-assisted endoscopes and metallic stents with a small-diameter delivery system for malignant biliary obstruction with surgically altered anatomy.
United European Gastrointestinal Week (UEGW2016): Vienna, Austria, 2016.

8. 山田育弘, 尾阪将人, 金田遼, 齋藤圭, 佐々木隆, 松山眞人, 高野浩一, 笹平直樹.
The impact of mGPS as a predictor of survival advantage by FOLFIRINOX in metastatic pancreatic cancer.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

9. Sasaki, T., Inoue, Y., Kanata, R., Saito, K., Yamada, I., Matsuyama, M., Ozaka, M., Takano, K., Mise, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Takazawa, Y., Saiura, A., Sasahira, N.
Neoadjuvant chemotherapy using gemcitabine and nab-paclitaxel combination therapy for the treatment of borderline resectable pancreatic cancer.
第 47 回日本膵臓学会大会: 仙台市, 2016.

10. Ozaka, M., Ishii, H., Sato, T., Ueno, M., Ikeda, M., Uesugi, K., Sata, N., Miyashita, K., Mizuno, N., Tsuji, K., Okusaka, T., Furuse, J.
Phase II study of modified FOLFIRINOX for chemotherapy-naïve patients with metastatic pancreatic cancer (MPC).
第 47 回日本膵臓学会大会: 仙台市, 2016.

11. 石井浩, 尾阪将人, 真口宏介, 潟沼朗生, 山雄健次, 今岡大, 宮澤基樹, 勝田将裕, 川井学, 廣野誠子, 岡田健一, 山上裕機.
Phase II clinical trial using novel peptide vaccine cocktail as a postoperative adjuvant treatment for surgically resected pancreatic cacner patients.
第 54 回日本癌治療学会学術集会:横浜市,2016.

12. 青山祐里香, 齋藤圭, 佐々木隆, 金田遼, 山田育弘, 三瀬祥弘, 松山眞人, 尾阪将人, 高野浩一, 齋浦明夫, 笹平直樹.
SpyGlass DS を用いた胆道鏡検査が診断に有用であった乳頭型肝内胆管癌の一例。.
日本消化器病学会関東支部第 338 回例会: 東京, 2016.

13. 笹平直樹.
膵がん診療の進歩.
第 5 回がん研有明病院紹介セミナー: 東京, 2016.

14. 尾阪将人.
GIST の薬物療法.
信州 GIST/ｐNET 学術講演会: 松本市, 2016.

15. 笹平直樹.
膵がん診療の進歩と内視鏡.
第 8 回有明消化器セミナー: 東京, 2016.

16. 佐々木隆.
大腸ステント留置のコツと注意すべきポイント.
第 102 回日本消化器病学会総会: 東京, 2016.

17. 齋藤圭, 松山眞人, 金田遼, 山田育弘, 佐々木隆, 尾阪将人, 高野浩一, 笹平直樹.
FOLFIRINOX・Gemcitabine+nab-PTX 療法例における胆管ステントの成績.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

18. 佐々木隆, 千野晶子, 金田遼, 齋藤圭, 山田育弘, 石川寛高, 森重健次郎, 岸原輝仁, 松山眞人, 笹平直樹, 五十嵐正広.
当院における悪性大腸閉塞に対する大腸ステントの成績.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

19. 佐々木隆, 由雄敏之, 金田遼, 齋藤圭, 山田育弘, 松山眞人, 笹平直樹, 藤崎順子, 五十嵐正広.
悪性胃十二指腸閉塞に対する胃十二指腸ステントの成績と化学療法の影響.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

20. 金田遼, 松山眞人, 笹平直樹.
Efficacy of EUS-FNA with rapid on-site evaluation(ROSE).
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

21. 村田翔平, 金田遼, 齋藤圭, 山田育弘, 佐々木隆, 松山眞人, 尾阪将人, 高野浩一, 松枝清, 笹平直樹.
肝細胞癌に対するリザーバーカテーテル留置下肝動 注化学療法中に発症した胆管狭窄及び肝動脈胆管瘻 の一例.
日本消化器病学会関東支部第 339 回例会: 東京, 2016.

22. 尾阪将人.
膵癌化学療法-現状と今後の動向.
Saitama Pancreatic Cancer Forum: さいたま市, 2016.

23. 石垣 和祥, 木暮 宏史, 伊佐山 浩通, 梅舟 仰胤, 秋山 大, 高木 馨, 渡邉 健雄, 内野 里枝, 岸川 孝弘, 高橋 良太, 水野 卓, 松原 三郎, 山本 夏代, 中井 陽介, 多田 稔, 和彦, 小.
術後再建腸管を有する悪性胆道閉塞に対するバルーン内視鏡と細径メタリックステントを用いた内視鏡的ドレナージの有用性.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

24. 金田遼, 齋藤圭, 山田育弘, 佐々木隆, 松山眞人, 尾阪将人, 高野浩一, 笹平直樹.
胆道狭窄に対する先端ループ型細胞診・組織診ブラシの使用経験.
第 102 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

25. 尾阪将人.
GIST の薬物療法.
京滋北陸稀少腫瘍講演会: 京都市, 2016.

26. 笹平直樹.
膵がん・胆道がんの診断と内科的治療.
難治性がん医療セミナー：膵がん・胆道がん編: 東京, 2016.

27. 尾阪将人.
膵癌化学療法-現状と今後の動向.
第 23 回東北臨床腫瘍セミナー: 仙台市, 2016.

28. Ozaka, M.
Recent treatment advances in hepato-biliary- pancreatic cancer.
OncoMAP Tokyo: Tokyo, Japan, 2016.

29. 佐々木隆.
EUS-FNA で診断がついた乳癌食道転移の一例.
第 8 回江東区内視鏡研究会: 東京, 2016.

30. 佐々木隆, 金田遼, 齋藤圭, 山田育弘, 松山眞人, 尾阪将人, 高野浩一, 笹平直樹.
転移性膵癌に対する gemcitabine + nab-paclitaxel 併用療法の検討.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

31. 笹平直樹.
膵疾患の内視鏡診断と治療.
第 32 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー: 東京, 2016.

32. 佐々木隆.
ここまで診断できる EUS-FNA.
第 8 回江東区内視鏡研究会ミニレクチャー: 東京, 2016.

33. 尾阪将人.
稀少腫瘍（GIST, pNET）の病態と診断のポイント.
ファイザー稀少腫瘍インターネットシンポジウム: 東京, 2016.

34. 尾阪将人.
膵癌化学療法における現状と課題.
Pancreatic Cancer Seminar.: 東京, 2016.

35. 尾阪将人.
治癒切除不能な膵癌の高齢者７５歳以上に対する治療戦略.
TAIHO Web Discussion Lecture 東京, 2016.

36. 尾阪将人, 片岡星太, 金田遼, 石垣和祥, 山田育弘, 佐々木隆, 松山眞人, 高野浩一, 笹平直樹.
75 歳以上の進行膵癌患者に対して Gemcitabine+nab-paclitaxel 療法は適切な治療法か?
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

37. 佐々木隆.
膵がんを早く見つける.
がん研有明病院膵癌セミナー: 東京, 2016.

38. 佐々木隆.
膵癌の内科治療（化学療法・ステント治療）.

がん研有明病院膵癌セミナー: 東京, 2016.

39. 尾阪将人 , 笹平直樹.
切除不能進行膵癌に対する化学療法 Modified FOLFIRINOX(mFFX)と Gemcitabine+nab-paclitaxel(GnP)をどう使い分けるか?
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

40. Sasahira, N., *EUS and EUS-FNA for pancreato-biliary disease*. 2016, LECS conference for Gastrointestinal Tumors in Fuzhou: Fuchon, China.2016

41. 石垣和祥, 佐々木隆, 由雄敏之, 笹平直樹, 藤崎順子.
食道癌放射線治療後の瘻孔に対する食道ステント留置術の当院での成績.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

42. 石垣和祥, 佐々木隆, 高橋祐, 齋浦明夫, 笹平直樹.
悪性肝門部胆管閉塞に対する術前胆管内ステント (Inside stent : IS) の有用性 についての検討.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

43. 尾阪将人.
GIST の薬物療法　現状と課題.
第 26 回淀川 GI カンファレンス特別講演: 大阪市, 2016.

44. 片岡星太, 尾阪将人, 石垣和祥, 金田遼, 松島知宏, 山田育弘, 佐々木隆, 松山眞人, 高野浩一, 笹平直樹.
mFOLFIRINOX 療法で縮小が得られた膵腺房細胞癌の一例.
日本消化器病学会関東支部第 340 回例会: 東京, 2016.

45. 金田遼, 尾阪将人, 齋藤圭, 山田育弘, 佐々木隆, 松山眞人, 高野浩一, 笹平直樹.
S-1 による膵癌術後補助化学療法再発症例に対する一次化学療法の治療成績.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

46. 齋藤圭, 尾阪将人, 金田遼, 山田育弘, 佐々木隆, 松山眞人, 高野浩一, 笹平直樹.
The impact of maximum tumor shrinkage of primary site by FOLFIRINOX in the first-line treatment of pancreatic cancer.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

上部消化管内科

1. Yoshio, T., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Osumi, H., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Long term outcomes of endoscopic resection to esophageal SCC with MM invation comparing to operation cases.
Quality in Endoscopy Upper GI Endoscopy & Neoplasia: Berlin, Germany, 2016.

2. Osumi, H., Fujisaki, J., Kawachi, H., Yamamoto, N., Igarashi, M.
Possibility of expanded adaptation of endoscopic submucosal dissection for the gastric sub mucosal adenocarcinoma.
Digestive Disease Week (DDW) 2016: San Diego, USA, 2016.

3. Osumi, H., Fujisaki, J., Omae, M., Shimizu, T., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Yamamoto, Y., Watanabe, M., Sano, T., Kawachi, H., Yamamoto, Y., Igarashi, M.
What is the risk of lymph node metastasis in surgically resected Siewert type Ⅰ and type Ⅱ of T1 adenocarcinoma?
International Society for Diseases of the Esophagus (ISDE) 2016 World Congress: Singapore, 2016.

4. Yoshio, T., Yoshimizu, S., Tsuchida, T., Ishiyama, A., Osumi, H., Shimizu, T., Fujisaki, J.
Treatment outcomes of esophageal SCC with MM invasion comparing endoscopic resection and operation.
United European Gastrointestinal Week (UEGW2016): Vienna, Austria, 2016.

5. Hirasawa, T.
Endoscopic diagnosis for early gastric cancer.

Digestive endoscopy Tecynique Forum: Shanghai, China, 2016.

6. Osumi, H. , Fujisaki, J.
The transition of esophagogastric junction adenocarcinoma and clinical outcomes of endoscopic therapy.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

7. 村松雄輔, 藤崎順子, 五十嵐正広.
胃癌手術症例における早期、進行癌の術前深達度診断に関する検討.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

8. 吉水祥一, 山本頼正, 大前雅実, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広.
新型拡大内視鏡を用いた上部内視鏡スクリーニング検査による胃上皮性腫瘍診断能の検討.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

9. 山口和久, 平澤俊明, 清水智樹, 村松雄輔, 金明哲, 堀内祐介, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 河内洋, 山本智理子.
長期観察を行った胃底腺型胃癌の一例.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

10. 田顔夫佑樹, 藤崎順子, 河内洋, 山本智理子, 熊谷厚志, 大橋学, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広.
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後追加切除で進行胃癌と判明した 3 症例の検討.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

11. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子.
ポストヘリコバクターピロリ時代における胃癌 H.pylori 未感染印環細胞癌の特徴と E-cadherin 免疫染色による CDH1 変異の可能性.
第 102 回日本消化器病学会総会: 東京, 2016.

12. 大隅寛木 , 藤崎順子.
ヘリコバクターピロリ除菌治療で胃癌は解決するのか? 早期食道胃接合部癌の背景因子に関する検討.
第 102 回日本消化器病学会総会: 東京, 2016.

13. Osumi, H., Fujisaki, J., Yoshio, T., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Yamamoto, Y.
The relationship between Helicobacter Pylori Uninfected Gastric Adenocarcinoma and Immunohistochemistry Staining of E-cadherin.
Quality in Endoscopy Upper GI Endoscopy & Neoplasia Symposium: Berlin, Germany, 2016.

14. 平澤俊明.
胃 ESD.
第 102 回日本消化器病学会総会: 東京, 2016.

15. 村松雄輔, 由雄敏之, 田顔夫佑樹, 清水智樹, 山口和久, 金明哲, 堀内裕介, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広.
ESD 後人工潰瘍治癒における rabeprazole と vonoprazan の後方視的比較検討.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

16. 由雄敏之, 土田知宏, 石山晃世志, 渡邊雅之, 藤崎順子, 五十嵐正広.
食道扁平上皮癌、Tla-MM に対する内視鏡切除、手術の長期成績についての比較検討.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

17. 大隅寛木, 藤崎順子, 河内洋, 山本智理子, 五十嵐正広.
胃内視鏡的粘膜剥離術(ESD)非治癒切除例からみた胃粘膜下層浸潤(SM)癌適応拡大の可能性.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会:
東京, 2016.

18. 山口和久, 大隅寛木, 藤崎順子.
H.pylori 除菌後の経過年数による早期胃癌の比較検討.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

19. 藤崎順子.
消化器内視鏡における男女共同参画の推進　現状と改善策 がん専門病院における消化器内視鏡をになう女性医師の割合について.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

20. 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子.
食道表在癌の内視鏡診断・治療の現状と限界
食道癌 ESD 後狭窄予防に対するステロイド投与の有用性および限界の検討.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

21. 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏.
内視鏡診療における鎮静の課題　ガイドライン改訂に向けて 食道癌 ESD 時の鎮静におけるデスクメデトミジン塩酸塩の有用性の検討　単施設、前向き無対照試験による検証的第 II 相試験.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

22. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子.
上部消化管における Advanced Diagnostic endscopy for treatment 除菌後未分化型早期胃癌における NBI 併用拡大内視鏡による範囲診断.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

23. 平澤俊明.
大腸　緊急内視鏡.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

24. 山本頼正, 比企直樹, 平澤俊明, 布部創也, 藤崎順子.
消化器内視鏡治療における外科と内科のコラボレーション 胃粘膜下腫瘍に対する Inverted LECS with Crown Methods の有用性.
第 102 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

25. 石山晃世志, 土田知宏, 陳勁松, 渡邊雅之, 山本智理子.
食道表在癌の内視鏡診断と治療の現況と展望
食道癌 ESD 後狭窄予防に対するステロイド投与の有用性および限界の検討.
第 102 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

26. 吉水祥一, 山本頼正, 藤崎順子, 五十嵐正広.
画像強調内視鏡　日常診療における現状と今後の展開 新型拡大内視鏡を用いた上部内視鏡スクリーニング検査よる胃上皮性腫瘍診断能の検討.
第 102 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

27. 大隅寛木, 藤崎順子, 五十嵐正広, 三木一正.
当院におけるボノプラザン使用後のヘリコバクター・ピロリ除菌治療成績.
第 22 回日本ヘリコバクター学会学術集会: 別府市, 2016.

28. 大隅寛木, 藤崎順子, 石山晃良志, 平澤俊明, 由雄敏之, 土田知宏, 山本頼正, 五十嵐正広, 海原和己, 三木一正.
新規ヘリコバクター・ピロリ抗体検査試薬「LZ テスト"栄研' H.ピロリ抗体」の性能評価試験.
第 22 回日本ヘリコバクター学会学術集会: 別府市, 2016.

29. 吉水祥一, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 陳勁松, 藤崎順子, 五十嵐正広.
食道 SM 癌に対する内視鏡切除と追加化学放射線療法の長期成績.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

30. 由雄敏之, 土田知宏, 石山晃世志, 峯真司, 渡邊雅之, 吉水祥一, 陳勁松, 藤崎順子, 五十嵐正広.
食道 MM/SM 癌に対する内視鏡切除、追加治療の長期成績　手術例との比較も含めて.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

31. 大隅寛木, 藤崎順子, 大前雅実, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 渡邊雅之, 河内洋, 山本智理子, 佐野武.
早期食道胃接合部腺癌および食道腺癌におけるリンパ節転移危険因子に関する検討.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

32. 石山晃世志, 土田知宏, 堀内裕介, 大前雅実, 由雄敏之, 藤崎順子, 峯真司, 渡邊雅之, 河内洋, 山本智理子.
食道癌 ESD 後狭窄予防に対するステロイド投与の有用性および限界の検討.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

33. 平澤俊明.
胃：H. pylori 陰性の限局性胃病変：症例提示.
第 17 回 臨床消化器病研究会: 東京, 2016.

34. 吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子.
食道 ESD 時にリドカイン局注剤を使用し, 良

好な蠕動抑制効果が得られた一例.
第 16 回 EMR/ESD 研究会: 東京, 2016.

35. 大隅寛木, 藤崎順子, 河内洋, 山本智理子, 佐野武, 五十嵐正広.
胃粘膜下層浸潤癌のリンパ節転移に関連する深達度実測値に関する検討.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

36. 平澤俊明, 比企直樹, 山本頼正.
当院における胃腫瘍に対する LECS の検討.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

37. 平澤俊明.
内視鏡による胃がん検診の課題.
第 8 回江東区内視鏡研究会: 東京, 2016.

38. 平澤俊明.
胃癌で命を落とさないために
柏葉探究セミナー: 柏市, 2016.

39. 石山晃世志, 土田知宏, 山本智理子.
当院における頸部食道表在癌の診断と治療の現状.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

40. 片岡星太, 藤崎順子, 吉水祥一, 大隈寛木, 清水智樹, 堀内裕介, 石山晃世志, 平澤俊明, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広.
化学療法中または BSC(Best Supportive Care)中の腫瘍出血に対する緊急内視鏡の適応.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

41. 並河健, 由雄敏之, 吉水祥一, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広.
術前診断が cMM/SM1 であった表在食道癌に対する内視鏡切除成績の検討.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

42. 山口和久, 藤崎順子, 山本智理子.
Helicobacter pylori 除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴と病理像.
第 92 回日本消化器内視鏡学会総会: 神戸市, 2016.

43. 片岡星太, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広.
安全で確実な内視鏡診療のためのリスクマネージメント 食道癌 ESD 時の鎮静におけるデクスメデトミジン塩酸塩の有用性の検討.
第 102 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

44. 平澤俊明.
食道・胃：症例検討.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

45. 石山晃世志, 上田知宏, 吉水祥一, 清水智樹, 藤崎順子.
当院における食道 ESD 手技と教育システムの検討.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

46. 城間翔, 由雄敏之, 並河健, 吉水祥一, 田顔夫佑樹, 中野薫, 岩崎将, 山崎明, 清水智樹, 山口和久, 井出大資, 堀内裕介, 石山晃世志, 平澤俊明, 千野晶子, 山本頼正, 斎藤彰一, 土田知宏, 藤崎順子.
脈管侵襲陽性のため ESD 非治癒切除となった H.pylori 陰性胃底腺型胃癌の 1 例.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

47. 並河健, 堀内裕介, 城間翔, 田顔夫佑樹, 吉水祥一, 中野薫, 岩崎将, 山崎明, 清水智樹, 山口和久, 井出大資, 石山晃世志, 平澤俊明, 由雄敏之, 千野晶子, 山本頼正, 斎藤彰一, 土田知宏, 藤崎順子.
遺伝性びまん性胃癌(Hereditary diffuse gastric cancer;HDGC)の 1 家系.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

48. 山崎明, 清水智樹, 河内洋, 中野薫, 山本安則, 吉水祥一, 山口和久, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子.
非 Barrett 上皮由来の食道腺癌の一例.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

49. 山本頼正, 比企直樹, 平澤俊明, 布部創也, 藤崎順子.

外科と内科のコラボレーションによる低侵襲治療の新展開 胃粘膜下腫瘍に対する LECS における内視鏡手技のコツ.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

50. 山口和久, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子.
咽頭・食道領域における多発癌・重複癌の診断と治療の現況 表在型咽頭癌における内視鏡切除後の異時性再発の検討.
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

51. 大隅寛木, 由雄敏之, 河内洋, 藤崎順子.
貧血を契機に発見された巨大十二指腸腫瘍の 1 例.
第 13 回日本消化管学会総会学術集会: 名古屋市, 2016.

52. 平澤俊明, 上堂文也, 後藤田卓志.
胃の内視鏡観察において記録画像は何枚必要か？.
第 88 回日本胃癌学会総会: 別府市, 2016.

下部消化管内科

1. 斎藤彰一 , 池上雅博.
大腸鋸歯状病変の内視鏡治療.
第 105 回日本病理学会総会: 仙台市, 2016.

2. 千野晶子, 新井正美, 斎藤彰一.
大腸スクリーニングとポリープ切除　安全で確実な検査・ポリープ切除・サーベイランスを目指して 大腸ハイリスク疾患(リンチ症候群)における大腸サーベイランスの特異性.
第 102 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

3. 田顔夫佑樹, 千野晶子, 中野薫, 岩﨑将, 山﨑明, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 斎藤彰一, 藤崎順子, 井上陽介, 上野雅資, 新井正美.
異時性の進行空腸癌を合併したリンチ症候群の 1 例.
第 22 回日本家族性腫瘍学会学術集会: 松山市, 2016.

4. 田顔夫佑樹, 千野晶子, 山口和久, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 斎藤彰一, 五十嵐正広, 高橋祐, 井上陽介, 小西毅, 上野雅資, 新井正美.
リンチ症候群における十二指腸癌 3 例の検討.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

5. 本間理, 岩崎将, 山崎明, 中野薫, 田顔夫佑樹, 井出大資, 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 斎藤彰一, 河内洋
形態的変化を追うことができた PG 由来と考えられる直腸陥凹型 SM 癌の一例
第 103 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2016.

乳腺外科

1. Ohno, S.
Optimal sequence of therapies for ER+HER-2 neg ABC.
European Society for Medical Oncology Asia Congress 2016 (ESMO-Asia): Singapore, 2016.

2. Ohno, S.
ABC guidelines and controversial issues.
European Society for Medical Oncology Asia Congress 2016 (ESMO-Asia): Singapore, 2016.

3. Ohno, S.
Proffered Paper session: Breast cancer.
European Society for Medical Oncology Asia Congress 2016 (ESMO-Asia): Singapore, 2016.

4. Ogiya, A., Iwase, T., Teruya, N., Sakamoto, H., Nakashima, E., Kataoka, A., Kitagawa, D., Sakai, T., Morizono, H., Miyagi, Y., Horii, R., Akiyama, F., Ohno, S.
Significance of preoperative fine-needle aspiration biopsy for suspected cases of lymph node metastasis in primary breast cancer.
European Society for Medical Oncology Asia Congress 2016 (ESMO-Asia): Singapore, 2016.

5. Sakai, T., Iwase, T., Ohno, S.
Indications for nipple!sparing mastectomy.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

6. 鈴木美慧, 中島絵里, 北川大, 新井正美, 岩瀬拓士, 大野真司.
乳がん術後患者群における家族性乳がん患者の拾い上げの実施.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

7. 師尾典子, 小野寿子, 飯島耕太郎, 堀井理絵, 五味直哉, 秋山太, 岩瀬拓士.
急速に再発進行した malignant phyllodes tumor の一例.
第 833 回外科集談会: 東京, 2016.

8. 貴志美紀.
BRCA1 の genomic 変異を伴う家族性腫瘍のサーベイランズに MRI が有用であった 1 例.
第 12 回乳房 MRI 研究会: 東京, 2016.

9. 坂井威彦, 宮城由美, 岩瀬拓士, 大野真司.
石灰化症例の広がり診断、切除範囲の工夫.
第 25 回日本乳癌画像研究会: 名古屋市, 2016.

10. 荻谷朗子.
ステージⅢC 乳癌の治療を考える.
第 46 回広島乳腺学会学術総会: 広島市, 2016.

11. 片岡明美, 照屋なつき, 中島絵里, 北川大, 荻谷朗子, 坂井威彦, 森園英智, 宮城由美, 岩瀬拓士, 大野真司.
乳癌術前薬物療法後の乳房温存手術の現状と問題点 実地診療における乳癌術前薬物療法後の乳房温存療法(NA 後 BCT)の治療成績.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

12. 照屋なつき, 岩瀬拓士, 片岡明美, 北川大, 中島絵里, 荻谷朗子, 坂井威彦, 森園英智, 宮城由美, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 大野真司.
硬化性病変を背景に有する乳癌症例において乳房温存術は避けるべきか.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

13. 阿部朋未, 森園英智, 照屋なつき, 片岡明美, 北川大, 中島絵里, 荻谷朗子, 坂井威彦, 宮城由美, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司.
腋窩原発副乳癌 7 例の診断と術式に関する検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

14. 北川大, 照屋なつき, 中島絵里, 片岡明美, 荻谷朗子, 坂井威彦, 森園英智, 宮城由美, 岩瀬拓士, 大野真司.
異時性両側乳癌の第 2 癌についての臨床病理学的検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

15. 吉田和世, 深田一平, 柴山朋子, 照屋なつき, 小林心, 荒木和浩, 稲垣里奈, 倉田麻美, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 大野真司, 伊藤良則.
FEC 療法におけるペグフィルグラスチム投与時期の検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

16. 森園英智, 池畑浩一, 照屋なつき, 中島絵里, 北川大, 荻谷朗子, 坂井威彦, 片岡明美, 宮城由美, 何森亜由美, 國分優美, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司.
微小病変の診断における細胞診の役割.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

17. 高畑史子, 坂井威彦, 照屋なつき, 片岡明美, 中島絵里, 北川大, 荻谷朗子, 森園英智, 宮城由美, 堀井理絵, 秋山太, 大野真司, 岩瀬拓士.
浸潤性微小乳頭癌(IMPCa)の予後についての検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

18. 大槻花恵, 北川大, 坂井威彦, 森園英智, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司.
穿刺吸引細胞診後の implantation による局所再発をきたしたと考えられる症例の検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

19. 中島絵里, 北川大, 喜多瑞穂, 芦原有美, 竹内抄與子, 鈴木美慧, 安達容枝, 島田聡子, 照屋なつき, 片岡明美, 坂井威彦, 荻谷朗子, 森園英智, 宮城由美, 堀井理絵, 秋山太, 新井正美, 岩瀬拓士, 大野真司.
BRCA1/2 変異陽性乳癌の臨床病理学的特徴とその現状.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

20. 市村佳子, 深田一平, 柴山朋子, 倉田麻美, 稲垣里奈, 照屋なつき, 小林心, 荒木和浩, 高橋俊二, 堀井理絵, 秋山太, 伊藤良則, 岩瀬拓士, 大野真司.
術前化学療法中に病状増悪が認められた乳癌患者の臨床病理学的特徴と予後解析.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

21. 岩間敬子, 照屋なつき, 片岡明美, 北川大, 中島絵里, 荻谷朗子, 坂井威彦, 森園英智, 宮城由美,

高橋俊二, 伊藤良則, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司.
Allred score から見たリンパ節転移陰性 Luminal 乳癌における PgR の意義について.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

22. 大野真司.
JBCRG の現況と将来展望.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

23. 宮城由美, 照屋なつき, 片岡明美, 北川大, 坂井威彦, 森園英智, 中島絵里, 岩瀬拓士, 大野真司.
腋窩郭清におけるピットフォール.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

24. 荻谷朗子, 岩瀬拓士, 照屋なつき, 中島絵里, 片岡明美, 北川大, 坂井威彦, 森園英智, 宮城由美, 伊藤良則, 大迫智, 堀井理絵, 秋山太, 大野真司.
センチネルリンパ節生検　腋窩郭清省略の現状と展望 センチネルリンパ節生検の条件である cN0 について考える.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

25. 岩瀬拓士.
乳癌の外科治療、激動の時代を体験して.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

26. 坂井威彦.
温存 vs 乳房再建：整容性と根治.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

27. 片岡明美, 中島絵里, 照屋なつき, 北川大, 荻谷朗子, 坂井威彦, 森園英智, 宮城由美, 岩瀬拓士, 大野真司.
乳癌術後内分泌療法（ET)がホルモン受容体（HR)陽性の若年性乳癌患者の妊孕性に及ぼす影響.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

28. 坂井威彦, 岩瀬拓士, 大野真司, 澤泉雅之.
Nipplesparing mastectomy(NSM)の手術適応について.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総: 浦安市, 2016.

29. 岩瀬拓士.
画像診断医、病理医の立場からみた検診のジレンマ 治療施設の外科医の立場からみた検診のジレンマ.
第 26 回日本乳癌検診学会総会: 久留米市, 2016.

30. 坂井威彦 ， 森園英智.
最近の乳癌診療：乳癌の過剰診断について.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会: 別府市, 2016.

31. 吉田和世, 坂井威彦, 池畑浩一, 森園英智, 堀井理絵, 古田則行, 小松京子, 杉山裕子, 岩瀬拓士.
細胞診断が乳腺内の広がり評価に有用であった Paget 病の 1 例.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会: 日本臨床細胞学会雑誌, 2016.

32. 笹聡一郎, 坂井威彦, 岩瀬拓士, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 大野真司.
良性腫瘤として 2 年間経過観察中、腫瘤内血流シグナルの検出を契機に診断された微小浸潤癌の 1 例.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

33. 笹聡一郎, 坂井威彦, 岩瀬拓士, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 大野真司.
胸部レントゲン撮影を用いた非触知石灰化乳癌の術前マーキング法.
第 13 回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2016.

34. 横江隆道, 北川大, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司.
原発性乳癌に合併した副乳癌の 1 例.
第 13 回日本乳癌学会関東地方会: 2016.12, さいたま市. 日本乳癌学会関東地方会プログラム・抄録集, 2016.

35. 岩田侑子, 荻谷朗子, 佐藤綾香, 米倉利香, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司.
腫瘍内のヘモジデリン沈着により特徴的な画像所見を呈した乳癌 2 例.
第 13 回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2016.

36. 貴志美紀, 荻谷朗子, 大野真司, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士.
術後 3 年半で Page t 型再発としてきづかれた Healing を伴う乳癌の一例.
第 13 回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市,

2016.

37. 高畑史子, 森園英智, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 大野真司, 岩瀬拓士.
高価性腺症内に非浸潤性小用癌（以下 LCIS）を認めた一例.
第13回日本乳癌学会関東地方会: 日本乳癌学会関東地方会プログラム・抄録集, 2016.

38. 吉田和世, 坂井威彦, 池畑浩一, 森園英智, 堀井理絵, 古田則行, 小松京子, 杉山裕子, 岩瀬拓士.
細胞診断が乳腺内の広がり評価に有用であったPaget 病の 1 例.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会: 別府市, 2016.

39. 武田美鈴, 坂井威彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司.
乳房温存術後サーベイランスにおける US の有用性の検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

40. 吉田和世, 深田一平, 柴山朋子, 小林心, 荒木和浩, 稲垣里奈, 倉田麻美, 高橋俊二, 大野真司, 伊藤良則.
FEC 療法における一次予防としてのペグフィルグラスチムの投与効果と血液毒性の検討.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

41. 荻谷朗子, 照屋なつき, 中島絵里, 北川大, 片岡明美, 坂井威彦, 森園英智, 宮城由美, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司.
センチネルリンパ節転移陰性郭清省略後の所属リンパ節単独再発の予後をサブタイプ別に探る.
第 116 回日本外科学会定期学術集会: 大阪市, 2016.

乳腺内科

1. Fukada, I., Ito, Y., Kobayashi, K., Shibayama, T., Teruya, N., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Toi, M., Ohno, S.
Questionnaire survey on patients' preference for orally disintegrating tablets or granules of S-1 in postoperative adjuvant treatment for breast cancer.
European Society for Medical Oncology Asia Congress 2016 (ESMO-Asia): Singapore, 2016.

2. 伊藤良則.
乳腺個別化医療を拓くバイオマーカー研究.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

3. 小林心, 柴山朋子, 深田一平, 荒木和浩, 高橋俊二, 大野真司, 伊藤良則.
転移再発乳癌におけるエベロリムスの効果と安全性.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

4. 深田一平, 小林心, 荒木和浩, 柴山朋子, 照屋なつき, 稲垣里奈, 倉田麻美, 高橋俊二, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司, 戸井雅和, 伊藤良則.
S-1 を用いた乳癌術後補助療法における口腔内崩壊錠と顆粒剤の嗜好に関するアンケート調査の中間報告.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

5. 貴志美紀, 小林心, 柴山朋子, 深田一平, 荒木和浩, 高橋俊二, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司, 伊藤良則.
T1bN0M0/HER2 陽性早期乳癌に対する術後化学療法とトラスツズマブの有用性の検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

6. 川井沙織, 重松康之, 荒木和宏, 高橋俊二, 伊藤良則, 大野真司.
デノスマブへのベバシズマブの上乗せにより顎骨壊死の発症を来したと考えられた 1 例.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

7. 小林心, 伊藤良則, 大野真司.
乳癌分子標的薬剤をどのように使いこなすか
治療ヒストリーと分子標的治療薬　どのタイミングでどの薬剤を使うのが適切か　「Window」の視点から.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

8. 伊藤良則.
化学療法施行時の B 型肝炎の再活性化対策は本当に必要か？.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

9. 伊藤良則.
治験啓発セミナー：治験 CAFÉ にようこそ

治験体験者さんから皆さんへ.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

10. 伊藤良則.
診療ガイドラインのこれから―歴代委員長からみた現在の乳癌診療ガイドラインの問題点―問題点を踏まえ、さらによいガイドラインとするには.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

11. 柴山朋子, 深田一平, 小林心, 荒木和浩, 伊藤良則, 高橋俊二, 大野真司.
転移乳癌に対する 2 週投与 1 週休薬による S-1 の安全性と効果の検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

12. 伊藤良則.
乳癌診療における 21 遺伝子アッセイの現状と展望.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

13. 柴山朋子, 深田一平, 伊藤良則, 大野真司.
当院におけるホルモン受容体陽性 HER 陰性転移再発乳癌に対するホルモン維持療法の検討.
第 78 回日本臨床外科学会総会: 東京, 2016.

14. 阿部朋美, 深田一平, 森園英智, 志賀太郎, 岩瀬拓士, 大野真司, 伊藤良則.
Pulmonary Tumor Thrombotic Microangiopathy を契機に発見された転移再発乳癌の一例.
第 13 回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2016.

15. 岩間敬子, 深田一平, 小林心, 森園英智, 吉田淳, 辻英貴, 岩瀬拓士, 伊藤良則, 大野真司.
パクリタキセル投与中に嚢胞様黄斑浮腫を来した 1 例.
第 13 回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2016.

16. 市村佳子, 深田一平, 柴山朋子, 小林心, 飯島耕太郎, 小口正彦, 岩瀬拓士, 伊藤良則, 大野真司.
腰椎緩和照射後に放射線食道炎を発症した乳癌の 1 例.
第 13 回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2016.

17. 深田一平, 荒木和浩, 小林心, 柴山朋子, 高橋俊二, 照屋なつき, 岩瀬拓士, 大野真司, 伊藤良則.
Imatinib could be new strategy for pulmonary tumor thrombotic microangiopathy in metastatic breast cancer.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

18. 伊藤良則.
日本乳癌学会・日本臨床腫瘍学会 合同シンポジウム ／ 乳がん薬物療法の近未来.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

婦人科

1. Aoki, Y.
New instrument and new technique made In Japan.
APAGE 5th Single Incision Laparoscopic Surgery Workshop: Taipei, Taiwan, 2016.

2. Kato, K., Omatsu, K., Nomura, H., Matoda, M., Katsuda, T., Okamoto, S., Kondo, E., Kanao, H., Utsugi, K., Sugiyama, Y., Takeshima, N.
Assessment of peritoneal cytology in advanced-stage ovarian cancer patients at interval debulking surgery.
16th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS): Lisbon, Pourtgal, 2016.

3. Nomura, H., Nagashima, M., Matoda, M., Okamoto, S., Kanao, H., Kato, K., Omatsu, K., Sugiyama, Y., Utsugi, K., Takeshima, N.
Oral leukoplakia in women treated with long-term pegylated liposomal doxorubicin.
European Society for Medical Oncology Asia Congress 2016 (ESMO-Asia). : Singapore, 2016.

4. Omatsu, K., Kato, K., Matoda, M., Takeshima, N.
Primary treatment for advanced epithelial ovarian cancer in a single institution experience.
16th Biennial Meeting of the International

Gynecolgic Cancer Society (IGCS): Lisbon, Pourtugal, 2016.

5. Sugiyama, Y.
Recent progress in cervical cancer screening and Bethesda System in Japan.
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

6. Sugiyama, Y., Fukui, N., Gotoh, O., Hasumi, K., Takazawa, Y., Noda, T., Mori, S.
Genomic analyses reveal two distinct biologic entities of endometrial endometrioid carcinoma.
American Asociation Cancer Research (AACR) 107th Annual Meeting: New Orleans, LA, USA, 2016.

7. Sugiyama, Y., Gotoh, O., Hasumi, K., Takazawa, Y., Noda, T., Mori, S.
Two distinct tumorigenic processes of endometrial endometrioid adenocarcinoma.
第 75 回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2016.

8. Sugiyama, Y. , Komatsu, K.
Directly sampled endometrial cytology (Conventional and liquid-based endometrial cytology).
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

9. Sugiyama, Y., Komatsu, K., Fujiyama, J.
Directly sampled endometrial cytology for endometrial cancer screening.
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

10. 久毅, 杉原武, 岡本修平, 青木洋一, 松岡和子, 松浦基樹, 長島稔, 勝田隆博, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
当院における子宮体癌血栓症例の検討
関東連合産科婦人科学会誌, 53(3): 410. 2016.

11. 加藤一喜.
卵巣癌の治療戦略「腫瘍減量術:完全摘出への挑戦」 進行卵巣癌の治療戦略 PDS?それとも IDS?
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 米子市, 2016.

12. 加藤一喜, 長島稔, 近藤英司, 金尾祐之, 的田眞紀, 岡本三四郎, 野村秀高, 尾松公平, 竹島信宏.
腹腔鏡で診断し得た卵巣原発漿液性腺癌の 1 例.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

13. 勝田隆博, 加藤一喜, 野村秀高, 岡本三四郎, 的田眞紀, 近藤英司, 金尾祐之, 竹島信宏.
腸管浸潤が疑われた症例に低位前方切除術と左半結腸切除術を行った進行婦人科癌の 2 例.
第 39 回日本産婦人科手術学会: 仙台市, 2016.

14. 勝田隆博, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏.
子宮頸癌治療前の PET/CT 検査で、傍大動脈リンパ節に高集積を認めた傍神経節腫の 1 例.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

15. 勝田隆博, 宇佐美知香, 尾松公平, 加藤一喜, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 金尾祐之, 宇津木久仁子, 馬屋原健司, 竹島信宏.
卵巣腫瘍 当科における進行・再発卵巣癌に対する Bevacizumab 治療経験.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2016.

16. 勝田隆博, 尾松公平, 藤原和子, 松浦基樹, 長島稔, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 金尾祐之, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏
当科におけるドキシル・ベバシズマブ併用療法の検討
日本婦人科腫瘍学会雑誌, 34(3): 443. 2016.

17. 宇津木久仁子, 松尾千穂, 田端聡, 堀真理子.
下肢リンパ浮腫治療のタイミング.
第 14 回日本フットケア学会年次学術集会: 神戸市, 2016.

18. 宇津木久仁子, 野村秀高, 長島稔, 青木洋一, 勝田隆博, 岡本三四郎, 加藤一喜, 竹島信宏.
成熟嚢胞性奇形腫の腹腔鏡下腫瘍核出手術の途中で悪性転化を疑い術式変更した 33 歳症例.
第 39 回日本産婦人科手術学会: 仙台市, 2016.

19. 宇津木久仁子, 馬屋原健司, 山本阿紀子, 野村秀隆, 宇佐美知香, 的田眞紀, 勝田隆博, 杉山裕子, 加藤一嘉, 神田浩明, 高澤豊, 竹島信宏.
当科における agressive angiomyxoma の 3 例.
第 39 回日本産婦人科手術学会: 仙台市, 2016.

20. 小西毅 ， 金尾祐之.
マルチアングルな骨盤外科手術を学ぶ：知って得する婦人科流、大腸外科流アプローチ.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市, 2016.

21. 尾松公平, 藤原和子, 勝田隆博, 長島稔, 松浦基樹, 高橋顕雅, 的田眞紀, 野村秀高, 近藤英司, 金尾祐之, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 岡本三四郎, 竹島信宏.
卵巣・明細胞腺癌の再発症例の検討.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：米子市, 2016.

22. 岡本三四郎, 杉山裕子, 高澤豊, 松浦基樹, 松岡和子, 長島稔, 勝田隆博, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾祐之, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
EGH の取扱い：自験例から考える LEGH のマネージメント.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会：別府市, 2016.

23. 岡本三四郎, 松浦基樹, 長島稔, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 馬屋原健司, 竹島信宏.
当院で治療を行なった子宮内膜間質肉腫の症例について.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会：東京, 2016.

24. 岡本三四郎 ， 竹島信宏.
子宮頸がんに対する放射線療法の展望 子宮頸がんに対するシスプラチンとパクリタキセルの weekly 投与を併用した Concurrent chemo-radiotherapy(CCRT)の有用性について.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：米子市, 2016.

25. 岡本三四郎, 長島稔, 勝田隆博, 松浦基樹, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾裕之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
子宮頸部原発低悪性度子宮内膜間質肉腫の 1 症例.
第 54 回日本癌治療学会学術集会：横浜市, 2016.

26. 岡本三四郎, 長島稔, 松浦基樹, 勝田隆博, 松岡和子, 野村秀高, 的田眞紀, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
術後神経内分泌腫瘍と判明した腹腔鏡下子宮体癌手術を施行した 1 症例.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：長崎市, 2016.

27. 杉原武, 金尾祐之, 岡本修平, 青木洋一, 久毅, 長島稔, 松浦基樹, 勝田隆博, 的田眞紀, 岡本三四郎, 加藤一喜, 竹島信宏.
子宮頸癌術後腟断端再発に対し腹腔鏡下腟全摘術を施行した 1 例.
第 32 回東京産婦人科医会・ 東京産科婦人科学会合同研修会並びに 第 380 回東京産科婦人科学会例会：東京, 2016.

28. 杉山裕子.
「新しい細胞診専門医制度」 細胞診専門医資格認定試験のこれまでとこれからの取り組み 試験実施委員長の立場から.
第 57 回日本臨床細胞学会総会春季大会：横浜市, 2016.

29. 杉山裕子.
教育研修に関わるガイドライン(細胞診専門医資格認定試験ガイドライン)の改定に関して.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会：別府市, 2016.

30. 杉山裕子, 荷見勝彦, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
早期発見と個別化治療を目指した子宮体部類内膜腺癌のゲノムワイドな遺伝子探索.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会：東京, 2016.

31. 松岡和子, 金尾祐之, 竹島信宏
安全な腹腔鏡下広汎子宮全摘出術を標準化する
日本内視鏡外科学会雑誌, 21(7): OS205-2. 2016.

32. 松浦基樹, 尾松公平, 久毅, 長島稔, 勝田隆博, 松岡和子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏.
子宮体部漿液性腺癌の術前細胞診に関する検討.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会：別府市, 2016.

33. 松浦基樹, 的田眞紀, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 金尾祐之, 加藤一喜,

宇津木久仁子, 馬屋原健司, 竹島信宏.
子宮体癌単発性リンパ節転移症例の検討.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2016.

34. 松浦基樹, 的田眞紀, 金尾祐之, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏.
子宮内膜細胞診が診断の契機となった早期卵巣癌の 1 例.
第 27 回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

35. 松浦基樹, 近藤英司, 岡本三四郎, 加藤一喜, 竹島信宏.
腹腔鏡下子宮全摘術のアプローチ法を考える.
第 39 回日本産婦人科手術学会: 仙台市, 2016.

36. 松浦基樹, 金尾祐之, 久毅, 松岡和子, 野村秀高, 竹島信宏.
婦人科：こだわりの手術手技　出血はしない、させない、ひろげない　腹腔鏡下骨盤リンパ節郭清における出血の回避.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

37. 松浦基樹, 金尾祐之, 久毅, 長島稔, 勝田隆博, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
腹腔鏡下広汎子宮全摘術の有用性に関する検討.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

38. 松浦基樹, 金尾祐之, 久毅, 長島稔, 勝田隆博, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
腹腔鏡下広汎子宮全摘術を円滑に行うためのポイント.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

39. 松浦基樹, 金尾祐之, 久毅, 長島稔, 勝田隆博, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
照射野内再発子宮頸癌症例に対する腹腔鏡下手術.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

40. 松浦基樹, 金尾祐之, 勝田隆博, 長島稔, 藤原和子, 的田眞紀, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 杉山裕子, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
子宮体癌の傍大動脈リンパ節再発に関する検討.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 米子市, 2016.

41. 松浦基樹, 金尾祐之, 長島稔, 的田眞紀, 竹島信宏.
子宮　婦人科がん治療の新展開 化学療法抵抗性照射野内再発子宮頸癌に対する新たな治療戦略.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

42. 的田眞紀, 松浦基樹, 長島稔, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 金尾祐之, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏.
子宮内膜間質肉腫の術中腹水細胞診所見の検討.
第 27 回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

43. 的田眞紀, 竹島信宏, 長島稔, 青木洋一, 勝田隆博, 野村秀高, 岡本三四郎, 金尾祐之, 加藤一喜, 尾松公平, 杉山裕子, 宇津木久仁子, 室伏景子, 角美奈子, 高沢豊.
子宮頸癌 IIB 期の手術：リスク因子を正確に評価し術後治療を選択する利点を考える.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

44. 的田眞紀 , 長島稔.
腹腔鏡下手術を施行した腹膜播種を伴う低悪性度子宮内膜間質肉腫の一例.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

45. 的田眞紀, 長島稔, 松浦基樹, 勝田隆博, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 金尾祐之, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏.
再発部位から考える子宮頸癌 StageIIB の治療選択.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2016.

46. 的田眞紀, 馬屋原健司, 竹島信宏, 青木大輔, 横田治重, 藤井多久磨, 木下宏実, 竹原和宏, 牛嶋公生, 榎本隆之, 三上幹男, 杉山徹.
子宮頸癌の化学療法 子宮頸部扁平上皮癌・リン

パ節転移症例に対する術後化学療法 JGOG1067 試験結果.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：米子市, 2016.

47. 竹島信宏.
遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)と予防的両側付属器切除(RRSO)　HBOC に対する当院の取り組み RRSO の現状と今後の展望.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会：東京, 2016.

48. 竹島信宏.
子宮頸がん化学療法に関する最近の話題.
第 64 回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会：札幌市, 2016.

49. 荷見勝彦 ， 杉山裕子.
小さな子宮体癌 131 例の臨床病理学的研究:体癌の早期 発見と自然史の解明のために.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会：別府市, 2016.

50. 藤原和子, 加藤一喜, 勝田隆博, 長島稔, 松浦基樹, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 金尾祐之, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
当院における卵巣、卵管、腹膜癌 IV 期症例の検討.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：米子市, 2016.

51. 近藤英司, 勝田隆博, 松浦基樹, 長島稔, 的田眞紀, 岡本三四郎, 竹島信宏.
腹腔鏡下広汎子宮全摘術を安全に施行し根治性を求めるために.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：長崎市, 2016.

52. 近藤英司, 松浦基樹, 高橋顕雅, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏.
当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術 116 例の検討.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会：東京, 2016.

53. 近藤英司, 長島稔, 松浦基樹, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術の検討.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：米子市, 2016.

54. 近藤英司, 青木大輔, 板持広明, 青木陽一, 竹島信宏, 南部静洋, 落合和徳.
子宮頸癌の化学療法 トポテカンはどのように使われるべきか?　国内治験での経験を踏まえて.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会：米子市, 2016.

55. 野村秀高, 宇佐美知香, 松浦基樹, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 竹島信宏.
腹腔鏡下骨盤リンパ節郭清術-en block 郭清術の手技.
第 39 回日本産婦人科手術学会：仙台市, 2016.

56. 野村秀高, 杉山裕子, 竹島信宏.
ポリープ状異型腺筋腫に対し、高用量黄体ホルモン療法を施行した後に再発予防に周期的プロゲスチン投与を行った 4 例.
第 16 回関東ホルモンと癌研究会：東京, 2016.

57. 野村秀高, 的田眞紀, 金尾祐之, 近藤英司, 加藤一喜, 尾松公平, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 新井正美, 竹島信宏.
HBOC における婦人科スクリーニング、サーベイランスとリスク低減卵管卵巣摘出術.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会：神戸市, 2016.

58. 野村秀高, 長島稔, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 堀井理絵, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
経気管支吸引細胞診が原発推定に有用であった転移性肺腫瘍の 1 例.
第 27 回日本臨床細胞学会総会春季大会：横浜市, 2016.

59. 野村秀高, 長島稔, 青木洋一, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 加藤一喜, 近藤英司, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
出血させない膀胱子宮靭帯前層の処理-あわあわを捌く.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会：横浜市, 2016.

60. 野村秀高, 長島稔, 青木洋一, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 宇津木久仁子, 竹島信宏.

あわあわの作り方-肥満症例でもあわあわを捌くために.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

61. 野村秀高, 長島稔, 青木洋一, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
リスク低減卵管卵巣切除術(RRSO)の実際：RRSO は容易な手術か.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

62. 野村秀高, 長島稔, 青木洋一, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
出血させない膀胱子宮靱帯前層の処理　あわあわを捌く.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

63. 野村秀高, 青木洋一, 長島稔, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 加藤一喜, 尾松公平, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 高澤豊, 新井正美, 竹島信宏.
卵巣がんに対する新たな治療戦略 リスク低減卵管卵巣切除術を施行した 29 例の臨床病理学的検討.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

64. 野村秀高, 高橋顕雅, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 加藤一喜, 尾松公平, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏.
内閉鎖筋に沿った進展を認め、恥骨下肢を合併切除することで摘出しえた再発バルトリン腺癌の 1 例.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 米子市, 2016.

65. 野村秀高, 高橋顕雅, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 新井正美, 竹島信宏.
当院におけるリスク低減卵管卵巣切除術(RRSO)の現状.
第 22 回日本家族性腫瘍学会学術集会: 松山市, 2016.

66. 野村秀高, 高橋顕雅, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
鼠径リンパ節転移を有する外陰扁平上皮癌 7 症例の検討　術後補助化学療法を中心として.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2016.

67. 金尾祐之.
子宮悪性腫瘍に対する低侵襲手術の確立に向けて 子宮頸癌根治術における腹腔鏡手術の安全な導入とその応用.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2016.

68. 金尾祐之 ， 上原圭介.
拡大視効果がもたらす次世代型骨盤外科手術の最前線.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 米子市, 2016.

69. 金尾祐之, 岡本三四郎, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
子宮体癌に対する腹腔鏡下手術：腹腔鏡下子宮体がん根治術に必要な解剖学.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

70. 金尾祐之, 岡本三四郎, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
根治手術後化学療法抵抗性照射野内再発子宮頸癌に対する腹腔鏡手術戦.
第 29 回日本内視鏡外科学会総会: 横浜市, 2016.

71. 金尾祐之, 岡本三四郎, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
婦人科領域における体腔内縫合結紮.
第 21 回日本内視鏡外科学会教育セミナー: 横浜市, 2016.

72. 金尾祐之, 岡本三四郎, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
解剖学的視点で解き明かす女性骨盤手術.
第 39 回日本産婦人科手術学会: 仙台市, 2016.

73. 金尾祐之, 松岡和子, 岡本三四郎, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏.
病的意義不明の少量腹水を認めた閉経後患者に対して子宮の細胞診が有用であった一例.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会: 別府市, 2016.

74. 金尾祐之, 的田眞紀, 松浦基樹, 勝田隆博, 長島稔, 藤原和子, 高橋顕雅, 野村秀高, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 杉山裕子, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
広汎子宮全摘出術を再考する　機能温存と根治性の探究 腹腔鏡下広汎子宮全摘術.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 米子市, 2016.

75. 金尾祐之, 竹島信宏.
局所解剖学的視点と外科解剖学視点から見る女性骨盤解剖.
第 18 回日本女性骨盤底医学会: 北九州市, 2016.

76. 金尾祐之, 野村昌良.
危険地帯を乗り越えるテクニック.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

77. 長島稔, 勝田隆博, 松浦基樹, 藤原和子, 高橋顕雅, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
再発 Mullerian carcinoma に対する Topotecan 使用時の持続性 G-CSF 製剤の有用性の検討.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 米子市, 2016.

78. 長島稔, 勝田隆弘, 松浦基樹, 松岡和子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 加藤一喜, 尾松公平, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏.
外陰部異所性乳腺組織から発生した腺癌の 3 例.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

79. 長島稔, 近藤英司, 勝田隆博, 松浦基樹, 松岡和子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 金尾祐之, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 竹島信宏.
当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術の治療成績について.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

80. 長島稔, 金尾祐之, 高橋顕雅, 的田眞紀, 尾松公平, 竹島信宏.
当院における腹腔鏡下広汎子宮全摘出術と開腹広汎子宮全摘出術の短期成績の比較.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2016.

81. 長島稔, 高橋顕雅, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏.
外陰部異所性乳腺組織から発生した腺癌の 1 例.
第 27 回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

82. 長島稔, 高橋顕雅, 的田眞紀, 金尾祐之, 竹島信宏.
腹腔鏡支援下骨盤内臓全摘術を施行した Pagetoid spread を伴う肛門癌の 1 例.
第 39 回日本産婦人科手術学会: 仙台市, 2016.

83. 高橋顕雅, 加藤一喜, 勝田隆博, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
AGO スコア陽性の再発卵巣癌における治療に SCS は有用か？傾向スコアマッチングを用いた症例研究.
第 131 回 関東連合産科婦人科学会 総会・学術集会: 東京, 2016.

84. 高橋顕雅, 加藤一喜, 勝田隆博, 長島稔, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 竹島信宏.
再発上皮性卵巣癌、卵管癌、腹膜癌における AGO スコア陽性患者の治療法の検討.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2016.

85. 高橋顕雅, 的田眞紀, 松浦基樹, 野村秀高, 岡本三四郎, 金尾裕之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
子宮体がんの手術療法 子宮内膜癌完全切除後の早期および晩期再発症例における臨床病理学的特徴.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

86. 高橋顕雅, 金尾祐之, 長島稔, 的田眞紀, 竹島信宏.
腹腔鏡下広汎子宮頸部切除後完全中隔子宮に対し細径子宮鏡で中隔切除術を施行した 1 例.
第 39 回日本産婦人科手術学会: 仙台市, 2016.

87. 高橋顕雅, 金尾祐之, 長島稔, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 竹島信宏.
腹腔鏡下広汎子宮頸部切除術後の子宮内手術に対する細径子宮鏡の有用性.
第 56 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: 長崎市, 2016.

88. 高橋顕雅, 金尾祐之, 長島稔, 野村秀高, 的田眞紀, 近藤英司, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏.
肛門管癌からの広汎な Pagetoid spread を認めた 1 例.
第 27 回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

89. 高橋顕雅, 馬屋原健司, 勝田隆博, 長島稔, 松浦基樹, 藤原和子, 野村秀高, 尾松公平, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 加藤一喜, 杉山裕子, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
初回治療後 28.2 年経過して再発した子宮体癌の 1 例.
第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会: 米子市, 2016.

頭頸科

1. Obata, K., Ebina, A., Sugitani, I., Sugiura, Y., Toda, T., Takahashi, S., Kawabata, K.
Common carotid artery during treatment with
lenvatinib for anaplastic cancer.
27th Annual Meeting of Asia-Pacific Endocrine
Conference (APEC)　Hawaii, USA, 2016.

2. 米川博之.
上顎癌の外科的治療.
第 45 回日本口腔外科学会教育研修会　口腔四学会合同研修会: 横浜市, 2016.

3. 米川博之.
上顎洞癌治療における手術手技.
第 2 回 大阪頭頸部癌セミナー: 大阪市, 2016.

4. 佐々木徹, 佐藤由紀子, 川端一嘉, 山本智理子.
口腔癌の前駆・初期病変の病理診断　組織学的特徴と診断クライテリア 口腔癌の前駆・初期病変の臨床.
第 105 回日本病理学会総会: 仙台市, 2016.

5. 川端一嘉.
頸部郭清術.
第 117 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会: 名古屋市, 2016.

6. 服部雅優, 新橋渉, 佐藤由紀子, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 小泉雄, 蛯名彩, 神山亮介, 福岡修, 日高竜太, 白尾浩太郎.
当科における中咽頭腺様嚢胞癌の検討.
第 40 回日本頭頸部癌学会: さいたま市, 2016.

7. 小幡和史, 米川博之, 佐藤由紀子, 川端一嘉, 三谷浩樹, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 蛯名彩, 神山亮介, 福岡修, 日高隆太, 白尾浩太郎.
上咽頭癌の治療成績および予後因子・無増悪生存期間に影響を与えた因子の統計学的検討.
第 40 回日本頭頸部癌学会: さいたま市, 2016.

8. 日高竜太, 新橋渉, 佐藤由紀子, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 神山亮介, 小泉雄, 蛯名彩, 白尾浩太郎, 上里迅, 近藤貴仁, 川端一嘉.
Fanconi 貧血に合併した下歯肉癌の 1 例.
第 40 回日本頭頸部癌学会: さいたま市, 2016.

9. 瀬戸陽, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 戸田和寿, 神山亮介, 小泉雄, 蛯名彩, 福岡修, 白尾浩太郎, 日高竜太, 佐藤由記子.
当院で経験した頭頸部悪性骨腫瘍 8 例の臨床的検討.
第 40 回日本頭頸部癌学会: さいたま市, 2016.

10. 坂井利彦, 蛯名彩, 杉谷巌, 高橋俊二, 戸田和寿, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉.
Lenvatinib を導入した甲状腺未分化癌症例の検討.
第 40 回日本頭頸部癌学会: さいたま市, 2016.

11. 神山亮介, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 蛯名彩, 福岡修, 日高竜太, 白尾浩太郎, 上里迅, 近藤貴仁.
頭頸部癌症例の長期予後　手術 vs 放治・化療 下咽頭喉頭全摘術を施行した下咽頭癌症例の長期予後と術後合併症・QOL の検討.
第 40 回日本頭頸部癌学会: さいたま市, 2016.

12. 新橋渉, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 福岡修, 蛯名彩, 高橋俊二, 利安隆史, 田中宏子, 佐藤由紀子.
化学放射線療法後(分子標的薬を含む)再発例に対する治療方法の選択 中咽頭癌再発症例に対する救済手術の検討.
第 40 回日本頭頸部癌学会: さいたま市, 2016.

13. 神山亮介, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 蛯名彩, 福岡修, 日高竜太, 上里迅, 近藤貴仁, 服部雅優.
下咽頭喉頭全摘・食道同時手術症例の予後と QOL の検討.
第 40 回日本頭頸部癌学会: さいたま市, 2016.

14. 米川博之.
上顎癌の外科的治療.
第 46 回日本口腔外科学会教育研修会　口腔四学会合同研修会: 京都市, 2016.

15. 永井遼斗, 南修司郎, 加我君孝, 松永達雄.
MITF遺伝子変異が同定されたWaardenburg症候群 TypeI の当院症例.
第 26 回日本耳鼻科学会総会・学術講演会: 長野市, 2016.

16. 福島啓文.
プロテーゼを用いたシャント発生の適応と手術について.
第 9 回喉頭温存治療研究会シンポジウム: 東京, 2016.

17. 坂井利彦, 福岡修, 仲野兼司, 戸田和寿, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉.
セツキシマブが著効した 術後早期再発舌癌の 1 例.
平成28年度耳鼻咽喉科冬期臨床フォーラム: 東京, 2016.

整形外科

1. Gokita, T., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Kito, M.
Denosumab treatment for giant cell tumor of bone;we can postpone dose interval by monitoring tartrate -resistant acid phosphatase 5b as a sensitive relapse marker.
The 11th Meeting of The Asia Pacific Musculoskeletal Tumour Society: Singapore, 2016.

2. Kito, M., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y.
Appropriate follow-up periods and risk factors of pulmonary metastasis from giant cell tumor of bone.
The 11th Meeting of The Asia Pacific Musculoskeletal Tumour Society: Singapore, 2016.

3. Gokita, T., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Kito, M.
Surgical manegement of locally recurrent soft tissue sarcoma.
21st Annual Meeting-The Connective Tissue Oncology Society: Lisbon, Portugal, 2016.

4. Fujiwara, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Kito, M., Nagumo, Y., Yamada, E.
Tumor-induced osteomalacia by fibroblast growth factor 23:A case report.
第96回東京医科歯科大学整形外科集談会: 東京, 2016.

5. Yamada, E., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Kito, M., Nagumo, Y., Fujiwara, Y.
Lipoma arising in the peripheral nerve:report of 3 cases.
第96回東京医科歯科大学整形外科集談会: 東京, 2016.

6. Sakaeda, K., Tanizawa, T., Matsumoto, S., Ae, K., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Kito, M., Nagumo, Y., Tsujino, S.

A 4-year-old girl with Alveolar Soft Part Sarcoma(ASPS);a case report.
第97回東京医科歯科大学整形外科集談会: 東京, 2016.

7. Hayakawa, K., matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, T., Minami, L., Sumi, Y., Machinami, R., Sugiura, Y., Hiruta, N.
A 36 year-old male, osteosarcoma of the right distal ulna.
28th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2016.

8. Funauchi, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Kito, M., Minami, Y., Sumi, Y., Machinami, R., Sugiura, Y., Hiruta, N., Sugano, N.
A 78-year-old male, undifferentiated pleomorphic sarcoma of the left lower extremity.
28th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2016.

9. Gokita, T., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Funauchi, Y., Hayakawa, K., Minami, Y., Kitou, M., Sumi, Y., Motoi, N., Kanda, H., Machinami, R., Hiruta, N.
A 25-year-old male, undifferentiated pleomorphic sarcoma of the left humerus.
28th Forum of The Surgical Society for Musculoskeletal Sarcoma: Tokyo, 2016.

10. 三浪友輔, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 角優介, 杉浦善弥.
RetrospectivestudybetweenFNCLCCgrade2andgrade3 cases in resectable synovial sarcomas.
第 75 回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2016.

11. 三浪友輔, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子.
下大静脈に腫瘍塞栓を併発した Ewing 肉腫患者において、化学療法と放射線療法が奏功した 1 症例.
第 56 回関東整形災害外科学会: 東京, 2016.

12. 早川景子, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介.
骨・軟部腫瘍の治療と QOL 就労との両立を可能にする軟部肉腫の治療戦略.
第 56 回関東整形災害外科学会: 東京, 2016.

13. 藤原鷹, 谷澤泰介, 南雲吉祥, 早川景子, 松本誠一, 阿江啓介, 池上政周, 河野博隆, 森井健司, 加藤義治.
腫瘍随伴性骨軟化症の 1 例.
関東整形災害外科学会 月例会 第 683 回整形外科集談会 東京地方会: 2016.

13. 五木田茶舞, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 野呂瀬美生.
大腿骨転移性骨腫瘍に対する手術療法とその合併症.
第 89 回日本整形外科学会学術総会: 横浜市, 2016.

14. 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 川口智義.
伝承と革新 新しい切除縁評価法へのロードマップ 骨・軟部肉腫に対する in situ preparation(ISP)の適応と限界.
第 89 回日本整形外科学会学術総会: 横浜市, 2016.

15. 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 早川景子, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 川口智義, 大川淳.
伝承と革新 新しい切除縁評価法へのロードマップ 切除縁評価の意義と新しい評価法.
第 89 回日本整形外科学会学術総会: 横浜市, 2016.

16. 鬼頭宗久, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 野呂瀬美生.
切除後 10 年以上定期的な経過観察を行った高分化型脂肪肉腫の治療成績.
第 89 回日本整形外科学会学術総会: 横浜市, 2016.

17. 鬼頭宗久, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 角優介.
多中心性骨巨細胞腫(multicentric giant cell tumor of bone)の検討.
第49回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会:

東京, 2016.

18. 船内雄生, 松本誠一, 杉浦善弥, 高澤豊, 角優介, 三浪友輔, 鬼頭宗久, 早川景子, 五木田茶舞, 谷澤泰介, 阿江啓介.
高悪性度(FNCLCC 分類 grade 3)軟部肉腫 184 例に対する補助化学療法の有効性.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

19. 角優介, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 高澤豊, 中村卓郎.
融合遺伝子診断が有用であった血管内結節性筋膜炎の 1 例.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

20. 鬼頭宗久, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 角優介.
四肢・体壁発生の高分化型脂肪肉腫再発例からみた至適切除縁の検討.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

21. 船内雄生, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介, 奥村栄, 高澤豊.
初診時からの遠隔転移が組織学的に証明された骨肉腫の予後.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

22. 三浪友輔, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 角優介, 杉浦善弥.
当院での滑膜肉腫手術症例における FNCLCC grade との予後相関の検討.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

23. 中山隆之, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 早川景子, 高澤豊, 中村卓郎.
NAB2-STAT6 が陽性だった胸膜外発生孤立性線維性腫瘍の臨床像.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

24. 早川景子, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介.
中高齢者における骨肉腫の治療成績.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

25. 谷澤泰介, 松本誠一, 阿江啓介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介.
腫瘍用人工膝関節置換再建後の感染症例の検討.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

26. 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 佐藤信吾, 角優介, 大川淳, 川口智義.
新しい切除縁表記法による悪性骨原発腫瘍の疾患別にみた安全な切除縁.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

27. 船内雄生, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介, 高澤豊.
広範切除可能部位に発生した脱分化型脂肪肉腫 14 例における脱分化部悪性度別の予後.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

28. 五木田茶舞, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 鬼頭宗久, 角優介.
軟部肉腫の再発広切における前回手術瘢痕の取り扱い方.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

29. 早川景子, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介, 中村卓郎.
結節性筋膜炎における融合遺伝子解析の有用性.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

30. 三浪友輔, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 角優介, 高澤豊.
悪性軟部肉腫において発生頻度がきわめて稀とされる dendritic cell sarcoma の 2 症例.

第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

31. 谷澤泰介, 松本誠一, 阿江啓介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介.
腫瘍用人工膝関節再置換において impaction allograft を行った 2 例.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

32. 早川景子, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介.
延長型人工膝関節の治療成績.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

33. 松本誠一.
骨原発肉腫における切除縁と再建法の変遷.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

34. 五木田茶舞, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 鬼頭宗久, 角優介.
デノスマブによって再発を繰り返す骨巨細胞腫を長期
コントロールするための指標.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

35. 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介, 佐藤信吾, 大川淳, 川口智義.
補助化学療法を行わなかった非円形細胞軟部肉腫の治療成績から見た補助化学療法の意義.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

36. 山田英莉久, 五木田茶舞, 谷澤泰介, 早川景子, 鬼頭宗久, 阿江啓介.
末梢神経内に発生した脂肪腫の 3 例.
第 127 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会: 松本市, 2016.

37. 松本誠一.
軟部肉腫診療　36 年間の変遷.
第 127 回中部日本整形外科災害外科学・会学術集会: 松本市, 2016.

38. 船内雄生.
軽視できない表在性軟部腫瘍 表在性軟部肉腫(UPS/MFS)の特徴　深部発生例との比較から分かること.
第 65 回東日本整形災害外科学会: 箱根町, 2016.

39. 阿江啓介.
希少がんとしての問題点：診療の問題点と治療の最前線.
第 9 回御茶ノ水整形外科研修セミナー: 東京, 2016.

40. 船内雄生, 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 鬼頭宗久, 南雲吉祥, 酒枝健太郎, 辻野昭平.
軟部腫瘍切除に対する新規取り組みーナビゲーションシステムの精度検討と臨床応用.
江東区医師会整形外科医会学術講演会: 東京, 2016.

41. 松本誠一.
骨軟部腫瘍診療のトピックス：小児を中心として.
江東区医師会整形外科医会学術講演会: 東京, 2016.

42. 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 鬼頭宗久, 三浪友輔, 角優介, 佐藤信吾, 大川淳, 川口智義.
骨・軟部腫瘍外科における手術支援 3D ナビゲーションシステムを用いた骨腫瘍手術の経験.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

泌尿器科

1. 増田均, 山本真也, 沼尾昇, 小川将宏, 井上亨, 武田隼人, 上原翔, 三神晃, 萩原喜一, 湯浅健, 福井巌, 米瀬淳二.
腎・膀胱・前立腺・その他 がん研究会有明病院における低侵襲手術の動向.
第 9 回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会: 東京, 2016.

2. 上原翔, 山本真也, 萩原喜一, 佐野雅之, 林達郎, 小川将宏, 山崎六志, 砂倉瑞明, 湯浅健, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二.
ハイリスク前立腺癌における神経温存術式適応基準の検討.

第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

3. 砂倉瑞明, 萩原喜一, 佐野雅之, 上原翔, 林達郎, 小川将宏, 山崎六志, 湯浅健, 山本真也, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二.
膀胱全摘後の adjuvant chemotherapy の検討.
第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

4. 佐野雅之, 山本真也, 萩原喜一, 上原翔, 小川将宏, 林達郎, 山崎六志, 砂倉瑞明, 湯浅健, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二.
病理学的リンパ節転移を有する膀胱癌の治療成績.
第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

5. 山本真也, 増田均, 砂倉瑞明, 山崎六志, 林達郎, 小川将宏, 上原翔, 佐野雅之, 萩原喜一, 湯浅健, 福井巌, 米瀬淳二.
Very high-risk 前立腺がんにおける前立腺全摘除術の治療成績.
第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

6. 林達郎, 湯浅健, 萩原喜一, 佐野雅之, 上原翔, 小川将宏, 山崎六志, 砂倉瑞明, 増田均, 山本真也, 福井巌, 米瀬淳二.
がん研有明病院における難治性胚細胞腫瘍に対する TGP(パクリタキセル、ゲムシタビン、シスプラチン)救済化学療法の成績.
第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

7. 増田均, 山崎六志, 佐野雅之, 林達郎, 砂倉瑞明, 上原翔, 萩原喜一, 米瀬淳二.
人工尿道括約筋埋め込み術　尿失禁手術既往及びロボット支援前立腺全摘(RALP)後症例の提示.
第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

8. 米瀬淳二, 山本真也, 増田均, 萩原喜一, 佐野雅之, 上原翔, 小川将宏, 林達郎, 山崎六志, 砂倉瑞明, 湯浅健, 福井巌.
膀胱全摘術　アウトカムの改善に何が必要か? 広範切除および補助化学療法を行った膀胱全摘の治療成績.
第 104 回日本泌尿器科学会総会:仙台市,2016.

9. Yuasa, T., Isono, T., Chano, T., Yonese, J.
腎がん細胞の glucose deprivation 時の細胞応答とミトコンドリア機能について.
第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

10. 増田均.
日本泌尿器科学会卒後教育プログラム 12: 前立腺がん術後尿失禁の診断と治療.
第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

11. 小川将宏, 山本真也, 萩原喜一, 佐野雅之, 上原翔, 林達郎, 砂倉端明, 湯浅健, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二.
当院における進行尿路上皮癌に対する 2nd-line TGP 療法の成績.
第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

12. 湯浅健.
転移性腎細胞がんに対する治療戦略.
第 618 回日本泌尿器科学会東京地方会: 東京, 2016.

13. 湯浅健.
Ra-223 CRPC に対する新たな選択肢.
第 81 回日本泌尿器科学会東部総会: 青森市, 2016.

14. 増田均.
西日本泌尿器科学会総会卒後教育プログラム 10: 前立腺疾患術後尿失禁の診断と治療.
第 68 回西日本泌尿器科学会総会: 下関市, 2016.

15. 増田均, 山本真也, 井上亨, 小川将宏, 上原翔, 萩原喜一, 沼尾昇, 湯浅健, 福井巌, 米瀬淳二.
ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術導入初期の切除断端陽性部位の検討.
第 30 回日本泌尿器内視鏡学会総会: 大阪市, 2016.

16. 増田均, 上原翔, 萩原喜一, 林達郎, 米瀬淳二.
がん専門病院における人工尿道括約筋埋込術の成績.
第 23 回日本排尿機能学会: 東京, 2016.

血液腫瘍科

1. Hatake, K., Kanzaki, R., Yabuuchi, Y., Kataoka, O., Nagai, S., Asaeda, Y.
Inter analysis of post marketing surveillance of YTTRIUM-90 ibritumomab tiuxtan in Japanese patients with relapsed or referctory indolent B-cell non-hodgkin lymphoma or mantle cell lymphoma.
21st European Hematology Association (EHA) Congress: Copenhagen, Denmark, 2016.

2. Nishimura, N.
Outcomes of 34 primary breast dffuse large-B-cell lymphoma in rituximab era at a single institution.
21st European Hematology Association (EHA) Congress: Copenhagen, Denmark, 2016.

3. Kusano, Y., Terui, Y., Yokoyama, M., Ueda, K., Nishimura, N., Mishima, Y., Gunji, T., Nitta, H., Inoue, N., Takahashi, A., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Rituximab maintenance improved progression-free survival and reduced the incidence of transformation in patients with follicular lymphom.
21st European Hematology Association (EHA) Congress: Copenhagen, Denmark, 2016.

4. Kusano, Y., Terui, Y., Takeuchi, K., Takahashi, A., Inoue, N., Yamauchi, H., Tsuyama, N., Ueda, K., Mishima, Y., Nishimura, N., Yokoyama, M., Hatake, K.
Absolute CD4+ T-cell count predicts survival in diffuse large B-cell lymphoma.
58th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition: San Diego, CA, USA, 2016.

5. Nishimura, N., Terui, Y., Takeuchi, K., Tsuyama, N., Takahashi, A., Inoue, N., Yamauchi, H., Kusano, Y., Mishima, Y., Yokoyama, M., Hatake, K.
The relapsed - Memorial Sloan - Kettering Cancer Center (R-MSKCC) prognostic score is a risk-stratification model for the central nervous system (CNS) involvement at relapse in patients with diffuse large B cell lymphoma (DLBCL) in the rituximab era.
58th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition: San Diego, CA, USA, 2016.

6. Mishima, Y., Shi, J., Moschetta, M., Shen, Y., Manier, S., Roccaro, A.M., Mercier, F., Takagi, S., Kawano, Y., Tsukamoto, S., Sahin, I., Sacco, A., Hatake, K., Michor, F., Scadden, D.T., Ghobrial, I.M.
In vivo analysis of clonal evolution of multiple myeloma.
58th American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition: San Diego, CA, USA, 2016.

7. 照井康仁.
がん創薬にむけたテロメア研究の進歩.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

8. 畠清彦.
New treatment paradigm for B-cell malignancies.
第 78 回日本血液学会学術集会: 横浜市, 2016.

9. 畠清彦.
Targeted therapies for Hodgkin lymphoma: results of recent trials.
第 78 回日本血液学会学術集会: 横浜市, 2016.

10. 井上典仁, 西村倫子, 高橋杏奈, 草野善晴, 上田響子, 三嶋裕子, 横山雅大, 照井康仁, 畠清彦.
Efficacy of the mogamulizumab in patients with CCR4 positive relapsed or refractory T-cell lymphoma.
第 78 回日本血液学会学術集会: 横浜市, 2016.

11. 高橋杏奈, 三島裕子, 横山雅大, 井上典仁, 草野善晴, 上田響子, 西村倫子, 津山直子, 竹内賢吾, 照井康仁, 畠清彦.
80% dose R-CHOP is very effective and safe in very elderly patients with DLBCL.
第 78 回日本血液学会学術集会: 横浜市, 2016.

12. 西村倫子, 照井康仁, 畠清彦.
Combination therapy with monoclonal antihodies for the treatment of newly diagnosed multiple myeloma.

第 78 回日本血液学会学術集会: 横浜市, 2016.

13. 上田響子, 照井康仁, 横山雅大, 三嶋裕子, 西村倫子, 草野善晴, 井上典仁, 高橋杏奈, 津山直子, 竹内賢吾, 畠清彦.
Bendamustine plus Rituximab therapy for indolent B cell lymphoma and mantle cell lymphoma patients.
第 78 回日本血液学会学術集会: 横浜市, 2016.

14. 高橋杏奈, 三島裕子, 横山雅大, 井上典仁, 草野善晴, 郡司匡弘, 新田英昭, 上田響子, 西村倫子, 照井康仁, 畠清彦.
75 歳以上のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫における 80%量 R-CHOP 療法の有効性の後方視的解析.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

15. 冨永理恵, 高橋杏奈, 津山直子, 三嶋裕子, 西倫子, 竹内賢吾, 横山雅大, 畠清彦.
乳腺悪性リンパ腫の 1 例.
第 621 回日本内科学会関東地方会:東京, 2016.

16. 横山雅大, 草野善晴, 高橋杏奈, 井上典仁, 郡司匡弘, 新田英昭, 上田響子, 西村倫子, 三島裕子, 照井康仁, 畠清彦.
R-CHOP 療法を受けた悪性リンパ腫患者における発熱性好中球減少症発症とそれに影響を与える因子の検討に関する臨床研究.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

17. 畠清彦.
低悪性度リンパ腫治療におけるゼヴァリン（RIT）の役割.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

18. 畠清彦.
外来化学療法における発熱性好中球減少症の管理と工夫.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

19. 照井康仁.
血液悪性腫瘍治療における免疫応答の重要性.
第 78 回日本血液学会学術集会: 横浜市, 2016.

20. 照井康仁.
多発性骨髄腫：後方視的解析.
第 78 回日本血液学会学術集会: 横浜市, 2016.

21. 草野善晴, 照井康仁, 横山雅大, 西村, 倫., 三島裕子, 上田響子, 新田英昭, 郡司匡弘, 井上典人, 高橋杏奈, 畠清彦.
Achievement of at least PR was a robust prognostic factor in patients with refractory/relapsed DLBCL.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

22. 井上典仁, 西村倫子, 高橋杏奈, 草野善晴, 郡司匡弘, 新田英昭, 上田響子, 三島裕子, 横山雅大, 照井康仁, 畠清彦.
Brentuximab vedotin for relapse or refractory Hodgkin's lymphoma and anaplastic large-cell lymphoma.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

23. 郡司匡弘, 三島裕子, 高橋杏奈, 井上典仁, 草野善晴, 新田英昭, 上田響子, 西村倫子, 横山雅大, 照井康仁, 畠清彦.
Lack of CD56 expression in newly diagnosed multiple myeloma is poor prognostic factor in new agent era.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

24. 西村倫子, 照井康仁, 高橋杏奈, 井上典仁, 郡司匡弘, 草野善晴, 上田響子, 三島裕子, 横山雅大, 畠清彦.
Multiple myeloma as a second primary malignancy; breast cancer was the most frequent primary cancer.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

総合腫瘍科

1. Nakano, K., Sugiura, Y., Taira, S., Tomomatsu, J., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Gokita, T., Tanizawa, T., Ae, K., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Clinical significance of relative dose intensity during pazopanib treatment to advanced/metastatic soft tissue sarcoma.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会:神戸市,

2016.

2. Takahashi, S.
Clinical trials of trabectedin for soft tissue sarcoma.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

3. Takahashi, S., Kiyota, N., Yamazaki, T., Chayahara, N., Nakano, K., Inagaki, L., Toda, K., Enokida, T., Minami, H., Imamura, Y., Sasaki, T., Suzuki, T., Fujino, K., Dutcus, C., Young, L., Tahara, M.
Phase 2 study of lenvatinib with dfferentiated, medullary, and anaplastic thyroid cancer: final analysis results.
Deutsche Gesellschaft fur Hamatologie und Medizinische Onkologie(DGHO): Leipzig, Germany, 2016.

4. Nakano, K., Marshall, S., Taira, S., Sato, Y., Tomomatsu, J., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.
The comparison of cetuximab-containing regimens to recurrent/metastatic squamous cell head and neck carcinoma: the clinical significance of weekly paclitaxel and cetuximab.
41th ESMO 2016 Congress: Copenhagen, Denmark, 2016.

5. Takashi, S.
Evolving molecular targeting treatment for thyroid carcinoma ：Optimal treatment in optimal patients.
European Society for Medical Oncology Asia Congress 2016 (ESMO-Asia). : Singapore, 2016.

6. Takahashi, S.
Vandetanib for thyroid cance: Clinical trials of trabectedin for soft tissue sarcoma.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

7. NakanoK., SugiuraY., TairaS., TomomatsuJ., HayakawaK., FunauchiY., GokitaT, TanizawaT, AeK., MatsumotoS., TakahashiS.
Clinical significance of relative dose intensity during pazopanib treatment to advanced/metastatic soft tissue sarcoma.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会:
神戸市, 2016.

8. Takahashi, S., Pena, C., Wilhelm, S., Meinhardt, G., Schlumberger, M., Brose, M.
Biomarkers of prognosis in patients With differentiated thyroid cancer(DTC) from the DECISION trial.
第 49 回日本甲状腺外科学会学術集会: 甲府市, 2016.

9. 高橋俊二, 清田尚臣, 長谷川泰久, 横田知哉, 岩江信法, 清水康, 後藤昌弘, 灘波良信, FerrisRobertL., MongaManish, 田原信.
Nivolumab vs investigator's choice for recurrent or metastatic (R/M) squamous cell carcinoma of the head and neck (HNSCC).
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

10. 仲野兼司.
頭頸部がん薬物療法ガイダンスを踏まえた再発・転移頭頸部がんへの治療戦略：セツキシマブ（アービタックス）併用化学療法のバリエーション.
第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術集会: 横浜市, 2016.

11. 高橋俊二.
最新支持療法から学ぶ、泌尿器癌化学療法を安全に完遂する極意 化学療法時の支持療法.
第 104 回日本泌尿器科学会総会: 仙台市, 2016.

12. 高橋俊二.
進行悪性軟部腫瘍に対する新規治療薬　トラベクテジンを中心に.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

13. 仲野兼司, 杉浦善弥, 平良眞一郎, 友松純一, 早川景子, 船内雄生, 五木田茶舞, 谷澤泰介, 阿江啓介, 松本誠一, 高橋俊二.
悪性軟部肉腫へのパゾパニブ治療における RDI(relative dose intensity)維持の意義.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

14. 高橋俊二, 清田尚臣, 山崎知子, 茶屋原菜穂子, 仲野兼司, 稲垣里奈, 戸田和寿, 榎田智弘, 南博信, 今村善宣, 佐々木達哉, 鈴木拓也, 藤野克樹, Dutcus, C., 田原信.
進行性甲状腺癌（放射性ヨウ素治療抵抗性分化型癌，髄様癌，未分化癌）に対する レンバチニブの第 2 相試験：最終報告.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

15. 仲野兼司 , 青山剛.
VEGF 阻害薬のマネージメント: 通院管理において問題となる有害事象.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

16. 平良眞一郎, 仲野兼司, 友松純一, マーシャル祥子, 高橋俊二.
再発・転移頭頸部扁平上皮癌症例に対する 1 次化学療法としてのパクリタキセル＋セツキシマブ療法.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

17. 高橋俊二.
瘍内科医としての泌尿器癌への関わり.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

18. 高橋俊二.
甲状腺がん.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

19. 仲野兼司.
Multidisciplinary team in management of soft tissue sarcoma patients：軟部肉腫への薬物療法に際しての多職種チーム連携.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

20. マーシャル祥子, 仲野兼司, 平良眞一郎, 佐藤由紀子, 友松純一, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉, 高橋俊二.
頭頸部がんへのセツキシマブ併用薬物化学療法（５FU＋プラチナ製剤）.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

21. 仲野兼司.
頭頸部がん：薬物療法.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

22. 友松純一, 北園聡, 石川雄一, 三木義男, 西尾誠人, 高橋俊二.
がん研における多がん種にわたる横断的遺伝子検査システムの構築.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

麻酔科

1. 中川陽介, 見市光寿, 柏井朗宏, 風戸拓也, 宮崎恵美子, 横田美幸.
勤務体制の変化（週休二日制導入）と手術室運営及び麻酔科への影響.
日本麻酔科学会第 55 回関東甲信越・東京合同学術集会: 横浜市, 2016.

2. 中川陽介, 横田美幸, 平島潤子, 見市光寿, 風戸拓也, 長田理.
周術期管理チーム―協働についての意識調査 看護師を対象としたアンケート調査から.
日本臨床麻酔学会第 36 回大会: 高知市, 2016.

3. 長田理.
薬物動態学の基礎.
日本臨床麻酔学会第 36 回大会: 高知市, 2016.

がん疼痛治療科

1. HattoriSeiji.
Cancer pain management in Japan: From conservative to interventional treatments.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

2. 服部政治.
慢性疼痛に対するインターベンショナル治療 がんの痛みに対するインターベンション　がん疼痛治療科の最前線.
第 45 回日本慢性疼痛学会: 佐賀市, 2016.

3. 服部政治.
がん患者の疼痛治療　アセトアミノフェンから神経ブロックまで.
第 21 回日本緩和医療学会学術大会: 京都市, 2016.

4. 服部政治.
難治性がん疼痛へのアプローチ 総論/脊髄鎮痛法.
第 21 回日本緩和医療学会学術大会:
京都市, 2016.

5. 服部政治.
術後痛・がん疼痛治療の最前線 がん疼痛治療におけるアセトアミノフェンの役割.
第 70 回食道学会学術集会: 東京, 2016.

6. 服部政治.
ペインクリニシャンが行う緩和ケア.
日本ペインクリニック学会第 50 回大会: 横浜市, 2016.

腫瘍精神科

1. 大島淑夫.
対応の難しいがん患者の理解と対応：「死にたい」と訴える患者と困惑する医療者：精神科医の立場から「死にたい」を考える.
第 29 回日本サイコオンコロジー学会総会:
札幌市, 2016.

形成外科

1. Matsumoto, A., Sawaizumi, M., Tanakura, K., Miyashita, H., Maeda, T.
Ultrasound study of the natrelle 410 anatomical silicone breast implant rupture: Over a 5-year follow-up.
American Society of Plastic Surgeons (ASPS) Plastic Surgery the Meeting: Los Angeles, 2016.

2. Tanakura, K., Sawaizumi, M., Miyashita, H., Kuramoto, Y., Matsumoto, A., Shiozaki, M., Shibata, T., Imai, T.
The neighboring flap theory: A new idea for defect closure achieving both reducing the defect and confirmed primary donor closure.
American Society of Plastic Surgeons (ASPS) Plastic Surgery the Meeting 2016: Los Angeles, USA, 2016.

3. 三戸那奈子.
インプラント再建乳房の感染に対する一期交換法の有用性；Biofilm 形成の対策.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

4. 三戸那奈子, 倉元有木子, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄, 澤泉雅之.
乳房インプラント感染の一期交換法時の外科的治療に平行した内科的治療の重要性.
第 21 回日本形成外科手術手技学会: さいたま市, 2016.

5. 三戸那奈子, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄.
乳房インプラント感染サルベージにおける一期交換法の治療成績.
第 59 回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

6. 倉元有木子.
乳輪乳頭温存皮下乳腺全摘出術の一次乳房再建における乳輪乳頭偏位の予防.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

7. 倉元有木子, 棚倉健太, 今井智浩, 澤泉雅之.
LVA における静脈マッピングの有用性.
第 9 回筑波大学形成外科同門会: つくば市, 2016.

8. 倉元有木子, 棚倉健太, 宮下宏紀, 澤泉雅之.
リンパ管細静脈吻合術における Vein Mapping の有用性.
第 43 回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

9. 倉元有木子, 棚倉健太, 宮下宏紀, 澤泉雅之.
自家遊離複合組織移植による乳房再建におけるインプラントを用いた Predictive Contouring.
第 43 回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

10. 倉元有木子, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 柴田知義, 塩崎正崇, 古林玄, 松本誠一, 谷澤泰介.
リンパ管静脈吻合術が有効であった大腿部術後創部リンパ漏の 1 例.
第 49 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

11. 倉元有木子, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 塩崎正宗, 松本綾希子, 古林玄, 三戸那奈子.
日本人の乳房形態　もともとの乳房は左右対称なのか.
第 59 回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

12. 倉元有木子, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌弘, 松本綾希子, 塩崎正崇, 古林玄, 三戸那奈子, 今井智弘, 前田拓摩, 大野真司, 岩瀬拓士.
乳がん罹患患者の乳房形態　乳癌と乳房形態.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

13. 古林玄, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 塩崎正宗, 三戸那奈子.
乳房再建におけるティッシュエキスパンダーのサイズ別による合併症.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

14. 古林玄, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 塩崎正宗, 松本綾希子.
乳房再建のための乳房下垂分類.
第 59 回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

15. 古林玄, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 山下昌宏, 松本綾希子, 松本誠一, 阿江啓介.
会陰部類上皮肉腫に対して 両側大殿筋皮弁による再建 を施行した一例.
第 21 回日本形成外科手術手技学会: さいたま市, 2016.

16. 古林玄, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 山下昌弘, 松本綾希子, 岩瀬拓士, 大野真司.
乳房再建のための乳房下垂分類.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

17. 古林玄, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌宏, 松本誠一, 阿江啓介
会陰部類上皮肉腫に対して両側大臀筋皮弁による再建を施行した一例
日本形成外科学会会誌, 36(7): 361. 2016.

18. 塩崎正宗, 澤泉雅之, 宮下宏紀, 棚倉健太, 柴田知義, 古林玄, 三戸那奈子, 石浦良平, 細井龍.
当院における外陰部悪性腫瘍切除後再建.
第 43 回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

19. 塩崎正宗, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子.
SBI による乳房再建術における健側乳房増大術の潜在的な必要性.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

20. 塩崎正宗, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子.
インプラント挿入患者の経時的な変化；インプラントによる胸郭の陥凹　第一報.
第 59 回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

21. 塩崎正宗, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子.
TE 挿入中の MRI 撮影について；MRI 吸引実験及び 症例報告.
第 59 回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

22. 塩崎正崇, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 古林玄, 三戸那奈子, 細井龍, 岩瀬拓士, 大野真司.
乳房再建患者の術後大胸筋拘縮に対する大胸筋マッサージ　上肢機能の観点から.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

23. 宮下宏紀.
がん研有明病院における TE/SBI 挿入:当院での現状と補助療法.
第 15 回長野県乳癌治療研究会: 松本市, 2016.

24. 宮下宏紀, 松本綾希子, 倉元有木子, 棚倉健太, 澤泉雅之, 柴田知義, 塩崎正宗, 古林玄, 三戸那奈子, 石浦良平, 細井龍, 今井智浩, 岩瀬拓士, 大野真司.
DIEP 皮弁による乳房再建において腰痛に影響をもたらす因子の検討　：より良い手術計画のために.
第 43 回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

25. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 棚倉健太, 山下昌宏, 松本綾希子, 柴田知義, 倉元有木子, 岩瀬拓士.
NSM 後の乳房再建で生じた NAC 偏位に対し、

乳輪周囲切開を伴うNAC位置修正術を行った症例のまとめ.
第59回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

26. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 棚倉健太, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄, 三戸那奈子, 石浦良平, 細井龍, 今井智浩, 岩瀬拓士, 大野真司.
当科における一次一期SBI再建（DTI)の適応.
第4回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

27. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 棚倉健太, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄, 三戸那奈子, 石浦良平, 細井龍, 今井智浩, 岩瀬拓士, 大野真司.
人工物乳房再建におけるバイクルメッシュの拡大使用：ADMの代わりは果たせるか.
第4回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

28. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 棚倉健太, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 新井正美, 岩瀬拓士, 大野真司.
リスク軽減乳房切除術およびリスク軽減卵巣卵管切除術に伴う一次一期SBI再建：Direct to Implantの一例.
第8回日本創傷外科学会総会・学術集会: 東京, 2016.

29. 宮下宏紀, 澤泉雅之, 棚倉健太, 柴田知義, 山下昌宏, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正崇, 古林玄, 三戸那奈子, 今井智浩, 岩瀬拓二, 大野真司.
前胸部巨大欠損に対して分割広背筋皮弁を用いて胸壁再建を行った症例のまとめ.
第24回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

30. 平山泰樹, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 松本綾希子, 川上順子, 宮城由美, 岩瀬拓士, 新井正美
一次二期乳房再建術においてティッシュ・エキスパンダーを長期間留置していた1例
日本形成外科学会会誌, 36(2): 88. 2016.

31. 松本綾希子.
統合失調症を有する患者への乳房再建の適応についての検討.
第4回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

32. 松本綾希子, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓磨, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌宏, 倉元有木子, 塩崎正崇, 古林玄, 三戸奈那子, 岩瀬拓士, 大野真司.
シリコン乳房インプラント乳房再建を行った患者の局所再発率についての検討.
第24回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

33. 松本綾希子, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀.
破損インプラントの交換時期についての検討.
第8回日本創傷外科学会総会・学術集会: 東京, 2016.

34. 松本綾希子, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 岩瀬拓士.
SBI再建を行った患者の予後・インプラントの予後について　−3年以上経過例の検討.
第59回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

35. 柴田知義, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 倉元有木子, 塩崎正宗, 松本綾希子, 古林玄, 三戸那奈子.
インプラント選択時に組織拡張器自体の容量が与える影響について.
第59回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

36. 柴田知義, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 倉元有木子, 松本綾希子.
当院での骨盤内臓全摘後の再建法の検討.
第43回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

37. 柴田知義, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄, 三戸那奈子, 石浦良平, 細井龍.
組織拡張器注水量と拡張量との関係.
第4回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

38. 柴田知義, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 山下昌宏, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正崇, 古林玄, 三戸那奈子, 前田拓摩, 岩瀬拓士, 大野真司.
乳房増大術後に乳がん治療をうけた患者の臨床的観察.
第24回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

39. 棚倉健太.
当院での TE / SBI.
第 4 回 EBIS meeting: 大阪市, 2016.

40. 棚倉健太.
安全性と整容性を考えた乳房切除・乳房再建術のコツ：がん研の術前診断・評価から再建のテクニックまで.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

41. 棚倉健太, 井上陽介, 佐藤崇文, 齋浦明夫, 澤泉雅之.
顕微鏡下左胃動脈再建を伴った腹腔動脈幹を合併切除する膵体尾部切除術.
第 43 回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

42. 棚倉健太, 倉元有木子, 今井智浩, 澤泉雅之.
当施設における四肢リンパ浮腫に対するリンパ管細静脈吻合術の経験.
第 43 回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

43. 棚倉健太, 倉元有木子, 宮下宏紀, 柴田知義, 塩崎正宗, 松本綾希子, 古林玄, 三戸那奈子, 澤泉雅之.
小腸瘻を伴う腹部離解創に対し 2 系統分離型陰圧閉鎖療法が有効だった一例.
第 8 回日本創傷外科学会総会・学術集会: 東京, 2016.

44. 棚倉健太, 倉元有木子, 柴田知義, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄, 三戸那奈子, 宮下宏紀, 澤泉雅之.
Neighboring Flap Theory を応用した、胸肩峰動脈穿通枝皮弁による胸壁再建の一例
第 9 回筑波大学形成外科同門会: つくば市, 2016.

45. 棚倉健太, 宮下宏紀, 澤泉雅之.
TE/SBI による一次二期乳房再建の標準化に向けた取り組み.
第 59 回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

46. 棚倉健太, 澤泉雅之, 倉元有木子, 今井智浩, 五木田茶舞, 谷澤泰介, 阿江啓介, 松本誠一.
骨・軟部腫瘍切除後リンパ浮腫に対する治療経験.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

47. 棚倉健太, 澤泉雅之, 宮下宏紀.
人工物を用いた再建の合併症：感染 How to solve.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

48. 棚倉健太, 澤泉雅之, 宮下宏紀, 今井智浩, 阿江啓介, 松本誠一.
下肢軟部悪性腫瘍切除後再建における治療戦略
第 43 回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

49. 棚倉健太, 澤泉雅之, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄, 三戸那奈子, 石浦良平, 細井龍, 岩瀬拓士, 大野真司, 馬城はるか, 谷澤泰介.
TE による乳房一次再建術後の上肢リハビリテーションに対する検討.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

50. 棚倉健太, 澤泉雅之, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄, 石浦良平, 三戸那奈子, 細井龍, 岩瀬拓士, 大野真司.
TE/SBI 手術記録の標準化と術者の教育.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

51. 棚倉健太, 馬城はるか, 宮下宏紀, 柴田知義, 山下昌宏, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正崇, 古林玄, 三戸那奈子, 前田拓摩, 今井智浩, 澤泉雅之, 谷澤泰介, 岩瀬拓二, 大野真司.
乳房一次再建での TE 挿入術後の上肢リハビリテーションに対する検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

52. 澤泉雅之.
再建を前提とした NSM, SSM 実診療.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

53. 澤泉雅之.
各種再建方法の基本的手技：人工物.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

54. 澤泉雅之.
ブレスト・インプラント・エキスパンダー.

第 59 回日本形成外科学会総会・学術集会: 福岡市, 2016.

55. 澤泉雅之.
温存 vs 乳切再建 :整容性と根治性のバランス.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

56. 澤泉雅之, 棚倉健太, 柴田知義, 松本綾希子, 塩崎正宗.
ronin Implant による豊胸後乳癌と破損状況.
第 8 回日本創傷外科学会総会・学術集会: 東京, 2016.

57. 石浦良平, 澤泉雅之, 今井智浩, 細井龍, 三戸那奈子, 古林玄, 塩崎正宗, 松本綾希子, 倉元有木子, 柴田知義, 前田拓摩, 宮下宏紀, 棚倉健太.
乳頭・乳輪再建の動向：インプラント保険適用によりどう変わったか.
第 4 回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会: 浦安市, 2016.

58. 石浦良平, 澤泉雅之, 塩崎正崇, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 古林玄, 三戸那奈子, 細井龍, 岩瀬拓士, 大野真司, 五味直哉, 千葉寿枝.
TE の構造と MRI 撮影での影響.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

59. 石浦良平, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 古林玄, 今井智浩, 梁太一, 前田拓摩, 三戸那奈子, 細井龍.
“Thunder Bolt Technique”：静脈留置針を用いたドレーン挿入時に不運にも血管を穿破した際の卓越した止血術.
第 43 回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

60. 石浦良平, 澤泉雅之, 棚倉健太, 宮下宏紀, 柴田知義, 倉元有木子, 松本綾希子, 塩崎正宗, 澤泉雅之, 宮下宏紀, 棚倉健太, 柴田知義, 古林玄, 三戸那奈子, 石浦良平, 細井龍.
過去 10 年における骨軟部悪性腫瘍切除後の広範欠損に対する分割広背筋皮弁による再建の有用性.
第 43 回日本マイクロサージャリー学会学術集会: 広島市, 2016.

眼 科

1. Tsuji, H.
Eye movement preserved tumor resection for adult pilocystic astrocytoma in orbit.
17th World Ophthalmology Congress (WOC): Guadalajara, Mexico, 2016.

2. Tsuji, H.
Orbital pyoderma gangrenosum mimicking malignant tumor.
31st Asia-Pacific Academy of Ophthalmology (APAO) Congress: Taipei, Taiwan, 2016.

3. Tsuji, H. , Kobayashi, M.
The merits and demerits of laissez-faire technique of peri-occularlesion.
5th Congress of WUWHS One Vision One Mission: Florence, Italy, 2016.

4. 辻英貴, 小林めぐみ, 光安哲人.
義眼：エピテーゼに関わる諸問題.
第 26 回日本眼瞼義眼床手術学会: 札幌市, 2016.

感染症科

1. 原田壮平.
耐性菌制御のブレイクスルーをめざして！：耐性菌の治療-併用療法の可能性.
第 65 回日本感染症学会東日本地方会学術集会: 新潟市, 2016.

2. 原田壮平, 羽山ブライアン, 大串大輔, 亀井克彦.
急性の経過で死亡したアゾール低感受性 *Aspergillus tubingensis* による肺感染症の一例.
第 65 回日本感染症学会東日本地方会学術集会: 新潟市, 2016.

3. 羽山ブライアン, 大串大輔, 原田壮平.
当院における *Candida* 血流感染各菌種の分離状況と薬剤感受性の分析.
第 65 回日本感染症学会東日本地方会学術集会: 新潟市, 2016.

4. 原田壮平.
臨床現場における感染症領域の TDM とその問題点 免疫不全患者の感染症治療における TDM.

第 33 回日本 TDM 学会・学術大会: 宇都宮市, 2016.

5. 田中諭, 大串大輔, 羽山ブライアン, 原田壮平.
がん患者におけるカンジダ血症に関する感染症科設立前後の臨床的検討.
第 90 回日本感染症学会学術講演会: 仙台市, 2016.

6. 井田恵都, 赤土朋美, 庄司大悟, 原田壮平.
手指衛生のアドヒアランス向上のための病院全体での取り組み.
第 31 回日本環境感染学会総会・学術集会: 京都市, 2016.

漢方サポート科

1. 星野恵津夫.
がんと漢方 漢方薬でがん治療は楽になり、患者は延命する.
第 67 回東洋医学会学術総会: 高松市, 2016.

歯　科

1. 富塚健.
がん治療における口腔機能管理の意義：口腔ケアの重要性について.
臨床栄養スタートアップ講座: 大阪市, 2016.

2. 富塚健, 西村菜緒, 古敷谷昇, 脇元佳子, 木暮麻優, 太田志保, 江口奈緒子, 菅野勇樹, 田村恵, 田代美子.
がん治療時の口腔インプラントの状態に関する調査.
第 2 回日本がん口腔支持療法学会学術集会: 静岡県駿東郡, 2016.

3. 富塚健.
がん治療時の口腔機能管理の実際.
江東区歯科医師会 研修会: 東京, 2016.

緩和治療科

1. 奈良林至.
緩和ケアをめぐるチーム医療の実践：緩和ケア医が工夫できること.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

2. 櫻井宏樹, 星野奈月, 山田健志, 安井玲子, 織壁里名, 水野俊美, 林田由美子, 竹野伸洋, 古谷良太, 宮崎加奈子, 奈良林至, がん研有明病院緩和ケアチーム.
フェンタニルクエン酸塩舌下錠(Fentanyl Citrate Sublingual Tablets:FST)の用量決定過程と使用中止に影響する因子を探索して、適正使用に資する.
第 21 回日本緩和医療学会学術大会: 京都市, 2016.

3. 櫻井宏樹.
がん治療における支持療法、外科治療、内科治療.
第 21 回日本緩和医療学会学術大会: 京都市, 2016.

4. 佐伯吉規.
疼痛と睡眠　双方向の関係とその臨床的意味
がん性疼痛と不眠.
第 41 回日本睡眠学会定期学術集会: 東京, 2016.

5. 佐伯吉規.
サイコオンコロジーにおけるポリファーマシーを考える：中止が困難な向精神薬について.
第29回日本サイコオンコロジー学会総会: 札幌市, 2016.

6. 佐伯吉規.
変わっていく健康観と死生観 がんと精神科.
第 30 回日本臨床内科医学会: 東京, 2016.

7. 星野奈月.
病院と在宅のはざまで考える　がんの痛みのマネジメント.
第 8 回東東京緩和ケアネットワーク講演会：NPO との協働を考える: 東京, 2016.

放射線治療部

1. Kumai, Y., Oguchi, M., Miyagi, Y., Ito, Y., Iwase, T., Akiyama, F., Yoshida, K., Harada, A., Okubo, H., Asari, T., Murofushi, K., Toshiyasu, T., Kozuka, T., Sumi, M.
Outcomes of postmastectomy radiotherapy in patients with 1 to 3 positive nodes in single institute.
European Society for Radiotherapy and Oncology (ESTRO 35): Turin, Italy, 2016.

2. Oguchi, M., Yamaguchi, M., Suzuki, R.
The multi-institutional retrospective study of radiation therapy for extranodal NK/T-cell lymphoma in Japan: NKEA Part A.
European Society for Radiotherapy and Oncology (ESTRO 35): Turin, Italy, 2016.

3. Oguchi, M.
Radiation therapy for gastroIntestinal lymphoma.
International Lymphoma Radiotherapy and Oncology (ILROG) / European Society for Radiotherapy and Oncology (ESTRO 35): Turin, Italy, 2016.

4. Oguchi, M., Yoshida, M., Kumai, Y., Nakajima, N.
Postmastectomy radiation therapy an experience of single institution in Japan.
European Society for Radiotherapy and Oncology School (ESTRO School): Tokyo, Japan, 2016.

5. Oguchi, M., Harada, A., Terui, Y., Hatake, K., Takeuchi, K., Iwase, T.
Relapse patterns of treatment for primary breast lymphomas.
Annual Meeting of the American Society for Radiation Oncology (ASTRO): Boston, USA, 2016.

6. 小口正彦.
悪性リンパ腫に対する放射線治療.
三重悪性リンパ腫研究会: 津市, 2016.

7. Kumai, Y., Oguchi, M., Nakajima, N., Yoshida, M., Miyagi, Y., Ito, Y., Iwase, T., Akiyama, F., Harada, A., Okubo, H., Asari, T., Murofushi, K., Toshiyasu, T., Kozuka, T., Sumi, M.
Outcomes of postmastectomy radiotherapy in patients with 1 to 3 positive nodes in single institute.
京都乳癌コンセンサス会議 (KBCCC) 2016 国際大会: 京都市, 2016.

8. 小口正彦.
乳房切除後の放射線治療.
長野県乳腺疾患研究会: 松本市, 2016.

9. 津野隼人, 磯昌宏, 保科正夫.
Wedge factor の取得方法と適応.
日本放射線技術学会第 70 回東京支部春季学術大会: 東京, 2016.

10. 熊井康子, 小口正彦, 吉田匡宏, 中島直美, 室伏景子, 岩瀬拓士, 伊藤良則, 秋山太, 大野真司.
腋窩リンパ節転移 1-3 個の乳癌に対する全乳房切除後放射線療法における当院での治療成績.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

11. 中島直美, 小口正彦, 熊井康子, 吉田匡宏, 室伏景子, 岩瀬拓士, 伊藤良則, 秋山太, 大野真司.
最適な PMRT　その方法と適応 術前に化学療法を施行した乳房切除術後放射線治療症例の治療成績と予後因子に関する検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

12. 吉田匡宏, 小口正彦, 熊井康子, 中島直美, 室伏景子, 岩瀬拓士, 伊藤良則, 秋山太, 大野真司.
最適な PMRT　その方法と適応 腋窩リンパ節転移 4 個以上のハイリスク乳癌に対する全乳房切除後放射線療法(PMRT).
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

13. 小口正彦.
真の個別化医療を求めて 放射線治療における個別化の動き.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

14. 小口正彦.
乳がん患者の皮膚感覚と衣服.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

15. 利安隆史.
HPV 関連中咽頭癌の放射線治療.
第 1 回日本 HPV 研究会学術集会: 横浜市, 2016.

16. 小口正彦.
Relapse patterns of treatment for primary breast lymphomas.
日本放射線腫瘍学会第 29 回学術大会: 京都市, 2016.

17. 小口正彦.
放射線療法の適応拡大：緩和治療.
日本放射線腫瘍学会第 29 回学術大会: 京都市, 2016.

18. 利安隆史.
Concurrent cetuximab and radiation therapy in head and neck squamous cell carcinoma：A single-institution experience.
日本放射線腫瘍学会第 29 回学術大会：京都市, 2016.

19. 熊井康子, 小口正彦, 吉田匡宏, 中島直美, 室伏景子, 桑原宏文, 徳増健二, 小塚拓洋, 角美奈子.
腋窩リンパ節転移 1-3 個の乳癌に対する全乳房切除後放射線療法における当院での治療成績.
日本放射線腫瘍学会第 29 回学術大会：京都市, 2016.

20. 桑原宏文, 浅利崇生, 徳増健二, 熊井康子, 吉田匡宏, 大久保裕史, 中島直美, 加藤大基, 利安隆史, 室伏景子, 角美奈子, 小塚拓洋, 小口正彦.
食道癌術後の領域リンパ節再発に対する当院での放射線治療成績.
日本放射線腫瘍学会第 29 回学術大会：京都市, 2016.

21. 小口正彦, 岩瀬拓士, 大野真司, 秋山太, 伊藤良則, 宮城由美, 熊井泰子, 吉田匡弘.
乳房切除後の放射線治療（リンパ節転移 1-3 個：する vs しない）.
第 116 回日本外科学会定期学術集会：大阪市, 2016.

22. Oguchi, M., Yamaguchi, M., Suzuki, R., JROSG.
The multi-institutional retrospective study of radiation therapy for NK/T-cell lymphoma.
第 78 回日本血液学会学術集会：横浜市, 2016.

画像診断センター

1. Miyaji, N., Miwa, K., Umeda, T., Wagatsuma, K., Terauchi, T., Koizumi, M.
Validation of calibration schemes with sealed sources for quantitative bone SPECT/CT.
63th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine: San Diego, USA, 2016.

2. 中澤脩人, 梅田拓朗, 茂木一樹, 宮司典明, 我妻慧, 三輪建太, 臼井桂介.
同期 PET/CT を用いた肺/横隔膜境界腫瘍における GTV 描出能の評価.
第 72 回日本放射線技術学会総会学術大会：横浜市, 2016.

3. 宮司典明, 茂木一樹, 深井翔平, 滝口智洋, 三輪建太, 寺内隆司, 中村広明.
精度改善キットを用いた自動投与装置の投与精度.
PET サマーセミナーin 熊本(日本核医学会 PET 核医学分科会）：熊本市, 2016.

4. 茂木一樹, 宮司典明, 横山きみ子, 後藤志保, 滝口智洋, 寺内隆司, 小泉満.
自動投与装置周辺の放射能汚染と看護師の外部被ばく：2 機種による比較.
PET サマーセミナーin 熊本(日本核医学会 PET 核医学分科会）：熊本市, 2016.

5. 宮司典明, 茂木一樹, 深井翔平, 三輪建太, 梅田拓朗, 滝口智洋, 寺内隆司, 小泉満.
PET 用自動投与装置 2 機種の操作位置における線量評価.
第 44 回日本放射線技術学会秋季学術大会：さいたま市, 2016.

6. 宮司典明.
骨 SPECT 定量画像評価について：技術紹介.
第 50 回宮崎県核医学研究会：宮崎市, 2016.

7. 宮司典明, 深井翔平, 茂木一樹, 梅田拓朗, 滝口智洋, 寺内隆司, 小泉満.
サイクロトロンによって発生した再利用放射化物の管理.
第 57 回放射線管理研修会：鎌倉市, 2016.

8. 茂木一樹, 宮司典明, 梅田拓朗, 滝口智洋, 寺内隆司, 小泉満.
定量的骨 SPECT/CT における異なる密封線源を用いた相互校正精度に関する検討.
第 36 回日本核医学技術学会総会学術大会：名古屋市, 2016.

画像診断部

1. Ueda, K.
Solid neoplasms of the pancreas.
Asian Society of Abdominal Radiology (ASAR) educational lecture course in Jakarta: Jakarta, Indonesia, 2016.

2. Ueda, K.

MR contrast agent
Asian Society of Abdominal Radiology (ASAR) educational lecture course in Jakarta: Jakarta, Indonesia, 2016.

3. Ueda, K.
Focal liver lesions.
6th International Diagnostic Course Davos (2016) Hong Kong, China, 2016.

4. Tanaka, Y.O.
Equivocal intrapelvic masses complicated with endometriosis. Educational symposium ”Endometriosis：update in 2016”.
Journées Francophones de Radiologie (JFR) 2016: Paris, France, 2016.

5. 上田和彦.
肝腫瘍・背景肝.
第 75 回日本医学放射線学会総会: 横浜市, 2016.

6. Tanaka, Y.O.
Role of diagnostic imaging in management of epithelial ovarian cancer.
第 75 回日本医学放射線学会総会: 横浜市, 2016.

7. 上田和彦.
MRI fo the Focal Liver Lesion:Now and Beyond.
第 44 回日本磁気共鳴医学会大会: さいたま市, 2016.

8. 植野映子.
脱分化腫瘍 画像診断.
第 35 回日本画像医学会: 東京, 2016.

9. 負門克典.
呼吸器：肺のリンパ増殖性疾患.
第 35 回日本画像医学会: 東京, 2016.

10. 田中宏子.
今、話題の疾患：HPV 陽性の中咽頭癌：画像診断.
第 35 回日本画像医学会: 東京, 2016.

11. Ueda, K.
A guide to interpreting computed tomography images of hepatocellular carcinoma.
第 75 回日本医学放射線学会総会: 横浜市, 2016.

12. 田中優美子.
Obstetrics / Gynecology 2.
第 75 回日本医学放射線学会総会: 横浜市, 2016.

13. 田中宏子.
頭頸部癌における治療前・後画像評価のポイント 病期診断・切除可否の判断において問題となる画像所見.
第 40 回日本頭頸部癌学会: さいたま市, 2016.

14. 五味直哉, 國分優美, 荻谷朗子, 宮城由美, 岩瀬拓士, 小林心, 深田一平, 伊藤良則, 堀井理絵, 秋山太, 大野真司, 松枝清.
乳癌遠隔転移巣の生検　CT ガイド下骨生検は有用か.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

15. 國分優美, 五味直哉, 何森亜由美, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司, 松枝清.
ストレインエラストグラフィにおける Elasticity index、Elasticity ratio による乳管内病変評価の試み.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

16. 平塚真生子, 松枝清, 高松学, 渡邉元己, 高澤豊, 高橋祐, 齋浦明夫, 河野敦.
膵と胃に腫瘤を形成した神経内分泌癌の 1 例.
第 30 回日本腹部放射線学会: 金沢市, 2016.

17. 五味直哉.
乳房 MRI を読み解く.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

18. 田中優美子.
日常臨床に役立つ産婦人科画像検査の適応と実際：画像診断ガイドライン 2016 年版に則して.
第 182 回茨城産科婦人科学会: つくば市, 2016.

19. 田中優美子, 中尾砂理, 坂田晃子, 真弓みゆき, 飯場萌絵, 渡辺麻紀子, 佐藤豊実.
内分泌療法で一過性に縮小した直腸膣中隔内膜症由来の悪性腫瘍の一例.
第 30 回日本腹部放射線学会: 金沢市, 2016.

20. 植野映子, 松本誠一, 元井紀子, 野崎太希, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生, 杉浦善弥, 高澤豊, 松枝清.
結節性筋膜炎の画像所見と局在および経時的変化との関連.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

21. 植野映子.
骨病変における画像モダリティと画像診断医の使い方.
第49回日本整形外科学会骨･軟部腫瘍学術集会: 東京, 2016.

22. 上田和彦.
問題症例検討会 (2).
第 52 回日本肝癌研究会: 東京, 2016.

23. 渡邉亮輔, 負門克典, 松枝清, 文敏景, 奥村栄, 二宮浩範, 石川雄一.
嚢胞形態を示し診断に苦慮した乳癌胸腺転移の 1 例.
第 30 回胸部放射線研究会: 東京, 2016.

24. 上田和彦.
人間ドックの画像診断:腹部領域(腹部 CT・MRI を中心に).
第 29 回電子情報研究会学術集会: 東京, 2016.

25. 伊藤浩一, 田中優美子, 渡邉亮輔, 田中宏子, 高澤豊, 松枝清.
特徴的な画像所見を呈した卵巣硬化性間質腫瘍の 1 例.
第 17 回 Japanese Society for tha Advanced Women's Imaging (JSWAI)シンポジウム: 淡路市, 2016.

26. 田中優美子.
画像診断レポート：私はこう書きこう伝えた.
第52回日本医学放射線学会秋季臨床大会: 東京, 2016.

27. 田中優美子.
画像による術後フォローアップと再発診断.
第 17 回 Japanese Society for the Advanced Women's Imaging (JSWAI) シンポジウム: 淡路市, 2016.

28. 田中優美子.
あなたのその検査、世界標準ですか?：画像診断ガイドライン 2016 年版から学ぶ産婦人科 MR の適応と実際.
第 44 回日本磁気共鳴医学会大会: さいたま市, 2016.

29. 五味直哉.
針生検のすすめ-FNA・CNB・VAB・マーカー留置まで.
第 13 回日本乳癌学会関東地方会: さいたま市, 2016.

30. 伊藤浩一, 田中優美子, 藤本佳也, 高澤豊, 松枝清.
仙骨前奇形腫よりカルチノイドが発生した Currarino 症候群の一例. .
第 450 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会: 東京, 2016.

31. 田中優美子.
卵巣腫瘍の鑑別診断：基本と応用.
第 25 回富山 MR 研究会: 富山市, 2016.

核医学部

1. Nakazawa, S., Umeda, T., Wagatsuma, K., Miyaji, N., Motegi, K., Fukai, S., Miwa, K.
Evaluation of the gross tumor volume contouring accuracy for lung/diaphragm interface tumors using respiratory gated positron emission tomography/computed tomography.
第72回日本放射線技術学会総会学術大会: 横浜市, 2016.

2. 茂木一樹, 宮司典明, 三輪建太, 梅田拓朗, 滝口智洋, 寺内隆司, 小泉満.
定量的骨 SPECT/CT における異なる密封線源を用いた相互校正精度に関する検討.
第36回日本核医学技術学会総会学術大会: 名古屋市, 2016.

内視鏡診療部

1. 藤崎順子, 小山恒男, 石原立.
表在型食道胃接合部腺癌、食道腺癌におけるリンパ節転移危険因子の検討　Japan Esophagogastric Junction and Esophageal Adenocarcinoma Study Group(EAST).
第 102 回日本消化器病学会総会:: 東京, 2016.

2. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 五十嵐正広.
大腸 LST の内視鏡治療　進歩と限界 大腸 LST に対する ESD の進歩と限界.
第 91 回日本消化器内視鏡学会総会: 東京, 2016.

3. 田顔夫佑樹, 千野晶子, 山口和久, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 斎藤彰一, 五十嵐正広, 高橋祐, 井上陽介, 小西毅, 上野雅資, 新井正美.
リンチ症候群における十二指腸癌 3 例の検討.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

4. 山崎明, 藤崎順子, 清水智樹, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏.
表在型バレット食道腺癌発見動機に関する内視鏡所見の検討　SSBE、LSBE の違いも含め.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

5. 為我井芳郎, 大隅寛木, 岸原輝仁, 田顔夫佑樹, 山口和久, 千野晶子, 斎藤彰一, 五十嵐正広.
大腸腫瘍における術前 VI 型 Pit Pattern 診断の問題点と ESD 術中の粘膜下層線維化の質的診断の有用性.
第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016): 神戸市, 2016.

6. 為我井芳郎, 福長洋介, 五十嵐正広
内視鏡治療と鏡視下手術のコラボレーション
内視鏡治療の限界例に対する大腸 LECS の有用性
Gastroenterological Endoscopy, 58(Suppl.2): 1744. 2016.

遺伝子診療部

1. Yoshida, R., Yokoyama, S., Watanabe, C., Inuzuka, M., Yotsumoto, J., Arai, M., Nakamura, S., 日本 HBOC コンソーシアム登録委員会.
Clinical analysis of founder mutation of BRCA1 and BRCA2 in the Japanese population.
13th International Congress of Human genetics (ICHG): Kyoto, Japan, 2016.

2. Arai, M., Yokoyama, S., Watanabe, C., Nomizu, T., Sakurai, A., Sekine, M., Nomura, H., Okawa, M., Yotsumoto, J., Enomoto, T., Nakamura, S.
Establishment of the HBOC registrationsystem in Japan.
6th International Sympojium on Hereditary Breast and Ovarian Cancer (program): Montreal, Canada, 2016.

3. Arai, M.
Clinical genetic oncology of Japan and future prospects- in particular, present status in hereditary breast and ovarian cancer (HBOC) in Japan-.
5th International Academic Joint Symposium 2016: Juntendo University - Peking University: Tokyo, Japan, 2016.

4. 新井正美.
日本 HBOC コンソーシアムにおける登録事業.
第19回東北家族性腫瘍研究会学術集会: 仙台市, 2016.

5. 新井正美.
クリニカルシークエンスによる個別化医療の現状と展望：遺伝性乳癌卵巣癌における臨床の現状と今後の対応.
第27回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

6. 島田聡子, 竹内抄與子, 安達容枝, 喜多瑞穂, 芦原有美, 中島絵里, 北川大, 岩瀬拓士, 大野真司, 新井正美.
BRCA1/2 変異陽性者のサーベイランス中に発見された乳癌の臨床的及び病理学的特徴の検討.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

7. 新井正美 , 日本 HBOC コンソーシアム登録委員会.
日本の HBOC 診療の未来を展望する 日本 HBOC コンソーシアムにおける全国登録事業.
第 24 回日本乳癌学会総会: 東京, 2016.

8. 新井正美.
厚生労働科学研究における遺伝性乳癌卵巣癌へのわれわれの取り組み.
第 22 回日本家族性腫瘍学会学術集会: 松山市, 2016.

9. 新井正美.
遺伝性乳がん卵巣がん.

第 22 回日本家族性腫瘍学会学術集会：松山市, 2016.

10. 喜多瑞穂, 横山士郎, 渡邉知映, 中村清吾, 新井正美, 日本 HBOC コンソーシアム登録委員会.
我が国における BRCA1/2 遺伝子変異検出率の検討：日本 HBOC コンソーシアムデータ報告.
第 22 回日本家族性腫瘍学会学術集会：松山市, 2016.

11. 小安未緒, 佐藤友理, 瀧景子, 喜多瑞穂, 竹内抄與子, 芦原有美, 安達容枝, 内野眞也, 新井正美.
当院における RET 遺伝子検査の先進医療導入後の総括.
第 22 回日本家族性腫瘍学会学術集会：松山市, 2016.

12. 安達容枝, 喜多瑞穂, 芦原有美, 竹内抄與子, 新井正美.
当院におけるHBOC家系の膵がん家族歴の検討.
第 22 回日本家族性腫瘍学会学術集会：松山市, 2016.

13. 新井正美.
ゲノムミクス・メタボロミクスのがん検診への応用 癌の遺伝医療の意義と診療の現状　遺伝性乳癌卵巣癌と遺伝性大腸癌を中心に.
第 24 回日本がん検診・診断学会総会：東京, 2016.

14. 瀧景子, 野村幸男, 田島郁文, 菅野康吉, 新井正美.
APC 遺伝子の生殖細胞系列変異陰性多発大腸腺腫症例における *MUTYH* 遺伝子変異の解析.
第 75 回日本癌学会学術総会：横浜市, 2016.

15. 新井正美.
研究班の活動について.
「乳がん」市民公開講座（厚生労働科学研究「わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の臨床遺伝学的特徴の解明と遺伝子情報を用いた生命予後の改善に関する研究」研究班成果報告会）：長野市, 2016.

16. 新井正美.
HBOC 診療の実際:がんの臨床遺伝専門医として.
第 2 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会：京都市, 2016.

17. 新井正美.
遺伝性乳がん卵巣癌の基本と診療の実際.
福井大学医学部 第 82 回臨床遺伝研究会：福井市, 2016.

18. 新井正美.
遺伝学的検査における遺伝カウンセリングの実際.
第 23 回日本産婦人科乳腺医学会：東京, 2016.

19. 芦原有美, 喜多瑞穂, 渡邉淳子, 田中正典, 土田知宏, 新井正美.
当院健診センター入院ドックにおけるがんの遺伝カウンセリングオプションの試験的取り組み.
第 22 回日本家族性腫瘍学会学術集会：松山市, 2016.

20. 野村幸男, 山本智理子, 佐藤克俊, 石川雄一, 新井正美.
DNA- and RNA- based analysis of Lynch syndrome causative *PMS2* gene avoiding false positive due to its many pseudogenes.
第 75 回日本癌学会学術総会：横浜市, 2016.

放射線治療部：治療チーム

1. Takahashi, R., Kamima, T., Tachibana, H.
Impact of trajectory log files for clarkson-based independent dose verification of IMRT and VMAT.
AAPM 58th Annual Meeting: Washington, DC, USA, 2016.

2. 中島大.
深部線量関数.
日本放射線治療専門放射線技師認定機構統一講習会 :放射線治療セミナー基礎コース(東京ブロック)2015：東京, 2016.

3. 佐藤智春.
散乱係数.
日本放射線治療専門放射線技師認定機構統一講習会 :放射線治療セミナー基礎コース(東京ブロック)2015：東京, 2016.

4. 佐藤智春.
AAPM TG51 と TG51 addendum.
東京都がん診療連携拠点病院放射線技師等研修会：東京, 2016.

5. 高橋良.
高エネルギー光子線における水吸収線量計測.
東京都がん診療連携拠点病院放射線技師等研修会: 東京, 2016.

6. 吉岡稔.
頭頚部 IMRT/VMAT 治療計画実技.
Eclipse トレーニングスクール: 東京, 2016.

7. 高橋太郎, 北村望, 室伏景子.
高線量率密封小線源治療時の線源確認における CT 位置決め画像の有用性の検討.
日本放射線腫瘍学会小線源治療部会 第 18 回学術大会: 大阪市, 2016.

8. 北村望.
同期　温今知新.
第 70 回日本放射線技術学会東京支部春期学術大会: 東京, 2016.

9. 中島大.
リニアックの線量的 QA.
第 105 回日本放射線技術学会東京支部セミナー : 放射線治療における品質管理: 東京, 2016.

10. 吉岡稔.
患者個々の QA.
第 105 回日本放射線技術学会東京支部セミナー : 放射線治療における品質管理: 東京, 2016.

11. 佐藤智春.
加速器の出力係数：不確かさの見積もり.
第 105 回日本放射線技術学会東京支部セミナー : 放射線治療における品質管理: 東京, 2016.

12. 松林史泰.
イメージング装置の QA.
第 105 回日本放射線技術学会東京支部セミナー : 放射線治療における品質管理: 東京, 2016.

13. 上間達也.
リニアックの幾何学的 QA.
第 105 回日本放射線技術学会東京支部セミナー: 東京, 2016.

14. 伊藤康.
治療計画用 CT とシミュレータの QA.
第 105 回日本放射線技術学会東京支部セミナー: 東京, 2016.

15. 佐藤洋輔 , 明石華奈.
放射線治療.
第 70 回日本放射線技術学会東京支部春期学術大会: 東京, 2016.

16. 佐藤智春.
物理ウェッジと非物理ウェッジ –ウェッジ係数とビーム特性 p .
日本放射線治専門放射線技師認定機構 放射線治療セミナー基礎コース(東北 I 地区): 弘前市, 2016.

17. 佐藤智春.
がん研究会有明病院放射線治療部の紹介.
北奥羽放射線治療懇談会: 八幡平市, 2016.

18. 佐藤智春.
TrueBeam による定位照射.
第 44 回日本放射線技術学会秋季学術大会: さいたま市, 2016.

19. 中島大.
PDD から TMR への変換の解説.
第 45 回日本放射線技術学会放射線治療部会セミナー: 東京, 2016.

20. 佐藤智春.
FFF ビーム特性.
第 45 回日本放射線技術学会放射線治療部会セミナー: 東京, 2016.

21. 佐藤智春.
マイクロトロン.
平成 28 年度　日本放射線治専門放射線技師認定機構 放射線治療セミナー基礎コース(東京地区) 「医療用加速器の基本」: 東京, 2016.

22. 高橋良.
リニアック : バリアンマシーン.
平成 28 年度　日本放射線治専門放射線技師認定機構 放射線治療セミナー基礎コース(東京地区) 「医療用加速器の基本」: 東京, 2016.

23. 佐藤智春.
放射線治療専門放射線技師の現状と将来展望.
日本放射線治療専門放射線技師認定機構設立 10 周年記念学術講演会: 東京, 2016.

集中治療部

1. 山本豊, 竹中誠, 中山章子, 玄運官, 七松恭子, 宮崎恵美子, 佐野博美, 横田美幸.
当院における Medical Emergency Team(MET) 導入の経緯と現状.
第 43 回日本集中治療医学会学術集会: 神戸市, 2016.

2. 山本豊 , 望月俊明.
当院における院内心停止の現状.
第 44 回日本救急医学会総会・学術総会: 東京, 2016.

3. 山本豊, 坪井望美, 二木翔平, 大野愛, 馬場誠一郎, 晝間典子, 宮留優也, 鈴木幹子, 市橋和明, 山田沙織, 望月俊明.
当院における AN69ST 膜を使用した血液浄化療法を行った敗血症性ショックについての検討.
第37回日本アフェレシス学会学術大会: 横浜市, 2016.

救急部

1. 二味覚, 佐山郁子, 島田寿美江, 加藤寛基, 倉田大樹.
首都直下地震を俯瞰する 「有明の丘」SCU における Multidisciplinary Multifunctional Contingency Measures Team 常設の必要性.
第 21 回日本集団災害医学会総会・学術集会: 山形市, 2016.

2. 二味覚, 佐山郁子, 島田寿美江, 倉田大樹, 加藤寛基.
「有明の丘」防災地区の現状と課題.
第 66 回 日本救急医学会関東地方会学術集会: 2016.

臨床試験部

1. 石塚直樹, データマネジメントシステムの基本要件および CDISC(Clinical Data Interchange Standards Consortium)対応は？:アメリカ合衆国における臨床研究支援施設の訪問報告含む, 日本臨床試験学会教育セミナー「臨床研究データマネージメント・フォーラム」, 東京, 2016.

2. 石塚直樹, アスピリン一次予防試験の JAMA 論文、日本メディカルライター協会 JMCA セミナー「一流雑誌への論文投稿の実際」, 東京, 2016.

臨床検査センター

1. 関田綱基, 海原和己, 小松京子, 中山耕之介, 三宅一徳.
Discrepancy between serum agarose gel electrophoresis and immunofixation pattern：An analysis of a case of M-proteinamia.
第 32 回世界医学検査学会 (IFBLS2016): 神戸市, 2016.

2. 猪野由美子, 小松美樹, 篠崎英司, 三宅一徳, 三木義男.
当院における MEBGEN RASKET キットによる RAS 遺伝子変異検査の実績と評価.
日本臨床検査自動化学会 48 回大会: 横浜市, 2016.

3. 海原和己, 小松京子, 海老原文, 中山耕之介, 三宅一徳.
循環器バイオマーカーによるがん化学療法を起因とする心障害早期検出能の検討.
第65回日本医学検査学会/第63回日本臨床検査医学会学術集会: 神戸市, 2016.

4. 永野恵子, 徳永知子, 井合律子, 加治屋珍, 池上満ちる, 飯田翼, 海老原文, 三宅一徳.
食道がんにおける胸骨後胃管挙上再建術後に心電図で ST 上昇を認めた 3 症例.
第65回日本医学検査学会/第63回日本臨床検査医学会学術集会: 神戸市, 2016.

5. 友田美穂子, 高橋ひろみ, 上東野誉司美, 山越恵梨香, 小松京子, 三宅一徳.
尿沈渣作製用遠心機を用いた髄液検体のオートスメア標本作製法の検討（第 2 報）.
第65回日本医学検査学会/第63回日本臨床検査医学会学術集会: 神戸市, 2016.

6. 佐川このみ, 大竹純矢, 関田綱基, 滝澤久暢, 大島悠乃, 海原和己, 小松京子, 三宅一徳.
尿中 NGAL 測定の基礎的検討.
第 12 回東京都医学検査学会: 東京, 2016.

超音波検査部

1. 加藤千絵子, 坂井威彦, 五十里美栄子, 何森亜由美, 山田恵子, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士, 大野真司.
温存乳房内再発の検討　超音波検査の有用性と超音波画像について.

第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

2. がん研有明病院超音波検査部.
がん研超音波検査室企画.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

3. 富樫保行.
頚部領域の超音波検査：唾液腺・リンパ節を中心に.
第 26 回 Medical Imaging Forum: 柏市, 2016.

4. 山田恵子.
新甲状腺結節超音波診断基準策定のための縦横比多施設共同研究 「新甲状腺結節超音波診断基準策定のための縦横比他施設共同研究」参加にあたって.
第 37 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会: 川越市, 2016.

5. 山田恵子.
プライマリケアに役立つ頭頸部超音波診断：嚥下障害・咽頭頸部違和感.
日本超音波医学会第 28 回関東甲信越地方会学術集会: 東京, 2016.

6. 山田恵子.
甲状腺・体表.
日本超音波医学会第 28 回関東甲信越地方会学術集会: 東京, 2016.

細胞診断部

1. Sugiyama, Y., Fukui, N., Gotoh, O., Hasumi, K., Takazawa, Y., Noda, T., Mori, S.
Genomic analyses reveal two distinct biologic entities of endometrial endometrioid carcinoma.
American Asociation Cancer Research (AACR) 107th Annual Meeting: New Orleans, LA, USA, 2016.

2. Komatsu, K., Katayama, H., Greening, S.E.
Current topics on cytology: International intelligence network.
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

3. Sugiyama, Y., Komatsu, K., Fujiyama, J.
Directly sampled endometrial cytology for endometrial cancer screening.
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

4. Sugiyama, Y. , Komatsu, K.
Directly sampled endometrial cytology (Conventional and liquid-based endometrial cytology).
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

5. Komatsu, K., Nakanishi, Y., Masuda, S.
Useful molecular cell biological techniques for cytology.
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

6. Hoshi, R.
Cytologic characteristics of pulmonary adenocarcinomas with genetic abnormalities.
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

7. Komatsu, K.
IAC Award Lecuture 2.
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

8. Komatsu, K.
HPV DNA testing in primary cervical cytology screening: The controversies in its clinical applications.
32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science: 神戸市, 2016.

9. Komatsu, K.
Management for pathology and cytology laboratory: From the view point of patient first.
32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science: 神戸市, 2016.

10. Fujiyama, J.
Cytology of uterine cervix.
32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science: 神戸市, 2016.

11. Sugiyama, Y., Gotoh, O., Hasumi, K., Takazawa, Y., Noda, T., Mori, S.
Two distinct tumorigenic processes of endometrial endometrioid adenocarcinoma.
第 75 回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2016.

12. 杉山裕子, 後藤理, 荷見勝彦, 高澤豊, 野田哲生, 森誠一.
Two distinct tumorigenic processes of endometrial endometrioid adenocarcinoma.
第 75 回日本癌学会学術総会: 横浜市, 2016.

13. 池畑浩一.
上皮内腺癌の細胞像：子宮頸部.
第 46 回東京都細胞検査士会学術研修会: 東京, 2016.

14. 杉山裕子, 荷見勝彦, 宇津木久仁子, 竹島信宏.
早期発見と個別化治療を目指した子宮体部類内膜腺癌のゲノムワイドな遺伝子探索.
第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会: 東京, 2016.

15. 星利良, 柳谷典子, 古田則行, 小松京子, 杉山裕子, 石川雄一, 宝来威.
最新呼吸器細胞診鑑別診断総まとめ 扁平上皮癌の気管支穿刺吸引細胞診像の特徴　腺癌との細胞形態学的鑑別点を中心に.
第 57 回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

16. 古田則行, 星利良, 池畑浩一, 鈴木奈緒子, 山田麻里沙, 伊藤崇彦, 藤山淳三, 小松京子, 杉山裕子.
細胞診検査士養成のあり方 細胞検査士の養成のありかた.
第 57 回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

17. 杉山裕子.
「新しい細胞診専門医制度」 細胞診専門医資格認定試験のこれまでとこれからの取り組み　試験実施委員長の立場から.
第 57 回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

18. Sugiyama, Y.
Recent progress in cervical cancer screening and Bethesda System in Japan.
第 19 回国際細胞学会(ICC2016): 横浜市, 2016.

19. 小松京子.
細胞検査士の養成のありかた.
第 57 回日本臨床細胞学会総会春季大会: 横浜市, 2016.

20. 小松京子.
病理検査を取り巻く環境.
第 94 回日本病理技術学会: 東京, 2016.

21. 小松京子.
バイオバンクの現状と未来.
第 94 回日本病理技術学会: 東京, 2016.

22. 小松京子.
病理　病理組織検査.
第 63 回日本臨床検査医学会学術集会: 神戸市, 2016.

23. 小松京子 ， 中町祐司.
日臨技国際交流企画: 世界の臨床検査技師.
第 63 回日本臨床検査医学会学術集会: 神戸市, 2016.

24. 小松京子.
臨床検査技師のグローバルマインド.
第 11 回日本臨床検査医学教育学会学術大会: 神戸市, 2016.

25. 池畑浩一.
濾胞樹状細胞肉腫の 1 例.
第 12 回東京都医学検査学会: 東京, 2016.

26. 伊藤崇彦, 佐藤由紀子, 古田則行, 藤山淳三, 星利良, 池畑浩一, 鈴木奈緒子, 山田麻里沙, 石井脩平, 小松京子, 神田浩明, 石川雄一, 杉山裕子.
成人頬部に発生した紡錘形細胞型横紋筋肉腫の 1 例.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会: 別府市, 2016.

27. 古田則行, 神田浩明, 山田麻里沙, 小松京子, 藤山淳三, 星利良, 池畑浩一, 鈴木奈緒子, 伊藤宗彦, 石井脩平, 高松学, 杉浦善弥, 杉山裕子, 石川雄一, 高澤豊.
骨外性粘液型軟骨肉腫の診断における細胞診の有用性について.

第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会：別府市，2016.

28. 石井脩平，古田則行，小松京子，藤山淳三，池畑浩一，星利良，山田麻里沙，鈴木奈緒子，伊藤宗彦，杉浦善弥，元井紀子，神田浩明，高澤豊，石川雄一，杉山裕子.
左肩に発生した筋上皮癌 myoepithelial carcinoma の 1 例.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会：別府市，2016.

29. 杉山裕子.
教育研修に関わるガイドライン(細胞診専門医資格認定試験ガイドライン)の改定に関して.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会：別府市，2016.

30. 小松京子，古田則行，藤山淳三，伊藤崇彦，鈴木奈緒子，山田麻里沙，星利良，池畑浩一，石井脩平，佐藤由紀子，高沢豊，石川雄一，杉山裕子.
Myeloid sarcoma の細胞像の検討.
第 55 回日本臨床細胞学会秋季大会：別府市，2016.

栄養管理部

1. 谷村滋穂，熊谷厚志，望月宏美，伊沢由紀子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，山口彩，岡野亜子，井田智，峯真司，中濱孝志，比企直樹.
高血糖が切除不能子宮頸がん患者の予後に及ぼす影響.：京都市，2016.

2. 峯真司，望月宏美，熊谷厚志，井田智，中濱孝志，比企直樹.
栄養アセスメント　その評価を栄養治療にいかに生かすか 上部消化管がんに対する周術期栄養管理.
第 19 回日本病態栄養学会年次学術集会：横浜市，2016.

3. 松下亜由子，峯真司，熊谷厚志，井田智，中濱孝志，望月宏美，伊沢由紀子，川名加織，高木久美，中屋恵梨香，伊丹優貴子，山口彩，谷村滋穂，比企直樹.
がん終末期患者の経口摂取維持と栄養士介入に関する調査報告.
第 19 回日本病態栄養学会年次学術集会：横浜市，2016.

4. 伊沢由紀子，中濱孝志，縄野一美，畠清彦，峯真司，比企直樹.
悪性リンパ腫放射線化学療法に伴う口内炎予防に対するグルタミン補給の 2 例.
第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会：福岡市，2016.

5. 高木久美，井田智，齋浦明夫，高橋祐，井上陽介，石沢武彰，三瀬祥弘，畑太悟，熊谷厚志，中濱孝志，峯真司，比企直樹.
膵頭十二指腸切除術において術前のサルコペニアや低栄養状態が短期予後に及ぼす影響.
第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会：福岡市，2016.

6. 川名加織，井田智，佐々木徹，小泉雄，鵜沼静香，稲城陽子，豊田生子，鈴木強志，熊谷厚志，中濱孝志，峯真司，比企直樹.
頭頸部癌術後における新規嚥下調整食の誤嚥性肺炎予防効果.
第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会：福岡市，2016.

7. 望月宏美，峯真司，井田智，熊谷厚志，中濱孝志，渡邊雅之，比企直樹.
がん患者の栄養療法　効果的な栄養評価と実践を目指して 当院の食道がん周術期治療チーム(PERICAN)の効果　管理栄養士の立場から.
第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会：福岡市，2016.

8. 望月宏美，熊谷厚志，比企直樹，中濱孝志，峯真司，井田智，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴.
早期胃癌患者における初診時から術前日までの栄養状態の変化.
第 88 回日本胃癌学会総会：別府市，2016.

9. 中濱孝志，比企直樹，峯真司，望月宏美，伊沢由紀子，川名加織，高木久美.
がん患者の栄養管理と管理栄養士の役割.
第 4 回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会：飯山市，2016.

10. 望月宏美，中濱孝志，峯真司，比企直樹.
生き残りを懸けた管理栄養士のフロンティア精神(第 5 弾)　栄養指導による栄養治療の効果に関するエビデンスを作るための臨床研究　臨床研究を通して見える管理栄養士の将来の姿 胃

外科における栄養相談専門士が示す栄養治療効果.
第 38 回日本臨床栄養学会総会・第 37 回日本臨床栄養協会総会 第 14 回大連合大会: 大阪市, 2016.

11. 村上博文, 中屋恵梨香, 伊丹優貴子, 望月宏美, 井田智, 岡野亜子, 谷村滋穂, 山口彩, 松下亜由子, 高木久美, 川名加織, 伊沢由紀子, 澤上勝, 絹川斉, 熊谷厚志, 峯真司, 中濱孝志, 比企直樹.
調理師の病棟活動報告：化学療法により味覚異常を引き起こした症例に対する調理員の介入.
第 18 回 MeT3・NST 研究会: 東京, 2016.

12. 山口彩, 望月宏美, 井田智, 熊谷厚志, 峯真司, 中濱孝志, 比企直樹.
当院の整形外科病棟における化学療法施行中小児患者への栄養介入症例報告.
第 18 回 MeT3・NST 研究会: 東京, 2016.

13. 高木久美, 熊谷厚志, 三瀬祥弘, 齋浦明夫, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 中濱孝志, 峯真司, 比企直樹.
膵頭十二指腸切除術施行患者において脂質含有栄養補助食品の経腸投与が術後の栄養状態に及ぼす影響.
第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会: 京都市, 2016.

薬剤部

1. 杉田一男.
The role of pharmaceutical outpatient clinics for patients undergoing treatment with regorafenib.
ONCOMAP 2016 Tokyo Meeting: 東京, 2016.

2. 濱敏弘.
抗がん剤職業曝露に対する正しい理解と組織的対策の必要性.
茨城県南県西地区 Oncology Pharmacy Seminar: つくば市, 2016.

3. 濱敏弘.
抗がん剤職業曝露に対する正しい理解と組織的体策の必要性.
長野赤十字病院「がん診療研修会」: 長野市, 2016.

4. 鈴木賢一.
支持療法.
平成 27 年度 がん専門薬剤師集中教育講座: 京都市, 2016.

5. 鈴木賢一.
薬剤師が拓く、制吐療法個別化への扉.
日本臨床腫瘍薬学会学術大会: 鹿児島市, 2016.

6. 濱敏弘.
がん薬物療法における薬剤師の役割.
平成 27 年度 日本私立医科大学協会薬剤師実務者研修会: 東京, 2016.

7. 鈴木賢一.
チーム医療に活かす薬剤師の“専門性”.
薬剤師がん化学療法セミナー: 広島市, 2016.

8. 濱敏弘.
医療機関におけるリスク最小化活動.
2016 年度 レギュラトリーサイエンスエキスパート研修会認定コース：安全管理・調査（ＰＶ）エキスパート研修講座: 東京, 2016.

9. 濱敏弘.
症状緩和に難渋した症例（腹部膨張感）.
第 4 回がんサポーティブケア研究会: 東京, 2016.

10. 濱敏弘.
乳がんチーム医療.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

11. 川上和宜.
がん専門薬剤師になるための 50 症例書き方.
第 8 回日本がん薬剤学会: 名古屋市, 2016.

12. 横川貴志.
発熱性好中球減少症による外来化学療法の減量・中止を回避するための薬剤師の役割.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

13. 瀧口友美.
上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害剤（EGFR-TKI）に対する服薬アドヒアランス向上のための薬剤師 Rash 外来の取組み.
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

14. 鈴木賢一.
制吐薬に関する最近の話題.
横浜学術講演会: 横浜市, 2016.

15. 横川貴志.
支持療法のサイエンス 基礎から臨床まで：薬剤師外来からの発信 手足症候群のリスク因子の同定.
医療薬学フォーラム 2016/第 24 回クリニカルファーマシーシンポジウム: 滋賀県草津市, 2016.

16. 杉崎崇人.
チームサイラムザにおける薬剤師の関わり.
消化器がん化学療法セミナー: 鹿児島, 2016.

17. 濱敏弘.
抗がん剤職業曝露に対する正しい理解と組織的体策の必要性.
沖縄県病院薬剤師会学術講演会: 宜野湾市, 2016.

18. 鈴木賢一.
皮膚症状マネジメントにおける、臨床薬剤師の視点.
第 7 回日本製薬医学会年次大会 MS 部会シンポジウム 東京, 2016.

19. 鈴木賢一.
支持療法.
平成 28 年度がん専門薬剤師集中教育講座: 京都市, 2016.

20. 鈴木賢一.
肺がん薬物療法の最前線.
日本肺癌学会医療従事者セミナー: 東京, 2016.

21. 濱敏弘.
抗がん剤曝露対策.
東京がん化学療法研究会 17 回臨床腫瘍夏期セミナー: 東京, 2016.

22. 鈴木賢一.
在宅中でもできる抗がん薬の副作用対策.
広島県西部地区薬剤師研修会: 廿日市市, 2016.

23. 濱敏弘.
抗がん剤職業曝露に対する正しい理解と組織的体策の必要性.
山口県暴露対策研究会: 山口市, 2016.

24. 杉田一男, 川上和宜, 横川貴志, 青山剛, 鈴木賢一, 若槻尊, 末永光邦, 山口研成, 濱敏弘.
レゴラフェニブによる手足症候群の発現と治療効果との関連.
第 26 回日本医療薬学会年会: 京都市, 2016.

25. 鈴木賢一, 辻大樹, 清水久範, 伊藤邦彦, 山本信之, 濱敏弘.
臨床薬剤師の視点で実施する共同研究の意義.
第 26 回日本医療薬学会年会: 京都市, 2016.

26. 三木真梨杏, 鈴木亘, 伊藤和之, 前勇太郎, 鈴木賢一, 濱敏弘.
頭頸部がん患者における RT - CDDP 療法の放射線有害事象の調査.
第 26 回日本医療薬学会年会: 京都市, 2016.

27. 前勇太郎, 鈴木亘, 根本真記, 渡邉大至, 鈴木賢一, 利安隆史, 高橋俊二, 濱敏弘.
頭頸部がん RT-CDDP 療法施行患者におけるオピオイドの使用状況の調査.
第 26 回日本医療薬学会年会: 京都市, 2016.

28. 鈴木賢一.
がん薬物療法(副作用).
第 26 回日本医療薬学会年会: 京都市, 2016.

29. 横川貴志.
プレアボイド 新ステージ（様式 3 の世界）処方設計・提案による薬物治療効果の向
第 26 回日本医療薬学会年会: 京都市, 2016.

30. 平岡知子.
薬物動態の観点から考えるがんの薬物療法.
薬物治療モニタリング研究会 第 60 回特別ゼミナール臨床活用コース I： 東京, 2016.

31. 瀧口友美.
がん分子標的 4 治療薬における薬剤師の役割.
武蔵野市薬剤師会 東京, 2016.

32. 竹野伸洋.
アブストラルを導入した経験から：安全に導入するためのポイント.
さいたま緩和ケア講演会: さいたま市, 2016.

33. 濱敏弘.
がん薬物療法における薬学的介入の実際と症例サマリのまとめ方.
第 26 回日本医療薬学会年会: 京都市, 2016.

34. 川上和宜.
カペシタビン、S-1 における副作用評価と治療マネージメント：副作用評価と治療マネージメントを学ぶ.
第 2 回慶應義塾大学 薬学がんプロフェッショナル研修会: 東京, 2016.

35. 吾妻彗一, 杉崎崇人, 橋本幸輝, 鈴木賢一, 湯浅健, 増田均, 山本真也, 米瀬淳二, 濱敏弘.
カバジタキセルにおけるペグフィルグラスチムの一次予防的投与の有効性と安全性.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

36. 柴田直樹.
薬物療法におけるチーム医療.
チーム医療研究会: 茨城, 2016.

37. 青山剛.
これからの外来薬剤師業務について一緒に熱くかたろう！.
第 11 回　鹿児島薬剤師フォーラム: 鹿児島市, 2016.

38. 青山剛.
胃がん：症例解説.
日本医療薬学会：第 4 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会: 東京, 2016.

39. 濱敏弘.
ガイドラインに基づいたがん薬物療法における曝露対策.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

40. 吾妻慧一, 杉崎崇人, 橋本幸輝, 鈴木賢一, 湯浅健, 増田均, 山本真也, 米瀬淳二, 濱敏弘.
カバジタキセルにおけるペグフィルグラスチムの一次予防的投与の有効性と安全性.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

41. 濱敏弘.
早急な養成が望まれるがん医療人材 がん専門薬剤師.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

42. 鈴木賢一.
肺がん薬物療法の最前線.
日本肺癌学会医療従事者セミナーin 福岡: 福岡市, 2016.

43. 鈴木賢一.
患者背景から考える　肺がん化学療法の副作用マネジメント.
肺癌 最新の薬物治療とマネジメント: 富山市, 2016.

44. 鈴木賢一.
薬剤師がサポートする　がん免疫療法.
がん免疫療法適正使用セミナー: 岡山市, 2016.

45. 根本真記.
「治療を変える」がん専門薬剤師の力.
北海道若手がん専門薬剤師講演会: 札幌市, 2016.

46. 山田玲子.
卵巣癌におけるアバスチン投与中の副作用マネジメントの実際.
卵巣癌チーム医療セミナー: 別府市, 2016.

47. 濱敏弘.
抗がん剤の職業曝露について.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

48. 箕輪雄一, 瀧口友美, 北園聡, 横川貴志, 中本恵理, 中野泰寛, 加藤寛基, 平出誠, 角田尚, 鈴木賢一, 西尾誠人, 濱敏弘.
定量的に評価する外用剤のアドヒアランス：EGFR-TKI の皮膚症状を対象とした Team RASH の取り組み.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

49. 根本真記.
薬剤師目線でマネジメントする腫瘍崩壊諸侯群.
サノフィ WEB 講演会: 東京, 2016.

50. 蓑輪雄一, 瀧口友美, 北園聡, 横川貴志, 中本恵理, 中野泰寛, 加藤寛基, 平出誠, 角田尚, 鈴木賢一, 西尾誠人, 濱敏弘.

定量的に評価する外用剤のアドヒアランス
EGFR-TKI の皮膚症状を対象とした Team RASH の取り組み.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

51. 横川貴志.
経口抗がん剤治療のエッセンス ：薬局薬剤師の力で有効性と安全性を向上させる.
第 11 回品川がん研究会: 東京, 2016.

52. 鈴木亘, 大柳文義, 矢内貴子, 橋本浩伸, 高島淳生, 中尾將彦, 中山季昭, 岩佐悟, 長島健吾, 山本昇.
A double-blind randomized phase II study of olanzapine (OLZ) 10 mg versus 5 mg for emesis induced by highly emetogenic chemotherapy (HEC) with cisplatin (CDDP)
第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会: 神戸市, 2016.

医療安全管理部

1. 長田理.
薬物動態学の基礎.
日本臨床麻酔学会第 36 回大会: 高知市, 2016.

2. 長田理.
手術室内の医療安全とプレフィルド製剤の役割.
第 13 回麻酔科学サマーセミナー: 名護市, 2016.

3. 長田理.
手術室の医療安全と当院の医療事故調査体制.
第 23 回日本麻酔・医事法制（リスクマネジメント）研究会: 高知市, 2016.

4. 長田理.
医療安全に対応する麻酔管理とは.
日本心臓血管麻酔学会第 21 回学術大会: 横浜市, 2016.

5. 長田理.
周術期の医療安全を論理的に改善するには.
日本麻酔科学会第 63 回学術集会: 福岡市, 2016.

健診センター

1. 今井瑞香, 岡本朋子, 山田由美, 春木聡美, 窪田素子, 土田知宏, 歌野健一.
大腸 3D-CT における新たな腸管前処置法の試み.
第 57 回日本人間ドック学会学術大会: 松本市, 2016.

看護部

1. 井田恵都, 赤土朋美, 庄司大悟, 原田壮平.
手指衛生のアドヒアランス向上のための病院全体での取り組み.
第 31 回日本環境感染学会総会・学術集会: 京都市, 2016.

2. 小田島久美, 渡部真理子, 上杉宣江.
がん専門病院に入職した新人看護師のストレス調査：職業性ストレス簡易調査票を用いた 1 年間の継時的変化.
第 30 回日本がん看護学会学術集会: 千葉市, 2016.

3. 中山章子, 床知恵子, 川島美佳, 羽田忍, 後藤志保, 多田由香, 稲城陽子, 横井麻珠美, 中原由美子, 濱口恵子, 清水多嘉子.
がん専門病院における外来・病棟継続看護の強化・標準化に向けての取り組み.
第 30 回日本がん看護学会学術集会: 千葉市, 2016.

4. 長崎礼子 ， 吉宮瑞穂.
外来化学療法を受ける患者の看護記録「ATC テンプレート」の活用に関する質問紙調査.
第 30 回日本がん看護学会学術集会: 千葉市, 2016.

5. 野口まゆみ, 花出正美, 田近忍, 池田香織, 上田美佐江, 鈴木隆之, 根岸麻未, 宮城八重子.
がん専門病院における一般病棟看護師の退院支援の実践状況ー『退院支援カンファレンス」実施病棟と非実施病棟の比較.
第 30 回日本がん看護学会学術集会: 千葉市, 2016.

6. 岩本寿美代, 横井麻珠美, 長崎礼子, 黒田直子, 杉田一男.
シスプラチン投与時の安全な尿測方法を検討するための患者手指の汚染調査.
第 30 回日本がん看護学会学術集会: 千葉市, 2016.

7. 倉田貴代美, 升谷英子, 小池万里子, 荒尾春恵.
再発・転移をきたした悪性骨軟部腫瘍患者のケアに対して看護師が抱く困難感.
第 30 回日本がん看護学会学術集会: 千葉市, 2016.

8. 星宮恭子.
がん専門病院に勤務する看護師が認識しているIVR・検査室看護の問題と課題：
「ケアカンファレンス」を導入して明らかになったこと.
第 16 回 IVR 看護研究会: 宜野湾市, 2016.

9. 濱口恵子.
感性を高め、倫理的問題を解決する　研究成果を活用した解決の実際.
第 30 回日本がん看護学会学術集会: 千葉市, 2016.

10. 木暮麻優, 古敷谷昇, 布施卓美, 榮木実枝, 富塚健.
がん研有明病院における歯科衛生士による口腔ケアラウンドの取り組みについて.
第 13 回日本口腔ケア学会総会・学術大会: 千葉市, 2016.

11. 太田志保, 馬場静香, 脇元佳子, 富塚健.
当院で行ったがん周術期口腔ケアに関する院内患者向けセミナーについて.
第 13 回日本口腔ケア学会総会・学術大会: 千葉市, 2016.

12. 水野俊美.
苦痛のスクリーニングの実際 がん専門病院における苦痛スクリーニング普及への取り組み タブレット端末の導入.
第 21 回日本緩和医療学会学術大会: 京都市, 2016.

13. 西貝圭子.
外来で不安・怒りの感情をサポートする 私たち体験者がそばにいます　あなたは一人ではありません.
第 24 回日本乳癌学会学術総会: 東京, 2016.

14. 竹内抄與子, 芦原有美, 喜多瑞穂, 安達容枝, 鈴木美彗, 岩瀬拓士, 床知恵子, 鈴木美穂, 新井正美.
がん専門病院の遺伝医療チームにおける看護師の役割.
第 22 回日本家族性腫瘍学会学術集会: 松山市, 2016.

15. 西村菜緒, 富塚健, 古敷谷昇.
がん周術期の口腔インプラントに関する調査.
第46回日本口腔インプラント学会学術大会: 名古屋市, 2016.

16. 小田島久美, 水野俊美, 羽田忍, 河島地草, 鈴木美穂.
ベテラン看護師の活性化に向けた支援体制の検討：役割認識に関するフォーカス・グループ・インタビューを通して.
第 47 回日本看護学会-看護管理-学術集会: 金沢市, 2016.

17. 齊藤陽子 ， 吉村まどか.
病棟看護師の日勤帯における休憩時間の過ごし方に関する意識と実態.
第 47 回日本看護学会-看護管理-学術集会: 金沢市, 2016.

18. 長崎礼子, 尾阪将人, 濱口恵子, 大友陽子, 奈良林至, 床知恵子, 上田美佐江, 松下亜由子, 横川貴志, 北林真由子, 中村ひろ子, 吉宮瑞穂, 笹平直樹.
進行膵癌患者トータルサポートプログラム（PANcreatic Direct Approach team: PANDA).
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

19. 濱口恵子.
最後まで寄り添うがん治療　積極的ながん治療とケア マギーズがんケアリングセンターを東京に.
第 54 回日本癌治療学会学術集会: 横浜市, 2016.

20. 小泉智子, 柳谷典子, 北園聡, 高野夏希, 瀧口友美, 箕輪雄一, 加藤寛基, 中野泰寛, 平出誠, 綿貫恵, 増田香織, 野村美幸, 熊倉深里, 高橋優美子, 進藤涼香, 加藤小巻, 松尾美喜, 長崎礼子, 武岡奈美, 西尾誠人.
がん専門病院での免疫治療に対する多職種チームの現状と課題.
第 57 回日本肺癌学会学術集会: 福岡市, 2016.

１０．雑誌・単行本発表業績

【 2013年 】

呼吸器内科

1. Goto, K., Nishio, M., Yamamoto, N., Chikamori, K., Hida, T., Maemondo, M., Katakami, N., Kozuki, T., Yoshioka, H., Seto, T., Fukuyama, T., Tamura, T.
A prospective, phase II, open-label study (JO22903) of first-line erlotinib in Japanese patients with epidermal growth factor receptor (EGFR) mutation-positive advanced non-small-cell lung cancer (NSCLC).
Lung Cancer. 82(1): 109-14, 2013

2. Harada, H., Nishio, M., Murakami, H., Ohyanagi, F., Kozuka, T., Ishikura, S., Naito, T., Kaira, K., Takahashi, T., Horiike, A., Nishimura, T., Yamamoto, N.
Dose-escalation study of three-dimensional conformal thoracic radiotherapy with concurrent S-1 and cisplatin for inoperable stage III non-small-cell lung cancer.
Clin. Lung Cancer. 14(4): 440-5, 2013

3. Katakami, N., Atagi, S., Goto, K., Hida, T., Horai, T., Inoue, A., Ichinose, Y., Koboyashi, K., Takeda, K., Kiura, K., Nishio, K., Seki, Y., Ebisawa, R., Shahidi, M., Yamamoto, N.
LUX-Lung 4: A phase II trial of afatinib in patients with advanced non-small-cell lung cancer who progressed during prior treatment with erlotinib, gefitinib, or both.
J. Clin. Oncol. 31(27): 3335-3341, 2013

4. Kawano, Y., Ohyanagi, F., Yanagitani, N., Kudo, K., Horiike, A., Tanimoto, A., Nishizawa, H., Ichikawa, A., Sakatani, T., Nakatomi, K., Hagiwara, S., Ninomiya, H., Motoi, N., Ishikawa, Y., Horai, T., Nishio, M.
Pemetrexed and cisplatin for advanced non-squamous non-small cell lung cancer in japanese patients: phase II study.
Anticancer Res. 33(8): 3327-33, 2013

5. Kudo, K., Ohyanagi, F., Horiike, A., Miyauchi, E., Tahanaka, H., Yanagitani, N., Saito, R., Kaburaki, K., Sakatani, T., Horai, T., Nishio, M.
A phase II study of S-1 in relapsed small cell lung cancer.
Mol. Clin. Oncol. 1(2): 263-266, 2013

6. Nishio, M., Horai, T., Horiike, A., Nokihara, H., Yamamoto, N., Takahashi, T., Murakami, H., Koizumi, F., Nishio, K., Yusa, W., Koyama, N., Tamura, T.
Phase 1 study of lenvatinib combined with carboplatin and paclitaxel in patients with non-small-cell lung cancer.
Br. J. Cancer. 109(3): 538-44, 2013

7. Okamoto, I., Aoe, K., Kato, T., Hosomi, Y., Yokoyama, A., Imamura, F., Kiura, K., Hirashima, T., Nishio, M., Nogami, N., Okamoto, H., Saka, H., Yamamoto, N., Yoshizuka, N., Sekiguchi, R., Kiyosawa, K., Nakagawa, K., Tamura, T.
Pemetrexed and carboplatin followed by pemetrexed maintenance therapy in chemo-naive patients with advanced nonsquamous non-small-cell lung cancer.
Invest. New Drugs. 31(5): 1275-82, 2013

8. Sakai, K., Horiike, A., Irwin, D.L., Kudo, K., Fujita, Y., Tanimoto, A., Sakatani, T., Saito, R., Kaburaki, K., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Nishio, M., Nishio, K.
Detection of epidermal growth factor receptor T790M mutation in plasma DNA from patients refractory to epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitor.
Cancer Sci. 104(9): 1198-204, 2013

9. Seto, T., Kiura, K., Nishio, M., Nakagawa, K., Maemondo, M., Inoue, A., Hida, T., Yamamoto, N., Yoshioka, H., Harada, M., Ohe, Y., Nogami, N., Takeuchi, K., Shimada, T., Tanaka, T., Tamura, T.

CH5424802 (RO5424802) for patients with *ALK*-rearranged advanced non-small-cell lung cancer (AF-001JP study): a single-arm, open-label, phase 1-2 study.
Lancet Oncol. 14(7): 590-8, 2013

10. 丹保裕一, 西尾誠人
治療に伴う看護特集　分子標的薬の特徴と看護 2013年版:　VEGFRとVEGF阻害薬のはたらき.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(5): 464-465, 2013

11. 丹保裕一, 西尾誠人
治療に伴う看護特集　分子標的薬の特徴と看護 2013年版:　VEGFRを標的とする低分子化合物、マルチキナーゼ阻害薬.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(5): 470-475, 2013

12. 丹保裕一, 西尾誠人
治療に伴う看護特集　分子標的薬の特徴と看護 2013年版:　VEGFを標的とする阻害薬.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(5): 466-469, 2013

13. 堀池篤, 西尾誠人
チロシンキナーゼ阻害研究の動向:　クリゾチニブ、CH5424802による肺がん治療の進歩.
がん分子標的治療. 11(1): 13-17, 2013

14. 大柳文義, 西尾誠人
最新肺癌学-基礎と臨床の最新研究動向-:　肺癌の治療戦略　集学的治療　導入化学療法.
日本臨床. 71(増刊6 最新肺癌学): 589-593, 2013

15. 宝来威編集
がん研有明病院最新化学療法レジメン.
東京, メジカルビュー社: 111p., 2013

16. 工藤慶太, 西尾誠人
がんの分子標的治療:進歩と課題:　新たな抗体医薬PD-1抗体.
Pharma Medica. 31(11): 23-26, 2013

17. 柳谷典子, 大柳文義, 中富克己, 工藤慶太, 堀池篤, 元井紀子, 石川雄一, 宝来威, 西尾誠人
実地臨床におけるanaplastic lymphoma kinase陽性肺癌に対するクリゾチニブの使用経験.
日本呼吸器学会誌. 2(4): 338-342, 2013

18. 柳谷典子, 工藤慶太, 文敏景, 星利良, 元井紀子, 石川雄一, 宝来威
胸腔鏡手術により診断および完全切除しえた肺炎症性筋線維芽細胞腫の1例.
日本臨床細胞学会雑誌. 52(2): 164-168, 2013

19. 齋藤良太, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠
腫瘍関連網膜症を契機に発見された小細胞肺癌の1例.
日本呼吸器学会誌. 2(2): 123-127, 2013

呼吸器外科

1. Iida, T., Nomori, H., Shiba, M., Nakajima, J., Okumura, S., Horio, H., Matsuguma, H., Ikeda, N., Yoshino, I., Ozeki, Y., Takagi, K., Goya, T., Kawamura, M., Hamada, C., Kobayashi, K.
Prognostic factors after pulmonary metastasectomy for colorectal cancer and rationale for determining surgical indications: A retrospective analysis.
Ann. Surg. 257(6): 1059-64, 2013

2. Nagashima, T., Sakao, Y., Mun, M., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Masuda, M., Okumura, S.
A clinicopathological study of resected small-sized squamous cell carcinomas of the peripheral lung: prognostic significance of serum carcinoembryonic antigen levels.
Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 19(5): 351-357, 2013

3. Ninomiya, H., Kato, M., Sanada, M., Takeuchi, K., Inamura, K., Motoi, N., Nagano, H., Nomura, K., Sakao, Y., Okumura, S., Mano, H., Ogawa, S., Ishikawa, Y.
Allelotypes of lung adenocarcinomas featuring *ALK* fusion demonstrate fewer onco- and suppressor gene changes.
BMC Cancer. 13(1): 8, 2013

4. Shiono, S., Sato, T., Horio, H., Chida,M., Matsuguma, H., Ozeki, Y., Nakajima, J., Okumura, S.

Outcomes and prognostic factors of survival after pulmonary resection for metastatic gastric cancer.
Eur. J. Cardiothorac. Surg. 43(1): e13-6, 2013

5. Tsutani, Y., Miyata, Y., Nakayama, H., Okumura, S., Adachi, S., Yoshimura, M., Okada, M.
Oncologic outcomes of segmentectomy compared with lobectomy for clinical stage IA lung adenocarcinoma: propensity score-matched analysis in a multicenter study.
J Thorac Cardiovasc Surg. 146(2): 358-64, 2013

6. Tsutani, Y., Miyata, Y., Nakayama, H., Okumura, S., Adachi, S., Yoshimura, M., Okada, M.
Solid tumor size on high-resolution computed tomography and maximum standardized uptake on positron emission tomography for new clinical T descriptors with T1 lung adenocarcinoma.
Ann. Oncol. 24(9): 2376-81, 2013

7. Tsutani, Y., Miyata, Y., Yamanaka, T., Nakayama, H., Okumura, S., Adachi, S., Yoshimura, M., Okada, M.
Solid tumors versus mixed tumors with a ground-glass opacity component in patients with clinical stage IA lung adenocarcinoma: Prognostic comparison using high-resolution computed tomography findings.J. Thorac. Cardiovasc. Surg. 146(1): 17-23, 2013

8. Uehara, H., Tsutani, Y., Okumura, S., Nakayama, H., Adachi, S., Yoshimura, M., Miyata, Y., Okada, M.
Prognostic role of positron emission tomography and high-resolution computed tomography in clinical stage IA lung adenocarcinoma.
Ann. Thorac. Surg. 96(6): 1958-1965, 2013

9. 中尾将之, 阿部三千代
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 肺がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 9-15, 2013

10. 奥村栄
practice note　実践の根拠と臨床知を探る　低侵襲で広く普及　肺がんにおける胸腔鏡手術の現状.
ナーシング. 33(9): 94-97, 2013

11. 文敏景
Thoracoscopic left upper lobectomyにおける縦隔リンパ節郭清の工夫と実際.手術. 67(1): 122-128, 2013

消化器内科

1. Furuse, J., Ishii, H., Okusaka, T.
The hepatobiliary and pancreatic oncology (HBPO) group of the Japan clinical oncology group (JCOG): history and future direction.
Jpn. J. Clin. Oncol. 43(1): 2-7, 2013

2. Inoue, D., Matsusaka, S., Yamamoto,N., Suenaga, M., Shinozaki, E., Mizunuma, N., Ishikawa, Y., Hatake, K.
CD 133-positive status predicts better prognosis in metastatic colorectal cancer patients with cetuximab
J. Cytol. Histol. 5(1): 1000202, 2013

3. Kasuga, A., Yamamoto, Y., Fujisaki, J.,Okada, K., Omae, M., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Chino, A., Tsuchida, T., Hoshino, E., Igarashi, M.
Simultaneous endoscopic submucosal dissection for synchronous double early gastric cancer.
Gastric Cancer. 16(4): 555-562, 2013

4. Matsuyama, M., Ishii, H., Kuraoka, K., Yukisawa, S., Kasuga, A., Ozaka, M., Suzuki, S., Takano, K., Sugiyama, Y., Itoi, T.
Ultrasound-guided *vs* endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration for pancreatic cancer diagnosis.
World J. Gastroenterol. 19(15): 2368-73, 2013

5. Ohtsu, A., Ajani, J.A., Bai, Y.X., Bang, Y.J., Chung, H.C., Pan, H.M., Sahmoud, T., Shen, L., Yeh, K.H., Chin, K., Muro, K., Kim, Y.H., Ferry, D., Tebbutt, N.C., Al-Batran, S.E., Smith, H., Costantini, C., Rizvi, S., Lebwohl, D., Van Cutsem, E.
Everolimus for previously treated advanced gastric cancer: results of the randomized, double-blind, phase III GRANITE-1 study.
J. Clin. Oncol. 31(31): 3935-3943, 2013

6. Omae, M., Fujisaki, J., Shimizu, T., Igarashi, M., Yamamoto, N.
Magnifying endoscopy with narrow-band imaging findings in the diagnosis of Barrett's esophageal adenocarcinoma spreading below squamous epithelium.
Dig. Endosc. 25(Suppl 2): 162-7, 2013

7. Omae, M., Fujisaki, J., Horiuchi, Y., Yoshizawa, N., Matsuo, Y., Kubota, M., Suganuma, T., Okada, K., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Hoshino, E., Igarashi, M.
Safety, efficacy, and long-term outcomes for endoscopic submucosal dissection of early esophagogastric junction cancer.
Gastric Cancer. 16(2): 147-54, 2013

8. Suganuma, T., Fujisaki, J., Hirasawa, T., Ishiyama, A., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Igarashi, M.
Primary amelanotic malignant melanoma of the small intestine diagnosed by esophagogastroduodenoscopy before surgical resection.Clin. J. Gastroenterol. 6(3):
211-216,2013

9. 三木一正
ペプシノゲン.
臨床検査ガイド2013～2014 (MedicalPractice編集委員会), 東京, 文光堂: pp.127-130, 2013

10. 三木一正
胃がんリスク検診（ABC検診）の現状と今後の展望.
産業医学レビュー. 26(1): 1-29, 2013

11. 千野晶子, 岸原輝仁, 五十嵐正広
消化器領域における診断内視鏡-モダリティの進歩とその活用法: 内視鏡機器の進歩と活用法 極細径大腸内視鏡　オリンパス社製PCF-PQ260使用経験より
内科. 111(3): 473-477, 2013

12. 千野晶子, 岸原輝仁, 五十嵐正広
症例に学ぶ-小腸内視鏡アトラス:　腫瘍および類似病変　家族性大腸腺腫症の小腸腺腫.
消化器内視鏡. 25(7): 1008-1009, 2013

13. 千野晶子
高齢者大腸癌に対する内視鏡治療−適応、追加手術　臨床現場から.
大腸疾患NOW. (武藤徹一郎編集主幹, 杉原健一, 藤森孝博, 五十嵐正広, 渡邉聡明編集), 東京, 日本メディカルセンター: pp.48-53, 2013

14. 大前雅実
Q&A：EUS所見：SM癌の所見、瘢痕の所見は何か？.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.91-94, 2013

15. 大前雅実
基本編：クリニカルパス.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.48-51, 2013

16. 大前雅実
治療編: 蠕動が起きたときどうするか？(ペパーミントオイルの使用）.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.152, 2013

17. 大前雅実, 藤崎順子, 清水智樹, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広, 峯真司, 山田和彦, 山口俊晴
「食道胃接合部癌」に迫る!:　Barrett食道癌における酸逆流の意義.
臨床外科. 68(4): 406-412, 2013

18. 尾阪将人, 石井浩
消化器癌化学療法-新たなエビデンスを求めて: 切除不能進行膵癌に対する新たな標準治療確立に向けての展望.
臨床消化器内科. 28(3): 309-315, 2013

19. 尾阪将人
膵がん治療の新たな展開:　切除不能進行膵がんに対する新たな標準治療確立に向けての展望.
腫瘍内科. 12(3): 277-282, 2013

20. 山本頼正
基本編：機器、高周波に関する基本：手技の基本、局注液、切除、止血のデバイス.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.11-21, 2013

21. 山本頼正
基本編：術後経過観察について ①ＣＴ, 内視鏡検査の間隔.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.62-64, 2013

22. 山本頼正
治療編: マーキングに最適なモード、道具は何か？.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.124-125, 2013

23. 山本頼正
治療編: マーキングの位置はどこが最適か？(ＡＰＣ2本分、1本分).
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.126-127, 2013

24. 山本頼正
治療編: 噴切後遊離空腸残胃ＥＳＤについて教えてほしい.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.153-154, 2013

25. 岡田和久, 藤崎順子
Q&A 未分化型癌の特徴的な所見は何か？.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.82-87, 2013

26. 岡田和久, 藤崎順子
Q&A 通常内視鏡で見落としやすい病変とは？.
消化管内視鏡エキスパート: 2胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.95-96, 2013

27. 岡田和久, 藤崎順子
治療編：胃管癌の内視鏡診断・治療はどうするか？.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.142-144, 2013

28. 岸原輝仁, 五十嵐正広, 森重健二郎, 千野晶子, 浦上尚之, 為我井芳郎
下部直腸・肛門部疾患の診断と治療:　肛門管癌とくに扁平上皮癌の早期診断と治療.
臨床消化器内科. 28(11): 1475-1480, 2013

29. 平澤俊明, 大隅寛木, 森重健二郎, 奥野真理, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 冨田明彦, 石山晃世志, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子
ESDの実際　未分化型早期胃癌に対するESDの戦略と実際.
消化器の臨床. 16(5): 550-555, 2013

30. 平澤俊明, 大隅寛木, 森重健二郎, 奥野真理, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 冨田明彦, 石山晃世志, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子
IIb診断を極める:　0-IIb胃癌の拾い上げのコツ 通常内視鏡を中心に.
消化器内視鏡. 25(10): 1681-1688, 2013

31. 平澤俊明, 松尾康正, 山本頼正
ひとりでも迷わない 上部消化管 治療内視鏡の極意：さあ、自信をもって始めてみましょう!: ESD後の偶発症にはどんなものがあるのですか? 手術が必要な場合はどんなケースですか?
消化器内視鏡レクチャー. 1(4): 688, 2013

32. 平澤俊明, 松尾康正, 山本頼正
ひとりでも迷わない 上部消化管 治療内視鏡の極意：さあ、自信をもって始めてみましょう!: 胃腫瘍切除 胃ESDの術中偶発症と対処法(出血と穿孔を中心に).
消化器内視鏡レクチャー. 1(4): 681-687, 2013

33. 平澤俊明
基本編：ESDの周術期管理.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.40-47, 2013

34. 平澤俊明, 山本頼正, 藤崎順子, 鈴木翔, 谷口智香, 堀内裕介, 松尾康正, 吉澤奈津子, 菅沼孝紀, 岡田和久, 大前雅美, 窪田学, 石山晃世志, 土田知宏, 星野惠津夫, 五十嵐正広, 三木一正
未分化型早期胃癌適応拡大病変の臨床像の検討.
Gastroenterological Endoscopy. 55(5): 1625-1632, 2013

35. 平澤俊明, 三木一正
検査値を読む2013:　感染症検査　一般細菌感染症検査　グラム陰性菌感染症検査 13C-尿素呼気試験.
内科. 111(6): 1457, 2013

36. 平澤俊明, 三木一正
検査値を読む2013:　感染症検査　一般細菌感染症検査　グラム陰性菌感染症検査 Helicobacter pylori抗体.
内科. 111(6): 1455, 2013

37. 平澤俊明, 三木一正
検査値を読む2013:　感染症検査　一般細菌感染症検査　グラム陰性菌感染症検査 便中Helicobacter pylori抗原.
内科. 111(6): 1454, 2013

38. 平澤俊明, 三木一正
検査値を読む2013:　感染症検査　一般細菌感染症検査　グラム陰性菌感染症検査 迅速ウレアーゼ試験.
内科. 111(6): 1456, 2013

39. 平澤俊明
治療編：Sedationが効かない人はどうするか？.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.116-118, 2013

40. 平澤俊明
治療編：二酸化炭素送気は必要か？.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.114-115, 2013

41. 平澤俊明
胃カルチノイド　基礎編.
これで納得！画像で見ぬく消化器疾患; 1 上部消化管 (藤城光弘編), 東京, 医学出版: pp.142-143, 2013

42. 平澤俊明
胃カルチノイド　応用編.
これで納得！画像で見ぬく消化器疾患; 1 上部消化管 (藤城光弘編), 東京, 医学出版: pp.144-147, 2013

43. 平澤俊明, 藤崎順子, 岸原輝仁, 石山晃世志, 千野晶子, 山本頼正, 浦上尚之, 土田知宏, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 高瀬康雄
"鎮静"をマスターする:　特定の状況下での鎮静 循環器・脳血管障害を有する患者の鎮静.
消化器内視鏡. 25(4): 608-614, 2013

44. 森重健二郎, 山本頼正, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
5年間の経過で腺腫から腺癌に進行した早期十二指腸癌の1例.
Prog. Dig. Endosc. 83(1): 122-123,9, 2013

45. 清水智樹, 山本頼正, 富田英臣, 岡本恒平, 堀内裕介, 石川寛高, 松尾康正, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
上部消化管内視鏡治療時の鎮静効果　事前予測因子の検討.
Prog. Dig. Endosc. 83(1): 51-55, 2013

46. 清水智樹, 山本頼正, 富田英臣, 岡本恒平, 堀内裕介, 石川寛高, 松尾康正, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
上部消化管内視鏡治療時の鎮静効果　事前予測因子の検討.
Prog. Dig. Endosc. 83(1): 51-55, 2013

47. 石井浩
医師や医療チームへの質問.
日本の臨床試験：難治性がん克服に向けてステークホルダーからの提言 (古谷佐和子企画・編集), 東京, パンキャンジャパン: pp.53-57, 2013

48. 石山晃世志
食道の癌
Q53 食道癌の内視鏡検査でどんなことがわかりますか？
Q54 超音波内視鏡検査でどんなことを評価するのですか？
Q59 食道癌の早期発見にはどんなことが必要ですか？
Q60 ヨード染色とは何ですか？
Q61 NBI検査とは何ですか？
Q67 内視鏡的治療（EMR, ESD）とはどんな治療ですか？
Q68 内視鏡的治療（EMR, ESD）の適応を教えて下さい
Q69 食道癌の手術はどんなものですか？.

新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.60-61,65-68,72-74, 2013

49. 篠崎英司
がん薬物療法の副作用対策：指示療法と用量調整のポイント：末梢神経障害.
コンセンサス癌治療. 12(4): 211-212, 2013

50. 菅沼孝紀
基本編: 術後経過観察について ②異時多発の問題（ピロリ除菌、ペプシノゲン）.
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.65-71, 2013

51. 菅沼孝紀, 千野晶子, 谷口智香, 鈴木翔, 森重健二郎, 檀清寿, 加藤薫, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
結腸粘膜下腫瘍にESDによる摘除生検を行った3例.
Prog. Dig. Endosc. 83(1): 150-151, 2013

52. 菅沼孝紀, 千野晶子, 谷口智香, 鈴木翔, 森重健二郎, 檀清寿, 加藤薫, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
結腸粘膜下腫瘍にESDによる摘除生検を行った3例.
Prog. Dig. Endosc. 83(1): 150-151,12, 2013

53. 藤崎順子, 岡田和久, 富田英臣, 山本智理子, 清水智久, 堀内祐介, 松尾康正, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石川寛高, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
微小胃癌の診断限界に迫る: 微小胃癌の拡大内視鏡診断の限界に迫る 未分化型微小胃癌の診断.
胃と腸. 48(6): 857-868, 2013

54. 藤崎順子, 山本頼正, 山本智理子, 清水智弘, 吉澤奈津子, 堀内祐介, 松尾康正, 石川寛高, 菅沼孝紀, 大前雅実, 平澤俊明, 横山知子, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広
潰瘍合併早期胃癌の診断と治療: 内視鏡的UL(+)早期胃癌と病理学的UL(+)早期胃癌の臨床病理学的差異.
胃と腸. 48(1): 73-81, 2013

55. 藤崎順子編集
消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌.
東京, 中外医学社: 165p., 2013

56. 陳勁松
癌の治療はどのようにするのですか？
Q38 術後補助化学療法とは何ですか？
Q39 癌の放射線治療とはどんなものですか？
Q40 癌の化学療法とはどんなものですか？
Q41 抗がん剤の副作用について教えて下さい
Q42 ホルモン療法について教えて下さい
Q43 免疫療法について教えてください
Q48 分子標的治療とは何ですか？.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.44-49,53, 2013

消化器外科

1. Fukunaga, T., Hiki, N., Kubota, T., Nunobe, S., Tokunaga, M., Nohara, K., Sano, T., Yamaguchi, T.
Oncologic outcomes of laparoscopy-assisted distal gastrectomy for gastric cancer.
Ann. Surg. Oncol. 20(8): 2676-82, 2013

2. Hiki, N., Nunobe, S., Kubota, T., Jiang, X.
Function-preserving gastrectomy for early gastric cancer.
Ann. Surg. Oncol. 20(8): 2683-92, 2013

3. Hiki, N.
Present features and future vision of laparoscopy-assisted total gastrectomy (LATG).
Gastric Cancer. 16(4): 460-461, 2013

4. Honda, M., Kuriyama, A., Noma, H., Nunobe, S., Furukawa, T.A.
Hand-sewn versus mechanical esophagogastric anastomosis after esophagectomy: A systematic review and meta-analysis.
Ann. Surg. 257(2): 128-148, 2013

5. Honda, M., Kuriyama, A., Noma, H., Nunobe, S., Furukawa, T.A.
Reply to Letter: "Hand-sewn versus mechanical esophagogastric anastomosis after esophagectomy: A systematic review and meta-analysis".
Ann. Surg. 257(2): 238-48, 2013

6. Mine, S., Sano, T., Hiki, N., Yamada, K., Nunobe, S., Yamaguchi, T.
Lymphadenectomy around the left renal vein in Siewert type II adenocarcinoma of the oesophagogastric junction.
Br. J. Surg. 100(2): 261-6, 2013

7. Mine, S., Sano, T., Hiki, N., Yamada, K., Kosuga, T., Nunobe, S., Yamaguchi, T.
Proximal margin length with transhiatal gastrectomy for Siewert type II and III adenocarcinomas of the oesophagogastric junction.
Br. J. Surg. 100(8): 1050-4, 2013

8. Mukai, T., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Ikeda, A., Yamaguchi, T.
Laparoscopic total pelvic exenteration with en bloc lateral lymph node dissection after neoadjuvant chemoradiotherapy for advanced primary rectal cancer.
Asian J. Endosc. Surg. 6(4): 314-7, 2013

9. Nagasue, Y., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagasaki, T., Nagata, J., Mukai, T., Ikeda, A., Ono, R., Yamaguchi, T.
Laparoscopic versus open multivisceral resection for primary colorectal cancer: comparison of perioperative outcomes.
J. Gastrointest. Surg. 17(7): 1299-305, 2013

10. Nunobe, S., Hiki, N., Tanimura, S., Nohara, K., Sano, T., Yamaguchi, T.
The clinical safety of performing laparoscopic gastrectomy for gastric cancer by trainees after sufficient experience in assisting.
World J. Surg. 37(2): 424-9, 2013

11. Shindoh, J., Hasegawa, K., Matsuyama, Y., Inoue, Y., Ishizawa, T., Aoki, T., Sakamoto, Y., Sugawara, Y., Makuuchi, M., Kokudo, N.
Low hepatitis C viral load predicts better long-term outcomes in patients undergoing resection of hepatocellular carcinoma irrespective of serologic eradication of hepatitis C virus.
J Clin Oncol. 31(6): 766-73, 2013

12. Takemura, N., Saiura, A., Koga, R., Yoshioka, R., Yamamoto, J., Kokudo, N.
Repeat hepatectomy for recurrent liver metastasis from gastric carcinoma.
World J. Surg. 37(11): 2664-70, 2013

13. Tokunaga, M., Sano, T., Ohyama, S., Hiki, N., Fukunaga, T., Yamada, K., Yamaguchi, T.
Clinicopathological characteristics and survival difference between gastric stump carcinoma and primary upper third gastric cancer.
J. Gastrointest. Surg. 17(2): 313-8, 2013

14. 三輪高嗣, 比企直樹, 千葉丈広, 大橋学, 布部創也, 山口俊晴
胃切除術後Petersen's defectへ内ヘルニアを発症した11例の検討.
日本内視鏡外科学会雑誌. 18(6): 665-670, 2013

15. 上野雅資, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡福長洋介, 長嵜寿矢, 山口俊晴, 武藤徹一郎
遺伝性大腸癌の診断と治療の進歩: 家族性大腸腺腫症 大腸に対するサーベイランスと外科治療.
Intestine. 17(5): 441-445, 2013

16. 井上陽介, 齋浦明夫
肝切除をめぐる最近の話題: 最新の肝術中超音波とエラストグラフィ.
外科. 75(11): 1165-1171, 2013

17. 佐藤崇文, 比企直樹, 布部創也, 谷村愼哉, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡補助下幽門保存胃切除後リンパ節再発と鑑別困難であったSchloffer腫瘍の1例.
日本内視鏡外科学会雑誌. 18(1): 97-102, 2013

18. 佐野武, 山田尚, 佐々木康綱
オンコロジック・エマージェンシー: オンコロジック・エマージェンシーを起こさないためには.
成人病と生活習慣病. 43(4): 425-434, 2013

19. 佐野武
リンパ節転移と郭清-癌腫別の意義: リンパ節転移をどうとらえるか.
外科. 75(7): 685-689, 2013

20. 佐野武
外科ライブ手術の意義とあり方について: 開腹手術におけるライブ手術の意義.
日本外科学会雑誌. 114(3): 141-143, 2013

21. 入野誠之, 比企直樹
レジデントからのQ&A Petersen's defectとは、なんですか?
胃がんperspective. 6(4): 272-274, 2013

22. 入野誠之, 比企直樹
肥満の基礎と臨床: 肥満に対する外科治療 肥満症例に対する腹腔鏡手術時のアプローチ.
Surgery Frontier. 20(3): 299-304, 2013

23. 入野誠之
胃の癌
Q109 幽門側胃切除術はどんな手術ですか？
Q110 噴門側移設叙述はどんな手術ですか？
Q111 胃全摘術はどんな手術ですか？Q112 胃癌のリンパ節郭清とはどんなことですか？
Q113 胃癌のリンパ節郭清はなぜ必要なのですか？
Q114 センチネルリンパ節とは何ですか？
Q115 センチネルリンパ節の検出方法を教えて下さい
Q116 迅速組織診断について教えて下さい.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.114-123, 2013

24. 千葉丈広
胃の癌
Q117 幽門保存胃切除術はどんな手術ですか？
Q118 胃癌の腹腔鏡下手術はどんな手術ですか？
Q119 腹腔鏡下手術の利点と問題点を教えてください
Q120 どんな胃癌にどんな腹腔鏡下手術をしますか？
Q121 胃を取った後の食物の通り道（再建）はどうなりますか？
Q122 胃癌手術後の食事の注意点について教えてください
Q123 ダンピング症候群とはどんなものですか？
Q124 胃癌手術後のビタミンの吸収はどうなりますか？.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.123-130, 2013

25. 原田和人
食道の癌
Q62 食道表在癌、早期食道癌について教えてください
Q63 食道表在癌の深達度分類を教えてください
Q64 食道表在癌の深達度診断はなぜ重要ですか？
Q65 食道表在癌のリンパ節転移の頻度はどれくらいですか？
Q66 食道癌治療において食道を残すことができるのはどういう状態ですか？.新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.68-72, 2013

26. 及川芳徳, 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
当院における大腸癌卵巣転移切除症例の検討.
日本大腸肛門病学会雑誌. 66(1): 1-6, 2013

27. 向井俊貴, 福長洋介, 池田篤志, 根木快, 永末裕友, 山川景子, 及川芳徳, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 水沼信之
術前mFOLFOX6+bevacizumabが奏効しpCRを得た盲腸腺内分泌細胞癌の1切除例.
日本大腸肛門病学会雑誌. 66(2): 110-116, 2013

28. 大野吏輝, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志
腹腔鏡下に側方郭清を施行した側方リンパ節転移を伴う直腸カルチノイドの1例.日本内視鏡外科学会雑誌. 18(5): 609-615, 2013

29. 小松周平, 市川大輔, 窪田健, 岡本和真, 比企直樹, 大辻英吾
手術手技 腹腔鏡下胃全摘術における食道空腸吻合の合併症回避のための工夫 引き上げ法と吻合時の挙上空腸左側ローテーション法.
手術. 67(12): 1757-1760, 2013

30. 小菅敏幸, 渡部真理子
主要な12がんの診療の流れ：患者説明にそのま

ま使えるシート: 胃がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 16-21, 2013

31. 小菅敏幸
小腸の癌
Q138 小腸腫瘍の頻度はどのくらいですか？
Q139 小腸にできる癌にはどんなものがありますか？
Q140 小腸腫瘍の症状について教えてください
Q141 小腸腫瘍について教えてください
Q142 小腸腫瘍の検査について教えてください.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, 新癌についての質問に答える: pp.141-144, 2013

32. 小西毅
ホルモンに関係した腫瘍
Q427 カルチノイドとは何ですか？.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.436, 2013

33. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
局所高度進行直腸癌のすべて: 局所高度進行直腸癌に対する化学療法　術前化学放射線療法.
外科. 75(3): 263-268, 2013

34. 小西毅
消化管再建 体内操作 DST（double stapling technique）.
がん研スタイル腹腔鏡下大腸手術 (山口俊晴監修, 福長洋介編集), 東京, メディカルビュー社: pp.106-109, 2013

35. 小西毅
消化管再建 体外操作 機能的端端吻合.
がん研スタイル腹腔鏡下大腸切除術 (山口俊晴監修, 福長洋介編集), 東京, メディカルビュー社: pp.92-95, 2013

36. 小西毅
直腸低位前方切除術.
がん研スタイル腹腔鏡下大腸手術 (山口俊晴監修, 福長洋介編集), 東京, メディカルビュー社: pp.80-91, 2013

37. 小野嘉大, 斎浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 福長洋介, 上野雅資
同時性多臓器転移を有する大腸癌の治療戦略: 大腸癌同時性多臓器転移に対する局所療法の限界.
癌の臨床. 59(6): 603-609, 2013

38. 小野嘉大, 斎浦明夫, 高橋祐, 有田淳一, 福長洋介, 上野雅資
同時性多臓器転移を有する大腸癌の治療戦略：大腸癌同時性多臓器転移に対する局所療法の限界.
癌の臨床. 59(6): 603-609, 2013

39. 小野嘉大, 斎浦明夫, 水沼信之, 福長洋介, 上野雅資
大腸癌肝転移up to date:　大腸癌肝転移の集学的治療の実際.
外科. 75(8): 872-878, 2013

40. 山口俊晴
癌治療の選択:治療効果と治療: 癌治療の選択における医療経済.
外科. 75(1): 1-5, 2013

41. 山口俊晴
癌薬物療法の副作用対策.
コンセンサス癌治療. 12(4): 176-177, 2013

42. 山口俊晴, 藤崎順子, 齋浦明夫
胃粘膜下腫瘍
十二指腸良性腫瘍
十二指腸悪性腫瘍.
内科学 第10版 (矢崎義雄総編集), 東京, 朝倉書店: pp.968-973, 2013

43. 山口俊晴
術前化学療法とはなんですか.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.52, 2013

44. 山口俊晴監修, 福長洋介編集
がん研スタイル腹腔鏡下大腸切除術.
東京, メジカルビュー社: 119p., 2013

45. 山田和彦
食道の癌
Q69 食道癌の手術はどんなものですか？Q70 食道癌手術の3領域郭清について教えてくださ

いQ71 食道癌手術の3領域郭清の一般的な適応を教えてください
Q72 食道癌の鏡視下手術について教えてください
Q73 食道切除後の再建（食物の通り道）はどうなるのですか？
Q74 食道癌手術後の合併症にはどんなものがありますか？
Q75 進行食道癌に対する術前化学放射線療法の意義はどんなことですか？
Q76 食道癌における化学療法はどのように行うのですか？
Q77 食道癌における化学放射線療法について教えてください
Q78 食道癌手術後の注意点はどんなことですか？
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.74-84, 2013

46. 山田和彦, 峯真司, 原田和人, 大矢周一郎, 堀口寛之, 志垣博信
食道疾患手術のすべて：悪性疾患の手術　右開胸食道切除術.
手術. 67(10): 1447-1453, 2013

47. 峯真司, 榊原亜希
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 食道がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 4-8, 2013

48. 峯真司
食道の癌
Q49 食道癌の危険因子はどんなものですか？
Q50 食道癌の症状にはどんなものがありますか？
Q51 食道癌の組織型について教えてください
Q52 食道癌は部位や進行度で治療方法が違いますか？
Q55 CT検査でどんなことがわかりますか？
Q56 PET検査について教えて下さい
Q57 バレット食道について教えてください
Q58 食道腺癌（バレット食道癌）について教えてください
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.57-60,62-65, 2013

49. 峯真司, 佐野武, 山田和彦, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 山口俊晴食道胃接合部癌の診断と治療:　治療　リンパ節郭清.
消化器外科. 36(11): 1617-1627, 2013

50. 布部創也
外科学の古典を読む 噴門側胃切除・空腸間置手術の原典.
外科. 75(10): 1089-1093, 2013

51. 布部創也, 比企直樹, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴
消化器外科手術のエビデンス:　胃外科におけるエビデンス.
消化器外科. 36(3): 289-298, 2013

52. 布部創也, 小菅敏幸, 比企直樹, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
消化管外科における再手術-適応と術式選択-: 胃切除後再建法にまつわる合併症と再手術.
手術. 67(12): 1715-1720, 2013

53. 布部創也
癌の治療はどのようにするのですか？
Q44 クリニカルパスについて教えてください
Q45 「癌取扱い規約」とは何ですか？
Q46 「癌診療（治療）ガイドライン」とは何ですか？.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.49-52, 2013

54. 布部創也
術前画像診断のポイントと術中解剖認識：胃癌噴門側胃切除術.
臨床外科. 68(11増): 52-59, 2013

55. 斎浦明夫, 井上陽介, 有田淳一, 高橋祐, 古賀倫太郎
最新 肝胆膵脾手術アトラス: 肝臓　門脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する肝切除.
手術. 67(6): 727-732, 2013

56. 有田淳一
ホルモンに関係した腫瘍
Q425 インスリン産生腫瘍とは何ですか？
Q426 ガストリン産生腫瘍とは何ですか？
Q428 神経内分泌腫瘍（NET）とは何ですか？
新癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版:

pp.434-437, 2013

57. 有田淳一, 鈴木清美
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつ:　肝細胞がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 28-33, 2013

58. 本多通孝, 比企直樹
上部消化管疾患-変貌する疾患構造のなかで実地医家に求められる最新知識のすべて-:　実地医家が実践すべき診療のプロセス　胃粘膜下腫瘍の実地診療　診断のプロセスと治療のタイミング.Medical Practice. 30(7): 1206-1210, 2013

59. 本多通孝, 中村達雄
消化管狭窄への挑戦:　消化管瘢痕狭窄発生のメカニズム.
消化器内視鏡. 25(5): 644-651, 2013

60. 本多通孝
胃の癌
Q127 胃切除後の残った胃に癌はできますか？できた場合にどんな治療がありますか？
Q128 胃癌の肝転移に対する治療について教えてください
Q129 胃癌の腹膜播種に対する治療について教えてください
Q130 GISTとはどんな病気ですか？
Q131 カルチノイドとはどんな病気ですか？
Q132 スキルス胃癌とは何ですか？
Q133 膵液瘻とは何ですか？
Q134 縫合不全とは何ですか？
Q135 審査腹腔鏡とは何ですか？
Q136 LECSについて教えてください
Q137 PETについて教えてください.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), pp.132-140, 2013

61. 本多通孝編集
外科専門医受験のための演習問題と解説.
東京, 医学書院: 276p., 2013

62. 松村優, 竹村信行, 斎浦明夫, 佐野武, 山口俊晴
胃癌肝転移に対する治療戦略:　胃癌肝転移に対する肝切除の適応と予後.
癌の臨床. 59(5): 473-478, 2013

63. 橋本佳和
胃の癌
Q79 胃にはどんな働きがあるか教えてください
Q80 噴門腺領域、胃底腺領域、幽門腺領域について教えてください
Q81 胃癌は増えていますか？減っていますか？
Q82 胃癌に特徴的な症状はありますか？Q83 胃癌になりやすい人はいますか？Q84 胃癌と食事は関係ありますか？
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へする出版: pp.85-92, 2013

64. 比企直樹, 橋本佳和, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
エキスパートが教える内視鏡外科手術-ポイントとなる解剖の理解:　胃・十二指腸の鏡視下手術　胃癌に対する鏡視下手術　腹腔鏡下幽門保存胃切除術.
消化器外科. 36(5): 572-580, 2013

65. 比企直樹, 布部創也
必見！完全体腔内再建の極意: 胃全摘術後再建：サーキュラー・ステイプラーを用いた再建（引き上げ法）.
臨床外科. 68(12): 1350-55, 2013

66. 比企直樹
癌の治療はどのようにするのですか？Q31 癌の治療にはどんなものがありますか？
Q32 癌の集学的治療とはどんな治療ですか？
Q33 治癒手術、非治癒手術とはどんなことですか？
Q34 リンパ節郭清とはどんなことですか？
Q35 拡大手術、縮小手術とはどんなことですか？
Q36 鏡視下手術とはどんな手術ですか？Q37 センチネルリンパ節生検・手術とは何ですか？
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.39-44, 2013

67. 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 谷村慎哉, 佐野武, 山口俊晴
達人が教える内視鏡手術のKnack & Pitfall:　胃GISTにおけるLECS(Laparoscopic Endoscopic Cooperative Surgery)のKnack & Pitfall.
手術. 67(8): 1173-1179, 2013

68. 永末裕友, 小西毅, 新井正美, 瀧景子, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 山本智理子
SMAD4遺伝子変異が診断に有用であった胃限局型若年性ポリポーシスの1例.
日本消化器外科学会雑誌. 46(5): 325-333, 2013

69. 池田篤志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 永田淳, 向井俊貴, 大野吏輝, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
1,601例のサーベイランスデータに基づく、腹腔鏡下大腸手術におけるSSI頻度と問題点の検討.
日本外科感染症学会雑誌. 10(3): 265-274, 2013

70. 清川貴志
胃の癌
Q89 胃癌の組織型とはどういう意味ですか？
Q90 胃癌は胃のどこからできるのですか？
Q91 胃の悪性リンパ腫はどんな病気ですか？
Q92 胃癌をみつける検査にはどんなものがありますか？
Q93 胃癌は血液検査でわかりますか？.新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるる出版: pp.96-99, 2013

71. 清川貴志, 布部創也, 比企直樹, 本多通孝, 田中友理, 山口俊晴
腹腔鏡下幽門保存胃切除術における術中病理診断の重要性を示す1例.
日本内視鏡外科学会雑誌. 18(6): 685-689, 2013

72. 渡邊雅之
食道がん　食道がん診断・治療の最前線.日本癌治療学会誌. 48(2): 329-343, 2013

73. 田中友理
胃の癌
Q97 CT検査でどんなことがわかりますか？
Q98 血行性転移とはどんなことですか？
Q99 リンパ節転移とはどんなことですか？
Q100 腹膜播種とはどんなことですか？
Q101 胃癌の臨床病期 (Stage) 分類を教えてください
Q102 胃癌のStage別生存率はどのくらいですか？
Q103 早期胃癌にはどんな型がありますか？
Q104 早期胃癌でもリンパ節転移はありますか？.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.103-110, 2013

74. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志
手術手技　下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術　側方郭清を含めて.
手術. 67(3): 355-359, 2013

75. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 山口俊晴
CRT時代の直腸癌手術：最善の戦略は何か：術前CRT症例における術後の問題：術後補助化学療法の必要性と術後機能障害.
臨床外科. 68(3): 296-300, 2013

76. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅
イレウスの手術up to date:　機械的単純性イレウスに対する開腹解除術.
手術. 67(2): 155-159, 2013

77. 秋吉高志, 岡田祥子
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 大腸がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 22-27, 2013

78. 窪田健, 比企直樹, 佐野武, 岡本和真, 市川大輔, 小松周平, 大辻英吾, 山口俊晴
消化器外科領域におけるドレーンの適正使用: 胃切除術/予防的ドレーンの必要性と適正使用.
日本外科感染症学会雑誌. 10(4): 401-407, 2013

79. 竹村信行, 齋浦明夫, 古賀倫太郎, 佐野武, 山口俊晴
切徐可能なStage IV胃癌に対する外科治療: 手術の適応と成績　肝転移例 胃癌同時性肝転移の手術適応と治療成績.臨床外科. 68(13): 1416-1421, 2013

80. 高橋祐, 平山光代
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき:

膵臓がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 42-47, 2013

81. 高橋祐, 有田淳一, 古賀倫太郎, 齋浦明夫
消化器癌術後フォローアップ: 膵癌術後フォローアップ.
外科. 75(10): 1077-1083, 2013

82. 高橋道郎, 齋浦明夫
指導にそのまま使える!アレンジできる!臓器&主要10術式別 患者説明パンフレット集: 肝臓の手術を受ける患者さんへ.
消化器外科Nursing. 18(10): 894-902, 2013

83. 齋浦明夫, 高橋祐, 古賀倫太郎, 有田淳一
吻合・縫合手技のコツと注意点: 膵切除後再建 膵断端縫合.
消化器外科. 36(10): 1489-1496, 2013

乳腺外科

1. Fukada, I., Nishimura, S., Tanabe, M., Morizono, H., Makita, M., Gomi, N., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Clear cell sarcoma of the neck which metastasized to the mammary gland.
Case. Rep. Oncol. 6(1): 55-61, 2013

2. Izumori, A., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Proposal of a novel method for observing the breast by high-resolution ultrasound imaging: understanding the normal breast structure and its application in an observational method for detecting deviations.
Breast Cancer. 20(1): 83-91, 2013

3. 中島絵里, 岩瀬拓士
誌上ディベート 乳腺を取る?取らない? 乳腺を取る.
アンチ・エイジング医学. 9(5): 740-743, 2013

4. 岡田明子, 宮城由美, 森園英智, 秋山太, 岩瀬拓士
乳管内癌巣に粗大な石灰化を伴う浸潤性乳管癌の１例.
乳癌の臨床. 28(4): 441-446, 2013

5. 岩村八千代, 木村聖美, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 西村誠一郎, 蒔田益次郎, 小泉満, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
診断治療の工夫 乳癌のセンチネルリンパ節内のRIの分布と転移巣の局在に関する検討.
乳癌の臨床. 28(2): 235-238, 2013

6. 岩瀬拓士, 大迫智, 秋山太
乳癌のセンチネルリンパ節生検：OSNA法のWhole node検索から見えてくるもの.リンパ学. 36(2): 91-94, 2013

7. 米倉利香, 西村誠一郎, 荻谷朗子, 田辺真彦, 何森亜由美, 坂井威彦, 森園英智, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 蒔田益次郎, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
画像上乳癌が疑われた梗塞壊死を伴った乳管腺腫の1例.
乳癌の臨床. 28(2): 225-230, 2013

8. 荻谷朗子, 武石優子
治療に伴う看護特集 主要な12がんの診療の流れ 患者説明にそのまま使えるシートつき: 乳がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 34-41, 2013

9. 蒔田益次郎
妊娠と乳癌: 妊娠関連乳癌の頻度と予後について.
乳癌の臨床. 28(1): 7-16, 2013

乳腺内科

1. Aogi, K., Rai, Y., Ito, Y., Masuda, N., Watanabe, J., Horiguchi, J., Tokudome, T., Takashima, S.
Efficacy and safety of ixabepilone in taxane-resistant patients with metastatic breast cancer previously treated with anthracyclines: results of a phase II study in Japan.
Cancer Chemother. Pharmacol. 71(6): 1427-33, 2013

2. Araki, K., Ito, Y., Takahashi, S.
Re: Superiority of denosumab to zoledronic acid for prevention of skeletal-related events: A combined analysis of three pivotal, randomised, phase 3 trials.

Eur. J. Cancer. 49(9): 2264-5, 2013

3. Honma, N., Horii, R., Iwase, T., Saji, S., Younes, M., Ito, Y., Akiyama, F.
Clinical importance of androgen receptor in breast cancer patients treated with adjuvant tamoxifen monotherapy.
Breast Cancer. 20(4): 323-330, 2013

4. Iwata, H., Narabayashi, M., Ito, Y., Saji, S., Fujiwara, Y., Usami, S., Katsura, K., Sasaki, Y.
A phase II study of lapatinib for brain metastases in patients with HER2-overexpressing breast cancer following trastuzumab based systemic therapy and cranial radiotherapy: subset analysis of Japanese patients.
Int. J. Clin. Oncol. 18(4): 621-8, 2013

5. Martin, M., Bonneterre, J., Geyer, C.E., Jr., Ito, Y., Ro, J., Lang, I., Kim, S.B., Germa, C., Vermette, J., Wang, K., Awada, A.
A phase two randomised trial of neratinib monotherapy versus lapatinib plus capecitabine combination therapy in patients with HER2+ advanced breast cancer.
Eur. J. Cancer. 49(18): 3763-72, 2013

6. Nakayama, Y., Ito, Y., Tanabe, M., Takahashi, S.
Diverticular bleeding of the colon during combination chemotherapy with bevacizumab and paclitaxel for recurrent breast cancer.
Case. Rep. Oncol. 6(1): 50-54, 2013

7. Suzuki, Y., Saeki, T., Aogi, K., Toi, M., Fujii, H., Inoue, K., Watanabe, T., Fujiwara, Y., Ito, Y., Takatsuka, Y., Iwata, H., Arioka, H., Tokuda, Y.
A multicenter phase II study of TSU-68, a novel oral multiple tyrosine kinase inhibitor, in patients with metastatic breast cancer progressing despite prior treatment with an anthracycline-containing regimen and taxane.
Int. J. Clin. Oncol. 18(4): 590-7, 2013

8. 伊藤良則
乳がん: 臨床編 治療のプランニング.
クリニシアン. 60(10): 816-826, 2013

9. 伊藤良則
乳がんの分子標的薬の新戦略: 転移再発乳がんに対するbevacizumabを含む治療の新戦略.
腫瘍内科. 12(1): 18-22, 2013

10. 伊藤良則
外科医が知っておくべき癌治療の薬物療法: 抗癌薬各論 乳癌の化学療法,分子標的治療.
外科. 75(12): 1318-1322, 2013

11. 伊藤良則
新薬展望2013: (第III部)治療における最近の新薬の位置付け<薬効別> 新薬の広場 乳癌治療薬.
医薬ジャーナル. 49(増刊): 338-345, 2013

12. 伊藤良則
用語解説 mTOR.
Cancer Board 乳癌. 6(1): 95, 2013

13. 岡田明子, 田辺真彦, 伊藤良則, 高橋俊二, 小口正彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
HER2陽性手術可能乳癌におけるtaxane、trastuzumab併用療法の心毒性.
乳癌の臨床. 28(3): 313-321, 2013

14. 荒木和浩, 伊藤良則
エビデンスに基づく乳癌診療の最前線: エビデンスに基づく補助療法 術後化学療法.
臨牀と研究. 90(10): 1329-1336, 2013

15. 荒木和浩
新しい分子標的治療薬: Perjeta Pertuzumab HER2陽性乳癌の期待される抗体治療薬.
乳癌の臨床. 28(3): 279-292, 2013

16. 荒木和浩, 船井和仁, 伊藤良則
転移がんの診断と治療: 肺転移の診断と治療.
腫瘍内科. 11(4): 419-426, 2013

17. 蜂須賀仁志, 高橋雅哉, 久島昭浩, 中本壽宏, 高橋克之, 岩村八千代, 若田光男, 長野佳世子, 中島拓也, 布村眞季, 荒木和浩
S-1+GEM併用療法無効後にGEM単独療法が著効した膵癌再発の1例.
癌と化学療法. 40(5): 639-642, 2013

婦人科

1. Abe, A., Utsugi, K., Nomura, H., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kato, K., Umayahara, K., Takeshima, N.
Ovarian teratoma with glomatosis peritonei: ten case reports.
Int. Cancer Conference J. 3(2): 99-103, 2013

2. Abe, A., Sugiyama, Y., Furuta, R., Furuta, N., Matoda, M., Takeshima, N.
Usefulness of intraoperative imprint cytology in ovarian germ cell tumors.
Acta Cytol. 57(2): 171-6, 2013

3. Eto, T., Saito, T., Shimokawa, M., Hatae, M., Takeshima, N., Kobayashi, H., Kasamatsu, T., Yoshikawa, H., Kamura, T., Konishi, I.
Status of treatment for the overall population of patients with stage IVb endometrial cancer, and evaluation of the role of preoperative chemotherapy: a retrospective multi-institutional study of 426 patients in Japan.
Gynecol. Oncol. 131(3): 574-80, 2013

4. Hasumi, K., Sugiyama, Y., Sakamoto, K., Akiyama, F.
Small endometrial carcinoma 10 mm or less in diameter: clinicopathologic and histogenetic study of 131 cases for early detection and treatment.
Cancer Med. 2(6): 872-80, 2013

5. Kato, K., Tate, S., Nishikimi, K., Shozu, M.
Assessment of intraoperative tube thoracostomy after diaphragmatic resection as part of debulking surgery for primary advanced-stage Mullerian cancer.
Gynecol. Oncol. 131(1): 32-5, 2013

6. Kato, K., Tate, S., Nishikimi, K., Shozu, M.
Bladder function after modified posterior exenteration for primary gynecological cancer.
Gynecol. Oncol. 129(1): 229-33, 2013

7. Kato, K., Tate, S., Nishikimi, K., Shozu, M.
Management of pancreatic fistulas after a splenectomy as part of cytoreductive surgery for ovarian cancer.
Int. J. Gynecol. Cancer. 23(8): 1506-11, 2013

8. Kato, K., Omatsu, K., Takeshima, N.
Secondary debulking surgery in ovarian cancer patients with isolated nodal recurrence located in the region above and behind the renal vein.
Gynecol. Oncol. 130(1): 226-8, 2013

9. Matoda, M., Tanigawa, T., Omatsu, K., Ushioda, N., Yamamoto, A., Okamoto, S., Kawamata, Y., Kato, K., Umayahara, K., Takeshima, N.
Platinum-free interval in second-line chemotherapy for recurrent cervical cancer.
Int. J. Gynecol. Cancer. 23(9): 1670-4, 2013

10. Mikami, M., Aoki, Y., Sakamoto, M., Shimada, M., Takeshima, N., Fujiwara, H., Matsumoto, T., Kita, T., Takizawa, K.
Current surgical principle for uterine cervical cancer of stages Ia2, Ib1, and IIa1 in Japan: a survey of the Japanese Gynecologic Oncology Group.
Int. J. Gynecol. Cancer. 23(9): 1655-60; quiz 1661-2, 2013

11. Nogawa, T., Hiura, M., Tanaka, H., Saito, T., Furuta, R., Watanabe, K., Kita, T., Yamamoto, K., Mikami, M., Takizawa, K.
Prospective evaluation of the Amplicor HPV test for predicting progression of cervical intraepithelial neoplasia 2.
J. Obstet. Gynaecol. Res. 39(8): 1347-53, 2013

12. Nomura, H., Abe, A., Yamamoto, A., Matoda, M., Omatsu, K., Kato, K., Umayahara, K., Furuta, R., Takeshima, N.
A case of recurrent fallopian tube carcinoma in situ with para-aortic lymph node metastasis.
Int. Cancer Conference J. 2: 161-164, 2013

13. Nomura, H., Okuda, K., Saito, N., Fujiyama, F., Nakamura, Y., Yamashita, Y., Terai, Y., Ohmichi, M.

Mini-laparoscopic surgery versus conventional laparoscopic surgery for patients with endometriosis.
Gynecol. Minim. Invasive Ther. 2(3): 85-88, 2013

14. 加藤一喜, 竹島信宏
婦人科がん手術の基本手技を学ぶ:　卵巣癌の骨盤部主病巣に対する根治術　腹膜ごと摘出.
産婦人科手術, (24): 77-81, 2013

15. 宇津木久仁子
婦人科がん手術：こんなときどうする？リンパ嚢胞の保存的治療と外科的治療.
OGS NOW. 14: 126-133, 2013

16. 山本阿紀子, 馬屋原健司, 谷口智子, 宇佐美知香, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
III・IV期進行子宮体癌に対する治療戦略 根治手術不能な進行子宮体がんにおける治療の現状.
日本婦人科腫瘍学会雑誌. 31(2): 137-142, 2013

17. 山本阿紀子, 岩瀬春子, 谷川輝美, 潮田至央, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
円錐切除後の子宮留膿症に認めた子宮頸部上皮内癌再発の1例.
東京産科婦人科学会会誌. 62(2): 242-247, 2013

18. 山本阿紀子, 本山悌一, 田中宏子, 的田眞紀, 坂本公彦, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
子宮体部に主座を有した中腎管腺癌の1例.
日本婦人科腫瘍学会雑誌. 31(4): 1043-1047, 2013

19. 山本阿紀子, 加藤一喜, 竹島信宏
治療に伴う看護特集　がん患者の術後ドレーン・チューブ管理:　子宮がん手術.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(4): 372-375, 2013

20. 山本阿紀子, 朝倉結希
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 子宮体がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 66-69, 2013

21. 山本阿紀子, 朝倉結希
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 子宮頸がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 70-74, 2013

22. 山本阿紀子, 岡本三四郎, 竹島信宏
進行婦人科がんの集学的治療:　子宮体がん 進行子宮体がんの治療戦略.
臨床婦人科産科. 67(11): 1116-1122, 2013

23. 滝澤憲著
「子宮がん」と言われたら：子宮がんの子宮頸がんと子宮体がんを解説：検査 診断 治療・手術.
東京, 保健同人社: 127p., 2013

24. 瀧澤憲
広汎子宮全摘術と術後治療の変遷.
日本婦人科腫瘍学会雑誌. 31(2): 95-99, 2013

25. 竹島信宏, 的田眞紀, 尾松公平
クリニカルパスの実例　婦人科癌.
外来癌化学療法. 4(1): 41-46, 2013

26. 竹島信宏, 的田眞紀, 山本阿紀子, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司
婦人科がん放射線治療の最新知見:　子宮頸癌放射線治療後の外科的治療(子宮全摘術・骨盤除臓術).
産婦人科の実際. 62(7): 965-969, 2013

27. 竹島信宏, 的田眞紀, 尾松公平
子宮体がん、子宮頸がんの薬物治療:　子宮頸がんに対する薬物療法の実際　術後補助療法に対する考え方　放射線療法vs化学療法、国内外における差異.
臨床腫瘍プラクティス. 9(1): 47-50, 2013

28. 竹島信宏, 山本阿紀子, 尾松公平
子宮頸癌治療の変遷と今後の展開:　子宮頸癌の化学療法　術前・術後化学療法.
産科と婦人科. 80(10): 1349-1354, 2013

29. 谷口智子, 馬屋原健司, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
長期生存が認められた子宮体癌IVB期の2症例.

東京産科婦人科学会会誌. 62(3): 469-473, 2013

30. 谷川輝美, 的田眞紀, 潮田至央, 野村秀高, 阿部彰子, 山本阿紀子, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
付属器腫瘍、GIST転移、膀胱腫瘍等の鑑別に苦慮した原発性卵管癌の1例.
東京産科婦人科学会会誌. 62(1): 159-163, 2013

31. 谷川輝美, 馬屋原健司, 山本阿紀子, 阿部彰子, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 室伏景子, 小口正彦, 竹島信宏
進行子宮頸部腺癌に対するパクリタキセルとシスプラチンを併用した放射線同時化学療法の有用性.
日本婦人科腫瘍学会雑誌. 31(4): 1031-1036, 2013

32. 野村秀高, 岩瀬春子, 阿部彰子, 谷口智子, 坂本公彦, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
上皮性卵巣癌pT1症例における系統的リンパ節郭清の治療的意義の後方視的検討.
関東連合産科婦人科学会誌. 50(4): 583-589, 2013

33. 野村秀高, 本田まゆみ
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 卵巣がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 60-64, 2013

34. 阿部彰子, 谷口智子, 宇佐美知香, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
低悪性度子宮内膜間質肉腫が術後5年で急速な進展をきたした1例.
東京産科婦人科学会会誌. 62(4): 557-561, 2013

35. 阿部彰子, 馬屋原健司, 山本阿紀子, 的田真紀, 尾松公平, 加藤一喜, 古田玲子, 荒井祐司, 杉山裕子, 竹島信宏
子宮頸癌同時化学放射線療法後の局所残存再発症例の検討.
日本臨床細胞学会雑誌. 52(6): 518-525, 2013

頭頸科

1. Kitano, M., Sugitani, I., Toda, K., Ikenaga, M., Motoi, N., Yamamoto, N., Hotomi, M., Fujimoto, Y., Kawabata, K.
Cytopathological review of patients that underwent thyroidectomies based on the diagnosis of papillary thyroid carcinoma by fine needle aspiration cytology but were later found to have benign tumors by histopathology.Surg. Today. 43(6): 632-7, 2013

2. Saito, Y., Mitani, H., Oguri, C., Shinbashi, W., Yonekawa, H., Kawabata, K.
Occult functioning vagal paraganglioma in the infrahyoid carotid sheath.Auris Nasus Larynx. 40(3): 330-3, 2013

3. Seto, A., Sugitani, I., Toda, K., Kawabata, K., Takahashi, S., Saotome, T.
Chemotherapy for anaplastic thyroid cancer using docetaxel and cisplatin: report of eight cases.Surg. Today. 45(2): 221-226, 2013

4. Yamamoto, Y., Yamada, K., Motoi, N., Fujiwara, Y., Toda, K., Sugitani, I., Kohno, A.
Sonographic findings in three cases of carcinoma showing thymus-like differentiation.J. Clin. Ultrasound. 4(9): 574-8, 2013

5. 三谷浩樹
リンパ節転移と郭清-癌腫別の意義:　頭頸部癌におけるリンパ節転移と郭清の意義.外科. 75(7): 700-707, 2013

6. 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 蛯名彩, 足立充孝, 福岡修, 志村英二, 日高竜太, 白尾浩太郎, 山田南星, 上里迅, 太田久幸, 長谷川温, 濱孝憲, 佐藤由紀子, 山本智理子, 高橋俊二
唾液腺癌の診断と治療up-to-date 顎下腺癌の治療.頭頸部癌. 39(3): 281-286, 2013

7. 佐々木徹
手術手技　私が愛用する手術器具　改良型電気メスForceTriVerseモノポーラ.
JOHNS. 29(2): 263-265, 2013

8. 北野睦三, 杉谷巌, 戸田和寿, 元井紀子, 藤本吉秀, 川端一嘉
気管浸潤と総頸動脈を3/4周取り囲み、切除不能と思われたCarcinoma showing thymus-like differentiation(CASTLE)の1例.日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌. 30(2): 156-159, 2013

9. 川端一嘉
プロに学ぶ手術所見の記載法: 咽喉頭頸部食道摘出術.JOHNS. 29(4): 757-762, 2013

10. 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 田中宏子
気管食道科領域における切除不能癌の対応: 気管食道科領域における切除不能癌について.日本気管食道科学会会報. 64(5): 313-319, 2013

11. 志村英二, 杉谷巌, 戸田和寿, 井下尚子, 佐藤由紀子, 元井紀子
頸部顆粒細胞腫の1症例.日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌. 30(2): 152-155, 2013

12. 木村幸紀, 柳澤昭夫, 山本智理子, 佐藤由紀子, 川端一嘉, 岡野友宏
Stage I・II舌扁平上皮癌におけるポドプラニン発現様式と頸部リンパ節後発転移との関係 筋層浸潤5mm未満の場合.頭頸部癌. 39(1): 27-32, 2013

13. 杉谷巌, 藤本吉秀
新たなるエビデンスの蓄積を: 甲状腺乳頭癌に対するTSH抑制療法の再発抑制効果についてのランダム化比較試験および骨密度への影響についての前向き試験.日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌. 30(1): 18-22, 2013

14. 杉谷巌
甲状腺腫瘍の最近のトピックス : 甲状腺未分化癌の臨床.病理と臨床. 31(1): 38-43, 2013

15. 田中宏子, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 佐藤由紀子
化学放射線同時併用療法後のCT・MRIによるリンパ節評価.頭頸部癌. 39(1): 66-71, 2013

16. 福島啓文
下咽頭癌はここまで治る: QOL向上を目指して 喉頭全摘出咽頭再建後の音声獲得法.JOHNS. 29(6): 1035-1040, 2013

17. 福島啓文
身につけたいリハビリテーションの最新スキル: シャント発声のリハビリテーション.耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 85(4): 326-332, 2013

整形外科

1. Matsumoto, S.
Current and future aspects of the Japanese medical system in the treatment of musculoskeletal tumors.J. Orthop. Sci. 18(4): 505-508, 2013

2. Sawaizumi, M., Imai, T., Matsumoto, S.Recent advances in reconstructive surgery for bone and soft tissue sarcomas.Int. J. Clin. Oncol. 18(4): 566-73, 2013

3. Sawamura, C., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Okawa, A.
Lymphadenectomy and histologic subtype affect overall survival of soft tissue sarcoma patients with nodal metastases.Clin. Orthop. Relat. Res. 471(3): 926-31, 2013

4. 佐藤嘉尚, 植野映子, 河野敦, 松本誠一
単純X線撮影からみた骨・関節疾患の診断: 骨腫瘍の単純X線写真の基本.臨床画像. 29(1): 59-72, 2013

5. 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷沢泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 小柳広高, 澤村千草
外来で見逃さない軟部腫瘍: 軟部肉腫の手術.関節外科. 32(6): 662-669, 2013

6. 松本誠一
悪性軟部腫瘍.Medecament News, (2118): 6-7, 2013

7. 藤渕剛次, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 小口正彦, 宮島悟史, 秋本健太
塩化ストロンチウム-89投与後に生じた大腿骨転子下骨折に対し外科的治療時に被曝対策を要した1例.整形外科. 64(9): 987-991, 2013

8. 蛭田啓之, 徳山宣, 松本誠一, 下地尚病理検体の取扱い.癌診療指針のための病理診断プラクティス : 骨・軟部腫瘍 (青笹克之総編集), 東京, 中山書店: pp.356-363, 2013

9. 谷澤泰介, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 五木田茶舞, 早川景子, 坂井雅幸, 馬城はるか, 笠間栄美, 田井康裕, 森田定雄
悪性骨軟部腫瘍-治療の進歩とリハビリテーション: 骨軟部腫瘍術後の機能障害とリハビリテーション.Journal of Clinical Rehabilitation. 22(12): 1180-1188, 2013

泌尿器科

1. Kroeger, N., Xie, W., Lee, J.L., Bjarnason, G.A., Knox, J.J., Mackenzie, M.J., Wood, L., Srinivas, S., Vaishamayan, U.N., Rha, S.Y., Pal, S.K., Yuasa, T., Donskov, F., Agarwal, N., Kollmannsberger, C.K., Tan, M.H., North, S.A., Rini, B.I., Choueiri, T.K., Heng, D.Y.
Metastatic non-clear cell renal cell carcinoma treated with targeted therapy agents: characterization of survival outcome and application of the International mRCC Database Consortium criteria.Cancer. 119(16): 2999-3006, 2013

2. Masuda, H.
Editorial comment to longitudinal leak point pressure measurements in rats using a modified port a cath system.
Int. J. Urol. 20(12): 1242, 2013

3. Tanaka, H., Yuasa, T., Fujii, Y., Sakura, M., Urakami, S., Yamamoto, S., Masuda, H., Fukui, I., Yonese, J.
First-line combination chemotherapy with cisplatin, etoposide and ifosfamide for the treatment of disseminated germ cell cancer: Re-evaluation in the granulocyte colony-stimulating factor era.Chemotherapy. 59(6): 441-446, 2013

4. Yasuda, Y., Yuasa, T., Yamamoto, S., Urakami, S., Ito, M., Sukegawa, G., Kitsukawa, S., Yonese, J., Fukui, I.
Evaluation of the RENAL nephrometry scoring system in adopting nephron-sparing surgery for cT1 renal cancer.Urol. Int. 90(2): 179-83, 2013

5. Yasuda, Y., Fujii, Y., Yuasa, T., Kitsukawa, S., Urakami, S., Yamamoto, S., Yonese, J., Takahashi, S., Fukui, I.
Possible improvement of survival with use of zoledronic acid in patients with bone metastases from renal cell carcinoma.Int. J. Clin. Oncol. 18(5): 877-883, 2013

6. Yasuda, Y., Saito, K., Yuasa, T., Kitsukawa, S., Urakami, S., Yamamoto, S., Yonese, J., Takahashi, S., Fukui, I.
Prognostic impact of pretreatment C-reactive protein for patients with metastatic renal cell carcinoma treated with tyrosine kinase inhibitors.Int. J. Clin. Oncol. 18(5): 884-887, 2013

7. Yuasa, T., Kitsukawa, S., Sukegawa, G., Yamamoto, S., Kudo, K., Miyazawa, K., Kozuka, T., Harada, S., Yonese, J.
Early onset recall pneumonitis during targeted therapy with sunitinib.BMC Cancer. 13: 3, 2013

8. 増田均
前立腺全摘除術後の合併症-予防と対処: 尿失禁:軽症～中等度 男性スリング手術.臨床泌尿器科. 67(3): 217-222, 2013

9. 増田均
前立腺癌 尿失禁に対する男性用スリング手術.排尿障害プラクティス. 21(3): 231-238, 2013

10. 増田均
実践マニュアル 人工尿道括約筋 手術の実際とコツ.Urology Today. 20(2): 90-94, 2013

11. 増田均, 平川菜穂美
治療に伴う看護特集 主要な12がんの診療の流れ 患者説明にそのまま使えるシートつき: 膀胱がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 48-53, 2013

12. 山本真也, 平川菜穂美
治療に伴う看護特集 主要な12がんの診療の流れ 患者説明にそのまま使えるシートつき: 前立腺がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 54-59, 2013

13. 山本真也
泌尿器の癌
Q459 局限性前立腺癌に対する治療後のQOL変化とは何ですか？

Q460 ホルモン療法の副作用とその予防法について
Q461 前立腺癌に抗癌剤治療は有効ですか？
Q462 米国で認可された前立腺癌の免疫療法とはどんな治療法ですか？.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.470-473, 2013

14. 浦上慎司
泌尿器の癌
Q446 膀胱全摘術はどんな場合に必要となりますか？
Q447 自排尿型新膀胱の利点と欠点について教えて下さい
Q448 膀胱癌が転移したときの治療法について教えて下さい.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.456-458, 2013

15. 湯浅健
キナーゼ阻害薬の新しい展開: 腎がんに対するキナーゼ阻害剤.BIO Clinica. 28(1): 33-38, 2013

16. 湯浅健, 齋藤一隆, 藤井靖久
分子標的薬時代開幕5年目を迎えた進行腎癌の治療戦略の現状と展望: 効果,副作用,予後に関するバイオマーカー.臨床泌尿器科. 67(1): 75-81, 2013

17. 湯浅健
泌尿器の癌
Q436 腎癌はどこに転移しやすいですか？
Q437 インターフェロンαによる免疫療法について教えてください
Q438 分子標的治療とはどんな治療ですか？.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.445-448, 2013

18. 湯浅健, 羽渕友則
泌尿器疾患の病態と診断・治療(I): 腎細胞癌.医学と薬学. 70(1): 5-12, 2013

19. 湯浅健
質問BOX 分子標的治療薬の副作用として生じる間質性肺炎について、その予防法と初期症状、症状が生じた場合、看護師はどう介入できるかについて教えてほしいです.泌尿器ケア. 18(6): 630-632, 2013

20. 砂倉瑞明, 藤井靖久, 増田均, 上原翔, 秋山佳之, 助川玄, 田中一, 吉川慎一, 浦上慎司, 湯浅健, 山本真也, 米瀬淳二, 福井巖
腹腔鏡下小切開腎部分切除における綿状コラーゲン製止血材の初期使用経験.Pharma Medica. 31(3): 207-209, 2013

21. 米瀬淳二, 砂倉瑞明, 増田均, 藤井靖久
ミニマム創腎部分切除の導入と初期経験.日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌. 5(1): 133-136, 2013

22. 米瀬淳二
患者さんへの説明にそのまま使える!泌尿器がんのすべて: (7章)陰茎がん 陰茎がんの手術.泌尿器ケア, (2013夏季増刊): 300-303, 2013

23. 米瀬淳二
患者さんへの説明にそのまま使える!泌尿器がんのすべて: (7章)陰茎がん 陰茎がんの手術以外の治療法.泌尿器ケア, (2013夏季増刊): 304-305, 2013

24. 米瀬淳二
患者さんへの説明にそのまま使える!泌尿器がんのすべて: (7章)陰茎がん 陰茎がんの検査.泌尿器ケア, (2013夏季増刊): 296-299, 2013

25. 米瀬淳二
患者さんへの説明にそのまま使える! 泌尿器がんのすべて: (7章)陰茎がん 陰茎がんの病態.泌尿器ケア, (2013夏季増刊): 288-294, 2013

26. 米瀬淳二
治療に伴う看護特集 がん患者の術後ドレーン・チューブ管理: 前立腺がん手術.プロフェッショナルがんナーシング. 3(4): 369-371, 2013

27. 米瀬淳二
泌尿器の癌
Q467 精巣腫瘍の病期分類と転移しやすい部位を教えて下さい
Q468 転移した精巣腫瘍落治療について教えてください
Q469 化学療法施行後に残存した腫瘍の切除手術は受けるべきでしょうか？

Q470 性腺外胚細胞腫瘍とはどんな病気ですか？.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へるす出版: pp.478-481, 2013

28. 米瀬淳二
質問BOX　泌尿器ケア誌の2012年10月号p.73に、回腸導管造設術で術後に尿管ステントを抜去するときは「2日かけて片側ずつ抜去します」とありますが、なぜ片側ずつ抜去するのですか?一度に抜いてはいけないのでしょうか?泌尿器ケア. 18(3): 270-271, 2013

29. 藤井靖久
泌尿器の癌
Q429 腎臓の働きについて教えて下さいQ430 腎癌の危険因子は何ですか？
Q431 腎癌の腎外症状(paraneoplastic syndrome)とは何ですか？
Q432 腎癌の診断に有用な検査は何ですか？.
新 癌についての質問に答える (「コンセンサス癌治療」編集委員会編集), 東京, へする出版: pp.438-441, 2013

血液腫瘍科

1. Doi, T., Hamaguchi, T., Shirao, K., Chin, K., Hatake, K., Noguchi, K., Otsuki, T., Mehta, A., Ohtsu, A.
Evaluation of safety, pharmacokinetics, and efficacy of vorinostat, a histone deacetylase inhibitor, in the treatment of gastrointestinal (GI) cancer in a phase I clinical trial.Int. J. Clin. Oncol. 18(1): 87-95, 2013

2. Ogura, M., Tobinai, K., Hatake, K., Uchida, T., Suzuki, T., Kobayashi, Y., Mori, M., Terui, Y., Yokoyama, M., Hotta, T.
Phase I study of obinutuzumab (GA101) in Japanese patients with relapsed or refractory B-cell non-Hodgkin lymphoma.Cancer Sci. 104(1): 105-10, 2013

3. Ogura, M., Hatake, K., Tobinai, K., Uchida, T., Suzuki, T., Terui, Y., Yokoyama, M., Maruyama, D., Mori, M., Jewell, R.C., Katsura, K., Hotta, T.
Phase I study of ofatumumab, a human anti-CD20 antibody, in Japanese patients with relapsed or refractory chronic lymphocytic leukemia and small lymphocytic lymphoma.Jpn. J. Clin. Oncol. 43(5): 466-475, 2013

4. Suzuki, K., Terui, Y., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Yokoyama, M., Takahashi, S., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Prognostic value of C-reactive protein, lactase dehydrogenase and anemia in recurrent or refractory aggressive lymphoma.Jpn. J. Clin. Oncol. 43(1): 37-44, 2013

5. Suzuki, K., Terui, Y., Yokoyama, M., Ueda, K., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Prognostic value of high thymidine kinase activity in previously untreated diffuse large B-cell lymphoma patients treated by R-CHOP.Leuk. Lymphoma. 54(11): 2412-2417, 2013

6. Ueda, K., Terui, Y., Yokoyama, M., Sakajiri, S., Nishimura, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Non-gastric advanced mucosa-associated lymphoid tissue (MALT) lymphoma has worse prognosis than gastric MALT lymphoma even when treated with rituximab-containing chemotherapy.Leuk. Lymphoma. 54(9): 1928-33, 2013

7. Yokoyama, M., Terui, Y., Takeuchi, K., Nara, E., Nakano, K., Ueda, K., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Tsuyama, N., Ozawa, K., Hatake, K.
Infusion rate escalation study of rituximab in patients with CD20+ B-cell lymphomas:　A single institution analysis in Japan.ISRN Oncol.: 2013:863909, 2013

8. 大内彩, 畠清彦
分子標的薬時代の耳鼻咽喉科診療-処方するとき, 服用患者を診るときのポイント: 分子標的薬を服用する患者の診方 白血病・悪性リンパ腫に対する分子標的薬の服用患者の診方.耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 85(7): 500-505, 2013

9. 横山雅大
抗がん剤外来治療コンセプトシート2013:　抗がん剤の外来治療と注意点　リツキシマブの外来治療とrapid infusion.医学のあゆみ. 246(9): 687-692, 2013

10. 横山雅大
癌薬物療法の副作用対策　支持療法と用量調整のポイント: 血液毒性の支持療法と用量調整.コンセンサス癌治療. 12(4): 194-196, 2013

11. 照井康仁
2種併用, 3種併用, そして4種併用の効果と副作用 : I.食治療の概念.多発性骨髄腫Updating 第3巻 多発性骨髄腫の治療目標 (安倍正博ほか編), 大阪, 医薬ジャーナル社: pp.28-34, 2013

12. 照井康仁
５.微小管阻害薬: 1.ビンカアルカロイド系.抗がん薬の臨床薬理 (相羽恵介編), 東京, 南山堂: 2013

13. 照井康仁
８低悪性度非ホジキンリンパ腫.チーム医療のための血液がんの標準的化学療法 (直江知樹, 堀部敬三監修), 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル: pp.357-367, 2013

14. 照井康仁
Hematologic Malignancies/Pediatric Malignancies 血液・リンパ腫瘍　多発性骨髄腫の治療における支持療法.癌と化学療法. 40(5): 594-595, 2013

15. 照井康仁
がんの分子標的治療:進歩と課題:　骨髄腫に対する抗体医薬ダラツムマブ.Pharma Medica. 31(11): 27-30, 2013

16. 照井康仁
フローサイトメトリーの診療への活用Update: フローサイトメトリー法の基礎研究から臨床応用へのステップアップ.医学のあゆみ. 245(12): 1020-1024, 2013

17. 照井康仁
急性骨髄性白血病(AML)診療の現状と新たな展開 : AMLに対する抗体療法の臨床応用.血液内科. 67(5): 601-603, 2013

18. 照井康仁
患者会との関係 : 日本骨髄腫患者の会を例に.もっと知りたい！がんの治験・臨床試験 (畠清彦編), 東京, 医歯薬出版: pp.54-59, 2013

19. 照井康仁
抗がん剤外来治療コンセプトシート2013:　抗がん剤の外来治療と注意点　骨髄腫　ベルケイドの静脈投与から皮下投与へ.医学のあゆみ. 246(9): 684-686, 2013

20. 照井康仁
発熱性好中球減少症の診療:　発熱性好中球減少症の治療戦略.癌と化学療法. 40(6): 688-692, 2013

21. 照井康仁
白血病、リンパ腫に対する化学療法薬とボルテゾミブの併用効果.血液内科. 66(5): 658-661, 2013

22. 照井康仁
眼で見る悪性リンパ腫.最新医学. 別冊(新しい診断と利用のABC 79): 4-9, 2013

23. 照井康仁
第8章 臨床現場の敗血症治療のニーズと研究開発 第2節 血液がんにおける敗血症治療のアンメットニーズ.敗血症の診断／治療の実情と病態･メカニズムをふまえた開発戦略 (安保公介企画編集), 東京, 技術情報協会: pp.554-556, 2013

24. 照井康仁
造血器腫瘍:　多発性骨髄腫.アニムス. 18(2): 16-19, 2013

25. 畠清彦
がん外来化学療法における支持療法と病診連携.東京都医師会雑誌. 66(6): 617-623, 2013

26. 畠清彦
新薬展望2013:　(第III部)治療における最近の新薬の位置付け<薬効別>　新薬の広場　血液腫瘍治療薬.医薬ジャーナル. 49(増刊): 354-360, 2013

27. 畠清彦編集
(最新医学別冊 新しい診断と治療のABC 79. 血液;9) 悪性リンパ腫. 大阪, 最新医学社:

230p., 2013

28. 草野善晴, 津山直子, 照井康仁
私のこの一枚　非分泌型多発性骨髄腫の1例.血液フロンティア. 23(9): 1193-1199, 2013

総合腫瘍科

1. Araki, K., Ito, Y., Takahashi, S.
Re: Superiority of denosumab to zoledronic acid for prevention of skeletal-related events: A combined analysis of three pivotal, randomised, phase 3 trials.Eur. J. Cancer. 49(9): 2264-5, 2013

2. Fukada, I., Nishimura, S., Tanabe, M., Morizono, H., Makita, M., Gomi, N., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Clear cell sarcoma of the neck which metastasized to the mammary gland.Case. Rep. Oncol. 6(1): 55-61, 2013

3. Kurahashi, I., Fujita, Y., Arao, T., Kurata, T., Koh, Y., Sakai, K., Matsumoto, K., Tanioka, M., Takeda, K., Takiguchi, Y., Yamamoto, N., Tsuya, A., Matsubara, N., Mukai, H., Minami, H., Chayahara, N., Yamanaka, Y., Miwa, K., Takahashi, S., Nakagawa, K., Nishio, K.
A microarray-based gene expression analysis to identify diagnostic biomarkers for unknown primary cancer.
PLoS One. 8(5): e63249, 2013

4. Nakayama, Y., Ito, Y., Tanabe, M., Takahashi, S.
Diverticular bleeding of the colon during combination chemotherapy with bevacizumab and paclitaxel for recurrent breast cancer.Case. Rep. Oncol. 6(1): 50-54, 2013

5. Seto, A., Sugitani, I., Toda, K., Kawabata, K., Takahashi, S., Saotome, T.
Chemotherapy for anaplastic thyroid cancer using docetaxel and cisplatin: report of eight cases.Surg. Today. 45(2): 221-226, 2013

6. Suzuki, K., Terui, Y., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Yokoyama, M., Takahashi, S., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Prognostic value of C-reactive protein, lactase dehydrogenase and anemia in recurrent or refractory aggressive lymphoma.Jpn. J. Clin. Oncol. 43(1): 37-44, 2013

7. Yamaguchi, K., Sawaki, A., Doi, T., Satoh, T., Yamada, Y., Omuro, Y., Nishina, T., Boku, N., Chin, K., Hamamoto, Y., Takiuchi, H., Komatsu, Y., Saji, S., Koizumi, W., Miyata, Y., Sato, A., Baba, E., Tamura, T., Abe, T., Ohtsu, A.
Efficacy and safety of capecitabine plus cisplatin in Japanese patients with advanced or metastatic gastric cancer: subset analyses of the AVAGAST study and the ToGA study.Gastric Cancer. 16(2): 175-82, 2013

8. Yasuda, Y., Fujii, Y., Yuasa, T., Kitsukawa, S., Urakami, S., Yamamoto, S., Yonese, J., Takahashi, S., Fukui, I.
Possible improvement of survival with use of zoledronic acid in patients with bone metastases from renal cell carcinoma.Int. J. Clin. Oncol. 18(5): 877-883, 2013

9. Yasuda, Y., Saito, K., Yuasa, T., Kitsukawa, S., Urakami, S., Yamamoto, S., Yonese, J., Takahashi, S., Fukui, I.
Prognostic impact of pretreatment C-reactive protein for patients with metastatic renal cell carcinoma treated with tyrosine kinase inhibitors.Int. J. Clin. Oncol. 18(5): 884-887, 2013

10. Yoshino, T., Hasegawa, Y., Takahashi, S., Monden, N., Homma, A., Okami, K., Onozawa, Y., Fujii, M., Taguchi, T., de Blas, B., Beier, F., Tahara, M.
Platinum-based chemotherapy plus cetuximab for the first-line treatment of Japanese patients with recurrent and/or metastatic squamous cell carcinoma of the head and neck: results of a phase II trial.Jpn. J. Clin. Oncol. 43(5): 524-31, 2013

11. 小林隆之, 伊藤良則
乳がん個別化薬物治療の実践-HER2陽性/陰性をポイントとして:　トリプルネガティブ乳がん

をどう扱うか.臨床腫瘍プラクティス. 9(4): 410-416, 2013

12. 高橋俊二
オンコロジーエマージェンシーと支持療法の進歩: 高カルシウム血症と低ナトリウム血症.呼吸器内科. 23(3): 239-243, 2013

13. 高橋俊二
主訴から診断へ-臨床現場の思考経路: 全身的な訴え リンパ節腫脹 リンパの腫れを訴える患者が来たら…….診断と治療. 101(Suppl.): 28-31, 2013

14. 高橋俊二
乳癌治療におけるデノスマブとゾレドロン酸の有効性と有用性.内分泌・糖尿病・代謝内科. 37(4): 453-459, 2013

15. 高橋俊二
変貌するがん免疫療法: サイトカインによるがん治療.腫瘍内科. 12(2): 130-136, 2013

16. 高橋俊二
新しい分子標的治療薬: デノスマブ.乳癌の臨床. 28(3): 261-268, 2013

17. 高橋俊二
新しい分子標的治療薬による治療戦略: 悪性黒色腫に対する新しい分子標的薬.癌と化学療法. 40(1): 19-25, 2013

18. 高橋俊二
新しい医療技術 抗RANKL抗体(デノスマブ)による骨転移の予防と治療.整形・災害外科. 56(4): 385-390, 2013

19. 高橋俊二
最新の骨粗鬆症学-骨粗鬆症の最新知見: 骨粗鬆症の類縁疾患の診断と治療 がんの骨転移とがん治療に伴う骨粗鬆症.日本臨床. 71(増刊2 最新の骨粗鬆症学): 603-608, 2013

20. 高橋俊二
続発性骨粗鬆症-診断と対策-: 悪性腫瘍と骨病変 抗腫瘍治療と骨粗鬆症.THE BONE. 27(2): 211-216, 2013

21. 高橋俊二
薬剤による内分泌障害と内分泌疾患治療薬の副作用: 薬剤による内分泌障害 アロマターゼ阻害剤による骨粗鬆症.内分泌・糖尿病・代謝内科. 36(2): 109-115, 2013

22. 高橋俊二
誌上シンポジウム 転移性骨腫瘍 治療の進歩 転移性骨腫瘍の薬物療法.臨床整形外科. 48(7): 657-661, 2013

23. 高橋俊二
転移性骨腫瘍への治療戦略(脊椎・骨盤・四肢) 原発不明がん(carcinoma of unknown primary,CUP) 骨転移の化学療法.日本整形外科学会雑誌. 87(10): 878-882, 2013

24. 高橋俊二
骨評価法の進歩: 骨転移に対する骨代謝マーカーによる治療効果の評価.Clinical Calcium. 23(3): 391-400, 2013

総合内科

1. 中山耕之介ほか分担執筆
痛風・高尿酸血症治療薬ほか.2013年治療薬マニュアル (高久史麿, 矢崎義雄監修, 北原光夫ほか編集), 東京, 医学書院: 2013

麻酔科

1. Miyakoshi, A., Kohno, M., Nagata, O., Sora, S., Sato, H.
Hydrocephalus associated with vestibular schwannomas: perioperative changes in cerebrospinal fluid.Acta Neurochir. 155(7): 1271-6, 2013

2. Morino, R., Ozaki, M., Nagata, O., Yokota, M.
Incidence of and risk factors for postoperative nausea and vomiting at a Japanese Cancer Center: first large-scale study in Japan.J. Anesth. 27(1): 18-24, 2013

3. 吉村美音, 長田理, 河野道宏, 山崎隆史, 前知子, 大橋正悟
パークベンチ体位での術中褥瘡発生危険因子の検討.
日本臨床麻酔学会誌. 33(1): 75-83, 2013

4. 服部政治
オキシコドン注射剤で速やかなタイトレーションを行った3症例.Pharma Medica. 31(1): 99-105, 2013

5. 服部政治, 寶田潤子
オキシコドン速放散で始めるがん患者のオピオイド治療.
Pharma Medica. 31(11): 83-88, 2013

6. 服部政治, 寶田潤子
徹底理解!鎮痛補助薬　基礎・臨床に裏づけられた効果とその限界:　投与経路を考慮したこれからの疼痛治療　脊髄鎮痛法.薬局. 64(7): 2153-2158, 2013

7. 森野良蔵, 横田美幸
PONV　術後嘔気嘔吐　本邦の現状と課題.臨床麻酔. 37(9): 1357-1366, 2013

8. 横田美幸, 羽尻裕美
痛みの治療として使う超音波ガイド下神経ブロック:　超音波ガイド下神経ブロックの課題　超音波ガイド下神経ブロックの診療報酬の現状と差来.ペインクリニック. 34(別冊秋): S295-S306, 2013

9. 横田美幸, 森野良蔵, 関誠, 大島勉
術後呼吸合併症と呼吸モニタリング 周術期医療事故における術後呼吸合併症の重要性について.日本臨床麻酔学会誌. 33(1): 150-155, 2013

10. 長田理
あらゆる科で役立つ!麻酔科で学びたい技術　手にとるようにわかる、麻酔の基本概念と手技・周術期管理のポイント、知っておくべき病態の知識:　(第3章)周術期管理の基本の習得を目指す　術後疼痛管理の戦略.レジデントノート. 15(5): 933-937, 2013

腫瘍精神科

1. 佐伯吉規, 山田健志, 下田和孝, 向山雄人
外科医が知っておくべき緩和ケア:　癌患者の精神症状への対応　してはいけないこと,してほしいこと.外科. 75(4): 367-374, 2013

2. 山田健志, 林田由美子, 佐伯吉規
無床総合病院精神科の現在:　コンサルテーション・リエゾン精神科から緩和ケアチームへ　がん専門病院における症状管理について.総合病院精神医学. 25(2): 144-150, 2013

3. 山田健志
精神症状（不眠・せん妄など）を伴う患者の周術期管理.新版泌尿器科周術期管理のすべて (荒井陽一ほか編), 東京, メジカルビュー: pp.37-42, 2013

形成外科

1. Sawaizumi, M., Imai, T., Matsumoto, S.
Recent advances in reconstructive surgery for bone and soft tissue sarcomas.Int. J. Clin. Oncol. 18(4): 566-73, 2013

2. 林信, 上田倫弘, 山下徹郎, 矢島和宜
軟組織再建　患者のQOL向上を目指して 遊離前外側大腿皮弁による口腔再建術.日本口腔腫瘍学会誌. 25(4): 160-165, 2013

3. 棚倉健太, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩
マイクロサージャリーにおける合併症とその対策:　上肢の再建における合併症とその対策.PEPARS, (80): 28-37, 2013

4. 澤泉雅之
乳がん患者ケア乳房再建(人工乳房・自家組織). がん看護セレクション:乳がん患者ケア (阿部恭子, 矢形寛編集), 東京, 学研メディカル秀潤社: pp.102-106, 2013

5. 澤泉雅之, 今井智浩
広背筋皮弁.Orthoplastic Surgery：四肢再建手術の実際 (平瀬雄一, 矢島弘嗣編), 東京, 克誠堂出版: pp.231-234, 2013

6. 矢島和宜, 澤泉雅之
マイクロサージャリーにおける合併症とその対策:　腹部遊離皮弁を用いた乳房再建における合併症回避の要点と合併症対策(特にDIEP flapを中心に).PEPARS, (80): 16-27, 2013

7. 矢島和宜, 澤泉雅之
乳房再建術update：ティッシュエキスパンダーおよびシリコンインプラントを用いた一次二期乳房再建術の要点とピットフォール
Oncoplastic surgeryの観点から.PEPARS, (84): 1-16, 2013

眼　科

1. 辻英貴, 鈴木茂伸, 加瀬諭
新しい展望　眼腫瘍.眼科. 55(8): 865-904, 2013

2. 辻英貴
涙道の後天異常: 涙道の腫瘍性病変について教えてください.あたらしい眼科. 30(臨増): 105-108, 2013

3. 辻英貴
霰粒腫と脂腺癌の見分け方.眼手術学 2; 眼瞼(野田実香編集), 東京, 文光堂: pp.156-159, 2013

感染症科

1. 原田壮平
今からできる!抗菌薬の適正使用Tips30:　患者別、抗菌薬の適正使用　ここに注意!免疫不全患者における抗菌薬の適正使用.INFECTION CONTROL. 22(6): 567-569, 2013

2. 原田壮平
今からできる!抗菌薬の適正使用Tips30:　検査がわからなきゃ抗菌薬の適正使用はできない!これで間違わない!感受性結果の読み方.INFECTION CONTROL. 22(6): 590-593, 2013

3. 原田壮平
医療関連感染症　起こさないためにどうするか?　起きてしまったらどうするか?: 特定の微生物による医療関連感染症 本邦でみられる多剤耐性菌感染症.内科. 112(5): 953-957, 2013

4. 原田壮平
抗菌薬の実践的で有効な最新の使いかた　耐性菌克服を目指した実地診療のすべて:　実地臨床現場で遭遇する耐性菌克服を目指した実地診療の実際　β-ラクタマーゼ産生菌.Medical Practice. 30(12): 2141-2145, 2013

5. 原田壮平
決定版!アウトブレイク対応のすべて-イザというときの動き方を徹底解説-:　アウトブレイク調査における微生物検査.INFECTION CONTROL. 22(3): 251-254, 2013

漢方サポート科

1. Horiuchi, Y., Chino, A., Matsuo, Y., Kishihara, T., Uragami, N., Fujimoto, Y., Ueno, M., Tamegai, Y., Hoshino, E., Igarashi, M.
Diagnosis of laterally spreading tumors (LST) in the rectum and selection of treatment: Characteristics of each of the subclassifications of LST in the rectum.Dig. Endosc. 25(6): 608-614, 2013

2. 星野惠津夫, 静貴生, 井上美貴, 徳原真, 福元晃
Cachexiaと栄養管理:　漢方からみたcachexiaとその治療.栄養-評価と治療. 30(4): 287-292, 2013

3. 星野惠津夫, 静貴生, 井上美貴, 徳原真, 福元晃
がん治療期における緩和ケアの取り組み: 漢方薬によるがん患者の諸症状の緩和.がん患者と対症療法. 24(2): 126-130, 2013

4. 星野惠津夫, 静貴生, 徳原真
上部消化管疾患-変貌する疾患構造のなかで実地医家に求められる最新知識のすべて-:　実地医家が知っておくべき治療の進歩とその活用　上部消化管疾患における漢方の使いかたと有用性.Medical Practice. 30(7): 1250-1253, 2013

5. 星野惠津夫, 徳原真, 井上美貴
消化管疾患に対する漢方医学からのアプローチ-現状と展開：概論　消化器疾患に対する漢方アプローチの歴史的背景・現状・今後の展望.臨床消化器内科. 28(2): 151-159, 2013

6. 星野惠津夫
漢方薬を駆使したがん患者の心のサポート.日本東洋心身医学研究. 28(1/2): 16-22, 2013

7. 星野惠津夫著
がん研有明病院で今起きている 漢方によるがん治療の奇蹟がん研有明病院で今起きている. 東京, 海竜社: 238p., 2013

緩和治療科

1. 佐伯吉規, 山田健志, 下田和孝, 向山雄人
外科医が知っておくべき緩和ケア:　癌患者の精神症状への対応　してはいけないこと,してほしいこと.外科. 75(4): 367-374, 2013

放射線治療科

1. Nakamura, N., Shikama, N., Wada, H., Harada, H., Nozaki, M., Nagakura, H., Tago, M., Oguchi, M., Uchida, N.
Variability in the point to which single direct field irradiation is prescribed for spinal bone metastases: a survey of practice patterns in Japan.J. Radiat. Res. 54(6): 1065-8, 2013

2. Okano, S., Yoshino, T., Fujii, M., Onozawa, Y., Kodaira, T., Fujii, H., Akimoto, T., Ishikura, S., Oguchi, M., Zenda, S., de Blas, B., Tahara, M., Beier, F.
Phase II study of cetuximab plus concomitant boost radiotherapy in Japanese patients with locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck.Jpn. J. Clin. Oncol. 43(5): 476-82, 2013

3. Onoe, T., Nose, T., Yamashita, H., Yoshioka, M., Toshiyasu, T., Kozuka, T., Oguchi, M., Nakagawa, K.
High-dose-rate interstitial brachytherapy for gynecologic malignancies--dosimetric changes during treatment period.J. Radiat. Res. 54(4): 663-70, 2013

4. Otani, Y., Yamada, T., Kato, S., Shikama, N., Funakoshi, K., Kuroda, I., Numasaki, H., Nose, T., Dokiya, T., Oguchi, M.
Source strength assay of iodine-125 seeds sealed within sterile packaging.J. Appl. Clin. Med. Phys. 14(2): 4082, 2013

5. Tachibana, H., Takahashi, R.
Quantitative analysis of geometric information from an end-to-end examination of IMRT and VMAT using the optimal selection method.Med. Phys. 40(6): 061709, 2013

6. Yuasa, T., Kitsukawa, S., Sukegawa, G., Yamamoto, S., Kudo, K., Miyazawa, K., Kozuka, T., Harada, S., Yonese, J.
Early onset recall pneumonitis during targeted therapy with sunitinib.BMC Cancer. 13: 3, 2013

8. 上原隆三，橘英伸，伊藤康，吉野慎一，松林史泰，佐藤智春
線量分布解析におけるラジオクロミックフィルムドジメトリーの正確性の向上に関する取り組み　フラットベッドスキャナの影響の補正法と色成分を利用した補正法の組み合わせ.日本放射線技術学会雑誌. 69(6): 617-631, 2013

9. 佐藤智春
書評：外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法（標準計測法12）.Isotope News, (706): 44-45, 2013

10. 小口正彦
悪性リンパ腫-診断と治療の進歩:　悪性リンパ腫の強度変調放射線治療.日本医師会雑誌. 142(5): 1046, 2013

画像診断部

1. Yamamoto, Y., Yamada, K., Motoi, N., Fujiwara, Y., Toda, K., Sugitani, I., Kohno, A.
Sonographic findings in three cases of carcinoma showing thymus-like differentiation.J. Clin. Ultrasound. 4(9): 574-8, 2013

2. 五味直哉
乳癌BOOK 2013：MRIで乳腺を診よう! 乳房MRIの実際　有用性と基盤となる技術.Rad Fan. 11(14): 42-44, 2013

3. 五味直哉
実践!乳腺の画像診断:　乳腺疾患の臨床放射線科医に求められる役割.画像診断. 33(9): 972-982, 2013

4. 五味直哉，國分優美，小泉満，松枝清
癌取扱い規約からみた悪性腫瘍の病期診断と画像診断2013年版:　乳腺腫瘍　乳癌.臨床放射線. 58(11): 1575-1592, 2013

5. 五味直哉，伊藤良則，笹野公伸，深田一平
術前薬物療法の効果判定(第4回).Cancer Board 乳癌. 6(1): 5-23, 2013

6. 五味直哉，伊藤良則，笹野公伸，深田一平
術前薬物療法の効果判定(第5回).Cancer Board 乳癌. 6(2): 105-122, 2013

7. 五味直哉, 國分優美, 堀井理絵, 亀井桂太郎, 藤田崇史, 大西清, 矢形寛, 坂本尚美, 小野稔, 福間英祐, 渡辺良二, 位藤俊一
誌上ケースカンファレンス　次の一手は(第1回)　血性乳頭分泌を呈して来院した非触知病変の診断.乳腺甲状腺超音波医学. 2(1): 38-42, 2013

8. 五味直哉
「高分解能超音波」と「MRI」を用いて乳腺画像を読み解く 乳房MRIの基礎の基礎.Rad Fan. 11(10): 5-7, 2013

9. 佐藤嘉尚, 植野映子, 河野敦, 松本誠一
単純X線撮影からみた骨・関節疾患の診断: 骨腫瘍の単純X線写真の基本.臨床画像. 29(1): 59-72, 2013

10. 佐藤嘉尚, 齋田幸久, 植野映子, 松枝清, 河野敦, 山田和彦
癌の術後画像診断-合併症と局所再発のチェックポイント : (第4章)食道癌 食道癌根治術.画像診断. 33(11): s50-s60, 2013

11. 叶篤浩, 松枝清
大腸癌肝転移up to date:　大腸癌肝転移の術前画像診断.外科. 75(8): 809-817, 2013

12. 松枝清
動注リザーバー　肝動注リザーバー留置の基本技術とコツ.IVR: Interventional Radiology. 28(4): 463-468, 2013

13. 松枝清, 叶篤浩, 植野映子, 小山眞道, 五味直哉, 田中宏子, 山田恵子, 河野敦
癌取扱い規約からみた悪性腫瘍の病期診断と画像診断2013年版:　肝胆膵腫瘍　肝・胆道.臨床放射線. 58(11): 1513-1535, 2013

14. 植野映子, 佐藤嘉尚, 河野敦, 松本誠一, 下地尚
ケースレビュー:画像診断必修知識習得のための指導医と研修医の問答集:　骨軟部ケース　すりガラス像でわかること.臨床画像. 29(4月増刊): 172-173, 2013

15. 植野映子, 佐藤嘉尚, 河野敦, 松本誠一, 下地尚
ケースレビュー:画像診断必修知識習得のための指導医と研修医の問答集:　骨軟部ケース　内軟骨腫　軟骨性病変の特徴とは?臨床画像. 29(4月増刊): 174-175, 2013

16. 植野映子, 佐藤嘉尚, 河野敦, 松本誠一, 下地尚
ケースレビュー:画像診断必修知識習得のための指導医と研修医の問答集:　骨軟部ケース　色素性絨毛結節性滑膜炎は炎症じゃないんですか?臨床画像. 29(4月増刊): 176-177, 2013

17. 植野映子, 佐藤嘉尚, 河野敦, 松本誠一, 下地尚
ケースレビュー:画像診断必修知識習得のための指導医と研修医の問答集:　骨軟部ケース　軟骨帽が見えにくいのですが?臨床画像. 29(4月増刊): 168-169, 2013

18. 植野映子, 佐藤嘉尚, 河野敦, 松本誠一, 下地尚
ケースレビュー:画像診断必修知識習得のための指導医と研修医の問答集:　骨軟部ケース　骨肉腫に見る骨悪性腫瘍の画像的特徴.臨床画像. 29(4月増刊): 170-171, 2013

19. 田中宏子, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 佐藤由紀子
化学放射線同時併用療法後のCT・MRIによるリンパ節評価.頭頸部癌. 39(1): 66-71, 2013

20. 田中宏子
悪性腫瘍の病期診断-治療法と予後の分岐点を見極める-:　頭頸部.画像診断. 33(4): s9-s21, 2013

核医学部

1. Hasegawa, T., Oda, K., Wada, Y., Sasaki, T., Sato, Y., Yamada, T., Matsumoto, M., Murayama, H., Kikuchi, K., Miyatake, H., Abe, Y., Miwa, K., Akimoto, K., Wagatsuma, K.
Validation of novel calibration scheme with traceable point-like (22)Na sources on six types of PET scanners.Ann. Nucl. Med. 27(4): 346-54, 2013

2. Inubushi, M., Saga, T., Koizumi, M., Takagi, R., Hasegawa, A., Koto, M., Wakatuki, M., Morikawa, T., Yoshikawa, K., Tanimoto, T., Fukumura, T., Yamada, S., Kamada, T.
Predictive value of 3'-deoxy-3'-[18F]fluorothymidine positron emission tomography/computed tomography for outcome of carbon ion radiotherapy in patients with head and neck

mucosal malignant melanoma.Ann. Nucl. Med. 27(1): 1-10, 2013

3. Minamimoto, R., Senda, M., Jinnouchi, S., Terauchi, T., Yoshida, T., Murano, T., Fukuda, H., Iinuma, T., Uno, K., Nishizawa, S., Tsukamoto, E., Iwata, H., Inoue, T., Oguchi, K., Nakashima, R.
The current status of an FDG-PET cancer screening program in Japan, based on a 4-year (2006-2009) nationwide survey.Ann. Nucl. Med. 27(1): 46-57, 2013

4. Minamimoto, R., Terauchi, T., Jinnouchi, S., Yoshida, T., Tsukamoto, E., Shimbo, T., Ito, K., Uno, K., Ohno, H., Oguchi, K., Kato, S., Kaneko, K., Satoh, Y., Tamaki, T., Nakahara, T., Morooka, M., Inoue, T., Senda, M.
Observer variation study of the assessment and diagnosis of incidental colonic FDG uptake.Ann. Nucl. Med. 27(5): 468-77, 2013

5. Ohmachi, K., Niitsu, N., Uchida, T., Kim, S.J., Ando, K., Takahashi, N., Uike, N., Eom, H.S., Chae, Y.S., Terauchi, T., Tateishi, U., Tatsumi, M., Kim, W.S., Tobinai, K., Suh, C., Ogura, M.
Multicenter phase II study of bendamustine plus rituximab in patients with relapsed or refractory diffuse large B-cell lymphoma.J. Clin. Oncol. 31(17): 2103-9, 2013

6. Sugyo, A., Tsuji, A.B., Sudo, H., Nagatsu, K., Koizumi, M., Ukai, Y., Kurosawa, G., Zhang, M.R., Kurosawa, Y., Saga, T.
Evaluation of ^{89}Zr-labeled human anti-CD147 monoclonal antibody as a positron emission tomography probe in a mouse model of pancreatic cancer.PLoS One. 8(4): e61230, 2013

7. Yoshida, C., Tsuji, A.B., Sudo, H., Sugyo, A., Kikuchi, T., Koizumi, M., Arano, Y., Saga, T.
Therapeutic efficacy of c-kit-targeted radioimmunotherapy using 90Y-labeled anti-c-kit antibodies in a mouse model of small cell lung cancer.PLoS One. 8(3): e59248, 2013

8. 三輪建太, 我妻慧
CTとMRIにおける新しい心拍同期法によるラット左室駆出率の交差検証.公益財団法人政策医療振興財団研究助成事業報告書：放射線 pp.1-18, 2013

9. 三輪建太
SNM2012に参加して.. 69(3): 340-341, 2013

10. 三輪建太, 我妻慧, 梅田拓朗, 村田泰輔, 大沢敦, 滝口智洋
放射線治療におけるPETの役割.GE today in technology: 14-17, 2013

11. 三輪建太
遠隔転移とその理解：PETによる遠隔転移検索.日本放射線技術学会核医学分科会雑誌. 66: 44-49, 2013

12. 宮司典明, 三輪建太, 我妻慧, 梅田拓朗, 村田泰輔, 滝口智洋, 小泉満
トレーサブル68Ge/68Ga標準線源を用いたPET用ドーズキャリブレータの精度管理.日本放射線技術学会雑誌. 69(12): 1379-1386, 2013

13. 小泉満
骨代謝マーカーUpdate-研究と臨床:　悪性腫瘍の骨転移における骨代謝マーカー.医学のあゆみ. 246(12): 1037-1041, 2013

内視鏡診療部

1. Horiuchi, Y., Chino, A., Matsuo, Y., Kishihara, T., Uragami, N., Fujimoto, Y., Ueno, M., Tamegai, Y., Hoshino, E., Igarashi, M.
Diagnosis of laterally spreading tumors (LST) in the rectum and selection of treatment: Characteristics of each of the subclassifications of LST in the rectum.Dig. Endosc. 25(6): 608-614, 2013

2. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Shimizu, T., Ishikawa, H., Matsuo, Y., Yoshizawa, N., Suganuma, T., Dan, K., Omae, M., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Yamamaoto, Y., Tsuchida, T., Hoshino, E., igarashi, M., Hiki, N., Yamaguchi, T., Nakajima, T., Takahashi, H.
Extensive 0-IIc (undifferentiated carcinoma) lesion around a gastric adenoma: a case report.Clin. J. Gastroenterol. 6(3): 221-225,

2013

3. Osumi, H., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Suenaga, M., Mingyon, M., Saiura, A., Ueno, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Acquired drug resistance conferred by a KRAS gene mutation following the administration of cetuximab: a case report.BMC Res. Notes. 6: 508, 2013

4. Suzuki, S., Kusano, C., Yoshizawa, N., Nakamura, M., Hirasawa, T., Gotoda, T., Moriyasu, F.
Long-term release of a malignant ileal obstruction by placement of a colorectal self-expandable metal stent.Clin. J. Gastroenterol. 6(3): 202-206, 2013

5. 五十嵐正広
小腸・大腸　抗生物質起因性出血性大腸炎.
消化器病学:基礎と臨床 (浅香正博, 菅野健太郎, 千葉勉編集), 東京, 西村書店東京出版編集部: pp.987-990, 2013

6. 五十嵐正広
腫瘍性病変：消化管ポリポーシス.
専門医のための消化器病学 第2版 (小俣政男, 千葉勉監修, 下瀬川徹, 渡辺守, 木下芳一, 金子周一, 樫田博史編集),東京, 医学書院: pp.229-237, 2013

7. 古家英寿, 平戸宏, 八木道夫, 櫻井勗, 山田彩子, 関光徳, 遠藤豊, 五十嵐正広, 井上詠, 上野文昭
AJG522の日本人健康成人における安全性および大腸内視鏡検査前処置に対する有効性の検討.
臨床薬理. 44(2): 53-60, 2013

8. 吉澤奈津子
術後の問題点編：超高齢者の内視鏡検査適応・注意点は？.消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.159, 2013

9. 吉澤奈津子, 藤崎順子, 大前雅実, 清水智樹, 堀内裕介, 石川寛高, 松尾康正, 菅沼孝紀, 檀清寿, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広, 井下尚子, 山本智理子
表在型Barrett食道癌の深達度診断について CV(caliber variation)の所見はSM癌の診断に有用か.Therapeutic Research. 34(5): 596-600, 2013

10. 堀内裕介
Q&A：範囲診断における有用性はあるか？.消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.88-90, 2013

11. 大隅寛木, 篠崎英司, 粂川陽祐, 小倉真理子, 尾坂将人, 末永光邦, 松阪諭, 陳勁松, 水沼信之, 横山雅大
Oxaliplatinを含む化学療法中に著明な血小板減少を来した3症例.癌と化学療法. 40(11): 1557-1560, 2013

12. 大隅寛木, 陳勁松
外科医が知っておくべき癌治療の薬物療法: 支持療法・緩和療法 抗癌薬の有害反応に対する薬物療法.外科. 75(12): 1409-1413, 2013

13. 岸原輝仁, 五十嵐正広, 森重健二郎, 千野晶子, 浦上尚之, 為我井芳郎
下部直腸・肛門部疾患の診断と治療:　肛門管癌とくに扁平上皮癌の早期診断と治療.臨床消化器内科. 28(11): 1475-1480, 2013

14. 岸原輝仁, 五十嵐正広
最新消化器内視鏡治療のすべて:　内視鏡的ポリペクトミー　大腸.消化器内視鏡. 25(9): 1419-1421, 2013

15. 森重健二郎, 山本頼正, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
5年間の経過で腺腫から腺癌に進行した早期十二指腸癌の1例.Prog. Dig. Endosc. 83(1): 122-123, 2013

16. 森重健二郎, 千野晶子, 大野吏輝, 秋吉高志, 谷口智香, 鈴木翔, 菅沼孝紀, 壇清寿, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 古田玲子, 山本智理子
NBI拡大観察にて診断し得た肛門管扁平上皮癌の2例.Prog. Dig. Endosc. 82(1): 206-207,20, 2013

17. 森重健二郎
Q&A：ひとかき癌にはどう対応するか？.消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.102-103, 2013

18. 武藤徹一郎編集主幹, 杉原健一, 藤森孝博, 五十嵐正広, 渡辺聡明編集
大腸疾患NOW. 東京, 日本メディカルセンター: 143p., 2013

19. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 福長洋介, 菅沼孝紀, 谷口智香, 鈴木翔, 富田英臣, 清水智樹, 宮本勇治, 岡本恒平, 千野晶子, 上野雅資, 藤崎順子, 五十嵐正広
大腸EMR/ESDの現状と適応:　大腸ESDとEMR・EPMRの現状と適応区分、および一括切除困難例に対する手技(LECS)の工夫.消化器内科. 57(3): 293-302, 2013

20. 為我井芳郎, 千野晶子, 岸原輝仁, 鈴木翔, 谷口智香, 森重健二郎, 浦上尚之, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資, 五十嵐正広
大腸ESDの適応と実際: 歯状線に接する病変に対するESDの適応と実際.
胃と腸. 48(2): 173-183, 2013

21. 為我井芳郎, 千野晶子, 岸原輝仁, 谷口智香, 森重健二郎, 鈴木翔, 菅沼孝紀, 浦上尚之, 五十嵐正広
安全かつ効率的な大腸ESDを目指して: 大腸ESD　私の一工夫　歯状線に接する病変に対するESD.Intestine. 17(1): 91-94, 2013

22. 石川寛高, 為我井芳郎, 千野晶子, 岡田和久, 今井瑞香, 岸原輝仁, 浦上尚之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
線維化病変に対する大腸ESDの検討.Prog. Dig. Endosc. 82(1): 64-67,1, 2013

23. 谷口智香
術後の問題点編：ESD後の病理結果が組織混在型の場合どうするか？.消化管内視鏡エキスパート; 2 胃癌 (藤崎順子編集), 東京, 中外医学社: pp.155-157, 2013

24. 鈴木翔, 千野晶子, 清水智樹, 谷口智香, 宮本勇治, 岡本恒平, 富田英臣, 菅沼孝紀, 岸原輝仁, 浦上尚之, 藤崎順子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
直腸粘膜脱症候群の超音波内視鏡検査所見の検討.Prog. Dig. Endosc. 83(1): 152-153,13, 2013

臨床部

1. Doi, T., Hamaguchi, T., Shirao, K., Chin, K., Hatake, K., Noguchi, K., Otsuki, T., Mehta, A., Ohtsu, A.
Evaluation of safety, pharmacokinetics, and efficacy of vorinostat, a histone deacetylase inhibitor, in the treatment of gastrointestinal (GI) cancer in a phase I clinical trial.Int. J. Clin. Oncol. 18(1): 87-95, 2013

2. Kuboki, Y., Matsusaka, S., Minowa, S., Shibata, H., Suenaga, M., Shinozaki, E., Mizunuma, N., Ueno, M., Yamaguchi, T., Hatake, K.
Circulating tumor cell (CTC) count and epithelial growth factor receptor expression on CTCs as biomarkers for cetuximab efficacy in advanced colorectal cancer.Anticancer Res. 33(9): 3905-3910, 2013

3. Nakayama, Y., Ito, Y., Tanabe, M., Takahashi, S.
Diverticular bleeding of the colon during combination chemotherapy with bevacizumab and paclitaxel for recurrent breast cancer.Case. Rep. Oncol. 6(1): 50-54, 2013

4. Ogura, M., Tobinai, K., Hatake, K., Uchida, T., Suzuki, T., Kobayashi, Y., Mori, M., Terui, Y., Yokoyama, M., Hotta, T.
Phase I study of obinutuzumab (GA101) in Japanese patients with relapsed or refractory B-cell non-Hodgkin lymphoma.Cancer Sci. 104(1): 105-10, 2013

5. Ogura, M., Hatake, K., Tobinai, K., Uchida, T., Suzuki, T., Terui, Y., Yokoyama, M., Maruyama, D., Mori, M., Jewell, R.C., Katsura, K., Hotta, T.
Phase I study of ofatumumab, a human anti-CD20 antibody, in Japanese patients with relapsed or refractory chronic lymphocytic leukemia and small lymphocytic lymphoma.Jpn. J. Clin. Oncol. 43(5): 466-475, 2013

6. Suzuki, K., Terui, Y., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Yokoyama, M., Takahashi, S., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K. Prognostic value of C-reactive protein, lactase dehydrogenase and anemia in recurrent or refractory aggressive lymphoma.Jpn. J. Clin. Oncol. 43(1): 37-44, 2013

7. Suzuki, K., Terui, Y., Yokoyama, M., Ueda, K., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K. Prognostic value of high thymidine kinase activity in previously untreated diffuse large B-cell lymphoma patients treated by R-CHOP. Leuk. Lymphoma. 54(11): 2412-2417, 2013

8. Takagi, S., Sato, S., Oh-Hara, T., Takagi, M., Koike, S., Mishima, Y., Hatake, K., Fujita, N. Platelets promote tumor growth and metastasis via direct interaction between Aggrus/Podoplanin and CLEC-2.PLoS One. 8(8): e73609, 2013

9. Ueda, K., Terui, Y., Yokoyama, M., Sakajiri, S., Nishimura, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K. Non-gastric advanced mucosa-associated lymphoid tissue (MALT) lymphoma has worse prognosis than gastric MALT lymphoma even when treated with rituximab-containing chemotherapy.Leuk. Lymphoma. 54(9): 1928-33, 2013

10. Yokoyama, M., Terui, Y., Takeuchi, K., Nara, E., Nakano, K., Ueda, K., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Tsuyama, N., Ozawa, K., Hatake, K. Infusion rate escalation study of rituximab in patients with CD20+ B-cell lymphomas: A single institution analysis in Japan.ISRN Oncol.: 2013:863909, 2013

遺伝子診療部

1. 新井正美
CQ21：乳癌家族歴は乳癌発症のリスク因子となるか.乳癌診療ガイドライン②疫学・診断編 2013年版 (日本乳癌学会編), 東京, 金原出版: pp.61-63, 2013

2. 新井正美
CQ27：日本人の乳癌発症リスク評価にGailモデルはすすめられるか.乳癌診療ガイドライン②疫学・診断編 2013年版 (日本乳癌学会編), 東京, 金原出版: pp.79-80, 2013

3. 新井正美
CQ30-32: *BRCA1*あるいは*BRCA2*遺伝子変異をもつ女性に対するリスク低減乳房切除術は有効か.乳癌診療ガイドライン②疫学・診断編 2013年版 (日本乳癌学会編), 東京, 金原出版: pp.98-108, 2013

4. 新井正美
MEN2の遺伝カウンセリングにおける留意点.多発性内分泌腫瘍症ガイドブック (多発性内分泌腫瘍症診療ガイドブック編集委員会編), 東京, 金原出版: pp.121, 2013

5. 新井正美
RET遺伝学的検査実施施設, 手続について.多発性内分泌腫瘍症ガイドブック (多発性内分泌腫瘍症診療ガイドブック編集委員会編), 東京, 金原出版: pp.122, 2013

6. 新井正美
家族性腫瘍患者と家族へのかかわり　がん遺伝看護の観点から：Q&Aで説くがんと遺伝のABC 遺伝リスクのあるがん患者にかかわる前に知っておきたいこと.臨床看護. 39(2): 168-174, 2013

7. 新井正美, 岩瀬春子, 岩瀬拓士, 古田玲子, 本山悌一, 石川雄一, 芦原有美, 喜多瑞穂, 滝澤憲, 竹島信宏
遺伝性乳がん卵巣がんの現状-問題点と展望: BRCA1/2遺伝子変異保有者におけるリスク低減両側卵巣卵管切除術の実施(第1報).家族性腫瘍. 13(2): 52-58, 2013

8. 新井正美
遺伝性乳癌と遺伝学的検査、遺伝カウンセリング.乳癌診療ガイドライン②疫学・診断編 2013年版 (日本乳癌学会編), 東京, 金原出版: pp.85-94, 2013

臨床検査センター

1. 上東野誉司美, 八木靖二, 友田美穂子
尿検査教本From 2013: (第2章)ワンポイントレッスン 尿沈渣における膜部顆粒成分凝集状脱ヘモグロビン赤血球の臨床的有用性.臨床病理レビュー, (149): 86-87, 2013

2. 上東野誉司美, 八木靖二, 高橋ひろみ, 友田美穂子, 吉羽勢津子, 滝澤久暢, 海老原文, 岸原輝仁, 三宅一徳
赤痢アメーバ性腸炎診断における一般検査室での大腸粘膜組織片直接鏡検法の有用性.Medical Technology. 41(11): 1226-1229, 2013

3. 八木靖二, 友田美穂子, 上東野誉司美, 奥村恵美
尿検査教本From 2013: (第1章)総論 尿沈渣検査における悪性細胞の位置づけと課題.臨床病理レビュー, (149): 45-51, 2013

超音波検査部

1. Yamamoto, Y., Yamada, K., Motoi, N., Fujiwara, Y., Toda, K., Sugitani, I., Kohno, A.
Sonographic findings in three cases of carcinoma showing thymus-like differentiation.J. Clin. Ultrasound. 4(9): 574-8, 2013

2. 富樫保行
先輩が伝授する超音波検査100の教え: (第7章)乳房 多発小嚢胞像がみられた時には何を考えるか.Medical Technology. 41(13): 1520-1521, 2013

3. 富樫保行
先輩が伝授する超音波検査100の教え: (第7章)乳房 構築の乱れをとらえるにはどうすればよいか.Medical Technology. 41(13): 1522-1523, 2013

4. 山田恵子
唾液腺・甲状腺のすべて: 副甲状腺・唾液腺疾患の超音波診断.画像診断. 33(3): 291-301, 2013

5. 山田恵子
唾液腺・甲状腺のすべて: 甲状腺疾患の超音波診断.画像診断. 33(3): 266-279, 2013

6. 山田恵子
癌取扱い規約からみた悪性腫瘍の病期診断と画像診断2013年版: 頭頸部腫瘍 甲状腺・副甲状腺.臨床放射線. 58(11): 1487-1511, 2013

病理部

1. Abe, A., Sugiyama, Y., Furuta, R., Furuta, N., Matoda, M., Takeshima, N.
Usefulness of intraoperative imprint cytology in ovarian germ cell tumors.Acta Cytol. 57(2): 171-6, 2013

2. Aogi, K., Saeki, T., Nakamura, S., Kashiwaba, M., Sato, N., Masuda, N., Rai, Y., Ohno, S., Kuroi, K., Nishimura, R., Miyakoda, K., Akiyama, F., Kurosumi, M., Ikeda, T.
A multicenter, phase II study of epirubicin/cyclophosphamide followed by docetaxel and concurrent trastuzumab as primary systemic therapy for HER-2 positive advanced breast cancer (the HER2NAT study).Int. J. Clin. Oncol. 18(4): 598-606, 2013

3. Fujii, T., Takatsuka, N., Nagata, C., Matsumoto, K., Oki, A., Furuta, R., Maeda, H., Yasugi, T., Kawana, K., Mitsuhashi, A., Hirai, Y., Iwasaka, T., Yaegashi, N., Watanabe, Y., Nagai, Y., Kitagawa, T., Yoshikawa, H.
Association between carotenoids and outcome of cervical intraepithelial neoplasia: a prospective cohort study.Int. J. Clin. Oncol. 18(6): 1091-101, 2013

4. Fukada, I., Nishimura, S., Tanabe, M., Morizono, H., Makita, M., Gomi, N., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Clear cell sarcoma of the neck which metastasized to the mammary gland.Case. Rep. Oncol. 6(1): 55-61, 2013

5. Hasumi, K., Sugiyama, Y., Sakamoto, K., Akiyama, F.
Small endometrial carcinoma 10 mm or less in diameter: clinicopathologic and histogenetic study of 131 cases for early detection and treatment.Cancer Med. 2(6): 872-80, 2013

6. Honma, N., Horii, R., Iwase, T., Saji, S., Younes, M., Ito, Y., Akiyama, F.
Clinical importance of androgen receptor in breast cancer patients treated with adjuvant tamoxifen monotherapy.Breast Cancer. 20(4): 323-330, 2013

7. Ichikawa, K., Fujimori, T., Moriya, T., Ochiai, A., Yoshinaga, S., Kushima, R., Nagahama, R., Ohkura, Y., Tanaka, S., Ajioka, Y., Hirata, I., Tanaka, M., Hoshihara, Y., Kinoshita, Y., Sasano, H., Iwashita, A., Tomita, S., Hirota, S., Yao, T., Fujii, S., Matsuda, T., Ueno, H., Ishikawa, Y., Takubo, K., Fukushima, N., Sugai, T., Iwafuchi, M., Imura, J., Manabe, T., Fukayama, M.
Digestive disease management in Japan: a report on The 6th Diagnostic Pathology Summer Fest in 2012.Digestion. 88(3): 153-60, 2013

8. Izumori, A., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Proposal of a novel method for observing the breast by high-resolution ultrasound imaging: understanding the normal breast structure and its application in an observational method for detecting deviations.Breast Cancer. 20(1): 83-91, 2013

9. Kawabata, K.C., Ehata, S., Komuro, A., Takeuchi, K., Miyazono, K.
TGF-β-induced apoptosis of B-cell lymphoma Ramos cells through reduction of MS4A1/CD20.Oncogene. 32(16): 2096-106, 2013

10. Kawano, Y., Ohyanagi, F., Yanagitani, N., Kudo, K., Horiike, A., Tanimoto, A., Nishizawa, H., Ichikawa, A., Sakatani, T., Nakatomi, K., Hagiwara, S., Ninomiya, H., Motoi, N., Ishikawa, Y., Horai, T., Nishio, M.
Pemetrexed and cisplatin for advanced non-squamous non-small cell lung cancer in japanese patients: phase II study.Anticancer Res. 33(8): 3327-33, 2013

11. Kawazu, M., Ueno, T., Kontani, K., Ogita, Y., Ando, M., Fukumura, K., Yamato, A., Soda, M., Takeuchi, K., Miki, Y., Yamaguchi, H., Yasuda, T., Naoe, T., Yamashita, Y., Katada, T., Choi, Y.L., Mano, H.
Transforming mutations of RAC guanosine triphosphatases in human cancers.Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A. 110(8): 3029-3034, 2013

12. Kitano, M., Sugitani, I., Toda, K., Ikenaga, M., Motoi, N., Yamamoto, N., Hotomi, M., Fujimoto, Y., Kawabata, K.
Cytopathological review of patients that underwent thyroidectomies based on the diagnosis of papillary thyroid carcinoma by fine needle aspiration cytology but were later found to have benign tumors by histopathology.Surg. Today. 43(6): 632-7, 2013

13. Miyanaga, A., Shimizu, K., Noro, R., Seike, M., Kitamura, K., Kosaihira, S., Minegishi, Y., Shukuya, T., Yoshimura, A., Kawamoto, M., Tsuchiya, S., Hagiwara, K., Soda, M., Takeuchi, K., Yamamoto, N., Mano, H., Ishikawa, Y., Gemma, A.
Activity of EGFR-tyrosine kinase and ALK inhibitors for *EML4-ALK*-rearranged non-small-cell lung cancer harbored coexisting EGFR mutation.BMC Cancer. 13: 262, 2013

14. Nagashima, T., Sakao, Y., Mun, M., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Masuda, M., Okumura, S.
A clinicopathological study of resected small-sized squamous cell carcinomas of the peripheral lung: prognostic significance of serum carcinoembryonic antigen levels.
Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 19(5): 351-357, 2013

15. Ninomiya, H., Kato, M., Sanada, M., Takeuchi, K., Inamura, K., Motoi, N., Nagano, H., Nomura, K., Sakao, Y., Okumura, S., Mano, H., Ogawa, S., Ishikawa, Y.
Allelotypes of lung adenocarcinomas featuring *ALK* fusion demonstrate fewer onco- and suppressor gene changes.BMC Cancer. 13(1): 8, 2013

16. Nishida, Y., Takeuchi, K., Tsuda, K., Ugai, T., Sugihara, H., Yamakura, M., Takeuchi, M., Matsue, K.
Acquisition of t(11;14) in a patient with chronic lymphocytic leukemia carrying both t(14;19)(q32;q13.1) and +12.Eur. J. Haematol. 91(2): 179-182, 2013

17. Nishihara, R., Wu, K., Lochhead, P., Morikawa, T., Liao, X., Qian, Z.R., Inamura, K., Kim, S.A., Kuchiba, A., Yamauchi, M., Imamura, Y., Willett, W.C., Rosner, B.A., Fuchs, C.S., Giovannucci, E., Ogino, S., Chan, A.T.
Long-term colorectal-cancer incidence and mortality after lower endoscopy.The New England journal of medicine. 369(12): 1095-105, 2013

18. Nogawa, T., Hiura, M., Tanaka, H., Saito, T., Furuta, R., Watanabe, K., Kita, T., Yamamoto, K., Mikami, M., Takizawa, K.
Prospective evaluation of the Amplicor HPV test for predicting progression of cervical intraepithelial neoplasia 2.J. Obstet. Gynaecol. Res. 39(8): 1347-53, 2013

19. Nomura, H., Abe, A., Yamamoto, A., Matoda, M., Omatsu, K., Kato, K., Umayahara, K., Furuta, R., Takeshima, N.
A case of recurrent fallopian tube carcinoma in situ with para-aortic lymph node metastasis.
Int. Cancer Conference J. 2: 161-164, 2013

20. Osako, T., Iwase, T., Kimura, K., Horii, R., Akiyama, F.
Detection of occult invasion in ductal carcinoma *in situ* of the breast with sentinel node metastasis.Cancer Sci. 104(4): 453-7, 2013

21. Osako, T., Tsuda, H., Horii, R., Iwase, T., Yamauchi, H., Yagata, H., Tsugawa, K., Suzuki, K., Kinoshita, T., Akiyama, F., Nakamura, S.
Molecular detection of lymph node metastasis in breast cancer patients treated with preoperative systemic chemotherapy: a prospective multicentre trial using the one-step nucleic acid amplification assay.Br. J. Cancer. 109(6): 1693-8, 2013

22. Osako, T., Iwase, T., Akiyama, F.
Reply: isolated tumour cells and micrometastases in intraductal breast cancer: a simple mechanical question in some cases.Br. J. Cancer. 108(9): 1921, 2013

23. Osako, T., Iwase, T., Akiyama, F.
Reply: One-step nucleic acid amplification assay also predicts axillary lymph node status in breast cancer patients: further molecular diagnostic evidence.Eur. J. Cancer. 49(18): 3947-8, 2013

24. Osako, T., Takeuchi, K., Horii, R., Iwase, T., Akiyama, F.
Secretory carcinoma of the breast and its histopathological mimics: value of markers for differential diagnosis.Histopathology. 63(4): 509-519, 2013

25. Osako, T., Iwase, T., Kimura, K., Horii, R., Akiyama, F.
Sentinel node tumour burden quantified based on cytokeratin 19 mRNA copy number predicts non-sentinel node metastases in breast cancer: molecular whole-node analysis of all removed nodes.Eur. J. Cancer. 49(6): 1187-1195, 2013

26. Otani, Y., Yamada, T., Kato, S., Shikama, N., Funakoshi, K., Kuroda, I., Numasaki, H., Nose, T., Dokiya, T., Oguchi, M.
Source strength assay of iodine-125 seeds sealed within sterile packaging.J. Appl. Clin. Med. Phys. 14(2): 4082, 2013

27. Sato, T., Kaneda, A., Tsuji, S., Isagawa, T., Yamamoto, S., Fujita, T., Yamanaka, R., Tanaka, Y., Nukiwa, T., Marquez, V.E., Ishikawa, Y., Ichinose, M., Aburatani, H.
PRC2 overexpression and PRC2-target gene repression relating to poorer prognosis in small cell lung cancer.Sci. Rep. 3: 1911, 2013

28. Sekiguchi, Y., Yoshikawa, H., Shimada, A., Imai, H., Wakabayashi, M., Sugimoto, K., Nakamura, N., Sawada, T., Takeuchi, K., Ohta, Y., Komatsu, N., Noguchi, M.
Primary hepatic circumscribed Burkitt's lymphoma that developed after acute hepatitis B : report of a case with a review of the literature.J. Clin. Exp. Hematop. 53(2): 167-73, 2013

29. Suda, K., Inoshita, N., Iguchi, G., Fukuoka, H., Takahashi, M., Nishizawa, H., Yamamoto, M., Yamada, S., Takahashi, Y.
Efficacy of combined octreotide and cabergoline treatment in patients with acromegaly: a retrospective clinical study and review of the literature.Endocr. J. 60(4): 507-515, 2013

30. Sugimoto, K.J., Shimada, A., Wakabayashi, M., Imai, H., Sekiguchi, Y., Nakamura, N., Sawada, T., Ota, Y., Takeuchi, K., Ito, Y., Kimura, H., Komatsu, N., Noguchi, M.
A probable identical Epstein-Barr virus clone-positive composite lymphoma with aggressive natural killer-cell leukemia and cytotoxic T-cell lymphoma.Int. J. Clin. Exp. Pathol. 7(1): 411-7, 2013

31. Suzuki, K., Terui, Y., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Yokoyama, M., Takahashi, S., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Prognostic value of C-reactive protein, lactase dehydrogenase and anemia in recurrent or refractory aggressive lymphoma.Jpn. J. Clin. Oncol. 43(1): 37-44, 2013

32. Suzuki, K., Terui, Y., Yokoyama, M., Ueda, K., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Prognostic value of high thymidine kinase activity in previously untreated diffuse large B-cell lymphoma patients treated by R-CHOP.Leuk. Lymphoma. 54(11): 2412-2417, 2013

33. Takahashi, H., Tomita, N., Sakata, S., Tsuyama, N., Hashimoto, C., Ohshima, R., Matsuura, S., Ogawa, K., Yamamoto, W., Kameda, Y., Enaka, M., Inayama, Y., Kasahara, M., Takekawa, Y., Onoda, N., Motomura, S., Ishigatsubo, Y., Takeuchi, K.
Prognostic significance of programmed cell death-1-positive cells in follicular lymphoma patients may alter in the rituximab era.
Eur. J. Haematol. 90(4): 286-90, 2013

34. Takeuchi, K.
Interpretation of anti-ALK immunohistochemistry results.J. Thorac. Oncol. 8(7): e67-8, 2013

35. Takeuchi, K., Sakata, S., Asaka, R., Tsuyama, N., Dobashi, A., Noguchi, M.
A low-grade B-cell lymphoma with prolymphocytic/paraimmunoblastic proliferation and *IRF4* rearrangement.Haematologica. 98(3): e32-5, 2013

36. Toki, H., Inoue, M., Motegi, H., Minowa, O., Kanda, H., Yamamoto, N., Ikeda, A., Karashima, Y., Matsui, J., Kaneda, H., Miura, I., Suzuki, T., Wakana, S., Masuya, H., Gondo, Y., Shiroishi, T., Akiyama, T., Yao, R., Noda, T.
Novel mouse model for gardner syndrome generated by a large-scale *N*-ethyl-*N*-nitrosourea mutagenesis program.Cancer Sci. 104(7): 937-44, 2013

37. Travis, W.D., Brambilla, E., Noguchi, M., Nicholson, A., Geisinger, K., Yatabe, Y., Ishikawa, Y., Wistuba, I., Flieder, D.B., Franklin, W., Gazdar, A., Hasleton, P.S., Henderson, D.W., Kerr, K.M., Nakatani, Y., Petersen, I., Roggli, V., Thunnissen, E., Tsao, M.
Diagnosis of lung adenocarcinoma in resected specimens: Implications of the 2011 International Association for the Study of Lung Cancer/American Thoracic Society/European Respiratory Society Classification.Arch. Pathol. Lab. Med. 137(5): 685-705, 2013

38. Travis, W.D., Brambilla, E., Noguchi, M., Nicholson, A., Geisinger, K., Yatabe, Y., Ishikawa, Y., Wistuba, I., Flieder, D.B.,

Franklin, W., Gazdar, A., Hasleton, P.S., Henderson, D.W., Kerr, K.M., Petersen, I., Roggli, V., Thunnissen, E., Tsao, M.
Diagnosis of lung cancer in small biopsies and cytology: implications of the 2011 international association for the study of Lung Cancer/American Thoracic Society/European Respiratory Society classification.Arch. Pathol. Lab. Med. 137(5): 668-684, 2013

39. Ueda, K., Terui, Y., Yokoyama, M., Sakajiri, S., Nishimura, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Hatake, K.
Non-gastric advanced mucosa-associated lymphoid tissue (MALT) lymphoma has worse prognosis than gastric MALT lymphoma even when treated with rituximab-containing chemotherapy.Leuk. Lymphoma. 54(9): 1928-33, 2013

40. Yamamoto, N., Daito, M., Hiyama, K., Ding, J., Nakabayashi, K., Otomo, Y., Tsujimoto, M., Matsuura, N., Kato, Y.
An optimal mRNA marker for OSNA (One-step Nucleic Acid Amplification) based lymph node metastasis detection in colorectal cancer patients.Jpn. J. Clin. Oncol. 43(3): 264-270, 2013

41. Yamamoto, Y., Yamada, K., Motoi, N., Fujiwara, Y., Toda, K., Sugitani, I., Kohno, A.
Sonographic findings in three cases of carcinoma showing thymus-like differentiation.J. Clin. Ultrasound. 4(9): 574-8, 2013

42. Yokoyama, M., Terui, Y., Takeuchi, K., Nara, E., Nakano, K., Ueda, K., Nishimura, N., Mishima, Y., Sakajiri, S., Tsuyama, N., Ozawa, K., Hatake, K.
Infusion rate escalation study of rituximab in patients with CD20+ B-cell lymphomas: A single institution analysis in Japan.ISRN Oncol.: 2013:863909, 2013

43. Yoshimoto, S., Loo, T.M., Atarashi, K., Kanda, H., Sato, S., Oyadomari, S., Iwakura, Y., Oshima, K., Morita, H., Hattori, M., Honda, K., Ishikawa, Y., Hara, E., Ohtani, N.
Obesity-induced gut microbial metabolite promotes liver cancer through senescence secretome.Nature. 499(7456): 97-101, 2013

44. Zhou, H., Tamura, T., Kusaka, Y., Suganuma, N., Subhannachart, P., Vijitsanguan, C., Noisiri, W., Hering, K.G., Akira, M., Itoh, H., Arakawa, H., Ishikawa, Y., Kumagai, S., Kurumatani, N.
Evaluation of the efficacy of the guideline on reading CT images of malignant pleural mesothelioma with reference CT films for improving the proficiency of radiologists.Eur. J. Radiol. 82(1): 169-76, 2013

45. 元井紀子, 石川雄一
最新肺癌学-基礎と臨床の最新研究動向-: 肺癌の病理と病態　組織分類に関する最新知見.日本臨床. 71(増刊6 最新肺癌学): 165-169, 2013

46. 元井紀子
甲状腺の病理.都臨技会誌. 41(4): 312-319, 2013

47. 古田玲子, 北川知行
感染症と癌、病理からのメッセージ: HPVと婦人科がん.病理と臨床. 31(2): 116-124, 2013

48. 坂田征士, 竹内賢吾
分子細胞生物学講座　上皮性腫瘍と融合遺伝子.細胞. 45(2): 101-103, 2013

49. 坂田征士, 竹内賢吾
固形腫瘍と融合遺伝子: 総論　固形腫瘍と融合遺伝子　オーバービュー.細胞. 45(6): 264-267, 2013

50. 堀井理絵
乳腺腫瘍up to date:WHO分類改訂の要点I: 各論:浸潤癌特殊型:　稀な乳癌　Salivary gland/skin adnexal type.病理と臨床. 31(9): 1005-1009, 2013

51. 堀井理絵
臨床検査のピットフォール HER2免疫組織化学法のピットフォール.検査と技術. 41(3): 226-228, 2013

52. 大迫智, 秋山太
乳腺腫瘍up to date:WHO分類改訂の要点I: 日常病理診断における課題　非特殊型浸潤性乳癌の分類.病理と臨床. 31(9): 958-961, 2013

53. 岡田明子, 田辺真彦, 伊藤良則, 高橋俊二, 小口正彦, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
HER2陽性手術可能乳癌におけるtaxane、trastuzumab併用療法の心毒性.乳癌の臨床. 28(3): 313-321, 2013

54. 岡田明子, 宮城由美, 森園英智, 秋山太, 岩瀬拓士
乳管内癌巣に粗大な石灰化を伴う浸潤性乳管癌の１例.乳癌の臨床. 28(4): 441-446, 2013

55. 岡田明子, 堀井理絵, 坂田亜衣, 大迫智, 森園英智, 岩瀬拓士, 秋山太
放射状硬化性病変を伴うアポクリン硬化性腺症の1例.乳癌の臨床. 28(4): 447-452, 2013

56. 岩村八千代, 堀井理絵, 大迫智, 岩瀬拓士, 秋山太
外科的切除が行われた非浸潤性乳管癌の長期予後.乳癌の臨床. 28(4): 399-404, 2013

57. 岩村八千代, 木村聖美, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 西村誠一郎, 蒔田益次郎, 小泉満, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
診断治療の工夫　乳癌のセンチネルリンパ節内のRIの分布と転移巣の局在に関する検討.乳癌の臨床. 28(2): 235-238, 2013

58. 岩瀬拓士, 大迫智, 秋山太
乳癌のセンチネルリンパ節生検：OSNA法のWhole node検索から見えてくるもの.リンパ学. 36(2): 91-94, 2013

59. 新井正美, 岩瀬春子, 岩瀬拓士, 古田玲子, 本山悌一, 石川雄一, 芦原有美, 喜多瑞穂, 滝澤憲, 竹島信宏
遺伝性乳がん卵巣がんの現状-問題点と展望: BRCA1/2遺伝子変異保有者におけるリスク低減両側卵巣卵管切除術の実施(第1報).家族性腫瘍. 13(2): 52-58, 2013

60. 日向奈惠, 神田浩明, 塩山高広, 鈴木あかね, 武田朴, 石川雄一, 山口俊晴, 加藤洋
DNA ploidy解析にFFTを応用した新しい癌診断法の研究.生体医工学. 51(2): 103-110, 2013

61. 木村幸紀, 柳澤昭夫, 山本智理子, 佐藤由紀子, 川端一嘉, 岡野友宏
Stage Ⅰ・II舌扁平上皮癌におけるポドプラニン発現様式と頸部リンパ節後発転移との関係　筋層浸潤5mm未満の場合.頭頸部癌. 39(1): 27-32, 2013

62. 渕之上史, 増田しのぶ, 加藤哲子, 木佐貫篤, 笹島ゆう子, 羽場礼次, 林徳真吉, 柳澤昭夫, 和田了, 鬼島宏, 秋山太, 津田均
乳癌におけるHER2、ER免疫染色の外部精度管理システムモデル確立にむけての予備検討報告.乳癌の臨床. 28(2): 179-186, 2013

63. 石川雄一
肺癌のWHO分類　その改訂の動き.呼吸. 32(2): 109-114, 2013

64. 石川雄一, 元井紀子, 野口雅之
肺癌の分類（病理と分子）：新しいIASLC/ATS/ERS腺癌分類について教えてください.肺癌診療Q&A：一つ上を行く診療の実践 第2版 (弦間昭彦編著), 東京, 中外医学社: pp.2-5, 2013

65. 石川雄一, 元井紀子
肺癌の分類（病理と分子）：新分類で細気管支肺胞上皮癌および肺炎様の腺癌は、どのように分類されますか？.肺癌診療Q&A：一つ上を行く診療の実践 第2版 (弦間昭彦編著), 東京, 中外医学社: pp.6-7, 2013

66. 石川雄一, 元井紀子
肺癌の分類（病理と分子）：Driver遺伝子変異を有する腺癌には、どのような臨床病理学的な特徴がありますか？.肺癌診療Q&A：一つ上を行く診療の実践 (弦間昭彦編著), 東京, 中外医学社: pp.13-15, 2013

67. 石川雄一, 元井紀子, 野口雅之
肺癌の分類（病理と分子）：現在の組織分類には、どのような問題点がありますか？.肺癌診療Q&A：一つ上を行く診療の実践 第2版 (弦間昭彦編著), 東京, 中外医学社: pp.39-43, 2013

68. 神田浩明
骨転移の病理.癌と骨 (松本俊夫, 米田俊之編集), 東京, メディカルレビュー社: pp.35-45, 2013

69. 秋山太
乳がんのすべて: (PART.2)乳がんの疫学・病理 乳がん診療のための病理診断.からだの科学, (277): 14-18, 2013

70. 秋山太
病理診断コンサルテーションの現状: コンサルテーション症例に多い乳腺疾患とその診断のポイント.病理と臨床. 31(12): 1317-1321, 2013

71. 稲村健太郎, 石川雄一
第I章病理 (6) LCNEC (large cell neuroendocrine carcinoma).臨床研修医のための肺癌症例の実際 (池田徳彦ほか編集), 東京, メディカルレビュー社: pp.32-22, 2013

72. 竹内賢吾
個別化医療の現状と展望: ALKoma　分子異常に基づく疾患概念.BIO Clinica. 28(9): 826-830, 2013

73. 竹内賢吾
分子病理診断の進歩: ALK.臨床検査. 57(3): 271-276, 2013

74. 竹内賢吾
最新肺癌学-基礎と臨床の最新研究動向-: 肺癌の新規診断・治療を目指した基礎研究　新規融合キナーゼの探索と診断.日本臨床. 71(増刊6 最新肺癌学): 232-235, 2013

75. 関誠, 柳澤昭夫, 加藤洋, 高木國夫編集
IPMNアトラス : 粘液産生膵癌からIntraductal Papillary Mucinous Neoplasm (IPMN)の概念の確立まで.東京, 医学図書出版: 234p., 2013

76. 阿部彰子, 馬屋原健司, 山本阿紀子, 的田真紀, 尾松公平, 加藤一喜, 古田玲子, 荒井祐司, 杉山裕子, 竹島信宏
子宮頸癌同時化学放射線療法後の局所残存再発症例の検討.日本臨床細胞学会雑誌. 52(6): 518-525, 2013

77. 黒井克昌, 戸井雅和, 大野真司, 中村清吾, 岩田広治, 増田慎三, 佐藤信昭, 津田均, 黒住昌史, 秋山太
病理学的完全奏効ypT0/isypN0の臨床的意義 JBCRG-01、JBCRG-02、JBCRG-03のプール化解析.乳癌の臨床. 28(6): 585-595, 2013

細胞診断部

1. Abe, A., Sugiyama, Y., Furuta, R., Furuta, N., Matoda, M., Takeshima, N.
Usefulness of intraoperative imprint cytology in ovarian germ cell tumors.Acta Cytol. 57(2): 171-6, 2013

2. Hasumi, K., Sugiyama, Y., Sakamoto, K., Akiyama, F.
Small endometrial carcinoma 10 mm or less in diameter: clinicopathologic and histogenetic study of 131 cases for early detection and treatment.Cancer Med. 2(6): 872-80, 2013

3. 古田則行
細胞検査学.臨床検査技師 グリーン・ノート : 臨床編 (芝紀代子編集), 東京, メジカルビュー社: 2013

4. 古田則行
細胞診の基本から実践へ:　(第1部)細胞診の基本　細胞診断の基本　細胞診標本作製法.病理と臨床. 31(臨増): 9-15, 2013

5. 小松京子, 増田しのぶ
細胞診の基本から実践へ:　(第1部)細胞診の基本　細胞診断の応用(特殊技能)　細胞診検体を用いたfluorescence in situ hybridization(FISH).病理と臨床. 31(臨増): 103-106, 2013

6. 廣井禎之, 小松京子, 鈴木美那子
糖質の染色.基礎病理技術学 (病理技術研究会), 東京, 笹氣出版: pp.55-67, 2013

7. 杉山裕子
CIN(子宮頸部上皮内腫瘍)をとりまく最近の話題:　HPV感染と子宮頸部細胞診.産科と婦人科. 80(6): 763-769, 2013

8. 柳谷典子, 工藤慶太, 文敏景, 星利良, 元井紀子, 石川雄一, 宝来威
胸腔鏡手術により診断および完全切除しえた肺炎症性筋線維芽細胞腫の1例.日本臨床細胞学会雑誌. 52(2): 164-168, 2013

栄養管理部

1. 中濱孝志, 稲城陽子, 高橋郷, 比企直樹
あなたならどう考える?　NSTの現場から　胃

癌術後に急性期合併症を発症しICUで栄養管理を実施した一例.臨床栄養. 122(2): 210-213, 2013

2. 中濱孝志
栄養ケアマネジメントファーストトレーニング 消化器疾患: 短腸症候群の栄養ケアマネジメント カルテを読む前に 治療の基礎知識.臨床栄養. 別冊(NCMシリーズ5 消化器疾患): 12-27, 2013

3. 中濱孝志, 比企直樹
癌患者に対する栄養療法: 癌患者に対する栄養療法とチーム医療 癌患者に対する栄養療法とNST.コンセンサス癌治療. 12(1): 26-29, 2013

4. 中濱孝志
経口栄養への見きわめとリスク管理 症例から学ぶ静脈栄養→経腸栄養→経口栄養への道: 術後早期からの経腸栄養継続により栄養状態が改善した胃がん患者の症例.Nutrition Care. 6(12): 1192-1197, 2013

看護部

1. 中尾将之, 阿部三千代
治療に伴う看護特集 主要な12がんの診療の流れ 患者説明にそのまま使えるシートつき: 肺がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 9-15, 2013

2. 伊藤清栄, 小林洋明, 稲見将浩, 渡辺千恵子, 武田知子
側臥位による腋窩部の除圧方法の取り組み.日本手術看護学会誌. 9(1): 36-38, 2013

3. 公益財団法人がん研究会有明病院看護部
平成24年度看護研究等集録 第1号. 東京, 127p., 2013

4. 加藤紀香
抗がん剤外来治療コンセプトシート2013: 設備環境・技術 ミキシング後の安定時間が短い薬剤とまち時間対策 "ファストパス"の導入.医学のあゆみ. 246(9): 707-710, 2013

5. 増田均, 平川菜穂美
治療に伴う看護特集 主要な12がんの診療の流れ 患者説明にそのまま使えるシートつき: 膀胱がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 48-53, 2013

6. 多田由香, 森田幾代
電子カルテ 問題と対策: 情報共有を行う上で重要な電子カルテの導入と実際.手術看護エキスパート. 7(2): 18-23, 2013

7. 小林知佳, 加納尚美
看護学生における子宮頸がん検診の受診行動の要因に対する考え方.茨城県母性衛生学会誌, (31): 1-6, 2013

8. 小菅敏幸, 渡部真理子
主要な12がんの診療の流れ：患者説明にそのまま使えるシート: 胃がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 16-21, 2013

9. 山本真也, 平川菜穂美
治療に伴う看護特集 主要な12がんの診療の流れ 患者説明にそのまま使えるシートつき: 前立腺がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 54-59, 2013

10. 山本阿紀子, 朝倉結希
治療に伴う看護特集 主要な12がんの診療の流れ 患者説明にそのまま使えるシートつき: 子宮体がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 66-69, 2013

11. 山本阿紀子, 朝倉結希
治療に伴う看護特集 主要な12がんの診療の流れ 患者説明にそのまま使えるシートつき: 子宮頸がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 70-74, 2013

12. 山田舞, 山口摩紀子
ケア評価シートの分析によるA病院手術室看護の傾向の把握.日本手術医学会誌. 34(1): 69-72, 2013

13. 岡野さやか, 佐々木瞳
入院から外来へ スムーズなバトンタッチを可能にする退院指導: TURBT後に化学療法が必要になった患者さん.泌尿器ケア. 18(10): 1015-1021, 2013

14. 岩本寿美代
インフォームドコンセント：よりよい患者・家族と医療従事者の関係を築くために.チーム医療

のための血液がんの標準化学療法 (直江知樹, 堀部敬三監修), 東京, メディカルサイエンスインターナショナル: pp.415-421, 2013

15. 岩本寿美代
チーム医療における看護師の役割.チーム医療のための血液がんの標準化学療法 (直江知樹, 堀部敬三監修), 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル: pp.409-414, 2013

16. 峯真司, 榊原亜希
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 食道がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 4-8, 2013

17. 平川菜穂美
患者さんへの説明にそのまま使える!泌尿器がんのすべて:　(7章)陰茎がん 陰茎がんのセルフケア.泌尿器ケア, (2013夏季増刊): 306-309, 2013

18. 後藤志保
がん放射線療法看護：治療計画から看護支援を考える：喉頭がんの放射線治療計画とケア.がん看護. 18(6): 592-595, 2013

19. 斉藤明子, 鈴木佳代, 松原みのり
手術を待つ患者家族と手術室看護師が面識を持つことでの看護師への効果.日本手術医学会誌. 34(1): 58-60, 2013

20. 有田淳一, 鈴木清美
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつ:　肝細胞がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 28-33, 2013

21. 林田由美子
回復力やQOLを低下させる睡眠障害：生活リズムの改善がよい眠りを誘う.がんサポート. 11(3): 70-71, 2013

22. 武田知子
アセスメントとモニタリングができる!新人ナースのための全身麻酔・局所麻酔4日間速習レクチャー:　3日目　抜管・覚醒時の麻酔介助とアセスメント.オペナーシング. 28(6): 620-639, 2013

23. 武田知子
どうして?がすぐわかる!!　器械出し・外回りの超注意POINT(第33回)　非定形的乳房切除術　センチネルリンパ節生検色素併用RI(radioisotope)法　ティッシュエキスパンダー挿入.オペナーシング. 28(12): 1258-1264, 2013

24. 武田知子
どうして?がすぐわかる!!器械出し・外回りの超注意POINT(第32回)　乳房部分切除　センチネルリンパ節生検色素併用RI(radioisotope)法　腋窩リンパ節郭清.オペナーシング. 28(11): 1143-1149, 2013

25. 武石優子
リハビリテーションの継続とセルフケア支援.がん看護セレクション:乳がん患者ケア (阿部恭子, 矢形寛編集), 東京, 学研メディカル秀潤社: pp.227-232, 2013

26. 武石優子
手術療法時のケア.がん看護セレクション：乳がん患者ケア (阿部恭子, 矢形寛編集), 東京, 学研メディカル秀潤社: pp.145-155, 2013

27. 水野俊美
疼痛緩和を目的として、泌尿器科医とどのような協力体制をとっていますか？.Prostate Cancer Frontier. 2(1): 13-15, 2013

28. 濱口恵子
看護現場におけるベッドサイドの研究倫理.北日本看護学会誌. 15(2): 9-12, 2013

29. 石川加奈子
がん患者の創傷ケア：がん終末期の褥瘡ケア.ALmedia. 17: 3, 2013

30. 秋吉高志, 岡田祥子
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 大腸がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 22-27, 2013

31. 稲城陽子
看護師国家試験状況設定問題：第6回　肺がん患者の看護.ナーシング・キャンパス. 1(6)2013

32. 荻谷朗子, 武石優子
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 乳がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 34-41, 2013

33. 藤木由佳子
抗がん剤外来治療コンセプトシート2013:　各職種の役割　外来がん化学療法室に勤務する看護師への教育.医学のあゆみ. 246(9): 721-728, 2013

34. 野村秀高, 本田まゆみ
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき: 卵巣がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 60-64, 2013

35. 鈴木佳代, 松原みのり, 斉藤明子
手術を待つ患者家族への医療チームとしての働きかけ.日本手術医学会誌. 34(1): 56-58, 2013

36. 高橋祐, 平山光代
治療に伴う看護特集　主要な12がんの診療の流れ　患者説明にそのまま使えるシートつき:　膵臓がん.プロフェッショナルがんナーシング. 3(1): 42-47, 2013

薬剤部

1. Hara, T., Chiba, T., Abe, K., Makabe, A., Ikeno, S., Kawakami, K., Utsunomiya, I., Hama, T., Taguchi, K.
Effect of paclitaxel on transient receptor potential vanilloid 1 in rat dorsal root ganglion.Pain. 154(6): 882-9, 2013

2. 今田洋司, 濱敏弘
外科医が知っておくべき癌治療の薬物療法:　抗癌薬の種類と作用機序.外科. 75(12): 1266-1272, 2013

3. 前勇太郎, 濱敏弘
新薬くろ～ずあっぷ　スチバーガ錠40mg(レゴラフェニブ錠).調剤と情報. 19(12): 1667-1673, 2013

4. 川上和宜
腎細胞癌：服薬指導・薬剤情報肺癌：服薬指導・薬剤情報.今日の治療指針：2013 (福井次矢, 高木誠, 小室一成総編集), 東京, 医学書院: 2013

5. 川上和宜
臨床で気になる"なに"と"なぜ"に答える:　がん薬物療法　手足症候群と末梢神経障害の見分け方・対処法を教えてください.薬事. 55(3): 354-356, 2013

6. 杉田一男
モチベーションを維持する方法.東京都病院薬剤師会雑誌. 62(1): 42, 2013

7. 濱敏弘
大腸癌：服薬指導・薬剤情報痛風：服薬指導・薬剤情報.
今日の治療指針：2013 (福井次矢, 高木誠, 小室一成総編集), 東京, 医学書院: 2013

8. 濱敏弘, 戸谷渡
病院DIにおける医薬品評価と安全対策(第3回)　がん研有明病院での取り組み　抗がん薬の評価と安全対策.日本病院薬剤師会雑誌. 49(8): 851-854, 2013

9. 竹野伸洋, 小倉玲子, 鈴木賢一, 濱敏弘
臨床におけるメサドンの適応と効果:　メサドンとは　メサドンの薬理・薬物動態を中心に.ペインクリニック. 34(11): 1479-1487, 2013

10. 蓑輪雄一
病態別栄養療法　処方設計のコツ:　病態別栄養療法　考え方と処方設計のコツ　腎機能障害.Clinical Pharmacist. 5(6): 542-548, 2013

11. 鈴木賢一, 濱敏弘
新薬くろ～ずあっぷ　ザーコリカプセル200mg、250mg(クリゾチニブ).調剤と情報. 19(1): 95-101, 2013

医療安全管理部

1. 長田理
あらゆる科で役立つ!麻酔科で学びたい技術　手にとるようにわかる、麻酔の基本概念と手技・周術期管理のポイント、知っておくべき病態の知識:　(第3章)周術期管理の基本の習得を目指す　術後疼痛管理の戦略.レジデントノート. 15(5): 933-937, 2013

健診センター

1. 加藤薫, 窪田素子, 鈴木朋子, 今井瑞香, 岡田和久, 千野直子, 横山知子, 大川信彦, 土田知宏, 五十嵐正広
"鎮静"をマスターする:　上部消化管内視鏡　検診・人間ドックにおける鎮静　当院での経験を中心に.消化器内視鏡. 25(4): 535-541, 2013

【 2014年 】

呼吸器内科

1. Friboulet, L., Li, N., Katayama, R., Lee, C.C., Gainor, J.F., Crystal, A.S., Michellys, P.Y., Awad, M.M., Yanagitani, N., Kim, S., Pferdekamper, A.C., Li, J., Kasibhatla, S., Sun, F., Sun, X., Hua, S., McNamara, P., Mahmood, S., Lockerman, E.L., Fujita, N., Nishio, M., Harris, J.L., Shaw, A.T., Engelman, J.A.
The ALK inhibitor ceritinib overcomes crizotinib resistance in non-small cell lung cancer.Cancer Discov. 4(6): 662-73, 2014

2. Hamanaka, W., Motoi, N., Ishikawa, S., Ushijima, M., Inamura, K., Hatano, S., Uehara, H., Okumura, S., Nakagawa, K., Nishio, M., Horai, T., Aburatani, H., Matsuura, M., Iwasaki, A., Ishikawa, Y.
A subset of small cell lung cancer with low neuroendocrine expression and good prognosis: a comparison study of surgical and inoperable cases with biopsy.Hum. Pathol. 45(5): 1045-56, 2014

3. Horiike, A., Yamamoto, N., Tanaka, H., Yanagitani, N., Kudo, K., Ohyanagi, F., Ono, A., Naito, T., Murakami, H., Horai, T., Nishio, M.
Phase II study of erlotinib for acquired resistance to gefitinib in patients with advanced non-small cell lung cancer.Anticancer Res. 34(4): 1975-81, 2014

4. Janne, P.A., Ou, S.H., Kim, D.W., Oxnard, G.R., Martins, R., Kris, M.G., Dunphy, F., Nishio, M., O'Connell, J., Paweletz, C., Taylor, I., Zhang, H., Goldberg, Z., Mok, T.
Dacomitinib as first-line treatment in patients with clinically or molecularly selected advanced non-small-cell lung cancer: a multicentre, open-label, phase 2 trial.Lancet Oncol. 15(13): 1433-41, 2014

5. Kubota, K., Hida, T., Ishikura, S., Mizusawa, J., Nishio, M., Kawahara, M., Yokoyama, A., Imamura, F., Takeda, K., Negoro, S., Harada, M., Okamoto, H., Yamamoto, N.,

6. Shinkai, T., Sakai, H., Matsui, K., Nakagawa, K., Shibata, T., Saijo, N., Tamura, T.
Etoposide and cisplatin versus irinotecan and cisplatin in patients with limited-stage small-cell lung cancer treated with etoposide and cisplatin plus concurrent accelerated hyperfractionated thoracic radiotherapy (JCOG0202): a randomised phase 3 study.Lancet Oncol. 15(1): 106-13, 2014

7. Misumi, Y., Nishio, M., Takahashi, T., Ohyanagi, F., Horiike, A., Murakami, H., Kenmotsu, H., Yamamoto, N., Ishii, M., Shimokawa, T., Hida, N., Okamoto, H.
A feasibility study of carboplatin plus irinotecan treatment for elderly patients with extensive disease small-cell lung cancer.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(2): 116-21, 2014

8. Nagashima, K., Iwasa, S., Yanai, T., Hashimoto, H., Suzuki, K., Ohyanagi, F., Shimada, Y., Yamamoto, N.
A double-blind randomized Phase II study of olanzapine 10 mg versus 5 mg for emesis induced by highly emetogenic chemotherapy.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(2): 229-231, 2014

9. Ohyanagi, F., Yanagitani, N., Kudo, K., Kawano, Y., Sakatani, T., Tanimoto, A., Nishizawa, H., Horiike, A., Hagiwara, S., Horai, T., Nishio, M.
Phase II study of docetaxel-plus-bevacizumab combination therapy in patients previously treated for advanced non-squamous non-small cell lung cancer.Anticancer Res. 34(9): 5153-8, 2014

10. Ono, H., Motoi, N., Nagano, H., Miyauchi, E., Ushijima, M., Matsuura, M., Okumura, S., Nishio, M., Hirose, T., Inase, N., Ishikawa, Y.
Long noncoding RNA *HOTAIR* is relevant to cellular proliferation, invasiveness, and clinical relapse in small-cell lung cancer.Cancer Med. 3(3): 632-642, 2014

11. Satouchi, M., Kotani, Y., Shibata, T., Ando, M., Nakagawa, K., Yamamoto, N., Ichinose,

Y., Ohe, Y., Nishio, M., Hida, T., Takeda, K., Kimura, T., Minato, K., Yokoyama, A., Atagi, S., Fukuda, H., Tamura, T., Saijo, N.
Phase III study comparing amrubicin plus cisplatin with Irinotecan plus cisplatin in the treatment of extensive-disease small-cell lung cancer: JCOG 0509.J. Clin. Oncol. 32(12): 1262-8, 2014

12. Seto, T., Kato, T., Nishio, M., Goto, K., Atagi, S., Hosomi, Y., Yamamoto, N., Hida, T., Maemondo, M., Nakagawa, K., Nagase, S., Okamoto, I., Yamanaka, T., Tajima, K., Harada, R., Fukuoka, M.
Erlotinib alone or with bevacizumab as first-line therapy in patients with advanced non-squamous non-small-cell lung cancer harbouring EGFR mutations (JO25567): an open-label, randomised, multicentre, phase 2 study.Lancet Oncol. 15(11): 1236-44, 2014

13. 丹保裕一, 西尾誠人
AlectinibとLDK378.腫瘍内科. 13(6): 805-809, 2014

14. 丹保裕一, 西尾誠人
肺癌の分子標的治療　個別化薬物治療の新たな展開：肺癌治療における分子標的薬の使い方のコツ!投与のタイミングと耐性発現時の対応
ALK阻害薬.薬局. 65(12): 2916-2921, 2014

15. 柳谷典子, 大柳文義, 行徳宏, 西澤弘成, 宝来威, 西尾誠人
クリゾチニブ投与中に複雑性腎嚢胞を認めたALK陽性非小細胞肺癌の2例.日本呼吸器学会誌. 3(6): 809-812, 2014

16. 柳谷典子, 西尾誠人
肺癌:最新の分子標的療法: ALK阻害薬.Pharma Medica. 32(11): 33-36, 2014

17. 行徳宏, 西尾誠人
肺がん治療の進歩と展望: 血管新生を標的とした肺がん治療の進歩と展望.腫瘍内科.
. 13(1): 25-33, 2014

18. 西尾誠人, 岡本浩明, 加藤晃史, 細見幸生
EGFR遺伝子変異陽性肺癌に対する治療戦略と副作用対策.Progress in Medicine. 34(11): 1973-1976, 2014

19. 西尾誠人
IV期非小細胞肺癌に対する治療戦略　維持療法.肺癌. 54(7): 887-891, 2014

20. 西澤弘成, 柳谷典子, 谷本梓, 河野裕子, 中富克己, 堀池篤, 大柳文義, 宮内栄作, 上原浩文, 奥村栄, 宝来威, 西尾誠人
細径気管支鏡によって肉眼的に観察し得た食道原発悪性黒色腫の孤立肺転移の1例.気管支学. 36(4): 417-421, 2014

21. 西澤弘成, 西尾誠人
肺癌分子標的治療薬の最新情報: EGFR-TKI治療の新展開　Afatinibの最新情報と今後の展望.呼吸器内科. 26(2): 78-83, 2014

呼吸器外科

1. Hamanaka, W., Motoi, N., Ishikawa, S., Ushijima, M., Inamura, K., Hatano, S., Uehara, H., Okumura, S., Nakagawa, K., Nishio, M., Horai, T., Aburatani, H., Matsuura, M., Iwasaki, A., Ishikawa, Y.
A subset of small cell lung cancer with low neuroendocrine expression and good prognosis: a comparison study of surgical and inoperable cases with biopsy.Hum. Pathol. 45(5): 1045-56, 2014

2. Inamura, K., Ninomiya, K., Nomura, K., Tsuchiya, E., Satoh, Y., Okumura, S., Nakagawa, K., Takata, A., Kohyama, N., Ishikawa, Y.
Combined effects of asbestos and cigarette smoke on development of lung adenocarcinoma: different carcinogens may cause different genomic changes.Oncol. Rep. 32(2): 475-82, 2014

3. Kawaguchi, K., Yokoi, K., Niwa, H., Ohde, Y., Mori, S., Okumura, S., Shiono, S., Ito, H., Yano, M., Shigemitsu, K., Hiramatsu, Y., Okami, J., Saito, H.
Trimodality therapy for lung cancer with chest wall invasion: Initial results of a phase II study.Ann. Thorac. Surg. 98(4): 1184-91, 2014

4. Mimae, T., Tsutani, Y., Miyata, Y., Yoshiya, T., Ibuki, Y., Kushitani, K., Takeshima, Y., Nakayama, H., Okumura, S., Yoshimura, M., Okada, M.
Role of lymphatic invasion in the prognosis of patients with clinical node-negative and pathologic node-positive lung adenocarcinoma.J. Thorac. Cardiovasc. Surg. 147(6): 1820-6, 2014

5. Nakada, T., Okumura, S., Kuroda, H., Uehara, H., Mun, M., Sakao, Y., Nakagawa, K.
Outcome of radical surgery for pulmonary metastatic osteosarcoma with secondary spontaneous pneumothorax: case series report.Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 20(Suppl.): 574-7, 2014

6. Okada, M., Mimae, T., Tsutani, Y., Nakayama, H., Okumura, S., Yoshimura, M., Miyata, Y.
Segmentectomy versus lobectomy for clinical stage IA lung adenocarcinoma.Ann. Cardiothorac. Surg. 3(2): 153-9, 2014

7. Ono, H., Motoi, N., Nagano, H., Miyauchi, E., Ushijima, M., Matsuura, M., Okumura, S., Nishio, M., Hirose, T., Inase, N., Ishikawa, Y.
Long noncoding RNA *HOTAIR* is relevant to cellular proliferation, invasiveness, and clinical relapse in small-cell lung cancer.Cancer Med. 3(3): 632-642, 2014

8. Sakao, Y., Kuroda, H., Mun, M., Uehara, H., Motoi, N., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Okumura, S.
Prognostic significance of tumor size of small lung adenocarcinomas evaluated with mediastinal window settings on computed tomography.PLoS One. 9(11): e110305, 2014

9. Tsutani, Y., Miyata, Y., Nakayama, H., Okumura, S., Adachi, S., Yoshimura, M., Okada, M.
Appropriate sublobar resection choice for ground glass opacity-dominant clinical stage IA lung adenocarcinoma: wedge resection or segmentectomy.Chest. 145(1): 66-71, 2014

10. Tsutani, Y., Miyata, Y., Nakayama, H., Okumura, S., Adachi, S., Yoshimura, M., Okada, M.
Segmentectomy for clinical stage IA lung adenocarcinoma showing solid dominance on radiology.Eur. J. Cardiothorac. Surg. 46(4): 637-42, 2014

11. Tsutani, Y., Miyata, Y., Nakayama, H., Okumura, S., Adachi, S., Yoshimura, M., Okada, M.
Sublobar resection for lung adenocarcinoma meeting node-negative criteria on preoperative imaging.Ann. Thorac. Surg. 97(5): 1701-7, 2014

12. 奥村栄
1枚のシェーマ 肋間筋弁の被覆.胸部外科. 67(2): 134, 2014

13. 奥村栄, 坂尾幸則
肺癌手術におけるハサミの使いわけ.日本医事新報, (4719): 60-61, 2014

14. 後藤英典, 上原浩文, 齋藤雄一, 元井紀子, 石川雄一, 奥村栄
EGFR陽性肺癌とALK陽性肺癌が併存した同時性多発肺癌の2例.肺癌. 54(3): 146-152, 2014

15. 後藤英典, 中尾将之, 大柳文義, 二宮浩範, 森彰平, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 丹保裕一, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人, 奥村栄
気管支鏡検査中に脳空気塞栓症を発症した1例.気管支学. 36(6): 649-655, 2014

16. 松浦陽介, 中尾将之, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 奥村栄
胸膜内リンパ管浸潤をきたした肺MALTリンパ腫の1切除例.日本呼吸器外科学会雑誌. 28(4): 526-531, 2014

17. 西澤弘成, 柳谷典子, 谷本梓, 河野裕子, 中富克己, 堀池篤, 大柳文義, 宮内栄作, 上原浩文, 奥村栄, 宝来威, 西尾誠人
細径気管支鏡によって肉眼的に観察し得た食道原発悪性黒色腫の孤立肺転移の1例.

気管支学. 36(4): 417-421, 2014

消化器内科

1. Benhaim, L., Gerger, A., Bohanes, P., Paez, D., Wakatsuki, T., Yang, D., Labonte, M.J., Ning, Y., El-Khoueiry, R., Loupakis, F., Zhang, W., Laurent-Puig, P., Lenz, H.J. Gender-specific profiling in SCN1A polymorphisms and time-to-recurrence in patients with stage II/III colorectal cancer treated with adjuvant 5-fluoruracil chemotherapy.Pharmacogenomics J. 14(2): 135-41, 2014

2. Fujishiro, M., Kaminishi, M., Hiki, N., Oda, I., Fujisaki, J., Uedo, N., Kaise, M., Tanabe, S., Iguchi, M., Matsuhashi, N., Nomura, S., Tajiri, H., Yahagi, N., Suzuki, H.Efficacy of spraying l-menthol solution during endoscopic treatment of early gastric cancer: a phase III, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled study.J. Gastroenterol. 49(3): 446-54, 2014

3. Fukunaga, Y., Tamegai, Y., Chino, A., Ueno, M., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Igarashi, M.
New technique of en bloc resection of colorectal tumor using laparoscopy and endoscopy cooperatively (laparoscopy and endoscopy cooperative surgery - colorectal).Dis. Colon. Rectum. 57(2): 267-71, 2014

4. Hironaka, S., Tsubosa, Y., Mizusawa, J., Kii, T., Kato, K., Tsushima, T., Chin, K., Tomori, A., Okuno, T., Taniki, T., Ura, T., Matsushita, H., Kojima, T., Doki, Y., Kusaba, H., Fujitani, K., Taira, K., Seki, S., Nakamura, T., Kitagawa, Y.
Phase I/II trial of 2-weekly docetaxel combined with cisplatin plus fluorouracil in metastatic esophageal cancer (JCOG0807).Cancer Sci. 105(9): 1189-95, 2014

5. Loupakis, F., Antoniotti, C., Cremolini, C., Zhang, W., Yang, D., Wakatsuki, T., Bohanes, P., Schirripa, M., Salvatore, L., Masi, G., Ricci, V., Graziano, F., Ruzzo, A., Benhaim, L., Marmorino, F., Ning, Y., El-Khoueiry, R., Falcone, A., Lenz, H.J. Prospective study of EGFR intron 1 (CA)n repeats variants as predictors of benefit from cetuximab and irinotecan in chemo-refractory metastatic colorectal cancer (mCRC) patients.Pharmacogenomics J. 14(4): 322-7, 2014

6. Matsusaka, S., Kozuka, M., Takagi, H., Ito, H., Minowa, S., Hirai, M., Hatake, K.
A novel detection strategy for living circulating tumor cells using 5-aminolevulinic acid.Cancer Lett. 355(1): 113-20, 2014

7. Ning, Y., Gerger, A., Zhang, W., Hanna, D.L., Yang, D., Winder, T., Wakatsuki, T., Labonte, M.J., Stintzing, S., Volz, N., Sunakawa, Y., Stremitzer, S., El-Khoueiry, R., Lenz, H.J.
Plastin polymorphisms predict gender- and stage-specific colon cancer recurrence after adjuvant chemotherapy.Mol. Cancer Ther. 13(2): 528-39, 2014

8. Nishida, T., Tsujii, M., Tanimura, H., Tsutsui, S., Tsuji, S., Takeda, A., Inoue, A., Fukui, H., Yoshio, T., Kishida, O., Ogawa, H., Oshita, M., Kobayashi, I., Zushi, S., Ichiba, M., Uenoyama, N., Yasunaga, Y., Ishihara, R., Yura, M., Komori, M., Egawa, S., Iijima, H., Takehara, T.
Comparative study of esomeprazole and lansoprazole in triple therapy for eradication of Helicobacter pylori in Japan.World J. Gastroenterol. 20(15): 4362-9, 2014

9. Nishizawa, T., Maekawa, T., Watanabe, N., Harada, N., Hosoda, Y., Yoshinaga, M., Yoshio, T., Ohta, H., Inoue, S., Toyokawa, T., Yamashita, H., Saito, H., Kuwai, T., Katayama, S., Masuda, E., Miyabayashi, H., Kimura, T., Nishizawa, Y., Takahashi, M., Suzuki, H.
Clarithromycin versus metronidazole as first-line Helicobacter pylori eradication: A multicenter, prospective, randomized

controlled study in Japan.J. Clin. Gastroenterol. 49(6): 468-71, 2014

10. Páez, D., Gerger, A., Zhang, W., Yang, D., Labonte, M.J., Benhanim, L., Kahn, M., Lenz, F., Lenz, C., Ning, Y., Wakatsuki, T., Loupakis, F., Lenz, H.J.
Association of common gene variants in the WNT/beta-catenin pathway with colon cancer recurrence.Pharmacogenomics J. 14(2): 142-50, 2014

11. Philip, P.A., Goldman, B., Ramanathan, R.K., Lenz, H.J., Lowy, A.M., Whitehead, R.P., Wakatsuki, T., Iqbal, S., Gaur, R., Benedetti, J.K., Blanke, C.D.
Dual blockade of epidermal growth factor receptor and insulin-like growth factor receptor-1 signaling in metastatic pancreatic cancer: phase Ib and randomized phase II trial of gemcitabine, erlotinib, and cixutumumab versus gemcitabine plus erlotinib (SWOG S0727).Cancer. 120(19): 2980-5, 2014

12. Sato, Y., Imamura, H., Kaizaki, Y., Koizumi, W., Ishido, K., Kurahara, K., Suzuki, H., Fujisaki, J., Hirakawa, K., Hosokawa, O., Ito, M., Kaminishi, M., Furuta, T., Chiba, T., Haruma, K.Management and clinical outcomes of type I gastric carcinoid patients: retrospective, multicenter study in Japan.Dig. Endosc. 26(3): 377-84, 2014

13. Suenaga, M., Fuse, N., Yamaguchi, T., Yamanaka, Y., Motomura, S., Matsumoto, H., Hamamoto, Y., Mizunuma, N., Doi, T., Hatake, K., Iwasaki, J., Ohtsu, A.
Pharmacokinetics, safety, and efficacy of FOLFIRI plus bevacizumab in Japanese colorectal cancer patients with UGT1A1 gene polymorphisms.J. Clin. Pharmacol. 54(5): 495-502, 2014

14. Suenaga, M., Mizunuma, N., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ueno, M., Yamaguchi, T.
Retrospective analysis on the efficacy of bevacizumab with FOLFOX as a first-line treatment in Japanese patients with metastatic colorectal cancer.Asia Pac. J. Clin. Oncol. 10(4): 322-329, 2014

15. Sugawa, C., Brown, K.L., Matsubara, T., Bachusz, R., Ono, H., Chino, A., Yamasaki, T., Lucas, C.E.
The role of endoscopic biliary sphincterotomy for the treatment of type 1 biliary dysfunction (papillary stenosis) with or without biliary stones.Am. J. Surg. 207(1): 65-9, 2014

16. Sunakawa, Y., Wakatsuki, T., Yang, D., Zhang, W., Ning, Y., Stintzing, S., Stremitzer, S., Yamauchi, S., Sebio, A., El-khoueiry, R., Iqbal, S., Barzi, A., Gerger, A., Stotz, M., Azuma, M., Watanabe, M., Koizumi, W., Lenz, H.J.
Prognostic impact of the c-MET polymorphism on the clinical outcome in locoregional gastric cancer patients.Pharmacogenet. Genomics. 24(12): 588-96, 2014

17. Suzuki, S., Chino, A., Kishihara, T., Uragami, N., Tamegai, Y., Suganuma, T., Fujisaki, J., Matsuura, M., Itoi, T., Gotoda, T., Igarashi, M., Moriyasu, F.
Risk factors for bleeding after endoscopic submucosal dissection of colorectal neoplasms.World J. Gastroenterol. 20(7): 1839-45, 2014

18. Suzuki, S., Chino, A., Fukui, I., Hayashi, T., Kozuka, T., Suganuma, T., Kishihara, T., Tamegai, Y., Fujisaki, J., Oguchi, M., Yonese, J., Igarashi, M.
Successful use of endoscopic argon plasma coagulation for hemorrhagic radiation cystitis: a case report.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(7): 692-5, 2014

19. Takeuchi, Y., Iishi, H., Tanaka, S., Saito, Y., Ikematsu, H., Kudo, S.E., Sano, Y., Hisabe, T., Yahagi, N., Saitoh, Y., Igarashi, M., Kobayashi, K., Yamano, H., Shimizu, S., Tsuruta, O., Inoue, Y., Watanabe, T., Nakamura, H., Fujii, T., Uedo, N., Shimokawa, T., Ishikawa, H., Sugihara, K.
Factors associated with technical

difficulties and adverse events of colorectal endoscopic submucosal dissection: retrospective exploratory factor analysis of a multicenter prospective cohort.Int. J. Colorectal Dis. 29(10): 1275-84, 2014

20. Taki, K., Sato, Y., Ashihara, Y., Chino, A., Igarashi, M., Sato, K., Kitagawa, T., Maetani, I., Nemoto, C., Nasuno, K., Sekine, T., Arai, M.
A case of a child with an APC pathogenic mutation, aberrant expression of splice variants and positive family history of FAP.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(6): 602-6, 2014

21. Wakatsuki, T., Stintzing, S., Zhang, W., Yang, D., Azuma, M., Ning, Y., Yamauchi, S., Matsusaka, S., Volz, N.B., Sunakawa, Y., Koizumi, W., Watanabe, M., Barzi, A., El Khoueiry, A.B., Shah, M.A., Lenz, H.J.
Single nucleotide polymorphisms in AREG and EREG are prognostic biomarkers in locally advanced gastric cancer patients after surgery with curative intent.Pharmacogenet. Genomics. 24(11): 539-47, 2014

22. Yamada, I., Matsuyama, M., Ozaka, M., Inoue, D., Muramatsu, Y., Ishii, H., Junko, U., Ueno, M., Egawa, N., Nakao, H., Mori, M., Matsuo, K., Nishiyama, T., Ohkawa, S., Hosono, S., Wakai, K., Nakamura, K., Tamakoshi, A., Kuruma, S., Nojima, M., Takahashi, M., Shimada, K., Yagyu, K., Kikuchi, S., Lin, Y.
Lack of associations between genetic polymorphisms in GSTM1, GSTT1 and GSTP1 and pancreatic cancer risk: A multi-institutional case-control study in Japan.Asian Pac. J. Cancer Prev. 15(1): 391-5, 2014

23. Yamaguchi, J., Nagayama, S., Chino, A., Sakata, A., Yamamoto, N., Sato, Y., Ashihara, Y., Kita, M., Nomura, S., Ishikawa, Y., Igarashi, M., Ueno, M., Arai, M.
Identification of coding exon 3 duplication in the *BMPR1A* gene in a patient with juvenile polyposis syndrome.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(10): 1004-8, 2014

24. Yamamoto, Y., Yoshizawa, N., Tomida, H., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Therapeutic outcomes of endoscopic resection for superficial non-ampullary duodenal tumor.Dig. Endosc. 26(Suppl 2): 50-6, 2014

25. Yanagimoto, H., Ishii, H., Nakai, Y., Ozaka, M., Ikari, T., Koike, K., Ueno, H., Ioka, T., Satoi, S., Sho, M., Okusaka, T., Tanaka, M., Shimokawa, T., Kwon, A.H., Isayama, H.
Improved survival with combined gemcitabine and S-1 for locally advanced pancreatic cancer: pooled analysis of three randomized studies.J. Hepatobiliary Pancreat. Sci. 21(10): 761-6, 2014

26. 中山厳馬, 末永光邦
がん化学療法看護のいま～ケアの質を高めるためのエッセンス～: (第I章)がん化学療法のいま 支持療法のいま.がん看護. 19(2): 114-121, 2014

27. 五十嵐正広
内視鏡治療の適応決定のコツ.大腸・肛門外科の要点と盲点 第3版 (杉原健一編), 東京, 文光堂: pp.270-275, 2014

28. 五十嵐正広
大腸の解剖と内視鏡挿入法.大腸腫瘍診断：豊富な写真で上がる診断力、case studyで磨く実践力 改訂版 (田中信治編), 東京, 羊土社: pp.12-26, 2014

29. 五十嵐正広
大腸過長例の挿入をどう行うか.臨床研修医のための トラブルを防ぐ！大腸内視鏡挿入法のコツ・観察のポイント (桑山肇編), 東京, ヴァンメディカル: pp.59-61, 2014

30. 五十嵐正広
早く上達する大腸内視鏡挿入法:　腕を補う環境作り 硬度可変の活用.消化器内視鏡. 26(3): 419-423, 2014

31. 五十嵐正広
苦痛のない大腸内視鏡挿入法-達人の極意-: 苦痛のない大腸内視鏡挿入にはスコープの直線化が大事!消化器の臨床. 17(2): 113-119, 2014

32. 井上大, 尾阪将人, 村松雄輔, 山田育弘, 松山眞人, 神田浩明, 石井浩
シスプラチン+イリノテカン併用療法が奏効した胆嚢原発神経内分泌癌の1例.癌と化学療法. 41(6): 765-767, 2014

33. 千野晶子, 岸原輝仁, 五十嵐正広
大腸疾患アトラス：非限局性病変・多発病変　平坦ないし陥凹性病変　粘膜変化・色調変化が主体　放射線性大腸炎.消化器内視鏡. 26(12): 2066-2067, 2014

34. 千野晶子, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
"大腸腫瘍"内視鏡的治療の最前線: 大腸ESDの適応拡大　カルチノイド腫瘍.臨床消化器内科. 29(2): 195-201, 2014

35. 向井俊貴, 福長洋介, 大野吏輝, 友利賢太, 池田篤志, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
細径鉗子を用いた腹腔鏡・内視鏡合同手術(Laparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery;LECS)を施行した横行結腸神経鞘腫の1例.日本大腸肛門病学会雑誌. 67(3): 178-182, 2014

36. 大前雅実, 藤崎順子, 吉澤奈津子, 清水智樹, 大隅寛木, 冨田明彦, 奥野真理, 森重健二郎, 石川寛高, 堀内裕介, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
バレット食道癌における酸逆流・アルカリ逆流の意義.Therapeutic Res. 35(4): 383-386, 2014

37. 大前雅実, 藤崎順子, 清水智樹, 宮本勇治, 富田英臣, 谷口智香, 森重健二郎, 堀内裕介, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広, 山本智理子
バレット食道腺癌の診断と治療: 表在型バレット食道腺癌の扁平上皮下進展の臨床的特徴.消化器内科. 59(1): 16-19, 2014

38. 大前雅実, 藤崎順子, 清水智樹, 大隅寛木, 宮本勇治, 冨田明彦, 富田英臣, 谷口智香, 森重健二郎, 石川寛高, 堀内裕介, 吉澤奈津子, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広, 山本智理子
表在型Barrett食道腺癌の診断と治療戦略: 表在型Barrett食道腺癌の早期診断と鑑別診断. 消化器内視鏡. 26(4): 539-548, 2014

39. 大橋学, 佐野武, 陳勁松, 布部創也, 比企直樹, 山口俊晴
最新の消化器癌術前術後化学療法: 胃癌　日本における進行胃癌に対する術前術後補助化学療法.消化器外科. 37(4): 423-432, 2014

40. 大隅寛木, 石山晃世志, 平澤俊明, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 山本智理子
家族性大腸腺腫症術後経過中に胃腺腫から早期胃癌に進展した1例.Prog. Dig. Endosc. 84(1): 108-109,8, 2014

41. 宮本勇治, 山本頼正, 大隅寛木, 谷口智香, 富田英臣, 森重健二郎, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
内視鏡の器械と技術　家族性大腸腺腫症に合併した胃上皮性腫瘍のNBI併用拡大所見の検討.Prog. Dig. Endosc. 85(1): 36-39,1, 2014

42. 尾阪将人
イマチニブ、スニチニブ、レゴラフィニブのマネジメント.ガイドラインには載っていない消化管がん：practical treatment (山田康秀[ほか]編), 東京, メジカルレビュー社: pp.321-327, 2014

43. 尾阪将人
主な有害事象に対する対策.膵がん・胆道がん薬物療法ハンドブック (古瀬純司, 奥坂拓志編), 東京, 南江堂: pp.114-121, 2014

44. 尾阪将人
手術不能進行膵癌における化学療法.オンコロジークリニカルガイド：消化器癌化学療法 改訂第4版 (大村健二編), 東京, 南山堂: pp.321-327, 2014

45. 尾阪将人, 石井浩
癌診療の現状：膵癌.ガイドライン外来診療：今日の診療のために 第14版 (泉孝英編集主幹), 東京, 日経メディカル開発: pp.587-590, 2014

46. 山本頼正, 藤崎順子, 平澤俊明, 布部創也, 比企直樹, 五十嵐正広
十二指腸腫瘍性病変に対する診療の進歩:

十二指腸神経内分泌腫瘍に対する診療　カルチノイドを中心に.臨床消化器内科. 29(12): 1567-1574, 2014

47. 山本頼正, 藤崎順子, 大隅寛木, 谷口智香, 富田英臣, 森重健二郎, 冨田明彦, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広
新しい画像強調内視鏡: 第二世代画像強調内視鏡の臨床的意義　第二世代NBI　有用性と使用方法のコツ　胃観察.消化器内視鏡. 26(5): 673-683, 2014

48. 山本頼正, 藤崎順子, 宮本勇治, 清水智樹, 富田英臣, 谷口智香, 森重健二郎, 堀内裕介, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広
早期胃癌を視る、観る、診る: Helicobacter pylori陰性胃癌について.消化器内視鏡. 26(8): 1154-1162, 2014

49. 山本頼正, 藤崎順子, 宮本勇治, 清水智樹, 富田英臣, 谷口智香, 森重健次郎, 堀内裕介, 大前雅実, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広胃癌ESD適応拡大病変の経過と予後: 胃癌ESD適応拡大病変(未分化型優位)の経過と予後.胃と腸. 49(11): 1569-1577, 2014

50. 山田育弘, 尾阪将人, 石井浩, 井上大, 松山眞人, 高野浩一, 五十嵐正広
FOLFIRINOX療法による高アンモニア脳症をきたした浸潤性膵管癌の1例.日本消化器病学会雑誌. 111(11): 2157-2162, 2014

51. 平澤俊明, 比企直樹, 山本頼正, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 山本智理子
噴門部胃粘膜下腫瘍に対するLaparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery(LECS)の検討Gastroenterological Endoscopy. 56(8): 2359-2366, 2014

52. 平澤俊明
未分化型早期胃癌の診断とESDの適応: 未分化型微小胃癌の臨床像.消化器内科. 58(3): 296-299, 2014

53. 平澤俊明, 比企直樹, 布部創也, 山本頼正
消化器内視鏡治療の最前線: 胃疾患内視鏡治療の最前線
胃粘膜下腫瘍に対するLECSの応用と進化.Modern Physician. 34(5): 523-526, 2014

54. 末永光邦
大腸癌の化学療法.AL media. 77(18): 0-8, 2014

55. 末永光邦
血管新生阻害剤における抗腫瘍効果の予測因子と耐性獲得因子のバイオマーカー解析.大和証券ヘルス財団研究業績集, (37): 149-154, 2014

56. 杉原健一編集主幹, 藤盛孝博, 五十嵐正広, 渡邉聡明編集, 武藤徹一郎編集顧問大腸疾患Now2014. 東京, 日本メディカルセンター: 198p., 2014

57. 森重健二郎, 山本頼正, 清水智樹, 富田英臣, 宮本勇治, 堀内裕介, 石川寛高, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 山本智理子
胃癌ESD適応拡大病変の経過と予後: ESD適応拡大治癒切除後にリンパ節転移および肝転移再発を来した早期胃癌の1例.胃と腸. 49(11): 1621-1627, 2014

58. 津山直子, 藤崎順子, 新井冨生, 竹内賢吾
消化管悪性リンパ腫2014: リンパ腫様胃症(Lymphomatoid gastropathy).胃と腸. 49(5): 811-815, 2014

59. 為我井芳郎
第5章:線維化を伴う病変：2)粘膜下層に軽度の線維化を伴う病変のESD.(症例で身につける消化器内視鏡シリーズ）大腸EMR・ESD：Case studyで病変に最適な治療戦略を学ぶ 改訂版 (田中信治編), 東京, 羊土社: pp.272-279, 2014

60. 為我井芳郎
第5章:線維化を伴う病変：3)粘膜下層に中等度から高度の線維化を伴う病変のESD.(症例で身につける消化器内視鏡シリーズ）大腸EMR・ESD：Case studyで病変に最適な治療戦略を学ぶ 改訂版 (田中信治編), 東京, 羊土社: pp.280-288, 2014

61. 為我井芳郎
第8章:大きくて一括EMRで切除できない場合：3)切除手技の選択3-ESDについて.(症例で身に

つける消化器内視鏡シリーズ) 大腸EMR・ESD：Case studyで病変に最適な治療戦略を学ぶ 改訂版 (田中信治編), 東京, 羊土社: pp.338-344, 2014

62. 為我井芳郎
非腫瘍性疾患：AIDS関連疾患.(これで納得！画像で見ぬく消化器疾患) 大腸 (渡辺守, 田中信治編), 東京, 医学出版: pp.56-58, 2014

63. 為我井芳郎
非腫瘍性疾患：GVHD腸炎.(これで納得！画像で見ぬく消化器疾患) 大腸 (渡辺守, 田中信治編), 東京, 医学出版: pp.59-60, 2014

64. 田中信治, 樫田博史, 斎藤豊, 矢作直久, 山野泰穂, 斎藤彰一, 久部高司, 八尾隆史, 渡邊昌彦, 吉田雅博, 工藤進英, 鶴田修, 杉原健一, 渡邉聡明, 斉藤裕輔, 五十嵐正広, 豊永高史, 味岡洋一, 一瀬雅夫, 松井敏幸, 杉田昭, 菅野健太郎, 藤本一眞, 田尻久雄, 日本消化器内視鏡学会, 大腸癌研究会, 日本大腸肛門病学会, 日本消化器病学会, 大腸ESD/EMRガイドライン作成委員会
大腸ESD/EMRガイドライン.Gastroenterological Endoscopy. 56(4): 1598-1617, 2014

65. 田崎修平, 平澤俊明
術前に早期胃癌と診断したH.pylori陰性進行胃癌の1例.Prog. Dig. Endosc. 85(1): 80-81,5, 2014

66. 田辺聡, 石戸謙次, 松本主之, 小坂崇, 小田一郎, 鈴木晴久, 藤崎順子, 小野裕之, 川田登, 小山恒男, 高橋亜紀子, 土山寿志, 小林正明, 上堂文也, 濱田健太, 豊永高史, 河原史明, 田中信治, 吉福良公
胃癌ESD適応拡大病変の経過と予後：胃癌ESD後の局所遺残再発例,転移再発例の臨床病理学的特徴と経過・予後　多施設共同研究.胃と腸. 49(11): 1601-1608, 2014

67. 石山晃世志
Q&A 胃癆の注意点について教えて下さい。.頭頸部癌Frontier. 2(2): 48-50, 2014

68. 石山晃世志
胃癆の注意点について教えてください.頭頸部癌Frontier. 2(2): 172-174, 2014

69. 篠崎英司
大腸がん治療の新戦略：新規抗がん剤regorafenib、TAS102の位置づけ　現状と次の展開.腫瘍内科. 14(1): 16-19, 2014

70. 藤崎順子, 堀内裕介, 山本智理子, 吉澤奈津子, 石川寛高, 森重健二郎, 冨田明彦, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
ESD時代の早期胃癌深達度診断：拡大内視鏡による早期胃癌深達度診断の可能性.胃と腸. 49(1): 77-84, 2014

71. 藤崎順子, 山本智理子, 堀内祐介, 大隅寛木, 宮本勇治, 森重健次郎, 吉澤奈津子, 谷口智香, 大前雅実, 石川寛高, 平澤俊明, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
Helicobacter pylori陰性胃癌：Helicobacter pylori陰性未分化型早期胃癌の特徴.胃と腸. 49(6): 854-861, 2014

消化器外科

1. Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Kuroyanagi, H.
Laparoscopic local excision and rectoanal anastomosis for rectal gastrointestinal stromal tumor: modified laparoscopic intersphincteric resection technique.Dis. Colon. Rectum. 57(7): 900-4, 2014

2. Akiyoshi, T., Ueno, M., Ono, R., Urakami, S.
Laparoscopic resection of sigmoid colon cancer involving the left ureter with reconstruction by ileal interposition.Dis. Colon. Rectum. 57(10): 1241, 2014

3. Akiyoshi, T., Ueno, M., Matsueda, K., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Unno, T., Kano, A., Kuroyanagi, H., Oya, M., Yamaguchi, T., Watanabe, T., Muto, T.
Selective lateral pelvic lymph node dissection in patients with advanced low rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy based on pretreatment imaging.Ann. Surg. Oncol. 21(1): 189-96, 2014

4. Arita, J., Ono, Y., Takahashi, M., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Usefulness of Contrast-Enhanced Intraoperative Ultrasound in Identifying Disappearing Liver Metastases from Colorectal Carcinoma After Chemotherapy.Ann. Surg. Oncol. 21(Suppl.3): S390-7, 2014

5. Brar, S.S., Mahar, A.L., Helyer, L.K., Swallow, C., Law, C., Paszat, L., Seevaratnam, R., Cardoso, R., McLeod, R., Dixon, M., Yohanathan, L., Lourenco, L.G., Bocicariu, A., Bekaii-Saab, T., Chau, I., Church, N., Coit, D., Crane, C.H., Earle, C., Mansfield, P., Marcon, N., Miner, T., Noh, S.H., Porter, G., Posner, M.C., Prachand, V., Sano, T., van de Velde, C., Wong, S., Coburn, N.G.Processes of Care in the Multidisciplinary Treatment of Gastric Cancer: Results of a RAND/UCLA Expert Panel.JAMA Surg. 149(1): 18-25, 2014

6. Coburn, N., Seevaratnam, R., Paszat, L., Helyer, L., Law, C., Swallow, C.Cardosa, R., Mahar, A., Lourenco, L.G., Dixon, M., Bekaii-Saab, T., Chau, I., Church, N., Coit, D., Crane, C.H., Earle, C., Mansfield, P., Marcon, N., Miner, T., Noh, S.H., Porter, G., Posner, M.C., Prachand, V., Sano, T., van de Velde, C., Wong, S., McLeod, R.
Optimal management of gastric cancer: Results from an international RAND/UCLA expert panel.Ann. Surg. 259(1): 102-108, 2014

7. Eguchi, K., Honda, M., Kataoka, T., Mukaiyama, T., Tsuneto, S., Sakamoto, J., Oba, K., Saji, S.Efficacy of corticosteroids for cancer-related fatigue: A pilot randomized placebo-controlled trial of advanced cancer patients.Palliat. Support. Care: 1-8, 2014

8. Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Laparoscopic sphincter-preserving surgery (intersphincteric resection) after neoadjuvant imatinib treatment for gastrointestinal stromal tumor (GIST) of the rectum.Int J Colorectal Dis. 29(1): 111-116, 2014

9. Fukunaga, Y., Tamegai, Y., Chino, A., Ueno, M., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Igarashi, M.
New technique of en bloc resection of colorectal tumor using laparoscopy and endoscopy cooperatively (laparoscopy and endoscopy cooperative surgery - colorectal).Dis. Colon. Rectum. 57(2): 267-71, 2014

10. Honda, M., Kuriyama, A., Furukawa, T.A.
Comments on "Omentum-preserving gastrectomy for advanced gastric cancer: a propensity-matched retrospective cohort study"Gastric Cancer. 17(4): 757-8, 2014

11. Honda, M., Wakita, T., Onishi, Y., Nunobe, S., Hiki, N., Miura, A., Nishigori, T., Kusanagi, H., Yamamoto, T., Kobayashi, K., Boddy, A., Fukuhara, S.
Development and validation of a symptom scale to evaluate postoperative patients with esophagogastric cancer.J. Am. Coll. Surg. 219(5): 895-903, 2014

12. Honda, M., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Kiyokawa, T., Sano, T., Yamaguchi, T.
Long-term and surgical outcomes of laparoscopic surgery for gastric gastrointestinal stromal tumors.Surg. Endosc. 28(8): 2317-22, 2014

13. Honda, M., Yamamoto, K., Furukawa, T.A.
Retrospective propensity score matching and the selection of surgical procedures: how precise can a propensity estimate be?J Clin Oncol. 32(28): 3200-1, 2014

14. Inoue, Y., Kokudo, N.
Elastography for hepato-biliary-pancreatic surgery.Surg. Today. 44(10): 1793-800, 2014

15. Irino, T., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Tanimura, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Subtotal gastrectomy with limited lymph node dissection is a feasible treatment option for patients with early gastric stump

cancer.J. Gastrointest. Surg. 18(8): 1429-33, 2014

16. Ishizawa, T., Kokudo, N.
The beginning of a new era of digestive surgery guided by fluorescence imaging.Liver Cancer. 3(1): 6-8, 2014

17. Kosuga, T., Hiki, N., Nunobe, S., Noma, H., Honda, M., Tanimura, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Feasibility and nutritional impact of laparoscopy-assisted subtotal gastrectomy for early gastric cancer in the upper stomach.Ann. Surg. Oncol. 21(6): 2028-2035, 2014

18. Kubota, T., Hiki, N., Sano, T., Nomura, S., Nunobe, S., Kumagai, K., Aikou, S., Watanabe, R., Kosuga, T., Yamaguchi, T.
Prognostic significance of complications after curative surgery for gastric cancer.Ann. Surg. Oncol. 21(3): 891-8, 2014

19. Kumagai, K., Yamamoto, N., Miyashiro, I., Tomita, Y., Katai, H., Kushima, R., Tsuda, H., Kitagawa, Y., Takeuchi, H., Mukai, M., Mano, M., Mochizuki, H., Kato, Y., Matsuura, N., Sano, T.
Multicenter study evaluating the clinical performance of the OSNA assay for the molecular detection of lymph node metastases in gastric cancer patients.Gastric Cancer. 17(2): 273-80, 2014

20. Kumagai, K., Hiki, N., Nunobe, S., Jiang, X., Kubota, T., Aikou, S., Tanimura, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Potentially fatal complications for elderly patients after laparoscopy-assisted distal gastrectomy.Gastric Cancer. 17(3): 548-555, 2014

21. Kuriyama, A., Honda, M., Hayashino, Y.Ramelteon for the treatment of insomnia in adults: a systematic review and meta-analysis.Sleep Med. 15(4): 385-392, 2014

22. Mine, S., Sano, T.
Authors' reply: Proximal margin length with transhiatal gastrectomy for Siewert type II and III adenocarcinomas of the oesophagogastric junction (Br J Surg 2013; 100: 1050-1054).Br. J. Surg. 101(6): 735-6, 2014

23. Mine, S., Sano, T., Hiki, N., Yamada, K., Kosuga, T., Nunobe, S., Shigaki, H., Yamaguchi, T.
Thoracic lymph node involvement in adenocarcinoma of the esophagogastric junction and lower esophageal squamous cell carcinoma relative to the location of the proximal end of the tumor.Ann. Surg. Oncol. 21(5): 1596-601, 2014

24. Mukai, T., Fukunaga, Y., Ueno, M., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Akiyoshi, T., Ono, R., Yamaguchi, T.
Needlescopic surgery for left-sided colorectal cancer.Int. J. Colorectal Dis. 29(12): 1501-5, 2014

25. Mukai, T., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Ikeda, A., Yamaguchi, T.
Outcomes of laparoscopic surgery for colorectal cancer in oldest-old patients.Surg. Laparosc. Endosc. Percutan. Tech. 24(4): 366-9, 2014

26. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Yamaguchi, T.Laparoscopic abdominosacral resection for locally advanced primary rectal cancer after treatment with mFOLFOX6 plus bevacizumab, followed by preoperative chemoradiotherapy.Asian J. Endosc. Surg. 7(1): 52-5, 2014

27. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T.,Yamaguchi,T.
Laparoscopic salvage surgery for locally recurrent rectal cancer.J. Gastrointest. Surg. 18(7): 1319-26, 2014

28. Nakajima, T., Fujii, M.
What make differences in the outcome of adjuvant treatments for resected gastric cancer?World J. Gastroenterol. 20(33): 11567-11573, 2014

29. Oshima, N., Yamada, Y., Nagayama, S., Kawada, K., Hasegawa, S., Okabe, H., Sakai, Y., Aoi, T.
Induction of cancer stem cell properties in colon cancer cells by defined factors.PLoS One. 9(7): e101735, 2014

30. Saiura, A., Yamamoto, J., Hasegawa, K., Oba, M., Takayama, T., Miyagawa, S., Ijichi, M., Teruya, M., Yoshimi, F., Kawasaki, S., Koyama, H., Makuuchi, M., Kokudo, N.
A combination of oral uracil-tegafur plus leucovorin (UFT + LV) is a safe regimen for adjuvant chemotherapy after hepatectomy in patients with colorectal cancer: Safety report of the UFT/LV study.Drug Discov. Ther. 8(1): 48-56, 2014

31. Saiura, A., Yamamoto, J., Koga, R., Takahashi, Y., Takahashi, M., Inoue, Y., Ono, Y., Kokudo, N.
Favorable outcome after repeat resection for colorectal liver metastases.Ann. Surg. Oncol. 21(13): 4293-9, 2014

32. Ueno, H., Shirouzu, K., Shimazaki, H., Kawachi, H., Eishi, Y., Ajioka, Y., Okuno, K., Yamada, K., Sato, T., Kusumi, T., Kushima, R., Ikegami, M., Kojima, M., Ochiai, A., Murata, A., Akagi, Y., Nakamura, T., Sugihara, K.
Histogenesis and prognostic value of myenteric spread in colorectal cancer: a Japanese multi-institutional study.J. Gastroenterol. 49(3): 400-7, 2014

33. Ueno, H., Konishi, T., Ishikawa, Y., Shimazaki, H., Ueno, M., Aosasa, S., Saiura, A., Hase, K., Yamamoto, J.Histologic categorization of fibrotic cancer stroma in the primary tumor is an independent prognostic index in resectable colorectal liver metastasis.Am. J. Surg. Pathol. 38(10): 1380-6, 2014

34. Watanabe, M., Baba, Y., Yoshida, N., Ishimoto, T., Sakaguchi, H., Kawasuji, M., Baba, H.Modified gastric pull-up reconstructions following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy.Dis. Esophagus. 27(3): 255-61, 2014

35. Watanabe, M., Mine, S., Yamada, K., Shigaki, H., Baba, Y., Yoshida, N., Kajiyama, K., Yamamoto, N., Sano, T., Baba, H.
Outcomes of lymphadenectomy for lymph node recurrence after esophagectomy or definitive chemoradiotherapy for squamous cell carcinoma of the esophagus.Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg. 62(11): 685-92, 2014

36. Watanabe, M., Baba, Y., Yoshida, N., Ishimoto, T., Nagai, Y., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Baba, H.
Outcomes of preoperative chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil followed by esophagectomy in patients with resectable node-positive esophageal cancer.Ann. Surg. Oncol. 21(9): 2838-44, 2014

37. Watanabe, T., Kobunai, T., Akiyoshi, T., Matsuda, K., Ishihara, S., Nozawa, K.
Prediction of response to preoperative chemoradiotherapy in rectal cancer by using reverse transcriptase polymerase chain reaction analysis of four genes.Dis. Colon. Rectum. 57(1): 23-31, 2014

38. Watanabe, M., Miyata, H., Gotoh, M., Baba, H., Kimura, W., Tomita, N., Nakagoe, T., Shimada, M., Kitagawa, Y., Sugihara, K., Mori, M.
Total gastrectomy risk model: data from 20,011 Japanese patients in a nationwide internet-based database.Ann. Surg. 260(6): 1034-9, 2014

39. Yamaguchi, J., Nagayama, S., Chino, A., Sakata, A., Yamamoto, N., Sato, Y., Ashihara, Y., Kita, M., Nomura, S., Ishikawa, Y., Igarashi, M., Ueno, M., Arai, M.
Identification of coding exon 3 duplication

in the *BMPR1A* gene in a patient with juvenile polyposis syndrome.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(10): 1004-8, 2014

40. 上野雅資, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介
大腸癌に対する腹腔鏡D3手術-私の手順-: 側方郭清　側方リンパ節郭清の適応と郭清の要点.手術. 68(5): 683-687, 2014

41. 上野雅資
誌上ディベート 再度問い直す「直腸癌に対する側方郭清と術前化学放射線療法の意義」　術前化学放射線療法を推奨するという立場から.Frontiers in Gastroenterology. 19(4): 258-263, 2014

42. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 布部創也, 峯真司
癌患者における栄養管理.消化器外科. 37(13): 1939-1946, 2014

43. 佐野武, 高橋常浩, 伊藤芳紀, 今野元博
胃癌術前・術後の化学放射線療法をどう考えるか.胃がんperspective. 7(2): 87-95, 2014

44. 入野誠之, 比企直樹
手術記録の書き方: 胃・十二指腸の手術　胃癌/鏡視下手術　進行癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術(D2).消化器外科. 37(5): 631-636, 2014

45. 向井俊貴, 福長洋介, 大野吏輝, 友利賢太, 池田篤志, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
細径鉗子を用いた腹腔鏡・内視鏡合同手術(Laparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery;LECS)を施行した横行結腸神経鞘腫の1例.日本大腸肛門病学会雑誌. 67(3): 178-182, 2014

46. 向井俊貴, 上野雅資, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 佐野武, 山口俊晴
高齢者に対する癌治療ベストプラクティス: 大腸癌.消化器外科. 37(9): 1417-1423, 2014

47. 大橋学, 佐野武, 布部創也, 比企直樹, 谷村愼哉, 山口俊晴
専門医必修！消化器癌定型手術の標準手技アトラス: 胃癌　高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する大動脈周囲リンパ節郭清術.手術. 68(4): 479-487, 2014

48. 大橋学, 比企直樹, 入野誠之, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴
早期胃癌の外科治療を極める-「EMR適応外」への安全で有益な縮小手術を求めて:　手術手技のポイント 幽門側胃切除術でどこまで高位までとれるのか　上部早期胃癌に対する腹腔鏡下高位幽門側胃切除術の適応と手技.臨床外科. 69(13): 1476-1481, 2014

49. 大橋学, 佐野武, 陳勁松, 布部創也, 比企直樹, 山口俊晴
最新の消化器癌術前術後化学療法: 胃癌　日本における進行胃癌に対する術前術後補助化学療法.消化器外科. 37(4): 423-432, 2014

50. 大橋学, 比企直樹, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃癌手術の適応拡大-進行胃癌に対するLAGは妥当か?-: 早期癌類似進行胃癌に対する治療成績から考える進行胃癌への腹腔鏡下胃切除術の適応.癌の臨床. 60(4): 387-394, 2014

51. 大野吏輝, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
保存版　消化器外科領域の希少悪性腫瘍:　神経内分泌腫瘍 直腸カルチノイドの診断と治療.外科. 76(10): 1097-1103, 2014

52. 大野吏輝, 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 向井俊貴
直腸癌に対するneedlescopic surgeryの手技と短期成績の検討.日本消化器外科学会雑誌. 47(2): 83-91, 2014

53. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
大腸癌診療の新たな展開: 直腸癌手術の新展開 術前化学放射線療法と腹腔鏡下側方郭清.コンセンサス癌治療. 13(1): 20-24, 2014

54. 山口俊晴
「外保連試案」と外科系技術評価の考え方.日本内科学会雑誌. 103(12): 2907-2912, 2014

55. 山口俊晴, 外科系学会社会保険委員会連合会
速攻解説！診療報酬改定2014: 関係団体 COMMENT　外保連　実質マイナス改定で新技術の評価が制限された.日本医事新報, (4696):

111, 2014

56. 布部創也, 佐野武
IV胃癌治療のpractice ⑫肝転移の切除適応はあるのか.ガイドラインには載っていない消化管がん：practical treatment (山田康秀ほか編), 東京, メジカルビュー社: pp.182-184, 2014

57. 布部創也
カルチノイド腫瘍.胃外科のすべて (胃外科・術後障害研究会編), 東京, メジカルレビュー社: pp.160-162, 2014

58. 布部創也, 入野誠之
外科学の古典を読む(第46回) Albert-Lembert縫合の原典.外科. 76(10): 1144-1147, 2014

59. 布部創也, 入野誠之
外科学の古典を読む(第48回) Witzelの胃瘻・腸瘻の原典.外科. 76(13): 1621-1623, 2014

60. 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 本多通孝, 佐野武, 山口俊晴
外科領域のpros and cons: 胃上部早期胃癌に対する術式選択　胃全摘術.外科. 76(13): 1570-1574, 2014

61. 布部創也, 佐野武
手術記録の書き方: 胃・十二指腸の手術　胃癌/開腹手術　胃全摘・膵脾合併切除術.消化器外科. 37(5): 612-615, 2014

62. 布部創也, 本多通孝, 佐野武
最新胃癌学-基礎と臨床の最新研究動向-: 胃癌治療におけるQOL評価　外科治療とQOL.日本臨床. 72(増刊1 最新胃癌学): 695-699, 2014

63. 布部創也, 比企直樹, 大橋学, 佐野武, 小菅敏幸, 清川貴志, 山口俊晴
消化管がん診療の新しいエビデンス: 内視鏡下手術のエビデンス　胃癌.臨牀と研究. 91(2): 225-229, 2014

64. 布部創也
癌性腹膜炎.今日の治療指針　2014 (福井次矢, 高木誠, 小室一成総編集), 東京, 医学書院: pp.483, 2014

65. 布部創也
第VIII章 がん患者に用いる経口栄養補助剤2アバンド.緩和ケアチームのためのがん栄養管理完全ガイド：QOLを維持するための栄養管理 (比企直樹, 土師誠二, 向山雄人編集), 東京, 文光堂: pp.353-354, 2014

66. 布部創也
鏡視下胃切除における合目的な十二指腸切離時期.手術. 68(3): 343-347, 2014

67. 布部創也
非上皮性腫瘍.胃外科のすべて (胃外科・術後障害研究会編), 東京, メジカルレビュー社: pp.169-172, 2014

68. 平澤俊明, 比企直樹, 山本頼正, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 山本智理子
噴門部胃粘膜下腫瘍に対するLaparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery(LECS)の検討.Gastroenterological Endoscopy. 56(8): 2359-2366, 2014

69. 平澤俊明, 比企直樹, 布部創也, 山本頼正
消化器内視鏡治療の最前線: 胃疾患内視鏡治療の最前線　胃粘膜下腫瘍に対するLECSの応用と進化.Modern Physician. 34(5): 523-526, 2014

70. 斎浦明夫, 有田淳一, 高橋祐, 井上陽介
膵切除をめぐる最近の話題： 膵頭十二指腸切除における前方アプローチによる動脈先行処理.外科. 76(2): 171-175, 2014

71. 斎浦明夫
膵切離と膵消化管吻合における吻合部膵実質および消化管への配慮.手術. 68(8): 1122-1126, 2014

72. 新井正美, 山口俊晴
遺伝子変異・遺伝子多型による癌化学療法の副作用予測.(オンコロジークリニカルガイド) 消化器癌化学療法 改訂第4版 (大村健二編), 東京, 南山堂pp.423-433, 2014

73. 本多通孝, 比企直樹, 布部創也, 清川貴志, 三浦昭順, 錦織達人, 草薙洋, 大西良浩, 脇田貴文, 福原俊一Gastrointestinal Symptom Rating Scaleは上部消化管術後のQOLを評価できるか.日本消化器外科学会雑誌. 47(7): 365-373, 2014

74. 杉原健一編集主幹, 藤盛孝博, 五十嵐正広, 渡邉聡明編集, 武藤徹一郎編集顧問大腸疾患 Now2014. 東京, 日本メディカルセンター: 198p., 2014

75. 武藤徹一郎
臨床医学の展望2014: 監修のことば　外科系. 日本医事新報, (4684): 26-29, 2014

76. 比企直樹, 布部創也
State of the art　胃粘膜下腫瘍に対する Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery(LECS).胃がんperspective. 7(2): 106-110, 2014

77. 比企直樹
Upper G.I.Cancer　食道・胃癌　胃癌における栄養管理の意義.癌と化学療法. 41(9): 1098-1102, 2014

78. 比企直樹, 土師誠二, 向山雄人
がん栄養管理完全ガイド：NST・緩和ケアチームのための:QOLを維持するための栄養管理. 東京, 文光堂: 407p., 2014

79. 比企直樹, 伊沢由紀子, 小口正彦, 小倉真理子
がん研有明病院の抗がん剤・放射線治療に向きあう食事：食べたい気持ち応援します！. 東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2014

80. 比企直樹
ディベート★消化器・一般外科手術-選ぶのはどっちだ！:　消化器外科手術(テーマ2)　幽門側胃切除後の再建法 幽門側胃切除後の再建法「Roux-en-Y法」の立場から.臨床外科. 69(2): 154-158, 2014

81. 比企直樹, 布部創也, 大橋学
手術のtips and pitfalls　胃粘膜下腫瘍に対する Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery(LECS).日本外科学会雑誌. 115(2): 102-104, 2014

82. 比企直樹
消化器疾患診療支援のための栄養療法の最先端:巻頭言.臨床消化器内科. 29(8): 1063-1064, 2014

83. 比企直樹
消化器疾患診療支援のための栄養療法の最先端：消化器疾患の栄養管理の実際：がん研有明病院でのNSTの現状を踏まえて.臨床消化器内科. 29(8): 1065-1072, 2014

84. 比企直樹, 布部創也
消化管癌内視鏡治療の最前線: 胃内視鏡治療の最前線　腹腔鏡・内視鏡合同胃局所切除(LECS)の応用と進化.医学のあゆみ. 250(10): 942-946, 2014

85. 比企直樹
胃内視鏡検査前の胃蠕動抑制薬の使いわけ.日本医事新報, (4711): 61-62, 2014

86. 清川貴志, 布部創也, 比企直樹, 本多通孝, 田中友理, 山口俊晴
左胃動脈から総肝動脈が分岐する稀な破格を認めた早期胃癌患者に腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行した1例.日本内視鏡外科学会雑誌. 19(1): 73-77, 2014

87. 清川貴志, 比企直樹, 布部創也
高齢者外科:周術期栄養管理をめぐる諸問題 : 高齢者胃切除術における周術期管理の問題点.外科と代謝・栄養. 48(5): 173-176, 2014

88. 渡邊雅之, 志垣博信, 松本晶, 西田康二郎, 峯真司
食道癌:疫学から治療まで: 食道癌の疫学と発癌リスク.Pharma Medica. 32(7): 9-12, 2014

89. 田中友理, 比企直樹
消化器外科術後合併症の治療:　胃癌術後合併症発生時の栄養管理.外科. 76(1): 28-31, 2014

90. 石沢武彰
腹腔鏡手術における視触診支援　Real-time Tissue Elastographyと周辺技術.INNERVISIOn. 29(12): 88-89, 2014

91. 神谷諭, 比企直樹
消化器外科手術ピットフォールとリカバリーショット: 胃　腹腔鏡下胃全摘におけるピットフォールと対策.外科. 76(12): 1383-1389, 2014

92. 神谷諭, 比企直樹
看護師のためのLECS入門　手術法・合併症・ケアポイント.消化器最新看護. 19(3): 90-95, 2014

93. 神谷諭, 比企直樹, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
腹腔鏡下胃切除術;エキスパートの手術を学ぶ：胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術 クラウン法による安全な手術の工夫.消化器外科. 37(12): 1803-1810, 2014

94. 福長洋介
手術記録の書き方: 結腸・直腸の手術　大腸癌/開腹手術　結腸右半切除術.消化器外科. 37(5): 662-666, 2014

95. 秋吉高志
miRNA網羅的発現解析に基づく直腸癌術前放射線化学療法(CRT)効果予測キットの開発.大和証券ヘルス財団研究業績集, (37): 89-90, 2014

96. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 山口俊晴
外科領域のpros and cons: 直腸癌側方郭清 腹腔鏡.外科. 76(13): 1591-1594, 2014

97. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 山口俊晴
大腸がん治療の最前線:進行・再発大腸がんの治療戦略: 進行下部直腸癌に対する術前放射線化学療法と画像診断に基づく選択的側方リンパ節郭清.癌の臨床. 60(2): 171-176, 2014

98. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
手術手技　直腸癌局所再発に対する外科手術 最近の治療戦略も含めて.手術. 68(12): 1613-1620, 2014

99. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
直腸癌局所再発に対する外科手術：最近の治療戦略も含めて.手術. 68(12): 1613-1620, 2014

100. 門田守人
誌上ディベート 肝癌に対する腹腔鏡下手術 両論文に対するコメント.Frontiers in Gastroenterology. 19(2): 107, 2014

101. 高橋祐, 有田淳一, 井上陽介, 石沢武彰, 齋浦明夫
肝胆膵領域における術前ストラテジー: 手技各論 術前胆道ドレナージ法の実際 経皮的アプローチ.外科. 76(11): 1240-1245, 2014

102. 高橋道郎, 齋浦明夫
肝胆膵癌の血管浸潤をどう治療するか: 大腸癌肝転移の門脈・肝静脈・下大静脈浸潤.臨床外科. 69(8): 933-937, 2014

103. 高津有紀子, 佐野武, 小菅敏幸, 布部創也, 大橋学, 比企直樹
胃癌に対する幽門側胃切除後のY脚吻合部を先進部とする腸重積の1例.日本臨床外科学会雑誌. 75(11): 3067-3071, 2014

乳腺外科

1. Taira, N., Iwata, H., Hasegawa, Y., Sakai, T., Higaki, K., Kihara, K., Yamaguchi, T., Ohsumi, S., Shimozuma, K., Ohashi, Y.
Health-related quality of life and psychological distress during neoadjuvant endocrine therapy with letrozole to determine endocrine responsiveness in postmenopausal breast cancer.Breast Cancer Res. Treat. 145(1): 155-64, 2014

2. 中川智恵, 堀井理絵, 五味直哉, 宮城由美, 岩瀬拓士, 秋山太
区域性分泌型石灰化の併存により乳管内成分主体の浸潤性乳管癌と術前診断された浸潤性小葉癌の1例.乳癌の臨床. 29(6): 605-610, 2014

3. 中村祥子, 田辺真彦, 波多野将, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
乳癌骨転移治療中の低酸素血症で PTTM(pulmonary tumor thrombotic microangiopathy)の診断に至った1例.乳癌の臨床. 29(2): 185-190, 2014

4. 井上謙一, 伊藤良則, 高橋俊二, 坂井威彦, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
原発巣と肝転移巣におけるHER2発現が異なった乳癌の1例.乳癌の臨床. 29(5): 523-530, 2014

5. 佐藤綾花, 岩瀬拓士
日常診療でできる　がん検診・がん予防: がんの早期発見をめざして　臓器別がん検診とがん予防　乳腺.診断と治療. 102(5): 717-722, 2014

6. 何森亜由美, 佐藤明
日常診療に役立つ乳腺超音波良性像の基礎知識. 香川産科婦人科雑誌. 16(1): 9-15, 2014

7. 何森亜由美著
誰も教えてくれなかった乳腺エコー. 東京, 医学書院: 153p., 2014

8. 北川大
個別化する乳癌への対応と工夫: 手術可能乳癌における診療アルゴリズム.日本医事新報, (4726): 26-31, 2014

9. 山崎希恵子, 深田一平, 荒木和浩, 佐々木亨, 下地尚, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
症例から学ぶ乳癌胸椎転移による脊髄圧迫の包括的治療戦略.乳癌の臨床. 29(4): 413-418, 2014

10. 岩瀬拓士
Breast and Endocrine Tumor　乳腺・内分泌腫瘍　センチネルリンパ節生検の未来　セカンドセンチネルリンパ節生検に対する考え方.癌と化学療法. 41(13): 2563-2567, 2014

11. 後藤與四成, 西村誠一郎, 畤田益次郎, 秋山太, 岩瀬拓士
術後の時間経過とともに整容性が改善された12歳女児の若年性線維腺腫の1例.乳癌の臨床. 29(4): 393-396, 2014

12. 新井正美, 岩瀬拓士, 高澤豊, 竹島信宏わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の診療上の課題と最近の動向　遺伝子検査と予防手術を中心に.癌と化学療法. 41(11): 1333-1339, 2014

13. 澤泉雅之, 岩瀬拓士
乳房再建の新たな展開-人工乳房の保険適用後どう変わったか-: 人工乳房を用いた乳房一次再建術における周術期管理.乳癌の臨床. 29(3): 247-253, 2014

14. 照屋なつき, 岩瀬拓士
第1章　乳癌手術の基礎知識 1. 乳癌手術.乳房オンコプラスティックサージャリー：根治性と整容性を向上させる乳癌手術 (矢野健二, 小川明子編), 東京, 克誠堂出版: pp.2-11, 2014

15. 石田直子, 木村聖美, 畤田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
主乳管内に突出し血性乳頭分泌を呈した乳腺葉状腫瘍の3例.乳癌の臨床. 29(1): 87-92, 2014

16. 畤田益次郎
乳がんの早期発見について.微研ジャーナル. 37(2): 3-7, 2014

17. 畤田益次郎, 坂井威彦, 荻谷朗子, 中島絵里, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 荒木和浩, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
乳癌術後補助アナストロゾール療法中の関節痛が予後に及ぼす影響について.乳癌の臨床. 29(5): 509-521, 2014

18. 畤田益次郎, 飯島耕太郎
地域におけるがん医療連携のシステム化に向けた研究.大和証券ヘルス財団研究業績集, (37): 83-88, 2014

19. 畤田益次郎, 坂井威彦, 荻谷朗子, 森園英智, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 高橋俊二, 伊藤良則, 小口正彦, 五味直哉, 秋山太, 岩瀬拓士
非浸潤癌温存療法後の2次乳癌の発生が乳房内再発を高める.乳癌の臨床. 29(2): 143-157, 2014

乳腺内科

1. Araki, K., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Ito, Y.
Lapatinib-associated mucocutaneous toxicities are clinical predictors of improved progression-free survival in patients with human epidermal growth factor receptor (HER2)-positive advanced breast cancer.Breast Cancer Res. Treat. 148(1): 197-209, 2014

2. Honma, N., Horii, R., Iwase, T., Saji, S., Younes, M., Ito, Y., Akiyama, F.
Proportion of estrogen or progesterone receptor expressing cells in breast cancers and response to endocrine therapy.Breast. 23(6): 754-62, 2014

3. Horii, R., Matsuura, M., Iwase, T., Ito, Y., Akiyama, F.
Comparison of dual-color in-situ hybridization and fluorescence in-situ hybridization in HER2 gene amplification in

breast cancer.Breast Cancer. 21(5): 598-604, 2014

4. Inada-Inoue, M., Ando, M., Kawada, K., Mitsuma, A., Sawaki, M., Yokoyama, T., Sunakawa, Y., Ishida, H., Araki, K., Yamashita, K., Mizuno, K., Nagashima, F., Takekura, A., Nagamatsu, K., Sasaki, Y.
Phase 1 study of pazopanib alone or combined with lapatinib in Japanese patients with solid tumors.Cancer Chemother. Pharmacol. 73(4): 673-83, 2014

5. Noguchi, S., Masuda, N., Iwata, H., Mukai, H., Horiguchi, J., Puttawibul, P., Srimuninnimit, V., Tokuda, Y., Kuroi, K., Iwase, H., Inaji, H., Ohsumi, S., Noh, W.C., Nakayama, T., Ohno, S., Rai, Y., Park, B.W., Panneerselvam, A., El-Hashimy, M., Taran, T., Sahmoud, T., Ito, Y.
Efficacy of everolimus with exemestane versus exemestane alone in Asian patients with HER2-negative, hormone-receptor-positive breast cancer in BOLERO-2.Breast Cancer. 21(6): 703-14, 2014

6. Piccart, M., Hortobagyi, G.N., Campone, M., Pritchard, K.I., Lebrun, F., Ito, Y., Noguchi, S., Perez, A., Rugo, H.S., Deleu, I., Burris, H.A., 3rd, Provencher, L., Neven, P., Gnant, M., Shtivelband, M., Wu, C., Fan, J., Feng, W., Taran, T., Baselga, J.
Everolimus plus exemestane for hormone-receptor-positive, human epidermal growth factor receptor-2-negative advanced breast cancer: overall survival results from BOLERO-2.Ann. Oncol. 25(12): 2357-62, 2014

7. Uehiro, N., Horii, R., Iwase, T., Tanabe, M., Sakai, T., Morizono, H., Kimura, K., Iijima, K., Miyagi, Y., Nishimura, S., Makita, M., Ito, Y., Akiyama, F.
Validation study of the UICC TNM classification of malignant tumors, seventh edition, in breast cancer.Breast Cancer. 21(6): 748-753, 2014

8. 中村祥子, 田辺真彦, 波多野将, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
乳癌骨転移治療中の低酸素血症で PTTM(pulmonary tumor thrombotic microangiopathy)の診断に至った1例.乳癌の臨床. 29(2): 185-190, 2014

9. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 深田一平
術前薬物療法の効果判定(第6回).Cancer Board 乳癌. 7(1): 5-23, 2014

10. 井上謙一, 伊藤良則, 高橋俊二, 坂井威彦, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
原発巣と肝転移巣におけるHER2発現が異なった乳癌の1例.乳癌の臨床. 29(5): 523-530, 2014

11. 伊藤良則
HER2による乳がん治療戦略の方向性: 生殖細胞系BRCA1/BRCA2変異乳がんの薬物療法.腫瘍内科. 14(3): 252-255, 2014

12. 伊藤良則
乳癌治療におけるエベロリムスの臨床②乳癌に対するエベロリムスの臨床成績.(野口眞三郎編集), 大阪市, メディカルレビュー社: pp.80-88, 2014

13. 伊藤良則
乳癌診療の新しい展開II: 乳癌に対する抗HER2治療.Pharma Medica. 32(5): 19-23, 2014

14. 伊藤良則
最新がん薬物療法学-がん薬物療法の最新知見-: がん薬物治療薬の作用機序　分子標的治療薬　低分子化合物　PI3K阻害薬.日本臨床. 72(増刊2 最新がん薬物療法学): 209-213, 2014

15. 小林心
抗がん薬投与指示の根拠が知りたい!　レジメンの中身がわかる!　分子標的薬/抗悪性腫瘍薬/ホルモン療法薬Q&A: レジメンの選択や変更・追加に関する疑問　体重の増減と抗がん薬投与量について.ナーシング. 34(2): 64-65, 2014

16. 小林心
抗がん薬投与指示の根拠が知りたい!　レジメンの中身がわかる!　分子標的薬/抗悪性腫瘍薬/ホルモン療法薬Q&A: 抗がん薬・レジメンの補助薬指示に関する疑問　抗がん薬治療時における

抗肝炎ウイルス薬の内服について.ナーシング. 34(2): 52-53, 2014

17. 小林心
抗がん薬投与指示の根拠が知りたい! レジメンの中身がわかる! 分子標的薬/抗悪性腫瘍薬/ホルモン療法薬Q&A: 抗がん薬・レジメンの補助薬指示に関する疑問 骨転移に対する薬物療法と生活指導.ナーシング. 34(2): 54-55, 2014

18. 小林心
治療に伴う看護特集 患者のギモン・不安にこたえる 臓器別がん化学療法の一問一答: 乳がん化学療法の一問一答.プロフェッショナルがんナーシング. 4(2): 153-159, 2014

19. 山崎希恵子, 深田一平, 荒木和浩, 佐々木亨, 下地尚, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 伊藤良則
症例から学ぶ乳癌胸椎転移による脊髄圧迫の包括的治療戦略.乳癌の臨床. 29(4): 413-418, 2014

20. 深田一平, 伊藤良則
ハーセプチン、カドサイラ.がんの薬物療法マニュアル 第2版 (畠清彦編著), 東京, 中外医学社: pp.107-108, 2014

21. 深田一平, 伊藤良則
代表的な薬剤：2 トラスツズマブ.がんの薬物用法マニュアル 第2版 (畠清彦編著), 東京, 中外医学社: pp.91-95, 2014

22. 深田一平, 伊藤良則
代表的な薬剤:46トラスツズマブ エムタンシン(T-DM1).がんの薬物療法マニュアル 第2版 (畠清彦編著), 東京, 中外医学社: pp.288-291, 2014

23. 深田一平, 伊藤良則
合併症を有する患者に対する乳癌薬物療法：2 呼吸器疾患.各領域専門医にきく乳癌薬物療法ケースファイル (佐伯俊昭編), 東京, 南江堂: pp.76-86, 2014

24. 荒木和浩, 伊藤良則
HER2による乳がん治療戦略の方向性: BOLERO-3トラスツズマブ抵抗性の進行再発乳がんに対するトラスツズマブ+ビノレルビン毎週投与へのエベロリムス毎日投与の併用効果を検証する多施設国際共同二重盲検プラセボ対照無作為化第III相比較試験の解説.腫瘍内科. 14(3): 197-207, 2014

25. 畤田益次郎, 坂井威彦, 荻谷朗子, 中島絵里, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 荒木和浩, 高橋俊二, 伊藤良則, 岩瀬拓士
乳癌術後補助アナストロゾール療法中の関節痛が予後に及ぼす影響について.乳癌の臨床. 29(5): 509-521, 2014

26. 畤田益次郎, 坂井威彦, 荻谷朗子, 森園英智, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 高橋俊二, 伊藤良則, 小口正彦, 五味直哉, 秋山太, 岩瀬拓士
非浸潤癌温存療法後の2次乳癌の発生が乳房内再発を高める.乳癌の臨床. 29(2): 143-157, 2014

婦人科

1. Abe, A., Furuta, R., Takazawa, Y., Kondo, E., Umayahara, K., Takeshima, N.
A case of ovarian metastasis from microinvasive adenosquamous carcinoma of the uterine cervix.Gynecol. Obstet. (Sunnyvale). 4: 248, 2014

2. Iwase, H., Takada, T., Iitsuka, C., Nomura, H., Abe, A., Taniguchi, T., Sakamoto, K., Takizawa, K., Takeshima, N.
Clinical features of long-term survivors of recurrent epithelial ovarian cancer.Int. J. Clin. Oncol. 20(1): 143-9, 2014

3. Kato, K., Yamamoto, A., Takeshima, N.
Cytoreduction of para-aortic lymph nodes behind the inferior vena cava and the right renal vessels in a patient with fallopian tube cancer.Gynecol. Oncol. 134(1): 164-5, 2014

4. Kato, K., Tate, S., Nishikimi, K., Shozu, M.
Surgical anatomy of the common iliac veins during para-aortic and pelvic lymphadenectomy for gynecologic cancer.J. Gynecol. Oncol. 25(1): 64-69, 2014

5. Matsumoto, K., Yaegashi, N., Iwata, T., Ariyoshi, K., Fujiwara, K., Shiroyama, Y., Usami, T., Kawano, Y., Horie, K., Kawano, K., Noda, K., Yoshikawa, H.

Monitoring the impact of a national HPV vaccination program in Japan (MINT Study): Rationale, design and methods.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(10): 1000-3, 2014

6. Mikami, M., Aoki, Y., Sakamoto, M., Shimada, M., Takeshima, N., Fujiwara, H., Matsumoto, T., Kita, T., Takizawa, K. Surgical principles for managing stage IB2, IIA2, and IIB uterine cervical cancer (Bulky Tumors) in Japan: a survey of the Japanese Gynecologic Oncology Group.Int. J. Gynecol. Cancer. 24(7): 1333-40, 2014

7. Takeshima, N., Matoda, M., Abe, M., Hirashima, Y., Kai, K., Nasu, K., Takano, M., Furuya, K., Sato, S., Itamochi, H., Tsubamoto, H., Hasegawa, K., Terao, K., Otsuki, T., Kuritani, K., Ito, K. Efficacy and safety of triple therapy with aprepitant, palonosetron, and dexamethasone for preventing nausea and vomiting induced by cisplatin-based chemotherapy for gynecological cancer: KCOG-G1003 phase II trial.Support. Care Cancer. 22(11): 2891-8, 2014

8. Usami, T., Kato, K., Taniguchi, T., Abe, A., Nomura, H., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Omatsu, K., Kawamata, Y., Takeshima, N. Recurrence patterns of advanced ovarian, fallopian tube, and peritoneal cancers after complete cytoreduction during interval debulking surgery.Int. J. Gynecol. Cancer. 24(6): 991-6, 2014

9. 加藤一喜, 竹島信宏
手術療法の進歩：再発卵巣癌に対する手術療法の進歩.Progress in Ovarian Cancer Management. 2(1): 16-21, 2014

10. 宇津木久仁子
卵巣がんの治療　標準治療と先進医療: 標準治療　卵巣がんの標準治療.ライフライン21がんの先進医療. 12: 27-31, 2014

11. 山本阿紀子, 星利良, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 杉山裕子, 本山悌一, 竹島信宏
卵管結紮部に発生した非浸潤性両側卵管癌の1例.日本臨床細胞学会雑誌. 53(4): 313-317, 2014

12. 山本阿紀子, 宇津木久仁子, 竹島信宏
産婦人科処方のすべて-すぐに使える実践ガイド:　婦人科編　腫瘍 抗がん剤副作用対策　末梢神経障害.臨床婦人科産科. 68(4): 222-224, 2014

13. 岡本三四郎, 高澤豊, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
子宮内膜細胞診を契機に腹腔鏡手術を用い診断した腹膜播種を伴う原発性卵管上皮内腺癌の1例.日本臨床細胞学会雑誌. 53(2): 126-131, 2014

14. 岡本三四郎, 宇佐美知香, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 近藤英司, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
当院における進行卵巣癌・腹膜癌症例に対する診断的腹腔鏡下手術の検討.東京産科婦人科学会会誌. 63(2): 239-241, 2014

15. 岡本三四郎, 宇佐美知香, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 坂本公彦, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
腹腔鏡手術にて腹膜癌との鑑別診断を確定しえた子宮体癌IVb期の1例.東京産科婦人科学会会誌. 63(1): 52-56, 2014

16. 新井正美, 岩瀬拓士, 高澤豊, 竹島信宏
わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の診療上の課題と最近の動向　遺伝子検査と予防手術を中心に.癌と化学療法. 41(11): 1333-1339, 2014

17. 末岡幸太郎, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田真紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 加藤一喜, 杉山裕子, 高澤豊, 本山悌一, 竹島信宏
放射線治療後の二次癌と考えられた子宮血管肉腫の一例.日本婦人科腫瘍学会雑誌. 32(4): 776-781, 2014

18. 瀧澤憲, 後藤重則
がん免疫療法の最前線: 婦人科がんに対する免疫細胞療法の実際.産科と婦人科. 81(2): 198-204, 2014

19. 瀧澤憲
子宮がん-標準治療と先進医療: 標準治療　子宮頸がん・子宮体がんの標準治療　病状に見合う

最善の局所治療と病気の拡がり方を予想した再発予防がキーポイント.ライフライン21がんの先進医療. 12: 14-18, 2014

20. 的田眞紀, 近藤英司, 谷川輝美, 谷口智子, 宇佐美知香, 阿部彰子, 野村秀高, 岡本三四郎, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
診断に苦慮し腹腔鏡下手術を施行した骨盤内腫瘤の1例.東京産科婦人科学会会誌. 63(3): 442-446, 2014

21. 竹島信宏, 的田眞紀, 尾松公平
産婦人科手術Up to Date: (第2章)婦人科　子宮頸癌　子宮頸癌における放射線治療後の子宮全摘出術について.産科と婦人科. 81(Suppl.): 146-151, 2014

22. 竹島信宏
進行・再発卵巣がんの標準治療と治療オプション.日本癌治療学会誌. 49(2): 387-389, 2014

23. 谷口智子, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 野村秀高, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 竹島信宏
初回治療から16年後に再発をきたした子宮体部・卵巣重複癌の1例.
東京産科婦人科学会会誌. 63(4): 613-617, 2014

24. 谷川輝美, 的田眞紀, 阿部彰子, 野村秀高, 山本阿紀子, 岡本三四郎, 尾松公平, 川又靖貴, 加藤一喜, 馬屋原健司, 本山悌一, 竹島信宏
筋層浸潤の程度判定に苦慮した腺筋症合併子宮体癌の一例.関東連合産科婦人科学会誌. 51(1): 57-62, 2014

25. 野村秀高, 阿部彰子, 山本阿紀子, 的田眞紀, 尾松公平, 川又靖貴, 杉山裕子, 竹島信宏
内膜細胞診陰性の内膜ポリープ内に内膜異型増殖症を認めたタモキシフェン内服中の1例.日本臨床細胞学会雑誌. 53(4): 318-322, 2014

26. 野村秀高, 阿部彰子, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 川又靖貴, 加藤一喜, 宇津木久仁子, 馬屋原健司, 竹島信宏
外陰癌42症例の臨床的検討.日本婦人科腫瘍学会雑誌. 32(2): 226-232, 2014

27. 阿部彰子, 古田玲子, 荒井祐司, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 竹島信宏
Lobular endocervical glandular hyperplasiaを伴うadenocarcinoma in situおよび子宮体癌を認めた重複癌の1例.日本臨床細胞学会雑誌. 53(3): 195-199, 2014

28. 阿部彰子, 杉山裕子, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田真紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
卵巣に発生した悪性リンパ腫の1例.日本婦人科腫瘍学会雑誌. 32(4): 769-775, 2014

29. 阿部彰子, 野村秀高, 宇佐美智香, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 竹島信宏
嚢胞状骨盤リンパ節転移を認めた子宮頸癌の1例.関東連合産科婦人科学会誌. 51(4): 577-581, 2014

30. 馬屋原健司, 加藤一喜, 的田眞紀
子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん患者さんへのドクターズアドバイス:こちら「がん研有明相談室」. 東京, 新興医学出版社: 131p., 2014

31. 馬屋原健司, 谷川輝美, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
子宮頸部扁平上皮癌に対する化療薬を用いた新たな治療戦略 同時化学放射線療法(CCRT)のsentitizerとしての化学療法レジメンは?　TP CCRTを話題の中心として.日本婦人科腫瘍学会雑誌. 32(2): 176-180, 2014

頭頸科

1. Ebina, A., Sugitani, I., Fujimoto, Y., Yamada, K.
Risk-adapted management of papillary thyroid carcinoma according to our own risk group classification system: Is thyroid lobectomy the treatment of choice for low-risk patients?
Surgery. 156(6): 1579-89, 2014

2. Kobayashi, K., Takenouchi, S., Mitani, H., Yoshida, T.
Recurrence pattern after conservative surgery for papillary thyroid carcinoma.Auris Nasus Larynx. 41(6): 548-51, 2014

3. Misawa, K., Kanazawa, T., Imai, A., Endo, S., Mochizuki, D., Fukushima, H., Misawa, Y., Mineta, H.

Prognostic value of type XXII and XXIV collagen mRNA expression in head and neck cancer patients.Mol. Clin. Oncol. 2(2): 285-291, 2014

4. Saito, Y., Sugitani, I., Toda, K., Yamada, K., Fujimoto, Y.
Metastatic thyroid tumors: ultrasonographic features, prognostic factors and outcomes in 29 cases.Surg. Today. 44(1): 55-61, 2014

5. Sakashita, T., Homma, A., Hayashi, R., Kawabata, K., Yoshino, K., Iwae, S., Hasegawa, Y., Nibu, K., Kato, T., Shiga, K., Matsuura, K., Monden, N., Fujii, M.
The role of initial neck dissection for patients with node-positive oropharyngeal squamous cell carcinomas.Oral Oncol. 50(7): 657-61, 2014

6. Sugitani, I., Fujimoto, Y., Yamada, K.
Association between serum tyhyrotropin concentration and growth of asymptomatic papillary thyroid microcarcinoma.World J. Surg. 38(3): 673-8, 2014

7. Sugitani, I., Hasegawa, Y., Sugasawa, M., Tori, M., Higashiyama, T., Miyazaki, M., Hosoi, H., Orita, Y., Kitano, H.
Super-radical surgery for anaplastic thyroid carcinoma: A large cohort study using the anaplastic thyroid carcinoma research consortium of Japan database.Head Neck. 36(3): 328-33, 2014

8. 仲野兼司, 川端一嘉
大きく変わりつつある頭頸部癌化学療法: 下咽頭・喉頭癌に対する化学療法.JOHNS. 30(8): 1051-1054, 2014

9. 佐々木徹, 川端一嘉
こんなときどうする: 頭頸部外科学領域　中・下咽頭癌に対する化学放射線療法後、咽頭・食道狭窄をきたした!JOHNS. 30(9): 1348-1352, 2014

10. 戸田和寿, 川端一嘉
甲状腺良性腫瘍に対するTSH抑制療法.日本医事新報, (4704): 65-66, 2014

11. 木村幸紀, 柳澤昭夫, 山本智理子, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 佐野司
Stage I・II筋層浸潤舌扁平上皮癌における後発転移と予後　210例の検討.頭頸部癌. 40(3): 338-343, 2014

12. 福島啓文
ちょっと便利な診療ツール: シャント発声器.JOHNS. 30(5): 617-622, 2014

整形外科

1. Nakano, K., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Motoi, N., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Shimoji, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Incidence of pneumothorax in advanced and/or metastatic soft tissue sarcoma patients during pazopanib treatment.
Clin. Oncol. 26(6): 357, 2014

2. Sawamura, C., Matsumoto, S., Shimoji, T., Okawa, A., Ae, K.
How long should we follow patients with soft tissue sarcomas?Clin. Orthop. Relat. Res. 472(3): 842-8, 2014

3. Watanabe, N., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Motoi, N., Ueno, T., Koizumi, M.
Early evaluation of the therapeutic effect of denosumab on tartrate-resistant acid phosphatase 5b expression in a giant cell tumor of bone: a case report.BMC Res. Notes. 7: 608, 2014

4. Yoshimoto, T., Motoi, N., Kanda, H., Tanizawa, T., Shimoji, T., Matsumoto, S., Mukai, H., Ishikawa, Y., Machinami, R.
Hepatoid tenosynovial giant cell tumor - A rare morphologic variant case report.Pathol. Res. Pract. 210(10): 694-7, 2014

5. 松本誠一, 尾崎敏文
切除縁評価の問題点：序文.日本整形外科学会雑誌. 88(9): 565-566, 2014

6. 松本誠一, 阿江啓介, 澤泉雅之
形成外科医のための手外科の基本: 手部の悪性骨・軟部腫瘍の診断と治療.形成外科. 57(増刊):

S98-S105, 2014

7. 蛭田啓之, 町並陸生, 元井紀子, 杉浦善弥, 松本誠一, 下地尚, 谷沢泰介, 徳山宣, 笹井大督, 土谷一晃
骨腫瘍病理の最近のトピックス：実際の診断への応用：骨肉腫の治療効果判定と問題点.病理と臨床. 32(2): 156-160, 2014

8. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 澤村千草, 早川景子, 真鍋淳, 川口智義
Musculoskeletal Tumor　骨・軟部　腫瘍　悪性骨・軟部腫瘍　縮小手術を目指して　切除縁評価法による縮小手術の可能性とBarrier概念の検証.癌と化学療法. 41(3): 296-302, 2014

9. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 澤村千草, 早川景子, 川口智義
切除縁評価法の問題点 切除縁評価法の改正にむけて　バリア概念の検証.日本整形外科学会雑誌. 88(9): 567-574, 2014

10. 阿江啓介, 松本誠一, 下地尚, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 澤村千草, 早川景子, 川口智義
良性腫瘍に対する最新の治療戦略 線維性骨異形成.臨床整形外科. 49(3): 249-260, 2014

泌尿器科

1. Akiyoshi, T., Ueno, M., Ono, R., Urakami, S.
Laparoscopic resection of sigmoid colon cancer involving the left ureter with reconstruction by ileal interposition.Dis. Colon. Rectum. 57(10): 1241, 2014

2. Fay, A.P., Xie, W.L., Lee, J.L., Harshman, L.C., Bjarnason, G.A., Knox, J.J., Ernst, S., Wood, L., Vaishamayan, U.N., Yuasa, T., Tan, M.H., Rha, S.Y., Donskov, F., Agarwal, N., Kollmannsberger, C.K., North, S.A., Rini, B.I., Choueiri, T.K., Heng, D.Y.
Characteristics of long-term and short-term survivors of metastatic renal cell carcinoma treated with targeted therapies: Results from the international mRCC database consortium.Clin. Genitourin. Cancer. 44(12): 1243-7, 2014

3. Fujii, Y., Yamamoto, S., Yonese, J., Masuda, H., Urakami, S., Kitsukawa, S., Sakura, M.,Yuasa, T., Kihara, K., Fukui, I.
The processus vaginalis transection method to prevent postradical prostatectomy inguinal hernia: Long-term results.Urology. 83(1): 247-52, 2014

3. Harshman, L.C., Kroeger, N., Rha, S.Y., Donskov, F., Wood, L., Tantravahi, S.K., Vaishampayan, U., Rini, B.I., Knox, J., North, S., Ernst, S., Yuasa, T., Srinivas, S., Pal, S., Heng, D.Y., Choueiri, T.K.
First-line Mammalian target of rapamycin inhibition in metastatic renal cell carcinoma: an analysis of practice patterns from the international metastatic renal cell carcinoma database consortium.Clin. Genitourin. Cancer. 12(5): 335-40, 2014

4. Heng, D.Y., Choueiri, T.K., Rini, B.I., Lee, J., Yuasa, T., Pal, S.K., Srinivas, S., Bjarnason, G.A., Knox, J.J., Mackenzie, M., Vaishampayan, U.N., Tan, M.H., Rha, S.Y., Donskov, F., Agarwal, N., Kollmannsberger, C., North, S., Wood, L.A.Outcomes of patients with metastatic renal cell carcinoma that do not meet eligibility criteria for clinical trials.Ann. Oncol. 25(1): 149-54, 2014

5. HengD.Y., WellsJ.C., RiniB.I., BeuselinckB., LeeJ.L., KnoxJ.J., BjarnasonG.A., PalS.K., KollmannsbergerC.K., YuasaT., SrinivasS., DonskovF., BamiasA., WoodL.A., ErnstD.S., AgarwalN., VaishampayanU.N., RhaS.Y., KimJ.J., ChoueiriT.K.
Cytoreductive nephrectomy in patients with synchronous metastases from renal cell carcinoma: results from the international metastatic renal cell carcinoma database consortium.Eur. Urol. 66(4): 704-10, 2014

6. Ishioka, J., Masuda, H., Kijima, T., Tatokoro, M., Yoshida, S., Yokoyama, M., Matsuoka, Y., Numao, N., Koga, F., Saito, K., Fujii, Y., Sakai, Y., Arisawa, C., Okuno, T., Nagahama, K., Kamata, S., Yonese, J., Kageyama, Y., Noro, A., Morimoto, S., Tsujii, T., Kitahara, S., Gotoh, S., Kihara, K.
Bimodal pattern of the impact of body mass index on cancer-specific survival of upper urinary tract urothelial carcinoma

patients. Anticancer Res. 34(10): 5683-8, 2014

7. Isono, T., Chano, T., Kitamura, A., Yuasa, T. Glucose deprivation induces G2/M transition-arrest and cell death in N-GlcNAc2-modified protein-producing renal carcinoma cells. PLoS One. 9(5): e96168, 2014

8. Ko, J.J., Choueiri, T.K., Rini, B.I., Lee, J.L., Kroeger, N., Srinivas, S., Harshman, L.C., Knox, J.J., Bjarnason, G.A., Mackenzie, M.J., Wood, L., Vaishampayan, U.N., Agarwal, N., Pal, S.K., Tan, M.H., Rha, S.Y., Yuasa, T., Donskov, F., Bamias, A., Heng, D.Y. First-, second-, third-line therapy for mRCC: benchmarks for trial design from the IMDC. Br. J. Cancer. 110(8): 1917-22, 2014

9. Kroeger, N., Choueiri, T.K., Lee, J.L., Bjarnason, G.A., Knox, J.J., Mackenzie, M.J., Wood, L., Srinivas, S., Vaishamayan, U.N., Rha, S.Y., Pal, S.K., Yuasa, T., Donskov, F., Agarwal, N., Tan, M.H., Bamias, A., Kollmannsberger, C.K., North, S.A., Rini, B.I., Heng, D.Y. Survival outcome and treatment response of patients with late relapse from renal cell carcinoma in the era of targeted therapy. Eur. Urol. 65(6): 1086-92, 2014

10. Mashima, T., Soma-Nagae, T., Migita, T., Kinoshita, R., Iwamoto, A., Yuasa, T., Yonese, J., Ishikawa, Y., Seimiya, H. TRIB1 supports prostate tumorigenesis and tumor-propagating cell survival by regulation of endoplasmic reticulum chaperone expression. Cancer Res. 74(17): 4888-97, 2014

11. Masuda, H. Editorial comment to anti-oxidant activity and attenuation of bladder hyperactivity by the flavonoid compound kaempferol. Int. J. Urol. 21(1): 98-99, 2014

12. Matsubara, N., Uemura, H., Fukui, I., Niwakawa, M., Yamaguchi, A., Iizuka, K., Akaza, H. Phase-1 study of abiraterone acetate in chemotherapy-naive Japanese patients with castration-resistant prostate cancer. Cancer Sci. 105(10): 1313-20, 2014

13. Schutz, F.A., Xie, W., Donskov, F., Sircar, M., McDermott, D.F., Rini, B.I., Agarwal, N., Pal, S.K., Srinivas, S., Kollmannsberger, C., North, S.A., Wood, L.A., Vaishampayan, U., Tan, M.H., Mackenzie, M.J., Lee, J.L., Rha, S.Y., Yuasa, T., Heng, D.Y., Choueiri, T.K. The impact of low serum sodium on treatment outcome of targeted therapy in metastatic renal cell carcinoma: results from the International Metastatic Renal Cell Cancer Database Consortium. Eur. Urol. 65(4): 723-30, 2014

14. Suzuki, S., Chino, A., Fukui, I., Hayashi, T., Kozuka, T., Suganuma, T., Kishihara, T., Tamegai, Y., Fujisaki, J., Oguchi, M., Yonese, J., Igarashi, M. Successful use of endoscopic argon plasma coagulation for hemorrhagic radiation cystitis: a case report. Jpn. J. Clin. Oncol. 44(7): 692-5, 2014

15. Tsuchiya, N., Yuasa, T., Maita, S., Narita, S., Inoue, T., Numakura, K., Saito, M., Satoh, S., Yonese, J., Habuchi, T. Organ-specific and tumor-size-dependent responses to sunitinib in clear cell renal cell carcinoma. BMC Urol. 14: 26, 2014

16. Urakami, S., Fujii, Y., Yamamoto, S., Yuasa, T., Kitsukawa, S., Sakura, M., Yano, A., Saito, K., Masuda, H., Yonese, J., Fukui, I. Phase II trial of first-line chemotherapy with gemcitabine, etoposide, and cisplatin for patients with advanced urothelial carcinoma. Urol. Oncol. 32(1): 35.e1-7, 2014

17. Yamamoto, S. Editorial comment to high percent tumor volume predicts biochemical recurrence after radical prostatectomy in pathological stage T3a prostate cancer with a negative surgical margin. Int. J. Urol. 21(5): 489-90, 2014

18. Yamamoto, S., Kawakami, S., Yonese, J., Fujii, Y., Urakami, S., Kitsukawa, S., Masuda, H., Ishikawa, Y., Kozuka, T., Oguchi, M., Kohno, A., Fukui, I.
Long-term oncological outcome in men with T3 prostate cancer: radical prostatectomy versus external-beam radiation therapy at a single institution.Int. J. Clin. Oncol. 19(6): 1085-91, 2014

19. Yamamoto, S., Fujii, Y., Masuda, H., Urakami, S., Saito, K., Kozuka, T., Oguchi, M., Fukui, I., Yonese, J.
Longitudinal change in health-related quality of life after intensity-modulated radiation monotherapy for clinically localized prostate cancer.Qual. Life. Res. 23(5): 1641-1650, 2014

20. Yoshida, S., Koga, F., Masuda, H., Fujii, Y., Kihara, K.
Role of diffusion-weighted magnetic resonance imaging as an imaging biomarker of urothelial carcinoma.Int. J. Urol. 21(12): 1190-200, 2014

21. Yuasa, T.
Editorial comment from Dr Yuasa to Efficacy of traditional and alternative sunitinib treatment schedules in Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma.Int. J. Urol. 21(10): 1069-70, 2014

22. Yuasa, T.
Editorial comment to localized non-conventional renal cell carcinoma: Prediction of clinical outcome according to histology.Int. J. Urol. 21(4): 364-365, 2014

23. Yuasa, T., Urakami, S.
Kidney cancer: Decreased incidence of skeletal-related events in mRCC.Nat. Rev. Urol. 11(4): 193-4, 2014

24. 増田均
前立腺癌の診療ナビゲーション-わかりやすく丁寧に!:　前立腺癌治療後の主な合併症と対処法　尿失禁　前立腺癌治療後の尿失禁の対処法と注意点について教えてください.臨床泌尿器科. 68(4): 253-258, 2014

25. 増田均
前立腺癌の診療ナビゲーション-わかりやすく丁寧に!:　前立腺癌治療後の主な合併症と対処法　排尿障害　前立腺癌治療後の排尿障害の対処法と注意点について教えてください.臨床泌尿器科. 68(4): 259-261, 2014

26. 増田均
前立腺癌治療に伴う排尿障害: 術後尿失禁に対する外科的アプローチ.排尿障害プラクティス. 22(1): 35-40, 2014

27. 増田均
前立腺肥大症治療の最前線: 新規薬剤のポテンシャル　特にβ3アゴニストとPDE5阻害剤に着目して.泌尿器外科. 27(4): 439-443, 2014

28. 増田均
高齢者における排尿障害: 頻尿・尿失禁　過活動膀胱の診断.Geriatric Medicine. 52(9): 1041-1045, 2014

29. 浦上慎司, 増田均, 米瀬淳二
最新がん薬物療法学-がん薬物療法の最新知見-: 臓器別がんの薬物療法　泌尿器がん　膀胱がん. 日本臨床. 72(増刊2 最新がん薬物療法学): 412-416, 2014

30. 湯浅健
腎癌 転移性腎細胞癌の治療戦略　骨転移に対する治療を中心に.尿路悪性腫瘍研究会記録. 40: 39-44, 2014

31. 湯浅健
進行前立腺癌の最新薬物療法: Radioisotopeを用いた骨転移治療.医学と薬学. 72(1): 45-49, 2014

32. 湯浅健
進行性前立腺がんの治療:化学療法.(最新医学別冊:新しい診断治療のABC;49)　前立腺がん 改訂第2版 (木原和徳編集), 大阪, 最新医学社: pp.205-212, 2014

33. 砂倉瑞明, 井上泰, 上原翔, 田中一, 林達郎, 浦上慎司, 湯浅健, 増田均, 山本真也, 福井巖, 米瀬淳二
導入初期の腹腔鏡下小切開腎部分切除のtrifectaによる評価.日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌. 6(1): 61-64, 2014

34. 米瀬淳二
どう見える?どう扱う?低位前方切除術のメルクマール-Neurovascular Bundle/Denonvilliers筋膜/骨盤内臓神経+骨盤神経叢/下腹神経+腰内臓神経-: Neurovascular Bundle　泌尿器外科医の視点　開腹手術.手術. 68(8): 1039-1043, 2014

35. 米瀬淳二
前立腺癌の診療ナビゲーション-わかりやすく丁寧に!:　前立腺癌の治療と問題点　《前立腺全摘除術》 前立腺全摘除術(恥骨後式)の実際と問題点　恥骨後式前立腺全摘除術の適応と手術のポイント,問題点について教えてください.臨床泌尿器科. 68(4): 116-121, 2014

36. 米瀬淳二
拡大前立腺全摘　膀胱頸部の処理.日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌. 6(1): 41-45, 2014

血液腫瘍科

1. Ogura, M., Tobinai, K., Hatake, K., Ishizawa, K., Uike, N., Uchida, T., Suzuki, T., Aoki, T., Watanabe, T., Maruyama, D., Yokoyama, M., Takubo, T., Kagehara, H., Matsushima, T.
Phase I / II study of brentuximab vedotin in Japanese patients with relapsed or refractory CD30-positive Hodgkin's lymphoma or systemic anaplastic large-cell lymphoma.Cancer Sci. 105(7): 840-6, 2014

2. Suzuki, K., Terui, Y., Nishimura, N., Ueda, K., Mishima, Y., Sakajiri, S., Yokoyama, M., Aiba, K., Hatake, K.
Rapid progression of anemia related to tumor-iysis syndrome associated with bortezomib treatment in myeloma patients.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(5): 435-441, 2014

3. 照井康仁
BTKを標的とした再発難治マントル細胞リンパ腫に対する新たな治療戦略.血液内科. 68(5): 673-675, 2014

4. 照井康仁
リンパ系腫瘍に対する抗体医薬の進歩: 新規CD22抗体inotuzumab ozogamicinの開発動向と展望(ALLとB細胞リンパ腫).BIO Clinica. 29(9): 857-859, 2014

5. 照井康仁
リンパ腫-検査・診断と治療の最新動向-: リンパ腫の発症メカニズム.日本臨床. 72(3): 386-389, 2014

6. 照井康仁
多発性骨髄腫Map：眼で見る多発性骨髄腫.多発性骨髄腫（最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC；84) (畠清彦編), 大阪, 最新医学社: 2014

7. 照井康仁
最新がん薬物療法学-がん薬物療法の最新知見-: がん薬物治療薬の作用機序　殺細胞性抗悪性腫瘍薬　その他の殺細胞性抗悪性腫瘍薬.日本臨床. 72(増刊2 最新がん薬物療法学): 136-144, 2014

8. 照井康仁
概念・定義・疫学：疫学.多発性骨髄腫（最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC；84）(畠清彦編), 大阪, 最新医学社: pp.24-30, 2014

9. 畠清彦
リンパ系腫瘍に対する抗体医薬の進歩: 抗CD30抗体brentuximab vedotinの開発動向と展望(ホジキンリンパ腫とALCL).BIO Clinica. 29(9): 866-868, 2014

10. 畠清彦
医学・医療のいまがわかるキーワード2014: 癌・腫瘍 末梢循環腫瘍細胞.医学のあゆみ. 249(5): 449, 2014

11. 畠清彦, 石黒洋, 石岡千加史
抗体によるがん分子標的治療: 固形がん分子標的治療薬と抗体療法　抗体薬の領域別位置づけ、課題と今後の展望.最新医学. 69(3): 357-371, 2014

12. 畠清彦
最新がん薬物療法学-がん薬物療法の最新知見：がん薬物治療薬の作用機序　分子標的治療薬　抗体治療薬　抗体治療薬の現状と展望　概論.日本臨床. 72(増刊2 最新がん薬物療法学): 241-245, 2014

13. 畠清彦
注目すべき新標的と期待される次世代抗悪性腫瘍薬: CD22、CD33を標的としたがん治療の展望.腫瘍内科. 13(6): 782-785, 2014

14. 畠清彦編集
多発性骨髄腫. 大阪, 最新医学社: 253p., 2014

総合腫瘍科

1. Araki, K., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Ito, Y.
Lapatinib-associated mucocutaneous toxicities are clinical predictors of improved progression-free survival in patients with human epidermal growth factor receptor (HER2)-positive advanced breast cancer.Breast Cancer Res. Treat. 148(1): 197-209, 2014

2. Mukai, H., Takahashi, S., Nozawa, M., Onozawa, Y., Miyazaki, J., Ohno, K., Suzuki, K.
Phase I dose-escalation and pharmacokinetic study (TED 11576) of cabazitaxel in Japanese patients with castration-resistant prostate cancer.Cancer Chemother. Pharmacol. 73(4): 703-10, 2014

3. Nakano, K., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Motoi, N., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Shimoji, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Incidence of pneumothorax in advanced and/or metastatic soft tissue sarcoma patients during pazopanib treatment.Clin. Oncol. 26(6): 357, 2014

4. 仲野兼司, 川端一嘉
大きく変わりつつある頭頸部癌化学療法: 下咽頭・喉頭癌に対する化学療法.JOHNS. 30(8): 1051-1054, 2014

5. 仲野兼司
頭頸部癌に対する最新治療: 薬物療法　頭頸部癌への分子標的治療.頭頸部癌Frontier. 2(1): 44-47, 2014

6. 小倉真理子
胃がんの抗癌剤治療の進歩.Vita. 31(1): 42-49, 2014

7. 比企直樹, 伊沢由紀子, 小口正彦, 小倉真理子
がん研有明病院の抗がん剤・放射線治療に向きあう食事：食べたい気持ち応援します！. 東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2014

8. 稲垣里奈
抗がん薬投与指示の根拠が知りたい!　レジメンの中身がわかる!　分子標的薬/抗悪性腫瘍薬/ホルモン療法薬Q&A: 抗がん薬・レジメンに関する指示への疑問　フルオロウラシルの点滴静注における「急速」と「持続」の違いについて.ナーシング. 34(2): 17, 2014

9. 稲垣里奈
抗がん薬投与指示の根拠が知りたい!　レジメンの中身がわかる!　分子標的薬/抗悪性腫瘍薬/ホルモン療法薬Q&A: 抗がん薬・レジメンに関する指示への疑問　ベバシズマブの血圧コントロールと患者指導のポイント.ナーシング. 34(2): 20-21, 2014

10. 稲垣里奈
抗がん薬投与指示の根拠が知りたい!　レジメンの中身がわかる!　分子標的薬/抗悪性腫瘍薬/ホルモン療法薬Q&A: 抗がん薬・レジメンに関する指示への疑問　分子標的薬の初回と2回目以降の投与速度の違いとその根拠.ナーシング. 34(2): 18-19, 2014

11. 稲垣里奈
抗がん薬投与指示の根拠が知りたい!　レジメンの中身がわかる!　分子標的薬/抗悪性腫瘍薬/ホルモン療法薬Q&A: 抗がん薬・レジメンに関する指示への疑問　投与速度が厳密に決められている抗がん薬について.ナーシング. 34(2): 16, 2014

12. 稲垣里奈
抗がん薬投与指示の根拠が知りたい!　レジメンの中身がわかる!　分子標的薬/抗悪性腫瘍薬/ホルモン療法薬Q&A: 抗がん薬・レジメンに関する指示への疑問　総投与量の目安が決められている抗がん薬について.ナーシング. 34(2): 14-15, 2014

13. 高橋俊二
悪性腫瘍と骨・カルシウム: がん骨転移治療のストラテジー.Clinical Calcium.

24(8): 1145-1152, 2014

14. 高橋俊二
新時代を迎えたPET診断: 原発不明癌におけるPET診断.臨床泌尿器科. 68(13): 1040-1045, 2014

15. 高橋俊二
日本の去勢抵抗性前立腺がん(CRPC)治療の新時代: 日本におけるCRPC治療新時代における腫瘍内科医の役割.癌と化学療法. 41(7): 827-831, 2014

16. 高橋俊二
明解!! 必携 泌尿器科診療の手引き: 化学療法のおもな副作用とその対策.泌尿器外科. 27(特別号): 33-39, 2014

17. 高橋俊二
最新がん薬物療法学-がん薬物療法の最新知見: がん薬物治療薬の作用機序 分子標的治療薬 抗体治療薬 RANKLに対する抗体薬.日本臨床. 72(増刊2 最新がん薬物療法学): 268-275, 2014

総合内科

1. 中山耕之介
これからの骨粗鬆症マネジメント: 治療薬のプロファイルを読み解く 抗RANKL抗体(デノスマブ).
薬事. 56(7): 1069-1074, 2014

2. 中山耕之介ほか分担執筆
痛風・高尿酸血症治療薬ほか.
2014年治療薬マニュアル (高久史麿, 矢崎義雄, 北原光夫ほか編集), 東京, 医学書院: 2014

3. 志賀太郎
Onco-cardiology-臨床と研究のあらたなステージへ: がん治療における心血管系の副作用.医学のあゆみ. 250(3): 181-188, 2014

麻酔科

1. Arima, T., Nagata, O., Miura, T., Ikeda, K., Mizushima, T., Takahashi, A., Sakaida, K.
Comparative analysis of airway scope and Macintosh laryngoscope for intubation primarily for cardiac arrest in prehospital setting.Am. J. Emerg. Med. 32(1): 40-3, 2014

2. 横田美幸, 大島勉, 関誠
医師賠償責任保険について.麻酔科研修ノート: anesthesiology 改訂第2版 (稲田英一責任編集, 上村裕一, 土田英昭, 村川雅洋編), 東京, 診断と治療社: pp.44-49, 2014

3. 長田理
II 静脈麻酔薬の薬理:総論 1.薬物動態の基礎および2. 薬力学の基礎.
(For professional anesthesiologists) 静脈麻酔 (稲垣喜三編), 東京, 克誠堂出版: 2014

疼痛治療科

1. 服部政治, 寶田潤子
痛みのマネジメントupdate 基礎知識から緩和ケアまで: 痛みの基礎知識 痛みの疫学 がん疼痛の疫学.日本医師会雑誌. 143(特別1): S56-S57, 2014

形成外科

1. 松本誠一, 阿江啓介, 澤泉雅之
形成外科医のための手外科の基本: 手部の悪性骨・軟部腫瘍の診断と治療.形成外科. 57(増刊): S98-S105, 2014

2. 梁太一, 澤泉雅之, 岩瀬拓士, 五味直哉
乳房シリコーンインプラントのMRI画像検査.日本形成外科学会会誌. 34(9): 652-657, 2014

3. 澤泉雅之, 岩瀬拓士
乳房再建の新たな展開-人工乳房の保険適用後どう変わったか-: 人工乳房を用いた乳房一次再建術における周術期管理.乳癌の臨床. 29(3): 247-253, 2014

4. 澤泉雅之, 岩瀬拓士
乳癌に対するoncoplastic surgery: 乳房再建術 インプラントを用いた乳房一次再建術.外科. 76(9): 993-999, 2014

5. 澤泉雅之, 棚倉健太
有茎穿通枝皮弁による四肢の再建: 足・下肢後脛骨動脈穿通枝皮弁(PTAp flap).PEPARS, (95): 62-70, 2014

眼　科

1. 辻英貴, 張大行, 今川幸宏, 有田量一, 古田実
手術相談室　症例呈示　眼瞼悪性腫瘍の切除と眼瞼再建術.眼科手術. 27(4): 577-582, 2014

2. 辻英貴
眼窩内容除去術.眼手術学 1; 総論・眼窩 (大鹿哲郎, 後藤浩編集), 東京, 文光堂: pp.393-398, 2014

3. 辻英貴
角結膜腫瘍　臨床的見地から.眼科. 56(11): 1323-1331, 2014

感染症科

1. Kojima, Y., Harada, S., Aoki, K., Ishii, Y., Sawa, T., Hasegawa, K., Saji, T., Yamaguchi, K., Tateda, K.
Spread of CTX-M-15 extended-spectrum β -lactamase-producing *Escherichia coli* isolates through household contact and plasmid transfer.J. Clin. Microbiol. 52(5): 1783-5, 2014

2. Yaita, K., Aoki, K., Suzuki, T., Nakaharai, K., Yoshimura, Y., Harada, S., Ishii, Y., Tachikawa, N.
Epidemiology of extended-spectrum β -lactamase producing *Escherichia coli* in the stools of returning Japanese travelers, and the risk factors for colonization.PLoS One. 9(5): e98000, 2014

3. 原田壮平
ESBL産生菌陽性患者転院時の対応.日本医事新報, (4691): 54-55, 2014

4. 原田壮平
症例から学ぶ感染症セミナー-症例の疑問点から研究的考察へ-食道がん化学療法中に出現した肺陰影.感染症学雑誌. 88(6付録): 15-20, 2014

5. 羽山ブライアン
知らなきゃ損する!Doctor's pearl: 診断・治療　HIV検査とその後のマネジメント　「この患者さんの症状、なんか変だな」と思ったら迷わずHIVスクリーニング!治療. 96(4月増刊): 504-505, 2014

漢方サポート科

1. 星野恵津夫
こんな時には漢方を　私自身が感動した症例.Phil漢方, (50): 16-18, 2014

2. 星野恵津夫
日中における伝統薬によるがん治療の現状: 日本における伝統薬によるがん治療の現状　内科的見地から.日中医学. 28(4): 21-26,43-47, 2014

3. 静貴生, 星野恵津夫
最新がん薬物療法学-がん薬物療法の最新知見-: がん治療における漢方薬の現状と展望.日本臨床. 72(増刊2 最新がん薬物療法学): 667-672, 2014

歯　科

1. Hikiji, H., Tomizuka, K., Taguchi, T., Koyama, H., Chikazu, D., Mori, Y., Takato, T.
An in vivo murine model for screening cranial bone regenerative materials: testing of a novel synthetic collagen gel.
J. Mater. Sci. Mater. Med. 25(6): 1531-8, 2014

緩和治療科

1. Eguchi, K., Honda, M., Kataoka, T., Mukaiyama, T., Tsuneto, S., Sakamoto, J., Oba, K., Saji, S.
Efficacy of corticosteroids for cancer-related fatigue: A pilot randomized placebo-controlled trial of advanced cancer patients.Palliat. Support. Care: 1-8, 2014

2. 櫻井宏樹, 太田惠一朗
IVRと緩和ケア：緩和ケア概論.IVR: Interventional Radiology. 29(4): 339-345, 2014

放射線治療部

1. Shibamoto, Y., Sumi, M., Takemoto, M., Tsuchida, E., Onodera, S., Matsushita, H., Sugie, C., Tamaki, Y., Onishi, H.
Analysis of radiotherapy in 1054 patients with primary central nervous system

lymphoma treated from 1985 to 2009.Clin. Oncol. 26(10): 653-60, 2014

2. Shibamoto, Y., Sumi, M., Onodera, S., Matsushita, H., Sugie, C., Tamaki, Y., Onishi, H., Abe, E., Koizumi, M., Miyawaki, D., Kubota, S., Ogo, E., Nomiya, T., Takemoto, M., Harada, H., Takahashi, I., Ohmori, Y., Ishibashi, N., Tokumaru, S., Suzuki, K.
Primary CNS lymphoma treated with radiotherapy in Japan: a survey of patients treated in 2005-2009 and a comparison with those treated in 1985-2004.Int. J. Clin. Oncol. 19(5): 963-71, 2014

3. Suzuki, S., Chino, A., Fukui, I., Hayashi, T., Kozuka, T., Suganuma, T., Kishihara, T., Tamegai, Y., Fujisaki, J., Oguchi, M., Yonese, J., Igarashi, M.
Successful use of endoscopic argon plasma coagulation for hemorrhagic radiation cystitis: a case report.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(7): 692-5, 2014

4. Tomita, N., Kodaira, T., Teshima, T., Ogawa, K., Kumazaki, Y., Yamauchi, C., Toita, T., Uno, T., Sumi, M., Onishi, H., Kenjo, M., Nakamura, K.
Japanese structure survey of high-precision radiotherapy in 2012 based on institutional questionnaire about the patterns of care.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(6): 579-86, 2014

5. Yamaguchi, M., Takata, K., Yoshino, T., Ishizuka, N., Oguchi, M., Kobayashi, Y., Isobe, Y., Ishizawa, K., Kubota, N., Itoh, K., Usui, N., Miyazaki, K., Wasada, I., Nakamura, S., Matsuno, Y., Oshimi, K., Kinoshita, T., Tsukasaki, K., Tobinai, K.
Prognostic biomarkers in patients with localized natural killer/T-cell lymphoma treated with concurrent chemoradiotherapy.Cancer Sci. 105(11): 1435-41, 2014

6. Yamamoto, S., Kawakami, S., Yonese, J., Fujii, Y., Urakami, S., Kitsukawa, S., Masuda, H., Ishikawa, Y., Kozuka, T., Oguchi, M., Kohno, A., Fukui, I.
Long-term oncological outcome in men with T3 prostate cancer: radical prostatectomy versus external-beam radiation therapy at a single institution.Int. J. Clin. Oncol. 19(6): 1085-91, 2014

7. Yamamoto, S., Fujii, Y., Masuda, H., Urakami, S., Saito, K., Kozuka, T., Oguchi, M., Fukui, I., Yonese, J.
Longitudinal change in health-related quality of life after intensity-modulated radiation monotherapy for clinically localized prostate cancer.Qual. Life. Res. 23(5): 1641-1650, 2014

8. 吉岡稔
乳癌診療と安全管理: 放射線治療におけるリスクマネジメント.乳癌の臨床. 29(1): 51-60, 2014

9. 小口正彦, 長谷川正俊, 石橋直也, 磯部公一, 今井美智子, 江島泰生, 糟谷健夫, 片山絵美子, 笹井啓資, 副島俊典, 早渕尚文
悪性リンパ腫に対する放射線治療の新しい動きISRTを中心に.臨床血液. 55(10): 1903-1911, 2014

10. 小塚拓洋, 利安隆史, 浅利崇生, 室伏景子, 八木縁, 小口正彦
サルベージとコンバージョン-集学的治療で外科手術に求められるもの:放射線科医からみた「サルベージ」手術とは? 意義と役割.臨床外科. 69(4): 399-402, 2014

11. 小塚拓洋
限局性前立腺がんの治療：4. 放射線療法 (1) 外照射.最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC ; 49 前立腺がん 改訂第2版: 148-154, 2014

12. 松林史泰, 高橋良, 伊藤康, 橋本竹雄, 五月女達子, 佐藤智春
VMATにおけるダイナミックパラメータが線量処方精度に与える影響について.日本放射線技術学会雑誌. 70(8): 768-772, 2014

13. 比企直樹, 伊沢由紀子, 小口正彦, 小倉真理子
がん研有明病院の抗がん剤・放射線治療に向きあう食事：食べたい気持ち応援します！. 東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2014

14. 蒔田益次郎, 坂井威彦, 荻谷朗子, 森園英智, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 高橋俊二, 伊藤良則, 小口正彦, 五味直哉, 秋山太, 岩瀬拓士
非浸潤癌温存療法後の2次乳癌の発生が乳房内再発を高める.乳癌の臨床. 29(2): 143-157, 2014

15. 角美奈子
Musculoskeletal Tumor　骨・軟部　腫瘍　悪性骨・軟部腫瘍　縮小手術を目指して　軟部肉腫の放射線治療に関する最新知見.癌と化学療法. 41(3): 308-311, 2014

16. 角美奈子
第3章 転移性脳腫瘍の治療 3. 放射線治療.転移性脳腫瘍診断・治療・管理マニュアル (奥田武司, 中洲庸子編著), 大阪, メディカ出版: pp.63-73, 2014

画像診断部

1. Akiyoshi, T., Ueno, M., Matsueda, K., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Unno, T., Kano, A., Kuroyanagi, H., Oya, M., Yamaguchi, T., Watanabe, T., Muto, T.
Selective lateral pelvic lymph node dissection in patients with advanced low rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy based on pretreatment imaging.Ann. Surg. Oncol. 21(1): 189-96, 2014

2. 中川智恵, 堀井理絵, 五味直哉, 宮城由美, 岩瀬拓士, 秋山太
区域性分泌型石灰化の併存により乳管内成分主体の浸潤性乳管癌と術前診断された浸潤性小葉癌の1例.乳癌の臨床. 29(6): 605-610, 2014

3. 五味直哉
乳腺腫瘍の病理と超音波像(第2回)　乳癌の病理と画像　乳頭腺管癌、充実腺管癌.乳腺甲状腺超音波医学. 3(3): 21-24, 2014

4. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 深田一平
術前薬物療法の効果判定(第6回).Cancer Board 乳癌. 7(1): 5-23, 2014

5. 五味直哉, 伊藤良則, 小林心, 笹野公伸
転移再発乳癌　原発巣と転移巣のサブタイプ乖離例.Cancer Board 乳癌. 7(2): 101-118, 2014

6. 井上謙一, 伊藤良則, 高橋俊二, 坂井威彦, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
原発巣と肝転移巣におけるHER2発現が異なった乳癌の1例.乳癌の臨床. 29(5): 523-530, 2014

7. 松枝清
治療に伴う看護特集　がんの手術以外の侵襲的処置・治療　内視鏡的治療&IVR: (1章)がんにおける診断期のIVR　超音波・CTガイド下経皮的針生検.プロフェッショナルがんナーシング. 4(1): 6-7, 2014

8. 梁太一, 澤泉雅之, 岩瀬拓士, 五味直哉
乳房シリコーンインプラントのMRI画像検査.日本形成外科学会会誌. 34(9): 652-657, 2014

9. 田中宏子
中・下咽頭、喉頭痛における治療決定のための画像診断のポイント cCRT/RT症例における頸部リンパ節病変の画像評価.頭頸部癌. 40(3): 310-313, 2014

10. 蒔田益次郎, 坂井威彦, 荻谷朗子, 森園英智, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 高橋俊二, 伊藤良則, 小口正彦, 五味直哉, 秋山太, 岩瀬拓士
非浸潤癌温存療法後の2次乳癌の発生が乳房内再発を高める.乳癌の臨床. 29(2): 143-157, 2014

11. 負門克典, 松枝清, 河野敦, 冨永循哉, 佐藤嘉尚
ビギナーのための胸部画像診断-Q&Aアプローチ-: 基本的な用語　浸潤影、コンソリデーション、すりガラス影、網状影　どのように使えばよいですか?画像診断. 34(8): 810-812, 2014

12. 負門克典, 松枝清, 河野敦, 冨永循哉, 佐藤嘉尚
ビギナーのための胸部画像診断-Q&Aアプローチ-: 基本的な用語　肺嚢胞、ブラ、空洞、tram line　どのように使えばよいですか?画像診断. 34(8): 816-817, 2014

13. 負門克典, 松枝清, 河野敦, 冨永循哉, 佐藤嘉尚
ビギナーのための胸部画像診断-Q&Aアプローチ-: 基本的な用語　腫瘤影、結節影、粒状影、粟粒影　どのように使えばよいですか?画像診断. 34(8): 813-815, 2014

14. 負門克典
呼吸機能障害を来す病態の画像 肺胞性肺疾患.
呼吸と循環. 62(10): 969-973, 2014

核医学部

1. Fukukita, H., Suzuki, K., Matsumoto, K., Terauchi, T., Daisaki, H., Ikari, Y., Shimada, N., Senda, M.
Japanese guideline for the oncology FDG-PET/CT data acquisition protocol: synopsis of Version 2.0.Ann. Nucl. Med. 28(7): 693-705, 2014

2. Koyama, M., Koizumi, M.
FDG-PET images of acrometastases.Clin. Nucl. Med. 39(3): 298-300, 2014

3. Minamimoto, R., Senda, M., Jinnouchi, S., Terauchi, T., Yoshida, T., Inoue, T.
Detection of colorectal cancer and adenomas by FDG-PET cancer screening program: results based on a nationwide Japanese survey.Ann. Nucl. Med. 28(3): 212-9, 2014

4. Minamimoto, R., Senda, M., Jinnouchi, S., Terauchi, T., Yoshida, T., Uno, K., Iinuma, T., Murano, T., Nakashima, R., Inoue, T.
Detection of lung cancer by FDG-PET cancer screening program: a nationwide Japanese survey.Anticancer Res. 34(1): 183-9, 2014

5. Minamimoto, R., Senda, M., Jinnouchi, S., Terauchi, T., Yoshida, T., Inoue, T.
Performance profile of a FDG-PET cancer screening program for detecting gastric cancer: results from a nationwide Japanese survey.Jpn. J. Radiol. 32(5): 253-9, 2014

6. Miwa, K., Inubushi, M., Wagatsuma, K., Nagao, M., Murata, T., Koyama, M., Koizumi, M., Sasaki, M.
FDG uptake heterogeneity evaluated by fractal analysis improves the differential diagnosis of pulmonary nodules.Eur. J. Radiol. 83(4): 715-719, 2014

7. Murata, T., Miwa, K., Matsubayashi, F., Wagatsuma, K., Akimoto, K., Fujibuchi, T., Miyaji, N., Takiguchi, T., Sasaki, M., Koizumi, M.
Optimal radiation shielding for beta and bremsstrahlung radiation emitted by (89)Sr and (90)Y: validation by empirical approach and Monte Carlo simulations.Ann. Nucl. Med. 28(7): 617-22, 2014

8. Nishimura, S., Koizumi, M., Kawakami, J., Koyama, M.
Contralateral axillary node metastasis from recurrence after conservative breast cancer surgery.Clin. Nucl. Med. 39(2): 181-3, 2014

9. Watanabe, N., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Motoi, N., Ueno, T., Koizumi, M.
Early evaluation of the therapeutic effect of denosumab on tartrate-resistant acid phosphatase 5b expression in a giant cell tumor of bone: a case report.BMC Res. Notes. 7: 608, 2014

10. Yoneyama, T., Tateishi, U., Terauchi, T., Inoue, T.
Correlation of metabolic tumor volume and 11C-choline uptake with the pathology of prostate cancer: evaluation by use of simultaneously recorded MR and PET images.Jpn. J. Radiol. 32(3): 155-63, 2014

11. 三輪建太
CTとMRIにおける新しい心拍同期法によるラット左室駆出率の交差検証.医療の広場. 54(6): 12-14, 2014

12. 三輪建太, 赤松剛, 筒井悠治, 光元勝彦, 坂口裕一, 我妻慧, 佐々木雅之
FDG-PET/CTの呼吸制御に関する研究.日本放射線技術学会雑誌. 70(11): 1344-1352, 2014

13. 三輪建太, 我妻慧, 梅田拓朗, 宮司典明, 村田泰輔, 大澤敦, 滝口智洋, 小泉満, 佐々木雅之
位相呼吸同期PET/CT撮像によるPET定量値の改善率の検討.日本放射線技術学会雑誌. 70(11): 1235-1242, 2014

14. 三輪建太, 我妻慧, 村田泰輔
呼吸同期PET/CTの技術的検討と4次元放射線治療計画に向けて.PET Journal, (26): 10-12,

2014

15. 三輪建太
発見、追跡、そして撲滅へ! 胸部腫瘤性病変の原発から転移まで 核医学.Rad Fan. 12(9): 36-37, 2014

16. 我妻慧, 三輪建太, 秋本健太, 對間博之, 宮司典明, 梅田拓朗, 村田泰輔, 滝口智洋, 小泉満
ガンマカメラ用57Co面線源の基礎的検討と日常点検への利用.日本放射線技術学会雑誌. 70(2): 148-153, 2014

17. 我妻慧, 三輪建太, 宮司典明, 村田泰輔, 梅田拓朗, 大澤敦, 滝口智洋, 小泉満
薬剤供給システムの異なる18F-FDG PET/CT検査における臨床画像の比較.日本放射線技術学会雑誌. 70(4): 339-345, 2014

18. 金谷信一, 秋本健太, 奥山康男, 對間博之, 三輪建太, 我妻慧, 大屋信義, 小野口昌久, 飛坂実, 野村悦司, 池谷憲生, 菊池香織, 黒野康生, 藤埜浩一, 日本核医学技術学会表示付認証機器57Co面線源の安全取扱いに関するガイドラインの検討WG
表示付認証機器57Co面線源の安全取扱いに関するガイドライン.核医学技術. 34(4): 405-439, 2014

内視鏡診療部

1. Fujishiro, M., Kaminishi, M., Hiki, N., Oda, I., Fujisaki, J., Uedo, N., Kaise, M., Tanabe, S., Iguchi, M., Matsuhashi, N., Nomura, S., Tajiri, H., Yahagi, N., Suzuki, H.
Efficacy of spraying l-menthol solution during endoscopic treatment of early gastric cancer: a phase III, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled study.J. Gastroenterol. 49(3): 446-54, 2014

2. Fukunaga, Y., Tamegai, Y., Chino, A., Ueno, M., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Igarashi, M.
New technique of en bloc resection of colorectal tumor using laparoscopy and endoscopy cooperatively (laparoscopy and endoscopy cooperative surgery – colorectal).Dis. Colon. Rectum. 57(2): 267-71, 2014

3. Igarashi, M., Tanaka, S.
Quick tips on colonoscopy techniques. Tokyo, Nihon Medical Center: 258p., 2014

4. Nishida, T., Tsujii, M., Tanimura, H., Tsutsui, S., Tsuji, S., Takeda, A., Inoue, A., Fukui, H., Yoshio, T., Kishida, O., Ogawa, H., Oshita, M., Kobayashi, I., Zushi, S., Ichiba, M., Uenoyama, N., Yasunaga, Y., Ishihara, R., Yura, M., Komori, M., Egawa, S., Iijima, H., Takehara, T.
Comparative study of esomeprazole and lansoprazole in triple therapy for eradication of Helicobacter pylori in Japan.World J. Gastroenterol. 20(15): 4362-9, 2014

5. Nishizawa, T., Maekawa, T., Watanabe, N., Harada, N., Hosoda, Y., Yoshinaga, M., Yoshio, T., Ohta, H., Inoue, S., Toyokawa, T., Yamashita, H., Saito, H., Kuwai, T., Katayama, S., Masuda, E., Miyabayashi, H., Kimura, T., Nishizawa, Y., Takahashi, M., Suzuki, H.
Clarithromycin versus metronidazole as first-line Helicobacter pylori eradication: A multicenter, prospective, randomized controlled study in Japan.J. Clin. Gastroenterol. 49(6): 468-71, 2014

6. Sato, Y., Imamura, H., Kaizaki, Y., Koizumi, W., Ishido, K., Kurahara, K., Suzuki, H., Fujisaki, J., Hirakawa, K., Hosokawa, O., Ito, M., Kaminishi, M., Furuta, T., Chiba, T., Haruma, K.
Management and clinical outcomes of type I gastric carcinoid patients: retrospective, multicenter study in Japan.Dig. Endosc. 26(3): 377-84, 2014

7. Sugawa, C., Brown, K.L., Matsubara, T., Bachusz, R., Ono, H., Chino, A., Yamasaki, T., Lucas, C.E.
The role of endoscopic biliary sphincterotomy for the treatment of type 1 biliary dysfunction (papillary stenosis) with or without biliary stones.Am. J. Surg. 207(1): 65-9, 2014

8. Suzuki, S., Chino, A., Kishihara, T., Uragami, N., Tamegai, Y., Suganuma, T., Fujisaki, J., Matsuura, M., Itoi, T., Gotoda, T., Igarashi, M., Moriyasu, F.
Risk factors for bleeding after endoscopic submucosal dissection of colorectal neoplasms.World J. Gastroenterol. 20(7): 1839-45, 2014

9. Suzuki, S., Chino, A., Fukui, I., Hayashi, T., Kozuka, T., Suganuma, T., Kishihara, T., Tamegai, Y., Fujisaki, J., Oguchi, M., Yonese, J., Igarashi, M.
Successful use of endoscopic argon plasma coagulation for hemorrhagic radiation cystitis: a case report.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(7): 692-5, 2014

10. Taki, K., Sato, Y., Ashihara, Y., Chino, A., Igarashi, M., Sato, K., Kitagawa, T., Maetani, I., Nemoto, C., Nasuno, K., Sekine, T., Arai, M.
A case of a child with an APC pathogenic mutation, aberrant expression of splice variants and positive family history of FAP.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(6): 602-6, 2014

11. Yamaguchi, J., Nagayama, S., Chino, A., Sakata, A., Yamamoto, N., Sato, Y., Ashihara, Y., Kita, M., Nomura, S., Ishikawa, Y., Igarashi, M., Ueno, M., Arai, M.
Identification of coding exon 3 duplication in the *BMPR1A* gene in a patient with juvenile polyposis syndrome.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(10): 1004-8, 2014

12. Yamamoto, Y., Yoshizawa, N., Tomida, H., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Therapeutic outcomes of endoscopic resection for superficial non-ampullary duodenal tumor.Dig. Endosc. 26(Suppl 2): 50-6, 2014

13. 五十嵐正広
内視鏡治療の適応決定のコツ.大腸・肛門外科の要点と盲点 第3版 (杉原健一編), 東京, 文光堂: pp.270-275, 2014

14. 五十嵐正広
大腸の解剖と内視鏡挿入法.大腸腫瘍診断：豊富な写真で上がる診断力、case studyで磨く実践力 改訂版 (田中信治編), 東京, 羊土社: pp.12-26, 2014

15. 五十嵐正広
大腸過長例の挿入をどう行うか.臨床研修医のための トラブルを防ぐ！大腸内視鏡挿入法のコツ・観察のポイント (桑山肇編), 東京, ヴァンメディカル: pp.59-61, 2014

16. 五十嵐正広
早く上達する大腸内視鏡挿入法:　腕を補う環境作り 硬度可変の活用.消化器内視鏡. 26(3): 419-423, 2014

17. 五十嵐正広
苦痛のない大腸内視鏡挿入法-達人の極意-: 苦痛のない大腸内視鏡挿入にはスコープの直線化が大事!消化器の臨床. 17(2): 113-119, 2014

18. 千野晶子, 岸原輝仁, 五十嵐正広
大腸疾患アトラス：非限局性病変・多発病変　平坦ないし陥凹性病変　粘膜変化・色調変化が主体　放射線性大腸炎.消化器内視鏡. 26(12): 2066-2067, 2014

19. 千野晶子, 岸原輝仁, 浦上尚之, 為我井芳郎, 五十嵐正広
"大腸腫瘍"内視鏡的治療の最前線: 大腸ESDの適応拡大　カルチノイド腫瘍.臨床消化器内科. 29(2): 195-201, 2014

20. 向井俊貴, 福長洋介, 大野吏輝, 友利賢太, 池田篤志, 永田淳, 長嵜寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 上野雅資, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広
細径鉗子を用いた腹腔鏡・内視鏡合同手術(Laparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery;LECS)を施行した横行結腸神経鞘腫の1例.日本大腸肛門病学会雑誌. 67(3): 178-182, 2014

21. 大前雅実, 藤崎順子, 吉澤奈津子, 清水智樹, 大隅寛木, 冨田明彦, 奥野真理, 森重健二郎, 石川寛高, 堀内裕介, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
バレット食道癌における酸逆流・アルカリ逆流の意義.Therapeutic Res. 35(4): 383-386, 2014

22. 大前雅実, 藤崎順子, 清水智樹, 宮本勇治, 富田英臣, 谷口智香, 森重健二郎, 堀内裕介, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広, 山本智理子
バレット食道腺癌の診断と治療: 表在型バレット食道腺癌の扁平上皮下進展の臨床的特徴.消化器内科. 59(1): 16-19, 2014

23. 大前雅実, 藤崎順子, 清水智樹, 大隅寛木, 宮本勇治, 冨田明彦, 富田英臣, 谷口智香, 森重健二郎, 石川寛高, 堀内裕介, 吉澤奈津子, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広, 山本智理子
表在型Barrett食道腺癌の診断と治療戦略: 表在型Barrett食道腺癌の早期診断と鑑別診断.消化器内視鏡. 26(4): 539-548, 2014

24. 大隅寛木, 石山晃世志, 平澤俊明, 由雄敏之, 山本頼正, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 山本智理子
家族性大腸腺腫症術後経過中に胃腺腫から早期胃癌に進展した1例.Prog. Dig. Endosc. 84(1): 108-109,8, 2014

25. 宮本勇治, 山本頼正, 大隅寛木, 谷口智香, 富田英臣, 森重健二郎, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
内視鏡の器械と技術　家族性大腸腺腫症に合併した胃上皮性腫瘍のNBI併用拡大所見の検討.Prog. Dig. Endosc. 85(1): 36-39,1, 2014

26. 山本頼正, 藤崎順子, 平澤俊明, 布部創也, 比企直樹, 五十嵐正広
十二指腸腫瘍性病変に対する診療の進歩: 十二指腸神経内分泌腫瘍に対する診療　カルチノイドを中心に.臨床消化器内科. 29(12): 1567-1574, 2014

27. 山本頼正, 藤崎順子, 大隅寛木, 谷口智香, 富田英臣, 森重健二郎, 冨田明彦, 堀内裕介, 石川寛高, 吉澤奈津子, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広
新しい画像強調内視鏡: 第二世代画像強調内視鏡の臨床的意義　第二世代NBI　有用性と使用方法のコツ　胃観察.消化器内視鏡. 26(5): 673-683, 2014

28. 山本頼正, 藤崎順子, 宮本勇治, 清水智樹, 富田英臣, 谷口智香, 森重健二郎, 堀内裕介, 大前雅実, 平澤俊明, 由雄敏之, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広
早期胃癌を視る、観る、診る: Helicobacter pylori陰性胃癌について.消化器内視鏡. 26(8): 1154-1162, 2014

29. 山本頼正, 藤崎順子, 宮本勇治, 清水智樹, 富田英臣, 谷口智香, 森重健次郎, 堀内裕介, 大前雅実, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 土田知宏, 五十嵐正広
胃癌ESD適応拡大病変の経過と予後: 胃癌ESD適応拡大病変(未分化型優位)の経過と予後.胃と腸. 49(11): 1569-1577, 2014

30. 平澤俊明, 比企直樹, 山本頼正, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 山本智理子
噴門部胃粘膜下腫瘍に対するLaparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery(LECS)の検討.Gastroenterological Endoscopy. 56(8): 2359-2366, 2014

31. 平澤俊明
未分化型早期胃癌の診断とESDの適応: 未分化型微小胃癌の臨床像.消化器内科. 58(3): 296-299, 2014

32. 平澤俊明, 比企直樹, 布部創也, 山本頼正
消化器内視鏡治療の最前線: 胃疾患内視鏡治療の最前線　胃粘膜下腫瘍に対するLECSの応用と進化.Modern Physician. 34(5): 523-526, 2014

33. 杉原健一編集主幹, 藤盛孝博, 五十嵐正広, 渡邉聡明編集, 武藤徹一郎編集顧問
大腸疾患Now2014. 東京, 日本メディカルセンター: 198p., 2014

34. 森重健二郎, 山本頼正, 清水智樹, 富田英臣, 宮本勇治, 堀内裕介, 石川寛高, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 山本智理子
胃癌ESD適応拡大病変の経過と予後: ESD適応拡大治癒切除後にリンパ節転移および肝転移再発を来した早期胃癌の1例.胃と腸. 49(11): 1621-1627, 2014

35. 津山直子, 藤崎順子, 新井冨生, 竹内賢吾
消化管悪性リンパ腫2014: リンパ腫様胃症(Lymphomatoid gastropathy).胃と腸.

49(5): 811-815, 2014

36. 為我井芳郎
第5章:線維化を伴う病変：2)粘膜下層に軽度の線維化を伴う病変のESD.
(症例で身につける消化器内視鏡シリーズ）大腸EMR・ESD：Case studyで病変に最適な治療戦略を学ぶ 改訂版 (田中信治編), 東京, 羊土社: pp.272-279, 2014

37. 為我井芳郎
第5章:線維化を伴う病変：3)粘膜下層に中等度から高度の線維化を伴う病変のESD.(症例で身につける消化器内視鏡シリーズ）大腸EMR・ESD：Case studyで病変に最適な治療戦略を学ぶ 改訂版 (田中信治編), 東京, 羊土社: pp.280-288, 2014

38. 為我井芳郎
第8章:大きくて一括EMRで切除できない場合：3)切除手技の選択3-ESDについて.(症例で身につける消化器内視鏡シリーズ）大腸EMR・ESD：Case studyで病変に最適な治療戦略を学ぶ 改訂版 (田中信治編), 東京, 羊土社: pp.338-344, 2014

39. 為我井芳郎
非腫瘍性疾患：AIDS関連疾患.(これで納得！画像で見ぬく消化器疾患）大腸 (渡辺守, 田中信治編), 東京, 医学出版: pp.56-58, 2014

40. 為我井芳郎
非腫瘍性疾患：GVHD腸炎.(これで納得！画像で見ぬく消化器疾患）大腸 (渡辺守, 田中信治編), 東京, 医学出版: pp.59-60, 2014

41. 田中信治, 樫田博史, 斎藤豊, 矢作直久, 山野泰穂, 斎藤彰一, 久部高司, 八尾隆史, 渡邊昌彦, 吉田雅博, 工藤進英, 鶴田修, 杉原健一, 渡邉聡明, 斉藤裕輔, 五十嵐正広, 豊永高史, 味岡洋一, 一瀬雅夫, 松井敏幸, 杉田昭, 菅野健太郎, 藤本一眞, 田尻久雄, 日本消化器内視鏡学会, 大腸癌研究会, 日本大腸肛門病学会, 日本消化器病学会, 大腸ESD/EMRガイドライン作成委員会
大腸ESD/EMRガイドライン.Gastroenterological Endoscopy. 56(4): 1598-1617, 2014

42. 田崎修平, 平澤俊明
術前に早期胃癌と診断したH.pylori陰性進行胃癌の1例.Prog. Dig. Endosc. 85(1): 80-81,5, 2014

43. 田辺聡, 石戸謙次, 松本主之, 小坂崇, 小田一郎, 鈴木晴久, 藤崎順子, 小野裕之, 川田登, 小山恒男, 高橋亜紀子, 土山寿志, 小林正明, 上堂文也, 濱田健太, 豊永高史, 河原史明, 田中信治, 吉福良公
胃癌ESD適応拡大病変の経過と予後：胃癌ESD後の局所遺残再発例,転移再発例の臨床病理学的特徴と経過・予後　多施設共同研究.胃と腸. 49(11): 1601-1608, 2014

44. 石山晃世志
Q&A 胃癢の注意点について教えて下さい。.頭頸部癌Frontier. 2(2): 48-50, 2014

45. 藤崎順子, 堀内裕介, 山本智理子, 吉澤奈津子, 石川寛高, 森重健二郎, 冨田明彦, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
ESD時代の早期胃癌深達度診断：拡大内視鏡による早期胃癌深達度診断の可能性.胃と腸. 49(1): 77-84, 2014

46. 藤崎順子, 山本智理子, 堀内祐介, 大隅寛木, 宮本勇治, 森重健次郎, 吉澤奈津子, 谷口智香, 大前雅実, 石川寛高, 平澤俊明, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
Helicobacter pylori陰性胃癌：Helicobacter pylori陰性未分化型早期胃癌の特徴.胃と腸. 49(6): 854-861, 2014

臨床部

1. Kodama, T., Motoi, N., Ninomiya, H., Sakamoto, H., Kitada, K., Tsukaguchi, T., Satoh, Y., Nomura, K., Nagano, H., Ishii, N., Terui, Y., Hatake, K., Ishikawa, Y.
A novel mechanism of *EML4-ALK* rearrangement mediated by chromothripsis in a patient-derived cell Ll.J. Thorac. Oncol. 9(11): 1638-46, 2014

2. Matsusaka, S., Kozuka, M., Takagi, H., Ito, H., Minowa, S., Hirai, M., Hatake, K.
A novel detection strategy for living circulating tumor cells using 5-aminolevulinic acid.Cancer Lett. 355(1): 113-20, 2014

3. 高橋俊二
乳癌治療におけるエベロリムスの臨床 ⑤エベロリムスのチーム医療とアドヒアランス.エベロリムスによる乳癌治療の新展開 (野口眞三郎), 大阪市, メディカルレビュー社: pp.114-124, 2014

遺伝子診療部

1. Taki, K., Sato, Y., Ashihara, Y., Chino, A., Igarashi, M., Sato, K., Kitagawa, T., Maetani, I., Nemoto, C., Nasuno, K., Sekine, T., Arai, M.
A case of a child with an APC pathogenic mutation, aberrant expression of splice variants and positive family history of FAP.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(6): 602-6, 2014

2. Yamaguchi, T., Furukawa, Y., Nakamura, Y., Matsubara, N., Ishikawa, H., Arai, M., Tomita, N., Tamura, K., Sugano, K., Ishioka, C., Yoshida, T., Moriya, Y., Ishida, H., Watanabe, T., Sugihara, K.
Comparison of clinical features between suspected familial colorectal cancer type X and Lynch syndrome in Japanese patients with colorectal cancer: a cross-sectional study conducted by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(2): 153-159, 2014

3. Yamaguchi, J., Nagayama, S., Chino, A., Sakata, A., Yamamoto, N., Sato, Y., Ashihara, Y., Kita, M., Nomura, S., Ishikawa, Y., Igarashi, M., Ueno, M., Arai, M.
Identification of coding exon 3 duplication in the *BMPR1A* gene in a patient with juvenile polyposis syndrome.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(10): 1004-8, 2014

4. Yamaguchi, T., Koizumi, K., Arai, M., Tamura, K., Iijima, T., Horiguchi, S., Miyaki, M.
A large deletion of chromosome 5q22.1-22.2 associated with sparse type of familial adenomatous polyposis: report of a case.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(12): 1243-7, 2014

5. 古田玲子, 柿田智世, 小川真由美, 新井正美, 加藤洋, 高澤豊, 石川雄一, 北川知行
Laboratory Practice　病理 リンチ症候群の検査法--特に病理検体を用いたスクリーニング法の留意点.検査と技術. 42(8): 808-814, 2014

6. 新井正美, 喜多瑞穂
がん発症リスクに対する遺伝学的検査.
コルフ臨床遺伝医学 原書第4版 (Korf, B.R., Irons, M.B.著., 櫻井晃洋監訳), 東京, 丸善出版: pp.234-243, 2014

7. 新井正美, 岩瀬拓士, 高澤豊, 竹島信宏
わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の診療上の課題と最近の動向　遺伝子検査と予防手術を中心に.癌と化学療法. 41(11): 1333-1339, 2014

8. 新井正美
遺伝子医療の現状とゲノム医療の近未来: 遺伝子医療の現状　遺伝性腫瘍診療の現状　HBOC、Lynch症候群、FAP、MENを中心に.医学のあゆみ. 250(5): 353-358, 2014

9. 新井正美, 山口俊晴
遺伝子変異・遺伝子多型による癌化学療法の副作用予測.(オンコロジークリニカルガイド) 消化器癌化学療法 改訂第4版 (大村健二編), 東京, 南山堂: pp.423-433, 2014

10. 新井正美, 古田玲子, 竹島信宏
遺伝性腫瘍における婦人科疾患　HBOC,Lynch症候群を中心に.臨床婦人科産科. 68(1): 147-153, 2014

11. 新井正美, 喜多瑞穂
遺伝科に聞く!見逃せない病態と対処法　遺伝カウンセリング.Cancer Board 乳癌. 7(2): 155-160, 2014

12. 芦原有美, 新井正美
家族性腫瘍と遺伝子検査.超音波検査技術. 39(2): 172-179, 2014

13. 長尾知子, 小泉浩一, 田畑拓久, 桑田剛, 堀口慎一郎, 比島恒和, 新井正美
進行空腸癌を合併したLynch(リンチ)症候群の1例.日本消化器病学会雑誌. 111(11): 2140-2148, 2014

臨床試験部

1. Yamaguchi M, Takata K, Yoshino T, Ishizuka N, Oguchi M, Kobayashi Y, Isobe Y, Ishizawa K, Kubota N, Itoh K, Usui N, Miyazaki K, Wasada I, Nakamura S, Matsuno Y, Oshimi K, Kinoshita T, Tsukasaki K, Tobinai K., Prognostic biomarkers in patients with localized natural killer/T-cell lymphoma treated with concurrent chemoradiotherapy. Cancer Sci. Nov;105(11):1435-41. ,2014

2. Ikeda Y, Shimada K, Teramoto T, Uchiyama S, Yamazaki T, Oikawa S, Sugawara M, Ando K, Murata M, Yokoyama K, Ishizuka N., Low-dose aspirin for primary prevention of cardiovascular events in Japanese patients 60 years or older with atherosclerotic risk factors: a randomized clinical trial. JAMA. Dec 17;312(23):2510-20. , 2014

超音波検査

1. Ebina, A., Sugitani, I., Fujimoto, Y., Yamada, K.
   Risk-adapted management of papillary thyroid carcinoma according to our own risk group classification system: Is thyroid lobectomy the treatment of choice for low-risk patients?
   Surgery. 156(6): 1579-89, 2014

2. Saito, Y., Sugitani, I., Toda, K., Yamada, K., Fujimoto, Y.
   Metastatic thyroid tumors: ultrasonographic features, prognostic factors and outcomes in 29 cases.Surg. Today. 44(1): 55-61, 2014

病理部

1. Abe, A., Furuta, R., Takazawa, Y., Kondo, E., Umayahara, K., Takeshima, N.
   A case of ovarian metastasis from microinvasive adenosquamous carcinoma of the uterine cervix.Gynecol. Obstet. (Sunnyvale). 4: 248, 2014

2. Akazawa, N., Kawachi, H., Kitagaki, K., Seki, T., Kawaragi, S., Yuzawa, M., Sekine, M., Kobayashi, M., Nakajima, Y., Kawano, T., Eishi, Y.
   Neuroendocrine carcinoma of the esophagus: clinicopathologic study of 10 cases and verification of the diagnostic utility of mASH1, NeuroD1 and PGP9.5.Esophagus. 11(4): 245-257, 2014

3. Bae, Y., Ito, T., Iida, T., Uchida, K., Sekine, M., Nakajima, Y., Kumagai, J., Yokoyama, T., Kawachi, H., Akashi, T., Eishi, Y.
   Intracellular Propionibacterium acnes infection in glandular epithelium and stromal macrophages of the prostate with or without cancer.PLoS One. 9(2): e90324, 2014

4. Chang, S.T., Lu, Y.H., Lu, C.L., Weng, S.F., Lin, S.H., Kuo, S.Y., Chuang, Y.T., Takeuchi, K., Ohshima, K., Chuang, S.S.
   Epstein-Barr virus is rarely associated with diffuse large B cell lymphoma in Taiwan and carries a trend for a shorter median survival time.J. Clin. Pathol. 67(4): 326-332, 2014

5. Hamanaka, W., Motoi, N., Ishikawa, S., Ushijima, M., Inamura, K., Hatano, S., Uehara, H., Okumura, S., Nakagawa, K., Nishio, M., Horai, T., Aburatani, H., Matsuura, M., Iwasaki, A., Ishikawa, Y.
   A subset of small cell lung cancer with low neuroendocrine expression and good prognosis: a comparison study of surgical and inoperable cases with biopsy.Hum. Pathol. 45(5): 1045-56, 2014

6. Hashimoto, T., Fujimoto, M., Nishikori, M., Takeuchi, K., Kimura, M., Nakajima, N., Miyagawa-Hayashino, A., Takaori-Kondo, A., Haga, H.
   Plasmacytic ALK-positive large B-cell lymphoma: a potential mimic of extramedullary plasmacytoma.Pathol. Int. 64(6): 292-4, 2014

7. Hong, M., Kim, R.N., Song, J.Y., Choi, S.J., Oh, E., Lira, M.E., Mao, M., Takeuchi, K., Han, J., Kim, J., Choi, Y.L.
   HIP1-ALK, a novel fusion protein identified in lung adenocarcinoma.J. Thorac. Oncol. 9(3): 419-22, 2014

8. Honma, N., Horii, R., Iwase, T., Saji, S., Younes, M., Ito, Y., Akiyama, F.
Proportion of estrogen or progesterone receptor expressing cells in breast cancers and response to endocrine therapy.Breast. 23(6): 754-62, 2014

9. Horii, R., Matsuura, M., Iwase, T., Ito, Y., Akiyama, F.
Comparison of dual-color in-situ hybridization and fluorescence in-situ hybridization in HER2 gene amplification in breast cancer.Breast Cancer. 21(5): 598-604, 2014

10. Inamura, K., Ninomiya, K., Nomura, K., Tsuchiya, E., Satoh, Y., Okumura, S., Nakagawa, K., Takata, A., Kohyama, N., Ishikawa, Y.
Combined effects of asbestos and cigarette smoke on development of lung adenocarcinoma: different carcinogens may cause different genomic changes.Oncol. Rep. 32(2): 475-82, 2014

11. Inamura, K., Yamauchi, M., Nishihara, R., Lochhead, P., Qian, Z.R., Kuchiba, A., Kim, S.A., Mima, K., Sukawa, Y., Jung, S., Zhang, X., Wu, K., Cho, E., Chan, A.T., Meyerhardt, J.A., Harris, C.C., Fuchs, C.S., Ogino, S.
Tumor LINE-1 methylation level and microsatellite instability in relation to colorectal cancer prognosis.J. Natl. Cancer Inst. 106(9)2014

12. Izumiyama-Shimomura, N., Nakamura, K.I., Aida, J., Ishikawa, N., Kuroiwa, M., Hiraishi, N., Fujiwara, M., Ishikawa, Y., Inoshita, N., Yonese, J., Matsuura, M., Poon, S.S., Arai, T., Takubo, K.
Short telomeres and chromosome instability prior to histologic malignant progression and cytogenetic aneuploidy in papillary urothelial neoplasms.Urol. Oncol. 32(2): 135-145, 2014

13. Jung, S., Qian, Z.R., Yamauchi, M., Bertrand, K.A., Fitzgerald, K.C., Inamura, K., Kim, S.A., Mima, K., Sukawa, Y., Zhang, X., Wang, M., Smith-Warner, S.A., Wu, K., Fuchs, C.S., Chan, A.T., Giovannucci, E.L., Ng, K., Cho, E., Ogino, S., Nishihara, R.
Predicted 25(OH)D score and colorectal cancer risk according to vitamin D receptor expression.Cancer Epidemiol. Biomarkers Prev. 23(8): 1628-37, 2014

14. Kadota, K., Villena-Vargas, J., Yoshizawa, A., Motoi, N., Sima, C.S., Riely, G.J., Rusch, V.W., Adusumilli, P.S., Travis, W.D.
Prognostic significance of adenocarcinoma In situ, minimally invasive adenocarcinoma, and nonmucinous lepidic predominant invasive adenocarcinoma of the lung in patients with stage I disease.Am. J. Surg. Pathol. 38(4): 448-60, 2014

15. Kai, K., Iwamoto, T., Kobayashi, T., Arima, Y., Takamoto, Y., Ohnishi, N., Bartholomeusz, C., Horii, R., Akiyama, F., Hortobagyi, G.N., Pusztai, L., Saya, H., Ueno, N.T.
Ink4a/Arf $^{-/-}$ and HRAS(*G12V)* transform mouse mammary cells into triple-negative breast cancer containing tumorigenic CD49f $^{-}$ quiescent cells.Oncogene. 33(4): 440-8, 2014

16. Katayama, R., Friboulet, L., Koike, S., Lockerman, E.L., Khan, T.M., Gainor, J.F., Iafrate, A.J., Takeuchi, K., Taiji, M., Okuno, Y., Fujita, N., Engelman, J.A., Shaw, A.T.
Two novel ALK mutations mediate acquired resistance to the next-generation AKL inhibitor alectinib.Clin. Cancer Res. 20(22): 5686-96, 2014

17. Kenmotsu, H., Niho, S., Ito, T., Ishikawa, Y., Noguchi, M., Tada, H., Sekine, I., Watanabe, S.I., Yoshimura, M., Yamamoto, N., Oshita, F., Kubota, K., Nagai, K.
A pilot study of adjuvant chemotherapy with irinotecan and cisplatin for completely resected high-grade pulmonary neuroendocrine carcinoma (large cell neuroendocrine carcinoma and small cell lung cancer).Lung Cancer. 84(3): 254-8, 2014

18. Kim, S.J., Masuda, N., Tsukamoto, F., Inaji, H., Akiyama, F., Sonoo, H., Kurebayashi, J., Yoshidome, K., Tsujimoto, M., Takei, H., Masuda, S., Nakamura, S., Noguchi, S.
The cell cycle profiling-risk score based on CDK1 and 2 predicts early recurrence in node-negative, hormone receptor-positive breast cancer treated with endocrine therapy.Cancer Lett. 355(2): 217-23, 2014

19. Kodama, T., Motoi, N., Ninomiya, H., Sakamoto, H., Kitada, K., Tsukaguchi, T., Satoh, Y., Nomura, K., Nagano, H., Ishii, N., Terui, Y., Hatake, K., Ishikawa, Y.
A novel mechanism of *EML4-ALK* rearrangement mediated by chromothripsis in a patient-derived cell Ll.J. Thorac. Oncol. 9(11): 1638-46, 2014

20. Kozu, Y., Isaka, M., Ohde, Y., Takeuchi, K., Nakajima, T.
Epithelioid inflammatory myofibroblastic sarcoma arising in the pleural cavity. Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg. 62(3): 191-4, 2014

21. Lee, S.E., Kang, S.Y., Takeuchi, K., Ko, Y.H.
Identification of RANBP2-*ALK* fusion in *ALK* positive diffuse large B-cell lymphoma.Hematol. Oncol. 32(4): 221-4, 2014

22. Li, T., Liao, X., Lochhead, P., Morikawa, T., Yamauchi, M., Nishihara, R., Inamura, K., Kim, S.A., Mima, K., Sukawa, Y., Kuchiba, A., Imamura, Y., Baba, Y., Shima, K., Meyerhardt, J.A., Chan, A.T., Fuchs, C.S., Ogino, S., Qian, Z.R.
SMO expression in colorectal cancer: associations with clinical, pathological, and molecular features.Ann. Surg. Oncol. 21(13): 4164-73, 2014

23. Mashima, T., Soma-Nagae, T., Migita, T., Kinoshita, R., Iwamoto, A., Yuasa, T., Yonese, J., Ishikawa, Y., Seimiya, H.
TRIB1 supports prostate tumorigenesis and tumor-propagating cell survival by regulation of endoplasmic reticulum chaperone expression.Cancer Res. 74(17): 4888-97, 2014

24. Motoi, N., Ishikawa, Y.
Salivary gland-type neoplasm of the lung.Diagn. Histopathol. 20(10): 398-404, 2014

25. Nakamoto-Matsubara, R., Sakata-Yanagimoto, M., Enami, T., Yoshida, K., Yanagimoto, S., Shiozawa, Y., Nanmoku, T., Satomi, K., Muto, H., Obara, N., Kato, T., Kurita, N., Yokoyama, Y., Izutsu, K., Ota, Y., Sanada, M., Shimizu, S., Komeno, T., Sato, Y., Ito, T., Kitabayashi, I., Takeuchi, K., Nakamura, N., Ogawa, S., Chiba, S.
Detection of the G17V RHOA mutation in angioimmunoblastic T-Cell lymphoma and related lymphomas using quantitative allele-specific PCR.PLoS One. 9(10): e109714, 2014

26. Nakano, K., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Motoi, N., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Shimoji, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Incidence of pneumothorax in advanced and/or metastatic soft tissue sarcoma patients during pazopanib treatment.Clin. Oncol. 26(6): 357, 2014

27. Nishihara, R., Wang, M., Qian, Z.R., Baba, Y., Yamauchi, M., Mima, K., Sukawa, Y., Kim, S.A., Inamura, K., Zhang, X., Wu, K., Giovannucci, E.L., Chan, A.T., Fuchs, C.S., Ogino, S., Schernhammer, E.S.
Alcohol, one-carbon nutrient intake, and risk of colorectal cancer according to tumor methylation level of IGF2 differentially methylated region.Am. J. Clin. Nutr. 100(6): 1479-88, 2014

28. Nomura, F., Sugimoto, T., Kitagaki, K., Ito, T., Kawachi, H., Eishi, Y., Watanabe, K., Igaue, M., Shimizu, N., Tomita, M., Kitamura, K., Kishimoto, S.
Clinical characteristics of Japanese oropharyngeal squamous cell carcinoma positive for human papillomavirus infection.Acta Otolaryngol. 134(12): 1265-74, 2014

29. Ogura, K., Horii, R., Oosako, T., Iwase, T., Akiyama, F.
A clinico-pathological study on cancer in sclerosing adenosis.Breast Cancer. 21(6): 732-737, 2014

30. Okadome, M., Saito, T., Tanaka, H., Nogawa, T., Furuta, R., Watanabe, K., Kita, T., Yamamoto, K., Mikami, M., Takizawa, K.
Potential impact of combined high- and low-risk human papillomavirus infection on the progression of cervical intraepithelial neoplasia 2.J. Obstet. Gynaecol. Res. 40(2): 561-569, 2014

31. Ono, H., Motoi, N., Nagano, H., Miyauchi, E., Ushijima, M., Matsuura, M., Okumura, S., Nishio, M., Hirose, T., Inase, N., Ishikawa, Y.
Long noncoding RNA *HOTAIR* is relevant to cellular proliferation, invasiveness, and clinical relapse in small-cell lung cancer.Cancer Med. 3(3): 632-642, 2014

32. Osako, T., Iwase, T., Ushijima, M., Horii, R., Fukami, Y., Kimura, K., Matsuura, M., Akiyama, F.
Incidence and prediction of invasive disease and nodal metastasis in preoperatively diagnosed ductal carcinoma *in situ.*Cancer Sci. 105(5): 576-82, 2014

33. Sakata, S., Tsuyama, N., Takeuchi, K.
Pathology of indolent B-cell neoplasms other than follicular lymphoma.J. Clin. Exp. Hematop. 54(1): 11-22, 2014

34. Sakata-Yanagimoto, M., Enami, T., Yoshida, K., Shiraishi, Y., Ishii, R., Miyake, Y., Muto, H., Tsuyama, N., Sato-Otsubo, A., Okuno, Y., Sakata, S., Kamada, Y., Nakamoto-Matsubara, R., Tran, N.B., Izutsu, K., Sato, Y., Ohta, Y., Furuta, J., Shimizu, S., Komeno, T., Ito, T., Noguchi, M., Noguchi, E., Sanada, M., Chiba, K., Tanaka, H., Suzukawa, K., Nanmoku, T., Hasegawa, Y., Nureki, O., Miyano, S., Nakamura, N., Takeuchi, K., Ogawa, S., Chiba, S.
Somatic RHOA mutation in angioimmunoblastic T cell lymphoma.Nat. Genet. 46(2): 171-5, 2014

35. Sugiyama, H., Maeda, Y., Nishimori, H., Yamasuji, Y., Matsuoka, K.I., Fujii, N., Kondo, E., Shinagawa, K., Tanaka, T., Takeuchi, K., Teshima, T., Tanimoto, M.
Mammalian target of rapamycin inhibitors permit regulatory T cell reconstitution and inhibit experimental chronic graft-versus-host disease.Biol. Blood. Marrow. Transplant. 20(2): 183-191, 2014

36. Swangsri, J., Nakajima, Y., Kawada, K., Tokairin, Y., Suzuki, T., Miyawaki, Y., Hoshino, A., Okada, T., Ota, S., Ryotokuji, T., Fujiwara, N., Nishikage, T., Nagai, K., Kawachi, H., Kawano, T.
Changes in the microvascular structure of mucosal squamous cell carcinoma of the esophagus and their significance in tumor progression.J. Med. Dent. Sci. 60(4): 83-91, 2014

37. Takemura, K., Kawachi, H., Eishi, Y., Kitagaki, K., Negi, M., Kobayashi, M., Uchida, K., Inoue, J., Inazawa, J., Kawano, T., Board, P.G.
γ-Glutamylcyclotransferase as a novel immunohistochemical biomarker for the malignancy of esophageal squamous tumors.Hum. Pathol. 45(2): 331-41, 2014

38. Thunnissen, E., Noguchi, M., Aisner, S., Beasley, M.B., Brambilla, E., Chirieac, L.R., Chung, J.H., Dacic, S., Geisinger, K.R., Hirsch, F.R., Ishikawa, Y., Kerr, K.M., Lantejoul, S., Matsuno, Y., Minami, Y., Moreira, A.L., Pelosi, G., Petersen, I., Roggli, V., Travis, W.D., Wistuba, I., Yatabe, Y., Dziadziuszko, R., Witte, B., Tsao, M.S., Nicholson, A.G.
Reproducibility of histopathological diagnosis in poorly differentiated NSCLC: an international multiobserver study.J. Thorac. Oncol. 9(9): 1354-62, 2014

39. Uehiro, N., Horii, R., Iwase, T., Tanabe, M., Sakai, T., Morizono, H., Kimura, K., Iijima,

K., Miyagi, Y., Nishimura, S., Makita, M., Ito, Y., Akiyama, F.
Validation study of the UICC TNM classification of malignant tumors, seventh edition, in breast cancer.Breast Cancer. 21(6): 748-753, 2014

40. Ueno, H., Shirouzu, K., Shimazaki, H., Kawachi, H., Eishi, Y., Ajioka, Y., Okuno, K., Yamada, K., Sato, T., Kusumi, T., Kushima, R., Ikegami, M., Kojima, M., Ochiai, A., Murata, A., Akagi, Y., Nakamura, T., Sugihara, K.
Histogenesis and prognostic value of myenteric spread in colorectal cancer: a Japanese multi-institutional study.J. Gastroenterol. 49(3): 400-7, 2014

41. Ueno, H., Konishi, T., Ishikawa, Y., Shimazaki, H., Ueno, M., Aosasa, S., Saiura, A., Hase, K., Yamamoto, J.
Histologic categorization of fibrotic cancer stroma in the primary tumor is an independent prognostic index in resectable colorectal liver metastasis.Am. J. Surg. Pathol. 38(10): 1380-6, 2014

42. Watanabe, N., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Motoi, N., Ueno, T., Koizumi, M.
Early evaluation of the therapeutic effect of denosumab on tartrate-resistant acid phosphatase 5b expression in a giant cell tumor of bone: a case report.BMC Res. Notes. 7: 608, 2014

43. Watanabe, M., Mine, S., Yamada, K., Shigaki, H., Baba, Y., Yoshida, N., Kajiyama, K., Yamamoto, N., Sano, T., Baba, H.
Outcomes of lymphadenectomy for lymph node recurrence after esophagectomy or definitive chemoradiotherapy for squamous cell carcinoma of the esophagus.Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg. 62(11): 685-92, 2014

44. Yamaguchi, J., Nagayama, S., Chino, A., Sakata, A., Yamamoto, N., Sato, Y., Ashihara, Y., Kita, M., Nomura, S., Ishikawa, Y., Igarashi, M., Ueno, M., Arai, M.
Identification of coding exon 3 duplication in the *BMPR1A* gene in a patient with juvenile polyposis syndrome.Jpn. J. Clin. Oncol. 44(10): 1004-8, 2014

45. Yamamoto, W., Nakamura, N., Tomita, N., Takeuchi, K., Ishii, Y., Takahashi, H., Watanabe, R., Takasaki, H., Motomura, S., Kobayashi, S., Yokose, T., Ishigatsubo, Y., Sakai, R.
HLA-DR expression on flow cytometry and tumor-associated macrophages in diffuse large B cell lymphoma treated by R-CHOP therapy: Retrospective cohort study.Leuk. Lymphoma. 55(12): 2721-7, 2014

46. Yamamoto, S., Kawakami, S., Yonese, J., Fujii, Y., Urakami, S., Kitsukawa, S., Masuda, H., Ishikawa, Y., Kozuka, T., Oguchi, M., Kohno, A., Fukui, I.
Long-term oncological outcome in men with T3 prostate cancer: radical prostatectomy versus external-beam radiation therapy at a single institution.Int. J. Clin. Oncol. 19(6): 1085-91, 2014

47. Yoshimoto, T., Motoi, N., Kanda, H., Tanizawa, T., Shimoji, T., Matsumoto, S., Mukai, H., Ishikawa, Y., Machinami, R.
Hepatoid tenosynovial giant cell tumor - A rare morphologic variant case report.Pathol. Res. Pract. 210(10): 694-7, 2014

48. 中川智恵, 堀井理絵, 五味直哉, 宮城由美, 岩瀬拓士, 秋山太
区域性分泌型石灰化の併存により乳管内成分主体の浸潤性乳管癌と術前診断された浸潤性小葉癌の1例.乳癌の臨床. 29(6): 605-610, 2014

49. 中川智恵, 堀井理絵, 五味直哉, 宮城由美, 岩瀬拓士, 秋山太
区域性分泌型石灰化の併存により乳管内成分主体の浸潤性乳管癌と術前診断された浸潤性小葉癌の1例.乳癌の臨床. 29(6): 605-610, 2014

50. 井上大, 尾阪将人, 村松雄輔, 山田育弘, 松山眞人, 神田浩明, 石井浩
シスプラチン+イリノテカン併用療法が奏効した胆嚢原発神経内分泌癌の1例.癌と化学療法. 41(6): 765-767, 2014

51. 井上謙一, 伊藤良則, 高橋俊二, 坂井威彦, 五味直哉, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
原発巣と肝転移巣におけるHER2発現が異なった乳癌の1例.乳癌の臨床. 29(5): 523-530, 2014

52. 元井紀子, 星利良
ALK肺癌.細胞診断マニュアル：細胞像の見方と診断へのアプローチ (元井信ほか編集), 東京, 篠原出版新社: pp.107-110, 2014

53. 元井紀子
免疫組織化学　診断と治療選択の指針: (第2部) 腫瘍の鑑別に用いられる抗体(各臓器別)　内分泌　神経内分泌.病理と臨床. 32(臨増): 226-230, 2014

54. 古田玲子, 柿田智世, 小川真由美, 新井正美, 加藤洋, 高澤豊, 石川雄一, 北川知行
Laboratory Practice　病理 リンチ症候群の検査法--特に病理検体を用いたスクリーニング法の留意点.検査と技術. 42(8): 808-814, 2014

55. 坂田亜衣, 堀井理絵, 山本弥生, 坂井威彦, 岩瀬拓士, 秋山太
非常にまれな乳腺発生らせん腺腫の１例.乳癌の臨床. 29(1): 93-98, 2014

56. 堀井理絵
乳癌の疫学・検診・診断2014～2016：穿刺吸引細胞診と針生検.コンセンサス癌治療. 13(3): 142-147, 2014

57. 大迫智, 秋山太
Sentinel node navigation surgery: センチネルリンパ節の病理学的探索.外科. 76(4): 352-356, 2014

58. 山崎希恵子, 岩瀬拓士
乳癌治療の新展開: DCISの最新動向.クリニシアン. 61(9-10): 894-899, 2014

59. 平澤俊明, 比企直樹, 山本頼正, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広, 山本智理子
噴門部胃粘膜下腫瘍に対するLaparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery(LECS)の検討.Gastroenterological Endoscopy. 56(8): 2359-2366, 2014

60. 後藤英典, 上原浩文, 齋藤雄一, 元井紀子, 石川雄一, 奥村栄
EGFR陽性肺癌とALK陽性肺癌が併存した同時性多発肺癌の2例.肺癌. 54(3): 146-152, 2014

61. 後藤英典, 中尾将之, 大柳文義, 二宮浩範, 森彰平, 松浦陽介, 上原浩文, 文敏景, 中川健, 丹保裕一, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人, 奥村栄
気管支鏡検査中に脳空気塞栓症を発症した1例.気管支学. 36(6): 649-655, 2014

62. 新井正美, 岩瀬拓士, 高澤豊, 竹島信宏
わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の診療上の課題と最近の動向　遺伝子検査と予防手術を中心に.癌と化学療法. 41(11): 1333-1339, 2014

63. 新井正美, 古田玲子, 竹島信宏
遺伝性腫瘍における婦人科疾患　HBOC,Lynch症候群を中心に.臨床婦人科産科. 68(1): 147-153, 2014

64. 日向奈恵, 神田浩明, 塩山高広, 鈴木あかね, 武田朴, 石川雄一, 山口俊晴, 加藤洋
FFT法と領域法を組み合わせたDNA ploidy解析によるがん診断法の研究.生体医工学. 52(3): 136-144, 2014

65. 木村幸紀, 柳澤昭夫, 山本智理子, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 佐野司
Stage Ⅰ・II筋層浸潤舌扁平上皮癌における後発転移と予後　210例の検討.頭頸部癌. 40(3): 338-343, 2014

66. 杉谷雅彦, 羽野寛, 八尾隆史, 森下由紀雄, 神田浩明, 松本光司, 林星舟, 有泉俊一, 山本雅一, 中野雅行
肝細胞腺腫、FNHと周辺病変の新しい考え方：肝細胞腺腫　疫学、遺伝子異常　肝細胞腺腫の疫学と背景因子　欧米との比較.肝・胆・膵. 69(5): 691-694, 2014

67. 河内洋, 根木真理子, 菅原江美子, 岡本直子
浸潤性の診断・脈管侵襲の判定.病理と臨床. 32(増刊): 400-404, 2014

68. 津山直子, 藤崎順子, 新井冨生, 竹内賢吾
消化管悪性リンパ腫2014: リンパ腫様胃症

(Lymphomatoid gastropathy).胃と腸. 49(5): 811-815, 2014

69. 津山直子
消化管悪性リンパ腫2014: 咽頭のMALTリンパ腫.胃と腸. 49(5): 818-819, 2014

70. 津山直子
病理・病態生理 : 病理.最新医学別冊 新しい診断と治療のABC ; 84 多発生骨髄腫 (畠清彦編集), 大阪, 最新医学社: pp.31-40, 2014

71. 津山直子, 竹内賢吾
血液疾患とクローン性: クローン性造血異常 悪性リンパ腫のクローン性.血液フロンティア. 24(6): 857-867, 2014

72. 清水亜衣, 堀井理絵, 山本弥生, 岩瀬拓士, 秋山太
乳腺lipophyllodes tumorの1例.乳癌の臨床. 29(6): 633-638, 2014

73. 清水亜衣, 堀井理絵, 山本弥生, 岩瀬拓士, 秋山太
乳腺lipophyllodes tumorの1例.乳癌の臨床. 29(6): 633-638, 2014

74. 矢野聖二, 竹内賢吾, 萩原弘一
がん分子診断のパラダイムシフト : がん分子診断のパラダイムシフト.最新医学. 69(12): 2489-2497, 2014

75. 石川雄一
職業・環境発がん:メカニズムと病理: アスベスト関連肺癌の病理と分子疫学.病理と臨床. 32(6): 627-631, 2014

76. 石田直子, 木村聖美, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
主乳管内に突出し血性乳頭分泌を呈した乳腺葉状腫瘍の3例.乳癌の臨床. 29(1): 87-92, 2014

77. 秋山太
乳癌治療の新展開: 分子診断の最新動向.クリニシアン. 61(9-10): 889-893, 2014

78. 竹内賢吾
ゲノム創薬と病理: (第I部)ゲノム創薬のためのシーズ探索研究　がんの病理形態学を基盤とする新規融合遺伝子同定.病理と臨床. 32(8): 845-849, 2014

79. 竹内賢吾, 坂田征士
個別化医療を拓くがんゲノム研究-解き明かされるがんの本質と分子診断・治療応用への展開: (第2章)がん分子標的・個別化治療の最前線　がんゲノム解析の治療への応用　上皮性腫瘍における融合遺伝子.実験医学. 32(12): 1948-1954, 2014

80. 竹内賢吾
免疫組織化学　診断と治療選択の指針: (第4部) 免疫組織化学の治療への展開　腫瘍のコンパニオン診断　ALK.病理と臨床. 32(臨増): 379-383, 2014

81. 竹沢奈緒子, 坂本穆彦, 小松京子, 藤山淳三, 古田則行, 戸田和寿, 元井紀子, 杉山裕子
甲状腺細胞診「鑑別困難」のベセスダシステムによる検討.日本臨床細胞学会雑誌. 53(4): 251-256, 2014

82. 蒔田益次郎, 坂井威彦, 荻谷朗子, 森園英智, 木村聖美, 飯島耕太郎, 宮城由美, 高橋俊二, 伊藤良則, 小口正彦, 五味直哉, 秋山太, 岩瀬拓士
非浸潤癌温存療法後の2次乳癌の発生が乳房内再発を高める.乳癌の臨床. 29(2): 143-157, 2014

83. 蛭田啓之, 町並陸生, 元井紀子, 杉浦善弥, 松本誠一, 下地尚, 谷沢泰介, 徳山宣, 笹井大督, 土谷一晃
骨腫瘍病理の最近のトピックス : 実際の診断への応用 : 骨肉腫の治療効果判定と問題点.病理と臨床. 32(2): 156-160, 2014

84. 阿部彰子, 古田玲子, 荒井祐司, 野村秀高, 山本阿紀子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 竹島信宏
Lobular endocervical glandular hyperplasiaを伴うadenocarcinoma in situおよび子宮体癌を認めた重複癌の1例.日本臨床細胞学会雑誌. 53(3): 195-199, 2014

細胞診断部

1. 古田則行
液状化検体細胞診(LBC)にはどんなメリットがあるか: 子宮頸部のLBC.臨床検査. 58(6): 677-684, 2014

2. 星利良, 元井紀子, 古田則行, 小松京子, 柳谷典子, 杉山裕子, 石川雄一, 宝来威
肺摘出材料の捺印細胞診にて推定しえたPEComaの1例.日本臨床細胞学会雑誌. 53(5): 371-376, 2014

3. 竹沢奈緒子, 坂本穆彦, 小松京子, 藤山淳三, 古田則行, 戸田和寿, 元井紀子, 杉山裕子
甲状腺細胞診「鑑別困難」のベセスダシステムによる検討.日本臨床細胞学会雑誌. 53(4): 251-256, 2014

栄養管理部

1. 中濱孝志, 比企直樹
消化器疾患診療支援のための栄養療法 最先端: 栄養士からみた消化器疾患の栄養管理.臨床消化器内科. 29(8): 1153-1158, 2014

2. 伊沢由紀子, 中濱孝志, 比企直樹
がん化学療法看護のいま～ケアの質を高めるためのエッセンス～: (第IV章)患者の生活をよりよく保つための看護　化学療法中の患者の栄養管理　化学療法中に栄養状態を維持する意義.がん看護. 19(2): 162-165, 2014

3. 比企直樹, 伊沢由紀子, 小口正彦, 小倉真理子
がん研有明病院の抗がん剤・放射線治療に向きあう食事：食べたい気持ち応援します！. 東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2014

看護部

1. 上村絵美子
Interview : 自分を必要としてもらえてよかった. 医療・看護の資格と仕事 (梅方久仁子著), 東京, 技術評論社: pp.16-19, 2014

2. 佐伯やよい, 笹原綾子
ひらめき現場のアイデアグッズ(No.44)　ドレーンハンガー『すいすい君』.Nursing Business. 8(8): 727, 2014

3. 前勇太郎, 岩本寿美代
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(mTOR阻害薬)　各薬剤の特徴とケアポイント　エベロリムス.看護技術. 60(5): 508-509, 2014

4. 宋菜緒子
患者の質問に慌てない!!臨床試験の知識：臨床試験に参加する患者を支える看護師の役割.Oncology Nurse. 7(4): 97-103, 2014

5. 式部さあ里, 松浦千絵
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　ホルモン療法　各薬剤の特徴とケアポイント　アナストロゾール/レトロゾール/エキセメスタン.看護技術. 60(5): 514-515, 2014

6. 式部さあ里, 松浦千絵
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　ホルモン療法　各薬剤の特徴とケアポイント　タモキシフェン/トレミフェン.看護技術. 60(5): 512-513, 2014

7. 後藤志保
治療に伴う看護特集　そのままつかえる有害事象別パンフレット　放射線療法の患者説明: 放射線宿酔.プロフェッショナルがんナーシング. 4(3): 256-259, 2014

8. 杉山肇, 岩本寿美代
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(mTOR阻害薬)　各薬剤の特徴とケアポイント　テムシロリムス.看護技術. 60(5): 506-507, 2014

9. 杉山肇, 黒田直子
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(チロシンキナーゼ阻害薬)　各薬剤の特徴とケアポイント　スニチニブ.看護技術. 60(5): 498-499, 2014

10. 杉山肇, 黒田直子
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(チロシンキナーゼ阻害薬)　各薬剤の特徴とケアポイント　ソラフェニブ.看護技術. 60(5): 496-497, 2014

11. 杉崎崇人, 松浦千絵
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　ホルモン療法　各薬剤の特徴とケアポイント　ゴセレリン/リュープロレリン.看護技術. 60(5): 518-519, 2014

12. 村上往子, 石橋遥子
いつ・どのように指導する? パスとパンフレットから学ぶ泌尿器科の退院指導: 実際の退院指導パンフレットを見てみよう! 分子標的薬治療の指導パンフレット.泌尿器ケア. 19(6): 549-558, 2014

13. 松浦信子
どんなストーマが、よいストーマ?!: 晩期合併症とストーマ管理困難.WOC Nursing. 2(3): 30-37, 2014

14. 横井麻珠美
治療前から心がけたい口腔ケア.
がん研有明病院の抗がん剤・放射線治療に向きあう食事 (比企直樹監修, 伊沢由紀子食事指導, 小口正彦, 小倉真理子医療解説), 東京, 女子栄養大学出版部: pp.104-106, 2014

15. 櫻井美由紀, 阿南節子, 石丸博雅, 藤井千賀, 森本茂文, 岩本寿美代, 吉田仁
平成25年度学術委員会学術第7小委員会報告:抗がん薬安全取り扱いに関する指針の作成に向けた調査・研究 (最終報告).日本病院薬剤師会雑誌. 59(9): 1065-71, 2014

16. 武田知子
6科24術式 術式別でわかりやすい！内視鏡外科手術実践マニュアル:(第1章)初心者オペナースのためのベーシックマニュアル どうすればいい?体位固定.
オペナーシング, (2014秋季増刊): 11-14, 2014

17. 武田知子
6科24術式 術式別でわかりやすい！内視鏡外科手術実践マニュアル:(第1章)初心者オペナースのためのベーシックマニュアル 内視鏡外科手術における「器械出し」と「外回り」のポイント.オペナーシング, (2014秋季増刊): 8-10, 2014

18. 武田知子
6科24術式 術式別でわかりやすい！内視鏡外科手術実践マニュアル:(第1章)初心者オペナースのためのベーシックマニュアル 再確認!基本的な手順.オペナーシング, (2014秋季増刊): 22-26, 2014

19. 武田知子
6科24術式 術式別でわかりやすい！内視鏡外科手術実践マニュアル:(第1章)初心者オペナースのためのベーシックマニュアル 気をつけよう!体温管理.オペナーシング, (2014秋季増刊): 15-16, 2014

20. 武田知子
6科24術式 術式別でわかりやすい！内視鏡外科手術実践マニュアル:(第1章)初心者オペナースのためのベーシックマニュアル 道具を知る! 内視鏡手術でよく使用する器械.オペナーシング, (2014秋季増刊): 17-21, 2014

21. 武田知子
乳腺外科：乳房部分切除術.
ピヨピヨオペナースの「どうして？」「なんで？」に全部答える！機械出し・外回りのまるわかりポイント：9科31術式 (阿部奈緒子編著), 大阪, メディカ出版: pp.134-137, 2014

22. 武田知子
乳腺外科：非定型的乳房切除術.
ピヨピヨオペナースの「どうして？」「なんで？」に全部答える！機械出し・外回りのまるわかりポイント：9科31術式 (阿部奈緒子編著), 大阪, メディカ出版: pp.138-142, 2014

23. 武田知子
知っトク情報満載!手術看護認定看護師による実践ノート 当院における安全な手術体位のための取り組み.オペナーシング. 29(11): 1074-1077, 2014

24. 清水多嘉子
経営に貢献できる経営感覚と看護の心を両立させる!組織づくりとマネジメントの鉄則:(第2章)「経営感覚」と「看護の心」を両立させるマネジメントを実現するために 基礎知識編 リーダーシップ論の基礎知識.Nursing Business, (2014冬季増刊): 024-030, 2014

25. 濱口恵子
がん終末期患者の意思決定を支える.ホスピスケア. 25(1): 19-44, 2014

26. 濱口恵子, 佐々木聡美, 小田島久美, 榮木実枝
何を教える?どう教える?臨床現場の倫理教育最前線: (事例2)集合研修と事後課題を通して日常

的な倫理的配慮の実践を目指す.Nursing Business. 8(4): 340-343, 2014

27. 石川加奈子
今の看護にプラス!エキスパートが教える　検査・術後・入院患者に使える観察・アセスメント・ケア: 皮膚・排泄ケア認定看護師が教えるがん終末期患者の褥瘡予防と対策.消化器最新看護. 19(1): 27-36, 2014

28. 藤井亜砂美
がん化学療法看護のいま～ケアの質を高めるためのエッセンス～：(第VII章)化学療法患者をめぐる院内外との連携　病棟と外来および外来治療センターにおける看護の役割と連携.がん看護. 19(2): 234-237, 2014

29. 鈴木亘, 横井麻珠美
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　白金製剤　各薬剤の特徴とケアポイント　オキサリプラチン.看護技術. 60(5): 424-425, 2014

30. 青山剛, 長崎礼子
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(モノクローナル抗体)　各薬剤の特徴とケアポイント　セツキシマブ.看護技術. 60(5): 484-485, 2014

31. 青山剛, 長崎礼子
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(モノクローナル抗体)　各薬剤の特徴とケアポイント　パニツムマブ.看護技術. 60(5): 486-487, 2014

32. 青山剛, 横井麻珠美
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(モノクローナル抗体)　各薬剤の特徴とケアポイント　ベバシズマブ.
看護技術. 60(5): 482-483, 2014

33. 鴨川郁子, 濱口恵子
対応に悩む看護場面～続・看護師のコミュニケーション技術II～: 患者と家族の間で意思決定が異なる場合の対応　「最後まで治療してほしい」/「余計なことしないで」.がん看護. 19(5): 473-475, 2014

薬剤部

1. 中本恵理
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　微小管阻害薬　微小管阻害薬の作用機序.看護技術. 60(5): 438-439, 2014

2. 中本恵理
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　ホルモン療法　ホルモン療法の作用機序.看護技術. 60(5): 510-511, 2014

3. 前勇太郎, 濱敏弘
ハイリスクな薬剤を安全に導入するためには? チームスチバーガの経験から.薬事. 56(4): 597-602, 2014

4. 前勇太郎, 栗原陽子
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　代謝拮抗薬　各薬剤の特徴とケアポイント　カペシタビン.看護技術. 60(5): 468-469, 2014

5. 前勇太郎, 栗原陽子
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　代謝拮抗薬　各薬剤の特徴とケアポイント　テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム(S-1).看護技術. 60(5): 466-467, 2014

6. 前勇太郎, 岩本寿美代
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(mTOR阻害薬)　各薬剤の特徴とケアポイント　エベロリムス.看護技術. 60(5): 508-509, 2014

7. 川上和宜, 吉村知哲, 日置三紀, 組橋由記, 林稔展, 飯原大稔, 黒田純子, 緒方憲太郎, 米村雅人, 岩本卓也, 松尾宏一, 日本病院薬剤師会学術委員会学術第3小委員会
がん診療連携拠点病院を対象とした外来化学療法における薬剤師の業務展開に関する調査結果. 日本病院薬剤師会雑誌. 50(3): 305-311, 2014

8. 川上和宜, 末永光邦
薬と検査2014　薬物治療&服薬指導プラクティカルガイド:　皮膚疾患　手足症候群.薬局. 65(4): 1051-1058, 2014

9. 平岡知子
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　アルキル化剤　アルキル化剤の作用機序.看護技術. 60(5): 426-427, 2014

10. 平岡知子
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　抗生物質　抗生物質の作用機序.看護技術. 60(5): 404-405, 2014

11. 式部さあ里, 村田和也, 松林麻里子, 渡部大介
がんと輸液・栄養療法.東京都病院薬剤師会雑誌. 63(6): 515-522, 2014

12. 式部さあ里, 松浦千絵
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　ホルモン療法　各薬剤の特徴とケアポイント　アナストロゾール/レトロゾール/エキセメスタン.看護技術. 60(5): 514-515, 2014

13. 式部さあ里, 松浦千絵
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　ホルモン療法　各薬剤の特徴とケアポイント　タモキシフェン/トレミフェン.看護技術. 60(5): 512-513, 2014

14. 式部さあ里, 濱敏弘
新薬くろ～ずあっぷ　ロンサーフ配合錠T15・T20(トリフルリジン・チピラシル塩酸塩).調剤と情報. 20(10): 1147-1154, 2014

15. 杉山肇, 岩本寿美代
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(mTOR阻害薬)　各薬剤の特徴とケアポイント　テムシロリムス.看護技術. 60(5): 506-507, 2014

16. 杉山肇, 黒田直子
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(チロシンキナーゼ阻害薬)　各薬剤の特徴とケアポイント　スニチニブ.看護技術. 60(5): 498-499, 2014

17. 杉山肇, 黒田直子
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(チロシンキナーゼ阻害薬)　各薬剤の特徴とケアポイント　ソラフェニブ.看護技術. 60(5): 496-497, 2014

18. 杉崎崇人, 松浦千絵
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　ホルモン療法　各薬剤の特徴とケアポイント　ゴセレリン/リュープロレリン.看護技術. 60(5): 518-519, 2014

19. 杉崎崇人, 大畑美里
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　ホルモン療法　各薬剤の特徴とケアポイント　デガレリクス.看護技術. 60(5): 520-521, 2014

20. 杉崎崇人, 立花夏子
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　ホルモン療法　各薬剤の特徴とケアポイント　フルベストラント.看護技術. 60(5): 516-517, 2014

21. 横川貴志
がん治療への薬学的介入と症例サマリ　大腸がん化学療法に対する薬学的介入.薬局. 65(11): 2821-2828, 2014

22. 横川貴志, 医薬情報委員会プレアボイド報告評価小委員会
プレアボイド広場　がん患者に対する薬剤師のトータルマネジメント実践例.日本病院薬剤師会雑誌. 50(1): 27-31, 2014

23. 横川貴志
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(チロシンキナーゼ阻害薬)　チロシンキナーゼ阻害薬の作用機序.看護技術. 60(5): 488-489, 2014

24. 横川貴志
保存版　抗がん薬薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(mTOR阻害薬)　mTOR阻害薬の作用機序.看護技術. 60(5): 504-505, 2014

25. 青山剛, 長崎礼子
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(モノクローナル抗体)　各薬剤の特徴とケアポイント　セツキシマブ.
看護技術. 60(5): 484-485, 2014

26. 青山剛, 長崎礼子
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(モノクローナル抗体)　各薬剤の特徴とケアポイント　パニツムマブ.看護技術. 60(5): 486-487, 2014

27. 青山剛, 横井麻珠美
保存版　抗がん薬 薬理&患者ケアGUIDE: (第2章)種類別薬剤の薬理　分子標的薬(モノクローナル抗体)　各薬剤の特徴とケアポイント　ベバシズマブ.看護技術. 60(5): 482-483, 2014

医療安全管理部

1. 長田理
乳癌診療と安全管理: 手術療法におけるリスクマネジメント.乳癌の臨床. 29(1): 33-39, 2014

健診センター

1. 土田知宏
がん予防の現状と今後の展望.
産業医学レビュー. 27(2): 93-118, 2014

【 2015年 】

呼吸器内科

1. Kitazono, S., Fujiwara, Y., Tsuta, K., Utsumi, H., Kanda, S., Horinouchi, H., Nokihara, H., Yamamoto, N., Sasada, S., Watanabe, S., Asamura, H., Tamura, T., Ohe, Y.
Reliability of small biopsy samples compared with resected specimens for the determination of programmed death-ligand 1 expression in non-small-cell lung cancer.Clin. Lung Cancer. 16(5): 385-90, 2015

2. Kubota, K., Sakai, H., Katakami, N., Nishio, M., Inoue, A., Okamoto, H., Isobe, H., Kunitoh, H., Takiguchi, Y., Kobayashi, K., Nakamura, Y., Ohmatsu, H., Sugawara, S., Minato, K., Fukuda, M., Yokoyama, A., Takeuchi, M., Michimae, H., Gemma, A., Kudoh, S.
A randomized phase III trial of oral S-1 plus cisplatin versus docetaxel plus cisplatin in Japanese patients with advanced non-small-cell lung cancer: TCOG0701 CATS trial.Ann. Oncol. 26(7): 1401-8, 2015

3. Miyauchi, E., Motoi, N., Ono, H., Ninomiya, H., Ohyanagi, F., Nishio, M., Okumura, S., Ichinose, M., Ishikawa, Y.
Distinct characteristics of small cell lung cancer correlate with central or peripheral origin: Subtyping based on location and expression of transcription factor TTF-1.Medicine (Baltimore). 94(51): e2324, 2015

4. Nishio, M., Murakami, H., Horiike, A., Takahashi, T., Hirai, F., Suenaga, N., Tajima, T., Tokushige, K., Ishii, M., Boral, A., Robson, M., Seto, T.
Phase I study of ceritinib (LDK378) in Japanese patients with advanced, anaplastic lymphoma kinase-rearranged non-small-cell lung cancer or other tumors.J. Thorac. Oncol. 10(7): 1058-66, 2015

5. Nishio, M., Horiike, A., Nokihara, H., Horinouchi, H., Nakamichi, S., Wakui, H., Ohyanagi, F., Kudo, K., Yanagitani, N., Takahashi, S., Kuboki, Y., Yamamoto, N., Yamada, Y., Abe, M., Tahata, T., Tamura, T.
Phase I study of the anti-MET antibody onartuzumab in patients with solid tumors and MET-positive lung cancer.Invest. New Drugs. 33(3): 632-640, 2015

6. Nishio, M., Horiike, A., Murakami, H., Yamamoto, N., Kaneda, H., Nakagawa, K., Horinouchi, H., Nagashima, M., Sekiguchi, M., Tamura, T.
Phase I study of the HER3-targeted antibody patritumab (U3-1287) combined with erlotinib in Japanese patients with non-small cell lung cancer.
Lung Cancer. 88(3): 275-81, 2015

7. Saga, T., Inubushi, M., Koizumi, M., Yoshikawa, K., Zhang, M.R., Tanimoto, K., Horiike, A., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Nishio, M.
Prognostic value of F-fluoroazomycin arabinoside PET/CT in patients with advanced non-small-cell lung cancer.Cancer Sci. 106(11): 1554-60, 2015

8. Tanaka, H., Horiike, A., Sakatani, T., Saito, R., Yanagitani, N., Kudo, K., Ohyanagi, F., Horai, T., Nishio, M.
Plasma homocysteine levels and hematological toxicity in NSCLC patients after the first cycle of pemetrexed under folate supplementation.Anticancer Drugs. 26(5): 573-8, 2015

9. Uehara, H., Nakao, M., Mun, M., Nakagawa, K., Nishio, M., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Significant prognostic factors for completely resected pN2 non-small cell lung cancer without neoadjuvant therapy.Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 21(4): 345-353, 2015

10. Yoshioka, H., Azuma, K., Yamamoto, N., Takahashi, T., Nishio, M., Katakami, N., Ahn, M.J., Hirashima, T., Maemondo, M., Kim, S.W., Kurosaki, M., Akinaga, S., Park, K., Tsai, C.M., Tamura, T., Mitsudomi, T., Nakagawa, K.
A randomized, double-blind, placebo-controlled, phase III trial of erlotinib

with or without a c-Met inhibitor tivantinib (ARQ 197) in Asian patients with previously treated stage IIIB/IV nonsquamous nonsmall-cell lung cancer harboring wild-type epidermal growth factor receptor (ATTENTION study).Ann. Oncol. 26(10): 2066-72, 2015

11. 丹保裕一, 西尾誠人
第3世代EGFR-TKI.呼吸器内科. 27(6): 511-515, 2015

12. 大柳文義, 西尾誠人
生検材料を手術に活かす：臓器別　癌診療における生検の役割 肺癌.臨床外科. 70(3): 282-287, 2015

13. 小林紘, 堀池篤, 西尾誠人
肺がん治療戦略の変貌:ALK肺がんの診断と治療.腫瘍内科. 15(2): 167-172, 2015

14. 小栗知世, 西尾誠人
「せき」の鑑別、アプローチ、専門家の診かた：腫瘍性疾患に関連する咳.Mebio. 32(9): 23-31, 2015

15. 後藤英典, 上原浩文, 大柳文義, 山崎宏継, 平井慶充, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 丹保裕一, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人, 奥村栄
非小細胞肺癌における転移station数を含めたN因子診断に対するEBUS-TBNAの有用性の検討.気管支学. 37(5): 493-500, 2015

16. 西澤弘成, 西尾誠人
肺癌Up-To-Date： ALK肺癌の診断と治療.THE LUNG-perspectives. 23(1): 29-34, 2015

17. 高野夏希, 柳谷典子, 西尾誠人
Non-T790M EGFR-TKI耐性肺がんに対するAXL阻害薬.がん分子標的治療. 13(3): 363-366, 2015

呼吸器外科

1. Gorai, A., Sakao, Y., Kuroda, H., Uehara, H., Mun, M., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Masuda, M., Okumura, S.
The clinicopathological features associated with skip N2 metastases in patients with clinical stage IA non-small-cell lung cancer.Eur. J. Cardiothorac. Surg. 47(4): 653-8, 2015

2. Kuroda, H., Sakao, Y., Mun, M., Uehara, H., Nakao, M., Matsuura, Y., Mizuno, T., Sakakura, N., Motoi, N., Ishikawa, Y., Yatabe, Y., Nakagawa, K., Okumura, S.
Lymph node metastases and prognosis in left upper division non-small cell lung cancers: The impact of interlobar lymph node metastasis.PLoS One. 10(8): e0134674, 2015

3. Matsuura, Y., Mun, M., Nakagawa, K., Okumura, S.
Efficacy and feasibility of a novel and noninvasive computed tomography-guided marking technique for peripheral pulmonary nodules.J. Thorac. Cardiovasc. Surg. 149(4): 1208-9, 2015

4. Mimae, T., Miyata, Y., Mimura, T., Ito, H., Nakayama, H., Okumura, S., Yoshimura, M., Okada, M.
Radiologic findings to predict low-grade malignant tumour among clinical T1bN0 lung adenocarcinomas: lessons from histological subtypes.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(8): 767-73, 2015

5. Mimae, T., Miyata, Y., Tsutani, Y., Mimura, T., Nakayama, H., Okumura, S., Yoshimura, M., Okada, M.
What are the radiologic findings predictive of indolent lung adenocarcinoma?Jpn. J. Clin. Oncol. 45(4): 367-72, 2015

6. Miyauchi, E., Motoi, N., Ono, H., Ninomiya, H., Ohyanagi, F., Nishio, M., Okumura, S., Ichinose, M., Ishikawa, Y.
Distinct characteristics of small cell lung cancer correlate with central or peripheral origin: Subtyping based on location and expression of transcription factor TTF-1.Medicine (Baltimore). 94(51): e2324, 2015

7. Mori, S., Uehara, H., Motoi, N., Okumura, S.
Pulmonary artery sarcoma presenting

as an isolated lung mass.Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg.: in press, 2015

8. Mun, M., Matsuura, Y., Okumura, S.
Main objectives of preoperative marking technique for hardly palpable lung nodules.J. Thorac. Cardiovasc. Surg. 150(5): 1382, 2015

9. Nakada, T., Okumura, S., Kuroda, H., Uehara, H., Mun, M., Takeuchi, K., Nakagawa, K.
Imaging characteristics in ALK fusion-positive lung adenocarcinomas by using HRCT.Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 21(2): 102-108, 2015

10. Nakao, M., Hoshi, R., Ishikawa, Y., Matsuura, Y., Uehara, H., Mun, M., Nakagawa, K., Okumura, S.
Prognosis of non-small-cell lung cancer patients with positive pleural lavage cytology.Interact. Cardiovasc. Thorac. Surg. 20(6): 777-782, 2015

11. Samejima, J., Nakao, M., Matsuura, Y., Uehara, H., Mun, M., Nakagawa, K., Motoi, N., Masuda, M., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Prognostic impact of bulky swollen lymph nodes in cN1 non-small cell lung cancer patients.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(11): 1050-4, 2015

12. Sato, S., Motoi, N., Hiramatsu, M., Miyauchi, E., Ono, H., Saito, Y., Nagano, H., Ninomiya, H., Inamura, K., Uehara, H., Mun, M., Sakao, Y., Okumura, S., Tsuchida, M., Ishikawa, Y.
Pulmonary adenocarcinoma in situ: analyses of a large series with reference to smoking, driver mutations and receptor tyrosine kinase pathway activation.Am. J. Surg. Pathol. 39(7): 912-921, 2015

13. Shiono, S., Matsutani, N., Okumura, S., Nakajima, J., Horio, H., Kohno, M., Ikeda, N., Kawamura, M.
The prognostic impact of lymph-node dissection on lobectomy for pulmonary metastasisdagger.Eur. J. Cardiothorac. Surg. 48(4): 616-621, 2015

14. Uehara, H., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Nakagawa, K., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Prognostic significance of clinical/pathological stage IA non-small-cell lung cancer showing partially solid or solid tumours on radiological exam.Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 21(4): 338-344, 2015

15. Uehara, H., Nakao, M., Mun, M., Nakagawa, K., Nishio, M., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Significant prognostic factors for completely resected pN2 non-small cell lung cancer without neoadjuvant therapy.Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 21(4): 345-353, 2015

16. 後藤英典, 上原浩文, 大柳文義, 山崎宏継, 平井慶充, 森彰平, 鮫島譲司, 松浦陽介, 中尾将之, 文敏景, 中川健, 丹保裕一, 柳谷典子, 堀池篤, 宝来威, 西尾誠人, 奥村栄
非小細胞肺癌における転移station数を含めたN因子診断に対するEBUS-TBNAの有用性の検討.
気管支学. 37(5): 493-500, 2015

17. 田村幸子, 中村美穂, 中尾将之
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト：肺がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 231-233, 2015

消化器内科

1. Bando, H., Yamada, Y., Tanabe, S., Nishikawa, K., Gotoh, M., Sugimoto, N., Nishina, T., Amagai, K., Chin, K., Niwa, Y., Tsuji, A., Imamura, H., Tsuda, M., Yasui, H., Fujii, H., Yamaguchi, K., Hironaka, S., Shimada, K., Miwa, H., Hamada, C., Hyodo, I.
Efficacy and safety of S-1 and oxaliplatin combination therapy in elderly patients with advanced gastric cancer.Gastric Cancer: in press, 2015

2. Benhaim, L., Zhang, W., Wakatsuki, T., Yang, D., Gerger, A., Bohanes, P., Paez, D., Loupakis, F., LaBonte, M.J., Ning, Y., El-Khoueiry, R., Ladner, R., Wilson, P., Zhang, H., Giamas, G., Stebbing, J., Lenz, H.J.

Genetic variants of kinase suppressors of Ras (KSR1) to predict survival in patients with ERalpha-positive advanced breast cancer.Pharmacogenomics J. 15(3): 235-40, 2015

3. Bohanes, P., Yang, D., Loupakis, F., LaBonte, M.J., Gerger, A., Ning, Y., Lenz, C., Lenz, F., Wakatsuki, T., Zhang, W., Benhaim, L., El-Khoueiry, A., El-Khoueiry, R., Lenz, H.J. Integrin genetic variants and stage-specific tumor recurrence in patients with stage II and III colon cancer.Pharmacogenomics J. 15(3): 226-34, 2015

4. Hiki, N., Nunobe, S., Matsuda, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Yamaguchi, T. Laparoscopic endoscopic cooperative surgery (LECS).Dig. Endosc. 27(2): 197-204, 2015

5. Hirooka, Y., Kuwahara, T., Irisawa, A., Itokawa, F., Uchida, H., Sasahira, N., Kawada, N., Itoh, Y., Shiina, T. JSUM ultrasound elastography practice guidelines: pancreas.J. Med. Ultrason. 42(2): 151-74, 2015

6. Inoue, D., Ozaka, M., Matsuyama, M., Yamada, I., Takano, K., Saiura, A., Ishii, H. Prognostic value of neutrophil-lymphocyte ratio and level of C-reactive protein in a large cohort of pancreatic cancer patients: a retrospective study in a single institute in Japan.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(1): 61-66, 2015

7. Irino, T., Nunobe, S., Hiki, N., Yamamoto, Y., Hirasawa, T., Ohashi, M., Fujisaki, J., Sano, T., Yamaguchi, T. Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for duodenal tumors: a unique procedure that helps ensure the safety of endoscopic submucosal dissection.Endoscopy. 47(4): 349-51, 2015

8. Ishihara, S., Matsusaka, S., Kondo, K., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shinbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Nakajima, T., Watanabe, T. A phase I dose escalation study of oxaliplatin plus oral S-1 and pelvic radiation in patients with locally advanced rectal cancer (SHOGUN trial).Radiat. Oncol. 10(1): 24, 2015

9. Kataoka, K., Tsushima, T., Mizusawa, J., Hironaka, S., Tsubosa, Y., Kii, T., Shibuya, Y., Chin, K., Katayama, H., Kato, K., Fukuda, H., Kitagawa, Y. A randomized controlled Phase III trial comparing 2-weekly docetaxel combined with cisplatin plus fluorouracil (2-weekly DCF) with cisplatin plus fluorouracil (CF) in patients with metastatic or recurrent esophageal cancer: rationale, design and methods of Japan Clinical Oncology Group study JCOG1314 (MIRACLE study).Jpn. J. Clin. Oncol. 45(5): 494-498, 2015

10. Kato, M., Nishida, T., Hamasaki, T., Kawai, N., Yoshio, T., Egawa, S., Yamamoto, K., Ogiyama, H., Komori, M., Nakahara, M., Yabuta, T., Nishihara, A., Hayashi, Y., Yamada, T., Takehara, T. Outcomes of ESD for patients with early gastric cancer and comorbid liver cirrhosis: a propensity score analysis.Surg. Endosc. 29(6): 1560-6, 2015

11. Kawakami, K., Nakamoto, E., Yokokawa, T., Sugita, K., Mae, Y., Hagino, A., Suenaga, M., Mizunuma, N., Oniyama, S., Machida, Y., Yamaguchi, T., Hama, T. Patients' self-reported adherence to capecitabine on XELOX treatment in metastatic colorectal cancer: findings from a retrospective cohort analysis.Patient Prefer. Adherence. 9: 561-7, 2015

12. Matsuda, T., Hiki, N., Nunobe, S., Aikou, S., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T. Feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumors (with video).Gastrointest. Endosc.: in press, 2015

13. Matsusaka, S., Nashimoto, A., Nishikawa, K., Miki, A., Miwa, H., Yamaguchi, K., Yoshikawa, T., Ochiai, A., Morita, S., Sano, T., Kodera, Y., Kakeji, Y., Sakamoto, J., Saji, S., Yoshida, K.
Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44-1101).Gastric Cancer: in press, 2015

14. Matsusaka, S., Nashimoto, A., Nishikawa, K., Miki, A., Miwa, H., Yamaguchi, K., Yoshikawa, T., Ochiai, A., Morita, S., Sano, T., Kodera, Y., Kakeji, Y., Sakamoto, J., Saji, S., Yoshida, K.
Erratum to: Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44-1101).Gastric Cancer: in press, 2015

15. Matsusaka, S., Ishihara, S., Kondo, K., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shimbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Nakajima, T., Watanabe, T.
A multicenter phase II study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 plus oxaliplatin for locally advanced rectal cancer (SHOGUN trial).Radiother. Oncol. 116(2): 209-13, 2015

16. Matsusaka, S., Lenz, H.J.
Pharmacogenomics of fluorouracil -based chemotherapy toxicity.Expert Opin Drug Metab Toxicol. 11(5): 811-21, 2015

17. Matsuyama, M., Ishii, H., Furuse, J., Ohkawa, S., Maguchi, H., Mizuno, N., Yamaguchi, T., Ioka, T., Ajiki, T., Ikeda, M., Hakamada, K., Yamamoto, M., Yamaue, H., Eguchi, K., Ichikawa, W., Miyazaki, M., Ohashi, Y., Sasaki, Y
Phase II trial of combination therapy of gemcitabine plus anti-angiogenic vaccination of elpamotide in patients with advanced or recurrent biliary tract cancer.Invest. New Drugs. 33(2): 490-5, 2015

18. Matsuzawa, T., Ishida, H., Yoshida, S., Isayama, H., Kuwai, T., Maetani, I., Shimada, M., Yamada, T., Saito, S., Tomita, M., Koizumi, K., Hirata, N., Sasaki, T., Enomoto, T., Saida, Y.
A Japanese prospective multicenter study of self-expandable metal stent placement for malignant colorectal obstruction: short-term safety and efficacy within 7 days of stent procedure in 513 cases.Gastrointest. Endosc. 82(4): 697-707 e1, 2015

19. Maus, M.K., Hanna, D.L., Stephens, C.L., Astrow, S.H., Yang, D., Grimminger, P.P., Loupakis, F., Hsiang, J.H., Zeger, G., Wakatsuki, T., Barzi, A., Lenz, H.J.
Distinct gene expression profiles of proximal and distal colorectal cancer: implications for cytotoxic and targeted therapy.Pharmacogenomics J. 15(4): 354-62, 2015

20. Mayer, R.J., Van Cutsem, E., Falcone, A., Yoshino, T., Garcia-Carbonero, R., Mizunuma, N., Yamazaki, K., Shimada, Y., Tabernero, J., Komatsu, Y., Sobrero, A., Boucher, E., Peeters, M., Tran, B., Lenz, H.J., Zaniboni, A., Hochster, H., Cleary, J.M., Prenen, H., Benedetti, F., Mizuguchi, H., Makris, L., Ito, M., Ohtsu, A.
Randomized trial of TAS-102 for refractory metastatic colorectal cancer.N. Engl. J.Med. 372(20): 1909-19, 2015

21. Miyagi, M., Yoshio, T., Hirasawa, T., Ishiyama, A., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Precordial skin burns after endoscopic submucosal dissection for gastric tube cancer.Dig. Endosc. 27(7): 742-6, 2015

22. Miyata, Y., Touyama, T., Kusumi, T., Morita, Y., Mizunuma, N., Taniguchi, F., Manabe, M.
UDP-glucuronosyltransferase 1A1*6 and *28 polymorphisms as indicators of initial dose level of irinotecan to reduce risk of

neutropenia in patients receiving FOLFIRI for colorectal cancer. Int. J. Clin. Oncol.: in press, 2015

23. Mochizuki, S., Uedo, N., Oda, I., Kaneko, K., Yamamoto, Y., Yamashina, T., Suzuki, H., Kodashima, S., Yano, T., Yamamichi, N., Goto, O., Shimamoto, T., Fujishiro, M., Koike, K.
Scheduled second-look endoscopy is not recommended after endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasms (the SAFE trial): a multicentre prospective randomised controlled non-inferiority trial. Gut. 64(3): 397-405, 2015

24. Mohri, D., Ijichi, H., Miyabayashi, K., Takahashi, R., Kudo, Y., Sasaki, T., Asaoka, Y., Tanaka, Y., Ikenoue, T., Tateishi, K., Tada, M., Isayama, H., Koike, K.
A potent therapeutics for gallbladder cancer by combinatorial inhibition of the MAPK and mTOR signaling networks. J. Gastroenterol.: in press, 2015

25. Nakayama, I., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Ozaka, M., Takahari, D., Shinozaki, E., Chin, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Safety, tolerability, and efficacy of oxaliplatin-based adjuvant chemotherapy after curative resection of hepatic or extrahepatic metastases of Stage IV colorectal cancer. Cancer Chemother. Pharmacol. 76(1): 133-9, 2015

26. Ning, Y., Hanna, D.L., Zhang, W., Mendez, A., Yang, D., El-Khoueiry, R., Matsusaka, S., Sunakawa, Y., Stremitzer, S., Parekh, A., Okazaki, S., Berger, M.D., Barzi, A., Lenz, H.J.
Cytokeratin-20 and Survivin-Expressing Circulating Tumor Cells Predict Survival in Metastatic Colorectal Cancer Patients by a Combined Immunomagnetic qRT-PCR Approach. Mol. Cancer Ther. 14(10): 2401-8, 2015

27. Nishida, T., Kato, M., Yoshio, T., Akasaka, T., Yoshioka, T., Michida, T., Yamamoto, M., Hayashi, S., Hayashi, Y., Tsujii, M., Takehara, T.
Endoscopic submucosal dissection in early gastric cancer in elderly patients and comorbid conditions. World J. Gastrointest. Endosc. 7(5): 524-31, 2015

28. Ogura, A., Chino, A., Konishi, T., Akiyoshi, T., Kishihara, T., Tamegai, Y., Ueno, M., Igarashi, M.
Endoscopic evaluation of clinical response after preoperative chemoradiotherapy for lower rectal cancer: the significance of endoscopic complete response. Int. J. Colorectal Dis. 30(3): 367-73, 2015

29. Ohhara, Y., Suenaga, M., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Comparison between three oxaliplatin-based regimens with bevacizumab in patients with metastatic colorectal cancer. Onco Targets Ther. 8: 529-37, 2015

30. Ohkawa, S., Okusaka, T., Isayama, H., Fukutomi, A., Yamaguchi, K., Ikeda, M., Funakoshi, A., Nagase, M., Hamamoto, Y., Nakamori, S., Tsuchiya, Y., Baba, H., Ishii, H., Omuro, Y., Sho, M., Matsumoto, S., Yamada, N., Yanagimoto, H., Unno, M., Ichikawa, Y., Takahashi, S., Watanabe, G., Wakabayashi, G., Egawa, N., Tsuda, M., Hosotani, R., Hamada, C., Hyodo, I.
Randomised phase II trial of S-1 plus oxaliplatin vs S-1 in patients with gemcitabine-refractory pancreatic cancer. Br. J. Cancer. 112(9): 1428-34, 2015

31. Oka, S., Tanaka, S., Saito, Y., Iishi, H., Kudo, S.E., Ikematsu, H., Igarashi, M., Saitoh, Y., Inoue, Y., Kobayashi, K., Hisabe, T., Tsuruta, O., Sano, Y., Yamano, H., Shimizu, S., Yahagi, N., Watanabe, T., Nakamura, H., Fujii, T., Ishikawa, H., Sugihara, K.
Local recurrence after endoscopic resection for large colorectal neoplasia: a multicenter prospective study in Japan. Am. J. Gastroenterol. 110(5): 697-707, 2015

32. Okusaka, T., Ueno, H., Ikeda, M., Mitsunaga, S., Ozaka, M., Ishii, H., Yokosuka, O., Ooka, Y., Yoshimoto, R., Yanagihara, Y., Okita, K.
Phase 1 and pharmacological trial of OPB-31121, a signal transducer and activator of transcription-3 inhibitor, in patients with advanced hepatocellular carcinoma.Hepatol. Res. 45(13): 1283-91, 2015

33. Ono, S., Fujishiro, M., Yoshida, N., Doyama, H., Kamoshida, T., Hirai, S., Kishihara, T., Yamamoto, Y., Sakae, H., Imagawa, A., Hirano, M., Koike, K.
Thienopyridine derivatives as risk factors for bleeding following high risk endoscopic treatments: Safe Treatment on Antiplatelets (STRAP) study.Endoscopy. 47(7): 632-7, 2015

34. Osumi, H., Matsusaka, S., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Shinozaki, E., Mizunuma, N.
Angiotensin II type-1 receptor blockers enhance the effects of bevacizumab-based chemotherapy in metastatic colorectal cancer patients.Mol. Clin. Oncol. 3(6): 1295-1300, 2015

35. Osumi, H., Matsusaka, S., Suenaga, M., Shinozaki, E., Mizunuma, N.
Associations between deepness of response and clinical outcomes among Japanese patients with metastatic colorectal cancer treated with second-line FOLFIRI plus cetuximab.Onco Targets Ther. 8: 2005-13, 2015

36. Osumi, H., Shinozaki, E., Osako, M., Kawazoe, Y., Oba, M., Misaka, T., Goto, T., Kamo, H., Suenaga, M., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Matsusaka, S., Chin, K., Hatake, K., Mizunuma, N.
Cetuximab treatment for metastatic colorectal cancer with KRAS p.G13D mutations improves progression-free survival.Mol. Clin. Oncol. 3(5): 1053-1057, 2015

37. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Matsusaka, S., Chin, K., Yamamoto, N., Mizunuma, N.
Does anti-p53 antibody status predict for clinical outcomes in metastatic colorectal cancer patients treated with fluoropyrimidine, oxaliplatin, plus bevacizumab as first-line chemotherapy?BMC Cancer. 15(1): 760, 2015

38. Osumi, H., Ozaka, M., Ishii, H., Sasahira, N.
Severe ischemic colitis after treatment of bile-duct cancer using gemcitabine and cisplatin.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(4): 402-3, 2015

39. Saeki, H., Watanabe, M., Mine, S., Shigaki, H., Oya, S., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Baba, H., Maehara, Y., Sano, T.
Esophagectomy for superficial esophageal cancer after non-curative endoscopic resection.
J. Gastroenterol. 50(4): 406-13, 2015

40. Sasahira, N., Kawakami, H., Isayama, H., Uchino, R., Nakai, Y., Ito, Y., Matsubara, S., Ishiwatari, H., Uebayashi, M., Yagioka, H., Togawa, O., Toda, N., Sakamoto, N., Kato, J., Koike, K.
Early use of double-guidewire technique to facilitate selective bile duct cannulation: the multicenter randomized controlled EDUCATION trial.Endoscopy. 47(5): 421-9, 2015

41. Sasaki, T., Isayama, H., Nakai, Y., Takahara, N., Hamada, T., Mizuno, S., Mohri, D., Yagioka, H., Kogure, H., Arizumi, T., Togawa, O., Matsubara, S., Ito, Y., Yamamoto, N., Sasahira, N., Hirano, K., Toda, N., Tada, M., Koike, K.
Clinical outcomes of secondary gastroduodenal self-expandable metallic stent placement by stent-in-stent technique for malignant gastric outlet obstruction.Dig Endosc. 27(1): 37-43, 2015

42. Sato, Y., Matsusaka, S., Suenaga, M., Shinozaki, E., Mizunuma, N.
Cetuximab could be more effective

without prior bevacizumab treatment in metastatic colorectal cancer patients.Onco Targets Ther. 8: 3329-36, 2015

43. Sebio, A., Gerger, A., Matsusaka, S., Yang, D., Zhang, W., Stremitzer, S., Stintzing, S., Sunakawa, Y., Yamauchi, S., Ning, Y., Fujimoto, Y., Ueno, M., Lenz, H.J.
Genetic variants within obesity-related genes are associated with tumor recurrence in patients with stages II/III colon cancer.Pharmacogenet. Genomics. 25(1): 30-7, 2015

44. Shitara, K., Chin, K., Yoshikawa, T., Katai, H., Terashima, M., Ito, S., Hirao, M., Yoshida, K., Oki, E., Sasako, M., Emi, Y., Tsujinaka, T.
Phase II study of adjuvant chemotherapy of S-1 plus oxaliplatin for patients with stage III gastric cancer after D2 gastrectomy.Gastric Cancer: in press, 2015

45. Stintzing, S., Zhang, W., Heinemann, V., Neureiter, D., Kemmerling, R., Kirchner, T., Jung, A., Folwaczny, M., Yang, D., Ning, Y., Sebio, A., Stremitzer, S., Sunakawa, Y., Matsusaka, S., Yamauchi, S., Loupakis, F., Cremolini, C., Falcone, A., Lenz, H.J.
Polymorphisms in Genes Involved in EGFR Turnover Are Predictive for Cetuximab Efficacy in Colorectal Cancer.Mol. Cancer Ther. 14(10): 2374-81, 2015

46. Stremitzer, S., Zhang, W., Yang, D., Ning, Y., Stintzing, S., Sebio, A., Sunakawa, Y., Yamauchi, S., Matsusaka, S., El-Khoueiry, R., Stift, J., Wrba, F., Gruenberger, T., Lenz, H.J.
Genetic variations in angiopoietin and pericyte pathways and clinical outcome in patients with resected colorectal liver metastases.Cancer. 121(11): 1898-905, 2015

47. Suenaga, M., Mizunuma, N., Shinozaki, E., Matsusaka, S., Ozaka, M., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, T.
Anticoagulant therapy for venous thromboembolism detected by Doppler ultrasound in patients with metastatic colorectal cancer receiving bevacizumab.Onco Targets Ther. 8: 243-9, 2015

48. Suenaga, M., Nishina, T., Mizunuma, N., Yasui, H., Ura, T., Denda, T., Ikeda, J., Esaki, T., Nishisaki, H., Takano, Y., Sugiyama, Y., Muro, K.
Multicenter phase II study of FOLFIRI plus bevacizumab after discontinuation of oxaliplatin-based regimen for advanced or recurrent colorectal cancer (CR0802).BMC Cancer. 15: 176, 2015

49. Suenaga, M., Fujimoto, Y., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Akiyoshi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Oya, M., Ueno, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Perioperative FOLFOX4 plus bevacizumab for initially unresectable advanced colorectal cancer (NAVIGATE-CRC-01).Onco Targets Ther. 8: 1111-8, 2015

50. Suenaga, M., Mizunuma, N., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ozaka, M., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, T.
A phase I/II study of biweekly capecitabine and irinotecan plus bevacizumab as second-line chemotherapy in patients with metastatic colorectal cancer.Drug Des. Devel. Ther. 9: 1653-62, 2015

51. Suenaga, M., Mizunuma, N., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ozaka, M., Ogura, M., Yamaguchi, T.
Phase II study of reintroduction of oxaliplatin for advanced colorectal cancer in patients previously treated with oxaliplatin and irinotecan: RE-OPEN study.Drug Des. Devel. Ther. 9: 3099-108, 2015

52. Sugita, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Mae, Y., Toya, W., Hagino, A., Suzuki, K., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T., Hama, T.
Investigation of regorafenib-induced hypothyroidism in patients with metastatic colorectal cancer.Anticancer Res. 35(7): 4059-62, 2015

53. Sunakawa, Y., Stremitzer, S., Cao, S., Zhang, W., Yang, D., Wakatsuki, T., Ning, Y., Yamauchi, S., Stintzing, S., Sebio, A., El-Khoueiry, R., Matsusaka, S., Parekh, A., Barzi, A., Azuma, M., Watanabe, M., Koizumi, W., Lenz, H.J.
Association of variants in genes encoding for macrophage-related functions with clinical outcome in patients with locoregional gastric cancer.Ann Oncol. 26(2): 332-9, 2015

54. Suzuki, S., Matsusaka, S., Hirai, M., Shibata, H., Takagi, K., Mizunuma, N., Hatake, K.
A novel approach to detect KRAS/BRAF mutation for colon cancer: Highly sensitive simultaneous detection of mutations and simple pre-treatment without DNA extraction.Int. J. Oncol. 47(1): 97-105, 2015

55. Takizawa, K., Ono, H., Yamamoto, Y., Katai, H., Hori, S., Yano, T., Umegaki, E., Sasaki, S., Iizuka, T., Kawagoe, K., Shimoda, T., Muto, M., Sasako, M.
Incidence of lymph node metastasis in intramucosal gastric cancer measuring 30 mm or less, with ulceration; mixed, predominantly differentiated-type histology; and no lymphovascular invasion: a multicenter retrospective study.Gastric Cancer: in press, 2015

56. Tanaka, S., Saitoh, Y., Matsuda, T., Igarashi, M., Matsumoto, T., Iwao, Y., Suzuki, Y., Nishida, H., Watanabe, T., Sugai, T., Sugihara, K., Tsuruta, O., Hirata, I., Hiwatashi, N., Saito, H., Watanabe, M., Sugano, K., Shimosegawa, T.
Evidence-based clinical practice guidelines for management of colorectal polyps.J. Gastroenterol. 50(3): 252-60, 2015

57. Tanaka, S., Kashida, H., Saito, Y., Yahagi, N., Yamano, H., Saito, S., Hisabe, T., Yao, T., Watanabe, M., Yoshida, M., Kudo, S.E., Tsuruta, O., Sugihara, K., Watanabe, T., Saitoh, Y., Igarashi, M., Toyonaga, T., Ajioka, Y., Ichinose, M., Matsui, T., Sugita, A., Sugano, K., Fujimoto, K., Tajiri, H.
JGES guidelines for colorectal endoscopic submucosal dissection/endoscopic mucosal resection.Dig. Endosc. 27(4): 417-34, 2015

58. Tsujii, Y., Nishida, T., Nishiyama, O., Yamamoto, K., Kawai, N., Yamaguchi, S., Yamada, T., Yoshio, T., Kitamura, S., Nakamura, T., Nishihara, A., Ogiyama, H., Nakahara, M., Komori, M., Kato, M., Hayashi, Y., Shinzaki, S., Iijima, H., Michida, T., Tsujii, M., Takehara, T.
Clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal neoplasms: a multicenter retrospective cohort study.Endoscopy. 47(9): 775-83, 2015

59. Ueno, M., Ohkawa, S., Morimoto, M., Ishii, H., Matsuyama, M., Kuruma, S., Egawa, N., Nakao, H., Mori, M., Matsuo, K., Hosono, S., Nojima, M., Wakai, K., Nakamura, K., Tamakoshi, A., Takahashi, M., Shimada, K., Nishiyama, T., Kikuchi, S., Lin, Y.
Genome-wide association study-identified SNPs (rs3790844, rs3790843) in the NR5A2 gene and risk of pancreatic cancer in Japanese.Sci. Rep. 5: 17018, 2015

60. Uetake, H., Yasuno, M., Ishiguro, M., Kameoka, S., Shimada, Y., Takahashi, K., Watanabe, T., Muro, K., Baba, H., Yamamoto, J., Mizunuma, N., Tamagawa, H., Mochizuki, I., Kinugasa, Y., Kikuchi, T., Sugihara, K.
A multicenter phase II trial of mFOLFOX6 plus bevacizumab to treat liver-only metastases of colorectal cancer that are unsuitable for upfront resection (TRICC0808).Ann. Surg. Oncol. 22(3): 908-15, 2015

61. Urabe, Y., Tanaka, S., Saito, Y., Igarashi, M., Watanabe, T., Sugihara, K.
Impact of revisions of the JSCCR guidelines on the treatment of T1 colorectal carcinomas in Japan.Z. Gastroenterol. 53(4): 291-301, 2015

62. Volz, N.B., Stintzing, S., Zhang, W., Yang, D., Ning, Y., Wakatsuki, T., El-Khoueiry, R.E., Li, J.E., Kardosh, A., Loupakis, F.,

Cremolini, C., Falcone, A., Scherer, S.J., Lenz, H.J.
Genes involved in pericyte-driven tumor maturation predict treatment benefit of first-line FOLFIRI plus bevacizumab in patients with metastatic colorectal cancer.Pharmacogenomics J. 15(1): 69-76, 2015

63. Wada, Y., Kudo, S.E., Tanaka, S., Saito, Y., Iishii, H., Ikematsu, H., Igarashi, M., Saitoh, Y., Inoue, Y., Kobayashi, K., Hisabe, T., Tsuruta, O., Kashida, H., Ishikawa, H., Sugihara, K.
Predictive factors for complications in endoscopic resection of large colorectal lesions: a multicenter prospective study.Surg. Endosc. 29(5): 1216-22, 2015

64. Watanabe, T., Itabashi, M., Shimada, Y., Tanaka, S., Ito, Y., Ajioka, Y., Hamaguchi, T., Hyodo, I., Igarashi, M., Ishida, H., Ishihara, S., Ishiguro, M., Kanemitsu, Y., Kokudo, N., Muro, K., Ochiai, A., Oguchi, M., Ohkura, Y., Saito, Y., Sakai, Y., Ueno, H., Yoshino, T., Boku, N., Fujimori, T., Koinuma, N., Morita, T., Nishimura, G., Sakata, Y., Takahashi, K., Tsuruta, O., Yamaguchi, T., Yoshida, M., Yamaguchi, N., Kotake, K., Sugihara, K.
Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) Guidelines 2014 for treatment of colorectal cancer.Int. J. Clin. Oncol. 20(2): 207-39, 2015

65. Yamada, Y., Higuchi, K., Nishikawa, K., Gotoh, M., Fuse, N., Sugimoto, N., Nishina, T., Amagai, K., Chin, K., Niwa, Y., Tsuji, A., Imamura, H., Tsuda, M., Yasui, H., Fujii, H., Yamaguchi, K., Hironaka, S., Shimada, K., Miwa, H., Hamada, C., Hyodo, I.
Phase III study comparing oxaliplatin plus S-1 with cisplatin plus S-1 in chemotherapy-naive patients with advanced gastric cancer.Ann. Oncol. 26(1): 141-8, 2015

66. Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Omae, M., Hirasawa, T., Igarashi, M.
Helicobacter pylori negative gastric cancer:
characteristics and endoscopic findings.Dig. Endosc. 27(5): 551-61, 2015

67. Yamaue, H., Tsunoda, T., Tani, M., Miyazawa, M., Yamao, K., Mizuno, N., Okusaka, T., Ueno, H., Boku, N., Fukutomi, A., Ishii, H., Ohkawa, S., Furukawa, M., Maguchi, H., Ikeda, M., Togashi, Y., Nishio, K., Ohashi, Y.
Randomized phase II/III clinical trial of elpamotide for patients with advanced pancreatic cancer: PEGASUS-PC Study.Cancer Sci. 106(7): 883-90, 2015

68. Yokokawa, T., Kawakami, K., Mae, Y., Sugita, K., Watanabe, H., Suzuki, K., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T., Hama, T.
Risk factors exacerbating hand-foot skin reaction induced by capecitabine plus oxaliplatin with or without bevacizumab therapy.Ann. Pharmacother. 49(10): 1120-4, 2015

69. Yoshioka, T., Nishida, T., Tsujii, M., Kato, M., Hayashi, Y., Komori, M., Yoshihara, H., Nakamura, T., Egawa, S., Yoshio, T., Yamada, T., Yabuta, T., Yamamoto, K., Kinoshita, K., Kawai, N., Ogiyama, H., Nishihara, A., Michida, T., Iijima, H., Shintani, A., Takehara, T.
Renal dysfunction is an independent risk factor for bleeding after gastric ESD.Endosc Int Open. 3(1): E39-45, 2015

70. 三木一正
胃炎をどうする?：血清ABC検診で ：内視鏡で ：X線で ：検診から対策まで 東京, 日本医事新報社: 239p., 2015

71. 中山厳馬, 篠崎英司
最新臨床大腸癌学-基礎研究から臨床応用へ-:
分子標的治療薬の特殊な副作用と処置.日本臨床. 73(増刊4 最新臨床大腸癌学): 705-710, 2015

72. 五十嵐正広
大腸ESDの適応と手術場の注意点.ガイドラインサポートハンドブック：大腸癌 (杉原健一編), 大阪, 医薬ジャーナル社: pp.61, 2015

73. 五十嵐正広
知っておきたい 消化管癌薬物療法の基本：日常診療で癌と遭遇した時、消化器内科医はどう対応するか.消化器の臨床. 18(5): 435-440, 2015

74. 五十嵐正広, 千野晶子, 岸原輝仁, 為我井芳郎
<解説>よくわかる大腸ESD/EMRガイドライン:　ESD/EMRの周術期管理.Intestine. 19(5): 467-474, 2015

75. 井上大, 岸原輝仁, 村松雄輔, 岡本恒平, 金明哲, 石川寛高, 千野晶子, 為我井芳郎, 山本智理子, 五十嵐正広
直腸粘膜脱症候群に対して内視鏡的摘除が有効であった1例.Prog. Dig. Endosc. 86(1): 184-185,11, 2015

76. 佐々木隆, 吉田俊太郎, 伊佐山浩通, 小池和彦
手技の解説　悪性消化管閉塞に対する金属ステント治療　ステント種類別の留置.Gastroenterological Endoscopy. 57(2): 172-184, 2015

77. 佐々木隆, 金田遼, 齋藤圭, 山田育弘, 松山眞人, 尾阪将人, 高野浩一, 笹平直樹
新 膵癌治療-アブラキサン・FOLFIRINOXをどう使うか : 切除不能進行膵癌の化学療法　膵癌化学療法セカンドライン以降の選択肢.肝・胆・膵. 71(1): 41-46, 2015

78. 佐々木隆
消化管ステント　内視鏡的消化管ステント留置.IVR: Interventional Radiology. 30(1): 58-63, 2015

79. 佐々木隆
胆道がん治療のpractice：GEM＋CDDPが不応となった後の化学療法はどうするか？.ガイドラインには載っていない肝胆膵がんpractical treatment / (古瀬純司, 石井浩, 奥坂拓志, 山口武人, 山下竜也編), 東京, メジカルビュー社: pp.142-144, 2015

80. 千野晶子, 新井正美
B 専門家が答える遺伝診療上の疑問 5. その他の遺伝性腫瘍(FAP, 甲状腺癌) Q30 FAPであっても、内視鏡でポリープを定期的に切除することにより大腸全摘を避けられることがあると聞いています。どのような症例が該当するのでしょうか.癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践 (新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.229-231, 2015

80. 千野晶子, 岸原輝仁, 五十嵐正広
べからず集2015: 「大腸」べからず　大腸内視鏡挿入.消化器内視鏡. 27(2): 260-261, 2015

81. 千野晶子, 岸原輝仁, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 福長洋介, 上野雅資, 山本智理子, 五十嵐正広
大腸の神経内分泌腫瘍 (Neuroendocrine tumor: NET)：カルチノイドの内視鏡的摘除手技 (2) EMR-C法.大腸疾患Now 2015 (五十嵐正広ほか編集), 東京, 日本メディカルセンター: pp.89-94, 2015

82. 千野晶子, 藤崎順子
放射線性腸炎.消化器疾患最新の治療 2015-2016 (菅野健太郎ほか編), 東京, 南江堂: pp.259-261, 2015

83. 千野晶子, 五十嵐正広
最新臨床大腸癌学-基礎研究から臨床応用へ-: 大腸癌の検査・診断　原発巣の診断　拡大内視鏡検査によるpit pattern分類を用いた大腸早期癌の深達度診断.日本臨床. 73(増刊4 最新臨床大腸癌学): 273-277, 2015

84. 千野晶子, 石川寛高, 森重健二郎, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
血便をみたら：血便をきたす疾患の特徴・内視鏡蔵と対処法：放射線性腸炎の内視鏡診断と対処法.
消化器内視鏡. 27(10): 1655-1661, 2015

85. 多田稔, 高木馨, 川久保和道, 白田龍之介, 石垣和祥, 武田剛志, 藤原弘明, 梅舟仰胤, 齋藤圭, 斎藤友隆, 渡邉健雄, 秋山大, 内野里枝, 岸川孝弘, 高原楠昊, 高橋良太, 山本恵介, 濱田毅, 水野卓, 宮林弘至, 毛利大, 松原三郎, 木暮宏史, 中井陽介, 山本夏代, 佐々木隆, 笹平直樹, 平野賢二, 伊地知秀明, 立石敬介, 伊佐山浩通, 小池和彦
膵臓癌のリスクファクター： IPMN、膵嚢胞と膵
臓癌.日本消化器病学会雑誌. 112(8): 1474-1478, 2015

86. 大前雅実
LSBEに発生した0-IIc：NBIで発見した0-IIc.Barrett 食道表在癌 (小山恒男編集), 東京, 日本メディカルセンター: pp.146-149, 2015

87. 大隅寛木, 為我井芳郎, 片岡星太, 吉水祥一, 森重健二郎, 金明哲, 石川寛高, 岸原輝仁, 千野晶子, 山本智理子, 五十嵐正広
VI型Pit patternとNBI拡大観察による大腸T1a-b癌の鑑別診断の現状と診断不一致例の検討　ESD症例を中心に.Prog. Dig. Endosc. 87(1): 58-62,2, 2015

88. 大隅寛木, 菅沼孝紀, 藤崎順子, 三木一正
ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎除菌治療保険承認前後のがん研有明病院自費外来の現状.日本ヘリコバクター学会誌. 17(1): 25-29, 2015

89. 大隅寛木, 藤崎順子
「胃炎の京都分類」と血清PG値との相関.胃炎をどうする？：血清ABC検診で内視鏡で：X線で：検診から対策まで (三木一正編), 東京, 日本医事新報社: pp.138-142, 2015

90. 富田英臣, 山本頼正, 藤崎順子, 宮本勇治, 清水智樹, 堀内裕介, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 五十嵐正広
食道・胃・十二指腸ポリープの鑑別診断：疣状胃炎と胃癌の鑑別診断.消化器内視鏡. 27(1): 93-99, 2015

91. 尾阪将人
症例でわかる！ 膵がん化学療法 対応に困る病態：一次化学療法に不応の膵がん.あらゆる症例に対応できる！消化器がん化学療法 (室圭, 加藤健, 池田公史編), 東京, 羊土社: pp.362-3, 2015

92. 尾阪将人
症例でわかる！ 膵がん化学療法 対応に困る病態：悪性腹水が貯留している膵がん.あらゆる症例に対応できる！消化器がん化学療法 (室圭, 加藤健, 池田公史編), 東京, 羊土社: pp.364-5, 2015

93. 尾阪将人
膵がん治療のpractice：FOLFIRINOXのmodifyの考え方―どの薬剤を，どう減量するか？.ガイドラインには載っていない肝胆膵がんpractical treatment (古瀬純司, 石井浩, 奥坂拓志, 山口武人, 山下竜也編), 東京, メジカルビュー社: pp.174-177, 2015

94. 山本頼正
Classical LECS：内視鏡のポイント.イラストと写真で見る内視鏡医と外科医のコラボレーション手術 (腹腔鏡・内視鏡合同手術研究会編), 東京, メジカルビュー社: pp.22-30, 2015

95. 山本頼正
べからず集2015: 「胃・十二指腸」べからず色素内視鏡.消化器内視鏡. 27(2): 215-217, 2015

96. 山本頼正, 比企直樹, 布部創也, 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正弘
内視鏡治療-内科と外科のコラボレーション: Classical LECSとGISTの治療コンセプト.消化器内視鏡. 27(9): 1526-1533, 2015

97. 山本頼正, 藤崎順子, 五十嵐正広
十二指腸腫瘍をどうする:　経過観察してもよい十二指腸表在性腫瘍.消化器内視鏡. 27(7): 1176-1179, 2015

98. 岸原輝仁, 千野晶子, 五十嵐正広, 森重健二郎, 石川寛高, 為我井芳郎
マルチメディア時代の内視鏡診療：画像ファイリングシステムの特徴　オリンパス　Solemio ENDO.消化器内視鏡. 27(11): 1761-1767, 2015

99. 岸原輝仁, 五十嵐正広, 千野晶子, 大隅寛木, 森重健二郎, 石川寛高, 金明哲, 岡本恒平, 為我井芳郎
大腸癌スクリーニングをどうするか：通常内視鏡観察における観察法の基本.消化器内視鏡. 27(4): 629-634, 2015

100. 川上和宜, 尾阪将人
薬と検査2015：　悪性腫瘍 肝がん.薬局. 66(4): 1590-1598, 2015

101. 平澤俊明
十二指腸・大腸腫瘍に対するLECS：十二指腸球部カルチノイドに対するLECS.イラストと写真で見る内視鏡医と外科医のコラボレーション手術 (腹腔鏡・内視鏡合同手術研究会編),

東京, メジカルビュー社: pp.120-125, 2015

101. 平澤俊明
私の処方　咽喉頭異常感覚症.Modern Physician. 35(6): 796, 2015

102. 平澤俊明, 比企直樹
胃癌のトピックス：胃腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術.臨床消化器内科. 30(7): 977-983, 2015

103. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広
胃癌を探せ!(第4回)　慢性胃炎のスクリーニング内視鏡検査で発見された胃腫瘍.臨床消化器内科. 30(10): 1349-1352, 2015

104. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広, 河内洋
胃癌を探せ!(第7回)　慢性胃炎の経過観察中に見つかった微小胃癌.臨床消化器内科. 30(13): 1695-1698, 2015

105. 斉藤裕輔, 岡志郎, 田中信治, 斎藤豊, 池松弘朗, 五十嵐正広, 和田祥城, 工藤進英, 小林清典, 井上雄志, 浦岡俊夫, 飯石浩康, 山野泰穂, 鶴田修, 永田信二, 蔵原晃一, 山口裕一郎, 佐野寧, 樫田博史, 堀松高博, 斎藤彰一, 上野秀樹, 石黒めぐみ, 石川秀樹, 味岡洋一, 大倉康男, 藤盛孝博, 渡邉聡明, 杉原健一
早期大腸癌内視鏡治療後の中・長期経過：内視鏡摘除後大腸T1(SM)癌の転移・再発に関する多施設共同研究　大腸癌研究会プロジェクト研究の結果から.胃と腸. 50(4): 448-456, 2015

106. 末永光邦
最新臨床大腸癌学-基礎研究から臨床応用へ-: 大腸癌の治療　化学療法　切除不能進行・再発大腸癌の治療戦略におけるTAS102の位置づけ. 日本臨床. 73(増刊4 最新臨床大腸癌学): 510-514, 2015

107. 杉原健一編集主幹, 五十嵐正広, 渡邉聡明, 大倉康男編集, 武藤徹一郎編集顧問
大腸疾患Now 2015. 東京, 日本メディカルセンター: 194p., 2015

108. 為我井芳郎, 福長洋介, 岸原輝仁, 千野晶子, 上野雅資, 五十嵐正広
III 十二指腸・大腸腫瘍に対するLECS：大腸LECS　一内視鏡医の立場から.イラストと写真で見る内視鏡医と外科医のコラボレーション手術 (腹腔鏡・内視鏡合同手術研究会編), 東京, メジカルビュー社: pp.133-149, 2015

109. 石井浩
新しい標準治療による膵がん治療成績の向上 ：切除不能膵がんに対する二次治療　現状と今後の展望.腫瘍内科. 15(6): 572-574, 2015

110. 石川寛高, 千野晶子, 片岡星太, 吉水祥一, 大隅寛木, 森重健二郎, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広早期大腸低分化腺癌4例の検討.Prog. Dig. Endosc. 87(1): 180-181,15, 2015

111. 石川寛高, 山本頼正, 五十嵐正広
消化器内視鏡の教育・トレーニング　当院におけるEMR/ESDトレーニングの実際.消化器内視鏡. 27(6): 1050-1052, 2015

112. 笹島雅彦, 伊藤史子, 乾純和, 乾正幸, 大和田進, 三木一正
胃がん検診・健康診断におけるHelicobacter pylori感染診断：胃がんリスク検診(ABC検診)におけるHelicobacter pylori感染診断.Helicobacter Research. 19(6): 578-585, 2015

113. 笹平直樹
胆道ドレナージ.がん研スタイル がんの標準手術:膵癌・胆道癌 (山口俊晴監修, 齋浦明夫編集), 東京, メジカルビュー社: pp.15-19, 2015

114. 篠崎英司
B 専門家が答える遺伝診療上の疑問 4. Lynch症候群 Q26 マイクロサテライト不安定性検査と一般の大腸癌の化学療法の適応（効果予測）について教えて下さい。.癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践 (新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.221, 2015

115. 篠崎英司
切除不能進行・再発大腸癌に対する標準的化学療法における主な有害事象対策.
ガイドラインサポートハンドブック：大腸癌 (杉原健一編), 大阪, 医薬ジャーナル社: pp.227-230, 2015

116. 篠崎英司
消化管がん(食道がん、胃がん、大腸がん等)の新しい標準的治療に対する考察:　BRAF変異陽性

進行大腸がんに対する治療開発の新展開.腫瘍内科. 16(4): 339-341, 2015

117. 藤崎順子
B 専門家が答える遺伝診療上の疑問 4. Lynch症候群 Q28 Lynch症候群あるいはFAP患者は胃癌のリスクも高いようですが、ピロリ菌感染が認められた場合、除菌しておいた方がよいでしょうか.
癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践 (新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.224-226, 2015

118. 藤崎順子
Barrett食道癌の存在診断.
Barrett 食道表在癌 (小山恒男編集), 東京, 日本メディカルセンター: pp.63-72, 2015

119. 藤崎順子, 堀内祐介, 山本智理子, 大隅寛木, 宮本勇治, 森重健次郎, 富田英臣, 谷口智香, 石川寛高, 大前雅実, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
Helicobacter pylori陰性胃癌研究の最前線: Helicobacter pylori未感染胃癌における未分化型早期胃癌の特徴.
Helicobacter Research. 19(1): 28-34, 2015

120. 藤崎順子
LSBEに発生した0-IIb+III Barrett食道腺癌の症例.
Barrett 食道表在癌 (小山恒男編集), 東京, 日本メディカルセンター: pp.150-152, 2015

121. 藤崎順子, 平澤俊明, 由雄敏夫, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
胃癌の診療:　胃癌の治療　早期胃癌に対する内視鏡治療.臨床消化器内科. 30(7): 854-863, 2015

122. 藤崎順子, 堀内祐介, 山本智理子, 大隅寛木, 村松雄次, 宮本勇治, 富田英臣, 谷口智加, 井上大, 清水智樹, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
胃癌範囲診断における拡大観察のピットフォール:　NBI併用拡大内視鏡でも範囲診断困難な胃癌の特徴　中分化型や未分化型癌を中心に.胃と腸. 50(3): 279-288, 2015

123. 藤崎順子, 大前雅実, 清水智樹, 森重健次郎, 宮本勇治, 谷口智加, 堀内祐介, 由雄敏之, 石山晃世志, 平澤俊明, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
食道胃接合部癌の治療-今後の展望-:　接合部癌の内視鏡治療.日本外科学会雑誌. 116(1): 29-34, 2015

124. 齋藤圭, 伊佐山浩通
膵がん治療のpractice- FOLFIRINOX：胆管ドレナージ例での適応は？.ガイドラインには載っていない肝胆膵がんpractical treatment (古瀬純司, 石井浩, 奥坂拓志, 山口武人, 山下竜也編), 東京, メジカルビュー社: pp.167-169, 2015

消化器外科

1. Akiyoshi, T., Matsueda, K., Hiratsuka, M., Unno, T., Nagata, J., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Indications for lateral pelvic lymph node dissection based on magnetic resonance imaging before and after preoperative chemoradiotherapy in patients with advanced low-rectal cancer.Ann. Surg. Oncol. 22(Suppl 3): 614-20, 2015

2. Akiyoshi, T., Nagata, J., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Laparoscopic salvage lateral pelvic lymph node dissection for locally recurrent rectal cancer.Colorectal Dis. 17(10): O213-6, 2015

3. Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Ueno, M.
Laparoscopic total pelvic exenteration for locally recurrent rectal cancer.Ann. Surg. Oncol. 22(12): 3896, 2015

4. Arita, J., Ono, Y., Takahashi, M., Inoue, Y., Takahashi, Y., Matsueda, K., Saiura, A.
Routine preoperative liver-specific magnetic resonance imaging does not exclude the necessity of contrast-enhanced intraoperative ultrasound in hepatic resection for colorectal liver metastasis.Ann. Surg. 262(6): 1086-91, 2015

1. Baba, H., Baba, Y., Uemoto, S., Yoshida, K., Saiura, A., Watanabe, M., Maehara, Y., Oki,

E., Ikeda, Y., Matsuda, H., Yamamoto, M., Shimada, M., Taketomi, A., Unno, M., Sugihara, K., Ogata, Y., Eguchi, S., Kitano, S., Shirouzu, K., Saiki, Y., Takamori, H., Mori, M., Hirata, T., Wakabayashi, G., Kokudo, N. Changes in expression levels of ERCC1, DPYD, and VEGFA mRNA after first-line chemotherapy of metastatic colorectal cancer: results of a multicenter study.Oncotarget. 6(32): 34004-13, 2015

5. Baba, Y., Yoshida, N., Shigaki, H., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Sakamoto, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Prognostic impact of postoperatsve complications in 502 patients with surgically resected esophageal squamous cell carcinoma: A retrospective Single institution study.Ann. Surg.: in press, 2015

6. Dip, F.D., Ishizawa, T., Kokudo, N., Rosenthal, R.J.
Fluorescence imaging for surgeons : concepts and applications. Cham, Springer: 360p., 2015

7. Gotohda, N., Yamanaka, T., Saiura, A., Uesaka, K., Hashimoto, M., Konishi, M., Shimada, K.
Impact of energy devices during liver parenchymal transection: a multicenter randomized controlled trial.World J. Surg. 39(6): 1543-9, 2015

8. Gotohda, N., Yamanaka, T., Saiura, A., Uesaka, K., Hashimoto, M., Konishi, M., Shimada, K.
What are the true advantages of devices for hepatic parenchymal transection in open surgery? reply.World J. Surg. 39(12): 3030-1, 2015

9. Harada, K., Ida, S., Baba, Y., Ishimoto, T., Kosumi, K., Tokunaga, R., Izumi, D., Ohuchi, M., Nakamura, K., Kiyozumi, Y., Imamura, Y., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Sakamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Prognostic and clinical impact of sarcopenia in esophageal squamous cell carcinoma. Dis. Esophagus: in press, 2015

10. Harada, K., Baba, Y., Ishimoto, T., Kosumi, K., Tokunaga, R., Izumi, D., Ohuchi, M., Nakamura, K., Kiyozumi, Y., Kurashige, J., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Sakamoto, Y., Yoshida, N., Oki, E., Watanabe, M., Baba, H.
Suppressor microRNA-145 Is epigenetically regulated by promoter hypermethylation in esophageal squamous cell carcinoma.Anticancer Res. 35(9): 4617-24, 2015

11. Hata, T., Honda, M., Kobayashi, M., Toyokawa, A., Tsuda, M., Tokunaga, Y., Takase, K., Miyake, M., Morita, S., Nagata, N., Sakamoto, J., Gosho, M., Mishima, H.
Effect of pH adjustment by mixing steroid for venous pain in colorectal cancer patients receiving oxaliplatin through peripheral vein: a multicenter randomized phase II study (APOLLO).Cancer Chemother. Pharmacol. 76(6): 1209-15, 2015

12. Hiki, N., Nunobe, S., Matsuda, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Yamaguchi, T.
Laparoscopic endoscopic cooperative surgery (LECS).Dig. Endosc. 27(2): 197-204, 2015

13. Honda, M., Wakita, T., Onishi, Y., Nunobe, S., Miura, A., Nishigori, T., Kusanagi, H., Yamamoto, T., Boddy, A., Fukuhara, S.
Development and validation of a disease-specific instrument to measure diet-targeted quality of life for postoperative patients with esophagogastric cancer.Ann. Surg. Oncol. 22(Suppl 3): 848-854, 2015

14. Honda, M., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Kumagai, K., Hashimoto, Y., Mine, S., Kamiya, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Preoperative vs postoperative eradication of helicobacter pylori in 150 patients with gastric cancer: A randomized controlled trial.J. Am. Coll. Surg. 221(2): 273-9, 2015

15. Honda, M., Kuriyama, A., Noma, H., Nunobe, S., Furukawa, T.A.
Reply to Letter: "The Meta-analyses With

Transparency Are Needed".Ann. Surg. 262(2): e81-2, 2015

16. Honda, M., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Mine, S., Watanabe, M., Kamiya, S., Irino, T., Sano, T., Yamaguchi, T.
Unplanned admission after gastrectomy as a consequence of fast-track surgery: a comparative risk analysis.Gastric Cancer: in press, 2015

17. Ichida, A., Sakamoto, Y., Akahane, M., Ishizawa, T., Kaneko, J., Aoki, T., Hasegawa, K., Sugawara, Y., Kokudo, N.
Successful case of pancreaticoduodenectomy with resection of the hepatic arteries preserving a single aberrant hepatic artery for a pancreatic neuroendocrine tumor: report of a case.Surg. Today. 45(3): 363-8, 2015

18. Ida, S., Watanabe, M., Baba, H.
Chronic inflammation and gastrointestinal cancer.J. Cancer Metastasis Treat. 1: 138-43, 2015

19. Ida, S., Watanabe, M., Yoshida, N., Baba, Y., Umezaki, N., Harada, K., Karashima, R., Imamura, Y., Iwagami, S., Baba, H.
Sarcopenia is a predictor of postoperative respiratory complications in patients with esophageal cancer.Ann. Surg. Oncol. 22(13): 4432-7, 2015

20. Ida, S., Ozaki, N., Araki, K., Hirashima, K., Zaitsu, Y., Taki, K., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Oki, E., Morita, M., Watanabe, M., Maehara, Y., Yamamura, K., Baba, H., Ohmuraya, M.
SPINK1 status in colorectal cancer, impact on proliferation, and role in colitis-associated cancer.Mol. Cancer Res. 13(7): 1130-8, 2015

21. Inoue, Y., Arita, J., Sakamoto, T., Ono, Y., Takahashi, M., Takahashi, Y., Kokudo, N., Saiura, A.
Anatomical liver resections guided by 3-dimensional parenchymal staining using fusion indocyanine green fluorescence imaging.Ann. Surg. 262(1): 105-11, 2015

22. Inoue, Y., Saiura, A., Arita, J., Takahashi, Y.
Hepatic vein-oriented liver resection using fusion indocyanine green fluorescence imaging.Ann. Surg. 262(6): e98-9, 2015

23. Inoue, Y., Saiura, A., Yoshioka, R., Ono, Y., Takahashi, M., Arita, J., Takahashi, Y., Koga, R.
Pancreatoduodenectomy with systematic mesopancreas dissection using a supracolic anterior atery-first approach.Ann. Surg. 262(6): 1092-101, 2015

24. Inoue, D., Ozaka, M., Matsuyama, M., Yamada, I., Takano, K., Saiura, A., Ishii, H.
Prognostic value of neutrophil-lymphocyte ratio and level of C-reactive protein in a large cohort of pancreatic cancer patients: a retrospective study in a single institute in Japan.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(1): 61-66, 2015

25. Inoue, Y., Saiura, A., Ishizawa, T., Takahashi, Y.
Wide applicability and various advantages of supracolic anterior artery-first approach in pancreatoduodenectomy.Ann. Surg.: in press, 2015

26. Irino, T., Nunobe, S., Hiki, N., Yamamoto, Y., Hirasawa, T., Ohashi, M., Fujisaki, J., Sano, T., Yamaguchi, T.
Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for duodenal tumors: a unique procedure that helps ensure the safety of endoscopic submucosal dissection.Endoscopy. 47(4): 349-51, 2015

27. Ishihara, S., Matsusaka, S., Kondo, K., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shinbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Nakajima, T., Watanabe, T.
A phase I dose escalation study of oxaliplatin plus oral S-1 and pelvic radiation in patients with locally advanced rectal cancer (SHOGUN trial).Radiat. Oncol. 10(1): 24,

2015

28. Ishizawa, T., Lim, C., Kokudo, N.
Reply to "Liver malignancies in segment VII: The role of robot-assisted surgery".Ann. Surg.: in press, 2015

29. Izumi, D., Yoshida, N., Watanabe, M., Shiraishi, S., Ishimoto, T., Kosumi, K., Tokunaga, R., Taki, K., Higashi, T., Harada, K., Miyata, T., Ida, S., Imamura, Y., Iwagami, S., Baba, Y., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Yamashita, Y., Baba, H.
Tumor/normal esophagus ratio in F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography for response and prognosis stratification after neoadjuvant chemotherapy for esophageal squamous cell carcinoma.J. Gastroenterol.: in press, 2015

30. Kanda, H., Furuta, R., Motoi, N., Kakita, T., Sugiura, Y., Unno, T., Matsueda, K., Saiura, A., Sugitani, M., Ishikawa, Y.
A case of inflammatory hepatocellular adenoma displaying an unusual histological pattern.Clin. J. Gastroenterol. 8(6): 426-34, 2015

31. Kataoka, K., Tokunaga, M., Mizusawa, J., Machida, N., Katayama, H., Shitara, K., Tomita, T., Nakamura, K., Boku, N., Sano, T., Terashima, M., Sasako, M.
A randomized Phase II trial of systemic chemotherapy with and without trastuzumab followed by surgery in HER2-positive advanced gastric or esophagogastric junction adenocarcinoma with extensive lymph node metastasis: Japan Clinical Oncology Group study JCOG1301 (Trigger Study).Jpn. J. Clin. Oncol. 45(11): 1082-6, 2015

32. Kawaguchi, Y., Hasegawa, K., Tanaka, N., Ishizawa, T., Kaneko, J., Sakamoto, Y., Aoki, T., Sugawara, Y., Kokudo, N.
Advances in assessment and planning for surgical treatment of hepatocellular carcinoma.Dig Dis. 33(5): 683-90, 2015

33. Kawaguchi, Y., Akamatsu, N., Ishizawa, T., Kaneko, J., Arita, J., Sakamoto, Y., Hasegawa, K., Kokudo, N.
Evaluation of hepatic perfusion in the liver graft using fluorescence imaging with indocyanine green.Int J Surg Case Rep. 14: 149-51, 2015

34. Kawaguchi, Y., Ishizawa, T., Nagata, R., Kaneko, J., Sakamoto, Y., Aoki, T., Sugawara, Y., Hasegawa, K., Kokudo, N.
Exclusion criteria for assuring safety of single-incision laparoscopic cholecystectomy.Biosci. Trends. 9(6): 407-13, 2015

35. Kawakami, K., Nakamoto, E., Yokokawa, T., Sugita, K., Mae, Y., Hagino, A., Suenaga, M., Mizunuma, N., Oniyama, S., Machida, Y., Yamaguchi, T., Hama, T.
Patients' self-reported adherence to capecitabine on XELOX treatment in metastatic colorectal cancer: findings from a retrospective cohort analysis.Patient Prefer. Adherence. 9: 561-7, 2015

36. Kinoshita, T., Saiura, A., Esaki, M., Sakamoto, H., Yamanaka, T.
Multicentre analysis of long-term outcome after surgical resection for gastric cancer liver metastases.Br. J. Surg. 102(1): 102-7, 2015

37. Kiyokawa, T., Hiki, N., Nunobe, S., Honda, M., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Feasibility of gastrectomy with standard lymphadenectomy for patients over 85 years old with gastric cancer.Ann. Surg. Oncol. 22(12): 3962-9, 2015

38. Kono, Y., Ishizawa, T., Tani, K., Harada, N., Kaneko, J., Saiura, A., Bandai, Y., Kokudo, N.
Techniques of fluorescence cholangiography during laparoscopic cholecystectomy for better delineation of the bile duct anatomy.Medicine (Baltimore). 94(25): e1005, 2015

39. Kosuga, T., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Kubota, T., Kamiya, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Does the single-stapling technique for circular-stapled esophagojejunostomy reduce anastomotic complications after laparoscopic total gastrectomy?Ann. Surg. Oncol. 22(11): 3603-12, 2015

40. Kumagai, K., Hiki, N., Nunobe, S., Sekikawa, S., Chiba, T., Kiyokawa, T., Jiang, X., Tanimura, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
Totally laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for early gastric cancer in the middle stomach: technical report and surgical outcomes.Gastric Cancer. 18(1): 183-7, 2015

41. Kurokawa, Y., Hiki, N., Yoshikawa, T., Kishi, K., Ito, Y., Ohi, M., Wada, N., Takiguchi, S., Mine, S., Hasegawa, S., Matsuda, T., Takeuchi, H.
Mediastinal lymph node metastasis and recurrence in adenocarcinoma of the esophagogastric junction.Surgery. 157(3): 551-5, 2015

42. Matsuda, T., Hiki, N., Nunobe, S., Aikou, S., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumors (with video).Gastrointest. Endosc.: in press, 2015

43. Matsuda, C., Honda, M., Tanaka, C., Fukunaga, M., Ishibashi, K., Munemoto, Y., Hata, T., Bando, H., Oshiro, M., Kobayashi, M., Tokunaga, Y., Fujii, A., Nagata, N., Oba, K., Mishima, H.
Multicenter randomized phase II clinical trial of oxaliplatin reintroduction as a third- or later-line therapy for metastatic colorectal cancer-biweekly versus standard triweekly XELOX (The ORION Study).Int. J. Clin. Oncol.: in press, 2015

44. Matsumoto, A., Watanabe, M., Shigaki, H., Nishida, K., Mine, S., Sano, T., Yanaga, K.
Efficacy of staged treatment strategy for patients with synchronous double cancers of the esophagus and head and neck: A retrospective study.World J. Surg.: in ress, 2015

45. Matsumoto, A., Watanabe, M., Shigaki, H., Okumura, Y., Nishida, K., Mine, S., Yamada, K., Yanaga, K., Sano, T.
Intussusception causing postoperative intestinal obstruction following free jejunum transfer in adults: two case reports and review of the literature.Surg. Case Rep. 1(1): 28, 2015

46. Matsusaka, S., Nashimoto, A., Nishikawa, K., Miki, A., Miwa, H., Yamaguchi, K., Yoshikawa, T., Ochiai, A., Morita, S., Sano, T., Kodera, Y., Kakeji, Y., Sakamoto, J., Saji, S., Yoshida, K.
Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44-1101).Gastric Cancer: in press, 2015

47. Matsusaka, S., Ishihara, S., Kondo, K., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shimbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Nakajima, T., Watanabe, T.
A multicenter phase II study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 plus oxaliplatin for locally advanced rectal cancer (SHOGUN trial).Radiother. Oncol. 116(2): 209-13, 2015

48. Mine, S., Kurokawa, Y., Takeuchi, H., Kishi, K., Ito, Y., Ohi, M., Matsuda, T., Hamakawa, T., Hasegawa, S., Yoshikawa, T., Hiki, N.
Distribution of involved abdominal lymph nodes is correlated with the distance from the esophagogastric junction to the distal end of the tumor in Siewert type II tumors.Eur. J. Surg. Oncol. 41(10): 1348-53, 2015

49. Mine, S., Nunobe, S., Watanabe, M.
A novel technique of anti-reflux

esophagogastrostomy following left thoracoabdominal esophagectomy for carcinoma of the esophagogastric junction. World J. Surg. 39(9): 2359-61, 2015

50. Mise, Y., Hasegawa, K., Shindoh, J., Ishizawa, T., Aoki, T., Sakamoto, Y., Sugawara, Y., Makuuchi, M., Kokudo, N.
The feasibility of third or more repeat hepatectomy for recurrent hepatocellular carcinoma. Ann. Surg. 262(2): 347-57, 2015

51. Miyagi, M., Yoshio, T., Hirasawa, T., Ishiyama, A., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Igarashi, M.
Precordial skin burns after endoscopic submucosal dissection for gastric tube cancer. Dig. Endosc. 27(7): 742-6, 2015

52. Miyamoto, Y., Baba, Y., Sakamoto, Y., Ohuchi, M., Tokunaga, R., Kurashige, J., Hiyoshi, Y., Iwagami, S., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Negative impact of skeletal muscle loss after systemic chemotherapy in patients with unresectable colorectal cancer. PLoS One. 10(6): e0129742, 2015

53. Miyata, A., Ishizawa, T., Tani, K., Shimizu, A., Kaneko, J., Aoki, T., Sakamoto, Y., Sugawara, Y., Hasegawa, K., Kokudo, N.
Reappraisal of a dye-staining technique for anatomic hepatectomy by the concomitant use of indocyanine green fluorescence imaging. J. Am. Coll. Surg. 221(2): e27-36, 2015

54. Mori, K., Ishizawa, T., Yamashita, S., Kamiya, M., Urano, Y., Kokudo, N.
Intraoperative visualization of pancreatic juice leaking from the pancreatic stump in a swine model. Gastroenterology. 149(6): 1334-1336, 2015

55. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Arai, M., Yamaguchi, T.
Feasibility and safety of laparoscopic surgery for metachronous colorectal cancer. Surg. Today. 45(4): 434-8, 2015

56. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Arai, M., Ueno, M.
Prognostic Impact of Distribution of Lymph Node Metastases in Stage III Colon Cancer. World J. Surg. 39(12): 3008-15, 2015

57. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Prognostic impact of neutrophil-to-lymphocyte ratio in patients with advanced low rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy. Dig. Surg. 32(6): 496-503, 2015

58. Nakayama, I., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Ozaka, M., Takahari, D., Shinozaki, E., Chin, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Safety, tolerability, and efficacy of oxaliplatin-based adjuvant chemotherapy after curative resection of hepatic or extrahepatic metastases of Stage IV colorectal cancer. Cancer Chemother. Pharmacol. 76(1): 133-9, 2015

59. Nomura, S., Fujimoto, Y., Yamamoto, N., Sato, Y., Ashihara, Y., Kita, M., Yamaguchi, J., Ishikawa, Y., Ueno, M., Arai, M.
A case of early onset rectal cancer of Lynch syndrome with a novel deleterious *PMS2* mutation. Jpn. J. Clin. Oncol. 45(10): 987-92, 2015

60. Ogura, A., Akiyoshi, T., Takatsu, Y., Nagata, J., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
The significance of extended lymphadenectomy for colorectal cancer with isolated synchronous extraregional lymph node metastasis. Asian J. Surg.: in press, 2015

61. Ohhara, Y., Suenaga, M., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Comparison between three oxaliplatin-based regimens with bevacizumab in patients with metastatic

colorectal cancer.Onco Targets Ther. 8: 529-37, 2015

62. Ono, Y., Matsueda, K., Koga, R., Takahashi, Y., Arita, J., Takahashi, M., Inoue, Y., Unno, T., Saiura, A.
Sinistral portal hypertension after pancreaticoduodenectomy with splenic vein ligation.Br. J. Surg. 102(3): 219-28, 2015

63. Oya, S., Mine, S., Watanabe, M., Yamada, K.
Oesophageal cancer with an aberrant right subclavian artery accompanied by a thoracic duct anomaly.Eur. J. Cardiothorac. Surg. 48(3): e55-7, 2015

64. Saeki, H., Watanabe, M., Mine, S., Shigaki, H., Oya, S., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Baba, H., Maehara, Y., Sano, T.
Esophagectomy for superficial esophageal cancer after non-curative endoscopic resection.J. Gastroenterol. 50(4): 406-13, 2015

65. Sano, T., Srar, S.S., Brierley, J., Vermorken, J.B.
Stomach.UICC manual of clinical oncology 9th ed. (O'Sullivan, B., Brierley, J.D., D'Cruz, A.K., Fey, M.F., Pollock, R., Vermorken, J.B., Huang, S.H.), Chichester, Wiley Blackwell: pp.297-307, 2015

66. Sebio, A., Gerger, A., Matsusaka, S., Yang, D., Zhang, W., Stremitzer, S., Stintzing, S., Sunakawa, Y., Yamauchi, S., Ning, Y., Fujimoto, Y., Ueno, M., Lenz, H.J.
Genetic variants within obesity-related genes are associated with tumor recurrence in patients with stages II/III colon cancer.Pharmacogenet. Genomics. 25(1): 30-7, 2015

67. Suenaga, M., Mizunuma, N., Shinozaki, E., Matsusaka, S., Ozaka, M., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, T.
Anticoagulant therapy for venous thromboembolism detected by Doppler ultrasound in patients with metastatic colorectal cancer receiving bevacizumab.Onco Targets Ther. 8: 243-9, 2015

68. Suenaga, M., Fujimoto, Y., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Akiyoshi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Oya, M., Ueno, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Perioperative FOLFOX4 plus bevacizumab for initially unresectable advanced colorectal cancer (NAVIGATE-CRC-01).Onco Targets Ther. 8: 1111-8, 2015

69. Suenaga, M., Mizunuma, N., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ozaka, M., Ogura, M., Chin, K., Yamaguchi, T.
A phase I/II study of biweekly capecitabine and irinotecan plus bevacizumab as second-line chemotherapy in patients with metastatic colorectal cancer.Drug Des. Devel. Ther. 9: 1653-62, 2015

70. Suenaga, M., Mizunuma, N., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ozaka, M., Ogura, M., Yamaguchi, T.
Phase II study of reintroduction of oxaliplatin for advanced colorectal cancer in patients previously treated with oxaliplatin and irinotecan: RE-OPEN study.Drug Des. Devel. Ther. 9: 3099-108, 2015

71. Sugihara, H., Ishimoto, T., Miyake, K., Izumi, D., Baba, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Noncoding RNA expression aberration Is associated with cancer progression and is a potential biomarker in esophageal squamous cell carcinoma.Int. J. Mol. Sci. 16(11): 27824-34, 2015

72. Sugita, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Mae, Y., Toya, W., Hagino, A., Suzuki, K., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T., Hama, T.
Investigation of regorafenib-induced hypothyroidism in patients with metastatic colorectal cancer.Anticancer Res. 35(7): 4059-62, 2015

73. Takatsu, Y., Akiyoshi, T., Nagata, J., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.

Surgery for synchronous colorectal cancers with double colonic anastomoses: A comparison of laparoscopic and open approaches.Asian J. Endosc. Surg. 8(4): 429-433, 2015

74. Tanaka, E., Fukunaga, Y., Nakashima, M., Nagasue, Y., Akiyoshi, T., Konishi, T., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Ueno, M., Yamaguchi, T.
Laparoscopic incisionless stoma creation for patients with colorectal malignant stricture.Surg. Laparosc. Endosc. Percutan. Tech. 25(1): 37-39, 2015

75. Ueno, H., Konishi, T., Ishikawa, Y., Shimazaki, H., Ueno, M., Aosasa, S., Saiura, A., Hase, K., Yamamoto, J.
Prognostic value of poorly differentiated clusters in the primary tumor in patients undergoing hepatectomy for colorectal liver metastasis.Surgery. 157(5): 899-908, 2015

76. Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Yamada, K., Shigaki, H., Matsumoto, A., Sano, T.
Salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy for patients with esophageal squamous cell carcinoma: Who really benefits from this high-risk surgery?Ann. Surg. Oncol. 22(13): 4438-44, 2015

77. Yoshida, N., Baba, Y., Watanabe, M., Hiyoshi, Y., Ishimoto, T., Iwagami, S., Kurashige, J., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Baba, H.
Triangulating stapling technique covered with the pedicled omental flap for esophagogastric anastomosis: A safe anastomosis with fewer complications.J. Am. Coll. Surg. 220(2): e13-6, 2015

78. Yoshikawa, K., Shimada, M., Wakabayashi, G., Ishida, K., Kaiho, T., Kitagawa, Y., Sakamoto, J., Shiraishi, N., Koeda, K., Mochiki, E., Saikawa, Y., Yamaguchi, K., Watanabe, M., Morita, S., Kitano, S., Saji, S., Kanematsu, T., Kitajima, M.
Effect of Daikenchuto, a Traditional Japanese Herbal Medicine, after Total Gastrectomy for Gastric Cancer: A Multicenter, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Phase II Trial.J. Am. Coll. Surg. 221(2): 571-8, 2015

79. Yuasa, T., Inoshita, N., Saiura, A., Yamamoto, S., Urakami, S., Masuda, H., Fujii, Y., Fukui, I., Ishikawa, Y., Yonese, J.
Clinical outcome of patients with pancreatic metastases from renal cell cancer.BMC Cancer. 15: 46, 2015

80. 中濱孝志, 望月宏美, 蓑輪雄一, 小川恵, 峯真司, 比企直樹
病態に応じた個別メニューのアプローチ　術後食と栄養管理 ： [Part1] 術後食の検証 胃切除術後分割食の栄養補給と病棟栄養士活動に関する研究報告.ヒューマンニュートリション. 7(2): 40-44, 2015

81. 井上陽介, 石沢武彰, 高橋祐, 齋浦明夫
局所進行膵癌における血管合併切除 ： Borderline膵癌に対する門脈脾静脈合併切除を伴う結腸上前方アプローチによる膵頭十二指腸切除.手術. 69(2): 125-133, 2015

82. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 布部創也, 峯真司
術後の栄養や食事を再考する ： 術後のPPNに脂肪乳剤は必要か?外科と代謝・栄養. 49(5): 227-232, 2015

83. 伊沢由紀子, 熊谷厚志
日本のがん診療UPDATE-連携拠点病院と最新トピックス：背景・周辺領域トピックス　化学療法・放射線療法中の副作用に対する患者への栄養サポート.医学のあゆみ. 254(9): 826-832, 2015

84. 佐野武
胃癌の診療 ： 胃癌の治療　胃癌治療ガイドラインの概要.臨床消化器内科. 30(7): 845-849, 2015

85. 佐野武
診療ガイドラインニュース(Vol.106) 胃癌治療ガイドライン 医師用 第4版.メディカル朝日. 44(3): 70-72, 2015

86. 古川陽菜, 比企直樹, 本多通孝, 峯真司胃癌術後の栄養障害の対するパンクレリーパゼの使用経験.日本静脈経腸栄養学会雑誌. 30(6): 1272-1276, 2015

87. 吉宮瑞穂, 井上陽介
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 肝がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 234-236, 2015

88. 吉宮瑞穂, 松村優
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 膵がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 240-242, 2015

89. 吉宮瑞穂, 高橋祐
臓器別がん看護ポイントさくさくリスト：胆道がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 237-239, 2015

90. 大友陽子, 渡邉元己, 小西毅
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 消化管GIST.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 222-224, 2015

91. 大橋学, 比企直樹, 熊谷厚志, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴
手術手技　腹腔鏡下幽門保存胃切除術後の新しい鏡視下端端胃胃吻合:ピアス法.手術. 69(10): 1501-1507, 2015

92. 奥村康弘, 比企直樹
日本のがん診療UPDATE-連携拠点病院と最新トピックス : がん診療トピックス　がんにおける腹腔鏡手術の進歩.医学のあゆみ. 254(9): 648-652, 2015

93. 小川恵, 峯真司
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 食道がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 216-218, 2015

94. 小西毅, 福長洋介, 上野雅資
側方郭清.腹腔鏡下消化器外科手術：標準手技シリーズ2
下部消化管 (北野正剛編集), 東京, メジカルビュー社: 2015

95. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 岸原輝仁, 千野晶子, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 佐野武,山口俊晴, 武藤徹一郎
大腸の神経内分泌腫瘍：NETの治療方針.大腸疾患Now 2015 (五十嵐正広ほか編集), 東京, 日本メディカルセンター: pp.76-82, 2015

96. 小西毅, 松阪諭, 水沼信之, 石川雄一, 井下尚子, 上野雅資, LenzHeinz
大腸癌肝転移はどこから来るのか?　原発巣先進部組織に着目した網羅的遺伝子解析による全く新しい大腸癌肝転移予後予測法に関する多施設国際共同研究.大和証券ヘルス財団研究業績集, (38): 86-89, 2015

97. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
直腸癌に対する術前化学放射線療法.最新医学別冊 新しい診断と治療のABC 35 / 消化器5 大腸腺腫・大腸癌 (藤盛孝博編集), 大阪, 最新医学社: pp.147-155, 2015

98. 山口俊晴
DDS研究30年:温故知新： (第4章)がん治療とDDS　がん外科治療とDDS.PHARM TECH JAPAN. 31(2): 342-346, 2015

99. 山口俊晴
臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト：これだけは押さえておきたい『がん診療ガイドライン』のエッセンス.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 204-206, 2015

100. 峯真司, 佐野武, 渡邊雅之, 布部創也, 比企直樹, 熊谷厚志, 西田康二郎, 大橋学, 山口俊晴
食道胃接合部癌のすべて : 食道胃接合部癌の切除断端距離.外科. 77(4): 388-391, 2015

101. 布施卓美, 加藤美希子, 秋吉高志
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 大腸がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 225-227, 2015

102. 布部創也
LECS関連手技：inverted LECS.イラストと写真で見る内視鏡医と外科医のコラボレーション手術 (腹腔鏡・内視鏡合同手術研究会編), 東京, メジカルビュー社: pp.94-101, 2015

103. 布部創也, 熊谷厚志, 比企直樹, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴

わかりやすい消化器癌治療のコンセンサス :胃癌の診断・治療の進め方.消化器外科. 38(5): 568-571, 2015

104. 布部創也, 神谷諭, 熊谷厚志, 大橋学, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
体腔鏡下 上部消化管手術 :腹腔鏡下胃癌手術：リンパ節郭清のポイントと再建法 噴門側胃切除術 川上法再建, 空腸間置再建.外科. 77(7): 773-778, 2015

105. 布部創也, 本多通孝, 熊谷厚志, 比企直樹, 大橋学, 佐野武, 山口俊晴
必見！完全体腔内再建の極意：噴門側胃切除後再建　観音開き法.臨床外科. 70(4): 470-474, 2015

106. 平澤俊明, 比企直樹
胃癌のトピックス：胃腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術.臨床消化器内科. 30(7): 977-983, 2015

107. 望月宏美, 中濱孝志, 峯真司, 比企直樹在宅での栄養管理に関する知識を得よう!： 個々の患者に合わせた多職種連携のテーラーメイドの栄養管理　がん患者の経口摂取を無理なく継続するための取り組み.地域リハビリテーション. 10(1): 36-40, 2015

108. 松田達雄, 比企直樹, 布部創也, 安福至, 熊谷厚志, 大橋学
LECS(laparoscopy and endoscopy cooperative surgery)の新たな展開 ： 各種LECS手技　Classical LECS.臨床消化器内科. 30(12): 1497-1502, 2015

109. 武田知子, 森田幾代, 井上陽介
器械出しの極意　術式の理解、執刀医への配慮、ベテランナースの経験知 ： 肝切除術の理解と熟練器械出しへの向上ポイント.手術看護エキスパート. 9(1): 16-21, 2015

110. 比企直樹
LECS(laparoscopy and endoscopy cooperative surgery) の新たな展開：巻頭言.臨床消化器内科. 30(12): 1481-1482, 2015

111. 比企直樹
がん患者の代謝栄養：がん患者の経腸栄養.日本静脈経腸栄養学会雑誌. 30(4): 923-926, 2015

112. 比企直樹, 高木久美, 小西毅, 松浦信子
がん研有明病院の大腸がんに向きあう食事：術前術後の疑問に答えます！. 東京,女子栄養大学出版部: 135p., 2015

113. 比企直樹, 中濱孝志, 高木久美, 井上陽介
がん研有明病院の肝臓がん・胆道がん・膵臓がん治療に向きあう食事. 東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2015

114. 比企直樹, 中濱孝志, 望月宏美, 熊谷厚志
がん研有明病院の胃がん治療に向きあう食事. 東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2015

115. 比企直樹
外科学の古典を楽しむ[第50回] 胃癌治療の原典：未来を見通したバイブル.外科. 77(2): 181-185, 2015

116. 比企直樹
消化器内視鏡治療・腹腔鏡下手術をめぐって：腹腔鏡内視鏡合同手術　LECS.日本医師会雑誌. 144(4): 734, 2015

117. 比企直樹
腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)の最新手技：LECSの歴史と展望.手術. 69(10): 1421-1426, 2015

118. 比企直樹
膜を意識した手術による出血を最小限とする腹腔鏡下胃切除術.手術. 69(6): 900-905, 2015

119. 渡邊雅之, 黒河内喬範, 岡村明彦, 今村裕, 本多通孝, 西田康二郎, 峯真司
エキスパートの消化管吻合を学ぶ ： 食道外科における消化管吻合のコツ　器械吻合.臨床外科. 70(10): 1211-1216, 2015

120. 渡邊雅之
がん治療に求められる基盤的知識　集学的治療の時代における外科の役割.日本癌治療学会誌. 50(2): 501-505, 2015

121. 渡邊雅之
排液異常から術式ごとの管理ポイントまでクイックチェック!オールカラー 消化器外科のドレーン看護 速習・速しらべBOOK：(4章)クイッ

クチェック編　術式別ドレーン看護　食道がん手術後のドレーン.消化器外科Nursing, (2015春季増刊): 84-87, 2015

122. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 山本頼正, 平澤俊明, 大前雅実, 藤崎順子, 佐野武, 山口俊晴
内視鏡治療：内科と外科のコラボレーション 癌治療における低侵襲とLECSコンセプト.消化器内視鏡. 27(9): 1492-1498, 2015

123. 田中友理, 比企直樹, 小菅敏幸, 峯真司, 布部創也
胃癌周術期における脂肪乳剤・アミノ酸・糖を含む末梢静脈栄養を活用した新しい栄養関連クリニカルパスの有用性と安全性に関する検討.日本静脈経腸栄養学会雑誌. 30(5): 1137-1144, 2015

124. 石沢武彰, 齋浦明夫
肝胆膵イメージング:画像が映す分子病理 ： 肝疾患　ICG蛍光イメージングの分子メカニズムと臨床応用.肝・胆・膵. 70(4): 567-572, 2015

125. 神谷諭, 比企直樹
胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡下胃局所切除.腹腔鏡下消化器外科手術 第1巻 (北野正剛編集), 東京, メジカルビュー社: pp.1803-1810, 2015

126. 福長洋介, 為我井芳郎, 上野雅資, 千野晶子, 五十嵐正広, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志
内視鏡治療-内科と外科のコラボレーション ： 大腸腫瘍に対するLECS.消化器内視鏡. 27(9): 1573-1579, 2015

127. 福長洋介
十二指腸・大腸腫瘍に対するLECS：大腸LECS：一外科医の立場から.イラストと写真で見る内視鏡医と外科医のコラボレーション手術 (腹腔鏡・内視鏡合同手術研究会編), 東京, メジカルビュー社: pp.141-147, 2015

128. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志
大腸腹腔鏡下手術-合併症ゼロをめざした秘策-: 手術手技　脾彎曲部近傍病変に対する腹腔鏡下結腸切除術.手術. 69(5): 713-718, 2015

129. 秋吉高志
オンコロジー・エマージェンシー：消化管の閉塞、
穿孔、出血.新臨床腫瘍学：がん薬物療法専門医のために (日本臨床腫瘍学会編集), 東京, 南江堂: pp.621-623, 2015

130. 秋吉高志, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 山口俊晴
ここまで来た!直腸癌に対する低侵襲手術 ： 側方リンパ節郭清.消化器外科. 38(12): 1661-1669, 2015

131. 竹中誠, 布部創也, 比企直樹
CEセッティング.イラストと写真で見る内視鏡医と外科医のコラボレーション手術 (腹腔鏡・内視鏡合同手術研究会編), 東京, メジカルビュー社: pp.150-156, 2015

132. 綿貫恵, 辻浦誠浩, 比企直樹
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト ： 胃がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 219-221, 2015

133. 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
括約筋間直腸切除術(ISR)のすべて ：ISRの遠隔成績.外科. 77(3): 283-288, 2015

134. 速水克, 布部創也, 清川貴志, 辻浦誠浩, 古川陽菜, 熊谷厚志, 大橋学, 比企直樹消化器・一般外科手術のPearls & Tips-ワンランク上の手術を達成する技と知恵 ：　胃 腹腔鏡下幽門保存胃切除術.臨床外科. 70(11): 69-74, 2015

135. 長山聡, 上野雅資
最新臨床大腸癌学-基礎研究から臨床応用へ- ： 大腸癌の治療　化学療法　遠隔転移のないT4結腸癌に対する術前化学療法.日本臨床. 73(増刊4 最新臨床大腸癌学): 470-472, 2015

136. 高津有紀子, 大橋学, 布部創也, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
手術手技　大動脈周囲リンパ節転移を伴う高度進行胃癌に対する術前化学療法+外科切除の手術手技.手術. 69(3): 277-281, 2015

137. 齋浦明夫, 有田淳一, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰
最新臨床大腸癌学-基礎研究から臨床応用へ- ： 大腸癌の検査・診断　転移・再発巣の診断　大

腸癌肝転移の画像診断・概論.日本臨床. 73(増刊4 最新臨床大腸癌学): 308-313, 2015

乳腺外科

1. Anan, K., Fukui, N., Kinoshita, T., Iwamoto, T., Niikura, N., Kawai, M., Hayashi, N., Tsugawa, K., Aogi, K., Ishida, T., Masuoka, H., Masuda, S., Iijima, K., Nakamura, S., Tokuda, Y.
Comprehensive prognostic report of the Japanese Breast Cancer Society Registry in 2005.Breast Cancer: in press, 2015

2. Araki, K., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Ito, Y.
Trastuzumab rechallenge after lapatinib- and trastuzumab-resistant disease progression in HER2-positive breast cancer.Clin. Breast Cancer. 15(6): 432-9, 2015

3. Fukada, I., Araki, K., Minatsuki, S., Fujino, T., Hatano, M., Numakura, S., Abe, H., Ushiku, T., Iwase, T., Ito, Y.
Imatinib alleviated pulmonary hypertension caused by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy in a patient with metastatic breast cancer.Clin. Breast Cancer. 15(2): e167-170, 2015

4. Fukuda, T., Tanabe, M., Kobayashi, K., Fukada, I., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y.
Combination chemotherapy with mitomycin C and methotrexate is active against metastatic HER2-negative breast cancer even after treatment with anthracycline, taxane, capecitabine, and vinorelbine.Springerplus. 4: 376, 2015

5. Honma, N., Horii, R., Ito, Y., Saji, S., Younes, M., Iwase, T., Akiyama, F.
Differences in clinical importance of Bcl-2 in breast cancer according to hormone receptors status or adjuvant endocrine therapy.BMC Cancer. 15(1): 698, 2015

6. Horii, R., Matsuura, M., Dan, S., Ushijima, M., Uehiro, N., Ogiya, A., Honma, N., Ito, Y., Iwase, T., Yamori, T., Akiyama, F.
Extensive analysis of signaling pathway molecules in breast cancer: association with clinicopathological characteristics.Int. J. Clin. Oncol. 20(3): 490-8, 2015

7. Horii, R., Honma, N., Ogiya, A., Kozuka, Y., Fukuda, T., Yoshida, M., Ohsumi, S., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guideline for pathological diagnosis of breast cancer.Breast Cancer. 22(1): 59-65, 2015

8. Ichida, M., Kataoka, A., Tsushima, R., Taguchi, T.
No increase in breast cancer risk in Japanese women taking oral contraceptives: a case-control study investigating reproductive, menstrual and familial risk factors for breast cancer.Asian Pac. J. Cancer Prev. 16(9): 3685-90, 2015

9. Ishida, N., Araki, K., Sakai, T., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Hosoda, M., Yamamoto, M., Ichinokawa, K., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y., Yamashita, H.
Fulvestrant 500 mg in postmenopausal patients with metastatic breast cancer: the initial clinical experience.Breast Cancer: in press, 2015

10. Kiyomi, A., Makita, M., Ozeki, T., Li, N., Satomura, A., Tanaka, S., Onda, K., Sugiyama, K., Iwase, T., Hirano, T.
Characterization and clinical implication of Th1/Th2/Th17 cytokines produced from three-dimensionally cultured tumor tissues resected from breast cancer patients.Transl. Oncol. 8(4): 318-26, 2015

11. Kiyomi, A., Makita, M., Iwase, T., Tanaka, S., Onda, K., Sugiyama, K., Takeuchi, H., Hirano, T.
Clinical significance of female-hormones and cytokines in breast cancer patients complicated with aromatase inhibitor-related osteoarthropathy - Efficacy of vitamin E.J. Cancer. 6(4): 367-76, 2015

12. Makita, M., Sakai, T., Kataoka, A., Kitagawa, D., Ogiya, A., Morizono, H., Miyagi, Y., Iijima, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Araki, K., Takahashi, S., Ito, Y., Gomi, N., Oguchi, M., Kita, M., Arai, M., Akiyama, F., Iwase, T.
Decreased hormonal sensitivity after childbirth rather than the tumor size influences the prognosis of very young breast cancer patients.Springerplus. 4: 365, 2015

13. Ogiya, A., Iwase, T., Kitagawa, D., Nakashima, E., Sakai, T., Miyagi, Y., Iijima, K., Morizono, H., Makita, M., Horii, R., Akiyama, F.
Non-sentinel lymph node analysis with one-step nucleic acid amplification in breast cancer patients.Breast. 24(4): 476-80, 2015

14. Okumura, Y., Nishimura, R., Nakatsukasa, K., Yoshida, A., Masuda, N., Tanabe, M., Shien, T., Tanaka, S., Arima, N., Komoike, Y., Taguchi, T., Iwase, T., Inaji, H., Ishitobi, M.
Change in estrogen receptor, HER2, and Ki-67 status between primary breast cancer and ipsilateral breast cancer tumor recurrence.Eur. J. Surg. Oncol. 41(4): 548-52, 2015

15. Sakai, T., Nishimura, S., Ogiya, A., Tanabe, M., Kimura, K., Morizono, H., Iijima, K., Miyagi, Y., Makita, M., Ito, Y., Oguchi, M., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Four types of Ipsilateral Breast Tumor Recurrence (IBTR) after breast-conserving surgery: Classification of IBTR based on precise pathological examination.Pathol. Int. 65(3): 113-8, 2015

16. Yamashita, H., Ogiya, A., Shien, T., Horimoto, Y., Masuda, N., Inao, T., Osako, T., Takahashi, M., Endo, Y., Hosoda, M., Ishida, N., Horii, R., Yamazaki, K., Miyoshi, Y., Yasojima, H., Tomioka, N.
Clinicopathological factors predicting early and late distant recurrence in estrogen receptor-positive, HER2-negative breast cancer.Breast Cancer: in press, 2015

17. 叶典子, 五味直哉, 新井正美, 岩瀬拓士術後サーベイランスで乳房超音波が有用であった遺伝性乳癌の1例.日本臨床外科学会雑誌. 76(12): 2925-2929, 2015

18. 小石彩, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太
検診で発見された境界病変の診断と治療 検診で発見された境界病変.日本乳癌検診学会誌. 24(3): 342-345, 2015

19. 岩瀬拓士, 宮城由美, 秋山太, 堀井理絵著
石灰化を極める：マンモグラフィ石灰化アトラス. 東京, 金原出版: 141p., 2015

20. 新井正美, 芦原有美, 喜多瑞穂, 岩瀬拓士, 蒔田益次郎, 中島絵里, 竹島信宏, 谷口智子
遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)と遺伝カウンセリング がん専門病院における遺伝性乳がん卵巣がんへの取り組み.日本遺伝カウンセリング学会誌. 36(1): 43-47, 2015

21. 新井正美, 谷口智子, 岩瀬拓士, 竹島信宏
遺伝性乳癌卵巣癌のマネージメント:HBOCに対する診療の流れ.産科と婦人科. 82(6): 611-618, 2015

22. 松本綾希子, 棚倉健太, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 蒔田益次郎, 岩瀬拓士, 新井正美
遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対しリスク低減乳房切除および同時再建を施行した1例.形成外科. 58(4): 439-442, 2015

23. 松浦千絵, 亀野尾彩, 荻谷朗子
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト: 乳がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 228-230, 2015

24. 照屋なつき, 堀井理絵, 木村聖美, 五味直哉, 岩瀬拓士, 秋山太
乳管癌成分と小葉癌成分からなる浸潤性乳癌の1例.乳癌の臨床. 30(3): 259-264, 2015

25. 照屋なつき, 岩瀬拓士
乳腺外科医と一次再建.がん研有明病院乳房一次再建術 : 根治的, 整容的な乳癌治療をめざして(澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.2-14, 2015

26. 片岡明美, 大野真司
Land-Mark papers in Oncology：エポックメイカーとなった論文：治療　乳房温存.Cancer Board of the Breast. 1(2): 66-67, 2015

27. 石田直子, 坂井威彦, 荻谷朗子, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
Triple negative乳癌におけるアポクリン癌の予後.乳癌の臨床. 30(3): 237-241, 2015

乳腺内科

1. Araki, K., Ishida, N., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Ito, Y., Ohno, S.
Efficacy of fulvestrant 500 mg in Japanese postmenopausal advanced/recurrent breast cancer patients and factors associated with prolonged time-to-treatment failure.Expert Opin. Pharmacother. 16(17): 2561-8, 2015

2. Araki, K., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Ito, Y.
Trastuzumab rechallenge after lapatinib- and trastuzumab-resistant disease progression in HER2-positive breast cancer.Clin. Breast Cancer. 15(6): 432-9, 2015

3. Fukada, I., Araki, K., Minatsuki, S., Fujino, T., Hatano, M., Numakura, S., Abe, H., Ushiku, T., Iwase, T., Ito, Y.
Imatinib alleviated pulmonary hypertension caused by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy in a patient with metastatic breast cancer.Clin. Breast Cancer. 15(2): e167-170, 2015

4. Fukuda, T., Tanabe, M., Kobayashi, K., Fukada, I., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y.
Combination chemotherapy with mitomycin C and methotrexate is active against metastatic HER2-negative breast cancer even after treatment with anthracycline, taxane, capecitabine, and vinorelbine.Springerplus. 4: 376, 2015

5. Honma, N., Horii, R., Ito, Y., Saji, S., Younes, M., Iwase, T., Akiyama, F.
Differences in clinical importance of Bcl-2 in breast cancer according to hormone receptors status or adjuvant endocrine therapy.BMC Cancer. 15(1): 698, 2015

6. Honma, N., Horii, R., Iwase, T., Saji, S., Younes, M., Ito, Y., Akiyama, F.
Ki-67 evaluation at the hottest spot predicts clinical outcome of patients with hormone receptor-positive/HER2-negative breast cancer treated with adjuvant tamoxifen monotherapy.Breast Cancer. 22(1): 71-78, 2015

7. Horii, R., Matsuura, M., Dan, S., Ushijima, M., Uehiro, N., Ogiya, A., Honma, N., Ito, Y., Iwase, T., Yamori, T., Akiyama, F.
Extensive analysis of signaling pathway molecules in breast cancer: association with clinicopathological characteristics.Int. J. Clin. Oncol. 20(3): 490-8, 2015

8. Ishida, N., Araki, K., Sakai, T., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Hosoda, M., Yamamoto, M., Ichinokawa, K., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y., Yamashita, H.
Fulvestrant 500 mg in postmenopausal patients with metastatic breast cancer: the initial clinical experience.Breast Cancer: in press, 2015

9. Kosaka, Y., Rai, Y., Masuda, N., Takano, T., Saeki, T., Nakamura, S., Shimazaki, R., Ito, Y., Tokuda, Y., Tamura, K.
Phase III placebo-controlled, double-blind, randomized trial of pegfilgrastim to reduce the risk of febrile neutropenia in breast cancer patients receiving docetaxel/cyclophosphamide chemotherapy.Support. Care Cancer. 23(4): 1137-43, 2015

10. Makita, M., Sakai, T., Kataoka, A., Kitagawa, D., Ogiya, A., Morizono, H., Miyagi, Y., Iijima, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Araki, K., Takahashi, S., Ito, Y., Gomi, N., Oguchi, M., Kita, M., Arai, M., Akiyama, F., Iwase, T.
Decreased hormonal sensitivity after childbirth rather than the tumor size influences the prognosis of very young breast cancer patients.Springerplus.

4: 365, 2015

11. Masuda, N., Tokuda, Y., Nakamura, S., Shimazaki, R., Ito, Y., Tamura, K.
Dose response of pegfilgrastim in Japanese breast cancer patients receiving six cycles of docetaxel, doxorubicin, and cyclophosphamide therapy: a randomized controlled trial.Support. Care Cancer. 23(10): 2891-8, 2015

12. Mukai, H., Noguchi, S., Akiyama, F., Inaji, H., Iwase, H., Horiguchi, J., Kurebayashi, J., Hirata, K., Toi, M., Kurosumi, M., Kohno, N., Nishimura, R., Nakamura, S., Imoto, S., Iwase, T., Endo, T., Saeki, T., Ogawa, Y., Ito, Y., Tokuda, Y., Ikeda, T.
2013 clinical practice guidelines (The Japanese Breast Cancer Society): history, policy and mission.Breast Cancer. 22(1): 1-4, 2015

13. Nakayama, Y., Ito, Y., Tanabe, M., Takahashi, S., Hatake, K.
A combination of aprepitant, palonosetron, and dexamethasone prevents emesis associated with anthracycline-containing regimens for patients with breast cancer. A retrospective study.Breast Cancer. 22(2): 177-84, 2015

14. Senkus, E., Kyriakides, S., Ohno, S., Penault-Llorca, F., Poortmans, P., Rutgers, E., Zackrisson, S., Cardoso, F.
Primary breast cancer: ESMO Clinical Practice Guidelines for diagnosis, treatment and follow-updagger.Ann. Oncol. 26 Suppl 5: v8-v30, 2015

15. 中村清吾, 岩田広治, 舟戸祐矢, 伊藤国夫, 伊藤良則
乳癌患者におけるパクリタキセル注射剤(アルブミン懸濁型)の使用成績調査結果.癌と化学療法. 42(4): 447-455, 2015

16. 伊藤良則
NeoALTTO試験とALTTO試験から学ぶもの.がん分子標的治療. 13(1): 130-132, 2015

17. 伊藤良則, 増田慎三, 岩田広治, 向井博文, 堀口淳, 徳田裕, 黒井克昌, 森明日香, 大野宣嗣, 野口眞三郎
エストロゲン受容体(ER)陽性閉経後進行・再発乳癌に対するエベロリムス+エキセメスタン併用の有用性を検討する第3相臨床(BOLERO-2)試験　日本人サブグループ解析.癌と化学療法. 42(1): 67-75, 2015

18. 伊藤良則
早期乳がんおよび進行乳がんに対する新しい標準治療の開発: 乳がんに対するPI3K阻害剤、AKT阻害剤、mTOR阻害剤.腫瘍内科. 15(5): 469-473, 2015

19. 大野真司
がん治療における妊孕性温存の最前線: 乳がんと妊孕性温存.医学のあゆみ. 253(4): 295-298, 2015

20. 深田一平, 伊藤良則
抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして-: 臓器別がん腫レジメンの副作用と対策　乳癌　乳癌領域におけるアントラサイクリンおよびタキサン療法の有害事象とその対策.日本臨床. 73(増刊2 抗がん剤の副作用と支持療法): 548-552, 2015

21. 荒木和浩
いまさら聞けない!泌尿器がん化学療法の理論と実践:　がん化学療法の副作用対策 血液毒性.臨床泌尿器科. 69(12): 1006-1017, 2015

22. 荒木和浩, 伊藤良則
誌上ディベート　術前治療によるpCRは薬剤の有効性評価の代替指標となるか?　「代替指標にはならない」とする立場から.Cancer Board of the Breast. 1(2): 113-117, 2015

婦人科

1. Iwase, H., Takada, T., Iitsuka, C., Nomura, H., Abe, A., Taniguchi, T., Takizawa, K.
Clinical significance of systematic retroperitoneal lymphadenectomy during interval debulking surgery in advanced ovarian cancer patients.J. Gynecol. Oncol. 26(4): 303-310, 2015

2. Kato, K., Nishikimi, K., Tate, S., Kiyokawa, T., Shozu, M.
Histopathologic tumor spreading in primary ovarian cancer with modified posterior exenteration.World J. Surg. Oncol. 13: 230, 2015

3. Kato, K., Matsuura, M., Takeshima, N.
Secondary debulking surgery for isolated para-aortic nodal recurrence in endometrial cancer requiring partial resection of the inferior vena cava.Gynecol. Oncol. 139(3): 580-581, 2015

4. Kato, K., Usami, T., Takeshima, N.
Secondary debulking surgery for isolated para-aortic nodal recurrence in ovarian cancer involving the division of the left renal vein.Gynecol. Oncol. 137(1): 188-9, 2015

5. Koyama, M., Koizumi, M., Umayahara, K., Takeshima, N., Takahashi, S.
Radiation-induced osteosarcoma might mimic metastatic bone lesions: A case with bone scan and FDG PET/CT imaging.Clin. Nucl. Med. 40(5): 427-9, 2015

6. Matsumoto, K., Maeda, H., Oki, A., Takatsuka, N., Yasugi, T., Furuta, R., Hirata, R., Mitsuhashi, A., Kawana, K., Fujii, T., Iwata, T., Hirai, Y., Yokoyama, M., Yaegashi, N., Watanabe, Y., Nagai, Y., Yoshikawa, H.
Human leukocyte antigen class II DRB1*1302 allele protects against cervical cancer: At which step of multistage carcinogenesis?Cancer Sci. 106(10): 1448-1454, 2015

7. Matsuo, K., Jung, C.E., Hom, M.S., Gualtieri, M.R., Randazzo, S.C., Kanao, H., Yessaian, A.A., Roman, L.D.
Predictive factor of conversion to laparotomy in minimally invasive surgical staging for endometrial cancer.Int. J. Gynecol. Cancer. 26(2): 290-300, 2015

8. Matsuo, K., Hom, M.S., Moeini, A., Machida, H., Takeshima, N., Roman, L.D., Sood, A.K.
Significance of monocyte counts on tumor characteristics and survival outcome of women with endometrial cancer.Gynecol. Oncol. 138(2): 332-8, 2015

9. Nomura, H., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kondo, E., Kato, K., Umayahara, K., Takeshima, N.
Clinical characteristics of non-squamous cell carcinoma of the vagina.Int. J. Gynecol. Cancer. 25(2): 320-4, 2015

10. Nomura, H., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K., Takeshima, N.
Clinicopathologic features and treatment outcomes of primary extramammary paget disease of the vulva.J. Low. Genit. Tract Dis. 19(2): 145-8, 2015

11. Nomura, H., Sugiyama, Y., Matoda, M., Omatsu, K., Kato, K., Takeshima, N.
Successful pregnancy and full-term delivery after atypical polypoid adenomyoma of the uterus and recurrent cervical intraepithelial neoplasia.Int. Cancer Conf. J. 4(3): 176-180, 2015

12. Nomura, H., Iwase, H., Abe, A., Yamamoto, A., Omatsu, K., Takeshima, N.
Successful pregnancy and full-term delivery after atypical polypoid adenomyoma of the uterus and recurrent cervical intraepithelial neoplasia.Gynecology and minimally invasive therapy. 4(1): 20-22, 2015

13. Nomura, H., Maeda, T., Usami, T., Abe, A., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K., Umayahara, K., Utsugi, K., Takeshima, N., Sawaizumi, M.
Vulvar reconstruction following surgery for vulvar cancer using a stepladder V-Y advancement medial thigh flap.Int. J. Gynecol. Cancer. 25(8): 1484-7, 2015

14. Satoh, T., Aoki, Y., Kasamatsu, T., Ochiai, K., Takano, M., Watanabe, Y., Kikkawa, F., Takeshima, N., Hatae, M., Yokota, H., Saito, T., Yaegashi, N., Kobayashi, H., Baba, T., Kodama, S., Sakuragi, N., Sumi, T., Kamura, T., Yoshikawa, H.
Administration of standard-dose BEP

regimen (bleomycin+etoposide+cisplatin) is essential for treatment of ovarian yolk sac tumour.Eur. J. Cancer. 51(3): 340-51, 2015

15. Sueoka, K., Umayahara, K., Abe, A., Usami, T., Yamamoto, A., Nomura, H., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kondo, E., Kato, K., Takeshima, N.
Prognosis for endometrial cancer patients treated with systematic pelvic and para-aortic lymphadenectomy followed by platinum-based chemotherapy.Int J Gynecol Cancer. 25(1): 81-6, 2015

16. 三田聖奈, 宇佐美知香
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト: 卵巣がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 252-254, 2015

17. 宇津木久仁子著作監修, 専門医の医学図典:婦人科手術 インフォームドコンセント. 2015, 情報センター出版局: 東京.

18. 山本阿紀子, 高澤豊, 近藤英司, 宇津木久仁子, 竹島信宏
局所においては早期病変と考えられたものの付属器まで進展していた子宮頸部腺癌3例の報告. 日本婦人科腫瘍学会雑誌. 33(4): 835-842, 2015

19. 後藤重則, 滝澤憲著
女性が知っておきたい最先端がん治療：自分の細胞で治す. 京都, PHP研究所: 182p., 2015

20. 新井正美, 芦原有美, 喜多瑞穂, 岩瀬拓士, 蒔田益次郎, 中島絵里, 竹島信宏, 谷口智子
遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)と遺伝カウンセリング がん専門病院における遺伝性乳がん卵巣がんへの取り組み.日本遺伝カウンセリング学会誌. 36(1): 43-47, 2015

21. 新井正美, 谷口智子, 岩瀬拓士, 竹島信宏
遺伝性乳癌卵巣癌のマネージメント:HBOCに対する診療の流れ.産科と婦人科. 82(6): 611-618, 2015

22. 杉山裕子
よくわかる検査と診断: (第2章)婦人科腫瘍分野 子宮頸癌　子宮頸部細胞診.産科と婦人科. 82(Suppl.): 142-146, 2015

23. 杉山裕子
遺伝性腫瘍の臨床　Lynch症候群　婦人科の立場から.癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践 (新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.92-96, 2015

24. 横田淳子, 小川泉, 山本阿紀子, 高橋顕雅
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト: 子宮(体部・頸部)がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 255-259, 2015

25. 的田眞紀, 竹島信宏
婦人科がん診療を支えるトータルマネジメント-各領域のエキスパートに聞く:　他臓器転移への対策 肺転移.臨床婦人科産科. 69(12): 1174-1177, 2015

26. 的田眞紀, 長島稔, 高橋顕雅, 竹島信宏
子宮頸癌治療の新たな選択肢：術前化学療法の現況と展望.産婦人科の実際. 64(13): 2027-2031, 2015

27. 竹島信宏, 高橋顕雅, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司
2回の腹腔鏡下手術により子宮体部および付属器に腫瘍進展が認められた子宮頸部上皮内腺癌の1例.東京産科婦人科学会会誌. 64(1): 20-24, 2015

28. 谷口智子, 馬屋原健司, 潮田至央, 高橋顕雅, 尾松公平, 竹島信宏
Therapy-related leukemia治療後の再発子宮頸がんに対して手術療法を行った1例.東京産科婦人科学会会誌. 64(2): 216-220, 2015

29. 谷口智子, 高橋顕雅, 竹島信宏
ゲノム時代の婦人科がん診療を展望する-がんの個性に応じたpersonalizationへの道:　卵巣がん 遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)への個別対応.臨床婦人科産科. 69(1): 130-134, 2015

30. 谷口智子, 山本阿紀子, 阿部彰子, 宇佐美知香, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 近藤英司, 加藤一喜, 馬屋原健司, 竹島信宏
プラチナ不応性の局所再発卵巣がんに対して放射線治療が有効であった1例.関東連合産科婦人科学会誌. 52(1): 63-67, 2015

31. 谷口智子, 新井正美, 喜多瑞穂, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
遺伝性乳がん・卵巣がん: BRCA1/2変異を確認され、当院で卵巣・卵管がんを治療した10例の臨床経過について.家族性腫瘍. 15(2): 53-57, 2015

32. 近藤英司, 高橋顕雅, 宇佐美知香, 山本阿紀子, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 杉山裕子, 竹島信宏
上皮内腺癌(AIS)65例の術前細胞診の検討.日本臨床細胞学会雑誌. 54(2): 114-118, 2015

33. 野村秀高, 宇佐美知香, 的田眞紀, 岡本三四郎, 金尾祐之, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 高澤豊, 竹島信宏
腟原発悪性黒色腫の臨床病理学的検討.日本婦人科腫瘍学会雑誌. 33(4): 789-795, 2015

34. 金尾祐之, 的田眞紀, 高橋顕雅, 竹島信宏
婦人科手術と後腹膜解剖　胎生解剖学に基づいた腹腔鏡下子宮頸癌根治術.産婦人科手術, (26): 55-63, 2015

35. 金尾祐之, 的田眞紀, 高橋顕雅, 竹島信宏
泌尿器科・婦人科・整形外科・大腸外科からみた直腸癌手術に必要な究極の骨盤解剖学: 婦人科からみた骨盤解剖　系統解剖学的視点と外科解剖学的視点に基づく考え方.手術. 69(8): 1237-1247, 2015

36. 金尾祐之, 高橋顕雅, 馬屋原健司, 的田眞紀, 尾松公平, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏
経子宮頸管的針生検による捺印細胞診および組織検査が診断に有用であった子宮原発悪性リンパ腫の1例.日本臨床細胞学会雑誌. 54(5): 323-327, 2015

37. 鈴木奈緒子, 坂本穆彦, 小松京子, 藤山淳三, 古田則行, 戸田和寿, 元井紀子, 杉山裕子
甲状腺嚢胞の細胞診判定区分　適正か不適正か.日本臨床細胞学会雑誌. 54(2): 103-106, 2015

38. 高橋顕雅, 潮田至央, 的田眞紀, 金尾祐之, 竹島信宏
外陰原発悪性黒色腫に対する根治術に腹腔鏡アプローチが有用であった1例.東京産科婦人科学会会誌. 64(4): 581-585, 2015

頭頸科

1. Ebina, A., Sugitani, I., Motoi, N.
Intrathyroidal epithelial thymoma: Carcinoma showing thymus-like differentiation mimicking squamous cell carcinoma of the thyroid.J. Nippon Med. Sch. 82(1): 2-3, 2015

2. Kamiyama, R., Mitani, H., Yonekawa, H., Fukushima, H., Sasaki, T., Shimbashi, W., Seto, A., Koizumi, Y., Ebina, A., Kawabata, K.
A clinical study of pharyngolaryngectomy with total esophagectomy: Postoperative complications, countermeasures, and prognoses.Otolaryngol. Head Neck Surg. 153(3): 392-9, 2015

3. Kanazawa, T., Misawa, K., Misawa, Y., Uehara, T., Fukushima, H., Kusaka, G., Maruta, M., Carey, T.E.
G-protein-coupled receptors: Next generation therapeutic targets in head and neck cancer?Toxins (Basel). 7(8): 2959-84, 2015

4. Kobayashi, H., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Motoi, N., Matsumoto, S.
A clinicopathological analysis of soft tissue sarcoma with telangiectatic changes.Sarcoma. 2015: 740571, 2015

5. Misawa, K., Misawa, Y., Kondo, H., Mochizuki, D., Imai, A., Fukushima, H., Uehara, T., Kanazawa, T., Mineta, H.
Aberrant methylation inactivates somatostatin and somatostatin receptor type 1 in head and neck squamous cell carcinoma.PLoS One. 10(3): e0118588, 2015

6. Onoda, N., Sugitani, I., Higashiyama, T., Hara, H., Ito, K., Kammori, M., Sugino, K., Suzuki, S., Toda, K., Yoshida, A., Miyauchi, A.
Concept and design of a nationwide prospective feasibility/efficacy/safety study of weekly paclitaxel for patients with pathologically confirmed anaplastic thyroid

cancer (ATCCJ-PTX-P2).BMC Cancer. 15: 475, 2015

7. Sasaki, T., Kishimoto, S., Kawabata, K., Sato, Y., Tsuchida, T.
Risk factors for cervical lymph node metastasis in superficial head and neck squamous cell carcinoma.J. Med. Dent. Sci. 62(1): 19-24, 2015

8. Tsukahara, K., Kubota, A., Hasegawa, Y., Takemura, H., Terada, T., Taguchi, T., Nagahara, K., Nakatani, H., Yoshino, K., Higaki, Y., Iwae, S., Beppu, T., Hanamure, Y., Tomita, K., Kohno, N., Kawabata, K., Fukushima, M., Teramukai, S., Fujii, M.
Randomized phase III trial of adjuvant chemotherapy with S-1 after curative treatment in patients with squamous-cell carcinoma of the head and neck (ACTS-HNC).PLoS One. 10(2): e0116965, 2015

9. Yamada, K., Toda, K., Ebina, A., Motoi, N., Sugitani, I.
Ultrasonographic and non-enhanced CT features of acute transient thyroid swelling following fine-needle aspiration biopsy: report of four cases.J. Med. Ultrason. 42(3): 417-25, 2015

10. 三谷浩樹
機能温存を考慮した頭頸部癌治療-口腔癌(舌癌)・咽頭癌・喉頭癌を中心に- : 機能温存の適応と手術方法について　舌癌.頭頸部癌Frontier. 3(1): 4-10, 2015

11. 三谷浩樹
耳鼻咽喉科の手術看護パーフェクトマニュアル : (第2章)実践編　術式別の術中看護マニュアル　舌癌　舌プルスルー(pull-through)法.オペナーシング, (2015臨時増刊 耳鼻咽喉科の手術看護パーフェクトマニュアル): 197-203, 2015

12. 三谷浩樹
耳鼻咽喉科の手術看護パーフェクトマニュアル : (第2章)実践編　術式別の術中看護マニュアル　舌癌　舌部分切除術.オペナーシング, (2015臨時増刊 耳鼻咽喉科の手術看護パーフェクトマニュアル): 191-196, 2015

13. 上間美夕紀, 稲城陽子, 新橋涉
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 咽頭・喉頭がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 210-212, 2015

14. 佐々木徹, 川端一嘉
口腔・中咽頭癌の機能温存を目指した手術 機能温存を目指した口腔癌手術.耳鼻と臨床. 61(Suppl.1): S32-S41,S55-S56, 2015

15. 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 新橋涉, 瀬戸陽, 小泉雄, 神山亮介, 蛯名彩, 福岡修, 日高竜太, 濱孝憲, 太田久幸, 上里迅, 白尾幸太郎, 長谷川温, 太田貴久
早期頭頸部がんに対する治療選択 下咽頭癌に対する機能温存治療　頸部外切開による咽頭喉頭部分切除術の役割.頭頸部癌. 41(1): 1-6, 2015

16. 川端一嘉
All about 頭頸部再建-多彩な皮弁を使いこなす! :　頭頸部再建に用いられる皮弁 空腸.耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 87(7): 516-522, 2015

17. 川端一嘉
喉頭・下咽頭癌に対する機能温存手術と術後管理.日本耳鼻咽喉科学会会報. 118(5): 682-685, 2015

18. 川端一嘉
新しい観点からの喉頭癌診療 : 縦隔気管孔作成の要点と注意点.JOHNS. 31(4): 467-471, 2015

19. 新橋涉
頭頸部がん-診断と治療 : 標準治療　咽頭(上因頭・中因頭・下因頭)がんの診断と治療　部位により自覚症状や病因、治療方法、治療効果が異なる.ライフライン21がんの先進医療. 19: 18-23, 2015

20. 濱孝憲
耳鼻咽喉科の手術看護パーフェクトマニュアル : (第2章)実践編　術式別の術中看護マニュアル　甲状腺腫瘍摘出術.オペナーシング, (2015臨時増刊 耳鼻咽喉科の手術看護パーフェクトマニュアル): 159-166, 2015

21. 濱孝憲, 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 新橋渉, 瀬戸陽, 神山亮介, 蛯名彩
進行舌癌および舌根癌に対する舌喉頭全摘出術に関する検討.日本耳鼻咽喉科学会会報. 118(6): 745-750, 2015

22. 石田和子, 稲城陽子, 戸田和寿
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 甲状腺がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 213-215, 2015

23. 福島啓文
新しい治療機器 :　《頭頸部》 プロヴォックス.耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 87(1): 73-79, 2015

24. 蛯名彩, 杉谷巌
DEBATE　甲状腺乳頭癌における全摘の適応基準　甲状腺温存手術(腺葉切除)を積極的に行う立場から.Thyroid Cancer Explore. 1(1): 42-45, 2015

25. 蛯名彩, 杉谷巌
高齢者の内分泌疾患を診療する際に気をつけること : 甲状腺分化癌.内分泌・糖尿病・代謝内科. 41(4): 273-279, 2015

26. 鵜沼静香, 稲城陽子, 新橋渉
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 口腔がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 207-209, 2015

整形外科

1. Fujibuchi, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Motoi, N., Mukai, H.
Cytogenetic study of secondary malignancy in giant cell tumor.J. Orthop. Sci. 20(1): 217-223, 2015

2. Fujibuchi, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K.
New endoprosthesis suspension method with polypropylene monofilament knitted mesh after resection of bone tumors in proximal humerus.J. Shoulder Elbow Surg. 24(6): 882-888, 2015

3. Ichikawa, J., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T.
A new technique using mesh for extensor reconstruction after proximal tibial resection.Knee. 22(6): 659-63, 2015

4. Kobayashi, H., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Motoi, N., Matsumoto, S.
A clinicopathological analysis of soft tissue sarcoma with telangiectatic changes.Sarcoma. 2015: 740571, 2015

5. Nakano, K., Motoi, N., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Shimoji, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Differences in the responses and prognoses of pazopanib to soft tissue sarcomas by their histological eligibility for the PALETTE study.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(5): 449-55, 2015

6. Yamaguchi, R., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Kito, M., Ishii, H., Motoi, N.
Case Report: Asymptomatic Osteosarcoma.Case Rep. Clin. Med. 4: 369-375, 2015

7. 五木田茶舞, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生
四肢転移性骨腫瘍に対する手術適応を考える　四肢・体幹転移性骨腫瘍に対する手術治療.日本整形外科学会雑誌. 89(4): 228-235, 2015

8. 川上順子, 澤泉雅之, 棚倉健太, 前田拓摩, 今井智浩, 松本誠一, 元井紀子
右上腕に発生した浸潤性未分化多形肉腫の広範切除に対し分割広背筋皮弁で再建した1例.形成外科. 58(8): 931-938, 2015

9. 早乙女進一, 阿江啓介, 松本誠一, 新井嘉容, 真鍋淳, 小柳広高, 吉井俊貴, 大川淳
人工骨移植の現状と展望 多孔質ハイドロキシアパタイト・コラーゲン複合体(HAp/Col).臨床整形外科. 50(10): 959-966, 2015

10. 松本誠一
悪性骨腫瘍.今日の診断指針 (金澤一郎, 永井良三総編集), 東京, 医学書院: pp.1519-1520,

2015

11. 松本誠一
悪性骨腫瘍-標準治療と先進医療 : 標準治療
原発性悪性骨腫瘍(骨肉腫)の診断と治療.ライフライン21がんの先進医療. 18: 31-34, 2015

12. 松本誠一, 阿江啓介
日本のがん診療UPDATE-連携拠点病院と最新トピックス : がん診療トピックス　肉腫治療の将来展望　サルコーマセンターの必要性.医学のあゆみ. 254(9): 631-635, 2015

13. 松本誠一
運動器腫瘍性疾患の治療.ドクターサロン. 59(8): 598-601, 2015

14. 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 神埜聖治, 柴田宏明
骨腫瘍の診断と治療 : 骨腫瘍切除.関節外科. 34(4): 344-350, 2015

15. 柴田宏明, 松本誠一, 下地尚, 阿江啓介, 谷澤泰介, 五木田茶舞
当院における軟骨芽細胞腫の診断と治療.東日本整形災害外科学会雑誌. 27(1): 83-87, 2015

16. 神埜聖治, 松本誠一
PET/CTにより偶発的に指摘された骨軟部腫瘍.中部日本整形外科災害外科学会雑誌. 58(3): 551-552, 2015

17. 阿江啓介, 早乙女進一, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 船内雄生, 早川景子, 松本誠一
整形外科領域における移植医療 : 骨および軟骨に対する人工・生体材料、組織細胞移植の臨床成績　骨・軟部腫瘍への対応　骨腫瘍手術の骨欠損に対する多孔質ハイドロキシアパタイト/コラーゲン複合体構造をもつ新しい人工骨移植の短・中期臨床成績.別冊整形外科, (68): 158-166, 2015

18. 阿江啓介, 松本誠一
肉腫研究・診療の最前線-bench-to-bedside : 肉腫外科治療の最前線　切除縁　ユニークな切除縁評価法と、根拠に基づく安全な手術計画.医学のあゆみ. 254(4): 285-290, 2015

泌尿器科

1. Fay, A.P., Xie, W.L., Lee, J.L., Harshman, L.C., Bjarnason, G.A., Knox, J.J., Ernst, S., Wood, L., Vaishamayan, U.N., Yuasa, T., Tan, M.H., Rha, S.Y., Donskov, F., Agarwal, N., Kollmannsberger, C.K., North, S.A., Rini, B.I., Choueiri, T.K., Heng, D.Y.
Characteristics of long-term and short-term survivors of metastatic renal cell carcinoma treated with targeted therapies: results from the International mRCC Database Consortium.Clin. Genitourin. Cancer. 13(2): 150-5, 2015

2. Hara, T., Fujimoto, H., Sakura, M., Inokuchi, J., Nishiyama, H., Miyazaki, J., Ohyama, C., Koie, T., Kikuchi, E., Hinotsu, S.
Prognostic factors of recurrent disease in upper urinary tract urothelial cancer after radical nephroureterectomy: Subanalysis of the multi-institutional national database of the Japanese Urological Association.Int. J. Urol. 22(11): 1013-20, 2015

3. Ishioka, J., Saito, K., Kijima, T., Nakanishi, Y., Yoshida, S., Yokoyama, M., Matsuoka, Y., Numao, N., Koga, F., Masuda, H., Fujii, Y., Sakai, Y., Arisawa, C., Okuno, T., Nagahama, K., Kamata, S., Sakura, M., Yonese, J., Morimoto, S., Noro, A., Tsujii, T., Kitahara, S., Gotoh, S., Higashi, Y., Kihara, K.
Risk stratification for bladder recurrence of upper urinary tract urothelial carcinoma after radical nephroureterectomy.BJU Int. 115(5): 705-12, 2015

4. Kihara, K., Fujii, Y., Saito, K., Numao, N., Matsuoka, Y., Ishioka, J., Yokoyama, M., Masuda, H.
Gasless Single-Port RoboSurgeon Partial Cystectomy: A Hybrid Technique Combining an Intravesical and Extravesical Approach.Gasless Single-Port RoboSurgeon Surgery in Urology (Kihara, K. ed.), Tokyo, Springer: pp.143-158, 2015

5. Kihara, K., Fujii, Y., Saito, K., Koga, F., Numao, N., Matsuoka, Y., Nagai, T., Masuda, H.

Gasless Single-Port RoboSurgeon Retroperitoneoscopic Partial Nephrectomy.Gasless Single-Port RoboSurgeon Surgery in Urology (Kihara, K. ed.), Tokyo, Springer: pp.43-64, 2015

6. Kihara, K., Fujii, Y., Saito, K., Koga, F., Numao, N., Matsuoka, Y., Ishioka, J., Yokoyama, M., Masuda, H.
Gasless Single-Port RoboSurgeon Retroperitoneoscopic Radical Nephrectomy.Gasless Single-Port RoboSurgeon Surgery in Urology (Kihara, K. ed.), Tokyo, Springer: pp.23-42, 2015

7. Kihara, K., Numao, N., Fujii, Y., Saito, K., Koga, F., Matsuoka, Y., Ishioka, J., Masuda, H.
Gasless Single-Port RoboSurgeon Retroperitoneoscopic Radical Prostatectomy.Gasless Single-Port RoboSurgeon Surgery in Urology (Kihara, K. ed.), Tokyo, Springer: pp.105-126, 2015

8. Ko, J.J., Xie, W., Kroeger, N., Lee, J.L., Rini, B.I., Knox, J.J., Bjarnason, G.A., Srinivas, S., Pal, S.K., Yuasa, T., Smoragiewicz, M., Donskov, F., Kanesvaran, R., Wood, L., Ernst, D.S., Agarwal, N., Vaishampayan, U.N., Rha, S.Y., Choueiri, T.K., Heng, D.Y.
The International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium model as a prognostic tool in patients with metastatic renal cell carcinoma previously treated with first-line targeted therapy: a population-based study.Lancet Oncol. 16(3): 293-300, 2015

9. Kyriakopoulos, C.E., Chittoria, N., Choueiri, T.K., Kroeger, N., Lee, J.L., Srinivas, S., Knox, J.J., Bjarnason, G.A., Ernst, S.D., Wood, L.A., Vaishampayan, U.N., Agarwal, N., Pal, S.K., Kanesvaran, R., Rha, S.Y., Yuasa, T., Donskov, F., North, S.A., Heng, D.Y., Rini, B.I.
Outcome of patients with metastatic sarcomatoid renal cell carcinoma: results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium.Clin. Genitourin. Cancer. 13(2): e79-85, 2015

10. Miyazaki, J., Nishiyama, H., Fujimoto, H., Ohyama, C., Koie, T., Hinotsu, S., Kikuchi, E., Sakura, M., Inokuchi, J., Hara, T.
Impact of smoking on the age at diagnosis of upper tract urothelial carcinoma: Subanalysis of the Japanese Urological Association multi-institutional national database.Int. J. Urol. 22(11): 1023-7, 2015

11. Urakami, S., Yuasa, T., Yamamoto, S., Sakura, M., Tanaka, H., Hayashi, T., Uehara, S., Inoue, Y., Fujii, Y., Masuda, H., Fukui, I., Yonese, J.
Clinical response to induction chemotherapy predicts improved survival outcome in urothelial carcinoma with clinical lymph nodal metastasis treated by consolidative surgery.Int. J. Clin. Oncol. 20(6): 1171-1178, 2015

12. Yamamoto, S., Masuda, H., Urakami, S., Fujii, Y., Sakamoto, K., Kozuka, T., Oguchi, M., Fukui, I., Yonese, J.
Patient-perceived satisfaction after definitive treatment for men with high-risk prostate cancer: radical prostatectomy vs. intensity-modulated radiotherapy with androgen deprivation therapy.Urology. 85(2): 407-13, 2015

13. Yamamoto, S.
Reply: To PMID 25623703.Urology. 85(2): 413-4, 2015

14. Yasuda, Y., Fujii, Y., Yuasa, T., Yamamoto, S., Yonese, J., Fukui, I.
Do testosterone levels have prognostic significance in patients with metastatic prostate cancer treated with combined androgen blockade?Int. J. Urol. 22(1): 132-3, 2015

15. Yuasa, T., Inoshita, N., Saiura, A., Yamamoto, S., Urakami, S., Masuda, H., Fujii, Y., Fukui, I., Ishikawa, Y., Yonese, J.
Clinical outcome of patients with pancreatic metastases from renal cell cancer.BMC Cancer. 15: 46, 2015

16. Yuasa, T.
Editorial Comment to p21-activated kinase 1 predicts recurrence and survival in patients with non-metastatic clear cell renal cell carcinoma.Int. J. Urol. 22(5): 453-4, 2015

17. Yuasa, T., Inoshita, N., Tanaka, H., Urakami, S., Yamamoto, S., Fujii, Y., Masuda, H., Fukui, I., Ishikawa, Y., Yonese, J.
Surveillance policy for Japanese patients with stage I testicular germ cell cancer in the multi-detector computed tomography era.Int. J. Clin. Oncol. 20(6): 1198-202, 2015

18. 上原翔, 山本真也, 萩原喜一, 佐野雅之, 林達郎, 山崎六志, 砂倉瑞明, 湯浅健, 増田均, 福井巌, 米瀬淳二
ハイリスク前立腺癌における層別解析.泌尿器外科. 28(8): 1313-1314, 2015

19. 増田均
PDE5阻害剤と前立腺肥大症-基礎から臨床まで-: 基礎分野　NO/cGMPシステムと男性下部尿路症状.Prostate Journal. 2(1): 87-94, 2015

20. 増田均, 藤井靖久, 木原和徳
ガスレス・シングルポート副腎摘除.腎臓内科・泌尿器科. 2(4): 414-419, 2015

21. 増田均
前立腺全摘後の膀胱機能とLUTSの病態：泌尿器疾患の話題.Medicament News, (第2191号): 1-3, 2015

22. 増田均
女性ヘルスケア集中講義!-次世代の女性医学の可能性を求めて-:　こんなときどうする?他科との境界領域の患者さんがやってきた 男女の性差から考える過活動膀胱の治療.産婦人科の実際. 64(11): 1482-1489, 2015

23. 増田均
尿管カテーテル法、腎瘻造設術.今日の治療指針(福井次矢, 高木誠, 小室一成総編集), 東京, 医学書院: pp.1072-3, 2015

24. 増田均
泌尿器科外来パーフェクトガイド　誰にでもすぐに使える!:　腎性高血圧・腎血管性病変 腎梗塞　疝痛様の側腹部痛および発熱がみられる患者です.臨床泌尿器科. 69(4): 292-294, 2015

25. 増田均
泌尿器科外来パーフェクトガイド　誰にでもすぐに使える!:　腫瘍外来(外来化学療法) 術後排尿障害　前立腺全摘術後の尿失禁を訴えている患者です.臨床泌尿器科. 69(4): 200-203, 2015

26. 湯浅健
Onco-Nephrology-がん治療の最新フロンティア:　がん治療と腎障害 がん治療に伴う電解質異常.臨床泌尿器科. 69(7): 559-562, 2015

27. 湯浅健
泌尿器科外来パーフェクトガイド　誰にでもすぐに使える!:　腫瘍外来(外来化学療法) 副腎腫瘍　肺転移を伴う副腎皮質癌の患者です.臨床泌尿器科. 69(4): 174-177, 2015

28. 湯浅健
泌尿器科外来パーフェクトガイド　誰にでもすぐに使える!:　腫瘍外来(外来化学療法) 腎腫瘍 肺,骨,肝臓に転移を有する腎細胞癌の患者です.臨床泌尿器科. 69(4): 178-181, 2015

29. 濱野彩, 林達郎
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト: 前立腺がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 249-251, 2015

30. 鴫原利洋, 山崎六志
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト: 腎がん.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 243-245, 2015

血液腫瘍科

1. Nitta, H., Terui, Y., Yokoyama, M., Mishima, Y., Nishimura, N., Ueda, K., Kusano, Y., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Kanda, Y., Hatake, K.
Absolute peripheral monocyte count at diagnosis predicts central nervous system relapse in diffuse large B-cell lymphoma. Haematologica. 100(1): 87-90, 2015

2. Ogura, M., Uchida, T., Terui, Y., Hayakawa, F., Kobayashi, Y., Taniwaki, M., Takamatsu,

Y., Naoe, T., Tobinai, K., Munakata, W., Yamauchi, T., Kageyama, A., Yuasa, M., Motoyama, M., Tsunoda, T., Hatake, K. Phase I study of OPB-51602, an oral inhibitor of signal transducer and activator of transcription 3, in patients with relapsed/refractory hematological malignancies.Cancer Sci. 106(7): 896-901, 2015

3. Osumi, H., Shinozaki, E., Osako, M., Kawazoe, Y., Oba, M., Misaka, T., Goto, T., Kamo, H., Suenaga, M., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Matsusaka, S., Chin, K., Hatake, K., Mizunuma, N. Cetuximab treatment for metastatic colorectal cancer with KRAS p.G13D mutations improves progression-free survival.Mol. Clin. Oncol. 3(5): 1053-1057, 2015

4. 三嶋裕子
がん薬物療法に伴う有害反応の対策.
新臨床腫瘍学：がん薬物療法専門医のために 改訂第4版 (日本臨床腫瘍学会編), 東京, 南江堂: 2015

5. 三嶋裕子
ボスチニブ：CML.インフォームドコンセントのための図説シリーズ：抗悪性腫瘍薬分子標的治療薬 改訂版 (西條長宏編), 大阪, 医薬ジャーナル社: 2015

6. 平川菜穂美, 横山雅大
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト ： 悪性リンパ腫.プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 260-262, 2015

7. 新田英昭
血液疾患-症候から診断、治療までの道筋- ： 化学療法の合併症対策.月刊レジデント. 8(11): 96-105, 2015

8. 横山雅大
日本のがん診療UPDATE-連携拠点病院と最新トピックス ： 化学療法・腫瘍内科の現状　発熱性好中球減少症の予防と治療.医学のあゆみ. 254(9): 677-682, 2015

9. 照井康仁
3-6再発・難治多発性骨髄腫の治療: 3 治療.ブラッシュアップ多発性骨髄腫 (木崎昌弘編著), 東京, 中外医学社: pp.113-130, 2015

10. 照井康仁
4 Hyper-CVAD±MA療法 2 治療レジメンと治療遂行上の注意点.悪性リンパ腫治療マニュアル 改訂第4版 (飛内賢正, 木下朝博, 塚崎邦弘編集), 東京, 南江堂: 2015

11. 照井康仁
8. 濾胞性リンパ腫の限局期あるいは進行期での標準治療は？ B. リンパ腫 VI 造血器がん.EBMがん化学療法・分子標的治療法 (西條長宏監修), 東京, 中外医学社: pp.578-581, 2015

12. 照井康仁
Ibrutinibのリンパ系腫瘍への臨床応用.血液内科. 71(5): 640-643, 2015

13. 照井康仁
リンパ腫学 最新の研究動向 ： リンパ腫の治療 二次性悪性腫瘍.日本臨床. 73(増刊8 リンパ腫学): 483-487, 2015

14. 照井康仁
外来で診るリンパ腫・骨髄腫-治癒または長期共存を目指して ： リンパ系腫瘍に関する治療開発のトピックス B細胞受容体およびTLRシグナルとその阻害薬開発.Medicina. 52(12): 2190-2194, 2015

15. 照井康仁
多発性骨髄腫の病態と最新治療-基礎と臨床の最新情報- ： 診断と治療研究　治療　多発性骨髄腫のエピジェネティック変化とHDAC阻害薬の効果.日本臨床. 73(1): 124-129, 2015

16. 照井康仁
抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして- ： 系統別抗がん剤の副作用　化学療法薬　代謝拮抗剤　シチジン系.日本臨床. 73(増刊2 抗がん剤の副作用と支持療法): 159-161, 2015

17. 照井康仁
新規ターゲットおよび医薬品による血液がん治療の新たな展開 ： 新規抗CD20抗体によるCLL

治療の新たな展開.血液内科. 70(2): 192-196, 2015

18. 照井康仁
眼で見る血液領域の分子標的治療薬.血液領域の分子標的薬（最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC ; 102) (畠清彦編集), 大阪, 最新医学社: pp.7-10, 2015

19. 照井康仁
臨床編：安全性 1. レナリドミドの副作用マネジメント.IMiDs基礎と臨床：免疫調節役：immunomodulatory drugs (赤司浩一総監修), 東京, メディカルレビュー社: pp.202-207, 2015

20. 畠清彦
リンパ腫学 最新の研究動向 ： リンパ腫の治療 抗体療法　新規抗体薬の開発.日本臨床. 73(増刊8 リンパ腫学): 414-418, 2015

21. 西村倫子, 畠清彦, 照井康仁, 横山雅大, 三嶋裕子, 上田響子, 新田英明, 三嶋雄二
多発性骨髄腫の化学療法感受性の予後因子としても次世代シークエンサーの有用性と臨床応用の可能性の検討.大和証券ヘルス財団研究業績集, (38): 83-85, 2015

総合腫瘍科

1. Araki, K., Ishida, N., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Ito, Y., Ohno, S.
Efficacy of fulvestrant 500 mg in Japanese postmenopausal advanced/recurrent breast cancer patients and factors associated with prolonged time-to-treatment failure.
Expert Opin. Pharmacother. 16(17): 2561-8, 2015

2. Fukuda, T., Tanabe, M., Kobayashi, K., Fukada, I., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y.
Combination chemotherapy with mitomycin C and methotrexate is active against metastatic HER2-negative breast cancer even after treatment with anthracycline, taxane, capecitabine, and vinorelbine.Springerplus. 4: 376, 2015

3. Kawai, A., Araki, N., Sugiura, H., Ueda, T., Yonemoto, T., Takahashi, M., Morioka, H., Hiraga, H., Hiruma, T., Kunisada, T., Matsumine, A., Tanase, T., Hasegawa, T., Takahashi, S.
Trabectedin monotherapy after standard chemotherapy versus best supportive care in patients with advanced, translocation-related sarcoma: a randomised, open-label, phase 2 study.Lancet Oncol. 16(4): 406-416, 2015

4. Kiyota, N., Schlumberger, M., Muro, K., Ando, Y., Takahashi, S., Kawai, Y., Wirth, L., Robinson, B., Sherman, S., Suzuki, T., Fujino, K., Gupta, A., Hayato, S., Tahara, M.
A subgroup analysis of Japanese patients in a phase 3 study of lenvatinib in radioiodine-refractory differentiated thyroid cancer.Cancer Sci. 106(12): 1714-1721, 2015

5. Kondo, T., Nakazawa, H., Oya, M., Kimura, G., Fujii, Y., Hatano, T., Kawata, N., Kume, H., Morita, M., Nakajima, K., Ohno, Y., Okegawa, T., Takahashi, S., Wakumoto, Y., Horie, S.
Clinical efficacy and prognostic factors of tumor progression in Japanese patients with advanced renal cell carcinoma treated with sorafenib.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(3): 274-280, 2015

6. Koyama, M., Koizumi, M., Umayahara, K., Takeshima, N., Takahashi, S.
Radiation-induced osteosarcoma might mimic metastatic bone lesions: A case with bone scan and FDG PET/CT imaging.Clin. Nucl. Med. 40(5): 427-9, 2015

7. Kurebayashi, J., Miyoshi, Y., Ishikawa, T., Saji, S., Sugie, T., Suzuki, T., Takahashi, S., Nozaki, M., Yamashita, H., Tokuda, Y., Nakamura, S.
Clinicopathological characteristics of breast cancer and trends in the management of breast cancer patients in Japan: Based on the Breast Cancer Registry of the Japanese Breast Cancer Society between 2004 and 2011.Breast Cancer. 22(3): 235-44, 2015

8. Nakano, K., Motoi, N., Takahashi, S.

The CYVADIC regimen as a combination chemotherapy treatment option for advanced soft tissue sarcomas originating from the non-extremities.Internal medicine. 54(2): 187-93, 2015

9. Nakano, K., Motoi, N., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Shimoji, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Differences in the responses and prognoses of pazopanib to soft tissue sarcomas by their histological eligibility for the PALETTE study.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(5): 449-55, 2015

10. Nakayama, Y., Ito, Y., Tanabe, M., Takahashi, S., Hatake, K.
A combination of aprepitant, palonosetron, and dexamethasone prevents emesis associated with anthracycline-containing regimens for patients with breast cancer. A retrospective study.Breast Cancer. 22(2): 177-84, 2015

11. Nishio, M., Horiike, A., Nokihara, H., Horinouchi, H., Nakamichi, S., Wakui, H., Ohyanagi, F., Kudo, K., Yanagitani, N., Takahashi, S., Kuboki, Y., Yamamoto, N., Yamada, Y., Abe, M., Tahata, T., Tamura, T.
Phase I study of the anti-MET antibody onartuzumab in patients with solid tumors and MET-positive lung cancer.Invest. New Drugs. 33(3): 632-640, 2015

12. Nozawa, M., Mukai, H., Takahashi, S., Uemura, H., Kosaka, T., Onozawa, Y., Miyazaki, J., Suzuki, K., Okihara, K., Arai, Y., Kamba, T., Kato, M., Nakai, Y., Furuse, H., Kume, H., Ide, H., Kitamura, H., Yokomizo, A., Kimura, T., Tomita, Y., Ohno, K., Kakehi, Y.
Japanese phase I study of cabazitaxel in metastatic castration-resistant prostate cancer.Int. J. Clin. Oncol. 20(5): 1026-34, 2015

13. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Matsusaka, S., Chin, K., Yamamoto, N., Mizunuma, N.
Does anti-p53 antibody status predict for clinical outcomes in metastatic colorectal cancer patients treated with fluoropyrimidine, oxaliplatin, plus bevacizumab as first-line chemotherapy?BMC Cancer. 15(1): 760, 2015

14. 仲野兼司, 高橋俊二
極める!副作用モニタリング : がん患者の副作用とモニタリング　がん化学療法での副作用モニタリングの実際.調剤と情報. 21(7): 887-890, 2015

15. 小倉真理子
セツキシマブ（アービックス）.インフォームドコンセントのための図説シリーズ：抗悪性腫瘍
薬分子標的治療薬 改訂版 (西條長宏編), 大阪, 医薬ジャーナル社: pp.110-111, 2015

16. 小倉真理子
管理栄養士が届けるおいしい食事　化学療法・放射線療法の副作用別サポートメニュー : 化学療法・放射線療法の食事に影響をおよぼす副作用　化学療法のいま.Nutrition Care. 8(11): 1070-1071, 2015

17. 高橋俊二
ソラフェニブによる分化型甲状腺癌の治療.内分泌・糖尿病・代謝内科. 40(3): 222-227, 2015

18. 高橋俊二
ドライバー変異陽性がんを含む希少がんに対する分子標的治療の開発戦略 : 甲状腺がんに対する分子標的治療薬の開発.腫瘍内科. 15(4): 341-349, 2015

19. 高橋俊二
原発不明がん-診断と治療 : 原発不明がん(Carcinoma of unknown primary,CUP)の診断.ライフライン21がんの先進医療. 18: 14-16, 2015

20. 高橋俊二
抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして- : 系統別抗がん剤の副作用　サイトカイン　インターフェロン、イ

ンターロイキン-2.日本臨床. 73(増刊2 抗がん剤の副作用と支持療法): 322-328, 2015

21. 高橋俊二
甲状腺癌 : レンビマ　レンビマの臨床試験.クリニシアン. 62(8): 823-828, 2015

22. 高橋俊二
骨粗鬆症に併存する他科疾患 その骨病態と対応：悪性腫瘍の骨転移.骨粗鬆症治療. 14(3): 234-239, 2015

23. 高橋俊二
「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015」をめぐって : 治療関連骨粗鬆症　性ホルモン低下療法.Clinical Calcium. 25(9): 1357-1365, 2015

総合内科

1. 中山耕之介
痛風・高尿酸血症治療薬ほか.
治療薬マニュアル2015 (高久史麿, 矢崎義雄監修, 北原光夫, 上野文昭, 越前宏俊編集), 東京, 医学書院: 2015

2. 中山耕之介
第12章 整形外科（骨・関節）疾患.
薬学生のための新臨床医学：症候および疾患とその治療 第2版 (市田公美, 細山田真編集), 東京, 廣川書店: 2015

麻酔科

1. Arima, T., Nagata, O., Sakaida, K., Miura, T., Kakuchi, H., Ikeda, K., Mizushima, T., Takahashi, A.
Relationship between duration of prehospital resuscitation and favorable prognosis in ventricular fibrillation.Am. J. Emerg. Med. 33(5): 677-81, 2015

2. Yoshimura, M., Iizaka, S., Kohno, M., Nagata, O., Yamasaki, T., Mae, T., Haruyama, N., Sanada, H.
Risk factors associated with intraoperatively acquired pressure ulcers in the park-bench position: a retrospective study.Int. Wound. J.: in press, 2015

3. 川口昌彦, 吉谷健司, 石田和慶, 横田美幸, 上園晶一, 野村実
脳代謝モニタリングの適応について 本邦における周術期の近赤外線脳酸素モニター使用の現状.日本臨床麻酔学会誌. 35(5): 651-659, 2015

4. 横田美幸, 森野良蔵, 関誠
日本のMAC(monitored anesthesia care)をどうするか?： 鎮静とMAC、そして日本での日常臨床への導入.麻酔. 64(3): 236-242, 2015

5. 横田美幸, 大里彰二郎, 森野良蔵, 長田理, 関誠
脳代謝モニタリングの適応について 近赤外分光法(near-infrared spectroscopy:NIRS)モニターの一般臨床と診療報酬.日本臨床麻酔学会誌. 35(5): 643-650, 2015

6. 横田美幸, 森野良蔵, 大里彰二郎, 関誠
麻酔科医からの術前NPO(禁飲食)指示と術前食事療養の考え方.日本臨床麻酔学会誌. 35(2): 272-278, 2015

腫瘍精神科

1. 山田健志, 佐伯吉規
せん妄-身体疾患としての視点から～多職種チームでサインを逃さず予後の改善をめざす～緩和ケアでのせん妄.
Medical Alliance. 1(2): 137-141, 2015

2. 織壁里名
脳転移によるてんかん発作にどう対応する？.
がん患者の精神症状はこう診る 向精神薬はこう使う (上村恵一ほか編集), 東京, じほう: pp.312-320, 2015

形成外科

1. Nomura, H., Maeda, T., Usami, T., Abe, A., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K., Umayahara, K., Utsugi, K., Takeshima, N., Sawaizumi, M.
Vulvar reconstruction following surgery for vulvar cancer using a stepladder V-Y advancement medial thigh flap.Int. J. Gynecol. Cancer. 25(8): 1484-7, 2015

2. 今井智浩
乳頭･乳輪再建.

がん研有明病院乳房一次再建術：根治的,整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.242-264, 2015

3. 今井智浩
対側のタッチアップ 1.総論.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.182-183, 2015

4. 今井智浩, 前田拓摩
対側のタッチアップ 2.乳房増大術.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.181-210, 2015

5. 今井智浩
脂肪注入による修正術.がん研有明病院乳房一次再建術：根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.224-239, 2015

6. 倉元有木子
評価・経過観察 2.乳房再建後の整容評価方法.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.171-180, 2015

7. 前田拓摩
インプラント 1.総説.がん研有明病院乳房一次再建術：根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.98-102, 2015

8. 前田拓摩
インプラント 2.SBIの選択.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.102-105, 2015

9. 前田拓摩
インプラント 4.挿入法.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.112-133, 2015

10. 前田拓摩
対側のタッチアップ 3.対側乳房固定術.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.211-222, 2015

11. 塩崎正宗
TE挿入中のMRI禁忌:人体への影響.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.63-64, 2015

12. 宮下宏紀
アロダームとバイクリルメッシュ.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.83-84, 2015

13. 宮下宏紀
両側再建.
がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.148-156, 2015

14. 山下昌宏, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 梁太一
われわれの工夫! 静脈留置針を用いた乳房インプラントでのドレナージ.形成外科. 58(1): 106-108, 2015

15. 山下昌宏
評価・経過観察 1.ベクトラの活用術.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.158-170, 2015

16. 川上順子, 澤泉雅之, 棚倉健太, 前田拓摩, 今井智浩, 松本誠一, 元井紀子
右上腕に発生した浸潤性未分化多形肉腫の広範切除に対し分割広背筋皮弁で再建した1例.形成外科. 58(8): 931-938, 2015

17. 松本綾希子
インプラントの破損と画像診断.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.274-283, 2015

18. 松本綾希子, 柱山紀美江
チーム医療と患者ケア.がん研有明病院乳房一次再建術：根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.266-271, 2015

19. 松本綾希子, 澤泉雅之
乳房再建術の現状.超音波検査技術. 40(3): 304-308, 2015

20. 松本綾希子, 澤泉雅之, 畤田益次郎, 岩瀬拓士
乳癌手術と破損インプラント抜去術を施行した豊胸術後乳癌の1例.日本臨床外科学会雑誌. 76(2): 254-258, 2015

21. 松本綾希子, 澤泉雅之, 梁太一, 岩瀬拓士, 五味直哉
超音波検査により診断可能であったアナトミカル型乳房シリコーンインプラント破損の1例.日本形成外科学会会誌. 35(4): 222-226, 2015

22. 松本綾希子, 棚倉健太, 澤泉雅之, 今井智浩, 前田拓摩, 畤田益次郎, 岩瀬拓士, 新井正美
遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対しリスク低減乳房切除および同時再建を施行した1例.形成外科. 58(4): 439-442, 2015

23. 棚倉健太
インプラント 3.サイズ選択の際のエコーによる計測の有用性.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.106-111, 2015

24. 棚倉健太
ティッシュ·エキスパンダー 1.サイズ選択.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.65-68, 2015

25. 棚倉健太
ティッシュ·エキスパンダー 2.挿入法.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.69-82, 2015

26. 棚倉健太, 澤泉雅之
遺伝性乳癌卵巣癌；遺伝性乳癌に患者における乳房再建の注意点について.癌の遺伝医療 (新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.214-216, 2015

27. 澤泉雅之
ティッシュ·エキスパンダー 3.術後の合併症.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.85-95, 2015

28. 澤泉雅之
乳房再建一般.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.15-29, 2015

29. 澤泉雅之
人工乳房の基礎.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.42-62, 2015

30. 澤泉雅之
周術期管理とインフォームドコンセント.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.30-39, 2015

31. 澤泉雅之
足部の再建 体幹・四肢疾患.形成外科診療ガイドライン (日本形成外科学会編), 東京, 金原出版: pp.132-135, 2015

32. 澤泉雅之編著
インプラント 5.術後の合併症.がん研有明病院乳房一次再建術:根治的, 整容的な乳癌治療をめざして (澤泉雅之編著), 東京, 日本医事新報社: pp.134-145, 2015

眼 科

1. 辻英貴
I 眼瞼腫瘍総論 E 悪性眼瞼腫瘍の治療 II 放射線治療.(眼科臨床エキスパート) 知っておきたい眼腫瘍診療 (大島浩一, 後藤浩編集), 東京, 医学書院: pp.58-61, 2015

2. 辻英貴
III 眼窩腫瘍 G 悪性リンパ腫 3 悪性度の高い悪性リンパ腫.
(眼科臨床エキスパート) 知っておきたい眼腫瘍診療 (大島浩一, 後藤浩編集), 東京, 医学書院: pp.322-325, 2015

3. 辻英貴
III 眼窩腫瘍 I 転移性腫瘍と浸潤性腫瘍 1眼窩転移.(眼科臨床エキスパート) 知っておきたい眼腫瘍診断 (大島浩一, 後藤浩編集), 東京, 医学書院: pp.336-341, 2015

4. 辻英貴
III 眼窩腫瘍総論　E 悪性眼窩腫瘍の治療 IV 薬物療法.
(眼科臨床エキスパート) 知っておきたいがん腫瘍診療 (大島浩一, 後藤浩編集), 東京, 医学書院: pp.131-133, 2015

5. 辻英貴
III 眼窩腫瘍総論 E 悪性眼窩腫瘍の治療 III 放射線治療.(眼科臨床エキスパート) 知っておきたい眼腫瘍診療 (大島浩一, 後藤浩編集), 東京, 医学書院: pp.129-131, 2015

6. 辻英貴
III 薬物療法.(眼科臨床エキスパート) 知っておきたい眼腫瘍診療 (大島浩一, 後藤浩編集), 東京, 医学書院: pp.62-66, 2015

7. 辻英貴
眼部悪性腫瘍-初期臨床診断のポイントと治療 update：わかりやすい臨床講座　眼窩悪性腫瘍.
日本の眼科. 86(1): 29-35, 2015

感染症科

1. Koyama, H., Sanui, M., Saga, T., Harada, S., Ishii, Y., Tateda, K., Lefor, A.K.
A fatal infection caused by sequence type 398 methicillin-resistant Staphylococcus aureus carrying the Panton-Valentine leukocidin gene: A case report in Japan.
J. Infect. Chemother. 21(7): 541-543, 2015

2. 原田壮平
ESBL産生菌感染症治療におけるセファマイシン系抗菌薬の位置づけ.日本医事新報. 4747: 57-8, 2015

3. 原田壮平
MAP 眼で見る血液腫瘍領域の感染症.最新医学別冊 診断と治療のABC; 107 血液腫瘍領域の感染症 (原田壮平企画), 大阪, 最新医学社: pp.7-11, 2015

4. 原田壮平
いま知っておきたい!　内科最新トピックス (第5章)感染症 知っておきたい+α グラム陰性薬剤耐性菌　日本と海外の違い.内科. 116(6): 1102, 2015

5. 原田壮平
免疫不全患者の感染症の考え方.最新医学別冊 診断と治療のABC; 107 血液腫瘍領域の感染症 (原田壮平企画), 大阪, 最新医学社: pp.12-20, 2015

6. 原田壮平
多剤耐性ブドウ糖非発酵菌　①緑膿菌／②アシネトバクター,.感染管理・感染症看護テキスト (大曲貴夫, 操華子), 東京, 照林社: pp.70-74, 2015

7. 原田壮平
感染症診療　それ,ホント?：入院編
Enterobacter属の難治性感染症で,第3世代セファロスポリン系薬が効かなくなることがあるってホント?Medicina. 52(6): 936-939, 2015

8. 河村一郎, 関谷紀貴, 荒岡秀樹, 冲中敬二, 根井貴仁, 原田壮平, 松永直久, 大曲貴夫
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌サーベイランス方法における施設間差の検討.日本環境感染学会誌. 30(4): 268-273, 2015

9. 田中諭
Clinical Question 46 骨髄抑制時の発熱にどう対応するか？　Clinical Question 59 胃がん薬物治療中の患者に起こる感染症をどう見極め, 対応すべきか？.胃がん薬物療法Q&A (佐藤温編), 東京, ヴァンメディカル: pp.132,134,170-172, 2015

漢方サポート科

1. Amitani, M., Amitani, H., Sloan, R.A., Suzuki, H., Sameshima, N., Asakawa, A., Nerome, Y., Owaki, T., Inui, A., Hoshino, E.
The translational aspect of complementary and alternative medicine for cancer with particular emphasis on Kampo.Front. Pharmacol. 6: 150, 2015

2. 井上美貴, 星野惠津夫
チーム医療のなかでの漢方薬の果たす役割：がんの症状と用いる漢方薬.癌と化学療法. 42(13): 2418-2422, 2015

3. 星野惠津夫, 井上美貴, 福元晃, 新見正則
知っておきたい　消化管癌　薬物療法の基本：消化管癌の治療において漢方をどう使うか.

消化器の臨床. 18(5): 487-493, 2015

4. 星野惠津夫, 井上美貴
胃癌の診療：胃癌の治療　胃癌治療における漢方の役割.臨床消化器内科. 30(7): 912-916, 2015

5. 星野惠津夫著
症例から学ぶ漢方サポート. 東京, 南山堂: 195p., 2015

6. 静貴生, 井上美貴, 徳原真, 福元晃, 星野惠津夫
口訣「ばね指に当帰四逆加呉茱萸生姜湯」の検討.漢方の臨床. 62(1): 103-111, 2015

緩和治療科

1. 佐伯吉規
緩和ケア口伝　現場で広がるコツとご法度(第2巻) 緩和領域におけるせん妄患者にクエチアピン(セロクエル).緩和ケア. 25(2): 137-138, 2015

2. 星野奈月, 櫻井宏樹, 羽山ブライアン, 安井玲子
Cancer Board Conference(case2) がん研有明病院グランドカンファランス：がん疼痛緩和治療経過中にリステリア髄膜炎を合併した左腸骨難骨肉腫の一例.Cancer Board Square. 1(1): 15-31, 2015

3. 櫻井宏樹
がんサバイバーシップ-がんサバイバーのいきるを支える：がんサバイバーの身体の痛みを支える.医学のあゆみ. 252(13): 1255-1258, 2015

4. 櫻井宏樹
がん患者の痛み管理：がん性痛治療での患者自己調節鎮痛法Patient-Controlled Analgesia(PCA).ペインクリニック. 36(4): 443-448, 2015

5. 櫻井宏樹
痛み治療に関わるドラッグデリバリーシステム ： 経皮吸収型オピオイド製剤.麻酔. 64(11): 1145-1150, 2015

6. 櫻井宏樹
緩和ケア臨床日々の悩む場面のコントラバーシー-続けるのかやめるのか、治療するのかしないのか、難しい場面でわたしはこうしている ：(第I部)「やめどき」について悩む場面　これまで行っていた治療・ケアを続けるのかやめるのか? 骨関連事象予防のために投与されていたビスホスホネートとデノスマブ(ランマーク)のやめどき.緩和ケア. 25(6月増刊): 002-005, 2015

放射線治療部

1. Ishihara, S., Matsusaka, S., Kondo, K., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shinbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Nakajima, T., Watanabe, T.
A phase I dose escalation study of oxaliplatin plus oral S-1 and pelvic radiation in patients with locally advanced rectal cancer (SHOGUN trial).Radiat. Oncol. 10(1): 24, 2015

2. Makita, M., Sakai, T., Kataoka, A., Kitagawa, D., Ogiya, A., Morizono, H., Miyagi, Y., Iijima, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Araki, K., Takahashi, S., Ito, Y., Gomi, N., Oguchi, M., Kita, M., Arai, M., Akiyama, F., Iwase, T.
Decreased hormonal sensitivity after childbirth rather than the tumor size influences the prognosis of very young breast cancer patients.Springerplus. 4: 365, 2015

3. Matsusaka, S., Ishihara, S., Kondo, K., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shimbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Nakajima, T., Watanabe, T.
A multicenter phase II study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 plus oxaliplatin for locally advanced rectal cancer (SHOGUN trial).
Radiother. Oncol. 116(2): 209-13, 2015

4. Mizowaki, T., Aoki, M., Nakamura, K., Yorozu, A., Kokubo, M., Karasawa, K., Kozuka, T., Nakajima, N., Sasai, K., Akimoto, T.

Current status and outcomes of patients developing PSA recurrence after prostatectomy who were treated with salvage radiotherapy: a JROSG surveillance study.J. Radiat. Res. 56(4): 750-6, 2015

5. Murofushi, K.N., Oguchi, M., Gosho, M., Kozuka, T., Sakurai, H.
Radiation-induced bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) syndrome in breast cancer patients is associated with age.Radiat. Oncol. 10(1): 103, 2015

6. Nagata, Y., Hiraoka, M., Shibata, T., Onishi, H., Kokubo, M., Karasawa, K., Shioyama, Y., Onimaru, R., Kozuka, T., Kunieda, E., Saito, T., Nakagawa, K., Hareyama, M., Takai, Y., Hayakawa, K., Mitsuhashi, N., Ishikura, S.
Prospective trial of stereotactic body radiation therapy for both operable and inoperable T1N0M0 non-small cell lung cancer: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG0403.Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys. 93(5): 989-96, 2015

7. Nose, T., Otani, Y., Asahi, S., Tsukiyama, I., Dokiya, T., Saeki, T., Fukuda, I., Sekine, H., Shikama, N., Kumazaki, Y., Takahashi, T., Yoshida, K., Kotsuma, T., Masuda, N., Yoden, E., Nakashima, K., Matsumura, T., Nakagawa, S., Tachiiri, S., Moriguchi, Y., Itami, J., Oguchi, M.
A Japanese prospective multi-institutional feasibility study on accelerated partial breast irradiation using interstitial brachytherapy: clinical results with a median follow-up of 26 months.Breast Cancer: in press, 2015

8. Otani, Y., Nose, T., Dokiya, T., Saeki, T., Kumazaki, Y., Asahi, S., Tsukiyama, I., Fukuda, I., Sekine, H., Shikama, N., Takahashi, T., Yoshida, K., Kotsuma, T., Masuda, N., Yoden, E., Nakashima, K., Matsumura, T., Nakagawa, S., Tachiiri, S., Moriguchi, Y., Itami, J., Oguchi, M.
A Japanese prospective multi-institutional feasibility study on accelerated partial breast irradiation using interstitial brachytherapy: treatment planning and quality assurance.Radiat. Oncol. 10: 126, 2015

9. Sakai, T., Nishimura, S., Ogiya, A., Tanabe, M., Kimura, K., Morizono, H., Iijima, K., Miyagi, Y., Makita, M., Ito, Y., Oguchi, M., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Four types of Ipsilateral Breast Tumor Recurrence (IBTR) after breast-conserving surgery: Classification of IBTR based on precise pathological examination.Pathol. Int. 65(3): 113-8, 2015

10. Sasai, K., Oguchi, M.
ISRT: a new radiation therapy for malignant lymphomas : Introduction to the review article by Specht and Yahalom.Int. J. Clin. Oncol. 20(5): 847-8, 2015

11. Sekiguchi, K., Ogawa, Y., Sanuki, N., Arahira, S., Ogo, E., Yoshimura, M., Yamauchi, C., Oguchi, M., Ohsumi, S., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guideline for radiotherapy of breast cancer.Breast Cancer. 22(1): 49-58, 2015

12. Watanabe, T., Itabashi, M., Shimada, Y., Tanaka, S., Ito, Y., Ajioka, Y., Hamaguchi, T., Hyodo, I., Igarashi, M., Ishida, H., Ishihara, S., Ishiguro, M., Kanemitsu, Y., Kokudo, N., Muro, K., Ochiai, A., Oguchi, M., Ohkura, Y., Saito, Y., Sakai, Y., Ueno, H., Yoshino, T., Boku, N., Fujimori, T., Koinuma, N., Morita, T., Nishimura, G., Sakata, Y., Takahashi, K., Tsuruta, O., Yamaguchi, T., Yoshida, M., Yamaguchi, N., Kotake, K., Sugihara, K.
Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) Guidelines 2014 for treatment of colorectal cancer.Int. J. Clin. Oncol. 20(2): 207-39, 2015

13. Yamamoto, S., Masuda, H., Urakami, S., Fujii, Y., Sakamoto, K., Kozuka, T., Oguchi, M., Fukui, I., Yonese, J.
Patient-perceived satisfaction after definitive treatment for men with high-risk prostate cancer: radical prostatectomy vs. intensity-modulated radiotherapy with androgen deprivation therapy.Urology. 85(2): 407-13, 2015

14. 利安隆史
頭頸部癌放射線治療後の晩期障害について教えてください.頭頸部癌Frontier. 3(1): 65-67, 2015

15. 加藤大基
管理栄養士が届けるおいしい食事　化学療法・放射線療法の副作用別サポートメニュー: 化学療法・放射線療法の食事に影響をおよぼす副作用　放射線療法のいま.Nutrition Care. 8(11): 1072-1073, 2015

16. 小口正彦
がん放射線療法: 基礎知識から最新治療まで.Credentials, (82): 6-11, 2015

17. 小口正彦, 原田亜里咲
リンパ腫学-最新の研究動向-: 放射線療法の変遷と展望.日本臨床. 73(増刊8 リンパ腫学): 28-34, 2015

39. 松林史泰, 橋本成世, 上原隆三, 高橋良, 伊藤康, 五月女達子, 関谷結子, 中島大, 北村望, 佐藤智春, 小塚拓洋, 小口正彦
呼吸性移動を伴う肺癌に対するVMATにおける適切な線量計算パラメータ決定方法.日本放射線技術学会雑誌. 71(4): 301-307, 2015

画像診断部

1. Akiyoshi, T., Matsueda, K., Hiratsuka, M., Unno, T., Nagata, J., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Indications for lateral pelvic lymph node dissection based on magnetic resonance imaging before and after preoperative chemoradiotherapy in patients with advanced low-rectal cancer.Ann. Surg. Oncol. 22(Suppl 3): 614-20, 2015

2. Arita, J., Ono, Y., Takahashi, M., Inoue, Y., Takahashi, Y., Matsueda, K., Saiura, A.
Routine preoperative liver-specific magnetic resonance imaging does not exclude the necessity of contrast-enhanced intraoperative ultrasound in hepatic resection for colorectal liver metastasis.Ann. Surg. 262(6): 1086-91, 2015

3. Kanda, H., Furuta, R., Motoi, N., Kakita, T., Sugiura, Y., Unno, T., Matsueda, K., Saiura, A., Sugitani, M., Ishikawa, Y.
A case of inflammatory hepatocellular adenoma displaying an unusual histological pattern.Clin. J. Gastroenterol. 8(6): 426-34, 2015

4. Makita, M., Sakai, T., Kataoka, A., Kitagawa, D., Ogiya, A., Morizono, H., Miyagi, Y., Iijima, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Araki, K., Takahashi, S., Ito, Y., Gomi, N., Oguchi, M., Kita, M., Arai, M., Akiyama, F., Iwase, T.
Decreased hormonal sensitivity after childbirth rather than the tumor size influences the prognosis of very young breast cancer patients.Springerplus. 4: 365, 2015

5. Ono, Y., Matsueda, K., Koga, R., Takahashi, Y., Arita, J., Takahashi, M., Inoue, Y., Unno, T., Saiura, A.
Sinistral portal hypertension after pancreaticoduodenectomy with splenic vein ligation.Br. J. Surg. 102(3): 219-28, 2015

6. Sato, Y., Oikado, K., Tominaga, J., Sakurada, A., Saito, R., Takase, K.
A case of apparent lung adenocarcinoma size reduction during steroid therapy.J. Thorac. Imaging. 30(6): W80-1, 2015

7. 五味直哉
Land-Mark-Paper in Oncology エポックメイカーとなった論文：マンモグラフィ.Cancer Board of the Breast. 1(1): 65, 2015

8. 五味直哉
乳癌診療&治療　最新アップデート: CLINICAL REPORT　MRIを用いたブレスト・インプラント検査の実際.Rad Fan. 13(8): 36-39, 2015

9. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 小林心
乳腺原発の悪性リンパ腫.Cancer Board of the Breast. 1(2): 73-84, 2015

10. 五味直哉
乳腺腫瘍の病理と超音波像(第4回)　乳癌の病理と画像　硬癌.乳腺甲状腺超音波医学.

4(3): 53-55, 2015

11. 五味直哉, 國分優美, 小泉満, 松枝清
臓器別転移性腫瘍の診断法とその典型・非典型像: 乳癌.臨床画像. 31(2): 178-191, 2015

12. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 小林心
転移再発乳癌　長い経過を経て多彩な転移を認めた浸潤性小葉癌の1例.Cancer Board of the Breast. 1(1): 5-17, 2015

13. 叶典子, 五味直哉, 新井正美, 岩瀬拓士
術後サーベイランスで乳房超音波が有用であった遺伝性乳癌の1例.日本臨床外科学会雑誌. 76(12): 2925-2929, 2015

14. 小山眞道, 松枝清, 寺内隆司, 小泉満
再発に挑む! 外科治療の役割: 画像による再発診断.臨床外科. 70(9): 1066-1072, 2015

15. 松枝清, 平塚真生子, 海野俊之
放射線科医に必要なoncologyの基礎と最新の動向: oncologic emergencyの画像診断.臨床画像.
31(8): 970-979, 2015

16. 松枝清, 海野俊之, 平塚真生子
腹膜悪性腫瘍: 腹膜腫瘍の画像診断.外科. 77(10): 1106-1112, 2015

17. 田中宏子
唾液腺腫瘍の画像診断.腫瘍病理鑑別診断アトラス：頭頸部腫瘍 I 唾液腺腫瘍 (森永正二郎, 高田隆, 長尾俊孝編集), 東京, 文光堂: pp.206-209, 2015

18. 田中宏子
頭頸部腫瘍（唾液腺腫瘍を除く）の画像診断.腫瘍病理鑑別診断アトラス：頭頸部腫瘍II 上気道・咽頭・口腔腫瘍と・歯原性腫瘍 (森永正二郎, 高田隆, 長尾俊孝編集), 東京, 文光堂: pp.252-256, 2015

19. 田中宏子, 松枝清
鼻副鼻腔領域の画像診断 minimum requirement： 鼻副鼻腔の悪性腫瘍　非扁平上皮癌.画像診断. 35(1): 87-97, 2015

20. 負門克典, 冨永循哉, 佐藤嘉尚
主たる胸部CT所見による鑑別診断
-カテゴリー別に整理する-: 肺の石灰化・骨化.臨床画像. 31(9): 1124-1139, 2015

画像診断センター

1. Koizumi, M., Wagatsuma, K., Miyaji, N., Murata, T., Miwa, K., Takiguchi, T., Makino, T., Koyama, M.
Evaluation of a computer-assisted diagnosis system, BONENAVI version 2, for bone scintigraphy in cancer patients in a routine clinical setting.Ann. Nucl. Med. 29(2): 138-148, 2015

2. Koizumi, M., Miyaji, N., Murata, T., Motegi, K., Miwa, K., Koyama, M., Terauchi, T., Wagatsuma, K., Kawakami, K., Richter, J.
Evaluation of a revised version of computer-assisted diagnosis system, BONENAVI version 2.1.7, for bone scintigraphy in cancer patients.Ann. Nucl. Med. 29(8): 659-65, 2015

3. 三輪建太, 宮司典明, 梅田拓朗, 村田泰輔, 我妻慧, 佐々木雅之
PET特集: 腫瘍PET/CTにおける定量性向上に向けて　治療効果判定での利用.医学物理. 35(1): 30-38, 2015

4. 三輪建太, 赤松剛, 村田泰輔, 梅田拓朗, 我妻慧, 宮司典明, 佐々木雅之
腫瘍PET/CTにおける最新の技術的トピックス PSF補正とTOF補正.臨床放射線. 60(6): 787-795, 2015

5. 梅田拓朗, 三輪建太, 牧野朋子, 村田泰輔, 宮司典明, 滝口智洋
頭頸部腫瘍の撮影技術・治療技術：PET撮影技術.Journal of total medical imaging technology. 26(1): 18-23, 2015

6. 秋本健太
表示付認証機器57Co面線源の安全取扱いに関するガイドランの策定.核医学技術. 35(1): 107-111, 2015

核医学部

1. Koizumi, M., Wagatsuma, K., Miyaji, N., Murata, T., Miwa, K., Takiguchi, T., Makino,

T., Koyama, M.
Evaluation of a computer-assisted diagnosis system, BONENAVI version 2, for bone scintigraphy in cancer patients in a routine clinical setting.Ann. Nucl. Med. 29(2): 138-148, 2015

2. Koizumi, M., Miyaji, N., Murata, T., Motegi, K., Miwa, K., Koyama, M., Terauchi, T., Wagatsuma, K., Kawakami, K., Richter, J.
Evaluation of a revised version of computer-assisted diagnosis system, BONENAVI version 2.1.7, for bone scintigraphy in cancer patients.Ann. Nucl. Med. 29(8): 659-65, 2015

3. Koyama, M., Koizumi, M., Umayahara, K., Takeshima, N., Takahashi, S.
Radiation-induced osteosarcoma might mimic metastatic bone lesions: A case with bone scan and FDG PET/CT imaging.Clin. Nucl. Med. 40(5): 427-9, 2015

4. Kubota, K., Matsuno, S., Morioka, N., Adachi, S., Koizumi, M., Seto, H., Kojo, M., Nishioka, S., Nishimura, M., Yamamoto, H.
Impact of FDG-PET findings on decisions regarding patient management strategies: a multicenter trial in patients with lung cancer and other types of cancer.Ann. Nucl. Med. 29(5): 431-41, 2015

5. Miwa, K., Inubushi, M., Takeuchi, Y., Katafuchi, T., Koizumi, M., Saga, T., Sasaki, M.
Performance characteristics of a novel clustered multi-pinhole technology for simultaneous high-resolution SPECT/PET.Ann.
Nucl. Med. 29(5): 460-6, 2015

6. Saga, T., Inubushi, M., Koizumi, M., Yoshikawa, K., Zhang, M.R., Tanimoto, K., Horiike, A., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Nishio, M.
Prognostic value of F-fluoroazomycin arabinoside PET/CT in patients with advanced non-small-cell lung cancer.Cancer Sci. 106(11): 1554-60, 2015

7. Sugyo, A., Tsuji, A.B., Sudo, H., Okada, M., Koizumi, M., Satoh, H., Kurosawa, G., Kurosawa, Y., Saga, T.
Evaluation of efficacy of radioimmunotherapy with 90Y-labeled fully human anti-transferrin receptor monoclonal antibody in pancreatic cancer mouse models.PLoS One. 10(4): e0123761, 2015

8. Sugyo, A., Tsuji, A.B., Sudo, H., Nagatsu, K., Koizumi, M., Ukai, Y., Kurosawa, G., Zhang, M.R., Kurosawa, Y., Saga, T.
Preclinical evaluation of 89Zr-labeled human antitransferrin receptor monoclonal antibody as a PET probe using a pancreatic cancer mouse model.Nucl. Med. Commun. 36(3): 286-294, 2015

9. Tateishi, U., Tatsumi, M., Terauchi, T., Ando, K., Niitsu, N., Kim, W.S., Suh, C., Ogura, M., Tobinai, K.
Prognostic significance of metabolic tumor burden by positron emission tomography/computed tomography in patients with relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma.Cancer Sci. 106(2): 186-93, 2015

10. 三輪建太
PET&SPECT装置最先端 4D-PET/CT(呼吸同期の臨床応用に向けて.核医学技術. 35(1): 49, 2015

11. 寺内隆司
リンパ腫学-最新の研究動向- リンパ腫の検査・断　画像診断　CT.日本臨床. 73(増刊8 リンパ学): 291-295, 2015

12. 小山眞道, 松枝清, 寺内隆司, 小泉満
再発に挑む! 外科治療の役割: 画像による再発断.臨床外科. 70(9): 1066-1072, 2015

13. 小泉満
骨転移の診断・治療戦略と核医学 骨転移診断UPDATE.Rad Fan. 13(9): 10-12, 2015

内視鏡診療部

1. Hiki, N., Nunobe, S., Matsuda, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Yamaguchi, T.

Laparoscopic endoscopic cooperative surgery (LECS).Dig. Endosc. 27(2): 197-204, 2015

2. Irino, T., Nunobe, S., Hiki, N., Yamamoto, Y., Hirasawa, T., Ohashi, M., Fujisaki, J., Sano, T., Yamaguchi, T.
Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for duodenal tumors: a unique procedure that helps ensure the safety of endoscopic submucosal dissection.Endoscopy. 47(4): 349-51, 2015

3. Kato, M., Nishida, T., Hamasaki, T., Kawai, N., Yoshio, T., Egawa, S., Yamamoto, K., Ogiyama, H., Komori, M., Nakahara, M., Yabuta, T., Nishihara, A., Hayashi, Y., Yamada, T., Takehara, T.
Outcomes of ESD for patients with early gastric cancer and comorbid liver cirrhosis: a propensity score analysis.Surg. Endosc. 29(6): 1560-6, 2015

4. Mochizuki, S., Uedo, N., Oda, I., Kaneko, K., Yamamoto, Y., Yamashina, T., Suzuki, H., Kodashima, S., Yano, T., Yamamichi, N., Goto, O., Shimamoto, T., Fujishiro, M., Koike, K.
Scheduled second-look endoscopy is not recommended after endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasms (the SAFE trial): a multicentre prospective randomised controlled non-inferiority trial.Gut. 64(3): 397-405, 2015

5. Oka, S., Tanaka, S., Saito, Y., Iishi, H., Kudo, S.E., Ikematsu, H., Igarashi, M., Saitoh, Y., Inoue, Y., Kobayashi, K., Hisabe, T., Tsuruta, O., Sano, Y., Yamano, H., Shimizu, S., Yahagi, N., Watanabe, T., Nakamura, H., Fujii, T., Ishikawa, H., Sugihara, K.
Local recurrence after endoscopic resection for large colorectal neoplasia: a multicenter prospective study in Japan.Am. J. Gastroenterol. 110(5): 697-707, 2015

6. Ono, S., Fujishiro, M., Yoshida, N., Doyama, H., Kamoshida, T., Hirai, S., Kishihara, T., Yamamoto, Y., Sakae, H., Imagawa, A., Hirano, M., Koike, K.
Thienopyridine derivatives as risk factors for bleeding following high risk endoscopic treatments: Safe Treatment on Antiplatelets (STRAP) study.Endoscopy. 47(7): 632-7, 2015

7. Saeki, H., Watanabe, M., Mine, S., Shigaki, H., Oya, S., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Baba, H., Maehara, Y., Sano, T.
Esophagectomy for superficial esophageal cancer after non-curative endoscopic resection.J. Gastroenterol. 50(4): 406-13, 2015

8. Sasaki, T., Kishimoto, S., Kawabata, K., Sato, Y., Tsuchida, T.
Risk factors for cervical lymph node metastasis in superficial head and neck squamous cell carcinoma.J. Med. Dent. Sci. 62(1): 19-24, 2015

9. Tanaka, S., Saitoh, Y., Matsuda, T., Igarashi, M., Matsumoto, T., Iwao, Y., Suzuki, Y., Nishida, H., Watanabe, T., Sugai, T., Sugihara, K., Tsuruta, O., Hirata, I., Hiwatashi, N., Saito, H., Watanabe, M., Sugano, K., Shimosegawa, T.
Evidence-based clinical practice guidelines for management of colorectal polyps.J. Gastroenterol. 50(3): 252-60, 2015

10. Tanaka, S., Kashida, H., Saito, Y., Yahagi, N., Yamano, H., Saito, S., Hisabe, T., Yao, T., Watanabe, M., Yoshida, M., Kudo, S.E., Tsuruta, O., Sugihara, K., Watanabe, T., Saitoh, Y., Igarashi, M., Toyonaga, T., Ajioka, Y., Ichinose, M., Matsui, T., Sugita, A., Sugano, K., Fujimoto, K., Tajiri, H.
JGES guidelines for colorectal endoscopic submucosal dissection/endoscopic mucosal resection.Dig. Endosc. 27(4): 417-34, 2015

11. Tsujii, Y., Nishida, T., Nishiyama, O., Yamamoto, K., Kawai, N., Yamaguchi, S., Yamada, T., Yoshio, T., Kitamura, S., Nakamura, T., Nishihara, A., Ogiyama, H., Nakahara, M., Komori, M., Kato, M., Hayashi, Y., Shinzaki, S., Iijima, H., Michida, T., Tsujii, M., Takehara, T.

Clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal neoplasms: a multicenter retrospective cohort study.Endoscopy. 47(9): 775-83, 2015

12. Wada, Y., Kudo, S.E., Tanaka, S., Saito, Y., Iishii, H., Ikematsu, H., Igarashi, M., Saitoh, Y., Inoue, Y., Kobayashi, K., Hisabe, T., Tsuruta, O., Kashida, H., Ishikawa, H., Sugihara, K.
Predictive factors for complications in endoscopic resection of large colorectal lesions: a multicenter prospective study.Surg. Endosc. 29(5): 1216-22, 2015

13. 五十嵐正広
III 遺伝性腫瘍の臨床 D. 過誤腫性ポリポーシス症候群.癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践 (新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.118-124, 2015

14. 五十嵐正広, 千野晶子, 岸原輝仁, 為我井芳郎
<解説>よくわかる大腸ESD/EMRガイドライン: ESD/EMRの周術期管理.Intestine. 19(5): 467-474, 2015

15. 千野晶子, 森重健二郎, 石川寛高, 岸原輝仁, 為我井芳朗, 五十嵐正広
大腸LST(側方発育型腫瘍)の新展開：発生部位別に見たLSTの特徴.臨床消化器内科. 30(9): 1155-1162, 2015

16. 千野晶子, 藤崎順子
放射線性腸炎.消化器疾患最新の治療 2015-2016 (菅野健太郎ほか編), 東京, 南江堂: pp.259-261, 2015

17. 千野晶子, 五十嵐正広
最新臨床大腸癌学-基礎研究から臨床応用へ-: 大腸癌の検査・診断 原発巣の診断 拡大内視鏡検査によるpit pattern分類を用いた大腸早期癌の深達度診断.日本臨床. 73(増刊4 最新臨床大腸癌学): 273-277, 2015

18. 大隅寛木, 為我井芳郎, 片岡星太, 吉水祥一, 森重健二郎, 金明哲, 石川寛高, 岸原輝仁, 千野晶子, 山本智理子, 五十嵐正広
VI型Pit patternとNBI拡大観察による大腸T1a-b癌の鑑別診断の現状と診断不一致例の検討 ESD症例を中心に.Prog. Dig. Endosc. 87(1): 58-62,2, 2015

19. 大隅寛木, 藤崎順子
「胃炎の京都分類」と血清PG値との相関.胃炎をどうする？：血清ABC検診で内視鏡で：X線で：検診から対策まで (三木一正編), 東京, 日本医事新報社: pp.138-142, 2015

20. 宮城幹史, 為我井芳郎, 金明哲, 千野晶子, 岸原輝仁, 五十嵐正広
SM浸潤を観察し得た直腸SM癌の1例.Prog. Dig. Endosc. 86(1): 202-203,14, 2015

21. 富田英臣, 山本頼正, 藤崎順子, 宮本勇治, 清水智樹, 堀内裕介, 大前雅実, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 五十嵐正広
食道・胃・十二指腸ポリープの鑑別診断：疣状胃炎と胃癌の鑑別診断.消化器内視鏡. 27(1): 93-99, 2015

22. 岸原輝仁, 千野晶子, 五十嵐正広, 森重健二郎, 石川寛高, 為我井芳郎
マルチメディア時代の内視鏡診療：画像ファイリングシステムの特徴 オリンパス Solemio ENDO.消化器内視鏡. 27(11): 1761-1767, 2015

23. 岸原輝仁, 五十嵐正広, 千野晶子, 大隅寛木, 森重健二郎, 石川寛高, 金明哲, 岡本恒平, 為我井芳郎
大腸癌スクリーニングをどうするか：通常内視鏡観察における観察法の基本.消化器内視鏡. 27(4): 629-634, 2015

24. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広
胃癌を探せ！.臨床消化器内科. 30(6): 713-715, 2015

25. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広
胃癌を探せ!(第2回) 胃潰瘍の治療後の定期検査.臨床消化器内科. 30(8): 1113-1116, 2015

26. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広
胃癌を探せ!(第3回) 胃癌の疑いで紹介となった患者.臨床消化器内科. 30(9): 1238-1243, 2015

27. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広

胃癌を探せ!(第4回)　慢性胃炎のスクリーニング内視鏡検査で発見された胃腫瘍.臨床消化器内科. 30(10): 1349-1352, 2015

28. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広, 河内洋
胃癌を探せ!(第5回)　大腸癌術前のスクリーニング内視鏡検査で発見された微小胃癌.臨床消化器内科. 30(11): 1457-1459, 2015

29. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広, 河内洋
胃癌を探せ!(第6回) 胃癌ESD後のスクリーニング内視鏡検査で発見された早期胃癌.臨床消化器内科. 30(12): 1561-1564, 2015

30. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広, 河内洋
胃癌を探せ!(第7回)　慢性胃炎の経過観察中に見つかった微小胃癌.臨床消化器内科. 30(13): 1695-1698, 2015

31. 斉藤裕輔, 岡志郎, 田中信治, 斎藤豊, 池松弘朗, 五十嵐正広, 和田祥城, 工藤進英, 小林清典, 井上雄志, 浦岡俊夫, 飯石浩康, 山野泰穂, 鶴田修, 永田信二, 蔵原晃一, 山口裕一郎, 佐野寧, 樫田博史, 堀松高博, 斎藤彰一, 上野秀樹, 石黒めぐみ, 石川秀樹, 味岡洋一, 大倉康男, 藤盛孝博, 渡邉聡明, 杉原健一
早期大腸癌内視鏡治療後の中・長期経過：内視鏡摘除後大腸T1(SM)癌の転移・再発に関する多施設共同研究　大腸癌研究会プロジェクト研究の結果から.胃と腸. 50(4): 448-456, 2015

32. 為我井芳郎, 福長洋介, 岸原輝仁, 千野晶子, 上野雅資, 五十嵐正広
III 十二指腸・大腸腫瘍に対するLECS：大腸LECS　一内視鏡医の立場から.イラストと写真で見る内視鏡医と外科医のコラボレーション手術 (腹腔鏡・内視鏡合同手術研究会編), 東京, メジカルビュー社: pp.133-149, 2015

33. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 福長洋介, 千野晶子, 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 五十嵐正広
LECS(laparoscopy and endoscopy cooperative surgery)の新たな展開：胃以外への応用　大腸におけるLECS.臨床消化器内科. 30(12): 1551-1559, 2015

34. 為我井芳郎, 岸原輝仁, 福長洋介, 千野晶子, 藤本佳也, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 五十嵐正広
手技の解説　線維化病変に対する大腸ESDのコツと対策.Gastroenterological Endoscopy. 57(3): 259-271, 2015

35. 石川寛高, 千野晶子, 片岡星太, 吉水祥一, 大隅寛木, 森重健二郎, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広
早期大腸低分化腺癌4例の検討.Prog. Dig. Endosc. 87(1): 180-181,15, 2015

36. 福長洋介, 為我井芳郎, 上野雅資, 千野晶子, 五十嵐正広, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志
内視鏡治療-内科と外科のコラボレーション：大腸腫瘍に対するLECS.消化器内視鏡. 27(9): 1573-1579, 2015

遺伝子診療部

1. Makita, M., Sakai, T., Kataoka, A., Kitagawa, D., Ogiya, A., Morizono, H., Miyagi, Y., Iijima, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Araki, K., Takahashi, S., Ito, Y., Gomi, N., Oguchi, M., Kita, M., Arai, M., Akiyama, F., Iwase, T.
Decreased hormonal sensitivity after childbirth rather than the tumor size influences the prognosis of very young breast cancer patients.Springerplus. 4: 365, 2015

2. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Arai, M., Yamaguchi, T.
Feasibility and safety of laparoscopic surgery for metachronous colorectal cancer.Surg. Today. 45(4): 434-8, 2015

3. Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Arai, M., Ueno, M.
Prognostic Impact of Distribution of Lymph Node Metastases in Stage III Colon Cancer.World J. Surg. 39(12): 3008-15, 2015

4. Nomura, S., Fujimoto, Y., Yamamoto, N., Sato, Y., Ashihara, Y., Kita, M., Yamaguchi, J., Ishikawa, Y., Ueno, M., Arai, M.
A case of early onset rectal cancer of Lynch syndrome with a novel deleterious *PMS2*

mutation.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(10): 987-92, 2015

5. Taira, N., Arai, M., Ikeda, M., Iwasaki, M., Okamura, H., Takamatsu, K., Yamamoto, S., Ohsumi, S., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guideline for epidemiology and prevention of breast cancer.Breast Cancer. 22(1): 16-27, 2015

6. Yamaguchi, J., Sato, Y., Kita, M., Nomura, S., Yamamoto, N., Kato, Y., Ishikawa, Y., Arai, M.
A novel deletion in the splice donor site of *MLH1* exon 6 in a Japanese colon cancer patient with Lynch syndrome.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(10): 993-7, 2015

7. 叶典子, 五味直哉, 新井正美, 岩瀬拓士
術後サーベイランスで乳房超音波が有用であった遺伝性乳癌の1例.日本臨床外科学会雑誌. 76(12): 2925-2929, 2015

8. 喜多瑞穂, 新井正美
施設紹介 遺伝子医療部門：がん研有明病院遺伝子診療部.日本遺伝カウンセリング学会誌. 36(1): 83-85, 2015

9. 山口潤也, 新井正美
家族性腫瘍学-家族性腫瘍の最新研究動向-原因遺伝子　SMAD4、BMPR1A.日本臨床. 73(増刊6 家族性腫瘍学): 311-316, 2015

10. 新井正美, 野村幸男
遺伝子関連検査 9. 家族性腫瘍.日常診療のための検査値のみかた (野村文夫ほか編集), 東京, 中外医学社: pp.657-667, 2015

11. 新井正美, 千野晶子, 五十嵐正広, 上野雅資
リンチ症候群のサーベイランスの意義と課題.日本がん検診・診断学会誌. 22(3): 259-267, 2015

12. 新井正美
日本のがん診療UPDATE-連携拠点病院と最新トピックス：がん診療トピックス　がんの遺伝医療と遺伝カウンセリング.医学のあゆみ. 254(9): 642-647, 2015

13. 新井正美, 芦原有美, 喜多瑞穂, 岩瀬拓士, 畤田益次郎, 中島絵里, 竹島信宏, 谷口智子
遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)と遺伝カウンセリング がん専門病院における遺伝性乳がん卵巣がんへの取り組み.日本遺伝カウンセリング学会誌. 36(1): 43-47, 2015

14. 新井正美, 谷口智子, 岩瀬拓士, 竹島信宏
遺伝性乳癌卵巣癌のマネージメント:HBOCに対する診療の流れ.産科と婦人科. 82(6): 611-618, 2015

15. 新井正美編著
癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践. 東京, 南江堂: 256p., 2015

16. 谷口智子, 新井正美, 喜多瑞穂, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 近藤英司, 尾松公平, 加藤一喜, 竹島信宏
遺伝性乳がん・卵巣がん: BRCA1/2変異を確認され、当院で卵巣・卵管がんを治療した10例の臨床経過について.家族性腫瘍. 15(2): 53-57, 2015

臨床試験部

1. Murakoshi H, Akahoshi T, Koyanagi M, Chikata T, Naruto T, Maruyama R, Tamura Y, Ishizuka N, Gatanaga H, Oka S, Takiguchi M., Clinical Control of HIV-1 by Cytotoxic T Cells Specific for Multiple Conserved Epitopes. J Virol.;89(10):5330-9., 2015

2. Sakane N, Kotani K, Takahashi K, Sano Y, Tsuzaki K, Okazaki K, Sato J, Suzuki S, Morita S, Oshima Y, Izumi K, Kato M, Ishizuka N, Noda M, Kuzuya H., Effects of telephone-delivered lifestyle support on the development of diabetes in participants at high risk of type 2 diabetes: J-DOIT1, a pragmatic cluster randomised trial. BMJ Open. 19;5(8): , 2015

集中治療部

1. 山本豊, 久保恒明
人工呼吸器からの離脱に難渋した中枢性睡眠時無呼吸症候群の1例.

日本集中治療医学会雑誌. 22(3): 217-218, 2015

超音波検査

1. Yamada, K., Toda, K., Ebina, A., Motoi, N., Sugitani, I.
Ultrasonographic and non-enhanced CT features of acute transient thyroid swelling following fine-needle aspiration biopsy: report of four cases.J. Med. Ultrason. 42(3): 417-25, 2015

病理部

1. Abe, S., Yamamoto, K., Kurata, M., Abe-Suzuki, S., Horii, R., Akiyama, F., Kitagawa, M.
Targeting MCM2 function as a novel strategy for the treatment of highly malignant breast tumors.Oncotarget. 6(33): 34892-909, 2015

2. Aoki, T., Suzuki, R., Kuwatsuka, Y., Kako, S., Fujimoto, K., Taguchi, J., Kondo, T., Ohata, K., Ito, T., Kamoda, Y., Fukuda, T., Ichinohe, T., Takeuchi, K., Izutsu, K., Suzumiya, J.
Long-term survival following autologous and allogeneic stem cell transplantation for blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm.Blood. 125(23): 3559-62, 2015

3. Araki, K., Ishida, N., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Ito, Y., Ohno, S.
Efficacy of fulvestrant 500 mg in Japanese postmenopausal advanced/recurrent breast cancer patients and factors associated with prolonged time-to-treatment failure.Expert Opin. Pharmacother. 16(17): 2561-8, 2015

4. Araki, K., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Ito, Y.
Trastuzumab rechallenge after lapatinib- and trastuzumab-resistant disease progression in HER2-positive breast cancer.Clin. Breast Cancer. 15(6): 432-9, 2015

5. Basturk, O., Hong, S.M., Wood, L.D., Adsay, N.V., Albores-Saavedra, J., Biankin, A.V., Brosens, L.A., Fukushima, N., Goggins, M., Hruban, R.H., Kato, Y., Klimstra, D.S., Kloppel, G., Krasinskas, A., Longnecker, D.S., Matthaei, H., Offerhaus, G.J., Shimizu, M., Takaori, K., Terris, B., Yachida, S., Esposito, I., Furukawa, T.
A revised classification system and recommendations from the baltimore consensus meeting for neoplastic precursor lesions in the pancreas.Am. J. Surg. Pathol. 39(12): 1730-41, 2015

6. Ebina, A., Sugitani, I., Motoi, N.
Intrathyroidal epithelial thymoma: Carcinoma showing thymus-like differentiation mimicking squamous cell carcinoma of the thyroid.J. Nippon Med. Sch. 82(1): 2-3, 2015

7. Fujibuchi, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Motoi, N., Mukai, H.
Cytogenetic study of secondary malignancy in giant cell tumor.J. Orthop. Sci. 20(1): 217-223, 2015

8. Gorai, A., Sakao, Y., Kuroda, H., Uehara, H., Mun, M., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Masuda, M., Okumura, S.
The clinicopathological features associated with skip N2 metastases in patients with clinical stage IA non-small-cell lung cancer.Eur. J. Cardiothorac. Surg. 47(4): 653-8, 2015

9. Hiyoshi, Y., Schetter, A.J., Okayama, H., Inamura, K., Anami, K., Nguyen, G.H., Horikawa, I., Hawkes, J.E., Bowman, E.D., Leung, S.Y., Harris, C.C.
Increased microRNA-34b and -34c predominantly expressed in stromal tissues is associated with poor prognosis in human colon cancer.PLoS One. 10(4): e0124899, 2015

10. Honma, N., Horii, R., Ito, Y., Saji, S., Younes, M., Iwase, T., Akiyama, F.
Differences in clinical importance of Bcl-2 in breast cancer according to hormone

receptors status or adjuvant endocrine therapy.BMC Cancer. 15(1): 698, 2015

11. Honma, N., Horii, R., Iwase, T., Saji, S., Younes, M., Ito, Y., Akiyama, F.
Ki-67 evaluation at the hottest spot predicts clinical outcome of patients with hormone receptor-positive/HER2-negative breast cancer treated with adjuvant tamoxifen monotherapy.Breast Cancer. 22(1): 71-78, 2015

12. Horii, R., Matsuura, M., Dan, S., Ushijima, M., Uehiro, N., Ogiya, A., Honma, N., Ito, Y., Iwase, T., Yamori, T., Akiyama, F.
Extensive analysis of signaling pathway molecules in breast cancer: association with clinicopathological characteristics.Int. J. Clin. Oncol. 20(3): 490-8, 2015

13. Horii, R., Honma, N., Ogiya, A., Kozuka, Y., Fukuda, T., Yoshida, M., Ohsumi, S., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guideline for pathological diagnosis of breast cancer.Breast Cancer. 22(1): 59-65, 2015

14. Inamura, K., Song, M., Jung, S., Nishihara, R., Yamauchi, M., Lochhead, P., Qian, Z.R., Kim, S.A., Mima, K., Sukawa, Y., Masuda, A., Inamura, Y., Zhang, X., Pollak, M.N., Mantzoros, C.S., Harris, C.C., Giovannucci, E., Fuchs, C.S., Cho, E., Chan, A.T., Wu, K., Ogino, S.
Prediangosis plasma adiponectin in relation to colorectal cancer risk according to KRAS mutation status.J. Natl. Cancer Inst. 108(4): pii: djv363, 2015

15. Inamura, K., Yamauchi, M., Nishihara, R., Kim, S.A., Mima, K., Sukawa, Y., Li, T., Yasunari, M., Zhang, X., Wu, K., Meyerhardt, J.A., Fuchs, C.S., Harris, C.C., Qian, Z.R., Ogino, S.
Prognostic significance and molecular features of signet-ring cell and mucinous components in colorectal carcinoma.Ann. Surg. Oncol. 22(4): 1226-35, 2015

16. Ishihara, S., Matsusaka, S., Kondo, K., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shinbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Nakajima, T., Watanabe, T.
A phase I dose escalation study of oxaliplatin plus oral S-1 and pelvic radiation in patients with locally advanced rectal cancer (SHOGUN trial).Radiat. Oncol. 10(1): 24, 2015

17. Kanda, H., Furuta, R., Motoi, N., Kakita, T., Sugiura, Y., Unno, T., Matsueda, K., Saiura, A., Sugitani, M., Ishikawa, Y.
A case of inflammatory hepatocellular adenoma displaying an unusual histological pattern.Clin. J. Gastroenterol. 8(6): 426-34, 2015

18. Kawachi, H., Eishi, Y., Ueno, H., Nemoto, T., Fujimori, T., Iwashita, A., Ajioka, Y., Ochiai, A., Ishiguro, S., Shimoda, T., Mochizuki, H., Kato, Y., Watanabe, H., Koike, M., Sugihara, K.
A three-tier classification system based on the depth of submucosal invasion and budding/sprouting can improve the treatment strategy for T1 colorectal cancer: a retrospective multicenter study.Mod. Pathol. 28(6): 872-879, 2015

19. Kerr, K.M., Tsao, M.S., Nicholson, A.G., Yatabe, Y., Wistuba, II, Hirsch, F.R., Comittee, I.P., (Nicolson, A.G., Kerr, K.M., Yatabe, Y., Tsao, M.S., Wistuba, I., Hirsch, F.R., Beasley, M.B., Brambilla, E., Botling, J., Chirieac, L.R., Dacic, S., Geisinger, K., Pelosi, G., Ishikawa, Y., Lertprasertsook, N., Moreira, A., Noguchi, M., Petersen, I., Thunnissen, E., To, K.F., Travis, W.D.
Programmed death-ligand 1 immunohistochemistry in lung cancer: In what state is this art?J. Thorac. Oncol. 10(7): 985-9, 2015

20. Kim, S.A., Inamura, K., Yamauchi, M., Nishihara, R., Mima, K., Sukawa, Y., Li, T., Yasunari, M., Morikawa, T., Fitzgerald, K.C.,

Fuchs, C.S., Wu, K., Chan, A.T., Zhang, X., Ogino, S., Qiqn, Z.R.
Loss of CDH1 (E-cadherin) expression is associated with infiltrative tumour growth and lymph node metastasis.Br. J. Cancer. 114(2): 199-206, 2015

21. Kobayashi, H., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Motoi, N., Matsumoto, S.
A clinicopathological analysis of soft tissue sarcoma with telangiectatic changes.Sarcoma. 2015: 740571, 2015

22. Kuroda, H., Sakao, Y., Mun, M., Uehara, H., Nakao, M., Matsuura, Y., Mizuno, T., Sakakura, N., Motoi, N., Ishikawa, Y., Yatabe, Y., Nakagawa, K., Okumura, S.
Lymph node metastases and prognosis in left upper division non-small cell lung cancers: The impact of interlobar lymph node metastasis.PLoS One. 10(8): e0134674, 2015

23. Kuroi, K., Toi, M., Ohno, S., Nakamura, S., Iwata, H., Masuda, N., Sato, N., Tsuda, H., Kurosumi, M., Akiyama, F.
Prognostic significance of subtype and pathologic response in operable breast cancer; a pooled analysis of prospective neoadjuvant studies of JBCRG.Breast Cancer. 22(5): 486-95, 2015

24. Lin, S.Y., Chuang, S.S., Jhuang, J.Y., Sakamoto, K., Takeuchi, K., Bahrami, A., Tsai, C.C.
ALK positive large B-cell lymphoma with a massive neutrophilic infiltrate: report of a case mimicking epithelioid inflammatory myofibroblastic tumour.J. Clin. Pathol. 68(6): 496-498, 2015

25. Lochhead, P., Nishihara, R., Qian, Z.R., Mima, K., Cao, Y., Sukawa, Y., Kim, S.A., Inamura, K., Zhang, X., Wu, K., Giovannucci, E., Meyerhardt, J.A., Chan, A.T., Fuchs, C.S., Ogino, S.
Postdiagnostic intake of one-carbon nutrients and alcohol in relation to colorectal cancer survival.Am. J. Clin. Nutr. 102(5): 1134-41, 2015

26. Makita, M., Sakai, T., Kataoka, A., Kitagawa, D., Ogiya, A., Morizono, H., Miyagi, Y., Iijima, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Araki, K., Takahashi, S., Ito, Y., Gomi, N., Oguchi, M., Kita, M., Arai, M., Akiyama, F., Iwase, T.
Decreased hormonal sensitivity after childbirth rather than the tumor size influences the prognosis of very young breast cancer patients.Springerplus. 4: 365, 2015

27. Matsumoto, K., Maeda, H., Oki, A., Takatsuka, N., Yasugi, T., Furuta, R., Hirata, R., Mitsuhashi, A., Kawana, K., Fujii, T., Iwata, T., Hirai, Y., Yokoyama, M., Yaegashi, N., Watanabe, Y., Nagai, Y., Yoshikawa, H.
Human leukocyte antigen class II DRB1*1302 allele protects against cervical cancer: At which step of multistage carcinogenesis?Cancer Sci. 106(10): 1448-1454, 2015

28. Matsusaka, S., Ishihara, S., Kondo, K., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shimbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Nakajima, T., Watanabe, T.
A multicenter phase II study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 plus oxaliplatin for locally advanced rectal cancer (SHOGUN trial).Radiother. Oncol. 116(2): 209-13, 2015

29. McCleary, N.J., Sato, K., Nishihara, R., Inamura, K., Morikawa, T., Zhang, X., Wu, K., Yamauchi, M., Kim, S.A., Sukawa, Y., Mima, K., Qian, Z.R., Fuchs, C.S., Ogino, S., Meyerhardt, J.A.
Prognostic utility of molecular factors by age at diagnosis of colorectal cancer.Clin. Cancer Res. 22(6): 1489-98, 2015

30. Mima, K., Sukawa, Y., Nishihara, R., Qian, Z.R., Yamauchi, M., Inamura, K., Kim, S.A., Masuda, A., Nowak, J.A., Nosho, K., Kostic, A.D., Giannakis, M., Watanabe, H., Bullman, S., Milner, D.A., Harris, C.C., Giovannucci, E., Garraway, L.A., Freeman, G.J., Dranoff, G.,

Chan, A.T., Garrett, W.S., Huttenhower, C., Fuchs, C.S., Ogino, S.
Fusobacterium nucleatum and T Cells in Colorectal Carcinoma.JAMA Oncol. 1(5): 653-61, 2015

31. Miyauchi, E., Motoi, N., Ono, H., Ninomiya, H., Ohyanagi, F., Nishio, M., Okumura, S., Ichinose, M., Ishikawa, Y.
Distinct characteristics of small cell lung cancer correlate with central or peripheral origin: Subtyping based on location and expression of transcription factor TTF-1.
Medicine (Baltimore). 94(51): e2324, 2015

32. Mori, S., Uehara, H., Motoi, N., Okumura, S.
Pulmonary artery sarcoma presenting as an isolated lung mass.Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg.: in press, 2015

33. Nakada, T., Okumura, S., Kuroda, H., Uehara, H., Mun, M., Takeuchi, K., Nakagawa, K.
Imaging characteristics in ALK fusion-positive lung adenocarcinomas by using HRCT.Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 21(2): 102-108, 2015

34. Nakano, K., Motoi, N., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Shimoji, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Differences in the responses and prognoses of pazopanib to soft tissue sarcomas by their histological eligibility for the PALETTE study.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(5): 449-55, 2015

35. Nakao, M., Hoshi, R., Ishikawa, Y., Matsuura, Y., Uehara, H., Mun, M., Nakagawa, K., Okumura, S.
Prognosis of non-small-cell lung cancer patients with positive pleural lavage cytology.Interact. Cardiovasc. Thorac. Surg. 20(6): 777-782, 2015

36. Nitta, H., Terui, Y., Yokoyama, M., Mishima, Y., Nishimura, N., Ueda, K., Kusano, Y., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Kanda, Y., Hatake, K.
Absolute peripheral monocyte count at diagnosis predicts central nervous system relapse in diffuse large B-cell lymphoma.Haematologica. 100(1): 87-90, 2015

37. Nomura, S., Fujimoto, Y., Yamamoto, N., Sato, Y., Ashihara, Y., Kita, M., Yamaguchi, J., Ishikawa, Y., Ueno, M., Arai, M.
A case of early onset rectal cancer of Lynch syndrome with a novel deleterious *PMS2* mutation.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(10): 987-92, 2015

38. Ogiya, A., Iwase, T., Kitagawa, D., Nakashima, E., Sakai, T., Miyagi, Y., Iijima, K., Morizono, H., Makita, M., Horii, R., Akiyama, F.
Non-sentinel lymph node analysis with one-step nucleic acid amplification in breast cancer patients.Breast. 24(4): 476-80, 2015

39. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Matsusaka, S., Chin, K., Yamamoto, N., Mizunuma, N.
Does anti-p53 antibody status predict for clinical outcomes in metastatic colorectal cancer patients treated with fluoropyrimidine, oxaliplatin, plus bevacizumab as first-line chemotherapy?
BMC Cancer. 15(1): 760, 2015

40. Sakai, T., Nishimura, S., Ogiya, A., Tanabe, M., Kimura, K., Morizono, H., Iijima, K., Miyagi, Y., Makita, M., Ito, Y., Oguchi, M., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T.
Four types of Ipsilateral Breast Tumor Recurrence (IBTR) after breast-conserving surgery: Classification of IBTR based on precise pathological examination.Pathol. Int. 65(3): 113-8, 2015

41. Sakurai, H., Sugimoto, K.J., Shimada, A., Imai, H., Wakabayashi, M., Sekiguchi, Y., Ota, Y., Izutsu, K., Takeuchi, K., Komatsu, N., Noguchi, M.

Primary CNS CCND1/MYC-positive double-hit B-cell lymphoma: A case report and review of the literature.J. Clin. Oncol. 33(19): e77-e83, 2015

42. Samejima, J., Nakao, M., Matsuura, Y., Uehara, H., Mun, M., Nakagawa, K., Motoi, N., Masuda, M., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Prognostic impact of bulky swollen lymph nodes in cN1 non-small cell lung cancer patients.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(11): 1050-4, 2015

43. Sasaki, T., Kishimoto, S., Kawabata, K., Sato, Y., Tsuchida, T.
Risk factors for cervical lymph node metastasis in superficial head and neck squamous cell carcinoma.J. Med. Dent. Sci. 62(1): 19-24, 2015

44. Sato, S., Kawamata, Y., Takahashi, A., Imai, Y., Hanyu, A., Okuma, A., Takasugi, M., Yamakoshi, K., Sorimachi, H., Kanda, H., Ishikawa, Y., Sone, S., Nishioka, Y., Ohtani, N., Hara, E.
Ablation of the $p16^{INK4a}$ tumour suppressor reverses ageing phenotypes of *klotho* mice.Nat. Commun. 6: 7035, 2015

45. Sato, S., Motoi, N., Hiramatsu, M., Miyauchi, E., Ono, H., Saito, Y., Nagano, H., Ninomiya, H., Inamura, K., Uehara, H., Mun, M., Sakao, Y., Okumura, S., Tsuchida, M., Ishikawa, Y.
Pulmonary adenocarcinoma in situ: analyses of a large series with reference to smoking, driver mutations and receptor tyrosine kinase pathway activation.Am. J. Surg. Pathol. 39(7): 912-921, 2015

46. Song, M., Nishihara, R., Wu, K., Qian, Z.R., Kim, S.A., Sukawa, Y., Mima, K., Inamura, K., Masuda, A., Yang, J., Fuchs, C.S., Giovannucci, E.L., Ogino, S., Chan, A.T.
Marine ω-3 polyunsaturated fatty acids and risk of colorectal cancer according to microsatellite instability.J. Natl. Cancer Inst. 107(4): in press, 2015

47. Suzuki, N., Murata-Kamiya, N., Yanagiya, K., Suda, W., Hattori, M., Kanda, H., Bingo, A., Fujii, Y., Maeda, S., Koike, K., Hatakeyama, M.
Mutual reinforcement of inflammation and carcinogenesis by the Helicobacter pylori CagA oncoprotein.Sci. Rep. 5: 10024, 2015

48. Tomita, N., Kodama, F., Tsuyama, N., Sakata, S., Takeuchi, K., Ishibashi, D., Koyama, S., Ishii, Y., Yamamoto, W., Takasaki, H., Hagihara, M., Kuwabara, H., Tanaka, M., Hashimoto, C., Yamazaki, E., Koharazawa, H., Fujimaki, K., Sakai, R., Fujisawa, S., Ishigatsubo, Y.
Biweekly THP-COP therapy for newly diagnosed peripheral T-cell lymphoma patients.Hematol. Oncol. 33(1): 9-14, 2015

49. Toru, S., Uchihara, T., Hara, M., Mae, S., Toru, M., Hirokawa, K., Endo, T., Sugawara, E., Kitagawa, M., Kobayashi, T.
An autopsy case of dementia with lewy bodies with vocal cord abductor paralysis.Eur. Neurol. 74(3-4): 186-187, 2015

50. Travis, W.D., Brambilla, E., Nicholson, A.G., Yatabe, Y., Austin, J.H., Beasley, M.B., Chirieac, L.R., Dacic, S., Duhig, E., Flieder, D.B., Geisinger, K., Hirsch, F.R., Ishikawa, Y., Kerr, K.M., Noguchi, M., Pelosi, G., Powell, C.A., Tsao, M.S., Wistuba, I.
The 2015 World Health Organization Classification of Lung Tumors: Impact of genetic, clinical and radiologic advances since the 2004 classification.J. Thorac. Oncol. 10(9): 1243-60, 2015

51. Tu, H.C., Schwitalla, S., Qian, Z., LaPier, G.S., Yermalovich, A., Ku, Y.C., Chen, S.C., Viswanathan, S.R., Zhu, H., Nishihara, R., Inamura, K., Kim, S.A., Morikawa, T., Mima, K., Sukawa, Y., Yang, J., Meredith, G., Fuchs, C.S., Ogino, S., Daley, G.Q.
LIN28 cooperates with WNT signaling to drive invasive intestinal and colorectal adenocarcinoma in mice and humans.Genes Dev. 29(10): 1074-86, 2015

52. Uehara, Y., Inoue, M., Fukuda, K., Yamakoshi, H., Hosoi, Y., Kanda, H., Oshima,
M., Iwabuchi, Y., Shibata, H.
Inhibition of β-catenin and STAT3 with a curcumin analog suppresses gastric carcinogenesis in vivo.Gastric Cancer. 18(4): 774-83, 2015

53. Uehara, H., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Nakagawa, K., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Prognostic significance of clinical/pathological stage IA non-small-cell lung cancer showing partially solid or solid tumours on radiological exam.Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 21(4): 338-344, 2015

54. Uehara, H., Nakao, M., Mun, M., Nakagawa, K., Nishio, M., Ishikawa, Y., Okumura, S.
Significant prognostic factors for completely resected pN2 non-small cell lung cancer without neoadjuvant therapy.Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 21(4): 345-353, 2015

55. Ueno, H., Konishi, T., Ishikawa, Y., Shimazaki, H., Ueno, M., Aosasa, S., Saiura, A., Hase, K., Yamamoto, J.
Prognostic value of poorly differentiated clusters in the primary tumor in patients undergoing hepatectomy for colorectal liver metastasis.Surgery. 157(5): 899-908, 2015

56. Yamada, K., Toda, K., Ebina, A., Motoi, N., Sugitani, I.
Ultrasonographic and non-enhanced CT features of acute transient thyroid swelling following fine-needle aspiration biopsy: report of four cases.J. Med. Ultrason. 42(3): 417-25, 2015

57. Yamaguchi, J., Sato, Y., Kita, M., Nomura, S., Yamamoto, N., Kato, Y., Ishikawa, Y., Arai, M.
A novel deletion in the splice donor site of *MLH1* exon 6 in a Japanese colon cancer patient with Lynch syndrome.Jpn. J. Clin. Oncol. 45(10): 993-7, 2015

58. Yamaguchi, H., Kawazu, M., Yasuda, T., Soda, M., Ueno, T., Kojima, S., Yashiro, M., Yoshino, I., Ishikawa, Y., Sai, E., Mano, H.
Transforming somatic mutations of mTOR kinase in human cancer.Cancer Sci. 106(12): 1687-92, 2015

58. Yamamoto, Y., Horii, R., Sato, Y., Ikebata, K., Iwase, T., Akiyama, F.
A rare case of basal cell adenoma of the breast.Int. Cancer Conf. J. 4(2): 83-87, 2015

59. Yamashita, H., Ogiya, A., Shien, T., Horimoto, Y., Masuda, N., Inao, T., Osako, T., Takahashi, M., Endo, Y., Hosoda, M., Ishida, N., Horii, R., Yamazaki, K., Miyoshi, Y., Yasojima, H., Tomioka, N.
Clinicopathological factors predicting early and late distant recurrence in estrogen receptor-positive, HER2-negative breast cancer.Breast Cancer: in press, 2015

60. Yoshidaya, F., Hayashi, N., Takahashi, K., Suzuki, K., Akiyama, F., Ishiyama, M., Takahashi, Y., Yoshida, A., Yagata, H., Nakamura, S., Tsunoda, H., Yamauchi, H.
Malignant phyllodes tumor metastasized to the right ventricle: a case report.Surg. Case Rep. 1(1): 121, 2015

61. Yuasa, T., Inoshita, N., Saiura, A., Yamamoto, S., Urakami, S., Masuda, H., Fujii, Y., Fukui, I., Ishikawa, Y., Yonese, J.
Clinical outcome of patients with pancreatic metastases from renal cell cancer.BMC Cancer. 15: 46, 2015

62. Yuasa, T., Inoshita, N., Tanaka, H., Urakami, S., Yamamoto, S., Fujii, Y., Masuda, H., Fukui, I., Ishikawa, Y., Yonese, J.
Surveillance policy for Japanese patients with stage I testicular germ cell cancer in the multi-detector computed tomography era.Int. J. Clin. Oncol. 20(6): 1198-202, 2015

63. 二宮浩範, 石川雄一
肺がんの個別化医療: 個別化医療時代における

肺がんの病理分類.最新医学. 70(12): 2449-2454, 2015

64. 元井紀子, 加藤洋
Lynch症候群の診断における免疫組織化学的染色の意義.癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践 (新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.100-103, 2015

65. 元井紀子
病理診断クイックリファレンス: (第3章)肺・胸膜・縦隔(腫瘍)　カルチノイド腫瘍.病理と臨床. 33(臨増): 26, 2015

66. 元井紀子
病理診断クイックリファレンス: (第3章)肺・胸膜・縦隔(腫瘍)　小細胞癌.病理と臨床. 33(臨増): 27, 2015

67. 冨樫由紀, 竹内賢吾
肺がんの個別化医療: 肺癌における融合型がん遺伝子.最新医学. 70(12): 2489-2497, 2015

68. 加末恒壽, 大石善丈, 兼城英輔, 手島伸一, 長坂徹郎, 福永眞治, 古田則行, 本山悌一, 森谷鈴子, 安田政実, 渡邊壽美子
卵巣.細胞診ガイドライン 1：婦人科・泌尿器 2015年版 (日本臨床細胞学会編集), 東京, 金原出版: pp.110-166, 2015

68. 加藤洋, 元井紀子
Lynch症候群における大腸癌の臨床病理学的特徴.癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践 (新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.97-9, 2015

69. 北川知行
子どもからのがん予防: 小学生のがん教育を考える.癌と化学療法. 42(8): 903-907, 2015

70. 古田玲子
Ⅲ.遺伝性腫瘍の臨床 B.Lynch症候群 4.病理組織学的特徴 b.婦人科癌.癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践 (新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.104-107, 2015

71. 土橋映仁
リンパ腫学-最新の研究動向-: リンパ腫研究の動向　B細胞リンパ腫　次世代シーケンシング

とびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫(DLBCL). 日本臨床. 73(増刊8 リンパ腫学): 149-153, 2015

72. 堀井理絵
乳癌の病理形態と臨床的意義：小葉癌.
乳癌の臨床. 30(5): 411-422, 2015

73. 堀井理絵
乳癌病理診断の進歩：乳管・小葉内増殖性病変の病理診断.
臨床検査. 59(5): 444-449, 2015

74. 小石彩, 岩瀬拓士, 堀井理絵, 秋山太
検診で発見された境界病変の診断と治療 検診で発見された境界病変.
日本乳癌検診学会誌. 24(3): 342-345, 2015

75. 山本智理子, 加藤洋, 石川雄一
胃癌の診療: 胃癌診療に必要な基礎知識　胃癌の組織多様性.
臨床消化器内科. 30(7): 783-786, 2015

76. 河内洋
大腸癌取扱い規約 第8版の改訂のポイント：簇出（budding/sprouting).
大腸疾患NOW 2015 (五十嵐正広, 渡邉聡明, 大倉康男編集), 東京, 日本メディカルセンター: pp.39-43, 2015

77. 河内洋
簇出(budding/sprouting)の意義と評価法.
(日本臨床増刊号）最新臨床大腸癌学：基礎から臨床応用へ 東京, 日本臨床社: pp.358-361, 2015

78. 河内洋
脈管侵襲の評価（特殊染色など）.
(日本臨床増刊号）最新臨床大腸癌学：基礎研究から臨床応用へ 東京, 日本臨床社: pp.351-357, 2015

79. 津山直子
リンパ腫における最近のトピックス: 病型分類のトピックス　濾胞性ヘルパーT細胞を正常対応細胞とするリンパ腫.
病理と臨床. 33(5): 492-497, 2015

80. 津山直子, 竹内賢吾
外来で診るリンパ腫・骨髄腫-治癒または長期共

存を目指して:　リンパ腫診療の進歩　診断と検査 リンパ腫の病型分類と臨床医への要望.
Medicina. 52(12): 2078-2081, 2015

81. 津山直子, 竹内賢吾
悪性リンパ腫病理分類のDiscussion Pointsと合理的な治療開発：節外性T/NK細胞リンパ腫の疾患単位認識と診断上の留意点.
血液内科. 70(1): 70-76, 2015

82. 照屋なつき, 堀井理絵, 木村聖美, 五味直哉, 岩瀬拓士, 秋山太
乳管癌成分と小葉癌成分からなる浸潤性乳癌の1例.
乳癌の臨床. 30(3): 259-264, 2015

83. 石川雄一
肺のWHO分類においてCarcinoidが使い続けらてている経緯.
大腸がんperspective. 2(3): 9-12, 2015

84. 石川雄一
肺癌病理分類の新しい動向.
肺癌. 55(Suppl.): 810-812, 2015

85. 石田直子, 坂井威彦, 荻谷朗子, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
Triple negative乳癌におけるアポクリン癌の予後.
乳癌の臨床. 30(3): 237-241, 2015

細胞診断部

1. 加末恒壽, 大石善丈, 兼城英輔, 手島伸一, 長坂徹郎, 福永眞治, 古田則行, 本山悌一, 森谷鈴子, 安田政実, 渡邊壽美子
卵巣.
細胞診ガイドライン 1：婦人科・泌尿器 2015年版 (日本臨床細胞学会編集), 東京, 金原出版: pp.110-166, 2015

2. 古田則行
外陰・膣・子宮頚部.
細胞診ガイドライン 1：婦人科・泌尿器 2015年版 (日本臨床細胞学会編集), 東京, 金原出版: 2015

3. 古田則行
軟部腫瘍細胞診　その有用性と限界.
Medical Technology. 43(11): 1197-1203, 2015

4. 古田則行
軟部骨.
細胞診ガイドライン 2：乳腺・皮膚・軟部骨 2015年版 (日本臨床細胞学会編集), 東京, 金原出版: 2015

5. 小松京子
世界の臨床検査技師と日本の臨床検査技師.
日本臨床検査同学院通信. 40(春季): 1-4, 2015

6. 小松京子ほか臨床検査技師国家試験問題注解編集委員会編集
臨床検査技師国家試験問題注解2016年版.
東京, 金原出版: 850p., 2015

7. 星利良
臨床検査Q&A アポクリン化生とアポクリン癌の鑑別ポイントは?
Medical Technology. 43(1): 56-57, 2015

8. 杉山裕子
よくわかる検査と診断: (第2章)婦人科腫瘍分野 子宮頸癌　子宮頸部細胞診.
産科と婦人科. 82(Suppl.): 142-146, 2015

9. 杉山裕子
遺伝性腫瘍の臨床 Lynch症候群：婦人科の立場から.
癌の遺伝医療：遺伝子診断に基づく新しい予防戦略と生涯にわたるケアの実践(新井正美編著), 東京, 南江堂: pp.92-96, 2015

10. 鈴木奈緒子, 坂本穆彦, 小松京子, 藤山淳三, 古田則行, 戸田和寿, 元井紀子, 杉山裕子
甲状腺嚢胞の細胞診判定区分　適正か不適正か.
日本臨床細胞学会雑誌. 54(2): 103-106, 2015

栄養管理部

1. 中濱孝志, 望月宏美, 蓑輪雄一, 小川恵, 峯真司, 比企直樹
病態に応じた個別メニューのアプローチ　術後食と栄養管理 ： [Part1] 術後食の検証 胃切除術後分割食の栄養補給と病棟栄養士活動に関する研究報告.
ヒューマンニュートリション. 7(2): 40-44, 2015

2. 中濱孝志, 比企直樹, 峯真司, 望月宏美, 伊沢由紀子, 川名加織, 高木久美, 熊谷厚志, 井田智
病棟単位の多職種連携-栄養の面倒は誰がみるか： 栄養コンシェルジュの病棟栄養管理における役割.
日本静脈経腸栄養学会雑誌. 30(6): 1241-1245, 2015

3. 伊沢由紀子, 熊谷厚志
日本のがん診療UPDATE-連携拠点病院と最新トピックス：背景・周辺領域トピックス　化学療法・放射線療法中の副作用に対する患者への栄養サポート.
医学のあゆみ. 254(9): 826-832, 2015

4. 川名加織, 中濱孝志
管理栄養士が届けるおいしい食事　化学療法・放射線療法の副作用別サポートメニュー ： 頭頸部がん・食道がんの放射線療法患者サポートメニュー.
Nutrition Care. 8(11): 1104-1108, 2015

5. 望月宏美, 中濱孝志, 峯真司, 比企直樹
在宅での栄養管理に関する知識を得よう! :
個々の患者に合わせた多職種連携のテーラーメイドの栄養管理　がん患者の経口摂取を無理なく継続するための取り組み.
地域リハビリテーション. 10(1): 36-40, 2015

6. 比企直樹, 高木久美, 小西毅, 松浦信子
がん研有明病院の大腸がんに向きあう食事：術前術後の疑問に答えます！.
東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2015

7. 比企直樹, 中濱孝志, 高木久美, 井上陽介
がん研有明病院の肝臓がん・胆道がん・膵臓がん治療に向きあう食事.
東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2015

8. 比企直樹, 中濱孝志, 望月宏美, 熊谷厚志
がん研有明病院の胃がん治療に向きあう食事.
東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2015

ＭＥセンター

1. 竹中誠, 布部創也, 比企直樹
CEセッティング.
イラストと写真で見る内視鏡医と外科医のコラボレーション手術（腹腔鏡･内視鏡合同手術研究会編), 東京, メジカルビュー社: pp.150-156, 2015

看護部

1. Yamamoto-Mitani, N., Igarashi, A., Noguchi-Watanabe, M., Takemura, Y., Suzuki, M.
Factors of good collaboration in home-based end-of-life care: A questionnaire survey of Japanese home care nurses, home helpers, and care managers.
Care Manag. J. 16(3): 129-40, 2015

2. 三田聖奈, 宇佐美知香
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト: 卵巣がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 252-254, 2015

3. 上間美夕紀, 稲城陽子, 新橋渉
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト ： 咽頭・喉頭がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 210-212, 2015

4. 倉田貴代美, 小池万理子
緩和ケア特集　まずはここから! 症状別がん看護 ポイントさくさくリスト ： 便秘.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 272-273, 2015

5. 吉宮瑞穂, 井上陽介
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト ： 肝がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 234-236, 2015

6. 吉宮瑞穂, 松村優
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト ： 膵がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 240-242, 2015

7. 吉宮瑞穂, 高橋祐
臓器別がん看護ポイントさくさくリスト：胆道がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 237-239, 2015

8. 大友陽子, 渡邉元己, 小西毅
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 消化管GIST.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 222-224, 2015

9. 小川恵, 峯真司
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 食道がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 216-218, 2015

10. 小田島久美
スタッフのメンタルトラブルを乗り越える!外来看護管理者の手腕 : 苦情をきっかけに落ち込み、イライラが現れた.
継続看護時代の外来看護. 20(2): 066-072, 2015

11. 岩本寿美代, 三上寿美恵
日常ケアでの抗がん薬による曝露・予防対策 : 実践編 曝露を防ぐ日常手技　看護ケア　日常ケアでの曝露対策　"こんなときどうする?".
Expert Nurse. 31(9): 68-74, 2015

12. 布施卓美, 加藤美希子, 秋吉高志
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 大腸がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 225-227, 2015

13. 平川菜穂美, 横山雅大
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 悪性リンパ腫.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 260-262, 2015

14. 後藤志保, 長井優子
放射線有害反応と対策　放射線皮膚炎と対症療法　看護師の立場から.
乳癌の臨床. 30(5): 437-441, 2015

15. 後藤志保
生活をみる!放射線療法の看護ケア(第5回)　子宮頸がんの放射線療法　外照射・腔内照射の特徴を踏まえたセルフケア支援が重要.
緩和ケア. 25(4): 324-329, 2015

16. 後藤志保
緩和ケア特集　ダウンロードしてそのまま使える　がん症状緩和のための各科治療患者説明シート : (3章)骨転移に対する緩和治療　核医学治療(ストロンチウム89Sr内照射).
プロフェッショナルがんナーシング. 5(1): 42-43, 2015

17. 後藤志保
骨転移の生活への影響とケア : 荷重骨の骨折を伴う場合.
がん患者のQOLを高めるための骨転移の知識とケア (梅田恵, 樋口比登実編集), 東京, 医学書院: pp.107-118, 2015

18. 松浦信子
ストーマケアの問題点.
東京ストーマリハビリテーション講習会テキスト. 第26回: 16-17, 2015

19. 松浦千絵, 亀野尾彩, 荻谷朗子
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 乳がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 228-230, 2015

20. 林秀敏, 長崎礼子, 中川一彦
肺がん患者の治療とケアの最前線 : 肺がんの治療法を知る : 免疫療法.
がん看護. 20(6): 619-622, 2015

21. 横田淳子, 小川泉, 山本阿紀子, 高橋顕雅
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト: 子宮(体部・頸部)がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 255-259, 2015

22. 武田知子, 森田幾代, 井上陽介
器械出しの極意　術式の理解、執刀医への配慮、ベテランナースの経験知 : 肝切除術の理解と熟練器械出しへの向上ポイント.
手術看護エキスパート. 9(1): 16-21, 2015

23. 比企直樹, 高木久美, 小西毅, 松浦信子
がん研有明病院の大腸がんに向きあう食事 : 術前術後の疑問に答えます！.
東京, 女子栄養大学出版部: 135p., 2015

24. 水野俊美
緩和・サポーティブケア最前線： (第V章)ケアする人のケア　家族　倫理調整の必要ながん患者家族へのケア　患者への告知を拒む家族.
がん看護. 20(2): 273-276, 2015

25. 水野俊美
緩和ケア特集　ダウンロードしてそのまま使える　がん症状緩和のための各科治療患者説明シート: (2章)痛み(薬物療法以外)の緩和治療　神経ブロック.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(1): 38-39, 2015

26. 清水多嘉子, 長井優子, 稲城陽子
うちの師長会・主任会 学習する組織を目指して：がん研究会有明病院.
看護管理. 25(9): 741-745, 2015

27. 清水多嘉子
トップランナーに聞く.
ナース専科. 35: 65-67, 2015

28. 濱口恵子
公益財団法人 がん研究会有明病院：
がん研有明病院における緩和ケア推進に向けた取り組み：がん看護専門看護師の活動の実際.
medical forum CHUGAI. 19(6): 35-38, 2015

29. 濱口恵子, 稲葉一人
困ったときの倫理コンサルテーションII～終末期に焦点を当てて～: DNAR.
がん看護. 20(1): 67-70, 2015

30. 濱口恵子, 稲葉一人, 板井孝壱郎
困ったときの倫理コンサルテーションII～終末期に焦点を当てて～: セデーション.
がん看護. 20(1): 57-66, 2015

31. 濱口恵子, 稲葉一人, 板井孝壱郎
困ったときの倫理コンサルテーションII～終末期に焦点を当てて～: 事前意思の確認.
がん看護. 20(1): 34-40,43-46, 2015

32. 濱口恵子, 稲葉一人, 板井孝壱郎
困ったときの倫理コンサルテーションII～終末期に焦点を当てて～: 代理人.
がん看護. 20(1): 47-52, 2015

33. 濱口恵子, 稲葉一人
困ったときの倫理コンサルテーションII～終末期に焦点を当てて～: 死亡時の対応.
がん看護. 20(1): 71-72, 2015

34. 濱口恵子
困ったときの倫理コンサルテーションII～終末期に焦点を当てて～: 特集にあたって.
がん看護. 20(1): 1, 2015

35. 濱口恵子
困ったときの倫理コンサルテーションII～終末期に焦点を当てて～資料：終末期における倫理的問題の概要.
がん看護. 20(1): 28-33, 2015

36. 濱口恵子
「患者主体の意思決定」を支え続ける倫理的な組織づくり：外来機能の再編・強化とスタッフ育成の視点から.
看護管理. 25(2): 118-124, 2015

37. 濱口恵子
日本のがん診療UPDATE-連携拠点病院と最新トピックス ： 緩和医療　緩和ケアセンターの紹介.
医学のあゆみ. 254(9): 737-746, 2015

38. 濱口恵子
書評：緩和ケアゴールデンハンドブック 改訂第2版.
がん看護. 20(6): 636, 2015

39. 濱口恵子
東京にマギーズセンターを！.
がん看護. 20(4): 458, 2015

40. 濱野彩, 林達郎
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト: 前立腺がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 249-251, 2015

41. 田村幸子, 中村美穂, 中尾将之
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト：肺がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 231-233, 2015

42. 石田和子, 稲城陽子, 戸田和寿
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 甲状腺がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 213-215, 2015

43. 綿貫恵, 辻浦誠浩, 比企直樹
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイント
さくさくリスト : 胃がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 219-221, 2015

44. 花出正美
がんサバイバーへの看護(Vol.9)　集学的治療とサバイバー支援　分子標的療法.
ナース専科. 35(12): 72-76, 2015

45. 花出正美
がんになっても安心して暮らせる社会に向けてがんサバイバーの支援　看護師の立場から.
ホスピスケア. 26(1): 26-30, 2015

46. 花出正美
日本のがん診療UPDATE-連携拠点病院と最新トピックス : 背景・周辺領域トピックス　がんサバイバーの就労支援.
医学のあゆみ. 254(9): 821-825, 2015

47. 長崎礼子
「漏らさないため」「漏れた時」の対策!血管外漏出の予防・早期発見・対応 : エビデンスに基づく血管外漏出の予防・早期発見・対応.
Oncology Nurse. 8(5): 4-11, 2015

48. 阿部俊子, 山本則子監修, 鈴木美穂, 荒井和子編集
病態関連図が書ける 観察・アセスメントガイド.
東京, 照林社: 247p., 2015

49. 鴫原利洋, 山崎六志
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト: 腎がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 243-245, 2015

50. 鵜沼静香, 稲城陽子, 新橋渉
治療に伴う看護特集　臓器別がん看護 ポイントさくさくリスト : 口腔がん.
プロフェッショナルがんナーシング. 5(3): 207-209, 2015

薬剤部

1. Kawakami, K., Nakamoto, E., Yokokawa, T., Sugita, K., Mae, Y., Hagino, A., Suenaga, M., Mizunuma, N., Oniyama, S., Machida, Y., Yamaguchi, T., Hama, T.
Patients' self-reported adherence to capecitabine on XELOX treatment in metastatic colorectal cancer: findings from a retrospective cohort analysis.
Patient Prefer. Adherence. 9: 561-7, 2015

2. Tagami, K., Mawatari, H., Abe, K., Takeno, N., Syuuto, C., Saito, O., Akagi, T., Matoba, M.
Perospirone exhibits antiemetic efficacy against opioid-induced nausea in patients with advanced cancer.
J Palliat. Med. 18(10): 823-4, 2015

3. Takeno, N., Inujima, A., Shinohara, K., Yamada, M., Shibahara, N., Sakurai, H., Saiki, I., Koizumi, K.
Immune adjuvant effect of Juzentaihoto, a Japanese traditional herbal medicine, on tumor vaccine therapy in a mouse model.
Int. J. Oncol. 47(6): 2115-22, 2015

4. Yamamoto, K., Chiba, N., Chiba, T., Kambe, T., Abe, K., Kawakami, K., Utsunomiya, I., Taguchi, K.
Transient receptor potential ankyrin 1 that is induced in dorsal root ganglion neurons contributes to acute cold hypersensitivity after oxaliplatin administration.
Mol. Pain. 11(1): 69, 2015

5. Yokokawa, T., Kawakami, K., Mae, Y., Sugita, K., Watanabe, H., Suzuki, K., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T., Hama, T.
Risk factors exacerbating hand-foot skin reaction induced by capecitabine plus oxaliplatin with or without bevacizumab therapy.
Ann. Pharmacother. 49(10): 1120-4, 2015

6. 加藤裕久, 吉川貴己, 蓑輪雄一
化学療法を受けるがん患者への支持療法：栄養療法を含めた支持療法に関わる薬剤師、医師の役割.
臨床腫瘍プラクティス. 11(2): 166-172, 2015

7. 川上和宜
がん患者でみられる副作用 ： 末梢神経障害.
調剤と情報. 21(12): 1620-1621, 2015

8. 川上和宜, 濱敏弘
日本のがん診療UPDATE-連携拠点病院と最新トピックス ： 各学会のめざす方向　日本医療薬学会がん専門薬剤師認定制度　がん専門薬剤師、がん指導薬剤師.
医学のあゆみ. 254(9): 769-773, 2015

9. 川上和宜
目から鱗のがん薬物療法　薬学的視点からみたケーススタディ(第1回) 経口抗がん薬のアドヒアランスの評価について.
Cancer Board Square. 1(1): 138-141, 2015

10. 川上和宜, 尾阪将人
薬と検査2015 ：　悪性腫瘍 肝がん.
薬局. 66(4): 1590-1598, 2015

11. 平岡知子
血漿分画製剤の「献血」と「非献血」の違いは?
東京都病院薬剤師会雑誌. 64(4): 360, 2015

12. 庄司大悟, 濱敏弘
抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして-：抗がん剤の副作用に対する評価と処置　抗がん剤の薬物相互作用と副作用.
日本臨床. 73(増刊2 抗がん剤の副作用と支持療法): 85-91, 2015

13. 杉田一男, 岩本寿美代, 蓑輪雄一, 鈴木亘, 萩野茜, 柴田直樹, 濱敏弘
ケモセーフ使用による抗がん薬汚染軽減と準備時間短縮.
日本病院薬剤師会雑誌. 51(6): 735-739, 2015

14. 根本真記
がん治療への薬学的介入と症例サマリ　血液がん化学療法に対する薬学的介入.
薬局. 66(1): 180-186, 2015

15. 鈴木賢一
分子標的治療薬　UP TO DATE ： 肺がん.
Oncology Nurse. 8(6): 14-19, 2015

16. 鈴木賢一
臓器機能低下、合併症、高齢、肥満……患者背景に応じた治療をどう進める?スペシャルポピュレーションのがん薬物療法 ： 予期性悪心・嘔吐への対応.
薬事. 57(10): 1663-1669, 2015

医療安全管理部

1. Kajiura, A., Nagata, O., Takizawa, Y., Nakatomi, T., Kodera, S., Murayama, T.
A large individual variation in both the infusion rate and the blood concentration of rocuronium necessary for obtain adequate surgical muscle relaxation during total intravenous anesthesia with propofol and remifentanil.
J. Anesth. 29(1): 9-14, 2015

2. 長田理
全身麻酔の安全性を向上させるテクノロジー.
麻酔・集中治療とテクノロジー 京都, 日本麻酔・集中治療テクノロジー学会: pp.9-12, 2015

健診センター

1. 土田知宏
生活習慣とがん：喫煙とがん.
成人病と生活習慣病. 45(10): 1193-1197, 2015

2. 鈴木朋子, 今井瑞香, 窪田素子, 北嘉昭, 土田知宏
人間ドック受診者における腫瘍マーカーCA19-9高値例の検討.
人間ドック. 30(1): 22-29, 2015

【 2016年 】

呼吸器内科

1. Azuma, K., Hirashima, T., Yamamoto, N., Okamoto, I., Takahashi, T., Nishio, M., Hirata, T., Kubota, K., Kasahara, K., Hida, T., Yoshioka, H., Nakanishi, K., Akinaga, S., Nishio, K., Mitsudomi, T., Nakagawa, K.
   Phase II study of erlotinib plus tivantinib (ARQ 197) in patients with locally advanced or metastatic EGFR mutation-positive non-small-cell lung cancer just after progression on EGFR-TKI, gefitinib or erlotinib
   ESMO Open, 1(4): e000063. 2016.

2. Crino, L., Ahn, M.J., De Marinis, F., Groen, H.J., Wakelee, H., Hida, T., Mok, T., Spigel, D., Felip, E., Nishio, M., Scagliotti, G., Branle, F., Emeremni, C., Quadrigli, M., Zhang, J., Shaw, A.T.
   Multicenter phase II study of whole-body and intracranial activity with ceritinib in patients with *ALK*-rearranged non-small-cell lung cancer previously treated with chemotherapy and crizotinib: Results rrom ASCEND-2
   J. Clin. Oncol., 34(24): 2866-73. 2016.

3. Goss, G., Tsai, C.M., Shepherd, F.A., Bazhenova, L., Lee, J.S., Chang, G.C., Crino, L., Satouchi, M., Chu, Q., Hida, T., Han, J.Y., Juan, O., Dunphy, F., Nishio, M., Kang, J.H., Majem, M., Mann, H., Cantarini, M., Ghiorghiu, S., Mitsudomi, T.
   Osimertinib for pretreated EGFR Thr790Met-positive advanced non-small-cell lung cancer (AURA2): a multicentre, open-label, single-arm, phase 2 study
   Lancet Oncol., 17(12): 1643-1652. 2016.

4. Goto, K., Ohe, Y., Shibata, T., Seto, T., Takahashi, T., Nakagawa, K., Tanaka, H., Takeda, K., Nishio, M., Mori, K., Satouchi, M., Hida, T., Yoshimura, N., Kozuki, T., Imamura, F., Kiura, K., Okamoto, H., Sawa, T., Tamura, T.
   Combined chemotherapy with cisplatin, etoposide, and irinotecan versus topotecan alone as second-line treatment for patients with sensitive relapsed small-cell lung cancer (JCOG0605): a multicentre, open-label, randomised phase 3 trial
   Lancet Oncol., 17(8): 1147-57. 2016.

5. Hida, T., Nakagawa, K., Seto, T., Satouchi, M., Nishio, M., Hotta, K., Takahashi, T., Ohe, Y., Takeda, K., Tatsuno, M., Asakawa, T., Shimada, T., Tanaka, T., Tamura, T.
   Pharmacologic study (JP28927) of alectinib in Japanese patients with ALK+ NSCLC with or without prior crizotinib therapy
   Cancer Sci., 107(11): 1642-1646. 2016.

6. Horiike, A., Takeuchi, K., Uenami, T., Kawano, Y., Tanioto, A., Kaburaki, K., Tambo, Y., Kudo, K., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Motoi, N., Ishikawa, Y., Horai, T., Nishio, M.
   Sorafenib treatment for patients with *RET* fusion-positive non-small cell lung cancer
   Lung Cancer, 93: 43-46. 2016.

7. Katayama, R., Sakashita, T., Yanagitani, N., Ninomiya, H., Horiike, A., Friboulet, L., Gainor, J.F., Motoi, N., Dobashi, A., Sakata, S., Tambo, Y., Kitazono, S., Sato, S., Koike, S., Iafrate, A.J., Mino-Kenudson, M., Ishikawa, Y., Shaw, A.T., Engleman, J.A., Takeuchi, K., Nishio, M., Fujita, N.
   P-glycoprotein mediates ceritinib resistance in anaplastic lymphoma kinase-rearranged non-small cell lung cancer.
   EBioMedicine, 3: 54-66. 2016.

8. Nishikawa, S., Tambo, Y., Ninomiya, H., Oguri, T., Kawashima, Y., Takano, N., Kitazono, S., Ohyanagi, F., Horiike, A., Yanagitani, N., Ishikawa, Y., Nishio, M.
   A case treated with nivolumab after small cell lung cancer transformation of mutant EGFR non-small cell lung cancer
   Ann. Oncol., 27(12): 2300-2302. 2016.

9. Nishio, M., Goto, K., Chikamori, K., Hida, T., Katakami, N., Maemondo, M., Ohishi, N., Tamura, T.
   Analysis of epidermal growth factor receptor mutations in serum among Japanese patients treated with first-line erlotinib for advanced non-small-cell lung cancer
   Clin. Lung Cancer, 17(1): 24-29. 2016.

10. Nishio, M., Hida, T., Atagi, S., Sakai, H., Nakagawa, K., Takahashi, T., Nogami, N., Saka, H., Takenoyama, M., Maemondo, M., Ohe, Y.,

Nokihara, H., Hirashima, T., Tanaka, H., Fujita, S., Takeda, K., Goto, K., Satouchi, M., Isobe, H., Minato, K., Sumiyoshi, N., Tamura, T.
Multicentre phase II study of nivolumab in Japanese patients with advanced or recurrent non-squamous non-small cell lung cancer
ESMO Open, 1(4): e000108. 2016.

11. Saito, Y., Nagae, G., Motoi, N., Miyauchi, E., Ninomiya, H., Uehara, H., Mun, M., Okumura, S., Ohyanagi, F., Nishio, M., Satoh, Y., Aburatani, H., Ishikawa, Y.
Prognostic significance of CpG island methylator phenotype in surgically resected small cell lung carcinoma
Cancer Sci., 107(3): 320-5. 2016.

12. Sakakibara, R., Inamura, K., Tambo, Y., Ninomiya, H., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Okumura, S., Inase, N., Nishio, M., Motoi, N., Ishikawa, Y.
EBUS-TBNA as a promising method for the evaluation of tumor PD-L1 expression in lung cancer
Clin. Lung Cancer, 18(5): 527-534. 2016.

13. Scagliotti, G., Nishio, M., Satouchi, M., Valmadre, G., Niho, S., Galetta, D., Cortinovis, D., Benedetti, F., Yoshihara, E., Makris, L., Inoue, A., Kubota, K.
A phase 2 randomized study of TAS-102 versus topotecan or amrubicin in patients requiring second-line chemotherapy for small cell lung cancer refractory or sensitive to frontline platinum-based chemotherapy
Lung Cancer, 100: 20-3. 2016.

14. Sekine, I., Sumi, M., Satouchi, M., Tsujino, K., Nishio, M., Kozuka, T., Niho, S., Nihei, K., Yamamoto, N., Harada, H., Ishikura, S., Tamura, T.
Feasibility study of chemoradiotherapy followed by amrubicin and cisplatin for limited-disease small cell lung cancer
Cancer Sci, 107(3): 315-9. 2016.

15. Suzuki, K., Yamanaka, T., Hashimoto, H., Shimada, Y., Arata, K., Matsui, R., Goto, K., Takiguchi, T., Ohyanagi, F., Kogure, Y., Nogami, N., Nakao, M., Takeda, K., Azuma, K., Nagase, S., Hayashi, T., Fujiwara, K., Shimada, T., Seki, N., Yamamoto, N.
Randomized, double-blind, phase III trial of palonosetron versus granisetron in the triplet regimen for preventing chemotherapy-induced nausea and vomiting after highly emetogenic chemotherapy: TRIPLE study
Ann. Oncol., 27(8): 1601-6. 2016.

16. Takeuchi, K., Togashi, Y., Kamihara, Y., Fukuyama, T., Yoshioka, H., Inoue, A., Katsuki, H., Kiura, K., Nakagawa, K., Seto, T., Maemondo, M., Hida, T., Harada, M., Ohe, Y., Nogami, N., Yamamoto, N., Nishio, M., Tamura, T.
Prospective and clinical validation of ALK immunohistochemistry: Results from the phase I/II study of alectinib for ALK-positive lung cancer (AF-001JP study)
Ann. Oncol., 27(1): 185-192. 2016.

17. Tsuji, D., Yokoi, M., Suzuki, K., Daimon, T., Nakao, M., Ayuhara, H., Kogure, Y., Shibata, K., Hayashi, T., Hirai, K., Inoue, K., Hama, T., Takeda, K., Nishio, M., Itoh, K.
Influence of *ABCB1* and *ABCG2* polymorphisms on the antiemetic efficacy in patients with cancer receiving cisplatin-based chemotherapy: a TRIPLE pharmacogenomics study
Pharmacogenomics J.: in press
10.1038/tpj.2016.38. 2016.

18. Yoh, K., Hosomi, Y., Kasahara, K., Yamada, K., Takahashi, T., Yamamoto, N., Nishio, M., Ohe, Y., Koue, T., Nakamura, T., Enatsu, S., Lee, P., Ferry, D., Tamura, T., Nakagawa, K.
A randomized, double-blind, phase II study of ramucirumab plus docetaxel vs placebo plus docetaxel in Japanese patients with stage IV non-small cell lung cancer after disease progression on platinum-based therapy
Lung Cancer, 99: 186-93. 2016.

19. 丹保裕一 , 西尾誠人
肺癌免疫療法の新たな展開: 抗 PD-1 抗体薬の臨床
日本胸部臨床, 75(10): 1095-1101. 2016.

20. 北園聡 , 西尾誠人
Immune checkpoint 阻害薬: 肺がんに対する immune checkpoint 阻害薬の開発状況
腫瘍内科, 17(1): 33-37. 2016.

21. 北園聡 ， 西尾誠人
肺がん薬物治療 2016: ALK 陽性肺がん治療におけるセリチニブの役割
Mebio, 33(6): 68-73. 2016.

22. 小栗知世 ， 西尾誠人
PD-1(programmed cell death-1): 抗 PD-1 抗体の肺癌への応用
BIO Clinica, 31(8): 802-806. 2016.

23. 川嶋庸介, 堀池篤, 西尾誠人
肺癌治療の新しい夜明け: EGFR-TKI 治療の実際
成人病と生活習慣病, 46(4): 466-470. 2016.

24. 工藤慶太 ， 西尾誠人
胸腺上皮性腫瘍の化学療法
コンセンサス癌治療, 14(3): 142-145. 2016.

25. 柳谷典子 ， 西尾誠人
肺癌分子標的治療・免疫療法の最前線: 免疫チェックポイント阻害剤の有用性と安全性　nivolumab を中心に
呼吸器内科, 30(1): 19-22. 2016.

26. 西尾誠人.
がん免疫療法ガイドライン. (日本臨床腫瘍学会編集),
東京: 金原出版, 118p., 2016.

27. 西川晋吾 ， 西尾誠人
固形がん治療-分子標的治療薬を選び、使いこなす技術： 呼吸器科(非扁平上皮肺癌)ALK-TKI を用いるときの薬剤選択　どの薬をどう使う?
臨床腫瘍プラクティス, 12(4): 297-301. 2016.

28. 須永眞司, 杉山温人, 西尾誠人, 吉澤篤人
ガイドラインに基づいた治療戦略と実地診療への活用：座談会　日本から世界への情報発信
Medical Practice, 33(2): 176-194. 2016.

29. 高野夏希, 柳谷典子, 西尾誠人.
ALK 融合遺伝子陽性高齢者肺がんに対する薬物治療.
高齢者肺がん治療の実際. (大江裕一郎編著), 大阪: 医薬ジャーナル社, pp. 119-122.

呼吸器外科

1. Inamura, K., Yokouchi, Y., Sakakibara, R., Kobayashi, M., Subat, S., Ninomiya, H., Nagano, H., Nomura, K., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Relationship of tumor *PD-L1* expression with EGFR wild-type status and poor prognosis in lung adenocarcinoma
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(10): 935-941. 2016.

2. Kuroda, H., Sakao, Y., Mun, M., Motoi, N., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Yatabe, Y., Okumura, S.
Therapeutic value of lymph node dissection for right middle lobe non-small-cell lung cancer
J. Thorac. Dis., 8(5): 795-802. 2016.

3. Mun, M., Matsuura, Y., Nakao, M., Ichinose, J., Nakagawa, K., Okumura, S.
Noninvasive computed tomography-guided marking technique for peripheral pulmonary nodules
J. Thorac. Dis., 8(Suppl 9): S672-s676. 2016.

4. Noma, D., Inamura, K., Mun, M., Terauchi, T., Matsuura, Y., Nakao, M., Ninomiya, H., Nakagawa, K., Masuda, M., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Thymic oncocytic carcinoid with a markedly elevated level of maximum SUV
Pathol. Int., 66(10): 593-595. 2016.

5. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Matsusaka, S., Konishi, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A., Uehara, H., Mun, M., Okumura, S., Mizunuma, N., Miki, Y., Yamaguchi, T.
RAS mutation is a prognostic biomarker in colorectal cancer patients with metastasectomy
Int. J. Cancer, 139(3): 803-11. 2016.

6. Saito, Y., Nagae, G., Motoi, N., Miyauchi, E., Ninomiya, H., Uehara, H., Mun, M., Okumura, S., Ohyanagi, F., Nishio, M., Satoh, Y., Aburatani, H., Ishikawa, Y.
Prognostic significance of CpG island methylator phenotype in surgically resected small cell lung carcinoma
Cancer Sci., 107(3): 320-5. 2016.

7. Sakakibara, R., Inamura, K., Tambo, Y., Ninomiya, H., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ohyanagi, F., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Okumura, S., Inase, N., Nishio, M., Motoi, N., Ishikawa, Y.

EBUS-TBNA as a promising method for the evaluation of tumor PD-L1 expression in lung cancer
Clin. Lung Cancer, 18(5): 527-534. 2016.

8. Samejima, J., Mun, M., Matsuura, Y., Nakao, M., Uehara, H., Nakagawa, K., Masuda, M., Okumura, S.
Thoracoscopic anterior 'fissure first' technique for left lung cancer with an incomplete fissure
J. Thorac. Dis., 8(11): 3105-3111. 2016.

9. Takahashi, Y., Ikeda, N., Nakajima, J., Sawabata, N., Chida, M., Horio, H., Okumura, S., Kawamura, M.
Prognostic Analysis of Surgical Resection for Pulmonary Metastasis from Hepatocellular Carcinoma
World J. Surg., 40(9): 2178-85. 2016.

10. 奥村栄
当院におけるリンパ節転移診断とリンパ節郭清
山梨肺癌研究会会誌, 29: 37-42. 2016.

食道外科

1. Baba, Y., Ishimoto, T., Kurashige, J., Iwatsuki, M., Sakamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Epigenetic field cancerization in gastrointestinal cancers
Cancer Lett., 375(2): 360-6. 2016.

2. Baba, Y., Yoshida, N., Shigaki, H., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Sakamoto, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Prognostic impact of postoperatsve complications in 502 patients with surgically resected esophageal squamous cell carcinoma: A retrospective Single institution study
Ann. Surg., 264(2): 305-11. 2016.

3. Chikamoto, A., Kaida, T., Arima, K., Higashi, T., Taki, K., Ida, S., Okabe, H., Nitta, H., Hayashi, H., Hashimoto, D., Watanabe, M., Beppu, T., Baba, H.
Heat injury to the inferior vena cava by bipolar tissue sealer
Surg. Endosc., 30(4): 1519-22. 2016.

4. Eto, K., Yoshida, N., Iwatsuki, M., Kurashige, J., Ida, S., Ishimoto, T., Baba, Y., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Surgical Apgar Score Predicted Postoperative Morbidity After Esophagectomy for Esophageal Cancer
World J. Surg., 40(5): 1145-51. 2016.

5. Harada, K., Baba, Y., Ishimoto, T., Shigaki, H., Kosumi, K., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
The role of microRNA in esophageal squamous cell carcinoma
J. Gastroenterol., 51(6): 520-530. 2016.

6. Harada, K., Baba, Y., Shigaki, H., Ishimoto, T., Miyake, K., Kosumi, K., Tokunaga, R., Izumi, D., Ohuchi, M., Nakamura, K., Kiyozumi, Y., Kurashige, J., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Sakamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Prognostic and clinical impact of PIK3CA mutation in gastric cancer: pyrosequencing technology and literature review
BMC Cancer, 16: 400. 2016.

7. Harada, K., Ida, S., Baba, Y., Ishimoto, T., Kosumi, K., Tokunaga, R., Izumi, D., Ohuchi, M., Nakamura, K., Kiyozumi, Y., Imamura, Y., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Sakamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Prognostic and clinical impact of sarcopenia in esophageal squamous cell carcinoma
Dis. Esophagus, 29(6): 627-33. 2016.

8. Harada, K., Mine, S., Yamada, K., Shigaki, H., Oya, S., Baba, H., Watanabe, M.
Long-term outcome of esophagectomy for primary malignant melanoma of the esophagus: a single-institute retrospective analysis
Dis. Esophagus, 29(4): 314-9. 2016.

9. Hiyoshi, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Kurashige, J., Karashima, R., Iwagami, S., Baba, Y., Baba, H.
Late recurrence after radical resection of esophageal cancer
World J. Surg., 40(4): 913-920. 2016.

10. Izumi, D., Ishimoto, T., Miyake, K., Sugihara, H., Eto, K., Sawayama, H., Yasuda, T., Kiyozumi, Y., Kaida, T., Kurashige, J., Imamura, Y., Hiyoshi, Y., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Baba, Y., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Takamori, H., Araki, N., Tan, P., Baba, H.
CXCL12/CXCR4 activation by cancer-associated fibroblasts promotes integrin β1 clustering and invasiveness in gastric cancer
Int. J. Cancer, 138(5): 1207-1219. 2016.

11. Izumi, D., Yoshida, N., Watanabe, M., Shiraishi, S., Ishimoto, T., Kosumi, K., Tokunaga, R., Taki, K., Higashi, T., Harada, K., Miyata, T., Ida, S., Imamura, Y., Iwagami, S., Baba, Y., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Yamashita, Y., Baba, H.
Tumor/normal esophagus ratio in ^{18}F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography for response and prognosis stratification after neoadjuvant chemotherapy for esophageal squamous cell carcinoma
J. Gastroenterol., 51(8): 788-95. 2016.

12. Kosumi, K., Baba, Y., Ishimoto, T., Harada, K., Nakamura, K., Ohuchi, M., Kiyozumi, Y., Izumi, D., Tokunaga, R., Taki, K., Higashi, T., Miyata, T., Kurashige, J., Hiyoshi, Y., Iwagami, S., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Neutrophil/lymphocyte ratio predicts the prognosis in esophageal squamous cell carcinoma patients
Surg. Today, 46(4): 405-13. 2016.

13. Kosumi, K., Baba, Y., Ishimoto, T., Harada, K., Nakamura, K., Ohuchi, M., Kiyozumi, Y., Izumi, D., Tokunaga, R., Taki, K., Higashi, T., Miyata, T., Shigaki, H., Kurashige, J., Hiyoshi, Y., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Oki, E., Watanabe, M., Baba, H.
APOBEC$_3$B is an enzymatic source of molecular alterations in esophageal squamous cell carcinoma
Med. Oncol., 33(3): 26. 2016.

14. Kosumi, K., Baba, Y., Ozaki, N., Akiyama, T., Harada, K., Shigaki, H., Imamura, Y., Iwatsuki, M., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Transnasal inner drainage: an option for managing anastomotic leakage after esophagectomy
Langenbecks Arch. Surg., 401(6): 903-8. 2016.

15. Kosumi, K., Baba, Y., Sakamoto, A., Ishimoto, T., Harada, K., Nakamura, K., Kurashige, J., Hiyoshi, Y., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Oki, E., Watanabe, M., Hino, S., Nakao, M., Baba, H.
Lysine-specific demethylase-1 contributes to malignant behavior by regulation of invasive activity and metabolic shift in esophageal cancer
Int. J. Cancer, 138(2): 428-39. 2016.

16. Matsumoto, A., Watanabe, M., Shigaki, H., Nishida, K., Mine, S., Sano, T., Yanaga, K.
Efficacy of staged treatment strategy for patients with synchronous double cancers of the esophagus and head and neck: A retrospective study
World J. Surg., 40(2): 388-394. 2016.

17. Mine, S. , Watanabe, M.
A commentary on "Ten-year follow-up results of a randomized clinical trial comparing left thoracoabdominal and abdominal transhiatal approaches to total gastrectomy for adenocarcinoma of the oesophagogastric junction or gastric cardia"
Transl. Gastroenterol. Hepatol., 1: 12. 2016.

18. Miyamoto, Y., Sakamoto, Y., Ohuchi, M., Tokunaga, R., Shigaki, H., Kurashige, J., Iwatsuki, M., Baba, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Orbital apex syndrome caused by invasive aspergillosis as an adverse effect of systemic chemotherapy for metastatic colorectal cancer: a case report
Anticancer Res., 36(2): 821-3. 2016.

19. Nakamura, K., Baba, Y., Kosumi, K., Harada, K., Shigaki, H., Miyake, K., Kiyozumi, Y., Ohuchi, M., Kurashige, J., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Sakamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Nakao, M., Baba, H.
UHRF1 regulates global DNA hypomethylation and is associated with poor prognosis in esophageal squamous cell carcinoma
Oncotarget, 7(36): 57821-31. 2016.

20. Okamura, A., Watanabe, M., Kurogochi, T., Imamura, Y., Nishida, K., Mine, S.
Mediastinal adiposity influences the technical difficulty of thoracic procedure in minimally invasive esophagectomy
World J. Surg., 40(10): 2398-2404. 2016.

21. Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Imamura, Y., Kurogochi, T., Kitagawa, Y., Sano, T.
Clinical impact of abdominal fat distribution on prognosis after esophagectomy for esophageal squamous cell carcinoma
Ann. Surg. Oncol., 23(4): 1387-1394. 2016.

22. Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Imamura, Y., Kurogochi, T., Kitagawa, Y., Sano, T.
Factors influencing difficulty of the thoracic procedure in minimally invasive esophagectomy
Surg. Endosc., 30(10): 4279-85. 2016.

23. Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Kurogochi, T., Imamura, Y.
Spirometric lung age predicts postoperative pneumonia after esophagectomy
World J. Surg., 40(10): 2412-2418. 2016.

24. Tokunaga, R., Sakamoto, Y., Nakagawa, S., Miyake, K., Izumi, D., Kosumi, K., Taki, K., Higashi, T., Imamura, Y., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Baba, Y., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Oki, E., Watanabe, M., Baba, H.
The prognostic significance of histone lysine demethylase JMJD3/KDM6B in colorectal cancer
Ann. Surg. Oncol., 23(2): 678-85. 2016.

25. Uchihara, T., Imamura, Y., Iwagami, S., Kajihara, I., Kanemaru, H., Karashima, R., Ida, S., Ishimoto, T., Baba, Y., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Iyama, K., Ihn, H., Baba, H.
Small bowel perforation due to indistinguishable metastasis of angiosarcoma: case report and brief literature review
Surg. Case Rep., 2(1): 42. 2016.

26. Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Kurogochi, T., Okamura, A., Imamura, Y.
Reconstruction after esophagectomy for esophageal cancer patients with a history of gastrectomy
Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 64(8): 457-63. 2016.

27. Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Yamada, K., Shigaki, H., Oya, S., Matsumoto, A., Kurogochi, T., Okamura, A., Inamura, Y., Sano, T.
Improvement in short-term outcomes after esophagectomy with a multidisciplinary perioperative care team
Esophagus, 13(4): 337-342. 2016.

28. Yamamura, K., Baba, Y., Nakagawa, S., Mima, K., Miyake, K., Nakamura, K., Sawayama, H., Kinoshita, K., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Sakamoto, Y., Yamashita, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Human microbiome *Fusobacterium Nucleatum* in esophageal cancer tissue Is associated with prognosis
Clin. Cancer Res., 22(22): 5574-5581. 2016.

29. Yoshida, N., Baba, Y., Hiyoshi, Y., Shigaki, H., Kurashige, J., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Iwatsuki, M., Ishimoto, T., Kosumi, K., Sugihara, H., Harada, K., Tokunaga, R., Izumi, D., Watanabe, M., Baba, H.
Duration of smoking cessation and postoperative morbidity after esophagectomy for esophageal cancer: How long should patients stop smoking before surgery?
World J. Surg., 40(1): 142-7. 2016.

30. Yoshida, N., Baba, Y., Shigaki, H., Harada, K., Iwatsuki, M., Kurashige, J., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Ishimoto, T., Kosumi, K., Tokunaga, R., Imamura, Y., Ida, S., Hiyoshi, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Preoperative nutritional assessment by controlling nutritional status (CONUT) is useful to estimate postoperative morbidity after esophagectomy for esophageal cancer
World J. Surg., 40(8): 1910-7. 2016.

31. Yoshida, N., Baba, Y., Shigaki, H., Harada, K., Iwatsuki, M., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Kurashige, J., Kosumi, K., Tokunaga, R., Watanabe, M., Baba, H.
Risk factors of early recurrence within 6 months after esophagectomy following neoadjuvant chemotherapy for resectable advanced esophageal squamous cell carcinoma
Int. J. Clin. Oncol., 21(6): 1071-6. 2016.

32. Yoshida, N., Baba, Y., Shigaki, H., Shiraishi, S., Harada, K., Watanabe, M., Iwatsuki, M., Kurashige, J., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Ishimoto, T., Kosumi, K., Tokunaga, R., Yamashita, Y., Baba, H.
Effect of esophagus position on surgical difficulty and postoperative morbidities after thoracoscopic esophagectomy
Semin. Thorac. Cardiovasc. Surg., 28(1): 172-9. 2016.

33. Yoshida, N., Tamaoki, Y., Baba, Y., Sakamoto, Y., Miyamoto, Y., Iwatsuki, M., Shono, T., Miyamoto, H., Imuta, M., Kurashige, J., Sawayama, H., Tokunaga, R., Watanabe, M., Sasaki, Y., Yamashita, Y., Baba, H.
Incidence and risk factors of synchronous colorectal cancer in patients with esophageal cancer: an analysis of 480 consecutive colonoscopies before surgery
Int. J. Clin. Oncol., 21(6): 1079-1084. 2016.

34. 今村裕
若手外科医の声　医師の社会性向上における環境変化の重要性
日本外科学会雑誌, 117(5): 355-356. 2016.

35. 山口俊晴監修 , 渡邊雅之編集
がん研スタイル 癌の標準手術：食道癌. 東京: メジカルビュー社. 214p., 2016,

36. 峯真司, 渡邊雅之, 新橋渉
イラストで学ぶ消化器外科再建法のすべて: 食道 空腸再建　遊離空腸再建
外科, 78(12): 1294-1297. 2016.

37. 渡邊雅之, 志垣博信, 松本晶, 西田康二郎, 峯真司, 佐野武, 山口俊晴
癌画像診断のコンセンサス　治療方針決定に必要な画像診断の minimum requirement: 食道癌の治療方針決定に必要な画像診断
コンセンサス癌治療, 14(1): 4-7. 2016.

38. 渡邊雅之 , 藤井亜砂美
ベテランナース・ドクターの経験知を可視化!術後ドレーンアセスメント山場マップ: 中下部食道切除・2 領域リンパ節郭清・胃管再建(胸腔内食道胃管吻合)のドレーン
消化器外科 Nursing, 21(6): 539. 2016.

39. 渡邊雅之 , 藤井亜砂美
ベテランナース・ドクターの経験知を可視化!術後ドレーンアセスメント山場マップ：食道亜全摘・3 領域リンパ節郭清・胃管再建(頸部食道胃管吻合)のドレーン
消化器外科 Nursing, 21(6): 538. 2016.

胃外科

1. Berkelmans, G.H., Wilts, B.J., Kouwenhoven, E.A., Kumagai, K., Nilsson, M., Weijs, T.J., Nieuwenhuijzen, G.A., van Det, M.J., Luyer, M.D.
Nutritional route in oesophageal resection trial II (NUTRIENT II): study protocol for a multicentre open-label randomised controlled trial
BMJ Open, 6(8): e011979. 2016.

2. Honda, M., Hiki, N., Kinoshita, T., Yabusaki, H., Abe, T., Nunobe, S., Terada, M., Matsuki, A., Sunagawa, H., Aizawa, M., Healy, M.A., Iwasaki, M., Furukawa, T.A.
Long-term outcomes of laparoscopic versus open surgery for clinical stage I gastric cancer: The LOC-1 study
Ann. Surg., 264(2): 214-22. 2016.

3. Honda, M., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Mine, S., Watanabe, M., Kamiya, S., Irino, T., Sano, T., Yamaguchi, T.
Unplanned admission after gastrectomy as a consequence of fast-track surgery: a comparative risk analysis
Gastric Cancer, 19(3): 1002-7. 2016.

4. Irino, T., Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Sano, T., Yamaguchi, T.
The hit and away technique: optimal usage of the ultrasonic scalpel in laparoscopic gastrectomy
Surg. Endosc., 30(1): 245-50. 2016.

5. Irino, T., Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Tokunaga, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Characteristics of gastric stump cancer: A single hospital retrospective analysis of 262 patients
Surgery, 159(6): 1539-47. 2016.

6. Kumagai, K., Hiki, N., Nunobe, S., Irino, T., Ida, S., Ohashi, M., Yamaguchi, T., Sano, T.
Metastasis to the lymph nodes along the proper hepatic artery from adenocarcinoma of the stomach
Langenbecks Arch. Surg., 401(5): 677-85. 2016.

7. Matsuda, T., Hiki, N., Nunobe, S., Aikou, S., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumors (with video)
Gastrointest. Endosc., 84(1): 47-52. 2016.

8. Matsuda, T., Kurokawa, Y., Yoshikawa, T., Kishi, K., Misawa, K., Ohi, M., Mine, S., Hiki, N., Takeuchi, H.
Clinicopathological characteristics and prognostic factors of patients with siewert type II esophagogastric junction carcinoma: A retrospective multicenter study
World J. Surg., 40(7): 1672-1679. 2016.

9. Nunobe, S., Kumagai, K., Ida, S., Ohashi, M., Hiki, N.
Minimally invasive surgery for stomach cancer
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(5): 395-8. 2016.

10. Nunobe, S. , Sano, T.
Vagus nerve-preserving distal gastrectomy may improve the quality of life after gastrectomy in early stage gastric cancer patients
Transl. Cancer Res., 5(Suppl.4): S882-S884. 2016.

11. Takatsu, Y., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Honda, M., Yamaguchi, T., Nakajima, T., Sano, T.
Clinicopathological features of gastric cancer in young patients
Gastric Cancer, 19(2): 472-8. 2016.

12. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 峯真司
消化器手術のための栄養: 周術期脂肪乳剤投与の意義
外科, 78(8): 811-815. 2016.

13. 井田智, 比企直樹, 熊谷厚志, 峯真司
管理栄養士の専門性を高める: がんの栄養管理 医師の立場から
臨床栄養, 128(1): 23-26. 2016.

14. 佐野武
外科腫瘍学における臨床試験の将来展望
がん分子標的治療, 14(2): 262-264. 2016.

15. 佐野武, 寺島雅典, 福永哲, 西田靖仙
開腹胃癌手術の価値を見直す
胃がん perspective, 8(4): 231-238. 2016.

16. 古川陽菜, 比企直樹, 小菅敏幸, 熊谷厚志, 布部創也, 大橋学
腹腔鏡下胃全摘後,審査腹腔鏡にて発見された無症候性 Petersen's hernia の 1 例
日本外科系連合学会誌, 41(5): 851-857. 2016.

17. 大橋学 , 佐野武
新/アトラスで学ぶ達人の手術: 食道・胃の手術
開腹胃全摘術(他臓器合併切除を含む)
消化器外科, 39(5): 567-575. 2016.

18. 大橋学, 比企直樹, 井田智, 熊谷厚志, 布部創也, 佐野武, 山口俊晴

イラストで学ぶ消化器外科再建法のすべて: 胃幽門保存胃切除術後再建　デルタ吻合,ピアス法
外科, 78(12): 1329-1335. 2016.

19. 安福至 , 比企直樹
"これも知りたい!"+4 術式の術後観察対応スグわかりポイント: 胃部分切除術
消化器外科 Nursing, 21(7): 652-654. 2016.

20. 安福至, 比企直樹, 井田智
悪性消化管狭窄に対する最新マネージメント: 悪性消化管狭窄に対する胃瘻・腸瘻
臨床消化器内科, 31(8): 1103-1108. 2016.

21. 山口俊晴
巻頭言：治療方針決定に必要な画像診断の minimum requirement
コンセンサス癌治療, 14(1): 2-3. 2016.

22. 川勝章司 , 比企直樹
これも知りたい術式イラスト便利帳: 内視鏡腹腔鏡合同手術(LECS)
消化器外科 Nursing, 21(1): 71-73. 2016.

23. 川勝章司 , 比企直樹
術前内視鏡: 完全腹腔鏡下胃切除における術中内視鏡を用いた胃切離ライン決定法の有用性
消化器内視鏡, 28(12): 1962-1966. 2016.

24. 布部創也, 井田智, 熊谷厚志, 比企直樹, 大橋学, 佐野武
食道・胃切除後再建法-最新の定型手技: 胃切除後再建/噴門側胃切除　食道残胃吻合　観音開き法再建
手術, 70(3): 287-291. 2016.

25. 松田達雄, 比企直樹, 布部創也, 安福至, 江藤弘二郎
消化器内視鏡の技術革新-開発秘話と次世代内視鏡医療の構築に向けて: 技術革新と開発秘話
LECS の普及と将来の展望
臨床消化器内科, 31(10): 1359-1363. 2016.

26. 比企直樹
出血させない手術のコツ: 胃癌手術(開腹手術・腹腔鏡下手術)　「奥を作る」「通して切る」操作の重要性
消化器外科, 39(9): 1249-1253. 2016.

27. 比企直樹
必携 腹腔鏡下胃癌手術の完全マスター:ビギナーからエキスパートまで:(PartI)導入～技術認定に向けて 腹腔鏡下胃切除術に挑戦するための準備と心構え
臨床外科, 71(6): 665-670. 2016.

28. 比企直樹 , 谷徹編集
エンドトキシン・自然免疫研究〈19〉新たなる基礎と臨床の架け橋. 東京: 医学図書出版.
62p., 2016.

29. 熊谷厚志, 井田智, 布部創也, 大橋学, 比企直樹, 佐野武, 山口俊晴
Stage IV 胃癌に対する外科治療戦略:　切除不能胃癌に対する外科治療 幽門狭窄胃癌に対するバイパス術
外科, 78(4): 376-380. 2016.

30. 熊谷厚志, 比企直樹, 井田智, 布部創也, 大橋学, 山本頼正, 平澤俊明, 大前雅実, 藤崎順子, 佐野武, 山口俊晴
腹部良性疾患に対する外科治療の最前線: 胃粘膜下腫瘍
外科, 78(1): 23-28. 2016.

31. 熊谷厚志, 比企直樹, 峯真司, 井田智, 望月宏美, 高木久美, 伊丹優貴子, 伊沢由紀子, 蓑輪雄一, 中濱孝志
栄養療法がわかる!できる!プレゼンのカリスマから学ぶ基本知識と症例問題で身につく実践力で、治療がグッとうまくいく!: (第 3 章)症例&問題で身につける栄養療法の実践力　知りたい病態 12 選　化学療法中の栄養療法
レジデントノート, 17(17): 3276-3284. 2016.

32. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 井田智, 大橋学, 山本頼正, 平澤俊明, 大前雅実, 藤崎順子, 佐野武, 山口俊晴
がん低侵襲治療の最新知見: 内視鏡・腹腔鏡合同手術の現状と展望
最新医学, 71(3): 378-385. 2016.

33. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 井田智, 松田達雄, 山本頼正, 平澤俊明, 大前雅実, 藤崎順子, 佐野武, 山口俊晴
粘膜下腫瘍のすべて: 胃粘膜下腫瘍に対する LECS 関連手技
消化器内視鏡, 28(2): 226-232. 2016.

34. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 井田智, 辻浦誠浩
肥満症例における腹腔鏡手術を極め： 肥満症例に対する腹腔鏡下胃切除術
手術, 70(13): 1651-1657. 2016.

35. 辻浦誠浩, 布部創也, 速水克, 安福至, 江藤弘二郎, 比企直樹
内視鏡外科手術の消化管吻合-コツとピットフォール: 食道・胃領域　腹腔鏡下噴門側胃切除術後の再建の適応とその手技
手術, 70(1): 9-15. 2016.

大腸外科

1. Akiyoshi, T.
Technical feasibility of laparoscopic extended surgery beyond total mesorectal excision for primary or recurrent rectal cancer
World J. Gastroenterol., 22(2): 718-26. 2016.

2. Honda, M., Akiyoshi, T., Noma, H., Ogura, A., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Patient-centered outcomes to decide treatment strategy for patients with low rectal cancer
J. Surg. Oncol., 114(5): 630-636. 2016.

3. Ikeda, A., Fukunaga, Y., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.
Laparoscopic right colectomy in patients treated with previous gastrectomy
Surg. Today, 46(2): 209-213. 2016.

4. Ikeda, A., Konishi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Akiyoshi, T., Yamaguchi, T.
Randomized clinical trial of oral and intravenous versus intravenous antibiotic prophylaxis for laparoscopic colorectal resection
Br. J. Surg., 103(12): 1608-15. 2016.

5. Inoue, Y., Ishida, H., Ueno, H., Kobayashi, H., Yamaguchi, T., Konishi, T., Tomita, N., Matsubara, N., Ishida, F., Hinoi, T., Kanemitsu, Y., Watanabe, T., Sugihara, K.
Therapeutic approaches for patients with coexisting familial adenomatous polyposis and colorectal cancer
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(9): 819-24. 2016.

6. Konishi, T., Ishida, H., Ueno, H., Kobayashi, H., Hinoi, T., Inoue, Y., Ishida, F., Kanemitsu, Y., Yamaguchi, T., Tomita, N., Matsubara, N., Watanabe, T., Sugihara, K.
Feasibility of laparoscopic total proctocolectomy with ileal pouch-anal anastomosis and total colectomy with ileorectal anastomosis for familial adenomatous polyposis: results of a nationwide multicenter study
Int. J. Clin. Oncol., 21(5): 953-961. 2016.

7. Matsuda, C., Honda, M., Tanaka, C., Fukunaga, M., Ishibashi, K., Munemoto, Y., Hata, T., Bando, H., Oshiro, M., Kobayashi, M., Tokunaga, Y., Fujii, A., Nagata, N., Oba, K., Mishima, H.
Multicenter randomized phase II clinical trial of oxaliplatin reintroduction as a third- or later-line therapy for metastatic colorectal cancer-biweekly versus standard triweekly XELOX (The ORION Study)
Int. J. Clin. Oncol., 21(3): 566-72. 2016.

8. Murata, A., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagasaki, T., Nagata, J., Ohno, R., Arai, M., Yamaguchi, T.
Clinicopathological characteristics of young patients with sporadic colorectal cancer
Surg. Today, 46(10): 1166-1175. 2016.

9. Niitsu, H., Hinoi, T., Kawaguchi, Y., Ohdan, H., Hasegawa, H., Suzuka, I., Fukunaga, Y., Yamaguchi, T., Endo, S., Tagami, S., Idani, H., Ichihara, T., Watanabe, K., Watanabe, M.
Laparoscopic surgery for colorectal cancer is safe and has survival outcomes similar to those of open surgery in elderly patients with a poor performance status: subanalysis of a large multicenter case-control study in Japan
J. Gastroenterol., 51(1): 43-54. 2016.

10. Ogura, A., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Safety of laparoscopic pelvic exenteration with urinary diversion for colorectal malignancies
World J. Surg., 40(5): 1236-43. 2016.

11. Okuchi, Y., Imajo, M., Mizuno, R., Kamioka, Y., Miyoshi, H., Taketo, M.M., Nagayama, S., Sakai, Y., Matsuda, M.
Identification of Aging-Associated Gene Expression Signatures That Precede Intestinal Tumorigenesis
PLoS One, 11(9): e0162300. 2016.

12. Saito, Y., Hinoi, T., Ueno, H., Kobayashi, H., Konishi, T., Ishida, F., Yamaguchi, T., Inoue, Y., Kanemitsu, Y., Tomita, N., Matsubara, N., Komori, K., Kotake, K., Nagasaka, T., Hasegawa, H., Koyama, M., Ohdan, H., Watanabe, T., Sugihara, K., Ishida, H.
Risk factors for the development of desmoid tumor after colectomy in patients with familial adenomatous polyposis: Multicenter retrospective cohort study in Japan
Ann. Surg. Oncol., 23(Suppl 4): 559-565. 2016.

13. Takatsu, Y., Fukunaga, Y., Hamasaki, S., Ogura, A., Nagata, J., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.
Recurrent colorectal cancer after endoscopic resection when additional surgery was recommended
World J. Gastroenterol., 22(7): 2336-41. 2016.

14. Uchi, R., Takahashi, Y., Niida, A., Shimamura, T., Hirata, H., Sugimachi, K., Sawada, G., Iwaya, T., Kurashige, J., Shinden, Y., Iguchi, T., Eguchi, H., Chiba, K., Shiraishi, Y., Nagae, G., Yoshida, K., Nagata, Y., Haeno, H., Yamamoto, H., Ishii, H., Doki, Y., Iinuma, H., Sasaki, S., Nagayama, S., Yamada, K., Yachida, S., Kato, M., Shibata, T., Oki, E., Saeki, H., Shirabe, K., Oda, Y., Maehara, Y., Komune, S., Mori, M., Suzuki, Y., Yamamoto, K., Aburatani, H., Ogawa, S., Miyano, S., Mimori, K.
Integrated multiregional analysis proposing a new model of colorectal cancer evolution
PLoS Genet., 12(2): e1005778. 2016.

15. Ueno, H., Kobayashi, H., Konishi, T., Ishida, F., Yamaguchi, T., Hinoi, T., Kanemitsu, Y., Inoue, Y., Tomita, N., Matsubara, N., Komori, K., Ozawa, H., Nagasaka, T., Hasegawa, H., Koyama, M., Akagi, Y., Yatsuoka, T., Kumamoto, K., Kurachi, K., Tanakaya, K., Yoshimatsu, K., Watanabe, T., Sugihara, K., Ishida, H.
Prevalence of laparoscopic surgical treatment and its clinical outcomes in patients with familial adenomatous polyposis in Japan
Int. J. Clin. Oncol., 21(4): 713-22. 2016.

16. Yamaguchi, K., Nagayama, S., Shimizu, E., Komura, M., Yamaguchi, R., Shibuya, T., Arai, M., Hatakeyama, S., Ikenoue, T., Ueno, M., Miyano, S., Imoto, S., Furukawa, Y.
Reduced expression of APC-1B but not APC-1A by the deletion of promoter 1B is responsible for familial adenomatous polyposis
Sci. Rep., 6: 26011. 2016.

17. Yamaguchi, T., Ishida, H., Ueno, H., Kobayashi, H., Hinoi, T., Inoue, Y., Ishida, F., Kanemitsu, Y., Konishi, T., Tomita, N., Matsubara, N., Watanabe, T., Sugihara, K.
Upper gastrointestinal tumours in Japanese familial adenomatous polyposis patients
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(4): 310-5. 2016.

18. Zhou, H., Mori, S., Ishizaki, T., Takahashi, A., Matsuda, K., Koretsune, Y., Minami, S., Higashiyama, M., Imai, S., Yoshimori, K., Doita, M., Yamada, A., Nagayama, S., Kaneko, K., Asai, S., Shiono, M., Kubo, M., Ito, H.
Genetic risk score based on the prevalence of vertebral fracture in Japanese women with osteoporosis
Bone Rep., 5: 168-172. 2016.

19. 上野雅資, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介
腹腔鏡による骨盤内拡大手術: 子宮腟合併切除

術
手術, 70(8): 1071-1075. 2016.

20. 小西毅.
心に残った症例.
消化器研修ノート. (中島淳責任編集), 東京: 診断と治療社, pp. 126. 2016.

21. 小西毅.
消化管カルチノイド.
消化器研修ノート. (中島淳責任編集), 東京: 診断と治療社, pp. 567-569. 2016.

22. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 佐野武, 山口俊晴
大腸癌 update-基礎と臨床の研究動向-: 大腸癌治療の進歩と動向　術前化学放射線療法のメリットとデメリット
日本臨床, 74(11): 1857-1862. 2016.

23. 小西毅, 上野雅資, 福長洋介, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 長嵜寿矢, 佐野武, 山口俊晴, 武藤徹一郎
State of the art　直腸癌治療における側方郭清の意義と位置づけを再考察する: 進行直腸癌に対する化学放射線療法と側方郭清の位置づけ
大腸がん perspective, 3(2): 106-111. 2016.

24. 武田良祝, 福長洋介, 長嵜寿矢, 上野雅資
S 状結腸癌術後側方リンパ節転移を腹腔鏡下に切除し、長期予後を得た 1 例
日本大腸肛門病学会雑誌, 69(3): 159-163. 2016.

25. 福田雄三, 藤本佳也, 秋吉高志, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
回腸カルチノイドの 4 例
日本臨床外科学会雑誌, 77(7): 1686-1690. 2016.

26. 福長洋介
新知見を知って看護力も UP! 先生!
ホントのところ教えてください!　消化器外科
自動縫合器・吻合器、この時・この部位何使う?
消化管(食道、胃、大腸)編
オペナーシング, 31(4): 366-370. 2016.

27. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 長嵜寿矢
イラストで学ぶ消化器外科再建法のすべて:　大腸 大腸切除後再建 器械吻合 端々三角吻合法
外科, 78(12): 1382-1387. 2016.

28. 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 藤本佳也, 小西毅, 秋吉高志, 長嵜寿矢
進行大腸癌に対する内視鏡外科手術の限界: 他臓器合併切除を要する局所進行大腸癌に対する内視鏡外科手術
外科, 78(3): 264-272. 2016.

29. 秋吉高志, 長嵜寿也, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
直腸癌局所再発に対する治療: 直腸癌局所再発に対する手術手技　腹腔鏡下骨盤内臓全摘術
外科, 78(13): 1474-1478. 2016.

30. 長嵜寿矢, 永田淳, 高津有紀子, 小倉淳司, 濱崎俊輔, 橋爪良輔, 秋吉高志, 小西毅, 藤本佳也, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
消化器外科手術アトラス　右側結腸癌に対する腹腔鏡下結腸右半切除術　後腹膜剥離先行アプローチ法
消化器外科, 39(1): 1-10. 2016.

肝胆膵外科

1. Cao, F., Oba, T., Saiura, A., Li, F.
Radical antegrade modular pancreatosplenectomy procedure in pancreatic body/tail adenocarcinoma
Zhonghua Wai Ke Za Zhi, 54(11): 833-838. 2016.

2. Hasegawa, K., Saiura, A., Takayama, T., Miyagawa, S., Yamamoto, J., Ijichi, M., Teruya, M., Yoshimi, F., Kawasaki, S., Koyama, H., Oba, M., Takahashi, M., Mizunuma, N., Matsuyama, Y., Watanabe, T., Makuuchi, M., Kokudo, N.
Adjuvant oral uracil-tegafur with leucovorin for colorectal cancer liver metastases: A randomized controlled trial
PLoS One, 11(9): e0162400. 2016.

3. Inoue, Y., Saiura, A., Sato, T., Ishizawa, T., Arita, J., Takahashi, Y., Hiki, N., Sano, T., Yamaguchi, T.
Laparoscopic pancreatoduodenectomy combined with a novel self-assessment system and feedback discussion: a phase 1 surgical trial following the IDEAL guidelines

Langenbecks Arch. Surg., 401(8): 1123-30. 2016.

4. Inoue, Y., Saiura, A., Tanaka, M., Matsumura, M., Takeda, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y.
Technical details of an anterior approach to the superior mesenteric artery during pancreaticoduodenectomy
J. Gastrointest. Surg, 20(10): 1769-77. 2016.

5. Ishizawa, T., Saiura, A., Kokudo, N.
Clinical application of indocyanine green-fluorescence imaging during hepatectomy
Hepatobiliary Surg. Nutr., 5(4): 322-8. 2016.

6. Kubo, S., Takemura, S., Tanaka, S., Shinkawa, H., Kinoshita, M., Hamano, G., Ito, T., Koda, M., Aota, T., Yamamoto, T., Terajima, H., Tachiyama, G., Yamada, T., Nakamori, S., Arimoto, A., Fujikawa, M., Tomimaru, Y., Sugawara, Y., Nakagawa, K., Unno, M., Mizuguchi, T., Takenaka, K., Kimura, K., Shirabe, K., Saiura, A., Uesaka, K., Taniguchi, H., Fukuda, A., Chong, J.M., Kuwae, Y., Ohsawa, M., Sato, Y., Nakanuma, Y.
Outcomes after resection of occupational cholangiocarcinoma
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 23(9): 556-64. 2016.

7. Matsuki, R., Mise, Y., Saiura, A., Inoue, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y.
Parenchymal-sparing hepatectomy for deep-placed colorectal liver metastases
Surgery, 160(5): 1256-63. 2016.

8. Matsumura, M., Mise, Y., Saiura, A., Inoue, Y., Ishizawa, T., Ichida, H., Matsuki, R., Tanaka, M., Takeda, Y., Takahashi, Y.
Parenchymal-sparing hepatectomy does not increase intrahepatic recurrence in patients with advanced colorectal liver metastases
Ann. Surg. Oncol., 23(11): 3718-26. 2016.

9. Matsumura, M., Saiura, A., Inoue, Y., Ishizawa, T., Mise, Y., Takahashi, Y.
High rate of organ/space surgical site infection after hepatectomy with preexisting bilioenteric anastomosis
World J. Surg., 40(4): 937-945. 2016.

10. Sakamoto, Y., Hori, S., Oguro, S., Arita, J., Kishi, Y., Nara, S., Esaki, M., Saiura, A., Shimada, K., Yamanaka, T., Kosuge, T.
Delayed gastric emptying after stapled versus hand-sewn anastomosis of duodenojejunostomy in pylorus-preserving pancreaticoduodenectomy: a randomized controlled trial
J. Gastrointest. Surg, 20(3): 595-603. 2016.

11. Sato, T., Saiura, A., Inoue, Y., Takahashi, Y., Arita, J., Takemura, N.
Distal pancreatectomy with en bloc resection of the celiac axis with preservation or reconstruction of the left gastric artery in patients with pancreatic body cancer
World J. Surg., 40(9): 2245-53. 2016.

12. Takahashi, M., Hasegawa, K., Oba, M., Saiura, A., Arita, J., Sakamoto, Y., Shinozaki, E., Mizunuma, N., Matsuyama, Y., Kokudo, N.
Phase 1 study on S-1 and oxaliplatin therapy as an adjuvant after hepatectomy for colorectal liver metastases
Invest. New Drugs., 34(4): 468-73. 2016.

13. Takemura, N., Saiura, A., Koga, R., Yamamoto, J., Yamaguchi, T.
Risk factors for and management of postpancreatectomy hepatic steatosis
Scand. J. Surg.: in press 10.1177/1457496916669630. 2016.

14. Tanaka, M., Inoue, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Arita, J., Takahashi, Y., Saiura, A.
Laparoscopic deroofing for polycystic liver disease using laparoscopic fusion indocyanine green fluorescence imaging
Surg. Endosc., 30(6): 2620-2623. 2016.

15. 井上陽介 ， 齋浦明夫
IPMN と IPNB: IPMN の術前画像診断

外科, 78(11): 1150-1156. 2016.

16. 寺澤無我, 三瀬祥弘, 山本頼正, 齋浦明夫
術前内視鏡: 早期十二指腸癌に対する治療方針と術前内視鏡検査
消化器内視鏡, 28(12): 1967-1971. 2016.

17. 寺澤無我, 石沢武彰, 井上陽介, 三瀬祥弘, 高橋祐, 齋浦明夫
最新の画像支援に基づく肝胆膵手術: ICG 蛍光イメージングの臨床応用
手術, 70(2): 163-168. 2016.

18. 斎浦明夫, 有田淳一, 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰
大腸がんの検査・診断 転移・再発層の診断：大腸癌肝転移の画像診断・概論
日本臨床, 増刊号 4: 308-313. 2016.

19. 松木亮太, 斎浦明夫, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐
膵切除・膵再建を再考する: 膵切除・膵全摘　後腹膜一括郭清を伴った膵体尾部切除術
手術, 70(7): 873-878. 2016.

20. 田中真之, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫
最新　肝胆膵高難度外科手術アトラス:　高難度外科手術手技　膵臓 膵頭部癌の膵頭十二指腸切除における門脈合併切除・再建
手術, 70(4): 545-554. 2016.

21. 田中真之, 三瀬祥弘, 石沢武彰, 井上陽介, 高橋祐, 齋浦明夫
手術手技　膵頭十二指腸切除術における脾静脈合併切除の検討
手術, 70(3): 323-330. 2016.

22. 石沢武彰 , 齋浦明夫
最新の肝胆膵画像シミュレーション: 開腹･鏡視下肝胆膵手術における蛍光イメージングの応用
消化器外科, 39(1): 31-36. 2016.

23. 高橋祐, 井上陽介, 石沢武彰, 三瀬祥弘, 齋浦明夫
イラストで学ぶ消化器外科再建法のすべて:　胆道 胆道再建　胆管空腸吻合
外科, 78(12): 1417-1423. 2016.

24. 齋浦明夫
看護の理由が見える　主要術式イラスト便利帳: 肝葉切除術/肝区域切除術
消化器外科 Nursing, 21(1): 24-26. 2016.

消化器化療

1. Bando, H., Doi, T., Muro, K., Yasui, H., Nishina, T., Yamaguchi, K., Takahashi, S., Nomura, S., Kuno, H., Shitara, K., Sato, A., Ohtsu, A.
A multicenter phase II study of TAS-102 monotherapy in patients with pre-treated advanced gastric cancer (EPOC1201)
Eur. J. Cancer, 62: 46-53. 2016.

2. Bando, H., Yamada, Y., Tanabe, S., Nishikawa, K., Gotoh, M., Sugimoto, N., Nishina, T., Amagai, K., Chin, K., Niwa, Y., Tsuji, A., Imamura, H., Tsuda, M., Yasui, H., Fujii, H., Yamaguchi, K., Hironaka, S., Shimada, K., Miwa, H., Hamada, C., Hyodo, I.
Efficacy and safety of S-1 and oxaliplatin combination therapy in elderly patients with advanced gastric cancer
Gastric Cancer, 19(3): 919-26. 2016.

3. Fuse, N., Kuboki, Y., Kuwata, T., Nishina, T., Kadowaki, S., Shinozaki, E., Machida, N., Yuki, S., Ooki, A., Kajiura, S., Kimura, T., Yamanaka, T., Shitara, K., Nagatsuma, A.K., Yoshino, T., Ochiai, A., Ohtsu, A.
Prognostic impact of HER2, EGFR, and c-MET status on overall survival of advanced gastric cancer patients
Gastric Cancer, 19(1): 183-91. 2016.

4. Hasegawa, K., Saiura, A., Takayama, T., Miyagawa, S., Yamamoto, J., Ijichi, M., Teruya, M., Yoshimi, F., Kawasaki, S., Koyama, H., Oba, M., Takahashi, M., Mizunuma, N., Matsuyama, Y., Watanabe, T., Makuuchi, M., Kokudo, N.
Adjuvant oral uracil-tegafur with leucovorin for colorectal cancer liver metastases: A randomized controlled trial
PLoS One, 11(9): e0162400. 2016.

5. Ichimura, T., Abe, H., Morikawa, T., Yamashita, H., Ishikawa, S., Ushiku, T., Seto, Y., Fukayama, M.
Low density of CD204-positive M2-type tumor-associated macrophages in Epstein-Barr virus-associated gastric cancer: a clinicopathologic study with digital image analysis
Hum. Pathol., 56: 74-80. 2016.

6. Matsusaka, S., Cao, S., Hanna, D.L., Sunakawa, Y., Ueno, M., Mizunuma, N., Zhang, W., Yang, D., Ning, Y., Stintzing, S., Sebio, A., Stremitzer, S., Yamauchi, S., Parekh, A., Okazaki, S., Berger, M.D., El-Khoueiry, R., Mendez, A., Ichikawa, W., Loupakis, F., Lenz, H.J.
CXCR4 polymorphism predicts progression-free survival in metastatic colorectal cancer patients treated with first-line bevacizumab-based chemotherapy
Pharmacogenomics J.: in press 10.1038/tpj.2016.59. 2016.

7. Matsusaka, S., Kobunai, T., Yamamoto, N., Chin, K., Ogura, M., Tanaka, G., Matsuoka, K., Ishikawa, Y., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Prognostic impact of KRAS mutant type and MET amplification in metastatic and recurrent gastric cancer patients treated with first-line S-1 plus cisplatin chemotherapy
Genes Cancer, 7(1-2): 27-35. 2016.
Matsusaka, S., Nashimoto, A., Nishikawa, K., Miki, A., Miwa, H., Yamaguchi, K., Yoshikawa, T., Ochiai, A., Morita, S., Sano, T., Kodera, Y., Kakeji, Y., Sakamoto, J., Saji, S., Yoshida, K.
Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44-1101)
Gastric Cancer, 19(3): 839-51. 2016.

8. Matsusaka, S., Nashimoto, A., Nishikawa, K., Miki, A., Miwa, H., Yamaguchi, K., Yoshikawa, T., Ochiai, A., Morita, S., Sano, T., Kodera, Y., Kakeji, Y., Sakamoto, J., Saji, S., Yoshida, K.
Erratum to: Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44-1101)
Gastric Cancer, 19(3): 1026. 2016.

9. Matsusaka, S. , Yoshida, K.
Letter in response to "Our HER2 is same as yours"
Transl. Gastroenterol. Hepatol., 1: 18. 2016.

10. Miyata, Y., Touyama, T., Kusumi, T., Morita, Y., Mizunuma, N., Taniguchi, F., Manabe, M.
Erratum to: *UDP-glucuronosyltransferase 1A1*6* and *28* polymorphisms as indicators of initial dose level of irinotecan to reduce risk of neutropenia in patients receiving FOLFIRI for colorectal cancer
Int. J. Clin. Oncol., 21(4): 704. 2016.

11. Miyata, Y., Touyama, T., Kusumi, T., Morita, Y., Mizunuma, N., Taniguchi, F., Manabe, M.
*UDP-glucuronosyltransferase 1A1*6* and *28* polymorphisms as indicators of initial dose level of irinotecan to reduce risk of neutropenia in patients receiving FOLFIRI for colorectal cancer
Int. J. Clin. Oncol., 21(4): 696-703. 2016.

12. Nishikawa, K., Yamada, Y., Ishido, K., Gotoh, M., Bando, H., Sugimoto, N., Nishina, T., Amagai, K., Chin, K., Niwa, Y., Tsuji, A., Imamura, H., Tsuda, M., Yasui, H., Fujii, H., Yamaguchi, K., Yasui, H., Hironaka, S., Shimada, K., Miwa, H., Hamada, C., Hyodo, I.
Impact of progression type on overall survival in patients with advanced gastric cancer based on randomized phase III study of S-1 plus oxaliplatin versus S-1 plus cisplatin
Gastric Cancer, 20(4): 640-645. 2016.

13. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Matsusaka, S., Konishi, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Ueno, M., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y.,

Takahashi, Y., Saiura, A., Uehara, H., Mun, M., Okumura, S., Mizunuma, N., Miki, Y., Yamaguchi, T.
RAS mutation is a prognostic biomarker in colorectal cancer patients with metastasectomy
Int. J. Cancer, 139(3): 803-11. 2016.

14. Osumi, H., Yoshio, T., Chin, K., Ogura, M., Kumekawa, Y., Suenaga, M., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Miyamoto, Y., Morishige, K., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Igarashi, M., Mizunuma, N.
Chemotherapy is effective for stage I gastric cancer in patients with synchronous esophageal cancer
Gastric Cancer, 19(2): 625-30. 2016.

Satake, H., Tahara, M., Mochizuki, S., Kato, K., Hara, H., Yokota, T., Kiyota, N., Kii, T., Chin, K., Zenda, S., Kojima, T., Bando, H., Yamazaki, T., Iwasa, S., Honma, Y., Hamauchi, S., Tsushima, T., Ohtsu, A.
A prospective, multicenter phase I/II study of induction chemotherapy with docetaxel, cisplatin and fluorouracil (DCF) followed by chemoradiotherapy in patients with unresectable locally advanced esophageal carcinoma
Cancer Chemother. Pharmacol., 78(1): 91-9. 2016.

15. Suenaga, M., Mashima, T., Kawata, N., Wakatsuki, T., Horiike, Y., Matsusaka, S., Dan, S., Shinozaki, E., Seimiya, H., Mizunuma, N., Yamaguchi, K., Yamaguch, T.
Serum VEGF-A and CCL5 levels as candidate biomarkers for efficacy and toxicity of regorafenib in patients with metastatic colorectal cancer
Oncotarget, 7(23): 34811-23. 2016.

16. Sugita, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Sugisaki, T., Takiguchi, T., Aoyama, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Yamaguchi, K., Inoue, A., Machida, Y., Yamaguchi, T., Hama, T.
Self-reported adherence to trifluridine and Titiracil hydrochloride for metastatic colorectal cancer: A retrospective cohort study
Oncology, 91(4): 224-230. 2016.

17. Takahashi, M., Hasegawa, K., Oba, M., Saiura, A., Arita, J., Sakamoto, Y., Shinozaki, E., Mizunuma, N., Matsuyama, Y., Kokudo, N.
Phase 1 study on S-1 and oxaliplatin therapy as an adjuvant after hepatectomy for colorectal liver metastases
Invest. New Drugs., 34(4): 468-73. 2016.

18. Tanigawa, N., Yamaue, H., Ohyama, S., Sakuramoto, S., Inada, T., Kodera, Y., Kitagawa, Y., Omura, K., Terashima, M., Sakata, Y., Nashimoto, A., Yamaguchi, T., Chin, K., Nomura, E., Lee, S.W., Takeuchi, M., Fujii, M., Nakajima, T.
Exploratory phase II trial in a multicenter setting to evaluate the clinical value of a chemosensitivity test in patients with gastric cancer (JACCRO-GC 04, Kubota memorial trial)
Gastric Cancer, 19(2): 350-60. 2016.

19. Yamanaka, T., Oki, E., Yamazaki, K., Yamaguchi, K., Muro, K., Uetake, H., Sato, T., Nishina, T., Ikeda, M., Kato, T., Kanazawa, A., Kusumoto, T., Chao, C., Lopatin, M., Krishnakumar, J., Bailey, H., Akagi, K., Ochiai, A., Ohtsu, A., Ohashi, Y., Yoshino, T.
12-gene recurrence score assay stratifies the recurrence risk in stage II/III colon cancer with surgery alone: the SUNRISE study
J. Clin. Oncol., 34(24): 2906-13. 2016.

20. Yamazaki, K., Nagase, M., Tamagawa, H., Ueda, S., Tamura, T., Murata, K., Eguchi Nakajima, T., Baba, E., Tsuda, M., Moriwaki, T., Esaki, T., Tsuji, Y., Muro, K., Taira, K., Denda, T., Funai, S., Shinozaki, K., Yamashita, H., Sugimoto, N., Okuno, T., Nishina, T., Umeki, M., Kurimoto, T., Takayama, T., Tsuji, A., Yoshida, M., Hosokawa, A., Shibata, Y., Suyama, K., Okabe, M., Suzuki, K., Seki, N., Kawakami,

K., Sato, M., Fujikawa, K., Hirashima, T., Shimura, T., Taku, K., Otsuji, T., Tamura, F., Shinozaki, E., Nakashima, K., Hara, H., Tsushima, T., Ando, M., Morita, S., Boku, N., Hyodo, I.
Randomized phase III study of bevacizumab plus FOLFIRI and bevacizumab plus mFOLFOX6 as first-line treatment for patients with metastatic colorectal cancer (WJOG4407G)
Ann. Oncol., 27(8): 1539-46. 2016.

21. Yokota, T., Kato, K., Hamamoto, Y., Tsubosa, Y., Ogawa, H., Ito, Y., Hara, H., Ura, T., Kojima, T., Chin, K., Hironaka, S., Kii, T., Kojima, Y., Akutsu, Y., Matsushita, H., Kawakami, K., Mori, K., Nagai, Y., Asami, C., Kitagawa, Y.
Phase II study of chemoselection with docetaxel plus cisplatin and 5-fluorouracil induction chemotherapy and subsequent conversion surgery for locally advanced unresectable oesophageal cancer
Br. J. Cancer., 115(11): 1328-1334. 2016.

22. 中山厳馬, 篠崎英司, 山口研成
外科医が知っておきたい癌化学療法と副作用対策: 消化管癌(食道・胃・大腸)化学療法の最新エビデンスと使用上の注意点
消化器外科, 39(3): 257-267. 2016.

23. 松島知広, 若槻尊, 高張大亮, 陳勁松, 山口研成
腹膜播種に対する治療戦略: 胃癌腹膜播種に対する全身化学療法
癌と化学療法, 43(13): 2477-2480. 2016.
渡邉大至, 鈴木賢一, 尾阪将人.
胆道癌・膵癌：FOLFIRINOX 療法.
癌化学療法と制吐薬使用マニュアル：消化器癌編. (相羽恵介編集), 東京: メディカルレビュー社, pp. 30-33. 2016.

24. 篠崎英司
大腸がん化学療法における経口剤のマネジメント(第 4 回) 大腸がん化学療法におけるアドヒアランス向上のためのチーム医療
大腸がん perspective, 3(2): 142-145. 2016.

25. 若槻尊, 篠崎英司, 山口研成
分子標的薬を用いた周術期治療: 大腸がん術後補助化学療法における分子標的薬の役割
がん分子標的治療, 14(2): 185-189. 2016.

肝胆膵内科

1. Mohri, D., Ijichi, H., Miyabayashi, K., Takahashi, R., Kudo, Y., Sasaki, T., Asaoka, Y., Tanaka, Y., Ikenoue, T., Tateishi, K., Tada, M., Isayama, H., Koike, K.
A potent therapeutics for gallbladder cancer by combinatorial inhibition of the MAPK and mTOR signaling networks
J. Gastroenterol., 51(7): 711-21. 2016.

2. Nakao, H., Wakai, K., Ishii, N., Kobayashi, Y., Ito, K., Yoneda, M., Mori, M., Nojima, M., Kimura, Y., Endo, T., Matsuyama, M., Ishii, H., Ueno, M., Kuruma, S., Egawa, N., Matsuo, K., Hosono, S., Ohkawa, S., Nakamura, K., Tamakoshi, A., Takahashi, M., Shimada, K., Nishiyama, T., Kikuchi, S., Lin, Y.
Associations between polymorphisms in folate-metabolizing genes and pancreatic cancer risk in Japanese subjects
BMC Gastroenterol., 16(1): 83. 2016.

3. 佐々木隆
悪性消化管狭窄に対する最新マネージメント: 悪性胃十二指腸狭窄に対するステント治療
臨床消化器内科, 31(8): 1127-1131. 2016.

4. 佐々木隆
消化器癌におけるバイパス術とステント治療: 胃・十二指腸 幽門狭窄に対するステント術
外科, 78(10): 1060-1064. 2016.

5. 佐々木隆, 伊佐山浩通, 笹平直樹
悪性消化管多発狭窄に対するステント治療
Gastroenterological Endoscopy, 58(8): 1346-1353. 2016.

6. 尾阪将人
消化器がん化学療法 Chemotherapy for Gastro-intestinal Cancer 2016: 消化器がん化学療法の実際 消化器がんキードラッグの基礎知識 イリノテカン
臨床消化器内科, 31(7): 877-880. 2016.

7. 尾阪将人.
第 4 章 胆膵がん：切除不能進行・再発膵がんに

対する薬物療法.
うまく続ける！消化器がん薬物療法の基本とコツ：1st ライン、2nd ラインのレジメン選択と休薬・減量、副作用対策のポイント. (加藤健, 森実千種編集), 東京: 羊土社, pp. 183-189. 2016.

8. 尾阪将人.
第 15 章 消化管.
がん診療ポケットレファランス. (A.E. Drilon, M.A.編. Postow, 畠清彦監訳), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 140-161. 2016.

9. 尾阪将人
胆道癌・膵癌に対する化学療法の最前線: 膵癌切除不能膵癌に対する化学療法戦略　一次治療・二次治療の選択と進め方
消化器の臨床, 19(1): 45-50. 2016.

10. 尾阪将人
膵・胆道癌の治療戦略:こんなときどうするか?-ガイドラインにないエキスパートオピニオン-: ゲムシタビン+エルロチニブ併用療法をどう使うか?
胆と膵, 37(6): 535-539. 2016.

11. 尾阪将人.
膵の非上皮性腫瘍.
消化器研修ノート. (中島淳責任編集), 東京: 診断と治療社. 2016.

12. 石垣和祥, 木暮宏史, 伊佐山浩通, 川路祐輝, 中村知香, 佐藤達也, 武田剛志, 梅舟仰胤, 斎藤圭, 斎藤友隆, 高木馨, 渡邉健雄, 高原楠昊, 岸川孝弘, 内野里枝, 水野卓, 松原三郎, 中井陽介, 山田育弘, 笹平直樹, 多田稔, 小池和彦
胆膵内視鏡自由自在～基本手技を学び応用力をつける集中講座～ERCP 関連手技編　トラブルシューティング　ステント迷入への対処
胆と膵, 37(臨増特大): 1301-1307. 2016.

13. 笹平直樹, 水野卓, 松原三郎, 平野賢二, 伊佐山浩通
胆膵内視鏡自由自在～基本手技を学び応用力をつける集中講座～ERCP 関連手技　膵管 Intervention　膵管ドレナージの適応と手技
胆と膵, 37(臨増特大): 1325-1331. 2016.

14. 齋藤圭 , 笹平直樹.
ERCP 関連手技.
消化器内視鏡技師・ナースのための内視鏡室の器械・器具・薬 : 消化器内視鏡技師認定試験対策にも使える! (山本夏代, 小林智明編), 大阪: メディカ出版. 2016.

消化器化療

1. Bando, H., Doi, T., Muro, K., Yasui, H., Nishina, T., Yamaguchi, K., Takahashi, S., Nomura, S., Kuno, H., Shitara, K., Sato, A., Ohtsu, A.
A multicenter phase II study of TAS-102 monotherapy in patients with pre-treated advanced gastric cancer (EPOC1201)
Eur. J. Cancer, 62: 46-53. 2016.

2. Bando, H., Yamada, Y., Tanabe, S., Nishikawa, K., Gotoh, M., Sugimoto, N., Nishina, T., Amagai, K., Chin, K., Niwa, Y., Tsuji, A., Imamura, H., Tsuda, M., Yasui, H., Fujii, H., Yamaguchi, K., Hironaka, S., Shimada, K., Miwa, H., Hamada, C., Hyodo, I.
Efficacy and safety of S-1 and oxaliplatin combination therapy in elderly patients with advanced gastric cancer
Gastric Cancer, 19(3): 919-26. 2016.

3. Fuse, N., Kuboki, Y., Kuwata, T., Nishina, T., Kadowaki, S., Shinozaki, E., Machida, N., Yuki, S., Ooki, A., Kajiura, S., Kimura, T., Yamanaka, T., Shitara, K., Nagatsuma, A.K., Yoshino, T., Ochiai, A., Ohtsu, A.
Prognostic impact of HER2, EGFR, and c-MET status on overall survival of advanced gastric cancer patients
Gastric Cancer, 19(1): 183-91. 2016.

4. Hasegawa, K., Saiura, A., Takayama, T., Miyagawa, S., Yamamoto, J., Ijichi, M., Teruya, M., Yoshimi, F., Kawasaki, S., Koyama, H., Oba, M., Takahashi, M., Mizunuma, N., Matsuyama, Y., Watanabe, T., Makuuchi, M., Kokudo, N.
Adjuvant oral uracil-tegafur with leucovorin for colorectal cancer liver metastases: A randomized controlled trial
PLoS One, 11(9): e0162400. 2016.

5. Ichimura, T., Abe, H., Morikawa, T., Yamashita, H., Ishikawa, S., Ushiku, T., Seto, Y., Fukayama, M.
Low density of CD204-positive M2-type tumor-associated macrophages in Epstein-Barr virus-associated gastric cancer: a clinicopathologic study with digital image analysis
Hum. Pathol., 56: 74-80. 2016.

6. Matsusaka, S., Cao, S., Hanna, D.L., Sunakawa, Y., Ueno, M., Mizunuma, N., Zhang, W., Yang, D., Ning, Y., Stintzing, S., Sebio, A., Stremitzer, S., Yamauchi, S., Parekh, A., Okazaki, S., Berger, M.D., El-Khoueiry, R., Mendez, A., Ichikawa, W., Loupakis, F., Lenz, H.J.
CXCR4 polymorphism predicts progression-free survival in metastatic colorectal cancer patients treated with first-line bevacizumab-based chemotherapy
Pharmacogenomics J.: in press 10.1038/tpj.2016.59. 2016.

7. Matsusaka, S., Kobunai, T., Yamamoto, N., Chin, K., Ogura, M., Tanaka, G., Matsuoka, K., Ishikawa, Y., Mizunuma, N., Yamaguchi, T.
Prognostic impact of KRAS mutant type and MET amplification in metastatic and recurrent gastric cancer patients treated with first-line S-1 plus cisplatin chemotherapy
Genes Cancer, 7(1-2): 27-35. 2016.

8. Matsusaka, S., Nashimoto, A., Nishikawa, K., Miki, A., Miwa, H., Yamaguchi, K., Yoshikawa, T., Ochiai, A., Morita, S., Sano, T., Kodera, Y., Kakeji, Y., Sakamoto, J., Saji, S., Yoshida, K.
Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44-1101)
Gastric Cancer, 19(3): 839-51. 2016.

9. Matsusaka, S., Nashimoto, A., Nishikawa, K., Miki, A., Miwa, H., Yamaguchi, K., Yoshikawa, T., Ochiai, A., Morita, S., Sano, T., Kodera, Y., Kakeji, Y., Sakamoto, J., Saji, S., Yoshida, K.
Erratum to: Clinicopathological factors associated with HER2 status in gastric cancer: results from a prospective multicenter observational cohort study in a Japanese population (JFMC44-1101)
Gastric Cancer, 19(3): 1026. 2016.

10. Matsusaka, S. , Yoshida, K.
Letter in response to "Our HER2 is same as yours"
Transl. Gastroenterol. Hepatol., 1: 18. 2016.

11. Miyata, Y., Touyama, T., Kusumi, T., Morita, Y., Mizunuma, N., Taniguchi, F., Manabe, M.
Erratum to: *UDP-glucuronosyltransferase 1A1*6* and *28* polymorphisms as indicators of initial dose level of irinotecan to reduce risk of neutropenia in patients receiving FOLFIRI for colorectal cancer
Int. J. Clin. Oncol., 21(4): 704. 2016.

12. Miyata, Y., Touyama, T., Kusumi, T., Morita, Y., Mizunuma, N., Taniguchi, F., Manabe, M.
*UDP-glucuronosyltransferase 1A1*6* and *28* polymorphisms as indicators of initial dose level of irinotecan to reduce risk of neutropenia in patients receiving FOLFIRI for colorectal cancer
Int. J. Clin. Oncol., 21(4): 696-703. 2016.

13. Nishikawa, K., Yamada, Y., Ishido, K., Gotoh, M., Bando, H., Sugimoto, N., Nishina, T., Amagai, K., Chin, K., Niwa, Y., Tsuji, A., Imamura, H., Tsuda, M., Yasui, H., Fujii, H., Yamaguchi, K., Yasui, H., Hironaka, S., Shimada, K., Miwa, H., Hamada, C., Hyodo, I.
Impact of progression type on overall survival in patients with advanced gastric cancer based on randomized phase III study of S-1 plus oxaliplatin versus S-1 plus cisplatin
Gastric Cancer, 20(4): 640-645. 2016.

14. Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Matsusaka, S., Konishi, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y.,

Ueno, M., Mise, Y., Ishizawa, T., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A., Uehara, H., Mun, M., Okumura, S., Mizunuma, N., Miki, Y., Yamaguchi, T.
RAS mutation is a prognostic biomarker in colorectal cancer patients with metastasectomy
Int. J. Cancer, 139(3): 803-11. 2016.

15. Osumi, H., Yoshio, T., Chin, K., Ogura, M., Kumekawa, Y., Suenaga, M., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Miyamoto, Y., Morishige, K., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Igarashi, M., Mizunuma, N.
Chemotherapy is effective for stage I gastric cancer in patients with synchronous esophageal cancer
Gastric Cancer, 19(2): 625-30. 2016.

16. Satake, H., Tahara, M., Mochizuki, S., Kato, K., Hara, H., Yokota, T., Kiyota, N., Kii, T., Chin, K., Zenda, S., Kojima, T., Bando, H., Yamazaki, T., Iwasa, S., Honma, Y., Hamauchi, S., Tsushima, T., Ohtsu, A.
A prospective, multicenter phase I/II study of induction chemotherapy with docetaxel, cisplatin and fluorouracil (DCF) followed by chemoradiotherapy in patients with unresectable locally advanced esophageal carcinoma
Cancer Chemother. Pharmacol., 78(1): 91-9. 2016.

17. Suenaga, M., Mashima, T., Kawata, N., Wakatsuki, T., Horiike, Y., Matsusaka, S., Dan, S., Shinozaki, E., Seimiya, H., Mizunuma, N., Yamaguchi, K., Yamaguch, T.
Serum VEGF-A and CCL5 levels as candidate biomarkers for efficacy and toxicity of regorafenib in patients with metastatic colorectal cancer
Oncotarget, 7(23): 34811-23. 2016.

18. Sugita, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Sugisaki, T., Takiguchi, T., Aoyama, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Yamaguchi, K., Inoue, A., Machida, Y., Yamaguchi, T., Hama, T.
Self-reported adherence to trifluridine and Titiracil hydrochloride for metastatic colorectal cancer: A retrospective cohort study
Oncology, 91(4): 224-230. 2016.

19. Takahashi, M., Hasegawa, K., Oba, M., Saiura, A., Arita, J., Sakamoto, Y., Shinozaki, E., Mizunuma, N., Matsuyama, Y., Kokudo, N.
Phase 1 study on S-1 and oxaliplatin therapy as an adjuvant after hepatectomy for colorectal liver metastases
Invest. New Drugs., 34(4): 468-73. 2016.

20. Tanigawa, N., Yamaue, H., Ohyama, S., Sakuramoto, S., Inada, T., Kodera, Y., Kitagawa, Y., Omura, K., Terashima, M., Sakata, Y., Nashimoto, A., Yamaguchi, T., Chin, K., Nomura, E., Lee, S.W., Takeuchi, M., Fujii, M., Nakajima, T.
Exploratory phase II trial in a multicenter setting to evaluate the clinical value of a chemosensitivity test in patients with gastric cancer (JACCRO-GC 04, Kubota memorial trial)
Gastric Cancer, 19(2): 350-60. 2016.

21. Yamanaka, T., Oki, E., Yamazaki, K., Yamaguchi, K., Muro, K., Uetake, H., Sato, T., Nishina, T., Ikeda, M., Kato, T., Kanazawa, A., Kusumoto, T., Chao, C., Lopatin, M., Krishnakumar, J., Bailey, H., Akagi, K., Ochiai, A., Ohtsu, A., Ohashi, Y., Yoshino, T.
12-gene recurrence score assay stratifies the
recurrence risk in stage II/III colon cancer with surgery alone: the SUNRISE study
J. Clin. Oncol., 34(24): 2906-13. 2016.

22. Yamazaki, K., Nagase, M., Tamagawa, H., Ueda, S., Tamura, T., Murata, K., Eguchi Nakajima, T., Baba, E., Tsuda, M., Moriwaki, T., Esaki, T., Tsuji, Y., Muro, K., Taira, K., Denda, T., Funai, S., Shinozaki, K., Yamashita, H., Sugimoto, N., Okuno, T., Nishina, T., Umeki, M., Kurimoto, T., Takayama, T., Tsuji, A., Yoshida, M., Hosokawa, A., Shibata, Y., Suyama, K.,

Okabe, M., Suzuki, K., Seki, N., Kawakami, K., Sato, M., Fujikawa, K., Hirashima, T., Shimura, T., Taku, K., Otsuji, T., Tamura, F., Shinozaki, E., Nakashima, K., Hara, H., Tsushima, T., Ando, M., Morita, S., Boku, N., Hyodo, I.
Randomized phase III study of bevacizumab plus FOLFIRI and bevacizumab plus mFOLFOX6 as first-line treatment for patients with metastatic colorectal cancer (WJOG4407G)
Ann. Oncol., 27(8): 1539-46. 2016.

23. Yokota, T., Kato, K., Hamamoto, Y., Tsubosa, Y., Ogawa, H., Ito, Y., Hara, H., Ura, T., Kojima, T., Chin, K., Hironaka, S., Kii, T., Kojima, Y., Akutsu, Y., Matsushita, H., Kawakami, K., Mori, K., Nagai, Y., Asami, C., Kitagawa, Y.
Phase II study of chemoselection with docetaxel plus cisplatin and 5-fluorouracil induction chemotherapy and subsequent conversion surgery for locally advanced unresectable oesophageal cancer
Br. J. Cancer., 115(11): 1328-1334. 2016.

24. 中山厳馬, 篠崎英司, 山口研成
外科医が知っておきたい癌化学療法と副作用対策: 消化管癌(食道・胃・大腸)化学療法の最新エビデンスと使用上の注意点
消化器外科, 39(3): 257-267. 2016.

25. 松島知広, 若槻尊, 高張大亮, 陳勁松, 山口研成
腹膜播種に対する治療戦略: 胃癌腹膜播種に対する全身化学療法
癌と化学療法, 43(13): 2477-2480. 2016.

26. 渡邉大至, 鈴木賢一, 尾阪将人.
胆道癌・膵癌：FOLFIRINOX 療法.
癌化学療法と制吐薬使用マニュアル：消化器癌編. (相羽恵介編集), 東京: メディカルレビュー社, pp. 30-33. 2016.

27. 篠崎英司
大腸がん化学療法における経口剤のマネジメント(第 4 回) 大腸がん化学療法におけるアドヒアランス向上のためのチーム医療
大腸がん perspective, 3(2): 142-145. 2016.

28. 若槻尊, 篠崎英司, 山口研成
分子標的薬を用いた周術期治療: 大腸がん術後補助化学療法における分子標的薬の役割
がん分子標的治療, 14(2): 185-189. 2016.

肝胆膵内科

1. Mohri, D., Ijichi, H., Miyabayashi, K., Takahashi, R., Kudo, Y., Sasaki, T., Asaoka, Y., Tanaka, Y., Ikenoue, T., Tateishi, K., Tada, M., Isayama, H., Koike, K.
A potent therapeutics for gallbladder cancer by combinatorial inhibition of the MAPK and mTOR signaling networks
J. Gastroenterol., 51(7): 711-21. 2016.

2. Nakao, H., Wakai, K., Ishii, N., Kobayashi, Y., Ito, K., Yoneda, M., Mori, M., Nojima, M., Kimura, Y., Endo, T., Matsuyama, M., Ishii, H., Ueno, M., Kuruma, S., Egawa, N., Matsuo, K., Hosono, S., Ohkawa, S., Nakamura, K., Tamakoshi, A., Takahashi, M., Shimada, K., Nishiyama, T., Kikuchi, S., Lin, Y.
Associations between polymorphisms in folate-metabolizing genes and pancreatic cancer risk in Japanese subjects
BMC Gastroenterol., 16(1): 83. 2016.

3. 佐々木隆
悪性消化管狭窄に対する最新マネージメント: 悪性胃十二指腸狭窄に対するステント治療
臨床消化器内科, 31(8): 1127-1131. 2016.

4. 佐々木隆
消化器癌におけるバイパス術とステント治療: 胃・十二指腸　幽門狭窄に対するステント術
外科, 78(10): 1060-1064. 2016.
佐々木隆, 伊佐山浩通, 笹平直樹
悪性消化管多発狭窄に対するステント治療
Gastroenterological Endoscopy, 58(8): 1346-1353. 2016.

5. 尾阪将人
消化器がん化学療法　Chemotherapy for Gastro-intestinal Cancer　2016: 消化器がん化学療法の実際　消化器がんキードラッグの基礎知識　イリノテカン
臨床消化器内科, 31(7): 877-880. 2016.

6. 尾阪将人.
第 4 章 胆膵がん：切除不能進行・再発膵がんに対する薬物療法.
うまく続ける！消化器がん薬物療法の基本とコツ ：1st ライン、2nd ラインのレジメン選択と休薬・減量、副作用対策のポイント. (加藤健, 森実千種編集), 東京: 羊土社, pp. 183-189. 2016.

7. 尾阪将人.
第 15 章 消化管.
がん診療ポケットレファランス. (A.E. Drilon, M.A.編. Postow, 畠清彦監訳), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 140-161. 2016.

8. 尾阪将人
胆道癌・膵癌に対する化学療法の最前線: 膵癌 切除不能膵癌に対する化学療法戦略 一次治療・二次治療の選択と進め方
消化器の臨床, 19(1): 45-50. 2016.

9. 尾阪将人
膵・胆道癌の治療戦略:こんなときどうするか?-ガイドラインにないエキスパートオピニオン-: ゲムシタビン+エルロチニブ併用療法をどう使うか?
胆と膵, 37(6): 535-539. 2016.

10. 尾阪将人.
膵の非上皮性腫瘍.
消化器研修ノート. (中島淳責任編集), 東京: 診断と治療社. 2016.

11. 石垣和祥, 木暮宏史, 伊佐山浩通, 川路祐輝, 中村知香, 佐藤達也, 武田剛志, 梅舟仰胤, 斎藤圭, 斎藤友隆, 高木馨, 渡邉健雄, 高原楠昊, 岸川孝弘, 内野里枝, 水野卓, 松原三郎, 中井陽介, 山田育弘, 笹平直樹, 多田稔, 小池和彦
胆膵内視鏡自由自在～基本手技を学び応用力をつける集中講座～ERCP 関連手技編 トラブルシューティング ステント迷入への対処
胆と膵, 37(臨増特大): 1301-1307. 2016.

12. 笹平直樹, 水野卓, 松原三郎, 平野賢二, 伊佐山浩通
胆膵内視鏡自由自在～基本手技を学び応用力をつける集中講座～ERCP 関連手技 膵管 Intervention 膵管ドレナージの適応と手技
胆と膵, 37(臨増特大): 1325-1331. 2016.

13. 齋藤圭 , 笹平直樹.
ERCP 関連手技.
消化器内視鏡技師・ナースのための内視鏡室の器械・器具・薬 ： 消化器内視鏡技師認定試験対策にも使える! (山本夏代, 小林智明編), 大阪: メディカ出版. 2016.

上部消化管内科

1. Gotoda, T., Uedo, N., Yoshinaga, S., Tanuma, T., Morita, Y., Doyama, H., Aso, A., Hirasawa, T., Yano, T., Uchita, K., Ho, G., Hsieh, P.H.
Basic principles and practice of gastric cancer screening using high-definition white light gastroscopy: eyes can only see what the brain knows
Dig. Endosc., 28(Suppl.1): 2-15. 2016.

2. Hirasawa, T., Uchita, K., Yano, T.
How many pictures are demanded for screening gastroscopy?
Dig. Endosc., 28(Suppl.1): 33-34. 2016.

3. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Shimizu, T., Miyamoto, Y., Tomida, H., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Igarashi, M., Takahashi, H.
Accuracy of diagnostic demarcation of undifferentiated-type early gastric cancers for magnifying endoscopy with narrow-band imaging: endoscopic submucosal dissection cases
Gastric Cancer, 19(2): 515-23. 2016.

4. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Shimizu, T., Miyamoto, Y., Tomida, H., Taniguchi, C., Morishige, K., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Igarashi, M., Nakajima, T., Takahashi, H.
Biological behavior of the intramucosal Helicobacter pylori-negative undifferentiated-type early gastric cancer: comparison with Helicobacter pylori-positive early gastric cancer
Gastric Cancer, 19(1): 160-165. 2016.

5. Ishihara, R., Oyama, T., Abe, S., Takahashi, H., Ono, H., Fujisaki, J., Kaise, M., Goda, K., Kawada, K., Koike, T., Takeuchi, M., Matsuda, R., Hirasawa, D., Yamada, M., Kodaira, J., Tanaka, M., Omae, M., Matsui, A., Kanesaka, T., Takahashi, A., Hirooka, S., Saito, M., Tsuji, Y., Maeda, Y., Yamashita, H., Oda, I., Tomita, Y., Matsunaga, T., Terai, S., Ozawa, S., Kawano, T., Seto, Y.
Risk of metastasis in adenocarcinoma of the esophagus: a multicenter retrospective study in a Japanese population
J. Gastroenterol., 52(7): 800-808. 2016.

6. Matsuda, T., Hiki, N., Nunobe, S., Aikou, S., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Yamaguchi, T.
Feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumors (with video)
Gastrointest. Endosc., 84(1): 47-52. 2016.

7. Omae, M., Fujisaki, J., Shimizu, T., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Igarashi, M., Seto, Y.
Correlation of the location of superficial Barrett's esophageal adenocarcinoma (s-BEA) with the direction of gastroesophageal reflux
Endosc. Int. Open, 4(5): E515-20. 2016.

8. Osumi, H., Fujisaki, J., Omae, M., Shimizu, T., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, A., Tsuchida, T., Yamamoto, Y., Igarashi, M.
Meta-analysis of lymph node metastasis in Siewert typeI and II T1 adenocarcinomas
World J. Metaanal., 4(6): 118-123. 2016.

9. Osumi, H., Fujisaki, J., Omae, M., Shimizu, T., Yoshio, T., Ishiyama, A., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Yamamoto, Y., Kawachi, H., Yamamoto, N., Igarashi, M.
Clinicopathological features of Siewert type II adenocarcinoma: comparison of gastric cardia adenocarcinoma and Barrett's esophageal adenocarcinoma following endoscopic submucosal dissection
Gastric Cancer, 20(4): 663-670. 2016.

10. Takizawa, K., Ono, H., Yamamoto, Y., Katai, H., Hori, S., Yano, T., Umegaki, E., Sasaki, S., Iizuka, T., Kawagoe, K., Shimoda, T., Muto, M., Sasako, M.
Incidence of lymph node metastasis in intramucosal gastric cancer measuring 30 mm or less, with ulceration; mixed, predominantly differentiated-type histology; and no lymphovascular invasion: a multicenter retrospective study
Gastric Cancer, 19(4): 1144-8. 2016.

11. Uedo, N., Gotoda, T., Yoshinaga, S., Tanuma, T., Morita, Y., Doyama, H., Aso, A., Hirasawa, T., Yano, T., Uchita, N., Hooi Ho, G.S., Hsieh, P.H.
Differences in routine esophagogastroduodenoscopy between Japanese and international facilities: a questionnaire survey
Dig. Endosc., 28(Suppl.1): 16-24. 2016.

12. Watanabe, T., Ajioka, Y., Mitsuyama, K., Watanabe, K., Hanai, H., Nakase, H., Kunisaki, R., Matsuda, K., Iwakiri, R., Hida, N., Tanaka, S., Takeuchi, Y., Ohtsuka, K., Murakami, K., Kobayashi, K., Iwao, Y., Nagahori, M., Iizuka, B., Hata, K., Igarashi, M., Hirata, I., Kudo, S.E., Matsumoto, T., Ueno, F., Watanabe, G., Ikegami, M., Ito, Y., Oba, K., Inoue, E., Tomotsugu, N., Takebayashi, T., Sugihara, K., Suzuki, Y., Watanabe, M., Hibi, T.
Comparison of targeted vs random biopsies for surveillance of ulcerative colitis-associated colorectal cancer
Gastroenterology, 151(6): 1122-1130. 2016.

13. Yoshio, T., Nishida, T., Hayashi, Y., Iijima, H., Tsujii, M., Fujisaki, J., Takehara, T.
Clinical problems with antithrombotic therapy for endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasms
World. J. Gastrointest. Surg., 8(20): 756-762. 2016.

14. Yoshizawa, N., Fujisaki, J., Omae, M., Igarashi, M., Tanabe, S., Koizumi, W.
Study of the invasion depth diagnosis of

superficial Barrett's esophageal adenocarcinoma-identification of large vessels by magnifying endoscopy is useful for the diagnosis of submucosal cancer
Adv. Res. Gastroenterol. Hepatol., 2(1): 1-5. 2016.

15. 大隅寛木, 藤崎順子, 土田知宏, 片岡星太, 石山晃世志, 平澤俊明, 由雄敏之, 山本頼正, 五十嵐正広, 海原和巳, 三木一正
新規ヘリコバクター・ピロリ抗体検査試薬(ラテックス法)の性能評価試験
医学と薬学, 73(5): 615-620. 2016.

16. 山口和久, 山本頼正, 堀内祐介, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子, 五十嵐正広
NBI 併用拡大内視鏡で診断できた胃過形成性ポリープ由来早期胃癌の 1 例
Prog. Dig. Endosc., 88(1): 100-101,6. 2016.

17. 山本頼正
胃疾患アトラス: 平坦な病変　早期胃癌(0-IIb、褪色のみで平坦な pure sig 未分化型腺癌)
消化器内視鏡, 28(8): 1256-1257. 2016.

18. 山本頼正, 比企直樹, 藤崎順子, 佐野武
術前内視鏡: 術前診断体系における内視鏡の役割
消化器内視鏡, 28(12): 1920-1928. 2016.

19. 山本頼正, 藤崎順子, 大前雅実, 平澤俊明, 五十嵐正広
ヘリコバクター・ピロリ菌陰性胃癌　その特徴と内視鏡所見
Gastroenterological Endoscopy, 58(9): 1492-1503. 2016.

20. 平澤俊明, 河内洋著, 藤崎順子監修
通常内視鏡観察による早期胃癌の拾い上げと診断. 東京: 日本メディカルセンター. 219p., 2016,

21. 平澤俊明, 藤崎順子, 河内洋
胃疾患アトラス: 陥凹を呈する病変　上皮性・腫瘍性　粘膜下異所性胃腺上にできた胃癌
消化器内視鏡, 28(8): 1306-1307. 2016.

22. 熊谷厚志, 比企直樹, 井田智, 布部創也, 大橋学, 山本頼正, 平澤俊明, 大前雅実, 藤崎順子, 佐野武, 山口俊晴
腹部良性疾患に対する外科治療の最前線: 胃粘膜下腫瘍
外科, 78(1): 23-28. 2016.

23. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 井田智, 大橋学, 山本頼正, 平澤俊明, 大前雅実, 藤崎順子, 佐野武, 山口俊晴
がん低侵襲治療の最新知見: 内視鏡・腹腔鏡合同手術の現状と展望
最新医学, 71(3): 378-385. 2016.

24. 熊谷厚志, 比企直樹, 布部創也, 大橋学, 井田智, 松田達雄, 山本頼正, 平澤俊明, 大前雅実, 藤崎順子, 佐野武, 山口俊晴
粘膜下腫瘍のすべて: 胃粘膜下腫瘍に対する LECS 関連手技
消化器内視鏡, 28(2): 226-232. 2016.

25. 片岡星太, 藤崎順子, 吉水祥一, 大隈寛木, 清水智樹, 金明哲, 堀内裕介, 大前雅実, 石山晃世志, 平澤俊明, 由雄敏之, 五十嵐正広
緩和内視鏡: 消化管腫瘍からの出血における緩和内視鏡
消化器内視鏡, 28(5): 687-693. 2016.

26. 由雄敏之
診療の秘訣　抗血栓薬の出血に及ぼす影響
Modern Physician, 36(12): 1309-1310. 2016.

27. 由雄敏之.
食道の良性腫瘍.
ピロリ菌陰性時代の上部消化管内視鏡 : これだけはおさえたい腫瘍性疾患の診かた (山本頼正ほか編集), 東京: 文光堂. 2016.

28. 藤崎順子, 堀内裕介, 平澤俊明, 山本頼正, 五十嵐正広
H.pylori 陰性胃癌
Gastroenterological Endoscopy, 58(12): 2375-2388. 2016.

29. 藤崎順子, 堀内裕介, 平澤俊明, 山本頼正, 五十嵐正広
手技の解説　H.pylori 未感染未分化型胃癌の診断のこつ
Gastroenterological Endoscopy, 58(4): 1001-1009. 2016.

30. 藤崎順子, 大前雅実, 清水智樹, 山崎明, 片岡星太, 吉水祥一, 大隅寛木, 堀内裕介, 由雄敏之, 平澤俊明, 石山晃世志, 山本頼正, 土田知宏, 五十嵐正広
表在型 Barrett 食道癌の診断: 表在型 Barrett 食道癌の内視鏡診断　拾い上げ診断
胃と腸, 51(10): 1299-1310. 2016.

下部消化管内科

1. Chino, A., Nagayama, S., Ishikawa, H., Morishige, K., Kishihara, T., Arai, M., Sugiura, Y., Motoi, N., Yamamoto, N., Tamegai, Y., Igarashi, M.
Cancer emerging from the recurrence of sessile serrated adenoma/polyp resected endoscopically 5 years ago
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(1): 89-85. 2016.

2. Chino, A., Osumi, H., Kishihara, T., Morishige, K., Ishikawa, H., Tamegai, Y., Igarashi, M.
Advantages of magnifying narrow-band imaging (NBI) for diagnosing the colorectal cancer coexisting with sessile serrated adenoma/polyp (SSA/P)
Dig. Endosc., 28(Suppl.1): 53-59. 2016.

3. Matsuda, T., Oka, S., Ikematsu, H., Matsushita, H., Mori, Y., Takeuchi, Y., Tamai, N., Kawamura, T., Chino, A., Keum, B., Khomvilai, S., Uraoka, T.
Endoscopic diagnosis of colorectal serrated lesions: Current status and future perspective based on the results of questionnaire survey
Dig. Endosc., 28(Suppl.1): 35-42. 2016.

4. 上野文昭, 工藤進英, 五十嵐正広, 遠藤豊, 井上詠, 関光徳
大腸内視鏡検査前処置薬としての AJG522 の有効性と安全性　ニフレック配合内用剤を対照とした無作為化比較試験(第 III 相臨床試験)結果の報告と臨床的意義の考察
新薬と臨牀, 65(5): 681-695. 2016.

5. 五十嵐正広
大腸内視鏡挿入法-永遠のテーマ：大腸内視鏡挿入法の基本知識
消化器内視鏡, 28(4): 516-523. 2016.

6. 井出大資, 斎藤彰一, 猪又寛子, 大谷友彦, 玉井尚人, 池上雅博
大腸腫瘍-拾い上げから精密診断まで: 大腸腫瘍・非腫瘍の鑑別診断　IEE 観察(通常および拡大観察)　NBI、AFI を中心に
消化器内視鏡, 28(9): 1448-1454. 2016.

7. 千野晶子, 岸原輝仁, 斎藤彰一, 河内洋, 五十嵐正広
大腸腫瘍-拾い上げから精密診断まで: SSA/P の診断と癌化例の検討
消化器内視鏡, 28(9): 1455-1460. 2016.

8. 千野晶子, 長山聡, 山本智理子, 河内洋, 五十嵐正広
大腸鋸歯状歯変に由来した大腸癌の遺伝子変異プロファイルに関する検討
大和証券ヘルス財団研究業績集, (39): 77-81. 2016.

9. 岸原輝仁, 千野晶子, 田顔夫佑樹, 中野薫, 岩崎将, 山崎明, 斎藤彰一, 為我井芳郎, 五十嵐正広
大腸内視鏡のリスクマネジメント：治療後の管理
臨床消化器内科, 31(12): 1619-1625. 2016.

10. 為我井芳郎, 大隅寛木, 岩崎将, 並河健, 城間翔, 田顔夫佑樹, 井出大資, 岸原輝仁, 千野晶子, 藤本佳也, 長山聡, 秋吉高志, 小西毅, 高松学, 河内洋, 福長洋介, 五十嵐正広, 斉藤彰一, 上野雅資, 武田晋一郎, 藤崎順子
ESD の実際　大腸側方発育型腫瘍(LST)に対する ESD
消化器の臨床, 19(6): 479-491. 2016.

11. 高松学, 河内洋, 山本智理子, 千野晶子, 斎藤彰一
病理学的にみる Cold polypectomy と Hot polypectomy の組織学的評価の利点・欠点
Intestine, 20(5): 479-483. 2016.

乳腺外科

1. Anan, K., Fukui, N., Kinoshita, T., Iwamoto, T., Niikura, N., Kawai, M., Hayashi, N., Tsugawa, K., Aogi, K., Ishida, T., Masuoka, H., Masuda, S., Iijima, K., Nakamura, S., Tokuda, Y.
Comprehensive prognostic report of the Japanese Breast Cancer Society Registry

in 2005
Breast Cancer, 23(1): 50-61. 2016.

2. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y.
Therapeutic effect of taxanes on metastatic breast cancer of various immunohistochemical subtypes
Oncol. Lett., 12(1): 663-669. 2016.

3. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Hatano, M., Takahashi, S., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
Imatinib could be a new strategy for pulmonary hypertension caused by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy in metastatic breast cancer
Springerplus, 5(1): 1582. 2016.

4. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Hozumi, Y., Sata, N., Ito, Y.
Predictive factors and value of ypN+ after neoadjuvant chemotherapy in clinically lymph node-negative breast cancer
PLoS One, 11(9): e0162616. 2016.

5. Fukuda, T., Horii, R., Gomi, N., Miyagi, Y., Takahashi, S., Ito, Y., Akiyama, F., Ohno, S., Iwase, T.
Accuracy of magnetic resonance imaging for predicting pathological complete response of breast cancer after neoadjuvant chemotherapy: association with breast cancer subtype
Springerplus, 5: 152. 2016.

6. Ishida, N., Araki, K., Sakai, T., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Hosoda, M., Yamamoto, M., Ichinokawa, K., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y., Yamashita, H.
Fulvestrant 500 mg in postmenopausal patients with metastatic breast cancer: the initial clinical experience
Breast Cancer, 23(4): 617-623. 2016.

7. Kataoka, A., Iwamoto, T., Tokunaga, E., Tomotaki, A., Kumamaru, H., Miyata, H., Niikura, N., Kawai, M., Anan, K., Hayashi, N., Masuda, S., Tsugawa, K., Aogi, K., Ishida, T., Masuoka, H., Iijima, K., Kinoshita, T., Nakamura, S., Tokuda, Y.
Young adult breast cancer patients have a poor prognosis independent of prognostic clinicopathological factors: a study from the Japanese Breast Cancer Registry
Breast Cancer Res. Treat., 160(1): 163-172. 2016.

8. Kobayashi, K., Horii, R., Ito, Y., Miyagi, Y., Ohno, S., Iwase, T., Akiyama, F.
Prognostic significance of histological therapeutic effect in preoperative chemotherapy for breast cancer
Pathol. Int., 66(1): 8-14. 2016.

9. Kobayashi, K., Ito, Y., Matsuura, M., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Hozumi, Y., Yasuda, Y., Hatake, K.
Impact of immunohistological subtypes on the long-term prognosis of patients with metastatic breast cancer
Surg. Today, 47(7): 821-6. 2016.

10. Kobayashi, T., Tomomatsu, J., Fukada, I., Shibayama, T., Teruya, N., Ito, Y., Iwase, T., Ohno, S., Takahashi, S.
Eribulin-induced liver dysfunction as a prognostic indicator of survival of metastatic breast cancer patients: a retrospective study
BMC Cancer, 16: 404. 2016.

11. Makita, M., Akiyama, F., Gomi, N., Iwase, T.
Mammary ductoscopy and watchful follow-up substitute microdochectomy in patients with bloody nipple discharge
Breast Cancer, 23(2): 242-251. 2016.

12. Makita, M., Sakai, T., Ogiya, A., Kitagawa, D., Morizono, H., Miyagi, Y., Iijima, K., Iwase, T.
Optimal surveillance for postoperative metastasis in breast cancer patients
Breast Cancer, 23(2): 286-294. 2016.

13. Ogiya, A., Kimura, K., Nakashima, E., Sakai, T., Miyagi, Y., Iijima, K., Morizono, H.,

Makita, M., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T. Long-term prognoses and outcomes of axillary lymph node recurrence in 2,578 sentinel lymph node-negative patients for whom axillary lymph node dissection was omitted: results from one Japanese hospital Breast Cancer, 23(2): 318-22. 2016.

14. 中島直美, 小口正彦, 岩瀬拓士
放射線治療-最近の動向と展望: 乳癌への放射線治療
カレントテラピー, 34(5): 455-461. 2016.

15. 北川大 , 大野真司
FOCUS リスク低減乳房切除
臨床外科, 71(8): 987-991. 2016.

16. 吉田和世, 深田一平, 柴山朋子, 小林心, 荒木和浩, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 大野真司, 伊藤良則
トラスツズマブ初回投与で重篤な肺障害を認めた乳癌の 1 例
乳癌の臨床, 31(2): 137-141. 2016.

17. 坂井威彦
非浸潤性乳管癌(DCIS)の診断と治療: DCIS の治療　DCIS におけるセンチネルリンパ節生検の意義
外科, 78(7): 711-714. 2016.
大野真司
医師主導治験の取り組み　アカデミアが実施する意義
腫瘍内科, 17(5): 573-576. 2016.

18. 宮城由美
施設の成長につなぐ乳房検査最新事情: 乳がん検診の確固たる武器とは　乳がん検診の現状と未来
新医療, 43(11): 27-30. 2016.

19. 宮城由美 , 大野真司
若い世代から増えている女性のがん: 乳がん非触知乳癌診断の限界
臨牀と研究, 93(6): 789-792. 2016.

20. 岩瀬拓士
乳癌検診の不利益を考える
東京都医師会雑誌, 69(4): 323-331. 2016.

21. 岩瀬拓士
外科標準術式　若手外科医のために　乳腺外科人工物による同時再建を考慮に入れた乳房切除術
日本外科学会雑誌, 117(3): 260-262. 2016.

22. 後藤與四成, 木村聖美, 蒔田益次郎, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
病理切り出し面の間に埋没した非触知乳癌の 1 例
外科, 78(2): 181-184. 2016.

23. 深田一平 , 大野真司
オーダーメイド治療時代の新薬の位置づけと使い方: がん関連　乳がん
臨牀と研究, 93(3): 355-360. 2016.

乳腺内科

1. Aihara, T., Toyama, T., Takahashi, M., Yamamoto, Y., Hara, F., Akabane, H., Fujisawa, T., Ishikawa, T., Nagai, S., Nakamura, R., Tsurutani, J., Ito, Y., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guideline for systemic treatment of breast cancer, 2015 edition
Breast Cancer, 23(3): 329-42. 2016.

2. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y.
Therapeutic effect of taxanes on metastatic breast cancer of various immunohistochemical subtypes
Oncol. Lett., 12(1): 663-669. 2016.

3. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Hatano, M., Takahashi, S., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
Imatinib could be a new strategy for pulmonary hypertension caused by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy in metastatic breast cancer
Springerplus, 5(1): 1582. 2016.

4. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Hozumi, Y., Sata, N., Ito, Y.
Predictive factors and value of ypN+ after neoadjuvant chemotherapy in clinically

lymph node-negative breast cancer
PLoS One, 11(9): e0162616. 2016.

5. Fukuda, T., Horii, R., Gomi, N., Miyagi, Y., Takahashi, S., Ito, Y., Akiyama, F., Ohno, S., Iwase, T.
Accuracy of magnetic resonance imaging for predicting pathological complete response of breast cancer after neoadjuvant chemotherapy: association with breast cancer subtype
Springerplus, 5: 152. 2016.

6. Horii, R., Honma, N., Ogiya, A., Kozuka, Y., Yoshida, K., Yoshida, M., Horiguchi, S.I., Ito, Y., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guidelines for pathological diagnosis of breast cancer, 2015 edition
Breast Cancer, 23(3): 391-399. 2016.

7. Ishida, N., Araki, K., Sakai, T., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Hosoda, M., Yamamoto, M., Ichinokawa, K., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y., Yamashita, H.
Fulvestrant 500 mg in postmenopausal patients with metastatic breast cancer: the initial clinical experience
Breast Cancer, 23(4): 617-623. 2016.

8. Jinno, H., Inokuchi, M., Ito, T., Kitamura, K., Kutomi, G., Sakai, T., Kijima, Y., Wada, N., Ito, Y., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guideline for surgical treatment of breast cancer, 2015 edition
Breast Cancer, 23(3): 367-77. 2016.

9. Kashiwaba, M., Ito, Y., Takao, S., Doihara, H., Rai, Y., Kanatani, K., Takashima, S., Masuda, N.
A multicenter Phase II study evaluating the efficacy, safety and pharmacokinetics of trastuzumab emtansine in Japanese patients with heavily pretreated HER2-positive locally recurrent or metastatic breast cancer
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(5): 407-14. 2016.

10. Kobayashi, K., Horii, R., Ito, Y., Miyagi, Y., Ohno, S., Iwase, T., Akiyama, F.
Prognostic significance of histological therapeutic effect in preoperative chemotherapy for breast cancer
Pathol. Int., 66(1): 8-14. 2016.

11. Kobayashi, K., Ito, Y., Matsuura, M., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Hozumi, Y., Yasuda, Y., Hatake, K.
Impact of immunohistological subtypes on the long-term prognosis of patients with metastatic breast cancer
Surg. Today, 47(7): 821-6. 2016.

12. Kobayashi, T., Tomomatsu, J., Fukada, I., Shibayama, T., Teruya, N., Ito, Y., Iwase, T., Ohno, S., Takahashi, S.
Eribulin-induced liver dysfunction as a prognostic indicator of survival of metastatic breast cancer patients: a retrospective study
BMC Cancer, 16: 404. 2016.

13. Nakagawa, T., Horii, R., Ito, Y., Iwase, T., Akiyama, F.
Development of an easy method to test for HER2 in breast cancer using dual-color in situ hybridization
Breast Cancer, 23(1): 78-84. 2016.

14. Nakayama, Y., Ito, Y., Tanabe, M., Takahashi, S.
Omission of dexamethasone from antiemetic treatment for highly emetogenic chemotherapy in breast cancer patients with hepatitis B infection or diabetes mellitus
J. Community Support. Oncol., 14(5): 210-4. 2016.

15. Ohno, S.
Tolerability of therapies recommended for the treatment of hormone receptor-positive locally advanced or metastatic breast cancer
Clin. Breast Cancer, 16(4): 238-46. 2016.

16. Shigematsu, Y., Araki, K., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ohno, S., Itoh, Y.
Aggressive recurrence of early breast invasive ductal carcinoma with gastric metastasis during adjuvant hormonal therapy

Case Rep. Clin. Pathol., 3(1): 1-6. 2016.

17. Taira, N., Arai, M., Ikeda, M., Iwasaki, M., Okamura, H., Takamatsu, K., Nomura, T., Yamamoto, S., Ito, Y., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guidelines for epidemiology and prevention of breast cancer, 2015 edition
Breast Cancer, 23(3): 343-356. 2016.

18. Takizawa, K., Yamamoto, H., Taguchi, K., Ohno, S., Tokunaga, E., Yamashita, N., Kubo, M., Nakamura, M., Oda, Y.
Insulin-like growth factor II messenger RNA-binding protein-3 is an indicator of malignant phyllodes tumor of the breast
Hum. Pathol., 55: 30-8. 2016.

19. Toi, M., Ohno, S., Saeki, T., Nakamura, S., Thurlimann, B.
For choosing axillary treatment, and adjuvant hormonal treatment
Breast Cancer, 23(2): 167-9. 2016.

20. Tozaki, M., Kuroki, Y., Kikuchi, M., Kojima, Y., Kubota, K., Nakahara, H., Ito, Y., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guidelines for screening and imaging diagnosis of breast cancer, 2015 edition
Breast Cancer, 23(3): 357-66. 2016.

21. Yamauchi, C., Sekiguchi, K., Nishioka, A., Arahira, S., Yoshimura, M., Ogo, E., Oguchi, M., Ito, Y., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guideline for radiation treatment of breast cancer, 2015 edition
Breast Cancer, 23(3): 378-90. 2016.

22. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 北川大
BRCA1/2 の genomic 変異を伴う家族性腫瘍
Cancer Board of the Breast, 2(1): 5-17. 2016.

23. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 森園英智
悪性葉状腫瘍
Cancer Board of the Breast, 2(2): 77-88. 2016.

24. 伊藤良則
分子治療薬を用いた併用療法の理論と効果: 乳がんに対する mTOR/PI3K 阻害剤と内分泌療法
腫瘍内科, 18(1): 25-29. 2016.

25. 吉田和世, 深田一平, 柴山朋子, 小林心, 荒木和浩, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 大野真司, 伊藤良則
トラスツズマブ初回投与で重篤な肺障害を認めた乳癌の 1 例
乳癌の臨床, 31(2): 137-141. 2016.

26. 後藤與四成, 田辺真彦, 伊藤良則, 高橋俊二, 堀井理絵, 秋山太, 岩瀬拓士
乳腺の再発化生癌に対する化学療法の検討
乳癌の臨床, 31(4): 289-295. 2016.

27. 柴山朋子
これがいま、臨床でできるベスト!がん薬物療法の副作用対策　最新エビデンス&現場のノウハウ: (Part1)薬物療法に伴う知っておくべき副作用　骨髄抑制
ナーシング, 36(2): 12-15. 2016.

28. 深田一平 , 大野真司
オーダーメイド治療時代の新薬の位置づけと使い方: がん関連　乳がん
臨牀と研究, 93(3): 355-360. 2016.

29. 荒木和浩
乳がんに対する新しい診断技術と治療戦略: 乳がんにおけるシグナル伝達系阻害剤の Precision Medicine は実現するか?　PI3K 阻害剤、AKT 阻害剤、mTOR 阻害剤
腫瘍内科, 18(3): 234-241. 2016.

30. 荒木和浩 , 伊藤良則
遺伝子プロファイリングと癌治療: 乳癌治療における多重遺伝子発現解析の現状
癌と化学療法, 43(11): 1332-1340. 2016.

婦人科

1. Ikeda, Y., Furusawa, A., Kitagawa, R., Tokinaga, A., Ito, F., Ukita, M., Nomura, H., Yamagami, W., Tanabe, H., Mikami, M., Takeshima, N., Yaegashi, N.
Practice patterns of adjuvant therapy for intermediate/high recurrence risk cervical cancer patients in Japan
J. Gynecol. Oncol., 27(3): e29. 2016.

2. Kato, K., Katsuda, T., Takeshima, N.
Cytoreduction of diaphragmatic metastasis from ovarian cancer with involvement of the liver using a ventral liver mobilization technique
Gynecol. Oncol., 140(3): 577-9. 2016.

3. Kato, K., Nomura, H., Nagashima, M., Takeshima, N.
Secondary debulking surgery for isolated pelvic nodal recurrence requiring external iliac vein excision and reconstruction in a patient with ovarian cancer
Gynecol. Oncol., 143(3): 684-5. 2016.

4. Machida, H., Casey, J.P., Garcia-Sayre, J., Jung, C.E., Casabar, J.K., Moeini, A., Kato, K., Roman, L.D., Matsuo, K.
Timing of intra-uterine manipulator insertion during minimally invasive surgical staging and results of pelvic cytology in endometrial cancer
J. Minim. Invasive Gynecol., 23(2): 234-41. 2016.

5. Matsuo, K., Jung, C.E., Hom, M.S., Gualtieri, M.R., Randazzo, S.C., Kanao, H., Yessaian, A.A., Roman, L.D.
Predictive factor of donversion to laparotomy in minimally invasive surgical staging for endometrial cancer
Int. J. Gynecol. Cancer, 26(2): 290-300. 2016.

6. Matsuo, K., Takazawa, Y., Ross, M.S., Elishaev, E., Podzielinski, I., Yunokawa, M., Sheridan, T.B., Bush, S.H., Klobocista, M.M., Blake, E.A., Takano, T., Matsuzaki, S., Baba, T., Satoh, S., Shida, M., Nishikawa, T., Ikeda, Y., Adachi, S., Yokoyama, T., Takekuma, M., Fujiwara, K., Hazama, Y., Kadogami, D., Moffitt, M.N., Takeuchi, S., Nishimura, M., Iwasaki, K., Ushioda, N., Johnson, M.S., Yoshida, M., Hakam, A., Li, S.W., Richmond, A.M., Machida, H., Mhawech-Fauceglia, P., Ueda, Y., Yoshino, K., Yamaguchi, K., Oishi, T., Kajiwara, H., Hasegawa, K., Yasuda, M., Kawana, K., Suda, K., Miyake, T.M., Moriya, T., Yuba, Y., Morgan, T., Fukagawa, T., Wakatsuki, A., Sugiyama, T., Pejovic, T., Nagano, T., Shimoya, K., Andoh, M., Shiki, Y., Enomoto, T., Sasaki, T., Mikami, M., Shimada, M., Konishi, I., Kimura, T., Post, M.D., Shahzad, M.M., Im, D.D., Yoshida, H., Omatsu, K., Ueland, F.R., Kelley, J.L., Karabakhtsian, R.G., Roman, L.D.
Significance of histologic pattern of carcinoma and sarcoma components on survival outcomes of uterine carcinosarcoma
Ann. Oncol., 27(7): 1257-66. 2016.

7. Nomura, H., Sugiyama, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Kanao, H., Kondo, E., Takeshima, N.
Long-term outcomes of fertility-sparing treatment of atypical polypoid adenomyoma with medroxyprogesterone acetate
Arch. Gynecol. Obstet., 293(1): 177-181. 2016.

8. Onda, T., Satoh, T., Saito, T., Kasamatsu, T., Nakanishi, T., Nakamura, K., Wakabayashi, M., Takehara, K., Saito, M., Ushijima, K., Kobayashi, H., Kawana, K., Yokota, H., Takano, M., Takeshima, N., Watanabe, Y., Yaegashi, N., Konishi, I., Kamura, T., Yoshikawa, H.
Comparison of treatment invasiveness between upfront debulking surgery versus interval debulking surgery following neoadjuvant chemotherapy for stage III/IV ovarian, tubal, and peritoneal cancers in a phase III randomised trial: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG0602
Eur. J. Cancer, 64: 22-31. 2016.

9. Shigematsu, Y., Matsuura, M., Nishimura, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y., Takeshima, N., Hatake, K.
Intravascular large B-cell lymphoma of bilateral ovaries and the uterus in an asymptomatic patient with a t(11;22)(q23;q11) constitutional translocation
Intern. Med., 55(21): 3169-74. 2016.

10. Shimada, M., Nagao, S., Fujiwara, K., Takeshima, N., Takizawa, K., Shoji, T., Sugiyama, T., Yamaguchi, S., Nishimura, R., Kigawa, J.

Neoadjuvant chemotherapy with docetaxel and carboplatin followed by radical hysterectomy for stage IB2, IIA2, and IIB patients with non-squamous cell carcinoma of the uterine cervix
Int. J. Clin. Oncol., 21(6): 1128-35. 2016.

11. Shimada, M., Sato, S., Oishi, T., Itamochi, H., Kigawa, J., Takeshima, N., Aoki, D., Aoki, Y., Nambu, Y., Ochiai, K.
Feasibility study on combination chemotherapy using nogitecan hydrochloride (topotecan) and cisplatin for patients with metastatic, persistent, or recurrent uterine cervical cancer
Int. J. Clin. Oncol., 21(5): 969-974. 2016.

12. Tanigawa, T., Matoda, M., Yamamoto, A., Nomura, H., Okamoto, S., Sakamoto, K., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K., Takeshima, N.
Clinical usefulness of the oral chemotherapy agent S-1 in heavily pre-treated patients with advanced or recurrent cervical cancer
Arch. Gynecol. Obstet., 293(3): 633-8. 2016.

13. Umayahara, K., Takekuma, M., Hirashima, Y., Noda, S.E., Ohno, T., Miyagi, E., Hirahara, F., Hirata, E., Kondo, E., Tabata, T., Nagai, Y., Aoki, Y., Wakatsuki, M., Takeuchi, M., Toita, T., Takeshima, N., Takizawa, K.
Phase II study of concurrent chemoradiotherapy with weekly cisplatin and paclitaxel in patients with locally advanced uterine cervical cancer: The JACCRO GY-01 trial
Gynecol. Oncol., 140(2): 253-8. 2016.

14. Usami, T., Takahashi, A., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Kanao, H., Umayahara, K., Takeshima, N.
Review of treatment and prognosis of stage IVB cervical carcinoma
Int. J. Gynecol. Cancer, 26(7): 1239-45. 2016.

15. 勝田隆博, 高橋顕雅, 松浦基樹, 長島稔, 松岡和子, 近藤英司, 竹島信宏
卵巣癌の治療経過中に診断したサルコイドーシスの 1 例
東京産科婦人科学会会誌, 65(4): 665-669. 2016.

16. 古田玲子, 山田麻里沙, 池畑浩一, 鈴木奈緒子, 古田則行, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 北川知行
細胞診 ASC-H の組織学的な背景病変 : 現状と問題
日本臨床細胞学会雑誌, 55(3): 180-188. 2016.

17. 宇津木久仁子
がん患者が気になる外見の変化とメーキャップ化粧品へのニーズ
Cosmetic stage, 11(2): 50-54. 2016.

18. 宇津木久仁子
がん治療(標準治療)の基礎知識　治療の流れを理解し、より適切な治療を受けるために(第 10 回)　子宮頸がん・子宮体がん
ライフライン 21 がんの先進医療, 20: 71-74. 2016.

19. 宇津木久仁子
がん治療(標準治療)の基礎知識　治療の流れを理解し、より適切な治療を受けるために(第 11 回)　卵巣がん
ライフライン 21 がんの先進医療, 20: 78-81. 2016.

20. 宇津木久仁子
リンパ浮腫医療の最新事情 制度面からみた現在のリンパ浮腫治療の限界とその打破にむけて
リンパ学, 39(1): 49-51. 2016.

21. 宇津木久仁子.
婦人科で活かせるメイクアップセラピー.
リハビリメイク : 見えてくる、メイクアップセラピーという選択肢. (青木律, かづきれいこ編著), 東京: 克誠堂,　pp. 16-20.

22. 宇津木久仁子
知っておきたいリンパ浮腫の知識
超音波検査技術, 41(4): 407-412. 2016.

23. 宇津木久仁子, 野村秀高, 岡本三四郎, 勝田隆博, 加藤一喜, 竹島信宏
成熟嚢胞性奇形腫の腹腔鏡下腫瘍核出術の途中で悪性転化を疑い術式変更した 33 歳症例

診断上の pitfall
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌, 32: 309-313. 2016.

24. 宇津木久仁子著
知って安心婦人科のがんと治療：子宮頸がん・子宮体がん・子宮肉腫・卵巣がん・外陰がん・膣がん. 東京: イカロス出版. 191p., 2016,

25. 的田眞紀 , 竹島信宏
産婦人科処方実践マニュアル： (第 2 章)婦人科腫瘍分野　子宮頸部腫瘍　子宮頸癌の術後化学療法
産科と婦人科, 83(Suppl.): 125-127. 2016.

26. 的田眞紀, 長島稔, 高橋顕雅, 松浦基樹, 勝田隆博, 金尾祐之, 加藤一喜, 竹島信宏
薬物療法と手術療法が奏効した腹膜播種を伴う低悪性度子宮内膜間質肉腫 2 症例
東京産科婦人科学会会誌, 65(3): 449-456. 2016.

27. 竹島信宏
遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)と予防的両側付属器切除(RRSO)　HBOC に対する当院の取り組み　RRSO の現状と今後の展望
日本産科婦人科学会雑誌, 68(12): 3077-3080. 2016.

28. 近藤英司 , 竹島信宏
当院における腹腔鏡下子宮体癌根治術の検討
産婦人科の実際, 65(3): 341-346. 2016.

29. 近藤英司, 野村秀高, 竹島信宏
婦人科診療の近未来：HBOC： サーベイランス・予防・治療
産婦人科の実際, 65(12): 1633-1639. 2016.

30. 野村秀高, 新井正美, 竹島信宏
婦人科腫瘍の遺伝診療: リスク低減手術
産婦人科の実際, 65(6): 685-690. 2016.

31. 金尾祐之
子宮悪性腫瘍に対する低侵襲手術の確立に向けて 子宮頸癌根治術に対する腹腔鏡手術の安全な導入とその応用
日本産科婦人科学会雑誌, 68(11): 2666-2681. 2016.

32. 金尾祐之著
解剖学的視点で解き明かす女性骨盤手術. 東京: 南江堂. 102p., 2016,

33. 金尾祐之, 岡本三四郎, 松岡和子, 杉原武, 竹島信宏
シリーズで学ぶ最新知識　立体的骨盤解剖の理解と腹腔鏡手術へのアプローチ　子宮体がんに対する腹腔鏡手術の実際
産婦人科の実際, 65(9): 1073-1081. 2016.

34. 金尾祐之, 岡本三四郎, 松岡和子, 杉原武, 竹島信宏
シリーズで学ぶ最新知識　立体的骨盤解剖の理解と腹腔鏡手術へのアプローチ　稀な婦人科癌に対する腹腔鏡手術の実際
産婦人科の実際, 65(11): 1553-1561. 2016.

35. 金尾祐之, 的田眞紀, 長島稔, 高橋顕雅, 竹島信宏
シリーズで学ぶ最新知識　立体的骨盤解剖の理解と腹腔鏡手術へのアプローチ　系統解剖学的視点と外科解剖学的視点に基づいた骨盤解剖
産婦人科の実際, 65(8): 957-964. 2016.

36. 長島稔, 高橋顕雅, 的田眞紀, 金尾祐之, 竹島信宏
TMA 様の病態を呈し、化学療法開始が困難であった若年性子宮体部神経内分泌癌の 1 例
東京産科婦人科学会会誌, 65(1): 128-133. 2016.

頭頸科

1. Fukuoka, O., Sugitani, I., Ebina, A., Toda, K., Kawabata, K., Yamada, K.
Natural history of asymptomatic papillary thyroid microcarcinoma: Time-dependent changes in calcification and vascularity during
active surveillance
World J. Surg., 40(3): 529-37. 2016.

2. Homma, A., Hayashi, R., Kawabata, K., Fujii, T., Iwae, S., Hasegawa, Y., Nibu, K., Kato, T., Shiga, K., Matsuura, K., Monden, N., Fujii, M.
Association of impaired renal function and poor prognosis in oropharyngeal squamous

cell carcinoma
Head Neck, 38(10): 1495-500. 2016.

3. Nakano, K., Sato, Y., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.
Combination chemotherapy of carboplatin and
paclitaxel for advanced/metastatic salivary gland carcinoma patients: differences in responses by different pathological diagnoses
Acta Otolaryngol., 136(9): 948-51. 2016.

4. Nakano, K., Sato, Y., Toshiyasu, T., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.
Predictive factors of head and neck squamous cell carcinoma patient tolerance to high-dose cisplatin in concurrent chemoradiotherapy
Mol. Clin. Oncol., 4(2): 303-309. 2016.

5. Onoda, N., Sugino, K., Higashiyama, T., Kammori, M., Toda, K., Ito, K., Yoshida, A., Suganuma, N., Nakashima, N., Suzuki, S., Tsukahara, K., Noguchi, H., Koizumi, M., Nemoto, T., Hara, H., Miyauchi, A., Sugitani, I.
The safety and efficacy of weekly paclitaxel administration for anaplastic thyroid cancer patients: A nationwide prospective study
Thyroid, 26(9): 1293-9. 2016.

6. 三谷浩樹
耳鼻咽喉科とメディカルスタッフ: 頭頸部癌手術とメディカルスタッフ
JOHNS, 32(4): 491-497. 2016.

7. 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 福島啓文, 日高竜太, 上里迅, 佐藤由紀子
咽頭癌に対する経口腔的アプローチによる手術の適応と限界 頸部リンパ節転移出現リスクから検討する下咽頭癌経口的切除術と頸部郭清術の適応
口腔・咽頭科, 29(1): 1-7. 2016.

8. 佐々木徹, 川端一嘉, 三谷浩樹, 福島啓文, 日高竜太, 上里迅, 佐藤由紀子
頸部リンパ節転移出現リスクから検討する下咽頭癌経口的切除術と頸部隔清術の適応
日本口腔・咽頭科学会雑誌, 29(1): 1-7. 2016.

9. 佐々木徹, 新橋渉, 川端一嘉
中咽頭癌-HPV の視点からみた大きな変化 : 治療再建手術の適応と限界は?
JOHNS, 32(3): 343-345. 2016.

10. 峯真司, 渡邊雅之, 新橋渉
イラストで学ぶ消化器外科再建法のすべて: 食道 空腸再建　遊離空腸再建
外科, 78(12): 1294-1297. 2016.

11. 神山亮介, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 蛯名彩, 日高竜太, 白尾浩太郎, 上里迅, 近藤貴仁, 服部雅優, 小幡和史
頭頸部癌症例の長期予後　手術 vs 放治・化療 下咽頭喉頭全摘術を施行した下咽頭癌症例の長期予後と術後合併症・QOL の検討
頭頸部癌, 42(4): 376-381. 2016.

12. 福島啓文
下咽頭癌・喉頭癌はここまできた: 喉頭全摘後の音声再獲得
ENTONI, (195): 65-72. 2016.

13. 福島啓文
喉をとったら声が出せなくなるのですか? プロヴォックスによるシャント発声を含めて
頭頸部癌 Frontier, 4(1): 40-41. 2016.

14. 福島啓文.
喉頭摘出患者のリハビリテーション.
今日の治療指針. (福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集), 東京: 医学書院,　pp. 1555-1556. 2016.

15. 蛯名彩 , 杉谷巌
甲状腺疾患の controversy : 甲状腺乳頭癌に対する治療方針選択　甲状腺切除範囲と補助療法
内分泌・糖尿病・代謝内科, 42(1): 39-46. 2016.

16. 蛯名彩 , 杉谷巌
甲状腺癌の最新の治療
日本薬剤師会雑誌, 68(2): 219-224. 2016.

整形外科

1. Akaike, G., Ueno, T., Matsumoto, S., Motoi, N., Matsueda, K.
Rapidly growing giant cell tumor of bone in a skeletally immature girl
Skeletal Radiol., 45(4): 567-73. 2016.

2. Hayakawa, K., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Funauchi, Y., Motoi, N.
Risk factors for distant metastasis of dermatofibrosarcoma protuberans
J. Orthop. Traumatol., 17(3): 261-6. 2016.

3. Imanishi, J., Yazawa, Y., Saito, T., Shimizu, M., Kawashima, H., Ae, K., Matsumine, A., Torigoe, T., Sugiura, H., Joyama, S.
Erratum to: Atypical and malignant granular cell tumors in Japan: a Japanese Musculoskeletal Oncology Group (JMOG) study
Int. J. Clin. Oncol., 21(6): 1198. 2016.

4. Nakano, K., Motoi, N., Tomomatsu, J., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Risk factors for pneumothorax in advanced and/or metastatic soft tissue sarcoma patients during pazopanib treatment: a single-institute analysis
BMC Cancer, 16(1): 750. 2016.

5. Nakayama, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T.
The significance of rectus femoris for the favorable functional outcome after total femur replacement
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 4(3): e630. 2016.

6. Saotome, S., Ae, K., Okawa, A., Ishizuki, M., Morioka, H., Matsumoto, S., Nakamura, T., Abe, S., Beppu, Y., Shinomiya, K.
Efficacy and safety of porous hydroxyapatite/type 1 collagen composite implantation for bone regeneration: A randomized controlled study
J. Orthop. Sci., 21(3): 373-380. 2016.

7. 中山隆之 , 中村卓郎
整形トピックス 骨・軟部腫瘍の実地臨床における融合遺伝子解析
整形外科, 67(11): 1154. 2016.

8. 五木田茶舞
知っておきたい整形外科の腫瘍: 代表的な骨軟部腫瘍
整形外科看護, 21(2): 190-197. 2016.

9. 元井紀子, 植野映子, 松本誠一, 石川雄一.
Ewing 肉腫.
腫瘍病理鑑別診断アトラス：骨腫瘍. (野島孝之, 小田義直編集), 東京: 文光堂, pp. 143-150. 2016

10. 棚倉健太, 今井智浩, 阿江啓介, 松本誠一
腫瘍切除後の再建：前腕・肘部・上肢の切除後の再建
PEPARS, 114: 62-70. 2016.

11. 蛭田啓之, 阿江啓介, 杉浦善弥, 石川雄一.
骨肉腫の組織学的効果判定と切除縁評価.
腫瘍病理鑑別診断アトラス：骨腫瘍. (野島孝之, 小田義直編集), 東京: 文光堂, pp. 214-220. 2016

12. 谷澤泰介
知っておきたい整形外科の腫瘍: 悪性骨軟部腫瘍患者への看護ポイントとリハビリ
整形外科看護, 21(2): 198-204. 2016.

13. 谷澤泰介, 松本誠一, 阿江啓介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生
人工関節の長期成績 腫瘍用人工膝関節置換再建後 20 年以上フォローアップ症例の検討
日本整形外科学会雑誌, 90(11): 950-955. 2016.

14. 阿江啓介
知っておきたい整形外科の腫瘍: 整形外科の腫瘍とは
整形外科看護, 21(2): 184-189. 2016.

15. 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 五木田茶舞, 早川景子, 船内雄生
悪性骨腫瘍の診断と治療の最前線: 原発性悪性骨腫瘍の画像診断　術前化学療法効果判定に基づく治療的画像診断
整形・災害外科, 59(8): 1033-1041. 2016.

泌尿器科

1. Albiges, L., Hakimi, A.A., Xie, W., McKay, R.R., Simantov, R., Lin, X., Lee, J.L., Rini, B.I., Srinivas, S., Bjarnason, G.A., Ernst, S., Wood, L.A., Vaishamayan, U.N., Rha, S.Y., Agarwal, N., Yuasa, T., Pal, S.K., Bamias, A., Zabor, E.C., Skanderup, A.J., Furberg, H., Fay, A.P., de Velasco, G., Preston, M.A., Wilson, K.M., Cho, E., McDermott, D.F., Signoretti, S., Heng, D.Y., Choueiri, T.K.
Body mass index and metastatic renal cell carcinoma: Clinical and biological correlations
J. Clin. Oncol., 34(30): 3655-3663. 2016.

2. Hayashi, T., Yuasa, T., Uehara, S., Inoue, Y., Yamamoto, S., Masuda, H., Fujii, Y., Fukui, I., Yonese, J.
Clinical outcome of urachal cancer in Japanese patients
Int. J. Clin. Oncol., 21(1): 133-138. 2016.

3. Inokuchi, J., Naito, S., Fujimoto, H., Hara, T., Sakura, M., Nishiyama, H., Miyazaki, J., Kikuchi, E., Hinotsu, S., Koie, T., Ohyama, C.
Impact of multimodal treatment on prognosis for patients with metastatic upper urinary tract urothelial cancer: Subanalysis of the multi-institutional nationwide case series study of the Japanese Urological Association
Int. J. Urol., 23(3): 224-30. 2016.

4. Isono, T., Chano, T., Yonese, J., Yuasa, T.
Therapeutic inhibition of mitochondrial function induces cell death in starvation-resistant renal cell carcinomas
Sci. Rep., 6: 25669. 2016.

5. Isono, T., Chano, T., Yoshida, T., Kageyama, S., Kawauchi, A., Suzaki, M., Yuasa, T.
Hydroxyl-HIF2-alpha is potential therapeutic target for renal cell carcinomas
Am. J. Cancer Res., 6(10): 2263-2276. 2016.

6. Kimura, G., Yonese, J., Fukagai, T., Kamba, T., Nishimura, K., Nozawa, M., Mansbach, H., Theeuwes, A., Beer, T.M., Tombal, B., Ueda, T.
Enzalutamide in Japanese patients with chemotherapy-naive, metastatic castration-resistant prostate cancer: A post-hoc analysis of the placebo-controlled PREVAIL trial
Int. J. Urol., 23(5): 395-403. 2016.

7. Koie, T., Ohyama, C., Fujimoto, H., Nishiyama, H., Miyazaki, J., Hinotsu, S., Kikuchi, E., Sakura, M., Inokuchi, J., Hara, T.
Diversity in treatment modalities of Stage II/III urothelial cancer in Japan: sub-analysis of the multi-institutional national database of the Japanese Urological Association
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(5): 468-74. 2016.

8. Miyazaki, J., Nishiyama, H., Fujimoto, H., Ohyama, C., Koie, T., Hinotsu, S., Kikuchi, E., Sakura, M., Inokuchi, J., Hara, T.
Laparoscopic versus open nephroureterectomy in muscle-invasive upper tract urothelial carcinoma: Subanalysis of the multi-institutional national database of the Japanese Urological Association
J. Endourol., 30(5): 520-5. 2016.

9. Ruiz-Morales, J.M., Swierkowski, M., Wells, J.C., Fraccon, A.P., Pasini, F., Donskov, F., Bjarnason, G.A., Lee, J.L., Sim, H.W., Sliwczynsk, A., Ptak-Chmielewska, A., Teter, Z., Beuselinck, B., Wood, L.A., Yuasa, T., Pezaro, C., Rini, B.I., Szczylik, C., Choueiri, T.K., Heng, D.Y.
First-line sunitinib versus pazopanib in metastatic renal cell carcinoma: Results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium
Eur. J. Cancer, 65: 102-8. 2016.

10. Sano, M., Yamamoto, S., Uehara, S., Yuasa, T., Masuda, H., Fukui, I., Yonese, J.
Long-term complete response of antiandrogen withdrawal syndrome in a patient with metastatic prostate cancer: A case report
Mol. Clin. Oncol., 5(3): 208-210. 2016.

11. Shibata, H., Kato, S., Sekine, I., Abe, K., Araki, N., Iguchi, H., Izumi, T., Inaba, Y., Osaka, I., Kato, S., Kawai, A., Kinuya, S., Kodaira, M., Kobayashi, E., Kobayashi, T., Sato, J., Shinohara, N., Takahashi, S., Takamatsu, Y., Takayama, K., Takayama, K., Tateishi, U., Nagakura, H., Hosaka, M., Morioka, H., Moriya, T., Yuasa, T., Yurikusa, T., Yomiya, K., Yoshida, M.
Diagnosis and treatment of bone metastasis: comprehensive guideline of the Japanese Society of Medical Oncology, Japanese Orthopedic Association, Japanese Urological Association, and Japanese Society for Radiation Oncology
ESMO Open, 1(2): e000037. 2016.

12. Suzuki, H., Inoue, Y., Fujimoto, H., Yonese, J., Tanabe, K., Fukasawa, S., Inoue, T., Saito, S., Ueno, M., Otaka, A.
Diagnostic performance and safety of NMK36 (*trans*-1-amino-3-[^{18}F]fluorocyclobutanecarboxylic acid)-PET/CT in primary prostate cancer: multicenter Phase IIb clinical trial
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(2): 152-62. 2016.

13. Tanaka, H., Yoshida, S., Komai, Y., Sakai, Y., Urakami, S., Yuasa, T., Yamamoto, S., Masuda, H., Koizumi, M., Kohno, A., Fukui, I., Yonese, J., Fujii, Y., Kihara, K.
Clinical value of 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography in upper tract urothelial carcinoma: Impact on detection of metastases and patient management.
Urol. Int., 96(1): 65-72. 2016.

14. Waseda, Y., Saito, K., Ishioka, J., Matsuoka, Y., Numao, N., Fujii, Y., Sakai, Y., Koga, F., Okuno, T., Arisawa, C., Kamata, S., Nagahama, K., Masuda, H., Yonese, J., Kageyama, Y., Noro, A., Tsujii, T., Morimoto, S., Gotoh, S., Kihara, K.
Ureteral Involvement Is Associated with Poor Prognosis in Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma Patients Treated by Nephroureterectomy: A Multicenter Database Study
Eur Urol Focus, 2(3): 296-302. 2016.

15. Yamasaki, M., Shin, T., Sato, R., Hirai, K., Kan, T., Fujinami, H., Mori, K., Sumino, Y., Nomura, T., Sato, F., Masuda, H., Yonese, J., Mimata, H.
Pfannenstiel laparoendoscopic reduced-port radical nephrectomy
Asian J. Endosc. Surg., 9(3): 222-5. 2016.

16. Yamasaki, M., Yuasa, T., Uehara, S., Fujii, Y., Yamamoto, S., Masuda, H., Fukui, I., Yonese, J.
Improvement of renal function by changing the bone-modifying agent from zoledronic acid to denosumab
Int. J. Clin. Oncol., 21(6): 1191-5. 2016.

17. Yamasaki, M., Yuasa, T., Yamamoto, S., Hayashi, T., Ogawa, M., Sakura, M., Masuda, H., Fukui, I., Yonese, J.
Efficacy and safety profile of enzalutamide for Japanese patients with castration-resistant prostate cancer
Anticancer Res., 36(1): 361-5. 2016.

18. Yuasa, T.
Editorial Comment to Role of routine computed tomography scan in the oncological follow up of patients treated by radical cystectomy for bladder cancer
Int. J. Urol., 23(10): 846-847. 2016.

19. 増田均
前立腺がん術後の重い尿失禁を改善！「人工尿道括約筋埋込手術」
がんサポート, No.1542016.

20. 増田均
日常診療でよくみられる女性疾患：泌尿器科領域の視点から　エストロゲンと女性下部尿路症状
Progress in Medicine, 36(6): 757-760. 2016.

21. 増田均
過活動膀胱の最新の治療-QOL 改善に広がる選択肢: 治療薬解説　β3 作動薬と抗コリン剤との併用療法
カレントテラピー, 34(12): 1202-1205. 2016.

22. 湯浅健.
泌尿生殖器悪性腫瘍.
がん診療ポケットレファレンス. (A.E. Drilon, M.A., Postow 編., 畠清彦監訳), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 120-131. 2016.

23. 湯浅健
生存期間を延ばす新薬が登場 前立腺がん骨転移の治療薬
がんサポート, 14(7): 96. 2016.

24. 福井巌
泌尿器科領域のがん治療の進歩
お茶の水医学雑誌, 64(2): 239-255. 2016.

血液腫瘍科

1. Dobashi, A., Tsuyama, N., Asaka, R., Togashi, Y., Ueda, K., Sakata, S., Baba, S., Sakamoto, K., Hatake, K., Takeuchi, K.
Frequent *BCOR* aberrations in extranodal NK/T-Cell lymphoma, nasal type
Genes Chromosomes Cancer, 55(5): 460-71. 2016.

2. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Takahashi, S., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S., Hatake, K., Hozumi, Y., Sata, N., Ito, Y.
Predictive factors and value of ypN+ after neoadjuvant chemotherapy in clinically lymph node-negative breast cancer
PLoS One, 11(9): e0162616. 2016.

3. Goy, A., Forero, A., Wagner-Johnston, N., Christopher Ehmann, W., Tsai, M., Hatake, K., Ananthakrishnan, R., Volkert, A., Vandendries, E., Ogura, M.
A phase 2 study of inotuzumab ozogamicin in patients with indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma refractory to rituximab alone, rituximab and chemotherapy, or radioimmunotherapy
Br. J. Haematol., 174(4): 571-81. 2016.

4. Harada, A., Oguchi, M., Terui, Y., Takeuchi, K., Igarashi, M., Kozuka, T., Harada, K., Uno, T., Hatake, K.
Radiation therapy for localized duodenal low-grade follicular lymphoma
J. Radiat. Res., 57(5): 412-417. 2016.

5. Hatake, K., Doi, T., Uetake, H., Takahashi, Y., Ishihara, Y., Shirao, K.
Bevacizumab safety in Japanese patients with colorectal cancer
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(3): 234-40. 2016.

6. Kobayashi, K., Ito, Y., Matsuura, M., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Hozumi, Y., Yasuda, Y., Hatake, K.
Impact of immunohistological subtypes on the long-term prognosis of patients with metastatic breast cancer
Surg. Today, 47(7): 821-6. 2016.

7. Kusano, Y., Nishimura, N., Yokoyama, M., Terui, Y., Hatake, K.
Gastric involvement, a rare site for extramedullary myeloma
Ann. Hematol., 95(4): 663-4. 2016.

8. Kusano, Y., Terui, Y., Nishimura, N., Takahashi, A., Inoue, N., Ueda, K., Mishima, Y., Yokoyama, M., Hatake, K.
Acute pulmonary embolism induced gy pomalidomide plus low-dose dexamethasone
Remedy Open Access: Hematology, 1: 1021. 2016.

9. Kusano, Y., Terui, Y., Nishimura, N., Yokoyama, M., Ueda, K., Hatake, K.
Myelomatous meningitis: a case report
Int. J. Hematol., 104(2): 149-50. 2016.

10. Kusano, Y., Terui, Y., Ueda, K., Hatake, K.
Epstein-Barr virus gastric ulcer associated with ruxolitinib
Ann. Hematol., 95(10): 1741-2. 2016.

11. Kusano, Y., Terui, Y., Ueda, K., Hatake, K.
Klebsiella pneumoniae primary liver abscess associated with ruxolitinib
Ann. Hematol., 95(9): 1561-2. 2016.

12. Kusano, Y., Terui, Y., Yokoyama, M., Hatake, K.

Lichenoid drug eruption associated with Bendamustine
Blood Cancer J., 6(6): e438. 2016.

13. Maruyama, D., Nagai, H., Fukuhara, N., Kitano, T., Ishikawa, T., Shibayama, H., Choi, I., Hatake, K., Uchida, T., Nishikori, M., Kinoshita, T., Matsuno, Y., Nishikawa, T., Takahara, S., Tobinai, K.
Efficacy and safety of ibrutinib in Japanese patients with relapsed or refractory mantle cell lymphoma
Cancer Sci., 107(12): 1785-90. 2016.

14. Ogura, M., Tobinai, K., Hatake, K., Davies, A., Crump, M., Ananthakrishnan, R., Ishibashi, T., Paccagnella, M.L., Boni, J., Vandendries, E., MacDonald, D.
Phase I study of inotuzumab ozogamicin combined with R-CVP for relapsed/refractory CD22+ B-cell non-Hodgkin lymphoma
Clin. Cancer Res., 22(19): 4807-4816. 2016.

15. Shigematsu, Y., Matsuura, M., Nishimura, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y., Takeshima, N., Hatake, K.
Intravascular large B-cell lymphoma of bilateral ovaries and the uterus in an asymptomatic patient with a t(11;22)(q23;q11) constitutional translocation
Intern. Med., 55(21): 3169-74. 2016.

16. Suzuki, K., Shinagawa, A., Uchida, T., Taniwaki, M., Hirata, H., Ishizawa, K., Matsue, K., Ogawa, Y., Shimizu, T., Otsuka, M., Matsumoto, M., Iida, S., Terui, Y., Matsumura, I., Ikeda, T., Takezako, N., Ogaki, Y., Midorikawa, S., Houck, V., Ervin-Haynes, A., Chou, T.
Lenalidomide and low-dose dexamethasone in Japanese patients with newly diagnosed multiple myeloma: a phase II study
Cancer Sci., 107(5): 653-8. 2016.

17. 三嶋裕子.
次世代新規薬剤の開発：6. 現在開発中の次々世代薬オーバービュー：4) Ricolinostat, Indatuximab ravtansine.
多発性骨髄腫 updating 第９巻　治療抵抗性の克服に向けて:第 2 世代 PI から次々世代薬まで.
(安倍正博ほか編), 大阪: 医薬ジャーナル社,　pp. 166-173. 2016.

18. 井上典仁
これがいま、臨床でできるベスト!がん薬物療法の副作用対策　最新エビデンス&現場のノウハウ (Part3)薬物療法に伴う急な症状　悪性リンパ腫治療開始の翌日に急性腎障害!　腫瘍崩壊症候群(TLS)
ナーシング, 36(2): 67-70. 2016.

19. 扇屋大輔, 柴山浩彦, 中谷英仁, 安藤潔, 鈴木憲史, 黒田芳明, 内田俊樹, 丸山大, 松本守生, 末永孝生, 飯田真介, 照井康仁, 李政樹, 張高明, 青墳信之, 田端淑恵, 小西順, 大橋一輝, 品川篤司, 杉浦勇, 黒田純也, 宮本敏浩, 小椋美知則, 飛内賢正, 金倉譲, 堀田知光
移植非適応の多発性骨髄腫日本人患者に対する MPB 療法(JPN-102 試験)の長期フォローアップ解析
臨床血液, 57(11): 2311-2318. 2016.

20. 新田英昭
びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の中枢神経再発と診断時単球数
血液内科, 72(1): 108-113. 2016.

21. 横山雅大
低悪性度Ｂ細胞腫瘍の診療と研究の新展開 低悪性度 B 細胞腫瘍に対する新規抗体療法 ofatumumab、obinutuzumab、polatuzumab vedotin
血液内科, 72(1): 67-71. 2016.

22. 横山雅大
変わりゆくリンパ腫の診断と治療-一般外来での初発症状から最新治療まで　リンパ腫の診断 リンパ腫のステージング検査
内科, 117(6): 1297-1301. 2016.

23. 横山雅大
消化器がん化学療法　Chemotherapy for Gastro-intestinal Cancer　2016 消化器がん化学療法の実際　がん腫別化学療法　消化管悪性リンパ腫
臨床消化器内科, 31(7): 1000-1003. 2016.

24. 照井康仁.
III. Older Adult Oncology.
多発性骨髄腫Updating 第9巻 治療抵抗性の克服に向けて：第2世代PIから次々世代薬まで.
(清水一之編集), 大阪: 医薬ジャーナル社, pp. 222-232. 2016.

25. 照井康仁.
UP-TO-DATE 多発性骨髄腫のいまを知る：③再発・難治症例 多発性骨髄腫の治療.
骨髄腫診療 PROGRESS. (赤司浩一監修), 東京: メディカルレビュー社, pp. 40-43. 2016.

26. 照井康仁.
がん疫学：がん予防とスクリーニング 総論.
がん診療ポケットレファランス. (畠清彦監訳), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 2-5. 2016.

27. 照井康仁
リンパ系腫瘍に対するkey clinical trialsの評価
未治療慢性リンパ性白血病に対する新規抗CD20抗体obinutuzumabの有効性
血液内科, 72(4): 468-470. 2016.

28. 畠清彦監訳
がん診療ポケットレファランス. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル. 331p., 2016,

29. 西村倫子.
第12章 感染症.
がん診療ポケットレファランス. (A.E. ドリロン, M.A.著. ポストウ, 畠清彦監訳), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 112-119. 2016.

30. 郡司匡弘
これがいま、臨床でできるベスト!がん薬物療法の副作用対策 最新エビデンス&現場のノウハウ (Part3)薬物療法に伴う急な症状 抗がん薬治療開始時に血小板減少と出血斑! 播種性血管内凝固症候群(DIC)
ナーシング, 36(2): 71-74. 2016.

総合腫瘍科

1. Araki, N., Takahashi, S., Sugiura, H., Ueda, T., Yonemoto, T., Takahashi, M., Morioka, H., Hiraga, H., Hiruma, T., Kunisada, T., Matsumine, A., Kawai, A.
Retrospective inter- and intra-patient evaluation of trabectedin after best supportive care for patients with advanced translocation-related sarcoma after failure of standard chemotherapy
Eur. J. Cancer, 56: 122-30. 2016.

2. Bando, H., Doi, T., Muro, K., Yasui, H., Nishina, T., Yamaguchi, K., Takahashi, S., Nomura, S., Kuno, H., Shitara, K., Sato, A., Ohtsu, A.
A multicenter phase II study of TAS-102 monotherapy in patients with pre-treated advanced gastric cancer (EPOC1201)
Eur. J. Cancer, 62: 46-53. 2016.

3. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Iwase, T., Ito, Y.
Therapeutic effect of taxanes on metastatic breast cancer of various immunohistochemical subtypes
Oncol. Lett., 12(1): 663-669. 2016.

4. Fukada, I., Araki, K., Kobayashi, K., Shibayama, T., Hatano, M., Takahashi, S., Iwase, T., Ohno, S., Ito, Y.
Imatinib could be a new strategy for pulmonary hypertension caused by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy in metastatic breast cancer
Springerplus, 5(1): 1582. 2016.

5. Fukuda, T., Horii, R., Gomi, N., Miyagi, Y., Takahashi, S., Ito, Y., Akiyama, F., Ohno, S., Iwase, T.
Accuracy of magnetic resonance imaging for predicting pathological complete response of breast cancer after neoadjuvant chemotherapy: association with breast cancer subtype
Springerplus, 5: 152. 2016.

6. Kobayashi, K., Ito, Y., Matsuura, M., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T., Hozumi, Y., Yasuda, Y., Hatake, K.

Impact of immunohistological subtypes on the long-term prognosis of patients with metastatic breast cancer
Surg. Today, 47(7): 821-6. 2016.

7. Kobayashi, T., Tomomatsu, J., Fukada, I., Shibayama, T., Teruya, N., Ito, Y., Iwase, T., Ohno, S., Takahashi, S.
Eribulin-induced liver dysfunction as a prognostic indicator of survival of metastatic breast cancer patients: a retrospective study
BMC Cancer, 16: 404. 2016.

8. Morioka, H., Takahashi, S., Araki, N., Sugiura, H., Ueda, T., Takahashi, M., Yonemoto, T., Hiraga, H., Hiruma, T., Kunisada, T., Matsumine, A., Susa, M., Nakayama, R., Nishimoto, K., Kikuta, K., Horiuchi, K., Kawai, A.
Results of sub-analysis of a phase 2 study on trabectedin treatment for extraskeletal myxoid chondrosarcoma and mesenchymal chondrosarcoma
BMC Cancer, 16: 479. 2016.

9. Nakano, K., Motoi, N., Tomomatsu, J., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Matsumoto, S., Takahashi, S.
Risk factors for pneumothorax in advanced and/or metastatic soft tissue sarcoma patients during pazopanib treatment: a single-institute analysis
BMC Cancer, 16(1): 750. 2016.

10. Nakano, K., Sato, Y., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.
Combination chemotherapy of carboplatin and paclitaxel for advanced/metastatic salivary gland carcinoma patients: differences in responses by different pathological diagnoses
Acta Otolaryngol., 136(9): 948-51. 2016.

11. Nakano, K., Sato, Y., Toshiyasu, T., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.
Predictive factors of head and neck squamous cell carcinoma patient tolerance to high-dose cisplatin in concurrent chemoradiotherapy
Mol. Clin. Oncol., 4(2): 303-309. 2016.

12. Shibata, H., Kato, S., Sekine, I., Abe, K., Araki, N., Iguchi, H., Izumi, T., Inaba, Y., Osaka, I., Kato, S., Kawai, A., Kinuya, S., Kodaira, M., Kobayashi, E., Kobayashi, T., Sato, J., Shinohara, N., Takahashi, S., Takamatsu, Y., Takayama, K., Takayama, K., Tateishi, U., Nagakura, H., Hosaka, M., Morioka, H., Moriya, T., Yuasa, T., Yurikusa, T., Yomiya, K., Yoshida, M.
Diagnosis and treatment of bone metastasis: comprehensive guideline of the Japanese Society of Medical Oncology, Japanese Orthopedic Association, Japanese Urological Association, and Japanese Society for Radiation Oncology
ESMO Open, 1(2): e000037. 2016.

13. Shigematsu, Y., Araki, K., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ohno, S., Itoh, Y.
Aggressive recurrence of early breast invasive ductal carcinoma with gastric metastasis during adjuvant hormonal therapy
Case Rep. Clin. Pathol., 3(1): 1-6. 2016.

14. Shigematsu, Y., Matsuura, M., Nishimura, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y., Takeshima, N., Hatake, K.
Intravascular large B-cell lymphoma of bilateral ovaries and the uterus in an asymptomatic patient with a t(11;22)(q23;q11) constitutional translocation
Intern. Med., 55(21): 3169-74. 2016.

15. Takahashi, S., Nakano, K., Yokota, T., Shitara, K., Muro, K., Sunaga, Y., Ecstein-Fraisse, E., Ura, T.
Phase 1 study of ombrabulin in combination with cisplatin (CDDP) in Japanese patients with advanced solid tumors
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(11): 1000-1007. 2016.

16. 仲野兼司
2016 ASCO Annual Meeting におけるトピック

ス
頭頸部癌 Frontier, 4(2)2016.

17. 仲野兼司
局所進行例に対しての治療戦略　シスプラチン適応のグレーゾーンについての考察・導入化学療法の今後
頭頸部癌 Frontier, 4(2): 69-72. 2016.

18. 仲野兼司
耳鼻咽喉科処方マニュアル:　がん治療副作用・疼痛緩和 骨髄抑制
耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 88(5): 326-327. 2016.

19. 友松純一
Evidence "The Classic" Review《甲状腺がん》甲状腺がん治療に新たな道を示した SELECT 試験
Cancer Board Square, 2(2): 354-355. 2016.

20. 吉田和世, 深田一平, 柴山朋子, 小林心, 荒木和浩, 高橋俊二, 岩瀬拓士, 大野真司, 伊藤良則
トラスツズマブ初回投与で重篤な肺障害を認めた乳癌の 1 例
乳癌の臨床, 31(2): 137-141. 2016.

21. 岩澤俊一郎, 仲野兼司, 齋藤亜由美
View-point がん診療 「原発不明がん」:Topics Q&A
Cancer Board Square, 2(3): 548-561. 2016.

22. 平良眞一郎
消化器がん化学療法　Chemotherapy for Gastro-intestinal Cancer　2016: 消化器がん化学療法の実際　消化器がんキードラッグの基礎知識　抗 EGFR 抗体薬、抗 HER2 抗体薬
臨床消化器内科, 31(7): 899-906. 2016.

23. 浦崎哲也 , 松原伸晃
悪性腫瘍に対する分子標的治療薬　現状と今後 (第 8 回)　泌尿器科領域の分子標的治療薬とコンパニオン診断
病理と臨床, 34(11): 1217-1224. 2016.

24. 米田俊之, 萩野浩, 杉本利嗣, 太田博明, 高橋俊二, 宗圓總, 田口明, 永田俊彦, 浦出雅裕, 柴原孝彦, 豊澤悟
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の病態と管理:顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー
2016: 1-16. 2016.

25. 高橋俊二.
がん治療における骨粗鬆症対策.
最新医学別冊:診断と治療の ABC;骨粗鬆症. (竹内靖博企画), 大阪: 最新医学社,　pp. 98-99. 2016.

26. 高橋俊二
分子標的治療(レンバチニブ臨床試験)を経験した甲状腺癌症例
Thyroid Cancer Explore, 2(1): 73-77. 2016.

27. 高橋俊二
前立腺癌　がん・合併症・有害事象での薬物治療戦略を総まとめ: 前立腺癌患者の骨病変と痛みへのアプローチ　前立腺癌骨病変への対応策
薬局, 67(11): 3070-3076. 2016.

28. 高橋俊二
前立腺癌と骨-骨の特殊性を科学する-: 骨転移巣を標的とした薬物治療
Prostate Journal, 3(2): 163-167. 2016.

29. 高橋俊二
去勢抵抗性前立腺がん治療の現状と今後の展望 CRPC に対する骨転移治療
泌尿器外科, 29(8): 1347-1350. 2016.

30. 高橋俊二
希少がんの治療戦略: その他の希少がん(デスモイド腫瘍、肺外小細胞がん、性腺外胚細胞腫瘍)に対する治療
腫瘍内科, 17(3): 303-310. 2016.

31. 高橋俊二
新しいチロシンキナーゼ阻害薬: 多標的チロシンキナーゼ阻害薬
がん分子標的治療, 14(3): 301-307. 2016.

32. 高橋俊二
甲状腺癌の薬物療法について: 甲状腺髄様癌における分子標的治療の開発
日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌, 33(3): 145-150. 2016.

33. 高橋俊二
発熱性好中球減少への対応　PEG-G-CSF の使い方
腫瘍内科, 17(2): 237-245. 2016.

34. 高橋俊二
骨粗鬆症関連ガイドラインと日常診療: 続発性骨粗鬆症の診断、治療　治療関連骨粗鬆症　性ホルモン低下療法に伴う骨粗鬆症
THE BONE, 30(1): 77-83. 2016.

総合内科

1. Shiga, T.
Cardiac troponin as a specific and non-specific biomarker for cardiovascular events
Int. Heart J., 57(3): 265-267. 2016.

2. 中山耕之介.
痛風・高尿酸血症治療薬ほか.
治療薬マニュアル 2016. (高久史麿, et al.), 東京: 医学書院. 2016.

3. 志賀太郎
Onco-Cardiology-がん化学療法と心血管合併症： 臨床　マルチキナーゼ阻害薬による心血管毒性
Cardiac Practice, 27(2): 117-122. 2016.

麻酔科

1. Nejo, T., Kohno, M., Nagata, O., Sora, S., Sato, H.
Dorsal displacement of the facial nerve in acoustic neuroma surgery: clinical features and surgical outcomes of 21 consecutive dorsal pattern cases
Neurosurg. Rev., 39(2): 277-88. 2016.

2. Saitoh, Y., Sashiyama, H., Oshima, T., Nakata, Y., Sato, J.
Retraction note to: Assessment of neuromuscular block at the orbicularis oris, corrugator supercilii, and adductor pollicis muscles
J. Anesth., 30(6): 1097. 2016.

3. Yoshimura, M., Iizaka, S., Kohno, M., Nagata, O., Yamasaki, T., Mae, T., Haruyama, N., Sanada, H.
Risk factors associated with intraoperatively acquired pressure ulcers in the park-bench position: a retrospective study
Int. Wound. J., 13(6): 1206-13. 2016.

4. 大里彰二郎 , 横田美幸
術前投与薬物への対応：化学療法に用いられる薬物
麻酔, 65(11): 1125-1134. 2016.

5. 柏井朗宏 , 横田美幸
気道管理の最先端：頭頸部外科患者における気道確保　疾病特徴と解剖学的変化の評価および術前準備
LiSA, 23(7): 602-608. 2016.

6. 横田美幸
麻酔科医の立ち位置と診療報酬
臨床麻酔, 40(8): 1151-1158. 2016.

がん疼痛治療科

1. 服部政治
がんの痛みを我慢しない!(第 1 回)　医療用麻薬に対する知識や痛みの治療法を知って、がんの痛みは退治しよう!
ライフライン 21 がんの先進医療, 22: 39-41. 2016.

2. 服部政治
がんの痛みを我慢しない!(第 2 回)　世界でも「がんの痛みの治療法」は指導されている
ライフライン 21 がんの先進医療, 23: 42-44. 2016.

3. 服部政治
乳癌診療における緩和治療　癌疼痛管理の基本と専門的治療
乳癌の臨床, 31(4): 279-284. 2016.

4. 服部政治 , 立花潤子
膵疾患の疼痛治療の up-to-date-疼痛の発生メカニズムから疾患別治療まで-: 膵癌の疼痛治療　経皮的神経ブロック
胆と膵, 37(12): 1609-1614. 2016.

腫瘍精神科

1. 織壁里名.
Ⅳ章：こんなときどうする？急性期病院で認知症が問題になるケース 5.薬の内服(頓用の使い方が困難であること、内服は定期的に).
そうだったんた！認知症：治療・ケアが上手くいかないのは認知度のせい？. (小川朝生編集), 東京: 文光堂,　pp. 92-99. 2016.

2. 織壁里名.
Ⅳ章：こんなときどうする？急性期病院で認知症が問題になるケース 6.セルフケ.
そうだったんた！認知症：治療・ケアが上手くいかないのは認知度のせい？. (小川朝生編集), 東京: 文光堂, pp. 100-106. 2016.

形成外科

1. Yamamoto, T., Yamamoto, N., Ishiura, R.
Fusion lymphoplasty for diameter approximation in lymphatic supermicrosurgery using two lymphatic vessels for a larger recipient vein
J. Plast. Reconstr. Aesthet. Surg., 69(9): 1306-8. 2016.

2. 古林玄, 棚倉健太, 宮下宏紀, 澤泉雅之, 新井正美, 岩瀬拓士, 大野真司, 秋山太
乳房再建時に Li-Fraumeni Syndorome と診断した両側乳癌の 1 例
Oncoplastic Breast Surgery, 1(1): 32-36. 2016.

3. 塩崎正崇 , 澤泉雅之
人工乳房再建に隠れた危険性　組織拡張器(tissue expander)挿入中の MRI 撮影
医学のあゆみ, 259(12-13): 1224-1225. 2016.

4. 山下昌宏, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 松本綾希子, 岩瀬拓士, 大野真司
ティッシュエキスパンダーの長期留置についての検討
Oncoplastic Breast Surgery, 1(1): 25-31. 2016.

5. 山下昌宏, 澤泉雅之, 柴田知義
新たな光学機器で見た形成外科疾患: 乳房再建(インプラント)における 3D 形状測定の現状
形成外科, 59(10): 1049-1057. 2016.

6. 松本綾希子, 梁太一, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 岩瀬拓士, 五味直哉
超音波検査によるシリコーン乳房インプラント破損診断
Oncoplastic Breast Surgery, 1(2): 64-74. 2016.

7. 松本綾希子, 澤泉雅之, 梁太一, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 岩瀬拓士, 五味直哉
超音波検査によるシリコーン乳房インプラント破損診断
Oncoplastic Breast Surgery, 1(1): 64-74. 2016.

8. 棚倉健太, 今井智浩, 阿江啓介, 松本誠一
腫瘍切除後の再建：前腕・肘部・上肢の切除後の再建
PEPARS, 114: 62-70. 2016.

9. 棚倉健太, 宮下宏紀, 澤泉雅之
ティッシュ・エキスパンダー/シリコーン・ブレストインプラントによる乳房再建の工夫
PEPARS, 115: 19-28. 2016.

眼 科

1. Komatsu, K., Sakai, T., Kaburaki, T., Tsuji, H., Tsuneoka, H.
Atypical presentation of primary intraocular lymphoma
BMC Ophthalmol, 16(1): 171. 2016.

2. 河田美貴子
がん研究会有明病院における眼部腫瘍性疾患の臨床病理学的検討
臨床眼科, 70(4): 555-561. 2016.

3. 辻秀貴.
朝顔症候群.
一目でわかる眼疾患の見分け方 (下巻) ぶどう膜疾患、網膜、硝子体疾患. (井上幸次ほか編集), 東京: メジカルビュー社, pp. 148. 2016.

4. 辻英貴.
リンパ腫.
一目でわかる眼疾患の見分け方 (上巻) 角結膜疾患, 緑内障 (井上幸次ほか編集), 東京: メジカルビュー社, pp. 112. 2016.

5. 辻英貴
切らずに治す眼腫瘍-主役に迫る補助療法-: 局所化学療法
眼科手術, 29(3): 383-387. 2016.

6. 辻英貴
涙道悪性腫瘍
眼科, 58(4): 423-431. 2016.

7. 辻英貴
涙道診療 ABC： 涙道に関する腫瘍性病変
OCULISTA, (No. 35): 59-64. 2016.

8. 辻英貴
目のがん　診断と治療: 標準治療　眼窩腫瘍の診断と治療
ライフライン 21 がんの先進医療, 22: 22-25. 2016.

9. 辻英貴
目指せ!眼の形成外科エキスパート(第 18 回) 眼瞼腫瘍は色で診断!　顔つきから疾患を当てよう!
臨床眼科, 70(2): 208-216. 2016.

10. 辻英貴.
眼瞼の画像診断.
眼科診療マイスター Ⅰ; 診察と検査. (飯田知弘, 中澤徹, 堀裕一編集), 東京: メジカルビュー社,　pp. 34-38. 2016.

11. 辻英貴
眼科医のための救急マニュアル：早い診断・治療の必要な眼瞼腫瘍
OCULISTA, (44): 9-18. 2016.

12. 辻英貴.
第 3 章 各論 Ⅰ 眼瞼の形成手術 R 悪性腫瘍切除後の眼瞼再建.
(眼科臨床エキスパート) 眼形成手術 ： 眼瞼から涙器まで. (高比良雅之, 後藤浩編), 東京: 医学書院,　pp. 272-286. 2016.

感染症科

1. 原田壮平
目でみるトレーニング
medicina, 53(10): 1660. 2016.

2. 大串大輔 , 原田壮平
抗菌薬の考え方,使い方-ホントのところを聞いてみました：尿路感染症 腎盂腎炎
Medicina, 53(7): 1004-1007. 2016.

3. 大串大輔 , 原田壮平
《症例から学ぶ》内科疾患の診断・治療ピットフォール:
(第 5 章)感染症 カンジダ血症
内科, 117(4): 869-874. 2016.

4. 羽山ブライアン
抗菌薬の考え方,使い方-ホントのところ聞いてみました：尿路感染症 膀胱炎
Medicina, 53(7): 1008-1010. 2016.

5. 羽山ブライアン.
癌患者における感染症.
感染症最新の治療 2016-2018. (藤田次郎, 竹末芳生, 舘田一博編集), 東京: 南江堂.

漢方サポート科

1. 星野恵津夫, 井上美貴, 新見正則, 福元晃
消化器がん化学療法　Chemotherapy for Gastro-intestinal Cancer　2016: がん化学療法の有害事象に対する漢方薬の使い方
臨床消化器内科, 31(7): 1062-1065. 2016.

歯 科

1. 富塚健.
がん患者の口腔ケアの基本 2. 口腔のアセスメント.
がん患者の口腔マネージメントテキスト ： 看護師がお口のことで困ったら. (上野尚雄, 山田みつぎ, 岩隈好恵編), 東京: 文光堂,　pp. 14-22., 2016

2. 富塚健, 上野尚雄, 小西哲仁, 百合草健圭志, 臼渕公敏, 石川徹
がん専門病院歯科で行う周術期口腔ケア方法の標準化に向けた調査および検討
大和証券ヘルス財団研究業績集, (39): 73-76. 2016.

緩和治療科

1. Hamano, J., Yamaguchi, T., Maeda, I., Suga, A., Hisanaga, T., Ishihara, T., Iwashita, T., Kaneishi, K., Kawagoe, S., Kuriyama, T., Maeda, T., Mori, I., Nakajima, N., Nishi, T., Sakurai, H., Shimoyama, S., Shinjo, T., Shirayama, H., Yamada, T., Morita, T.
Multicenter cohort study on the survival time of cancer patients dying at home or in a hospital: Does place matter?
Cancer, 122(9): 1453-60. 2016.

2. Matsuo, N., Morita, T., Matsuda, Y., Okamoto, K., Matsumoto, Y., Kaneishi, K.,

Odagiri, T., Sakurai, H., Katayama, H., Mori, I., Yamada, H., Watanabe, H., Yokoyama, T., Yamaguchi, T., Nishi, T., Shirado, A., Hiramoto, S., Watanabe, T., Kohara, H., Shimoyama, S., Aruga, E., Baba, M., Sumita, K., Iwase, S.
Predictors of responses to corticosteroids for anorexia in advanced cancer patients: a multicenter prospective observational study
Support. Care Cancer, 25(1): 41-50. 2016.

3. Matsuo, N., Morita, T., Matsuda, Y., Okamoto, K., Matsumoto, Y., Kaneishi, K., Odagiri, T., Sakurai, H., Katayama, H., Mori, I., Yamada, H., Watanabe, H., Yokoyama, T., Yamaguchi, T., Nishi, T., Shirado, A., Hiramoto, S., Watanabe, T., Kohara, H., Shimoyama, S., Aruga, E., Baba, M., Sumita, K., Iwase, S.
Predictors of responses to corticosteroids for cancer-related fatigue in advanced cancer patients: A multicenter, prospective, observational study
J. Pain Symptom Manage., 52(1): 64-72. 2016.

4. 中山博文, 今高博美, 金田聡門, 市川度
消化器がん化学療法　Chemotherapy for Gastro-intestinal Cancer　2016: がん化学療法における薬剤耐性
臨床消化器内科, 31(7): 780-785. 2016.

5. 佐伯吉規
FAST FACT(第 12 回)　アカシジア
緩和ケア, 26(6): 444. 2016.

6. 佐伯吉規.
向精神薬の減量の仕方について教えてください.
在宅訪問・かかりつけ薬剤師のための服薬管理はじめの一歩コツとわざ. (吉澤明孝編集代表), 東京: じほう. 2016.

放射線治療部

1. Harada, A., Oguchi, M., Terui, Y., Takeuchi, K., Igarashi, M., Kozuka, T., Harada, K., Uno, T., Hatake, K.
Radiation therapy for localized duodenal low-grade follicular lymphoma
J. Radiat. Res., 57(5): 412-417. 2016.

2. Nakajima, N., Oguchi, M., Kumai, Y., Yoshida, M., Iwase, T., Ito, Y., Akiyama, F., Ohno, S.
Clinical outcome and prognostic factors in locally advanced breast cancer patients treated with neoadjuvant chemotherapy followed by surgery and postmastectomy radiation therapy
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 96(2S): E22. 2016.

3. Nakamura, S., Murakami, N., Inaba, K., Wakita, A., Kobayashi, K., Takahashi, K., Okamoto, H., Umezawa, R., Morota, M., Sumi, M., Igaki, H., Ito, Y., Itami, J.
After low and high dose-rate interstitial brachytherapy followed by IMRT radiotherapy for intermediate and high risk prostate cancer
BMC Cancer, 16: 296. 2016.

4. Nakano, K., Sato, Y., Toshiyasu, T., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K., Takahashi, S.
Predictive factors of head and neck squamous cell carcinoma patient tolerance to high-dose cisplatin in concurrent chemoradiotherapy
Mol. Clin. Oncol., 4(2): 303-309. 2016.

5. Nose, T., Onoe, T., Otani, Y., Oguchi, M., Yamashita, T.
A simple technique to minimize needle displacement in gynecologic interstitial brachytherapy: Use of fully stretched elastic tapes
Brachytherapy, 15(3): 347-352. 2016.

6. Nose, T., Otani, Y., Asahi, S., Tsukiyama, I., Dokiya, T., Saeki, T., Fukuda, I., Sekine, H., Shikama, N., Kumazaki, Y., Takahashi, T., Yoshida, K., Kotsuma, T., Masuda, N., Yoden, E., Nakashima, K., Matsumura, T., Nakagawa, S., Tachiiri, S., Moriguchi, Y., Itami, J., Oguchi, M.
A Japanese prospective multi-institutional feasibility study on accelerated partial breast irradiation using interstitial brachytherapy: clinical results with a median follow-up of 26

months
Breast Cancer, 23(6): 861-868. 2016.

7. Sakumi, A., Miyagawa, R., Tamari, Y., Nawa, K., Sakura, O., Nakagawa, K.
External effective radiation dose to workers in the restricted area of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant during the third year after the Great East Japan Earthquake
J. Radiat. Res., 57(2): 178-81. 2016.

8. Sato, T., Hayakawa, K., Tomita, N., Noda, M., Kamikonya, N., Watanabe, T., Kato, D., Sakai, Y., Hiraoka, M., Shimada, M., Ikushima, H., Baba, H., Oya, N., Oya, M., Nemoto-Murofushi, K., Takeuchi, M., Watanabe, M.
A multicenter phase I study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 and irinotecan for locally advanced lower rectal cancer (SAMRAI-1)
Radiother. Oncol., 120(2): 222-7. 2016.

9. Sekine, I., Sumi, M., Satouchi, M., Tsujino, K., Nishio, M., Kozuka, T., Niho, S., Nihei, K., Yamamoto, N., Harada, H., Ishikura, S., Tamura, T.
Feasibility study of chemoradiotherapy followed by amrubicin and cisplatin for limited-disease small cell lung cancer
Cancer Sci, 107(3): 315-9. 2016.

10. Tanaka, O., Oguchi, M., Iida, T., Kasahara, S., Goto, H., Takahashi, T.
Low dose palliative radiotherapy for refractory aggressive lymphoma
Rep. Pract. Oncol. Radiother., 21(6): 495-9. 2016.

11. Tsurugai, Y., Kozuka, T., Ishizuka, N., Oguchi, M.
Relationship between the consolidation to maximum tumor diameter ratio and outcomes following stereotactic body radiotherapy for stage I non-small-cell lung cancer
Lung Cancer, 92: 47-52. 2016.

12. Yamauchi, C., Sekiguchi, K., Nishioka, A., Arahira, S., Yoshimura, M., Ogo, E., Oguchi, M., Ito, Y., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guideline for radiation treatment of breast cancer, 2015 edition
Breast Cancer, 23(3): 378-90. 2016.

13. 中島直美, 小口正彦, 岩瀬拓士
放射線治療-最近の動向と展望: 乳癌への放射線治療
カレントテラピー, 34(5): 455-461. 2016.

14. 利安隆史
がん放射線療法 Update 2016: 疾患別治療成績 ここまで治るようになった!機能温存と生存率向上　HPV 関連中咽頭癌　QOL 向上をめざした治療へ
医学のあゆみ, 257(1): 63-68. 2016.

15. 室伏景子
Therapy Planning　子宮頸がん小線源治療における 3 次元治療計画
INNERVISION, 31(11 付録): 12-13. 2016.

16. 室伏景子
がん放射線療法 Update 2016: 疾患別治療成績 ここまで治るようになった!機能温存と生存率向上　直腸癌に対する術前化学放射線治療
医学のあゆみ, 257(1): 93-98. 2016.

17. 小口正彦 ， 副島俊典
悪性リンパ腫の involved site radiation therapy(ISRT)の今後の展望と delineation のコツ　初診時に撮影した造影 CT、FDG-PET/CT を治療計画に活用。より高い局所制御率と周囲細胞への被曝線量の低減を達成しつつある
日本医事新報, (4836): 60-61. 2016.

18. 田中修, 小口正彦, 室伏景子, 利安隆史, 飯田高嘉
有痛性骨転移に対する放射線治療後の一時的疼痛再燃 (pain flare) の検討
臨床放射線, 61(7): 929-932. 2016.

19. 角美奈子
軟部肉腫治療の現状と展望: 軟部肉腫の放射線治療
癌と化学療法, 43(1): 39-43. 2016.

20. 角美奈子, 喜多みどり, 齋藤勉, 平田秀紀
がん放射線治療看護シリーズ(第 4 回)　脳腫瘍

の放射線治療看護
臨床放射線, 61(2): 389-394. 2016.

21. 角美奈子, 喜多みどり, 齋藤勉, 平田秀紀
がん放射線治療看護シリーズ(第 6 回)　胸部腫瘍の放射線治療看護
臨床放射線, 61(4): 629-634. 2016.

画像診断センター

1. Koizumi, M., Koyama, M., Terauchi, T., Motegi, K., Fukai, S., Umeda, T., Miyaji, N., Makino, T.
Reappraisal of bone scintigraphy and computed tomography data in patients with metastatic prostate cancer: Initial appearance of bone metastasis between the staging and follow-up periods
Remedy Open Access, 1: 1003. 2016.

2. Murata, T., Miwa, K., Miyaji, N., Wagatsuma, K., Hasegawa, T., Oda, K., Umeda, T., Iimori, T., Masuda, Y., Terauchi, T., Koizumi, M.
Evaluation of spatial dependence of point spread function-based PET reconstruction using a traceable point-like ^{22}Na source
EJNMMI Phys., 3(1): 26. 2016.

3. 宮司典明, 梅田拓朗, 三輪建太
骨SPECTの定量化技術 骨SPECT定量測定の校正について
核医学技術, 36(1): 69-72. 2016.

画像診断部

1. Akaike, G., Ueno, T., Matsumoto, S., Motoi, N., Matsueda, K.
Rapidly growing giant cell tumor of bone in a skeletally immature girl
Skeletal Radiol., 45(4): 567-73. 2016.

2. Fukuda, T., Horii, R., Gomi, N., Miyagi, Y., Takahashi, S., Ito, Y., Akiyama, F., Ohno, S., Iwase, T.
Accuracy of magnetic resonance imaging for predicting pathological complete response of breast cancer after neoadjuvant chemotherapy: association with breast cancer subtype
Springerplus, 5: 152. 2016.

3. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Tanaka, H., Takeuchi, K.
Sinonasal oncocytic Schneiderian papilloma accompanied by intravascular lymphoma: A case report on FDG-PET/CT imaging
Medicine (Baltimore), 95(34): e4646. 2016.

4. Makita, M., Akiyama, F., Gomi, N., Iwase, T.
Mammary ductoscopy and watchful follow-up substitute microdochectomy in patients with bloody nipple discharge
Breast Cancer, 23(2): 242-251. 2016.

5. Miwa, K., Umeda, T., Murata, T., Wagatsuma, K., Miyaji, N., Terauchi, T., Koizumi, M., Sasaki, M.
Evaluation of scatter limitation correction: a new method of correcting photopenic artifacts caused by patient motion during whole-body PET/CT imaging
Nucl. Med. Commun., 37(2): 147-154. 2016.

6. 上田和彦.
EOB 造影 MRI：肝細胞相像 高信号.
肝胆膵脾の画像診断:肝臓編. (村上卓道監修, 吉満研吾ほか編集), 東京: メジカルビュー社, pp. 248-252. 2016.

7. 上田和彦.
MRI T1 強調像：phase shift での信号変化.
肝胆膵脾の画像診断:肝臓編. (村上卓道監修, 吉満研吾ほか編集), 東京: メジカルビュー社, pp. 240-244. 2016.

8. 上田和彦.
MRI T2 強調像：低信号結節.
肝胆膵脾の画像診断:肝臓編. (村上卓道監修, 吉満研吾ほか編集), 東京: メジカルビュー社, pp. 245-247. 2016.

9. 上田和彦.
再生結節.
肝胆膵の CT・MRI (本田浩ほか編集), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 96-97. 2016.

10. 上田和彦.
前癌病変・早期肝細胞癌.
肝胆膵の CT・MRI. (本田浩ほか編集), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 98-99. 2016.

11. 上田和彦.
細胆管癌.
肝胆膵の CT・MRI (本田浩ほか編), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 138-139. 2016.

12. 上田和彦.
肝細胞癌　多段階発癌総論.
肝胆膵の CT・MRI. (本田浩ほか編集), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 90-95. 2016.

13. 上田和彦.
胆管腫瘍栓を伴う肝細胞癌.
肝胆膵の CT・MRI (本田浩ほか編集), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 106-107. 2016.

14. 上田和彦.
進行肝細胞癌（中分化型肝細胞癌）.
肝胆膵の CT・MRI. (本田浩ほか編集), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 100-101. 2016.

15. 上田和彦.
進行肝細胞癌（低分化型肝細胞癌）.
肝胆膵の CT・MRI. (本田浩ほか編集), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 102-103. 2016.

16. 上田和彦.
門脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌.
肝胆膵の CT・MRI (本田浩ほか編集), 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp. 104-105. 2016.

17. 五味直哉
Land-Mark papers in Oncology：エポックメイカーとなった論文：「診断」VAB（vacuum-assisted biopsy）
Cancer Board of the Breast, 2(1): 62-63. 2016.

18. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 北川大
BRCA1/2 の genomic 変異を伴う家族性腫瘍
Cancer Board of the Breast, 2(1): 5-17. 2016.

19. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 森園英智
悪性葉状腫瘍
Cancer Board of the Breast, 2(2): 77-88. 2016.

20. 元井紀子, 植野映子, 松本誠一, 石川雄一.
Ewing 肉腫.
腫瘍病理鑑別診断アトラス：骨腫瘍. (野島孝之, 小田義直編集), 東京: 文光堂, pp. 143-150. 2016.

21. 松本綾希子, 梁太一, 澤泉雅之, 前田拓摩, 棚倉健太, 宮下宏紀, 岩瀬拓士, 五味直哉
超音波検査によるシリコーン乳房インプラント破損診断
Oncoplastic Breast Surgery, 1(2): 64-74. 2016.

22. 植野映子.
おさえておきたい軟部肉腫の MRI 所見と注意点.
軟部腫瘍の MRI (青木隆敏編著), 東京: 南江堂, pp. 217-236. 2016.

23. 植野映子.
治療方針への情報提供.
軟部腫瘍の MRI (青木隆敏編著), 東京: 南江堂, pp. 72-81. 2016.

24. 植野映子.
症状.
軟部腫瘍の MRI (青木隆敏編著), 東京: 南江堂, pp. 137-148. 2016.

25. 渡邉亮輔, 負門克典, 松枝清
胸部画像診断-症状や身体所見からのアプローチ：他臓器の症状・身体所見・病態からみた胸部画像診断　腎臓領域 尿毒症(肺水腫),腎不全・透析(異所性肺石灰化),MPO-ANCA 関連血管炎(間質性肺炎),腎血管筋脂肪腫(リンパ脈管筋腫症・結節性硬化症)
Medicina, 53(8): 1243-1246. 2016.

26. 田中優美子.
I 総論 3 卵巣腫瘍の画像診断.

卵巣・卵管腫瘍病理アトラス. (森谷卓也, 手島伸一編), 東京: 文光堂, pp. 22-30. 2016.

27. 負門克典
画像でみかける偶発的所見のマネジメント-あなたならどう書く?-：胸部　充実性小結節
画像診断, 36(9): 862-863. 2016.

核医学部

1. Igarashi, T., Ogura, M., Itoh, K., Taniwaki, M., Ando, K., Kuroda, Y., Yamamoto, K., Uike, N., Tomita, A., Nagai, H., Kurosawa, M., Mori, S., Nawano, S., Terauchi, T., Ohashi, Y., Tobinai, K.
Japanese phase II study of rituximab maintenance for untreated indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma with high tumor burden
Int. J. Hematol., 104(6): 700-708. 2016.

2. Koizumi, M., Koyama, M., Terauchi, T., Motegi, K., Fukai, S., Umeda, T., Miyaji, N., Makino, T.
Reappraisal of bone scintigraphy and computed tomography data in patients with metastatic prostate cancer: Initial appearance of bone metastasis between the staging and follow-up periods
Remedy Open Access, 1: 1003. 2016.

3. Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., Tanaka, H., Takeuchi, K.
Sinonasal oncocytic Schneiderian papilloma accompanied by intravascular lymphoma: A case report on FDG-PET/CT imaging
Medicine (Baltimore), 95(34): e4646. 2016.

4. Miwa, K., Umeda, T., Murata, T., Wagatsuma, K., Miyaji, N., Terauchi, T., Koizumi, M., Sasaki, M.
Evaluation of scatter limitation correction: a new method of correcting photopenic artifacts caused by patient motion during whole-body PET/CT imaging
Nucl. Med. Commun., 37(2): 147-154. 2016.

5. Murata, T., Miwa, K., Miyaji, N., Wagatsuma, K., Hasegawa, T., Oda, K., Umeda, T., Iimori, T., Masuda, Y., Terauchi, T., Koizumi, M.
Evaluation of spatial dependence of point spread function-based PET reconstruction using a traceable point-like ^{22}Na source
EJNMMI Phys., 3(1): 26. 2016.

6. Noma, D., Inamura, K., Mun, M., Terauchi, T., Matsuura, Y., Nakao, M., Ninomiya, H., Nakagawa, K., Masuda, M., Okumura, S., Ishikawa, Y.
Thymic oncocytic carcinoid with a markedly elevated level of maximum SUV
Pathol. Int., 66(10): 593-595. 2016.

7. Saga, T., Inubushi, M., Koizumi, M., Yoshikawa, K., Zhang, M.R., Obata, T., Tanimoto, K., Harada, R., Uno, T., Fujibayashi, Y.
Prognostic value of PET/CT with F-fluoroazomycin arabinoside for patients with head and neck squamous cell carcinomas receiving chemoradiotherapy
Ann. Nucl. Med., 30(3): 217-224. 2016.

8. Sudo, H., Tsuji, A.B., Sugyo, A., Takuwa, H., Masamoto, K., Tomita, Y., Suzuki, N., Imamura, T., Koizumi, M., Saga, T.
Establishment and evaluation of a new highly metastatic tumor cell line 5a-D-Luc-ZsGreen expressing both luciferase and green fluorescent protein
Int. J. Oncol., 48(2): 525-32. 2016.

9. Tanaka, H., Yoshida, S., Komai, Y., Sakai, Y., Urakami, S., Yuasa, T., Yamamoto, S., Masuda, H., Koizumi, M., Kohno, A., Fukui, I., Yonese, J., Fujii, Y., Kihara, K.
Urol. Int., 96(1): 65-72. 2016.

10. 寺内隆司
悪性リンパ腫の PET/CT　診断と効果判定の update
臨床血液, 57(10): 2008-2012. 2016.

内視鏡診療部

1. Chino, A., Yamamoto, N., Kato, Y., Morishige, K., Ishikawa, H., Kishihara, T., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Tamegai, Y.,

Igarashi, M.
The frequency of early colorectal cancer derived from sessile serrated adenoma/polyps among 1858 serrated polyps from a single institution
Int. J. Colorectal Dis., 31(2): 343-9. 2016.

2. Harada, A., Oguchi, M., Terui, Y., Takeuchi, K., Igarashi, M., Kozuka, T., Harada, K., Uno, T., Hatake, K.
Radiation therapy for localized duodenal low-grade follicular lymphoma
J. Radiat. Res., 57(5): 412-417. 2016.

3. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Shimizu, T., Miyamoto, Y., Tomida, H., Taniguchi, C., Morishige, K., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Igarashi, M., Nakajima, T., Takahashi, H.
Biological behavior of the intramucosal Helicobacter pylori-negative undifferentiated-type early gastric cancer: comparison with Helicobacter pylori-positive early gastric cancer
Gastric Cancer, 19(1): 160-165. 2016.

4. Kusano, H., Togashi, Y., Akiba, J., Moriya, F., Baba, K., Matsuzaki, N., Yuba, Y., Shiraishi, Y., Kanamaru, H., Kuroda, N., Sakata, S., Takeuchi, K., Yano, H.
Two cases of renal cell carcinoma harboring a novel STRN-ALK fusion gene
Am. J. Surg. Pathol., 40(6): 761-9. 2016.

5. 五十嵐正広
大腸内視鏡挿入法-永遠のテーマ：大腸内視鏡挿入法の基本知識
消化器内視鏡, 28(4): 516-523. 2016.

6. 千野晶子, 岸原輝仁, 斎藤彰一, 河内洋, 五十嵐正広
大腸腫瘍-拾い上げから精密診断まで: SSA/P の診断と癌化例の検討
消化器内視鏡, 28(9): 1455-1460. 2016.

7. 千野晶子, 片岡星太, 田顔夫佑樹, 井出大資, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 斎藤彰一
よくわかる消化器神経内分泌腫瘍(NET/NEC): 直腸 NET の診断、予後、経過観察法
消化器内視鏡, 28(11): 1793-1801. 2016.

8. 平澤俊明, 藤崎, 順., 五十嵐, 妙., 河内洋
胃癌を探せ!(第 8 回)　Helicobacter pylori 未感染胃癌の一例
臨床消化器内科, 31(1): 101-104. 2016.

9. 平澤俊明, 藤崎, 順., 五十嵐, 妙., 河内洋
胃癌を探せ!(第 9 回)　多発微小胃癌の 1 例
臨床消化器内科, 31(2): 238-244. 2016.

10. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広, 河内洋
胃癌を探せ!(第 10 回)　若年女性の胃癌
臨床消化器内科, 31(3): 355-359. 2016.

11. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広, 河内洋
胃癌を探せ!(第 11 回)　術前精査で見つかった同時性多発病変
臨床消化器内科, 31(4): 463-466. 2016.

12. 平澤俊明, 藤崎順子, 五十嵐正広, 河内洋
胃癌を探せ!(第 12 回)　胸焼けを訴える男性
臨床消化器内科, 31(5): 585-590. 2016.

13. 為我井芳郎, 大隅寛木, 岩崎将, 並河健, 城間翔, 田顔夫佑樹, 井出大資, 岸原輝仁, 千野晶子, 藤本佳也, 長山聡, 秋吉高志, 小西毅, 高松学, 河内洋, 福長洋介, 五十嵐正広, 斉藤彰一, 上野雅資, 武田晋一郎, 藤崎順子
ESD の実際　大腸側方発育型腫瘍(LST)に対する ESD
消化器の臨床, 19(6): 479-491. 2016.

遺伝子診療部

1. Chino, A., Nagayama, S., Ishikawa, H., Morishige, K., Kishihara, T., Arai, M., Sugiura, Y., Motoi, N., Yamamoto, N., Tamegai, Y., Igarashi, M.
Cancer emerging from the recurrence of sessile serrated adenoma/polyp resected endoscopically 5 years ago
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(1): 89-85. 2016.

2. Murata, A., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagasaki, T., Nagata, J., Ohno, R., Arai, M., Yamaguchi, T.
Clinicopathological characteristics of young patients with sporadic colorectal cancer

Surg. Today, 46(10): 1166-1175. 2016.

3. Shigehiro, M., Kita, M., Takeuchi, S., Ashihara, Y., Arai, M., Okamura, H.
Study on the psychosocial aspects of risk-reducing salpingo-oophorectomy (RRSO) in BRCA1/2 mutation carriers in Japan: a preliminary report
Jpn. J. Clin. Oncol, 46(3): 254-259. 2016.

4. Taira, N., Arai, M., Ikeda, M., Iwasaki, M., Okamura, H., Takamatsu, K., Nomura, T., Yamamoto, S., Ito, Y., Mukai, H.
The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guidelines for epidemiology and prevention of breast cancer, 2015 edition
Breast Cancer, 23(3): 343-356. 2016.

5. Taki, K., Sato, Y., Nomura, S., Ashihara, Y., Kita, M., Tajima, I., Sugano, K., Arai, M.
Mutation analysis of MUTYH in Japanese colorectal adenomatous polyposis patients
Fam. Cancer, 15(2): 261-5. 2016.

6. Tanakaya, K., Yamaguchi, T., Ishikawa, H., Hinoi, T., Furukawa, Y., Hirata, K., Saida, Y., Shimokawa, M., Arai, M., Matsubara, N., Tomita, N., Tamura, K., Sugano, K., Ishioka, C., Yoshida, T., Ishida, H., Watanabe, T., Sugihara, K.
Causes of cancer death among first-degree relatives in Japanese families with Lynch syndrome
Anticancer Res., 36(4): 1985-9. 2016.

7. Yamaguchi, K., Nagayama, S., Shimizu, E., Komura, M., Yamaguchi, R., Shibuya, T., Arai, M., Hatakeyama, S., Ikenoue, T., Ueno, M., Miyano, S., Imoto, S., Furukawa, Y.
Reduced expression of APC-1B but not APC-1A by the deletion of promoter 1B is responsible for familial adenomatous polyposis
Sci. Rep., 6: 26011. 2016.

8. 古林玄, 棚倉健太, 宮下宏紀, 澤泉雅之, 新井正美, 岩瀬拓士, 大野真司, 秋山太
乳房再建時に Li-Fraumeni Syndorome と診断した両側乳癌の 1 例
Oncoplastic Breast Surgery, 1(1): 32-36. 2016.

9. 吉田玲子 , 新井正美
産業と行政　遺伝性乳がん卵巣がんの臨床と今後の課題
バイオサイエンスとインダストリー, 74(6): 530-534. 2016.

10. 新井正美
婦人科腫瘍の遺伝診療: わが国における HBOC データベース整備への取り組み
産婦人科の実際, 65(6): 695-700. 2016.

11. 新井正美
遺伝性腫瘍-実地臨床での対応を目指して: 遺伝性腫瘍に対するリスク低減手術
日本医師会雑誌, 145(4): 710. 2016.

12. 新井正美, 大住省三, 中村清吾
コンパニオン診断の進展 2016-2017-個別化医療の新展開に向けて-: 遺伝情報の取扱いをめぐる最近の動向　日本 HBOC コンソーシアムの活動状況
臨床病理レビュー, (157): 9-17. 2016.

13. 野村秀高, 新井正美, 竹島信宏
婦人科腫瘍の遺伝診療: リスク低減手術
産婦人科の実際, 65(6): 685-690. 2016.

臨床試験部

1. Tsurugai Y, Kozuka T, Ishizuka N, Oguchi M., Relationship between the consolidation to maximum tumor diameter ratio and outcomes following stereotactic body radiotherapy for stage I non-small-cell lung cancer. Lung Cancer. ;92:47-52. , 2016

2. Uchiyama S, Ishizuka N, Shimada K, Teramoto T, Yamazaki T, Oikawa S, Sugawara M, Ando K, Murata M, Yokoyama K, Minematsu K, Matsumoto M, Ikeda Y; JPPP Study Group., Aspirin for Stroke Prevention in Elderly Patients With Vascular Risk Factors: Japanese Primary Prevention Project. Stroke.;47(6):1605-11. 2016

3. 石塚直樹、「研究発表、論文作成時の統計解析の落とし穴 : 回帰分析を中心として」、LiSA 麻酔を核とした総合誌[リサ]別冊 16, Vol23, メデ

ィカル・サイエンス・インターナショナル, 2016

放射線治療部治療チーム

1. 佐藤智春
Definition of parameters for quality assurance of flattening filter free (FFF) photon beams in radiation therapy （世界の論文紹介）
日本放射線技術学会放射線治療部会誌, 30(2): 82-95. 2016.

2. 佐藤智春
書評：「放射線治療物理学」
日本医学物理学会誌, 36(2): 130. 2016.

集中治療部

1. 山本豊
肺癌術後の間質性肺炎に対して PMX-DHP 療法を行った 2 症例
エンドトキシン・自然免疫研究, 19: 51-53. 2016.
2. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART1)　人工呼吸器の自発呼吸を生かすモード
ナーシング, 36(11): 56. 2016.

3. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART1)　患者の受け入れ準備　人工呼吸器を使用するためのセッティング
ナーシング, 36(11): 54-55. 2016.

4. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART1)　患者の受け入れ準備　人工呼吸器装着患者の情報確認
ナーシング, 36(11): 52-53. 2016.

5. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART2)　人工呼吸器の初期設定　人工呼吸器装着患者の初期モニタリング
ナーシング, 36(11): 70. 2016.

6. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART2)　人工呼吸器の初期設定　人工呼吸器設定後の確認
ナーシング, 36(11): 68-69. 2016.

7. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART2)　人工呼吸器の初期設定　BIPAP モードの初期設定
ナーシング, 36(11): 66-67. 2016.
8. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART2)　人工呼吸器の初期設定　自発モードの初期設定
ナーシング, 36(11): 64-65. 2016.

9. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART2)　人工呼吸器の初期設定　従圧換気(PCV)の初期設定(A/C、SIMV)
ナーシング, 36(11): 62-63. 2016.

10. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART2)　人工呼吸器の初期設定　従量換気(VCV)の初期設定(A/C、SIMV)
ナーシング, 36(11): 60-61. 2016.

11. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART2)　人工呼吸器の初期設定　人工呼吸器の換気の初期設定
ナーシング, 36(11): 58-59. 2016.

12. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART3)　人工呼吸管理のチェック項目　人工呼吸器のアラームシューティング
ナーシング, 36(11): 80. 2016.

13. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART3)　人工呼吸管理のチェック項目　人工呼吸器のグラフィック　応用編
ナーシング, 36(11): 78-79. 2016.

14. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART3)　人工呼吸管理のチェック項目　人工呼吸器のグラフィック　基本編
ナーシング, 36(11): 76-77. 2016.

15. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART3)　人工呼吸管理のチェック項目　人工呼吸器装着患者の検査所見
ナーシング, 36(11): 74-75. 2016.

16. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART3)　人工呼吸管理のチェック項目　人工呼吸器装着患者の身体診察と回路確認
ナーシング, 36(11): 72-73. 2016.

17. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART4)　ウィーニングの進め方　ウィーニングの実際　SBT
ナーシング, 36(11): 88-89. 2016.

18. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART4)　ウィーニングの進め方　ウィーニングの実際　患者状態の確認(SAT)
ナーシング, 36(11): 86-87. 2016.

19. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART4)　ウィーニングの進め方　ウィーニング開始基準とプロトコル
ナーシング, 36(11): 84-85. 2016.

20. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART4)　ウィーニングの進め方　ウィーニングの準備
ナーシング, 36(11): 82-83. 2016.

21. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART5)　抜管の実際　ハイフローネーザルカニューラ(HFNC)　高流量経鼻酸素療法とは?
ナーシング, 36(11): 96. 2016.

22. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュ

アル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART5)　抜管の実際　抜管の手順と抜管後の評価
ナーシング, 36(11): 94-95. 2016.

23. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART5)　抜管の実際　抜管時の準備物品の用意
ナーシング, 36(11): 92-93. 2016.

24. 望月俊明
手技がすぐわかる・流れがみえる決定版!ビジュアル人工呼吸管理　気管挿管　人工呼吸器のモード設定　ウィーニング: ビジュアル人工呼吸管理　モード設定とウィーニング(PART5)　抜管の実際　抜管のための患者状態の確認
ナーシング, 36(11): 91. 2016.

超音波検査部

1. 山田恵子
癌画像診断のコンセンサス　治療方針決定に必要な画像診断の minimum requirement : 甲状腺癌の治療方針決定に必要な画像診断
コンセンサス癌治療, 14(1): 42-46. 2016.

臨床検査センター

1. 友田美穂子
尿検査 誌上相談室：⑥尿路上皮細胞と尿細管上皮細胞の鑑別について / ⑨細胞質内封入体細胞と大食細胞の鑑別について
Medical Technology, 44(2): 134-144. 2016.

2. 友田美穂子
尿検査誌上相談室-編集部に寄せられた悩み・質問にお答えします-: 相談　細胞質内封入体細胞と大食細胞の鑑別に悩むことがあります。判断のポイントを教えてください
Medical Technology, 44(2): 142-144. 2016.

3. 大隅寛木, 藤崎順子, 土田知宏, 片岡星太, 石山晃世志, 平澤俊明, 由雄敏之, 山本頼正, 五十嵐正広, 海原和巳, 三木一正
新規ヘリコバクター・ピロリ抗体検査試薬(ラテックス法)の性能評価試験
医学と薬学, 73(5): 615-620. 2016.

細胞診断部

1. Kanda, H., Furuta, R., Motoi, N., Suzuki, N., Furuta, N., Komatsu, K., Sugiyama, Y., Saiura, A., Sugitani, M., Ishikawa, Y.
Touch cytology smear of an inflammatory hepatocellular adenoma displaying an unusual pattern: A case report
Diagn. Cytopathol., 44(12): 1074-7. 2016.

2. Sugiyama, Y., Sasaki, H., Komatsu, K., Yabushita, R., Oda, M., Yanoh, K., Ueda, M., Itamochi, H., Okugawa, K., Fujita, H., Tase, T., Nakatani, E., Moriya, T.
A Multi-institutional feasibility study on the use of automated screening systems for quality control rescreening of cervical cytology
Acta Cytol., 60(5): 451-57. 2016.

3. 古田玲子, 山田麻里沙, 池畑浩一, 鈴木奈緒子, 古田則行, 宇津木久仁子, 杉山裕子, 北川知行
細胞診 ASC-H の組織学的な背景病変 : 現状と問題
日本臨床細胞学会雑誌, 55(3): 180-188. 2016.

4. 小松京子.
(10)検査室の管理.
病理組織技術エキスパート教本 : 中級者のための病理技術 step up 講習会テキスト. (日本臨床検査同学院病理学・細胞診部会編), 東京: 日本臨床検査同学院. 2016.

5. 小松京子.
第 5 章 病理組織細胞学.
臨床検査技師国家試験問題注解 2017 年版. (臨床検査技師国家試験問題注解編集委員会編), 東京: 金原出版. 2016.

6. 小松京子
臨床検査専門医と臨床検査技師の卒後教育：外国における認定制度
臨床病理, 64(8): 932-935. 2016.

7. 小松京子
臨床検査領域におけるグローバル化の推進：臨床検査技師の海外留学と国際学会発表の現状と

課題
臨床病理, 64(8): 898-900. 2016.

8. 小松京子, 山田麻里沙, 藤山淳三
検査レポート作成指南 細胞診断編
臨床検査, 60(12): 1484-1492. 2016.

9. 山田麻里沙, 古田則行, 古田玲子, 星利良, 伊藤崇彦, 鈴木奈緒子, 池畑浩一, 宇津木久仁子, 小松京子, 杉山裕子
がん専門病院のASC-H判定の現状と年齢層別にみた細胞像の特徴.
日本臨床細胞学会雑誌, 55(3): 189-194. 2016.

10. 星利良, 元井紀子, 古田則行, 小松京子, 柳谷典子, 杉山裕子, 石川雄一, 宝来威
肺動脈肉腫の 1 例
日本臨床細胞学会雑誌, 55(2): 94-99. 2016.

栄養管理部

1. 中濱孝志
がんの栄養管理と栄養指導エキスパートガイド: がん患者への栄養指導　がん栄養指導の実際
臨床栄養, 129(4): 574-581. 2016.

2. 中濱孝志
患者に寄り添うための準備はできていますか? がん周術期の栄養管理とマネジメント: がん患者の栄養管理と食事　がん化学療法の栄養障害への対応
栄養経営エキスパート, 1(2): 66-70. 2016.

3. 中濱孝志
管理栄養士の専門性を高める: がんの栄養管理 管理栄養士の立場から
臨床栄養, 128(1): 27-31. 2016.

4. 望月宏美
がんの栄養管理と栄養指導エキスパートガイド: がん周術期栄養管理　術前栄養管理の意義 (immuno-nutrition 含む)
臨床栄養, 129(4): 432-438. 2016.

5. 望月宏美, 熊谷厚志, 井田智, 中濱孝志, 峯真司, 比企直樹
消化器手術のための栄養: 管理栄養士からみた周術期栄養管理
外科, 78(8): 821-826. 2016.

6. 比企直樹 , 中濱孝志
がん患者を支える栄養管理
大塚薬報, (717): 70-72. 2016.

7. 熊谷厚志, 比企直樹, 峯真司, 井田智, 望月宏美, 高木久美, 伊丹優貴子, 伊沢由紀子, 蓑輪雄一, 中濱孝志
栄養療法がわかる!できる!プレゼンのカリスマから学ぶ基本知識と症例問題で身につく実践力で、治療がグッとうまくいく!: (第 3 章)症例&問題で身につける栄養療法の実践力　知りたい病態 12 選　化学療法中の栄養療法
レジデントノート, 17(17): 3276-3284. 2016.

薬剤部

1. Chiba, T., Oka, Y., Kambe, T., Koizumi, N., Abe, K., Kawakami, K., Utsunomiya, I., Taguchi, K.
Paclitaxel-induced peripheral neuropathy increases substance P release in rat spinal cord
Eur. J. Pharmacol., 770: 46-51. 2016.

2. Sugita, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Sugisaki, T., Takiguchi, T., Aoyama, T., Suzuki, K., Suenaga, M., Yamaguchi, K., Inoue, A., Machida, Y., Yamaguchi, T., Hama, T.
Self-reported adherence to trifluridine and Titiracil hydrochloride for metastatic colorectal cancer: A retrospective cohort study
Oncology, 91(4): 224-230. 2016.

3. Suzuki, K., Yamanaka, T., Hashimoto, H., Shimada, Y., Arata, K., Matsui, R., Goto, K., Takiguchi, T., Ohyanagi, F., Kogure, Y., Nogami, N., Nakao, M., Takeda, K., Azuma, K., Nagase, S., Hayashi, T., Fujiwara, K., Shimada, T., Seki, N., Yamamoto, N.
Randomized, double-blind, phase III trial of palonosetron versus granisetron in the triplet regimen for preventing chemotherapy-induced nausea and vomiting after highly emetogenic chemotherapy: TRIPLE study
Ann. Oncol., 27(8): 1601-6. 2016.

4. Tsuji, D., Yokoi, M., Suzuki, K., Daimon, T., Nakao, M., Ayuhara, H., Kogure, Y., Shibata, K., Hayashi, T., Hirai, K., Inoue, K., Hama, T., Takeda, K., Nishio, M., Itoh, K.
Influence of *ABCB1* and *ABCG2* polymorphisms on the antiemetic efficacy in patients with cancer receiving cisplatin-based chemotherapy: a TRIPLE pharmacogenomics study
Pharmacogenomics J.: in press 10.1038/tpj.2016.38. 2016.

5. Yamamoto, K., Tsuboi, M., Kambe, T., Abe, K., Nakatani, Y., Kawakami, K., Utsunomiya, I., Taguchi, K.
Oxaliplatin administration increases expression of the voltage-dependent calcium channel α2δ-1 subunit in the rat spinal cord
J. Pharmacol. Sci., 130(2): 117-22. 2016.

6. 古谷良太, 青山剛, 鈴木亘, 蓑輪雄一, 井上杏奈, 杉田一男, 大河優, 川上和宜, 鈴木賢一, 濱敏弘
個人ファイル管理を用いた監査方法の評価
日本病院薬剤師会雑誌, 52(5): 539-542. 2016.

7. 吾妻慧一 , 川上和宜
前立腺癌　がん・合併症・有害事象での薬物治療戦略を総まとめ: 前立腺癌薬物治療における薬学的管理のポイント
薬局, 67(11): 3116-3122. 2016.

8. 川上和宜
Evidence Update 2016　最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する: エキスパートが注目する最新エビデンスをアップデート!　前立腺癌治療薬
薬局, 67(1): 148-151. 2016.

9. 川上和宜
海外学会見聞録 (3)がん：米国臨床腫瘍学会消化器癌シンポジウム参加記
月間薬事, 58(3): 559-561. 2016.

10. 川上和宜
薬物相互作用　適正な DDI マネジメントを実践するためのポイント: 治療域が狭い･副作用が出やすい薬剤における DDI マネジメントの実践例!　抗悪性腫瘍薬(タモキシフェン、タキサン系)
薬局, 67(8): 2577-2581. 2016.

11. 杉田一男
目から鱗のがん薬物療法　薬学的視点からみたケーススタディ(第 4 回) レゴラフェニブによる甲状腺機能低下症
Cancer Board Square, 2(3): 614-617. 2016.

12. 根本真記 , 濱敏弘
新薬くろ～ずあっぷ　イムブルビカカプセル 140mg(イブルチニブ)
調剤と情報, 22(15): 2015-2019. 2016.

13. 横川貴志 , 医薬情報委員会プレアボイド報告評価小委員会
プレアボイド広場　がん患者に対する薬剤師のトータルマネジメント実践例　効果的ながん治療の継続への貢献
日本病院薬剤師会雑誌, 52(9): 1117-1120. 2016.

14. 渡邉大至
医療薬科学　血液腫瘍治療で期待の新規チロシンキナーゼ阻害薬イブルチニブ
ファルマシア, 52(5): 441. 2016.

15. 渡邉大至, 鈴木賢一, 尾阪将人.
胆道癌・膵癌：FOLFIRINOX 療法.
癌化学療法と制吐薬使用マニュアル：消化器癌編. (相羽恵介編集), 東京: メディカルレビュー社,　pp. 30-33. 2016.

16. 濱敏弘監修, 青山剛, 東加奈子, 池末裕明, 川上和宜, 佐藤淳也, 橋本浩伸編
がん化学療法レジメン管理マニュアル.第 2 版 ed. 東京: 医学書院. 490p., 2016,

17. 石田耕太, 清水里紗, 遠藤巌, 宮本信吾, 川上和宜
デノスマブ投与による腎機能低下患者の低カルシウム血症の実態
癌と化学療法, 43(7): 875-878. 2016.

18. 福本陽平, 加藤伸一, 鈴木英雄, 押谷伸英, 岡本欣也, 荒瀬康司, 渡利彰浩, 玉田喜一, 入澤篤志, 長尾大志, 磯濱洋一郎, 駒瀬裕子, 土橋邦生, 坂東正司, 中野隆史, 山崎善隆, 笠原敬, 野口雅久, 忽那賢志, 木村宏, 関雅文, 新谷英滋, 堀越裕歩,

岩佐和夫, 前崎繁文, 小林登美恵, 佐々木康綱, 安藤雄一, 濱敏弘ほか著.
薬がみえる Vol.3 消化器系の疾患と薬 ; 呼吸器系の疾患と薬 ; 感染症と薬 ; 悪性腫瘍と薬. (医療情報科学研究所編), 東京: メディックメディア, pp. 601. 2016.

19. 鈴木美穂 , 濱敏弘編集
がん化学療法看護 : はじめの一歩. 東京: 照林社. 185p., 2016,

20. 鈴木賢一 , 横川貴志.
Column 4 膵癌化学療法を安全に施行するために留意すべき点.
膵癌診療ガイドライン. (日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員会編), 東京: 金原出版, pp. 187. 2016.

21. 鈴木賢一, 滝口裕一, 光冨徹哉, 矢ヶ崎香, 川口美喜子
メディカルスタッフの力を結集して肺癌と戦う：日本肺癌学会の新たな挑戦
LCCE, 2016 年 7 月号 vol.682016.

医療安全管理部

1. 保田知生, 孟真, 日本静脈学会弾性ストッキング・コンダクター養成委員会
熊本地震　何が起こり、何を行ったか: VTE 予防のために何をしたか Q&A　弾性ストッキングの効果的な使用法は?
治療, 98(11): 1836-1839. 2016.

2. 長田理
これからの医療安全管理者，病院管理者がもつべき視点ー医療安全のこれまで，これから
患者安全推進ジャーナル, No.46: 28-32. 2016.

3. 長田理著
JMP 医学統計マニュアル. 所沢: オーエムエス出版. 174p., 2016,

看護部

1. Suzuki, M., Deno, M., Myers, M., Asakage, T., Takahashi, K., Saito, K., Mori, Y., Saito, H., Ichikawa, Y., Yamamoto-Mitani, N., Miyashita, M.
Anxiety and depression in patients after surgery for head and neck cancer in Japan
Palliat. Support. Care, 14(3): 269-77. 2016.

2. Yokoyama, M., Suzuki, M., Takai, Y., Igarashi, A., Noguchi-Watanabe, M., Yamamoto-Mitani, N.
Workplace bullying among nurses and their related factors in Japan: a cross-sectional survey
J. Clin. Nurs., 25(17-18): 2478-88. 2016.

3. 大友陽子
ここが重要!内服抗がん剤治療で看護師が押さえるべきポイント: 安心して治療に臨んでもらうために!　副作用マネジメントのポイント
Oncology Nurse, 9(6): 25-31. 2016.

4. 宋菜緒子.
周手術期の看護技術：補助療法　治験と看護ケア.
パーフェクト臨床実習ガイド：ライフステージに沿った看護技術と看護の展開：急性期・周手術期. (井上智子編集), 東京: 照林社, pp. 227-230. 2016.

5. 小口正彦, 後藤志保, 山内智香子
report : 第 24 回日本乳癌学会学術総会 : 乳がん患者の皮膚感覚と衣服
プロフェッショナルがんナーシング, 6(5): 436-437. 2016.

6. 後藤志保.
7 章 治療に伴う有害事象のケア 3 呼吸器症状：放射線肺炎のケア.
がん放射線治療パーフェクトブック. (唐澤久美子, 藤本美生編集), 東京: 学研メディカル秀潤社. 2016.

7. 松浦信子.
化学療法中のケア.
ストーマリハビリテーション基礎と実際. (ストーマリハビリテーション講習会実行委員会編), 東京: 金原出版, pp. 169-174. 2016.

8. 横井麻珠美
支持療法薬の必須ケアポイントつき!がん薬物療法の副作用ケアとことん攻略本:(2 章)殺細胞性抗がん薬の副作用 悪心・嘔吐

プロフェッショナルがんナーシング, (2016 春季増刊): 20-33. 2016.

9. 武田知子 , 森田幾代
術式別指導者の導入による、器械出し看護指導者の増員に向けた取り組み
日本手術医学会誌, 37(2): 121-123. 2016.

10. 清水多嘉子
改定内容がスッキリわかる　超実践　看護師長のための診療報酬解説 BOOK　平成 28(2016)年度改定対応版:(第 2 章)看護管理者としての心構え 急性期病院の立場より
Nursing BUSINESS, (2016 秋季増刊): 30-34. 2016.

11. 清水多嘉子 , 縄野一美
会議・ミーティングを何とかしよう!場を活性化させる手法と師長たちの工夫: 少人数制フリーディスカッション形式!　看護部「S ミーティング」の実際
ナースマネジャー, 18(10): 8-14. 2016.

12. 渡邊雅之 , 藤井亜砂美
ベテランナース・ドクターの経験知を可視化!術後ドレーンアセスメント山場マップ: 中下部食道切除・2 領域リンパ節郭清・胃管再建(胸腔内食道胃管吻合)のドレーン
消化器外科 Nursing, 21(6): 539. 2016.

13. 渡邊雅之 , 藤井亜砂美
ベテランナース・ドクターの経験知を可視化!術後ドレーンアセスメント山場マップ：食道亜全摘・3 領域リンパ節郭清・胃管再建(頸部食道胃管吻合)のドレーン
消化器外科 Nursing, 21(6): 538. 2016.

14. 濱口恵子
マギーズ東京 いよいよ 10 月オープン
がん看護, 21(6): 622-624. 2016.

15. 濱口恵子, 大友陽子, 長崎礼子
がん研有明病院膵がん看護：膵がんの進行は早い。ケアの先取りが必要なんです。
アンフィニ, (525 号): 12-15. 2016.

16. 濱口恵子, 森田達也, 新城拓也
鼎談：個別性に応えるために必要な死亡直前と看取りのエビデンス
医学界新聞, (3160 号): 1-3. 2016.

17. 笠原寿郎, 西尾誠人, 丹保裕一, 西川晋吾, 小泉智子, 高橋優美子, 瀧口友美
肺がん治療での副作用マネジメントにおける患者選択の重要性
Cancer Board Square, 20162016.

18. 鈴木美穂 , 濱敏弘編集
がん化学療法看護 : はじめの一歩. 東京: 照林社. 185p., 2016,

19. 長崎礼子, 大友陽子, 濱口恵子
進行再発膵臓がん患者に対する PANDA(PANcreatic Direct Approach team)プログラム作成の経緯(1)
がん看護, 21(7): 722-725. 2016.

20. 青儀健二郎, 飯野京子監修, 阿南節子, 櫻井美由紀, 岩本寿美代編著
がん患者の「知りたい」がわかる本 : 日常生活の安心を支援する Q&A 集 東京: じほう. 291p., 2016,

21. 鴨川郁子
あなたのケアが変わる！看護臨床研究の活用と取り組み：
どうやってよい文献に出会うか：文献検索のしかた
がん看護, 21(7): 739-741. 2016.

22. 黒田真由子
がんになったナースの経験から学ぶ"就労支援": (メッセージ 3)復帰時の不安が和らいだ組織と上司のサポート
看護, 68(13): 080-081. 2016.

１１． 獲得研究費一覧

◆ 2013年（平成25年）

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	若手研究（Ｂ）	形態形成シグナル活性はstageⅡ大腸癌予後予測のマーカーとなるか？	2,200,000	消化器外科 秋吉高志
厚生労働省	難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業	膵癌に対する術後再発予防のための2方向性新規ペプチドワクチン療法の開発	4,000,000	消化器内科 石井　浩
厚生労働省	難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業	我が国で新しく発明された概念に基づく抗がん剤アレクチゲニン臨床第Ⅱ相試験による膵がん克服	5,000,000	消化器内科 石井　浩
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	前頭前野・セロトニン神経を介する急性痛・癌性疼痛の制御	900,000	麻酔科 大島　勉
厚生労働省	がん臨床研究事業	放射線治療期間短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究	400,000	放射線治療科 小口正彦
厚生労働省	がん臨床研究事業	放射線治療を含む集学的治療の研究	200,000	放射線治療科 小口正彦
厚生労働省	がん研究開発費	頭頸部外科領域における手術手技の開発と標準化	450,000	頭頚科 川端一嘉
厚生労働省	第３次対がん総合戦略研究事業	がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	100,000	放射線治療科 小塚拓洋
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	SDF-1/CXCR4シグナルを標的とした乳癌骨転移に対する新規治療法の開発	1,400,000	総合腫瘍科 小林隆之
厚生労働省	がん臨床研究事業	肝胆膵がんに対する低侵襲外科治療の確立	700,000	消化器外科 齋浦明夫
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	光機能性有機蛍光プローブによる微小がん・微小転移の検出　＝肺癌を中心に＝	1,500,000	呼吸器外科 坂尾幸則
厚生労働省	がん臨床研究事業	胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する多施設共同ランダム化比較試験	200,000	消化器外科 佐野　武
厚生労働省	第3次対がん総合戦略研究事業	がん治療のための革新的新技術の開発及び臨床応用に関する総合的な研究	1,800,000	消化器外科 佐野　武
厚生労働省	がん臨床研究事業	進行胃がんの集学的治療の研究	600,000	消化器外科 佐野　武
厚生労働省	がん臨床研究事業	トラスツズマブ併用化学療法を受けたHER2陽性胃癌の予後因子・予測因子および耐性機序の検討	200,000	化学療法科 篠崎英司
厚生労働省	がん臨床研究事業	機能温存のための精密縮小手術と至適補助療法の開発、品質管理および標準化に向けた基盤的研究	500,000	整形外科 下地　尚
厚生労働省	がん臨床研究事業	外来化学療法におけるチーム医療の整備と検証に関する研究	1,700,000	総合腫瘍科 高橋俊二
厚生労働省	難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業	国立がん研究センターPhaseⅠセンター早期開発研究研究事業2.TAS102医師主導治験実施	3,000,000	総合腫瘍科 高橋俊二

厚生労働省	がん臨床研究事業	進行肺癌に対する化学療法	400,000	呼吸器内科 西尾誠人
厚生労働省	医療技術実用化 総合研究事業	RET 融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に 対する新規治療法の確立に関する研究	1,500,000	呼吸器内科 西尾誠人
厚生労働省	がん臨床研究事業	再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の 確立に関する研究	800,000	呼吸器内科 西尾誠人
厚生労働省	医療技術実用化 総合研究事業	進展型小細胞肺癌に対する予防的全脳照射 の実施の有無を比較するランダム化比較 第Ⅲ相試験	500,000	呼吸器内科 西尾誠人
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	小細胞肺がんの層別化の試み　ー発生起源 の再検討と発がん機構に注目してー	1,100,000	呼吸器内科 西尾誠人
厚生労働省	がん研究開発費	経血管治療ＩＶＲに関する研究	1,000,000	放射線診断科 松枝　清
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	末梢循環癌細胞のＫＲＡＳ遺伝子測定による ＥＧＦＲ抗体薬の効果測定	800,000	消化器内科 松阪　諭
厚生労働省	がん臨床研究事業	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確率 のための研究	240,000	整形外科 松本誠一
厚生労働省	がん臨床研究事業	未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の 有効性および安全性に関する多施設共同研究	1,000,000	消化器内科 山本頼正
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	高脂肪・高カロリー食による泌尿器癌の 進展の分子機構の解明と治療標的分子の同定	200,000	泌尿器科 湯浅　健
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	腎細胞がんにおける新しい分子標的治療 およびバイオマーカーの開発	1,500,000	泌尿器科 湯浅　健
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌生検のmicroRNA発現による化学療法 感受性予測に基づく個別化治療の確立	1,137,227	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	若手研究（Ｂ）	液状検体を用いた唾液腺癌の診断および 予後因子の検討	1,500,000	病理部 佐藤由紀子
厚生労働省	がん臨床研究事業	癌専門病院における外来化学療法の整備	600,000	乳腺内科 伊藤良則
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	大腸癌進展に関与する新規遺伝子の機能解析 および臨床応用への試み	1,100,000	消化器外科 長山　聡
文部科学省 （次世代がん）	次世代がん医療 創成研究事業	早期診断マルチバイオマーカー開発	2,272,728	消化器外科 長山　聡
文部科学省 （次世代がん）	次世代がん医療 創成研究事業	分子プロファイリングによる新規標的同定 を通じた難治がん治療法開発	4,545,455	婦人科 加藤一嘉
文部科学省 （次世代がん）	次世代がん医療 創成研究事業	チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん 治療の実用化に関する研究	909,091	乳腺内科 伊藤良則
文部科学省 （次世代がん）	次世代がん医療 創成研究事業	分子プロファイリングによる新規標的同定 を通じた難治がん治療法開発	24,545,455	山口俊晴
小林がん学術 振興会	がん薬物療法に 関する先駆的治療 法に対する研究助成 （先駆的研究）	HER2陽性末梢循環がん細胞を有する切除不能 ・再発胃癌に対するトラスツズマブ併用化学 療法の探索的臨床試験	1,000,000	消化器内科 松阪諭
武田科学振興 財団	医学系研究奨励	HER２陽性乳癌における分子標的治療薬に対 する新たな効果予測因子の同定と新規治療 法の開発	2,000,000	乳腺内科 荒木和浩

三井生命厚生事業団	医学研究助成	大腸癌肝転移の正確なステージングを目的とした術中造影超音波とGd-EOB-DTPA造影MRIの前向き比較	1,500,000	消化器外科（肝胆膵）有田淳一
公益信託癌臨床研究助成基金	研究助成金	胸部食道癌の周在性と末梢血液中の微小癌細胞の検討	500,000	消化器外科（食道）峯真司
公益信託癌臨床研究助成基金	研究助成金	大腸癌肝転移はどこから来るのか？原発巣先進部組織に着目した網羅的遺伝子解析による全く新しい大腸癌肝転移予後予測法に関する多施設国際共同研究	500,000	消化器外科（大腸）小西毅
外科学研究助成基金	研究助成金	血清エクソソーム中のmicroRNA網羅的発現解析に基づく直腸癌術前放射線化学療法効果予測法の開発	500,000	消化器外科（大腸）秋吉高志
大和証券ヘルス財団	調査研究助成	分子プロファイリングによる新規標的同定を通じた難治多発性骨髄腫の治療法開発	1,000,000	血液腫瘍科西村倫子
大和証券ヘルス財団	調査研究助成	大腸癌肝転移はどこから来るのか?原発巣先進部組織に着目した網羅的遺伝子解析による全く新しい大腸癌肝転移予後予測法に関する多施設国際共同研究	1,000,000	消化器外科（大腸）小西毅
がん集学的治療研究財団	一般研究助成金	再発ハイリスク局所進行直腸癌に対する全身化学療法と局所化学放射線療法の術前逐次投与による全く新しい集学的治療法の臨床第Ⅱ層試験	1,000,000	消化器外科（大腸）小西毅
アストラゼネカスポンサーズシップ		ホルモン陽性転移性乳癌の末梢血circulating tumor DNAにおける遺伝子変異の検討	500,000	乳腺内科柴山　朋子

◆ 2014年（平成26年）

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	若手研究（Ｂ）	形態形成シグナル活性はstageⅡ大腸癌予後予測のマーカーとなるか？	900,000	消化器外科秋吉高志
厚生労働省	がん対策推進総合事業	わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の臨床遺伝学的特徴の解明と遺伝子情報を用いた生命予後の改善に関する研究	7,000,000	遺伝子診療部新井正美
厚生労働省	革新的がん医療実用化研究事業	膵癌に対する術後再発予防のための2方向性新規ペプチドワクチン療法の開発	7,000,000	消化器内科石井　浩
厚生労働省	革新的がん医療実用化研究事業	我が国で新しく発明された概念に基づく抗がん剤アルクチゲニン臨床第Ⅱ相試験による膵がん克服	5,000,000	消化器内科石井　浩
厚生労働省	革新的がん医療実用化研究事業	消化器神経内分泌癌に対する標準治療の確立に関する研究	0	消化器内科石井　浩
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	ヘリコバクター属感染と膵がん・胆道がんのリスク	350,000	消化器内科石井　浩
文部科学省	基盤研究（Ａ）	バイオマーカーを用いた肝細胞癌の新規画像診断システムの構築と治療への応用的展開	300,000	消化器外科石沢武彰

文部科学省	基盤研究（Ｃ）	内臓肥満が大腸癌の進展に与える影響と そのメカニズムの解析	50,000	消化器外科 井田　智
文部科学省	若手研究（Ｂ）	大腸癌進展におけるＳＰＩＮＫ1の分子機構 の解明と新規分子標的治療への応用	1,300,000	消化器外科 井田　智
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	ステージⅢ胃癌に対する術前診断の妥当性 研究	30,000,000	消化器外科 大橋　学
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	トレーサビリティの確保された線源と画像 誘導を利用した高線量率小線源	700,000	放射線治療部 小口正彦
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の 確立と標準化のための臨床研究	600,000	放射線治療部 小口正彦
厚生労働省	がん対策推進 総合事業	がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の 運用と他がん登録との連携	80,233	放射線治療部 角美奈子
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	Adolescent and young adult (AYA) 世代に及ぶ骨・軟部肉腫ならびに固形 がんに対する	663,963	放射線治療部 角美奈子
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	妊娠、晩期合併症に考慮した治療 プロトコール開発に関する研究	0	放射線治療部 角美奈子
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	頭頸部表在がんに対する診断・ 治療法の確立に関する研究 ―頭頸部表在癌全国登録調査―	2,500,000	頭頸科 川端一嘉
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	SDF-1/CXCR4シグナルを標的とした 乳癌骨転移に対する新規治療法の開発	1,200,000	総合腫瘍科 小林隆之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	光機能性有機蛍光プローブによる 微小がん・微小転移の検出 ＝肺癌を中心に＝	700,000	呼吸器外科 坂尾幸則
国立がん研究 センター	国立がん研究 センターがん 研究開発費	胃がんに対する標準治療確立のための 多施設共同研究	5,000,000	消化器外科 佐野　武
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌の治療選択に関わるPI3K/AKTpathway 関連遺伝子変異の網羅的検索	1,200,000	消化器外科 志垣博信
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌におけるエピゲノム関連酵素 TETファミリーおよび5-ｈmCの解析	50,000	消化器外科 志垣博信
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	類内膜腺癌の個別化医療を目指したゲノム ワイドな原因遺伝子・分子標的探索	1,500,000	細胞診断部 杉山裕子
厚生労働省	難病・がん等の 疾患分野の医療 の実用化研究事業	国立がん研究センターPhaseⅠセンター 早期開発研究	2,000,000	総合腫瘍科 高橋俊二
厚生労働省	がん対策推進 総合事業	先端的がん医療実施のための地域完結型 病理診断および臨床・病理連携ネット ワークの構築	500,000	総合腫瘍科 高橋俊二
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲 手術の確立に関する研究	1,000,000	婦人科 竹島信宏
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	上皮性卵巣癌の妊準性温存治療の対象拡大 のための非ランダム化検証的試験	1,500,000	婦人科 竹島信宏

厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化 治療と最適化標準療法に関する研究	1,100,000	消化器内科 陳　勁松
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	眼部希少がんの発生・多様性獲得機構の 「鍵となる」分子・分子経路の特定と、 二次がん発生のサーベイランス体制の確立	1,000,000	眼科 辻　英貴
厚生労働省	臨床研究・治験 推進研究事業	RET融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に 対する新規治療法の確立に関する研究	1,000,000	呼吸器内科 西尾誠人
厚生労働省	医療・技術実用 化総合研究事業	進展型小細胞肺癌に対する予防的全脳照射 の実施の有無を比較するランダム化比較 第III相試験	500,000	呼吸器内科 西尾誠人
国立がん研究 センター	国立がん研究 センター がん研究開発費	呼吸器悪性腫瘍に対する薬物療法を含む 標準治療確立のための多施設共同研究	250,000	呼吸器内科 西尾誠人
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する シスプラチン＋S-1同時胸部放射線治療と シスプラチン＋ペメトレキセド同時胸部 放射線治療の無作為化第II相試験	1,000,000	呼吸器内科 西尾誠人
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	Liquid Biopsy による分子標的薬の治療 感受性・抵抗性の予測および新規獲得 体制機序の解明	0	呼吸器内科 西尾誠人
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	小細胞肺がんの層別化の試み　ー発生起源 の再検討と発がん機構に注目してー	700,000	呼吸器内科 西尾誠人
厚生労働省	がん対策推進 総合事業	がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に 対する取り組みの評価と改善に関する研究	3,500,000	がん疼痛治療科 服部政治
国立がん研究センター	国立がん研究 センター がん研究開発費	肝胆膵外科領域における臨床的課題に ついてのエビデンスを創出するための 研究	300,000	消化器外科 斎浦明夫
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	外科手術手技の客観的評価と科学的根拠 に基づいた標準治療開発のための多施設 共同第三相無作為化試験の確立	2,000,000	消化器外科 斎浦明夫
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	最新のIVRによる症状緩和についての研究	1,000,000	画像診断部 松枝　清
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立 のための研究	550,000	整形外科 松本誠一
厚生労働省	がん対策推進総合 事業	がん診療ガイドライン普及促進とその効果 に関する研究及び同ガイドライン事業の 在り方に関する研究	200,000	山口俊晴
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	高脂肪・高カロリー食による泌尿器癌の 進展の分子機構の解明と治療標的分子の 同定	200,000	泌尿器科 湯浅　健
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	腎細胞がんにおける新しい分子標的治療 およびバイオマーカーの開発	1,200,000	泌尿器科 湯浅　健
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNA の同定と治療への応用	300,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌生検のmicroRNA発現による化学療法 感受性予測に基づく個別化治療の確立	1,400,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	胃癌におけるＬＩＮＥ－１メチル化レベル の網羅的解析	50,000	消化器外科 渡邊雅之

文部科学省	基盤研究（Ｃ）	大腸癌に対する新しいエピジェネティック テラピーの開発	30,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	ｍｉｃｒｏＲＮＡ-ｇｅｎｅｐａｔｈｗａｙ を介した胃癌トラスツズマブ耐性機序の解明	100,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道扁平上皮癌に対する第3世代ＰＰＡＲγ ａｇｏｎｉｓｔの抗腫瘍効果・機序の解明	30,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	正常胃粘膜上皮および胃癌における ＳＰＩＮＫ１の機能解析	50,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌の発育進展に関与する脂質代謝 メカニズムの解明と新規治療法の開発	50,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌におけるエピゲノム関連酵素TET ファミリーおよび5-ｈｍCの解析	50,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	若手研究（Ｂ）	液状検体を用いた唾液腺癌の診断および 予後因子の検討	1,200,000	病理部 佐藤由紀子
文部科学省 （次世代がん）	次世代がん医療 創成研究事業	進行性卵巣がんの治療感受性を規定する 遺伝子変異の同定	4,545,455	婦人科 加藤一嘉
厚生労働省	がん対策推進 総合事業	がん患者の健康促進のための乳がん サバイバーシップコホート研究	0	乳腺外科 岩瀬拓士
文部科学省 （次世代がん）	次世代がん医療 創成研究事業	次世代シークエンス解析技術を駆使した 家族性乳がんの原因探索	25,454,546	乳腺外科 岩瀬拓士
厚生労働省	がん対策推進 総合事業	がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の 運用と他がん登録との連携	200,000	放射線治療部 小塚拓洋
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	癌幹細胞の生物学的特性を加味した新しい 大腸癌治療戦略の確立	1,900,000	消化器外科 長山聡
文部科学省 （次世代がん）	次世代がん医療 創成研究事業	早期診断マルチバイオマーカー開発	2,272,728	消化器外科 長山聡
科学技術 振興機構	科学技術試験 研究委託事業	ゲノム網羅的解析情報を基盤とする オーダーメイドがん医療実現のための 開発研究	4,545,455	消化器外科 長山聡
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	グレリン投与による高齢者食道癌手術の 安全性向上に関するランダム化第Ⅱ相試験	900,000	消化器外科 渡邊雅之
国立がん研究 センター	国立がん研究 センターがん 研究開発費	胃がんに対する標準治療確立のための 多施設共同研究	600,000	消化器外科 布部創也
厚生労働省	革新的がん医療 実用化研究事業	切除可能進行胃癌に対する網嚢切除の意義 に関する研究	1,100,000	消化器外科 布部創也
文部科学省 （次世代がん）	次世代がん医療 創成研究事業	分子プロファイリングによる新規標的同定 を通じた難治がん治療法	31,818,182	山口俊晴
持田記念医学 薬学振興財団	研究助成金	組織透明化技術を応用した術中3D蛍光 イメージングの開発	3,000,000	消化器外科 （肝胆膵） 石沢武彰
内視鏡医学研究 振興財団	研究助成B	直腸癌に対する腹腔鏡下内肛門括約筋切除 (ISR)術後の肛門機能に関する研究	500,000	消化器外科 （大腸） 秋吉高志

大和証券ヘルス財団	調査研究助成	大腸鋸歯状病変に由来した大腸癌の遺伝子変異のプロファイルに関する検討	1,000,000	消化器内科 千野晶子
大和証券ヘルス財団	調査研究助成	がん専門病院歯科で行う周術期口腔ケア方法の標準化に向けた調査および検討	1,000,000	歯科 富塚健
がん集学的治療研究財団	一般研究助成金	HER2陽性切除不能進行再発胃癌に対するS-1＋Oxaliplatin＋Trastuzumab(SOX＋Tmab)併用療法の第Ⅱ相臨床試験	1,000,000	消化器内科 高張大亮
がん研究振興財団	一般研究助成金	全エクソンシークエンスによる直腸癌術前放射線化学療法効果 予測遺伝子の同定	1,000,000	消化器外科 （大腸） 秋吉高志
厚生労働省	医療技術実用化総合研究 （臨床研究・治験推進研究事業）	データ信頼性を確保した質の高い研究者主導臨床研究実現のための臨床データ管理システム（CDMS）標準仕様の作成	9,995,000	臨床試験部 石塚直樹

◆ 2015年（平成27年）

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の臨床遺伝学的特徴の解明と遺伝子情報を用いた生命予後の改善に関する研究	5,864,000	遺伝子診療部 新井正美
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	「ステージⅢ胃癌に対する術前診断の妥当性研究：術前補助化学療法への転換を目指して」	24,109,693	消化器外科 大橋　学
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究	333,334	放射線治療部 小口正彦
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	461,538	放射線治療部 小口正彦
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	Adolescent and young adult (AYA)世代に及ぶ骨・軟部肉腫ならびに固形がんに対する妊娠、晩期合併症に考慮した治療プロトコール開発に関する研究	1,000,000	放射線治療部 角美奈子
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	がん診療科データベースとJapanese National Cancer Databaseの運用と他がん登録との連携	50,000	放射線治療部 角美奈子
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為のNCD長期予後入力システムの構築に関する研究	150,000	消化器外科 佐野　武
国立がん研究センター	国立がん研究センター がん研究開発費	胃がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究	5,600,000	消化器外科 佐野　武
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	早期子宮頸がんに対する機能温存侵襲手術確立に関する研究	810,000	婦人科 竹島信宏
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	1,000,000	婦人科 竹島信宏

日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	切除不能進行・再発胃がんに対する 個別化治療と最適化標準療法に関する研究	1,000,000	消化器 化学療法科 陳　勁松
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	高度腹水を伴うまたは経口摂取不能の 腹膜転移を有する胃癌に対する5-FU/1-LV療法 vsFLTAX療法のランダム化第Ⅱ/Ⅲ 相比較試験	500,000	消化器 化学療法科 陳　勁松
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	眼部希少がんの発生・多様性獲得機構の 「鍵となる」分子・分子経路の特定と、 二次がん発生のサーベイランス体制の確立	1,000,000	眼科 辻　英貴
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	効果判定、PETのQA/QC	1,000,000	核医学部 寺内隆司
国立がん研究 センター	国立がん研究 センター がん研究開発費	標準化画像診断手順に従ったがん治療 効果判定に関する研究	5,900,000	核医学部 寺内隆司
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する シスプラチン+S-1同時胸部放射線治療と シスプラチン+ペメトレキセド同時胸部 放射線治療の無作為化第Ⅱ相試験	769,231	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	RET融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に 対する新規治療法の確立に関する研究	769,231	呼吸器内科 西尾誠人
国立がん研究 センター	国立がん研究 センター がん研究開発費	呼吸器悪性腫瘍にたいする薬物療法を 含む標準治療確立のための多施設共同研究	250,000	呼吸器内科 西尾誠人
厚生労働省	がん政策研究事業	がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に 対する取り組みの評価と改善に関する研究	2,300,000	がん疼痛 緩和部 服部政治
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	外科手術手技の客観的評価と科学的根拠 に基づいた標準治療開発のための多施設 共同第三相無作為化試験の確立	700,000	肝胆膵外科 斎浦明夫
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	最新のＩＶＲによる症例緩和についての研究	769,231	画像診断部 松枝　清
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療法 確立のための研究	700,000	整形外科 松本誠一
厚生労働省	難治性疾患等 政策研究事業	腹腔外発生デスモイド腫瘍患者の実態把握 および診療ガイドライン確立に向けた研究	90,000	整形外科 阿江啓介
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌 間質ゲノムの網羅的解析	1,400,000	消化器外科 井田智
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	内臓肥満が大腸癌の進展に与える影響と メカニズムの解析	100,000	消化器外科 井田智
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	１細胞発現解析による悪性腹水貯留の 分子機序の解明	25,000	婦人科 加藤一喜
日本医療研究 開発機構 （AMED） 次世代がん	次世代がん医療 創成研究事業	分子プロファイリングによる新規標的同定 を通じた難治がん治療法開発（卵巣がん）	4,347,826	婦人科 加藤一喜

厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	先端的がん医療実施のための地域完結型病理診断および臨床・病理連携ネットワークの構築	0	総合腫瘍科 高橋俊二
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	次世代シークエンス解析技術を駆使した家族性乳がんの原因探索	24,347,827	乳腺外科 岩瀬拓士
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNAの同定と治療への応用	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道扁平上皮癌におけるがん代謝を制御する分子機序の網羅的解析	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌の新規バイオマーカー開発をめざしたDNA脱メチル化関連酵素の網羅的解析	50,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌におけるlincRNAの網羅的発現解析ならびに機能解析	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道扁平上皮癌に対する第３世代PPARγagonistの抗腫瘍効果・機序の解明	50,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	内臓肥満が大腸癌の進展に与える影響とメカニズムの解析	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	若手研究（Ｂ）	FGFR2を標的とした食道胃接合部癌に対する新規治療法の確立	1,000,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	ヘリコバクター属感染と膵がん・胆道がんのリスク	300,000	消化器内科 笹平直樹
文部科学省	若手研究（Ｂ）	術中超音波ナビゲーションシステムを用いた系統的肝切除手術の開発	600,000	消化器外科 三瀬祥弘
文部科学省	若手研究（Ｂ）	仮想X線画像を用いた新しい患者セットアップシステムの開発	2,300,000	放射線治療部 橋本成世
文部科学省	若手研究（Ｂ）	液状検体を用いた唾液腺癌の診断および予後因子の検討	1,200,000	病理部 佐藤由紀子
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	全エクソンシークエンスによる直腸癌術前放射線化学療法効果予測遺伝子の同定	1,800,000	消化器外科 秋吉高志
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	がん診療科データベースとJapanese National Cancer Databaseの運用と他がん登録との連携	50,000	放射線治療部 小塚拓洋
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	SDF-1/CXCR4シグナルを標的とした乳癌骨転移に対する新規治療法の開発	1,200,000	総合腫瘍科 小林隆之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	ヒトパピローマウイルス感染と発がん－臓器横断的解析－	50,000	頭頸科 新橋涉
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	類内膜腺癌の個別化医療を目指したゲノムワイドな原因遺伝子・分子標的探索	1,500,000	細胞診断部 杉山裕子
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	１細胞発現解析による悪性腹水貯留の分子機序の解明	25,000	細胞診断部 杉山裕子

文部科学省	基盤研究（Ａ）	バイオマーカーを用いた肝細胞癌の新規画像診断システムの構築と治療への応用的展開	100,000	消化器外科 石沢武彰
日本医療研究開発機構（AMED）	橋渡し研究加速ネットワークプログラム	手術中に膵液の漏出部位を同定し蛋白分解酵素活性を評価する蛍光イメージング技術の開発	46,000,000	消化器外科 石沢武彰
日本医療研究開発機構（AMED）	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	3,650,000	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構（AMED）	創薬基盤推進研究事業	肥満関連癌症例の血液試料分析による肥満関連のバイオマーカーの同定	1,500,000	消化器外科 長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	バイオバンク	バイオバンクの構築と臨床情報データベース化（DNAサンプル及び臨床情報の収集）	17,962,728	消化器外科 長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	オーダーメイド医療の実現プログラム	ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療実現のための開発研究（乳がん）	3,636,364	消化器外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	癌幹細胞の生物学的特性を加味した新しい大腸癌治療戦略の確立	1,100,000	消化器外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	大腸癌同一症例原発／転移組織を用いたプロテオーム解析による血中転移マーカーの開発	100,000	消化器外科 長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	早期診断マルチバイオマーカー開発	3,347,827	消化器外科 長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	臨床病期Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ食道癌（T4を除く）に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第Ⅲ相試験	1,000,000	消化器外科 渡邊雅之
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	グレリン投与による高齢者食道癌手術の安全性向上に関するランダム化第２相試験	900,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNAの同定と治療への応用	100,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道扁平上皮癌におけるがん代謝を制御する分子機序の網羅的解析	1,400,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	150,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌の新規バイオマーカー開発をめざしたDNA脱メチル化関連酵素の網羅的解析	100,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌におけるlincRNAの網羅的発現解析ならびに機能解析	150,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	microRNA-genepathwayを介した胃癌トラスズマブ耐性機序の解明	150,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道扁平上皮癌に対する第３世代PPARγagonistの抗腫瘍効果・機序の解明	50,000	消化器外科 渡邊雅之

文部科学省	基盤研究（Ｃ）	正常胃粘膜上皮および胃癌における ＳＰＩＮＫ１の機能解析	150,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌の発育進展に関与する脂質代謝 メカニズムの解明と新規治療法の開発	100,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌におけるエピゲノム関連酵素 ＴＥＴファミリーおよび5-hmCの解析	150,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌の治療選択に関わるPI3K/AKTpathway 関連遺伝子変異の網羅的検索	300,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	包括的脂肪・糖代謝解析による肥満に伴う 泌尿器癌進展の分子機序解明と克服	200,000	泌尿器科 湯浅健
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	腎細胞がんにおける新しい分子標的治療 およびバイオマーカーの開発	1,200,000	泌尿器科 湯浅健
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌におけるlincRNAの網羅的発現解析 ならびに機能解析	901,321	消化器外科 日吉幸晴
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に 関する研究	1,000,000	消化器内科 尾阪将人
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	切除可能進行胃癌に対する網嚢切除の意義 に関する研究	700,000	消化器外科 布部創也
国立がん研究 センター	国立がん研究 センター がん研究開発費	新規分子標的治療薬の開発に関する研究	600,000	消化器外科 布部創也
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	ヒトパピローマウイルス感染と発がん ー臓器横断的解析ー	50,000	放射線治療部 利安隆史
日本医療研究 開発機構 （AMED） 次世代がん	次世代がん医療 創成研究事業	分子プロファイリングによる新規標的同定 を通じた難治がん治療法開発	29,565,218	山口俊晴
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	造血幹細胞移植を受ける患者のＱＯＬと 知識、学習性無力感、自己効力感との 関係の解明	1,171,478	看護部 鈴木美穂
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	看護師の臨床判断力を強化する卒後教育プログ ラムとその評価指標の確立	80,000	看護部 鈴木美穂
文部科学省	挑戦的萌芽研究	地域高齢者を支えるコンビニエンスストア ：地域包括ケアにおける協働モデルの構築	50,000	看護部 鈴木美穂
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	腫瘍内HER2不均一発現を呈する胃癌の トラスツズマブ耐性機序の分子生物学 的解明	900,000	消化器内科 若槻　尊
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	基礎研究解析データに基づく大腸がん新規 治療薬のバイオマーカー探索	1,600,000	消化器内科 末永光邦
アステラス病態 代謝研究会	研究助成金	膵癌予後向上のための多角的外科アプローチ	2,000,000	消化器外科 （肝胆膵） 井上陽介
大和証券ヘルス 財団	調査研究助成	全エクソンシークエンスによる直腸癌術前 放射線化学療法効果予測遺伝子の同定	1,000,000	消化器外科 （大腸） 秋吉高志

大和証券ヘルス財団	調査研究助成	胃癌における腫瘍内分子生物学的heterogeneity と治療抵抗性機序の解明及び新たな治療戦略の開発	1,000,000	消化器内科 若槻　尊
がん集学的治療研究財団	一般研究助成金	切除不能進行再発大腸癌患者に対するレゴラフェニブの薬物動態および毒性と遺伝子多型の多施設共同研究	1,000,000	消化器内科 若槻　尊
がん集学的治療研究財団	一般研究助成金	HER2陽性切除不能進行再発胃癌に対するS1+Oxaliplatin+Trastuzumab(SOX+Tmab)併用療法の第Ⅱ相臨床試験	1,000,000	消化器 化学療法科 高張大亮
日本対がん協会	リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」	腸内細菌叢の変化による大腸癌発生のメカニズムの解明	1,000,000	消化器外科 （大腸） 長山　聡
上原記念生命科学財団	研究助成金	食道腺癌の分子機序の解明と治療標的の探索	5,000,000	消化器外科 （食道） 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	画像誘導放射線治療における計算フィルター及び物理フィルターによる画質改善	900,000	放射線治療部 作美明

◆ 2016年（平成28年）

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の臨床遺伝学的特徴の解明と遺伝子情報を用いた生命予後の改善に関する研究	9,382,000	遺伝子診療部 新井正美
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	日本医療研究開発機構（AMED）研究費「ステージⅢ胃癌に対する術前診断の妥当性研究：術前補助化学療法への転換を目指して」（大橋班）	22,469,231	消化器外科 大橋　学
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	病理学的Stage II/IIIで“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験	390,000	消化器外科 大橋　学
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	放射線治療管理、局所放射線療法のQA/QC、ISRT標準化	909,091	放射線治療部 小口正彦
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	Adolescent and young adult (AYA)世代に及ぶ骨・軟部肉腫ならびに固形がんに対する妊娠、晩期合併症に考慮した治療プロトコール開発に関する研究	700,000	放射線治療部 角美奈子
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	がん診療科データベースとJapanese National Cancer Databaseの運用と他がん登録との連携	200,000	放射線治療部 角美奈子
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為のNCD長期予後入力システムの構築に関する研究	100,000	消化器外科 佐野　武
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	早期子宮頸がんに対する準広汎子宮全摘術の有益性を検証する研究	650,000	婦人科 竹島信宏

日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	1,000,000	婦人科 竹島信宏
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究	500,000	消化器 化学療法科 陳　勁松
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	眼部腫瘍の全国症例登録システムの構築に関する研究	1,000,000	眼科 辻　英貴
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	眼部希少がんの発生・多様性獲得機構の「鍵となる」分子・分子経路の特定と、二次がん発生のサーベイランス体制の確立	769,231	眼科 辻　英貴
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	効果判定、PETのQA/QC	1,000,000	核医学部 寺内隆司
国立がん研究センター	国立がん研究センターがん研究開発費	ＪＣＯＧ試験におけるＰＥＴ/ＣＴのＱＡ/ＱＣを担保するシステム構築に関する研究・がんＰＤＧ－ＰＥＴ/ＣＴ撮像法ガイドラインの改訂に関する研究	2,200,000	核医学部 寺内隆司
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第Ⅱ相試験	692,308	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	RET融合遺伝子陽性の進行非小細胞肺癌に対する新規治療法の確立に関する研究	769,231	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	胸腺癌、胸腺腫に対する抗ＰＤ－１抗体ニボルマブ適応拡大のための研究	600,000	呼吸器内科 西尾誠人
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	患者由来細胞のキノーム解析による標的キナーゼ活性定量法を用いた薬剤耐性機序の解明	100,000	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	がん細胞および免疫応答解析に基づくがん免疫療法効果予測診断法の確立	51,193,000	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法の確立に関する研究	500,000	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	外科手術手技の客観的評価と科学的根拠に基づいた標準治療開発のための多施設共同第三相無作為化試験の確立	650,000	肝胆膵外科 斎浦明夫
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	最新のＩＶＲによる症例緩和についての研究	769,231	画像診断部 松枝　清
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療法確立のための研究	330,000	整形外科 松本誠一
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	高感度域でも良好な定量性を示し、普及し易いメチル化DNA解析法の開発	1,300,000	TR支援部 野村幸男

文部科学省	基盤研究（Ｃ）	基礎研究解析データに基づく大腸がん新規治療薬のバイオマーカー探索	1,200,000	消化器内科 末永光邦
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	1,100,000	消化器外科 井田智
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析	50,000	消化器外科 井田智
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	内臓肥満が大腸癌の進展に与える影響とメカニズムの解析	50,000	消化器外科 井田智
日本医療研究開発機構（AMED） 次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	ゲノム・エピゲノム統合解析による再発/転移性乳がんの創薬標的の同定	11,538,462	乳腺外科 岩瀬拓士
文部科学省	若手研究（Ａ）	食道胃接合部腺癌におけるKRAS遺伝子増幅の意義とその悪性化メカニズムの解明	6,600,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNAの同定と治療への応用	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析	50,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道扁平上皮癌におけるがん代謝を制御する分子機序の網羅的解析	100,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	内臓肥満が大腸癌の進展に与える影響とメカニズムの解析	50,000	消化器外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	ヘリコバクター属感染と膵がん・胆道がんのリスク	300,000	消化器内科 笹平直樹
日本医療研究開発機構（AMED）	臨床研究・治験推進研究事業	切除不能・術後再発胆道癌に対するＦＯＬＦＩＲＩＮＯＸ療法	1,500,000	消化器内科 笹平直樹
日本学術振興会	藤田記念医学研究振興基金研究助成事業	術中超音波ナビゲーションシステムを用いた肝切除手術の開発	980,000	消化器外科 三瀬祥弘
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	直腸癌術前化学放射線療法の効果予測マーカーとしての血清中microRNA解析	400,000	消化器外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	全エクソンシークエンスによる直腸癌術前放射線化学療法効果予測遺伝子の同定	1,000,000	消化器外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	ヒトパピローマウイルス感染と発がん－臓器横断的解析－	50,000	頭頸科 新橋涉
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	類内膜腺癌の個別化医療を目指したゲノムワイドな原因遺伝子・分子標的探索	800,000	細胞診断部 杉山裕子
日本医療研究開発機構（AMED）	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	3,732,440	乳腺センター 大野真司

日本医療研究開発機構（AMED）次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	NGS技術を駆使した遺伝学的解析による家族性乳がんの原因遺伝子同定と標準化医療構築	60,884,616	乳腺センター大野真司
厚生労働省	がん政策研究事業	若年乳がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の構築	200,000	乳腺センター大野真司
日本医療研究開発機構（AMED）	医薬品等規制調和・評価研究事業	患者に対してセンシティブな内容（性交渉や避妊等）を説明する医療従事者向け教育プログラムの策定に関する研究	153,847	血液腫瘍科畠　清彦
日本医療研究開発機構（AMED）	創薬基盤推進研究事業	肥満関連癌症例の血液試料分析による肥満関連のバイオマーカーの同定	2,000,000	消化器外科長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	オーダーメイド医療の実現プログラム	大腸がん発症リスクの予測を可能とする感受性遺伝子の同定とその応用研究の推進	3,230,770	消化器外科長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	バイオバンク	バイオバンクの構築と臨床情報データベース化（ＤＮＡサンプル及び臨床情報の収集）	16,521,297	消化器外科長山聡
文部科学省	挑戦的萌芽研究	がん細胞のX線及び炭素イオン線抵抗性における細胞膜修復能に関する研究	1,000,000	遺伝子診療部佐藤克敏
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	癌幹細胞の生物学的特性を加味した新しい大腸癌治療戦略の確立	1,000,000	消化器外科長山聡
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	患者由来細胞のキノーム解析による標的キナーゼ活性定量法を用いた薬剤耐性機序の解明	100,000	消化器外科長山聡
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	大腸癌同一症例原発／転移組織を用いたプロテオーム解析による血中転移マーカーの開発	100,000	消化器外科長山聡
文部科学省	基盤研究（Ｂ）（特設分野研究）	大規模経時採取血漿バンクの網羅的蛋白質変動解析による大腸癌再発予測因子の解明	600,000	消化器外科長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	切除組織培養分泌エクソソームの網羅的解析によるがん早期診断薬開発	1,800,000	消化器外科長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）次世代がん	次世代がん医療創成研究事業	腸内細胞を指標とした大腸がんの早期診断方法の開発	2,000,000	消化器外科長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	食道亜全摘術を行う食道癌患者における急性肺合併症に対するOSK-0028の有効性及び安全性の検討（第II相試験）	307,693	消化器外科渡邊雅之
日本医療研究開発機構（AMED）	革新的がん医療実用化研究事業	臨床病期I/II/III食道癌（T4を除く）に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験	640,000	消化器外科渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道扁平上皮癌におけるがん代謝を制御する分子機序の網羅的解析	1,100,000	消化器外科渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｂ）	消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNAの同定と治療への応用	100,000	消化器外科渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	150,000	消化器外科渡邊雅之

文部科学省	基盤研究（Ｃ）	消化器癌におけるエピゲノム関連酵素 ＴＥＴファミリーおよび5-hmCの解析	100,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	食道癌の治療選択に関わるPI3K/AKTpathway 関連遺伝子変異の網羅的検索	100,000	消化器外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	腎癌における遺伝子変異・遺伝子発現を 基にした治療体系確立への基礎研究	1,400,000	泌尿器科 湯浅健
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	直腸癌術前化学放射線療法の効果予測 マーカーとしての血清中microRNA解析	2,100,000	消化器外科 日吉幸晴
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に 関する研究	1,500,000	消化器内科 尾阪将人
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	切除可能進行胃癌に対する網嚢切除の意義 に関する研究	1,000,000	消化器外科 布部創也
国立がん研究 センター	国立がん研究 センター がん研究開発費	胃がんに対する標準治療確立のための 多施設共同研究	800,000	消化器外科 布部創也
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	ヒトパピローマウイルス感染と発がん ー臓器横断的解析ー	50,000	放射線治療部 利安隆史
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線 治療の確立と標準化のための臨床研究	500,000	放射線治療部 利安隆史
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	腫瘍内HER2不均一発現を呈する胃癌の トラスツズマブ耐性機序の分子生物学 的解明	1,300,000	消化器内科 若槻尊
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法 の確立に関する研究	1,000,000	消化器 化学療法科 山口研成
日本医療研究 開発機構 （AMED）	革新的がん医療 実用化研究事業	トレーサビリティの確保された線源と 画像誘導を利用した高線量率小線源治療 の標準化と高度化の研究	250,000	放射線治療部 室伏景子
文部科学省	若手研究（Ｂ）	小腸脂肪酸吸収関連蛋白のNASH病態へ 与える影響と治療標的分子の解明	700,199	消化器内科 山本安則
文部科学省	若手研究（Ｂ）	仮想X線画像を用いた新しい患者 セットアップシステムの開発	800,000	放射線治療部 橋本成世
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	造血幹細胞移植を受ける患者のＱＯＬ と知識、学習性無力感、自己効力感との 関係の解明	1,600,000	看護部 鈴木美穂
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	看護師の臨床判断力を強化する卒後教育 プログラムとその評価指標の確立	80,000	看護部 鈴木美穂
文部科学省	挑戦的萌芽研究	地域高齢者を支えるコンビニエンスストア ：地域包括ケアにおける協働モデルの構築	50,000	看護部 鈴木美穂
文部科学省	若手研究（Ｂ）	仮想X線画像を用いた新しい患者セット アップシステムの開発	800,000	放射線治療部 橋本成世
文部科学省	研究活動スタート 支援	放射線治療期間中の患者の体型変化を 予測する仮想CBCT画像生成システムの 開発	1,100,000	放射線治療部 中野正寛

文部科学省	若手研究（Ｂ）	大腸癌における、エピジェネティクスを標的とした新規分子標的治療薬の検討	1,003,559	消化器外科 徳永竜馬
文部科学省	基盤研究（Ｃ）	大腸癌にstatinの抗腫瘍効果メカニズムの解明と新規治療法の開発	100,000	消化器外科 徳永竜馬
厚生労働省	難治性疾患等政策研究事業	腹腔外発生デスモイド腫瘍患者の実態把握および診療ガイドライン確立に向けた研究	70,000	整形外科 阿江啓介
文部科学省	若手研究（Ｂ））	胃がん術後補助療法に対する抵抗性を評価するバイオマーカーの開発	1,950,000	総合腫瘍科 重松康之
小林がん学術振興会	がん薬物療法に関する先駆的治療法に対する研究助成(先駆的研究)	食道胃接合部腺癌における遺伝子増幅異常を標的とした新規治療法の開発	1,000,000	消化器外科（食道） 今村　裕
公益信託癌臨床研究助成基金	研究助成金	炎症性バイオマーカーを考慮した大腸癌治癒切除後の予後予測ノモグラムの確立	500,000	消化器外科（大腸） 秋吉高志
内視鏡医学研究振興財団	研究助成A	腹腔鏡下手術における腫瘍の腹腔内遺残を完全排除するsingle-site in-bag morecellationアニマルモデルを用いた安全性の検討	1,000,000	婦人科 青木洋一
大和証券ヘルス財団	調査研究助成	サイズ分画を利用したCTCcuster診断システムの開発	1,000,000	消化器 化学療法科 松阪　諭
大和証券ヘルス財団	調査研究助成	胃粘膜下層深部浸潤(SM)癌のリンパ節転移に関連する深達度と病理学的因子の検討	1,000,000	消化器内科 大隅寛木
がん研究振興財団	がん研究助成金	大腸癌肝転移・膵癌の化療後切除における術中蛍光イメージングの有効性評価	1,000,000	消化器外科（肝胆膵） 石沢武彰
がん研究振興財団	がん研究助成金	病理標本を基盤とした形態診断と分子診断を統合した新しい乳癌再発予測モデルの開発	1,000,000	病院病理部 大迫智
日本対がん協会	リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」	腸内細菌を指標とした大腸癌スクリーニングキットの開発	1,000,000	消化器外科（大腸） 長山聡

１２．学術講演会

◆2013 年（平成 25 年）

回	日　付	開催時間	演　題	発表者
第 210 回	1 月 15 日（火）	18:00 ～19:30	太るとなぜがんになるのか？～脂肪細胞由来ホルモン「アディポネクチン」をめぐって～	大阪大学 生体機能補完医学講座 准教授　前田和久 先生
第 211 回	2 月 19 日（火）	18:00 ～19:30	わかる！放射線治療 ～放射線治療部がめざすもの～	がん研有明病院放射線 治療部副部長 小塚拓洋先生
第 212 回	3 月 19 日（火）	18:00 ～19:30	24 年度 Best English Paper 受賞記念講演会	
			ゴールド賞： RET,ROS1 and ALK fusions in lung cancer. nature medicine 2012 Feb Vol 18/No 3 378-381	病理部　主任研究員 分子標的病理プロジェクト リーダー　竹内賢吾 先生
			シルバー賞： Prognostic Factors and Treatment Outcomes for Anaplastic Thyroid Carcinoma: ATC Research Consortium of Japan Cohort Study of 677 Patients. World Journal of Surgery 2012 Jun Vol 36/No 6 1247-1254	頭頸科副部長 杉谷　巌 先生
			ブロンズ賞： Results of a Japanese Nationwide Multi-Institutional Study on Lateral Pelvic Lymph Node Metastasis in Low Rectal Cancer.　Is It Regional or Distant Disease? Annals of Surgery 2012 Jun Vol 255/No 6 1129-1134	消化器外科副医長 秋吉高志 先生
			ブロンズ賞： Sentinel node tumour burden quantified based on cytokeratin 19 mRNA copy number predicts non-sentinel node metastases in breast cancer: Molecular whole-node analysis of all removed nodes. European Journal of Cancer 2012	病理部医員 大迫　智 先生
			ブロンズ賞： Incidence of and risk factors for postoperative nausea and vomiting at a Japanese Cancer Center: first large-scale study in Japan. J Anesth 2012 Feb Vol 27/No 1 18-24	麻酔科副医長 森野良蔵 先生
第 213 回	2 月 4 日（木）	18:00 ～19:00	外科医が遺伝子研究ラボを主宰しつつ、多施設共同臨床試験の PI を務める方法	Associate Professor, Discipline of Surgery,University of Queensland, Prince Alexandra Hospital, Australia Dr. Andrew Barbour

回	日　付	開催時間	演　題	発表者
第 214 回	4 月 16 日（火）	18:00 ～19:30	胃・食道がんの術後栄養管理に NST は必要か？	がん研有明病院上部消化管外科副部長、栄養部部長 比企直樹　先生
第 215 回	4 月 30 日（火）	18:00 ～19:00	輸血の適正使用について	がん研有明病院輸血部顧問 十字猛夫 先生
第 216 回	5 月 21 日（火）	18:00 ～19:30	すぐに使える！高齢患者への対応法 ～哲学に基づいた実践的なケアメソッド～ 「Humanitude」	国立病院機構 東京医療センター 総合内科医長 本田美和子 先生 総合内科病棟副師長 林　紗美 先生
第 217 回	6 月 18 日（火）	18:00 ～19:30	日本でも増えてくる（？） バレット食道腺癌の内視鏡診断と治療	がん研有明病院 消化器内科 上部消化管担当部長 藤崎順子 先生
第 218 回	7 月 16 日（火）	18:00 ～19:30	適正な保険診療のための講習会	
			（1）指導管理料・病名のカルテ記載について	がん研有明病院医事部外来医事課長　荒井宣孝 さん
			（2）適正な診療報酬を得るための外来診療のコツ	がん研有明病院 漢方サポート科部長 星野惠津夫 先生
			特別講演：保険診療と監査への対応	元東京都支払基金 審査委員長、順天堂大学教授 林田康男 先生
第 219 回	9 月 17 日（火）	18:00 ～19:30	医療 3D プリンタによる生体質感臓器立体モデルナビゲーション	神戸大学消化器内科 特命講師生命医学 イノベーション創出人材養成センター 杉本真樹 先生
第 220 回	10 月 15 日（火）	18:00 ～19:30	陽子線治療の進歩と適応 ～食道がんを中心に～	国立がん研究センター東病院 放射線部・放射線治療科部長 秋元哲夫 先生
第 221 回	10 月 29 日（火）	18:00 ～19:30	適正な保険診療と DPC の今後について	社会保険診療報酬支払基金 審査副委員長 井原裕宣 先生
第 222 回	12 月 17 日（火）	18:00 ～19:30	遺伝子褐色細胞腫 / パラガングリオーマ症候群 Hereditary pheochromocytoma / paraganglioma syndrome = HPPS	筑波大学医学医療系 臨床学域スポーツ医学 教授 竹越一博 先生

◆2014 年（平成 26 年）

回	日　付	開催時間	演　題	発表者
第 223 回	1 月 21 日（火）	18:00 ～19:30	血管新生病の血管内治療 ～進行がんカテーテル治療を中心に～	クリニカ ET 院長 奥野哲治 先生
第 224 回	2 月 18 日（火）	18:00 ～19:30	癌性腹水に対する新たな治療戦略 ～KM-CART による積極的症状緩和とオーダーメイド癌治療への活用～	要町病院 腹水治療センター長 松﨑圭祐 先生
第 225 回	3 月 18 日（火）	18:00 ～19:30	25 年度 Best English Paper 受賞記念講演会	
			ゴールド賞： Allelotypes of lung adenocarcinomas featuring ALK fusiondemonstrate fewer onco-and suppressor gene changes (SNP アレイを用いた ALK 融合遺伝子陽性肺腺癌の核型分析)	病理部　二宮浩範 先生
			シルバー賞： FDG uptake heterogeneity evaluated by fractal analysis improves the differential diagnosis of pulmonary nodules (肺結節病変の 18FDG 集積分布の不均一性による良悪性鑑別)	画像診断センター 三輪健太 さん
			ブロンズ賞： Diagnosis of Laterally Spreading Tumors in the rectum and selevtion of treatment-Characteristics each of the sub-classification or LSTs in the rectum (直腸 LST の診断と治療法の選択)	内視鏡診断部 堀内裕介 先生
			ブロンズ賞： Prognostic Role of Positron Emission Tomography and High-Resolution Computed Tomography in Clinical Stage IA Lung Adenocarcinoma. (臨床病期Ⅰ期肺腺癌における PET/CT と高分解能 CT の役割多施設共同研究の長期予後解析より)	呼吸器外科 上原浩文 先生
			ブロンズ賞： Lymphadenectomy around the left renal vein in Siewert type Ⅱ adenocarcinoma of the oesophagogastric junction (Siewert typeⅡ食堂胃接合部癌における左腎静脈周囲のリンパ節郭清(16A2lat)について)	消化器外科 峯　真司 先生
第 226 回	4 月 15 日（木）	18:00 ～19:30	がん研有明病院・東京都済生会中央病院 病病連携の新たな展開：「糖尿病」	
			（1）病病連携の更なる発展を期して	済生会中央病院 副院長・ 心臓血管外科 廣谷 隆 先生
			（2）糖尿病合併手術例の血糖管理の重要性とその実際	済生会中央病院 糖尿病・ 内分泌内科部長 島田 朗 先生
			（3）糖尿病による足の切断を予防するために ～東京都済生会中央病院の取り組み～	済生会中央病院 糖尿病・ 内分泌内科 富田益臣 先生

回	日　付	開催時間	演　題	発表者
第 227 回	5 月 20 日（火）	18:00 ～19:30	「生命保険買取り」システムとは何か？ 21 世紀の医療のための生命保険金の有効活用	（株）リスク・マネジメント研究所 代表取締役　濱崎研治 先生
第 228 回	6 月 17 日（火）	18:00 ～19:00	医学・医療と知的財産	がん研究会法務・知財支援室 知財戦略担当部長 内海　潤 先生
第 229 回	7 月 15 日（火）	18:00 ～19:30	脳転移患者に対するトータルマネージメント ～ガンマナイフ治療を中心に～	NTT 東日本関東病院 ガンマナイフセンター センター長　赤羽敦也 先生
第 230 回	9 月 16 日（火）	18:00 ～19:30	放射線被曝 ～放射線安全月間　特別企画～	画像センター・ 放射線治療部・放射線管理部 松枝　清 先生 小塚拓洋 先生 宮島悟史 さん 宮司典明 さん
第 231 回	10 月 21 日（火）	18:00 ～19:30	癌の遺伝医療の実際 ～遺伝性乳癌卵巣癌とリンチ症候群 （遺伝性大腸癌）～	がん研有明病院 遺伝子診療部 部長 新井正美 先生
第 232 回	11 月 18 日（火）	18:00 ～19:30	がん治療における歯科の役割	がん研有明病院 歯科部長　富塚 健 先生

◆2015 年（平成 27 年）

回	日　付	開催時間	演　題	発表者
第 233 回	1 月 20 日（火）	18:00 ～19:30	がん患者へのヨーガ療法 ~アセスメントとカウンセリング~	（社）日本ヨーガ療法学会 理事長 スワミ・ヴィヴェーカナンダ・ヨーガ研究所 ヨーガ大学院大学 日本代表 木村慧心 先生
第 234 回	2 月 17 日（火）	18:00 ～19:00	ISO15189 検査室認証と病院への効果	がん研有明病院 臨床病理センター技師長 小松京子 先生
第 235 回	3 月 17 日（火）	18:00 ～19:30	26 年度　Best English Paper　受賞記念講演会	
			ゴールド賞： Anatomical Liver Resections Guided by 3-Dimensional Parenchymal Staining Using Fusion indocyanine Green Fluorescence Imaging (Fusion ICG 蛍光イメージングの肝解剖学的切除への応用)	消化器外科 井上陽介 先生
			シルバー賞： Optimal radiation shielding for beta and bremsstrahlung radiation emitted by 89Sr and 90Y:validation by empirical approach and Monte Carlo simulations （高エネルギーβ線放出核種(89Sr、90Y)に対する最適な遮蔽財：実測とモンテカルロシミュレーションによる検討）	画像診断センター （核医学部） 村田泰輔 さん
			ブロンズ賞： Sinistral portal hypertension after pancreaticoduodenectomy with splenic vein ligation （脾静脈結紮を伴う膵頭十二指腸切除後の左側門脈圧亢進症の病態について）	消化器外科 小野嘉大 先生
			ブロンズ賞： Mammary ductoscopy and watchful follow-up substitute microdochetomy in patients with bloody nipple discharge. （乳管内視鏡による診断と慎重な経過観察で血性乳頭分泌に対する乳管区分切除術は必要なくなる）	乳腺外科 蒔田益次郎 先生
			ブロンズ賞： Risk-adapted management of papillary thyroid carcinoma according to our own risk-group classification system: is thyroid lobectomy the treatment of choice for low-risk patients? （独自の癌死危険度分類に基づく甲状腺乳頭癌のリスクに応じた治療方針：低危険度群に対し甲状腺温存手術は選択肢となりうるか？）	頭頸科 蛯名　彩 先生

回	日　付	開催時間	演　題	発表者
第 236 回	4 月 21 日（火）	18:00 ～19:30	治療に難渋した後頸部髄液漏を合併した外傷性硬膜下血腫、脳内血腫の一例	東京都済生会中央病院 脳神経外科 淺田英穂 先生
			術前心機能評価について	東京都済生会中央病院 循環器科 長谷川　祐 先生
第 237 回	5 月 19 日（火）	18:00 ～19:30	当院におけるリンパ浮腫とその他の浮腫 その診断・鑑別から治療まで	がん研有明病院 婦人科副部長 リンパ浮腫治療室長 宇津木久仁子 先生
第 238 回	6 月 16 日（火）	18:00 ～19:30	PD1/PDL1 抗体療法の開発状況	総合腫瘍科 高橋俊二 先生
			腫瘍内免疫応答の解析とがん治療法の開発	東京大学医学部付属病院 免疫細胞治療学講座 特任教授 垣見和宏 先生
第 239 回	7 月 21 日（火）	18:00 ～19:30	Bad Bugs, No Drugs:　No ESKAPE! Enterococcus faecium, Staphylococcus aureus, Klebsiella pneumoniae, Acinetobacter baumanii, Pseudomonas aeruginosa, Enterobacter 世界／日本の耐性菌の現状と対策	がん研有明病院 感染症科部長 原田壮平 先生
第 240 回	9 月 15 日（火）	18:00 ～19:30	山本信之教授が本音で語る肺癌化学療法の現状と展望	和歌山県立医科大学 呼吸器・腫瘍内科教授 山本信之 先生
第 241 回	10 月 20 日（火）	18:00 ～19:30	食道癌 ESD 時の鎮静におけるデクスメデトミジン塩酸塩の有用性の検討 －単施設前向き無対照試験－	消化器内科 由雄敏之 先生
			知っておくべき臨床研究を取り巻く環境の変化	滋賀医科大学 臨床研究開発センター センター長 久津見　弘 先生
第 242 回	10 月 20 日（火）	18:00 ～19:30	がん研有明病院における低侵襲手術の歩み 　腎癌及び腎盂尿管癌に焦点を当てて	泌尿器科 増田　均 先生
			ロボット腎部分切除術のわれわれの標準手技と最近の工夫・こだわり ー200 例の経験よりー	東京女子医科大学 泌尿器科　准教授 近藤恒徳 先生
第 243 回	12 月 15 日（火）	18:00 ～19:30	当院におけるがん患者のＮＳＴ活動と役割	栄養管理部 中濱孝志 先生
			がんとリハビリテーション栄養	横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科 若林秀隆 先生

◆2016 年（平成 28 年）

回	日　付	開催時間	演　題	発表者
第 244 回	1 月 19 日（火）	18:00 ～19:30	卵巣について・・・	婦人科　尾松公平　先生
			AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存の診療の実践～その適応は？	聖マリアンナ医科大学 産婦人科学教授 鈴木　直 先生
第 245 回	2 月 16 日（火）	18:00 ～19:30	放射線治療の高精度化にともなう看護の可能性	がん研有明病院 看護部　長井優子 看護師長 同　放射線治療部・ 画像診断センター 後藤志保 副看護師長
第 245 回	3 月 15 日（火）	18:00 ～19:30	26 年度　Best English Paper　受賞記念講演会	
			ゴールド賞： Pancreatoduodenectomy With Systematic Mesopancreas Dissection Using a Supracolic Anterior Artery-first Approach	消化器（肝胆膵）外科 井上陽介 先生
			ゴールド賞： Routine Preoperative Liver-specific Magnetic Resonance Imaging Does Not Exclude the Necessity of Contrast-enhanced Intraoperative Ultrasound in Hepatic Resection for Colorectal Liver Metastasis	消化器（肝胆膵）外科 有田淳一 先生
			シルバー賞： Feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for gastric submucosal tumors (with video)	消化器（胃）外科 松田達雄 先生
			ブロンズ賞： Pulmonary Adenocarcinoma In Situ Analyses of a Large Series With Reference to Smoking, Driver Mutations, and Receptor Tyrosine Kinase Pathway Activation	病理部 佐藤征二郎 先生
			ブロンズ賞： Distinct Characteristics of Small Cell Lung Cancer Correlate With Central or Peripheral Origin　Subtyping Based on Location and Expression of Transcription Factor TTF-1	病理部 宮内栄作 先生
			ブロンズ賞： Anxiety and depression in patients after surgery for head and neck cancer in Japan	看護部 鈴木美穂 さん
			ブロンズ賞： Risk Factors Exacerbating Hand-Foot Skin Reaction Induced by Capecitabine plus Oxaliplatin with or without Bevacizumab Therapy	薬剤部 横川貴志 さん
第 247 回（臨時）	3 月 24 日（火）	18:00 ～19:30	救急医療の進歩と課題	東京都済生会中央病院 救急診療科 部長　関根和彦 先生

回	日　付	開催時間	演　題	発表者
第 248 回（臨時）	3 月 29 日（火）	17:00 ～17:45	今後のがん研における整形外科の方向性とビジョンについて	整形外科副部長 阿江啓介 先生
第 249 回	4 月 19 日（火）	18:00 ～19:30	骨軟部腫瘍における融合遺伝子	整形外科 阿江啓介 先生
			オーダーメイド医療の実現プログラムの成果とデータ利活用について	東京大学大学院 新領域創成科学研究科クリニカルシークエンス分野 教授 松田浩一 先生
第 250 回	5 月 17 日（火）	18:00 ～19:30	末梢 T 細胞性リンパ腫の症例検討、症例提示	血液腫瘍科 草野善晴 先生
			末梢型 T 細胞性リンパ腫の最近の治験	血液腫瘍科 三嶋裕子 先生
			PTCL の遺伝子異常と最近の進歩	筑波大学医学医療系血液内科准教授 坂田麻実子 先生
第 251 回	6 月 21 日（火）	18:00 ～19:30	当院における子宮頸がんに対する小線源治療の変遷およびその成績～ＣＴ画像を用いた画像誘導小線源治療へのアプローチ～	放射線治療科 室伏景子 先生
			放射線免疫療法	福島医科大学放射線科教授 鈴木義行 先生
第 252 回（臨時）	7 月 6 日（水）	16:00 ～17：00	今後のがん研における頭頸科の方向性とビジョンについて	日本医科大学附属病院 耳鼻咽喉科･頭頸部外科准教授　中溝宗永 先生 がん研究会有明病院 頭頸科　副部長 三谷浩樹 先生
第 253 回	7 月 19 日（火）	18:00 ～19:30	がん相談支援センターにおけるがん患者･家族サポート･がん相談支援センターにおける相談対応の動向	がん相談支援部 花出正美 看護師
			社会保険労務士によるがん患者の就労支援の実際 ―国立がん研究センターでの活動を通してー	社会保険労務士法人 EE パートナーズ 原　麻子 先生
			障害年金申請・診断書の作成ポイント ―制度利用を支援するー	倉本社会保険労務士事務所 倉本貴行 先生
第 254 回	9 月 20 日（火）	18:00 ～19:30	呼吸器内科の紹介	呼吸器内科部長 西尾誠人 先生
			肺がん薬物療法の変遷について	呼吸器内科医長 堀池　篤　先生
			分子標的治療薬の耐性メカニズムおよびその克服について	化学療法センター基礎研究部主任研究員 片山　量平　先生
第 255 回	10 月 18 日（火）	18:00 ～19:30	Advanced care planning への取り組み	乳腺内科医員 柴山朋子 先生
			医療者に知っておいてほしい 「患者の real voice」	一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン 理事長　天野慎介 氏

回	日　付	開催時間	演　題	発表者
第 256 回	11 月 15 日（火）	18:00 ～19:30	膵癌に対する取り組み	肝胆膵外科医員 田中真之 先生
			センチネルリンパ節生検に基づく消化器癌の縮小手術	慶應義塾大学一般・ 消化器外科教授 北川　雄光　先生
第 257 回	12 月 20 日（火）	18:00 ～19:30	がん化学療法の治療効果を高めるために臨床薬剤師ができること	薬剤部主任 横川貴志　薬剤師
			緩和ケアにおける便秘治療のエッセンス	岐阜大学医学部附属病院 薬剤部　薬剤主任 石原正志　先生
第 258 回	12 月 12 日（月）	7:30 ～8:20	Memorial Sloan-Kettering Cancer Center における大腸癌の集学的治療と臨床研究の最前線	Memorial Sloan-Kettering Cancer Center Stuart H.Q. Quan Chair in Colorectal Surgery Prof. Martin R. Weiser

１３．財　政　状　況

平成24～27年度 正味財産増減計算（4か年度分）
平成24年4月1日　～　平成28年3月31日

1．収入の部

（単位：千円）

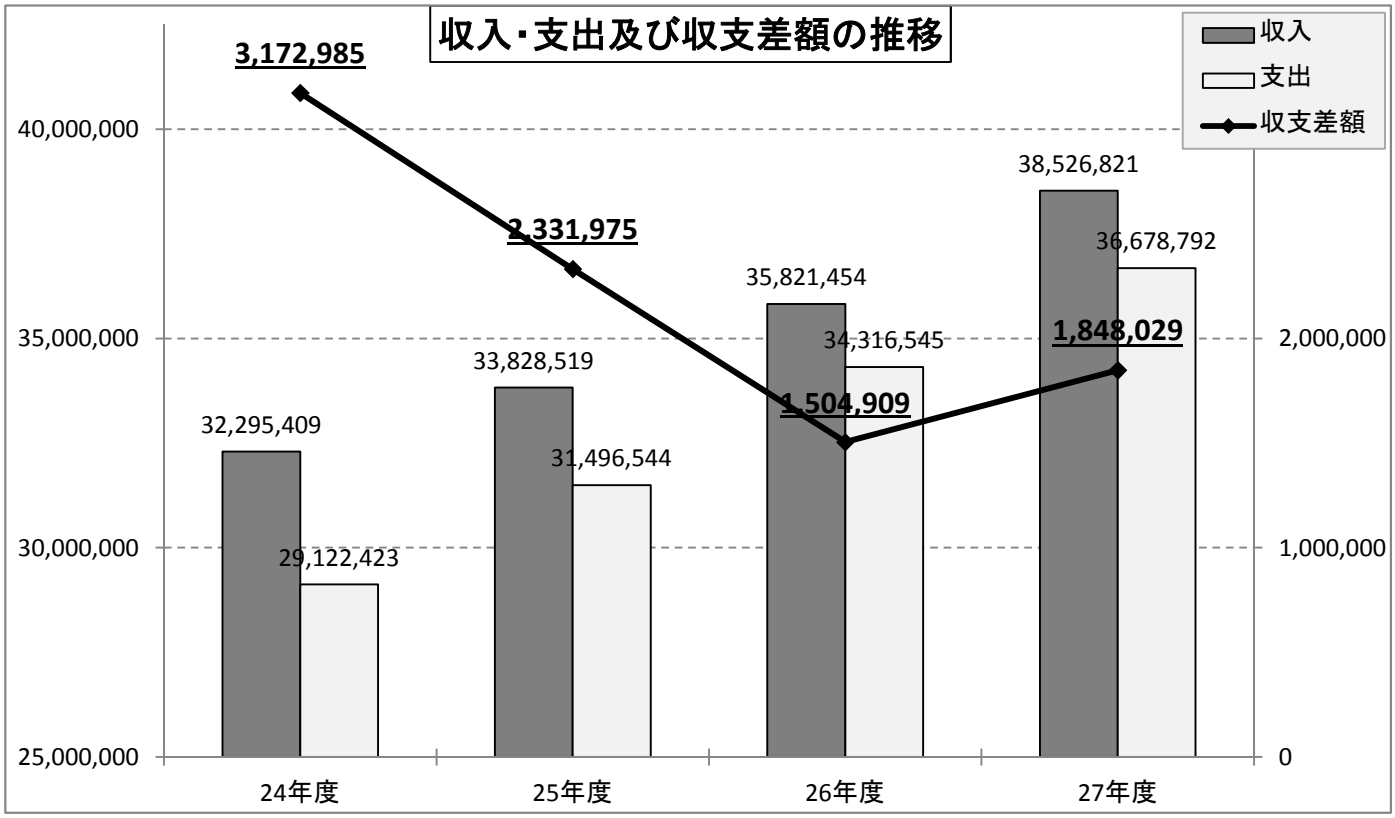
科　　目	24年度	25年度	26年度	27年度	
	金　額	金　額	金　額	金　額	割　合
基本財産収入	34,584	22,969	11,188	11,238	0.03%
病院収入	29,320,761	29,751,385	31,749,205	34,744,753	90.18%
研究所収入	307,286	306,623	302,742	302,268	0.78%
がん化学療法センター収入	66,382	42,230	49,245	42,720	0.11%
補助金・寄付金収入	731,120	1,154,471	1,120,620	1,019,446	2.65%
事業外収入	1,835,275	2,550,841	2,588,454	2,406,396	6.25%
収入合計	**32,295,409**	**33,828,519**	**35,821,454**	**38,526,821**	**100.0%**

2．支出の部

（単位：千円）

科　　目	24年度	25年度	26年度	27年度	
	金　額	金　額	金　額	金　額	割　合
病院支出	23,551,017	25,016,298	27,289,449	29,362,418	80.05%
研究所支出	1,224,550	2,029,783	2,567,232	2,438,749	6.65%
がん化学療法センター支出	411,176	435,429	400,570	427,692	1.17%
管理支出	1,579,791	1,692,377	1,687,419	1,875,313	5.11%
事業外支出	563,094	513,702	485,104	429,590	1.17%
減価償却費	1,792,795	1,808,954	1,886,771	2,145,030	5.85%
支出合計	**29,122,423**	**31,496,544**	**34,316,545**	**36,678,792**	**100.0%**

当期収支差額	**3,172,985**	**2,331,975**	**1,504,909**	**1,848,029**	**--**



公益財団法人がん研究会